# 事務事業評価報告書

(平成17年度決算評価)

### 新しい行政経営システムの構築をめざして

事業チェックシート編

総務部・生活環境部・保健福祉部 建設部・消防本部・教育委員会

> 平成 18 年 11 月 芦 屋 市

## 目 次

1	事務事業チェックシート目次(兼評価結果の概要)	1
2	評価結果の概要と今後の方向性	7
3	事務事業チェックシート	8

					1次記	評価 (	所管	課評	平価) 2次評価(市評価)							
番号	部	課	事業番号	事務事業名	妥当性	有効性	効率性	総合評価	方向性	妥当性	有効性	効率性	総価合評	向	2 次評価コメント(事業の方向性)	目次
1	総務部	人事課	5220030	職員研修事業	-	2	2	А	方法改善	,	0	-1	D	方法 改善	高度化する行政課題に対応できる人材育成は急務であるため、人材育成基本方針に基づ〈基本計画を早急に作成し、職員の育成を行って〈ださい。	8
2	総務部	契約課	5230590	工事及び工事に係る設計業 務委託等の入札契約事務	-	2	1	Α	方法改善	,	2	0	В		他都市のベストプラクティスにならうなど,さらに公平性 や競争性を増すための施策を実施してください。	10
3	総務部	防災対策 課	1210010	地域防災計画及び水防計画 に関する事務	-	4	-1	В	方法 改善	-	4	-1	В	方法 改善	行政内部の計画書の印刷部数については,庁内LAN や電子データを活用する方法で見直してください。	12
4	総務部	防災対策 課	1210030	災害対策に関する事務	5	1	0	В	方法改善	5	1	0	В		地域と連携して,避難箇所の周知等に取り組んで〈ださい。(成果指標の再検討を行って〈ださい。)	14
5	総務部	防災対策 課	1240010	自主防災組織の設置・育成	5	2	-3	В	方法改善	5	2	-3	В	方法 改善	引き続き自主防災組織の結成や育成に努めて〈ださ い。	16
6	総務部	防災対策課	1240170	危機管理に係る企画・総合 調整に関する事務	4	4	0	В	方法 改善	3	4	0	В	方法 改善	危機管理マニュアルの有効性を高めるため,職員研修 を実施し,職員の育成を行ってください。	18
7	総務部	広報課	5110010	広報紙発行	6	4	2	Α	現状維持	6	4	2	Α	現状 維持		20
8	総務部	広報課	5110030	ホームページの制作	6	0	-2	В	拡 大・ 充実	6	0	-2	В	方法 改善	記者発表資料の提供を行うなど,インターネットの即時性を活用した情報提供を進めて〈ださい。	22
9	総務部	お困りです 課	5120010	<b>広聴業務</b>	4	4	1	Α	方法改善	4	4	0	В	方法 改善	インターネットによる情報の収集や課題解決の提供(公表)を行ない,市民の要望に迅速に対応できるように進めて〈ださい。	24
10	総務部	お困りです 課	6110010	市民相談に要する経費	4	3	2	Α	現状維持	4	3	1		現状 維持		26
11	総務部	市民参画 課(国際文 化担当)	3410030	その他外国人交流支援等	5	2	0	В	方法改善	3	2	1	С	方法改善	ニューズレターとの統合を図り、事業の目的意図を明確にしてください。また、民間との役割分担を明確にしてください。市内で居住する外国人のニーズを把握し、必要なサービスが行われるように検討してください。また、NPOやボランティアの活用を積極的に行い、英語圏以外の外国人に対する対応を検討してください。	28
12	総務部	市民参画課(男女共同参画推進担当)	3310030	男女共同参画社会の実現に 向けた啓発活動等	5	2	1	A	方法改善	4	2	-4	В	委託	啓発事業は、市民や各種団体を含めて市民協働で取り組むべき内容です。職員は、そのための提供者としての役割を高めてください。目的や課題に対するより具体的な手段についてアクションブランを作成して実施してください。	30
13	総務部	課税課	5230210	税証明事務	4	3	-1	В	方法 改善	4	3	-1	В	方法 改善		32
14	総務部	収税課	5230240	市税等納付督励事務	3	3	2	А	方法改善	4	3	0	В		市税等納付督励事務については,民間活力の導入等 を検討して〈ださい。	34
15	生活環 境部	総務課	1310120	し尿処理業務	4	3	-1	В	方法 改善	4	3	-1	В	現状 維持		36
16	生活環境部	総務課	1320150	空き缶等散乱防止事業	4	4	-2	В	方法改善	3	4	-2	В		他都市のベストブラクティスにならい,さらに具体的な 方策を検討し,市民協働で改善を進めて〈ださい。	38

					1次記	評価(	(所管	課評	方 妥 有 効 総 方							
番号	部	課	事業番号	事務事業名	妥当性	有効性	効率性	総合評価	方向性	妥当性	有効性	効率性	総価合評	向	2 次評価コメント(事業の方向性)	目 次
17	生活環 境部	総務課(環 境保全担 当)	1320020	騒音·振動対策関係事業	6	0	-2	В	現状維持	6	0	-2	В	現状 維持		40
18	生活環 境部	総務課(環 境保全担 当)	1320030	湾岸道路に関する環境対策	4	4	0	В	現状維持	3	4	0	В	統合 終期 設定	本来は、道路管理者である県や道路公団が行うべき事業と考えられます。県・道路公団と協議して、環境対策についてアクションブランを作成して取り組んでください。	42
19	生活環 境部	総務課(環境保全担当)	1320080	大気汚染対策事業	5	3	-1	В	現状維持	5	3	0	В	現状維持	国・県へ,大気汚染対策の要望活動に引き続き取り組んで〈ださい。	44
20	生活環境部	総務課(人 権推進担 当)	1410020	人権啓発事業	3	3	0	В	方法改善	4	3	-2	В	方法改善	事業の目的や意図に沿ったアウトカム指標を設定して 〈ださい。他都市のベストプラクティスにならい,効果的 な事業展開を検討して〈ださい。	46
21	生活環 境部	市民課	5230690	住民基本台帳事務	4	3	1	А	方法 改善	3	3	0	В	民間 委託 等	市場化テストに対応できるように、個人情報の取り扱い や職員研修等の取り組みを進めてください。 年末・夜間・休日等へのサービス拡大のため自動交付 機等による対応を検討してください。	48
22	生活環 境部	市民課	5230700	印鑑登録証明事務	5	4	1	Α	方法改善	5	4	0	В	民間 委託	市場化テストに対応できるように、個人情報の取り扱い や職員研修等の取り組みを進めてください。 年末・夜間・休日等へのサービス拡大のため自動交付 機等による対応を検討してください。	50
23	生活環境部	経済課	1510080	観光事業	3	3	-1	В	方法改善	3	3	-2	В		ホームページを活用するなど迅速かつ積極的な情報 提供を行なう時期に来ています。また、観光事業の抜 本的なあり方を検討する必要があります。例えば、芦 屋の歴史文化を活用して芦屋の観光をアピールする方 法やコーディネートする施策について、アクションブロブ ランを作成して取り組んでください。	52
24	生活環境部	経済課	1610010	消費生活相談事業	2	4	-3	В	方法改善	2	4	-4	В	民間 委託	効率性の向上を図るため,民間活力の導入を検討して 〈ださい。	54
25	生活環境部	経済課	1620010	消費者啓発事業	3	4	-1	В	方法改善	4	4	-1	В	方法改善	ホームページを活用した迅速な情報提供に取り組んでください。また、消費者啓発事業は、市民やNPOと協働で行なえるように検討してください。	56
26	生活環 境部	保険年金課	2120150	国民健康保険事業	6	4	0	В	現状維持	6	4	0	В		医療費抑制のため、生活習慣病予防対策については民間委託化を進めて〈ださい。	58
27	生活環 境部	保険年金課	2120160	福祉医療事務(老人·乳幼児· 障害者·母子家庭等·高齢障 害者)	7	4	-1	В	現状維持	7	4	0	В		医療費抑制のため,他課との連携を図り,重複受診の 抑制に取り組んでください。	60
28	生活環 境部	保険年金課	2120170	老人保健医療事務	7	4	1	А	現状維持	6	3	1	А	終期	平成20年4月に後期高齢者医療制度への移行が予定されていますので、制度の内容を見極めて的確に準備を進めてください。	62
29	生活環境部	上宮川文 化センター	1410080	隣保館事業	5	4	0	В	方法 改善	5	4	0	В	カギ	ボランティアや地域が協働した地域福祉活動や人権教育など、地域住民が主体となった取組を進めてください。	64
30	生活環境部	上宮川文 化センター	2410010	児童センター事業	6	4	1	A	方法 改善	6	4	0	В	方法 改善		66
31	生活環境部	環境処理セ ンター	1310020	廃棄物の減量・資源化促進事業(ごみの減量化・資源化)	7	4	-1	В	現状維持	6	4	-1	В	現状維持		68
32	生活環境部	環境処理セ ンター	1310030	廃棄物の減量・資源化促進事業(ごみの分別・処理)	7	4	0	В	方法改善	6	4	0	В	方法 改善	不法投棄を許さない環境づくりのため,他都市のベスト ブラクティスにならい関連諸機関との連携を強化してく ださい。	70

					1次記	平価(	所管	課評	方。安有如此総方							
番号	部	課	事業番号	事務事業名	妥当性	有効性	効率性	総合評価	方向性	妥当性	有効性	効率性	総価合評	向	2 次評価コメント(事業の方向性)	目 次
33	生活環境部	環境処理センター	1310040	廃棄物の減量・資源化促進事 業(不燃物の処理)	4	4	-2	В	方法改善	4	4	-1	В		効率的な分別と資源化率の向上に引き続き取り組んで ください。	72
34	生活環 境部	環境処理セ ンター	1310050	廃棄物の減量・資源化促進事 業(粗大ごみ有料収集)	5	4	-2	В	現状維持	5	4	-2	В	現状 維持		74
35	生活環 境部	環境処理センター	1310070	ごみ収集・運搬に関する事業	6	1	-2	В	現状 維持	6	1	-3	В	現状 維持		76
36	生活環境部	環境処理センター	1310110	廃棄物の減量・資源化促進事 業(リサイクル推進)	4	3	-2	В	方法 改善	2	3	-3	D	民間 委託	NPOや民間企業,市民団体等へ委ねる方策について,アクションブランを作成して取り組んでください。	78
37	生活環 境部	環境処理センター	1310130	環境処理センターの維持管 理 , 整備事業	-	4	-2	В	現状 維持	,	4	-2	В	民間 委託 等	更なるコストの削減等に努めてください。	80
38	生活環境部	環境処理セ ンター	1330050	廃棄物の減量・資源化促進事 業(啓発事業)	4	4	-1	В	方法改善	4	4	-1	В	方法 改善	引き続き啓発等の方策を検討してください。	82
39	保健福祉部	生活援護課	2620010	災害援護資金償還事務	5	4	-1	В	方法 改善	3	4	-1	В	方法改善	回収率向上のため,未償還者に対する取り組みを引き続き進めて〈ださい。	84
40	保健福 祉部	健康課	2120020	難病患者等居宅生活支援事 業	5	1	2	Α	現状 維持	5	1	2	Α	現状 維持		86
41	保健福 祉部	健康課	2120060	健康被害予防事業	6	4	0	В	現状 維持	6	4	0	В	現状 維持		88
42	保健福 祉部	健康課	2120090	訪問指導	5	2	0	В	現状 維持	6	2	-4	В	現状 維持		90
43	保健福祉部	健康課	2410090	妊産婦支援事業	8	4	1	А	現状維持	8	4	1	Α	現状維持		92
	保健福祉部	健康課	2410100	プレ親学級(教室)	6	3	0	В	現状維持	6	4	-2	В	方法 改善	民間委託等を検討してください。	94
45	保健福 祉部	健康課	2410110	乳幼児健康診査	7	3	0	В	現状 維持	7	3	-1	В	方法 改善	会場確保については,医師会医療センターを活用する など検討してください。	96
46	保健福 祉部	障害福祉 課	2510020	身体障害者福祉事業	5	1	-1	В	方法 改善	5	1	-1	В	現状 維持		98
47	保健福 祉部	障害福祉 課	2510030	身体障害者保護事業	5	4	2	Α	方法 改善	8	4	1	Α	現状 維持		100
48	保健福 祉部	障害福祉 課	2520040	障害児福祉施設等通園費扶 助事業	7	1	-1	В	方法 改善	5	4	-1	В	現状 維持		102
49	保健福祉部	こども課	2420020	子育でセンター運営事業	4	3	1	A	方法 改善	4	3	-1	В		NPOや市民団体等が主体となって行なうことを検討してください。	104
50	保健福祉部	高年福祉 課(介護保 険担当)	2330030	介護保険給付	8	4	1	Α	方法 改善	8	4	1	Α	方法 改善		106
51	保健福祉部	高年福祉 課(介護保 険担当)	2330040	介護保険料の賦課・徴収	7	2	-1	В	方法 改善	4	3	-2	В	方法 改善	徴収率の向上に努めて〈ださい。	108

					1次記	評価(	(所管	課評	字価 )							
番号	部	課	事業番号	事務事業名	妥当性	有効性	効率性	総合評価	方向性	妥当性	有効性	効率性	総価合評	向	2 次評価コメント(事業の方向性)	目次
52	建設部	住宅課	4310090	市営住宅等改良改修工事	-	4	-2	В	方法改善	-	4	-1	В	方法 改善	市営住宅のあり方を考える中で、ストック活用計画等に 基づいて適正な修繕に努めてください。 なお、指定管理者制度の導入についてアクションブラン を作成して進めてください。	110
53	建設部	道路課	1260010	交通安全施設等整備事業	6	2	0	В	現状維持	4	2	0	В	現状 維持		112
54	建設部	道路課	1270020	公益灯の新設・改良・維持管 理	-	4	1	А	拡 大・ 充実	,	4	1	Α	拡大 充実	適正な維持補修に努めるとともに,照度基準を満たさない地区については充実を図るように進めてください。	114
55	建設部	道路課	4130050	J R 北芦屋駅周辺公共施設 維持管理業務	-	4	-1	В	現状 維持	-	4	-1	В	現状 維持		116
56	建設部	公園緑地課	4420080	公園樹·街路樹維持·管理	-	4	-1	В	方法改善	-	4	-3	В		地域や沿道住民の協力拡大に向けて,アクションプラ ンを作成して進めて⟨ださい。	118
57	建設部	下水道課	4130010	六麓荘地区都市基盤整備事 業	6	3	1	А	現状 維持	3	3	0	В	現状 維持	引き続き工事費のコスト縮減を図り,事業を進めてください。	120
58	建設部	下水道課	4130210	南芦屋浜公共下水道整備	4	3	1	А	現状 維持	4	3	1	Α	現状 維持	引き続きコスト縮減を図り,事業を進めてください。	122
59	建設部	下水道課	4330020	奥山処理区統合下水道整備	4	3	1	А	現状維持	-1	1	1	С	方法	奥山下水処理場廃止の事業目的には理解を示しますが,不明水流入対策の困難性を考えると事業効果がでるかどうかに疑問がありますので,その点を明らかにしてください。また,建設工事費や維持管理費及び受益者負担などに関する財務状況を示した下水道長期財政収支計画を作成・公表し,費用対効果額を比較検討して人たとで,改修工事のあり方や優先順位を検討してください。さらに,新工法の採用等を検討しコスト削減に取り組んでください。	124
60	建設部	下水道課	4330030	合流管更正· 布設替事業	4	3	1	А	方法 改善	1	3	1	Α	方法 改善	建設工事費や維持管理費及び受益者負担などに関する財務状況を示した下水道長期財政収支計画を作成・公表し、費用対効果額を比較検討した上で、改修工事のあり方や優先順位を検討してください。また、新工法の採用等を検討しコスト削減に取り組んでください。	126
61	建設部	下水道課	4330040	雨水浸水対策事業	4	3	1	A	現状維持	2	3	1	Α	方法 改善	建設工事費や維持管理費及び受益者負担などに関する財務状況を示した下水道長期財政収支計画を作成・公表し、費用対効果額を比較検討した上で、改修工事のあり方や優先順位を検討してください。また、新工法の採用等を検討しコスト削減に取り組んでください。	128
62	建設部	下水道課	4330050	街路事業区域公共下水道整 備	4	3	1	А	現状 維持	2	3	1	Α	方法 改善	新工法の採用等を検討しコスト削減に取り組んで〈ださい。	130
63	建設部	下水道課	4330210	下水道本管及び取付管の維 持補修・改良工事	-	4	1	А	現状維持	-	4	0	В	現状 維持		132
64	建設部	下水道課	4330220	下水道施設の維持管理業務	-	4	0	В	方法 改善	-	4	-1	В	現状 維持		134
65	建設部	下水処理場	4130220	南芦屋浜下水処理場整備事業	4	3	2	А	方法改善	-1	-2	1	С	改善	南芦屋浜地域の開発事業の進捗に応じて進めてください。また、建設工事費や維持管理費及び受益者負担などに関する財務状況を示した下水道長期財政収支計画を作成し、健全な施設整備に努めてください。	136
66	建設部	下水処理場	4330250	芦屋下水処理場整備事業	4	3	1	А	方法改善	3	1	-1	В	方法改善	产屋下水処理場の高度処理に伴う南产屋浜地区増設分(分流区域)や現施設の拡張整備(合流区域)に係る建設工事費や維持管理費及び受益者負担などに関する財務状況を決定しませた。 の「費用況を示して、が、直接関してはさい、また、期限・財源・プロセス、を明確にした上で現事業(改修工事)のあり方を検討してください。	138
67	建設部	都市計画 課(まちづく リ・開発事 業担当)	4110030	地区計画の策定	-	2	1	А	方法改善	-	3	0	В	現状維持	地区計画制度を普及させるための方策等を検討して〈ださい。また,地区住民と協働して計画を策定する取組を進めて〈ださい。	140
68	建設部	開発指導課	4110160	芦屋市住みよいまちづくり 条例による住環境の保全及 び育成に関する事務	6	4	2	А	現状維持	6	3	2	А	拡大 充実		142
69	建設部	建築指導課	1230460	耐震改修促進法に関する事務	5	2	2	А	拡 大・ 充実	5	2	2	Α		耐震改修は緊急の課題であるため,制度普及のため 啓発活動に取り組んでください。	144

					1次記	評価 (	(所管	課評								
番号	部	課	事業番号	事務事業名	妥当性	有効性	効率性	総合評価	方向性	妥当性	有効性	効率性	総価合評	向	2 次評価コメント(事業の方向性)	目 次
70	建設部	街路課	4210090	街路事業(山手幹線)	4	1	1	Α	現状維持	4	1	0	В		引き続き,工事期間の短縮及び工事費の縮減に努めてください。	146
71	消防本部	総務課	1230250	消防団施設・設備維持管理事 務	-	3	-2	В	方法 改善	•	3	-2	В	現状 維持		148
72	消防本部	警防第1 課·第2課	1220005	地域防災拠点・地区防災拠点 の維持管理業務	-	3	0	В	現状維持	,	3	-4	В	方法 改善	資機材の活用,点検及び管理について,自主防災組織の主体的な取組がなされるように,アクションブランを作成して進めてください。	150
73	消防本部	警防第1 課·第2課	1220010	地域防災拠点整備事業	5	3	-1	В	現状維持	2	3	-2	В	方法 改善	精道小学校の貯水槽の整備をもって,飲料水兼用貯水槽の整備は終了して(ださい,また,防災倉庫の資機材の活用,点検及び管理方法等については,地区住民への周知を図って(ださい,	152
74	消防本部	警防第1 課·第2課	1220020	地区防災拠点整備事業	3	3	1	A	現状維持	2	3	-1	В	方法 改善	防災倉庫の資機材の活用,点検及び管理方法など, 住民への周知についてアクションブランを作成して進め てください。	154
75	消防本部	警防第1 課·第2課	1240020	自主防災組織の育成・支援事業	4	2	0	В	現状維持	3	3	0	В		自主防災組織の「救助・救出・救護」に関する知識を, 地域で活用できるように取組を進めてください。また併せて,防災倉庫の活用や管理方法等を地区住民に周知してください。	156
76	消防本 部	警防第1 課·第2課	2140050	応急救護知識の普及啓発	5	4	0	В	拡 大・ 充実	5	4	-3	В	方法 改善	各種団体との連携や協力を得て,指導員の確保に努めてください。	158
77	消防本 部	警防課(通信装備担当)	1230300	消防用車両の維持・管理業務	-	3	-1	В	現状 維持	-	3	-2	В	現状 維持	指標設定の見直しや保有車両の他団体比較を行い, 車両の適正な配置及び活用を行って〈ださい。	160
78	消防本 部	警防課(通 信装備担 当)	1230310	消防活動用資機材の維持・管 理業務	-	3	0	В	現状 維持	-	3	0	В	現状 維持		162
79	教育委 員会管 理部	総務課	3120230	要保護及び準要保護児童生 徒就学援助費	4	3	1	А	方法 改善	5	3	0	В	現状 維持		164
80	教育委 員会管 理部	総務課	3120240	義務教育児童生徒就学援助 費(国庫補助対象外)	5	3	1	Α	方法 改善	5	3	0	В	現状 維持	近隣各市の動向に注意しながら,適正な制度運用に 努めてください。	166
81	教育委 員会管 理部	総務課	3120280	私立幼稚園就園奨励費補助金	3	4	-2	В	方法 改善	2	4	-3	В	現状 維持		168
82	教育委 員会管 理部	総務課	3120290	私立幼稚園就園奨励補助金 (保護者負担軽減)	4	4	0	В	廃止 /休 止	1	4	0		廃止 休止		170
83	教育委 員会管 理部	施設課	3140020	精道小学校校舎整備事業	4	3	1	Α	現状維持	3	3	1	Α		安全面に配慮しながら,引き続きコスト縮減に取り組んでください。	172
84	教育委 員会学 校教育 部	学校教育 課	3120170	学校給食関係事務	8	4	-1	В	方法 改善	5	4	-1	В	方法 改善	(事業単位の設定を見直して〈ださい。)	174
85	教育委 員会学 校教育 部	学校教育 課	3130010	生徒指導対策事業	4	3	1	A	現状 維持	2	2	0	D	方法 改善	事業の目的意図に沿った課題対応や将来の方向性を 検討してください。また、小学校、中学校及び家庭とが 相互に連携を図るように検討してください。	176
86	教育委 員会社 会教育 部	生涯学習課	3230010	コミュニティ・スクール関係	5	4	0	В	現状 維持	5	4	0	В	現状 維持		178
87	教育委 員会社 会教育 部	生涯学習 課	3260030	市内文化財の保護	3	3	0	В	方法 改善	1	1	-2	D	方法 改善	試歴保存された文化財の調査報告書が発刊されない 状況では、事業効果が薄れてしまいます。 市民への公 表方法も含めて、事業のあり方を検討してください。	180
88	教育委 員会社 会教育 部	スポーツ・青少年課	2410220	青少年保護対策事業(芦屋市 留守家庭児童会事業)	3	4	0	В	方法 改善	3	4	0	В	委託	コミュニティビジネスやNPOへの委託,有償ボランティア等の民間活力の導入を検討し,課題対応に向けて取組を進めてください。	182
89	教育委 員会社 会教育 部	スポーツ· 青少年課	3240010	体育指導委員	5	3	-1	В	方法 改善	4	3	-1	В	方法 改善	指導員の円滑な世代交代を図るとともに、より多くの参加者が得られるスポーツの振興・普及に努めてください。	184

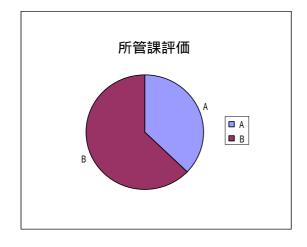
					1次評価(所管課評			価)						2次評価(市評価)		
番号	部	課	事業番号	事務事業名	妥当性	有効性	効率性	総合評価	方向性	妥当性	有効性	効率性	総価合評	向	2 次評価コメント (事業の方向性)	目次
90	教育委 員会社 会教育 部	スポーツ· 青少年課	3240030	スポーツリーダーバンク	5	3	-3	В	方法 改善	5	3	-3	В	現状 維持		186
91	教育委 員会社 会教育 部	スポーツ· 青少年課	3240110	スポーツ・フォア・エブリワ ン推進事業	4	4	-3	В	方法 改善	4	4	-3	В	現状 維持	スポーツリーダー育成事業と連携して,効果ある啓発 活動を推進してください。	188
92	教育委 員会社 会教育 部	公民館	3210040	講演・講座・学級・教室等の開 催	3	4	0	В	方法 改善	2	4	-1	В	方法 改善	「市民満足度調査(事業効果調査)」を実施すると共に、受益者負担の低下に伴う受講料の改定を検討してください。	190
93	教育委 員会社 会教育 部	公民館	3210140	公民館図書室の運営	4	3	-2	В	方法 改善	4	3	-2	В	現状 維持		192
94	教育委 員会社 会教育 部	図書館	3210150	図書館運営事業(収集整理利 用)	5	2	-1	В	方法改善	5	2	-2	В	方法 改善	図書館運営のあり方を見直すと共に,指定管理者制度 の導入に向けてアクションプランを作成して進めて〈だ さい。	194

Α	35	Α	15
В	59	В	71
C	0	C	3
D	0	D	5
計	94	計	94

#### 評価結果の概要

表 1 総合評価別事業数

総合評価	所管	課評価	市評価				
A	35	37%	15	16%			
В	59	63%	71	76%			
С	0	0%	3	3%			
D	0	0%	5	5%			
計	94	100%	94	100%			



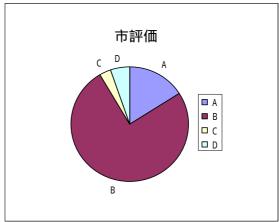
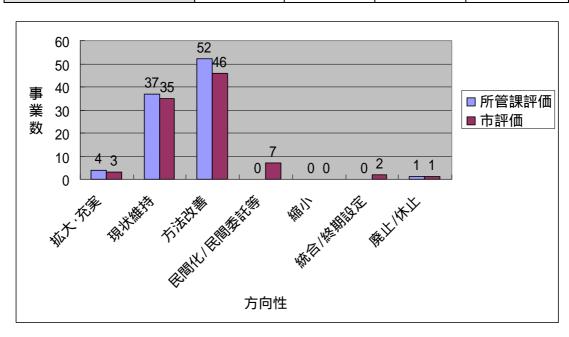


表 2 今後の事業の方向性(事業数・%)

	1 次評価(月	f管課評価)	2次評価	(市評価)
拡大・充実	4	4%	3	3%
現状維持	37	39%	35	37%
方法改善	52	56%	46	50%
民間化/民間委託等	0	0%	7	7%
縮小	0	0%	0	0%
統合/終期設定	0	0%	2	2%
廃止/休止	1	1%	1	1%
計	94	100%	94	100%



(内部	事務)	事業	コード	5220030			部長次	長課長
亚成 1	7年度	<b>主</b>	業名	職員研修事業				
1 /3%	7 7 10	ħ	ж ц	机只可炒于来				
1 事	業概	要(ドゥ)						
第3次	芦屋市	まちづく	りの目標	5 市民と協働し	てつくる自立した行政基盤・	づくり	SC 2	
	計画		中		所システムの確立		所 管 課 人事課	
政策	施策		<u>/</u> \	2 効果的な職員	配置と活力を生む人事管理		所管課長氏名 小山 忠	第
体	系		<u>,</u> 細	2 3303 (4110 01 1340 01			記入者氏名本間慶	
事	業	期		不明	経常臨時	☑ 経常 □ 臨時	電話番号38-2	
根拠				地方公務員法第39			実施主体	0 1 0 F J MAK 2230
実	施	手		☑ 直営	<u>/ 未</u>	□ 全部委託		負担金
委	ЛE	託	先	□ 外郭団体委託	<u>名称</u>			只但並
女		пL	76		<u> <sup>  名 你  </sup></u> 画に基づき,職員を対象にし		要託 <mark>委託内容</mark>	
_	2114		4n7 <del></del>	户鱼印献貝研修訂問	則に基づさ、 収貝を刈家にし	た研修の企画, 美旭及し	外が修成例への派遣をする	0
事	業	の	概 要					
				平成17年3月に第	策定された"あしや"人材育	『成基本方針に基づき,耶	競員研修計画を作成し,研	修を実施する。
事	業	の	現 状	研修の実施状況				
				1 一般(職階別	川・基本研修) 9回 延~	336人		
	目的	実現のため	00	2 特別 (専門)	研修 13回 延~	620人		
	手段	及び実施内	容	3 派遣研修	55回 延~	ミ117人		
				4 職場研修	2回 延~	71人		
				合計	79回 1,	144人		
			指標 名	研修の実施回数				
アク:	ティブ		- III I		責) 平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
指	標	活動指標	指標値	132	110	79	100	120
	1731		単位コスト	105千円/回	120千円/回	118千円/回	117千円/回	110千円/回
				研修参加人数(延~		110     1,7	111 1 1 17	220     17   II
アウト	プット		年 度		責) <b>平成16年度(実績)</b>	平成17年度(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
指	横標	結果指標	指標値	1683	1511	1144	1300	1500
18	行示		単位コスト	8. 2千円/人	8.8千円/人	8. 2千円/人	8.2千円/人	8. 2千円/人
າ <b>ສ</b> ຣ	光代	果(アウ)		6. 2十円/人	6.6十円/八	6.2下円/人	6. 4十円/人	6. 2下円/人
<u>د</u> ع	未ルス	木(グラ)	·/////////////////////////////////////					
		対	象	職員(受益数は	こついては、概数)			
= ** 4	~ ¬ ~	<u> </u>	110	11 5 WL ()	1000 TO 14	<b>44</b> (1)	11. <del></del> (1 ) 0(	54.00/
		対象力	八一率	x寸 家 #Y (a)				
対象				7.3 St XX (a)	1000 受益	<mark>数 (b)</mark> 519	比率 (b ÷ a) %	51. 9%
	' 思 凶							
	' 思 凶	意	図		1000   文 盆 う			
	' 思 凶	意	[22]	職員の資質・能力				
		意 (対象を言	図 注語にして)	職員の資質・能力 る。) 社会終落情勢の2	りの向上(社会環境の変化や	P高度化・多様化する市E	民のニーズに的確に対応で	きる職員を育成す
大	・ 息 凶	意	図	職員の資質・能力 る。) 社会終落情勢の2		P高度化・多様化する市E	民のニーズに的確に対応で	きる職員を育成す
大		意 (対象を言	図 注語にして) 目 的	職員の資質・能力 る。) 社会経済情勢の3 上を図る。	ウの向上(社会環境の変化や で化や高度化・多様化する市	P高度化・多様化する市E	民のニーズに的確に対応で	きる職員を育成す
<b>大</b>		意 (対象を言な	図 注語にして) 目 的 指標名	職員の資質・能力 る。) 社会経済情勢の3 上を図る。 研修内容の満足度・	ウの向上(社会環境の変化や 変化や高度化・多様化する市 ・理解度	P高度化・多様化する市民 可民のニーズに対応できる	民のニーズに的確に対応で 5職員を育成することによ	きる職員を育成す
大		意 (対象を言な	図 注語にして) 目 的 指標名 考え方·式	職員の資質・能力 る。) 社会経済情勢の多 上を図る。 研修内容の満足度・ 研修実施後にアンク	つの向上(社会環境の変化や 変化や高度化・多様化する市 ・理解度 ケートをとり満足度、理解度	P高度化・多様化する市民 可民のニーズに対応できる でを把握する(5段階評別	民のニーズに的確に対応で 5職員を育成することによ でで、4以上を目指す。)	きる職員を育成すり,市民サービスの向
大		意 (対象を言な	図 注語にして) 目 的 指標名 考え方·式 年 度	職員の資質・能力 る。) 社会経済情勢の多 上を図る。 研修内容の満足度・ 研修実施後にアンク	ウの向上(社会環境の変化や 変化や高度化・多様化する市 ・理解度	P高度化・多様化する市民 可民のニーズに対応できる でを把握する(5段階評別	民のニーズに的確に対応で 5職員を育成することによ	きる職員を育成す
アウ		意 (対象を な 中 間	型 注語にして) 目 指表方・ 年標標標標標標標標標標標標標標標標標標標標標標標標標標標	職員の資質・能力 る。) 社会経済情勢の多 上を図る。 研修内容の満足度・ 研修実施後にアンク <mark>平成15年度(実</mark> 紀 不明	つの向上(社会環境の変化や 変化や高度化・多様化する市 ・理解度 ケートをとり満足度、理解度 責) <mark>平成16年度(実績)</mark> 不明	P高度化・多様化する市民 可民のニーズに対応できる でを把握する(5段階評別	民のニーズに的確に対応で 5職員を育成することによ でで、4以上を目指す。)	きる職員を育成すり,市民サービスの向
	ŧ	意 (対象を当 な 中 間 成果指標	型 (型) (型) (型) (型) (型) (型) (型) (型) (型) (型)	職員の資質・能力 る。) 社会経済情勢の多 上を図る。 研修内容の満足度・ 研修実施後にアンク 平成15年度(実終 不明 研修内容の職場への	ウの向上(社会環境の変化や 変化や高度化・多様化する市 ・理解度 ケートをとり満足度、理解度 責) <mark>平成16年度(実績)</mark> 不明 つ活用度	で高度化・多様化する市民 可民のニーズに対応できる でを把握する (5 段階評別 で成 1 7年度 (実績) 不明	Rのニーズに的確に対応で 5職員を育成することによ Eで、4以上を目指す。) 平成18年度(目標) 4	きる職員を育成す り,市民サービスの向 <mark>平成19年度(目標)</mark> 4
アウ	き トカム	意 (対象を当 な 中 間 成果指標	型	職員の資質・能力 る。) 社会経済情勢の多 上を図る。 研修内容の満足度・ 研修実施後にアンク 平成15年度(実統 不明 研修内容の職場への 研修終了後(一定期	ウの向上(社会環境の変化や 変化や高度化・多様化する市 ・理解度 ケートをとり満足度,理解度 責) 平成16年度(実績) 不明 の活用度 明間経過後)管理者に当該码	で高度化・多様化する市民 可民のニーズに対応できる でを把握する (5 段階評別 で成 1 7年度 (実績) 不明	Rのニーズに的確に対応で 5職員を育成することによ Eで、4以上を目指す。) 平成18年度(目標) 4	きる職員を育成す り、市民サービスの向 <b>平成19年度(目標)</b> 4 り確認する。
アウ	き トカム	意 (対象を当 な 中 間 成果指標	型	職員の資質・能力 る。) 社会経済情勢の多 上を図る。 研修内容の満足度・ 研修実施後にアンク 平成15年度(実統 不明 研修内容の職場への 研修終了後(一定期	ウの向上(社会環境の変化や 変化や高度化・多様化する市 ・理解度 ケートをとり満足度、理解度 責) <mark>平成16年度(実績)</mark> 不明 つ活用度	で高度化・多様化する市民 可民のニーズに対応できる でを把握する (5 段階評別 で成 1 7年度 (実績) 不明	Rのニーズに的確に対応で 5職員を育成することによ Eで、4以上を目指す。) 平成18年度(目標) 4	きる職員を育成す り,市民サービスの向 <mark>平成19年度(目標)</mark> 4
アウ	き トカム	意 (対象を言 な 中 成果指標 最 終	型	職員の資質・能力 る。) 社会経済情勢の多 上を図る。 研修内容の満足度・ 研修実施後にアンク 平成15年度(実統 不明 研修内容の職場への 研修終了後(一定期	ウの向上(社会環境の変化や 変化や高度化・多様化する市 ・理解度 ケートをとり満足度,理解度 責) 平成16年度(実績) 不明 の活用度 明間経過後)管理者に当該码	で高度化・多様化する市民 可民のニーズに対応できる でを把握する (5 段階評定 で成 1 7年度 (実績) 不明	Rのニーズに的確に対応で 5職員を育成することによ Eで、4以上を目指す。) 平成18年度(目標) 4	きる職員を育成す り、市民サービスの向 <b>平成19年度(目標)</b> 4 り確認する。
アウ	き トカム	意 (対象を言 な 中 成果指標 最 終	図 的 名式度値名式度 値名式度	職員の資質・能力 る。) 社会経済情勢の多 上を図る。 研修内容の満足度・ 研修実施後にアンク 平成15年度(実終 不明 研修内容の職場への 研修終了後(一定其 平成15年度(実終	つの向上(社会環境の変化や 変化や高度化・多様化する市 ・理解度 アートをとり満足度、理解度 責) 平成16年度(実績) 不明 の活用度 別間経過後)管理者に当該の 責) 平成16年度(実績)	で高度化・多様化する市民 可民のニーズに対応できる でもれる。 でもれる。 でもれる。 でもれる。 では、15段階評別 では、17年度(実績) 不明 での習熟度・必要性のれる。 では、17年度(実績)	Rのニーズに的確に対応で 5職員を育成することによ Eで、4以上を目指す。) 平成18年度(目標) 4 「無をアンケート方式によ 平成18年度(目標)	きる職員を育成す り、市民サービスの向 平成19年度(目標) 4 り確認する。 平成19年度(目標)
アウリ指	き トカム	意 (対象を言 な 中 成果指標 最 終	を注語にして) 特別 を は で は で で で で で で で で で で で で で で で で	職員の資質・能力 る。) 社会経済情勢の多 上を図る。 研修内容の満足度・ 研修実施後にアンク 平成15年度(実終 不明 研修内容の職場への 研修終了後(一定其 平成15年度(実終	つの向上(社会環境の変化や 変化や高度化・多様化する市 ・理解度 アートをとり満足度、理解度 責) 平成16年度(実績) 不明 の活用度 別間経過後)管理者に当該の 責) 平成16年度(実績)	で高度化・多様化する市民 可民のニーズに対応できる でもれる。 でもれる。 でもれる。 でもれる。 では、15段階評別 では、17年度(実績) 不明 での習熟度・必要性のれる。 では、17年度(実績)	Rのニーズに的確に対応で 5職員を育成することによ Eで、4以上を目指す。) 平成18年度(目標) 4 「無をアンケート方式によ 平成18年度(目標)	きる職員を育成す り、市民サービスの向 平成19年度(目標) 4 り確認する。 平成19年度(目標)
アウリ指	き トカム標	意 (対象をき な 中 成果指標 最 果指標	を注語にして) 的 名式度値名式度値	職員の資質・能力 る。) 社会経済情勢の多 上を図る。 研修内容の満足度・ 研修実施後にアンク 平成15年度(実終 不明 研修内容の職場への 研修終了後(一定其 平成15年度(実終	つの向上(社会環境の変化や 変化や高度化・多様化する市 ・理解度 アートをとり満足度、理解度 責) 平成16年度(実績) 不明 の活用度 別間経過後)管理者に当該の 責) 平成16年度(実績)	で高度化・多様化する市民 可民のニーズに対応できる でもれる。 でもれる。 でもれる。 でもれる。 では、15段階評別 では、17年度(実績) 不明 での習熟度・必要性のれる。 では、17年度(実績)	Rのニーズに的確に対応で 5職員を育成することによ Eで、4以上を目指す。) 平成18年度(目標) 4 「無をアンケート方式によ 平成18年度(目標)	きる職員を育成す り、市民サービスの向 平成19年度(目標) 4 り確認する。 平成19年度(目標)
アガ	き ム標	意 (対象を主なな 中成果指標 終標 を	医	職員の資質・能力 る。) 社会経済情勢の多 上を図る。 研修内容の満足度・ 研修実施後にアンク 平成15年度(実終 不明 研修内容の職場への 研修終了後(一定其 平成15年度(実終	つの向上(社会環境の変化や 変化や高度化・多様化する市 ・理解度 アートをとり満足度、理解度 責) 平成16年度(実績) 不明 の活用度 別間経過後)管理者に当該の 責) 平成16年度(実績)	P高度化・多様化する市民 可民のニーズに対応できる でを把握する(5 段階評算 平成 1 7年度(実績) 不明 「作の習熟度・必要性のな 平成 1 7年度(実績) 不明	民のニーズに的確に対応で 5職員を育成することによ Eで、4以上を目指す。) 平成18年度(目標) 4 可無をアンケート方式によ 平成18年度(目標) 4	きる職員を育成す り、市民サービスの向 平成19年度(目標) 4 り確認する。 平成19年度(目標)
アガ	き ム標	意 (対象を主なな 中成果指標 終標 を	図() 的 名式度値名式度値 ど ト	職員の資質・能力 る。) 社会経済情勢の多 上を図る。 研修内容の満足度・ 研修実施後にアンク 平成15年度(実績 不明 研修内容の職場への 研修終了後(一定其 平成15年度(実績 不明	つの向上(社会環境の変化や 変化や高度化・多様化する市 ・理解度 アートをとり満足度、理解度 責) 平成16年度(実績) 不明 の活用度 別間経過後)管理者に当該の 責) 平成16年度(実績)	P高度化・多様化する市民 可民のニーズに対応できる でを把握する(5 段階評算 平成 1 7年度(実績) 不明 「作の習熟度・必要性のな 平成 1 7年度(実績) 不明	民のニーズに的確に対応で 5職員を育成することによ Eで、4以上を目指す。) 平成18年度(目標) 4 可無をアンケート方式によ 平成18年度(目標) 4	きる職員を育成す り、市民サービスの向  平成19年度(目標) 4 り確認する。  平成19年度(目標) 4
アウ指 芦 塩	き トカム標 <b>産 の</b>	意 (対象をきる) な 中成 最成 特 配 費	図() 的 名式度値名式度値 ど ト	職員の資質・能力 る。) 社会経済情勢の多 上を図る。 研修内容の満足度・研修実施後にアンク 平成15年度(実施 不明 研修内容の職場への 研修終了後(一定期 平成15年度(実統 不明	ウの向上(社会環境の変化や 変化や高度化・多様化する市 ・理解度 ケートをとり満足度、理解度 責) 平成16年度(実績) 不明 の活用度 明間経過後)管理者に当該码 責) 平成16年度(実績) 不明	P高度化・多様化する市民 可民のニーズに対応できる でを把握する(5 段階評算 平成 1 7年度(実績) 不明 「作の習熟度・必要性の不 平成 1 7年度(実績) 不明	民のニーズに的確に対応で 5職員を育成することによ Eで、4以上を目指す。) 平成18年度(目標) 4 1無をアンケート方式によ 平成18年度(目標) 4	きる職員を育成す り、市民サービスの向  平成19年度(目標) 4 り確認する。  平成19年度(目標) 4
アウ指 芦 塩	き な な な な な な な な な な な な な な な な な な な	<ul><li>意 (対象をきます)</li><li>す な 中成 最成 特 配 費 費</li></ul>	型 を を を を を を を を を を を を を	職員の資質・能力 る。) 社会経済情勢の多 上を図る。 研修内容の満足度・ 研修実施後にアンク 平成15年度(実施 不明 研修内容の職場への 研修終了後(一定其 平成15年度(実施 不明	ウの向上(社会環境の変化や 変化や高度化・多様化する市 ・理解度 ケートをとり満足度、理解度 責) 平成16年度(実績) 不明 の活用度 胡問経過後)管理者に当該码 責) 平成16年度(実績) 不明	P高度化・多様化する市民 可民のニーズに対応できる でを把握する(5段階評な 平成17年度(実績) 不明 「下修の習熟度・必要性の不 平成17年度(実績) 不明 「世帯当り(円) 235 平成17年度(決算) 「フェストラース では、「アートラース できる	民のニーズに的確に対応で 5職員を育成することによ Eで、4以上を目指す。) 平成18年度(目標) 4 1無をアンケート方式によ 平成18年度(目標) 4	きる職員を育成す り、市民サービスの向  平成19年度(目標) 4 り確認する。  平成19年度(目標) 4
アガ	き	<ul><li>意 (対象をきます)</li><li>す な 中成 最成 特 動配費費費</li></ul>	図()   図(	職員の資質・能力 る。) 社会経済情勢の多 上を図る。 研修内容の満足度・ 研修実施後にアンク 平成15年度(実施 不明 研修内容の職場への 研修終了後(一定其 平成15年度(実施 不明	で化や高度化・多様化する市 ・理解度 ケートをとり満足度、理解度 責) 平成16年度(実績) 不明 の活用度 別間経過後)管理者に当該码 責) 平成16年度(実績) 不明	P高度化・多様化する市民 可民のニーズに対応できる でを把握する(5段階評策 平成17年度(実績) 不明 下修の習熟度・必要性の不 平成17年度(実績) 不明	Rのニーズに的確に対応で 5職員を育成することによ Eで、4以上を目指す。) 平成18年度(目標) 4 事無をアンケート方式によ 平成18年度(目標) 4 住民1人当り(円) 103 平成18年度(予算)	きる職員を育成す り、市民サービスの向  平成19年度(目標) 4 り確認する。  平成19年度(目標) 4
ア指 芦 事	きなった。	<ul><li>意 (対象をきる)</li><li>中 成果 は りまり は から は で は いっぱい まままま は いっぱい まままま は から は いっぱい ままままま は いっぱい まままままままままままままままままままままままままままままままままま</li></ul>	型 を を を を を を を を を を を を を	職員の資質・能力 る。) 社会経済情勢の多 上を図る。 研修内容の満足度・ 研修実施後にアンク 平成15年度(実績 不明 研修約了後(一定其 平成15年度(実績 不明	で化や高度化・多様化する市 ・理解度 ケートをとり満足度、理解度 責) 平成16年度(実績) 不明 の活用度 別間経過後)管理者に当該码 責) 平成16年度(実績) 不明	P高度化・多様化する市民 可民のニーズに対応できる でを把握する(5段階評な 平成17年度(実績) 不明 「下修の習熟度・必要性の不 平成17年度(実績) 不明 「世帯当り(円) 235 平成17年度(決算) 「フェストラース では、「アートラース できる	Rのニーズに的確に対応で 5職員を育成することによ Eで、4以上を目指す。) 平成18年度(目標) 4 事無をアンケート方式によ 平成18年度(目標) 4 住民1人当り(円) 103 平成18年度(予算)	きる職員を育成す り、市民サービスの向  平成19年度(目標) 4 り確認する。  平成19年度(目標) 4
ア指 芦 事	きカケックを表しています。	<ul><li>意 (対象をます)</li><li>本 中成 最成 特 動 費費費費</li><li>費費費費費</li></ul>	図T) 的 名式度値名式度値 2 分( a	職員の資質・能力 る。) 社会経済情勢の多 上を図る。 研修内容の満足度・ 研修実施後にアンク 平成15年度(実統 不明 研修内容の職場への 研修終了後(一定其 平成15年度(実統 不明	ウの向上(社会環境の変化や 変化や高度化・多様化する市・理解度 ケートをとり満足度、理解度 責) 平成16年度(実績) 不明 の活用度 別間経過後)管理者に当該の 責) 平成16年度(実績) 不明	で高度化・多様化する市民 可民のニーズに対応できる で記しています。 で記しています。 で記しています。 で記しています。 で記しています。 で記しています。 で記しています。 で記しています。 で記しています。 では、17年度(実績) 不明	Rのニーズに的確に対応で 5職員を育成することによ Eで、4以上を目指す。) 平成18年度(目標) 4 事無をアンケート方式によ 平成18年度(目標) 4 住民1人当り(円) 103 平成18年度(予算)	きる職員を育成す り、市民サービスの向  平成19年度(目標) 4 り確認する。  平成19年度(目標) 4
ア指 芦 事	きカケックを変えています。	<ul><li>意 (対象をます)</li><li>本 中成 最成 特 動 費費費費</li><li>費費費費費</li></ul>	図(T) 目 指考年指指考年指表 年指表 年	職員の資質・能力 る。) 社会経済情勢の多 上を図る。 研修内容の満足度・ 研修実施後にアンク 平成15年度(実績 不明 研修約了後(一定其 平成15年度(実績 不明	ウの向上(社会環境の変化や 変化や高度化・多様化する市・理解度 ケートをとり満足度、理解度 責) 平成16年度(実績) 不明 の活用度 別間経過後)管理者に当該の 責) 平成16年度(実績) 不明	P高度化・多様化する市民 可民のニーズに対応できる でを把握する(5段階評な 平成17年度(実績) 不明 「下修の習熟度・必要性の不 平成17年度(実績) 不明 「世帯当り(円) 235 平成17年度(決算) 「フェストラース では、アンファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン	Rのニーズに的確に対応で 5職員を育成することによ Eで、4以上を目指す。) 平成18年度(目標) 4 事無をアンケート方式によ 平成18年度(目標) 4 住民1人当り(円) 103 平成18年度(予算)	きる職員を育成す り、市民サービスの向  平成19年度(目標) 4 り確認する。  平成19年度(目標) 4
ア指	き カ が を 大 大 大 事 他 減 <b>合</b> 国	<ul><li>意 (対象をます)</li><li>本 中成 最成 特 動 費費費費</li><li>費費費費費</li><li>費費費費費</li><li>費費費費費</li></ul>	型 を を を を を を を を を を を を を	職員の資質・能力 る。) 社会経済情勢の多 上を図る。 研修内容の満足度・ 研修実施後にアンク 平成15年度(実統 不明 研修内容の職場への 研修終了後(一定其 平成15年度(実統 不明	ウの向上(社会環境の変化や 変化や高度化・多様化する市・理解度 ケートをとり満足度、理解度 責) 平成16年度(実績) 不明 の活用度 別間経過後)管理者に当該の 責) 平成16年度(実績) 不明	で高度化・多様化する市民 可民のニーズに対応できる で記しています。 で記しています。 で記しています。 で記しています。 で記しています。 で記しています。 で記しています。 で記しています。 で記しています。 では、17年度(実績) 不明	Rのニーズに的確に対応で 5職員を育成することによ Eで、4以上を目指す。) 平成18年度(目標) 4 事無をアンケート方式によ 平成18年度(目標) 4 住民1人当り(円) 103 平成18年度(予算)	きる職員を育成す り、市民サービスの向  平成19年度(目標) 4 り確認する。  平成19年度(目標) 4
ア指 芦 3 事 内 ( 財 )	きたりを選挙を表すのでは、一句では、一句では、一句では、一句では、一句では、一句では、一句では、一句	<ul><li>意 (対 な 中成 最成 特 動 作業 門債 ・債</li></ul>	図(T) 目 指考年 指指考年 標標方・標標点 方・標標点 方・標標点 が、構成の 61.1% 38.9%	職員の資質・能力 る。) 社会経済情勢の多 上を図る。 研修内容の満足度・ 研修実施後にアンク 平成15年度(実施 不明 研修終了後(一定其 平成15年度(実施 不明	ウの向上(社会環境の変化や 変化や高度化・多様化する市 ・理解度 ケートをとり満足度,理解度 責) 平成16年度(実績) 不明 の活用度 明間経過後)管理者に当該の 責) 平成16年度(実績) 不明	で高度化・多様化する市民 可民のニーズに対応できる で記載度・必要性の不明 「世帯当り(円) 235 平成17年度(実績) 不明 1世帯当り(円) 235 平成17年度(決算) 5,711 3,640	Rのニーズに的確に対応で 5職員を育成することによ Eで、4以上を目指す。) 平成18年度(目標) 4 事無をアンケート方式によ 平成18年度(目標) 4 住民1人当り(円) 103 平成18年度(予算)	きる職員を育成す り、市民サービスの向  平成19年度(目標) 4 り確認する。  平成19年度(目標) 4
ア指	き カ 女 で 大 事 は は う は う は う は う は う し う し う し う し う し	<ul><li>意 (対 な 中成 最成 特 動 費費費費費件</li><li>一 債の</li></ul>	型 を を を を を を を を を を を を を	職員の資質・能力 る。) 社会経済情勢の多 上を図る。 研修内容の満足度・ 可修実施後にアンク 平成15年度(実施 不明 研修終了後(一定其 平成15年度(実施 不明	で化や高度化・多様化する市・理解度 アートをとり満足度、理解度 カートをとり満足度、理解度 カートをとり満足度、理解度 カートをとり満足度、理解度 カートをとり満足度、理解度 カートをとり満足度、理解度 カートをとり満足度、理解度 カートをとり満足度、実績) 不明 カートをとり満足度、理解度 大・理解度 カートをとり満足度、実績) 不明 カートをとり満足度、実績) 不明 カートをとり満足度、実績) 不明 カートをとり満足度、理解度 カートをとり満足度、実績) スート・スートをとり満足度、現解はある。 カート・スートをとり満足度、現解はある。 カート・スートをとり満足度、現解はある。 カート・スートをとり満足度、現解はある。 カート・スートをとり満足度、現解はある。 カート・スートをとり満足度、現解はある。 カート・スートをとり満足度、現解はある。 カート・スートをとり満足度、現解はある。カート・スートをとり満足度、現解はある。 カート・スートをとり満足度、現解はある。カート・スートをとり満足度、現解はある。カート・スートをとり満足度、現解はある。カート・スートをとり満足度、現解はある。カート・スートをとり満足度、現解はある。カート・スートをとり満足度、現解はある。カート・スートをとり、表ートをとり、まり、表ートをとり、表ートをとり、表ートをとり、表ートをとり、表ートをとり、表ートをとり、表ートをとり、表ートをとり、表ートをとり、表ートをとり、表ートをとり、表ートをとり、表ートをとり、表ートをとり、表ートをとり、表ートをとり、表ートをとり、まり、表ート	で高度化・多様化する市民 可民のニーズに対応できる で記載している。 で記載している。 で記載している。 では17年度(実績) 不明 「世帯当り(円) 235 平成17年度(決算) 5,711 3,640 9,351	Rのニーズに的確に対応で  S職員を育成することによ  Eで、4以上を目指す。)  平成18年度(目標)  4  「無をアンケート方式によ  平成18年度(目標)  4  住民1人当り(円)  103  平成18年度(予算)  - 6,066	きる職員を育成す り、市民サービスの向  平成19年度(目標) 4 り確認する。  平成19年度(目標) 4
ア指 芦 事 内(財)	き カ 本 大 本 大 本 大 ま 大 ま 大 ま も は は は は は は は は は は は は は	<ul><li>意 (対 な 中成 最成 特 動 任業 7 億 の 財 条標 セ 配費費費費 費 1 県 等 他 源</li></ul>	図 主語にして) 目 約 名式度値 名式度値名式度値 名式度値名式度値 3 8.9% 100.0% 4.6% 95.4%	職員の資質・能力 る。) 社会経済情勢の多 上を図る。 研修内容の満足度・ 可修実施後にアンク 平成15年度(実施 不明 研修約了後(一定其 平成15年度(実施 不明 ・ 不明 ・ 15年度(実施 ・ 15年度(実施 ・ 15年度(決施 ・ 13,6	で化や高度化・多様化する市・理解度 アートをとり満足度、理解度 東京の方に用度 明問経過後)管理者に当該の責) 平成16年度(実績) 不明 の活用度 明問経過後)管理者に当該の責) 平成16年度(実績) 不明 第) 平成16年度(実績) 不明 第) 1000 8,455 084 4,833	で高度化・多様化する市民 可民のニーズに対応できる で記載している。 で記載している。 で記載している。 で記載している。 で記載している。 では、17年度(実績) 不明 1世帯当り(円) 235 平成 17年度(決算) 5,711 3,640 9,351 431 8,920	Rのニーズに的確に対応で  S職員を育成することによ  Eで、4以上を目指す。)  平成18年度(目標)  4  「無をアンケート方式によ  平成18年度(目標)  4  住民1人当り(円) 103  平成18年度(予算)	きる職員を育成す り、市民サービスの向  平成19年度(目標) 4 り確認する。  平成19年度(目標) 4
ア指 芦 3事 内(財) 活円 湯円	き カ 本 大 素 大 事他減 <b>合</b> 国市そ <b>一</b> 職 の 費業 、 第) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	意     対象       本     中成     最成       長     動     経却       長     動     経却       長     動     長       日     で       の     財       の     対       の     対     <	図 主語にして) 目 お 標 方 · 成 を 年 指 標 標 点 方 · 様 点 表 標 標 点 方 · 様 点 点 標 値 名 式 度 値 名 式 度 値 名 式 度 値 名 式 度 値 名 式 度 値 名 式 度 値 と か に は か に は か に か に か に か に か に か に か に	職員の資質・能力 る。) 社会経済情勢の多 上を図る。 研修内容の満足度・ 可修実施後にアンク 平成15年度(実施 不明 研修約了後(一定其 平成15年度(実施 不明 ・ 不明 ・ 15年度(実施 ・ 15年度(実施 ・ 15年度(決施 ・ 13,6	で化や高度化・多様化する市・理解度 アートをとり満足度、理解度 カートをとり満足度、理解度 カートをとり満足度、理解度 カートをとり満足度、理解度 カートをとり満足度、理解度 カートをとり満足度、理解度 カートをとり満足度、理解度 カートをとり満足度、実績) 不明 カートをとり満足度、理解度 大・理解度 カートをとり満足度、実績) 不明 カートをとり満足度、実績) 不明 カートをとり満足度、実績) 不明 カートをとり満足度、理解度 カートをとり満足度、実績) スート・スートをとり満足度、現解はある。 カート・スートをとり満足度、現解はある。 カート・スートをとり満足度、現解はある。 カート・スートをとり満足度、現解はある。 カート・スートをとり満足度、現解はある。 カート・スートをとり満足度、現解はある。 カート・スートをとり満足度、現解はある。 カート・スートをとり満足度、現解はある。カート・スートをとり満足度、現解はある。 カート・スートをとり満足度、現解はある。カート・スートをとり満足度、現解はある。カート・スートをとり満足度、現解はある。カート・スートをとり満足度、現解はある。カート・スートをとり満足度、現解はある。カート・スートをとり満足度、現解はある。カート・スートをとり、表ートをとり、まり、表ートをとり、表ートをとり、表ートをとり、表ートをとり、表ートをとり、表ートをとり、表ートをとり、表ートをとり、表ートをとり、表ートをとり、表ートをとり、表ートをとり、表ートをとり、表ートをとり、表ートをとり、表ートをとり、表ートをとり、まり、表ート	で高度化・多様化する市民 可民のニーズに対応できる で記載している。 で記載している。 で記載している。 では17年度(実績) 不明 「世帯当り(円) 235 平成17年度(決算) 5,711 3,640 9,351	Rのニーズに的確に対応で  S職員を育成することによ  Eで、4以上を目指す。)  平成18年度(目標)  4  「無をアンケート方式によ  平成18年度(目標)  4  住民1人当り(円) 103  平成18年度(予算)	きる職員を育成す り、市民サービスの向  平成19年度(目標) 4 り確認する。  平成19年度(目標) 4
ア指 芦 3 事 内( 財( 活配) 対( 活配) 対( ) 対(	き カ 本 大 素 大 事他減 <b>合</b> 国市そ <b>一</b> 職 の 費業 、 第) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<ul><li>意 (対 な 中成 最成 特 動 任業 7 億 の 財 条標 セ 配費費費費 費 1 県 等 他 源</li></ul>	図図 注語にして) 目 的 名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値	職員の資質・能力 る。) 社会経済情勢の多 上を図る。 研修内容の満足度・ 可修と実施後にアング 平成15年度(実施 不明 研修終了後(一定其 平成15年度(実施 不明 13,6	で化や高度化・多様化する市・理解度 アートをとり満足度、理解度 東京の方に用度 明問経過後)管理者に当該の責) 平成16年度(実績) 不明 の活用度 明問経過後)管理者に当該の責) 平成16年度(実績) 不明 第) 平成16年度(実績) 不明 第) 1000 8,455 084 4,833	で高度化・多様化する市民 可民のニーズに対応できる で記載している。 で記載している。 で記載している。 で記載している。 で記載している。 では、17年度(実績) 不明 1世帯当り(円) 235 平成 17年度(決算) 5,711 3,640 9,351 431 8,920	Rのニーズに的確に対応で  S職員を育成することによ  Eで、4以上を目指す。)  平成18年度(目標)  4  「無をアンケート方式によ  平成18年度(目標)  4  住民1人当り(円) 103  平成18年度(予算)	きる職員を育成す り、市民サービスの向  平成19年度(目標) 4 り確認する。  平成19年度(目標) 4

	西(チェック)												
評		視点				評	価チェッ	クリスト				1次評価	2次評価
-4	対象カバー			バー率は高い		☑ 他団(			□ 他団体より				
有	受益者(1~	1)		図と受益者は					が不整合 ,または受益か		定		
効	成果の実績	(2 ~ 1)							績値または目標値が未記			2	0
	7-707   1 - 1 - 2 - 2 - 1 - 1					ていると言える		□実	績値から成果があがって	いると言え	ない		0
性	- 成果向上余	陰地(1~ 1)		がっていない	場合					· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
4点	7707141 3 == 73	, 5(,	□ 成果向								特になし		
				きる団体があ		団体名		1.18回/延			١		
	活動配分(1	~ 1)	1	の数字を把抗				.14回/延/					
	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	,		也団体より少な		☑ 他団	体と同程	度	□ 他団体より	311			
効				は少ない場合									
				きる団体があ		団体名	, i	事業費50千円/3			1		
	単位コスト(	1 ~ 1)		の数字を把掛				業費3.6千円/3 中			,		
率				b団体よりコス					☑ 他団体より			2	-1
				は低い場合の					研修事業費の執行残が多	シかつにに	<i>y</i> ).		-
						小郭団体へ委託 ざはこれている				∾ ナ ☆7 八 よく	×+ 7		
	手段(1~	3)				づけられている こできない業務っ			人,家庭,地域等が担う				
性 4点			•			さどさない業務で できない業務で			間(企業 , NPO等)で対応 託 , 臨時職員等で対応す		٥		
4 从				<sup>価吋職員寺 (</sup>  減の取り組∂			ගව		正, 鯔母戦員寺で対心□ に行っていない	一部にある			
	コスト削減耳	双組(1~ 1)					派遣研修		にもいるい と委託料を節減している。				
				<u> </u>		כ כופיוואניו נוני	//C/20119	)[C 9] ) [D 7]	COUNT CHIMAG CVIO				
平成1	6年度の  改善の	評価内容	評価結果		A 平	成17年度に実施	<mark>5</mark> 🗆 관	ぬ善し,効果	見を得た				
(評価が	がない場合は	だ記載不要)			В 6	と改善の方向性	<u> </u>	ぬ善したが,	効果がない ☑	改善しな			
			TIT left an	Attende von	Arriote as An	n.#⊟	-	الما الما	た研修後のアンケートを	かった	総合	Α	D
平成	1 8 🕏	年 度 に		満足度,理	解度の孔	2]]			- /	: 冉開し,	評価	$\boldsymbol{\wedge}$	
実施	する改	善内容	課題				内容	向足及, <b>连</b>	解度を把握する。				
(	必	須 )					F 3 1						
5 今後	後の対応(ア	フクミノコンハ											
J / I:	&^/\/\!\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	,,,,,	1 研修実施	布回数及びそ	分議者数	が減少している	5						
現在意	認識してし	いる課題				ズを的確に把握		いるかが不	<b>下明である</b>				
									0~30人)で階層別類	集合研修が	できにく	くなっ	ている
市民,関	関係者 市民,関	関係者の名称	1							-	-		
からの	意見	要望内容	,								-		
要 望	等思見,	女主门台											
		対応内容	庁内LANや庁	*議を活用し	実施で	ト る研修を職員	に周知し	. 参加者	の人数を増やす。				
	(1)						. ,	, ,					
	E +8 //	実施期限	平成 18	年	5 月								
課題·要		対応内容	研修後のア:	ンケートや管	管理職か	らの研修効果を	を把握す	る為,アン	/ケートを実施し研修ニ	ーズを把	握する。		
へ の s	(2)	実施期限	亚出 10	年	5 月								
/ (0)	אין ניא	夫肥期限	平成 18	+	5 月								
	(3)	対応内容	庁内で適正な	な人数(20	$0 \sim 30$	人)で階層別類	<b>集合研修</b>	ができない	>場合には,派遣研修に	切り替え	る。		
	( )	実施期限	平成	年	月								
			<u> </u>			より研修を受討	構しやす	いようにす	-る。				
その他	考えられる	<u>გ</u>	(具体的に)	は、法務研修	多と情報	セキュリティの	肝修を検	討中。)					
改善(	のアイデニ	ア											
					-					今後の			
									員研修計画を作成し実施				0
										現状			0
				価制度と連携	<b>勢する研修</b>	修制度の確立を目	指す。	(目標管理制	度の活用,人事考課制度				•
平成1	9~21年度	きの方向性	との連携)							民間委			0
										縮	小		0
										統合/終		_	0
										廃 止 /	休 止	U	0
			古広 // ・ ) ~ ・			7 [ ++ 1 4	z 7/r 1.	720 .	++************************************	シノサコニニ		1-16-1	y mali.
2 次 評	平価 委員会	ミコメント	局度化する行 員の音成を行	丁政課題に対 行ってくだる	可心でき さい.	る人材育成は急	は務であ	るため,人	、材育成基本方針に基づ	八 基本計	囲を早急	に作成	し,職
			24.2 13 MAG 1		- ' 0								

( [	力 部 章	事務)	事業	<u> </u>	5230	590			部長次	長課長
		,					-1 11/25 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -			K IM K
平	成17	年度	事	業名	3 工事	及び工事に係る設	計業務委託等の入札契約	事務		
					1					
1	事	業概望	要(ドゥ)							
第	3 次产	屋市	まちづく	りの目標	5	市民と協働してつ	くる自立した行政基盤で	づくり	所 管 課 総務部	
総	合:	計画		中	2	効率的な市役所シ	ステムの確立		型 契約課	
政	策	施策		小	3	事務事業の効率化			<mark>所管課長氏名</mark> 好村	元茂
体		系		細					記入者氏名好村	
事		業	期		継続		経常臨時		<b>電話番号</b> 0797-3	8-2012 内線 2241
根							<u></u>		実施主体市	_
実		施	手	,-	<u> </u>		一部委託	全部委託		負担金
委			託	7		外郭団体委託	名称 (大) 大力 (大) (大)		委託 <mark>委託内容</mark>	white for tall and to the
_		NIK.	_	.m. ==		設工事における人	札契約制度の適止化(人	.札・契約事務, 談合対象	帝の推進,透明性の確保,	競争性の同上)
事		業	の	概 要	Ē					
					7-h		て付佐の北美工英町川の	7610		
					建	設工事の人札実約	手続等の改善と透明性の	/唯1未		
_		र्गार	•	TE 1-	L					
事		業	の	現	\					
		FI 655	実現のため	<b>5</b> 0						
			えび実施内 とび実施内							
		J TX		<b>J</b> [						
H				指標 名	<b>5</b> 芦	屋市入札監視委員会	会の開催			
ァ	クテ	ィブ			1		平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
指		標	活動指標	指標値	_	2回	2回	3回	4回	4回
				単位コス		58千円	58千円	87千円	156千円	172千円
				指標名		視委員会審議結果	L 及びその他要因による入	 札制度改善	l .	L
ァ	ウト:	プット	/+ m +b +m	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
指		標	結果指標	指標値	1	69件	72件	64件	69件	66件
				単位コス	,	765, 130	631, 791	585, 531	651, 376	685, 651
2	事	業成績	果(アウ)	トカム)						
			対	多	贈	員及び取引業者				
_	NIK -						/ // "		lu	
				バー薬	図 対 🧯	<b>象数 (a)</b> 2	,255人 <mark>受益数</mark>	<mark>牧 (b)</mark> 90,000人	比率 (b ÷ a) (	<mark>%</mark> 39. 9
ΧJ	冢 '	意 図		To.	n mul	P - + 1 1	고도크비地쓰고산으리스	: 4 = 1 = 1 = 1 = 1 = 1 = 1 = 1 = 1 = 1 =		4 ~ ***** /P }
			意が免まる	と しょうしょう	職	貝に対しては、適。	止な人札契約手続の励行	を啓発し、事業者に対し	しては,入札契約適正化泊	去の遵守を促す。
_			(対象を)	主語にして)						
大		き	な		適	正な入札・契約の	は 行			
		-	'Φ	п "	J JUL	正な八十 天前の	2411			
-				指標 名	2 指	名競争入札におけ	る指名業者数の増員			
			中間	考え方・ヹ			名業者数の平均値を取る			
			成果指標		<u> </u>		平成16年度(実績)		平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
ァ	ウト	カム	7-20714314120	指標値		7. 3	7.3	7.3	8.5	8.5
指		標		指標名	落	札率(予定価格に	対する落札価格の割合	単位;%)	•	•
			最 終	考え方・ヹ		名業者数を増やす	ことにより競争性を高め	, 落札率を低下させる。		
			成果指標	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
				指標値	Ī	89. 76%	90.11%	91.11%	90.00%	88.00%
								,競争性を働かすことだ		
芦	屋	の	特包	きなと			見される案件の存在を指摘	されており、入札監視委員	会の機能を活用し、より一	層競争性を高め、透明性の
Ļ		UZ =#-	\d =	/\ /==:		に努める。		l	l., =	I n
				分(コスト	1					2 平成18.4.1 住民基本台帳
事		業	費		_		平成16年度(決算)		平成18年度(予算)	
		ᇫ	件 費		1	51,565	45,038	35,232	0.71	-
	÷n	事	業費			1,229	451	2,242	9,713	
内			門経費			0	0	0		
( -	- HJ )	合	計		_	52,794	45,489	37,474		-
						<b>52,794</b>	45,469	37,474		
財	酒	市	債 等	1	_	0	0	0		
	<i>师</i> 千円)		の他		_	0	0	0		
(			<b>投財源</b>		_	52,794	45,489	37,474		-
活	重力	職	<del>以                                    </del>		+	5.50	5.50	4.00		-
配配			·臨時等		_	0.43	0.00	1.00		-
	人 )		計			5.93	5.50	5.00		-

4 評(	西(チェック)												
評	価 視	点						ックリスト				1次評価	2次評価
_	対象カバー率	, ,		「一率は高い		☑ 他団体			他団体よりた				
有	受益者(1~	1)		図と受益者は整理を表				意図と受益者が不整合 ,ま			疋		
効	成果の実績(2	2 ~ 1)		₹拍標の美績↑ 責値から成果が				ている □ 実績値または目 ☑ 実績値から成果			<i>t</i> c. )	2	2
性				っていない場合		лосдио		二 天順配が 51%不	13 09 13 0 C	и веди	7 <b>5.</b> V 1		
4点	- 成果向上余均	也(1~ 1)	☑ 成果向_	上策あり	入札制	度の改善				☐ <i>1</i>	持になし		
				きる団体がある			i	······································	比較できる[		١		
	活動配分(1~	- 1)		の数字を把握し		活動配分		i	把握してい				
効	,	•		団体より少ない ま少ない場合の		☑ 他団(	本と同	栏度	他団体よりま	<b>5</b> (1			
~3				る団体がある	ク生田		阪神	6市	比較できる[	用体はない	١		
	単位コフト/4	. 1)		の数字を把握し	ている	単位コスト			把握してい				
率	単位コスト(1·	~ 1)	▶ □ 他	団体よりコストな	が低い	☑ 他団(	本と同	程度	他団体より	コストが高い	١	1	0
_				は低い場合の野				- NV = 6				•	U
				, .			してい	る業務について	ポケチがせる	ぐキ☆ワノへが	· = z		
性	手段(1~ 3)	)		員による執行か 業 , NPO等)で			ある	<ul><li>□ 個人,家庭,地</li><li>□ 民間(企業,NPC</li></ul>					
4点								☑ 嘱託,臨時職員	*		,		
4点       「嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である」」「嘱託」         コスト削減取組(1~1)       コスト削減の取り組みを行っている」 特に									l 1				
	コク「円」//火井ス	邢田(1111)	▶ 内容	正規職員の	削減。業務	务の委託(派)	遣職員	1).					
平成 1	16 年度の評	価 内 容		□ A	<b>₩</b> 50 4.7	7年度に実施		改善し,効果を得た					
及び	改善の がない場合は記	方 向 性 記載不要)	評価結果	□в		善の方向性		改善したが,効果がない	V	改善しな			
( пт іші /		10年27、安)						以音のにが、効果がない		かった	総合	Α	В
平 成	1 8 年	度に	7. +1.4	制度の改善・	ht- 4-		7. <del>**</del>	電フォサの道す			評価		В
実施	する改善	善内容	課題	別及の以音・:	弘人		改善内容	電子入札の導入					
(	必	)											
5 今征	後の対応(アク	クション)								ų.			•
				改善し、より	)競争性の	つ高い公正な	入札	執行により,入札率の低	咸を図る。				
現 在 詩	認識してい	る課題											
市民.関	関係者 市民,関係	系者の名称	市民										
からの	音目		方波打 索し	: なっているフ	人札案件に	こついては、	公正		テわれたか	, 全く疑	念を抱か	ないわり	けでは
要望	等思見,	要望内容	ない。										
		対応内容	指名競争入	、札における,	指名業者	子数の増員。							
	(1)	<b>⇔</b> ₩.₩.78											
課題·要		実施期限	I.	1	7 月								
WALL S	(2)	対応内容	電子入札の	実施。									
へのす	対 応	実施期限	平成 23	年 :	3 月								
		対応内容											
	(3)	実施期限	<b>亚</b> -	年	月								
		天爬朔സ	半成 指名競争入		Л								
その他	考えられる			競争入札の原	を止又は応	ぶ募条件の緩	和						
改善(	のアイデア		一般競争入	、札の応募条件	‡の廃止又	スは条件の緩	和						
										今後の			
			電フォナの道	『入と完全実施	fe-					拡大・ 現状			0
			电丁八化切得	・八C元王夫师	<u>11</u> 0					方法			<u>○</u>
平成1	9~21年度	の方向性								民間委			0
										縮	小	0	0
										統合/終			0
										廃 止 /	休 止	0	0
								. —					
2 次 評	<b>州 価 委 員 会</b>	コメント	他都市のベス	トプラクティ	ィスになら	らうなど, さ	らに:	公平性や競争性を増すた	めの施策を	実施して	ください	٥,	

(内部	事務)	事業	□ <b>-</b> ド	1210	010			部	長次		長課		長
, , , , , , ,								ПР	K/X		IX IIX		X
平成17	/ 牛皮	事	業名	地域	防災計画及び水防部	T凹に関する事務							
4	MIZ 107 -	<b>IF</b> ( 1 % )											
		要(ドゥ)	1000		江与なこれ 7 曲 1	わ井洋理棒ベノロ			¢∧.∀	欠立17			
第3次产総合			りの目標 中	2	活気あふれる豊か安全と防災の確保			所		务部 災対策記	果		
政策			<u>ㅜ</u> 小		防災計画の整備			所	管課長氏名桝目		•		
体	心系		<u>グ、                                    </u>		いくいく日、日マン正州				入者氏名桝				
事	業	期				経常臨時	☑ 経常 □ 臨時	電	話 番号 079			<mark>内線</mark> 44	11
根 拠	法	令 · 5	要 綱 等		対策基本法・水防治			実	施主体市				
実	施	手		V		□ 一部委託	全部委託				負担金	•	
委		託	先		外郭団体委託	名称	日民	間委詞	託 <mark>委託内容</mark>			_	
击	र्गार	•	197	1(h 1-4>)	P士((( きしゅご T. ッドコ・P+=	は面の核式 調木 四層							
事	業	の	概 要	地域	奶夾計	計画の修正,調査・研究	0						
				• 社:	会情勢にもとづいた	た計画修正の実施。							
事	業	の	現 状		の防災関係機関との	-1111 112 - 2 11120							
			,										
	目的	実現のため	ത										
	手段》	及び実施内	容										
			TF T# (	D+- ///	Λ <del>**</del> Δ ¬ σ σ σ σ σ σ σ σ σ σ σ σ σ σ σ σ σ σ	<b>《 人 米 ヵ 印 / 山</b>							
アクテ	- - ィブ				会議幹事会及び防災 15年度(実績)	炎会議の開催。 <mark>平成16年度(実績)</mark>	平成17年度(実績)	) त	Z成18年度(目	煙ノ	平成19年	F度/日t	画)
指	・ィノ 標	活動指標	年 度指標値	十八人	2回	<u> </u>	<u> </u>	, +	<u> </u>	示丿		<del>下及(日1</del> 2回	ホノ
311	125		単位コスト		44千円/回	44千円/回	38千円/回		3 4 千円/回				
						及び防災会議委員(2				l.			
アウト	プット	<b>绀田+⊌+</b> ≖	年 度		15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	) <del> </del> <del> </del> <del> </del> <del> </del>	P成18年度(目)	標)	平成19年	丰度(目村	票)
指	標	結果指標	指標値		57人	57人	57人		57人		5	7人	
			単位コスト		2千円/人	2千円/人	2千円/人		2千円/人				
2 事	業成	果(アウ)	`カム)										
		対	象	市民									
事業の	目的	対象力	バー率	対象	<b>象数 (a)</b> 90.	885人 <mark>受益数</mark>	<mark>女 (b)</mark> 90,885	5 人	比 率 (b ÷ a	a) %	1 (	00%	
対象・			-		(-)	<u> </u>			' (~ ' '	,		,~	
		意	図	地域	防災計画及び水防	計画の修正、調査・研究							
		(対象を主	E語にして)										
	4	4.		4	- # A - Bl-1: 5 :	or 3)							
大	き	な	目 的	市民	の生命・財産を守る	<b>るため。</b>							
			<b>华 毎 夕</b>	批批	防災計画及び水防	計画の改訂							
		中 間			の炎計画及い水の ごとの改定内容	미티스IVI							
		成果指標				平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	) 耳	Z成18年度(目)	標)	平成19年	<b>丰度(目</b> 木	票)
アウト	カム		指標値			東南海・南海地震対策	水防法の改正		て規模事故・水防		大規模事		
指	標		指標名										
			考え方・式										
		成果指標			15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	) <del>1</del>	P成18年度(目)	標)	平成19年	丰度(目标	票)
			指標値										
芦屋		特色	きなど	十担	コンドナート竺。	が無く,山と海を持つコ	ンパクトか行動単位で	ぶなス					
广	. ()	1寸 ≝	- /4 C	上場:	,コンヒノート寺/	ボヽ, μ C (毋を付⁻)ユ	マハン 下は11以早世(	(C) (W)	0				
3 事	業費・	活動配	分(コスト	)			1世帯当り(円) 83	3 住臣	民1人当り(円)	36	平成18.4.1	住民基本	台帳
事	業	費		平成	15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(決算)	_	P成 1 8 年度 ( 予				
	人	件 費			2,027	2,103	3,216	6		-			
	事	業費	2.3%		88	88	75	5		68			
		門経費								-			
(千円)		貸却費	400.00		0.445	0.404	0.004			-			
	<b>合</b>	計			2,115	2,191	3,291	-		-			
財源		· 県 債 等						+					
(千円)		の他						+		-			
(113)		設財源			2,115	2,191	3,291	1		-			
活動	肋職	<del></del>	75.0%		0.20	0.20	0.30	_		-			
配分	嘱託	;·臨時等			0.10	0.10	0.10	)		-			
(人)	合	計	100.0%		0.30	0.30	0.40	)		-			

	曲(チェック)		1						<del></del>									
評	価 初			15 1 10						ックリスト	<b>-</b>				1 11		1次評価	2次評価
<del>/</del>	対象カバー図				一率は高		<u> </u>	□ 他団体			134 +		他団体よ					
有	受益者(1~	1)					合している				益者が不				に限え	Ē		
効	成果の実績	(2 ~ 1)						目標値を	没定し							4	4	4
lui.							かってい	ると言える			] 実績値	から成果	かあかっ	ているの	:言え	ない	•	· ·
性	- 成果向上余	地(1~ 1)			ていない	∖場台	······									<b></b>		
4点				成果向上			<u> </u>		///	<del></del>						寺になし		
					る団体が				i	自治体		*******	比較でき		はない			
	活動配分(1	~ 1)	1 1		数字を把		こいる	活動配分				*******	把握して					
*+	,	,			はより少			□ 他団	本と同れ	怪伎			他団体よ	り多い				
効					:少ない場		理由			<del>- \</del> \. \-		. —						
					る団体が				i	自治体			比較でき		はない			
	単位コスト(1	~ 1)	1 1		数字を把			単位コス					把握して		₩=.			
率					日体よりコ			□ 他団	本と同れ	<b></b>		Ш,	他団体よ	リコスト	か高い	1	-1	-1
					低い場合			ロナムチゴ	1 711	7 <del>14 2</del> 6 1-	-0117						-	-
								体へ委託	U C 6 14	_	_		- <del>*</del> ^^ +\^	: ~ + ±	ワノヽエヾ	+ 7		
344	手段(1~ 3	3)						れている ない業務で	3 <del>1.</del> 7		] 個人,							
性 4点						- /		ない業務で こい業務でる			] 民間(í ] 嘱託 .[					)		
4 <del></del>							テっている		୬ଚ		」 嘱託 , E ] 特に行			ᆘ	. <i>හ</i> ව		_	
	コスト削減取	7組(1~ 1)	1 1					) 計画書の加	全式は		」 <del>1寸</del> 1C1 J	J CINA	V 1					
				P3 E4					IBW T 012	W/130								
平成1	6年度の記改善 あ	平価内容	±π/#	話果		Α	平成17年	年度に実施		改善し,	効果を得	また						
(評価が	がない場合は	記載不要)	— 高 <del>↑</del> 1Ⅲ	加未		В	した改善	の方向性	П	改善した	とが,効果	!がない			しな			
( 11 11 12		10 + 1 / 2 /							_	-хд - п	-10 / 1001	1,5 0.1		かっ	た	総合	В	В
平 成	1 8 年	■ 度 に					- 477 Htt Val	15.6		L			7. 6.			評価	Ь	D
実施	する。改一	善内容	課題	5 8 0 ∼	ーシの言	十曲書	の経費削	减。	改善内容	加除式(	による計	画書の酢	出布。					
(	必	頁 )							內台									
Γ <b>Δ</b> /4	<u></u>	h2>.)																
J 71	友(リスリルい(ア	<u> クンョン)</u>																
租在意	認識してし	しる 課 題	防災関	1な機関	<b>課長級</b>	501 Fz	への配布	及び予備で	450	) 部作成	<b>注している</b>	くが 雷-	<b>エデー</b> タ	配布の	給計			
276 111 11		1 60 p/n Acc	197 9C 150	11/11/20/2019	WK JC/BX		-42 HC 1113	XO 1 Mm C	. 400	7 1111117		лл·, щ.	, , ,	DC.111.42	12/11/10			
市民, 関	係者 市民,関	係者の名称																
からの	音目																	
要望	等意見,	要望内容																
		対応内容	雪ユデ	ニータに	トス配在	;												
	(1)	XI/UPIA	电丁ノ	- 7 (C a	その問題	10												
		実施期限	平成	18	年	9	月											
課題·要		対応内容																
	(2)	אניוטיוני					_											
へのす	対応	実施期限	平成		年		月											
		対応内容																
	(3)				1.		1_											
		実施期限	半成		年		月											
フ. の /h	きえられる																	
	3 ちんりれる カ ア イ デ ァ																	
K = V				=										今~	<b>糸の</b> -	方向性	1次評価	2次評価
																充実		0
																維持		0
															法		•	<ul><li>O</li></ul>
平成1	9~21年度	の方向性	行政内	部は製え	本、行政	(外部〜	へは電子:	データによ	る配右	<b>弁を図る</b>						託等		0
					. ,									縮			0	0
															3 / 終	期設定		0
														_		休 止	_	0
2 1/2 ≐11	福委員会	7 1 1	行业中	☆☆☆☆☆	面聿のい	艮   立 / 米	新!ァ <b>〜</b> 1、、	てけ 亡せ	1 T A N	てあぬし	ニデーヵ≠	シ汗田十	スナナー	目古口	T):	だキョ、		
2 从 計	叫 安 貝 云	1 × 2 r	丁以以四	ココロマンコエル	画目V기	がいり口り多	X1C. J11	(1d, 111)	LAI	、「电丁	ノークも	L10/11 9 ·	シル広じ	元旦し	C \ /	-		

(一般	事業)	事業	<b>É</b> :	J - F	1210	030				部長	次	長課長
( )351	,		_	<u> </u>								2.1
平成1	17 年 度	重	꿐	雀 名	※宝	対策に関する事務						
T 13% 1	1 7 1X	<b>.</b>	7	K 🗆	火占	NIKICIAI O TIII						
1   事	業概:	要(ドゥ	")									
				りの目標	1	活気あられる豊か	な生活環境づくり				総務部	
										所管課		
総合	計画	i	4	Þ	2	安全と防災の確保	:			//I 🔟 🖦	防災対策	課
政策	体 笙		/	lv	1	防災計画の整備				所管課長氏名	<i>t</i> ah □□ □ □	1±.
					- 1	例外可画の歪曲						
体	系		糾	<b>H</b>						記入者氏名	桝田 忠	快
<del>-</del>							/= 1/ ====		mt. u.l.			
事	業		期	間			経常臨時	☑ 経常 □	臨時	電話番号	0797-38-	-2093 <mark>内線</mark> 4411
根 拠	1. 法	令 '	亜	<b>三綱</b> 等	災害	対策基本法・水防	<u></u> 注	•		実 施 主 体	市	
							•					
実	施		手	法		直営	<ul><li>✓ 一部委託</li></ul>	<ul><li>全部委託</li></ul>		□ 補助金		負担金
委		託		先		月却国化壬兴	67.1h			委託 <mark>委託内容</mark>	广把纸双	分
女		пЪ		兀		外郭団体委託	名称			安武  安武  内谷	<b>公</b> 取机光	111
								1.15.1				
事	業	の	- 7	概 要	本部	組織表の改正,防	災服の貸与,規則改正,	広報あしや災	害特集号	・の作成,危険箇別	ケバトロー	ール。
_	М	_				+ H 4 D - M > // +		mbh 🖂 r.t///	nn ~ 4> 6			
事	業	の		現状	• 人	争異動に伴り災害	対策本部組織表の改正,	職員への防災	服の貿与	- 争務		
	日的!	実現のた	- X	M	• 広	報あしや臨時号「	十砂災害特集」の作成、	配布(年1回	6月発	行)		
	手段	及び実施	を内 つ	容	• 関	係機関の参加によ	る,危険箇所パトローハ	レの実施(危険宅	2地・海戸	幸・急傾斜地・山	地災害)	
			:	指標名	防災	パトロール回数(	危険宅地・海岸・急傾斜	料地・山地災害	)			
		4± FD +F	- 1							亚式10年度/	日梅、	亚式 1 0 年度 / 日播 >
		結果指	信	<u> </u>	半成	13年度(美額)	平成16年度(実績)	十八   / 牛皮	(美額)	平成18年度(	日信)	平成19年度(目標)
		(1)		指標値		4 回	4 回	4 回		4 回		4 回
						- T I	450	71		7 🖂		7 🖂
アウト	・ブット		1	単位コスト								
指	標			七 抽 夕	乌佰.	斜地危険箇所(パ)	ロール対角筋形)	I		1		
抇			- 1	拍 惊 石	心则	村地ル陜固川(/・)	、ロ・ル外家面別)					
			標:	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成18年度(	目標)	平成19年度(目標)
							, ,					, ,
		(2)	- 1	指標値		39箇所	5 3 箇所	5 3 箇	かん アイス	5 3 箇所	ſ	5 3 箇所
			- 1	単位コスト								
· =	- 2112 - 12	H / H -								L		
4 事	美风:	果(ア:	<u>ノト</u>	カム)								
		対		象	平田	町及び山麓部の市	民					
事業の	の目的	対象	b	バー 率	対 象	<b>き数 (a)</b>	.5, 139 <mark>受益数</mark>	(b) 1	5, 139	比 率 (b -	- a) %	100%
					<i>y</i> ., y	· ×/· (=)	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	(-)	-,	PO 1 (5	,	
対象	' 思区	l										
		意		図	防災	情報の広報・危険	箇所のパトロールを実施	ですることで防	災体制を	·整備。		
			<u> </u>		1747	113 114 - 72 - 114 7 217 4			, <b>.</b>	11110		
		(刈家	を土	語にして)								
		4.				~ 4. A H-++-	7.1.11					
大	き	な		目 的	巾氏	の生命・財産を守	るため。					
			- 1.	115 12E 62	나 +ㅁ	T+++ = ~ = +						
			- :	指 標 名	丛報	臨時号の配布						
		中間成	果 :	老え方・式	県費	及び国費の補助に	より作成					
			_	0				亚代 1 7 年度	(中雄)	亚世 4 0 左连 /	口+無~	亚岸 4 0 左座 / 口槽 >
			標:	平				平成17年度		平成18年度(		平成19年度(目標)
アウ	トカム			指標値	県	費委託金で作成	県費委託金で作成	国土交通省`	で作成	国土交通省で	作成	国土交通省で作成
			_						/-/N			
指	標		- 1	指標名	<b>谷</b> 種	ハザードマップの	作成					
		最終成	理 :	老え方・ボ	内容	を充実させる						
								T	/ <del>                                     </del>			
		指	標:	年 度	半成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成18年度(	目標)	平成19年度(目標)
			-	指標値	+	砂災害危険箇所	土砂災害危険箇所	土砂災害危	<b>企</b> 笛正	洪水危険箇		急傾斜地警戒区域
			:	1日 1示 10		0 八 日 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	工砂灰百池灰面川	工切火日池	火山川	1六八八百天巨	1//1	心與肝地言从色线
古层章	もの性・	色か ど ž	浦足	する重百	行耐	単位がコンパカト	な分,災害対策本部人員	副配置を 仙古	トルキル	細かく行っている	5	
一座山	ויו כט נו	_ & C r	# 1	カシチ状	1150	中国ルークン・フィ	4月, 《日内水平印入》		A) CV	умиν. / II ⊃ С л	J 0	
2 車	<b></b>	、:千香hī	ニュム	ナ(コスト)	1			1 ## # #   1 / 四 \	206	住民11411(田)	120	亚成10/11 介足其木公框
					_			1世帯当り(円)	296	住民1人当り(円)	130	平成18.4.1 住民基本台帳
事	業		費	構成%	平成	15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度	(決算)	平成18年度(	予算)	
	1	<i>(</i> /+								- `		
	^		費	25.1%		7,742	8,564		2,961		-	
	事	業	費	74.9%		6,003	5,674	]	8,845	[	11,353	
	_					-,	-,		.,		,	
内	武 他 岩	『門経	貿								-	
(千円	) 減 症	<b>西償却</b>	書								_	
( 1 1 )									44.654			
	合		計	100.0%		13,745	14,238		11,806		-	
	国		県	16.9%		1,572	3,000		2,000		3,000	
				10.5%		1,012	3,000		۷,000	1	0,000	
財 ル	源市	債	等									
(千円												
( 1.13			_									
	- :	般 財	源	83.1%		12,173	11,238		9,806		-	
汪 #	動職		員	100.0%		0.90	0.90		0.30			
		吃 時	等	0.0%		0.00	0.10		0.00		-	
配	分 嘱計	ה שווח ה		10	1							
	分 嘱 部 ) <b>合</b>		計	100.0%		0.90	1.00		0.30			

4 評价	五(チェック	')			
評	価	視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
	日的妥当	性(2~ 2)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	בעניום	11±(2 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
			□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき,または対応可能である		
妥	市関与(2	~ 2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
			□ いずれにも該当しない	_	_
当	<del></del>	<b>-</b> *(0 ()	□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	5	5
Au	市民二一	ズ(2~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把握		
性 8点			□ 数字で把握している □ 未把握 □ 未把握 □ 本会環境の変化にあわせた見直しが必要		
om	社会環境	変化(1~ 1)	内容		
	優先性!	緊急性(1)	□ 『3音 : □ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
	-	一率(1~ 1)	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1	, ,	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
効	成甲の宝	[績(2~ 1)	□ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している○ 実績値または目標値が未記入	1	4
X/J	ル木の大	:河(2 1)	└▶ □ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	- 1	'
性	- 成果向上	:余地(1~ 1)	成果があがっていない場合		
4点		,	□ 成果向上策あり □ 特になし □ 特になし		
			□ 比較できる団体がある 団体名 他の自治体 □ 比較できる団体はない		
効	単位コス	<b>├(1 ~ 1)</b>	│ □ 他団体の数字を把握している 単位コスト │ □ □   □   □		
7/3			高い、または低い場合の理由		
	- 11 - 11 -		□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
<del>sta</del>	受益者負	担(0~ 1)	- □ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能)	Λ	_
率			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	0	0
	手段(1~	3)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	J +X(1	0)	☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点	コスト削減	咸取組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない □ 中に行っていない □ 中に行っていない		
平成1	6年度の	評価内容	□ A <mark>平成17年度に実</mark> □ 改善し,効果を得た		
(評価が	改善の がない場合	) 万 同 性 は記載不要)	<b>ロ D 性 ロ 以音したが、効木がな ロ わかっ </b>		
( 11 114 73	- С. С. Т. Ж. Д.	10 10 + 1 × 1	D   L   D   K   総合   評価	В	В
亚成	1 8	年 度 に	評価	ט	ם
実施		年 度 に ズ 善 内 容	課題 毎年,定期的に発行できるようにする。 <mark>改善</mark> 新たな財源等を確保する。 <mark>内容</mark>		
(	必	須 )			
5 今後	後の対応(	アクション)			<u> </u>
3 7 13	X 42 X 3 Y 10 · (	,,,,,,	(1) 人事異動等に伴う災害対策本部組織の改正を簡略化すること。		
現在:	忍識して	いる課題	(2) 広報あしや臨時号「土砂災害特集』に関する補助を来年度以降も確保すること。		
		関係者の名称			
からの		,要望内容			
要望	等思想	·			
	(1	対応内容	人事異動後に、各課から「第1初動・第2初動・その他」への課員の振り分けを依頼する。		
	(1)	実施期限	平成 19 年 5 月		
課題·要	望等				
	(2)	)   対心内谷	国土交通省の近畿地方建設局六甲砂防事務所に,来年度以降も「土砂災害特集」の作成を依頼する。		
へのす	付 応	実施期限	平成 18 年 7 月		
		対応内容			
	(3)	)			
		実施期限	平成 年 月		
その他	考えられ				
	カアイデ				
, L			今後の方向性	1次評価	2次評価
			<u>拡大・充実</u>		0
			人事異動に伴う災害対策本部組織の改正を簡略化する。 現状維持	0	0
			広報あしや臨時号「土砂災害特集」に関する補助を来年度以降も確保する。 方法 改善		•
平成 1	Z成19~21年度の方向性			_	0
			縮。  小		0
			統合/終期設定		0
			<mark>廃止/休止</mark>	U	0
			·		
2 次 評		会コメント	  地域と連携して,避難箇所の周知等に取り組んでください。(成果指標の再検討を行ってください。)		

					•											
(一般事	事業)	事業	コード	12400	010						部	長	次	長	課	長
平成17	年度	事	業名	自主	防災組織の	)設置・育	「成									
1 事	<b>学</b> 椰豆	臣 (ドゥ)														
								m.t					(n) = 1-1-1-1-1			
第3次产	屋市	まちづく	りの目標	1	活気あふれ	れる豊か	な生活環	環境づくり			55	管 課	総務部			
総合言	計画		中	2	安全と防災	災の確保					所	管 課	防災対策	<b>注</b>		
			· ·								CC 55 ±1	T F C A				
政策	施 束		小	4	防災意識の	/ 川川上					所官部	果長氏名	桝田 忠	大		
体	系		紙田		1						記入	者氏名	桝田 ま	未		
				igsquare						. —						
事	業	期	間					経常臨時	<ul><li> 経常</li></ul>	饣□ 臨時	電話	番号	0797-38-	-2093	内線	4411
根 拠	法	令 ' 引	更綱 等	災害:	対策基本法	よ・消防!	組織法				実施	主体	市			
						7 111/23/		lon of the						- t- A		
実	施	手	法法	$\checkmark$	直営		□ → i	部委託	□ 全部	『委託	□ 有	開助金		負担金		
委		託	先		外郭団体委	未託	名称				引禾科 <b>麦</b>	<b>託内容</b>				
		40		<u> </u>	N 4 MEDIUM	Х н с	H19				10000	CHOLI				
事	業	の	概 要	白主匠	防災組織の	)設置・	否成									
<del></del>	*	0)	11/10 52	<u>п</u> т.	27 2 Charling * 2	/ 队 巨	H 17No									
-	2114		TD		N. P.L. /// ( 1)	u	<del></del>	6th 1	0	An Att -		0/ / "				
事	業	の	現 状	・自己	土阞災組織	戎 48[	団体, 組	.織人口 90,	885人	、組織率 8	55. 0	%(半成	.17年度	(未)		
	目的国	実現のため	ത	• 白:	主防災組織	我の連絡	<b>嘉議</b> 会開	催 (2回)								
	于段人	ひ実施内	一	・目:	主防災組織	吸の防災	訓練指導	(25回)								
				• =	ミスク等の	)防災訓練	鯟他(9	回+朝日ヶ丘2	2回+岩原	2回+精道1	回十打	出浜1回)				
			北			N N 1/1		/*/				, - 11/				
			指標 名													
		結果指標	年 度	平成	15年度(	(実績)	平成 1 6	5年度(実績)	平成 17	年度(実績)	平成 :	18年度(	目標)	平成 1 9	年度(	目標)
				_							. /-~					
		(1)	指標値		3 7 組織	,,,		4 2 組織		8組織	1	5 1 組締		<u> </u>	5 4 組織	
アウト	プット		単位コスト	1	13千円/	組織	1 7	千円/組織	3千	·円/組織	4	6 千円/	組織	İ		
指			指標名					, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	<u> </u>		1			1		
担	***															
		結果指標	年 度	平成	15年度(	(実績)	平成 1 6	5年度(実績)	平成 1 7	年度(実績)	平成 '	18年度(	(目標)	平成 1 9	年度(	目標)
					72回			42回		4 2 回		51回			54回	-
			指標値									9 1 凹			04四	
			単位コスト		7 千円/	口	1 7	7 千円/回	3 =	千円/回	4	46千円/	/回	İ		
2 車当	ᄣᆣ	果(アウト	+1.)													
<u>د</u> ع	未ルスス	木(グラ)	·/////////////////////////////////////													
			4	+-												
		対	家	市民												
事業の	目的	対象力	バー率	対 篆	₹数 (a)	90,	8 8 5	人 受益数	(b)	77, 252	人 比	ź率 (b	÷ a) %		8 5 %	
対象·	章 図								-							
,,, ,,,	, I		- First	4	n+/// on ohb as	o ≃n. pou -	<del>/-</del>									
		怠	凶	自王院	防災組織の	)設置・	育灰。									
		(対象を主	E語にして)													
		(	,	-	-											
大	き	な	目 的	市民	の被災初動	カ肺の円ネ	滑な活動	のため。								
			1													
			指標 名	組織	率(人口比	率)										
		中間成里	考え方·式	白主	防災組織人	(口/住:	t 小帳 ×	1 0 0								
					/ - / - / - /   1111/19A/	+ · · /         - · /		1 () ()								
		指 標		TT - 12	1 F/T ==== 1					左连 / 宁/桂 >		105	·	<b>₩</b> * *		_ <del>_</del> _
アウト	カム		年 度	平成	15年度(			100 <mark>5年度(実績)</mark>	平成 1 7	年度(実績)	平成	18年度(	[目標]	平成 1 9	9年度(	目標)
				_	15年度( 74%	(実績)					平成	1 8年度( 9 5 %	[目標]	平成 1 9	9 年度( 9 7 %	<mark>目標)</mark>
指	+355		指標値			(実績)		5年度(実績)		<mark>年度(実績)</mark> 8 5 %	平成		[目標]	平成 1 9		<mark>目標)</mark>
	標		指標値 指標名			(実績)		5年度(実績)			平成		[目標)	<mark>平成 1 9</mark>		<mark>目標)</mark>
	標		指標値 指標名			(実績)		5年度(実績)			平成		[目標]	平成 1 9		目標)
	標	最終成果	指標値 指標名 考え方·式		7 4 %	<mark>(実績)</mark>	平成 1 (	5 <mark>年度(実績)</mark> 83%	8	8 5 %		95%			97%	
	標	最終成果 指 標	指標值 指標名 考え方·式 年度		7 4 %	<mark>(実績)</mark>	平成 1 (	5年度(実績)	8					平成 1 9	97%	
	標	最終成果 指 標	指標値 指標名 考え方·式		7 4 %	<mark>(実績)</mark>	平成 1 (	5 <mark>年度(実績)</mark> 83%	8	8 5 %		95%			97%	
	標 	最終成果 指 標	指標值 指標名 考え方·式 年度		7 4 %	<mark>(実績)</mark>	平成 1 (	5 <mark>年度(実績)</mark> 83%	8	8 5 %		95%			97%	
		最終成果 指 標	指標值 指標名 考之方 年標值	平成	7 4 % 1 5 年度 (	(実績)	平成 1 (	5 年度 (実績) 8 3 % 5 年度 (実績)	平成 1 7	8 5 %		95%			97%	
芦屋市		最終成果 指 標	指標值 指標名 考之方 年標值	平成	7 4 % 1 5 年度 (	(実績)	平成 1 (	5 <mark>年度(実績)</mark> 83%	平成 1 7	8 5 %		95%			97%	
芦屋市		最終成果 指 標	指標值 指標名 考之方 年標值	平成	7 4 % 1 5 年度 (	(実績)	平成 1 (	5 年度 (実績) 8 3 % 5 年度 (実績)	平成 1 7	8 5 %		95%			97%	
	の特色	最終成果 指 標 色など補足	指標値名式 考え方・式度 年標値 をする事項	平成	7 4 % 1 5 年度 (	(実績)	平成 1 (	5 年度 (実績) 8 3 % 5 年度 (実績)	平成 1 7	年度(実績)	平成	9 5 % 1 <b>8 年度 (</b>	(目標)	平成 1 9	97%	目標)
3 事美	の特色	最終成果 指 標 色など補足	指標值 指標名 考之方 年標值	平成	7 4 % 1 5 年度 (	(実績)	平成 1 (	5 年度 (実績) 8 3 % 5 年度 (実績)	平成 1 7	年度(実績)	平成	9 5 % 1 8 年度 (	[目標]		97%	目標)
3 事美	の特色	最終成果 指 標 色など補足 活動配:	指標標 値名式度値 名式度値 マオースト	<b>平成</b> 格段(	74% 15年度( に人口密度	(実績) (実績) (変し (実績)	平成 1 (	5 年度 (実績) 8 3 % 5 年度 (実績) は地区の組織化か	平成 1 7	年度(実績)	平成	9 5 % 1 8 年度 (	[目標]	平成 1 9	97%	目標)
	の特色業費・	最終成果 指 標 色など補足 活動配2 費	指標値名式 年 度値 とする事項 が(コスト 構成%	<b>平成</b> 格段(	74% 15年度( に人口密度	<ul><li>(実績)</li><li>(実績)</li><li>(変)</li><li>(次算)</li></ul>	平成 1 (	5年度 (実績) 83% 5年度 (実績) 地区の組織化か 5年度 (決算)	平成 1 7	年度(実績) (円) 163 年度(決算)	平成	9 5 % 1 <b>8 年度 (</b>	[目標]	平成 1 9	97%	目標)
3 事美	の特色業費・	最終成果 指	指標標 値名式度値 名式度値 マオースト	<b>平成</b> 格段(	74% 15年度( に人口密度	(実績) (実績) (変し (実績)	平成 1 (	5 年度 (実績) 8 3 % 5 年度 (実績) は地区の組織化か	平成 1 7	年度(実績)	平成	9 5 % 1 8 年度 (	[目標]	平成 1 9	97%	目標)
3 事美	の特色業費・	最終成果 指 標 色など補足 活動配2 費	指標値名式 年 度値 とする事項 が(コスト 構成%	<b>平成</b> 格段(	74% 15年度( に人口密度	<ul><li>(実績)</li><li>(実績)</li><li>(変)</li><li>(次算)</li></ul>	平成 1 (	5年度 (実績) 83% 5年度 (実績) 地区の組織化か 5年度 (決算)	平成 1 7	年度(実績) (円) 163 年度(決算)	平成	9 5 % 1 8 年度 (	[目標]	平成 1 9	97%	目標)
3 事第	の特色業費・人事	最終成果 指 色など補知 <b>活動配</b> 費 費 費	指標値 岩 標 値 考え方・式度 指標 値 とする事項 分(コスト 構成% 98.2%	<b>平成</b> 格段(	74% 15年度( に人口密度	<ul><li>(実績)</li><li>(実績)</li><li>(決算)</li><li>4,820</li></ul>	平成 1 (	5年度(実績) 83% 5年度(実績) 地区の組織化か 5年度(決算) 5,332	平成 1 7	年度(実績) (円) 163 年度(決算) 6,385	平成	9 5 % 1 8 年度 (	72 (予算)	平成 1 9	97%	目標)
3 事第	の特色業費・人事の部	最終成果 指 を が 補	指標値 岩 標 値 考え方・式度 指標 値 とする事項 分(コスト 構成% 98.2%	<b>平成</b> 格段(	74% 15年度( に人口密度	<ul><li>(実績)</li><li>(実績)</li><li>(決算)</li><li>4,820</li></ul>	平成 1 (	5年度(実績) 83% 5年度(実績) 地区の組織化か 5年度(決算) 5,332	平成 1 7	年度(実績) (円) 163 年度(決算) 6,385	平成	9 5 % 1 8 年度 (	72 (予算)	平成 1 9	97%	目標)
3 事第	の特色業費・人事の部	最終成果 指 色など補知 <b>活動配</b> 費 費 費	指標値 岩 標 値 考え方・式度 指標 値 とする事項 分(コスト 構成% 98.2%	<b>平成</b> 格段(	74% 15年度( に人口密度	<ul><li>(実績)</li><li>(実績)</li><li>(決算)</li><li>4,820</li></ul>	平成 1 (	5年度(実績) 83% 5年度(実績) 地区の組織化か 5年度(決算) 5,332	平成 1 7	年度(実績) (円) 163 年度(決算) 6,385	平成	9 5 % 1 8 年度 (	72 (予算)	平成 1 9	97%	目標)
3 事第	の特色業人事他減価	最終成果指 を と 補 い 活動配費費費費費費費費	指標値名式 年度指標値 子する事項 分(コスト 構成% 98.2%	格段(	74% 15年度( に人口密度	(実績) (実績) (実績) (決算) 4,820 453	平成 1 (	5年度(実績) 83% 5年度(実績) 地区の組織化か 5年度(決算) 5,332 684	平成 1 7	年度(実績) (円) 163 年度(決算) 6,385 119	平成	9 5 % 1 8 年度 (	72 (予算)	平成 1 9	97%	目標)
3 事第	の特色業人事他減合	最終成果指 たなど補い 活動配費費費費 計償	指標値 岩 標 値 考え方・式度 指標 値 とする事項 分(コスト 構成% 98.2%	格段(	74% 15年度( に人口密度	<ul><li>(実績)</li><li>(実績)</li><li>(決算)</li><li>4,820</li></ul>	平成 1 (	5年度(実績) 83% 5年度(実績) 地区の組織化か 5年度(決算) 5,332	平成 1 7	年度(実績) (円) 163 年度(決算) 6,385	平成	9 5 % 1 8 年度 (	72 予算) - 2,333 -	平成 1 9	97%	目標)
3 事第	の特色業人事他減価	最終成果指 を と 補 い 活動配費費費費費費費費	指標値名式 年度指標値 子する事項 分(コスト 構成% 98.2%	格段(	74% 15年度( に人口密度	(実績) (実績) (実績) (決算) 4,820 453	平成16	5年度(実績) 83% 5年度(実績) 地区の組織化か 5年度(決算) 5,332 684	平成 1 7	年度(実績) (円) 163 年度(決算) 6,385 119	平成	9 5 % 1 8 年度 (	72 (予算)	平成 1 9	97%	目標)
3 事	の特色 業人事 他減合 国	最終成果指 を	指標値名 考え方・式 年度指標値 よする事項 分(コスト 構成% 98.2% 1.8%	格段(	74% 15年度( に人口密度	(実績) (実績) (実績) (決算) 4,820 453	平成16	5年度(実績) 83% 5年度(実績) 地区の組織化か 5年度(決算) 5,332 684	平成 1 7	年度(実績) (円) 163 年度(決算) 6,385 119	平成	9 5 % 1 8 年度 (	72 予算) - 2,333 -	平成 1 9	97%	目標)
3 事 事 内 訳 (千円) 財 源	の特別を表現である。	最終成果指 さいます。 活動配費費費費費 計県等	指標値名 考え方・式 年度指標値 よする事項 分(コスト 構成% 98.2% 1.8%	格段(	74% 15年度( に人口密度	(実績) (実績) (実績) (決算) 4,820 453	平成16	5年度(実績) 83% 5年度(実績) 地区の組織化か 5年度(決算) 5,332 684	平成 1 7	年度(実績) (円) 163 年度(決算) 6,385 119	平成	9 5 % 1 8 年度 (	72 予算) - 2,333 -	平成 1 9	97%	目標)
3 事	の特別を表現である。	最終成果指 を	指標値名 考え方・式 年度指標値 よする事項 分(コスト 構成% 98.2% 1.8%	格段(	74% 15年度( に人口密度	(実績) (実績) (実績) (決算) 4,820 453	平成16	5年度(実績) 83% 5年度(実績) 地区の組織化か 5年度(決算) 5,332 684	平成 1 7	年度(実績) (円) 163 年度(決算) 6,385 119	平成	9 5 % 1 8 年度 (	72 予算) - 2,333 -	平成 1 9	97%	目標)
3 事 事 内 訳 (千円) 財 源	の特費業人事他減合国市そ	最終 成果標 なが動 ででである。 大手のでは、 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	指標値名式 年度値 音する事項 分(コスト 構成% 98.2% 1.8%	格段	74% 15年度( に人口密度	(実績) (実績) (実績) (決算) 4,820 453	平成16	5 年度 (実績) 8 3 % 5 年度 (実績) 地区の組織化力 5 年度 (決算) 5,332 684	平成 1 7	(円) 163 年度(決算) 6,385 119 6,504	平成	9 5 % 1 8 年度 (	72 予算) - 2,333 -	平成 1 9	97%	目標)
3 事 事 内 (千円) 財 (千円)	の特質業人事の個合国市を一手	最終 成果標 を活動配費費費費計県等他 源の財源	指標値 名考え方・式 年度 指標値 子する事項 分(コスト 構成% 98.2% 1.8%	格段	74% 15年度( に人口密度	(実績) (実績) (実績) (決算) 4,820 453 5,273	平成16	5 年度 (実績) 8 3 % 5 年度 (実績) 地区の組織化力 5 年度 (決算) 5,332 684 6,016	平成 1 7	年度(実績) (円) 163 年度(決算) 6,385 119 6,504	平成	9 5 % 1 8 年度 (	72 予算) - 2,333 - - 1,000	平成 1 9	97%	目標)
3 事	の特質業人事の個合国市を一職	最終 成標 (成果標 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	指標値名式 年度値 音する事項 分(コスト 構成% 98.2% 1.8%	格段	74% 15年度( に人口密度	(実績) (実績) (実績) (決算) 4,820 453	平成16	5 年度 (実績) 8 3 % 5 年度 (実績) 地区の組織化力 5 年度 (決算) 5,332 684	平成 1 7	(円) 163 年度(決算) 6,385 119 6,504	平成	9 5 % 1 8 年度 (	72 予算) - 2,333 -	平成 1 9	97%	目標)
3 事	の特質業人事の個合国市を一職	最終 成標 (成果標 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	指標値名式年度指標値 子え方・式 年度値 子する事項 分(コスト 構成% 98.2% 1.8% 100.0% 85.7%	格段	74% 15年度( に人口密度	(実績) (実績) (実績) (決算) 4,820 453 5,273	平成16	5 年度 (実績) 8 3 % 5 年度 (実績) 地区の組織化力 5 年度 (決算) 5,332 684 6,016	平成 1 7	年度(実績) (円) 163 年度(決算) 6,385 119 6,504	平成	9 5 % 1 8 年度 (	72 予算) - 2,333 - - 1,000	平成 1 9	97%	目標)
3事	の特質業人事の個合国市を一職	最終 成果標 を活動配費費費費計県等他 源の財源	指標値 名考え方・式 年度 指標値 子する事項 分(コスト 構成% 98.2% 1.8%	格段に	74% 15年度( に人口密度	(実績) (実績) (実績) (決算) 4,820 453 5,273 0.50	平成16	5 年度 (実績) 8 3 % 5 年度 (実績) 5 年度 (実績) 5 年度 (決算) 5,332 684 6,016 0.50	平成 1 7	年度(実績) (円) 163 年度(決算) 6,385 119 6,504 6,504	平成:	9 5 % 1 8 年度 (	72 予算) - 2,333 - - 1,000	平成 1 9	97%	目標)

4 評信	西(チェ	ック)																	
評	価	視	点						評	価チェ	ック	リスト						1次評価	2次評価
	日的5	☑出州/	2 ~ 2)		事業の主								事業の	目的は一	-つに絞る	ることができ	きない		
	<b>—</b> поз	X = II(	2 2)	7	事業成果	が上位を	施策に	不可欠,	または貢南	(捜が	高い	۱ 🗆	貢献度	が不明確	生、または	:高〈ない			
					市が実施	するよう	法律等	で義務で	がけられてい	,1る			民間で	やるべき	,または	対応可能で	である		
妥	市関与	与(2~	2)	✓ .	市民の基	本的な生	生活の約	佳持に必	要である					では見直		ている			
														にも該当				_	_
当				1	市民二一			うべき事	業							すう事業で		5	5
	市民	ニーズ(2	2 ~ 1)	Ч	<b>▶</b> □ =				<i></i>				ニーズ	が高いと	は言えな	い,または			
性						数字で										□未			
8点	차 숏 Ŧ	環境変化	<b>七(1~ 1)</b>	<b>√</b> ;	-	わる社会	≳環境の	)変化に	適応してい	13			社会環	境の変化	とにあわせ	せた見直し	が必要		
					内容														
		生,緊急							命,安全					<b>-</b>					
_		カバー落	,		対象カバ		-			体と同						バー率が低			
有	受益?	者(1~	1)		事業意図											金が一部に	限定		
効	成果の	の実績(	2 ~ 1)						,目標値を		してし							2	2
								がってい	いると言える	3		Ш	実績値	から成果	があがっ	ていると言	えない	_	_
性	- 成果向	句上余り	也(1~ 1)		果があがっ		い場合									·····) □ 4-	+1-4-1		
4点					成果向上		×+ 7		(4) 小 立	:4 <del>/+</del>			1 la ±÷	· +	1-1-4		持になし		
					比較できる				他の自			<u>Ц</u>	比較で	きる団体		4			
効	単位	コスト(1	~ 1)		他団体の				単位コス		=110	<u></u>			把握して				
XVJ					□他団				□ 他団	1144	可在,	及		] 他団体	<b>ン</b> トリル4	トか高い			
					ハ、またはf 負担を求ら				<del>-</del> 7		4	+D + +	t th フ ベ =	き事業で	++>! \				
	受益	者負担(	0 ~ 1)	T	貝担を水。 ・□ 現在				のる 負担なし			-				□ 徴収す	可会に )	_	_
率						,			<u> </u>						し小能	<u> </u>	1) BE )	-3	-3
									L貝四体が いたいる	>安武	; U C				お空が担	うべき部分	ンがちっ		
	手段(	1 ~ 3	)						ない業務	でちる						の可能では 応可能では			
性									ない素物 い業務で		'					心可能であ			
3点					場式・臨ウコスト削減					. ଡ ବ				<sup>晒吋鴨貝</sup>		7月16日の	ଚ		
3.m	コスト	削減取	組(1~ 1)		内容	えひノ4入り示	HU7.C1	) J CV18					1 1 TIC 1 J	I J CVIA	V 1				
					1312		^												
平成1	6 年 度	の評	価 内 容	÷00.0	T (+ E		Α		F度に実	V	改	善し,	効果を	得た		-1.16-			
(評価が	一改 吾	()) 음술 남활	方 向 性 记載不要)	計1	西結果			他した改性	善の方向			善した	とが, 対	果がな	П	改善し なかっ			
(пі іш /3	1 4 1 2		し戦力・安)			\	Ь	i <del>T</del>			い					た		D	D
		о <b>т</b>	<b>+</b> -														総合評価	В	В
平成実施	1 する	7 许 7 7 1	度 に	課題	訓練内容	のステ	ップア	ップを図	る。			織の房	成熟に合	った訓練	制画の!	提案。			
(	必	须		HALL						内容	ř								
- 4 (	<u> </u>																		
5 今後	後の対応	心(ア/	フション)																
TR +- =	:771 ±+h I	<b>7</b> 11	7 ±H H5	(1) 0	= 0/ 0×4	かおき	<u> </u>	ルファー											
块 仕 記	認識し	( ( ) 1	る課題	(1) 8	5%の維	1織学を	间上2	ぜること	0										
士兄 瞎	1万女士	<b>兄</b> 89/	系者の名称																
からの		氏,[美]]	から の 石																
要望	急等意	見,	要望内容																
女主	ਚ																		
		(1)	対応内容	コミス	スク行事	<ul><li>自治会</li></ul>	会総会に	上参加し	て、各自	冶会等	争へ(	の結成	<b>戈依頼を</b>	する。					
		( ' )	実施期限	亚战	1 8	年	1 2	H											
課題·要	望等			1 14%	10		1 2	/1											
W/ XE >		(2)	対応内容																
へのす		,	実施期限	平成		年		月											
		(3)	対応内容																
		` '	実施期限	平成		年		月											
						-	-												
その他	考えら	られる			-														
改善の	カアイ	デア																	
																今後0	の方向性	1次評価	2次評価
																拡大	· 充 実	0	0
																現状	維持	0	0
																方 法	改善	•	•
平成 1	9 ~ 2 1	年度	の方向性	訓練る	を通じてタ	資機材耶	対扱いを	熟知す	ることで,	自主	E防?	災組織	畿の能力	の向上を	:図る。		委 託 等	0	0
																縮	小	0	0
																統合/	終期設定	0	0
																廃止	/ 休 止	0	0
									<del></del>										
2 次 評	価委	員 会	コメント	引き約	売き自主院	防災組織	畿の結局	はや育成	に努めて	くださ	えい。								
				1															

(一般	車 架 /	事業	コード	1240	170				部長次	長課長
( 一 万文 =	尹未)	尹未	<u> </u>	1240	170				하 보 사	女 林 女
平成17	7年度	事	業名	危機	管理に係る企画・	総合調整に関する事務				
	. ,2			, _ ,/%						
1 事	業概	要(ドゥ)								
		(/	りの目標	1	活気あふれる豊か	な生活環境づくり			A 総務部	
総合			<u>りの日標</u> 中		安全と防災の確保				所 管 課 防災対	<b>第</b> 課
<sup>続 口</sup> 政 策			<u>中</u> 小		防災意識の向上				所管課長氏名今石佳	
			-	4	例火息戦ツ川上					
体	系		細						記入者氏名今石佳	
事	業					経常臨時	☑ 経常 □	臨時	電話番号0797-	38 - 2093 内線 4413
	法	令 ' 5	要綱 等						実施主体市	
実	施	手	法		直営	☑ 一部委託	□ 全部委託			] 負担金
委		託	先		外郭団体委託	名称 (株)損保ジャパン・リス	(クマネシ゛メント	☑ 民間	]委託 <mark>委託内容</mark> 危機管	理指針原案の作成
				不測	の事態に対する市	の危機管理について、素	を備を図ること			カ組織体制を敷き, もって
事	業	Ø	概 要						行政経営上の支障も最小	•
			🗴	.,	24 11			, _ ,		11
				. 在	雌に際しての世紀	レかる「昔民古会郷祭事	田地針」の作品	た行った	○左座けな細から無り	出した危機事象に対し、共
声	<del>///</del>	•	IB db							
事	業								課が「危機管理マニュア	
		実現のため					路職し,対応出	米りる組	織体制を及び各自の危機	選官埋意識同上のため,
	手段	及び実施内	容	危機	管理研修」を実施	する。 (18年度)				
				・危	機広報マニュアル	の作成を行う。(18年	三度)			
			指標名	危機	事象の抽出(職員数	女)				
		結果指標	5 H			平成16年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
			指標値	. 1520	0	()	1, 00		1,000人	1,000人
アウト	プット						1, 970		3,488円/人	1, 000/
			単位コスト	在····································	事象の抽出(全課3	<b> </b>   マ米ケ)	1, 970	1/ 八	3,400円/人	1
指	標						## 4 <b>3 5</b> 5	/ ch/# >	亚岸4.0左南(豆塘)	亚代 4 0 左连 / 豆坪 /
		結果指標		半成		平成16年度(実績)	平成17年度		平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
		(2)	指標値		0	0	101		6 9 課	6 9 課
			単位コスト				19, 505	円/課	50,550円/課	
2 事	業成	果(アウト	カム)							
			· ·	• 昔	屋市に在住。在勤	,訪問中の他市市民を含	対全ての市民	8.8	437人	
		対	象	·全	ての市職員(再任	用・再雇用・臨時的任用	開職員等を含む	) $1$ ,	000人	
事業の	日的	対象 カ	バー 率			437人 受益数		0人	比率 (b ÷ a) <sup>c</sup>	0 %
対象・			/\ <del>+</del>	V1 3	· x^ (a) 00,		(~)	J/ <b>\</b>	νυ <del>+</del> (ν + α) :	0 /0
γ.) ≫K ,	心区	1	図	市民	の,危機発生もし	くは発生のおそれのある	事態に際し,	未然に防	i止するとともに、発生時	<b>寺に危機管理意識の低さ</b>
		息	_	によ	る初動の遅れや,	その後の対応の誤りによ	り被害の拡大	を防ごう	とするため。	
		(対象を3	注語にして)							
				全谷	古の合機に対し	て 自然災生堂においっ	つけ 「昔民市地	虚防5000	面」 計力功較重能築	おいてけ「昔民市国民
大	き	な	目 的	保護	計画」とし、この	枠組み以外を「芦屋市危	は機管理指針・2	ふかべ 危機管理	画」,武力攻撃事態等に マニュアル」として対応	する。
			指標 名	職員	認識率					-
					認識率/職員数×	1 0 0				
						平成16年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
アウト	<b>1</b> /s		指標値	. 1520	0	()	10%		That I have the control of the contr	Text of the ( Hink )
				マー		l G	10/0	,	l	1
指	標		指標名			V 0 ) V 1 0 0				
					ュアル数/(課数		<b>T</b>	, <del></del> /+ -		
				平成		平成16年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
			指標値		0	0			8 0 %	100%
芦屋市	の特色	色など補足	足する事項							
3 重	<b>坐</b> 費	·活動配~	分(コスト)	)			1世帯当り(円)	364	住民1人当り(円) 160	平成18.4.1 住民基本台帳
」 事	来貝 業	費	T	亚式	15年度(油質)	平成16年度(決算)	平成17年度		平成18年度(予算)	TENTE TO THE TENTE THE TEN
<del>- 3-</del>	干」			LIJK	0		下13人 1 / 牛皮		「以「〇十尺(」'异)	
	人	件 費	86.4%		U	0		12,538	0.101	
	事	業費	13.6%					1,970	3,488	2
		17								
(千円)	) 減 値	質却費								-
	合	計	100.0%		0	0		14,508		•
	国	・県								
財源	市	債 等								
(千円)		の他								
( [ ] )		般財源	100.0%		0	0		14,508		
江 到					U	U		1.00		
	地域	員	66.7%							
	) 嘱託 ) <b>合</b>	:臨時等	33.3%					0.50		
	VI 👄	計	100.0%		0.00	0.00		1.50		•

4 評价	西(チェック)					
評		見 点	評価チェックリスト	1,	次評価	2次評価
	目的妥当性	(2 - 2)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることがで	きない		
	日的女当任	:(2 ~ 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない			
			□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能	である		
妥	市関与(2~	2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている			
			□ いずれにも該当しない			
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業で		4	3
	市民ニーズ	(2 ~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない, また!			
性				把握		
8点	社会環境変	化(1~ 1)	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直	」が必要		
	盾	<b>与此</b> (4)	内容			
	優先性,緊急対象カバー		☑ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる   ☑ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が	(E.1.)		
有	受益者(1 ~	, ,	□ 対象がバー率は同い □ 他団体に向往及 □ 他団体はガガバー率が □ 事業意図と受益者が不整合、または受益が一部			
	,		□ 事業总因と支血省は歪白している □ 事業总因と支血省が不定台、または支血が 部 □ 申間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	CPRAE		
効	成果の実績	(2 ~ 1)	→ 実績値から成果があがっていると言える	言えない	4	4
性	-	Ul de la	成果があがっていない場合	170.01		
4点	- 成果向上余	:地(1~ 1)	y	持になし		
			☑ 比較できる団体がある 団体名 他の自治体 □ 比較できる団体はない			
	単位コスト(1	1 1\	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト ☑ 把握していない			
効	単位コスド()	1 ~ 1)	▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い			
			高い、または低い場合の理由			
	受益者負担	(0 ~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない			
率		,	□ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収	可能 )	0	0
			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	/\		
	手段(1~	3)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部:□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □			
性			□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能で □ 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託, 臨時職員等で対応可能で			
3点			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である □ 帰託,臨時職員等で対応可能である □ 特に行っていない	20		
0,	コスト削減耳	又組(1~ 1)	→ 内容 委託内容を縮小してコスト削減を図り、市の実態に即した直営での作業部分を増加し	た。		
平成1	6年度の記改善 あ	半価内容	一			
(評価か	がない場合は	記載不要)	□ B 性 □ 改善したが、効果がな □ なかっ			
			to the second se	— 総合 評価	В	В
平 成	1 8 年	度 に	各課共通の危機に関しては防災対策担当で、課固有の危機に関しては各課で危機 改善 と記述する。	<del>ат</del> 1ш		
平成実施	1 8 年する改	善内容	課題 管理マニュアルを作成するとともに、職 <mark>内容</mark>			
(	必	須 )	員に対し研修を実施する。			
5 今後	後の対応(ア	クション)				
現在;	認識してし	1る 課 題	各課から抽出の危機事象について精査を行ったところ、必ずしも全てにおいて高い問題意識があるとは	言い難い面が散	女見され	ıる。
	係者 市民,関	係者の名称				
からの		要望内容				
要望	等意光,					
	(1)	対応内容	危機管理研修を行い,職員意識の改革を図る。			
	(1)	実施期限	平成 18 年 8 月			
課題·要	望等					
	(2)	対応内容	危機管理マニュアル作成フォームを用いた個別危機マニュアルの作成及びその修正協議を行	う。		
へのタ	対 応	実施期限	平成 19 年 3 月			
		対応内容	新たな危機と思われる事象に対し適宜マニュアル作成を行うとともに、対応の図上訓練(状	泊付与刑) お	生物	ナス
	(3)	71/UP3 <del>H</del>	利にな地域と心474でもず然に対し週出、ーエテルドがです。テとこもに、対心の囚工训练(代)	ルドチェ)で	. 天心 )	1 20
		実施期限				
			状況予測型訓練の実施			
	!考えられる		広報訓練(緊急記者会見)の実施			
改善 0	カアイデラ		役職別危機意識調査及び研修 担合実験制は17.75%ませなよが写光到は、(理事) とせれる事権)の実施	~ + + 44 .	·	- N
				の方向性 1.		2次評価
				大 大 推 持 C		0
				大 維 持 ○		<u>○</u>
平成 1	9~21年度	の方向性		委託等		$\circ$
	- 1 12		縮	小〇		0
				」 「終期設定 C		0
				: / 休 止		0
2 次 評	価 委 員 会	コメント	危機管理マニュアルの有効性を高めるため、職員研修を実施し、職員の育成を行ってくださ	۱,°		

/ фл =	<b>= **</b> /	击 业	¬ !*	F440	240		<del></del>		± 10	El±m E
(一般	字 耒)	事業	<u>コード</u>	51100	J10				部長次	長課長
平成 17	年度	事	業 名	広報:	紙発行					
1 /2/2 11	1 /2	7	ж н	IATK!						
							_			
1 車	<b>学</b> 椰豆	要(ドゥ)							l l	
			(りの目標	5	士見 1. 切無 1. イム	くる自立した行政基盤	さ / h		413 Z/T 410	
				_			7 9		所 管 課 総務部	
総合			中		市民と行政の協働	システムの実現			広報課	
政策	施策		小	1	情報公開の推進				<b>所管課長氏名</b> 久堀 英	次
体	系		細						記入者氏名南 ゆう	子
事	業	其	月 問	昭和	24年8月~	経常臨時	☑ 経常 □ 臨	誹	電 話 番 号 0797-38-	-2006 内線 2112
根 拠					広報推進要綱 広報推進要綱	··조 다 때 다		nu.i	実施主体	2000 PJMAN 2112
										A Le A
実	施	- 手		✓		☑ 一部委託	☑ 全部委託			負担金
委		託	先		外郭団体委託	名称		☑ 民間	委託 <mark>委託内容</mark> 有料広告	·取扱代理
				市政	広報紙「広報あし	や」の発行				
事	業	の	概 要							
_										
				発行	期間 亚出 7	年4月~18年3月				
	NII/	_		/ /			* (		Notes and a second	7.1
_	業	の							ド判で39,000部印	· · · =
	目的	実現のため	かの	配布	方法等 日刊紙 6	紙に新聞折り込み。新聞	閉非購読者用とし	て, 市	内公共施設等45か所に約	2,700部を配置。
	手段及	ひ実施を	内容		約190	部市内郵送。				
			指標名	※/テ	立₹ 米h					
		/+ m / = 1				亚代 4 6 左连 4 章体 5	TH 4 7 F F	r	<b>元代 4 0 左连 4 □ 左</b> 5	亚代 4 0 左座 4 豆坪 5
		結果指標				平成16年度(実績)	平成17年度(		平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
		(1)	指標値	3	88,500部	38,500部	39,000	部	40,000部	40,000部
アウト	プット		単位コスト	31.4	2円/1部あたり	29.77円/1部あたり	26.85円/1部を	あたり	26.5円/1部あたり	26.5円/1部あたり
指	L.		指標名	発行.	ページ数		I			
,,,	1235	結果指標				平成16年度(実績)	平成17年度(	宝績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
						, ,	-		, ,	
		(2)	指標値		544,000ページ	5,544,000ページ	5, 616, 000~°-	ーシ	5, 760, 000ページ	5, 760, 000ページ
			単位コスト		5.24円	4.96円	4.48円	]	4.4円	4.4円
2 事	業成績	果(アウ	トカム)							
		対	象	市民						
事業の	- 44	<del>}</del>	」 バ ー 率	÷+ #	*/ <sub>1</sub> */ <sub>2</sub> \ 0.7	0.45 ## \$ \$ \$ \$ \$	7 (h) 27 04	4 L TTP-HT.	LL *** (b . a) 0/	1000/
			) 八 - 平	XI 3	<b>で数(a)</b> 31,	945世帯 受益数	( (D) 37,94	45世帯	比率 (b ÷ a) %	100%
対 象·	恵 凶			①#·	からの情報を得る	アレにトの行動サービュ	スが母女でキ サ	小や麻	史情報を見聞きすること	で古への信韬や悉差な
		意	図						文情報を兄闻さりること への参画方法を選択でき <sub>、</sub>	
		(対象を	主語にして)			·/// (12/10 C 12/2/2)		- 11-50	> HW M C W / C C	₩ U
									タイムリーに伝達するこ	
大	き	な	目 的	サー	ビスを受益する権	利を守る。③市の歴史,	また市内在住の	著名人	・文化人へのインタビュ	一記事や寄稿文を掲載
	C	·&	רו וו					分の情	報を提供し交流できるコ <sup>、</sup>	ーナーを継続的に確保
			11K 17F 1			加することへの関心を浴	Fめる。			
			指標名							
		中間成果	考え方・式	対象	カバー率(受益数:	-対象数)				
		指 標	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(	実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
アウト	カム		指標値		101. 22%	100%	100%		100%	100%
指	標				, .	理解度及び満足度)			•	•
20	1क					果(16年度実施)ほか、 3	*ロズの古足の問	11.14.	<b>北</b> . 咸相	
										正式40年度10年
		指標	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			平成16年度(実績)	-	<b>天領)</b>	1111	平成19年度(目標)
			指標値	L	不明	7 3 %	不明		80%	80%
				①毎月	月1日号の8面に「	市民のひろば」を設け、市	民の催し等を告知	したり	写真や意見を投稿できるス〜	ペースを確保している。
芦屋市	の特色	色など補具	足する事項	②毎	月1日号8面及び	15日号4面のいずれも7	下一段に「有料広	告」の	スペースを確保している。	
	. , , ,		J F-X						し、本市への愛着等について	
2 由3	<b>兴</b> 建	シエチャボコ	/\(\n-\n-\)	<b>一一一一</b>	, . H . O LL C - J - J	・ /・左ッ八」と定戦。戸庄				
			分(コスト	)		I = 10 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1	1世帯当り(円)			平成18.4.1 住民基本台帳
事	業		構成%	半成	15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(	決算)	平成18年度(予算)	
	人	件費	40.6%		15,130	10,183	1	10,193	-	
	事	業費	59.4%		13,902	17,325	1	14,940	17,916	
内 訳	他部	門経費	Î						-	
		道却費								
(11)					00.000	07 500		E 400		
	合	計			29,032	27,508	2	25,133	-	
	国	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・								
財 源	市	債 等	F							
(千円)		の 他	+			1,200		1,200	600	
( , , , ,		設財源			29,032	26,308		23,933		
:I #4						·	2	•	•	
	職	員		ļ	1.60	1.10		1.10	•	
		, 臨時等	.+		0.50	0.00		0.00	-	
(人)	合	計	100.0%		2.10	1.10		1.10	•	

4 評价	西(チェック)				
評	価 礼	見 点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
	目的妥当性	(2 ~ 2)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	日的女司注	.(2 ~ 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
			□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2~	2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
			□ いずれにも該当しない		
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	6	6
	市民ニーズ	(2 ~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない, または未把握		
性			☑ 数字で把握している 市民アンケート調査(平成16年度)結果 読んでいる73% □ 未把握	_	
8点	社会環境変	化(1~ 1)	<ul><li>☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している</li><li>□ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要</li></ul>		
		<u> </u>	内容 環境に配慮した,紙・インクを使用。記事も市民,時代の要望に応じた内容に努めている。	_	
	優先性,緊急		□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる	+	
有	対象カバー: 受益者(1~	,	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い □ 東光寺岡上平洋本代末教会、または平洋が、郊に四字	-	
н	文画省(17	1)	<ul><li>☑ 事業意図と受益者は整合している</li><li>□ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定</li><li>☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している</li><li>□ 実績値または目標値が未記入</li></ul>	۱. ا	
効	成果の実績	(2 ~ 1)	□ 中间成果指標の実績値を拒獲し、自標値を設定している」 実績値なたは自標値が未能人  ▼ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	4	4
性			成果があがっていない場合	-	
4点	- 成果向上余	地(1~ 1)	□ 成果向上策あり □ 特になし		
17111			□ 比較できる団体がある 団体名 三田市 □ 比較できる団体はない		
			□ 他団体の数字を把握している 単位コスト 1.25 円/ページ □ 把握していない		
効	単位コスト(1	l ~ 1)	┃		
			高い、または低い場合の理由 芦屋市 0.76円/ページ(平成17年度決算見込み額で算出)		
	平分本名和	(0 4)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない	7	
率	受益者負担	.(0 ~ 1)	□ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直U不能 □ 徴収可能)	2	2
-4-			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		_
	手段(1~ :	3)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	J +X(1 ,	3)	☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性			☑ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点	コスト削減取	双組(1~ 1)	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		
		,	→ 内容 紙質の検討。投稿・寄稿謝礼の廃止に伴い、取材・インタビュー形式に変更。有料広告の掲載:	<u></u>	
平成1	6年度の記	平価内容	☑ A		
及 び	改善の	方向性	<mark>│ 評価結果</mark> │		
(評価力	がない場合は	記載不要)	B IT CANAD		_
			①より読みやすい広報紙をめざす     ①広報記事本文の文字を大きくする。	A	A
平成実施	1 8 年 する改	度に	②有料広告掲載基準の見直し 改善②有料広告を増やす。		
美 施	9 6 以	善内谷 道 )	では、		
	~ ,	,	自由に閲覧できるようにする。		
5 今後	後の対応(ア	クション)			
			①各課からの広報記事掲載への要望が年々増加傾向にあり、ページ数を増やす等の検討が必要(※現人員:		
現 在 記	認識してし	1 る 課 題	②高齢化社会の到来を意識し、広報本文記事の文字を現在より1ポイント大きくし、より読みやすい紙面		
+0 86	3/5 2 + 0 8	<b>に</b> せのない	③行政情報だけでなく、本市への愛着が深められるような特集(歴史・史跡案内、文化・人の紹介)記事を掲載してい	く必要かる	かる。
からの		係有の名称	市民(窓口に来られた方や電話での聞き取り)		
要望	意見,	要望内容	・芦屋の歴史や文化・史跡等についてのまとまった情報を発信してほしい。  ・個人で参加できる催し物などの記事を楽しみにしている。		
女主	ਚ				
	(1)	対応内容	市ホームページで、「広報あしや」創刊号から現発行分までのデータを閲覧・検索できるようにする		
		実施期限	平成 18 年 6 月		
課題·要	望等	***	市ホームページで、「芦屋市史」及び資料編と、広報課発行の写真集「芦屋今むかし」及び「芦屋の	うつりかれ	わり I
	(2)	対応内容	を閲覧・検索できるようにする		_
へのす	対応	実施期限	平成 18 年 6 月		
		対応内容	「広報あしや」に,年1回か2回程度の特集を組み,芦屋の歴史や文化・史跡等についてのまとまった。	た情報を	発信し
	(3)	×1,041,1	ていく		
		実施期限			1.1.
41			広報紙や市史等のデジタル化により、それら資料の閲覧・検索が可能となったので、市民ニーズの高い	ハものは	丁内印刷
	きえられる				
以 善 (	カアイデア	,	<b>人 4. 0. + 白.</b>	+ 435±±7±	2.25 to /#
			今後の方向性 本市への愛着がいっそう深まり、すべての市民が誇りを持ってこのまちに住み続けていける 拡大・充写		2次評価
			ような情報を発信していく。 現 状 維 非		<b>⊙</b>
				§ ○	0
平成 1	9~21年度	の方向性		_	0
	- 1 12			<u> </u>	0
			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	_	0
			廃止/休」	_	0
2 次 評	価 委 員 会	コメント			

,	60 =	лис v	= 114	- 1	15440	000					÷17		1.6		I+m :
( —	般事	(業)	事業	J - 1º	5110	030					部	長	次	長	課
₩ =	ኒ 17 ኗ	主由	車	業 名		ムページの制作									
<del>+</del> D	χ 17 <del>1</del>	十反	<b>→</b>	未 仁	\text{\tint{\text{\tin}\text{\ti}\\\ \tint{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\ti}\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\tex{\tex	ムベーシの向if									
					1										
1	事業	【概】	要(ドゥ)												
第3	次芦	屋市	まちづ	くりの目標	5	市民と協働してつ	くる自	立した行政基盤	づくり				総務部		
	·//、 合 討		<u> </u>	中	_	市民と行政の協働					所	管 課	広報課		
								ムの天気			**			as d	
以 5	策施	東		小	1	情報公開の推進					所 管	課長氏名	久堀 勇	泛次	
体		系		細							記入	、者 氏 名	浅野 台	子	
事		業	1	朝 間	亚战	10年4月~		経常臨時	☑ 経常 □	胎性		話 番 号			内線 2113
	±6n							产 市 世間中寸	口 性市 口	開出中土				200	7 1 1 2 1 1 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	拠	法	令 ·		なし						実	施主体	巾		
実		施	=	手 法	$\overline{\mathbf{V}}$	直営	<b>▽</b> −	一部委託	□ 全部委託			補助金		負担金	
委			託	先	П	外郭団体委託	名称			✓ 民間	季託	委託内容	更新等業	終	
						ムページを通じて		この信却発信する	ムレレナル 市						
			_	int -		ム・フを通じて	11500	フックIFFK元Iロ 7 's	) C C O(C, 1 )	r 17  - (C)	(王川) (	1 IX ) W	0		
事	3	Ě	の	概 要	ŧ										
					ホー	ムページの新規作	成 (34	4.9ページ) 耳	新 (1 82	1ページ	>)				
-	21	ıı	•	TD 319							,				
事		É	の			セス件数 年間2							.,		
	E	目的复	実現のた(	めの	アク	セス元別件数 個	人19	7, 496件 🗹	È業24,96	3件 教	育機	関5,38	1件		
	3	FEGT	び実施	内容		行	政機関	16,045件	外国4.19	2件 そ	の他・	29. 57	1 件		
								比べ,外国・そ							
				II	<u> </u>		十円に	ル·, 7四・て	▽/匝//・りリナク	・レク計	双で防	で相別し	· ^ へ。		
				指標 名											
			結果指標	年 度	平成	15年度(実績)	平成 1	6年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成	118年度	(目標)	平成 1	9年度(目標)
			(1)	指標値		63,216件		3, 166件	277, 6		9	300,00	0 0 件		0,000件
		w L	(1)		1				-					02	
	トプ			単位コスト		14. 3円		47.8円	33.9	7 円		3 2 円			30円
指		標		指標名	新規	作成ページ及び更	新ペー	ジ数							
			結果指標	票 年 度	平成	15年度(実績)	平成 1	6年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成	118年度	(目標)	平成 1	9年度(目標)
			(2)	指標値		217ページ	1	767ページ	2, 170	ページ	2	2. 400	°°	2	400ページ
			(2)												
				単位コスト	. 2	23,949円	ь	, 582円	4, 33	3円		4, 000	)円	4	, 000円
2	事業	成身	具(アウ	トカム)											
				-	1. 1	- ^				W. 2 . 2 . 3	/=-/·!	W 1111 646			
			対	象	市内	のパソコンを持つ	世帯及び	グ芦屋市に感心の	つある個人,企	業または	行政权	幾関等			
<del>=</del> 211	<u> </u>	7 44	<u> </u>	L 11° <del></del>	- <u>-</u>	z		₩ ₩	. (1)	0.46	/rl-	11. <del>11.</del> //	\ 0/		
				カバー率	± XJ ≷	R 数 (a)		受 益 数	( (D) 277	, 648	14	比 率 (b	÷ a) %		
対象	良・意	意 図			+	nd 1.0 mm	til m de a	いきより 十. a	、	J+	The .	5 45 4n 2 8 184		<i>≱.</i> → Ы	の 1 12 世 巳 土
			意	図	円氏	のホームページの心を高め、訪問し	利用及り	ひ尚まり、 巾への	711 関感もめい	まつ(巾	吸への	り参加か瑁	える。 ま	/こ, 四夕	の人は戸室巾
			(対象を	主語にして)	に関	心を高め、訪問し	にくなく	ວ.							
			(X)3(C	<u> </u>											
						16									
大	5	<u> </u>	な	目 的	市民	がまちへの愛着,	市への作	言頼を深め、市政	女への参加・参	画の活動	が推立	進される。			
				指 標 名	ホー	ムページ利用・満	足度								
			中田出	考え方・式											
				0.110 1.	1			5. 左京《京体》		(中体)		·		I — - » .	
			指 標		_	15年度(実績)	平成1	6 中度(美績)	平成17年度	(美績)	半月	118年度	(日標)	平成1	9年度(目標)
アウ	ナトナ	カム		指標値		不明		不明	35.8	3 %					
指		標				セスした人の情報	への理師	解度及び満足度	•						
			是级武田	考え方・式		き込みフォーム」			見を問く (半宝	<b>歯)</b> — 「	**	込み」件数			
														TT -12	0.F.E. ( D.E.
			指机			15年度(実績)	平成1		平成17年度	(美績)	半月	118年度	, ,		9年度(目標)
				指標値	<u> </u>	不明	1	不明	不明			2001	牛	1	200件
														•	
世투	まる	1 生 台	a かど油	足する車項	20	歳~39歳の市民	0550	%がホー ^ ペー °	シを利田! アヤ	n file	オスな	E齢屋にナ	きか羊が	あス	
广埕	בווי 0.	ᆟᆉ	うると神	たりる事点	, J U	////////////////////////////////////	v	1011-W. 71.	・でか用してわ	シ <b>,</b> 不り/1:	17 DI	一回り間 (一人	c は左か	w) a) o	
3	事業	費・	活動配	分(コスト	)				1世帯当り(円)	236	住民1	人当り(円)	103	平成18.4	1.1 住民基本台軸
事		業		構成%	<u> </u>	,15年度(決算)	平成 1	6年度(決算)	平成17年度		_	1 8 年度	(予算)		
		1		_	+	3,550		8,068		6,879	, ,,,				
		<b>一</b>			1		-			-			0.000		
		事	業		o	1,647		3,563		2,524	<u> </u>		2,633		
内	訳	他部	門経費	ŧ									-		
(千	円)	減価	償却費	ŧ									-		
` '		合	<u> </u>			5,197		11,631		9,403					
					V	J, 181		11,001		J,7UJ					
		国	, ,												
財	源	市	債 等	争											
(干	円)	そ	の ft	也 30.9%	6			2,520		2,910			1,620		
(	_		<u>~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~</u>	_	_	5,197		9,111		6,493			.,0=0		
				_1	+	•		•					•		
活	動		Ē		ó	0.20		0.90		0.75			-		
配	分	嘱託	・臨時等	9.0%	0	0.50		0.00		0.00			-		
	( )		ŧ	-		0.70		0.90		0.75					
/	· /	_	R	100.07	"	0.70		0.00		3.73					

4 評价	西(チェック)				
評		視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
	目的妥当性	±(2 ~ 2)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	בובעניום	E(2 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
			□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2~	2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
			□ いずれにも該当しない		_
当	<u> </u>	*(0 1)	□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	6	6
Ast.	市民ニース	(2 ~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把握 □ 数字で把握している 277,648件(年間アクセス数) □ 未把握		
性 8点			□ 数子で把握している 12/7,040円(中间アクセス数) □ 木把握□ 本把握□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要	_	
om	社会環境変	变化(1~ 1)	内容 レンタルサーバーを活用し、各課からの情報量に対応しながら、アクセス時間の短縮を実現した。		
	優先性,緊	急性(1)	□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる	2	
		·率(1~ 1)	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~	1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
効	成果の実績	<b>≛</b> (2 ~ 1)	□ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	0	0
	72.7 V X M	R(Z 1)	▶ □ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	U	U
性	- 成果向上统	ミ地(1~ 1)	成果があがっていない場合		
4点			□ 成果向上策あり □ 特になし □ 特になし		
			□ 比較できる団体がある 団体名 阪神各市他 □ 比較できる団体はない □ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない		
効	単位コスト(	1 ~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト [ 10 15 15 16 17 17 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18		
743			高い、または低い場合の理由		
		7(0 ()	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
率	受益者負担	⊒(0 ~ 1)	│ └▶ □ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能)	-2	-2
<del>*</del>			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	-2	-2
	手段(1~	3)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	3 +×(,	0,	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点	コスト削減〕	取組(1~ 1)	☑ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない ➡ 内容 要託業務の内容を精査し、比較的容易にできるものについては広報課で対応		
平成1	6 年 度 の 改 善 の	評価内容	□ A 平成17年度に実 ☑ 改善し,効果を得た		
(評価が	改善の がない場合は	万 问 性 (記載不要)	□ D 性 □ □ 以音じにパ゙, 刈木パ゚゚ム □ ねかっ		
( 41 114 15			た   総合	В	В
亚 成	1 8 1	主度に	バナー広告の掲載で増収を図り、市に関 引き続きバナー広告を募集する。 評価		ט
実施	1 8 g する改	善内容	課題 する多くの情報を公開していく。		
(	必	須 )	境に応じた対応を行っていく。  引き続きホームページの内容を充実させる。		
5 今後	後の対応(ア	7クション)	Jan 78 a 13 d a a 17 a		
			バナー広告の収入増		
現在:	忍識して	いる課題			
	係者 市民, 関	関係者の名称	議員		
からの 要 望	<sup>恵 見</sup> 意 見 ,	要望内容	市長提出議案の内容等公開		
女 宝	<del>寸</del>				
	(1)	対応内容	過去から現在までの広告主の一覧を作成、利用のお礼と継続して広告してもらえるよう訪問活動を行う	0	
	,	実施期限	平成 18 年 9 月		
課題·要	望等	対応由家	市長提出議案一覧のホームページの新規作成。		
	(2)	XI/UVYA			
へ の ゔ	付 応	実施期限	平成 18 年 6 月		
	(2)	対応内容	ホームページに対する市民の意見要望を聞く「書き込みフォーム」を設定する。		
	(3)	中作4079	T. 1 0 /E 1   H		
		夫他期限	平成   19   年   1   月   各課にホームページに掲載するべき内容をさらに検討してもらい、情報の充実を図る。		
その他	考えられ	გ	ホームページ作成ソフトの貸し出しにより、多くの職員が活用してホームページを充実させる。		
	カアイデ		ホームページに対する市民の意見要望を聞く「書き込みフォーム」を設定することにより、市民参画を	:めざす。	
			今後の方向性	1次評価	2次評価
			年々市民のニーズが高まっており、今以上に様々な情報をタイムリーに発信する必要が 拡大・充実	•	0
			出てきている。増え続ける情報をタイムリーに発信するためには各課が所管の内容につい <mark>現 状 維 持</mark>		0
			てホームページ作成ソフトを用い、入力及び更新を行い、公開にあたっては広報課で行う 方法 改善		<b>●</b>
平成 1	9~21年度	きの方向性	方式を徹底させる。このため、必要な課にホームページ作成ソフトを貸し出し、広報課で 民間委託等		0
				0	0
			広報課としては、市民からの書き込みが可能な設定をして、そこに出された市民の意見 統合/終期設定		0
				• \ /	$\sim$
			を所管課に伝え,回答するという公聴活動の側面を持つように検討する。		
2 次 評	值 委 員 会	ミコメント	を所官様に伝え、回答するという公聴活動の側面を行うように検討する。		

/	் க	<b>ж</b> /	<b>事 米</b>		•   5400	0040			÷n ⊨	1/2	Elan E
( — ;	般事	兼)	事業	<u> </u>	5120	010			部長	次	長課長
平成	) 17 {	王度	重	業を	広聴	<b>学</b>					
1 /3%	C 17 -	T 152	<del></del>	* -	1 12410	<del></del>					
1 1	电光	- <del>1</del> 07 3	五(じょ)								
			更(ドゥ)	/ to = 17 17	-1	L. D. Library	) =	a + 1-	1	40 76 An	
			まちつ	くりの目標	5		くる自立した行政基盤	づくり	所 管 課	総務部	
総言	合 討	画		中	1	市民と行政の協働	]システムの実現		//I E B/F	お困りて	です課
政章	策 施	策		小	2	市民参画の推進			所管課長氏名	米田ヒロ	1子
体		系		細	_				記入者氏名	米田とロ	1子
事		業	-		4-177	1 5 7 7 7 7 2 2		□ (vz ≥ 4 □ m + m +			
						15年7月から	経常臨時	☑ 経常 □ 臨時			内線 5401
	拠	法	令 ·	要綱等	芦屋	市市民の声処理要	紿		実 施 主 体	市	
実		施	=	手 法	<u> </u>	直営	□ 一部委託	□ 全部委託	□ 補助金		負担金
委			託	<b></b>	П	外郭団体委託	名称	□ 民間	間委託 <mark>委託内容</mark>		
							<ul><li>Eメール等で寄せられ</li></ul>				<ul><li>・ていわい・迅速」</li></ul>
-	24	ı.	•	107 ==							(1,444, 1778) (5
事	美	Ē	の	概 要	柯心	し、甲氏の息兄寺	を市政に反映させ,市民	たに中政を身近なものと	: 挺え(いたにく)	0	
					市民	から窓口・電話・	Eメール等での相談受付	付件数3,708件中,苦情	・要望・意見等な	ぶ980件	
事	当	Ě	の	現 状	苦情	<ul><li>要望・意見等の</li></ul>	については、各担当課と	・連絡調整し迅速に対処	しする。		
			ミ現のたる				集計は庁議報告のうえる				
								, , ,	- ・こ1円/王) の	U	
	=	トド文人	が実施に	小台	ム報	めしてで集計等を	報告し市民への啓発と協	か刀安雨を仃り。			
						相談内容別総件数					
			結果指標	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度	(目標)	平成19年度(目標)
			(1)	指標 値	i	3,942件	4,613件	3,758件	3, 60	0件	3,500件
アウ	トプ	ット	, ,	単位コス	_	·	·	·	·		
指	, ,	標				・要望・意見等受	 		1		
314		ੀਲ	/+ m +r +a					亚代 4 7 左座 / 中华 >	亚产4.0左连	/ D +# \	立代10年度(日標)
			結果指標		_		平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度	• •	平成19年度(目標)
			(2)	指標 値	1	1,376件	1,205件	980件	9 2 0 1	牛	880件
				単位コス	`						
2	事業	成月	見(アウ	トカム)							
			対	豸	市政	に対する苦情・要	望・意見の件数				
車型	ŧ Λ E	目的	対 象 :	カバー 幸	र रेत ई	を数 (2) 3	758件 受益数	(b) 980件	比 率 (b	· a) %	26.1%
対象			<b>V) SV</b> /	J /\ <del> </del>	- V1 S	χ (α) 0,	7 0 0 H Z E Ø	(b) 300H	10 + (b	- a) 70	20.170
X1) 3	K ' .E	己思		_	市政	に対する芸情・要	望・意見をもっている†	「民が それらを解消す	たけ市政いに反	映するこ	とにより 市政を身近
			意	<u> </u>		のと感じ満足する		· • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	(721011110)(1-10)	,,, v =	21-007, 1100, 231, 22
			(対象を	主語にして)							
					<i>(1</i>				1.17 - 7// 2 22	n = 14	
大	큳	5	な	目 的		と市民の協同によ	る活気あるまちづくりか	済実規し、市民に愛され	1、 市民の誰もが	住み続け	たいと思う芦屋市とな
					る。						
				坛 煙 夕	*	・要望の減少度					
			<b>₼</b> 88 <b>#</b> F			年比率一0.5%					
				0.110	<u> </u>		正式4.6年度(克)(株)	五世4.7年度《南结》	T = 4 0 5 5	· □ # \	
			指標					平成17年度(実績)	平成18年度		平成19年度(目標)
アウ	ナトフ	ם ל		指標値		34.9%	26.1%	26.1%	25.6	%	25.1%
指		標		指標 名	3						
			最終成果	考え方・式	ò		<del></del>				<del></del>
						15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度	(目標)	平成19年度(目標)
			1/	指標値							
						の声に 朝却・てい	 ねい・迅速をモットーに対	  広する誰レトア「セ国ロ	▼十課」が記案と	カ 古足い	  -   - 
	~	\ #± ^	5 +> 12 ++	ロナッキャ				J心りる味くしく「ねMり	、,味」 パ取担さ	40, IIIEC	-1×20 している。 日角の
户屋	ф О.	汁守セ	となど補	正96事項	が出力す	なことも巾への意	見として届いている。				
3 }	事業	費・	活動配	分(コスト	)			1世帯当り(円) 363	住民1人当り(円)	159	平成18.4.1 住民基本台帳
事		業	責	構成%	平成	15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(決算)	平成18年度	(予算)	
		,	件	80.69	<b>%</b>	12,936	12,002	11,645		-	
	1	<u></u> 事	業			41	2,101	2,803		2,812	
ф		-	門経費		~	41	2,101	2,000		2,512	
内ィ											
(+	_		償却費							-	
	_	合	ħ		6	12,977	14,103	14,448		-	
		国	·								
財	源	市	債 等	<del></del>							
(千	円)	そ	の ft								
`	_		9. 財源		6	12,977	14,103	14,448			
迁	動		<u> </u>			0.82	1.14	1.14			
活			·臨時等		10			1.14			
配	_			_		0.41	0.14				
(人	( )	Ħ	ŧ	100.09	6	1.23	1.28	1.14		-	

4 評价	西(チェ	(ック)					
評	価	視	点	評価チェックリスト		1次評価	2次評価
	日的		2 ~ 2)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに終	交ることができない		
	Ппа	女当正(	2 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、また	は高くない		
				□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき,またに			
妥	市関	与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがさ —			
				☑ いずれにも該当しない		4	4
当	<b></b>			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて		4	4
44	市民	ニーズ(2	2~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言え			
性				☑ 数字で把握している 総件数3758件/年間。苦情要望:980件/年間	□ 未把握		
8点	社会	環境変化	<b>七(1~ 1)</b>	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している	)でに見且しか必要		
		性,緊急	性(1)	内谷 : 私去環境の支化に応じて、11以音工作談号を17なりている			
			×(1~ 1)		カバー率が低い		
有		者(1~	, ,	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受			
効		の宝装が	2 ~ 1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している◯ 実績値または目標値か	「未記入	1	1
X/J	0.未	の夫領(	2~ 1)	▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があが	っていると言えない	4	4
性	- 成里	向上全t	也(1~ 1)	成果があがっていない場合			
4点	13.671	1777	5(1 1)	□ 成果向上策あり	□ 特になし		
				☑ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない			
効	単位	コスト(1	~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 世紀は、日本の数字を把握している □ 世紀は、日本の数字を把握している □ 世紀は、日本の数字を記する □ 世紀は、いって、			
X/J				□ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコー高い、または低い場合の理由	人「か高い		
				同い、または10kの12gmの注由 □ 負担を求めることができる事業である			
	受益	者負担(	0 ~ 1)	□ 見言と示めるととが ととる事業とのる □ 見言と示める に事業とはない □ 見 現在、適正な負担あり □ 負担なし、過少 (□ 徴収不能・見直し不能	_	4	^
率				直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		1	0
	-C EN	/4 0	<b>\</b>	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が	担うべき部分がある		
	于段	(1 ~ 3)	)	<ul><li>□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である</li><li>□ 民間(企業, NPO等)で</li></ul>	対応可能である		
性				☑ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対	応可能である		
3点	コス	卜削減取	組(1~ 1)	☑ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない			
			( ,	→ 内容 業務の一部を派遣職員により対応している。			
平成1	6 年 度	きの評	価 内 容	□ A <mark>平成17年度に実</mark> ☑ 改善し,効果を得た			
及び	改善	0 7	価 内 容 方 向 性	評価結果	改善し		
(計1四万	いないエ	易合はま	记載不要)		なかっ <u>た</u> 総合		_
				市民から寄せられた意見等に対する市のホームページ開設。	評価	Α	В
半 成実 施	1 すっる	8 年	度 唐 内 容	<mark>異題</mark> 対応を公表する。 <mark>改善</mark>			
(	必必	須	į , <u>,</u>	内容			
5 4	<del>* ~ 11</del>	÷ / → /	<b>5</b> 5 . 3 . 3				
5 7712	をいり	心(火火	フション)	芸情・要望・意見の中に、本来、個人の責任で解決すべきものを行政の責任として市に寄せら	カアノスものが多い 2	これにた東	大田 1
租 在 1	刃 訛	, T 1.1	ろ 課 題	5日・安全・息光の下に、本末、個人の真正で解入すべるものを行政の責任として印に寄せり 5日の役割や協力についての啓発が必要。	10C(200)119V.	- 4いりを当	至注 し
->t 11 1	NO. HEW .	J C V.	6 IN AC.	TO THE TENTE OF THE TOWN AND AS			
市民,関	係者市	民,関係	系者の名称	方に対し苦情・要望・意見等を挙げた市民			
からの	意見	F 🖯 📑	15 日 中 宏	Fに対する苦情・要望・意見等がどのように処理されているか見えない。			
要望	等 <sup>怎</sup>	3.兄,3	女堂内台	1に対する古頂・安全・息兄寺がとりよりに処理されているが兄んない。			
			対応内容	トームページを開設する。お困りです課の業務の周知と,寄せられた意見等に対す	よる市の対応を公表す	·る.	
		(1)					
	÷= //		実施期限	Z成 18 年 月			
課題·要	望寺	(2)	対応内容				
へのす	서 応	( 2 )	実施期限	型成 年 月			
. 0,	., ,			74 1 24			
		(3)	対応内容				
			実施期限	Z成 年 月			
その他							
改善の	カア 1	(デア					
					今後の方向性		
				<ul><li>一ムページを開設によりお困りです課の業務周知と、寄せられた意見等に対する市の対応を公表する</li></ul>	312 / /0 /		0
					現状維持		0
亚成 1	9 ~ 2	1 年 度	の方向性		方法改善 民間委託等		<ul><li>O</li></ul>
1 13%	, ,	· 十 /文 '	~> /J  -1  ±		縮小		0
					統合/終期設定		0
					廃止/休止		0
				A CONTRACTOR OF THE PROPERTY O			
2 次 評	価 委	員 会	コメント	インターネットによる情報の収集や課題解決の提供(公表)を行ない,市民の要望 んださい。	Eに迅速に対応できる	ようにタ	<b>些めて</b>

( —	般事	<b>禁</b> /	事業	コード	61100	010				部長次	長課長
(	NX <del>T</del>	* )	<del>7</del> *	<del>- '</del>	01100	010					及 脉 及
平月	戊 17 年	∓度	事	業名	市民	相談に要する経費					
1	事業	概要	更(ドゥ)								
				りの目標	6	その他の業務					FIS .
	合計	-		<del>,,,,</del> 中		サービス提供業務	:			昕	··· 0 です課
	策施			<u>/ \</u>		サービス提供業務				所管課長氏名米田	- 7 771
	來 心	- 1		•	1	ケート 一人 佐 州 未依					
体		系		細						記入者氏名米田	
事		業	期				経常臨時	☑ 経常 □ 蹈	<b>点時</b>	<mark>電 話 番 号</mark> 38-54	l01 内線 5401
根	拠	法	令 ' 引	更綱 等						実施 主体市	
実		施	≢	法		直営	☑ 一部委託	□ 全部委託			□ 負担金
委		,,,,	託			外郭団体委託	名称		7 民間		及び家事の専門相談業務
			но	70							整理等の司法書士による
	SIL.	14		107 ===							
事	弟	Ę	の	概 要							いての行政相談,遺言書
								が無料相談の実施	極及び市	職員による日常生活の	相談等姿勢相談の実施。
					・弁	護士法律相談 毎	週木曜日 1日6名	(要予約) ・司	]法書士	法律相談 每週金曜日	(当日受付)
事	詳	Ě	の	現 状	・家	事相談 毎週水曜	日 1日4名 (要予約	的) 家庭裁判所調	間停委員	による相談	
	E	自的重	<b>運現のため</b>	00	• 公	正証書相談 毎月	第2火曜日 公証役場公	な証人による相談	Ę .		
			び実施内				水曜日 行政相談委員に				
	7	+X/X					小曜日 17政府政安員に 時間中 市職員による村				
		-		+K += -							
							問題, 問い合わせ) の作				
			結果指標	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(	実績)	平成18年度(目標	) 平成19年度(目標)
			(1)	指標値		2,704件	3,408件	2, 778	件	2,700件	2,620件
アウ	ナトプ	ット		単位コスト				4,023円/作	‡		
指		標			専門	相談(法律・家事	- 相談等)の件数				ı
711			結果指標				平成16年度(実績)	平成17年度(	宝績)	平成18年度(目標	) 平成19年度(目標)
					十水						
			(2)	指標値		499件	470件	711件	•	720件	720件
				単位コスト							
2	事業	成县	具(アウト	<u> カム)</u>							
			<del></del>	4	口烘	<b>上江にナナがナ</b> エ	明明なめミテハマ十戸				
			対	家	口吊	生活にさまさまな	問題を抱えている市民				
事業	¥ の F	目的	対象カ	バー率	対象	t 数 (a)	受 益 数	(b) 4.7	7 0 人	比 率 (b ÷ a)	%
	象:意	-					<del>~/</del>	- ( - /		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
V.] =	o\		音	[JV]	日常生	生活にさまざまな	問題をかかえている市民	見が,一人で悩む	ことな	く各種市民相談を受け	ることで, 問題解決の糸
			意 / <del>**</del> *会を1	凶	口を	つかみ、問題解決	に向けての手助けを得る	· .			
			(刈家を3	E語にして)							
大	ð	Ē	な	目 的	問題	を抱えた市民が減	少することで,市民生活	らひいては市が健	全で活	気あるものとなる。	
				指標 名	市政	相談(日常生活の	相談、問い合わせ)件数	女の減少			
						年比減少率					
			指標				平成16年度(実績)	平成17年度(	実績)	平成18年度(目標	) 平成19年度(目標)
<del>.,</del> -	4		1分 1分		1-13%	・ラース(大根)	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	一九八十八十八八十八八	人順月		3%
	ウトナ			指標値						3 %	პ %
指		標		指標名							
			最終成果	考え方·式							
			指 標	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(	実績)	平成18年度(目標	) 平成19年度(目標)
				指標値							
											•
古尼	≣市σ	)特包	など補見	する重酒							
芦厚	屋市の	特色	など補足	2する事項							
								4 III III VI	-	A Division	
3		費	活動配金	分(コスト	)			1世帯当り(円)	281		23 平成18.4.1 住民基本台帳
			活動配置		)		平成16年度(決算)	1世帯当り(円) 平成17年度(		住民1人当り(円) 1 平成18年度(予算	
3		費	活動配2 費 件 費	分(コスト	)	15年度(決算)	平成 1 6 年度 (決算) 9,040				
3	事業	費	活動配置	分(コスト 構成%	)				決算)		)
3 事	事業	費· 業 人 事	活動配: 費 件 費 業 費	分 (コスト 構成% 78.6%	)	10,100	9,040		<mark>決算)</mark> 8,785	平成18年度(予算	)
3事内	事業	費	活動配置性費費	分 (コスト 構成% 78.6%	)	10,100	9,040		<mark>決算)</mark> 8,785	平成18年度(予算	)
3事内	事業訳作	費業 人事 他 減	活動配注 費費 費 費 費 費 費 費 費	分 (コスト 構成% 78.6% 21.4%	)	10,100 2,512	9,040 2,432	平成 1 7 年度(	<mark>決算)</mark> 8,785 2,391	平成18年度(予算	) - - 31 - -
3事内	事業 訳 (円) )	費業 人事 他 減 合	活動配介費費費買經費費買與	分 (コスト 構成% 78.6%	)	10,100	9,040	平成 1 7 年度(	<mark>決算)</mark> 8,785	平成18年度(予算	)
3事内(千	事業 訳 (円) 流	費業 人事他減 <b>合</b> 国	活動配力費件費費費費費費量量量量	分 (コスト 構成% 78.6% 21.4%	)	10,100 2,512	9,040 2,432	平成 1 7 年度(	<mark>決算)</mark> 8,785 2,391	平成18年度(予算	) - - 31 - -
3 事 内(千)財	事業 訳(円) 派	費業 人事他減 <b>合</b> 国市	活動配2 費費費費	分 (コスト 構成% 78.6% 21.4%	)	10,100 2,512	9,040 2,432	平成 1 7 年度(	<mark>決算)</mark> 8,785 2,391	平成18年度(予算	) - - 31 - -
3 事 内(千)財	事業 訳 (円) 流	費業 人事他減 <b>合</b> 国市	活動配力費件費費費費費費量量量量	分 (コスト 構成% 78.6% 21.4%	)	10,100 2,512	9,040 2,432	平成 1 7 年度(	<mark>決算)</mark> 8,785 2,391	平成18年度(予算	) - - 31 - -
3 事 内(千)財	事業 訳(円) 派	費業人事他減合国市そ	活動配・費費費費費 件業 門償却 関係を要する ・ 債の 他	分 (コスト 構成 % 78.6% 21.4% 100.0%	平成	10,100 2,512	9,040 2,432	平成 1 7 年度(	<mark>決算)</mark> 8,785 2,391	平成18年度(予算	) - - 31 - -
3事内(財代	事業	費業 人事他減合 国市そー	活動配費費費費 件業 経却計県等他 でである。 「関係である。」 「である。」 「である。 「でも。 「でも。 「でも。 「でも。 「でも。 「でも。 「でも。 「でも	分(コスト 構成% 78.6% 21.4% 100.0%	平成	10,100 2,512 12,612 12,612	9,040 2,432 11,472	平成 1 7 年度(	<mark>決算)</mark> 8,785 2,391 <b>11,176</b>	平成18年度(予算	) - - 31 - -
3事内(財代活	事業 訳(円) 1 源(円) 動	費業 人事他減 <b>合</b> 国市そ一職	活動配・費費費費 計県等他 の <b>財</b> 源員	分 (コスト 構成 % 78.6% 21.4% 100.0%	平成	10,100 2,512 12,612 12,612 0.62	9,040 2,432 11,472	平成 1 7 年度(	決算) 8,785 2,391 11,176	平成18年度(予算	)
3事内(財代	事業 訳(円) 1 源(円) 動	費業 人事他減合国市そ一職嘱託	活動配費費費費 件業 経却計県等他 でである。 「関係である。」 「である。」 「である。 「でも。 「でも。 「でも。 「でも。 「でも。 「でも。 「でも。 「でも	分(コスト 構成% 78.6% 21.4% 100.0% 100.0%	平成	10,100 2,512 12,612 12,612	9,040 2,432 11,472	平成 1 7 年度(	決算) 8,785 2,391 11,176	平成18年度(予算	) - - 31 - -

	曲(チェック)	, L	**/T**		
評	価 視	点		1次評価	2次評価
	目的妥当性	(2 ~ 2)	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
			□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
777	士問上(2	2)	□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき,または対応可能である □ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
妥	市関与(2~	2)			
当			☑ いずれにも該当しない ☑ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	1	4
=	市民ニーズ(	2 - 1)	☑ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない □ ニーズが高いとは言えない、または未把握	4	4
性	IPECX(	2~ 1)	□ 二人が同い □ 二人が同いには日れない。または不ら遅 □ 未把握		
8点			□ 対子で記録している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要 □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
om.	社会環境変	化(1~ 1)	内容		
	優先性,緊急	負性(1)	□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
	対象カバー図		□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~		□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定	-	
	,	•	□ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入		
効	成果の実績	(2 ~ 1)	→ 図 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	3	3
性		III co	成果があがっていない場合		
4点	- 成果向上余	地(1~ 1)	□ 成果向上策あり □ 特になし		
			☑ 比較できる団体がある 団体名 近隣市 □ 比較できる団体はない		
	¥ / <del>-</del> 1 /4	4)	☑ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない		
効	単位コスト(1	~ 1)	└▶ ☑ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
			高い、または低い場合の理由		
	受益者負担(	(0 ~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
率	又血甘只正	(0 1)	□ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能)	2	1
+			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		•
	手段(1~ 3	3)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	3 +2(1	· /	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点	コスト削減取	7組(1~ 1)	☑ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
			→ 内容 ボランティアによる無料法律相談(司法書士)を導入した。		
平 成 1	6 年 度 の 評	平価内容	□ A <mark>平成17年度に実</mark> ☑ 改善し、効果を得た		
及び	改善 の	方 向 性	評価結果   施した改善の方向		
(評価な	がない場合は	記載小要)	B II± C IV C IV C IV C IV C IV C IV C IV	_	_
			大津相談の希望が多く、予約が取れない   予約受付時に相談内容をよく聞き、司法   評価	A	A
平 成実施	1 _ 8 _ 年	度に	しの世紀が有い		
夫 他	する改必。	<b>善り谷</b> (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	内容		
		,			
5 今往	<b>後の対応(ア</b> ⋅	クション)			
			さまざまな問題を抱え法律相談を希望する市民が多いが、対応し切れていない。市の財政事情から、回	数を増	やす
現在:	認識してい	1る 課 題	ことはできない状況にある。		
=					
		係者の名称	法律相談の予約が取れなかった市民		
からの	音 自	要望内容	弁護士法律相談はすぐに予約が詰まってしまう。回数を増やして欲しい。		
要望	寺	1		and for the	2 2
	(1)	対応内容	相談内容によっては、司法書士が対応できるものや他機関で受けられるものがあるので、受付時には相聞き適正な振分けをする。	談趣旨	を良く
	(1)	実施期限			
課題·要		大旭柳似			
M M 32	(2)	対応内容			
へのす		実施期限	平成年月		
	(3)	対応内容			
		実施期限	平成年月		
その他	考えられる	5			
改善(	のアイデア	,			
			<mark>今後の方向性</mark>	1次評価	2次評価
			専門相談(法律・家事相談等)の需要は高いが,経費の面もあり回数の増加は見込め 拡大・ 充実		0
			ない。現状を維持しつつ,日常生活に問題を抱えた市民の満足度を得るためには, 現状維持	•	•
			対応する職員に,幅広い知識,情報の提供,心地よい対応が求められる。 方法改善		0
平成1	9~21年度	の方向性	日常の中で常に意識を持って業務にとりくんでいく。 民間委託等		0
			· · ·	0	0
			<u>統合/終期設定</u>		0
			<mark>廃止 / 休止</mark>	O	0
2 14 4-		<b>-</b>			
2 次 計	平価 委 員 会	コメント			

( — #	般事業)	事業	コード	34100	030				部 長	次	長課長
( /	X	<del>7</del> *	<del>- '</del>	0+100	000				III K	. //	IX IIX
平成	17年度	事	業 名	その	他外国人交流支援	等					
1	事業概	要(ドゥ)									
第32	欠芦屋市	まちづく	りの目標	3	人と文化を育てる	まちづくり			rr & +=	総務部	
総台	計画	ī	中	4	市民交流の促進				所 管 課	市民参画	i課 (国際文化担当)
	<b>能</b> 策		/\	1	国際交流の促進				所管課長氏名	水谷 幸	<b>■</b> 雄
体	系		<u></u> 細	'	mprovena · perc				記入者氏名		
事	 業			- <del>77</del> - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> - <del>1</del> 2 - <del>1</del> - <del>1</del> 2 - <del>1</del> - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> 2 - <del>1</del> - <del>1</del> - <del>1</del> - <del>1</del> - <del>1</del> - <del>1</del> - <del>1</del> - <del>1</del> - <del>1</del> - <del>1</del> - <del>1</del> - <del>1</del> - <del>1</del> - <del>1</del> - <del>1</del> - <del>1</del> - <del>1</del> - <del>1</del> - <del>1</del> - <del>1</del> - <del>1</del> - <del>1</del> - <del>1</del> - <del>1</del> - <del>1</del> - <del>1</del> - <del>1</del> - <del>1</del> - <del>1</del> - <del>1</del> - <del>1</del> - <del>1</del> - <del>1</del> - <del>1</del> - <del>1</del> - <del>1</del> - <del>1</del> - <del>1</del> - <del>1</del> - <del>1</del> - <del>1</del> - <del>1</del> - <del>1</del> - <del>1</del>	г <i>Е</i> 4 В -	<u> </u>		II/C II ±			
					5年4月~	経常臨時	☑ 経常 □	品吁		38-2008	
	拠法			なし					実 施 主 体		
実	施		法			☑ 一部委託	□ 全部委託		□ 補助金		負担金
委		託	先		外郭団体委託	名称 精道教育促進協会	:	☑ 民間	委託 <mark>委託内容</mark>	公用文翻	羽
				在住	外国人への支援	•	•		•	•	
事	業	Ø	概 要	(1):	外国語による市政	の情報提供					
_					相談業務等						
						こよる翻訳(市のホーム	ページ・パンコ	フレット	<ul> <li>証明書関係等)</li> </ul>		
事	業	Ø	現 状	. , .		・・・英語 ②パンフレ				1の月団部	7
<b>尹</b>				_							
		実現のため				①日本人からの依頼に					
	手段.	及び実施内	]谷			国人健診の際の通訳依頼		会から外	・国人生徒に対す	る授業の	<b>迪</b> 訳補助等
						『業(英語と日本語で対	応)				
			指標名	公用	文の翻訳(A4版	に換算)					
		結果指標	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成18年度	(目標)	平成19年度(目標)
		(1)	指標値		200枚	120枚	1 2 0	枚	1 2 0 村	文	120枚
アウ	トプット		単位コスト		6,530円	22,416円	24, 44		24, 44		24,441円
指	・ファー標				<u>。</u> 業務回数と通訳派:	/ ' '		-13	,	-, -	,
314	ੀਹ					平成16年度(実績)	亚代 1 7 年度	/ 宇徳 \	亚代10年度	(日插)	立式10年度(日播)
		結果指標							平成18年度	• •	平成19年度(目標)
		(2)	指標値		35回	40回	42 🗆		45回		45回
			単位コスト	3	37,314円	67,250円	69, 83	3 円	65, 17	8円	65,178円
2 4	事業成:	果(アウ	トカム)								
		対	会	古内	在住外国人						
		λ1	31	1111 37	L L / L   / L						
事業	の日的	11 6 1									
	· • · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	川对 家 カ	バー 率	対 象	<mark>没数 (a)</mark> 1,	789人 受益数	(b)	42人	比 率 (b	÷ a) %	2.3%
対 象	₹・意図		バー 率			<u> </u>					
対象			バ - 率 図			789人受益数用文を読み、また通訳を					
対象		意	図			<u> </u>					
対象		意				<u> </u>					
	マ・意図	意 (対象を <del>3</del>	図 注語にして)	•外[	国人が翻訳した公	用文を読み,また通訳を	そ受けることに	よって,	行政サービス情	報を入手	し利用する。
対 <b>象</b>  大		意	図 注語にして)	•外[	国人が翻訳した公	<u> </u>	そ受けることに	よって,	行政サービス情	報を入手	し利用する。
	マ・意図	意 (対象を <del>3</del>	図 注語にして) 目 的	・外[ ・日	国人が翻訳した公本人と同じ行政サ	用文を読み,また通訳を	そ受けることに	よって,	行政サービス情	報を入手	し利用する。
	マ・意図	意 (対象を3	図 注語にして) 目 的 指標名	・外[ ・日 <sup>2</sup> 外国。	国人が翻訳した公 本人と同じ行政サ 人登録者数	用文を読み, また通訳を 一ビスが受けられること	ご受けることに	よって,	行政サービス情って住みやすい	報を入手生活環境	し利用する。 が図れる。
	マ・意図	意 (対象を な 中間成果	図 注語にして) 目 的 指標名 考え方·式	<ul><li>外国。</li><li>外国。</li></ul>	国人が翻訳した公本人と同じ行政サ 人登録者数 人が住みやすくな	用文を読み、また通訳を 一ビスが受けられること ることにより、外国人の	と受けることに とによって,外 ))定着率が増え	よって, 国人にと 且つ外国	行政サービス情 って住みやすい 人の登録人口が	報を入手生活環境が増えてく	し利用する。 が図れる。 る。
大	き	意 (対象を3 な 中間成果 指 標	図 注語にして) 目 的 指標 表え方・式 年 度	<ul><li>外国。</li><li>外国。</li><li>外国。</li></ul>	国人が翻訳した公本人と同じ行政サー 人登録者数 人が住みやすくな 15年度(実績)	用文を読み、また通訳を 一ビスが受けられること ることにより、外国人の <mark>平成16年度(実績)</mark>	と受けることに によって, 外 ) 定着率が増え <mark>平成17年度</mark>	よって, 国人にと 且つ外国 <mark>(実績)</mark>	行政サービス情 って住みやすい 人の登録人口が 平成18年度	報を入手 生活環境/ 増えてく/ ( <b>目標</b> )	し利用する。 が図れる。 る。 <mark>平成19年度(目標)</mark>
大アウ	マ・意図	意 (対象を3 な 中間成果 指 標	型 注語にして) 目 標 名 考方:式 度 値	<ul><li>外国。</li><li>外国。</li><li>外国。</li></ul>	国人が翻訳した公本人と同じ行政サ 人登録者数 人が住みやすくな	用文を読み、また通訳を 一ビスが受けられること ることにより、外国人の	と受けることに とによって,外 ))定着率が増え	よって, 国人にと 且つ外国 <mark>(実績)</mark>	行政サービス情 って住みやすい 人の登録人口が	報を入手 生活環境/ 増えてく/ ( <b>目標</b> )	し利用する。 が図れる。 る。
大	き	意 (対象を3 な 中間成果 指	図 注語にして) 目 的 指標 表え方・式 年 度	<ul><li>外国。</li><li>外国。</li><li>外国。</li></ul>	国人が翻訳した公本人と同じ行政サー 人登録者数 人が住みやすくな 15年度(実績)	用文を読み、また通訳を 一ビスが受けられること ることにより、外国人の <mark>平成16年度(実績)</mark>	と受けることに によって, 外 ) 定着率が増え <mark>平成17年度</mark>	よって, 国人にと 且つ外国 <mark>(実績)</mark>	行政サービス情 って住みやすい 人の登録人口が 平成18年度	報を入手 生活環境/ 増えてく/ ( <b>目標</b> )	し利用する。 が図れる。 る。 <mark>平成19年度(目標)</mark>
大アウ	ママック さいこう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう しゅうしゅう しゅうしゃ しゃく しゅうしゃ しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく し	意 (対象をきな 中間成果指 標	型 注語にして) 目 標 名 考方:式 度 値	<ul><li>・外I</li><li>・外国。</li><li>外国。</li><li>平成</li></ul>	国人が翻訳した公本人と同じ行政サー 人登録者数 人が住みやすくな 15年度(実績)	用文を読み、また通訳を 一ビスが受けられること ることにより、外国人の <mark>平成16年度(実績)</mark>	と受けることに によって, 外 ) 定着率が増え <mark>平成17年度</mark>	よって, 国人にと 且つ外国 <mark>(実績)</mark>	行政サービス情 って住みやすい 人の登録人口が 平成18年度	報を入手 生活環境/ 増えてく/ ( <b>目標</b> )	し利用する。 が図れる。 る。 <mark>平成19年度(目標)</mark>
大アウ	ママック さいこう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう しゅうしゅう しゅうしゃ しゃく しゅうしゃ しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく し	意 (対象を3 な 中間成果 指 標 最終成果	型 ( ) と ( )	<ul><li>外国。</li><li>外国。</li><li><b>平成</b></li></ul>	国人が翻訳した公本人と同じ行政サー 人登録者数 人が住みやすくな 15年度(実績) 1,793	用文を読み、また通訳を 一ビスが受けられること ることにより、外国人の <mark>平成16年度(実績)</mark>	と受けることに とによって、外 )定着率が増え <mark>平成17年度</mark> 1,78	よって, 国人にと 且つ外国 (実績)	行政サービス情 って住みやすい 人の登録人口が 平成18年度	報を入手 生活環境。 増えてく。 ( <b>目標</b> ) 0	し利用する。 が図れる。 る。 <mark>平成19年度(目標)</mark>
大アウ	ママック さいこう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう しゅうしゅう しゅうしゃ しゃく しゅうしゃ しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく し	意 (対象を3 な 中間成果 指 標 最終成果	性語にして)指表年指表え年標標方・標標点方・標標点方・度値名式度位名式度	<ul><li>外国。</li><li>外国。</li><li><b>平成</b></li></ul>	国人が翻訳した公本人と同じ行政サー 人登録者数 人が住みやすくな 15年度(実績) 1,793	用文を読み、また通訳を 一ビスが受けられること ることにより、外国人の <mark>平成16年度(実績)</mark> 1,745	と受けることに とによって、外 )定着率が増え <mark>平成17年度</mark> 1,78	よって, 国人にと 且つ外国 (実績)	行政サービス情 って住みやすい 人の登録人口が 平成18年度 1,80	報を入手 生活環境。 増えてく。 ( <b>目標</b> ) 0	し利用する。 が図れる。 る。 <mark>平成19年度(目標)</mark> 1,850
大アウ	ママック さいこう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう しゅうしゅう しゅうしゃ しゃく しゅうしゃ しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく し	意 (対象を3 な 中間成果 指 標 最終成果	型 注語にして) 目	<ul> <li>外国</li> <li>外国</li> <li>平成</li> </ul>	国人が翻訳した公本人と同じ行政サー 人登録者数 人が住みやすくな 15年度(実績) 1,793	用文を読み、また通訳を ービスが受けられること ることにより、外国人の 平成16年度(実績) 1,745	と受けることに とによって、外 )定着率が増え <mark>平成17年度</mark> 1,78	よって, 国人にと 且つ外国 (実績)	行政サービス情 って住みやすい 人の登録人口が 平成18年度 1,80	報を入手 生活環境。 増えてく。 ( <b>目標</b> ) 0	し利用する。 が図れる。 る。 <mark>平成19年度(目標)</mark> 1,850
大 ア指	・意図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	意 (対象を な 中間成果 指 最終成果 指	型 (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	<ul> <li>外国</li> <li>外国</li> <li>平成</li> <li>平成</li> </ul>	国人が翻訳した公本人と同じ行政サー 人登録者数 人が住みやすくな 15年度(実績) 1,793	用文を読み、また通訳を 一ビスが受けられること ることにより、外国人の 平成16年度(実績) 1,745	と受けることに とによって、外 )定着率が増え <mark>平成17年度</mark> 1,78	よって, 国人にと 且つ外国 (実績)	行政サービス情 って住みやすい 人の登録人口が 平成18年度 1,80	報を入手 生活環境。 増えてく。 ( <b>目標</b> ) 0	し利用する。 が図れる。 る。 <mark>平成19年度(目標)</mark> 1,850
大 ア指	・意図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	意 (対象を な 中間成果 指 最終成果 指	性語にして)指表年指表え年標標方・標標点方・標標点方・度値名式度位名式度	<ul> <li>外国</li> <li>外国</li> <li>平成</li> <li>平成</li> </ul>	国人が翻訳した公本人と同じ行政サー 人登録者数 人が住みやすくな 15年度(実績) 1,793	用文を読み、また通訳を 一ビスが受けられること ることにより、外国人の 平成16年度(実績) 1,745	と受けることに とによって、外 )定着率が増え <mark>平成17年度</mark> 1,78	よって, 国人にと 且つ外国 (実績)	行政サービス情 って住みやすい 人の登録人口が 平成18年度 1,80	報を入手 生活環境。 増えてく。 ( <b>目標</b> ) 0	し利用する。 が図れる。 る。 <mark>平成19年度(目標)</mark> 1,850
大力が	・・意図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	意 (対象をませる) な 中指 最終成果標指 と など補足	を	<ul> <li>外国</li> <li>外国</li> <li>平成</li> <li>平成</li> </ul>	国人が翻訳した公本人と同じ行政サー 人登録者数 人が住みやすくな 15年度(実績) 1,793	用文を読み、また通訳を 一ビスが受けられること ることにより、外国人の 平成16年度(実績) 1,745	と受けることに によって、外 の定着率が増え 平成17年度 1、78	よって, 国人にと 且つ外国 <mark>(実績)</mark> ( <b>実績)</b>	行政サービス情 って住みやすい 人の登録人口が 平成18年度 1,80 平成18年度	報を入手 生活環境/ 増えてく/ ( <mark>目標)</mark> ( <b>目標)</b>	し利用する。 が図れる。 る。 <mark>平成19年度(目標)</mark> 1,850 <mark>平成19年度(目標)</mark>
大 ア指 戸屋 3 1111	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	意 対 な 中指 最終 が は が は が は が は が は が は が が に か が は か に か が は か に か が は か に か が は か に か が は か に か が は か に か が は か に か に か に か に か に か に か に か に か に か	型で) 的 名式度値名式度値 項 ト	<ul> <li>外国</li> <li>平成</li> </ul> 平成 全国	国人が翻訳した公本人と同じ行政サー 人登録者数 人が住みやすくな 15年度(実績) 1,793 15年度(実績) で唯一の国際文化	用文を読み、また通訳を 一ビスが受けられること ることにより、外国人の 平成16年度(実績) 1、745 平成16年度(実績) 住宅都市である。	と受けることに によって、外 の定着率が増え 平成17年度 1,78 平成17年度	よって, 国人にと 且つ外国 (実績) (実績)	行政サービス情 って住みやすい 人の登録人口が 平成18年度 1,80 平成18年度	報を入手 生活環境/ 増えてく/ ( <mark>目標)</mark> ( <b>目標)</b>	し利用する。 が図れる。 る。 平成19年度(目標) 1,850 平成19年度(目標)
大力が	・・意図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	意対な 中指 最終 だ	図で) 的 名式度値名式度値 項 ト 横	<ul> <li>外国</li> <li>平成</li> </ul> 平成 全国	国人が翻訳した公本人と同じ行政サートを 本人と同じ行政サートを 人が住みやすくな 15年度(実績) 1,793 15年度(実績) で唯一の国際文化	用文を読み、また通訳を 一ビスが受けられること ることにより、外国人の 平成16年度(実績) 1、745 平成16年度(実績) 住宅都市である。	と受けることに によって、外 の定着率が増え 平成17年度 1、78	よって、 国人にと 且つ外国 (実績) (実績) (実績)	行政サービス情 って住みやすい 人の登録人口が 平成18年度 1,80 平成18年度	報を入手 生活環境/ 増えてく/ ( <mark>目標)</mark> ( <b>目標)</b>	し利用する。 が図れる。 る。 <mark>平成19年度(目標)</mark> 1,850 <mark>平成19年度(目標)</mark>
大 ア指 戸屋 3 1111	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	意 対 な 中指 最指 と 活 件 と 活 件	型 を を を を を を を を を を を を を	<ul> <li>外国</li> <li>平成</li> <li>全国</li> </ul>	国人が翻訳した公本人と同じ行政サー 人登録者数 人が住みやすくな 15年度(実績) 1,793 15年度(実績) で唯一の国際文化	用文を読み、また通訳を 一ビスが受けられること ることにより、外国人の 平成16年度(実績) 1、745 平成16年度(実績) 住宅都市である。	と受けることに によって、外 の定着率が増え 平成17年度 1,78 平成17年度	よって, 国人にと 且つ外国 (実績) (実績)	行政サービス情 って住みやすい 人の登録人口が 平成18年度 1,80 平成18年度	報を入手 生活環境/ 増えてく/ ( <mark>目標)</mark> ( <b>目標)</b>	し利用する。 が図れる。 る。 <mark>平成19年度(目標)</mark> 1,850 <mark>平成19年度(目標)</mark>
大 ア指 戸屋 3 1111	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	意対な 中指 最終 だ	型 を を を を を を を を を を を を を	<ul> <li>外国</li> <li>平成</li> <li>全国</li> </ul>	国人が翻訳した公本人と同じ行政サートを 本人と同じ行政サートを 人が住みやすくな 15年度(実績) 1,793 15年度(実績) で唯一の国際文化	用文を読み、また通訳を 一ビスが受けられること ることにより、外国人の 平成16年度(実績) 1、745 平成16年度(実績) 住宅都市である。	と受けることに によって、外 の定着率が増え 平成17年度 1,78 平成17年度	よって、 国人にと 且つ外国 (実績) (実績) (実績)	行政サービス情 って住みやすい 人の登録人口が 平成18年度 1,80 平成18年度	報を入手 生活環境/ 増えてく/ ( <mark>目標)</mark> ( <b>目標)</b>	し利用する。 が図れる。 る。 <mark>平成19年度(目標)</mark> 1,850 <mark>平成19年度(目標)</mark>
大 ア指 戸屋 3 1111	・	意 対 な 中指 最指 と 活 件 と 活 件	型 を を を を を を を を を を を を を	<ul> <li>外国</li> <li>平成</li> <li>全国</li> </ul>	国人が翻訳した公本人と同じ行政サート 人登録者数 人が住みやすくな 15年度(実績) 1,793 15年度(実績) で唯一の国際文化	用文を読み、また通訳を 一ビスが受けられること ることにより、外国人の 平成16年度(実績) 1、745 平成16年度(実績) 住宅都市である。	と受けることに によって、外 の定着率が増え 平成17年度 1,78 平成17年度	よって、 国人にと 且つ外国 (実績) (実績) (実績) (決算) 2,284	行政サービス情 って住みやすい 人の登録人口が 平成18年度 1,80 平成18年度	報を入手 生活環境/ ( <b>自標</b> ) の ( <b>目標</b> ) ( <b>32</b> ( <b>予算</b> )	し利用する。 が図れる。 る。 <mark>平成19年度(目標)</mark> 1,850 <mark>平成19年度(目標)</mark>
大 ア指 戸 屋 順 内	<ul> <li>・ 市 業 人事他</li> <li></li></ul>	意 (対 な 中指 最指 を <b>活 件業</b> 果標 果標 果標	型 を を を を を を を を を を を を を	<ul> <li>外国</li> <li>平成</li> <li>全国</li> </ul>	国人が翻訳した公本人と同じ行政サート 人登録者数 人が住みやすくな 15年度(実績) 1,793 15年度(実績) で唯一の国際文化	用文を読み、また通訳を 一ビスが受けられること ることにより、外国人の 平成16年度(実績) 1、745 平成16年度(実績) 住宅都市である。 平成16年度(決算) 2,112 364	と受けることに によって、外 の定着率が増え 平成17年度 1,78 平成17年度	よって、 国人にと 【実績】 (実績) (実績) (実績) 2,284 347	行政サービス情 って住みやすい 人の登録人口が 平成18年度 1,80 平成18年度	報を入手 生活環境/ ( <b>自標</b> ) の ( <b>目標</b> ) ( <b>32</b> ( <b>予算</b> )	し利用する。 が図れる。 る。 <mark>平成19年度(目標)</mark> 1,850 <mark>平成19年度(目標)</mark>
大 ア指 戸 屋 順 内	きたり、おおり、おおり、おおり、おおり、おおり、おおり、おおり、おおり、おおり、お	意 対 な 中指 最指 と 活 件 業門償 経却 で 質費費費	型 を を を を を を を を を を を を を	<ul> <li>外国</li> <li>平成</li> </ul> <b>平成</b>	国人が翻訳した公本人と同じ行政サート 人登録者数 人が住みやすくな 15年度(実績) 1,793 15年度(実績) で唯一の国際文化	用文を読み、また通訳を 一ビスが受けられること ることにより、外国人の 平成16年度(実績) 1、745 平成16年度(実績) 住宅都市である。 平成16年度(決算) 2,112 364	と受けることに によって、外 の定着率が増え 平成17年度 1,78 平成17年度	よって、 国人にと 【実績】 (実績) (実績) (実績) 2,284 347	行政サービス情 って住みやすい 人の登録人口が 平成18年度 1,80 平成18年度	報を入手 生活環境/ ( <b>自標</b> ) の ( <b>目標</b> ) ( <b>32</b> ( <b>予算</b> )	し利用する。 が図れる。 る。 <mark>平成19年度(目標)</mark> 1,850 <mark>平成19年度(目標)</mark>
大 ア指 戸 屋 順 内	<ul> <li>市事</li> <li>制力</li> <li>制力</li> <li>利力</li> <li>日本</li> <li< th=""><th>意 対 な 中指 最指 と 活 件 業門償 を 活 件 業門償 を 計 の で で で で で で で で で で で で で で で で で で</th><th>型 注語にして) 目 指 考年 指 持 え 年 指 表 方・標標 標 方・標標 方・標標 方・標標 方・標標 方・標標 方・標標</th><th><ul> <li>外国</li> <li>平成</li> </ul> <b>平成</b></th><th>国人が翻訳した公本人と同じ行政サート 人登録者数 人が住みやすくな 15年度(実績) 1,793 15年度(実績) で唯一の国際文化 15年度(決算) 927 379</th><th>用文を読み、また通訳を 一ビスが受けられること ることにより、外国人の 平成16年度(実績) 1、745 平成16年度(実績) 住宅都市である。 平成16年度(決算) 2,112 364 214</th><th>と受けることに によって、外 の定着率が増え 平成17年度 1,78 平成17年度</th><th>よって、 国人にと 【実績】 (実績) (実績) 2,284 347 302</th><th>行政サービス情 って住みやすい 人の登録人口が 平成18年度 1,80 平成18年度</th><th>報を入手 生活環境/ (<b>目標</b>) の (<b>目標</b>) - 330 -</th><th>し利用する。 が図れる。 る。 <mark>平成19年度(目標)</mark> 1,850 <mark>平成19年度(目標)</mark></th></li<></ul>	意 対 な 中指 最指 と 活 件 業門償 を 活 件 業門償 を 計 の で で で で で で で で で で で で で で で で で で	型 注語にして) 目 指 考年 指 持 え 年 指 表 方・標標 標 方・標標 方・標標 方・標標 方・標標 方・標標 方・標標	<ul> <li>外国</li> <li>平成</li> </ul> <b>平成</b>	国人が翻訳した公本人と同じ行政サート 人登録者数 人が住みやすくな 15年度(実績) 1,793 15年度(実績) で唯一の国際文化 15年度(決算) 927 379	用文を読み、また通訳を 一ビスが受けられること ることにより、外国人の 平成16年度(実績) 1、745 平成16年度(実績) 住宅都市である。 平成16年度(決算) 2,112 364 214	と受けることに によって、外 の定着率が増え 平成17年度 1,78 平成17年度	よって、 国人にと 【実績】 (実績) (実績) 2,284 347 302	行政サービス情 って住みやすい 人の登録人口が 平成18年度 1,80 平成18年度	報を入手 生活環境/ ( <b>目標</b> ) の ( <b>目標</b> ) - 330 -	し利用する。 が図れる。 る。 <mark>平成19年度(目標)</mark> 1,850 <mark>平成19年度(目標)</mark>
大 ア指 芦 3事 内(	<ul> <li>市事</li> <li>説門</li> <li>おります</li> <li>大事他減合国</li> </ul>	意 対 な 中指 最指 と 活 件業門償・・ 一	型 注語にして) 目 指 考年 指 持 え 年 指 表 年 指 表 年 指 表 年 指 え る 、 は る 、 は る 、 は る 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、	<ul> <li>外国</li> <li>平成</li> </ul> <b>平成</b>	国人が翻訳した公本人と同じ行政サート 人登録者数 人が住みやすくな 15年度(実績) 1,793 15年度(実績) で唯一の国際文化 15年度(決算) 927 379	用文を読み、また通訳を 一ビスが受けられること ることにより、外国人の 平成16年度(実績) 1、745 平成16年度(実績) 住宅都市である。 平成16年度(決算) 2,112 364 214	と受けることに によって、外 の定着率が増え 平成17年度 1,78 平成17年度	よって、 国人にと 【実績】 (実績) (実績) 2,284 347 302	行政サービス情 って住みやすい 人の登録人口が 平成18年度 1,80 平成18年度	報を入手 生活環境/ ( <b>目標</b> ) の ( <b>目標</b> ) - 330 -	し利用する。 が図れる。 る。 <mark>平成19年度(目標)</mark> 1,850 <mark>平成19年度(目標)</mark>
大 ア指 芦 3 事 内( 財	できる     上     市事     訳門     源       意き     カカワの業     人事他減     人事他減     合国市	意(対な 中指 最指 と 活 件業門償・債 を で で で で で で で で で で で で で で で で で で	型 注語にして) 目 指 考年 指 持 方 年 標標 京 方 標標 標 方 点 標標 方 う 標 標 点 う は り り り し て り り り り り り り り り り り り り り り	<ul> <li>外国</li> <li>平成</li> </ul> <b>平成</b>	国人が翻訳した公本人と同じ行政サート 人登録者数 人が住みやすくな 15年度(実績) 1,793 15年度(実績) で唯一の国際文化 15年度(決算) 927 379	用文を読み、また通訳を 一ビスが受けられること ることにより、外国人の 平成16年度(実績) 1、745 平成16年度(実績) 住宅都市である。 平成16年度(決算) 2,112 364 214	と受けることに によって、外 の定着率が増え 平成17年度 1,78 平成17年度	よって、 国人にと 【実績】 (実績) (実績) 2,284 347 302	行政サービス情 って住みやすい 人の登録人口が 平成18年度 1,80 平成18年度	報を入手 生活環境/ ( <b>目標</b> ) の ( <b>目標</b> ) - 330 -	し利用する。 が図れる。 る。 <mark>平成19年度(目標)</mark> 1,850 <mark>平成19年度(目標)</mark>
大 ア指 芦 3 事 内( 財	<ul> <li>市事</li> <li>記門</li> <li>源門</li> <li>原門</li> <li>原門</li> <li>原門</li> </ul>	意(対な 中指 最指 と 活 件業門償・債の を ま と で は で で で で で で で で で で で で で で で で で	型 注語にして) 目 指 考年 指 持 方 年 標標 京 方 標標 標 方 点 標 標 点 う 標 標 う は り は り は り り り り り り り り り り り り り り	<ul> <li>外国</li> <li>平成</li> <li>全国</li> </ul>	国人が翻訳した公。 本人と同じ行政サー 人登録者数 人が住みやすくな 15年度(実績) 1,793 15年度(実績) で唯一の国際文化 15年度(決算) 927 379	用文を読み、また通訳を 一ビスが受けられること ることにより、外国人の 平成16年度(実績) 1,745 平成16年度(実績) 住宅都市である。 平成16年度(決算) 2,112 364 214	と受けることに によって、外 の定着率が増え 平成17年度 1,78 平成17年度	よって、 国人にと 且つ外国 (実績) 9 (実績) 2,284 347 302 2,933	行政サービス情 って住みやすい 人の登録人口が 平成18年度 1,80 平成18年度	報を入手 生活環境/ ( <b>目標</b> ) の ( <b>目標</b> ) - 330 -	し利用する。 が図れる。 る。 <mark>平成19年度(目標)</mark> 1,850 <mark>平成19年度(目標)</mark>
大 ア指 芦 3事 内( 財( I	<ul> <li>市事</li> <li>部門</li> <li>部門</li> <li>第門</li> <li>日本</li> <li< th=""><th>意(対な 中指 最指 を 活 件業門償 ・ 債の 財 無標 果標 果標 乗標 乗標 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</th><th>型 注語にして) 目 指 考年 年 指 指 考 年 指 持 え た ・ 標 標 標 点 方・ 標 標 標 点 う・ 標 標 点 う・ は り り し り し り り し り り り り り り り り り り り</th><th><ul> <li>外国</li> <li>平成</li> <li>全国</li> </ul></th><th>国人が翻訳した公。 本人と同じ行政サート登録者数 人が住みやすくな 15年度(実績) 1,793 15年度(実績) で唯一の国際文化 15年度(決算) 927 379 1,306</th><th>用文を読み、また通訳を 一ビスが受けられること ることにより、外国人の 平成16年度(実績) 1,745 平成16年度(実績) 住宅都市である。 平成16年度(決算) 2,112 364 214</th><th>と受けることに によって、外 の定着率が増え 平成17年度 1,78 平成17年度</th><th>よって、 国人にと 且つ外国 (実績) 9 (実績) 2,284 347 302 2,933</th><th>行政サービス情 って住みやすい 人の登録人口が 平成18年度 1,80 平成18年度</th><th>報を入手 生活環境/ (<b>目標</b>) の (<b>目標</b>) - 330 -</th><th>し利用する。 が図れる。 る。 <mark>平成19年度(目標)</mark> 1,850 <mark>平成19年度(目標)</mark></th></li<></ul>	意(対な 中指 最指 を 活 件業門償 ・ 債の 財 無標 果標 果標 乗標 乗標 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	型 注語にして) 目 指 考年 年 指 指 考 年 指 持 え た ・ 標 標 標 点 方・ 標 標 標 点 う・ 標 標 点 う・ は り り し り し り り し り り り り り り り り り り り	<ul> <li>外国</li> <li>平成</li> <li>全国</li> </ul>	国人が翻訳した公。 本人と同じ行政サート登録者数 人が住みやすくな 15年度(実績) 1,793 15年度(実績) で唯一の国際文化 15年度(決算) 927 379 1,306	用文を読み、また通訳を 一ビスが受けられること ることにより、外国人の 平成16年度(実績) 1,745 平成16年度(実績) 住宅都市である。 平成16年度(決算) 2,112 364 214	と受けることに によって、外 の定着率が増え 平成17年度 1,78 平成17年度	よって、 国人にと 且つ外国 (実績) 9 (実績) 2,284 347 302 2,933	行政サービス情 って住みやすい 人の登録人口が 平成18年度 1,80 平成18年度	報を入手 生活環境/ ( <b>目標</b> ) の ( <b>目標</b> ) - 330 -	し利用する。 が図れる。 る。 <mark>平成19年度(目標)</mark> 1,850 <mark>平成19年度(目標)</mark>
大     ア指     声     3事     内( 財( 活	<ul> <li>市事</li> <li>おります</li> <li>おります</li> <li>おります</li> <li>大事他減合国市と一職</li> <li>日本の業</li> <li>大事他減合国市と一職</li> </ul>	意(対な 中指 最指 な 活 件業門償・債の 財 の 財 原等他源員	型 注語にして) 目 約 名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値の1.8% 10.3%	<ul> <li>外国</li> <li>平成</li> <li>全国</li> </ul>	国人が翻訳した公。 本人と同じ行政サー 人登録者数 人が住みやすくな 15年度(実績) 1,793 15年度(実績) で唯一の国際文化 15年度(決算) 927 379	用文を読み、また通訳を 一ビスが受けられること ることにより、外国人の 平成16年度(実績) 1,745 平成16年度(実績) 住宅都市である。 平成16年度(決算) 2,112 364 214	と受けることに によって、外 の定着率が増え 平成17年度 1,78 平成17年度	よって、 国人にと 且つ外国 (実績) 9 (実績) 2,284 347 302 2,933	行政サービス情 って住みやすい 人の登録人口が 平成18年度 1,80 平成18年度	報を入手 生活環境/ ( <b>目標</b> ) の ( <b>目標</b> ) - 330 -	し利用する。 が図れる。 る。 <mark>平成19年度(目標)</mark> 1,850 <mark>平成19年度(目標)</mark>
大 ア指 芦 3事 内( 財( I	<ul> <li>市事</li> <li>おります</li> <li>おります</li> <li>おります</li> <li>大事他減合国市と一職</li> <li>日本の業</li> <li>大事他減合国市と一職</li> </ul>	意(対な 中指 最指 を 活 件業門償 ・ 債の 財 無標 果標 果標 乗標 乗標 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	型 注語にして) 目 的 名式度値 考末 標標 標標 表方・ 度値 名式度値 名式度値 名式度値 11.8% 10.3% 100.0% 100.0%	<ul> <li>外国</li> <li>平成</li> <li>全国</li> </ul>	国人が翻訳した公。 本人と同じ行政サート登録者数 人が住みやすくな 15年度(実績) 1,793 15年度(実績) で唯一の国際文化 15年度(決算) 927 379 1,306	用文を読み、また通訳を 一ビスが受けられること ることにより、外国人の 平成16年度(実績) 1,745 平成16年度(実績) 住宅都市である。 平成16年度(決算) 2,112 364 214	と受けることに によって、外 の定着率が増え 平成17年度 1,78 平成17年度	よって、 国人にと 且つ外国 (実績) 9 (実績) 2,284 347 302 2,933	行政サービス情 って住みやすい 人の登録人口が 平成18年度 1,80 平成18年度	報を入手 生活環境/ ( <b>目標</b> ) の ( <b>目標</b> ) - 330 -	し利用する。 が図れる。 る。 <mark>平成19年度(目標)</mark> 1,850 <mark>平成19年度(目標)</mark>

	曲(チェック)				
評	価 視	点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
	目的妥当性	(2 ~ 2)	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
		(2 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
			□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である	1	
妥	市関与(2~	2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
^	11-150 5 (=	-/	□ いずれにも該当しない		
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	5	3
=	+ */	'O 4\		S	3
	市民ニーズ(	2~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない、または未把握		
性			□ 数字で把握している □ 未把握		
8点	社会環境変	(∤(1 ~ 1)	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
	江五级先交	וט(י י)	内容市内在住外国人の数及び国籍の動向を把握しながら実施。		
	優先性,緊急	急性(1)	☑ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
	対象カバー図	<b>率(1~ 1)</b>	☑ 対象カバー率は高い ☑ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~	1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定	1	
			☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している◯ 実績値または目標値が未記入		
効	成果の実績	(2 ~ 1)	→ 実績値から成果があがっていると言える ② 実績値から成果があがっていると言えない	2	2
性			成果があがっていない場合	-	
4点	- 成果向上余	地(1~ 1)	□ 成果向上策あり □ 特になし		
4.只					
			□ 比較できる団体がある 団体名 西宮市 □ 比較できる団体はない		
	単位コスト(1	~ 1)	☑ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない		
効	1 12-1711 (1	٠,	▶ ☑ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
			高い、または低い場合の理由 平均してA4・1枚当りの翻訳料が安い。		
	受益者負担(	(0 - 1)	□ 負担を求めることができる事業である ☑ 負担を求めるべき事業ではない		
127	文面有貝担	(0~1)	│	<b>^</b>	4
率			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	0	
			□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	手段(1~ 3	3)	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性			□ 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託, 臨時職員等で対応可能である		
3点			□ 場に、皿は根質等では対応できない業績である □ 場に、皿は根質等で対応が形である □ 特に行っていない	4	
っ元	コスト削減取	(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行うといる □ 特に行うといない		
			一   内谷   朗が付き日がりしている。		-
平成 1	6年度の割	平価 内容	□ A <mark>平成17年度に実</mark> □ 改善し,効果を得た		
<b>冷</b> で	改善の	方 向 性	一部価約甲		
(評価カ	がない場合は	記載不要)	□ B 性 □ い □ い □ い □ い □ い □ い □ い □ い □ い □		
			た	В	C
平 成	1 8 年	度に	評価	0	
実施	する改	. 皮 に 善 内 容			
(		頁 )	内容		
5 今後	<b>ؤの対応(ア</b> ⋅	クション)			
現在意	認識してい	1る 課 題	南米からの外国人も増えてきており、ブラジル・ポルトガル語での対応も必要かと思われる。		
			上記11の手段ですが,公用文の翻訳は民間とか嘱託職員,臨職職員等でも対応可能ですが,最終チェックが行政側が責任をもって対応する	必要がある	こと。
市民,関	係者 市民,関	係者の名称			
からの	音目				
要望	意見,	要望内容			
	,,				
	(1)	対応内容	英語以外に他の言語の対応となると,現状では困難であるので当分の間英語のみで対応したい。		
	(1)	c=+/c#079			
±m ns →	i te ex	実施期限	平成    年    月		
課題·要		対応内容			
	(2)				
へのす	对 心	実施期限	平成 年 月		
		対応内容			
	(3)	Y1/O.L.1 II			
		実施期限	平成    年    月		
その他	考えられる	5			
	カアイデア				
			今後の方向性	1次証価	2次輕価
			なお一層、外国人にとって住みよいまちづくりを目指す。 拡大・充実		
			現 状 維 持		0
					<u> </u>
		_ 、		<b>(</b>	<b>•</b>
平成1	9~21年度	の方向性			0
			Min -	0	0
			統合/終期設定	. 0	0
			廃止 / 休止	0	0
			ニューズレターとの統合を図り、事業の目的意図を明確にしてください。また、民間との役割分担を明	確にし	てくだ
2 次 評	值 委 員 会	コメント	さい。市内で居住する外国人のニーズを把握し、必要なサービスが行われるように検討してください。やボランティアの活用を積極的に行い、英語圏以外の外国人に対する対応を検討してください。	また,	NPO

. 40	<del></del>	I NIV													-1,4		±m	
(一般	事業)	事業	コード	33100	030								部	ŧ	<b>人</b>	長	課	長
		+	NIZ <b>4</b>	- ·		-1 4			V > - = 1 & -									
平成1	7年度	事	業 名	男女	共同参画社	社会の実	現に向	けた啓発	話動等									
1 車	光加	要(ドゥ)													1			
						* I							1		(1) 76 les			
第3次	芦屋市	まちづく	りの目標	3	人と文化	を育てる	まちづ	5くり					所	管言	総務部			
総合	計画		中	3	男女共同	参画社会	の実現	<u> </u>					<i>P</i> /1		市民参画語	果 (男女共	同参画推	進担当)
政策			/\\	1	男女共同	<b>参</b> 画行動	計画の	# 推					所答:	理 柜 氏 4	水谷 幸	: ##		
				1	刀及奔回	<u> </u>	川岡ツ	71比是										
体	系		細										記入	者氏名	5 野々垣寿	を子		
事	業	斯	間	平成	3年4月~	~			経常臨時		常	臨時	電話	千番 岩	38-2	023	内線	94-202
根 拠					共同参画社		计 学						実が				1 3 1/20	01 000
						1.云 本平												
実	施	手	法	✓	直営			一部委託		□ 全	部委託			補助金		負担金		
委		託	先		外郭団体	委託	名称					民間	委託	委託内容	<u> </u>			
					女共生を決			画の宝성	L.						1			
							,		_									
事	業	の	概 要	・市	民全体に「	句けた男:	女共同	参画社会	会について	ての啓発								
				· 女	性に対する	るあらゆ	る暴力	の根絶に	こついての	)啓発								
				+r.\H:~	センターi	五信「ㅜ	メラル	ドエの君	※行(33	F並た在	4 回)							
=	ж		TD 15									± nn	A	.+=				
事	業	の	現 状		報にて男女						-							
	目的	実現のため	00	男女	共同参画》	週間記念:	事業で	男女共生	上の視点を	上深める	映画を	上映し,	啓発冊	子等の配	(布, アン	ケートの	実施を征	うう しょうしょう
		及び実施内			ンダーや見													
	J-4X/.	人し大心と					D =				, , , ,	<b>止四明</b>	· Vノ手	不具只让				
					への暴力を	どなくす	<b>ヤヤン</b> ・	ヘーンの	ノ天施(御	可與啓発	)							
			指標 名	発行語	部数													
		結果指標			15年度	(実績)	平成 1	6年度	(実績)	平成 1	7年度	(実績)	平成	18年度	(目標)	平成 1	9年度(	(目標)
															-			
		(1)	指標値		0, 00			0, 00			, 00		_	12, 00			2, 00	
アウト	フット		単位コスト		907円/	/人_	8	862円	/人	6	48円/	/人_		648円	/人_	6	48円/	′人
指	標		指標 名	参加	者数													
		結果指標			15年度	(宝績)	亚成 1	6年度	(実績)	平成 1	7 年度	(宝績)	亚成	18年度	(日煙)	亚成 1	9年度(	(日煙)
				1 13%					• •						•			
		(2)	指標値		8 2 4			, 32			8714			1, 10			, 100	
			単位コスト	1 1	., 005	円/人	6,	509	円/人	8,	930F	円/人	7	, 071	円/人	7,	071	]/人
2 事	業成	果(アウ)	カム)															
	2141-707	14(1)	,,															
		対	象	幼児類	期以降(:	3歳以上	) の一 <del>)</del>	般市民										
																1		
事業の	D目的	対象力	バー率	対象	è数 (a)	88,	3 2 8	8人	受 益 数	(b)	12,	871,	人 I	北 率 (b	÷ a) %	1	4. 6	%
対象·	意図							· ·					,					
		意	NA)	里十-	共生やジ:	ェンダー	につい	ての靭粒	まが空せる	5								
				JJ 54.5	バエヽノゝ	/	,_ Jv .	く~~中心明	**ハーコボよる	V								
		(対象を3	E語にして)															
				男女	共同参画社	生会の実	現を目	指す。	(男女共同	司参画社	会とは.	,男女が	社会の	平等な構	成員とし	て,自ら	の意思	こよっ
大	き	な	目 的												会的及び			
					ることがつ								,		* = '		,	·
			TK T# 4-	Гр	L. II. 🖃 🕁 =	aa; >=		⇒T 4 r			-							
			指標名															
		中間成果	考え方・式	「男	女共同参阅	画社会」	の用語	を知って	こいる人の	)割合(	男女共	同参画週	間記念	事業での	アンケー	ト調査)		
					15年度	(実績)	平成 1	6年度	(実績)	平成 1	7年度	(実績)	平成	18年度	(目標)	平成 1	9年度(	[目標]
アウト	. + /.	1/1/			5 7 %			5 4 %			56%			609			60%	
			指標値	EP ,			<u> </u>			<u> </u>	0 0 70	,		0.07	U	<u> </u>	0 0 /0	
指	標		指標名															
		最終成果	考え方・式	男女	共生やジ:	ェンダー	につい	て正しく	、認識して	ている人	の割合							
					15年度							(実績)	亚市	18年度	(日標)	平成 1	9 年度 (	(日煙)
				1 /3%		( ) CMSR /	1 7-2		、人間見り	1 10%		( ) CMR /	1 13%	,一个这	(日)ポノ	1 13%	ファス(	、H in ノ
			指標値	L	不明		<u> </u>	不明			不明					<u> </u>		
				講座	受講修了者	fが, 実際	その活動	」の場とし	して情報語	お編集ボ	ランティ	ィア,ホー	-アペ-	- ジ作成オ	(ランティ	アとして	活躍して	いる
芦屋市	の特別	色など補足	足する事項	Ī														
				Ī														
2 =	ႚ 왕 **	ンエチャェフ	/\	<u> </u>						A 311 MALL	2 (		4-	1 1// 12		π <del>-1</del>	4 4-	Ħナハ+F
	<b>美貨</b>	活動配:	<u>分(コスト)</u>	)						1世帯当				人当り(円)		平成18.4	1.1 任民	基本台帳
事	業	費	構成%	平成	15年度	(決算)	平成 1	6年度	(決算)	平成 1	7年度	(決算)	平成	18年度	(予算)			
						7,801			7,371			6,458			-			
	人	件 費	83.0%				<del>                                     </del>		-			1,320			4.500			
	人事					1 267			1 24/						1 560			
<b>.</b>	人 事	業費				1,267			1,247			1,020			1,560			
	尺他部	業費				1,267			1,247			1,020			1,560			
	尺他部	業費				1,267			1,247			1,020			1,560			
	尺他部	業費	17.0%			1,267 9,068			8,618			7,778			1,560			
	尺 他 部 )減 価 合	業 費 引 経 費 情 償 却 費	17.0%						·						1,560 - - -			
(千円	(代本) (他部 ()減(位 (合本) (国本)	業 費 3門経費 「償却費 <b>計</b>	17.0%						·						1,560			
(千円 財 派	(大) (他) (社) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	業 費	17.0%			9,068			8,618			7,778			1,560			
(千円 財 派	(大) (他) (社) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	業 費 3門経費 「償却費 <b>計</b>	17.0%						·						1,560			
(千円 財 派	R 他 通 <b>合</b> 国 市 そ	業 費 費 費 類 量 費 計 県 等 の 他	17.0%			9,068			8,618			7,778			1,500			
財源	R 他 部 <b>合</b> 国 市 そ 一	業 費 費 費 費 費 計 県 等 他 <b>股</b> 財 源	17.0% 100.0% 2.1% 97.9%			9,068 158 8,910			8,618 219 8,399			<b>7,778</b> 167 <b>7,611</b>						
(千円 財 源 (千円	R 他 値 値 値 値	業 費 費 費 費 費 サ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	17.0% 100.0% 2.1% 97.9% 64.7%			9,068 158 8,910 0.60			8,618 219 8,399 0.60			<b>7,778</b> 167 <b>7,611</b> 0.55						
(千円 財 源 (千円	(R) 他 (A) 一	業 費 費 費 費 費 計 県 等 他 <b>股</b> 財 源	17.0% 100.0% 2.1% 97.9% 64.7% 35.3%			9,068 158 8,910			8,618 219 8,399			<b>7,778</b> 167 <b>7,611</b>						

4 評价	西(チェック)				
評	価 視	点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
	目的妥当性(	(2 ~ 2)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	日的女当注	(2 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
			□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
			□ いずれにも該当しない	_	
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	5	4
	市民ニーズ(	2 ~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把握		
性			□ 数字で把握している □ 未把握	4	
8点	社会環境変化	化(1~ 1)	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
	優先性,緊急	3 計 (4)	内容 行動計画の策定,見直しとともに,実施事業計画に基づく進行管理を実施	-	
	対象カバー図	. ,	□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる □ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~	, ,	□ 対象がべ 単は高い □ 個団体と同程度 □ 個団体は外がく 単か低い □ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定	-	
	,	•	□ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入		
効	成果の実績(	(2 ~ 1)	→ 実績値から成果があがっていると言える ② 実績値から成果があがっていると言えない	2	2
性	世田白 上〇	LIL (4 A)	成果があがっていない場合	-	
4点	- 成果向上余年	地(1~ 1)	☑ 成果向上策あり 市民ニーズにあった情報誌,講座等の充実 □ 特になし		
			☑ 比較できる団体がある 団体名 他市センター □ 比較できる団体はない		
	単位コスト(1	~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト ☑ 把握していない		
効	十四コスパ	')	▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
			高い、または低い場合の理由	4	
	受益者負担(	(0 ~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
率		, ,	□ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能)	1	-4
			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	_	Ī
	手段(1~ 3	3)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある □ 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業,NPO等)で対応可能である		
性			□ 民間(正案, NrO等) とは対応できない業務である □ 民間(正案, NrO等) と対応可能である		
3点			□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない	-	
O/M	コスト削減取	7組(1~ 1)	→ 内容 交渉により講師謝金を抑えている	1	
平	6年度の評改善の	片 体 内 谷 方 向 性	では、		
(評価カ	がない場合は	記載不要)	□ B   性   □ 以音したか,効未かな □ なかっ   □ なかっ   □		
			************************************	Α	В
平成実施	1 8 年 する改	度に	文盤有負担の先担し	1 `	
実施	する改善必須	善内容	課題   内容   内容		
(	% %	其 )			
5 今後	後の対応(ア <sup>・</sup>	クション)			
			中間成果指標の「男女共同参画」についての認知度をより一層高めるため		
現在意	認 識 してい	1る 課 題	①講座等の広報の仕方 ②情報誌の配布方法 ③啓発の方法 に工夫し認識度を高める		
	係者 市民,関	係者の名称			
からの	意見 等 意見,	要望内容			
要望	寺	1			
	(1)	対応内容	男女共生をテーマとした講座でかつ集客可能なものを探る		
	(1)	実施期限	平成 19 年 3 月		
課題·要	望等				
	(2)	対応内容	情報誌の内容として市民参加の企画をとりあげる		
へのタ	讨 応	実施期限	平成 19 年 3 月		
		対応内容			
	(3)	אנייטיוניג			
		実施期限	平成 年 月		
	! 考えられる				
改善 (	カアイデア	<b></b>	A # a + t #		4 ) L AT 17
			今後の方向性 市民,職員に引き続き男女共生について問題提起や啓発を行っていくために,情報誌,講座等企画の充実を目指す 拡大・充実		2次評価
			田氏、職員に引き続き男女共生について同題促起や俗衆を行っていてために、情報誌、講座寺並画の元夫を日指す MA 人 ・ 元 夫 現 状 維 持		0
				• •	0
平成 1	9~21年度	の方向性			<ul><li>O</li><li>O</li></ul>
				0	0
			<del>   </del>	_	0
			廃止 / 休止		0
				.1 ~ /	元中/1→
2 次 評	価 委 員 会	コメント	啓発事業は、市民や各種団体を含めて市民協働で取り組むべき内容です。職員は、そのための提供者と 高めてください。目的や課題に対するより具体的な手段についてアクションプランを作成して実施して	こください	<sub>又</sub> 剖を ハ。

(一般	事業)	事 業	コード	5230	210			7	部長	 次	長課	. 長
平成1	7年度	重	業 名	秘証	明事務							
1 /3% 1	7 + 10	7	ж н	176 ДДД	-71-7-77							
1 事	業概	要(ドゥ)									<u>_</u>	
			りの目標	5	市民と協働してつ	くる自立した行政基	盤づくり		所 管 課	総務部		
総合			中	2	効率的な市役所シ				—	課税課		
政策			/ <u>/</u> \	3	事務事業の効率化				所管課長氏名			
事	系業	期	細	不明		<del>经营</del> 院	時 ② 経常 □	7 哈吽	記入者氏名電話番号		-	<b>为線</b> 2255
					税法,租税特別措	置法,市税条例,手		一時中	実施主体		2010	<b>79 粉</b>
実	施	<u>``</u>		<u></u>		□ 一部委託	□ 全部委託	Ħ	□補助金		負担金	
委		託	先			名称			委託 委託 内容			
					等に係る各種証明	書の交付(郵送含む)	及び手数料の額	数収等				
事	業	の	概 要									
				納税	証明のみ収納管理	システムのサーバー	から発行し そん	の他の証明	についてけ ホン	ストコン	ピューター	から発行して
事	業	Ø	現 状			<b>試課システムが変更</b>						カ・5元17 C C
3.		実現のため				り300円(住宅家)					_,,,,	
	手段	及び実施内	容									
		1										
		/+ m +b +=	指標名			亚产业6万亩7字结		= / 🖶 /= >	亚产10左车/	口抽丶	<b>≖</b> #10/	T 由 / 口 抽 \
		結果指標	年 度 指標値		<mark>15年度(実績)</mark> 26,338件	平成 1 6 年度(実績 2 8,886件	28,0		平成18年度( 28,500			<mark>年度(目標)</mark> 500件
アウト	プット	(1)	単位コスト		.,036円/件	926円/件	9 3 3		28,300	717	20,	30017
指	標				手数料	0 2 0 1 37 11	0 0 0 1	37 11	ı			
		結果指標				平成16年度(実績	) 平成17年度	夏(実績)	平成18年度(	目標)	平成194	年度(目標)
		(2)	指標値		8, 209, 400円	8, 135, 000円	8, 129, 1	100円	8, 100, 000	円	8, 10	0,000円
	· NIV —IL 1		単位コスト									
2 事	<b>業</b> 成	果(アウ	トカム)	l								
		対	象	各種	税証明請求者(税	証明を必要とするもの	の)					
事業の	の目的	対象力	バー率	対象	<mark>き数 (a)</mark> 28	<b>受 益 受 益</b>	数 (b) 2	28,063件	比 率 (b	÷ a) %	10	0.0%
対 象	・意 図						•		·			
		意	_	請求	者の必要とする証	明書を正確且つ迅速に	こ交付する。					
		(対象を	主語にして)									
大	ŧ	な	目 的	納税	者の利便性の向上	及び各種税証明書発	テの効率化を図る	5.				
, ,	_	<b>.</b>		711402		) The principal of the	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	-0				
					当たりの交付時間							
					的な証明書の交付							
	L <b>+</b> /	指標				平成16年度(実績			平成18年度(	目標)		年度(目標)
ア ウ <sup> </sup> 指	トルム標		指標値 据標名		1分	1分	15	J.	1分			1分
10	ារភ	最終成果	考え方・式									
					15年度(実績)	平成16年度(実績	) 平成17年度	度(実績)	平成18年度(	目標)	平成194	年度(目標)
			指標値									
# = 4	4+	- 4. 10 44 1	<del>-</del>									
户屋市	うの特も	色など補足	足する事項									
3 事	**	活動配	分(コスト	)			1世帯当り(円)	658	住民1人当り(円)	288	平成1841	住民基本台帳
事	業	費			15年度(決算)	平成16年度(決算		_	平成18年度(		1 120 101111	ENT I HIK
	人	件 費	56.0%		14,846	14,68	38	14,681		-		
	事	業費			1,011	70		488		462		
		門経費			11,433	11,33	23	11,024		-		
(十円		質却費			27,290	26.7	74	26,193				
	国	<u></u>			9,755	<b>26,7</b> 7		17,626		_		
財	原市	債 等			3,.30	. 1,71		.,525				
(千円		の他			7,720	7,59	94	8,129				
	- 1	設 財源	+		9,815	4,38		438		-		
	動職の場合	員			1.80	1.8		1.85		-		
配分	分 <mark>嘱託</mark> ) <b>合</b>	·臨時等 <b>計</b>			0.20 <b>2.00</b>	0.* <b>2.</b> (		0.16 <b>2.01</b>		-		
		AT.	100.0%	I	2.00	Z.(	/	2.01		-		

	曲(チェック)			1	
評	<u></u> 価	点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
	目的妥当性	(2 ~ 2)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	DUZZIE	(2 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
			☑ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
^	11-120 5 (=	-/	□ いずれにも該当しない		
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	4	4
=	+	0 4\		4	4
	市民ニーズ(	2~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把握		
性			☑ 数字で把握している 証明請求者 28,063件 □ 未把握		
8点	社会環境変	(¥(1 ~ 1)	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
	江乙级先交	10(1 1)	内容電子証明等への対応		
	優先性,緊急	急性(1)	□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
	対象カバー図	<b>率(1~ 1)</b>	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~	1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
			☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している◯ 実績値または目標値が未記入	_	
効	成果の実績	(2 ~ 1)	▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	3	3
性			成果があがっていない場合		
4点	- 成果向上余	地(1~ 1)	□ 成果向上策あり □ 特になし		
4無					
			□ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない		
44	単位コスト(1	~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない		
効	,	,	└▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
			高い、または低い場合の理由		
	受益者負担	(0 ~ 1)	☑ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない □		
率	人皿日只2	(0 1)	└▶ ☑ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能)	_1	_1
			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	- 1	- 1
	<b>≖</b> F∏./4 · ^	1)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	手段(1~ 3	9)	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点			□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
- 7	コスト削減取	(組(1~ 1)	→ 内容 証明関係帳票を庁内印刷で対応し、外注の場合は同種の業務を行う他課との共同発注により単		
平成 1	6年度の評	価 内 容	□ A <mark>平成17年度に実</mark> ☑ 改善し,効果を得た		
及び	改善の	方向性	評価結果 の 施した改善の方向 の 改善したが、効果がな の なおし		
(評1曲 九	がない場合は	記載小罢)		_	_
			校制改正等に伴う証明システム改造に多ね   全庁的にホストコンピューターからクライアン   評価	В	В
平 成	1 8 年	度に	典田を無よう		
実施	する改	善内容			
(	必	(1)	長が自動機と図る。		
5 4	<b>∮の対応(ア</b>	クションハ			
J 71:	友リスリルい(ア	<i>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</i>			
坦左:	割 蝉 し ア し	いる 卸 晒	<b>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</b>		
坑 红	id iel UCV	りが、弦	税制改正等に伴う証明システムの改造に多額の費用を要する。		
+ D B	3/5 to 10	にせのわり			
-	孫者 市民,関	係有の名称			
からの		要望内容			
要望	等心况,				
		対応内容	全庁的にホストコンピューターからクライアントサーバーシステムに移行することにより、経費の削減	を図る。	
	(1)				,
		実施期限	平成 18 年 月		
課題·要	望等	対応内容			
	(2)	が心心は			
へのす	対 応	実施期限	平成年月		
	(3)	対応内容			
	(-)	実施期限	平成年月		
		大池州水			
スの供	1 <del>2</del> 2 2 40 2				
	! 考えられる の ア イ デ ア				
以 書(	D r 1 <del>T</del> r		A # a + + #		- N F
			今後の方向性		
			電子申告,電子証明に対応した証明システムの再構築 拡大・充実		0
			現状維持		0
			<u>方 法 改 善</u>		•
平成1	9~21年度	の方向性			0
			縮小	0	0
			O Company of the Comp		
			統合/終期設定	0	0
			· · ·		0
			統合/終期設定		
2 次 到	亚価委員会	コメント	統合/終期設定 廃止/休止		

(一般事	事業)	事 業	コード	52302	240			部長次	長課長
平成17	年 度	重	<del></del> 業 名	市税等	等納付督励事務				
T 13%, 11	十反	<del></del>	<del>*</del>	1 12 176 4					
1 重当	<b>学瓶</b> 耳	要(ドゥ)							
			りの目標	5 市民と協働してつくる自立した行政基盤づくり - 一般務部					
総合言			中	-	効率的な市役所シ		·	所 管 課 収税課	
政策	施策		小	3	事務事業の効率化	Ĺ			省三
体	系		細		安定した財源の確保 記入者氏名 長谷川 省三				
事業期間									
			地方税法・芦屋市市税条例   <b>実施主体</b>   市   ② 直営 □ 一部委託 □ 全部委託 □ 補助金 □ 負担金						
実	表     肥     ナ     広       委     託     先								
			76	□ 外郭団体委託         名称         □ 民間委託         委託内容					
			市税等を納期限までに完納しない者に、その履行を促す。						
			市税の納付・納入の履行を促すための実施状況						
			・文書送付…督促状30,059通 催告書6,208通(市長と阪神県民局長名での共同催告文書を送付)						
目的実現のための				・電話催告…随時(納付指導・相談)、徴収強化月間(年5回)を設定して夜間及び休日催告を実施している。					
	于较为	手段及び実施内容		・臨戸訪問…随時(納付指導・相談),徴収強化月間(年5回)を設定して休日徴収を実施している。 ・来庁対応…日常(納付指導・相談)及び毎月の最終日曜日に休日窓口を開設し、納付及び納付相談を行っている。					
			指標名	・米庁対心…日常(納付指導・相談)及び毎月の取終日曜日に休日窓口を開設し、納付及の納付相談を行ってい 督促状及び催告書発送件数					
アウトご指	プット	結果指標				平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
			指標値		7,658通	38,525通	36,267通	36,000通	35,500通
			単位コスト		719円/通	1,673円/通	1,818円/通		
	標		指標名		ra 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子	I = n	I = 1	I = 8	
						平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
			指標値		4,470人	4,560人	4,250人	4,200人	4,150人
2 事当	<b>単成り</b>	 果(アウ)		1 4	:, 470/1//	14, 130 1/ /(	10, 014/1/ /(		
		対象		-1:12	5.00世纪本				
NI/				市税の滞納者					
			バー率	対象	<mark>数 (a)</mark> 36,	267人 受益数	(b)	比率 (b ÷ a) %	
事業の対象・		_			· · ·	<u> </u>	(b)	比率 (b ÷ a) %	
		意			· · ·	267人     受益数       さ,納付・納入を促す。	<mark>( (b)</mark>	比率 (b ÷ a) %	
		意	図		· · ·	<u> </u>	(b)	比率 (b ÷ a) %	
対象・		意	図 注語にして)	市税	色の滞納状況を伝え	<u> </u>		比率 (b ÷ a) %	
対 象· 	意 図	意 (対象を3	図 注語にして) 目 的	市税	色の滞納状況を伝え	え,納付・納入を促す。		比率 (b ÷ a) %	
対 象· 	意 図	意 (対象を3	図 注語にして) 目 的 指標名	市税市税	色の滞納状況を伝え 色収入の確保と税負 で で、現年課税分)	え,納付・納入を促す。		比率 (b ÷ a) %	
対 象· 	意図き	意 (対象を当 な 中間成果	図 注語にして) 目 的 指標名 考え方·式	市税市税	色の滞納状況を伝え ・収入の確保と税負 で、現年課税分) 額/調定額	え, 納付・納入を促す。 負担の公平性を確立する	•		
対 象· 	意図	意 (対象を3 な 中間成果 指 標	図 注語にして) 目 的 指標 名 考え方・式 年 度	市税市税	色の滞納状況を伝え ・収入の確保と税負 で、現年課税分) 額/調定額	え,納付・納入を促す。		比率 (b ÷ a) % 平成18年度(目標) 99.00%	平成19年度(目標)         99.00%
対象·  大	意図	意 (対象を3	型 (型) (型) (型) (型) (型) (型) (型) (型) (型) (型)	市税物以及工产成物的	他収入の確保と税金 で で で の で の で の で の で の で の で の で の で	<ul><li>え、納付・納入を促す。</li><li>負担の公平性を確立する</li><li>平成16年度(実績) 98.51%</li></ul>	平成 1 7年度 (実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
対象· 大 アウト	意図	意 (対象を3 な 中間成果 指 標	型 ( ) 図 ( ) 図 ( ) の 名式度値名式	市税物収入平成物収入	他収入の確保と税負 型率(現年課税分)額/調定額 15年度(実績) 98.20% 図率(滞納繰越分- 額÷調定額×10	<ul> <li>え、納付・納入を促す。</li> <li>負担の公平性を確立する</li> <li>平成16年度(実績)</li> <li>98.51%</li> <li>+現年課税分)</li> <li>00</li> </ul>	平成17年度(実績) 96.40%	平成18年度(目標) 99.00%	平成 <b>19年度(目標)</b> 99.00%
対象· 大 アウト	意図	意 (対象を3 な 中間成標 最終成果 指	型 (を) を は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	市税物収入平成物収入平成	他収入の確保と税負 (収入の確保と税負 (型年課税分) 額/調定額 15年度(実績) 98.20% (率(滞納繰越分- 額÷調定額×10 15年度(実績)	<ul> <li>え、納付・納入を促す。</li> <li>資担の公平性を確立する</li> <li>平成16年度(実績)</li> <li>98.51%</li> <li>+現年課税分)</li> <li>0</li> <li>平成16年度(実績)</li> </ul>	平成17年度(実績) 96.40% 平成17年度(実績)	平成18年度(目標) 99.00% 平成18年度(目標)	平成19年度(目標) 99.00% 平成19年度(目標)
対象· 大 アウト	意図	意 (対象を3 な 中間成標 最終成果 指	型 ( ) 図 ( ) 図 ( ) の 名式度値名式	市税物以入平成物以入平成	他収入の確保と税負 (収入の確保と税負 (型率(現年課税分) 額/調定額 15年度(実績) 98.20% (率(滞納繰越分- 額÷調定額×10 15年度(実績) 88.11%	<ul> <li>え、納付・納入を促す。</li> <li>連担の公平性を確立する</li> <li>平成16年度(実績)</li> <li>98.51%</li> <li>+現年課税分)</li> <li>00</li> <li>平成16年度(実績)</li> <li>89.36%</li> </ul>	平成17年度(実績) 96.40% 平成17年度(実績) 89.66%	平成18年度(目標) 99.00% 平成18年度(目標) 91.00%	平成 1 9年度(目標) 99.00% 平成 1 9年度(目標) 91.00%
対 大 ア指	意図	意 (対象を当な 中間成果 標 最終成標	型で 的 名式度値名式度値	市税物以及人中成物以及人中成为中成的方式。	を (四本のでは (本) (現年課税分) (本) (現年課税分) (本) (現年課税分) (本) (調定額 (本) (事務) (本) (滞納繰越分・ (本) (滞納繰越分・ (本) (滞納繰越分・ (本) (で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、	<ul> <li>え、納付・納入を促す。</li> <li>単型の公平性を確立する</li> <li>単型の公平性を確立する</li> <li>「単型の公平性を確立する</li> <li>「単型の公平性を確立する</li> <li>「単型の公平性を確立する</li> <li>「事業人のである。</li> <li>「中では、16年度(実績)</li> <li>「おり、16年度(実績)</li> <li>「おり、16年度のできる。</li> <li>「お</li></ul>	平成17年度(実績)         96.40%         平成17年度(実績)         89.66%         等の失敗により滞納者。	平成18年度(目標)         99.00%         平成18年度(目標)         91.00%         となった場合には、1千万	平成19年度(目標)         99.00%         平成19年度(目標)         91.00%         円を超える高額滞納者
対 大 ア指	意図	意 (対象を当な 中間成果 標 最終成標	型 (を) を は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	市税の収入では、できませんでは、できませんでは、できませんでは、できませんでは、できませんでは、できませんでは、できませんできません。	他収入の確保と税負 (本 (現年課税分) 額/調定額 15年度(実績) 98.20% (本 (滞納繰越分- 額÷調定額×10 15年度(実績) 88.11% ・十一社長等の高額 ・ることが多く、他	<ul> <li>え、納付・納入を促す。</li> <li>単型の公平性を確立する</li> <li>単型の公平性を確立する</li> <li>「単型の公平性を確立する</li> <li>「単型の公平性を確立する</li> <li>「単型の公平性を確立する</li> <li>「事業人のである。</li> <li>「中では、16年度(実績)</li> <li>「おり、16年度(実績)</li> <li>「おり、16年度のできる。</li> <li>「お</li></ul>	平成17年度(実績)         96.40%         平成17年度(実績)         89.66%         等の失敗により滞納者。         を件が多い。なお、平成	平成18年度(目標)         99.00%         平成18年度(目標)         91.00%         となった場合には、1千万         17年度の現年徴収率につ	平成19年度(目標)         99.00%         平成19年度(目標)         91.00%         円を超える高額滞納者
対 大 ウ を ア指 声 で	意図きかり、カクランの特色の特色の	意 (対象を当 な 中間 成成 果 標 と ぞ れ を が れ に れ に れ に れ に れ に れ に れ に れ に れ に れ	型で 的 名式度値名式度値	市税の収入では、できませんでは、できませんでは、できませんでは、できませんでは、できませんでは、できませんでは、できませんできません。	他収入の確保と税負 (本 (現年課税分) 額/調定額 15年度(実績) 98.20% (本 (滞納繰越分- 額÷調定額×10 15年度(実績) 88.11% ・十一社長等の高額 ・ることが多く、他	<ul> <li>え、納付・納入を促す。</li> <li>車担の公平性を確立する</li> <li>平成16年度(実績)</li> <li>98.51%</li> <li>+現年課税分)</li> <li>00</li> <li>平成16年度(実績)</li> <li>89.36%</li> <li>納税者が多いため、事業</li> <li>市に比較して高額滞納索</li> </ul>	平成17年度(実績)         96.40%         平成17年度(実績)         89.66%         等の失敗により滞納者。         等の失敗により滞納者。         降が多い。なお、平成         度に比べ2%を超える)	平成18年度(目標)         99.00%         平成18年度(目標)         91.00%         となった場合には、1千万         17年度の現年徴収率につ         減少となっている。	平成19年度(目標)         99.00%         平成19年度(目標)         91.00%         円を超える高額滞納者
対 大 ウ を ア指 声 で	意図きかり、カクランの特色の特色の	意 (対象を な 中指 最終 成成 果標 果標 <b>活動配</b> 費	図で) 的 名式度値名式度値 項 ト 横	市税 徴収入 平成 徴収入 で成 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	他収入の確保と税負 (率 (現年課税分) (額 / 調定額 15年度 (実績) 98.20% (率 (滞納繰越分- 額÷調定額×10 15年度 (実績) 88.11% ナー社長等の高額 は、ことが多く、他件で5億円弱の流	<ul> <li>え、納付・納入を促す。</li> <li>車担の公平性を確立する</li> <li>平成16年度(実績)</li> <li>98.51%</li> <li>+現年課税分)</li> <li>00</li> <li>平成16年度(実績)</li> <li>89.36%</li> <li>納税者が多いため、事業</li> <li>市に比較して高額滞納索</li> </ul>	平成17年度(実績)       96.40%       平成17年度(実績)       89.66%       等の失敗により滞納者。       降が多い。なお、平成度に比べ2%を超える減       1世帯当り(円)     1,655	平成18年度(目標)         99.00%         平成18年度(目標)         91.00%         となった場合には、1千万         17年度の現年徴収率につ         減少となっている。	平成19年度(目標)         99.00%         平成19年度(目標)         91.00%         円を超える高額滞納者いては国税の更正によ
対 大 フ 方 を 事 3	意 き カ の 業 人	意(対象を引動して) ない 中指 最指 と 活動配費費	型(で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で)	市税 徴収入 平成 徴収入 で成 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	他収入の確保と税金 (中) (現年課税分) 額/調定額 15年度(実績) 98.20% (平) (本納繰越分-額÷調定額×10 15年度(実績) 88.11% ・十一社長等の高額 ・サー社長等の高額 ・サー社長等の高額 ・サーで5億円弱の流 15年度(決算) 53,392	<ul> <li>え、納付・納入を促す。</li> <li>単型の公平性を確立する</li> <li>単型の公平性を確立する</li> <li>中型ののでは、</li> <li>中型ののでは、</li> <li>中では、</li> <li>16年度(実績)</li> <li>89.36%</li> <li>14年度のでは、</li> <li></li></ul>	平成17年度(実績) 96.40% 平成17年度(実績) 89.66% (等の失敗により滞納者。 を件が多い。なお、平成 度に比べ2%を超えるが 1世帯当り(円) 1,655 平成17年度(決算) 57,001	平成18年度(目標) 99.00% 平成18年度(目標) 91.00% となった場合には、1千万 17年度の現年徴収率につ 或少となっている。 住民1人当り(円) 725 平成18年度(予算)	平成19年度(目標)         99.00%         平成19年度(目標)         91.00%         円を超える高額滞納者いては国税の更正によ
対 大 フ 方 る 事 3 事	意 き カ の 業 人事	意(対な 中指 最指 み 活動 で	型 を を を を を を を を を を を を を	市税 徴収入 平成 徴収入 で成 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	他収入の確保と税金 (中、のででででででできる。 を収入の確保と税金 (中で、でででできる。) (本・ででででできる。) (本・ででででできる。) (本・でででででできる。) (本・でででででできる。) (本・でででででできる。) (本・でででできる。) (本・ででできる。) (本・ででできる。) (本・でできる。) (本・できる。) (	<ul> <li>え、納付・納入を促す。</li> <li>単型の公平性を確立する</li> <li>中成16年度(実績)</li> <li>98.51%</li> <li>+現年課税分)</li> <li>00</li> <li>平成16年度(実績)</li> <li>89.36%</li> <li>額納稅者が多いため、事業</li> <li>帯納が発生したため前年</li> <li>平成16年度(決算)</li> </ul>	平成17年度(実績) 96.40% 平成17年度(実績) 89.66% 等の失敗により滞納者。 を件が多い。なお、平成る 度に比べ2%を超えるが 1世帯当り(円) 1,655 平成17年度(決算) 57,001 8,934	平成18年度(目標)       99.00%       平成18年度(目標)       91.00%       となった場合には、1千万       17年度の現年徴収率につ       域少となっている。       住民1人当り(円)     725	平成19年度(目標)         99.00%         平成19年度(目標)         91.00%         円を超える高額滞納者いては国税の更正によ
対 大 ア指 芦 3 事 訳	意 き カ の 業 人事他	意(対象を当な) 中指 最指 と 活動配費費費費	型 を を を を を を を を を を を を を	市税 徴収入 平成 徴収入 で成 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	他収入の確保と税金 (中) (現年課税分) 額/調定額 15年度(実績) 98.20% (平) (本納繰越分-額÷調定額×10 15年度(実績) 88.11% ・十一社長等の高額 ・サー社長等の高額 ・サー社長等の高額 ・サーで5億円弱の流 15年度(決算) 53,392	<ul> <li>え、納付・納入を促す。</li> <li>単型の公平性を確立する</li> <li>単型の公平性を確立する</li> <li>中型ののでは、</li> <li>中型ののでは、</li> <li>中では、</li> <li>16年度(実績)</li> <li>89.36%</li> <li>14年度のでは、</li> <li></li></ul>	平成17年度(実績)         96.40%         平成17年度(実績)         89.66%         6等の失敗により滞納者を体が多い。なお、平成度に比べ2%を超えるが出世帯当り(円)         1世帯当り(円)       1,655         平成17年度(決算)         57,001         8,934         0	平成18年度(目標) 99.00% 平成18年度(目標) 91.00% となった場合には、1千万 17年度の現年徴収率につ 或少となっている。 住民1人当り(円) 725 平成18年度(予算)	平成19年度(目標)         99.00%         平成19年度(目標)         91.00%         円を超える高額滞納者いては国税の更正によ
対 大 ア指 芦 3 事 訳	意 き カ の 業 人事他減回	意(対象を引動して) は、対象を引動して) は、対象を引動して、対象を引動しなりのものとなりの	型 を を を を を を を を を を を を を	市税 徴収入 平成 収入成 マル マル マル マル マル マル マル マーと り1	他収入の確保と税金 (現年課税分) 額/調定額 15年度(実績) 98.20% (率(滞納繰越分 額÷調定額×1( 15年度(実績) 88.11% ナー社長等の高額 ることが多く、他 件で5億円弱の流 15年度(決算) 53,392 9,265 2,060	で、、納付・納入を促す。  ・	平成17年度(実績)       96.40%       平成17年度(実績)       89.66%       等の失敗により滞納者。       性が多い。なお、平成度に比べ2%を超えるが       世帯当り(円)     1,655       平成17年度(決算)     57,001       8,934     0       0	平成18年度(目標) 99.00% 平成18年度(目標) 91.00% となった場合には、1千万 17年度の現年徴収率につ 或少となっている。 住民1人当り(円) 725 平成18年度(予算)	平成19年度(目標)         99.00%         平成19年度(目標)         91.00%         円を超える高額滞納者いては国税の更正によ
対 大 ア指 芦 3 事 訳	意 き カ の 業 人事他	意(対象を当な) 中指 最指 と 活動で 作業 経知 作業 経却 十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	型 を を を を を を を を を を を を を	市税 徴収入 平成 収入成 マル マル マル マル マル マル マル マー マー マー マー マー マー マー マー マー マー	他収入の確保と税金 (中、のででででででできる。 を収入の確保と税金 (中で、でででできる。) (本・ででででできる。) (本・ででででできる。) (本・でででででできる。) (本・でででででできる。) (本・でででででできる。) (本・でででできる。) (本・ででできる。) (本・ででできる。) (本・でできる。) (本・できる。) (	<ul> <li>え、納付・納入を促す。</li> <li>単型の公平性を確立する</li> <li>単型の公平性を確立する</li> <li>中型ののでは、</li> <li>中型ののでは、</li> <li>中では、</li> <li>16年度(実績)</li> <li>89.36%</li> <li>14年度のでは、</li> <li></li></ul>	平成17年度(実績)         96.40%         平成17年度(実績)         89.66%         6等の失敗により滞納者を体が多い。なお、平成度に比べ2%を超えるが出世帯当り(円)         1世帯当り(円)       1,655         平成17年度(決算)         57,001         8,934         0	平成18年度(目標) 99.00% 平成18年度(目標) 91.00% となった場合には、1千万 17年度の現年徴収率につ 或少となっている。 住民1人当り(円) 725 平成18年度(予算)	平成19年度(目標)         99.00%         平成19年度(目標)         91.00%         円を超える高額滞納者いては国税の更正によ
対 大 フ指 芦 3事 内( 円 田)	<ul><li>意 き カ の 業 人事他減合</li><li>図 ム標 特 費業 部価</li></ul>	意(対象を引動して) は、対象を引動して) は、対象を引動して、対象を引動しなりのものとなりの	型 を を を を を を を を を を を を を	市税 徴収入 平成 収入成 マル マル マル マル マル マル マル マー マー マー マー マー マー マー マー マー マー	他収入の確保と税負率(現年課税分)額/調定額15年度(実績)98.20% (薬・調定額×1( 15年度(実績)98.20% (薬・調定額×1( 15年度(実績)88.11% ・ナー社長等の高額・3、3、3、2、2 9、2、6、6、2、6、6、6、4、7、17	で成16年度(実績) 98.51% +現年課税分) 00 平成16年度(実績) 89.36% 額納税者が多いため、事業 帯納が発生したため前年 平成16年度(決算) 55,051 9,419	平成17年度(実績) 96.40% 平成17年度(実績) 89.66% 等の失敗により滞納者。 はが多い。なお、平成度に比べ2%を超える。 1世帯当り(円) 1,655 平成17年度(決算) 57,001 8,934 0 0 65,935	平成18年度(目標) 99.00% 平成18年度(目標) 91.00% となった場合には、1千万 17年度の現年徴収率につ 或少となっている。 住民1人当り(円) 725 平成18年度(予算) - 9,641	平成19年度(目標)         99.00%         平成19年度(目標)         91.00%         円を超える高額滞納者いては国税の更正によ
対 大 ア指 芦 3事 内( ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	意   き   力   り   人事他減合国市図     図   ム標   特費業   部価	意(対な 中指 最指 を 活 件業門償 ・ 保 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	型 注語にして) 目 指考年 年指指考年 持 標標点方・標標標方・標標標点方・標標標点方・標標標点方・標準 は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	市税 徴収入 平成 収入成 マル マル マル マル マル マル マル マー マー マー マー マー マー マー マー マー マー	他収入の確保と税負率(現年課税分)額/調定額15年度(実績)98.20% (薬・調定額×1( 15年度(実績)98.20% (薬・調定額×1( 15年度(実績)88.11% ・ナー社長等の高額・3、3、3、2、2 9、2、6、6、2、6、6、6、4、7、17	で成16年度(実績) 98.51% +現年課税分) 00 平成16年度(実績) 89.36% 額納税者が多いため、事業 帯納が発生したため前年 平成16年度(決算) 55,051 9,419	平成17年度(実績) 96.40% 平成17年度(実績) 89.66% 等の失敗により滞納者。 はが多い。なお、平成度に比べ2%を超える。 1世帯当り(円) 1,655 平成17年度(決算) 57,001 8,934 0 0 65,935	平成18年度(目標) 99.00% 平成18年度(目標) 91.00% となった場合には、1千万 17年度の現年徴収率につ 或少となっている。 住民1人当り(円) 725 平成18年度(予算) - 9,641	平成19年度(目標)         99.00%         平成19年度(目標)         91.00%         円を超える高額滞納者いては国税の更正によ
対大ア指芦3事内(財(ま事円原いののの <th>意 き カ の <b>業</b> 人事他減<b>合</b>国市そ<b>一</b>図</th> <th>意(対な 中指 最指 な <b>計</b> 保票標 果標 果標 果標 果標 の <b>財</b> の <b>財</b> の <b>財</b> の <b>財</b> の <b>以</b> の <b>財</b> の <b>以</b> の</th> <th>型 注語にして) 目 的 名式度値 名式度値名式度値 名式度値名式度値 13.5% 0.0% 100.0% 86.8%</th> <th>市税収入では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で</th> <th>他収入の確保と税負率(現年課税分)額/調定額 15年度(実績)98.20% 率(滞納繰越分-額÷調定額×1( 15年度(実績)88.11% 十一社長等の高額・30元とが多く、他件で5億円弱の約 15年度(決算) 53,392 9,265 2,060 64,717 50,035</th> <th>で成16年度(実績) 98.51% +現年課税分) 00 平成16年度(実績) 89.36% ほ納税者が多いため、事業 中に比較して高額滞納等 帯納が発生したため前年 平成16年度(決算) 55,051 9,419 64,470 53,748</th> <th>平成17年度(実績) 96.40% 平成17年度(実績) 89.66% 巻等の失敗により滞納者。 を件が多い。なお、平成 度に比べ2%を超えるが 1世帯当リ(円) 1,655 平成17年度(決算) 57,001 8,934 0 65,935 57,201</th> <th>平成18年度(目標) 99.00% 平成18年度(目標) 91.00% となった場合には、1千万 17年度の現年徴収率につ 或少となっている。 住民1人当り(円) 725 平成18年度(予算) - 9,641</th> <th>平成19年度(目標)         99.00%         平成19年度(目標)         91.00%         円を超える高額滞納者いては国税の更正によ</th>	意 き カ の <b>業</b> 人事他減 <b>合</b> 国市そ <b>一</b> 図	意(対な 中指 最指 な <b>計</b> 保票標 果標 果標 果標 果標 の <b>財</b> の <b>財</b> の <b>財</b> の <b>財</b> の <b>以</b> の <b>財</b> の <b>以</b> の	型 注語にして) 目 的 名式度値 名式度値名式度値 名式度値名式度値 13.5% 0.0% 100.0% 86.8%	市税収入では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	他収入の確保と税負率(現年課税分)額/調定額 15年度(実績)98.20% 率(滞納繰越分-額÷調定額×1( 15年度(実績)88.11% 十一社長等の高額・30元とが多く、他件で5億円弱の約 15年度(決算) 53,392 9,265 2,060 64,717 50,035	で成16年度(実績) 98.51% +現年課税分) 00 平成16年度(実績) 89.36% ほ納税者が多いため、事業 中に比較して高額滞納等 帯納が発生したため前年 平成16年度(決算) 55,051 9,419 64,470 53,748	平成17年度(実績) 96.40% 平成17年度(実績) 89.66% 巻等の失敗により滞納者。 を件が多い。なお、平成 度に比べ2%を超えるが 1世帯当リ(円) 1,655 平成17年度(決算) 57,001 8,934 0 65,935 57,201	平成18年度(目標) 99.00% 平成18年度(目標) 91.00% となった場合には、1千万 17年度の現年徴収率につ 或少となっている。 住民1人当り(円) 725 平成18年度(予算) - 9,641	平成19年度(目標)         99.00%         平成19年度(目標)         91.00%         円を超える高額滞納者いては国税の更正によ
対     大     ア指     芦     3事     内( 財( 活       ま     円     所     所       ま     円     原     動	意 き カ の <b>美</b> 人事 他減 <b>合</b> 国市そ <b>一</b> 職図	意(対な 中指 最指 な 活 件業門償 ・債の財 保標 果標 果標 の 関 ・ 債の財 の 関 ・ 債の財 の 関 ・ 債の財 の 関 ・ 債の財 の 関 ・ 債の財 の 関 ・ 債の財 の 関 ・ 債の財 の 関 ・ 債の財 の 関 ・ 債の財 の 関 ・ 債の財 の 関 ・ 債の財 の 関 ・ 債の財 の 関 ・ 債の財 の 関 ・ 債の財 の 関 ・ 債の財 の 対 の 対 の 対 の 対 の 対 の 対 の 対 の 対 の 対 の	図 注語にして) 目 的 名式度値 考末 標標 標	市税 徴収入 平成 徴収入成 本 かり ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア	他収入の確保と税負 型率(現年課税分) 額/調定額 15年度(実績) 98.20% 率(滞納繰越分- 額÷調定額×1( 15年度(実績) 88.11% -ナー社長等の高額 さことが多く、他 件で5億円弱の活 15年度(決算) 53,392 9,265 2,060 64,717 50,035	で成16年度(実績) 98.51% +現年課税分) 00 平成16年度(実績) 89.36% ほ納税者が多いため、事業 帯納が発生したため前年 平成16年度(決算) 55,051 9,419 64,470 53,748	平成17年度(実績) 96.40% 平成17年度(実績) 89.66% 等の失敗により滞納者。 され、平成度に比べ2%を超えるが 1世帯当リ(円) 1,655 平成17年度(決算) 57,001 8,934 0 65,935 57,201	平成18年度(目標) 99.00% 平成18年度(目標) 91.00% となった場合には、1千万 17年度の現年徴収率につ 或少となっている。 住民1人当り(円) 725 平成18年度(予算) - 9,641	平成19年度(目標)         99.00%         平成19年度(目標)         91.00%         円を超える高額滞納者いては国税の更正によ
対     大     ア指     芦     3事     内( 財( 活       ま     円     所     所       ま     円     原     動	意     き     力     の業人事他減合国市そー職嘱       図     ム標     特費業 部価       正     手	意(対な 中指 最指 な <b>計</b> 保票標 果標 果標 果標 果標 の <b>財</b> の <b>財</b> の <b>財</b> の <b>財</b> の <b>以</b> の <b>財</b> の <b>以</b> の	型 注語にして) 目 的 名式度値 考末 原値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 3.5% 0.0% 13.5% 0.0% 100.0% 86.8% 13.2%	市税収入では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	他収入の確保と税負率(現年課税分)額/調定額 15年度(実績)98.20% 率(滞納繰越分-額÷調定額×1( 15年度(実績)88.11% 十一社長等の高額・3ことが多く、他件で5億円弱の約 15年度(決算) 53,392 9,265 2,060 64,717 50,035	で成16年度(実績) 98.51% +現年課税分) 00 平成16年度(実績) 89.36% ほ納税者が多いため、事業 帯納が発生したため前年 平成16年度(決算) 55,051 9,419 64,470 53,748	平成17年度(実績) 96.40% 平成17年度(実績) 89.66% 巻等の失敗により滞納者。 を件が多い。なお、平成 度に比べ2%を超えるが 1世帯当リ(円) 1,655 平成17年度(決算) 57,001 8,934 0 65,935 57,201	平成18年度(目標) 99.00% 平成18年度(目標) 91.00% となった場合には、1千万 17年度の現年徴収率につ 或少となっている。 住民1人当り(円) 725 平成18年度(予算) - 9,641	平成19年度(目標)         99.00%         平成19年度(目標)         91.00%         円を超える高額滞納者いては国税の更正によ

4 評1	<u>曲(チェ</u> 価	<u>:ック)</u> 視	点	評価チェックリスト	1 次部/西	2次評価
яT	_ <del></del>			□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない	八計画	2 八計1四
	目的	受当性(	2 ~ 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
				□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関	与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
当				□ いずれにも該当しない □ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	3	4
=	市民	!ニーズ(2	2 ~ 1)	□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない □ ニーズが高いとは言えない,または未把握	3	4
性	112 50	,— ^( <sup>2</sup>	- 1)	□ 数字で把握している □ 大の間がには目れるが、または木の屋		
8点	**	理+辛亦/	k(4 4)	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
			<b>七(1~ 1)</b>	内容 納付環境のより一層の改善(休日開庁・コンピニ収納・クレジットカードによる納付等)		
		性,緊急		□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
有		<u>:カバー</u> 達 :者(1~		□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い □ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定	_	
		•	,	□ 事業息図と支流有は空台りといる □ 事業息図と支流有が不空台、または支流が一部に限定 □ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	ا م ا	
効	成果	の実績(	2 ~ 1)	→ 図 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	3	3
性	- 成里	!向 F全t	也(1~ 1)	成果があがっていない場合		
4点	- 133,74	101 11 1/2	US(1 1)	□ 成果向上策あり □ 特になし		
				☑ 比較できる団体がある 団体名 阪神9市 □ 比較できる団体はない □ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない		
効	単位	コスト(1	~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない □ 地団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
743				高いまたは低い場合の理由		
	四共	者負担(	0 ~ 1)	☑ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
率	又皿			□ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能 )	2	0
				直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	_	
	手段	(1 ~ 3	)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある □ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性				□ 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託, 臨時職員等で対応可能である		
3点	コス	ト削減取	組(1~ 1)	☑ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
		. 133# % 1/	,,(, ,,	→ 内容 平成15年度1名減で対応している。		
平成1	16 年 度	きの 評	価 内 容 方 向 性	□ A <mark>平成17年度に実</mark> ☑ 改善し,効果を得た		
及び ジェクス	ひる	いる 場合はi	方 向 性 记載不要)	□ □ □           □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		
( 11 114 /	3 0.00	20 H 104 H			Α	В
平 成	. 1		度に	税制改正に伴う小額滞納者の増加 職員の経験年数が短い 課長ヒアリングによる進行管理を強化する。 設善現年度のみの新規発生分の催告を強化する。	^	
実施	す る 必	改善		課題 (平成18年4月1日時点で1年11か月) 内容 外部研修に積極的に参加し、課内研修も充実		
(	20.	15	(	することにより職員の資質向上に努める。		
5 今往	後の対	応(ア	フション)			
租在前	図 識	l, ア い	る 課 顎	納付誓約(分割納付)後の不履行が多い。 一度滞納すると2年・3年と滞納が慢性化する滞納者が多い。		
>)t 11	DATA CONTRACTOR	0 ( 0.	6 B/K AES	滞納分の徴収率が低い。		
市民,関	関係者 市	5民,関係	系者の名称	滞納者		
からの	I≓	意見,	要望内容	   自分だけが厳しい滞納処分を受けているのではないかという疑問を持っている滞納者が多い。		
要望	等。					
		(1)	対応内容	納付誓約不履行者には直ちに納付催告書を送付しているが各担当者で催告文書内容を工夫して催告す	⁻る。	
		. ,	実施期限	平成 18~19 年 4~3 月		
課題·要	望等		対応内容			
^ ~ ·	++ r <del>-</del>	(2)		T.A. P. 1		
へのす	טוע ניא		実施期限			
		(3)	対応内容			
			実施期限	平成 年 月		
				納税者の納付環境改善のためにコンビニ収納やクレジットカードによる納付等も検討すべきと考える		
その他改善の				口座振替による納付件数を増やすためのイベントを実施する。たとえば, 新規に口座振替納付を申し明石海峡大橋の橋脚最上部からの展望を無料招待する(現地までの交通費は各自負担とし, 団体保険		
IX # C	U) ) 1	1 ) )		る。本四公団との折衝は収税課が行う。) <b>今後の方向</b>		
				拡大・充実	_	0
				現状維力		0
₩ +	0 2	1 ( = ==	0 <del>+</del> <del>-</del> 41		<b>善</b> ●	•
平 成 1	9 ~ 2	1 牛 度	の方向性		手 N O	0
				徴収率の同工を図る。	-	0
				上させることにより徴収率の向上を図る。		0
					-	
2 次 評	平価 委	員会	コメント	市税等納付督励事務については、民間活力の導入等を検討してください。		

_	-	業)	事 業	コード	1310°	120			1	部 長	次	長	果長
(	13X T	* )	<del>-</del>	<del>- '</del>	1010	120						K 1	л Ц
平万	<b>成 17 </b> £	年度	事	業 名	し尿	処理業務							
1	事業	<b>(概要</b>	更(ドゥ)										
第3	次芦	屋市	まちづく	りの目標	1	活気あふれる豊か	な生活環境づくり			C	生活環境	部	
総	合 討	画		中	3	環境適合型社会の	形成			所 管 胡	総務課		
	策施		-	<u>/</u> ]\		環境への負荷の低				所管課長氏名	橋本 裕	二郎	
体		系		<u>-</u> 細		3114 12				記入者氏名			
事		業	期		四刀手口	56年度~	<b>经验</b> 院性				38-2050		<b>中炉</b> 0000
	+bn						経常臨時		品叶				内線 2606
根	拠	法					物の減量及び適正処理は			実施主体		- I- A	
実		施	手	,-,			☑ 一部委託	□ 全部委託		補助金		負担金	///
委			託	先		外郭団体委託	名称		☑ 民間	委託 <mark>委託内容</mark>	し尿及び	汚泥物収	集連搬業務
					し尿	及び浄化槽汚泥物	の適正処理						
事	對	¥	の	概 要									
					し尿	及び浄化槽汚泥物	の収集運搬業務を民間委	舒託					
事	귈	¥	Ø	現 状			伴う仮設トイレのし尿及		物の収集	<b></b> 雷鄉			
4			。。 『現のため										
									女礼しく	Λ.⁄౨°			
	=	一段人	び実施内	台	(西	4呂巾・厄崎巾400	0円/回,芦屋市20,000円	5/凹)					
						L # 11							
						収集依頼件数							
			結果指標	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(	(実績)	平成18年度	(目標)	平成 1 9	年度(目標)
			(1)	指標値		101件	127件	88件		9 0 件	:		90件
アウ	ナトプ	゚ット		単位コスト		63,713円	44,819円	63, 068F	9	50, 533	円	50	), 533円
指		標		指標名		収集量	<u>'</u>	<u> </u>				1	
3.1			結果指標				平成16年度(実績)	平成17年度(	(宝績)	平成18年度	(日標)	平成 1 9	年度(目標)
				指標値		42. 4kl	28. 8kl	14. 9		1 5 k			1 5 kl
			(2)			42. 4KI	20. OKI	14. 3	N1	1 0 %.			1 0 K1
2	= 11	<u> </u>	<del></del> -	単位コスト									
2	争亲	八人	艮(アウト	`リム)	ı								
			対	象	仮設	トイレ設置者							
事業	業のほ	目的	対象力	バー 率	対象	<mark>き数 (a)</mark> 仮設ト	イレ設置者 <mark>受 益 数</mark>	<mark>( (b)</mark> 仮設ト	イレ設置	置者 比率 (b	÷ a) %		1 0 0
対纟	象・意	三 図											
			意	図	仮設	トイレのし尿を適	正に収集し処理する。						
			(対象を主	E語にして)									
大	ŧ	ŧ											
	Ì		な	日 的	1.尿:	を適正に収集・処	理を1 環境を守り公衆	で衛生の向上を同	図ろ.				
			な	目 的	し尿	を適正に収集・処	理をし,環境を守り公衆	で衛生の向上を	図る。				
							理をし,環境を守り公衆	で衛生の向上を同	図る。				
				指標名	し尿	適正処理率		や衛生の向上を 🏻	図る。				
			中間成果	指標名 考え方・式	し尿	適正処理率 処理量/収集量×	1 0 0						
_			中間成果指標標	指標名 考え方・式 年 度	し尿	適正処理率 処理量/収集量× 15年度(実績)	100平成16年度(実績)	平成 1 7 年度 (	(実績)	平成 1 8 年度			年度(目標)
	ウトカ	<b>カム</b>	中間成果指  標	指標名 考え方:式 年 度 指標値	し尿	適正処理率 処理量/収集量×	1 0 0		(実績)	<b>平成18年度</b> 100			年度(目標) 00%
ア「 指	<b>ウ</b> ト フ	カム 標	中間成果指  標	指 標 名 考 元 式 度 指 標 值 指 標 名	し尿	適正処理率 処理量/収集量× 15年度(実績)	100平成16年度(実績)	平成 1 7 年度 (	(実績)				
	<b>ウト</b> カ	カム 標	中間成果指  標	指標名 考え方·式度 指標標名 指標。 表方·式	し尿が	適正処理率 処理量/収集量× 15年度(実績) 100%	100 平成16年度(実績)	平成 1 7 年度 ( 1 0 0 9	( <b>実績</b> ) %				
	<b>ウ</b> ト フ	カム 標	中間成果指  標	指標方式 年標標 指標標 指表え	し尿が	適正処理率 処理量/収集量× 15年度(実績) 100%	100平成16年度(実績)	平成 1 7 年度 ( 1 0 0 9	( <b>実績</b> ) %		%	1	
	<b>ウ</b> ト フ	カム 標	中間成果指標	指標方式 年標標 指標標 指表え	し尿が	適正処理率 処理量/収集量× 15年度(実績) 100%	100 平成16年度(実績)	平成 1 7 年度 ( 1 0 0 9	( <b>実績</b> ) %	100	%	1	00%
	<b>ウ</b> トフ	カム 標	中間成果指標	指 標 名式度值名式度值名式度	し尿 で成 平成	適正処理率 処理量/収集量× 15年度(実績) 100%	100 平成16年度(実績)	平成 1 7 年度 ( 1 0 0 9	( <b>実績</b> ) %	100	%	1	00%
指		カム 標	中間成果標 標級成果 標指 標	指 考 年 指 指 考 年 指 指 考 年 振 信 名 式 度 值 名 式 度 值	し尿がでする。	適正処理率 処理量/収集量× 15年度(実績) 100% 15年度(実績) 家庭及び事業所の	100 平成16年度(実績) 100% 平成16年度(実績) し尿汲取りはない。	平成 1 7 年度 ( 1 0 0 9 平成 1 7 年度 (	( <b>実績</b> ) %	100	%	1	00%
指		カム 標	中間成果標 標級成果 標指 標	指 考 年 指 指 考 年 指 指 考 年 振 信 名 式 度 值 名 式 度 值	し尿がでする。	適正処理率 処理量/収集量× 15年度(実績) 100% 15年度(実績) 家庭及び事業所の	100 平成16年度(実績) 100% 平成16年度(実績)	平成 1 7 年度 ( 1 0 0 9 平成 1 7 年度 (	( <b>実績</b> ) %	100	%	1	00%
指 芦属	<b>屋市</b> σ	カム 標 特色	中間成果 標 最終成果 指 標	指 考 年 指 まえ ままま ままま ままま ままま ままま ままま ままま ままま まま	し尿がでする。	適正処理率 処理量/収集量× 15年度(実績) 100% 15年度(実績) 家庭及び事業所の	100 平成16年度(実績) 100% 平成16年度(実績) し尿汲取りはない。	平成17年度 1009 平成17年度(	(実績)	平成18年度	(目標)	平成 1 9	年度(目標)
指 芦属	<b>屋市</b> σ	から、標のは、	中間成果 指 最終成果 指 さど補足 活動配	指考えて標標方式度値名式度値名式度値のスト	し尿 し尿 <b>平成</b> 一般 平成	適正処理率 処理量/収集量× 15年度(実績) 100% 15年度(実績) 家庭及び事業所の 19年度で市内の下	100 平成16年度(実績) 100% 平成16年度(実績) レ尿汲取りはない。 水道管敷設工事は終了す	平成17年度( 1009 平成17年度( - る。 1世帯当り(円)	(実績)	100 平成18年度 住民1人当り(円)	(目標)	平成 1 9	00%
指 芦属	屋市の 事業	力 点 標 一 特 費業	中間成果 指 最終成果 指 らなど補品 活動配 費	指考年 指指考年 指指考年 標標 事 スペーク (	し尿 し尿 <b>平成</b> 一般 平成	適正処理率 処理量/収集量× 15年度(実績) 100% 15年度(実績) 家庭及び事業所の 19年度で市内の下	100 平成16年度(実績) 100% 平成16年度(実績) し尿汲取りはない。 水道管敷設工事は終了す	平成17年度 1009 平成17年度(	(実績)	平成18年度	(目標)	平成 1 9	年度(目標)
指 芦属	事業	力 標 特 <b>費</b> 業	中間成果 標 最終成果 標 活動配費 費	指標方式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度がよります。 コスト 横成 4 まままままままままままままままままままままままままままままままままま	し尿 し尿 <b>平成</b> 一般 平成	適正処理率 処理量/収集量× 15年度(実績) 100% 15年度(実績) 家庭及び事業所の 19年度で市内の下	100 平成16年度(実績) 100% 平成16年度(実績) レ尿汲取りはない。 水道管敷設工事は終了す 平成16年度(決算) 1,144	平成17年度( 1009 平成17年度( - る。 1世帯当り(円)	(実績) (実績) (実績) 139 (決算) 1,457	100 平成18年度 住民1人当り(円)	(目標)	平成 1 9	年度(目標)
指 芦属	事業	力 標	中間成標 最終成果 標 者 が を が 活 動 費 費 費 費	指考年 指指考年 指指考年 標標 事 スペーク (	し尿 し尿 <b>平成</b> 一般 平成	適正処理率 処理量/収集量× 15年度(実績) 100% 15年度(実績) 家庭及び事業所の 19年度で市内の下	100 平成16年度(実績) 100% 平成16年度(実績) し尿汲取りはない。 水道管敷設工事は終了す	平成17年度( 1009 平成17年度( - る。 1世帯当り(円)	(実績)	100 平成18年度 住民1人当り(円)	(目標)	平成 1 9	年度(目標)
指 芦 3 事 内	事業	力 標 り 特 業 人 事他	中間成標 最終成標 保標 作業 経 発 経 発 経 発 程 発 経 発 発 発 発 発 発 発 発 発 発 発	指標方式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度がよります。 コスト 横成 4 まままままままままままままままままままままままままままままままままま	し尿 し尿 <b>平成</b> 一般 平成	適正処理率 処理量/収集量× 15年度(実績) 100% 15年度(実績) 家庭及び事業所の 19年度で市内の下	100 平成16年度(実績) 100% 平成16年度(実績) レ尿汲取りはない。 水道管敷設工事は終了す 平成16年度(決算) 1,144	平成17年度( 1009 平成17年度( - る。 1世帯当り(円)	(実績) (実績) (実績) 139 (決算) 1,457	100 平成18年度 住民1人当り(円)	(目標)	平成 1 9	年度(目標)
指 芦 3 事 内	事業	力 標 り 特 業 人 事他	中間成標 最終成標 果標 種子 を は で で で で で で で で で で で り で り で り で り で	指標方式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度がよります。 コスト 横成 4 まままままままままままままままままままままままままままままままままま	し尿 し尿 <b>平成</b> 一般 平成	適正処理率 処理量/収集量× 15年度(実績) 100% 15年度(実績) 家庭及び事業所の 19年度で市内の下	100 平成16年度(実績) 100% 平成16年度(実績) レ尿汲取りはない。 水道管敷設工事は終了す 平成16年度(決算) 1,144	平成17年度( 1009 平成17年度( - る。 1世帯当り(円)	(実績) (実績) (実績) 139 (決算) 1,457	100 平成18年度 住民1人当り(円)	(目標)	平成 1 9	年度(目標)
指 芦 3 事 内	事業	力 標 り 特 業 人 事他	中間成標 最終成標 保標 作業 経 発 経 発 経 発 程 発 経 発 発 発 発 発 発 発 発 発 発 発	指標方式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度がよります。 コスト 横成 4 まままままままままままままままままままままままままままままままままま	し尿 し尿 <b>平成</b> 一般 平成	適正処理率 処理量/収集量× 15年度(実績) 100% 15年度(実績) 家庭及び事業所の 19年度で市内の下	100 平成16年度(実績) 100% 平成16年度(実績) レ尿汲取りはない。 水道管敷設工事は終了す 平成16年度(決算) 1,144	平成17年度( 1009 平成17年度( - る。 1世帯当り(円)	(実績) (実績) (実績) 139 (決算) 1,457	100 平成18年度 住民1人当り(円)	(目標)	平成 1 9	年度(目標)
指 芦 3 事 内	事業	力 標	中間成標 最終成標 果標 種子 を は で で で で で で で で で で で り で り で り で り で	指 標 名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値の1人構成%26.3%73.7%	し尿 し尿 <b>平成</b> 一般 平成	適正処理率 処理量/収集量× 15年度(実績) 100% 15年度(実績) 家庭及び事業所の 19年度で市内の下 15年度(決算) 956 5,479	100 平成16年度(実績) 100% 平成16年度(実績) し尿汲取りはない。 水道管敷設工事は終了す 平成16年度(決算) 1,144 4,548	平成17年度( 1009 平成17年度( - る。 1世帯当り(円)	(実績) (実績) (決算) 1,457 4,093	100 平成18年度 住民1人当り(円)	(目標) (目標) (予算) - 4,548 -	平成 1 9	年度(目標)
指	事業	力 特 費業 人事他減 <b>合</b> 国	中指 最指 な が は が は が は が は が は が は る は る れ る れ る れ る り る り る り る り る り る り る り	指 標 名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値の1人構成%26.3%73.7%	し尿 し尿 <b>平成</b> 一般 平成	適正処理率 処理量/収集量× 15年度(実績) 100% 15年度(実績) 家庭及び事業所の 19年度で市内の下 15年度(決算) 956 5,479	100 平成16年度(実績) 100% 平成16年度(実績) し尿汲取りはない。 水道管敷設工事は終了す 平成16年度(決算) 1,144 4,548	平成17年度( 1009 平成17年度( - る。 1世帯当り(円)	(実績) (実績) (決算) 1,457 4,093	100 平成18年度 住民1人当り(円)	(目標) (目標) (予算) - 4,548 -	平成 1 9	年度(目標)
指	事業  「門」  「別」	力	中指 最指 と 動 で を 動 の で を が は が は が は る れ る れ る し る し う し う し う し う し う し う し う し う し	指標名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値の1 は 標	し尿 し尿 <b>平成</b> 一般 平成	適正処理率 処理量/収集量× 15年度(実績) 100% 15年度(実績) 家庭及び事業所の 19年度で市内の下 956 5,479	100 平成16年度(実績) 100% 平成16年度(実績) し尿汲取りはない。 水道管敷設工事は終了す 平成16年度(決算) 1,144 4,548	平成17年度( 1009 平成17年度( - る。 1世帯当り(円)	(実績) (実績) (決算) 1,457 4,093	100 平成18年度 住民1人当り(円)	(目標) 61 (予算) - 4,548 -	平成 1 9	年度(目標)
指	事業	カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・サー・サー・サー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー	中指 最指 は が成成 は は が は が は が は が は る は る は る り る り る り る り の り の り の り の り の り の り	指標名式度値 指標 名式度値名式度値名式度値 考え方・或度値 考え方・域の 年標値 はずる事項 分(コスト 構成% 26.3% 73.7%	し   マ成   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・	適正処理率 処理量/収集量× 15年度(実績) 100% 15年度(実績) 家庭及び事業所の 19年度で市内の下 956 5,479 6,435	100 平成16年度(実績) 100% 平成16年度(実績) し尿汲取りはない。 水道管敷設工事は終了す 平成16年度(決算) 1,144 4,548 5,692	平成17年度( 1009 平成17年度( - る。 1世帯当り(円)	(実績) (実績) (実績) 139 (決算) 1,457 4,093	100 平成18年度 住民1人当り(円)	(目標) (目標) (予算) - 4,548 -	平成 1 9	年度(目標)
指	事業  いの  の  の  の  の  の  の  の  の  の  の  の  の	力 特費業 人事他减 <b>合</b> 国市そ <b>一</b>	中指 最指 を 活 件 業 門 信 の り は 成 成 成 成 は る る も る り し う し う し う し う り し う し う し う し う し う	指標名式度 年標値名式度 指標の名式度 年期である。 年間である。 年間である。 年間である。 日である。 日でする	し   マ成   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・	適正処理率 処理量/収集量× 15年度(実績) 100% 15年度(実績) 家庭及び事業所の 19年度で市内の下 956 5,479 6,435	100 平成16年度(実績) 100% 平成16年度(実績) し尿汲取りはない。 水道管敷設工事は終了す 平成16年度(決算) 1,144 4,548 5,692 2,432 3,260	平成17年度( 1009 平成17年度( - る。 1世帯当り(円)	(実績) (実績) (決算) 1,457 4,093 5,550 1,600 3,950	100 平成18年度 住民1人当り(円)	(目標) 61 (予算) - 4,548 -	平成 1 9	年度(目標)
指	事業門原門動	力 特費業 人事他減 <b>合</b> 国市そ一職	中指 最指 と が が は が は が が は が は が は が も を も も も も も り も り も り も り も り も り も り	指標名式度値 指標 名式度値名式度値名式度値 考え方・或度値 考え方・域の 年標値 はずる事項 分(コスト 構成% 26.3% 73.7%	し   マ成   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・	適正処理率 処理量/収集量× 15年度(実績) 100% 15年度(実績) 家庭及び事業所の 19年度で市内の下 956 5,479 6,435	100 平成16年度(実績) 100% 平成16年度(実績) し尿汲取りはない。 水道管敷設工事は終了す 平成16年度(決算) 1,144 4,548 5,692	平成17年度( 1009 平成17年度( - る。 1世帯当り(円)	(実績) (実績) (実績) 139 (決算) 1,457 4,093	100 平成18年度 住民1人当り(円)	(目標) 61 (予算) - 4,548 - - - - 2,012	平成 1 9	年度(目標)
指	事業門原門動	力 特費業 人事他減 <b>合</b> 国市そ一職嘱	中指 最指 を 活 件 業 門 信 の り は 成 成 成 成 は る る も る り し う し う し う し う り し う し う し う し う し う	指標名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値である事項が(コスト 構成% 26.3% 73.7% 100.0% 28.8% 71.2% 100.0%	し   マ   成   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・	適正処理率 処理量/収集量× 15年度(実績) 100% 15年度(実績) 家庭及び事業所の 19年度で市内の下 956 5,479 6,435	100 平成16年度(実績) 100% 平成16年度(実績) し尿汲取りはない。 水道管敷設工事は終了す 平成16年度(決算) 1,144 4,548 5,692 2,432 3,260	平成17年度( 1009 平成17年度( - る。 1世帯当り(円)	(実績) (実績) (決算) 1,457 4,093 5,550 1,600 3,950	100 平成18年度 住民1人当り(円)	(目標) 61 (予算) - 4,548 -	平成 1 9	年度(目標)

4 評11 評	曲(チェック) 価 視	点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
H	目的妥当性(		□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない □ 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない	1// 1/14	2//11/100
			□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である	_	
妥	市関与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている □ いずれにも該当しない		
当	市民ニーズ(	2~ 1)	□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない □ ニーズが高い □ ニーズが高い   コーズが高い   コーズが高いとは言えない,または未把握	4	4
性	7,0	,	□ 数字で把握している □ 未把握	_	
8点	社会環境変	,	内容		
	優先性,緊急対象カバー図		□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる □ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~	1)	<ul><li>☑ 事業意図と受益者は整合している</li><li>□ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定</li><li>☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している</li><li>□ 実績値または目標値が未記入</li></ul>		
効	成果の実績(	(2 ~ 1)	└▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	3	3
性 4点	- 成果向上余	地(1~ 1)	成果があがっていない場合 □ 成果向上策あり □ 特になし		
			□ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない □ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない		
効	単位コスト(1	~ 1)	▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
	受益者負担(	(0 ~ 1)	高い、または低い場合の理由  ② 負担を求めることができる事業である  □ 負担を求めるべき事業ではない	-	
率	× = × = ×	(,	□ 見担なり □ 負担なり,過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能 ) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	-1	-1
	手段(1~ 3	3)	<ul><li>☑ 正規職員による執行が義務づけられている</li><li>□ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある</li><li>□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である</li><li>☑ 民間(企業, NPO等)で対応可能である</li></ul>		
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点	コスト削減取	(組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている 回 特に行っていない → 内容		
及び	6 年 度 の 評 改 善 の ご がない場合は	方 向 性	<mark>施した改善の方向</mark> みぎょなが、熱思がな。 改善し <b>が</b> 善し		
77 Ft	1 8 年			В	В
実施	する改	善内容	<b>改善</b> 内容		
5 今往	<b></b>	クション)			
現在	認識してい	ヽる 課 題	し尿処理施設の整備(現在,西宮市に委託) [		
市民,関からの	原者 市民,関係				
要望		要望内容	西宮市議会で芦屋市のし尿をいつまで受け入れるのかとの質問が出されたことがある。		
	(1)	対応内容			
課題·要	望等	実施期限対応内容	平成 年 月		
へ の i	(2)	実施期限	平成年月		
		対応内容			
	(3)	実施期限	平成年月		
その他	! 考えられる	,			
改善(	カアイデア		今後の方向性	1次評価	2次評価
			引き続き西宮市に処理を委託する。	€ 0	<ul><li>O</li><li>I</li><li>O</li></ul>
			方法改善	<b>喜</b> ●	0
平成 1	9~21年度	の方向性			0
			統合/終期設定		0
			廃止 / 休 』	0	0
2 次 評	不価 委 員 会	コメント			

/ m//	1 = ** \	击 业	- II	4000	450				1	÷п		\h		±⊞	F
(一般	(事業)	事業	□	1320	150					部	攴	次	長	課	長
亚战。	17年度	車	業 名	空⇒≠	缶等散乱防止事業										
- 13X	17 干皮	<del></del>	* 4	±C.											
		1													
4 =	2 ATK 101 5	# ( I* . )										<u> </u>			
		要(ドゥ)								1					
第3次	【芦屋市	まちづく	(りの目標	1	活気あふれる豊か	な生活	環境づくり			所 管	課	生活環境	部		
総合	計画		中	3	環境適合型社会の	形成				7)	亦	総務課			
政策	施策		小	2	環境保全対策の推	進				所管課長	氏名	橋本 裕	二郎		
			細		>(C) 1 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )					記入者					
体	系												、音		
事	業	其	間	平成	9年4月~		経常臨時	☑ 経常 □	臨時			38-2050		内線	2606
根 执	処 法	令 '	要綱等	芦屋	市空き缶等の散乱	防止に	関する条例			実施 🗄	E 体	市			
実	施	<b>=</b>	<b>三</b> 法	<b>V</b>	直営	П	一部委託	□ 全部委託			<b></b>	П	負担金		
委	,,,,					名称	HF X HG			委託 委託			/\in		
<del></del>		n L	76				La>) a4.ma	> 17++ . I		安癿女癿	内台				
					缶等の投げ捨て及	い詞い	大のふんの放直の	沙沙正							
事	業	の	概 要												
				告屋	市自治環境協議会	との春	<ul><li>秋のわがまちな</li></ul>	リーン作戦等	の実施						
=	र्गार	Φ.	4k BI							小胆烷 技	b 账 C 吉子 .	の担二			
事	業	<u>の</u>			紙・市ホームペー					:vノ 刑1性, 傾	(四) 帮(	<b>ソガウバ</b>			
	目的	実現のため	かの	美化:	推進員(自治会)	との連	<b>携による駅前啓</b> 菊	èキャンペーン	の実施						
	手段及	及び実施内	内容	市内:	全域の巡回及び清	掃作業	の実施								
				自治:	会等への啓発用ノ	ボリ旗。	の貸出し、啓発用	目看板の貸与の	実施						
			<b>指 </b>		まちクリーン作戦										
		/+ m / = 1						W#4 - 5-	/ ch/+ >	<b>₩</b> + • •	/T ===	/ D III \	₩+ €	0/	
		結果指標			15年度(実績)	平成 1	6年度(実績)	平成17年度	( 実績 )	平成18	中度(	(日標)	平成1	9年度(	日標)
		(1)	指標値		2回		2回	2回		<u></u>	2回		<u></u>	2回	
アウト	トプット		単位コスト												
指	標		指標名					l .		l			l		
3H	135	/+ m +r +=	-	ਜ਼ ਦੇ	4.5.左左(中华)	TT CT 4	(左座/京雄)	亚产 4 7 左座	(中/主)	₩#10	<b>左</b>	/ 口·振 \	ᅲᄼ	0 左座 /	
		結果指標		半成	15年度(実績)	平成1	6 年度(美額)	平成17年度	( 美額 )	平成18	牛皮 (	(日標)	平成1	9年度(	日悰)
		(2)	指標値												
			単位コスト												
2 事	業成	果(アウ	トカム)					l .					ı		
			, ,,,												
		対	象	市民	及び事業者,市外	からの	通勤・通学者等								
							- \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \								
			バー率	对多	R 数 (a)		受 益 数	( (b) 9	90, 885	比	<u>≼</u> (b	÷ a) %			
対象	・意 図			+ B	************************************	110-	ナウィファレファ	**************************************	の北里ナ	めはファル	1- L	n <b>*</b> 1 1	++ 31	10 1 = 4 =	uri}-
		意	図	市氏	等が空き缶等のポ	1 括 (	をやめること及じ	が則い大のぶん	の放直を	やめること	によ	り美しい	まりつく	りに麥口	到-9
		(対象を	主語にして)	(a) o											
		,													
大	き	な	目 的	晋倍:	美化を促進すると	L #. 1.=	古足の快適な生活	f 環境を確保 1	美1 17年	たべくりな	生田.	ナス			
^	C	<b>'</b> &	נים בי	/來/元:	大山で促進するこ	C 01C	川以り八週な工作	コ状況で唯体し	大しいよ	0 2 1 9 2	一大九	y 'a) o			
			I		4/ 2 2 2 2 2 2 2	,	200								
					秋のわがまちクリ	ーン作	=戦でのこみ収集	重 (kg)							
		中間成果	考え方・式	ごみ	収集量の減少										
		指 標	年 度	平成	15年度(実績)	平成 1	6年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成18	年度(	(目標)	平成 1	9年度(	目標)
アウ	トカム		指標値		9,340 k g		5,580 k g	7, 520 k	g	7, 4	100 k	g	7	7, 300 k	g
指	標				まちクリーン作戦		_	1	-	1 ,		_	1		
14	15					∠ //H/\?	» (/ <b>·</b> /								
			考え方・式		日者の増加		c		,	l — "					:-
		指 標	年 度	平成		平成 1	6年度(実績)	平成17年度		平成18	年度(	(目標)	平成1	9年度(	目標)
			指標値		3,186人		1,919人	3, 422,	人	3,	600人	_		3,800人	. 7
								•							
古屋 7	市の特色	五など補!	足する事項												
, 1± 1	- 42 19 0	G C IHI /	C / O 于 炽												
	= 1117 ===	<b>ハイチ! エ</b> ー	// /== !							I					
	業費'	沽動配	分(コスト)	1				1世帯当り(円)	145	住民1人当り		64	半成18.	4.1 住民	<b>基本台帳</b>
事	業	費	構成%	平成	15年度(決算)	平成 1	6年度(決算)	平成17年度	(決算)	平成18	年度	(予算)			
	人	件 費	79.7%		4,597		3,965		4,603			-			
	事	業費			1,334		1,171		1,173			1,057			
ф.					1,004		1,171		1,173			1,001			
		門経費													
(十円		「償却費										-			
	合	計	100.0%		5,931		5,136		5,776			-			
	国	· 県	Į.												
財	源 市	債 等													
(千円		の 他													
		設 財源			5,931		5,136		5,776			-			
	動職	員			0.45		0.40		0.50			-			
配	分嘱託	: 臨時等	16.7%		0.05	-	0.10		0.10			-			
	合	計			0.50		0.50		0.60			_			
(人															

4 評价	面(チェ	ック)					
評	価	視	点	評価チェックリスト		1次評価	2次評価
	日的5	立出州/	2 ~ 2)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞るこ	ことができない		
	H 1133	X = II(	2 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高	くない		
				□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応	芯可能である		
妥	市関	与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされて	いる		
				☑ いずれにも該当しない		4	
当				□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う		4	3
444	市民-	ニース(2	2 ~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない	,または未把握 □ 未把握		
性				<ul><li>☑ 数字で把握している お困りです課の苦情件数</li><li>□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している ☑ 社会環境の変化にあわせた</li></ul>			
8点	社会理	環境変化	<b>七(1~ 1)</b>	内容 内容	-兄且Uか必安		
	優先性	生,緊急	1件(1)				
			<u>≅(1 ~ 1)</u>	<ul><li>☑ 対象カバー率は高い</li><li>□ 他団体と同程度</li><li>□ 他団体よりカバ・</li></ul>	- 率が低い		
有	受益	耆(1~	1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が	が一部に限定		
効	成里の	の宝績(	2 ~ 1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未訂		4	4
	732.75		2 1)	▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがって	いると言えない	7	_
性	- 成果[	句上余り	也(1~ 1)	成果があがっていない場合			
4点				□ 成果向上策あり	□ 特になし		
				□ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない □ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握している	<del>/</del> >1.1		
効	単位:	コスト(1	~ 1)	□ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストか			
743				高い、または低い場合の理由	100		
	TT 24 -	+ 4 +0 .		□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない			
率	党益1	首貝担(	0 ~ 1)	└▶ □ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □	強収可能 )	-2	-2
<del>**</del>				直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		-2	-2
	<b>手段</b> (	1~ 3	)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担う			
	3 7%(	. 0	,	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応			
性				□ 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託, 臨時職員等で対応回	]能である		
3点	コスト	削減取	組(1~ 1)	<ul><li>□ コスト削減の取り組みを行っている</li><li>□ 特に行っていない</li><li>□ 内容 ポスター展の合同開催(環境処理センターとの)</li></ul>			
平成1	6年度	の評	価 内 容	□ A <mark>平成17年度に実</mark> ☑ 改善し,効果を得た	7/ 3/2 )		
(評価カ	改善 がない場	の <i>)</i>  合はi	方 向 性 记載不要)	<b>評価結果</b>	改善し なかっ		
,				T V	た総合	В	В
平 成	1	8 年	度に	啓発方法   啓発看板の種類を増やす	評価	ט	
平成実施	する	改善	度 に	課題 内容	変更する		
(	必	須	)				
5 今後	後の対応	応(アク	フション)				
		_ (	,	たばこのポイ捨て禁止の有効な対策			
現在意	忍識 し	てい	る 課 題	犬のふん放置禁止対策			
		民,関係	系者の名称	市民			
からの 要 望	恵見	見 , 弱	要望内容	バス停等でのたばこのポイ捨てが多い,犬のふんの放置が多い			
要望	守						
		(1)	対応内容	ポイ捨て禁止啓発ビデオの作成及び放映			
		( - )	実施期限	平成 18 年 4 月			
課題·要	望等		対応由家				
		(2)	XI/U/PI	啓発看板の作成			
へのす	讨 応		実施期限	平成 18 年 4 月			
		(0)	対応内容	広報紙「環境特集号」の発行			
		(3)	中作4079	TV-10 /TV C H			
			実施期限	平成 18 年 6 月 美化推進員との意見交換を実施しアイデアを募る			
その他	考えら	られる		喫煙禁止区域の設定 (条例改正が必要)			
改善				喫煙の人体におよぼす健康被害のPR活動			
					今後の方向性	1次評価	2次評価
				美化推進委員を中心とした、各自治会での自主的な取り組みの活性化	拡大・充実		0
				ホームページによる啓発をより一層充実をはかる。	現 状 維 持		0
					方法改善		•
平成1	9 ~ 2 1	年度	の方向性		民間委託等		0
					縮 小統合/終期設定	_	0
					統合/終期設定 廃止/休止		0
					126 TT / NY II		
		_ ^	7 4 1/ 6	他都市のベストプラクティスにならい、さらに具体的な方策を検討し、市民協働で改善	嵌を准めてくださ	LX	
2 次 評	価 委	貝 会	コノノド	世間中ツ、ハーノフノイハによりい、こりに共体的な力水で限的し、中氏励動で以	古と述め くくたじ	v .º	

	ļ																	
(一般	事業)	事業	コード	13200	)20								部	長	次	長	課	長
		+	NIK -		I==1 \ 1600		,											
平成 17	4 度	事	業 名	驗首•	振動対策	関係事業	Ę											
1 重	<b>学</b> 概3	要(ドゥ)																
			ロの日梅		江戸まと」	カフ曲 か	ナンサンエ	四体ベノル	`						<b>小江</b> 雪台	는 <b>소</b> 17		
			りの目標	-				環境づくり	,				所	管 課	生活環境			
総合	計画		中	3	環境適合學	型社会の	形成						***	ш ни	総務課	(環境保	全担当)	
政策	施策		小	2	環境保全	対策の推	進						所管調	長氏名	三木 3	記郎		
						****												
体	系		細												三木 3			
事	業	期	間	昭和4	17年度~			経済	常臨時	☑ 経	常 🗌 🛭	臨時	電話	番号	0797-38	-2051	内線	2611
根 拠	法	令 ' 5	要 綱 等	騒音共	見正法、抜	長動規正:	法	•					実 施	主体	市		-	
						X293790111		カチャ			かんぎ				-	<b>左</b> ₩ ∧		
実	施	手		✓i				一部委託		□ 至	部委託			助金		負担金		
委		託	先		外郭団体	委託	名称					☑ 民間	委託 委	託内容	振動、低	达 制波音	等測定業	終
				<ul> <li>騒音</li> </ul>	音、振動調	周査の実	施				•		•					
畫	ग्राप्ट	Φ.	±97 755															
事	業	の	概 要		等への要望													
				・法令	令に基づく	く届出書	の受理な	や苦情処理										
				・市珍	景境測定車	巨や県観	測車で=	主要道路(	国・県	見道、主	な市道)	におけ	る、道	路交通騒	音及び振	動調査ℓ	実施	
事	業	Ø	現 状		Y10 □ 沙汶	さっ 祭記・	で 送り	格交通騒音	ススァドセ	三動の党	占测定	の宝体						
_																1.165		
	目的第	実現のため	つの	• 国j	首43号、防	反神高速:	道路の日	自動車公害	対策	三市協議	会及びた	大阪国際	空港周	辺都市協	議会(11	市協)で	で国への	要望を実
	手段及	及び実施内	容	• 特定	全建設作業	と	の受理し	こよる業者	指導と	· 騒音•	振動の	相談・苦	情処理					
	- 1 ~ //				10 - 11 /		J	/ -	0									
			III	mty -' ·	(p+-e1	Land Land												
			指標名															
		結果指標	年 度	平成	15年度(	(実績)	平成 1	6年度(美	€績)	平成 1	7年度	(実績)	平成 1	8年度	(目標)	平成 1	9年度(	(目標)
			指標値		2 1 地点			20地点	,		2 1 地点			20地点				
		(1)							-					2 O 167	n\			
アウト	フット		単位コスト	30	)7,238円/	′地点	295	5,700円/地	点	224,	476円/	/地点						
指	標		指標 名															
		結果指標		亚战	15年度 /	(宝績)	亚成 1	6年度()	と 待 )	亚成 1	7年度	(実績)	亚式 1	8年度	(日煙)	亚成 1	9年度(	(日輝)
					13千皮(	(大限)	T-13% 1	0 干皮(5	てが見り	T-13% 1	7 干皮(	(大限)	-1.17°	0 干皮		T-13% 1	ナース・	(ロ1ボノ
		(2)	指標値															
			単位コスト															
2 事	単成 5	果(アウ)	トカム)															
	****		,,,,															
		対	象	主要证	首路沿線に	こ居住の	市民											
事業の	目的	対 象 カ	バー 変	分 免	· 数 (a)	9	0.004		÷+ */-	- (1.)	C.	0.704	LL	. <del></del> /1			70.8	
対象・				N) 30			0, 024	受	盆 数	(b)	υ,	3, 704	الما	、 単(D	÷ a) %	)	10.8	
	音   図		/\ <u>+</u>	V.) SV	. xx (u)		00, 024	受	盆 数	(b)	0.	3, 704	Ц	、 楽(D	÷ a) %	)	70.8	
	恵 凶									•		<u> </u>					70.8	
	怠 凶	意	図					<mark>受</mark> 振動が環境		•		<u> </u>					70.8	
	恵 凶	意								•		<u> </u>					70.8	
	意 凶	意	図							•		<u> </u>					70.8	
		意 (対象を言	図 注語にして)	・主要	要道路にお	おいて、	騒音・打	<b>辰動が環境</b>	基準を	を遵守し		<u> </u>					70.8	
	意図	意	図 注語にして)	・主要	要道路にお	おいて、	騒音・打		基準を	を遵守し		<u> </u>					70.8	
		意 (対象を言	図 注語にして)	・主要	要道路にお	おいて、	騒音・打	<b>辰動が環境</b>	基準を	を遵守し		<u> </u>					70.8	
		意 (対象を な	図 注語にして)	・主要	要道路にま こ対して、	静かで	騒音・打	<b>辰動が環境</b>	基準を	を遵守し		<u> </u>					70.8	
		意(対象を言な	図 注語にして) 目 的 指標名	・主勢市民に環境基	要道路におこ対して、	おかでは	騒音・排	辰動が環境 環境を確保	基準を	を遵守し		<u> </u>					70.8	
		意 (対象を な 中間成果	図 注語にして) 目 的 指標名 考え方·式	・主要 市民は 環境基 環境基	要道路にお こ対して、 基準の達成 基準達成地	おいて、 静かで	騒音・排 快適な野 全測定均	辰動が環境 環境を確保 也点数×1	基準を する。	を遵守し	ているフ	かの確認	を行い、	環境の	状況を把	握する。		
大	₹	意 (対象を な 中間成果	図 注語にして) 目 的 指標 名 考え方・式 年 度	・主要 市民に 環境基 環境基 平成	要道路におこ対して、	おいて、 静かで	騒音・排 快適な野 全測定均	辰動が環境 環境を確保	基準を する。	を遵守し	ている; 7年度(	<u> </u>	を行い、		状況を把	握する。	9年度(	〔目標〕
	₹	意 (対象を な 中間成果	図 注語にして) 目 的 指標名 考え方·式	・主要 市民に 環境基 環境基 平成	要道路にお こ対して、 基準の達成 基準達成地	おいて、 静かで	騒音・排 快適な野 全測定均	辰動が環境 環境を確保 也点数×1	基準を する。	を遵守し	ているフ	かの確認	を行い、	環境の	状況を把	握する。		〔目標〕
大アウト	き カム	意 (対象を多 な 中間成果 指 標	型 注語にして) 目 標 考え方・式 度値	・主勢 市民に 環境基 環境基 平成	要道路にま こ対して、	おいて、 静かで	騒音・排 快適な野 全測定均	<b>辰動が環境</b> 環境を確保 也点数×1 <mark>6年度(</mark> €	基準を する。	を遵守し	ている; 7年度(	かの確認	を行い、	、環境の:	状況を把	握する。		(目標)
大	₹	意 (対象を主 な 中間成果 指	型 (を) を) と (を) と (を) と (で) と () と () と () と () と () と () と () と (	・主勢 市民は 環境基 環境を	要道路にま こ対して、	おいて、 静かで	騒音・排 快適な野 全測定均	<b>辰動が環境</b> 環境を確保 也点数×1 <mark>6年度(</mark> €	基準を する。	を遵守し	ている; 7年度(	かの確認	を行い、	、環境の:	状況を把	握する。		(目標)
大アウト	き カム	意 (対象を主 な 中間成果 指 最終成果	と	・主要 市民に 環境基 平成	要道路にま こ対して、 基準の達成 <b>15年度(</b> 43%	部かで、 静かで	大瀬 (本語) 株 (本語) 株 (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語)	<b></b>	基準を する。 00 <b>ミ績)</b>	·遵守し 平成1	ている; <mark>7年度(</mark> 50%	かの確認	を行い、	環境の:   <mark>8年度</mark>     60%	状況を把 <mark>(目標)</mark>	握する。 <b>平成 1</b>	9年度(	
大アウト	き カム	意 (対象を主 な 中間成果 指 最終成果	型 (1) と (1)	・主要 市民に 環境基 平成	要道路にま こ対して、	部かで、 静かで	大瀬 (本語) 株 (本語) 株 (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語)	<b>辰動が環境</b> 環境を確保 也点数×1 <mark>6年度(</mark> €	基準を する。 00 <b>ミ績)</b>	·遵守し 平成1	ている; <mark>7年度(</mark> 50%	かの確認	を行い、	、環境の:	状況を把 <mark>(目標)</mark>	握する。 <b>平成 1</b>		
大アウト	き カム	意 (対象を主 な 中間成果 指 最終成果	と	・主要 市民に 環境基 平成	要道路にま こ対して、 基準の達成 <b>15年度(</b> 43%	おいて、! 静かで!	大瀬 (本語) 株 (本語) 株 (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語)	<b></b>	基準を する。 00 <b>ミ績)</b>	·遵守し 平成1	ている; <mark>7年度(</mark> 50%	かの確認	を行い、	環境の:   <mark>8年度</mark>   60%	状況を把 <mark>(目標)</mark>	握する。 <b>平成 1</b>	9年度(	
大アウト	き カム	意 (対象を主 な 中間成果 指 最終成果	図(で) 的 名式度値名式度 で と は で は で と で と で と で で と で で で で で で	・主要 市民に 環境基 平成	要道路にま こ対して、 基準の達成 <b>15年度(</b> 43%	おいて、! 静かで!	大瀬 (本語) 株 (本語) 株 (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語)	<b></b>	基準を する。 00 <b>ミ績)</b>	·遵守し 平成1	ている; <mark>7年度(</mark> 50%	かの確認	を行い、	環境の:   <mark>8年度</mark>   60%	状況を把 <mark>(目標)</mark>	握する。 <b>平成 1</b>	9年度(	
大アウト	カム標	意 (対象を言 な 中間成果 撮 最終成果 指	型 (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	・主要 市民に 環境基 平成	要道路にま こ対して、 基準の達成 <b>15年度(</b> 43%	おいて、! 静かで!	大瀬 (本語) 株 (本語) 株 (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語)	<b></b>	基準を する。 00 <b>ミ績)</b>	·遵守し 平成1	ている; <mark>7年度(</mark> 50%	かの確認	を行い、	環境の:   <mark>8年度</mark>   60%	状況を把 <mark>(目標)</mark>	握する。 <b>平成 1</b>	9年度(	
大アウト	カム標	意 (対象を言 な 中間成果 撮 最終成果 指	図(で) 的 名式度値名式度 で と は で は で と で と で と で で と で で で で で で	・主要 市民に 環境基 平成	要道路にま こ対して、 基準の達成 <b>15年度(</b> 43%	おいて、! 静かで!	大瀬 (本語) 株 (本語) 株 (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語)	<b></b>	基準を する。 00 <b>ミ績)</b>	·遵守し 平成1	ている; <mark>7年度(</mark> 50%	かの確認	を行い、	環境の:   <mark>8年度</mark>   60%	状況を把 <mark>(目標)</mark>	握する。 <b>平成 1</b>	9年度(	
大ア指	カム標の特色	意 (対象を言 な 中間成果 最終成標 指 るど補係	図() 的 名式度値名式度値 項	・主要 市民に 環境基 平成	要道路にま こ対して、 基準の達成 <b>15年度(</b> 43%	おいて、! 静かで!	大瀬 (本語) 株 (本語) 株 (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語)	<b></b>	基準を する。 00 <b>ミ績)</b>	·遵守し 平成1	ている; <mark>7年度(</mark> 50%	かの確認	を行い、	環境の:   <mark>8年度</mark>   60%	状況を把 <mark>(目標)</mark>	握する。 <b>平成 1</b>	9年度(	
大ア指	カム標の特色	意 (対象を言 な 中間成果 最終成標 指 るど補係	図() 的 名式度値名式度値 項	・主要 市民に 環境基 平成	要道路にま こ対して、 基準の達成 <b>15年度(</b> 43%	おいて、! 静かで!	大瀬 (本語) 株 (本語) 株 (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語)	<b></b>	基準を する。 00 <b>ミ績)</b>	<b>平成1 平成1</b>	でいる; 7年度( 50%	かの確認(実績)	を行い、 平成 1 平成 1	、環境の:   <mark>8年度</mark>   60%   <b>8年度</b>	(目標) (目標)	握する。 平成1 平成1	9年度(	(目標)
大ア指を革動	カカム標の特質	意(対象を言な ないのでは、対象を言います。 では、対象を言います。 では、対象を言います。 では、対象を言います。 では、対象を言います。 では、対象を言います。 では、対象を言います。 では、対象を言います。 では、対象を言います。 には、はは、はは、はは、はは、はは、はは、はは、はは、はは、はは、はは、はは、は	型で) 的 名式度値名式度値 項 ト	・主事 市民に 環境基 平成	要道路にま こ対して、 基準 建 連 成 は 1 5 年度 43%	おいて、 静かで	騒音・排 快適な野 全測定サ 平成 1	振動が環境 環境を確保 也点数×1 <b>6年度(</b> 9 <b>6年度(</b> 9	基準をする。	平成 1 平成 1	7年度( 50% 7年度(	かの確認 (実績) (実績)	を行い、 <b>平成1 平成1</b>	8年度   60%   8年度	状況を把 ( <b>目標</b> ) ( <b>目標</b> )	握する。 平成1 平成1	9年度(	(目標)
大ア指	カム標の特色	意(対象を言ない) ない 中指 最終 成 標 標 を 活動配費	図で) 的 名式度値名式度値 項 ト	・主事 市民に 環境基 平成	要道路にま こ対して、 基準 建 連 成 は 1 5 年度 43%	おいて、! 静かで                   	騒音・排 快適な野 全測定サ 平成 1	辰動が環境 環境を確保 也点数×1 <b>6年度(</b> ) 54%	基準を する。 000 に ( )	平成 1 平成 1	7年度( 50% 7年度(	かの確認 (実績) (実績) (実績)	を行い、 <b>平成1 平成1</b>	、環境の:   <mark>8年度</mark>   60%   <b>8年度</b>	状況を把 ( <b>目標</b> ) ( <b>目標</b> )	握する。 平成1 平成1	9年度(	(目標)
大ア指を革動	カカム標の特質	意(対象を言な ないのでは、対象を言います。 では、対象を言います。 では、対象を言います。 では、対象を言います。 では、対象を言います。 では、対象を言います。 では、対象を言います。 では、対象を言います。 では、対象を言います。 には、はは、はは、はは、はは、はは、はは、はは、はは、はは、はは、はは、はは、は	図で) 的 名式度値名式度値 項 ト	・主事 市民に 環境基 平成	要道路にま こ対して、 基準 建 連 成 は 1 5 年度 43%	おいて、 静かで	騒音・排 快適な野 全測定サ 平成 1	辰動が環境 環境を確保 也点数×1 <b>6年度(</b> ) 54%	基準をする。	平成 1 平成 1	7年度( 50% 7年度(	かの確認 (実績) (実績)	を行い、 <b>平成1 平成1</b>	8年度   60%   8年度	状況を把 ( <b>目標</b> ) ( <b>目標</b> )	握する。 平成1 平成1	9年度(	(目標)
大ア指を革動	カカム標の特質	意(対象を言ない) ない 中指 最終 成 標 標 を 活動配費	型 で で で で で で で で で で で で で	・主事 市民に 環境基 平成	要道路にま こ対して、 基準 建 連 成 は 1 5 年度 43%	おいて、! 静かで                   	騒音・排 快適な野 全測定サ 平成 1	辰動が環境 環境を確保 也点数×1 6年度(写 54%	基準を する。 000 に ( )	平成 1 平成 1	7年度( 50% 7年度(	かの確認 (実績) (実績) (実績)	を行い、 <b>平成1 平成1</b>	8年度   60%   8年度	状況を把 ( <b>目標</b> ) ( <b>目標</b> )	握する。 平成1 平成1	9年度(	(目標)
大 ア カ ト 市 る 事	き カ 標	意(対象を主) な 中指 最指 を 活動配費費費	型 を を を を を を を を を を を を を	・主事 市民に 環境基 平成	要道路にま こ対して、 基準 建 連 成 は 1 5 年度 43%	部かで ( を ( ま ( ま ( ま ( ま ( ま ( ま ( ま ) ( ま ) ( )	騒音・排 快適な野 全測定サ 平成 1	辰動が環境 環境を確保 也点数×1 6年度(写 54%	基準を する。 000 <b>収積)</b> <del>収算)</del> <del>収算)</del>	平成 1 平成 1	7年度( 50% 7年度(	かの確認 (実績) (実績) (実績) 3,426	を行い、 <b>平成1 平成1</b>	8年度   60%   8年度	状況を把 (目標) (目標) (目標) - 52 (予算)	握する。 平成1 平成1	9年度(	(目標)
大 フ 方 屋 事 訳	きカケックを変える。	意(対象を主な) な 中指 最指 を が まな で は で で で で で で で で で で で で で で で で で	型 を を を を を を を を を を を を を	・主事 市民に 環境基 平成	要道路にま こ対して、 基準 建 連 成 は 1 5 年度 43%	部かで ( を ( ま ( ま ( ま ( ま ( ま ( ま ( ま ) ( ま ) ( )	騒音・排 快適な野 全測定サ 平成 1	辰動が環境 環境を確保 也点数×1 6年度(写 54%	基準を する。 000 <b>収積)</b> <del>収算)</del> <del>収算)</del>	平成 1 平成 1	7年度( 50% 7年度(	かの確認 (実績) (実績) (実績) 3,426	を行い、 <b>平成1 平成1</b>	8年度   60%   8年度	状況を把 (目標) (目標) (目標) - 52 (予算)	握する。 平成1 平成1	9年度(	(目標)
大 フ 方 屋 事 訳	きかり、おきない。これでは、おきない。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	意(対象を主な) な 中指 最指 な 動配費費費費費	型 を を を を を を を を を を を を を	・主事 市民に 環境基 平成	要道路にま こ対して、 基準 建 連 成 は 1 5 年度 43%	部かで ( を ( ま ( ま ( ま ( ま ( ま ( ま ( ま ) ( ま ) ( )	騒音・排 快適な野 全測定サ 平成 1	辰動が環境 環境を確保 也点数×1 6年度(写 54%	基準を する。 000 <b>収積)</b> <del>収算)</del> <del>収算)</del>	平成 1 平成 1	7年度( 50% 7年度(	かの確認 (実績) (実績) (実績) 3,426	を行い、 <b>平成1 平成1</b>	8年度   60%   8年度	状況を把 (目標) (目標) (目標) - 52 (予算)	握する。 平成1 平成1	9年度(	(目標)
大 フ 方 屋 事 訳	きカケックを変える。	意(対象を主な) な 中指 最指 を が まな で は で で で で で で で で で で で で で で で で で	型 を を を を を を を を を を を を を	・主動 市民に 環境基本 平成	要道路にま こ対して、 基準 建 連 成 は 1 5 年度 43%	部かで ( を ( ま ( ま ( ま ( ま ( ま ( ま ( ま ) ( ま ) ( )	騒音・排 快適な野 全測定サ 平成 1	辰動が環境 環境を確保 也点数×1 <b>6年度(</b> ) <b>6年度(</b> )	基準を する。 000 <b>収積)</b> <del>収算)</del> <del>収算)</del>	平成 1 平成 1	7年度( 50% 7年度(	かの確認 (実績) (実績) (実績) 3,426	を行い、 <b>平成1 平成1</b>	8年度   60%   8年度	状況を把 (目標) (目標) (目標) - 52 (予算)	握する。 平成1 平成1	9年度(	(目標)
大 フ 方 屋 事 訳	き カ の <b>業</b> 人事他減 <b>合</b>	意(対象を主な) な 中指 最指 と 活動で	型 注語にして) 目 指 考年 指 持 え た に は 表 方 た に 標標 標 方 を に は る 式 度 値 名 式 の は る 式 の は る て の る て る て る て る て る て る て る て る て る	・主動 市民に 環境基本 平成	要道路にま こ対して、 基準 建 連 成 は 1 5 年度 43%	静かで	騒音・排 快適な野 全測定サ 平成 1	辰動が環境 環境を確保 也点数×1 <b>6年度(</b> ) <b>6年度(</b> )	基準を する。 00 <b>(2績)</b> <b>(2績)</b> <b>(24,771</b> <b>11,143</b>	平成 1 平成 1	7年度( 50% 7年度(	かの確認 (実績) (実績) (実績) 3,426 1,288	を行い、 <b>平成1 平成1</b>	8年度   60%   8年度	状況を把 (目標) (目標) (目標) - 52 (予算)	握する。 平成1 平成1	9年度(	(目標)
大 ア指 芦 3 事 内(千円)	き カ の 業 人 事 他 減 合 国 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	意(対象を主) な 中指 最指 を 活動 で は で は で で で で で で で で で で で で で で で	型 注語にして) 目 指 考年 指 持 え 標標 標 方 ・ 標標 標 方 ・ 標標 で う は る 式 度 値 名 式 り し て り し て り く り し て り く り し り し り し り し り し り し り し り し り り し り り し り	・主動 市民に 環境基本 平成	要道路にま こ対して、 基準 建 連 成 は 1 5 年度 43%	静かで	騒音・排 快適な野 全測定サ 平成 1	辰動が環境 環境を確保 也点数×1 <b>6年度(</b> ) <b>6年度(</b> )	基準を する。 00 <b>(2績)</b> <b>(2績)</b> <b>(24,771</b> <b>11,143</b>	平成 1 平成 1	7年度( 50% 7年度(	かの確認 (実績) (実績) (実績) 3,426 1,288	を行い、 <b>平成1 平成1</b>	8年度   60%   8年度	状況を把 (目標) (目標) (目標) - 52 (予算)	握する。 平成1 平成1	9年度(	(目標)
大     ア指     芦     3事     内( 財)       ト     市     事     訳)	き カ の 業 人事他減合国市	意(対な 中指 最指 な 新 件業門償 債 債 債	型 を を を を を を を を を を を を を	・主動 市民に 環境基本 平成	要道路にま こ対して、 基準 建 連 成 は 1 5 年度 43%	静かで	騒音・排 快適な野 全測定サ 平成 1	辰動が環境 環境を確保 也点数×1 <b>6年度(</b> ) <b>6年度(</b> )	基準を する。 00 <b>(2績)</b> <b>(2績)</b> <b>(24,771</b> <b>11,143</b>	平成 1 平成 1	7年度( 50% 7年度(	かの確認 (実績) (実績) (実績) 3,426 1,288	を行い、 <b>平成1 平成1</b>	8年度   60%   8年度	状況を把 (目標) (目標) (目標) - 52 (予算)	握する。 平成1 平成1	9年度(	(目標)
大 ア指 芦 3 事 内(千円)	き カ の 業 人事他減合国市	意(対象を主) な 中指 最指 を 活動 で は で は で で で で で で で で で で で で で で で	型 を を を を を を を を を を を を を	・主動 市民に 環境基本 平成	要道路にま こ対して、 基準 建 連 成 は 1 5 年度 43%	静かで	騒音・排 快適な野 全測定サ 平成 1	辰動が環境 環境を確保 也点数×1 <b>6年度(</b> ) <b>6年度(</b> )	基準を する。 00 <b>(2績)</b> <b>(2績)</b> <b>(24,771</b> <b>11,143</b>	平成 1 平成 1	7年度( 50% 7年度(	かの確認 (実績) (実績) (実績) 3,426 1,288	を行い、 <b>平成1 平成1</b>	8年度   60%   8年度	状況を把 (目標) (目標) (目標) - 52 (予算)	握する。 平成1 平成1	9年度(	(目標)
大     ア指     芦     3事     内( 財)       ト     市     事     訳)	き カ の 業 人 事他減 <b>合</b> 国市 そ は で で で で で で で で で の に る に る る に る 。 に る 。 に 。 に る 。 に 。 。	意(対な 中指 最指 な 活 件業門償 債の で しゅう で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	型 注語にして) 目 指考年 指 表 年 標 標 点 方 標 標 標 点 方 標 標 標 点 方 標 標 点 72.7% 27.3%	・主動 市民に 環境を 平成 平成	要道路にま こ対して、 基準 建 連 成 は 1 5 年度 43%	静かで	騒音・排 快適な野 全測定サ 平成 1	辰動が環境 環境を確保 也点数×1 6年度(写 54% 6年度(写	基準を する。 00 <b>(2績)</b> <b>(2績)</b> <b>(24,771</b> <b>11,143</b>	平成 1 平成 1	7年度( 50% 7年度(	かの確認 (実績) (実績) (実績) 3,426 1,288	を行い、 <b>平成1 平成1</b>	8年度   60%   8年度	状況を把 (目標) (目標) (目標) - 52 (予算)	握する。 平成1 平成1	9年度(	(目標)
大 フ指 芦 3 事 内 ( 財 ( 財 ( ) 原 の の の の の の の の の の の の の	き カ の <b>業</b> 人事他減 <b>合</b> 国市そ <b>一</b>	意(対な 中指 最指 な 活 件業門償 ・ 債の 財 条 で 動	型 注語にして) 目 的 名式度値 名式度値名式度値 名式度値 名式度値 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	・主動 市民に 環境を 平成 平成	要道路にま こ対して、 基準 建 連 成 は 1 5 年度 43%	静かで	騒音・排 快適な野 全測定サ 平成 1	辰動が環境 環境を確保 也点数×1 6年度(写 54% 6年度(写	基準を する。 00 <b>()</b> <b>()</b> <b>()</b> <b>()</b> <b>()</b> <b>()</b> <b>()</b> <b>()</b>	平成 1 平成 1	7年度( 50% 7年度(	かの確認 (実績) (実績) (実績) 3,426 1,288 4,714	を行い、 <b>平成1 平成1</b>	8年度   60%   8年度	状況を把 (目標) (目標) (目標) - 52 (予算)	握する。 平成1 平成1	9年度(	(目標)
大 ア指 芦 3 事 内 ( 財 ( 所 ) 源 ) 動	き カ の 業 <u>人事他減<b>合</b>国市そ</u> 一職	意(対な 中指 最指 な 活 件業門償 債の財 集標 果標 果標 の 財 原 の 財 原 の 財 原 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 財	型 注語にして) 目 的 名式度値 年 指標標 京方・度値 名式度値 名式度値 名式度値 2 する事項 分(コスト 構成% 72.7% 27.3%	・主動 市民に 環境を 平成 平成	要道路にま こ対して、 基準 建 連 成 は 1 5 年度 43%	静かで	騒音・排 快適な野 全測定サ 平成 1	辰動が環境 環境を確保 也点数×1 6年度(写 54% 6年度(写	基準を する。 00 (00 (表績) (表表) (表表) (表表) (表表) (表表) (表表) (表表)	平成 1 平成 1	7年度( 50% 7年度(	(実績) (実績) (実績) (決算) 3,426 1,288 4,714 0.30	を行い、 <b>平成1 平成1</b>	8年度   60%   8年度	状況を把 (目標) (目標) (目標) - 52 (予算)	握する。 平成1 平成1	9年度(	(目標)
大     ア指     芦     3事     内( 財( 活配 財) 所) 所の 動分	き カ の 業 人事他減 <mark>合</mark> 国市そ一職順 新 新 経 に に に に に に に に に に に に に	意(対な 中指 最指 な 活 件業門償 ・ 債の 財 条 で 動	図 注語にして) 目 約 名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値 100.0% 100.0%	・主動 市民に 環境を 平成 平成	要道路にま こ対して、 基準 建 連 成 は 1 5 年度 43%	静かで	騒音・排 快適な野 全測定サ 平成 1	辰動が環境 環境を確保 也点数×1 6年度(写 54% 6年度(写	基準を する。 00 <b>()</b> <b>()</b> <b>()</b> <b>()</b> <b>()</b> <b>()</b> <b>()</b> <b>()</b>	平成 1 平成 1	7年度( 50% 7年度(	(実績) (実績) (実績) (決算) 3,426 1,288 4,714 0.30 0.10	を行い、 <b>平成1 平成1</b>	8年度   60%   8年度	状況を把 (目標) (目標) (目標) - 52 (予算)	握する。 平成1 平成1	9年度(	(目標)
大 ア指 芦 3 事 内 ( 財 ( 所 ) 源 ) 動	き カ の 業 人事他減 <mark>合</mark> 国市そ一職順 新 新 経 に に に に に に に に に に に に に	意(対な 中指 最指 な 活 件業門償 債の財 集標 果標 果標 の 財 原 の 財 原 の 財 原 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 財	図 注語にして) 目 的 名式度値 考末 年 指標標子方・ 度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 1 100.0% 72.7% 27.3%	・主動 市民に 環境を 平成 平成	要道路にま こ対して、 基準 建 連 成 は 1 5 年度 43%	静かで	騒音・排 快適な野 全測定サ 平成 1	辰動が環境 環境を確保 也点数×1 6年度(写 54% 6年度(写	基準を する。 00 <b>()</b> <b>()</b> <b>()</b> <b>()</b> <b>()</b> <b>()</b> <b>()</b> <b>()</b>	平成 1 平成 1	7年度( 50% 7年度(	(実績) (実績) (実績) (決算) 3,426 1,288 4,714 0.30	を行い、 <b>平成1 平成1</b>	8年度   60%   8年度	状況を把 (目標) (目標) (目標) - 52 (予算)	握する。 平成1 平成1	9年度(	(目標)

4 評价	西(チェック)					
評	価 裶	見 点	評価チェックリスト		1次評価	2次評価
	口的双虫科	(0 0)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞るこ	とができない		
	目的妥当性	(2~ 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高	くない		
			☑ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応	5可能である		
妥	市関与(2~	2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされてし	113		
			□ いずれにも該当しない			_
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ☑ 市民ニーズに基づいて行う	事業ではない	6	6
	市民ニーズ(	(2 ~ 1)	└─▶ □ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,	,または未把握		
性			□ 数字で把握している	□ 未把握		
8点	社会環境変	化(1~ 1)	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた	:見直しが必要		
			内容測定地点や測定時間の変更			
	優先性,緊急	. ,	□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる	<del></del>		
有	対象カバー3 受益者(1~	,	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー □ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が			
	,	•	□ 事業总因と支血することがる □ 事業总因と支血すが不差白、または支血が □ 申間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記			
効	成果の実績	(2 ~ 1)	→ 実績値から成果があがっていると言える ☑ 実績値から成果があがってい		0	0
性			成果があがっていない場合	/ тосцистам т		
4点	- 成果向上余	地(1~ 1)	□ 成果向上策あり	☑ 特になし		
			☑ 比較できる団体がある 団体名 他の公共団体 □ 比較できる団体はない			
	出合コフレ/4	- 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト ☑ 把握していた	<b>111</b>		
効	単位コスト(1	~ 1)	▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが	高い		
			高い、または低い場合の理由			
	受益者負担	(0 ~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない □			
率	XIII 1 X 1 =	(* ')	→ □ 現在 , 適正な負担あり □ 負担なし , 過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □	徴収可能 )	-2	-2
			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	» + +p /\ /»+ -	_	_
	手段(1~ 3	3)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うへ			
Art.			□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応で			
性 3点			□ 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託, 臨時職員等で対応可□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない	形でのも		
о <u>ж</u>	コスト削減取	双組(1~ 1)	→ 内容 振動レベル計の整備台数の削減			
平成1	6年度の評改善 の	平価内容	一次   17   17   17   17   17   17   17   1	改善し		
(評価か	がない場合は	記載不要)		なかっ		
				<u>た</u> 総合 評価	В	В
平 成	1 8 年	度に	週1878 測定業務委託料の削減 改善測定項目及び内容と回数の見直し	青平1Щ		
平成実施	1 8 年 する改		課題 内容			
(	必	頁 )				
5 今後	後の対応(ア	クション)				
		·	山手幹線、湾岸線側道の開通に伴う交通量の変化に伴い、騒音・振動の影響に変化があ	うると考えられる	0	
現在意	認識してし	1る 課 題	国道43号における低周波音の問題が提起されている。			
			市環境測定車は排ガス規制により運行が不可能となる			
		係者の名称	国道43号・阪神高速道路公害をなくせ「芦屋住民の会」			
からの	意見意見,	要望内容	振動、低周波音測定を引続き実施すること。測定結果に基づく関係機関へ今後の対策を	と示すこと。		
要望	寺	1				
	(1)	対応内容	振動、低周波音測定の実施			
	(1)	実施期限	平成 18 年 9 月			
課題·要	·····································					
	(2)	対応内容	国への要望、及び近畿地方整備局、阪神高速道路株式会社へ申し入れの実施			
へのタ	讨 応	実施期限	平成 18 年 11 月			
		対応内突	市環境測定車を天然ガス車に改造し継続して使用する。			
	(3)					
		実施期限	平成 年 月			
41						
	考えられる					
改善 0	カアイデア			へ 後 の ナ 白 州	4 No +11 /II	2 No +TE /TE
				今後の方向性 拡 大 充 実		2次評価 ○
				現状維持		<u>○</u>
			<u>-</u>	方法改善		0
平成.1	9~21年度	の方向性		民間委託等		0
	~			縮小		0
				統合/終期設定	0	0
				廃止/休止	0	0
2 次 評	価 委 員 会	コメント				

( — 报	事業)	事 業	コード	13200	030			部 長	次	長課	長
平成1	7年度	車	業 名		道路に関する環境	₩ <b>%</b>					
T 13% 1	7 牛 区	<del></del>	<del>*</del> "	/与/十	<b>但四に関する場</b> 境	×1;K					
1 車	茶和豆	要(ドゥ)									
			りの目標	1	活気あふれる豊か	な生活環境づくり			生活環境	· Arc	
総合			<del>,。,,</del> 中		環境適合型社会の			所 管 課		環境保全担	旦当)
政策			小	2	環境保全対策の推	進		所管課長氏名	三木 五	郎	
体	系		細					記入者氏名	三木 五	郎	
事	業	期	間	平成!	5年度~	経常臨時	☑ 経常 □ 臨時	電 話 番 号	0797-38-	-2051	<b>为線</b> 2611
根 拠	法			大阪	湾岸線等に係る環	境保全に関する確認事項	頁(H6.4.14 締結)	実 施 主 体	市		
実	施	手		<u> </u>		一部委託	☑ 全部委託	補助金		負担金	
委		託	先		外郭団体委託	名称 ② 体就 は まる まる		委託 委託内容			
事	業	Φ	概 要			の協議に基づき、平成 1 8公団が年4回、市8回、				他 H17 市 年1	INEL)
<b>→</b>	未	の	100 女			3公団が平4回、巾6回、 )測定終了、H12~湾岸(					
						、高層住宅の7地点で、			307和木//	. 00 9 1111	平12回07例足
事	業	Ø	現 状			( MACE CONTRACT	T T T T T T T T T T T T T T T T T T T				
-		実現のため									
	手段及	ひ実施内	容								
					測定箇所・回数(						
		結果指標				平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度(			年度(目標)
	<u> </u>	(1)	指標値		7地点、年4回	7地点、年5回	7 地点、年10回	5地点、年1	12回	5地点	、年12回
アウト			単位コスト		¥196, 000-	¥141, 000-	¥157, 000-				
指	標	<b>壮田 12 1</b> 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	指標名	₩ ct	1 5 年度 / 宝绩 /	平成16年度(実績)	亚世17年度(宝绩)	亚式10年度/	(日抽)	亚式 1 0 4	生度 ( 日煙 )
		結果指標 (2)	指標値	十八人	1 3 牛皮(夫縜)	十八一〇十尺(天縜)	十八   / 牛皮 ( 夫縜 )	平成18年度(	日信ノ	十八八月	年度(目標)
		(2)	単位コスト								
2 事	業成長	果(アウ)									
		,	•	P.	近	+ D					
		対	家	戸座	浜地区に居住する	<b>巾</b> 氏					
			バー率	対象	<mark>そ数 (a)</mark> 13	9,984人 受益数	(b) 13,984人	比 率 (b	÷ a) %	1	00%
対象・	・意 図			Δ.							
		意		1・1王	民との確認事項に	基づき 昔屋浜地区の駅	B音が環境保全目標値を	・遵守されている	かの確認を	を行う。	
		/ <del>**+ 在 + -</del>	図			基づき、芦屋浜地区の駅 過した場合は、原因の身	番音が環境保全目標値を ↓体的根拠を明確にする		かの確認る	を行う。	
		(対象を主	図 E語にして)						かの確認を	を行う。	
<del>*</del>	<b>*</b>	,	<u> </u>	• 環	境保全目標値を超	過した場合は、原因の身	具体的根拠を明確にする		かの確認を	を行う。	
大	ŧ	(対象を3 な		• 環	境保全目標値を超		具体的根拠を明確にする		かの確認を	を行う。	
大	き	な	目 的	環境	境保全目標値を超	過した場合は、原因の身 により、環境保全の確保	具体的根拠を明確にする		かの確認を	を行う。	
大	き	な	目 的指標名	<ul><li>環境</li><li>環境</li></ul>	境保全目標値を超 保全目標値の達成 保全目標達成率(	過した場合は、原因の身 により、環境保全の確保	具体的根拠を明確にする 保を図る。		かの確認を	を行う。 	
	_	な	目 的 指標名 考え方·式 年 度	・環境 環境 環境	境保全目標値を超 保全目標値の達成 保全目標達成率( 保全目標達成地点 15年度(実績)	過した場合は、原因の身により、環境保全の確保%) / 全測定地点数×10( 平成16年度(実績)	具体的根拠を明確にする Rを図る。 ) 平成17年度(実績)				年度(目標)
アウト	トカム	な中間成果	目 的 指 標 名 考え方·式 年 度 指 標 値	・環境 環境 環境	境保全目標値を超 保全目標値の達成 保全目標達成率( 保全目標達成地点	過した場合は、原因の身により、環境保全の確保%) /全測定地点数×10(	具体的根拠を明確にする 最を図る。			平成 1 9 4	<b>∓度(目標)</b> 100%
	_	中間成果指 標	指標方式度値名	環境	境保全目標値を超 保全目標値の達成 保全目標達成率( 保全目標達成地点 15年度(実績)	過した場合は、原因の身により、環境保全の確保%) / 全測定地点数×10( 平成16年度(実績)	具体的根拠を明確にする Rを図る。 ) 平成17年度(実績)	平成18年度(		平成 1 9 4	
アウト	トカム標	な 中間成果 指 標 最終成果	指標方標度方標度方標標指標標標表え方表え方	環境環境	境保全目標値を超保全目標値の達成保全目標達成率(保全目標達成地点 保全目標達成地点 15年度(実績) 100%	過した場合は、原因の により、環境保全の確保 %) /全測定地点数×100 <mark>平成16年度(実績)</mark> 100%	具体的根拠を明確にする Rを図る。 ) <mark>平成17年度(実績)</mark> 92.9%	平成18年度(	(目標)	<mark>平成19</mark> 3	100%
アウト	トカム標	な 中間成果 指 標 最終成果	指標方式標度方式標度方式標標点指標標点表表年指標表方度	環境環境	境保全目標値を超保全目標値の達成保全目標達成率(保全目標達成地点 保全目標達成地点 15年度(実績) 100%	過した場合は、原因の身により、環境保全の確保%) / 全測定地点数×10( 平成16年度(実績)	具体的根拠を明確にする Rを図る。 ) 平成17年度(実績)	平成18年度(	(目標)	<mark>平成19</mark> 3	
アウト	トカム標	な 中間成果 指 標 最終成果	指標方標度方標度方標標指標標標表え方表え方	環境環境	境保全目標値を超保全目標値の達成保全目標達成率(保全目標達成地点 保全目標達成地点 15年度(実績) 100%	過した場合は、原因の により、環境保全の確保 %) /全測定地点数×100 <mark>平成16年度(実績)</mark> 100%	具体的根拠を明確にする Rを図る。 ) <mark>平成17年度(実績)</mark> 92.9%	平成18年度(	(目標)	<mark>平成19</mark> 3	100%
アゥ <sup>ト</sup> 指	トカム標	な 中間成果標 最終成果標 指 標	目 指考年 指表 年 指	環境環境	境保全目標値を超保全目標値の達成保全目標達成率(保全目標達成地点 保全目標達成地点 15年度(実績) 100%	過した場合は、原因の により、環境保全の確保 %) /全測定地点数×100 <mark>平成16年度(実績)</mark> 100%	具体的根拠を明確にする Rを図る。 ) <mark>平成17年度(実績)</mark> 92.9%	平成18年度(	(目標)	<mark>平成19</mark> 3	100%
アゥ <sup>ト</sup> 指	トカム標	な 中間成果標 最終成果標 指 標	指標方式標度方式標度方式標標点指標標点表表年指標表方度	環境環境	境保全目標値を超保全目標値の達成保全目標達成率(保全目標達成地点 保全目標達成地点 15年度(実績) 100%	過した場合は、原因の により、環境保全の確保 %) /全測定地点数×100 <mark>平成16年度(実績)</mark> 100%	具体的根拠を明確にする Rを図る。 ) <mark>平成17年度(実績)</mark> 92.9%	平成18年度(	(目標)	<mark>平成19</mark> 3	100%
アウト指	カム標の特色	な 中間成果標 最終成果標 まだ がんがん おいかい おいかい おいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいか	目 指考年 指表 年 指	·環環境環境である。 環境では では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	境保全目標値を超保全目標値の達成保全目標達成率(保全目標達成地点 保全目標達成地点 15年度(実績) 100%	過した場合は、原因の により、環境保全の確保 %) /全測定地点数×100 <mark>平成16年度(実績)</mark> 100%	具体的根拠を明確にする Rを図る。 ) <mark>平成17年度(実績)</mark> 92.9%	平成18年度(	(目標)	平成 1 9 <sup>3</sup>	100%
アウト指	カム標の特色	な 中間成果標 最終成果標 まだ がんがん おいかい おいかい おいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいか	目 指考年指指考年指 る コス 度値名式度値 項 ト	·環境環境 環境 平成	境保全目標値を超保全目標値の達成保全目標達成率(保全目標達成地点15年度(実績)100%	過した場合は、原因の により、環境保全の確保 %) /全測定地点数×100 <mark>平成16年度(実績)</mark> 100%	具体的根拠を明確にする Rを図る。 PR 17年度(実績) 92.9% PR 17年度(実績)	平成18年度(100%)	(目標)	平成 1 9 <sup>3</sup>	<b>□ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</b>
アウト指 芦屋市	カム標 <b>業費</b> 業 人	な 中間 成成 根標 果標 果標 件 費費	指表え年標方方標度方標標点本標標点標準本年本年ははなは<	·環境環境 環境 平成	境保全目標値を超 保全目標値の達成 保全目標達成率( 保全目標達成地点 15年度(実績) 100% 15年度(実績)	過した場合は、原因の により、環境保全の確保 %) /全測定地点数×10( 平成16年度(実績) 100% 平成16年度(実績)	具体的根拠を明確にする Rを図る。 PR 17年度(実績) 92.9% PR 17年度(実績) PR 17年度(実績) 1世帯当り(円) 277 PR 17年度(決算) 1,582	平成 1 8 年度 ( 100% 平成 1 8 年度 ( 住民1人当 <sup>1</sup> <sup>1</sup> (円)	(目標)	平成 1 9 <sup>3</sup>	<b>□ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</b>
アウト	カム標の特色業費業人事	な 中指 最終 成成標 発 者 を が <b>活動配</b> 費 費	指表え年標方方標度方標標点本標標点標準本年本年ははなは<	·環境環境 環境 平成	境保全目標値を超 保全目標値の達成 保全目標達成率( 保全目標達成地点 15年度(実績) 100% 15年度(実績)	過した場合は、原因の身により、環境保全の確保%) /全測定地点数×10(平成16年度(実績)100%  平成16年度(実績) 平成16年度(実績)	具体的根拠を明確にする Rを図る。 PR 17年度(実績) 92.9% PR 17年度(実績) PR 17年度(実績) 1世帯当り(円) 277 PR 17年度(決算)	平成 1 8 年度 ( 100% 平成 1 8 年度 ( 住民1人当 <sup>1</sup> <sup>1</sup> (円)	(目標)	平成 1 9 <sup>3</sup>	<b>□ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</b>
アウト 芦屋市 事内 言	カム標の特色業人事他の	な 中間成標 最終成標 子 を 活動配費 費費 費費	指表え年標方方標度方標標点本標標点標準本年本年ははなは<	·環境環境 環境 平成	境保全目標値を超 保全目標値の達成 保全目標達成率( 保全目標達成地点 15年度(実績) 100% 15年度(実績)	過した場合は、原因の身により、環境保全の確保%) /全測定地点数×10( 平成16年度(実績) 100% 平成16年度(実績) 平成16年度(実績)	具体的根拠を明確にする Rを図る。 PR 17年度(実績) 92.9% PR 17年度(実績) PR 17年度(実績) 1世帯当り(円) 277 PR 17年度(決算) 1,582	平成 1 8 年度 ( 100% 平成 1 8 年度 ( 住民1人当 <sup>1</sup> <sup>1</sup> (円)	(目標)	平成 1 9 <sup>3</sup>	<b>□ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</b>
アウト 芦屋市 事内 言	カカ標の特質業人事他減の	な 中間成標 最終成標 子 大 動配費費費費 費費費費	指 考 年 指 指 素 年 指 素 年 に 素 に に ま え に に に に に に に に に に に に に	環境環境平成平成平成	境保全目標値を超 保全目標値の達成 保全目標達成率( 保全目標達成地点 15年度(実績) 100% 15年度(実績) 1,701 3,780	過した場合は、原因の身により、環境保全の確保%) /全測定地点数×10( 平成16年度(実績) 100%  平成16年度(実績)  平成16年度(決算)  1,585 3,381	具体的根拠を明確にする Rを図る。 PR 17年度(実績) 92.9% PR 17年度(実績) PR 17年度(実績) PR 17年度(実績) 1世帯当り(円) 277 PR 17年度(決算) 1,582 9,450	平成 1 8 年度 ( 100% 平成 1 8 年度 ( 住民1人当 <sup>1</sup> <sup>1</sup> (円)	(目標)	平成 1 9 <sup>3</sup>	<b>□ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</b>
アウト 芦屋市 事内 言	カカ標の特費業人事他減合	な 中指 最終 は に は は は は は は は は は は は は は は は は は	指 考 年 指 指 素 年 指 素 年 に 素 に に ま え に に に に に に に に に に に に に	環境環境平成平成平成	境保全目標値を超 保全目標値の達成 保全目標達成率( 保全目標達成地点 15年度(実績) 100% 15年度(実績)	過した場合は、原因の身により、環境保全の確保%) /全測定地点数×10( 平成16年度(実績) 100% 平成16年度(実績) 平成16年度(実績)	具体的根拠を明確にする Rを図る。 PR 17年度(実績) 92.9% PR 17年度(実績) PR 17年度(実績) 1世帯当り(円) 277 PR 17年度(決算) 1,582	平成 1 8 年度 ( 100% 平成 1 8 年度 ( 住民1人当 <sup>1</sup> <sup>1</sup> (円)	(目標)	平成 1 9 <sup>3</sup>	<b>□ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</b>
アウト	カカクラの大学の大事のでは、大事のは、大事のは、大事のは、大事のは、大事のは、大事のは、大事のは、大事の	な 中指 最指 と 活動配費費費費計県	目 的 名式度	環境環境平成平成平成	境保全目標値を超 保全目標値の達成 保全目標達成率( 保全目標達成地点 15年度(実績) 100% 15年度(実績) 1,701 3,780	過した場合は、原因の身により、環境保全の確保%) /全測定地点数×10( 平成16年度(実績) 100%  平成16年度(実績)  平成16年度(決算)  1,585 3,381	具体的根拠を明確にする Rを図る。 PR 17年度(実績) 92.9% PR 17年度(実績) PR 17年度(実績) PR 17年度(実績) 1世帯当り(円) 277 PR 17年度(決算) 1,582 9,450	平成 1 8 年度 ( 100% 平成 1 8 年度 ( 住民1人当 <sup>1</sup> <sup>1</sup> (円)	(目標)	平成 1 9 <sup>3</sup>	<b>□ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</b>
ア指 芦 事 内 千 財	カカクラの大学の大事のは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般で	な 中指 最指 と 活 件業門償 ・債 ・債	相 素 年 指 指 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標	環境環境平成平成平成	境保全目標値を超 保全目標値の達成 保全目標達成率( 保全目標達成地点 15年度(実績) 100% 15年度(実績) 1,701 3,780	過した場合は、原因の身により、環境保全の確保%) /全測定地点数×10( 平成16年度(実績) 100%  平成16年度(実績)  平成16年度(決算)  1,585 3,381	具体的根拠を明確にする Rを図る。 PR 17年度(実績) 92.9% PR 17年度(実績) PR 17年度(実績) PR 17年度(実績) 1世帯当り(円) 277 PR 17年度(決算) 1,582 9,450	平成 1 8 年度 ( 100% 平成 1 8 年度 ( 住民1人当 <sup>1</sup> <sup>1</sup> (円)	(目標)	平成 1 9 <sup>3</sup>	<b>□ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</b>
アウト	カカ	な 中指 最指 と 活動で 養理 と は 一	相 素 年 指 指 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標	環境環境環境平成平成平成	境保全目標値を超 保全目標値の達成 保全目標達成率( 保全目標達成地点 15年度(実績) 100% 15年度(実績) 1,701 3,780	過した場合は、原因の身により、環境保全の確保%) /全測定地点数×10( 平成16年度(実績) 100%  平成16年度(実績)  平成16年度(決算)  1,585 3,381	具体的根拠を明確にする Rを図る。 PR 17年度(実績) 92.9% PR 17年度(実績) PR 17年度(実績) PR 17年度(実績) 1世帯当り(円) 277 PR 17年度(決算) 1,582 9,450	平成 1 8 年度 ( 100% 平成 1 8 年度 ( 住民1人当 <sup>1</sup> <sup>1</sup> (円)	(目標)	平成 1 9 <sup>3</sup>	<b>□ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</b>
ア指 芦 事 内(財・活) 対 (活)	カカ	中指 最指 と 活 件業門償 ・ 債の財 果標 果標 果標 経却 県等他源員	目 的 名式度値 名式度値名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 14.3% 85.7%	環境環境環境平成平成平成	境保全目標値を超 保全目標値の達成 保全目標達成率 ( 保全目標達成地点 15年度 (実績) 100% 15年度 (実績) 1,701 3,780	過した場合は、原因の身により、環境保全の確保%) /全測定地点数×10(平成16年度(実績)100%  平成16年度(実績)  平成16年度(実績)  4,966	具体的根拠を明確にする Rを図る。 PR 17年度(実績) 92.9% PR 17年度(実績) 1世帯当り(円) 277 PR 17年度(決算) 1,582 9,450	平成 1 8 年度 ( 100% 平成 1 8 年度 ( 住民1人当 <sup>1</sup> <sup>1</sup> (円)	(目標) (目標) (予算) - 11,130 -	平成 1 9 <sup>3</sup>	<b>□ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</b>
ア指 芦 3 事 内(財(活配)) 対(活配)	カカ	中指 最指 を 活動 保護 と 情の 財 保標 果標 ・ 債の 財 ・	指 考え方・ 指標 標標 指標標 表え方・ 標標 を 相 に で に で の に の の の の の の の の の の の の の	環境環境環境平成平成平成	境保全目標値を超 保全目標値の達成 保全目標達成率( 保全目標達成地点 15年度(実績) 100% 15年度(実績) 1,701 3,780 5,481	過した場合は、原因の身により、環境保全の確保%) /全測定地点数×10(平成16年度(実績)100%  平成16年度(実績)  1,585 3,381 4,966	具体的根拠を明確にする Rを図る。 PR 17年度(実績) 92.9% PR 17年度(実績) PR 17年度(実績) 1世帯当り(円) 277 PR 17年度(決算) 1,582 9,450 11,032	平成 1 8 年度 ( 100% 平成 1 8 年度 ( 住民1人当 <sup>1</sup> <sup>1</sup> (円)	(目標) (目標) (予算) - 11,130 - -	平成 1 9 <sup>3</sup>	<b>□ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</b>

	曲(チェック)				
評	価 祷	点		1次評価	2次評価
	目的妥当性	(2 ~ 2)	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
		,	□ 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
			□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
			☑ いずれにも該当しない	4	
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	4	3
	市民ニーズ(	(2 ~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把握		
性			□ 数字で把握している □ 未把握	_	
8点	社会環境変	化(1~ 1)	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
	盾 什 卅	5 M+ (4)	内容・観測の地点、回数、時間帯	_	
	優先性,緊急対象カバー		□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる □ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1 ~		□ 対象がバー率は同い □ 回回体と内径及 □ 回回体なりがバー率が低い □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定	-	
			□ 事業总因と支血するまた。 □ 事業总因と支血すが小宝台、または支血が一部に限定□ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	١.,	
効	成果の実績	(2 ~ 1)	→ 図 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	4	4
性			成果があがっていない場合	-	
4点	- 成果向上余	地(1~ 1)			
-7,11			□ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない		
	W 44 1 //		□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない		
効	単位コスト(1	~ 1)	└▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
			高い、または低い場合の理由	"	
	受益者負担	(0 ~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
率	又血甘克正	(0 - 1)	□ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能)	0	0
			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	U	0
	手段(1~ 3	3)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
		,	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である	_	
3点	コスト削減取	双組(1~ 1)	☑ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない → 内容 委託業務内容の見直し		
平成 1	6年度の評	平価内容	□ A <mark>平成17年度に実</mark> □ 改善し、効果を得た		
(証価力	改善のがない場合は	方 向 性 記載不要)	ロ D MH D 以音したが、効木がな ロ table I		
( nT IM /J	. ない 場 口 la l	마 ᄣ(기·女)	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	Ь	В
			評価	B	В
平成実施	18年 する改	- 度 に 善 内 容	課題 委託業務内容の見直し  改善 測定地点数、時間の変更		
(	必	頁 )	内容		
5 00	<u> </u>	<b>5</b> 5			
5 今後	後の対応(ア	<u> クンヨン)</u>			
租 左 章	ション シェン・ション ション ション かっぱい かいしょう かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	いる 锂 顆	   湾岸線側道の開通に伴い市内のアクセス道路を含めた交通量の増加が予測されるので、環境の状況に	こついて	D
2元 1工 日	NO DEE O C V	1 0 11/1 12/2	変化を見定め、その結果を見極めながら調査のあり方や調査内容、方法について協議が必要である。		• •
市民,関	係者 市民, 関	係者の名称			
からの	音目				
要望	等思見,	要望内容			
		対応内容	観測データを確認後、自治会連合会と調査方法等の協議する。		
	(1)	对心内台	制例/ 一クを推応後、日白云連百云と嗣重万伝寺の励哉する。 		
		実施期限	平成 19 年 2 月		
課題·要	望等	対応内容			
_ ,	(2)				
へのす	对心	実施期限	平成 年 月		
	(2)	対応内容			
	(3)	\$\tag{\phi} \tag{\phi}			
		実施期限	平成 年 月		
その他	考えられる				
	カアイデア				
W - 0	,,,,,,		今後の方向性	1次評価	2次評価
			拡大・充実		
			騒音調査の結果に基づき、都市計画課と事前協議の後、今後の測定方法等について 現状 維持		0
				0	0
平成 1	9~21年度	の方向性			0
			湾岸線本線等が計画交通量になった場合は、調査内容等について道路管理者と協議する。 縮 り	<b>'</b> O	0
			統合/終期設定	0	•
			<u>廃止/休止</u>	0	0
			    本来は,道路管理者である県や道路公団が行うべき事業と考えられます。県・道路公団と協議して,ヨ	学坛智服	につい
2 次 評	「価 委 員 会	コメント	本来は、単時目性有くのなが、作用的公司が行うべき事業と考えらればす。然・単的公司と励識して、りてアクションプランを作成して取り組んでください。	たった ヘンコンド (	·- ^ ·

/ 6	加事業)	<b>事 ※</b>	¬ !:	14000	200			<del></del>	=   \	= l±m =			
( — ;	般事業)	争業	<u>コード</u>	13200	J8U			部	次	長課長			
亚战	17年度	重	業名	大気:	汚染対策事業								
- 13X	, II + IX	<del>-</del>	* 4	/\x\/									
		1											
4 =	= 44 101 3	# / l* . \						<u> </u>					
		要(ドゥ)						T					
第3次	次芦屋市	まちづく	りの目標	1	活気あふれる豊か	な生活環境づくり		所管 説	生活環境	部			
総台	合計 画		中	3	環境適合型社会の	形成		//I	総務課	(環境保全担当)			
政策	策 施 策		/\ <b>\</b>	2	環境保全対策の推	進		所管課長氏名	三木 五	郎			
体	系		<u>-</u> 細		7113211 1711 17			記入者氏名					
				DT 4									
事	業	期			54年度~	経常臨時	☑ 経常 □ 臨時	電話番号		-2051 <mark>内線</mark> 2611			
根	拠法	令 ' 引	要綱 等	大気流	污染防止法等			実施 主体	市				
実	施	手	法	<b>V</b>	直営	☑ 一部委託	□ 全部委託	□ 補助金	П	負担金			
委	,,,,	<del></del>				名称		日本北 禾 北 山 夕		機器保守管理業務他			
¥		n L	76							10000000000000000000000000000000000000			
							含む。)により、的確な	(対応と対束を進	める。				
事	業	の	概 要	・光化	化学スモッグ等の!	監視体制の実施やノー	マイカーデー等の実施						
				· 大?	気汚染測定機器の	更新							
				•1	段大気測定局 (朝	日ヶ丘小学校 瀬見小空	学校、打出浜小学校)で	*測定を実施					
=	र्गरे	Φ.	TB 412	1				. 101/10 6 /0/16					
事	業	の				局(打出町、宮川小学村							
	目的	実現のため	00	・中i	東境測定車及び県	観測車による移動観測の	り実施						
	手段	及び実施内	容	・光化	化学スモッグの監	視、有害大気汚染物質(	D調査による健康被害の	未然防止					
				• 肾/5	神間7市で、毎月	20日をノーマイカー	デーとして取り組む。						
			指標名			- 1 2 / 1 / 1 / 1	\-\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\						
		(-t				亚子 4 6 左左 4 左左	T-# 4 - 5-5-1-1-1-1	T == 2 = 2 = = =	/ D.# >	T- 1 0 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5			
		結果指標				平成16年度(実績)		平成18年度	, ,	平成19年度(目標)			
		(1)	指標値		26地点	19地点	22地点	26地点	Ĩ.	26地点			
アウ	トプット		単位コスト		822千円	883千円	739千円	903千日	<del></del>				
指	標		指標名			, , , ,			-				
314	វីភ				4.5.左座/中华》	亚产16年第7中45	亚芒 4 7 左连 / 宁/佳 >	亚产 4 0 左连	/ 口····· \	亚世 1 0 左连 / 口捶 >			
		結果指標			15年度(美額)	平成16年度(実績)	平成1/年度(美績)	平成18年度	(日標)	平成19年度(目標)			
		(2)	指標値										
			単位コスト										
2 1	事業成り	果(アウ)	<u> </u>				•						
	3-717-77		,,										
		対	象	主要注	道路沿線及び一般	環境地域に居住する市」	民						
					w								
			バー率	对家	<b>数 (a)</b> 90	,024人 <mark>受益数</mark>	<mark>文 (b)</mark> 88,267人	比 率 (b	÷ a) %	98%			
対象	マ・意図												
		意	図	大気流	汚染の状況が、環	境基準値を遵守してい.	るかの確認を行う。						
		(対象を3	注語にして)										
		`	<u> </u>										
大	き	な	目 的	古民	マ対して 自伝か	大気環境を確保する。							
	C	<i>'</i> &	הח דם	111771		八八八年兄と作べりつ。							
		1	I		H.Mr. L. B. L.								
			指標名										
		中間成果	考え方・式	環境		全測定地点数×100							
		指 標	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度	(目標)	平成19年度(目標)			
アウ	トカム		指標値		7 7 %	8 3 %	78%	90%	0				
指	標		指標名										
10	ាភ												
			考え方・式			T#	I	I = 8					
		指 標	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度	(目標)	平成19年度(目標)			
			指標値		·		<u> </u>		_				
召居	市の特	色など補品	でする重百	5 局(	5 局の大気汚染測定局があり、内2局は兵庫県が設置し、3 局は市が設置をしている。								
芦屋	市の特1	色など補足	足する事項						0				
				簡易			や垂直分布の測定を実施	Eしている。					
3			分(コスト	簡易?	則定法による窒素	酸化物濃度の水平分布・	や垂直分布の測定を実施 1世帯当り(円) 472	正している。 住民1人当り(円)	207	平成18.4.1 住民基本台帳			
			分(コスト	簡易?	則定法による窒素		や垂直分布の測定を実施	Eしている。	207	平成18.4.1 住民基本台帳			
3	事業費	·活動配:	分(コスト 構成%	簡易活	則定法による窒素	酸化物濃度の水平分布・	や垂直分布の測定を実施 1世帯当り(円) 472	正している。 住民1人当り(円)	207	平成18.4.1 住民基本台帳			
3	事業費業	·活動配: 費 件 費	分(コスト 構成% 26.2%	簡易》	則定法による窒素 15年度(決算) 4,757	酸化物濃度の水平分布・ 平成 1 6 年度(決算) 5,890	や垂直分布の測定を実施 1世帯当り(円) 472 平成17年度(決算) 4,931	正している。 住民1人当り(円)	207 (予算)	平成18.4.1 住民基本台帳			
3 事	事業費 業 人 事	·活動配: 費 件 費 業 費	分(コスト 構成% 26.2%	簡易》	則定法による窒素 15年度(決算)	酸化物濃度の水平分布· 平成16年度(決算)	<ul><li>○垂直分布の測定を実施</li><li>1世帯当り(円)</li><li>472</li><li>平成17年度(決算)</li></ul>	正している。 住民1人当り(円)	207	平成18.4.1 住民基本台帳			
3 事	事業費 業 人 事 訳 他 部	·活動配 費 件 費 業 費 肾門経費	分(コスト 構成% 26.2%	簡易》	則定法による窒素 15年度(決算) 4,757	酸化物濃度の水平分布・ 平成 1 6 年度(決算) 5,890	や垂直分布の測定を実施 1世帯当り(円) 472 平成17年度(決算) 4,931	正している。 住民1人当り(円)	207 (予算)	平成18.4.1 住民基本台帳			
3 事	事業費業人事他部門)減何	·活動配, 費件 費費 業 費費費 工價却費	分(コスト 構成% 26.2% 73.8%	簡易》	則定法による窒素 15年度(決算) 4,757 16,609	酸化物濃度の水平分布- 平成 1 6 年度(決算) 5,890 13,830	や垂直分布の測定を実施 1世帯当り(円) 472 平成17年度(決算) 4,931 13,883	正している。 住民1人当り(円)	207 (予算)	平成18.4.1 住民基本台帳			
3 事	事業費 業 人 事 訳 他 部	·活動配 費 件 費 業 費 肾門経費	分(コスト 構成% 26.2% 73.8%	簡易》 ) 平成	則定法による窒素 15年度(決算) 4,757	酸化物濃度の水平分布・ 平成 1 6 年度(決算) 5,890	や垂直分布の測定を実施 1世帯当り(円) 472 平成17年度(決算) 4,931	正している。 住民1人当り(円)	207 (予算)	平成18.4.1 住民基本台帳			
3 事	事業費業人事他部門)減何	· 活動配 費 件 費 費 下門 経 質 間 償 却 費	分(コスト 構成% 26.2% 73.8%	簡易》) 平成	則定法による窒素 15年度(決算) 4,757 16,609	酸化物濃度の水平分布- 平成 1 6 年度(決算) 5,890 13,830	や垂直分布の測定を実施 1世帯当り(円) 472 平成17年度(決算) 4,931 13,883	正している。 住民1人当り(円)	207 (予算)	平成18.4.1 住民基本台帳			
3 事 内 (千)	事業費	·活動配 費 件 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費	分(コスト 構成% 26.2% 73.8% 100.0%	簡易》) 平成	則定法による窒素 15年度(決算) 4,757 16,609 21,366	酸化物濃度の水平分布- 平成 1 6 年度(決算) 5,890 13,830	や垂直分布の測定を実施 1世帯当り(円) 472 平成 1 7 年度 (決算) 4,931 13,883	正している。 住民1人当り(円)	207 (予算) - 15,864 -	平成18.4.1 住民基本台帳			
3 事内(千)財	事業費業 人事他減合国市	·活動配費 件費費費 下門経費 工價却 <b>計</b> 果等	分(コスト 構成% 26.2% 73.8% <b>100.0%</b> 18.8%	簡易》) 平成	則定法による窒素 15年度(決算) 4,757 16,609 21,366	酸化物濃度の水平分布- 平成 1 6 年度(決算) 5,890 13,830	や垂直分布の測定を実施 1世帯当り(円) 472 平成 1 7 年度 (決算) 4,931 13,883	正している。 住民1人当り(円)	207 (予算) - 15,864 -	平成18.4.1 住民基本台帳			
3 事内(千)財	事業費業 人事他派 合国市 不	・活動配費 件業 費費費 所償却計県等 債の他	分(コスト 構成% 26.2% 73.8% <b>100.0%</b> 18.8%	簡易浴	則定法による窒素 15年度(決算) 4,757 16,609 21,366 3,469	well を では16年度(決算) 5,890 13,830 19,720 3,238	や垂直分布の測定を実施 1世帯当り(円) 472 平成17年度(決算) 4,931 13,883 18,814 3,538	正している。 住民1人当り(円)	207 (予算) - 15,864 -	平成18.4.1 住民基本台帳			
3 事 内(千)財(千)	事業 人事他減 <b>合</b> 国市 (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日)	・活動配費費費費費 計県等他 <b>級財源</b>	分 (コスト 構成 % 26.2% 73.8% 100.0% 18.8%	簡易》) 平成	則定法による窒素 15年度(決算) 4,757 16,609 21,366 3,469	酸化物濃度の水平分布 平成 1 6 年度 (決算) 5,890 13,830 19,720 3,238	や垂直分布の測定を実施 1世帯当り(円) 472 平成17年度(決算) 4,931 13,883 18,814 3,538	正している。 住民1人当り(円)	207 (予算) - 15,864 -	平成18.4.1 住民基本台帳			
3 事内(千)財	事業費業人事他減合国市で一職動	・活動配費費費費 件業門償却計 債の を を を を を を を を を を を を を を を を を を	分(コスト 構成% 26.2% 73.8% 100.0% 18.8% 81.2% 41.2%	簡易》) 平成	則定法による窒素 15年度(決算) 4,757 16,609 21,366 3,469	酸化物濃度の水平分布 平成 1 6 年度 (決算) 5,890 13,830 19,720 3,238 16,482 0.45	<ul> <li>中垂直分布の測定を実施</li> <li>1世帯当り(円)</li> <li>平成17年度(決算)</li> <li>4,931</li> <li>13,883</li> <li>18,814</li> <li>3,538</li> <li>15,276</li> <li>0.35</li> </ul>	正している。 住民1人当り(円)	207 (予算) - 15,864 -	平成18.4.1 住民基本台帳			
3 事 内(千)財(千)	事業費業人事他減合国市で一職動	・活動配費費費費費 計県等他 <b>級財源</b>	分(コスト 構成% 26.2% 73.8% 100.0% 18.8% 81.2% 41.2%	簡易浴	則定法による窒素 15年度(決算) 4,757 16,609 21,366 3,469	酸化物濃度の水平分布 平成 1 6 年度 (決算) 5,890 13,830 19,720 3,238	や垂直分布の測定を実施 1世帯当り(円) 472 平成17年度(決算) 4,931 13,883 18,814 3,538	正している。 住民1人当り(円)	207 (予算) - 15,864 -	平成18.4.1 住民基本台帳			
3 事 内 (千) 財 (千)	事業費業人事他減合国市で一職動	・活動配費費費費 件業門償却計 債の を を を を を を を を を を を を を を を を を を	分(コスト 構成% 26.2% 73.8% 100.0% 18.8% 81.2% 41.2% 58.8%	簡易》	則定法による窒素 15年度(決算) 4,757 16,609 21,366 3,469	酸化物濃度の水平分布 平成 1 6 年度 (決算) 5,890 13,830 19,720 3,238 16,482 0.45	<ul> <li>中垂直分布の測定を実施</li> <li>1世帯当り(円)</li> <li>平成17年度(決算)</li> <li>4,931</li> <li>13,883</li> <li>18,814</li> <li>3,538</li> <li>15,276</li> <li>0.35</li> </ul>	正している。 住民1人当り(円)	207 (予算) - 15,864 -	平成18.4.1 住民基本台帳			

4 評价	西(チェ	ック)					
評	価	視	点	評価チェックリスト		1次評価	2次評価
	日的	<b>巫虫性/</b> ′	2 ~ 2)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ること	とができない		
	E HO	女当正(4	2 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高く			
				│ □ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき,または対応	可能である		
妥	市関	与(2~	2)	│ ☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされてい	,1る		
				□ いずれにも該当しない		_	_
当	<b></b> -		,	□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う通		5	5
Att	巾氏	ニーズ(2	2~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,			
性。占				□ 数字で把握している □ 数字で把握している □ 社会環境の変化にあわせた	□ 未把握		
8点	社会	環境変化	<b>七(1~ 1)</b>	対象に関わる社会現場の支化に適応している   社会環境の支化にありせた   内容 調査項目の拡大	兄旦Uか必安		
	優先	性,緊急	1件(1)	□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる			
			<u>≅(1 ~ 1)</u>	□ 対象カバー率は高い □ 他団体よりカバー	-率が低い		
有	受益	者(1~	1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が	一部に限定		
効	成里	の宝績は	2 ~ 1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している◯ 実績値または目標値が未記		3	3
	17.C.T.		- 1)	└▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがってい	ハると言えない	J	J
性	- 成果	向上余均	也(1~ 1)	成果があがっていない場合			
4点				成果向上策あり	□ 特になし		
				☑ 比較できる団体がある 団体名 他の公共団体 □ 比較できる団体はない □ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ □ 比較で ② 把握していな	N. 1		
効	単位	コスト(1	~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが	l		
~/3				高い、または低い場合の理由	D V		
	TT 24	+ 6 +0 /		□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない			
率	安益:	者負担(	0 ~ 1)	│ └▶ □ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □	徴収可能 )	-1	Λ
4				直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		- 1	0
	手段	(1 ~ 3)	)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべ	l		
	3 72	.(1 0)	,	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応ロ			
性				□ 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託, 臨時職員等で対応可	能である		
3点	コスト	削減取	組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない → 内容 業務委託料の見直し			
平成1	6年度	更の評	価 内 容 方 向 性	□ A <mark>平成17年度に実</mark> □ 改善し,効果を得た	-/ - <del>/-</del> >		
(評価力	八 書がない場	; の ) 易合は言	5 回 性 記載不要)	_ D MM	改善し なかっ		
( 81 114 15			,		た総合	В	В
平 成	1	8 年	度に		評価	ט	ט
平成実施				課題 購入備品の見直し 改善 備品の適正な保守による貸与年数の 業務委託の見直し 内容 分析回数の見直し	) 延長		
(	必	須	)	来伤安心の兄直し			
5 今後	後の対	応(アク	フション)				
	~	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	, , , ,	山手幹線の開通や南芦屋浜事業の進捗状況により、当該地域の大気環境の変化が考えら			
現在:	認識し	してい	る 課 題	国道43号には常時測定局あるが、国道2号には測定局が未設置である。			
		民,関係	系者の名称				
からの		5. 見,要	要望内容				
要望	等。						
		(1)	対応内容	県観測車による山手幹線の測定を今後も依頼する。			
		( · )	実施期限	平成年月			
課題·要	望等						
		(2)	刈心内谷	国道2号の測定を県観測車及び市環境測定車により実施する。			
へのす	対応		実施期限	平成 年 月			
			対応内容				
		(3)					
			実施期限	平成 年 月			
その他	1 孝 え	らわる					
改善							
					今後の方向性	1次評価	2次評価
					拡大・充実		0
				・県観測車による測定や有害大気物質の測定は、今後も兵庫県に調査依頼を行っていく。	現 状 維 持	•	•
					方法 改善		0
平成 1	9 ~ 2	1 年 度	の方向性	<u> </u>	民間委託等		0
					縮小物質的		0
				l	統合/終期設定		0
				<u> </u>	廃止/休止	$\cup$	$\cup$
2 次 評	2 価 季	員会	コメント	   国・県へ,大気汚染対策の要望活動に引き続き取り組んでください。			
.,, HI							

(一般	事業)	事 業	コード	1410	020				部長	次	長課長
( 1551	3 7.17	5 711	<u> </u>								24
平成1	7年度	事	業 名	人権	啓発事業						
		-									
1 事	業概認	要(ドゥ)									
				1	活気あふれる豊か	か生活環境づくり				生活環境	密区
		8 3 2							所 管 課		
総合			中		人権の尊重と平和	施束の推進					(人権推進担当)
政策	施策		小	1	人権啓発の推進				所管課長氏名	松元 龍	
体	系		細						記入者氏名	九二 並	; <del></del>
事	業	其	胡   間	平成	12年度(人権推進法	k施行年度) <mark>経常臨時</mark>	☑ 経常 □	臨時	電話番号	0797-38-	-2055 内線 2433
根 拠	法	令 '	要綱等	人権	数音及び人権啓発	の推進に関する法律・市	7総合推准指針		実 施 主 体	市	
											7 Ln A
実	施				直営	□ 一部委託	□ 全部委託		□ 補助金	Ш	負担金
委		託	先		外郭団体委託	名称		□ 民間	]委託 <mark>委 託 内 容</mark>		
						人権尊重の意識の啓発					
						·- · - · - · · · · · · · · · · · · · ·					
事	業	の	概 要	・人	権講演会,人権映	画会 ・広報あしやで	で人権啓発記事	掲載・	人権に関する情報	设提供規模	莫
				$\circ$ .	14: WHH [	ルゴーリをナヤンッ件、	=#\\-\-\	0 1 1 6	•		
				$\bigcirc$ $\land$	権週間:「日々の	生活と人権を考える集レ	<ul><li>・」講演会 1</li></ul>	2月上旬	J		
事	業	の	現 状		みんなで考えよう	平和と人権」:ポスター	-展、映画の上	映など	8月上旬		
-						啓発特集記事掲載:5月					
	日即月	実現のたる	<b>9</b> ) ()				1,0月,12	月			
	手段及	ひ実施に	内容	〇人	権に関するイベン	トと映画上映会:3月					
			+6 +# -	7 .	1.1 同类						
			指標名								
		結果指標	第年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成18年度(	目標)	平成19年度(目標)
		(1)	指標値		4	3	3		3	,	3
		(1)			4	J	5		J		3
アウト	ブット		単位コスト								
指	標		指標 名	広報	あしや人権特集号	掲載回数					
		結果指標					平成17年度	(宝績)	平成18年度(	日梅)	平成19年度(目標)
								(大限)		口1ホノ	, ,
		(2)	指標値		3	3	3		3		3
			単位コスト								
2 車	来 ct E	果(アウ									
4 #	未ルス	木(グラ	トカム)								
		対	会	小学	井口上の古民 (た	だし、下記のカバー率の	)粉荷は イベ	いり車券	のか計争ししてい	(キャー)	
		ΧJ	31	√1, <del>1,</del>	工以上の川以(た	たし、「記のスプ、 辛の	/ 妖   匠 / は, イ・、	ノーザ木	マグルアが多くとしてい	. 490)	
重業α	日的	対 免 1	h バ _ 弦	रेत ई	<b>聚数 (a)</b> 84,	191人 受益数	(h) 1	185/	比 率 (b	. 2) 0%	1. 41
			J / ( ====	Y.] %	K XX (a) 04,	191八 又 皿 切	(0)	100/	LC == (D	- a) 70	1. 41
対象·	恵 凶										
		意	図	人権	尊重の意識を高め	るためのきっかけづくり	)				
		(対象を	主語にして)								
		(X)3(C.	工品に0で)								
大	き	な	目 的	豊か	な人権文化に満ち	た社会づくり					
			115 17 4-		· 1 4> 4= +(1)/						
					ント参加者数						
		中間成果	考え方・式	人権	について問題意識	,関心を示す					
		指標	票年 度	平成	15年度(宝績)	平成16年度(実績)	平成17年度	(宝績)	平成18年度(	日煙)	平成19年度(目標)
<b>-</b>		1E 42									
アウト	カム		指標値		900	6 0 9	1, 18	5 5	1, 40	U	1, 400
指	標		指標 名	人権	を身近に感じてい	る市民の割合					
		最終成馬			について問題意識						
							亚世 4 7 左应	/ 中/丰、	TH 1 0 F F		亚岸 4 6 左帝 / 口煙 >
		指標	_		15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度	(	平成18年度(	日標)	平成19年度(目標)
			指標値		-	-	-		-		-
			•								
# P -	- A++	Z +> 12 ++									
户座巾	い 分 行 E	となど無	足する事項								
3 車	<b>举</b> 费。	活動而	けん コスト	)			1世帯当り(円)	221	住民1人当り(円)	07	平成18.4.1 住民基本台帳
					1. 5. 左左 / 1. 55 / 1.	亚代 4 6 左连 7 法统义					, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
事	業	費		半成	, 15年度(决算)	平成16年度(決算)	平成17年度	(	平成18年度(	丁昇)	
	人	件費	<b>麦</b> 76.6%	l	4,792	7,314		6,755		-	
	事	業			2,314	1,844		2,067		1,975	
	_			1	2,017	1,077		_,001		.,570	
		門 経 費	_							-	
(千円	) 減 価	[ 賞 却 費	ŧ							-	
	合	Ħ			7,106	9,158		8,822			
										4	
	国	·			1,886	1,856		1,717		1,518	
財源	原市	債 等	争								
(千円		<b>の</b> 他							<u>†</u>		
(10			_								
	_ #	段 財 渡	<b>R</b> 80.5%		5,220	7,302		7,105		-	
活 重	助 職	ļ	100.0%		0.80	0.65	<del></del>	0.60		-	
		・臨時等									
	二 調 に			1		I				-	
		· mu 时 云			0.80	0.65		0.60			

4 評信	西(チェック)					
評	価 裶	点	評価チェックリスト		1次評価	2次評価
		(0 0)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ること	ができない		
	目的妥当性	(2 ~ 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高く	ない		
			☑ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応	可能である		
妥	市関与(2~	2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされてい			
		,	□ いずれにも該当しない			
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う	業でけない	3	4
	市民ニーズ(	2 ~ 1)	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		3	7
性	)/\ —\text{\sqrt{\sq}}}}}}}}}}}}}} \signtimes\signtimes\sintitta}\signtifta}\signtifta}\signtifta}\signtifta\sintitita\sintitta\sintitta\sintitti}\signtifta\sintitta\sintitita\sintitita\sintitta\sintitita\sinititit{\sintiin}\sintititit{\sinti\sintitit{\sintii}}}}\signtifta\sintitita\sintitita\sintititit{\sintiin}}\signtifta\sintititit	2 1)	(·····································	□未把握		
			□ 数子で記録している □ 二 社会環境の変化にあわせた □ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた □ 対象			
8点	社会環境変	化(1~ 1)	→ 学業に関わる社会環境の変化に適応している			
	優先性,緊急	ろ h/+ / 4 \	<u>'</u>	少女		
		. ,	□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる	<del></del>		
有	対象カバー図	,	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー			
Ħ	受益者(1~	1)	□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一			
効	成果の実績	(2 ~ 1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記		3	3
			└▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがってい	ると言えない		
性	- 成果向上余	地(1~ 1)	成果があがっていない場合			
4点			□ 以果回上束めり	□ 特になし		
			□ 比較できる団体がある 団体名 宝塚市 □ 比較できる団体はない			
	単位コスト(1	~ 1)	☑ 他団体の数字を把握している 単位コスト 28,970千円 □ 把握していない			
効	1 12 - 17 ( )	.,	▶ ☑ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高			
			高い、または低い場合の理由職員の要員体制に違いがあるため,人件費に大きな差	がみられる。		
	受益者負担	(0 ~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない			
率	又皿日只15	(0 1)	└→ □ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ :	徴収可能 )	0	-2
_			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		U	- 2
	手段(1~ 3	1)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべ	き部分がある		
	J-1X(1, C	")	☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可	能である		
性			□ 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である ☑ 嘱託, 臨時職員等で対応可能	<b>能である</b>		
3点	コスト削減取	!組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている ☑ 特に行っていない			
	1 A 1 B3/1944	·мц(1 1)	→ 内容			
<del></del> + 4	0 F F O T	· /= + 🜣				
平	6年度の評改善の	<sup>4</sup> 個 内 谷 ち 向 性	一	(善し		
(評価な	がない場合は	記載不要)		かっ		
Ì				総合 評価	В	В
√r ⊏t:	1 0 年	· · · ·			ט	ט
実施	するみ	・ 皮 に	課題 市民との協働によるイベントの開催  沈善 イベントのPR活動など、市内人権推進	団体と		
(	必		<mark>内容</mark> 協力して進める。			
5 今後	後の対応(ア	<u>クション)</u>				
	<b></b>	+				
現 在 記	彩 識 してし	1 る課題	インターネットを悪用した人権侵害に対する人権啓発			
	係者 市民,関	係者の名称				
からの		要望内容				
要望	等意光,					
		対応内容	インターネットに関する人権侵害について各市が行う人権啓発活動について、調査研究 <sup>*</sup>	する。		
	(1)					
		実施期限	平成 18 年 9 月			
課題·要		対応内容	調査に基づき、専門部会で啓発方法ついて協議し決定する。			
	(2)		, — — — — — — — — — — — — — — — — — — —			
へのす	付 心	実施期限	平成 18 年 9 月			
		対応内容	推進懇話会で啓発の方向性を説明し意見を求める。			
	(3)					
		実施期限	平成 18 年 10月			
	考えられる					
改善(	カ ア イ デ ア					
			<u>^</u>	後の方向性	1次評価	2次評価
			・啓発事業に関しては,市民団体とのネットワークを強化し,市民と協働で実施していく。 拡	大・充実	0	0
			・インターネットの悪用など,新たな人権侵害について,調査研究を続ける。	】 状 維 持	0	0
			方	法 改善	•	•
平成 1	9 ~ 2 1 年度	の方向性	<u> </u>	間 委 託 等	0	0
			網	小	0	0
			<del> </del>	合/終期設定	0	0
			摩	医止/休止	0	0
			I I I			
2 次 評	· 価 委 員 会	コメント	事業の目的や意図に沿ったアウトカム指標を設定してください。他都市のベストプラク 業展開を検討してください。		,効果的	的な事

/ 6/	n 击 ** \	<b>声 </b>	- I*	5000000					1	÷17		\ <i>h</i>		±m	=
( 一 形)	设事業)	事業	<u>コード</u>	5230690						部	ঢ়	次	長	誄	長
平成	17年度	事	業 名	住民基本	台帳事務										
1 /3%	11 + 12	31	ж ப	工以至个	HTK-177										
		•		•					•						
1 =	= <del>3                                   </del>	<b>亜</b> / じょ \													
		要(ドゥ)		I I	the fell of the	1		3 3 1-		1		// >== === (+	- Llare		
			りの目標	5 市民	と協働してつ	くる自	立した行政基盤で	づくり		所	管 課	生活環境	部		
総合	計画		中	2 効率	2的な市役所シ	ステム	の確立			///	<b>—</b> нл	市民課			
政策	施策		小	3 事務	8事業の効率化					所管	課長氏名	Щ	名 雅	昭	
体	系		細	-							者氏名		名 雅	昭	
事	業			田ガギョ40万	11 11011		/22 24 EFR+		m/- n-t-	_					0.401
	***	期			11月10日~		経常臨時	☑ 経常 □	臨時			0797-38-	-2030	内線	2401
	処 法	令 · 5	要綱 等	住民基本	台帳法					実	施主体	市			
実	施	手	法	□ 直営	ŕ	✓ –	一部委託	□ 全部委託			補助金		負担金		
委		託	先	□ 外剪	<b>『団体委託</b>	名称			□ 早間	季託	委託内容	窓口受付	·, 証明 i	<b></b> 皆作成	
							本台帳及び戸籍の	いは田の答理							+ (2001
	NIZ		in T		畑を文座し、	工八巫/	予ロ阪及い戸箱の	/門景/7目柱,	<b>正</b> 氏	・口吹り		見,圧氏	示り子し	寺の久下	1 (2001
事	業	の	概 要												
				住民異動	届を受理し,	住民基本	本台帳及び戸籍の	)附票に記載し	,閲覧又	は住民	<b>民票の写し</b>	等の交付	を行う。		
事	業	Ø	現 状	異動届受			10, 77								
3.						公田の言	記載件数 26,85								
		実現のため													
	<b>于</b> 段》	及び実施内	]谷	閲覧及び	住民票等の写	し発行体	牛数 83,21	91年							
			指標名	閲覧及び	住民票等の写	し発行体	牛数								
		結果指標					6年度(実績)	平成17年度	(実績)	平山	<b>以18年度</b>	(目標)	平成 1	9年度(	目標)
			指標値		206件		0,835件	83,21		, ,,,,	83,50	( ,		3,50	
<b>-</b> -		(1)								<b>.</b>					
	トプット		単位コスト	9 1	7円/件	1,	078円/件	1,001	円/ 1年		1,000円	1/作	1, (	00円	/ 1午
指	標		指標 名												
		結果指標	年 度	平成 1 5	年度(実績)	平成 1	6年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成	以18年度	(目標)	平成 1	9年度(	[目標]
		(2)	指標値												
		(-)	単位コスト												
າ ≢	= <del>***   +*</del>   F	11 ( 7 台 )													
2 事	●業別	果(アウ)	トリム)	1											
		対	象	住民基本	台帳に記録さ	れている	5市民								
		Λ,	31	T. P.(2B.)		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	211.20								
事業	の目的	対象力	バー率	対 象 数	(a) 90,	, 885	人 受益数	(b) 90	,885)	7	比 率 (b	÷ a) %		100%	, D
対 象	・意 図				•										
		意	₩				証明発行を行う。								
			ロー・ボート テン	各種事業	の基礎資料に	する。									
		(な)がでこ	主語にして)												
			_	n = -		··									
大	き	な	目 的	住民の利	便を増進し、	仃政の行	対理化を図る。								
			指標 名	住民票の	記載修正の処	理割合									
							うち住民票の修正	三処理件数(戸籍	籍の届出!	こ伴う	記載変更分	を含む。	)の割合		
							6年度(実績)				以18年度			9 年度 (	日標)
7 A	トカム	1E 1E				1 12/0			_	1-13)		· · ·	172		ロコボノ
			指標値		1 2 %		20%	18%	ro .		10%	1		10%	
指	標		指標名												
		最終成果	考え方・式												
		指 標	年 度	平成 15	年度(実績)	平成 1	6年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成	<b>【18年度</b>	(目標)	平成 1	9 年度 (	目標)
			指標値												
古居:	古の性を	もかど油 G	マオス東西												
戸座「	u W 村 E	こると補え	足する事項												
	- 11/2														
	■業費·		分(コスト)					1世帯当り(円)	2,091		人当り(円)	917	平成18.4	.1 住民基	基本台帳
事	業	費	構成%	平成 15	年度(決算)	平成 1	6年度(決算)	平成17年度	(決算)	平成	【18年度	(予算)			
	人	件 費	60.1%		65,331		68,167		50,060			-			
	事	業費			5,604		12,326		16,372			20,295			
内		3門経費			17,675		17,403		16,865			-,_5			
		道二二年頁			17,073		17,703		. 5,505						
( T P.					00.015		AF 444		00.00=			-			
	合	計			88,610		97,896		83,297			-			
	国	・県			22		22		32						
財	源市	債 等													
(千円	3) そ	の他			26,146		25,134		23,320			20,989			
,	- /	設 財 源			62,442		72,740		59,945						
							. 2,170		,						
汪							7 75		6.05						
	動職	員	70.3%		7.35		7.75		6.05			-			
	動職		70.3% 29.7%				7.75 2.45 <b>10.20</b>		6.05 2.55 <b>8.60</b>			-			

当性2 - 2	日の安当性2-2		西(チェック)				
事業成素が上の協業に不可欠。または海疫性が高い   最初度が不明能。または高くない   市が実施するが非常等である。   田間であるや。または別の可能である   市で表面であるが非常等である   田間であるや。または別の可能である   市で表面であるが非常等である   田間であるべき。または別の可能である   市で表面では、1000円でのである   市で表面では、1000円である   市で表面では、1000円では、1000円でのである   市で表面では、1000円である   市で表面では、1000円である   市で表面では、1000円である   市で表面では、1000円である   市で表面では、1000円である   市で表面では、1000円である   市で面では、1000円である   市で面では、1000円では	日野女司以上	評	価 視	点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
学典成本が上加速度について、または実施度が続い   日間であるく。または内の前にある   日間であるく。または内の前にある   日間であるく。または内の前にある   日間であるく。または内の前にある   日間であるく。または内の前にある   日間であるく。または大田である   日間であるく。または大田である   日間であるく。または大田である   日間であると、または大田である   日間であると、または大田である   日間によりない。   本港度   東京   東京   東京   東京   日間であると、または大田である   日間によりない。   東京   日間によりない。   中部成果が高がっている   日報を設定している   事業意図と受益者は多している   事業意図と受益者は多している   事業意図と受益者は多している   事業意図と受益者が不整く。または受益が一部・限定   東端であるがある   日間体に対象があかっていると言えない   日間体に対象があかっていると言えない   東端であるがある   日本を持ちがある   日本を持ちがある   日本を入り、   日本	日本の大学に対している		日的豆虫件/	(2 - 2)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
一元(2 - 2)	2 市間5 2-2		DIDX DIE	(2 2)	□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
□ お民に一ズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない □ 大工に基づいて行う事業ではない □ 大工に担じている □ 対象のとしまかけた。原金 □ 対象のが、一本が信い □ 事業を限しなければ、市民の生命、安全等が損なかれる □ 事業を限しなける □ 事業を限している □ 事業を限しなける □ 事業を限しなける □ 事業を限しなける □ 事業を限している □ 事業を限している □ 事業を限している □ 事業を取りて事業が一部に限定 □ 中間成果財務の実験値を把握し、目標を設立ている □ 実績値から成果があがっていると言えな □ 実績値から成果があがっていると言えな □ 実績値から成果があがっていると言えな □ 実績値から成果があがっていると言えな □ 実績値から成果があがっていると言えな □ 実績値から成果があがっていると言えない □ 大展があるの実体を形している □ 付きまなが、 □ 大阪のようなができる目体はない □ 付きまなりまかっ □ 付きまなりまかっ □ 付きまなりまかっ □ 付きまではない □ 付きまできる目体がある □ 保証になりまかっ □ 対応できる目体がある □ 会社を求めるときずまではない □ 付別をの数字を形態している ■ 年位コスト □ 付別をの数字を形態している。 □ 会社を求めると考まではない □ 付別をの数字を形態している。 □ 会社を求めると表示できる □ 会社を求めると表示できる □ 会社を求めると表示できる □ 会社を求めると表示できる □ 会社を求めると表示を持つない。 □ はので業、かどの等では対応できない業務をある □ 保証・施助機関等で対応可能である □ 保証・施助機関等で対応可能である □ 保証・施助機関等で対応可能である □ 保証・施助機関等で対応可能である □ 保証に対応できない業務をある □ 保証・施助機関等で対応可能である □ 保証・成かを発行でいる □ 大広のすっまとしいのよのを表がない □ なかっった □ 大阪歌木人を認めを表がない □ なかっった □ 大阪歌木人を読むとを担めてある □ ながっった □ 大阪歌木人を読むとを担めてある □ ながっった □ 大阪歌木人を読むとを担めてある □ なきにか、 効果を得たない □ なかっった □ 大阪歌木人を読むとを担めてある □ なきにない □ 大阪歌木人を読むとを担めてある □ なきにない □ 大阪歌木人を訪ってある □ ながった □ はいる □ ながった □ ながった □ ながった □ ながった □ ながった □ ながった □ ながった □ ながった □ ながった □ ながった □ ながった □ ながった □ ながった □ ながった □ ながった □ ながった □ ながった □ はいる □ ながった □ ながった □ ながった □ ながった □ ながった □ ながった □ □ ながった □ ながった □ ながった □ ながった □ ながった □ ながった □ ながった □ ながった □ ながった □ ながった □ ながった □ ながった □ ながった □ ながった □ ながった □ ながった □ ながった □ ながった □ □ ながった □ □ ながった □ □ ながった □ □ ながった □ □ ながった □ □ ながった □ □ ながった □ □ ながった □ □ はいる □ □ はいる □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	□ は				□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
市民ニーズに基づいて行うべき事業	市民ニーズに置ういで行う発養ではない	妥	市関与(2~	2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
市民ニーズに基づいて行うべき事業	市民ニーズに置ういで行う発養ではない				□ いずれにも該当しない		
□ 二一大が高い □ 二一大が高い □ 未把握 □ 素形に関わる社会環境の変化にある社会環境の変化にある社会環境の変化にある社会環境の変化にある社会環境の変化にある社会環境の変化にある社会環境の変化にある社会環境の変化にある社会環境の変化にある社会環境の変化にある社会環境の変化にある社会環境の変化にある社会関係 □ 本規模 □ ● 中間成果指導の実験値を把握し、目標値を設定している □ 東達國と受益的不整合。または受益が一部に限定   東値位との成果があがっていると言える □ 東値値から成果があがっていると言える □ 東値値から成果があがっていると言える □ 東値値から成果があがっていると言える □ 東値値から成果があがっていると言える □ 東値値から成果があがっていると言える □ 東値でから成果があがっていると言える □ 東値をから成果があがっていると言えない □ 未規値 □ 上表が □ 他団体の数字を把握している □ 中間成との理由 □ 他団体の数字を把握している □ 中間成との理由 □ 担談できる団体はない □ 他団体の数字を把握している □ 中間成との理由 □ 東担を求めるとができる事業である □ 東担を求めるべき事業ではない □ 他団体との程度 □ 側面体とコストが高い 高いまたは低い場合の理由 □ 東担を求めるとができる事業である □ 東担を求めるべき事業ではない □ を一 ○ 現理を求めるとができる事業である □ 東担を求めるべき事業ではない □ を一 ○ 日間企業、NPO等)でがある □ 民間企業、NPO等)でがある前に認時報員等では対方できない業務である □ 根間企業、NPO等)でがある前に認時報員等では対方できない業務である □ 根間企業、NPO等)でがある前に認時報員等では対方できない業務である □ 根間企業、NPO等)でがある前に認時報員等では対方できない業務である □ 根間企業、NPO等)でがあっ能に認時報員等では対方できない業務である □ 根間企業、NPO等)でがあっ能に対すである。 □ 表に認時報員等で対応可能である □ 根に認時報員等で対応可能である □ 根底に数すである □ 表に認時報員等で対応可能である □ を表したが、効果がた □ なかっ ○ 表に認時報員等で対応可能である □ 表に認時報員等で対応可能である □ 根底に数時報員等で対応可能である □ 表に認時報目等で対応可能である □ 根底に数すを表になる。 □ 表に認時報員等で対応可能に現立 □ 本に認時報目をで対応可能に現立 □ □ 本に認時報目をで対応に関いる □ 本に認時報目をで対応した。 □ 本に認時報目をで対応した。 □ 本に認時報目をで対応した。 □ 本に認時報目をで対応した。 □ 本に認時報目をで対応した。 □ 本に認時報目をで対応した。 □ 本に認時報目をで対応した。 □ 本に認時報目をで対応した。 □ 本に認時報目をで対応した。 □ 本に認時報目をで対応した。 □ 本に認時報目をで対応した。 □ 本に認時報目をで対応した。 □ 本に認時報目をで対応した。 □ 本に認時報目をで対応した。 □ 本に認時報目をで対応した。 □ 本に認時報目をで対応した。 □ 本に記述を対応した。 □ 本に認時報目をで対応した。 □ 本に認時報目をで対応した。 □ 本に記述を対応を表に対応した。 □ 本に認時報目をで対応した。 □ 本に認時報目をで対応した。 □ 本に認時報目を対応した。 □ 本に記述を対応する。 □ 本に認時報目を対応した。 □ 本に認時報目をで対応した。 □ 本に認時報目をで対応した。 □ 本に認時報目をで対応した。 □ 本に認時報目をで対応したる。 □ 本に認時報目を対応したる。 □ 本に認時報目をで対応したる。 □ 本に認時報目をで対応したる。 □ 本に認時報目をで対応したる。 □ 本に認時報目をで対応したる。 □ 本に認りを可能しまる。 □ 本に記述しまる。 □ 本に	古民ニス(2-1)	当				4	3
数字で把握している	株の	_	市民ニーズ(	2 ~ 1)		-	
現金化(1 - 1)	自由	性	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	,	,		
「	情報・認動性()						
無熱性(1)	優先性 窓急性(1)	0無	社会環境変化	化(1~ 1)			
(1- 1)	対象カバー率(1-1)		海生州 取名	3 計十 / 1 \			
(1 - 1) ② 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合、または受益が一部に限定 実績(2 - 1) □ 中間成果指律の実験値径を開出、目標値を設定している □ 実施値から成果があがっていると言える □ 実施値から成果があがっていると言える □ 大学施化(- 1) □ 大学を表がっているとは言える □ 大学施化(- 1) □ 大学を表が □ 大学を表が □ 日本を表が □ 日本を	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##						
	対している。	<b>#</b>		, ,			
上余地(1-1   1   1   1   1   1   1   1   1   1	M. M. M. M. M. M. M. M. M. M. M. M. M.	Ħ	▽	1)			
上余地(1 - 1)	性	効	成果の実績(	(2 ~ 1)		3	3
上京地(1 - 1)	4点						
放来同上取めり   付にない   付いない   付	4歳		- 成果向上余年	地(1~ 1)			
(中国体の数字を把握している	単位コスト(1 - 1)	4点					
→ ② 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い 高い、または低い場合の理由 □ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めることができる事業ではない □ 負担を求めることができる事業ではない □ 負担を求めることができる事業ではない □ 負担なり、過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能 ) 直営事業 正規職員が執行。または出資団体へ委託している業務について □ 個人、家庭・地域等が担うへき部分がある □ 限託、臨時職員等では対応できない業務である □ 限託、臨時職員等では対応できない業務である □ 限託、臨時職員等では対応できない業務である □ 関託、臨時職員等では対応できない業務である □ 特に行っていない □ 付かに行っていない □ 付かに対象ののがあるを引きない。 □ 内容   正規職員から派遣職員への切替 □ 本人成りすまし防止のため、住民票の写 位性 ○ 方 内 性   図 の 方 同 性   図 の 方 東価結果 □ 図 改善したが、効果がな □ なかっった	# □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □						
○	図   図   図   図   図   図   図   図   図   図		単位コスト(1	~ 1)			
自担0~ 1) □ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない □ ② 力に負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない □ ② コスト間に見知題が執行)または出資団体へ委託している業務について □ 個人、家庭 地域等が担うべき部分がある □ 限制に会執がが義務づけられている □ 民間企業、NPO等)で対応可能である □ 保託・臨時職員等では対応できない業務である □ 保託・臨時職員等では対応できない業務である □ 特に行っていない □ ② コスト間 瀬の取り組みを行っている □ 寸トに行っていない □ ○ 評価 内容 □ 理規職員から派遣職員への切替 □ な ○ 本人成りすまし防止のため、住民票の写 を 当 ○ の 方 □ 性	要請書負担(0 - 1)	効	(1	.,	y		
□ 対応内容	▼						
□ 対応内容	# 日		受益者負扣(	(0 ~ 1)			
□ 日	日本学年に映画目が明けったには田賀田州へ会託している業務にJTC   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日	滋	)三(只由血文	(0 1)	」 └➡ ☑ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能)	1	Λ
民間(企業、NPO等)では対応できない業務である	世性 3点 □ 民間企業、NPO等)では対応できない業務である □ 民間企業、NPO等)で対応可能である □ 嘱託・臨時職員等で対応可能である □ 嘱託・臨時職員等で対応可能である □ 嘱託・臨時職員等で対応可能である □ 嘱託・臨時職員等で対応可能である □ 嘱託・臨時職員等で対応可能である □ 嘱託・臨時職員等で対応可能である □ 情に行っていない □ 対応行っていない □ 対応行っていない □ 対応できない業務である □ 特に行っていない □ 対応できない業務である □ 特に行っていない □ 対応できない業務である □ 特に行っていない □ 対応に持備がない場合は記載不要) □ A	-			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		U
民間企業、NPO等)で対応可能である	世 3点		手匹(1 - 2	))	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
減取組(1 - 1)	3点 コスト削減取組(1~ 1)		于-tx(1 - 2	))	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
内容   正規職員から派遣職員への切替	TATE   MARKARILLE	性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
の 評価 内容	マ 成 1 8 年度の評価内容   中価結果   下級関係を関係を表現した改善の方向性   中価結果   下級17年度に実施りない場合は記載不要   下級17年度に実施りない場合は記載不要   下級17年度に実施りる 改善内容   本人成りすまし防止のため、住民票の存   水時本人確認を厳格化する必要がある。 改善内容   水時本人確認を厳格化する必要がある。 改善内容   水時本人確認を厳格化する必要がある。 改善内容   大量閲覧制度の制限   東 望 等   (1) 対応内容   東施期限 平成   年 月   対応内容   東施期限 平成   年 月   東藤明取 平成   年   月   東藤明取 平成   年   月   東藤明取 平成   年   月   東藤明取 平成   年   月   東藤明取 平成   年   月   東藤明取 平成   年   月   東藤田和 中本   東藤田和   東藤田和 中本   3点	コフレ当心は177	140/4 4\	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない			
対応内容   実施期限 平成   年   月   対応内容   実施期限 平成   年   月   野便局での取り次ぎ交付	及び改善の 所向 向性 (評価結果 の 所向 向性 (評価結果 の 所向 向性 (評価がない場合は記載不要) 部価結果 で 成 1 8 年 度 に 実施 する 改 有 内容 (課題 本人成りすまし防止のため、住民票の写 (			(AH(I~ I)	→ 内容 正規職員から派遣職員への切替		
対応内容   実施期限 平成   年   月   対応内容   実施期限 平成   年   月   野便局での取り次ぎ交付	及び改善の 所向 中性 (評価結果 の 所向 中性 (評価結果 の 所向 中性 (評価がない場合は記載不要) 部価結果 で 成 1 8 年 度 に 実施 する 改 有 内容 (課題 本人成りすまし防止のため、住民票の写 (						
### A B ### A K B ### A K B ### A K B ### A K B ### A K B ### A K B ### A K B ### A K B ### A K B ### A K B ### A K B ### A K B ### A K B ### A K B ### A K B ### A K B ### A K B ### A K B B ### A K B B ### A K B B ### A K B B ### A K B B B B B B B B B B B B B B B B B B		平成1	6年度の計	· 仙 内 容	**パイナ及に夫 □ 以普し、効果を存た		
### A B ### A K B ### A K B ### A K B ### A K B ### A K B ### A K B ### A K B ### A K B ### A K B ### A K B ### A K B ### A K B ### A K B ### A K B ### A K B ### A K B ### A K B ### A K B B ### A K B B ### A K B B ### A K B B ### A K B B B B B B B B B B B B B B B B B B		(評価が	「ひ、音 の . がない場合は	力 问 性記載不要)	□ B   MOUNTE OF D   D 改善したが、効果がな □ なかっ		
年度内容       本人成りすまし防止のため、住民票の写 水時本人確認を厳格化する必要がある。 内容         (アクション)         ている課題         ・関係者の名称         1)       対応内容 国の法改正に伴い、今年度中に実施 実施期限 平成 年 月         実施期限 平成 年 月         3)       対応内容 実施期限 平成 年 月         実施期限 平成 年 月         郵便局での取り次ぎ交付	平成 1 8 年 度 に 容 説 地 本人成りすまし防止のため、住民票の写 水時本人確認を厳格化する必要がある。 改善 さのの提示を求める。 内容 が時本人確認を厳格化する必要がある。 内容 さのの提示を求める。 内容 ものの提示を求める。 内容 おいらの意見 要 望 等	( дт іш 73	7 - & V 1 - 3	10 + N   Y   X		Λ	В
改善内容     課題       (アクション)       ている課題       説,関係者の名称       記,要望内容     大量閲覧制度の制限       1)     対応内容       実施期限     平成       年     月       対応内容     実施期限       実施期限     平成       年     月       郵便局での取り次ぎ交付	実施する改善内容課題       5 今後の対応(アクション)       現在認識している課題       市民,関係者 市民,関係者の名称からの意見要望等       意見,要望内容       (1)     対応内容国の法改正に伴い、今年度中に実施実施期限平成年       (2)     対応内容実施期限平成年月       (3)     対応内容実施期限平成年月       その他考えられる     年月			<u> </u>	本人成りすまし防止のため、住民票の写 運転免許証等により請求者本人であることを証明できる 評価	A	D
(アクション)       ている課題       は、関係者の名称       1) 対応内容 国の法改正に伴い、今年度中に実施実施期限平成 年 月       実施期限 平成 年 月       対応内容実施期限 平成 年 月       実施期限 平成 年 月       郵便局での取り次ぎ交付	( 必 須 )     ( )	平 成	18年	度に	□		
T いる課題         現底者の名称         記,要望内容       大量閲覧制度の制限         対応内容 国の法改正に伴い、今年度中に実施 実施期限 平成 年 月         2) 対応内容 実施期限 平成 年 月       年 月         3) 対応内容 実施期限 平成 年 月       毎 月         事便局での取り次ぎ交付	現在認識している課題  市民、関係者 市民、関係者の名称 からの意見 要望等				内容		
T いる課題         現底者の名称         記,要望内容       大量閲覧制度の制限         対応内容 国の法改正に伴い、今年度中に実施 実施期限 平成 年 月         2) 対応内容 実施期限 平成 年 月       年 月         3) 対応内容 実施期限 平成 年 月       毎 月         事便局での取り次ぎ交付	現在認識している課題  市民、関係者 市民、関係者の名称 からの意見 要望等			·			
関係者の名称	市民,関係者 市民,関係者の名称	5 今後	後の対応(ア∕	クション)			
関係者の名称	市民,関係者 市民,関係者の名称						
記,要望内容     大量閲覧制度の制限       1)     対応内容     実施期限 平成     年 月       2)     対応内容       実施期限 平成     年 月       3)     実施期限 平成     年 月       郵便局での取り次ぎ交付	からの意見要 望 等     意見,要望内容       課題・要望等     (1)     対応内容     国の法改正に伴い,今年度中に実施       課題・要望等     (2)     対応内容       実施期限 平成     年     月       その他考えられる     年     月	現在調	認識してい	1る 課 題			
記,要望内容     大量閲覧制度の制限       1)     対応内容     実施期限 平成     年 月       2)     対応内容       実施期限 平成     年 月       3)     実施期限 平成     年 月       郵便局での取り次ぎ交付	からの意見要 望 等     意見,要望内容       課題・要望等     (1)     対応内容     国の法改正に伴い,今年度中に実施       課題・要望等     (2)     対応内容       実施期限 平成     年     月       その他考えられる     年     月						
対応内容   国の法改正に伴い、今年度中に実施	要望等     (1)     対応内容     国の法改正に伴い、今年度中に実施       課題・要望等     (2)     対応内容       実施期限 平成     年     月       (3)     対応内容       実施期限 平成     年     月       郵便局での取り次ぎ交付	市民,関	係者 市民,関係	係者の名称			
対応内容   国の法改正に伴い、今年度中に実施	要 望 等     対応内容     国の法改正に伴い、今年度中に実施       実施期限 平成     年 月       マの対応     実施期限 平成     年 月       (3)     対応内容       実施期限 平成     年 月       素施期限 平成     年 月       要施期限 平成     年 月       本の他考えられる     毎	からの	意見。日		十二月間野知序の知四		
	実施期限 平成   年   月	要望	等思見,	安堂内谷	人里阅見耐度の削減 		
1)     実施期限 平成     年     月       2)     対応内容       実施期限 平成     年     月       3)     対応内容       実施期限 平成     年     月       郵便局での取り次ぎ交付	実施期限 平成   年   月			***	G 247.73 No. A Frenche		
対応内容     実施期限     平成     年     月       3)     対応内容       実施期限     平成     年     月       郵便局での取り次ぎ交付	課題・要望等     (2)     対応内容       実施期限 平成     年     月       (3)     対応内容       実施期限 平成     年     月       郵便局での取り次ぎ交付		(1)	刈心内谷	国の法以上に伴い、今年度中に美胞 		
実施期限     平成     年     月       3)     対応内容       実施期限     平成     年     月       郵便局での取り次ぎ交付	への対応     (2)     対応内容       実施期限 平成     年     月       その他考えられる     無期限 平成     年     月			実施期限	平成年月		
実施期限     平成     年     月       3)     対応内容       実施期限     平成     年     月       郵便局での取り次ぎ交付	大の対応     実施期限     平成     年     月       その他考えられる     (2)     実施期限     平成     年     月	課題·要	望等	***			
対応内容     実施期限     平成     年     月       郵便局での取り次ぎ交付	(3)     対応内容       実施期限     平成     年     月       その他考えられる      年     月		(2)	对心内容			
対応内容     実施期限     平成     年     月       郵便局での取り次ぎ交付	(3)     対応内容       実施期限 平成     年 月       その他考えられる	への対	讨 応	実施期限	平成年		
実施期限     平成     年     月       郵便局での取り次ぎ交付	実施期限     平成     年     月       その他考えられる     郵便局での取り次ぎ交付						
実施期限         平成         年         月           郵便局での取り次ぎ交付	実施期限         平成         年         月           その他考えられる		(3)	対応内容			
郵便局での取り次ぎ交付	郵便局での取り次ぎ交付       その他考えられる		(5)	宝施期限	<b>立</b> 成 年 目		
	<mark>その他考えられる</mark>			₹//E#JFK			
h 3		その他	老えられる		THE PROPERTY OF THE PROPERTY O		
		IX E V			<u> </u>	1 / 夕前/雨	2 冷証/而
	今後の方向性 1次評価 2次評価						
<u>拡大・充実</u> ○ ○	<u>拡大・充実</u> ○ ○					_	_
<u>拡大・充実</u> ○ ○ <mark>現 状 維 持</mark> ○ ○	<u>拡大・充実</u> ○ ○ <del>現 状 維 持</del> ○ ○		0 . 2 1 / =	<b>↑</b> + + + + + + + + + + + + + + + + + + +			_
拡大・充実       ○         現 状 維 持○       ○         方 法 改 善       ●	拡大・充実       ○         現 状 維 持○       ○         方 法 改 善       ●	11/ [ 1	,~ 4   年度	い カ 回 性		_	
拡大・充実 ○ □ 現 状 維 持 ○ □ 方 法 改 善 ● □ □ 民間 委託等 ○ ■	拡大・充実 ○ □ 現 状 維 持 ○ □ 方 法 改 善 ● □ □ 民間 委託等 ○ ■	平成 1			Lets 1	11 )	$\circ$
拡大・充実 ○ □ 現 状 維 持 ○ □ 方 法 改 善 ● □ □ 民間 委 託 等 ○ ■ 縮 ・ 小 ○ □	拡大・充実 ○ □ 現 状 維 持 ○ □ 方 法 改 善 ● □ □ 民間 委託等 ○ ■ 縮 小 □ □	平			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		$\overline{}$
拡大・充実 ○ □ 現 状 維 持 ○ □ 方 法 改 善 □ ○	拡大・充実 ○ □ 現 状 維 持 ○ □ 方 法 改 善 ◎ □ ○ 下 法 改 善 ◎ □ ○ 日間 委 託 等 ○ ◎ 縮	平			統合/終期設定	0	
拡大・充実 ○ □ 現 状 維 持 ○ □ 方 法 改 善 ● □ □ 民間 委 託 等 ○ ■ 縮 ・ 小 ○ □	拡大・充実 ○ □ 現 状 維 持 ○ □ 方 法 改 善 ◎ □ ○ 下 法 改 善 ◎ □ ○ 日間 委 託 等 ○ ◎ 縮	平 成 1			統合/終期設定	0	
拡大・充実 ○ □ 現 状 維 持 ○ □	拡大・充実 現 状 維 持○ 方 法 改 善 ◎ 民間 委 託 等○ 縮 小○ 統合/終期設定○ 廃 止 / 休 止				統合/終期設定   <b>統</b> 合/終期設定   <b>廃止 / 休止</b>	0	
r r		改 善 0	カ ア イ デ ア		今後の方向性         拡大・充実         現状維持方法改善	<ul><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li></ul>	(
	ラ 復 の 万 回 1生1 次評価  2次評価						
<u>拡大・充実</u> 〇 〇	<u>拡大・充実</u> ○ ○				方法改善	•	0
拡大・充実       ○         現状維持       ○         方法改善       ○	拡大・充実 現 状 維 持 う 方 法 改 善 ●		9~21年度	の方向性	民間委託等	0	lacktriangle
拡大・充実 ○ □ □ 現 状 維 持 ○ □ ○ 方 法 改 善 ◎ □ ○ E 間 委 託 等 ○ ■	拡大・充実 ○ □ 現 状 維 持 ○ □ 方 法 改 善 ◎ □ ○ E 間 委 託 等 ○ ■	平成 1			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	I( )	$\cup$
拡大・充実 ○ □ □ 現 状 維 持 ○ □ ○ 方 法 改 善 ◎ □ ○ E 間 委 託 等 ○ ■ 縮	拡大・充実 ○ □ 現 状 維 持 ○ □ 方 法 改 善 ◎ □ ○ 平成19~21年度の方向性	平			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
拡大・充実 ○ □ 現 状 維 持 ○ □ 方 法 改 善 ● □ □ 民間 委 託 等 ○ ■ 縮 ・ 小 ○ □	拡大・充実 ○ □ 現 状 維 持 ○ □ 方 法 改 善 ● □ □ 民間 委託等 ○ ■ 縮 小 □ □	平			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		0
拡大・充実 ○ □ 現 状 維 持 ○ □ 方 法 改 善 □ ○	拡大・充実 ○ □ 現 状 維 持 ○ □ 方 法 改 善 ◎ □ ○ 下 法 改 善 ◎ □ ○ 日間 委 託 等 ○ ◎ 縮	平			統合/終期設定	0	
拡大・充実 ○ □ 現 状 維 持 ○ □ 方 法 改 善 □ ○	拡大・充実 ○ □ 現 状 維 持 ○ □ 方 法 改 善 ◎ □ ○ 下 法 改 善 ◎ □ ○ 日間 委 託 等 ○ ◎ 縮	平 成 1			統合/終期設定	0	
拡大・充実 ○ □ 現 状 維 持 ○ □	拡大・充実○ □ 現状維持○ □ 方法改善● □ □ 民間委託等○ ● 縮				統合/終期設定   <b>統</b> 合/終期設定   <b>廃止 / 休止</b>	0	

/ 的	ひ事業)	事業	□ - ド	E220	700				1	部	=	次	長	≐⊞	長
( — д	又争未)	尹未	<u> </u>	5230	700					라	TX.	从	tx	歃	坟
平成	17年度	事	業 名	印鑑	登録証明事務										
1	<b>事業概</b>	要(ドゥ)												•	
			りの目標	5	市民と協働してつ	くろ白	立した行政基盤・	づくり				生活環境	部		
	计画		<u> </u>	+ +	効率的な市役所シ			2 ( )		所	管 課	市民課	1111		
			-				V 7作立.			rr ** ±	<b>B E C D</b>		<i>h</i> ти	077	
	施策		小	3	事務事業の効率化	ı					果長氏名				
体	系		細							記入	者氏名	山	名 雅	昭	
事	業	期	間	昭和!	50年10月1日~		経常臨時	☑ 経常 □	臨時	電話	番号	0797-38-	-2030	内線	2401
根	処 法	令 · 5	要 綱 等	<b>芦屋</b>	市印鑑条例					実施	i 主 体	市			
実	<u>~ 况</u> 施					[7] <u> </u>	一部委託	□ 全部委託	:		前助金		負担金		
夭	旭						叩安礼	□ 土叩安矶						± //::	
委		託	九			名称			<b>山</b> 氏間	多託 3	<b>長託内容</b>	治口文刊	,此門	与TFDX	
				印鑑	登録証の受付け、	交付及7	び廃止の受付けを	:行う。							
事	業	の	概 要												
				EII	登録申請書を受理	1. ED#	監督録証の交付等	まを行う (30	0円/件)						
=	र्गार	Φ.	TH 41			- ,		: 5 11 7 9 (00	01 1/ 11 /						
事	業	の			登録者数	,	395件								
	目的	実現のため	のの	印鑑	証明件数	61,	561件								
	手段	及び実施内	容	印鑑	登録証再発行数	1,	165件								
			指 煙 夕	En ab:	証明書発行件数										
		4± FB +15+F				亚己 4	6年度(安建)	亚武 1 7 左连	(宝德)	ਜ਼ ਜ਼	10年中	(日抽)	<b>₩</b> = 1 1	0 任庶	(日抽)
		結果指標		_	115年度(実績)			平成17年度	,		18年度				(目標)
			指標値	. (	64,906件	6	0,630件	61,56	1件	(	51,50	0件	6 :	2,00	0件
アウ	トプット		単位コスト	·	398円/件	4	14円/件	339円,	/件		3 4 0 円/	/件	3	40円/	/件
指	標		指標 名												
		結果指標			15年度(実績)	平成 1	6年度(宝績)	平成17年度	(宝績)	平成	18年度	(日標)	平成 1	9年度	(目標)
					13十及(入殿)	1 72%	0 1及(入限)	172 17 112		1 /2/	10112		1 72%	J 1/X	( 11 1 1 )
		(2)	指標値			<u> </u>		}							
		<u> </u>	単位コスト			<u> </u>		1							
2	<b>『業成』</b>	果(アウ)	<u> トカム)</u>												
		**	4	11 D Δ D Δ D Δ D Δ D Δ D D D D D D D D D	20日 としていて 十										
		対	家	印鑑	登録されている市	氏									
車 業	の目的	対 象 カ	バー率	対 タ	<b>数 (a)</b> 5.7	, 3 9 5	5人 受益数	(h) 5.7	, 395)	ı F	比 率 (b	± a) %		1009	V <sub>0</sub>
	・意図		/\ <u>+</u>	V1 3	( xx (u) 0 1 ,	, 0 0 0	<u>Д ш х</u>	(6)	, 0000	\	U + (D	. u) /0		100/	,0
X) SK	· 忠 凶			ub. 3±.	±,, ++	⇒= A= 3	=======================================								
		意		中請	書に基づき正確に	記録し、	証明発行を行う	10							
		(対象を3	主語にして)												
大	き	な	目 的	不動	産の登記、自動車の	の登録,	公正証書の作成	え 等住民の利便	を増進し	,行政	の合理化	を図る。			
			华 煙 夕	FIT ARE:	証明書発行時間										
						TH 11±188									
					から証明発行の処理		c + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		, <del></del> /= >				<del></del>		( D ) T >
			年 度	半成	15年度(実績)	平成 1	6年度(美績)	平成17年度	(美績)	半成	18年度	(目標)	平成 1	9 年度	(目標)
アウ	トカム		指標値		1分		1分	1分			1分			1分	
指	標		指標 名												
		最終成果	考え方・式												
					15年度(実績)	平成 1	6年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成	18年度	(月標)	平成 1	9年度	(目標)
		ייי בי		-	- , & ( \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	1 1220 1		1132	( ) CMR /	1 13%	· · · · · · · · ·	(H1#)	1720	- 112	( HIM )
			指標値			<u> </u>									
		- 1	<b>-</b>												
芦屋	市の特色	色など補足	足する事項	A											
3 🗐	<b>『業費</b>	·活動配·	分(コスト	)				1世帯当り(円)	524	住民1ノ	(当り(円)	230	平成18.4	1.1 住民	基本台帳
事	業	費		<del></del>	15年度(決算)	平成 1	6年度(決算)	平成17年度	(決算)		18年度	(予算)			
	11	件費		_	18,618	1 7-20 .	18,265	172.7.7.12	12,051	1 75%		( ) 7+ /			
	<u></u>					<del></del>		1	-			0.040			
	事	業費			2,269	Ь——	1,913	<del> </del>	4,040			6,642			
		『門経費			4,991	<b></b>	4,916	ļ	4,778			-			
(千月	月)減低	面償 却 費				<u>L</u>		<u> </u>				-			
	合	計	100.0%	)	25,878		25,094		20,869			-			
	国	· 県													
財	源市	債 等													
				$\vdash$	40.070	$\vdash$	10 505		10 047			17 700			
(千円		の他			19,872	<u> </u>	18,565		18,817			17,760			
		般 財源		_	6,006		6,529		2,052			-			
活	動職	員		<u>,                                      </u>	2.30	<u> </u>	2.30	<u> </u>	1.70			-			
			F 00/	4	0.15	1	0.15		0.40						
	分嘱託	:臨時等	5.6%	3	0.13	l	0.15	l	0.10						
	分嘱託	·臨時等 <b>計</b>			2.45		2.45		1.80						

4 評信	五(チェッ	ク)				
評	価	視	点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
	目的妥	当性(2	~ 2)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	日可安	∃1±(∠	~ 2)	□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
				□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき,または対応可能である		
妥	市関与(	(2 ~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
				☑ いずれにも該当しない	_	_
当				□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	5	5
	市民二・	ーズ(2	~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把握		
性				☑ 数字で把握している         57,395件         □ 未把握		
8点	社会環境	境変化	C(1 ~ 1)	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
	優先性	取么	₩- (4 \	内容		
	対象力			<ul><li>☑ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる</li><li>☑ 対象カバー率は高い</li><li>☑ 他団体と同程度</li><li>□ 他団体よりカバー率が低い</li></ul>		
有	受益者(		,	□ 対象が、平は同い □ 他団体と向往及 □ 他団体をがが、平が低い □ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
		`	,	□ 事業忠固と文曲目は定日のでいる □ 事業忠固と文曲目が不定日、8元は文曲が一部に成定 □ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している □ 実績値または目標値が未記入		4
効	成果の	実績(2	~ 1)	▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	4	4
性				成果があがっていない場合		
4点	- 放果问.	上余地	!(1 ~ 1)	□ 成果向上策あり □ 特になし		
				☑ 比較できる団体がある 団体名 尼崎市 □ 比較できる団体はない		
	単位コス	7	. 1)	☑ 他団体の数字を把握している 単位コスト 1件当たり946円 □ 把握していない		
効	+1217	X1 (1	')	▶ ☑ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
				高い、または低い場合の理由		
	受益者:	負担(0	~ 1)	☑ 負担を求めることができる事業である   □ 負担を求めるべき事業ではない		
率				→ ☑ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能)	1	0
				直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	•	
	手段(1	~ 3)		□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある □ R関係業 NPO等では対応できない業務である。 □ R関係会業 NPO等で対応可能である		
性				□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である □ 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託, 臨時職員等で対応可能である		
3点			_	□ 場に、皿内地質等では対応できない業務である □ 場に、皿内地質等で対応引能である		
O/M	コスト削	減収約	且(1~ 1)	→ 内容 正規職員から派遣職員への切替		
				□ A <u>wd474-pd-</u>		
平	6 年 度 ( 改 善	の ii の ≠	<b>伸 内 容</b>	並価な甲 塩 上が美の方向		
(評価か	がない場合	がは記	載不要)	□ 改善したが、効果がな □ なかっ なかっ は なかっ し なかっ		
				対率性のさらなる向上が必要。	Α	В
平 成	1 8	年	度に		, ,	
平成実施	1 8 する 必	改 善 須	内容	課題 内容		
(	必	浿	)			
5 今後	後の対応	(アク	ション)			
現在意	忍識し	てい	る課題			
	係者市民	, 関係	者の名称			
からの	音目	1 ,要	望内容			
要望	等心					
	(	1)	対応内容			
	(	´ L	実施期限	平成 年 月		
課題·要	望等					
#//\~_ \_		2)	対応内容			
へのタ	付 応		実施期限	平成年月		
			対応内容			
	( )	3)	אניוטוינג			
			実施期限			
		.		住民基本台帳カードとの連携(住基カード交付枚数 2006.3.31現在 639件)		
	考えら	_		印鑑証明書交付申請時,印鑑登録証(カード)の代わりに本人確認資料の提示があった場合でも交付可能	とするこ	こと。
改善 0	D ア イ <del>:</del>	ァア				
				今後の方向性		
						<u>0</u> 0
				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		0
平成 1	9 ~ 2 1 <b>£</b>	手度 <i>(</i>	D 方 向 性	<u> </u>		<u> </u>
		•		縮小	_	0
				統合/終期設定	_	0
				廃止 / 休止	0	0
				古相ルニュート 対応できて トミア 一角 上 桂却 小馬 い 杯 い み 酢 旦 戸 ゆ 炊		
2 次 評	価委員	会:	コメント	市場化テストに対応できるように,個人情報の取り扱いや職員研修等の取り組みを進めてください。 年末・夜間・休日等へのサービス拡大のため自動交付機等による対応を検討してください。		

	般事業	事 業	コ <b>ー</b> ド	1510080	)			部	長光	<u>'</u>	長課	長
(	13X T A	K)	<del></del>	1010000	,			TIP TIP	Κ,		IX IIX	IX.
平万	戊17年	度事	業 名	観光事業	業							
				<u> </u>								
1	車架机	既要(ドゥ)										
		M女(TV) 市 まちづ	/ 11 の 日 輝	1 活	与なられる典か	な生活環境づくり			Н	上活環境	·並	
	次广座 合 計		中		域特性を生かし			— 所 f	当 理	Y 洛洪	тнь	
	策施		/\	-		高める産業の誘致・振り	洞	所 答 課	長氏名		内	
体		系	細	I P	座が17. マモ	同のの圧木の砂み	<u> </u>		者 氏 名川			
事			明 間	□刀 <b>≨</b> п Ω	2.4年~	経常臨時	☑ 経常 □ 臨時		番号0			<b>勺線</b> 2422
根		<del>未                                    </del>			4 + -	紅吊師时	四 腔吊 口 歸时				芦屋観光協	05.
					· 24	☑ 一部委託	□ △如禾幺					协云
実 委	-	施		☑直			全部委託	目 新			負担金	
女		pl.	π		・	名称	位氏	间安武 安	託内容	\$/\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	州性	
=	ग्रार	•	+0.7 <del>7.11</del>		70観儿采りて観。	ル合の来合						
事	業	Ø	概 要									
				ا م الحداد	10 (細小掛入)	の世間) … ノナンガ	2-85-7					
_	МК		TO			の共催)、ハイキング、						
事	業					展を団体(観光協会や名	1種団体)等と実施。					
		的実現のため		観光PI	R, タウン紙等	への情報提供						
	+	段及び実施	<b>小谷</b>									
			14K 12F 4	B - ^	の土田大田(	明度チャップナロャット						
		/-t- == 11s ::				開催委託料/来場者数)	亚岸4月左左4克牛		0/= == ( '	<b>□ +≖ 、</b> 「	<b>₩</b> # * * *	T 在 / 口 坯 >
		結果指標				平成16年度(実績)			8年度(			F度(目標)
	L   _0	(1)	指標値		, 300人	3,950人	1,550人		, 300			300人
	ナトプッ	. ———	単位コスト		3 5 円/人	101円/人	3 4 8円/人	1	30円//	人	2 3	5 円/人
指		標	指標名	•		の参加者数(負担金/		I — n				
		結果指標				, ,	平成17年度(実績)	) 半成 1	8年度(	目標 )		F度(目標)
		(2)	指標値		600人	600人	600人		700人			00人
			単位コスト	1	17円/人	117円/人	117円/人	1	00円//	人	1 1	7円/人
2	事業原	<u> 成果(アウ</u>	<u>トカム)</u>									
		対	象	関西一	-円の日帰りで芥	<b>と緑と街並みを見て楽</b>	しむ人々					
		的対象	」 バー 率	対象	<mark>数 (a)</mark>	受 益 数	(b) 2, 150,	人	率 (b ÷	a) %		
対	象・意		_					<i></i>				
		意		展覧会等	等に多くの人々	が訪れやすくするため、	開催情報を発信し、	集客に努め	<b>5</b> る。			
		(対象を	主語にして)									
				昔屋の	)イメージを高は	<ul><li>市内商業の活性化と</li></ul>	振興を図る。平成17	年度はプ	レ国体。3	区成 18	年度は国体	はが実施され
大	<b>8</b>	な	目 的	るので,	その参加者に	対して観光PRを行う。	MARCH GO TANT.	1 2131	- шп, т	77,4 1 0	121301	170 700 0 40
					# 11.=# MA - 1.AL	-lv						
		BB B		巾四又1								
			ᆝᅔᆍᇃᅚ		化施設等の来館		<u>r.</u>					
		指相			立,私立文化・	スポーツ施設の入場者数			0 F F (1	7.44	TT-11 4 0 4	- ch / C / E /
	<b>ウトカ</b>	1.	年 度	平成 1	立,私立文化・ <mark>5 年度(実績)</mark>	スポーツ施設の入場者数 平成16年度(実績)	平成17年度(実績)		8年度(			<u>∓度(目標)</u>
			年     度       指標値	<b>平成1</b> 14:	立, 私立文化・ <mark>5 年度(実績)</mark> 2, 360人	スポーツ施設の入場者数			<mark>8年度(</mark> 0,00			<b>拝度(目標)</b> 000人
指		標	年     度       指標値       指標	平成 1       1 4 3       観光客	立,私立文化・ <mark>5年度(実績)</mark> 2,360人 ・来訪者数	スポーツ施設の入場者数 <mark>平成16年度(実績)</mark> 153,603人	平成17年度(実績)					, ,
扫		標最終成果	# 年 度 指 標 値 指 標 名 考え方・式	平成 1       1 4 3       観光客       認知度	立,私立文化・ <mark>5 年度(実績)</mark> 2,360人 ・来訪者数 とイメージアッ	スポーツ施設の入場者数 <mark>平成16年度(実績)</mark> 153,603人 プ度	平成17年度(実績) 142,537人	1 5	0, 00	0人	145,	000人
相		標最終成果	<ul><li>年 度</li><li>指標を</li><li>考え方・式</li><li>年 度</li></ul>	平成 1 1 4 2 観光客 認知度。 平成 1	立,私立文化・ 5年度(実績) 2,360人 ・来訪者数 とイメージアッ 5年度(実績)	スポーツ施設の入場者数 <mark>平成16年度(実績)</mark> 153,603人 プ度 <mark>平成16年度(実績)</mark>	平成 1 7年度 (実績) 1 4 2, 5 3 7人 平成 1 7年度 (実績)	15	8年度(	0人	145, 平成194	000人
1日		標最終成果	# 年 度 指 標 値 指 標 名 考え方・式	平成 1       1 4 :       観光客       認知度 3       平成 1       7 7 :	立、私立文化・ 5年度(実績) 2、360人 ・来訪者数 とイメージアッ 5年度(実績) 9、000人	スポーツ施設の入場者数 <mark>平成16年度(実績)</mark> 153,603人 プ度 <mark>平成16年度(実績)</mark> 648,000人	平成17年度(実績) 142,537人 平成17年度(実績) 816,000人	15 <b>平成1</b> 83	8年度( 0,00	0人 <b>目標)</b> 0人	145, <mark>平成194</mark> 800,	000人 <b>F度(目標)</b> 000人
		標 最終成別 指 材	年     度       指標     4       考え方・式     度       指標     名       考え方・式     度       指標     信	平成 1       1 4 4       観光客       認知度       平成 1       7 7 9       花とみ。	立、私立文化・ 5年度(実績) 2、360人 ・来訪者数 とイメージアッ 5年度(実績) 9、000人	スポーツ施設の入場者数 <mark>平成16年度(実績)</mark> 153,603人 プ度 <mark>平成16年度(実績)</mark>	平成17年度(実績) 142,537人 平成17年度(実績) 816,000人	15 <b>平成1</b> 83	8年度( 0,00	0人 <b>目標)</b> 0人	145, <mark>平成194</mark> 800,	000人 <b>F度(目標)</b> 000人
		標最終成果	年     度       指標     4       考え方・式     度       指標     名       考え方・式     度       指標     信	平成 1       1 4 4       観光客       認知度       平成 1       7 7 9       花とみ。	立、私立文化・ 5年度(実績) 2、360人 ・来訪者数 とイメージアッ 5年度(実績) 9、000人	スポーツ施設の入場者数 <mark>平成16年度(実績)</mark> 153,603人 プ度 <mark>平成16年度(実績)</mark> 648,000人	平成17年度(実績) 142,537人 平成17年度(実績) 816,000人	15 <b>平成1</b> 83	8年度( 0,00	0人 <b>目標)</b> 0人	145, <mark>平成194</mark> 800,	000人 <b>F度(目標)</b> 000人
	置市の特	標最終成別指が特色など補	## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	平成1 1 4 3 観光客 認知度。 で成1 7 7 9 花とみ。	立、私立文化・ 5年度(実績) 2、360人 ・来訪者数 とイメージアッ 5年度(実績) 9、000人	スポーツ施設の入場者数 <mark>平成16年度(実績)</mark> 153,603人 プ度 <mark>平成16年度(実績)</mark> 648,000人	平成17年度(実績)         142,537人         平成17年度(実績)         816,000人         社を望む観光客の潜在:	15 <b>平成1</b> 83 数が高いの	0,000 <b>8年度(</b> 0,000 つで、来訪	0人 <b>3標)</b> 0人 者を集?	145, <mark>平成194</mark> 800, 客すること	000人 <b>F度(目標)</b> 000人 ができる。
芦属	屋市の物	標 最終成別 指 特色など補 情・活動配	## # ## # ## # # ## # # # ## # # ## #	平成1 1 4 2 観光客 認知度。 <mark>平成1</mark> 7 7 2 花とみ。	立、私立文化・ 5年度(実績) 2、360人 ・来訪者数 とイメージアップ 5年度(実績) 9、000人 どりに溢れるま	スポーツ施設の入場者数 平成16年度(実績) 153,603人 ブ度 平成16年度(実績) 648,000人 ちを訪問し、市街地観光	平成17年度(実績)       142,537人       平成17年度(実績)       816,000人       たを望む観光客の潜在       1世帯当り(円)       17.	15 <b>平成1</b> 83 数が高いの	8年度( 0,000 で、来訪	0人 <b>目標)</b> 0人 者を集2	145, <mark>平成194</mark> 800, 客すること	000人 <b>F度(目標)</b> 000人
	屋市の物	標 最終成別 指 格 特色など補 サ・活動配業	## 年 度 値 名式 度 値 名式 度 値 分 (コスト	平成1   14:   観光客   認知度。   平成1   77:   花とみ。	立、私立文化・ 5 年度(実績) 2、360人 ・来訪者数 とイメージアップ 5 年度(実績) 9、000人 どりに溢れるま	スポーツ施設の入場者数 平成16年度(実績) 153,603人 プ度 平成16年度(実績) 648,000人 ちを訪問し、市街地観光	平成17年度(実績)       142,537人       平成17年度(実績)       816,000人       たを望む観光客の潜在       1世帯当り(円)       17       平成17年度(決算)	15 <b>平成1</b> 83 数が高いの 5 住民1人	0,000 <b>8年度(</b> 0,000 つで、来訪	0人 <b>目標)</b> 0人 者を集2	145, <mark>平成194</mark> 800, 客すること	000人 <b>F度(目標)</b> 000人 ができる。
芦属	事業貿易	標 最終成別 指 特色など補 <b>造・活動配</b> 業 件 3	## F	平成1	立、私立文化・ 5年度(実績) 2、360人 ・来訪者数 とイメージアッ 5年度(実績) 9、000人 どりに溢れるま 5年度(決算) 4,771	スポーツ施設の入場者数 平成16年度(実績) 153,603人 プ度 平成16年度(実績) 648,000人 ちを訪問し、市街地観光 平成16年度(決算) 5,482	平成17年度(実績)       142,537人       平成17年度(実績)       816,000人       在空望む観光客の潜在       1世帯当り(円)       平成17年度(決算)       4,94	15 <b>平成1</b> 83 数が高いの 5 住民1人 ) 平成1	8年度( 0,000 で、来訪	0人 <b>目標)</b> 0人 者を集2 77 <b>予算)</b>	145, <mark>平成194</mark> 800, 客すること	000人 <b>F度(目標)</b> 000人 ができる。
<b>芦</b> 属	事業3	標 最終成別 指 特色など補 等 を が 活動配 る で も の の の の の の の の の の の の の の の の の の	# 年 度 指標値 考え方・式度 指標値 とする事項 分(コスト 質構成% で70.8%	平成1	立、私立文化・ 5 年度(実績) 2、360人 ・来訪者数 とイメージアップ 5 年度(実績) 9、000人 どりに溢れるま	スポーツ施設の入場者数 平成16年度(実績) 153,603人 プ度 平成16年度(実績) 648,000人 ちを訪問し、市街地観光	平成17年度(実績)       142,537人       平成17年度(実績)       816,000人       たを望む観光客の潜在       1世帯当り(円)       17       平成17年度(決算)	15 <b>平成1</b> 83 数が高いの 5 住民1人 ) 平成1	8年度( 0,000 で、来訪	0人 <b>目標)</b> 0人 者を集2	145, <mark>平成194</mark> 800, 客すること	000人 <b>F度(目標)</b> 000人 ができる。
<b>芦</b> 3 事	量市の特 事業費 小 人 事他	標 最終成別 指 特色など補 手 会 は が 活動配 る る の の の の の の の の の の の の の の の の の	# 年 度 指標値 考え方・式度 指標値 とする事項 分(コスト 質構成% で70.8%	平成1	立、私立文化・ 5年度(実績) 2、360人 ・来訪者数 とイメージアッ 5年度(実績) 9、000人 どりに溢れるま 5年度(決算) 4,771	スポーツ施設の入場者数 平成16年度(実績) 153,603人 プ度 平成16年度(実績) 648,000人 ちを訪問し、市街地観光 平成16年度(決算) 5,482	平成17年度(実績)       142,537人       平成17年度(実績)       816,000人       在空望む観光客の潜在       1世帯当り(円)       平成17年度(決算)       4,94	15 <b>平成1</b> 83 数が高いの 5 住民1人 ) 平成1	8年度( 0,000 で、来訪	0人 <b>目標)</b> 0人 者を集2 77 <b>予算)</b>	145, <mark>平成194</mark> 800, 客すること	000人 <b>F度(目標)</b> 000人 ができる。
<b>芦</b> 3 事	を表すのなります。 事業者 (人事他)減	標 最終成別 指 を 注 ・ 活動配 登業 件 業 に 発 に の に の に の に の に の に の に の に の に の	# 年 度 信 名 表 表 表 方 · 式 度 信 表 方 · 式 度 信 表 ま 項 信 を ま 項 信 を ま 項 の で の の の の の の の の の の の の の の の の の	平成1	立、私立文化・ 5年度(実績) 2、360人 ・来訪者数 とイメージアップ 5年度(実績) 9、000人 どりに溢れるま 5年度(決算) 4,771 2,147	スポーツ施設の入場者数 平成16年度(実績) 153,603人 プ度 平成16年度(実績) 648,000人 ちを訪問し,市街地観光 平成16年度(決算) 5,482 1,361	平成17年度(実績)         142,537人         平成17年度(実績)         816,000人         大を望む観光客の潜在         1世帯当り(円)         17         平成17年度(決算)         4,94*         2,036	15 <b>平成1</b> 83 数が高いの 5 住民1人 <b>平成1</b>	8年度( 0,000 で、来訪	0人 <b>目標)</b> 0人 者を集2 77 <b>予算)</b>	145, <mark>平成194</mark> 800, 客すること	000人 <b>F度(目標)</b> 000人 ができる。
<b>芦</b> 3 事	事業300円 人事他減合	標 最終成別材 指 を 注 ・ 活動配置 業 件 業 に の に の に の に の に の に の に の に の に の に	# 年 度 値 名式 度 指 標 名式 方 度 指 標 値 名式 度 指 標 値 名式 度 値 分 (コスト	平成1	立、私立文化・ 5年度(実績) 2、360人 ・来訪者数 とイメージアッ 5年度(実績) 9、000人 どりに溢れるま 5年度(決算) 4,771	スポーツ施設の入場者数 平成16年度(実績) 153,603人 プ度 平成16年度(実績) 648,000人 ちを訪問し、市街地観光 平成16年度(決算) 5,482	平成17年度(実績)       142,537人       平成17年度(実績)       816,000人       在空望む観光客の潜在       1世帯当り(円)       平成17年度(決算)       4,94	15 <b>平成1</b> 83 数が高いの 5 住民1人 <b>平成1</b>	8年度( 0,000 で、来訪	0人 <b>目標)</b> 0人 者を集2 77 <b>予算)</b>	145, <mark>平成194</mark> 800, 客すること	000人 <b>F度(目標)</b> 000人 ができる。
<b>芦</b> 国 3 事 内 (千	事業資 人事他減合国	標 最終成別材 指 を を 注 を 注 を 注 が 注 が 注 に に に に に に に に に に に に に に に	# 年 度 値 名式 度 様	平成1	立、私立文化・ 5年度(実績) 2、360人 ・来訪者数 とイメージアップ 5年度(実績) 9、000人 どりに溢れるま 5年度(決算) 4,771 2,147	スポーツ施設の入場者数 平成16年度(実績) 153,603人 プ度 平成16年度(実績) 648,000人 ちを訪問し,市街地観光 平成16年度(決算) 5,482 1,361	平成17年度(実績)         142,537人         平成17年度(実績)         816,000人         大を望む観光客の潜在         1世帯当り(円)         17         平成17年度(決算)         4,94*         2,036	15 <b>平成1</b> 83 数が高いの 5 住民1人 <b>平成1</b>	8年度( 0,000 で、来訪	0人 <b>目標)</b> 0人 者を集2 77 <b>予算)</b>	145, <mark>平成194</mark> 800, 客すること	000人 <b>F度(目標)</b> 000人 ができる。
7	ままず 大事他減合国市	標 最終 指 を を を を を を を を を を を を を を を を を を	# 年 度 指標 値 指標 名 考え方・式度 指標 値 足する事項 分(コスト を 構成% で 70.8% 29.2% は 100.0%	平成1	立、私立文化・ 5年度(実績) 2、360人 ・来訪者数 とイメージアップ 5年度(実績) 9、000人 どりに溢れるま 5年度(決算) 4,771 2,147	スポーツ施設の入場者数 平成16年度(実績) 153,603人 プ度 平成16年度(実績) 648,000人 ちを訪問し,市街地観光 平成16年度(決算) 5,482 1,361	平成17年度(実績)         142,537人         平成17年度(実績)         816,000人         大を望む観光客の潜在         1世帯当り(円)         17         平成17年度(決算)         4,94*         2,036	15 <b>平成1</b> 83 数が高いの 5 住民1人 <b>平成1</b>	8年度( 0,000 で、来訪	0人 <b>目標)</b> 0人 者を集2 77 <b>予算)</b>	145, <mark>平成194</mark> 800, 客すること	000人 <b>F度(目標)</b> 000人 ができる。
7	事業 (大事他)減合国市 (市) (中) (中) (中) (中) (中) (中) (中) (中) (中) (中	標 最終 は が は は は は は は は は は は は は は は は は は	# 年 度 指 標 値 指 標 を式 度 指 標 値 名 式 度 値	平成1	立、私立文化・ 5年度(実績) 2、360人 ・来訪者数 とイメージアップ 5年度(実績) 9、000人 どりに溢れるま 5年度(決算) 4,771 2,147	スポーツ施設の入場者数 平成 1 6 年度 (実績) 1 5 3, 6 0 3 人 プ度 平成 1 6 年度 (実績) 6 4 8, 0 0 0 人 ちを訪問し、市街地観光 平成 1 6 年度 (決算) 5,482 1,361	平成 1 7年度 (実績)         1 4 2, 5 3 7人         平成 1 7年度 (実績)         8 1 6, 0 0 0 人         た空望む観光客の潜在         1世帯当り(円)         17:         平成 1 7年度 (決算)         4,94         2,036         6,977	15 PR 1 83 数が高いの 5 住民1人 平成1 1	8年度( 0,000 で、来訪	0人 <b>目標)</b> 0人 者を集2 77 <b>予算)</b>	145, <mark>平成194</mark> 800, 客すること	000人 <b>F度(目標)</b> 000人 ができる。
万 3 事 内 ( 財 千	ままず (人事他)減合国市る一	標 最終 指 を を を を を を を を を を を を を を を を を を	# 年 度 指標 値 指標 を式 表 方 方 度 指標 値 で スト を	平成1	立、私立文化・ 5年度(実績) 2、360人 ・来訪者数 とイメージアップ 5年度(実績) 9、000人 どりに溢れるま 5年度(決算) 4,771 2,147 6,918	スポーツ施設の入場者数 平成 1 6 年度 (実績) 1 5 3, 6 0 3 人 プ度 平成 1 6 年度 (実績) 6 4 8, 0 0 0 人 ちを訪問し、市街地観光 平成 1 6 年度 (決算) 5,482 1,361 6,843	平成17年度(実績) 142,537人  平成17年度(実績) 816,000人  でを望む観光客の潜在  1世帯当り(円) 178  平成17年度(決算) 4,94 2,036	15 <b>平成1</b> 83 数が高いの <b>年民1人</b> <b>平成1</b> 16	8年度( 0,000 で、来訪	0人 <b>3標)</b> 0人 者を集名 <b>77</b> <b>79)</b> - 2,036	145, <mark>平成194</mark> 800, 客すること	000人 <b>F度(目標)</b> 000人 ができる。
万 3 事 内 ( 財 ) 活	事業 (円) 原円 動のなる (単) (上) (上) (上) (上) (上) (上) (上) (上) (上) (上	特を持ち、活動をは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	# 年 度 指標 値 指標 を 表 考え方・式度 日	平成1	立、私立文化・ 5年度(実績) 2、360人 ・来訪者数 とイメージアップ 5年度(実績) 9、000人 どりに溢れるま 5年度(決算) 4,771 2,147	スポーツ施設の入場者数 平成 1 6 年度 (実績) 1 5 3, 6 0 3 人 プ度 平成 1 6 年度 (実績) 6 4 8, 0 0 0 人 ちを訪問し、市街地観光 平成 1 6 年度 (決算) 5,482 1,361	平成 1 7年度 (実績)         1 4 2, 5 3 7人         平成 1 7年度 (実績)         8 1 6, 0 0 0 人         た空望む観光客の潜在         1世帯当り(円)         17:         平成 1 7年度 (決算)         4,94         2,036         6,977	15 <b>平成1</b> 83 数が高いの <b>年民1人</b> <b>平成1</b> 16	8年度( 0,000 で、来訪	0人 <b>目標)</b> 0人 者を集2 77 <b>予算)</b>	145, <mark>平成194</mark> 800, 客すること	000人 <b>F度(目標)</b> 000人 ができる。
万 3 事 内( 財( 活配	事業 (円) 原円 動のなる (単) (上) (上) (上) (上) (上) (上) (上) (上) (上) (上	標 最指 を を を を を を を を を を を を を を を を を を	# 年 度 指標 値 者 表方 方 度 者 表方 方 度 者 表方 方 度 者 表	平成1	立、私立文化・ 5年度(実績) 2、360人 ・来訪者数 とイメージアップ 5年度(実績) 9、000人 どりに溢れるま 5年度(決算) 4,771 2,147 6,918	スポーツ施設の入場者数 平成 1 6 年度 (実績) 1 5 3, 6 0 3 人 プ度 平成 1 6 年度 (実績) 6 4 8, 0 0 0 人 ちを訪問し、市街地観光 平成 1 6 年度 (決算) 5,482 1,361 6,843	平成17年度(実績) 142,537人  平成17年度(実績) 816,000人  でを望む観光客の潜在  1世帯当り(円) 178  平成17年度(決算) 4,94 2,036	15 <b>平成1</b> 83 数が高いの 5 住民1人 11 6	8年度( 0,000 で、来訪	0人 <b>3標)</b> 0人 者を集名 <b>77</b> <b>79)</b> - 2,036	145, <mark>平成194</mark> 800, 客すること	000人 <b>F度(目標)</b> 000人 ができる。

4 評信	西(チェ	ック)				
評	価	視	点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
	日的	妥当性(	2 ~ 2)	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	Пил	X - 1.1.(		□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
_	<b>→</b> 88	L (0	0)	□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	中国	与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
当				□ いずれにも該当しない □ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	3	3
=	市民	ニーズ(2	2 ~ 1)	□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない □ ニーズが高いとは言えない、または未把握	J	S
性	ID EC	- ^( <sup>2</sup>	1)	② 数字で把握している 2,150人 □ 未把握		
8点				□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
-7,	社会	環境変化	<b>七(1~ 1)</b>	内容		
	優先	性,緊急	性(1)	□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
		カバー率	, ,	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益	者(1~	1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
効	成果	の実績(	2 ~ 1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	3	3
,b44-				□ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない		•
性 4点	- 成果	向上余均	也(1~ 1)	成来があがっていない場合   □ 成果向上策あり □ 特になし		
7				□ 比較できる団体がある 団体名 高砂市 □ 比較できる団体はない		
				□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 地域でも固体的ない		
効	単位	コスト(1	~ 1)	→ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
				高い、または低い場合の理由		
	妥益	老負扣(	0 ~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
率	Уш.			□ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能)	-1	-2
				直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	•	_
	手段	(1 ~ 3	)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある □ 日間(会業,NDO等)では対応できます。		
性				□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である □ 嘱託, 臨時職員等で対応可能である		
3点				□ 嘱託、臨時職員寺では対心できない業務である □ 嘱託、臨時職員寺で対心可能である □ 情に行っていない		
0,	コスト	削減取	組(1~ 1)	→ 内容 他の補助事業を活用し、紹介・宣伝を行う。		
	. <i>–</i>		· /=	□ A <u>vrt17年度</u> v 3.4 × 1 3.4		
平 成 1 及 7	6 年 度 改 善	きの評	価 内 容 方 向 性	並(無な甲) が、 たり等の方向 いまり		
(評価カ	がない場	場合は記	記載不要)	図 B 性 □ 以音したが、効果がな □ なかっ □		
				***	В	В
平成実施	. 1	8 年	度に	課題  また  また  また  また  また  また  また  また  また  ま		
実施	す る 必	改領		課題   内容		
	~		,			
5 今後	後の対	応(ア	フション)	There the transfer of the tran		
TD +- +	-271 <del>- 4</del> 41\ 1			情報誌への情報提供をより積極的に行う。		
块 仕 記	総載し	J ( 61	る課題			
市民盟	係者市	i 民 関 (	系者の名称			
からの	辛 日					
要望	等	見, 引	要望内容			
			対広内容	案内リーフレットの作成		
		(1)				
			実施期限	平成 17 年 3 月		
課題·要	望等	(2)	対応内容			
へのす	너 広	(2)	実施期限	平成年月		
. ( 0) )	(1) //()			十八二十二十八二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十		
		(3)	対応内容			
		` ′	実施期限	平成年月		
				南芦屋浜を観光スポットのメインにして紹介していく。		
その他				観光施設、商業施設、イベント関係などの情報提供をさらに推し進める。(マス・メディアの活用)		
改善の	カアイ	゛デァ				
				今後の方向性 細火物へ ギエヘムドしぬもし かぶと 共見の作を計してする きてしませんに 取得されて 焼 まった 卑		
				観光協会,商工会などと協力しながら、声屋の街を訪れてもらえるよう内外に発信する。 拡大・充実 ハイキングコースの周知と、安全確保のための整備(安全標識の補修等)に努める。 現状維持		0
				ハイキングコースの周知と、女全権保のための整備(女生標識の相修等)に劣める。		<u> </u>
平成 1	9 ~ 2	1 年 度	の方向性			0
		~		R	-	0
1 1-70				民間委託等	0	$\cup$
1 1-2					_	0
				縮   小	0	
				縮 小統合/終期設定 統合/終期設定 廃止/休止 ホームページを活用するなど迅速かつ積極的な情報提供を行なう時期に来ています。また、観光事業の	技本的が	O O なあり
		員会	コメント	縮     小       統合/終期設定       廃止/休止	技本的が	O O なあり

(一般事	事業)	事業	コ <b>-</b> ド	16100	010						部	ŧ	人	長課	長
											-		1	24	
平成 17	4 度	事	業名	消費3	生活相談事	事業									
										l					
1 事業	業概	要(ドゥ)													
			りの目標	1	活気ある	れる豊か	な生活環境~	づくり				** 1	生活環境	<b></b> 色部	
総合			<del>中</del>		消費生活						所	管 詰	経済課		
政策	施策	,	/J\	1	消費生活	相談の充	実				所管:	課長氏名	<b>3</b> 杉町 糸	h	
体	系	;	細								記入	者氏名	<mark>S</mark> 中西 考	至子	
事	業	期	間	昭和.	46年から	ò		経常臨時	□経常□	臨時			0797-3		2438
根 拠	法	令 , 勇	要 綱 等	消費者	者保護基準	本法					実が	主体	芦屋市		
実	施	手	法	<b>V</b>	直営		□ 一部委	託	□ 全部委託			補助金		負担金	
委		託	先		外郭団体	委託	名称				委託	委託内容	3		
				消費	者トラブノ	レ・被害の	の相談,消費	生活に関す	トる問い合わせ	を受け,	助言,	斡旋,情	報提供を	行う。	
事	業	の	概 要												
				[相記	談受付日即	寺] 毎	日 9 時から 1	6 時まで	(土, 日, 年末	年始を除	く。休	憩12時	から45	分間)	
事	業	の	現 状	[相詞	談員]	非(	常勤嘱託職員	(有資格者	針) 2人が,相	談対応	(勤務	詩間は,	それぞれ	週30時間)	
	目的記	実現のため	o O	[相詞	談処理]	• 商;	品や、食品の	安全等につ	ついての問合せ	,クリー	ニング	で買い物	に関する	トラブル、悪質商	所法や架
	手段及	及び実施内	容			に	ついて, 情	青報の提供,	自主交渉のた	めの助言	,相談	者と業者	間に入っ	ての斡旋等を行う	· ) 。
				<u> </u>		· 広	報紙による P	R 消費者	音被害の相談や	被害に合	わない	ための出	前講座を	実施	
			指標名												
		結果指標			15年度	(実績)			平成17年度	(実績)		18年度		平成19年度(	
			指標値		1, 46		1, 9		1, 47			1, 50	0件	1,600	件
アウト	プット		単位コスト		840	円/件	8, 71	8円/件	11, 851	円/件					
指	標		指標 名												
		結果指標			15年度		平成 1 6 年	, ,	平成17年度		平成	18年度	• •	平成19年度(	
		(2)	指標値		2701		1 8		1881			200	件	200件	:
			単位コスト	7,	840	円/件	8, 71	8円/件	11, 851	円/ 件					
2 事3	<b>業成</b> 身	果(アウト	`カム)	ı											
		対	象	20点	歳以上の消	肖費者(i	市民)								
車業の	h	<del>計</del>	11" 147	÷+ &	*/r /a\	7.4	C 1 F	豆 光 粉	, /h) 1	4701		レ <del>ゼ</del> / L	> 0/	1 0.8	
対象・			バー率	XI 3×	<b>( 数 (a)</b>	7 4	, 615	受 益 数	( (D) 1,	478人	. [	心 学 (D	÷ a) %	1, 98	
X1 3K .	忠凶	意	ভা	沿弗=	老が地生を	いた歩次	さわるレレホ	に 全谷の	)被害を未然に	はぐわた	色にへ	ルナス			
			と語にして)	刊具1	日が仮古ん	アワ狄伊	C412 C C D	) (C, 7 1/2 v	7阪音を水がに	B) \ /J'&	7 (C -	/1) W <sub>0</sub>			
		(×18(C)	LILICO C)												
大	き	な	目 的	消費者	者被害の排	数済と未2	然防止								
			指標 名	斡旋に	こよる解決	央率 (%)	)								
		中間成果	考え方・式	斡旋角	解決件数/	/斡旋件	数								
		指 標					平成 1 6 年	度(実績)	平成17年度	(実績)	平成	18年度	(目標)	平成19年度(	目標)
アウト	カム		指標値		85.20		10		89.8	9 %		90.0		90.00	%
指	標			消費者	者被害にな	あった市	民割合(未把	2握)							
		最終成果	考え方・式												
				平成	15年度	(実績)	平成 1 6 年	度(実績)	平成17年度	(実績)	平成	18年度	(目標)	平成19年度(	目標)
			指標値												
					_	_	·	·		_		_	_		
芦屋市	の特色	色など補足	足する事項												
			/\ /\ .											1 - 0	
	11/		/ \ / ¬ ¬ L `	<b>\</b>					1世帯当り(円)	204	4	人当り(円)	125		
		活動配		)										平成18.4.1 住民基	基本台帳
	業	費	構成%	平成	15年度		平成 1 6 年		平成17年度	(決算)		18年度		半成18.4.1 住民基	基本台帳
3 事 事		費 件 費	構成% 99.5%	平成	15年度	11,400	平成 1 6 年原	11,184		<mark>(決算)</mark> 11,270			(予算)	平成18.4.1 任民基	基本台帳
事	業 人 事	費     件   費     業   費	構成%	平成	15年度		平成 1 6 年			(決算)				平成18.4.1 住民基	基本台帳
事 内 訳	人事他部	費件費業費引経	構成% 99.5%	平成	15年度	11,400	平成 1 6 年原	11,184		<mark>(決算)</mark> 11,270			(予算)	平成18.4.1 住民基	基本台帳
事 内 訳	人事他部 減価	費 件 費 費 形 経 費	構成% 99.5% 0.5%	平成	15年度	11,400 54	平成 1 6 年原	11,184 54		<mark>(決算)</mark> 11,270 52			(予算) - 52 -	平成18.4.1 住民者	基本台帳
事 内 訳	大事他部(合)	費 件 費 業 費 賃 却 責 貸 却	構成% 99.5% 0.5%	平成	15年度	11,400	平成 1 6 年	11,184		<mark>(決算)</mark> 11,270			(予算)	平成18.4.1 住民者	<b>基本台帳</b>
事 内 訳 (千円)	業 人事他減 <b>合</b> 国	費 件 費 費 費 費 費 費 費 十 十 県	構成% 99.5% 0.5%	平成	15年度	11,400 54	平成 1 6 年	11,184 54		<mark>(決算)</mark> 11,270 52			(予算) - 52 -	平成18.4.1 住民者	基本台帳
内 訳(千円)財 源	大事他減合国市	件業費費費費費 「價却計算」 「價」等	構成% 99.5% 0.5% 100.0%	平成	15年度	11,400 54	平成 1 6 年	11,184 54		<mark>(決算)</mark> 11,270 52			(予算) - 52 -	平成18.4.1 住民者	<b>基本台帳</b>
事 内 訳 (千円)	業 人事他減 <b>合</b> 国市そ	費費費費費 (株業) と で で で で で で で で で で で で で で で で で で	構成% 99.5% 0.5% 100.0%		15年度	11,400 54 <b>11,454</b>	平成 1 6 年	11,184 54 11,238		(決算) 11,270 52 11,322			(予算) - 52 -	平成18.4.1 住民者	<b>基本台帳</b>
事 内 ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	業 人事他減合国市そー	費費費費費費 (は、) (は、) (は、) (は、) (は、) (は、) (は、) (は、)	構成% 99.5% 0.5% 100.0%		15年度	11,400 54	平成 1 6 年	11,184 54		<mark>(決算)</mark> 11,270 52			(予算) - 52 -	平成18.4.1 住民者	<b>基本台帳</b>
事	業 人事他減 <b>合</b> 国市そー 職	費費費費費費費費費 ・ 県等他 ・ 関いている。 ・  構成% 99.5% 0.5% 100.0% 100.0% 21.7%		15年度	11,400 54 11,454	平成 1 6 年	11,184 54 11,238		(決算) 11,270 52 11,322 11,322			(予算) - 52 -	平成18.4.1 住民者	基本台帳	
事 内 ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	業 人事他減合国市そー	費費費費費費 (は、) (は、) (は、) (は、) (は、) (は、) (は、) (は、)	構成% 99.5% 0.5% 100.0%		15年度	11,400 54 11,454	平成 1 6 年	11,184 54 11,238		(決算) 11,270 52 11,322 11,322			(予算) - 52 -	平成18.4.1 住民者	基本自
事 内 (千円) 財 円 源 (千円) 動	業 人事他減 <b>合</b> 国市そー職嘱託	費費費費費費 (は、) (は、) (は、) (は、) (は、) (は、) (は、) (は、)	構成% 99.5% 0.5% 100.0% 100.0% 21.7% 78.3%		15年度	11,400 54 11,454 11,454 0.30	平成 1 6 年	11,184 54 11,238 11,238 0.50		(決算) 11,270 52 11,322 11,322 0.50			(予算) - 52 - - -	平成18.4.1 住民者	基本台州

4 評信	西(チェック	7)			
評	価	視点		1次評価	2次評価
	目的妥当	<b>á性(2~ 2)</b>	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
		-/	□ 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない	-	
- TV	士問上/2	2)	<ul><li>☑ 市が実施するよう法律等で義務づけられている</li><li>□ 市民の基本的な生活の維持に必要である</li><li>□ 他団体では見直しがされている</li></ul>		
妥	市関与(2	2~ 2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている □ いずれにも該当しない		
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	2	2
	市民二一	·ズ(2~ 1)	□ 「「「」」 「「」」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」	_	_
性		,	□ 数字で把握している □ 未把握		
8点	가스팸병	竟変化(1~ 1)	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要	]	
		<u> </u>	内容		
		緊急性(1)	□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる		
有		(一率(1~ 1)	☑ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い	-	
F	受益者(1	~ 1)	<ul><li>☑ 事業意図と受益者は整合している</li><li>□ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定</li><li>☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入</li></ul>	-	
効	成果の実	[績(2~ 1)	□ 中間成業指標の美機値を把握し、自標値を設定している」 美機値または自標値が未能が □ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	4	4
性	****	A like a	成里があがっていたい提会	-	
4点	- 放果问上	_余地(1~ 1)	□ 成果向上策あり □ 特になし		
			☑ 比較できる団体がある 団体名 世市消費生活センター □ 比較できる団体はない		
.,	単位コス	<b>├</b> (1 ~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない		
効	1 12-17	. (,	└▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
			高い、または低い場合の理由  □ 負担を求めることができる事業である  □ 負担を求めるべき事業ではない	-	
	受益者負	負担(0~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない □ 負担をより □ 負担なし、過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能)		
率			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	-3	-4
	I 50.74	0)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	手段(1~	3)	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点	コスト削減	咸取組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
			→ 内容		
平成1	6 年度の	評価内容	□ A <mark>平成17年度に実</mark> ☑ 改善し,効果を得た		
(評価が	改善の	)評 価 内 容 ) 方 向 性 は記載不要)	評価結果		
(		10.10.40.1 2.7	た。総合	В	В
平 成	1 8	年 度 に	不当請求や架空請求等の増加に伴う PIO-NETの活用による情報提供 評価	ט	ם
実施	する改	女 善 内 容	課題 相談業務の強化をはかる。  CO は では は では		
(	必	須 )			
5 今往	後の対応(	アクション)			
		•	相談数が年々増加し、相談者の要望(電話がつながらない、来庁時の待ち時間を短く等)も強く、相談員の		必要
現在意	認識して	いる課題	消費生活センターで行っている相談業務のPRを広報紙等により行う。また、出前講座にも積極的に取	ひ組む	
<del></del>	17 + 1 <del>-</del>	明 ケナックな	架空・不当請求や住宅リフォーム等の悪質商法による被害が増加している。		
市氏, 戻からの	<b>⊕</b> □	, 関係者の名称			
要望	意見	,要望内容	電話がつながらない,来庁時の待つ時間を短くしてほしい。		
	,,	**			
	(1	対応内容			
		実施期限	平成 年 月		
課題·要		対応内容			
へ の i	(2) (1)	実施期限	平成年月		
. 0,	() //				
	(3	対応内容			
		実施期限	平成年月		
			集会所、公共施設、市内施設等での出張相談・講演の実施		
	考えられ		啓発として、市民センター等でパネル展示による PR		
改善(	カアイデ	· 7	A 4 A + D #	1)5±1/±	2.55±T/T
			一		2次評価 ○
			相談員の増加 現 状 維 持		0
			方法改善		0
		度の方向性			•
平 成 1	9~21年	反の刀門は	:		
平 成 1	9~21年		縮小	0	0
平成1	9~21年		縮     小       統合 / 終期設定	0	0
平成1	9 ~ 2 1 年		縮小	0	
			縮     小       統合 / 終期設定	0	0

/ фД	車米/	串 ※	¬	4000	240				1	<b>☆</b> 7	E	\ <i>h</i> _	E	l÷⊞	E
(一般	事業)	事業	□	16200	J10					部	ঢ়	次	朿	課	長
平成1	17年度	事	業 名	消費	者啓発事業										
1 7-20				11332	H H 70 3 - 21										
1 事	業概	要(ドゥ)													
			りの目標	1	活気あふれる豊か	か生活	5環境づくり					生活環境	fek.		
	計画		<del>中</del>		消費生活への支援		19896 2 ( )			所	管 課	経済課	7111		
	施策		<u>十</u> 小		情報提供と啓発活					55 22	細巨爪々		,		
				2	情報促供と合発店	期					課長氏名				
体	系		細								者氏名				
事	業	其		昭和	40年から		経常臨時	□ 経常 □	臨時	電	話 番 号	0797-38	3-2179	内線	2438
根 拠	L 法	令 '	要綱等	消費	者保護基本法					実	施主体	芦屋市			
実	施	<b>=</b>	≦ 法		直営	<b>V</b> -	一部委託	□ 全部委託			補助金		負担金		
委	.,,	<del></del>				名称	FI. × F G				委託内容				
*		но	70		生活の基礎知識や		知識 消费老人	ラブル 環接明						17 F N	沿弗夫
<b>=</b>	2114	•	407 795						旭なこに	判 9 ′	の小師。目	似么 近 六	9 2	により	,们其石
事	業	の	概 要	共に,	消費者の自立を	足し,	消賀生活の女正と	に同上を図る。							
				消費	者教室(年22回)	),広	報紙等への啓発記	己事の掲載(年	4回),	啓発	資料の配布	(年4回)	,衣料	品交換	会(1回
事	業	の	現 状	消費	者団体を支援・育	成し,	連帯して消費者へ	への啓発事業を	促進する	0					
	目的領	実現のため	ხთ												
	手段万	ひ実施内	内容												
	3 72%	~ O ~ ///BT	, L												
			北 # ~	沙山 井 -	女粉字至hn 本料 /	中光中	. / 1 )								
					者教室参加者数(				,	-	b 4 c <del></del>	/ D I = 1		0 <del>-</del> -	/ E I T
		結果指標			15年度(実績)	平成 ′		平成17年度		平瓦	<b>【18年度</b>				(目標)
		(1)	指標値		562人		618人	684	人		700,	\		700)	K.
アウト	・プット		単位コスト	7,	, 483円/人	6,	462円/人	5, 976	円/人						
指	標		指標 名	衣料。	品交換会参加者数	(事業	費/人)								
		結果指標			15年度(実績)			平成17年度	( 実績 )	平丘	以18年度	(月標)	平成 1	9年度	(目標)
		(2)	指標値		275人	1 7-70	208人	1 2 0		1 72	150	• •		150	, ,
		(2)			2107		2007	120,			100/			100/	
2 ==	- 2114 - 12 6		単位コスト												
2 事	業成績	果(アウ	トカム)	1											
		対	象	2 0 1	歳以上の消費者(	出民)									
		?	30	1	MONTO IN A L	11, 20)									
事業は	の目的	対象力	」バー 率	対 象	<mark>そ数 (a)</mark> 74	, 61	. 5 <mark>受益数</mark>	(b) 1 0	, 000		比 率 (b	÷ a) %		13, 4	4
対 象	・意 図														
		意	図	消費	者が、消費生活に	関する	知識を深め、安心	いで安全な、よ	り豊かな	消費	生活を営む				
			ー 主語にして)	11117	n., 117, 211, 1	,,, ,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	2 1 2 1 2 2 3 3 7 3 1	, 11.	11424-					
		(),13(,0)	<u> </u>												
+	±	<i>t</i> >	D 65	沙(井)	老の白云し沙弗生	エの生	字 . 白 L								
大	<b>8</b>	な	目 的	们 質	者の自立と消費生	古の女	た・ 門上								
		1	I= .	3.744-		, , ,									
					生活相談の助言(										
		中間成果	考え方・式	保護	される弱者ではな	く,助	言をもとに自主な	ど渉ができる自	立性を身	につい	ナた消費者	の増加			
		指 標	年 度	平成	15年度(実績)	平成 ′	16年度(実績)	平成17年度	(実績)	平瓦	以18年度	(目標)	平成 1	9 年度	(目標)
アウ	トカム		指標値		7 2 9		1, 403	9 2 2	2		1, 00	0	1	, 00	0
指	標				者被害にあった市	民割合	(未把握)	I.							
		<b>是</b> 終成里	考え方・式												
					15年度(実績)	亚战 ′	16年度(宝績)	亚成 1 7 年度	(宝績)	ਜਾ⊏	<b>118年度</b>	(日插)	亚武 1	0.年度	(目標)
		1日 作			13千及(天禄)	T-13%	10千及(天順)	十八八十尺	(大順)	T-13.	なしの午皮		T/1/2, 1	7 十尺	、口信がノ
			指標値		1 - 11 + 22 + 2 - 2	2 201	*** * * * * * * * * * * * * * * * * * *		283762						
					人口比率が高いの	は、消	質者の意識か高い	いか要求内容	が厳しい	0					
芦屋市	5の特も	色など補足	足する事項												
3 事	業費·	活動配	分(コスト	)				1世帯当り(円)	103	住民1	人当り(円)	45	平成18.4	4.1 住民	基本台帳
事	業	費	構成%	平成	15年度(決算)	平成 ′	16年度(決算)	平成17年度	(決算)	平瓦	以18年度	(予算)			
		件 費			3,824		3,670		3,708			-			
	事	業 費	1		382		325		380			483			
ф.		門経費		<b> </b>	302		525		300			700			
(十円		償却費													
	合	計			4,206		3,995		4,088			-			
	国	・県								<u></u>					
財	源市	債 等				-									
(千円	() そ	の他	ļ												
` . , ,		设财源			4,206		3,995		4,088			_			
迁 :	動職	<del>以                                    </del>			0.35		0.35		0.35						
		・臨時等													
配 :	分 <u>鳴 託</u> ) <b>合</b>	· 臨 時 寺			0.10		0.10		0.10			-			
,			100.0%		0.45		0.45		0.45			-			

4 評价	田(チェック)				
評		視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
	目的妥当性	±(2 ~ 2)	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	וראניים	L(2 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
			□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
NZ			□ いずれにも該当しない	2	1
当	市民ニース	°(2 1)	□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない □ ニーズが高いとは言えない,または未把握	3	4
性	い氏ニース	.(2~1)	□ 二一人が高いとは言えない。または木形煌 □ 二一人が高いとは言えない。または木形煌 □ 数字で把握している □ 土把握		
8点			□ 対子で記述している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
O/M	社会環境変	图化(1~ 1)	内容に悪質商法の種類が増加したことに伴う、対応も増加している。		
	優先性,緊	急性(1)	□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
	対象カバー	率(1~ 1)	☑ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~	1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
効	成果の実績	[(2~ 1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	4	4
444			▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	•	•
性 4点	- 成果向上统	除地(1~ 1)	成果があがっていない場合 成果向上策あり    日 特になし		
455			□ 成末向工泉のり □ 行になり □ 行になり □ 行になり □ 比較できる団体がある □ 団体名 他市消費者センター □ 比較できる団体はない		
			□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ になくとの固体はない □ 把握していない		
効	単位コスト(	1 ~ 1)	→ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
			高い、または低い場合の理由		
	受益者負担	∃(0 ~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
率	又皿日共1	=(0 1)	□ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能)	-1	-1
·			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	•	•
	手段(1~	3)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
性			□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である □ 嘱託, 臨時職員等で対応可能である		
3点			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である □ 特に行っていない		
O,	コスト削減!	取組(1~ 1)	→ 内容 消費者教室について、できるだけ無料や低価格の講師に依頼している		
		LT /T	☑ A wd17年度[字 ☑ お美] が用な個な		
平 成 1 乃 び	6 年 度 の 改 善 の	評価 内容 方面 性	ではます。		
(評価カ	がない場合は	記載不要)			
			満合 消費者被害防止のための消費者生活 被害を未然に防ぐ力を身につける手段として、 評価	В	В
平 成	1 8 g する改	手 度 に	相談の充実 神器を相談の充実		
実施		善内容 須 )	課題 出前講座等の充実 内容 を更に進める。		
	~	,			
5 今後	後の対応(ア	<u>'クション)</u>	Note that the second se		
IB <del>/-</del> ≐	刃 ≐並 ↓ テ	」、 フ ★田 日石	消費者被害が多発した時の迅速な啓発・対応		
現 住 記	総 誠 し (	いる味趣	広範な市民への啓発 (若年層への啓発として学校への働きかけ等) 消費者教室のより充実		
市民、壁	係者 市民, 関	係者の名称			
からの	辛日				
要望	等意見,	要望 内谷	悪質商法を行っている場所・地域での啓発宣伝実施		
		対応内突	集会所、自治会、市内小中高学校への啓発資料の配布		
	(1)				
+m == ==	+	実施期限	平成 19 年 3 月		
課題·要		対応内容			
へのす	(2)	実施期限	平成年月		
. 0, ,	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,				
	(3)	対応内容			
		実施期限	平成    年    月		
			各学校での行事時に啓発パネル展示・資料配布		
	考えられ		自治会、自主防災会、老人会等への出前講座や講演会の実施		
改善の	カアイデ	ア	A // A > + 11		
			今後の方向性 ホームページ及び広報紙の活用をし、センターの案内、消費生活の情報提供、悪質商法の啓発 拡大・充実		2次評価 ○
			等を充実させる。		0
			できる		<u> </u>
平成.1	9~21年度	この方向性 しゅうしゅう			0
				0	0
			<mark>統合/終期設定</mark>	0	0
			廃止 / 休止	0	0
			ホームページを活用した迅速な情報提供に取り組んでください。また 消費者改発事業け 市民やNP	O と協権	動で行
2 次 評	伽安貝会	ミコメント	ホームページを活用した迅速な情報提供に取り組んでください。また、消費者啓発事業は、市民やNPなえるように検討してください。	- 1441	., ., .

(一般	事業)	事 業	コード	2120	150			音	長 次	長課長
								-		
平成 17	年度	事	業 名	国民	健康保険事業					
		-								
1 事	業概	要(ドゥ)								
			りの目標	2	健やかでめくもり	のある福祉社会づくり			生活環境	7.45
								戶	トロー アンマン アンファイン アンファイン アンファイン アンファイン アンファイン アンファイン アンファイン アンス アンス アンス アンス アンス アンス アンス アンス アンス アン	
総合	計画		中	1	保健・医療・福祉	の連携と充実			保険年金	<b>注</b> 課
政策	施策		小	2	保健事業の推進			戶	<mark>斤管課長氏名</mark> 竹内 惠	<u>{</u>
			4m	_					己入者氏名竹内 惠	
体	系		細					ā	-	3—
事	業	期	間	昭和	38年4月1日~	経常臨時	<ul><li>☑ 経常 □ 臨時</li></ul>	官	<mark>图 話 番 号</mark> 0797-38-	-2035 内線 2441
根 拠	法	令 '	要綱等	国民	健康保険法			享	<b>産施・主体</b>	' '
実	施	手	法		直営	□ 一部委託	<ul><li>全部委託</li></ul>		□ 補助金	負担金
委		託	先	7	外郭団体委託	名称 兵庫県国民健康保	険団体連合会   🔽 F	民間委	兵託 <mark>委託内容</mark> レセプト点	「検・整理,第三者行為抽出
				_	713MAII X 80	113		P (111) >	X 1013 L	
事	業	の	概 要	他の	健康保険に加入で	きない者に対して、保険	科を賦課・徴収し,	療養	€に対する給付を行うと	ともに,疾病の予防を行
				Life	, α α α α α α α α α α α α α α α α α α α		6		- 1 - m - th 1/1	- Lord - L
				•被	保険者 市内に住	<b>听のある方で、職場の関</b>	₹康保険に加入してい	いる方	5や生活保護受給してい	る万以外の方。
事	業	の	現 状	·	部負担 一般 3	割、 3歳未満 2割	70歳以上 1生	割又は	は2割(入院の場合は一分	定額)
										1.5
	日的	実現のため	לטכ						<b>5円)、所得による軽減、</b>	、似咒刑及めり
	手段》	ひ変変施は	內容	• 保	険給付 療養給付	(一部負担のみで診療,	治療が受けられます	す。)		
				ĺ	<b>睿</b> 養毒經	付 高額瘠養費 入陸時	卡食事療養費 出产者	音児—	- 時金,葬祭費等があり	± †_
			11: IT (	4,4- /		1.1, 19118/3/12 具, 八匹甲	ステルズ貝,田庄ト	ロノレ	一、业, 开不貝 守が切り	5 / 0
			指標 名	被保	<b>灰</b> 有数					
		結果指標	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(実績	責)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
								,	, ,	, ,
		(1)	指標値	ءَ ا	30,819人	31,338人	31,428人	٠	31,500人	31,600人
アウト	ブット		単位コスト	Ī			240,595円/人			
指	標		指標名	保険	料徴収率					
111	120	/+ m +r +=				亚世 4 6 左连 / 安雄 \	亚产 4 7 左连 / 宁/	± \	亚岸 1 0 左连 / 口捶 \	平式 4 0 左连 / 日捶 >
		結果指標	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(実績	貝)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
		(2)	指標値		91.44%	91.38%	91.00%		91.00%	91.05%
			単位コスト							
2 == 2	114 <del>- 1</del> 2 0									
2 事	美风	果(アウ	トカム)							
			-		+ / · · · = = = + + / = /	7A + - + - + - + - + - + - + - + - +				
		対	家	巾四	在住の国民健康保	<b>険の加入者</b>				
± ** ~		1 2 1		<u> </u>	L 11/L ( )	1001 1 1 14 14	. (1)		11. <del></del>	1 2 2 2 /
事業の	目的	对 家 刀	バー率	对著	₹ <b>数 (a)</b> 31,	428人 受益数	(b) 31, 42	28人	比率 (b ÷ a) %	100%
対象·	意 図									
		意	<b>©</b>	適正	な医療費の維持					
				国民	健康保険料の財源	の確保				
		(対家を	主語にして)							
				l	to the state of th			_		
大	き	な	目 的	国民	健康保険制度の適	止な連営				
/\	_	. 3.	н ну	受診	機会の確保					
			指標 名	一般	被保険者1人当り療	養諸費(保険者負担額	) (円)			
		中間成里	考え方・式			費/一般被保険者数				
							亚武 1 7 年度 / 中海	主、	亚代10左连/口坯、	立代10年度(日本)
		指標	年 度	十成	13年度(美額)	平成16年度(実績)	平成17年度(実績	貝)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
アウト	カム		指標値	1	38,476円	153,180円	158,209円	円	159,538円	165,919円
指	標		指標名				円)			•
10	1क						1 4/			
			考え方・式			費/一般被保険者数				
		指 標	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(実績	責)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
			指標値		95,415円	212,947円	216,864		218,686円	227, 433円
			기다 기示 IE	1	00, 410 1	212, 24111	210,004	1	2 1 U, U U U I I	221, 400 1
				Ī						
芦屋市	の特色	色など補足	足する事項	l						
			/	Ī						
2	117 <del>11</del>	ヽイエ」	// /							T-10 ( ) ( ) ( ) ( )
	美賀 '	活 割 配	分(コスト)	)			1世帯当り(円) 189,8		註民1人当り(円) 83,198	平成18.4.1 住民基本台帳
事	業	費	構成%	平成.	15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(決算	草)	平成18年度(予算)	
	1	件 費			94,839	91,732	100,5		, ,	
	<u>ハ</u>			<b>!</b>		· ·				
	事	業費			6,366,996	7,137,010	7,206,6	0/0	8,026,071	
内 訴	他部	7門経費	3.4%	l	26,224	25,103	254,2	207	-	
		賃 却 費			•		,			
( [ ]				<u> </u>	0.100.055			100		
	合	計			6,488,059	7,253,845	7,561,4	123	-	
	国	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	26.4%		1,901,162	2,389,490	1,996,7	742	2,033,698	
日才 次百	市	債 等			, , , -=	,,	,		,,-	
(千円)	そ	の他	56.8%	L	2,374,301	4,130,231	4,297,1	126	5,112,060	
	- 1	段 財源	16.8%		2,212,596	734,124	1,267,5	555	-	
汗 軠	職	<del></del>	1		10.80	11.02	11.			
配 分	嘱託	:臨時等	30.7%	Ī	5.00	5.20	5.	.00	-	
(人)		計	1		15.80	16.22	16.	.30		

4 評信	西(チ	ェック)				
評	価	裑	. 点		1次評価	2次評価
	目	的妥当性的	(2 ~ 2)	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
			(/	□ 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
177	± F	明 <b>仁</b> (2 -	2)	<ul><li>☑ 市が実施するよう法律等で義務づけられている</li><li>☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である</li><li>☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である</li><li>☑ 他団体では見直しがされている</li></ul>		
妥		関与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている □ いずれにも該当しない		
当				□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	6	6
_	市目	ミニーズ(	2 ~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない、または未把握	U	0
性			,	□ 数字で把握している □ 未把握		
8点	<b>ż</b> + -	<b>~理培亦</b>	化(1~ 1)	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
				内容 情勢に応じて国民健康保険法が改正されている		
		先性,緊急		□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる		
有		象カバー≊ 益者(1~	,	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い □ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合、または受益が一部に限定		
H				☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定 □ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	_	
効	成绩	果の実績	(2 ~ 1)	□ 宇間成来はほの矢順値を記述し、白味値を放定している□ 矢順値なたは白味値が不記べ 実績値から成果があがっていると言えない □ 実績値から成果があがっていると言えない	4	4
性			<b>↓</b>   <b>↓</b>   <b>↓</b>   <b>↓</b>	成果があがっていない場合		
4点	- DX 3	<b>卡</b> 内上宗	地(1~ 1)	□ 成果向上策あり □ 特になし		
				□ 比較できる団体がある 団体名 阪神間各市 □ 比較できる団体はない		
44	単作	立コスト(1	~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト 234,060 □ 把握していない		
効			,	→ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
				高い、または低い場合の理由 高齢者の割合が高く、医療機関が多い  ② 負担を求めることができる事業である   □ 負担を求めるべき事業ではない		
	受益	益者負担	(0 ~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担をおめずべき事業ではない □ 負担をし、過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能)		_
率				直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	0	U
	<b></b>	受(1~ 3	5)	☑ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	7-1	-X(1 - C	<b>'</b> )	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性				□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点	37	く 削減取	7組(1~ 1)	<ul><li>□ コスト削減の取り組みを行っている</li><li>□ 特に行っていない</li><li>□ 特に行っていない</li><li>□ 内容 民間に任せられる部分は、業務委託、派遣職員を活用。徴収担当も嘱託職員を導入している</li></ul>		
平成1	6年	度の評	平価 内 容 方 向 性 記載不要)	□ A 平成17年度に実 □ 改善し、効果を得た		
(評価な	がない	me の 場合はi	万 问 性 記載不要)	<b>評価結果</b>		
				た。総合	В	В
平 成	1	8 年	度に	徴収率の向上 現年93% 滞納分25%にする。 <b>評価</b> 医療費の抑制 <b>改善</b> 生活習慣病予防策を講じる		ב
実施	す 必	る改善	善度に	課題 内容		
(	必	79	只 )			
5 今往	复の対	対応(ア∙	クション)			
TD -				医療制度改革への対応		
块 仕 記	認 識	0 7 6	1る 課 題			
市民, 関	係者	市民、関	係者の名称	市民・議会		
からの	卋 日			国民健康保険料率の過大な引上げ,被保険者への負担を増やさないこと。		
要望	等	思兄,:	安里内谷	国民健康体膜科学の個人なり上げ、		
		(4)	対応内容	国,県などへ国民健康保険団体連合会を通じて補助金などの要望をしている。		
		(1)	実施期限	平成 18 年 7 月		
課題·要	望等			「「「「」」	により:	1 件 3
		(2)	対応内容	0万円以上の医療費を対象に行う互助事業)実施する。	,, ,,,,	
へのす	対 応		実施期限	平成 18 年 10月		
			対応内容			
		(3)				
			実施期限	平成 年 月 財課総額を抑えるため、国民健康保険被保険者短期証及び資格者証の発行により、徴収率を上げる。		
その他	きえ	られる		医療費を抑制するための生活習慣病予防対策は、民間委託を検討する。		
改善(				四次文で評判)のためつ工自自体が1.6万万元の、20回文庫で1次月)の。		
				今後の方向性	1次評価	2次評価
			•	健全な国保会計を維持するためには、医療費を抑制し、必要最小限の保険料を賦課し、 拡大・充実		0
				確実に徴収することが必要である。 現状維持		0
₩ 🕂 4	0	1 / =	0 + 5 H	方法 改善 R B 素 対 第		•
十 放 7	9 ~ 2	一年度	の方向性		0	0
						0
				廃止 / 休止		0
					<u> </u>	
2 次 評	F 価 着	委員会	コメント	医療費抑制のため,生活習慣病予防対策については民間委託化を進めてください。		

/ 6Л =	= ** /	击 兆	<b>-</b> 1:	0400	100		<del></del>	±0	El÷m E
(一般	事 業)	事業	コード	2120 <sup>-</sup>	160			部長次	長課長
			NIC -	福祉	医療事務(老人・到)	幼児·障害者·母子家庭等	等 高齢障害		
平成 17	年 度	事	業名	者)	EW-10 ( E) ( 10				
				н,					
4 = 1	TTT TO 1 =	# / l* . \							
1 事	<b>美</b> 慨》	要(ドゥ)							
第3次产	5屋市	まちづく	りの目標	2	健やかでぬくもり	のある福祉社会づくり		生活環境	<b></b> 管部
総合	計 画		中	1	保健・医療・福祉	の連進と玄宝		一所 管 課 保険年金	<b>⋋</b> 計用
			<u>.                                      </u>			が連携と元夫		11.00	
政策	施策	4	小	2	保健事業の推進			<mark>所管課長氏名</mark> 竹内 惠	₹—
体	系		細					記入者氏名 竹内 惠	<b> </b>
				nn c		( = )( = t			
事	業	期	間	昭和	48年3月~	経常臨時	☑ 経常 □ 臨時	<mark>電 話 番 号</mark> 0797-38	-2035 <b>内線</b> 2441
根 拠	法	令 · 引	更綱 等	兵庫県	具福祉医療費助成事業	<b>美実施要綱/芦屋市福祉医</b>	<b>寮費の助成に関する条例</b>	実施 主体	
実	施	手	注	V	古冶	□ 一部委託	□ 全部委託	□補助金□	負担金
	旭	•	7-1						貝担金
委		託	先	Ш	外郭団体委託	名称	□□民	間委託 <mark>委 託 内 容</mark>	
				健康	保険加入者で所得	制限等該当条件対象者は	医療費の助成を行う。	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
=	ग्रार	•	407 775						
事	業	の	概 要						
				• 老 \	65~70歳 (木人が非難	里穏であり 65歳以上の世紀	芸昌仝昌の課税所得金額が1	45万円未満) 負担あり: 定率 2 割	II 1 961 J
-	ж								
事	業	の	現 状	・乳幼	力児0歳(所得制限無)	1歳~義務教育就学前(所得制	訓限有)3歳誕生月月末まで	無料。3歳以降、負担あり(定額	制) 3,509人。
	目的国	実現のため	00	<ul><li>母子</li></ul>	等家庭 (所得制限有)	18歳未満もしくは高校在学2	0歳まで、母、父・潰児心	身障害者(児)負担あり(定額制	)1,382人。
		るび実施内							
	丁-F又/:	メび天心と	台					級所持者 負担あり (定額制) 6	· -
				・高齢	冷障害者 (所得制限有)	身体障害者手帳(1~3級)	<ul><li>療育手帳(重・中)・精</li></ul>	神1級所持者 負担あり(定額制	刊)1,341人。
			指 煙 夕	①受:	給者数(人)(	②受給者比率(年間平均	受給者/人口(4月1	目) ×100) (%)	
		4± ER +15+E							亚式10年度/日播》
		結果指標	中 度	十成	13年度(美額)	平成16年度(実績)	十八   / 干皮( 美績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
		(1)	指標値	(1	9, 133人	9,254人	8,796人	8,643人	8,600人
アウト	プット		単位コスト	(?)	9.74%	10.32%	9.77%	9. 51%	9. 37%
						· ·	· ·	* *	0. 01/0
指	標		指標 名	①医	僚	②受給者一人あたり医療	『助放件数(レセフト)	牛数)(件)	
		結果指標	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
		(2)	指標値	_	81,565件	186,397件	240,252件	253,975件	240,000件
		( 2 )							
			単位コスト	2	19.8件	20.1件	27.3件	29.3件	27.9件
2 事	業成績	果(アウト	·カム)						
	14. 767		,	/ HC/	(日生117日士) 土(1	四乙烷安房 阵中老 3	#WI产中本 刘 仏旧 /	1 歩ぶ井口羽口ふと)	
		対	象			母子等家庭,障害者,高 (1 紫紅 + B B + 1)	· 即陴舌有, 孔刈冗 (	1 威誕生月笠月かり)	
				(1917	<b>侍削似恶</b> ) 孔列允	(1歳誕生月月末)			
事業の	目的	対 象 カ	バー 率	対象	<mark>き数 (a)</mark> 8,	796 受益数	<mark>(b)</mark> 8,796	比率 (b ÷ a) %	100%
対象・	音 図			-1.71	ID -14 1 3 -1 m4s	•	•		
V1 3/			-					家庭が、医療を受ける際に	
		怠	凶	れる	ことで、乳幼児の位	<b>健やかな育成と老人,心</b>	)身障害者(児), 重度	精神障害者及び母子家庭等	の保健の同上に寄与
		(対象を主	E語にして)	し,	もつてその生活の	向上と福祉の増進を図る	っことを目的		
+	+	+	D 44	h+ +	/D PA-hn コ セーニー	生II/日本計2/1/2/14-1-1-4-1-	- 医病典の吐みさん -		
大	き	な	目 的	健康1	休映川人有で所得	制限等該当条件対象者は	-		
			指 煙 夕	1 人 丛	4たりの医療助成費	<b>》</b> (田)			
						(14/			
					額/受給者数				
		指 標	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
アウト			指標値		54,648円	54,969円	47,364円	51,314円	49,339円
			ᄣᄺ	1 1 11			1., 00 11	51, 51411	10,00011
指	標				4たりの医療助成件	一级			
		最終成果	考え方・式	レセ	プト件数/受給者				
			年 度			平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
		1元 1示		1 13%				, ,	
			指標値		17件	20件	27件	29件	28件
							·		
古层市	の性も	五かど 猫 5	足する事項	Ī					
/ - III III	ツノコザじ		こりも手切	Ī					
				<u> </u>					
3 事	業費·	活動配	分(コスト)	)			1世帯当り(円) 13,028	3 住民1人当り(円) 5,710	平成18.4.1 住民基本台帳
事	業	費		亚战	15年度(注質)	平成16年度(決算)	平成17年度(決算)		
<del>-</del>	T .			1-13%				, ,	
	人	件 費	3.3%		23,318	22,401	17,376		
	事	業費	94.1%	Ì	551,586	560,360	488,059	443,507	
内 訳	他並	門経費	2.6%		13,032	12,109	13,477	7	
			2.0%	<del>                                     </del>	10,002	12,100	10,477	_	
(十円)		質 却 費						-	
	合	計	100.0%		587,936	594,870	518,912	-	
	国	・ 県	36.3%		197,903	205,457	188,178		
D4 \-			30.3//		191,303	200,437	100,170	, 100,393	
	市	債 等							
(千円)	そ	の他		Ī		120			
, , , ,		段 財 源	63.7%		390,033	389,293	330,734		
`~ ~	_				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		· ·		
	職	員	81.8%		2.80	2.80	2.25		
II /\	Ine ÷1	:臨時等	18.2%		0.30	0.30	0.50	-	
配分	嘴武								
化 人 )		計	100.0%		3.10	3.10	2.75	-	

4 評信	西(チェック	7)			
評	価		評価チェックリスト	1次評価	2次評価
	口的双马	Y## (0 0)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	日的女王	当性(2~ 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
			□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2	2 ~ 2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
			□ いずれにも該当しない		_
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	7	7
	市民二一	-ズ(2~ 1)	└─▶ ☑ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把握		
性			☑ 数字で把握している 受給者 8,796人 □ 未把握		
8点	計 計 会 帯 情	竟変化(1~ ´	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要	]	
			内容		
		緊急性(1)	☑ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
		(一率(1~ 1			
有	受益者(	1 ~ 1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
効	成果の第	€績(2~ 1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	4	4
		. ,	□ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	•	•
性	- 成果向」	_余地(1~ ·	が見があがっていない場合		
4点			□ 成果向上策あり		
			☑ 比較できる団体がある 団体名 阪神間各市 □ 比較できる団体はない		
効	単位コス	. (1 ~ 1)	☑ 他団体の数字を把握している 単位コスト 県下おおむね同一 □ 把握していない		
XVJ			→ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
			高い、または低い場合の理由 □ 負担を求めるべき事業ではない □ 負担を求めるべき事業ではない		
	受益者負	負担(0~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない □ ● 日本し、過少 □ ● 日本し、過少 □ ● 日本し、過少 □ ● 日本し、前上本・見直し不能 □ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	_	
率			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	-1	0
			□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	手段(1~	3)	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点			▽ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
0,,,,	コスト削	减取組(1~			
平成1	6年度の	か 評 価 内	<b>6</b>		
(評価か	び 書 でがない場合	プロロット は記載不要	N D MM D W音したが、効果がな D わかっ		
( 41 14 75		10. 40 +%   2	た 総合	В	В
√ ct	1 0	左 庇	高齢障害者の医療助成制度の現物給付化 高齢受給者証を発行し、現物支給する 評価	В	ם
平成実施	18するご	年 度	空課題 ひまり はない はいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま はい		
(	必	須	内容		
Γ <b>Δ</b> /4	* <b>a</b> ++ i = .	(7/2)->-			
5 7 13	友の刈り心	(アクション	医療費の抑制		
1月左章	刃 軸 1.7	いる課			
-元 1上 ロ	NC) DEVI O (	. VI & px			
市民関	16名 市民	, 関係者の名	s s		
からの	音 日				
要望	意見	,要望内			
	.5				
	(1	) 対応内	生活習慣病予防対策を実施し,医療費を抑制する。		
		実施期	平成 年 月		
課題·要	望等				
	( 2	対応内3	i de la companya del companya de la companya del companya de la co		
へのす	対 応	実施期	<b>V</b> 平成 年 月		
		対応内			
	( 3	) אניאטאניג			
		実施期	<mark>艮</mark> 平成		
	考えられ				
改善の	カアイテ	゛ァ			
			今後の方向性		
			<u>拡大・充実</u>		0
			他課と連携し、医療費の抑制を図る。 現状維持		<b>●</b>
<del></del>		· #	<mark>方法 改 善</mark>		0
平成1	9~21年	度の方向		_	0
				0	0
			統合/終期設定際上, 体上		0
			廃止/休止	$\cup$	0
2 >5 ≐π	2 価 禾 呂	<b>今</b> 7 1 1/2	▶ 医療費抑制のため,他課との連携を図り,重複受診の抑制に取り組んでください。		
	11111 77 13	ムコトノ	四/水東 アヤロヤヷマノにツノ, 四麻 C マノ生スタで 四 フ , 生 攻 又 眇 ºノヤ和門(C 収 り 組 心 く \ に ご V 。		

( -	- 般	事業)	事 業	Π -	- <b>ド</b>	2120170				部長	次	長課	長
VI 1	ct: 17	7年度	車	業	4	老人保健医療事務							
<del>+</del> /	рх, 1 г	午及	<b>⇒</b>	耒	1	<b>老人休诞</b> 齿僚 <del>事</del> 務							
1	事	業概	要(ドゥ)									,	
第3	3次	当屋市	まちづ	くりの	目標	2 健やかでぬくもり	ののある福祉社会づくり			rr & +=	生活環境	部	
総	合	計画		中		1 保健・医療・福祉	业の連携と充実			所 管 課	保険年金	課	
政	策	施策		小		2 保健事業の推進				所管課長氏名	竹内 惠	_	
体		系		細						記入者氏名	竹内 惠	_	
事		業	1	<u></u> 钥	問	昭和57年~	経常臨時	☑ 経常 □	臨時		0797-38-		<b>1線</b> 2441
根	拠			要 綱		老人保健法 老人医療			heliti	実施主体			2111
実	1/4	施		<u>文 M3</u> 手		直営	<ul><li>✓ 一部委託</li></ul>	□ 全部委託		□ 補助金	, ,	負担金	
委		I) III	託	J-		☑ 外郭団体委託	名称			委託 委託 内容			
24			ПU		76		战以上(平成14年9月30日						
==		र्गार	•	±B/T	<del></del>								
事		業	の	概	安		E) , 精神手帳1級のかた	上, 小, 名人休健	削及の刈	家となり, 日口	貝担領3日	刊で軽減りる	O.
						独古UPAn 1 老~ 7 5	· 告 N I / (	00 + ~1204	たいおおき	At.) 7750 F	生い ニーベロ	5./+r4:/+ +	C.4E
		MIZ	_		.1.15		歳以上(平成14年9月3						
事		業	の	現	状		(重度・中度) , 精神手						伏疋している
			実現のた				より高額医療費制度によ				文紹を行っ	っている。	
		手段》	及び実施	内容		医療費の現物給付,ニ	ルセット等の現金支給	(償還払い) を	行ってい	る			
				指標	票 名	①受給者数(各年度平	均) (人) ②1人当たり	の市繰入金(平	成14年10	年より毎年,基金			
			結果指標	年	度	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成18年度	(目標)	平成19年	度(目標)
			(1)	指 標	票 値	①11,386人	10,967人	10,47	9人	10, 11	1人	9, 8	33人
ア「	ウト	プット		単位:	コスト	②35,430円	41,928円	48, 45	3円	55, 80	7円	63,	990円
指		標		指標	票 名	①医療助成件数(レセ	プト件数) ②1人当た	こりの年間件数	及び1件	当たりの市繰入	金(円)		
			結果指標	年	度	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成18年度	(目標)	平成 19年	度(目標)
			(2)	指標			32.14件	33.33	2 件	33.1	6件	33.	00件
			(-)	単位			1,304円	1, 454	4円	1, 68	2 円	1. 9	39円
2	事	業成品	果(アウ			/ / _				, , , , ,		, ,	
_	<i>-</i>					健康保险加入者で75	歳以上(平成14年9月3	0日までに70歩	到達者を	<b>今</b> まp) 及7ド6 5	歳以上では	<b>身</b>	<b>手帳</b>
			対		象	(1~4),療育手帳	長(重度・中度)のかたか	ぶ老人保健制度の	列建省を	なり、自己負担	額3割を軸	A 科学日石。 圣減する。	1-1875
車	業σ	日的	対象:	h バ -	-	対象数(a) 1 (	0,479	(h) 1.0	, 479	比 率 (b	÷ a) %	1.0	0 %
		意図		,,,		7) 3( XX (u) 1	o, 110 <u>, m v</u>	10	, 110	10 T (5	. u, 70	1 0	0 70
<b>7</b> 3 .	200		音		ভ	医療費が軽減され受診	シレやすくなり、早期の受	多診で個性化及る	71、健康	保持に上り疾病	の予防に~	ったげろ	
			(対象を	主語に		四次頁》在1次040文形	/ U ( ) ( '& ), —/// ( )		O, MEAR	MITTER J JOHN	op 1 601C	2,41, 00	
			(X13/C	工品に	0 ()								
大		き	な	目	的		健康の保持と適切な医療の				機能訓練等	等の保険事業	美を綜合的
		C	΄δ	н	н	に実施し、国民保健の	向上及び老人福祉の増進	<b>進を図ることを</b>	目的とす	る。			
				+15 +18	<b>5</b> 47	1人当たり老人保健医	皮弗 (Ⅲ)						
						老人保健医療費/受給		亚武 1 7 年度	(中雄)	亚芹 1 0 左连	/ D +== \	TH 1 0 H	· 中 / 口 · 中 \
-	Д.,	+ ,	指析	票年 # # # # # # # # # # # # # # # # # # #		平成 1 5 年度(実績)				平成18年度			度(目標)
	ソト	カム		指標			744,457円	778, 2	14円	807, 7	りり円	837,	376円
指		標		指標		1人当たり総医療費(	円)						
						総医療費/受給者数				<del>-</del>		<b>—</b> -	
			指	票年		平成15年度(実績)				平成18年度			度(目標)
				指 標	!值	780,054円	808,005円	8 4 5, 5	13円	878, 8	7 1 円	912,	229円
芦	屋市	の特色	色など補	足する	事項								
3	事		活動配	分(コ	スト			1世帯当り(円)	207,973	住民1人当り(円)		平成18.4.1	住民基本台帳
事		業	je J	構成 構成	ķ%	平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度	(決算)	平成18年度	(予算)		
		人	件	ŧ	0.3%	21,545	20,744		26,547		-		
		事	業	ŧ (	99.7%	8,423,515	8,656,078	8,3	257,428		,205,000		
内	訓	他部	7 門 経 費	ŧ	0.0%	0	0		0		-		
( <del>T</del>	一円	) 減 個	<b>「償却費</b>	ŧ		0					-		
		合	ħ		0.0%	8,445,060	8,676,822	8,2	283,975		-		
		国	· j		30.0%	2,013,971			487,585	2	,810,855		
財	;je	市	債 等			404,406			,	_	,		
147			<u>の</u> 化	_	62.2%	5,757,101		5	153,201	Δ	,830,770		
( =		, _		_					643,189	7	,555,110		
( Ŧ	13		N) H7 4		7 90								
			般 財 派		7.8%	<b>269,582</b>		`					
活	重	聞職	Ē	3	36.7%	2.65	2.50		3.25		-		
活配	重 分	聞職		<b>章</b> 8		2.65 0.70	2.50 0.70				-		

4 評价	面(チェック)	)			
評		視 点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
	日的巫虫	性(2~ 2)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	日的女司	±(2 ~ 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
			☑ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2 -	~ 2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
			□ いずれにも該当しない	_	
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	7	6
	市民ニース	ズ(2~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把握		
性			□ 数字で把握している 10,479人 □ 未把握		
8点	社会環境	变化(1~ 1)	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
			内容 情勢に応じて老人保健法が改正されている		
	優先性,緊	. ,	□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる		
有		- 率(1 ~ 1)	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
泪	受益者(1 -	~ 1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合、または受益が一部に限定 □ 事業意図と受益者が不整合、または受益が一部に限定 □ 中間は 田野徳の中様様本が見る。	_	
効	成果の実績	績(2~ 1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入 □ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	4	3
性			成果があがっていない場合	-	
4点	- 成果向上统	余地(1~ 1)	成来があかりていない場合   日 特になし		
+244			□ 成末同工家のり □ 付になり □ 付になり □ 比較できる団体がある □ 団体名 ■ 阪神間各市 □ 比較できる団体はない		
			□ に致 Ces 団体がある 団体日   MXHIII ロロ □ に致 Ces 団体はない □ □ 他 団体の数字を把握している 単位コスト □ 48,453円 □ 把握していない		
効	単位コスト	(1 ~ 1)	→ ☑ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
,43			高い、または低い場合の理由		
	W74-4-4-	HT (0	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
	受益者負	担(0~ 1)	■ □ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能)	1	4
率			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	Т	1
	<b>壬</b> F凡/4	2)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	手段(1~	3)	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点	コスト削減	取組(1~ 1)	☑ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
		17XIIII (1 1)	▶ 内容 民間で出来る部分は、業務委託、派遣職員を活用している。		
亚 成 1	6 年 度 の	評価内容	□ A <mark>平成17年度に実</mark> ☑ 改善し,効果を得た		
及 び	改善の	方向性	「「「「「「「「」」」   「「「」 「「」 「「」 「」 「「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「		
(評価カ	がない場合に	は記載不要)	Times		
				ΙA	ΙA
平成実施	1 8	年 度 に 善 内 容	多受診等の抑制  改善 広報紙を活用する		
実施	する改必	善内容	課題   内容		
(	<i>2</i> 0'	<b>/</b>			
5 今後	後の対応(こ	アクション)			
			老人保健医療制度が後期高齢者医療制度に移行するため、人的にも金銭的にも市の財政に負担がかかる	) 0	
現在:	忍識 して	いる課題	新制度は,保険料を徴収する		
		関係者の名称			
からの		,要望内容			
要望	等点光	1			
	(1)	対応内容	市町の財政を圧迫しないよう全国市長会,全国町村会を通じて,補助金を国に要望していく。		
	(1)		Tick 10 / T 7   1		
課題·要	· 胡笙	実施期限	平成 18 年 7 月		
林思 女	(2)	対応内容	法改正によるシステム改修費への補助増額を引き続き,国に要求していく。		
へのす		実施期限	平成 18 年 7 月		
. 55 /	,, ,,,,				
	(3)	対応内容	医療費を抑制するためには、生活習慣病予防策を講じる		
	, ,	実施期限	平成年月		
	<u> </u>				
その他	考えられ	3			
改善。	カアイデ	ア			
			今後の方向性	1次評価	2次評価
			継続 拡 大・充 実	0	0
			平成20年4月に後期高齢者医療に移行する。 現 状 維 持		0
				0	0
平成1	9~21年1	度の方向性			0
			The state of the s	0	0
			統合/終期設定		•
			<mark>廃止 / 休止</mark>	O	0
2 1/2 +7	<del></del>	A 7 / 3 / 1	   平成20年4月に後期高齢者医療制度の移行が予定されていますので,制度の内容を見極めて的確に準備	を進めて	くださ
2 次 評	一世安貝	会コメント	ν <sub>°</sub>		
			1		

/ 6月 7	事業、	ᆂ	<b>-</b> 1*	4 440	000				÷⊓	=	\h.	F	<b>-</b> п	F
(一般	事業)	事業	<u> </u>	14100	080				部	<b></b>	次	長	米	長
平成 17	7 年 度	車	業名	K选(Q1	館事業									
T 13% 11	一十一又	<del></del>	* 4	1774 1/1	ロ <del>ザ</del> 木									
4 == 3	7117 TUX =	# / l* . \							<u> </u>			l.		
		要(ドゥ)												
第3次声	苎屋市	まちづく	りの目標	1	活気あふれる豊か	な生活環境づくり			所	管 課	生活環境	部		
総合	計画	1	中	4	人権の尊重と平和	施策の推進			171		上宮川戈	化センタ	<i>'</i> —	
政策	施策		小	1	人権啓発の推進				所管	課長氏名	中尾 由	喜雄		
体	系		<u>-</u> 細	<u> </u>	隣保館事業					者氏名				
事	業					/vz 24 m=n+		m/- n-t-		話番号		_	十/白	0555
		期			38年~	経常臨時		臨時				-9229	内線	2777
根 拠	法	令 · 5	要綱 等	社会福	祉法・隣保館設置運営要	綱・芦屋市立上宮川文化センター	-の設置及び管理に関	する条例		施 主 体	市			
実	施	手	法	<b>V</b>	直営	□ 一部委託	□ 全部委託			補助金		負担金		
委		託	先		外郭団体委託	名称		□ 民間	委託	委託内容				
						立に向けた各種相談事業	どや教育事業を行					准する		
=	र्भार	Φ.	±97 <del>755</del>						-	2000年	T/C1E	<u>_</u> / 2		
事	業	の	概 要	• //	惟导里の思爾と伍	動を高めるための、教育	す・合発父孤争?	来を11つ						
				・自	立のための就労、	教育、福祉等生活全般に	こわたる相談指導	尊,並び	に関係	系機関との網	総合調整			
事	業	の	現 状	・生	活改善と豊かな文	化を育むための各種講習	3講座の実施							
	日的国	実現のため	O (I)	• 71	とり暮らし高齢者	への昼食サービスや町内	内清掃など地域の	住民(団	体) 0	り自主活動の	の支援			
		及び実施内		_		めの講演会、映画会、原			,		- > - > - > - > - > - > - > - > - > - >			
	丁权	又い天心と	1 <del>11</del>				次小云、	7月州1年业	.040	人川尹未				
			1			信するための資料収集								
			指標名											
		結果指標	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成 1 7 年度 (	(実績)	平成	118年度(	(目標)	平成 1 9	9年度(目	目標)
		(1)	指標値	_	1,736件	2,180件	2, 089			2, 000	) 件	2.	000件	<b>‡</b>
アウト	プット		単位コスト				,			,			- 11	
					<b></b>	 び講演会等の参加者数								
指	標						I = "							
		結果指標	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(	(実績)	平成	118年度(	(目標)	平成 1 9	9年度(目	目標)
		(2)	指標値		5,179人	5,465人	6, 364	4人		6, 500	)人	6,	500人	\
			単位コスト											
2 事	業成り	果(アウ)							<u> </u>					
· + :	<del>*************************************</del>	<u> </u>	714)											
		対	象	関係	住民及び市民									
事業の	目的	対象力	バー率	対象	<mark>き数 (a)</mark> 92,	533人 受益数	(b) 59,	052,	人	比 率 (b	÷ a) %	6 :	3.82%	<b>%</b>
事業の 対象・			バー率	対象	<mark>そ数 (a)</mark> 92,	533人 <mark>受益数</mark>	(b) 59,	052,	人	比 率 (b	÷ a) %	6 :	3.82%	<b>%</b>
						533人 <mark>受益数</mark> ) が生活基盤を向上させ				•			3.82%	/6
		意	図							•			3.82%	<b>%</b>
		意								•			3.82%	%
対象・	意図	意 (対象を言	図 E語にして)	関係	住民(生活相談者)	)が生活基盤を向上させ				•			3. 82%	% ————————————————————————————————————
		意	図 E語にして)	関係		)が生活基盤を向上させ				•			3. 82%	%
対象・	意図	意 (対象を言	図 E語にして)	関係	住民(生活相談者)	)が生活基盤を向上させ				•			3.82%	<u>/</u> 6
対象・	意図	意 (対象を言	図 E語にして) 目 的	関係	住民(生活相談者)	)が生活基盤を向上させ				•			3.82%	/ <sub>0</sub>
対象・	意図	意 (対象を言	図 E語にして) 目 的 指標名	関係人権継続	住民(生活相談者 ・同和問題の解決 的相談援助件数	)が生活基盤を向上させ				•			3.82%	/ <sub>0</sub>
対象・	意図	意 (対象を主な な	図 注語にして) 目 的 指標名 考え方·式	関係 人権 継続! 相談	住民(生活相談者 ・同和問題の解決 的相談援助件数 件数(解決に向か	)が生活基盤を向上させ	せ、市民が同和は	地区への	偏見を	をなくし人材	権意識を	高める		
対 象 · 大	意図	意 (対象を言 な 中間成果 指	図 E語にして) 目 的 指標 名 考え方·式 年 度	関係 人権 継続 相談 平成	住民(生活相談者 ・同和問題の解決 的相談援助件数 件数(解決に向か 15年度(実績)	)が生活基盤を向上させ った件数) <mark>平成16年度(実績)</mark>	せ、市民が同和は	地区への ( <b>実績</b> )	偏見 ē	たなくし人 <sup>†</sup> <b>1 8年度</b> (	権意識を	高める	3.82%	
対象・ 大 アウト	意図	意 (対象を な 中間成果 指	型性 を は を は を は を は を は を は を は を は を は を	関係 人権 継続 相談 平成	住民(生活相談者 ・同和問題の解決 的相談援助件数 件数(解決に向か	)が生活基盤を向上させ	せ、市民が同和は	地区への ( <b>実績</b> )	偏見 ē	をなくし人材	権意識を	高める		
対 象 · 大	意図	意 (対象を言 な 中間成果 指	型	関係 人権 継続 相談 平成 1	住民(生活相談者 ・同和問題の解決 的相談援助件数 件数(解決に向か 15年度(実績)	)が生活基盤を向上させ った件数) <mark>平成16年度(実績)</mark>	・ 市民が同和は	地区への ( <b>実績</b> )	偏見 ē	たなくし人 <sup>†</sup> <b>1 8年度</b> (	権意識を	高める		
対象・ 大 アウト	意図	意 (対象を当 な 中間成果 指 標 最終成果	医語にして) 的 名式度値名式	関係 人権 継続 相談 <b>平成</b>	住民(生活相談者) ・同和問題の解決 的相談援助件数 件数(解決に向か 15年度(実績) 2件(3件)	)が生活基盤を向上させ った件数) <mark>平成16年度(実績)</mark> 17件(4件)	せ、市民が同和は <b>平成17年度</b> 17件(4	他区への ( <b>実績)</b> 件)	偏見を 平成 -	をなくし人材 1 8 年度( 一(1 件以	権意識を ( <b>目標)</b> 上)	高める <b>平成 1</b> 9	9年度(目	目標)
対象・ 大 アウト	意図	意 (対象を当 な 中間成果 指 標 最終成果	図(の) と で は を は を は を は を は を が と で は を が と で は を が と で が と で を が と で を が と で が と で が と で を が と で か と で を が と で を が と で を が と で を が と で を が と で を が と で を か と で を で を か と で を で を か と で を で を で を か と で を で を か と で を で を か と で を で を で を か と で を で を で を で を で を で を で を で を で を で	関係 人権 継続 相談 <b>平成</b>	住民(生活相談者) ・同和問題の解決 的相談援助件数 件数(解決に向か 15年度(実績) 2件(3件)	)が生活基盤を向上させ った件数) <mark>平成16年度(実績)</mark>	・ 市民が同和は	他区への ( <b>実績)</b> 件)	偏見を 平成 -	たなくし人 <sup>†</sup> <b>1 8年度</b> (	権意識を ( <b>目標)</b> 上)	高める <b>平成 1</b> 9		目標)
対象・ 大 アウト	意図	意 (対象を当 な 中間成果 指 標 最終成果	医語にして) 的 名式度値名式	関係 人権 継続 相談 <b>平成</b>	住民(生活相談者) ・同和問題の解決 的相談援助件数 件数(解決に向か 15年度(実績) 2件(3件)	)が生活基盤を向上させ った件数) <mark>平成16年度(実績)</mark> 17件(4件)	せ、市民が同和は <b>平成17年度</b> 17件(4	他区への ( <b>実績)</b> 件)	偏見を 平成 -	をなくし人材 1 8 年度( 一(1 件以	権意識を ( <b>目標)</b> 上)	高める <b>平成 1</b> 9	9年度(目	目標)
対象・ 大 アウト	意図	意 (対象を当 な 中間成果 指 標 最終成果	図の 的 名式度値名式度 値名式度	関係《 継続》 相談 平成 1	住民(生活相談者) ・同和問題の解決 的相談援助件数 件数(解決に向か 15年度(実績) 2件(3件)	)が生活基盤を向上させ った件数) <mark>平成16年度(実績)</mark> 17件(4件)	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	他区への ( <b>実績</b> ) 件)	平成 -	たなくし人材 1 8年度 一(1件以 1 8年度(	権意識を ( <b>目標)</b> 上)	高める <b>平成 1</b> 9	9年度(目	目標)
対 大 ア指	意図  き  カ標	意(対象を言な 中間成果 最終成果 指	と	関係: 人権 継続: 平成 「同和:	住民(生活相談者) ・同和問題の解決 的相談援助件数 件数(解決に向か 15年度(実績) 2件(3件)	<ul> <li>が生活基盤を向上させった件数)</li> <li>平成16年度(実績)</li> <li>17件(4件)</li> <li>平成16年度(実績)</li> </ul>	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	他区への ( <b>実績</b> ) 件)	平成 -	たなくし人材 1 8年度 一(1件以 1 8年度(	権意識を ( <b>目標)</b> 上)	高める <b>平成 1</b> 9	9年度(目	目標)
対 大 ア指	意図  き  カ標	意(対象を言な 中間成果 最終成果 指	図の 的 名式度値名式度 値名式度	関係: 人権 継続: 平成 「同和:	住民(生活相談者) ・同和問題の解決 的相談援助件数 件数(解決に向か 15年度(実績) 2件(3件)	<ul> <li>が生活基盤を向上させった件数)</li> <li>平成16年度(実績)</li> <li>17件(4件)</li> <li>平成16年度(実績)</li> </ul>	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	他区への ( <b>実績</b> ) 件)	平成 -	たなくし人材 1 8年度 一(1件以 1 8年度(	権意識を ( <b>目標)</b> 上)	高める <b>平成 1</b> 9	9年度(目	目標)
対 大 フ指 声	意図きかか標の特色	意(対象を言な) な中間が成果標 最終成標	と	関係 人権 継続談 平成 同和:	住民(生活相談者) ・同和問題の解決 的相談援助件数 件数(解決に向か 15年度(実績) 2件(3件)	<ul> <li>が生活基盤を向上させった件数)</li> <li>平成16年度(実績)</li> <li>17件(4件)</li> <li>平成16年度(実績)</li> </ul>	平成17年度(         17件(4         平成17年度(         川用施設として?	他区への (実績) 件) (実績) 活用され	<b>平</b> 成 -	に 18年度 一(1件以 18年度(	(目標) 上)	<b>平成19</b> <b>平成19</b>	<mark>9年度(E</mark> 9年度(E	目標)
対象・ 大 ア指	意図をかり、カーダーの特色を変化しています。	意(対象を言な) な 中指 最終 成果標 を が	を	関係 人権 継続談 平成 同和	住民(生活相談者 ・同和問題の解決 的相談援助件数 件数(解決に向か 15年度(実績) 2件(3件)	<ul> <li>が生活基盤を向上させった件数)</li> <li>平成16年度(実績)</li> <li>17件(4件)</li> <li>平成16年度(実績)</li> <li>応設が、全市域住民の利</li> </ul>	平成17年度(         17件(4         平成17年度(         川用施設として行         1世帯当り(円)	他区への (実績) 件) (実績) 活用され	平 が - T でいる 住民1	<ul><li>1 8年度(</li><li>一(1件以</li><li>1 8年度(</li></ul>	権意識を ( <b>目標</b> ) 上) ( <b>目標</b> )	<b>平成19</b> <b>平成19</b>	9年度(目	目標)
対 大 フ指 声	意図きかか標の特色	意(対象を言なない) 中指 最終 成果標 を は が 配費	図で) 的 名式度値名式度値 項 ト ( 横 京 大	関係 人権 継続談 平成 同和	住民(生活相談者 ・同和問題の解決 的相談援助件数 件数(解決に向か 15年度(実績) 2件(3件)	<ul> <li>が生活基盤を向上させった件数)</li> <li>平成16年度(実績)</li> <li>17件(4件)</li> <li>平成16年度(実績)</li> </ul>	平成17年度(         17件(4         平成17年度(         川用施設として?	他区への (実績) 件) (実績) 活用され	平 が - T でいる 住民1	に 18年度 一(1件以 18年度(	権意識を ( <b>目標</b> ) 上) ( <b>目標</b> )	<b>平成19</b> <b>平成19</b>	<mark>9年度(E</mark> 9年度(E	目標)
対象・ 大 ア指	意図をかり、カーダーの特色を変化しています。	意(対象を言な) な 中指 最終 成果標 を が	図で) 的 名式度値名式度値 項 ト ( 横 京 大	関係	住民(生活相談者 ・同和問題の解決 的相談援助件数 件数(解決に向か 15年度(実績) 2件(3件)	<ul> <li>が生活基盤を向上させった件数)</li> <li>平成16年度(実績)</li> <li>17件(4件)</li> <li>平成16年度(実績)</li> <li>応設が、全市域住民の利</li> </ul>	平成17年度(         17件(4         平成17年度(         川用施設として行         1世帯当り(円)	他区への (実績) 件) (実績) 活用され	平 が - T でいる 住民1	<ul><li>1 8年度(</li><li>一(1件以</li><li>1 8年度(</li></ul>	権意識を ( <b>目標</b> ) 上) ( <b>目標</b> )	<b>平成19</b> <b>平成19</b>	<mark>9年度(E</mark> 9年度(E	目標)
対象・ 大 ア指	意図をかり、カーダーの特色を変化しています。	意(対象を言なない) 中指 最終 成 標 を が	Ei語にして	関係 継続 相談 平成 同和	住民(生活相談者) ・同和問題の解決 的相談援助件数 件数(解決に向か 15年度(実績) 2件(3件)  15年度(実績) 対策で建設された。	<ul> <li>が生活基盤を向上させった件数)</li> <li>平成16年度(実績)</li> <li>17件(4件)</li> <li>平成16年度(実績)</li> <li>施設が、全市域住民の和</li> <li>平成16年度(決算)</li> </ul>	平成17年度(         17件(4         平成17年度(         川用施設として行         1世帯当り(円)	他区への (実績) 件) (実績) 活用され 1,018 (決算)	平 が - T でいる 住民1	<ul><li>1 8年度(</li><li>一(1件以</li><li>1 8年度(</li></ul>	権意識を ( <b>目標</b> ) 上) ( <b>目標</b> )	<b>平成19</b> <b>平成19</b>	<mark>9年度(E</mark> 9年度(E	目標)
対 大 ア指 芦屋 事 事	意 き カ の 業 人事	意(対な 中指 最指 を <b>活動配</b> 費費	型 を を を を を を を を を を を を を	関係 継続 平成 1 平成 同和 )	住民(生活相談者 ・同和問題の解決 的相談援助件数 件数(解決に向か 15年度(実績) 2件(3件) 15年度(実績) 対策で建設された 15年度(決算) 42,688 5,634	<ul> <li>が生活基盤を向上させった件数)</li> <li>平成16年度(実績)</li> <li>17件(4件)</li> <li>平成16年度(実績)</li> <li>施設が、全市域住民の利</li> <li>平成16年度(決算)</li> <li>37,492</li> <li>4,902</li> </ul>	平成17年度(         17件(4         平成17年度(         川用施設として行         1世帯当り(円)	他区への (実績) 件) (実績) (実績) 37,874 2,671	平 が - T でいる 住民1	<ul><li>1 8年度(</li><li>一(1件以</li><li>1 8年度(</li></ul>	権意識を (目標) 上) (目標) (目標)	<b>平成19</b> <b>平成19</b>	<mark>9年度(E</mark> 9年度(E	目標)
対 大 ア指 声 3 事 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	意 き カ の 業 人事他	意(対な 中指 最指 な <b>動</b> で 大 で で で で で で で で で で で で で で で で で	型 を を を を を を を を を を を を を	関係 継続談 平成 同和:	住民(生活相談者 ・同和問題の解決 的相談援助件数 件数(解決に向か 15年度(実績) 2件(3件) 15年度(実績) 対策で建設された。 15年度(決算) 42,688 5,634	<ul> <li>が生活基盤を向上させった件数)</li> <li>平成16年度(実績)</li> <li>17件(4件)</li> <li>平成16年度(実績)</li> <li>施設が、全市域住民の利</li> <li>平成16年度(決算)</li> <li>37,492</li> <li>4,902</li> <li>0</li> </ul>	平成17年度(         17件(4         平成17年度(         川用施設として行         1世帯当り(円)	他区への (実績) 件) (実績) (実績) 37,874 2,671 0	平 が - T でいる 住民1	<ul><li>1 8年度(</li><li>一(1件以</li><li>1 8年度(</li></ul>	権意識を (目標) 上) (目標) (目標)	<b>平成19</b> <b>平成19</b>	<mark>9年度(E</mark> 9年度(E	目標)
対 大 ア指 声 3 事 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<ul><li>意 き カ の 業 人事他減</li><li>図 ム標 特 費業 人事他減</li></ul>	意(対な 中指 最指 な <b>計</b> の で	型 を を を を を を を を を を を を を	関係 継続談 1 平成 同和:	住民(生活相談者 ・同和問題の解決 的相談援助件数 件数(解決に向か 15年度(実績) 2件(3件) 15年度(実績) 対策で建設された 15年度(決算) 42,688 5,634 0	<ul> <li>が生活基盤を向上させった件数)</li> <li>平成16年度(実績)</li> <li>17件(4件)</li> <li>平成16年度(実績)</li> <li>施設が、全市域住民の利益</li> <li>平成16年度(決算)</li> <li>37,492</li> <li>4,902</li> <li>0</li> </ul>	平成17年度( 17件(4 平成17年度( 1月施設として? 1世帯当り(円) 平成17年度(	他区への (実績) 件) (実績) (実績) 37,874 2,671 0	平 が - T でいる 住民1	<ul><li>1 8年度(</li><li>一(1件以</li><li>1 8年度(</li></ul>	権意識を (目標) 上) (目標) (目標)	<b>平成19</b> <b>平成19</b>	<mark>9年度(E</mark> 9年度(E	目標)
対 大 ア指 声 3 事 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<ul><li>意 き カ の 業 人事他減合</li></ul>	意(対な 中指 最指 さ 新門償 中指 最	型 を を を を を を を を を を を を を	関係 継続談 1 平成 同和:	住民(生活相談者 ・同和問題の解決 的相談援助件数 件数(解決に向か 15年度(実績) 2件(3件) 15年度(実績) 対策で建設された 42,688 5,634 0 0 48,322	<ul> <li>が生活基盤を向上させった件数)</li> <li>平成16年度(実績)</li> <li>17件(4件)</li> <li>平成16年度(実績)</li> <li>施設が、全市域住民の利益</li> <li>平成16年度(決算)</li> <li>37,492</li> <li>4,902</li> <li>0</li> <li>42,394</li> </ul>	平成17年度( 17件(4 平成17年度( 1月施設として? 1世帯当り(円) 平成17年度(	他区への (実績) 件) (実績) (決算) 37,874 2,671 0 0	平 が - T でいる 住民1	<ul><li>1 8年度(</li><li>一(1件以</li><li>1 8年度(</li></ul>	催意識を (目標) 上) (目標) - 5,492 	<b>平成19</b> <b>平成19</b>	<mark>9年度(E</mark> 9年度(E	目標)
対 大 ア指 声 3 事 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<ul><li>意 き カ の 業 人事他減</li><li>図 ム標 特 費業 人事他減</li></ul>	意(対な 中指 最指 さ 新 件 業 門 償 ・ 一 株 平 標 平 標 平 標 平 標	型 を を を を を を を を を を を を を	関係 継続談 1 平成 同和:	住民(生活相談者 ・同和問題の解決 的相談援助件数 件数(解決に向か 15年度(実績) 2件(3件) 15年度(実績) 対策で建設された 15年度(決算) 42,688 5,634 0	<ul> <li>が生活基盤を向上させった件数)</li> <li>平成16年度(実績)</li> <li>17件(4件)</li> <li>平成16年度(実績)</li> <li>施設が、全市域住民の利益</li> <li>平成16年度(決算)</li> <li>37,492</li> <li>4,902</li> <li>0</li> </ul>	平成17年度( 17件(4 平成17年度( 1月施設として? 1世帯当り(円) 平成17年度(	他区への (実績) 件) (実績) (実績) 37,874 2,671 0	平 が - T でいる 住民1	<ul><li>1 8年度(</li><li>一(1件以</li><li>1 8年度(</li></ul>	権意識を (目標) 上) (目標) (目標)	<b>平成19</b> <b>平成19</b>	<mark>9年度(E</mark> 9年度(E	目標)
対 大 フ指 声 3 事 内(	<ul><li>意 き カ の 業 人事他減合</li></ul>	意(対な 中指 最指 さ 新門償 中指 最	型 を を を を を を を を を を を を を	関係 継続談 1 平成 同和 ) 平成	住民(生活相談者 ・同和問題の解決 的相談援助件数 件数(解決に向か 15年度(実績) 2件(3件) 15年度(実績) 対策で建設された 42,688 5,634 0 0 48,322	<ul> <li>が生活基盤を向上させった件数)</li> <li>平成16年度(実績)</li> <li>17件(4件)</li> <li>平成16年度(実績)</li> <li>施設が、全市域住民の利益</li> <li>平成16年度(決算)</li> <li>37,492</li> <li>4,902</li> <li>0</li> <li>42,394</li> </ul>	平成17年度( 17件(4 平成17年度( 1月施設として? 1世帯当り(円) 平成17年度(	他区への (実績) 件) (実績) (決算) 37,874 2,671 0 0	平 が - T でいる 住民1	<ul><li>1 8年度(</li><li>一(1件以</li><li>1 8年度(</li></ul>	催意識を (目標) 上) (目標) - 5,492 	<b>平成19</b> <b>平成19</b>	<mark>9年度(E</mark> 9年度(E	目標)
対 大 フ指 声 3 事 内( 財	<ul><li>意 き カ の業 人事他減<b>合</b>国市</li><li>図 ム標 特費業 高価</li></ul>	意(対な 中指 最指 な 活 件業門償 債 債 債 の で で で で で で で で で で で で で で で で	型 注語にして) 目 指 考年 年指 指 考 年 指 表 方 年 標 標 標 点 方 ・ 標 標 標 点 う に が は り の の の の の の の の の の の の の の の の の の	関係 継続談 1 平成 同和 ) 平成	住民(生活相談者 ・同和問題の解決 的相談援助件数 件数(解決に向か 15年度(実績) 2件(3件) 15年度(実績) 対策で建設された。 15年度(決算) 42,688 5,634 0 0 48,322 11,890 0	った件数) 平成16年度(実績) 17件(4件)  平成16年度(実績) 施設が、全市域住民の利  平成16年度(決算) 37,492 4,902 0 0 42,394 11,739	平成17年度( 17件(4 平成17年度( 1月施設として? 1世帯当り(円) 平成17年度(	他区への (実績) 件) (実績) (実績) 37,874 2,671 0 0 40,545 14,206	平 が - T でいる 住民1	<ul><li>1 8年度(</li><li>一(1件以</li><li>1 8年度(</li></ul>	(目標) 上) (目標) - 5,492 	<b>平成19</b> <b>平成19</b>	<mark>9年度(E</mark> 9年度(E	目標)
対 大 フ指 声 3 事 内(	意 き カ の業 人事他減 <b>合</b> 国市そ 図 ム標 特費業 部価	意 (対 な 中指 最指 な 活 件業門償 債 の で で で で で で で で で で で で で で で で で で	型 注語にして) 目 お	関係 継続談 1 平成	住民(生活相談者 ・同和問題の解決 的相談援助件数 件数(解決に向か 15年度(実績) 2件(3件) 15年度(実績) 対策で建設された。 15年度(決算) 42,688 5,634 0 0 48,322 11,890 0 1,129	った件数)         平成16年度(実績)         17件(4件)         平成16年度(実績)         施設が、全市域住民の利         平成16年度(決算)         37,492         4,902         0         42,394         11,739         0         993	平成17年度( 17件(4 平成17年度( 1月施設として? 1世帯当り(円) 平成17年度(	他区への (実績) 件) (実績) (決算) 37,874 2,671 0 40,545 14,206 0 397	平 が - T でいる 住民1	<ul><li>1 8年度(</li><li>一(1件以</li><li>1 8年度(</li></ul>	催意識を (目標) 上) (目標) - 5,492 	<b>平成19</b> <b>平成19</b>	<mark>9年度(E</mark> 9年度(E	目標)
対 大 ア指 芦 3 事 内 ( 財 ( ) 財 ( ) (	意 き カ の <b>業</b> 人事他減 <b>合</b> 国市そ <b>一</b> 図	意(対な 中指 最指 な 活 件業門償 債の財 保 を で で で で で で で で で で で で で で で で で で	国図 E語にして) 目 的 名式度値 考末 原値 名式度値 るいる。 のいる。 100.0% 35.0% 64.0% 64.0% 64.0%	関係 継続談 1 平成	住民(生活相談者 ・同和問題の解決 的相談援助件数 件数(解決に向か 15年度(実績) 2件(3件) 15年度(実績) 対策で建設された。 42,688 5,634 0 0 48,322 11,890 0 1,129 35,303	った件数)         平成16年度(実績)         17件(4件)         平成16年度(実績)         20         20         37,492         4,902         0         42,394         11,739         0         993         29,662	平成17年度( 17件(4 平成17年度( 1月施設として? 1世帯当り(円) 平成17年度(	他区への (実績) 件) (実績) (決算) 37,874 2,671 0 0 40,545 14,206 0 397 25,942	平 が - T でいる 住民1	<ul><li>1 8年度(</li><li>一(1件以</li><li>1 8年度(</li></ul>	権意識を (目標) 上) (目標) - 5,492 - 14,046 0 397 	<b>平成19</b> <b>平成19</b>	<mark>9年度(E</mark> 9年度(E	目標)
対 大 フ指 声 事 内 所 所 所 所 所 所 の の の の の の の の の の の の の	意 き カ の <b>業</b> 人事他減 <b>合</b> 国市そ <b>一</b> 職図 ム標 特 <b>費</b> 業 部個	意(対な 中指 最指 な 活 件業門償 の 財 原 の 財 原 の 財 原 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 財 の 関 の 財 の 財	図 E語にして) 目 約 名式度 年指 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 値 名式 度 値 名式 度 値 名式 度 値 名式 度 値 名式 度 値 名式 度 値 3.4% の 0.0% の 0	関係 継続談 1	住民(生活相談者 ・同和問題の解決 的相談援助件数 件数(解決に向か 15年度(実績) 2件(3件) 15年度(実績) 対策で建設された。 42,688 5,634 0 0 48,322 11,890 0 1,129 35,303 3.25	でた件数)         平成16年度(実績)         17件(4件)         平成16年度(実績)         17件(4件)         平成16年度(実績)         20         37,492         4,902         0         42,394         11,739         0         993         29,662         2.70	平成17年度( 17件(4 平成17年度( 1月施設として? 1世帯当り(円) 平成17年度(	他区への (実績) 件) (実績) (決算) 37,874 2,671 0 0 40,545 14,206 0 397 25,942 2.70	平 が - T でいる 住民1	<ul><li>1 8年度(</li><li>一(1件以</li><li>1 8年度(</li></ul>	催意識を (目標) 上) (目標) - 5,492 	<b>平成19</b> <b>平成19</b>	<mark>9年度(E</mark> 9年度(E	目標)
対大ア指声事前円所円事前円第円第円第円	意 き カ の <b>業</b> 人事他減 <b>合</b> 国市そ <b>一</b> 職嘱図 ム標 特 <b>費</b> 業 部価	意(対な 中指 最指 な 活 件業門償 債の財 保 を で で で で で で で で で で で で で で で で で で	国図 目 的 名式度値 考え方・式度値 指標標素え方・度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 1000% 1000% 1000% 47.4% 52.6%	関係 継続談 1	住民(生活相談者 ・同和問題の解決 的相談援助件数 件数(解決に向か 15年度(実績) 2件(3件) 15年度(実績) 対策で建設された。 42,688 5,634 0 0 48,322 11,890 0 1,129 35,303	った件数)         平成16年度(実績)         17件(4件)         平成16年度(実績)         20         20         37,492         4,902         0         42,394         11,739         0         993         29,662	平成17年度( 17件(4 平成17年度( 1月施設として? 1世帯当り(円) 平成17年度(	他区への (実績) 件) (実績) (決算) 37,874 2,671 0 0 40,545 14,206 0 397 25,942	平 が - T でいる 住民1	<ul><li>1 8年度(</li><li>一(1件以</li><li>1 8年度(</li></ul>	権意識を (目標) 上) (目標) - 5,492 - 14,046 0 397 	<b>平成19</b> <b>平成19</b>	<mark>9年度(E</mark> 9年度(E	目標)

4 評信	西(チェック)					
評	価 視	点	評価チェックリスト		1次評価	2次評価
	口格可以此	(0 0)	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができ	きない		
	目的妥当性(	(2 ~ 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない			
			□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能で	である		
妥	市関与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている			
	,	,	□ いずれにも該当しない			
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業で	はない	5	5
_	市民ニーズ(	2 ~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または		O	
性	1 20 11(	,	□ 数字で把握している □ 未			
8点			□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直し			
OAK	社会環境変	化(1~ 1)	内容は特別対策から一般対策に移行	322		
	優先性,緊急	急性(1)	□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる			
	対象カバー図		□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が	E.L.1		
有	受益者(1~	,	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に			
	,	<u> </u>	☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している◯ 実績値または目標値が未記入		4	4
効	成果の実績(	(2 ~ 1)	▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言	言えない	4	4
性	****	ul	成果があがっていない場合			
4点	- 成果向上余年	地(1~ 1)	·	寺になし		
****			□ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない			
	w		□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない			
効	単位コスト(1	~ 1)	▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い			
			高い、または低い場合の理由			
	<u> </u>	(0 4)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない			
率	受益者負担(	(0 ~ 1)	│ └▶ □ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収す	可能 )	0	0
<del>~</del>			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		U	U
	手段(1~ 3	1)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分	∱がある		
	于权(1.2.3	?)	☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能で	ある		
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である ☑ 嘱託,臨時職員等で対応可能であ	·る		
3点	コスト削減取	(組(1~ 1)	☑ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない			
	171 Bills4x	·мц(1 1)	▶ 内容 受講料・参加負担金の徴収等受益者負担の導入、自主事業化の推進			
亚 战 1	6年度の証	(	□ A <mark>平成17年度に実</mark> ☑ 改善し,効果を得た			
及び	6 年 度 の 評 改 善 の	方向性	評価結果 施した改善の方向 お苦したが、 かまなど、 改善し、 効果を持た 改善し	,		
(評価な	がない場合は	記載不要)	T			
			・講習講座事業の受益者負担の拡大 ・ボランティアの推進、自主活動の育成、	総合評価	В	В
平 成	1 8 年	度に	・講習講座事業の受益者負担の拡大 ・市民参加による地域活動の推進 ・ボランティアの推進、自主活動の育成、 <b>改善</b> 促進をさらに進める	古十1四		
実施	18年する改	善内容	<ul><li>・市民参加による地域活動の推進</li><li>・人権啓発・学習の場としての雰囲気</li><li>ウ容</li><li>・世代別、世代間交流事業の実施</li></ul>			
(	必须	<b>)</b>	つくり			
5 今後	後の対応(ア <sup>・</sup>	クション)				
- 71	2 - 2 / 3 / 5 ( )	, , ,,	特別対策としての同和行政から、一般対策としての同和行政への転換			
現在:	認識してい	る課題				
市民,関	信者 市民,関	係者の名称	部落解放同盟芦屋支部、老人会、各種教室代表			
からの		要望内容	  同和問題解決のため、地域住民の労働・教育・福祉等生活基盤向上に向けた行政施策の実施を	を要望		
要望	等意光,	X = 13 L	「日本の一番の一番の一番の一番の「日本の一番の「日本の一番の「日本の」。			
		対応内容	市の財政状況について理解と協力を得るための話し合いの設定			
	(1)					
課題・要	i till 225	実施期限	平成 18 年 10月			
林思 女	(2)	対応内容	事業の自主運営について協力要請			
へのす		実施期限	平成 18 年 6 月			
. 0,	() //		1 0 1			
	(3)	対応内容				
	(3)	実施期限	平成    年    月			
	I	Z INCHINIC	「			
その他	考えられる		= 1.1240 - 1.24			
	カアイデア					
, L			今後(	の方向性	1次評価	2次評価
				· 充 実		0
				維 持		0
				改善		<u> </u>
平成 1	9~21年度	の方向性		委託等		0
			縮	小		0
				終期設定		0
				/ 休 止		0
			No. 12	.,	-	_
			エニンニ,マの地域が切除した地域切りに変われて、地域分尺が大体した。を取り、	とそしてノ	ビナル	
2 次 評	価委員会	コメント	ボランティアや地域が協働した地域福祉活動や人権教育など、地域住民が主体となった取組を	ど進めてく、	15 G N ,º	

( —	船事	業)	事業	コード	24100	010				部長	次	長課	長
(	nx <del>y</del>	**	<del>7</del> *	<del>- '</del>	2-100	010				LIP LX	<i>/</i> /	LX II/K	K
平月	戎 17 ⁴	年度	事	業 名	児童	センター事業							
			要(ドゥ)										
第3	次芦	屋市	まちづく	りの目標	2	健やかでぬくもり	のある福祉社会づくり			所 管 課	生活環境	部	
総	合計	+ 画	1	中	4	子どもたちの心と	体を豊かにはぐくむ社会	会の実現			上宮川文	化センター	
政	策が	も 策		<u>/</u>  \	1	「エンゼルプラン	」子育て支援の推進			所管課長氏名	花岡 光	義	
体		系		細		児童センター事業				記入者氏名	加島 糾	i—	
事		業				61.5~		☑ 経常 □	哈哇	電話番号			2777
根	+60			1 1	, , ·		上宮川文化センターの記	1,000				3223 門線	2111
	拠												
実		施	手	, -,	<u> </u>		一部委託	□ 全部委託		□ 補助金	Ш	負担金	
委			託	先			名称			委託 委託 内容			
					・子	ども同士または親・	子での遊びや自然観察、	交流の場づく	り				
事	j	業	の	概 要	• 子	育てや教育につい	ての講演会等の開催						
					• 図	書室、ビデオブー	ス、自習室の解放						
							ター事業 9.7821						
事	3	業	Ø	現 状			ブ、ジュニアクラブ、/J	・ 5学生 トランポ	リン数字	・ 女性トランポリ	1ン数字	<b>鉗</b> スミートラン	ポルン
<del></del>			。 『現のため		尹木		シ、マユーティック、 教室、母親教室、映画会	-			-	-	
								, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				フは、畝戸 いりは	、運動
	-	ナ段が	ひ実施内	台		ソ ュニ バン	/コンクラブ、あそびひ	クは、凶書至・	・ヒアオ	ノーム・日省至の	用灰		
				指標 名									
			結果指標	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成18年度(	目標)	平成19年度(	目標)
			(1)	指標値		433回	385回	391	П	400回	]	400回	
ア「	ナトブ	<b>プット</b>		単位コスト		65,547円/回	63,374円/回	62, 117円	/回				
指		標				センター事業参加	及び利用者数			I			
311			結果指標				平成16年度(実績)	亚成 1 7 年度	(宝績)	平成18年度(	日煙)	平成19年度(	日煙)
						0, 145人	8,765人	9, 78		10,00		10,000	
			(2)	指標値			· ·			10,00	U 八	10, 000	7,7,
	<del>+</del> 30	l/ _L _	<del> </del>	単位コスト		2,797円/人	2,783円/人	2,482円/	<u> </u>				
2	事業	€成5	艮(アウト	<u>`カム)</u>									
			対	兔	市内	に民住する児童及	び保護者 (下記対象者	を数け平成17:	年10日	1日現在の18点	最以下のま	<b>准計人口)</b>	
			<b>V</b> 1	31	1111 11	(2.7 区) (1.1 区)		3,000   30,000	1 1 0 /1	1 1 90 1 0 %	X6V 1 421	E II / C II /	
事意	業の	目的	対象力	バー率	対 象	<mark>き数 (a)</mark> 14,	594人 受益数	<mark>(b)</mark> 9,	782人	比 率 (b	÷ a) %	6 7 %	
対	象・意	意 図			児童	の遊び場、交流の	場で他の子ども、親子と	:知り合いにな	る				
			意	図	保護	者が子育てについ	ての知識、技術を身につ	つける					
				 E語にして)									
			(),12(,C.1										
大	=	ŧ	な	目 的	旧帝	に健全か遊びたち	えて、その健康を増進し	<b>唐堀</b> たた典か	にオスト	レアトロ ユビョ	、が健め	かに杏へ環境なべ	ノス
	•	c	<i>ا</i> لم	נים 🗀	ル里	に使主な姓いて子	んし、てい庭原を指揮し	ノ目深てて豆パ	(- 9 Q -	こにより、丁こり	5 //* (建·(* /	パに自う条売をう	1/3
		ı		15 JT 4-	-43 Jun	× +0 +	-+-						
						希望者の参加実現		t de la stre					
							のうち参加がかなった対						
			指標	年 度	平成		平成16年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成18年度(	目標)	平成19年度(	目標)
ア	ウト	カム		指標値		83,8%	85.6%	88.5	%	90%		90%	
指		標		指標 名									
				考え方·式									
			指標			15年度( ) ( ) ( )	平成16年度(実績)	平成17年度	( 実績 )	平成18年度(	日煙)	平成19年度(	日標)
			1H .1W	指標値	1 7-20		TIME TO THE COME	172 1712	( )CMR )	17201 0 1720	H 13. /	11201 3 1132 (	H 1/4 /
				1日 1示 1旦	IFI소프고	けいた は   米日韓	, 併加された地へ批加し.1	ての女仏おいね	由ルナモフ	たはフ じょし 古松	#35111 <b>(</b> )	、単位間方法がネ	セフ
		- 4+ <i>-</i>	. 4. 10 44 5	<del>-</del>		ピンターは、瞬味館と	と併設された複合施設とし	(の文化センター	一内にめる	にめすともと局断	有か出会 V	、世代间交流から	さる
产品	至巾()	り狩せ	色なと補足	2する事項									
3	事業	€費·	活動配	分(コスト	)			1世帯当り(円)	610	住民1人当り(円)	267	平成18.4.1 住民基	本台帳
3	事業	<b>養</b>	活動配金費		) 平成	15年度(決算)	平成16年度(決算)	1世帯当り(円) 平成 1 7 年度		住民1人当り(円) 平成18年度(		平成18.4.1 住民基	本台帳
			費			15年度(決算) 25,982	平成 1 6 年度 (決算) 23,478	1				平成18.4.1 住民基	本台帳
		業	<b>費</b> 件 費	構成%				1	(決算)			平成18.4.1 住民基	基本台帳
事 .		業 人 事	費     件   費     業   費	構成% 96.9% 3.1%		25,982 2,400	23,478 921	1	(決算) 23,534 754		予算)	平成18.4.1 住民基	基本台帳
事内	訳	業 人 事 他 部	費 件 費 業 費 門経費	構成% 96.9% 3.1% 0.0%		25,982 2,400 0	23,478 921 0	1	(決算) 23,534 754 0		予算)	平成18.4.1 住民基	基本台帳
事内	訳 円)	業 人 事 他 減 価	費 件 費 費 費 質 却	構成% 96.9% 3.1% 0.0% 0.0%		25,982 2,400 0	23,478 921 0	1	(決算) 23,534 754 0 0		予算) - 998 -	平成18.4.1 住民基	本台帳
事内	訳 円)	業 人事 他減 <b>合</b>	費 件 費 費 費 貸却 <b>計</b>	構成% 96.9% 3.1% 0.0% 0.0% 100.0%		25,982 2,400 0 0 28,382	23,478 921 0 0 24,399	1	(決算) 23,534 754 0 0 24,288		予算) - 998 - -	平成18.4.1 住民基	本台帳
内 (千	訳 - 円)	業 人事他減 <b>合</b> 国	費 件 費 費 門 経 費 費 間 却 費	構成% 96.9% 3.1% 0.0% 0.0% 100.0%		25,982 2,400 0 0 28,382	23,478 921 0 0 24,399	1	(決算) 23,534 754 0 0 <b>24,288</b>		予算) - 998 - - - - 0	平成18.4.1 住民基	本台帳
事 内( 財	訳 :- 円) 源	業 人事他減 <b>合</b> 国市	件 費 費 費 費 費 費 計 県 等	構成% 96.9% 3.1% 0.0% 0.0% 100.0%		25,982 2,400 0 0 28,382	23,478 921 0 0 24,399	1	(決算) 23,534 754 0 0 <b>24,288</b> 0		予算) - 998 - - - - 0 0	平成18.4.1 住民基	本台帳
事 内( 財	訳 - 円)	業 人事他減 <b>合</b> 国市	費 件 費 費 門 経 費 費 間 却 費	構成% 96.9% 3.1% 0.0% 0.0% 100.0%		25,982 2,400 0 0 28,382	23,478 921 0 0 24,399	1	(決算) 23,534 754 0 0 <b>24,288</b>		予算) - 998 - - - - 0	平成18.4.1 住民基	本台帳
事 内( 財	訳 :- 円) 源	大事 他減合国市 そ	件 費 費 費 費 費 費 計 県 等	構成% 96.9% 3.1% 0.0% 0.0% 100.0% 0.0%		25,982 2,400 0 0 28,382 0	23,478 921 0 0 24,399 0	1	(決算) 23,534 754 0 0 <b>24,288</b> 0		予算) - 998 - - - - 0 0	平成18.4.1 住民基	本台帳
事 内( 財(	訳 :- 円) 源	大事他減合国市そー	費費費費費 門 経却計県等の他	構成% 96.9% 3.1% 0.0% 100.0% 0.0% 2.0%		25,982 2,400 0 0 28,382 0 0	23,478 921 0 0 24,399 0 0 708	1	(決算) 23,534 754 0 0 <b>24,288</b> 0 0		予算) - 998 - - - 0 0 487	平成18.4.1 住民基	本台帳
事 内( 財	訳一円)源一円)動	業 人事他減 <b>合</b> 国市そ <b>一</b> 職	費費費費費 門経却計県等他 で、関係のでは、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	構成% 96.9% 3.1% 0.0% 100.0% 100.0% 0.0% 2.0% 98.0%		25,982 2,400 0 28,382 0 0 741 27,641	23,478 921 0 0 24,399 0 0 708 23,691	1	(決算) 23,534 754 0 0 <b>24,288</b> 0 0 487 <b>23,801</b>		予算) - 998 - - - 0 0 487	平成18.4.1 住民基	基本台帳
事 内( 財( 活	訳) 原 か分	業 人事他減 <b>合</b> 国市そ <b>一</b> 職	費費費費費費 門償 計県等他 <b>股財</b> 源員	構成% 96.9% 3.1% 0.0% 100.0% 100.0% 2.0% 98.0% 36.8% 63.2%		25,982 2,400 0 28,382 0 0 741 27,641 2.00	23,478 921 0 0 24,399 0 708 23,691	1	(決算) 23,534 754 0 0 <b>24,288</b> 0 0 487 <b>23,801</b>		予算) - 998 - - - 0 0 487 -	平成18.4.1 住民基	基本台帳

	コ(チェック)		+		
評		点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
	目的妥当性(	2 ~ 2)	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	אור אניים)		☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
			□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2~	2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
^	1-120 3 (=	-,	□ いずれにも該当しない		
当				6	6
=				6	O
	市民ニーズ(	2 ~ 1)	└─▶ ☑ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない, または未把握		
性			☑ 数字で把握している 児童センター事業参加及び利用者数」 □ 未把握		
8点	なる理論が	(b/a a)	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
	社会環境変化	七(1~ 1)	内容 発達障害等の相談		
	優先性,緊急	9性(1)	□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
	対象カバー図		☑ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~	<u> </u>	□ 射業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
13	又皿日()	1)	□ 事業急召と文曲目は翌日のといる □ 事業急召と文曲目が小翌日,または文曲が一部に限定 □ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している □ 実績値または目標値が未記入		
効	成果の実績(	2 ~ 1)		4	4
			▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	•	•
性	- 成果向上余年	池(1~ 1)	成果があがっていない場合		
4点	7-707(11 3 <u>— 13</u> 1	5(,	□ 成果向上策あり □ 特になし		
			☑ 比較できる団体がある 団体名 西市総合センタ □ 比較できる団体はない		
	¥ / <del>-</del>   /4	43	☑ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない		
効	単位コスト(1	~ 1)			
			高い、または低い場合の理由	•	
			□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
	受益者負担(	0 ~ 1)		_	
率			□ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能)	1	0
			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	•	
	手段(1~ 3	)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	3 +2(1	,	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性			☑ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点		<b>/</b> □ (4 4)	☑ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
	コスト削減取	組(1~ 1)	→ 内容 事業費の削減、参加費の徴収	•	
平成 1	6年度の評	価 内 容	□ A <mark>平成17年度に実</mark> ☑ 改善し,効果を得た		
及び	改善の	方 向 性	評価結果 c p <mark>施した改善の方向</mark> c 改善したが,効果がな c 改善し		
(評価カ	がない場合は記	記載 小 要)	v  B   III   L   L   L   L   L   L   L   L	_	_
					В
			NDOグ東京民会画車業との連携 NDOグ画の子ども向け車業に今声的な <b>評価</b>	l A	$\mathbf{D}$
平 成	1 8 年	度に	NPO等市民参画事業との連携 NPO企画の子ども向け事業に全面的な 評価	Α	В
平成実施	1 8 年 する改	度 に 善内容	NPO等市民参画事業との連携 NPO企画の子ども向け事業に全面的な 評価 改善 サポートを行う	Α	В
平 成 実 施 (	1 8 年 する改 必 須	善内容	NPO等市民参画事業との連携 NPO企画の子ども向け事業に全面的な 評価	A	Б
実 施 (	する改善必必須	善内容	NPO等市民参画事業との連携 NPO企画の子ども向け事業に全面的な 評価 改善 サポートを行う	А	Б
実 施 (	する改	善内容	NPO等市民参画事業との連携   NPO企画の子ども向け事業に全面的な   評価	A	Б
実 施 (	する改善必必須	善内容	NPO等市民参画事業との連携 NPO企画の子ども向け事業に全面的な 評価 改善 サポートを行う	A	Б
実施       5 今後	する改善必必須	善内容() () () () () () () () () () () () () (	NPO等市民参画事業との連携   NPO企画の子ども向け事業に全面的な   評価	А	Б
実施       5 今後	する改 必 多 後の対応(ア	善内容() () () () () () () () () () () () () (	NPO等市民参画事業との連携   NPO企画の子ども向け事業に全面的な   評価	A	Б
実       5       現	する 改	善内 容 ) クション) る 課 題	NPO等市民参画事業との連携   NPO企画の子ども向け事業に全面的な   評価	A	Б
実施       5 今後       現在       市民, 関	する 改 多 変 変 変 変 変 変 変 変 変 し て い 像者 市民,関係	善 ウション) る 課 題 系者の名称	課題       NPO等市民参画事業との連携 内容       NPO企画の子ども向け事業に全面的な サポートを行う         中・高生の居場所づくり。	А	
実方5現市からま市から	する 改 多 変 変 変 変 変 変 変 変 変 し て い 像者 市民,関係	善 ウション) る 課 題 系者の名称	NPO等市民参画事業との連携   改善   内容   内容   内容   中・高生の居場所づくり。	A	
実施       5 今後       現在       市民, 関	する 改 多 変 変 変 変 変 変 変 変 変 し て い 像者 市民,関係	善 ウション) る 課 題 系者の名称	課題       NPO等市民参画事業との連携 内容       NPO企画の子ども向け事業に全面的な サポートを行う         中・高生の居場所づくり。	A	
実方5現市からま市から	する 改 須 後の対応(アクログライ) は し て い は は 市民,関係者 意見, 語	善り カックション) る課題 系者の名称 容 望 内	課題       NPO等市民参画事業との連携 内容       NPO企画の子ども向け事業に全面的な サポートを行う         中・高生の居場所づくり。	A	
実方5現市からま市から	する 改 多 変 変 変 変 変 変 変 変 変 し て い 像者 市民,関係	善う カック マック は	課題       NPO等市民参画事業との連携       NPO企画の子ども向け事業に全面的な 計価         中・高生の居場所づくり。       中・高生の居場所づくり。         子育て中の保護者       子どもがいつでも行けるような施設にして欲しい。         自習室、ビデオプースの利用者増を図る。	A	В
実( 5 今 在 展 の 望	す必 改 で の対応(アクロ の対応 の対応(アクロ の対応 の対応 の対応 の対応 の対応 の対応 の対応 の対応 の対応 の対応	善り カックション) る課題 系者の名称 容 望 内	課題       NPO等市民参画事業との連携       NPO企画の子ども向け事業に全面的な 計価         中・高生の居場所づくり。       中・高生の居場所づくり。         子育て中の保護者       子どもがいつでも行けるような施設にして欲しい。         自習室、ビデオプースの利用者増を図る。	A	В
実方5現市からま市から	す必 改 で の対応(アクロ の対応 の対応(アクロ の対応 の対応 の対応 の対応 の対応 の対応 の対応 の対応 の対応 の対応	善事(で クション) る 課 の 内 内 内 内 内 期 限 施 期 限 施 用 の 内 限 に か ま 施 用 の 内 の 限 に か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か	課題       NPO等市民参画事業との連携       NPO企画の子ども向け事業に全面的な 計価         中・高生の居場所づくり。       中・高生の居場所づくり。         子育て中の保護者       子どもがいつでも行けるような施設にして欲しい。         自習室、ビデオプースの利用者増を図る。	A	В
実( 5 今 在 展 の 望	す必 改 で の対応(アクロ の対応 の対応(アクロ の対応 の対応 の対応 の対応 の対応 の対応 の対応 の対応 の対応 の対応	善う カック マック は	課題       NPO等市民参画事業との連携       NPO企画の子ども向け事業に全面的な 計価         中・高生の居場所づくり。       中・高生の居場所づくり。         子育て中の保護者       子どもがいつでも行けるような施設にして欲しい。         自習室、ビデオプースの利用者増を図る。	A	
実( 5 今 在 展 の 望	す必 をの対応(アイ 認識してい 間係者 意見, (1) 望等 (2)	善事(で クション) る 課 の 内 内 内 内 内 期 限 施 期 限 施 用 の 内 限 に か ま 施 用 の 内 の 限 に か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か	課題       NPO等市民参画事業との連携       NPO企画の子ども向け事業に全面的な かポートを行う         中・高生の居場所づくり。       ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	A	<b>D</b>
実 (	す必 をの対応(アイ 認識してい 間係者 意見, (1) 望等 (2)	対	課題       NPO等市民参画事業との連携       NPO企画の子ども向け事業に全面的な かポートを行う         中・高生の居場所づくり。       ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	A	
実 (	す必 改 で の 対応 (アイス) は 市民 , 関 意 見 , 明 (1)	きずり (1) (1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	課題       NPO等市民参画事業との連携       NPO企画の子ども向け事業に全面的な かポートを行う         中・高生の居場所づくり。       ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	A	
実 (	す必 をの対応(アイ 認識してい 間係者 意見, (1) 望等 (2)	大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学	課題       NPO等市民参画事業との連携       NPO企画の子ども向け事業に全面的な 内容         中・高生の居場所づくり。       ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	A	
実 (	す必 改 で の 対応 (アイス) は 市民 , 関 意 見 , 明 (1)	対	課題       NPO金画の子ども向け事業に全面的な 内容         中・高生の居場所づくり。         子育て中の保護者 子どもがいつでも行けるような施設にして欲しい。         自習室、ビデオブースの利用者増を図る。         平成       年         平成       年         平成       年         月	A	
実	す必 をの対応(ア/ 認識 古民, 関係 意見, 1 (1) (3)	大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学	課題       NPO等市民参画事業との連携       NPO企画の子ども向け事業に全面的な 内容         中・高生の居場所づくり。       ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	A	
実     現     市か要       課へ     での       その     での	す必 の対応 (アインの) では、	善う ショ 課 の 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	課題       NPO金画の子ども向け事業に全面的な 内容         中・高生の居場所づくり。         子育て中の保護者 子どもがいつでも行けるような施設にして欲しい。         自習室、ビデオブースの利用者増を図る。         平成       年         平成       年         平成       年         月	A	
実     現     市か要       課へ     での       その     での	す必 をの対応(ア/ 認識 古民, 関係 意見, 1 (1) (3)	善う ショ 課 の 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	課題       NPO等市民参画事業との連携       NPO企画の子ども向け事業に全面的なり。         中・高生の居場所づくり。         子育て中の保護者         子どもがいつでも行けるような施設にして欲しい。         自習室、ビデオブースの利用者増を図る。         平成       年         早       月         平成       年         自由に来館し遊べる場所、時間の提供		
実     現     市か要       課へ     での       その     での	す必 の対応 (アインの) では、	善う ショ 課 の 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	課題       NPO企画の子ども向け事業に全面的な 内容       評価         中・高生の居場所づくり。       ・高生の居場所づくり。         子育で中の保護者       ・どもがいつでも行けるような施設にして欲しい。         自習室、ビデオブースの利用者増を図る。       平成         平成       年         中・高生の居場所づくり。       月         中・高生の居場所づくり。       ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1次評価	2次評価
実     現     市か要       課へ     での       その     での	す必 の対応 (アインの) では、	善う ショ 課 の 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	RPO等市民参画事業との連携	1次評価 〇	
実     現     市か要       課へ     での       その     での	す必 の対応 (アインの) では、	善う ショ 課 の 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	課題       NPO企画の子ども向け事業に全面的な 内容       評価         中・高生の居場所づくり。       ・高生の居場所づくり。         子育で中の保護者       ・どもがいつでも行けるような施設にして欲しい。         自習室、ビデオブースの利用者増を図る。       平成         平成       年         中・高生の居場所づくり。       月         中・高生の居場所づくり。       ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1次評価 〇	2次評価
実     現     市か要       課へ     での       その     での	す必 の対応 (アインの) では、	善う ショ 課 の 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	RPO等市民参画事業との連携	1次評価 ○	2次評価 ○
実     3       市か要     課へ       そ改	す必 の対応 (アインの) では、	善事が クラス	課題       NPO範囲の子ども向け事業に全面的な 内容         中・高生の居場所づくり。         子育て中の保護者 子どもがいつでも行けるような施設にして欲しい。 自習室、ビデオブースの利用者増を図る。         平成       年         月         平成       年         自由に来館し遊べる場所、時間の提供         本ンゼルプランに沿った子育で支援のための施設の開放を検討       塩、大・充・実現、大・在・実現、大・経・持方・法・改善等方、法・改善等	1次評価 ○ ○	2次評価〇〇
実     3       市か要     課へ       そ改	す必 (アイス) (スタイス)  善事が クラス	課題       NPO等市民参画事業との連携       NPO企画の子ども向け事業に全面的な 対ボートを行う         中・高生の居場所づくり。       子育て中の保護者         子どもがいつでも行けるような施設にして欲しい。       自習室、ビデオブースの利用者増を図る。         平成       年       月         平成       年       月         平成       年       月         中市・高生の居場所づくり。       中であれるような施設にして欲しい。         自習室、ビデオブースの利用者増を図る。       平成 月         平成       年       月         自由に来館し遊べる場所、時間の提供       今後の方向性エンゼルプランに沿った子育で支援のための施設の開放を検討       拡大・充実現状維持方法改善展間委託等	1次評価 ○ ○ ●	2次評価 ○ ○	
実     3       市か要     課へ       そ改	す必 (アイス) (スタイス)  善事が クラス	NPO 容市民参画事業との連携   NPO 企画の子ども向け事業に全面的な   評価	1次評価 ○ ○ ○	2次評価 ○ ○ ●	
実     3       市か要     課へ       そ改	す必 (アイス) (スタイス)  善事が クラス	NPO等市民参画事業との連携	1次評価 ○ ○ ○ ○	2次評価 ○ ○ ○ ○	
実     3       市か要     課へ       そ改	す必 (アイス) (スタイス)  善事が クラス	NPO 容市民参画事業との連携   NPO 企画の子ども向け事業に全面的な   評価	1次評価 ○ ○ ○ ○	2次評価 ○ ○ ●	
実(     5     現市か要     課へ     そ改     平       6     年にいる。     展の望     要が、他の     0       7     年にいる。     度の望     要が、他の	す必 (アイス) (スタイス)  善う	NPO等市民参画事業との連携	1次評価 ○ ○ ○ ○	2次評価 ○ ○ ○ ○	

(一般	<b>丰</b> 業)	事業	コード	13100	720				部長次	長課長
( //X =	<del>*</del> * /	<del>7</del> *	<del>- '</del>	10100	320					K III K
平成 17	年度	事	業 名	廃棄	物の減量・資源化促	産進事業(ごみの減量化・	資源化)			
1 事	業概	要(ドゥ)								
第3次产	屋市	まちづく	りの目標	1	活気あふれる豊か	な生活環境づくり			生活環	境部
総合	計画		中	3	環境適合型社会の	形成			所 管 課環境処	理センター
政策	施策		/\\	1	環境への負荷の低	減			所管課長氏名 石濱正	三昭
体	系		<u></u> 細	'	71,72	1021			記入者氏名山中區	* *
				100	T (050) 1 2	(-7 att ====		m/o m.lo		
事	業	期			1年(S56)から	経常臨時		臨時		32-5391 内線 2697
根 拠	法	-	要 綱 等			と市減量及び適正処理に			実施主体 自治事	** *
実	施	手	,-,			□ 一部委託	☑ 全部委託		□補助金□	〕負担金
委		託	先		外郭団体委託	名称		☑ 民間	]委託 <mark>委託 内容</mark> 地域集	<b>基団回収</b>
				・自治	治会・子供会等の	各団体が行う地域集団回	回収の数量に応	じkg当た	り4円の報償金を出す。	(平成16年2月料金改正)
事	業	Ø	概 要	• 告	<b>屋市廃棄物減量等</b>	推進審議会を設置し、屋	図 経掃法第5条の70	- の規定に	基づいた一般廃棄物の洞	
-	<i></i>	•	170 🔍	議す.		ILLE HIMA CINE O, D	23117 IZA 2/13 0 2/14 · 2 · 1	-> /96/421-	- 1 TC /AX/JEZK 1/3 1/2 1/3	M = 11-10, / 01 / C H
					-	の次派ルデスナーウンム会	7. #	国体) ボ	回収業者と契約し,集	団同位 た 字佐
<del>-</del>	ж		TD .1.b					,		凹凹収を美胞。
事	業	の	現 状					,	市から報償金を支払う。	
	目的	実現のため	00	· 審	議会は,市民,小	売業,回収業者,関係因	団体,市会議員 <sup>、</sup>	で組織し	,ごみの減量化・再資源	原化,啓発活動を行う。
	手段及	及び実施内	容	· 公	共施設等から出さ	れていた新聞・雑誌・タ	ブンボール等は,	,平成16	年4月からの紙資源行政	回収に組み入れた。
				ま	た,牛乳パックの	拠点回収も行政回収とし	、 ニカド電池	は,販売	店での回収とした。	
			指標 名		可回収量					
		結果指標				平成16年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
						, ,			, ,	
<b>7</b> + 1	<b>-</b>		指標値		4, 190, 612kg	4, 068, 679kg	4, 593, 384		4, 600, 000kg	4, 600, 000kg
アウト	ノット		単位コスト		7.52円/kg	5. 38円/kg	4.67円/	kg	_	_
指	標		指標名			ごみ量(発生量÷年間日				
		結果指標	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
		(2)	指標値		1,081g	1,083g	1, 060g	3	1,050g	1,050g
			単位コスト		_	_	_		_	_
2 事	<b>単成</b> り	果(アウ)	- ከ				<u>I</u>		L	
	121-101		•							
		対	象	・自治	冶会・子供会等組	織化された地域住民各国	団体			
車業の	日的	tot 42 to	バ - 率	<del>하 #</del>	· 粉 (a) 活	動142団体 <b>受益数</b>	/ (b) 汗垂	助142団体	比率 (b ÷ a) <sup>9</sup>	<b>%</b> 100%
対象・			/\ +	X1 St	( XX (a)		(0)	9144DIA	· [L 平 (b - a) :	100 / 0
X1 3K .	忠 凶			·幅	広い層が参加し、	家庭から出されたごみを	集団回収に回	すことで	, 報償金収入が得られ,	地域団体の活動資金と
		意	図		ている。	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	_ ,,, ,
		(対象を3	E語にして)							
				<ul><li>白</li></ul>	公今, 乙卅今笙桓	<b>庁い届が会加すること</b>	ナーデカの分別	#1 #	等正しい扱い方を学ぶ機	A しかり
大	き	な	目 的	ر کا ت	でごみの減量化が	図られ、環境保全になる	,	, щ С //	寺正しい 放い力を子が	女子になり、 貝が口 かる
						□ 340, 2K3EFK±1- 8 6				
			指標名	報付	賞金					
			考え方・式		団体の活動資金に	なる。(kg当たり4円)				
					15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
アウト			指標値		25, 143, 668円	16, 274, 714円	18, 373, 53		19,000,000円	19,000,000円
					[25, 145, 000  ] [25, 145, 000  ] [26, 145, 000  ]	10, 214, 114  1	10, 510, 50	2011	13,000,000 1	13, 000, 000  1
指	標		指標名			- 1. 本 物温ルキバラ	-f			・左眼デオがは 目)
			考え方・式						:+拠点回収量+市回収量	
		指 標	年 度			平成16年度(実績)			平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
			指標値	<u> </u>	13.52%	17. 15%	18. 66%	6	19. 00%	19.00%
				• —	部の団体が地域外	のごみを集めていたため	り,平成18年2月	回収分	から,年度当たり80万円	を上限額とした。
芦屋市	の特色	色など補足	足する事項	· 同	意書を提出すれば	, 当該団体外の資源ごみ	を回収できるこ	ととした		
				• 回」	収業者が集団回収	利用各団体から資源ごみ	よを有償で回収	した場合	は、報償金は、交付した	さいこととした。
2 重	坐费.	活動配	分(コスト)	)	VIXED VIXED VI	17/41 11/11/11/20/20/11	1世帯当り(円)			6 平成18.4.1 住民基本台帳
事	<del>大豆</del> 業	費		亚成	15年度(油質)	平成16年度(決算)	平成17年度		平成18年度(予算)	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7
<del>*</del>							十八 1 7 千尺		十八 0 千尺 ( ) 异 )	
	人	件 費			5,094	4,577		2,764	10	
	事	業費	87.1%		26,398	17,315		18,702	18,359	)
		7門経費								
(千円)	減価	「償却費		L						•
	合	計	100.0%		31,492	21,892		21,466		
	国	· 県								
財 源	市	債 等								
(千円)		の他			312	3,776		3,377	2,150	)
(11)		設り財源	84.3%		31,180	18,116		18,089	2,130	
)										
	職	員	100.0%		0.50	0.50		0.30		
		. HO HT I		Ī			Ì			•
配 分 (人)	嘱託	· · · · · · · · <del> </del>			0.50	0.50		0.30		

	曲(チェック)		** T = 1		
評		点		1次評価	2次評価
	目的妥当性(	(2 ~ 2)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	THE SCHE	(2 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
			□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
	,		□ いずれにも該当しない		
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	7	6
	市民ニーズ(	2 ~ 1)	□ コーズが高い □ ニーズが高いとは言えない, または未把握	•	U
性	1020- 7(	۱)	□ 大が高い □ - 大が高い □ - 大が高いには日だない。または木に渡		
			□ 数子でお確している □ 冷却団体142団体 □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
8点	社会環境変化	化(1~ 1)	対象に関わる社会現場の支化に適応している   社会現場の支化にあれせた見直しか必要		
	万十44 50万	Z .htt. / 4 \	1-11		
	優先性,緊急		□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる		
<b>±</b>	対象カバー図		□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~	1)	□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
効	成果の実績(	(2 ~ 1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している◯ 実績値または目標値が未記入	4	4
			→ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	•	•
性	- 成果向上余寸	地(1~ 1)	成果があがっていない場合		
4点	***************************************	,	□ 成果向上策あり □ 特になし		
			☑ 比較できる団体がある 団体名 近隣市 □ 比較できる団体はない		
	単位コスト(1	~ 1)	☑ 他団体の数字を把握している 単位コスト kg当たり報償金 □ 把握していない		
効	一 中 位 コスパ(・	٠,	▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
			高い、または低い場合の理由		
	受益者負担(	(0 ~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
率	文血百只22(	(0 1)	│ → □ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能)	-1	_ 1
<del>'T'</del>			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	- 1	- 1
	<b>Ξ</b> ΕΠ/4 ο	1)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	手段(1~ 3	9)	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点		140/4 4)	☑ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
	コスト削減取	(組(1~ 1)	→ 内容 報奨金1kg当たり6円から4円に変更(H16.2) 上限年額80万円の設定(H18.2)		
平成1	6年度の評	产価 内容	一		
/ 評価が	改善のがない場合は	力 PP(性 記載不要)	□ □ □ MH □ 以晋したか,効未かな □ ねか。 ■		
( пт тщ /3	7 & V 1 7 10 10 1	10 =% 1 · 54 /	□ B 性 □ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆		В
			・未活動団体の抹消 ・登録団体であるが,数年間活動していな 評価	В	В
平成	18年	度に	・未活動団体の抹消 ・登録団体であるが,数年間活動していな <b>評価 改善</b> い団体 (約30団体) は,意向調査後,抹消	В	В
平 成 実 施 (	1 8 年 する改 必 須	善内容	・未活動団体の抹消・登録団体であるが、数年間活動していない。評価	В	Б
実 施 (	する改善必須	善内容	・未活動団体の抹消 ・登録団体であるが,数年間活動していな <b>評価 改善</b> い団体 (約30団体) は,意向調査後,抹消	В	Б
実 施 (	する改	善内容	・未活動団体の抹消         ・登録団体であるが、数年間活動していない。         ・登録団体であるが、数年間活動していない。         ・登録団体であるが、数年間活動していない。         ・登録団体であるが、数年間活動していない。         ・登録団体であるが、数年間活動していない。         ・支援・はい団体(約30団体)は、意向調査後、抹消しまする。	В	Б
実 施 (	する改善必須	善内容	・未活動団体の抹消 ・登録団体であるが,数年間活動していな <b>評価 改善</b> い団体 (約30団体) は,意向調査後,抹消	В	Б
実施       5 今後	する改善必須	善内容() () () () () () () () () () () () () (	・未活動団体の抹消         ・登録団体であるが、数年間活動していない。         ・登録団体であるが、数年間活動していない。         ・登録団体であるが、数年間活動していない。         ・登録団体であるが、数年間活動していない。         ・登録団体であるが、数年間活動していない。         ・支援・はい団体(約30団体)は、意向調査後、抹消しまする。	В	Б
実施       5 今後	する改 必 多の対応(ア	善内容() () () () () () () () () () () () () (	・未活動団体の抹消         ・登録団体であるが、数年間活動していない。         ・登録団体であるが、数年間活動していない。         ・登録団体であるが、数年間活動していない。         ・登録団体であるが、数年間活動していない。         ・登録団体であるが、数年間活動していない。         ・支援・はい団体(約30団体)は、意向調査後、抹消しまする。	В	Б
実       5     今後       現     由	する改 必 多の対応(ア	善内 容 ) クション) ハる 課 題	・未活動団体の抹消  ・登録団体であるが、数年間活動していな 評価  ・登録団体であるが、数年間活動していな 評価  い団体 (約30団体) は、意向調査後、抹消 する。  ・業者基地の場所、回収頻度等により、業者の回収価格にバラツキがある。	В	В
実       5     今後       現     由	する改善の対応(アクロの対応(アクロの対応)の対応(アクロの対応)の対応(アクロの対応)の対応(アクロの対応)を表している。	善善内容) クション) る課題 係者の名称	・未活動団体の抹消  ・養縁団体であるが、数年間活動していな  で書  内容  ・登録団体であるが、数年間活動していな い団体 (約30団体) は、意向調査後、抹消 する。  ・業者基地の場所、回収頻度等により、業者の回収価格にバラツキがある。	В	В
実施       5 今後       現在       市民,関	する改善の対応(アクロの対応(アクロの対応)の対応(アクロの対応)の対応(アクロの対応)の対応(アクロの対応)を表している。	善内 容 ) クション) ハる 課 題	・未活動団体の抹消  ・養縁団体であるが、数年間活動していな  で書  内容  ・登録団体であるが、数年間活動していな い団体 (約30団体) は、意向調査後、抹消 する。  ・業者基地の場所、回収頻度等により、業者の回収価格にバラツキがある。	В	В
実5分現市市たでで<	する 改 多 参の対応(ア/ 認識してい 原格者 市民,関係 意見	善り クション) は ままの名称 要望 内容 は できまる は に できまる は できまる は に に できまる は に できまる は に に できまる は に に できまる は に に できまる は に に できまる は に に に できまる は に に できまる は に に に に に に に に に に に に に に に に に に	・未活動団体の抹消  ・養縁団体であるが、数年間活動していな  で書  内容  ・登録団体であるが、数年間活動していな い団体 (約30団体) は、意向調査後、抹消 する。  ・業者基地の場所、回収頻度等により、業者の回収価格にバラツキがある。		
実5分現市市たでで<	する 改 多 参の対応(ア/ 認識してい 原格者 市民,関係 意見	善善内容) クション) る課題 係者の名称	・未活動団体の抹消  ・養縁団体であるが、数年間活動していない関係  ・登録団体であるが、数年間活動していない  ・関係  ・対域  ・対域  ・教者  ・教者  ・業者  基地の場所、回収頻度等により、業者の回収価格にバラツキがある。		
実5分現市市たでで<	する 改 須 変 数 の対応(アクロ ) で の対応(アクロ ) で に の で に の の で に の の で に の の で に の で	善り クション) は ままの名称 要望 内容 は できまる は にもま にもま にもま にもま にもまる は にもま にもま にもま にもま にもま にもま にもま にもま にもま にもま	・来活動団体の抹消  ・登録団体であるが、数年間活動していない関係 (対別の団体) は、意向調査後、抹消しているでする。  ・業者基地の場所、回収頻度等により、業者の回収価格にバラツキがある。  ・平成17年12月に資源ごみ回収業者一覧表を作成し、回収価格を地域住民各団体に周知をしたが、回収することで、他社との比較を促し、回収価格のアップを図る。		
実5分現市市たでで<	す必 改 で の対応(アインの対応) で の対応(アインの対応) で の対応(アインの対応) で の対応 で の対応 で の対応 で の対応 で のがで のがで のがで のがで のがで のがで のがで のがで のがで の	善う カション) (系 要 対応 期限 を 対 定施期 を 対 に の 内 を を 対 に の の の の の の の の の の の の の の の の の の	・来活動団体の抹消  ・登録団体であるが、数年間活動していない関係 (対別の団体) は、意向調査後、抹消しているでする。  ・業者基地の場所、回収頻度等により、業者の回収価格にバラツキがある。  ・平成17年12月に資源ごみ回収業者一覧表を作成し、回収価格を地域住民各団体に周知をしたが、回収することで、他社との比較を促し、回収価格のアップを図る。		
実( 5 今 在 展 の 望	す必 改 で の対応(アインの対応) で の対応(アインの対応) で の対応(アインの対応) で の対応 で の対応 で の対応 で の対応 で のがで のがで のがで のがで のがで のがで のがで のがで のがで の	善り カック ファイン ままり はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい	・来活動団体の抹消  ・登録団体であるが、数年間活動していない関係 (対別の団体) は、意向調査後、抹消しているでする。  ・業者基地の場所、回収頻度等により、業者の回収価格にバラツキがある。  ・平成17年12月に資源ごみ回収業者一覧表を作成し、回収価格を地域住民各団体に周知をしたが、回収することで、他社との比較を促し、回収価格のアップを図る。		
実( 5 今 在 展 の 望	す必 をの対応(アイ 認識 してい 間係者 意見, (1)	善う カション) (系 要 対応 期限 を 対 定施期 を 対 に の 内 を を 対 に の の の の の の の の の の の の の の の の の の	・来活動団体の抹消 ・登録団体であるが、数年間活動していない団体 (約30団体) は、意向調査後、抹消する。 ・業者基地の場所、回収頻度等により、業者の回収価格にバラツキがある。 ・平成17年12月に資源ごみ回収業者一覧表を作成し、回収価格を地域住民各団体に周知をしたが、回収することで、他社との比較を促し、回収価格のアップを図る。 平成 18 年 月		
実 (	す必 をの対応(アイ 認識 してい 間係者 意見, (1)	善事 クション 課 名 の 内 内 期 内 期 下 東 が 実施 で 取 で 取 で 取 で 取 で 取 で 取 で 取 で 取 で 取 で	・来活動団体の抹消 ・登録団体であるが、数年間活動していない団体 (約30団体) は、意向調査後、抹消する。 ・業者基地の場所、回収頻度等により、業者の回収価格にバラツキがある。 ・平成17年12月に資源ごみ回収業者一覧表を作成し、回収価格を地域住民各団体に周知をしたが、回収することで、他社との比較を促し、回収価格のアップを図る。 平成 18 年 月		
実 (	す必 をの対応(アイ 認識 してい 間係者 意見, (1)	善う クション 課の内内期内 の内内期内 の内の期内 の内ののののののののです。 のののののでする。 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	・来活動団体の抹消 ・登録団体であるが、数年間活動していない団体 (約30団体) は、意向調査後、抹消する。 ・業者基地の場所、回収頻度等により、業者の回収価格にバラツキがある。 ・平成17年12月に資源ごみ回収業者一覧表を作成し、回収価格を地域住民各団体に周知をしたが、回収することで、他社との比較を促し、回収価格のアップを図る。 平成 18 年 月		
実 (	す必 をの対応(ア/ 認識 市民,関 意見, (1)	善事 クション 課 名 の 内 内 期 内 期 下 東 が 実施 で 取 で 取 で 取 で 取 で 取 で 取 で 取 で 取 で 取 で	・未活動団体の抹消       ・登録団体であるが、数年間活動していない団体 (約30団体) は、意向調査後、抹消する。         ・業者基地の場所、回収頻度等により、業者の回収価格にバラツキがある。         ・平成17年12月に資源ごみ回収業者一覧表を作成し、回収価格を地域住民各団体に周知をしたが、回収することで、他社との比較を促し、回収価格のアップを図る。         平成       年       月		
実 (	す必 をの対応(ア/ 認識 市民,関 意見, (1)	善う かっこう はい かっこう はい かっこう はい かっこう はい かっち かっち かっち かっち かっち かっち かっち かっち かっち かっち	・未活動団体の抹消       ・登録団体であるが、数年間活動していない団体 (約30団体) は、意向調査後、抹消する。         ・業者基地の場所、回収頻度等により、業者の回収価格にバラツキがある。         ・平成17年12月に資源ごみ回収業者一覧表を作成し、回収価格を地域住民各団体に周知をしたが、回収することで、他社との比較を促し、回収価格のアップを図る。         平成       年       月		
実	す必 (ア/ の対応 (ア/ の対応 (ア/ の対応 (ア/ の対応 (ア/ の対応 (ア/ の形 の で の で の で の で の で の で の で の で の で	善う かっこう (	・未活動団体の抹消       ・登録団体であるが、数年間活動していない団体 (約30団体) は、意向調査後、抹消する。         ・業者基地の場所、回収頻度等により、業者の回収価格にバラツキがある。         ・平成17年12月に資源ごみ回収業者一覧表を作成し、回収価格を地域住民各団体に周知をしたが、回収することで、他社との比較を促し、回収価格のアップを図る。         平成       年       月		
実       5 今名       現 市か要       課 へ       そ       そ	す必 をの対応(ア/ 認識 市民,関 意見, (1)	善う かっこう (	・未活動団体の抹消       ・登録団体であるが、数年間活動していない団体 (約30団体) は、意向調査後、抹消する。         ・業者基地の場所、回収頻度等により、業者の回収価格にバラツキがある。         ・平成17年12月に資源ごみ回収業者一覧表を作成し、回収価格を地域住民各団体に周知をしたが、回収することで、他社との比較を促し、回収価格のアップを図る。         平成       年       月		
実       5 今名       現 市か要       課 へ       そ       そ	す必 が	善う かっこう (	・来活動団体の抹消 ・登録団体であるが、数年間活動していな 改善 い団体 (約30団体) は、意向調査後、抹消 する。  ・業者基地の場所、回収頻度等により、業者の回収価格にバラツキがある。  ・平成17年12月に資源ごみ回収業者一覧表を作成し、回収価格を地域住民各団体に周知をしたが、回収することで、他社との比較を促し、回収価格のアップを図る。  平成 年 月  平成 年 月	2業者に	も周知
実       5 今名       現 市か要       課 へ       そ       そ	す必 が	善う かっこう (	・ 未活動団体の抹消         改善内容       ・登録団体であるが、数年間活動していない団体(約30団体)は、意向調査後、抹消する。         ・業者基地の場所、回収頻度等により、業者の回収価格にバラツキがある。         ・平成17年12月に資源ごみ回収業者一覧表を作成し、回収価格を地域住民各団体に周知をしたが、回収することで、他社との比較を促し、回収価格のアップを図る。         平成       年       月         平成       年       月         平成       年       月         今後の方向性	2業者に	も周知
実       5 今名       現 市か要       課 へ       そ       そ	す必 が	善う かっこう (	・ 未活動団体の抹消	1次評価	も周知
実       5 今名       現 市か要       課 へ       そ       そ	す必 が	善う かっこう (	・	1次評価 ○ ●	2次評価○
実(     5     現市か要       課へ     そ改	す必 対応 (ア/ い 改 ) (ア/ い で	善うなののである。  「いいのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	課題       ・ 差録団体であるが、数年間活動していな 内容         ・業者基地の場所、回収頻度等により、業者の回収価格にバラツキがある。         ・平成17年12月に資源ごみ回収業者一覧表を作成し、回収価格を地域住民各団体に周知をしたが、回収することで、他社との比較を促し、回収価格のアップを図る。         平成       年       月         平成       年       月         平成       年       月         ・地域の活動資金にもなっているので、事業を継続し、ごみの減量化と再資源化を図る。       今後の方向性 拡大・充実 現状維持方法改善	1次評価 ○ ●	<b>2次評価</b> ○ ●
実(     5     現市か要       課へ     そ改	す必 が	善うなののである。  「いいのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	・未活動団体の抹消       ・登録団体であるが、数年間活動していなり書面を終り、抹消りである。         ・業者基地の場所、回収頻度等により、業者の回収価格にバラツキがある。         ・平成17年12月に資源ごみ回収業者一覧表を作成し、回収価格を地域住民各団体に周知をしたが、回収することで、他社との比較を促し、回収価格のアップを図る。         平成       年       月         平成       年       月         ・地域の活動資金にもなっているので、事業を継続し、ごみの減量化と再資源化を図る。       今後の方向性	1次評価 ○ ● ○	2次評価 ○ ●
実(     5     現市か要       課へ     そ改	す必 対応 (ア/ い 改 ) (ア/ い で	善うなののである。  「いいのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	・ 未活動団体の抹消	1次評価 ○ ● ○	2次評価 ○ ○ ○
実(     5     現市か要       課へ     そ改	す必 対応 (ア/ い 改 ) (ア/ い で	善うなののである。  「いいのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	・ 未活動団体の抹消	1次評価 ○ ○ ○ ○	2次評価 ○ ○ ○
実(     5     現市か要       課へ     そ改	す必 対応 (ア/ い 改 ) (ア/ い で	善うなののである。  「いいのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	・ 未活動団体の抹消	1次評価 ○ ○ ○ ○	2次評価 ○ ○ ○
実(     5     現 市か要     課 へ     そ改     平       6     展ら     題のの     の     他の       7     一次の望     要がり     他の	す必 対応 (ア/ い 改 ) (ア/ い で	善う から いっぱ いっぱ いっぱ いっぱ いっぱ いっぱ いっぱ いっぱ いっぱ いっぱ	・表活動団体の抹消       ・登録団体であるが、数年間活動していない団体 (約30団体)は、意向調査後、抹消する。         ・業者基地の場所、回収頻度等により、業者の回収価格にバラツキがある。         ・平成17年12月に資源ごみ回収業者一覧表を作成し、回収価格を地域住民各団体に周知をしたが、回収である。         平成       年       月         平成       年       月         平成       年       月         ・地域の活動資金にもなっているので、事業を継続し、ごみの減量化と再資源化を図る。       今後の方向性拡大・充実現状維持方法改善長間委託等が、協会/終期設定廃止 / 休止         ・地域の活動資金にもなっているので、事業を継続し、ごみの減量化と再資源化を図る。       ・本度限         療止 / 休止	1次評価 ○ ○ ○ ○	2次評価 ○ ○ ○

( —	股 事	業)	事業	コード	13100	030			ž	部 長)	<u>欠</u>	長課	長
`		,							ľ				
平瓦	艾 17 年	丰度	事	業名	<b>発集</b>	物の減量・資源化は	産進事業(ごみの分別・処	埋)					
1	事業	概要	要(ドゥ)									<u> </u>	
				りの目標	1	活気あふれる豊か	な生活環境づくり		Π,	M	生活環境	部	
	合 計	_		<del>中</del>	-	環境適合型社会の				所 管 課	景境処理	センター	
政	策施	,策	,	<u>/</u> \	1	環境への負荷の低	減		F	所管課長氏名	石濱正明	77	
体		系	;	細					į	記入者氏名	山中辰則	IJ	
事		業	期	間	1938	8年(S13)4月から	経常臨時	☑ 経常 □ 臨時	7	電話番号	0797-32	-5391	内線 2697
根	拠	法	令 , 身	更綱 等	廃掃	· · · · · · · · · · · · · ·	び適正処理に関する条			実施主体			
実		施	手	法		直営	☑ 一部委託	□ 全部委託		□補助金		負担金	
委			託	先		外郭団体委託	名称	[ V	民間多	委託 委託 内容	ごみのタ	分別,処理	Į.
					・不清	法投棄された廃家	電4品目(テレビ・エア						
事	業	Ě	の	概 要	家電	リサイクル法に基	づき,適正に処理する。						
					• 廃	家電4品目は,家電	直リサイクル法に基づく	リサイクル料金を支	び払わ	れているか、記載	載された	機種と現品	品が合って
事	業	¥	の	現 状	いる	か確認のうえ、収	集運搬手数料を徴収し,	委託業者が再商品の	化施設	設へ搬送する。			
	E	目的実	実現のため	の	,	ごみステーション	: 環境処理センターだ	が管理するため,対象	象者だ	が特定できない場	合,徵顺	又不能	
	手	F段及	ひ実施内	容	4	宅地, 道路, 公園	等:不法投棄場所の管理	里者がリサイクル料会	金, =	手数料を支払うた	. め、徴収	又可能	
				指標 名	不	法投棄件数(廃家	電4品目以外も含む。)						
			結果指標	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(実績	責)	平成18年度(	目標)	平成195	年度(目標)
			(1)	指標値		606	204	172					
アウ	トプ	ット		単位コスト		_	_	_		_			_
指		標		指標 名	廃	家電4品目不法投棄	<b>美台数</b>						
			結果指標	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(実績	責)	平成18年度(	目標)	平成194	年度(目標)
			(2)	指標値		_	_	_		_			_
				単位コスト		_	_	_		_			_
2	事業	.成身	果(アウト	<u> カム)</u>									
			対	免	· 不	法投棄をした市民							
		L											
		-		バー率			不明 <b>受益数</b>	(b)		比 率 (b ÷	- a) %		
	美の目 象・意	-		バー率	対象	<mark>そ数 (a)</mark>	不明 受益数	(b)		比率 (b ÷	- a) %		
		意図	意	バ - 率 図	対象		不明 受益数	(b)		比率 (b÷	- a) %		
		意図	意	バー率	対象	<mark>そ数 (a)</mark>	不明 受益数	(b)		比率 (b ÷	- a) %		
対象	象 · 意	意 図 :	意 (対象を主	バ - 率 図 E語にして)	<mark>対 象</mark> ・市	き数 (a)	不明 <mark>受益数</mark> 電の減少	. ,		比率 (b ÷	- a) %		
		意 図 :	意	バ - 率 図 E語にして)	<mark>対 象</mark> ・市	き数 (a)	不明 受益数	. ,	0	比率 (b ÷	- a) %		
対象	象 · 意	意 図 :	意 (対象を主	バー 率 図 E語にして) 目 的	<mark>対 象</mark> ・市(	表数 (a) 内の不法投棄廃家 民等のモラルの向	不明 <mark>受益数</mark> 電の減少 上を図り,不法投棄を減	. ,		比率 (b÷	- a) %		
対象	象 · 意	意図	意 (対象を主	バー 率 図 E語にして) 目 的 指標名	<mark>対 象</mark> ・市I ・市I	表数 (a) 内の不法投棄廃家 民等のモラルの向 法投棄廃家電4品目	不明 <mark>受益数</mark> 電の減少 上を図り,不法投棄を減 目台数	. ,		比率 (b÷	- a) %		
対象	象 · 意	意図	意 (対象を主 な 中間成果	バー 率 図 E語にして) 目 的 指標名 考え方・式	<b>対 象</b> ・市I ・市I 不不	表数(a) 内の不法投棄廃家 民等のモラルの向 法投棄廃家電4品E 法投棄された廃家	不明 <mark>受 益 数</mark> 電の減少 上を図り,不法投棄を減 日台数 電4品目を処理する。	載らし,環境を守る。				W. C. 1 . 0 . 1	左 庇 / 口 壎 丶
大	<b>を</b> ・ 意	意 図 意	意 (対象を主 な 中間成果 指 標	バー 率 図 E語にして) 目 的 指標 名式 年度	対象         ・市         ・市         不         不         平成	表数(a) 内の不法投棄廃家 民等のモラルの向 法投棄廃家電4品目 法投棄された廃家 15年度(実績)	不明 <mark>受益数</mark> 電の減少 上を図り、不法投棄を減 日台数 電4品目を処理する。 平成16年度(実績)	或らし,環境を守る。 平成17年度(実績		平成 1 8 年度 (			<b>年度(目標)</b>
対 ( )	象 · 意		意 (対象を主 な 中間成果 指	ボー 率     図て)       自     指ええ 標       指表年 標	対象         ・市         ・市         不         不         平成	表数(a) 内の不法投棄廃家 民等のモラルの向 法投棄廃家電4品目 法投棄された廃家 15年度(実績) 3台	不明 <mark>受益数</mark> 電の減少 上を図り、不法投棄を減 日台数 電4品目を処理する。 平成16年度(実績) 4台	載らし,環境を守る。					<b>年度(目標)</b> 2台
大	<b>を</b> ・ 意	意 図 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	意 (対象を主な 中間成果	ボー を 図 が 名式度値名	対象         ・市         ・市         ・市         不         平成         粗	表数(a) 内の不法投棄廃家 民等のモラルの向 法投棄廃家電4品目 法投棄された廃家 15年度(実績) 3台 大ごみ,一時多量	不明 <mark>受益数</mark> 電の減少 上を図り、不法投棄を減る 自台数 電4品目を処理する。 平成16年度(実績) 4台 ごみ発生量	或らし,環境を守る。 <mark>平成17年度(実績</mark> 2台	責)	<b>平成18年度(</b> 2台	目標)		2台
対 ( )	<b>を</b> ・ 意	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	意 (対象を主 な 中間成果 指 標 最終成果	ボー を 図 が 的 名式度値名式	<ul><li>対象</li><li>・市</li><li>・市</li><li>不不不</li><li>平成</li><li>粗</li><li>廃家</li></ul>	表数(a) 内の不法投棄廃家 民等のモラルの向 法投棄廃家電4品目 法投棄された廃家 15年度(実績) 3台 大ごみ,一時多量 家電4品目が市に持ち	不明 <mark>受 益 数</mark> 電の減少 上を図り、不法投棄を減 自台数 電4品目を処理する。 <mark>平成 1 6 年度(実績)</mark> 4台 ごみ発生量 込まれず、市全体粗大ごみ	或らし,環境を守る。 平成17年度(実績 2台 全量が減少する。〔H11	<b>責)</b>	<mark>平成18年度(</mark> 2台 471トン、H12 1,63	<mark>目標)</mark> 70トン (F	112年度市収	2台 (集処理) ]
対 ( )	<b>を</b> ・ 意	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	意 (対象を主 な 中間成果 標 最終成果 指	ボー し	対象         ・市         ・市         不不         平成         程         平成	表数 (a) 内の不法投棄廃家 民等のモラルの向 法投棄廃家電4品目 法投棄された廃家 15年度(実績) 3台 大ごみ,一時多量 家電4品目が市に持ち 15年度(実績)	不明 <b>受益数</b> 電の減少 上を図り、不法投棄を減 合数 電4品目を処理する。 平成16年度(実績) 4台 ごみ発生量 込まれず、市全体粗大ごる <b>平成16年度(実績)</b>	或らし、環境を守る。 平成17年度(実績 2台 →量が減少する。〔H11 平成17年度(実績	<b>責)</b>	平成 1 8 年度 ( 2台 471トン, H12 1,67 平成 1 8 年度 (	<mark>目標)</mark> 70トン (F	I12年度市収 <mark>平成19</mark> 3	2台 Z集処理)〕 <b>年度(目標)</b>
対 ( )	<b>を</b> ・ 意	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	意 (対象を主 な 中間成果 標 最終成果 指	ボー を 図 が 的 名式度値名式	対象         ・市         ・市         不不         平成         粗度         平成	表数(a) 内の不法投棄廃家 民等のモラルの向 法投棄廃家電4品目 法投棄された廃家 15年度(実績) 3台 大ごみ,一時多量 家電4品目が市に持ち 15年度(実績) 411トン	不明 <b>受益数</b> 電の減少 上を図り、不法投棄を減 音台数 電4品目を処理する。 平成16年度(実績) 4台 ごみ発生量 込まれず、市全体粗大ごみ <b>平成16年度(実績)</b> 392トン	或らし、環境を守る。 平成17年度(実績 2台 →量が減少する。 [H11 平成17年度(実績 531トン	<b>責)</b>	<mark>平成18年度(</mark> 2台 471トン、H12 1,63	<mark>目標)</mark> 70トン (F	I12年度市収 <mark>平成19</mark> 3	2台 (集処理) ]
対 大 ア指	き 	ま ム標	意 (対象を主 な 中間 成果標 最終成標	ボー し	対象         ・市         ・市         不不不可以         粗定         平成         ・不可以	表数(a) 内の不法投棄廃家 民等のモラルの向 法投棄廃家電4品目 法投棄された廃家 15年度(実績) 3台 大ごみ、一時多量 京電4品目が市に持ち 15年度(実績) 411トン 法投棄の家電4品目	不明 受益数 電の減少 上を図り、不法投棄を減 音台数 電4品目を処理する。 平成16年度(実績) 4台 ごみ発生量 込まれず、市全体粗大ごみ 平成16年度(実績) 392トン ほは、他市に比べ非常に	或らし、環境を守る。 平成17年度(実績 2台 →量が減少する。 [H11 平成17年度(実績 531トン 少ない。	責 <b>)</b> 2,4	平成 1 8 年度 ( 2台 471トン, H12 1,67 平成 1 8 年度 ( 400トン	目標) 70トン (F 目標)	112年度市収 <mark>平成194</mark> 40	2台 (集処理)〕 <b>年度(目標)</b> 10トン
対 大 ア指	き 	ま ム標	意 (対象を主 な 中間 成果標 最終成標	ボー し	対象         ・市         ・市         不不不可以         粗定         平成         ・不可以	表数(a) 内の不法投棄廃家 民等のモラルの向 法投棄廃家電4品目 法投棄された廃家 15年度(実績) 3台 大ごみ、一時多量 京電4品目が市に持ち 15年度(実績) 411トン 法投棄の家電4品目	不明 <b>受益数</b> 電の減少 上を図り、不法投棄を減 日台数 電4品目を処理する。 平成16年度(実績) 4台 ごみ発生量 込まれず、市全体粗大ごみ <b>平成16年度(実績)</b> 392トン	或らし、環境を守る。 平成17年度(実績 2台 →量が減少する。 [H11 平成17年度(実績 531トン 少ない。	責 <b>)</b> 2,4	平成 1 8 年度 ( 2台 471トン, H12 1,67 平成 1 8 年度 ( 400トン	目標) 70トン (F 目標)	112年度市収 <mark>平成194</mark> 40	2台 (集処理)〕 <b>年度(目標)</b> 10トン
対 大 ア指 声	きりたが、意味を表れています。	意 图	意 (対象を主 な の の は の は の は の は れ に れ に れ に れ に れ に れ に れ に れ に れ に れ	ボー して	対象         ・市         ・市         ・市         ・市         不不成         型成         ・不不         ・不不         ・不不	表数(a) 内の不法投棄廃家 民等のモラルの向 法投棄廃家電4品目 法投棄された廃家 15年度(実績) 3台 大ごみ、一時多量 京電4品目が市に持ち 15年度(実績) 411トン 法投棄の家電4品目	不明 受益数 電の減少 上を図り、不法投棄を減 音台数 電4品目を処理する。 平成16年度(実績) 4台 ごみ発生量 込まれず、市全体粗大ごみ 平成16年度(実績) 392トン ほは、他市に比べ非常に	或らし、環境を守る。 <b>平成17年度(実績</b> 2台  →量が減少する。 [H11 <b>平成17年度(実績</b> 531トン  少ない。 ,電機商業組合芦屋	<b>責)</b> 2,4 <b>責)</b>	平成18年度( 2台 471トン、H12 1,67 平成18年度( 400トン 3 (16社) に引き	<mark>目標)</mark> 70トン (F <b>目標)</b> 取っても	II2年度市収 <mark>平成193</mark> 40 らっている	2台 (集処理)] <b>年度(目標)</b> 10トン る。
対 大 ア指 声 3	きりたが、意味を表れています。	意図という特色の大標のできます。	意(対象を主) な間は、成成成成成成成成が、 は動配に 活動配	ボー を 図 の と 式度値名式度値 項 ト	対象         ・市         ・市         不不不         平成         平成         ・不不         ・不不	表数(a) 内の不法投棄廃家 民等のモラルの向 法投棄廃家電4品目法投棄された廃家 15年度(実績) 3台 大ごみ、一時多量 家電4品目が市に持ち 15年度(実績) 411トン 法投棄の家電4品目 法投棄以外の廃家	不明 受益 数 電の減少 上を図り、不法投棄を減 音台数 電4品目を処理する。 平成16年度(実績) 4台 ごみ発生量 込まれず、市全体粗大ごみ 平成16年度(実績) 392トン 3は、他市に比べ非常に 電4品目は、原則として	或らし、環境を守る。 <b>平成17年度(実績</b> 2台 <b>全量が減少する。 (H11 平成17年度(実績</b> 531トン  少ない。 ,電機商業組合芦屋  1世帯当り(円)	<b>責)</b> 2,4 <b>責)</b>	平成18年度( 2台 471トン、H12 1,65 平成18年度( 400トン 3(16社)に引き 住民1人当り(円)	<mark>目標)</mark> 70トン (F 目標) 取っても	II2年度市収 <mark>平成193</mark> 40 らっている	2台 (集処理)〕 <b>年度(目標)</b> 10トン
対 大 ア指 声	また。意からなり、またのでは、またの	意図 ム標 特 産業	意(対象を主) な 中指 最終 成標 と 活動配費	ボー して	対象         ・市口         ・市口         ・市口         ・市口         ・市口         ・市口         ・市口         ・市口         ・中成         ・不不         ・不不         ・不         ・不         ・不         ・不         ・ 下<	表数(a) 内の不法投棄廃家 民等のモラルの向 法投棄廃家電4品目法投棄された廃家 15年度(実績) 3台 大ごみ、一時多量 家電4品目が市に持ち 15年度(実績) 411トン 法投棄の家電4品目 法投棄以外の廃家	不明 受益 数 電の減少 上を図り、不法投棄を減 音4数 電4品目を処理する。 平成16年度(実績) 4台 ごみ発生量 込まれず、市全体粗大ごみ 平成16年度(実績) 392トン 392トン は、他市に比べ非常に 電4品目は、原則として 平成16年度(決算)	表記 1 7 年度 (実績 2台 2台 2 日本 1 7 年度 (実績 2 日本 1 7 年度 (実績 531 トン 少ない。 電機商業組合	2,44	平成18年度( 2台 471トン、H12 1,67 平成18年度( 400トン 3 (16社) に引き	<mark>目標)</mark> 70トン (F 目標) 取っても	II2年度市収 <mark>平成193</mark> 40 らっている	2台 (集処理)] <b>年度(目標)</b> 10トン る。
対 大 ア指 声 る	また また また また また また また また また また また また また ま	意 図 ム標 サード サイド サイド サイド サイド サイド サイド サイド サイド サイド サイ	意(対な 中指 最指 な <b>活動</b> 費費	ボー 率 図で	対象         ・市口         ・市口         ・市口         ・市口         ・市口         ・市口         ・市口         ・市口         ・中成         ・不不         ・不不         ・不         ・不         ・不         ・不         ・ 下<	表数(a) 内の不法投棄廃家 民等のモラルの向 法投棄廃家電4品目 法投棄された廃家 15年度(実績) 3台 大ごみ、一時多量 家電4品目が市に持ち 15年度(実績) 411トン 法投棄の家電4品目 法投棄の家電4品目 法投棄以外の廃家	不明 受益数 電の減少 上を図り、不法投棄を減 音台数 電4品目を処理する。 平成16年度(実績) 4台 ごみ発生量 込まれず、市全体粗大ごろ 平成16年度(実績) 392トン は、他市に比べ非常に 電4品目は、原則として 平成16年度(決算) 1,195	或らし、環境を守る。 <b>平成17年度(実績</b> 2台 <b>全量が減少する。 (H11 平成17年度(実績</b> 531トン  少ない。 ,電機商業組合芦屋  1世帯当り(円)	2,44	平成18年度( 2台 471トン、H12 1,65 平成18年度( 400トン 3(16社)に引き 住民1人当り(円)	目標) 70トン (E目標) 取っても 16 予算)	II2年度市収 <mark>平成193</mark> 40 らっている	2台 (集処理)] <b>年度(目標)</b> 10トン る。
対 大 ア指 万 万 万 1 万 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	・	意 と カ 特 費 業 人事	意(対な 中指 最指 な <b>活 件業</b> 果標 果標	ボー 率 図で	対象         ・市口         ・市口         ・市口         ・市口         ・市口         ・市口         ・市口         ・市口         ・中成         ・不不         ・不不         ・不         ・不         ・不         ・不         ・ 下<	表数(a) 内の不法投棄廃家 民等のモラルの向 法投棄廃家電4品目法投棄された廃家 15年度(実績) 3台 大ごみ、一時多量 家電4品目が市に持ち 15年度(実績) 411トン 法投棄の家電4品目 法投棄以外の廃家	不明 受益 数 電の減少 上を図り、不法投棄を減 音4数 電4品目を処理する。 平成16年度(実績) 4台 ごみ発生量 込まれず、市全体粗大ごみ 平成16年度(実績) 392トン 392トン は、他市に比べ非常に 電4品目は、原則として 平成16年度(決算)	表記 1 7 年度 (実績 2台 2台 2 日本 1 7 年度 (実績 2 日本 1 7 年度 (実績 531 トン 少ない。 電機商業組合	2,44	平成18年度( 2台 471トン、H12 1,65 平成18年度( 400トン 3(16社)に引き 住民1人当り(円)	<mark>目標)</mark> 70トン (F 目標) 取っても	II2年度市収 <mark>平成193</mark> 40 らっている	2台 (集処理)] <b>年度(目標)</b> 10トン る。
対 大 ア指 声 3 事 内	************************************	意 図 ム標 5 大事他	意(対な 中指 最指 と 活 件 業門 作業 経 を 対 を 対 を が が は か で で で で で で で で で で で で で で で で で で	ボー 率 図で	対象         ・市口         ・市口         ・市口         ・市口         ・市口         ・市口         ・市口         ・市口         ・中成         ・不不         ・不不         ・不         ・不         ・不         ・不         ・ 下<	表数(a) 内の不法投棄廃家 民等のモラルの向 法投棄廃家電4品目 法投棄された廃家 15年度(実績) 3台 大ごみ、一時多量 家電4品目が市に持ち 15年度(実績) 411トン 法投棄の家電4品目 法投棄の家電4品目 法投棄以外の廃家	不明 受益数 電の減少 上を図り、不法投棄を減 音台数 電4品目を処理する。 平成16年度(実績) 4台 ごみ発生量 込まれず、市全体粗大ごろ 平成16年度(実績) 392トン は、他市に比べ非常に 電4品目は、原則として 平成16年度(決算) 1,195	表記 1 7 年度 (実績 2台 2台 2 日本 1 7 年度 (実績 2 日本 1 7 年度 (実績 531 トン 少ない。 電機商業組合	2,44	平成18年度( 2台 471トン、H12 1,65 平成18年度( 400トン 3(16社)に引き 住民1人当り(円)	目標) 70トン (E目標) 取っても 16 予算)	II2年度市収 <mark>平成193</mark> 40 らっている	2台 (集処理)] <b>年度(目標)</b> 10トン る。
対 大 ア指 声 3 事 内	ま ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<ul><li>意</li><li>数</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>う</li><li>き</li><li>う</li><li>き</li><li>う</li><li>り</li><li>き</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li></ul>	意(対な 中指 最指 と 活 件業門償 経却	ボー を 図 の の と	対象         ・市         ・市         ・市         不不成         単成         ・不不)         平成	表数(a) 内の不法投棄廃家 民等のモラルの向 法投棄廃家電4品目 法投棄された廃家 15年度(実績) 3台 大ごみ、一時多量 家電4品目が市に持ち 15年度(実績) 411トン 法投棄の家電4品目 法投棄以外の廃家 15年度(決算) 2,631 19	不明 受益数 電の減少 上を図り、不法投棄を減 自台数 電4品目を処理する。 平成16年度(実績) 4台 ごみ発生量 込まれず、市全体粗大ごみ 平成16年度(実績) 392トン は、他市に比べ非常に 電4品目は、原則として 平成16年度(決算) 1,195 13	或らし、環境を守る。 <b>平成17年度(実績</b> 2台  *量が減少する。 [H11 <b>平成17年度(実績</b> 531トン 少ない。 ,電機商業組合芦屋  1世帯当り(円) <b>平成17年度(決</b> 1,4	2,44表	平成18年度( 2台 471トン、H12 1,65 平成18年度( 400トン 3(16社)に引き 住民1人当り(円)	目標) 70トン (E目標) 取っても 16 予算)	II2年度市収 <mark>平成193</mark> 40 らっている	2台 (集処理)] <b>年度(目標)</b> 10トン る。
対 大 ア指 声 3 事 内	ま ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	意 図 一 の標 一 の標 一 の標 一 の標 一 の標 一 の に の に の の に る に の に の に の に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に 。 に る に る に 。 に る に る に 。 に る に 。 に る に 。	意(対な 中指 最指 と 活 件業門償 保標 果標 和 配費費費費費	ボー 率 図で	対象         ・市         ・市         ・市         不不成         単成         ・不不)         平成	表数(a) 内の不法投棄廃家 民等のモラルの向 法投棄廃家電4品目 法投棄された廃家 15年度(実績) 3台 大ごみ、一時多量 家電4品目が市に持ち 15年度(実績) 411トン 法投棄の家電4品目 法投棄の家電4品目 法投棄以外の廃家	不明 受益数 電の減少 上を図り、不法投棄を減 音台数 電4品目を処理する。 平成16年度(実績) 4台 ごみ発生量 込まれず、市全体粗大ごろ 平成16年度(実績) 392トン は、他市に比べ非常に 電4品目は、原則として 平成16年度(決算) 1,195	表記 1 7 年度 (実績 2台 2台 2 日本 1 7 年度 (実績 2 日本 1 7 年度 (実績 531 トン 少ない。 電機商業組合	2,44表	平成18年度( 2台 471トン、H12 1,65 平成18年度( 400トン 3(16社)に引き 住民1人当り(円)	目標) 70トン (F 目標) 取っても 16 予算) - 193 -	II2年度市収 <mark>平成193</mark> 40 らっている	2台 (集処理)] <b>年度(目標)</b> 10トン る。
対 大 ア指 声 3 事 内(	ま ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	意 b カ ウ 費 人事他減 <b>合</b> 国 図	意(対な 中指 最指 と 活 件業門償 ・ 果標 果標 配費費費費費計県	ボー を 図 の の と	対象         ・市         ・市         ・市         不不成         単成         ・不不)         平成	表数(a) 内の不法投棄廃家 民等のモラルの向 法投棄廃家電4品目 法投棄された廃家 15年度(実績) 3台 大ごみ、一時多量 家電4品目が市に持ち 15年度(実績) 411トン 法投棄の家電4品目 法投棄以外の廃家 15年度(決算) 2,631 19	不明 受益数 電の減少 上を図り、不法投棄を減 自台数 電4品目を処理する。 平成16年度(実績) 4台 ごみ発生量 込まれず、市全体粗大ごみ 平成16年度(実績) 392トン は、他市に比べ非常に 電4品目は、原則として 平成16年度(決算) 1,195 13	或らし、環境を守る。 <b>平成17年度(実績</b> 2台  *量が減少する。 [H11 <b>平成17年度(実績</b> 531トン 少ない。 ,電機商業組合芦屋  1世帯当り(円) <b>平成17年度(決</b> 1,4	2,44表	平成18年度( 2台 471トン、H12 1,65 平成18年度( 400トン 3(16社)に引き 住民1人当り(円)	目標) 70トン (F 目標) 取っても 16 予算) - 193 -	II2年度市収 <mark>平成193</mark> 40 らっている	2台 (集処理)] <b>年度(目標)</b> 10トン る。
対 大 ア指 声 3事 内( 財	ます。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	意 为 为 <b>費</b> 業 人事他減 <b>合</b> 国市	意(対な 中指 最指 な <b>活</b> 件業門償 ・債 を ・債 を ・債 を ・債 を ・債 を ・債 を ・債 を ・債	ボー を 図 の の と	対象         ・市         ・市         ・市         不不成         単成         ・不不)         平成	表数(a) 内の不法投棄廃家 民等のモラルの向 法投棄廃家電4品目 法投棄された廃家 15年度(実績) 3台 大ごみ、一時多量 家電4品目が市に持ち 15年度(実績) 411トン 法投棄の家電4品目 法投棄以外の廃家 15年度(決算) 2,631 19	不明 受益数 電の減少 上を図り、不法投棄を減 自台数 電4品目を処理する。 平成16年度(実績) 4台 ごみ発生量 込まれず、市全体粗大ごみ 平成16年度(実績) 392トン は、他市に比べ非常に 電4品目は、原則として 平成16年度(決算) 1,195 13	或らし、環境を守る。 <b>平成17年度(実績</b> 2台  *量が減少する。 [H11 <b>平成17年度(実績</b> 531トン 少ない。 ,電機商業組合芦屋  1世帯当り(円) <b>平成17年度(決</b> 1,4	2,44表	平成18年度( 2台 471トン、H12 1,65 平成18年度( 400トン 3(16社)に引き 住民1人当り(円)	目標) 70トン (F 目標) 取っても 16 予算) - 193 -	II2年度市収 <mark>平成193</mark> 40 らっている	2台 (集処理)] <b>年度(目標)</b> 10トン る。
対 大 ア指 声 3事 内( 財	ま ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	意 と カ ク 費 人事他減合国市そ 図 ム標 色 英 部価	意(対な 中指 最指 な 新 経却 県標 果標 果標 配費費費費費 ( ) ・ ( ) の	ボー 室図で) 的 名式度値名式度値名式度値 項 ト	対象         ・市         ・市         ・市         ・不不成         粗度         平成         ・不不         ・      <	表数(a) 内の不法投棄廃家 民等のモラルの向 法投棄廃家電4品目 法投棄された廃家 15年度(実績) 3台 大ごみ、一時多量 家電4品目が市に持ち 15年度(実績) 411トン 法投棄の家電4品目 法投棄以外の廃家 15年度(決算) 2,631 19	不明 受益数 電の減少 上を図り、不法投棄を減 自台数 電4品目を処理する。 平成16年度(実績) 4台 ごみ発生量 込まれず、市全体粗大ごみ 平成16年度(実績) 392トン は、他市に比べ非常に 電4品目は、原則として 平成16年度(決算) 1,195 13	東京 17年度(実績 2台 2台 本量が減少する。 [H11 平成 17年度(実績 531トン 少ない。 , 電機商業組合	表 2, 4	平成18年度( 2台 471トン、H12 1,65 平成18年度( 400トン 3(16社)に引き 住民1人当り(円)	目標) 70トン (F 目標) 取っても 16 予算) - 193 -	II2年度市収 <mark>平成193</mark> 40 らっている	2台 (集処理)] <b>年度(目標)</b> 10トン る。
対 大 ア指 万 万 万 百 3 事 内(一財千	ます。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	意 と カ う 費業 人事他減合国市そー図	意(対な 中指 最指 な <b>活</b> 件業門償 ・債 を ・債 を ・債 を ・債 を ・債 を ・債 を ・債 を ・債	ボー を 図 の の と	対象         ・市         ・市         ・市         ・不不成         粗度         平成         ・不不         ・      <	表数(a) 内の不法投棄廃家 民等のモラルの向 法投棄廃家電4品目 法投棄をされた廃家 15年度(実績) 3台 大ごみ、一時多量 家電4品目が市に持ち 15年度(実績) 411トン 法投棄の家電4品目 法投棄以外の廃家 15年度(決算) 2,631 19	不明 受益数 電の減少 上を図り、不法投棄を減 音台数 電4品目を処理する。 平成16年度(実績) 4台 ごみ発生量 込まれず、市全体粗大ごみ 平成16年度(実績) 392トン は、他市に比べ非常に 電4品目は、原則として 平成16年度(決算) 1,195 13	或らし、環境を守る。  平成17年度(実績 2台 2台	表 2, 4	平成18年度( 2台 471トン、H12 1,65 平成18年度( 400トン 3(16社)に引き 住民1人当り(円)	目標) 70トン (F 目標) 取っても 16 予算) - 193 -	II2年度市収 <mark>平成193</mark> 40 らっている	2台 (集処理)] <b>年度(目標)</b> 10トン る。
対 大 ア指 声 3事 内( 財	ます。 京	意 と カ う 貴 人事他減合国市そ一職図	意(対な 中指 最指 な 活 件業門償 ・ 債の財 経却 と を	ボー 率 図で) 的 名式度値名式度値名式度値名式度値 項 100.0% 100.0%	対象         ・市         ・市         ・市         ・不不成         粗度         平成         ・不不         ・      <	表数(a) 内の不法投棄廃家 民等のモラルの向 法投棄廃家電4品目 法投棄をされた廃家 15年度(実績) 3台 大ごみ、一時多量 家電4品目が市に持ち 15年度(実績) 411トン 法投棄の家電4品目 法投棄以外の廃家 15年度(決算) 2,631 19 2,650	不明 受益数 電の減少 上を図り、不法投棄を減 音台数 電4品目を処理する。 平成16年度(実績) 4台 ごみ発生量 込まれず、市全体粗大ごみ 平成16年度(実績) 392トン 日は、他市に比べ非常に 電4品目は、原則として 平成16年度(決算) 1,195 13	或らし、環境を守る。  平成17年度(実績 2台 2台	表 2, 4 4 5 1	平成18年度( 2台 471トン、H12 1,65 平成18年度( 400トン 3(16社)に引き 住民1人当り(円)	目標) 70トン (F 目標) 取っても 16 予算) - 193 -	II2年度市収 <mark>平成193</mark> 40 らっている	2台 (集処理)] <b>年度(目標)</b> 10トン る。

	曲(チェック)				
評	価 視	点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
	目的妥当性	(2 - 2)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	D D D D D D	(2 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
			☑ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2~	2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
^	11-120 5 (=	-/	□ いずれにも該当しない		
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	7	6
=	キロー ブ/	'O 4\	□ 「中民」		U
40	市民ニーズ(	2~ 1)		)至	
性			☑ 数字で把握している 不法投棄件数 □ 未把握		
8点	社会環境変	化(1~ 1)	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要	₽	
		<u> </u>	内容。リサイクル対象品目が増えると不法投棄もそれに伴い増える。		
	優先性,緊急		□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる		
	対象カバー図	. ( ,	☑ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~	1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
効	成果の実績	(2 ~ 1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	. 4	4
~/3	ルスペッス点	(2 1)	└▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	.1	-
性	- 成果向上余	<del> </del>	成果があがっていない場合		
4点	一成未问工小	- E(1 1)	□ 成果向上策あり □ 特にな	U I	
			☑ 比較できる団体がある 団体名 近隣市 □ 比較できる団体はない		
	単位コスト(1	4)	☑ 他団体の数字を把握している 単位コスト リサイクル料金 □ 把握していない		
効	1)1人に近年	~ 1)			
			高い、または低い場合の理由		
	52 + 2 D	(0 1)	☑ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
	受益者負担	(0 ~ 1)	□ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能		
率			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	<del>'</del> 0	0
			□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある	3	
	手段(1~ 3	3)	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性			□ 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託, 臨時職員等で対応可能である		
3点			□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない	_	
O,M	コスト削減取	7組(1~ 1)	→ 内容 ごみステーションに捨てられた廃家電品については、警告シールを貼り、啓発を行っている。		
					+
平成 1	6 年 度 の 評	平価 内容	□ A <mark>平成17年度に実</mark> ☑ 改善し,効果を得た		
及び	改善の	方。向一性	評価結果 改善した改善の方向 の 改善したが、効果がな の な善し		
(計1曲力	がない場合は	記載小罢)	A B III III III III III III III III III		
			・ごみの分別と出し方を周知・平成18年6月号環境特集号を作成し、周知徹底を図った。	<sup>洽</sup> B	B
平 成	1 8 年	度に	75 #		
実施	する改必				
(	12 S	其 )			
5 今征	<b></b>	クション)			
J / 1.	Z 02 X 1 I-D- ( )	,,,,	・不法投棄は、投棄された場所の管理者が費用負担し処理することになっているため、放置される	ことがある	
現在意	認識してし	しる 課 題	・平成18年1月に芦屋市不法投棄防止協議会を芦屋警察等の関係機関18団体が不法投棄の現状,相2		
->L III 1		. 6 10/1 102	特定、通報制度などを話し合い、これを継続することにより、実効性のある活動をする必要がある		4 11 42
市民思	係者 市民, 関	(名字の名称		0	
からの		が日の口が			
要望		要望内容			
女主	ਚ				
	(1)	対応内容	・不法投棄をしないよう継続して啓発活動を行う。(環境特集号に掲載)		
	(1)		<b>東京 10 年 10 日</b>		
±m na	; ÷8 %	実施期限	平成 18 年 6 月		
課題·要		対応内容			
	(2)	ch +/r ++0.70	7-A tr		
へのす	XJ NO	実施期限	平成    年    月		
	(0)	対応内容			
	(3)				
		実施期限	平成 年 月		
	考えられる				
改善(	カアイデア				_
			今後の方に		_
			・		0
				持 ○	0
			・不法投棄の未然防止に向けて、市民による日常的な監視と通報、市職員によるパトロールの 方 法 改	善	•
					_
平成 1	9 ~ 2 1 年度	の方向性	強化により、現地調査、排出者の特定等の取組を行う。	<mark>; 等</mark> ○	0
平成 1	9 ~ 2 1 年 度	の方向性		等 小	0
平成1	9~21年度	の方向性	強化により、現地調査、排出者の特定等の取組を行う。 民間委託	小〇	
平成 1	9 ~ 2 1 年度	の方向性	強化により,現地調査,排出者の特定等の取組を行う。 <ul><li>民間委託</li></ul> は	小 设定	0
平成1	9~21年度	の方向性	強化により,現地調査,排出者の特定等の取組を行う。 <ul> <li>民間委託</li> <li>統合/終期</li> <li>廃止/休</li> </ul>	小 設定 ・止 〇	0
	9 ~ 2 1 年度		強化により、現地調査、排出者の特定等の取組を行う。  民間委託 縮 統合/終期調 廃止 / 休  不汁が柔もむさない環境でくりのため、他初末のでストプラクティスにならい関連基機関との連携	小 設定 ・止 〇	0

(一般	事業)	事業	コード	13100	)40			部 長次	長課長					
,	,		<u> </u>											
平成 17	年度	事	業 名	廃棄物	勿の減量・資源化促	『進事業(不燃物の処理)								
1 声 h	<del>!! 1</del> 07 2	<b>亜</b> / じょ \												
		要(ドゥ)	コの日梅	1 4 1	江戸まと ム フ 曲 ふ	お生活理性ぶとり		<u> </u>	<b>汪疊培</b> 郊					
			りの目標			な生活環境づくり			活環境部					
総合			<u>中</u>	<u> </u>	環境適合型社会の			- 1.	境処理センター					
政 策 )			<u>小</u>	1	環境への負荷の低	<b>源</b>			石濱正昭					
体	系		細						山中辰則					
事	業	期			手(S34)から	経常臨時		電話番号	0797-32-5391 内線 2697					
根 拠	法	令 · 弱	要綱 等	廃棄物	<b>勿の処理及び清掃</b>	に関する法律,施行令,	施行規則,容リ法	実施 主体	自治事務					
実	施	手	法		直営	□ 一部委託	☑ 全部委託	□ 補助金	□ 負担金					
委		託	先		外郭団体委託	名称	☑ 民	間委託 <mark>委 託 内 容</mark> 不	燃性廃棄物の選別業務					
				・収集	集又は持込みされ	た不燃性粗大ごみ,燃や	Pさないごみを処理セン	ンターで選別し、スラ	チール缶,アルミ缶,白色ビン,					
事	業	の	概 要	茶色	ごン、その他色の	ビン,ペットボトル, 釒	株類、紙資源などの有信	画物に分けて, 再資源	原化をしている。					
				・有値	西物の再資源化を	行い、資源の有効利用と	こみ量の減量化を図	り、循環型社会の実現	見を行っている。					
事	業	Ø	現 状			. ,		,						
_		実現のため												
		へがまため 及び実施内												
	J PX	人口大肥的												
			指標名	<b>业</b> π.≥	資源, 燃やさない	デカ双化量								
		4± EB +15+E					亚代 1 7 年度 / 安建 >	亚式10年度/日	標) 平成19年度(目標)					
		結果指標				平成 1 6 年度 (実績)	平成17年度(実績)							
<b>-</b>			指標値		2, 199トン	4,027トン	3,939トン	4,000トン	4,000トン					
アウト:			単位コスト		1,779円/トン	17,108円/トン	16,784円/トン	_	_					
指	標		指標名		資源化量		Ī							
		結果指標	年 度	平成	15年度(実績)		平成17年度(実績)	,	, , ,					
		(2)	指標値		1, 188トン	2,851トン	2,958トン	3,000トン	3, 000トン					
			単位コスト	58	8,824円/トン	24, 164円/トン	22, 350円/トン	_	_					
2 事	業成績	果(アウト	<u> </u>											
		対	兔	"7	みを排出する市民									
			バー 率	対象	<mark>.数 (a)</mark> 92	2,674人 <mark>受益数</mark>	(b) 92,674人	比 率 (b ÷	a) % 100					
対象·	意 図			・不燃性粗大ごみ,燃やさないごみ,紙資源を分別して,排出する。										
		意	図	委記	委託業者により、再資源化できる有価物に選別し、再生処理業者により再生処理をすることで資源の再利用とごみ									
		(対象を主	注語にして)	の演	減量化を図る。									
				7.	5. リケ マルン	左 - 白左ばい - 女左ばい	· スのはなのばい。	。1 <del>11</del> 1 11	如次派 かじの 左 年 軸 の 玉次					
大	き	な	目 的	源化を	を行い資源の有効	田,ロ色ログ,衆色ログ 利用とごみ量の減量化を	>,での個色のピラ,* >図り.循環型社会の3	トラトホトル, <u>妖</u> 類, 実現を図る。	紙資源などの有価物の再資					
						, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,								
			指標名	再資	資源化率									
		中間成果	考え方·式	紙資	₹源,燃やさないこ	みとして廃棄された再資	源化率がアップする。	〔再資源化量÷発生量	(紙資源,燃やさないごみ)]					
		指 標	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度(目	標) 平成19年度(目標)					
アウト	カム		指標値		54.02%	70.80%	75. 10%	80.00%	80.00%					
指	標		指標 名	全位	本資源化率				·					
			考え方・式		排出の徹底と選別化	F業により,全体の資源化率	≥がアップする。〔(集団	回収量+拠点回収量+i	市回収量)÷年間ごみ発生量〕					
			年 度		15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度(目	標) 平成19年度(目標)					
			指標値		13. 52%	17. 15%	18.66%	19.00%	19.00%					
			ı	・不燃	性粗大ごみは,二軸	曲式破砕機で破砕し磁選機で	で鉄類を選別している。(	この機種は、効率が良く	, 他市のように爆発がない。)					
芦屋市	の特色	色など補品	足する事項						)により, 処理をしている。					
, , ,,	15 -	_ 0 11374				VIII.	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					
3 事	坐書 .	活動配	分(コスト)	)			1世帯当り(円) 1,660	(円) (円)	727 平成18.4.1 住民基本台帳					
事	<u> </u>	費		平成	15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(決算)	+ =						
3.	人	件費		1	3,733	2,217	2,499	,	-					
	事	業費			66,150	66,688	63,613		8,958					
内 訳	3.	下門 経費	30.2/0		00,100	30,300	00,010	0	-					
		道道却費												
( [ []	合		400.0%		£0.000	60 005	EE 440							
		計	100.0%		69,883	68,905	66,112		-					
	-						ì	i.						
n	围	- 県												
財源	国市	債 等												
財 源 (千円)	国市そ	債 の 他	0.3%			169	167		24					
(千円)	国 市 そ <b>- !</b>	債 等 の 他 <b>般 財源</b>	0.3% <b>99.7%</b>		69,883	68,736	65,945	<b>;</b>	-					
(千円)	国市そり職	债 等 の 他 <b>般財源</b>	0.3% <b>99.7%</b> 100.0%		<b>69,883</b> 0.35			<b>;</b>						
(千円)	国市で・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	債 等 の 他 <b>般 財源</b>	0.3% <b>99.7%</b> 100.0%		•	68,736	65,945	<b>;</b>	-					

4 評1	曲(チェック) 価 移	. 点	評価チェックリスト	1 \b ≐亚/燕	2次評価
aT .	目的妥当性		☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない	1人計11	2 八計画
		(2 2)	□ 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
妥	市関与(2~	2)	<ul><li>☑ 市が実施するよう法律等で義務づけられている</li><li>□ 民間でやるべき,または対応可能である</li><li>□ 市民の基本的な生活の維持に必要である</li><li>□ 他団体では見直しがされている</li></ul>		
		,	□ いずれにも該当しない		_
当	+ *	·0 4)	□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	4	4
性	市民ニーズ(	2~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把握 □ 数字で把握している □ ニーズが高いとは言えない,または未把握		
8点	社会環境変	{\blue{\psi}(1 ~ 1)	▽ 事業に関わる社会環境の恋化に適応している □ 社会環境の恋化にあわせた目直しが必要		
		,	内容 容り法等に基づき行なっている事業である。		
	優先性,緊急対象カバー3		□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる □ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~		☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
効	成果の実績	(2 ~ 1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している◯ 実績値または目標値が未記入	4	4
性			▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない 成果があがっていない場合	•	•
4点	- 成果向上余	地(1~ 1)	□ 成果向上策あり □ 特になし		
			□ 比較できる団体がある 団体名 近隣市 □ 比較できる団体はない		
効	単位コスト(1	~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
, 43			高い、または低い場合の理由		
	受益者負担	(0 ~ 1)	☑ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
率		· · ·	□▶ ☑ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能 )     直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	-2	-1
	手段(1~ 3	n)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	于权(1~ 3	o)	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性 3点			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である □ 特に行っていない		
Om	コスト削減取	7組(1~ 1)	→ 内容 分別収集の徹底		
平成 1	6 年 度 の 評	平価内容	□ A <mark>平成17年度に実</mark> ☑ 改善し、効果を得た		
及び	16 年 度 の 評 改 善 の がない場合は	方向性	<b>評価結果</b>		
(計1川 /	いない场口は	む 戦 小 安 )		В	В
平 成	1 8 年	・ 度に	・持込み紙資源の資源化量のアップ ・平成18年4月から計量業務が直営から委託に <b>評価</b> な書 また、選別業務の業者が変更となった。	В	D
実施	する改	善内容	大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学		
(		,	協力依頼を更に行う。		
5 今往	後の対応(ア	クション)	・ペットボトルを指定法人ルートで処理しているが、売却する方法もあり、他市で収益が上がっている。(売却単	H5万円/	(トン)
現在	認識してし	いる 課 題	・その他プラスチックごみは、現在、焼却しているが、将来、法整備された時に分別収集を行い、別処理す		
<del></del>		<i>II</i> + 11			
市氏, 度からの	意見 一				
要望		要望内容			
	(1)	対応内容	・ベットボトルについては,安定して安全に売却できるか,その他プラスチックは,選別が必要であり 場,ストックヤード等設備の問題,ごみ燃焼温度の低下等があるため,法整備の強化,近隣市の動向を	,選別1 みて,	作業 検討す
	(1)	実施期限	る。   平成   年   月		
課題·要	望等	対応内容			
	(2)				
へ の 5	XJ NO	実施期限			
	(3)	対応内容			
		実施期限	平成 年 月		
その他	きえられる				
	カアイデア				
			今後の方向性		
			・リサイクル法等の改正に伴う指定品目の動向を見守る。       拡 大 ・ 充 実現 状 維 持		0
			方法改善		•
平成 1	9~21年度	の方向性			0
			編 小 統合/終期設定	0	0
			廃止 / 休止		0
2 次 評	严価 委員 会	コメント	効率的な分別と資源化率の向上に引き続き取り組んでください。		

/ 6Л 🗃	E ** /	古 **	_	1010					\ <del>/</del>		
一般事	<b>▶</b> 兼)	事業	<u> </u>	1310	U5U			部長	次	長課長	
平成 17	年 度	車	業を		物の減量・資源化の	足進事業(粗大ごみ有料4	∇隻\				
1 7-20	- /~	<b>.</b>	<i>x</i>	7070		CZ + X (111) (C 1) 13 1 1 1	XXX)				
1 車光	- 大田 -	要(ドゥ)									
			りの目標	1 4	江戸モとわり曲よ	、 れ 上 江 四 柱 ズ ノ ト			<b>小江</b> 理拉	: <del>\</del> \7	
						な生活環境づくり		所 管 課	生活環境		
総合言			中	3	環境適合型社会の					センター	
政 策 邡	施策		小	1	環境への負荷の低	£減		所管課長氏名	石濱正	昭	
体	系		細					記入者氏名	山中辰	·III	
<u>··</u> 事	業	期		200	1年(H13)10月から	経常臨時	☑ 経常 □ 臨時	電話番号			
						手数料収納事務委託要約				1 5 ///54	
実	施	手				□ 一部委託	☑ 全部委託	□ 補助金		負担金	
委		託	先	;	外郭団体委託	名称	☑ 民間	委託 <mark>委 託 内 容</mark>	粗大ご	み券の販売	
				・粗	大ごみの有料収集	(処理)をするため、「*	且大ごみ処理券(シール)	を発行し、スー	ーパーマー	ーケットやコンビニエン	
<b>F</b>	業	Ø	概 要	スス	トア築市内の小売	店等に委託し、シールを	と販売している				
	*	0)	19% 34		1 > 4-1111145717	/口寸(C女にO, マー/・C	LAXULU CV 50				
				0.4		- der (1 ) (de(1) - 1 ) for r					
						の契約を締結の上、各則		- / / / / - /			
<b>F</b>	業	の	現 状	②各	販売店は,店頭に	「芦屋市粗大ごみ券販売	5店」のステッカーを掲	示する。			
	目的質	実現のため	o Ø	3市	民は、粗大ごみの	処理手数料に応じた金額	頁分のシールを購入し,	粗大ごみに貼付し	し、ごみこ	ステーションに出す。	
	手段7	及び実施内	宓	<b>△</b> )ĦF	売店でけ 日ブレ	に販売実績報告をする。					
	J +X/	X O Zijer :	) II								
			11- 1-			手数料分を控除した金額	貝化剤切, 仴昇 9 る。				
			指標 名		託販売契約店数						
		結果指標	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度(	[目標]	平成19年度(目標)	
		(1)	指標 値	i	74店	73店	70店	70店		70店	
7ウトス	プット		単位コスト			_	_	_		_	
ファ <i>ス</i> 旨					大ごみ処理券売却	おが	l	l			
1	標結果指		指標名					THE 4 0 5 5		正式40年度1日日	
		結果指標	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度(	(目標)	平成19年度(目標)	
		(2)	指標 値	į	32,700枚	32,676枚	32,714枚	33,000杉	Ź	33,000枚	
			単位コスト		_	_	_	_		_	
事業	業成男	果(アウ) 対	,	・粗	大ごみを有料で排	出する市民					
事業の	目的	対象力	,	対象	<mark>き数 (a)</mark> 92	2,674人 受益数					
事業の	目的	対象力	<b>バー</b> 率	<b>対 象</b> ・収	<mark>き数 (a)</mark> 92		• •				
事業の	目的	対象力意	が - 本 図	対 <b>対 多</b> ・収 る。	き数 (a) 92 集処分に経費がか	2,674人受益数かることで、安易に廃棄	ませず, 物を修理しなが				
事業の	目的	対象力意	<b>バー</b> 率	対 <b>対 多</b> ・収 る。	き数 (a) 92 集処分に経費がか	2,674人 受益数	ませず, 物を修理しなが				
事業の	目的	対象力意	が - 本 図	対 <b>対 多</b> ・収 る。	き数 (a) 92 集処分に経費がか	2,674人受益数かることで、安易に廃棄	ませず, 物を修理しなが				
事業の対象・	目的	対象力意	第 バー 率 図 E語にして)	対 <b>対 り</b> ・収 る。	数 (a) 92 集処分に経費がか 果として, ごみの	2,674人受益数かることで、安易に廃棄	要せず,物を修理しなが いできる。				
事業の対象・	目的意図	対 対 象 カ 意 (対象を3	第 バー 率 図 E語にして)	対 <b>対 り</b> ・収 る。	数 (a) 92 集処分に経費がか 果として, ごみの	2,674人 <mark>受 益 数</mark> かることで,安易に廃乳 減量化を促進することだ	要せず,物を修理しなが いできる。				
業の対象・	目的意図	対 対 象 カ 意 (対象を3	第 バー率 図 E語にして)	対 ・収 る。 結	数 (a) 92 集処分に経費がか 果として, ごみの 大ごみを有料化す	2,674人 <mark>受 益 数</mark> かることで,安易に廃乳 減量化を促進することだ	要せず,物を修理しなが いできる。				
業の対象・	目的意図	対 対象 カ 意 (対象を3	第 バー 率 図 E語にして) 目 的	· 対 9 ・ 収。 ・ 結 ・ 粗	<ul><li>数 (a) 92</li><li>集処分に経費がか果として、ごみの大ごみを有料化す大ごみ発生量</li></ul>	2,674人 <mark>受 益 数</mark> かることで,安易に廃す 減量化を促進することが ることにより,ごみの減	要せず,物を修理しなが いできる。 或量化を促進する。	らできる限り長く	く使う意語	戦を養うことができ	
業の	目的意図	対 対象カ 意 (対象を3 な	第 バー 率 図 E語にして) 目 的 指標 名 考え方・式	対 ・ ・ な。 ・ 料 ・ 粗 ・ 粗	<ul><li>数 (a) 92</li><li>集処分に経費がか果として、ごみの大ごみを有料化す 大ごみ発生量 大ごみの廃棄には、</li></ul>	2,674人 <mark>受 益 数</mark> かることで, 安易に廃す 減量化を促進することが ることにより, ごみの減 手続きが必要となるため	要せず、物を修理しなが いできる。 或量化を促進する。 , 廃棄よりも再利用でき	らできる限り長 <i>く</i> ないか考えるので	く使う意記	戦を養うことができ かの発生量が減少する。	
業の	目的図	対 対象カ 意 (対象を3 な	第 バー 率 図 E語にして) 目 的 指標 名 考え方・式	対 ・ ・ な。 ・ 料 ・ 粗 ・ 粗	<ul><li>数 (a) 92</li><li>集処分に経費がか果として、ごみの大ごみを有料化す大ごみ発生量</li></ul>	2,674人 <mark>受 益 数</mark> かることで,安易に廃す 減量化を促進することが ることにより,ごみの減	要せず、物を修理しなが いできる。 或量化を促進する。 , 廃棄よりも再利用でき	らできる限り長く	く使う意記	戦を養うことができ かの発生量が減少する。	
業の	目的図	対 対象カ 意 (対象を3 な	第 バー 率 図 E語にして) 目 的 指標 名 考え方・式	対 ・対 ・る。 ・粗 粗 ・ 用 ・ 用 ・ 用 ・ 用 り り り り り り り り り り り り	<ul><li>数 (a) 92</li><li>集処分に経費がか果として、ごみの大ごみを有料化す 大ごみ発生量 大ごみの廃棄には、</li></ul>	2,674人 <mark>受 益 数</mark> かることで, 安易に廃す 減量化を促進することが ることにより, ごみの減 手続きが必要となるため	要せず、物を修理しなが いできる。 或量化を促進する。 , 廃棄よりも再利用でき	らできる限り長 <i>く</i> ないか考えるので	く使う意記 , 粗大ご。 <mark>[目標]</mark>	戦を養うことができ	
*業の ウト	目的図	対 対象カ 意 (対象を3 な	ボー 率 図 () () () () () () () () () () () () ()	がり ・知いる。 ・知い ・知い ・知い ・知い ・知い ・知い ・知い ・知い ・知い ・知い	き数(a) 92 集処分に経費がか 果として、ごみの 大ごみを有料化す 大ごみ発生量 大ごみの廃棄には、 15年度(実績) 411トン	2,674人 <mark>受 益 数</mark> かることで、安易に廃す 減量化を促進することが ることにより、ごみの減 手続きが必要となるため <b>平成16年度(実績)</b>	<ul><li>ませず、物を修理しながいできる。</li><li>或量化を促進する。</li><li>、廃棄よりも再利用でき</li><li>平成17年度(実績)</li></ul>	らできる限り長くないか考えるので 平成18年度(	く使う意記 , 粗大ご。 <mark>[目標]</mark>	<ul><li>職を養うことができ</li><li>みの発生量が減少する。</li><li>平成19年度(目標)</li></ul>	
*業の ウト	目的図	対 対象カ 意 (対象を3 な 中間成果	ボー 率 図() 的 <del>程</del> 表	がり ・ 対り ・ 力 収。 ・ 相 ・ 相 ・ 平成 「 全	き数(a) 92 集処分に経費がか 果として、ごみの 大ごみを有料化す 大ごみ発生量 大ごみの廃棄には、 15年度(実績) 411トン 体ごみ発生量	2,674人 <b>受益数</b> かることで、安易に廃棄減量化を促進することだることにより、ごみの減事続きが必要となるため <b>平成16年度(実績)</b> 392トン	<ul><li>ませず、物を修理しながいできる。</li><li>或量化を促進する。</li><li>、廃棄よりも再利用でき</li><li>平成17年度(実績)</li></ul>	らできる限り長くないか考えるので 平成18年度(	く使う意記 , 粗大ご。 <mark>[目標]</mark>	<ul><li>職を養うことができ</li><li>みの発生量が減少する。</li><li>平成19年度(目標)</li></ul>	
業 の ウト	目的図	対 対象カ 意 (対象を3 中間成果標 最終成果	バー 率 図 () 的 名式度値名式	対 ・ 対 ・ 和 ・ 和 ・ 和 ・ 和 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一	き数(a) 92 集処分に経費がか 果として、ごみの 大ごみを有料化す 大ごみ死生量 大ごみの廃棄には、 15年度(実績) 411トン 体ごみ発生量 全体のごみの発生	2,674人 <b>受益数</b> かることで、安易に廃す減量化を促進することだることにより、ごみの減手続きが必要となるため <b>平成16年度(実績)</b> 392トン 量が減少する。	<ul><li>ませず、物を修理しながいできる。</li><li>或量化を促進する。</li><li>廃棄よりも再利用でき</li><li>平成17年度(実績)</li><li>531トン</li></ul>	らできる限り長。 ないか考えるので 平成18年度( 500トン	く使う意記 , 粗大ご。 <b>目標)</b>	職を養うことができ みの発生量が減少する。 <mark>平成19年度(目標)</mark> 500トン	
業の             	目的図	対 対象カ 意 (対象を3 中間成果標 最終成果	バー 文字 図で ) 的 名式度値名式度 標標方 原標 を 対 度 値 名式 度 値 名式 度 値 名式 度 値 名 対 度	対 9 ・	集数 (a) 92 集処分に経費がか 果として, ごみの 大ごみを有料化す 大ごみ発生量 大ごみの廃棄には, 15年度(実績) 411トン 体ごみ発生量 全体のごみの発生 15年度(実績)	でのできます。       できまり。       できまり。       できまれることがあることにより。       ではまれることがあることにより。       ではまれることがある。       では、16年度(実績)の第2トン       では、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度のできまれることがある。	<ul> <li>ませず、物を修理しながいできる。</li> <li>或量化を促進する。</li> <li>廃棄よりも再利用でき</li> <li>平成17年度(実績)</li> <li>下成17年度(実績)</li> </ul>	らできる限り長。ないか考えるので 平成18年度( 500トン	、 (使う意記 ) 、 相大ご。 <mark>目標)</mark> ( <b>目標</b> )	職を養うことができ みの発生量が減少する。 <mark>平成19年度(目標)</mark> 500トン <mark>平成19年度(目標)</mark>	
i 業 の け タ ・ ・ ウ ト	目的図	対 対象カ 意 (対象を3 中間成果標 最終成果	バー 率 図 () 的 名式度値名式	対 9 ・	き数(a) 92 集処分に経費がか 果として、ごみの 大ごみを有料化す 大ごみ死生量 大ごみの廃棄には、 15年度(実績) 411トン 体ごみ発生量 全体のごみの発生	2,674人 <b>受益数</b> かることで、安易に廃す減量化を促進することだることにより、ごみの減手続きが必要となるため <b>平成16年度(実績)</b> 392トン 量が減少する。	<ul><li>ませず、物を修理しながいできる。</li><li>或量化を促進する。</li><li>廃棄よりも再利用でき</li><li>平成17年度(実績)</li><li>531トン</li></ul>	らできる限り長。 ないか考えるので 平成18年度( 500トン	、 (使う意記 ) 、 相大ご。 <mark>目標)</mark> ( <b>目標</b> )	職を養うことができ みの発生量が減少する。 <mark>平成19年度(目標)</mark> 500トン	
i 業の 対象・ で ウト	目的図	対 対象カ 意 (対象を3 中間成果標 最終成果	バー 文字 図で ) 的 名式度値名式度 標標方 原標 を 対 度 値 名式 度 値 名式 度 値 名式 度 値 名 対 度	対 9 ・	集数 (a) 92 集処分に経費がか 果として, ごみの 大ごみを有料化す 大ごみ発生量 大ごみの廃棄には, 15年度(実績) 411トン 体ごみ発生量 全体のごみの発生 15年度(実績)	でのできます。       できまり。       できまり。       できまれることがあることにより。       ではまれることがあることにより。       ではまれることがある。       では、16年度(実績)の第2トン       では、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度のできまれることがある。	<ul> <li>ませず、物を修理しながいできる。</li> <li>或量化を促進する。</li> <li>廃棄よりも再利用でき</li> <li>平成17年度(実績)</li> <li>下成17年度(実績)</li> </ul>	らできる限り長。ないか考えるので 平成18年度( 500トン	、 (使う意記 ) 、 相大ご。 <mark>目標)</mark> ( <b>目標</b> )	職を養うことができ みの発生量が減少する。 <mark>平成19年度(目標)</mark> 500トン <mark>平成19年度(目標)</mark>	
i 業 か ウ ト	目意 き カ の図	対 対 象 か 意 (対象を3 な 中間成果標 最終成標	バー 文字 図で ) 的 名式度値名式度 標標方 原標 を 対 度 値 名式 度 値 名式 度 値 名式 度 値 名 対 度	対 9 ・ 収。結 ・ 粗 ・ 粗 ・ 粗 ・ 理成 ・ 市成	集数 (a) 92 集処分に経費がか 果として, ごみの 大ごみを有料化す 大ごみ発生量 大ごみの廃棄には, 15年度(実績) 411トン 体ごみ発生量 全体のごみの発生 15年度(実績)	でのできます。       できまり。       できまり。       できまれることがあることにより。       ではまれることがあることにより。       ではまれることがある。       では、16年度(実績)の第2トン       では、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度のできまれることがある。	<ul> <li>ませず、物を修理しながいできる。</li> <li>或量化を促進する。</li> <li>廃棄よりも再利用でき</li> <li>平成17年度(実績)</li> <li>下成17年度(実績)</li> </ul>	らできる限り長。ないか考えるので 平成18年度( 500トン	、 (使う意記 ) 、 相大ご。 <mark>目標)</mark> ( <b>目標</b> )	職を養うことができ みの発生量が減少する。 <mark>平成19年度(目標)</mark> 500トン <mark>平成19年度(目標)</mark>	
: 業 ( ウ ) ( )	目意 き カ の図	対 対 象 か 意 (対象を3 な 中間成果標 最終成標	が 名式 度値を式 度値	対 9 ・ 収。結 ・ 粗 ・ 粗 ・ 粗 ・ 理成 ・ 市成	集数 (a) 92 集処分に経費がか 果として, ごみの 大ごみを有料化す 大ごみ発生量 大ごみの廃棄には, 15年度(実績) 411トン 体ごみ発生量 全体のごみの発生 15年度(実績)	でのできます。       できまり。       できまり。       できまれることがあることにより。       ではまれることがあることにより。       ではまれることがある。       では、16年度(実績)の第2トン       では、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度のできまれることがある。	<ul> <li>ませず、物を修理しながいできる。</li> <li>或量化を促進する。</li> <li>廃棄よりも再利用でき</li> <li>平成17年度(実績)</li> <li>下成17年度(実績)</li> </ul>	らできる限り長。ないか考えるので 平成18年度( 500トン	、 (使う意記 ) 、 相大ご。 <mark>目標)</mark> ( <b>目標</b> )	職を養うことができ みの発生量が減少する。 <mark>平成19年度(目標)</mark> 500トン <mark>平成19年度(目標)</mark>	
な ウト マー・ マー・ マー・ マー・ マー・ マー・ マー・ マー・ マー・ マー・	目意 き カ の特能	対 対 象 か 意 (対象を3 な 中間 成 根 標 果標 果標	が 一 本 図 が 名 式 度 値 名 式 度 値 名 式 度 値 名 式 度 値 名 式 度 値 名 式 度 値 名 式 度 値 名 式 度 値 名 式 度 値 名 式 度 値 名 式 度 値 名 式 度 値 名 式 度 値 名 式 度 値 名 式 度 値 3 算 値 4 3	対 ¶ いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう は 粗 粗 粗 エ	集数 (a) 92 集処分に経費がか 果として, ごみの 大ごみを有料化す 大ごみ発生量 大ごみの廃棄には, 15年度(実績) 411トン 体ごみ発生量 全体のごみの発生 15年度(実績)	でのできます。       できまり。       できまり。       できまれることがあることにより。       ではまれることがあることにより。       ではまれることがある。       では、16年度(実績)の第2トン       では、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度(実績)のでは、16年度のできまれることがある。	<ul> <li>ませず、物を修理しながいできる。</li> <li>成量化を促進する。</li> <li>、廃棄よりも再利用でき</li> <li>平成17年度(実績)</li> <li>531トン</li> <li>平成17年度(実績)</li> <li>35,864トン</li> </ul>	ないか考えるので 平成18年度( 500トン 平成18年度( 36,000ト	、粗大ご <mark>目標)</mark> ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	みの発生量が減少する。 <mark>平成 1 9年度(目標)</mark> 500トン <mark>平成 1 9年度(目標)</mark> 36,000トン	
業象・ウー 屋事	目意きカクラ	対対象の力 意対な 中指 最指 な 動配 活動配	が 一 本 図 で が 名 式 度 値 る 式 度 値 る 式 度 る 式 度 値 る 式 度 値 る 式 度 値 る 式 度 値 る 式 度 値 る 式 度 値 る 式 度 値 る 式 度 値 る 式 度 値 る 式 度 値 る 式 度 値 る 式 度 値 る 式 度 値 る 式 度 値 る 式 度 値 る 式 度 値 る 式 度 る 式 度 る 式 度 る 式 度 値 る 式 度 る 式 度 る な る 式 度 る な る な る な る な る な る な る な る な る な る	対 切 収。結 粗 粗粗 粗 粗 粗 粗 車 平成 平成	集数(a) 99 集処分に経費がか 果として,ごみの 大ごみを有料化す 大ごみ発生量 大ごみの廃棄には, 15年度(実績) 411トン 体ごみ発生量 全体のごみの発生 15年度(実績) 36,176トン	できるのでである。       できるのでである。         できるのである。       であることが、であるできることにより、ごみのできる。         手続きが必要となるためでは、16年度(実績)の第2トン       第2トン         量が減少する。       で成16年度(実績)の36,283トン	<ul> <li>ませず、物を修理しながいできる。</li> <li>成量化を促進する。</li> <li>、廃棄よりも再利用でき</li> <li>平成17年度(実績)</li> <li>531トン</li> <li>平成17年度(実績)</li> <li>35,864トン</li> <li>1世帯当り(円)</li> <li>51</li> </ul>	ないか考えるので 平成 1 8 年度 ( 500トン 平成 1 8 年度 ( 36,000ト	、粗大ご <b>日標)</b> ン 22	みの発生量が減少する。 <mark>平成 1 9年度(目標)</mark> 500トン <mark>平成 1 9年度(目標)</mark> 36,000トン	
業象 ウ ト 市 で	目意 き カ の特能	対対象の力 意対な 中指 最指 な 動電	第 本 図で	対 9 v。結 粗粗 粗 セ 全 市	集数 (a) 99 集処分に経費がか 果として、ごみの 大ごみを有料化す 大ごみ死生量 大ごみの廃棄には、 15年度(実績) 411トン 体ごみ発生量 全体のごみの発生 15年度(実績) 36,176トン	できるのでである。       であるで、安易に廃する。         ではまり、ごみのできることにより、ごみのできる。       では16年度(実績)         392トン       型が減少する。         平成16年度(実績)       36,283トン	<ul> <li>ませず、物を修理しながいできる。</li> <li>成量化を促進する。</li> <li>廃棄よりも再利用でき</li> <li>平成17年度(実績)</li> <li>531トン</li> <li>平成17年度(実績)</li> <li>35,864トン</li> <li>1世帯当り(円)</li> <li>1世帯当り(円)</li> <li>7年度(決算)</li> </ul>	ないか考えるので 平成18年度( 500トン 平成18年度( 36,000ト	、粗大ご <b>日標)</b> ン 22	みの発生量が減少する。 <mark>平成 1 9年度(目標)</mark> 500トン <mark>平成 1 9年度(目標)</mark> 36,000トン	
業象 ウ ト 市 で	目意きカクラ	対対 意 (対 な 中指 最指 な 動 費費	が - 本 図 T	対 9 v。結 粗粗 粗 セ 全 市	集数(a) 99 集処分に経費がか 果として,ごみの 大ごみを有料化す 大ごみ発生量 大ごみの廃棄には, 15年度(実績) 411トン 体ごみ発生量 全体のごみの発生 15年度(実績) 36,176トン	できるのでである。       できるのでである。         できるのである。       であることが、であるできることにより、ごみのできる。         手続きが必要となるためでは、16年度(実績)の第2トン       第2トン         量が減少する。       で成16年度(実績)の36,283トン	<ul> <li>ませず、物を修理しながいできる。</li> <li>成量化を促進する。</li> <li>、廃棄よりも再利用でき</li> <li>平成17年度(実績)</li> <li>531トン</li> <li>平成17年度(実績)</li> <li>35,864トン</li> <li>1世帯当り(円)</li> <li>51</li> </ul>	ないか考えるので 平成 1 8 年度 ( 500トン 平成 1 8 年度 ( 36,000ト	、粗大ご <b>日標)</b> ン 22	みの発生量が減少する。 <mark>平成 1 9年度(目標)</mark> 500トン <mark>平成 1 9年度(目標)</mark> 36,000トン	
業象・ウー 屋事	目意きカクラ	対対象の力 意対な 中指 最指 な 動電	が - 本 図 T	対	集数 (a) 99 集処分に経費がか 果として、ごみの 大ごみを有料化す 大ごみ死生量 大ごみの廃棄には、 15年度(実績) 411トン 体ごみ発生量 全体のごみの発生 15年度(実績) 36,176トン	できるのでである。       であるで、安易に廃する。         ではまり、ごみのできることにより、ごみのできる。       では16年度(実績)         392トン       型が減少する。         平成16年度(実績)       36,283トン	<ul> <li>ませず、物を修理しながいできる。</li> <li>成量化を促進する。</li> <li>廃棄よりも再利用でき</li> <li>平成17年度(実績)</li> <li>531トン</li> <li>平成17年度(実績)</li> <li>35,864トン</li> <li>1世帯当り(円)</li> <li>1世帯当り(円)</li> <li>7年度(決算)</li> </ul>	ないか考えるので 平成 1 8 年度 ( 500トン 平成 1 8 年度 ( 36,000ト	、粗大ご <b>日標)</b> ン 22	みの発生量が減少する。 <mark>平成 1 9年度(目標)</mark> 500トン <mark>平成 1 9年度(目標)</mark> 36,000トン	
業の・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	目意 き カ の	対対 意対な 中指 最指 な 動で 費費	が - 本 図 T	対	集数(a) 92 集処分に経費がか 果として、ごみの 大ごみを有料化す 大ごみ発生量 大ごみの廃棄には、 15年度(実績) 411トン 体ごみ発生量 全体のごみの発生 15年度(実績) 36,176トン	できる数         かることで、安易に廃す         減量化を促進することが         ることにより、ごみの減         手続きが必要となるため         平成16年度(実績)         392トン         量が減少する。         平成16年度(実績)         36,283トン         平成16年度(決算)         2,112	乗せず、物を修理しなが ができる。 或量化を促進する。 , 廃棄よりも再利用でき 平成 1 7年度 (実績) 531トン 平成 1 7年度 (実績) 35,864トン 1世帯当り(円) 51 平成 1 7年度 (決算) 1,022	ないか考えるので 平成 1 8 年度 ( 500トン 平成 1 8 年度 ( 36,000ト	、粗大ご。 日標) ン 22 予算)	みの発生量が減少する。 <mark>平成 1 9年度(目標)</mark> 500トン <mark>平成 1 9年度(目標)</mark> 36,000トン	
業の・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	目意 き カ の 業 人事他 的図 ム標 特 費業 部	対対 意 (対 な 間 最指 と 話 件 業 門 経 の で の で の で の で の で の で の で の で の で の	が - 本 図 T	対	集数(a) 92 集処分に経費がか 果として、ごみの 大ごみを有料化す 大ごみ発生量 大ごみの廃棄には、 15年度(実績) 411トン 体ごみ発生量 全体のごみの発生 15年度(実績) 36,176トン	できる数         かることで、安易に廃す         減量化を促進することが         ることにより、ごみの減         手続きが必要となるため         平成16年度(実績)         392トン         量が減少する。         平成16年度(実績)         36,283トン         平成16年度(決算)         2,112	乗せず、物を修理しなが ができる。 或量化を促進する。 , 廃棄よりも再利用でき 平成 1 7年度 (実績) 531トン 平成 1 7年度 (実績) 35,864トン 1世帯当り(円) 51 平成 1 7年度 (決算) 1,022	ないか考えるので 平成 1 8 年度 ( 500トン 平成 1 8 年度 ( 36,000ト	、粗大ご。 日標) ン 22 予算)	みの発生量が減少する。 <mark>平成 1 9年度(目標)</mark> 500トン <mark>平成 1 9年度(目標)</mark> 36,000トン	
業象・ウー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	目意 き カ の 業 人事他減的図 ム標 特費業 部価	対対象 の	が - 本 図 が -	対	集数(a) 92 集処分に経費がか 果として、ごみの 大ごみを有料化す 大ごみ死生量 大ごみの廃棄には、 15年度(実績) 411トン 体ごみ発生量 全体のごみの発生 15年度(実績) 36,176トン	できる数         かることで、安易に廃す         減量化を促進することが         ることにより、ごみの減         手続きが必要となるため         平成16年度(実績)         392トン         量が減少する。         平成16年度(実績)         36,283トン         平成16年度(決算)         2,1112         1,026	<ul> <li>ませず、物を修理しながいできる。</li> <li>成量化を促進する。</li> <li>、廃棄よりも再利用でき</li> <li>平成17年度(実績)</li> <li>35,864トン</li> <li>1世帯当り(円)</li> <li>1世帯当り(円)</li> <li>1,022</li> <li>999</li> </ul>	ないか考えるので 平成 1 8 年度 ( 500トン 平成 1 8 年度 ( 36,000ト	、粗大ご。 日標) ン 22 予算)	みの発生量が減少する。 <mark>平成 1 9年度(目標)</mark> 500トン <mark>平成 1 9年度(目標)</mark> 36,000トン	
業象・ウー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	目意 き カ の 業 人事他減合 的図 ム標 特 費業 部価	対対象 の	が - 本 図 T	対	集数(a) 92 集処分に経費がか 果として、ごみの 大ごみを有料化す 大ごみ発生量 大ごみの廃棄には、 15年度(実績) 411トン 体ごみ発生量 全体のごみの発生 15年度(実績) 36,176トン	できる数         かることで、安易に廃す         減量化を促進することが         ることにより、ごみの減         手続きが必要となるため         平成16年度(実績)         392トン         量が減少する。         平成16年度(実績)         36,283トン         平成16年度(決算)         2,112	乗せず、物を修理しなが ができる。 或量化を促進する。 , 廃棄よりも再利用でき 平成 1 7年度 (実績) 531トン 平成 1 7年度 (実績) 35,864トン 1世帯当り(円) 51 平成 1 7年度 (決算) 1,022	ないか考えるので 平成 1 8 年度 ( 500トン 平成 1 8 年度 ( 36,000ト	、粗大ご。 日標) ン 22 予算)	みの発生量が減少する。 <mark>平成 1 9年度(目標)</mark> 500トン <mark>平成 1 9年度(目標)</mark> 36,000トン	
業象・ウー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	目意 き カ の 業 人事他減的図 ム標 特費業 部価	対対象 の	が - 本 図 /	対	集数(a) 92 集処分に経費がか 果として、ごみの 大ごみを有料化す 大ごみ死生量 大ごみの廃棄には、 15年度(実績) 411トン 体ごみ発生量 全体のごみの発生 15年度(実績) 36,176トン	できる数         かることで、安易に廃す         減量化を促進することが         ることにより、ごみの減         手続きが必要となるため         平成16年度(実績)         392トン         量が減少する。         平成16年度(実績)         36,283トン         平成16年度(決算)         2,1112         1,026	<ul> <li>ませず、物を修理しながいできる。</li> <li>成量化を促進する。</li> <li>、廃棄よりも再利用でき</li> <li>平成17年度(実績)</li> <li>35,864トン</li> <li>1世帯当り(円)</li> <li>1世帯当り(円)</li> <li>1,022</li> <li>999</li> </ul>	ないか考えるので 平成 1 8 年度 ( 500トン 平成 1 8 年度 ( 36,000ト	、粗大ご。 日標) ン 22 予算)	みの発生量が減少する。 <mark>平成 1 9年度(目標)</mark> 500トン <mark>平成 1 9年度(目標)</mark> 36,000トン	
業象・ウー・ア・ドー・ア・ドー・ア・ドー・ア・ドー・ア・ドー・ア・ドー・ア・ドー・ア	目意 き カ の 業 人事他減合 的図 ム標 特 費業 部価	対対象 の	が - 本 図 /	対	集数(a) 92 集処分に経費がか 果として、ごみの 大ごみを有料化す 大ごみ死生量 大ごみの廃棄には、 15年度(実績) 411トン 体ごみ発生量 全体のごみの発生 15年度(実績) 36,176トン	できる数         かることで、安易に廃す         減量化を促進することが         ることにより、ごみの減         手続きが必要となるため         平成16年度(実績)         392トン         量が減少する。         平成16年度(実績)         36,283トン         平成16年度(決算)         2,1112         1,026	<ul> <li>ませず、物を修理しながいできる。</li> <li>成量化を促進する。</li> <li>、廃棄よりも再利用でき</li> <li>平成17年度(実績)</li> <li>35,864トン</li> <li>1世帯当り(円)</li> <li>1世帯当り(円)</li> <li>1,022</li> <li>999</li> </ul>	ないか考えるので 平成 1 8 年度 ( 500トン 平成 1 8 年度 ( 36,000ト	、粗大ご。 日標) ン 22 予算)	みの発生量が減少する。 <mark>平成 1 9年度(目標)</mark> 500トン <mark>平成 1 9年度(目標)</mark> 36,000トン	
ます ウ	目意 き カ の 美人事他減合国市的図 ム標 特費業 部価	対対意(対な 中指 最指 を 活 件業門償・債 を 動 費費費費 計県等	が - 本 図 / バ - 本 図 / バ - 本 図 / バ - 本 図 / バ - 本 図 / バ - 本 図 / ドロー	対 切 収。結 粗 粗粗 ( 全 市	集数(a) 99 集処分に経費がか 果として、ごみの 大ごみを有料化す 大ごみ発生量 大ごみの廃棄には、 15年度(実績) 411トン 体ごみ発生量 全体のごみの発生 15年度(実績) 36,176トン 15年度(決算) 6,455 976	できる数         かることで、安易に廃す         減量化を促進することが         ることにより、ごみの減         手続きが必要となるため         平成16年度(実績)         392トン         量が減少する。         平成16年度(実績)         36,283トン         平成16年度(決算)         2,112         1,026         3,138	<ul> <li>ませず、物を修理しながいできる。</li> <li>成量化を促進する。</li> <li>、廃棄よりも再利用でき</li> <li>平成17年度(実績)</li> <li>35,864トン</li> <li>1世帯当り(円)</li> <li>1,022</li> <li>999</li> <li>2,021</li> </ul>	ないか考えるので 平成 1 8 年度 ( 500トン 平成 1 8 年度 ( 36,000ト	、粗大ご。 目標) ン 22 予算) - 1,120 -	みの発生量が減少する。 <mark>平成 1 9年度(目標)</mark> 500トン <mark>平成 1 9年度(目標)</mark> 36,000トン	
ます ウ	目意 き カ の 業 人事他減合国市そ的図 ム標 特 費業 部価	対対意(対な 中指 最指 な 活 件業門償 ・ 債の の	が - 率 図 () 所 名式 度 (  名式 度 (  名式 度 (	対	集数(a) 92 集処分に経費がか 果として、ごみの 大ごみを有料化す 大ごみ発生量 大ごみの廃棄には、 15年度(実績) 411トン 体ごみ発生量 全体のごみの発生 15年度(実績) 36,176トン 15年度(決算) 6,455 976	できる数         かることで、安易に廃す         減量化を促進することが         ることにより、ごみの減         手続きが必要となるため         平成16年度(実績)         392トン         量が減少する。         平成16年度(実績)         36,283トン         平成16年度(決算)         2,112         1,026         1,026	乗せず、物を修理しなが ぶできる。 成量化を促進する。 、廃棄よりも再利用でき 平成17年度(実績) 35,864トン 1世帯当り(円) 51 平成17年度(決算) 1,022 999	ないか考えるので 平成 1 8 年度 ( 500トン 平成 1 8 年度 ( 36,000ト	、粗大ご。 日標) ン 22 予算)	みの発生量が減少する。 <mark>平成 1 9年度(目標)</mark> 500トン <mark>平成 1 9年度(目標)</mark> 36,000トン	
事対	目意 き カ の 人事他減合国市そ一的図 ム標 特費業 部価	対対意(対な中指を指して、活性業門債の財産を対して、対対の対象の対象を対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、	ボー 率 図 () 目 語にして) 目 指表 () () () () () () () () () () () () ()	対	集数(a) 99 集処分に経費がか 果として、ごみの 大ごみを有料化す 大ごみ発生量 大ごみの廃棄には、 15年度(実績) 411トン 体ごみ発生量 全体のごみの発生 15年度(実績) 36,176トン 15年度(決算) 6,455 976 7,431	できる数         かることで、安易に廃す         減量化を促進することが         ることにより、ごみの減         手続きが必要となるため         平成16年度(実績)         392トン         量が減少する。         平成16年度(実績)         36,283トン         平成16年度(決算)         2,112         1,026         2,112	乗せず、物を修理しなが ぶできる。   成量化を促進する。   廃棄よりも再利用でき   平成17年度(実績)   35,864トン   1世帯当り(円)   51   平成17年度(決算)   1,022   999   2,021   2,339   -318	ないか考えるので 平成 1 8 年度 ( 500トン 平成 1 8 年度 ( 36,000ト	、粗大ご。 目標) ン 22 予算) - 1,120 -	みの発生量が減少する。 <mark>平成 1 9年度(目標)</mark> 500トン <mark>平成 1 9年度(目標)</mark> 36,000トン	
な	目意 き カ の 人事他減合国市そ一職的図 ム標 特費業 部価	対対意対な中指最指と活件業門償・債の財産を対象を対し、対対の対象を対し、対対の対象を対し、対対の対象を対し、対対の対象を対し、対対の対象を対し、対対の対象を対し、対対の対象を対し、対対の対象を対象を対対の対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	が - 率 図 () 目 指表 年 指 指 表 京 原 値 名 式 度 値 る 式 度 を は る 式 度 を は る 式 度 を は る 式 度 を は る 式 度 を は る 式 度 を は る 式 度 を は る 式 度 を は る 式 度 を は る 式 度 を は る 式 度 る 式 度 を は る 式 度 る 式 を る な な な な な な な な な な な な な な な な な な	対	集数(a) 92 集処分に経費がか 果として、ごみの 大ごみを有料化す 大ごみ発生量 大ごみの廃棄には、 15年度(実績) 411トン 体ごみ発生量 全体のごみの発生 15年度(実績) 36,176トン 15年度(決算) 6,455 976	できる数         かることで、安易に廃す         減量化を促進することが         ることにより、ごみの減         手続きが必要となるため         平成16年度(実績)         392トン         量が減少する。         平成16年度(実績)         36,283トン         平成16年度(決算)         2,112         1,026         1,026	乗せず、物を修理しなが ぶできる。 成量化を促進する。 、廃棄よりも再利用でき 平成17年度(実績) 35,864トン 1世帯当り(円) 51 平成17年度(決算) 1,022 999	ないか考えるので 平成 1 8 年度 ( 500トン 平成 1 8 年度 ( 36,000ト	、粗大ご。 目標) ン 22 予算) - 1,120 -	みの発生量が減少する。 <mark>平成 1 9年度(目標)</mark> 500トン <mark>平成 1 9年度(目標)</mark> 36,000トン	
事材 大 ア省 宮事 沢) 源) 動	目意 き カ の 人事他減合国市そ一職嘱的図 ム標 特費業 部価 脈託	対対意(対な中指を指して、活性業門債の財産を対して、対対の対象の対象を対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、	(ア) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア)	対	集数(a) 99 集処分に経費がか 果として、ごみの 大ごみを有料化す 大ごみ発生量 大ごみの廃棄には、 15年度(実績) 411トン 体ごみ発生量 全体のごみの発生 15年度(実績) 36,176トン 15年度(決算) 6,455 976 7,431	できる数         かることで、安易に廃す         減量化を促進することが         ることにより、ごみの減         手続きが必要となるため         平成16年度(実績)         392トン         量が減少する。         平成16年度(実績)         36,283トン         平成16年度(決算)         2,112         1,026         2,112	乗せず、物を修理しなが ぶできる。   成量化を促進する。   廃棄よりも再利用でき   平成17年度(実績)   35,864トン   1世帯当り(円)   51   平成17年度(決算)   1,022   999   2,021   2,339   -318	ないか考えるので 平成 1 8 年度 ( 500トン 平成 1 8 年度 ( 36,000ト	、粗大ご。 目標) ン 22 予算) - 1,120 -	職を養うことができ みの発生量が減少する。 <mark>平成19年度(目標)</mark> 500トン <mark>平成19年度(目標)</mark>	

4 評価	西(チェック)				
評	価 視	点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
	口的可以此	(2 - 2)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	目的妥当性(	(2 ~ 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
			☑ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2~	2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
			□ いずれにも該当しない		
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ☑ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	5	5
	市民ニーズ(	2 ~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把握	0	
性		,	□ 数字で把握している □ 未把握		
8点	*! ^ TELL ! * *	////	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
	社会環境変化	化(1~ 1)	内容 循環型社会の構築		
	優先性,緊急	急性(1)	□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる		
	対象カバー図	<b>率(1~ 1)</b>	☑ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~	1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
効	成果の実績(	(2 - 1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	1	4
XII	ルネの大順(	(2 1)	└▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	4	4
性	- 成果向上余均	l±h/1 ~ 1\	成果があがっていない場合		
4点	- 成来问工小	יו) שי	□ 成果向上策あり □ 特になし		
			☑ 比較できる団体がある 団体名 近隣市 □ 比較できる団体はない		
	単位コスト(1	~ 1)	☑ 他団体の数字を把握している 単位コスト 処理券販売単価 □ 把握していない		
効	十四コスト()	')	▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
			高い、または低い場合の理由		
	受益者負担(	(0 ~ 1)	☑ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない □ 負担を求めるべき事業ではない		
率		,	□ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能)	-2	-2
			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	_	_
	手段(1~ 3	3)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	5	,	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点	コスト削減取	!組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている ☑ 特に行っていない		
			→ 内容		
平成 1	6年度の評	一	□ A <mark>平成17年度に実</mark> □ 改善し、効果を得た		
及び	6年度の評改善の	方 向 性	評価結果 改善した改善の方向 改善したが,効果がな こ なまし		
(評価が	がない場合は	記載不要)	$oxed{ ar{A}} oxed{ ar{A}} oxe$	_	_
			・券引渡条件の整理     ・粗大ごみ処理券を当日中に配達するよう依頼     評価	В	ВΙ
平成実施	1 8 年	度に	THE COLUMN TWO IS A SHIPP CAN DEPART OF THE CO		
実施	する改		課題 ・預かり廃止検討(大手以外4件) 内容・1冊100枚綴りが3万円であり、一括納付だが、販売		
(	必	₹ )	枚数で精算している事業所の取扱いを変更する。		
5 今後	後の対応(ア	クション)			
		,	・市民が購入した粗大ごみ処理券が不要となった時、料金の還付ができない。		
現在談	忍識してい	る課題	・粗大ごみ処理券配達車両の駐禁対応		
	係者 市民,関係	係者の名称			
からの		要望内容			
要望	等思思,	× ± ľ ľ í			
		対応内容	・粗大ごみ処理券の料金還付ができないことについては、広報あしや等により、啓発を行う。		
	(1)		・粗大ごみ処理券の配達については,宅配便等による配達の検討をする。		
+m n= ==	+0.00	実施期限	平成 18 年 月		
課題·要		対応内容			
A (1) th	(2)	中长4079	T-1 E		
への対	(3 )(C)	実施期限	平成 年 月		
	(3)	対応内容			
	(3)	実施期限	平成    年    月		
		天肥朔似	十八 十 月		
その他	考えられる				
	カアイデア				
- E	- , , , ,		今後の方向性	1次評価	2次評価
			・粗大ごみの処理は、予約センターに申込みを行い、粗大ごみ処理券を買い、排出する。 拡大・充実		
			この手続きにより、排出量が減り、収入が年間1,000万円あるため、事業を継続して行う。 現状 維持		<u> </u>
			方 法 改 善		0
平成 1	9~21年度	の方向性			0
1 72%		-> /J  -3  I	縮小		0
			統合/終期設定		0
			<u> </u>		0
			<del>                                      </del>	J	<u> </u>
2 次 壑	通 委 員 会	コメント			
- // 1	IM X 7 4	7//			

-75-

( —	般事	事業)	事業	□ <b>-</b> ド	1310	070				部長	<u></u> 次	長	<u></u> 課	長	
平月	立 17	年度	事	 業 名	ごみ	収集・運搬に関する	5.事業								
	~ · ·	1 /2		ж I	<b>.</b> ,	1XXX X211X1-1X1 Y G									
1	事為	<b>美概</b> 望	更(ドゥ)												
			まちづく	りの目標	1		な生活環境づくり			所 管 課	生活環境				
		計画		中	3	環境適合型社会の					環境処理		-		
	東加	施 策 系		<u>小</u> 細	1	環境への負荷の低	[版			所管課長氏名記 入者氏名					
事		業	斯		亚战	<u> </u> 18年4日1日~平成	19年3月31日 経常臨時	□ 奴骨 □ 臨時		電話番号		.µ <u>.</u>	内線	2687	
根	拠		令 · · ·			物の処理及び清掃				実施主体			L A war	2001	
実		施	手	法		直営	☑ 一部委託	□ 全部委託		□ 補助金		負担金			
委			託	先			名称			委託 委託 内容					
=		भार		107 THE		•	る廃棄物及び再生資源の	の収集、運搬及び分	分別収	集を行う。					
事		業	の	概 要	袱貨	源の収集, 連搬及	び分別収集も行う。								
					①燃	えるごみ:週2回.	6班 (3人/班) 体制で ]	R以南(楠町を防	余く)	を収集					
事		業	の	現 状			1回), ビン(月2回)								
		目的第	実現のため	<b>o</b>	③紙	資源:段ボール(	月2回),雑誌・チラシ	くその他紙類(月1	[回]	,新聞・紙パック	ケ(月1回	回)			
	3	手段及	び実施内	容	④収		16,038トン(16,19								
				#: ## <i>4</i> 2		紙資源等		トン/16年度) う	ちペッ	ットボトル 155	トン(144	トン)			
			結果指標			るごみの収集・運 15年度(実績)	版(但名) 平成16年度(実績)	平成17年度(宝	经结)	平成18年度(	日煙)	平成 1 9	9 年度(	日煙)	
						2, 144トン	<del>10年度(英順)</del> 7、889トン	7, 901ト		7,500			500		
アウ	ナトフ	プット	( - )				18,383円/トン			19,000			000円		
指		標			燃え	るごみの収集・運	搬(委託)								
			結果指標				平成16年度(実績)	-		平成18年度(		平成 1 9			
			(2)	指標値		365トン 229円/トン	8,619トン 10,911円/トン	8, 575ト		8, 000 12, 000P			000 000円		
2	車当	≠成5	果(アウ)		9,	, 229円/ドン	10,911円/ドン	11, 595円/	トン	12, 000	月/ ドン	1 2,	000	1/ 1/ /	
_	<del>-</del> 7				+.4	^## (^*B)									
			対			市内全世帯(全市民) 対象数(a) 92 674人 母 益 数(b) 92 674人 比 変(b ÷ a) % 100%									
				バー率	<mark>対象数(a)</mark> 92,674人 <mark>受益数(b)</mark> 92,674人 <mark>比率(b÷a)%</mark> 100%										
对	家,:	意 図		ভিয়	<b>小江</b>	環境, 衛生環境が良	おに切たわて								
			意 (対象を=	と (主語にして		來現,稱王來現 <i>四</i> 日	(女)(C)水/C4 (V3)。								
			(,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,												
大		き	な	目 的	資源	の分別収集, 再資源	原化でごみ量を減量化す	ることにより地球	環境が	バ良好に保たれる	0				
				I											
			中間代田	指標名 考え方・式											
					_	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(実	[績)	平成18年度(	目標)	平成 1 9	9 年度 (	目標)	
ア・	ウト	カム	34 18.	指標値					,	110	11, 113, 7				
指		標		指標名											
				考え方・式	_		五代4.6年度(中华)	T. # 4 7 F. F. (F)	1/主 \	T-1 1 0 F-5 (		T - 1 4 4	- <del></del> -		
			指 標	年度指標値		,15年度(美額)	平成16年度(実績)	平成1/年度(美	〔額〕	平成18年度(	日標)	平成 1 9	4年度(	日標)	
				1日 1示 10											
芦厚	₫市(	の特色	色など補足	足する事項	平成	16年度から,燃え	るごみの収集を週2回と	こし、紙資源等の収	又集を	週1回実施。					
	事為			分(コスト	_			L		住民1人当り(円)	3,716	平成18.4.	.1 住民基	本台帳	
事		業	費			207,662	, ,	平成 1 7 年度 (決	-	平成18年度(	予算)				
		<u>个</u> 事	件 費業 費		1	84,968	179,491 132,685		7,147 3,268		140,417				
内	訳	_	門経費			0	102,300		2,342		-				
			償却費			0			0		-				
		合	計			292,630	312,176	337	,757	_	-				
p.J.	VIZ.	王	- 県		1	2,867	0		0		0				
財任	源 · 円)		債 等の 他		1	0	0		0		0				
( 1	IJ)		<b>投財源</b>		_	289,763	312,176	337	,757		-				
活	動	職	<del>互 //3   長</del>			24.40	23.60		23.60		-				
配			·臨時等	2.1%		4.80	0.00		0.50		-				
( .	人 )	合	計	100.0%		29.20	23.60	2	4.10		-				

4 計1 評	曲(チェック) 価 視	点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
н	目的妥当性(		□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない □ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない	17/41/14	2// 61 1144
妥	市関与(2~	2)	☑ 市が実施するよう法律等で義務づけられている       □ 民間でやるべき,または対応可能である         ☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である       □ 他団体では見直しがされている		
当	<b></b>		□ いずれにも該当しない □ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	6	6
性 8点	市民ニーズ(	2 ~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把握 □ 数字で把握している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要	_	
。無	社会環境変化	,	内容	-	
	優先性,緊急対象カバー図		□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる □ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1 ~		□ 別家が、平は同い □ 同国体と内程度 □ 同国体を分が、平が低い □ 事業意図と受益者が不整合、または受益が一部に限定	-	
効	成果の実績(	(2 ~ 1)	□ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している 実績値または目標値が未記入 ▶□ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	1	1
性 4点	- 成果向上余	地(1~ 1)	成果があがっていない場合 □ 成果向上策あり □ 特になし		
効	単位コスト(1	~ 1)	☑ 比較できる団体がある 団体名       □ 比較できる団体はない         □ 他団体の数字を把握している       単位コスト       ☑ 把握していない         □ 他団体よりコストが低い       □ 他団体と同程度       □ 他団体よりコストが高い         高い、または低い場合の理由       □ 他団体と同程度       □ 他団体よりコストが高い		
	受益者負担(	(0 ~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない □ 負担を求めるべき事業ではない □ 負担を求めるべき事業ではない □ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能 )		
率			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	-2	-3
	手段(1~ 3	3)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある □ 四月間の光 NPO祭(オリケスナイン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン		
性			□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である □ 属託, 臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託, 臨時職員等で対応可能である		
3点	コスト削減取	!組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない ¬ 内容   人員を削減し,民間委託を拡大してきた。	-	
平 成 1 及 び (評価か	6 年 度 の 評 改 善 の がない場合は	平価内容 方向性 記載不要)	□ A	D	В
平成実施	1 8 年 する改 必 須	善内容	評価	В	D
5 今後	<b>後の対応(ア</b> ⋅	クション)			
現在:	認識してい	ヽる 課 題	紙資源等の分別収集を推し進めて,さらにごみ量を減量化する。		
市民,関	係者 市民,関	係者の名称	市民		
からの 要 望	意見意見,	要望内容	ごみの分別について, ごみステーション用のわかりやすい啓発看板を作って欲しい。		
	(1)		ごみステーション用のわかりやすい啓発看板の作成		
課題·要	· 胡笙	実施期限	平成 18 年 12月		
<b></b>	(2)	対応内容			
へのタ	讨 応	実施期限	平成 年 月		
	(2)	対応内容			
	(3)	実施期限	平成    年    月		
	I				
	考えられる				
以 書 0	カ ア イ デ ア		今後の方向性	1次評価	2次評価
			<u>拡大・充実</u>		0
			現状維持		•
平成 1	9 ~ 2 1 年 度	の方向性	方 法 改 善 方 法 改 善 当面,民間委託の拡大については,据え置く。		0
1 13%	2 十尺	/J I-J IX		<u>,                                    </u>	0
			統合/終期設定		0
			廃止/休止	0	0
2 次 評	這価 委 員 会	コメント			

( —	般事	<del>雅</del> /	事業	_		1310	110			1		部	長	יאי	E	課長
(	NX <del>T</del>	未 )	尹 未		1	1310	110					미	K	<i>/</i> /	IX.	10本 区
平成	रे 17 £	₣度	事	業	名	廃棄	物の減量・資源化促	建事業	(リサイクル推進	≛)						
	<del></del>	In-														
			更(ドゥ)									•				
			まちづ	( I)	の目標	1	活気あふれる豊か	な生活	環境づくり			所 管	課	生活環境	部	
総言	合 計	画		中		3	環境適合型社会の	形成				//I =	1 1	環境処理	センター	_
政章	策 施	策		小		1	環境への負荷の低	:減				所管課-	長氏名	石濱正	昭	
体		系		細								記入者	氏名	山中辰	則	
事		業		期	目	1996	年(H8)9月~		経常臨時	✓ 経常 □	臨時	電話	番号	0797-3	32-5391	内線 2697
_	拠						市廃棄物のごみ減	量化及7			. ,		主体	自治事		1 Single
実	1/2	施		<u>~</u> 手			直営		一部委託	□ 全部委託		□ 補助			負担金	
委		IJШ	託	<u> </u>		<del>                                     </del>		名称	叩女儿	□ 土即安元		委託 委託			貝匹亚	
<del></del>			пь		76	<del>                                     </del>	みとして収集した		白起古た 百仕1	古足)で右約カ						
-	ווג	ı <u>c</u>	•	10			かとして収集した!	水央 ○	日料単を行生し、	中氏に有料入	ルス無れて	ルボッつ	0			
事	業	₹	の	相	斑 要											
							B 7: B 5 b			(1.11)		/ H >				
							成13年10月から粗					,場所を	指定し,	収集し	ている。	
事	業	É	の	IJ	見状		集した粗大ごみの									
	E	的第	€現のた	めの	)	有	料のリユースフェ	スタにカ	加え,平成14年1	2日から無料の	リユース	フェスタ	を始めて	<del>ئ</del> ے۔		
	手	=段及	が実施	内容	\$	· 平	成18年6月のリユー	-スフェ	スタでは, 古着	,古布,布製品	品のフリー	マを同時関	昇催する	予定をし	ている。	
				井	旨標 名	展示	品数									
			結果指	_				平成 1	6年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成 1	8年度 (	目標)	平成 1	9年度(目標)
			(1)		<u>反</u> 旨標値		528点	1 75%	344点	219点		1 7-20	300点	H 130 /	1 7-20	300点
マゥ	トプ	w k	(1)			1	49,934円		66, 849円	123, 068						
	1. )				単位コスト 旨 標 名				00,049	123,000	· []					
指		標	(+ m + k )					TT = 1 4	6. 左连 7. 中华 7	T. # 4 7 F. F.	/ rh/# >	TT = 1 4	0 左座 /		TF # 4	0.左座(口槽)
			結果指					平成 1	6年度(実績)	平成17年度		平成 1		日標)	平成 1	9年度(目標)
			(2)	排	旨 標 値		766件		625件	509件			500件			501件
					単位コスト		34, 419円		36, 794円	52, 951	円		_			_
2	事業	成县	艮(アウ	<u>1トナ</u>	5ム)											
			対		<b>4</b>	. 亩	生家具,再生自転	由た心で	<b>斯レナス古民</b>							
			ניג		31	- 117	生多矣,丹生日料	中で 火っ	女とする川氏							
事業	<b>の</b> 目	目的	対 象	力 <i>,</i>	バ - 率	対象	<mark>象数 (a)</mark> 92	,674人	受 益 数	<mark>! (b)</mark> 申辺	込み509件	比	率 (b	÷ a) %		0.5%
対 象	き・意	図														
			意		図		みとして捨てられ		ごみを再生し,†	5民が再使用す	ることに	より,粗	大ごみの	の有用性	とごみの	再資源化,減
				==	語にして)	重化	に対する関心を高	める。								
			(*******													
大	à	ŧ	な	E	的		みとして捨てられ		ごみを再生し,†	5民が再使用す	ることに	より,粗	大ごみの	の有用性	とごみの	減量化,再資
		•	<i>'</i> &	-	4 43	源に	対する関心を高め	る。								
		T		1+1	ら挿々	11	ユース品重量									
				_	<u> 標 名</u>			(E # I	コトナファルファル	- h デフ. か次:	NE // NE	・見ります	÷π =6/- 1	-"7. 2°3	A 7	
					きえ方・式		大ごみをリユース									0 F F ( D F )
			指	標白		_	15年度(実績)	平成1								9年度(目標)
アウ	ナトス			_	旨 標 値		3, 930kg		2, 563kg	1, 632k	g		2, 235kg			2, 235kg
指		標			旨標 名		み全体のリサイク									
			最終成果	果老	きえ方・式	市	民の意識が向上し	、ごみの	の全般の資源化,	減量化が促進	する。					
			指	標年	F 度	平成	15年度(実績)	平成 1	6年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成 1	8年度(	目標)	平成 1	9年度(目標)
				排	旨標 値		13. 52%		17. 15%	18. 66%	<b>%</b>		19.00%			19.00%
		•				・有	料のリユースフェ	スタは,	家具と自転車を	修理して,展	示し,希	望者に売	却してい	いる。	•	
芦屋	市の	特色	となど補	足:	する事項	• 無	料のリユースフェ	スタは,	家具のみ簡易な	は修理をし、別	途小物類	も展示し	, 持ち/	帚り品を3	多くして	いる。
							ちらも希望者が多									-
2 ]	車型	弗,	<b>注新版</b>	2分	(コスト	1	330WZU43	. "жы	э, <sub>1ш</sub> ст-огу,	1世帯当り(円)		住民1人当	12(円)	207	亚成187	1.1 住民基本台帳
事	于木	業				_	15年度(決算)	亚战 1	6年度(油質)	平成17年度					1 /32/10:	ECETION
<del></del>		1		費			25,770	T-13% 1	22,684	十八八十尺	23,740	T-13% 1	0 干皮(	J. <del>T.</del> J		
	2	<u>^_</u>			88.1%									G1E		
		事 ************************************		費	11.9%		595		312		3,212			615		
内	訳 他 部 門 経 費 一															
(+	_															
		<u></u>		Ħ	100.0%		26,365		22,996		26,952			-		
	[	玉		杲												
財	源「	市	債(	等												
(千	円)	7	の f	也	0.8%		482		420	<del></del>	210			400		
	_		<b>夏财</b>	原	99.2%		25,883		22,576		26,742			-		
活	動甲			員	31.0%		1.40		1.30		1.35			-		
配			·臨時		69.0%		3.00		3.00		3.00			-		
	( )			H	100.0%		4.40		4.30		4.35			_		
( )	. /	_		•	.00.070		7.70		7.00		7.00					

	曲(チェック)			,	
評	価	点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
	目的妥当性	(2 ~ 2)	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
		(2 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
			□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
•	10101 5 (2	-,	□ いずれにも該当しない		
NZ				1	2
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	4	2
	市民ニーズ(	2 ~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない, または未把握		
性			□ 数字で把握している □ 未把握		
8点	九人四块本	/////	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
	社会環境変	化(1~ 1)	内容 排出される粗大ごみの種類が多種で高品質である。		
	優先性,緊急	●性(1)	□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
	対象カバー図	. ,	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
<b>±</b>		, ,		_	
有	受益者(1~	1)	□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
効	成果の実績	(2 ~ 1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している◯ 実績値または目標値が未記入	3	3
743	1-207( C) 2C/mgc	()	▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	J	J
性	世田台 上人	Lille (a a)	成果があがっていない場合		
4点	- 成果向上余	(ו ~ ו)שון	□ 成果向上策あり □ 特になし		
****			☑ 比較できる団体がある 団体名 近隣市 □ 比較できる団体はない		
			□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 比較 ととる団体はない		
効	単位コスト(1	~ 1)	· · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
XXI			□ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
			高い、または低い場合の理由		
	受益者負担	(0 1)	☑ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
<del>.,,</del>	又無有其担	(0 ~ 1)	┃ └➡ ☑ 現在,適正な負担あり  □ 負担なし,過少  (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能 )	2	2
率			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	-2	-3
			□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	手段(1~ 3	3)	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		
40			□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点	コスト削減取	(組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
		, ,	▶ 内容 主材料,副材料共,粗大ごみで出てきたものを使用している。		
	. <del> </del>	: / <del>-</del>	□ A wd17年度に宝 □ お茶1 が用た得た		
平成1	6年度の割改善の	4 個 内 谷	一		
人 が 価 ナ	改 書 の がない場合は	力 内性	□ □   M		
(пт іш /	) ない物口はi	ᇦᄱᇄᄭᅑ	☑ B 性 □ □ □ □ なかっ た <b>総合</b>		
			・古着、古布、布製品のフリマを同時開催・古着、古布、布製品のリユースの取組みの 評価	В	l D
平 成	1 8 年	度に	1. 世 ため、東京10年C日のリョ・フラーフカベラリ		
実 施	する改		課題 内容 マを同時開催する。		
(	必	<b>)</b>	13日 4 条 山山村川准 4 公。		
- 4/	// - \   <del>-    </del>	<b>L.S.</b>			<u> </u>
5 今後	<b>後の対応(ア</b> ⋅	<u>クション)</u>			
			・将来は、市民自ら再生可能な粗大ごみを貸与工具で修理し、それを持ち帰ることの出来る事業を行う	0	
現在:	認識してい	Ⅰる課題	・将来は、ボランティア講師の指導により、「古着をリフォーム」、「廃油から石鹸を作る」等の教室	を開く。	
市民、関	係者 市民,関	係者の名称			
からの	音目				
要望	意見,	要望内容			
女 宝	寸				
		対応内容	・以前、自転車の修理講習会を試行として、募集したが、2組の応募があり、その後、1組がキャンセル	<b>レた。</b>	
	(1)		リサイクルセンターに配置されている人員により、事業内容を進める必要があり、検討を要する。		
		実施期限	平成 18 年 月		
課題·要	望等	***			
	(2)	対応内容			
へのす		実施期限	平成年月		
. 0)	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	大旭州代	T		
	(2)	対応内容			
	(3)				
		実施期限	平成 年 月		
その他	考えられる				
	カアイデア				
	. , , ,		今後の方向性	1次前/再	2次前/再
					_
			・社会のニーズの高まりがある事業のため、市民参加型のリサイクル事業の推進を行う。 拡大・充実		0
			<mark>現 状 維 持</mark>	O	0
				•	0
平成1	9~21年度	の方向性	民間委託等	0	•
				0	0
			統合/終期設定		0
					0
			<mark>廃止/休止</mark>	$\cup$	$\cup$
			NPOや民間企業,市民団体等へ委ねる方策について,アクションプランを作成して取り組んでくださ		

( [	力 部 🖺	事務)	事業	□ <b>-</b> ド	1310	130			部長次	長課長					
		,		<u> </u>		処理センターの維持	生祭頭 数供事業								
4	ו אַלוּ	7年度	<b>争</b>	業名	坂児:	処理センターの維持	守官埕,登佣事業								
1			要(ドゥ)			アケルトルマ曲)	よれて細性メント		//. >r v= /	the start					
		9座巾 計 画		<u>りの目標</u> 中	-	活気あふれる豊か環境適合型社会の			所 管 課 生活環境	見部 単センター					
		前 崗 策		<u> </u>	3	環境への負荷の低			所管課長氏名 石濱江						
体		心系		<u>小</u> 細	-	來現。V/貝們V/四	///X		記入者氏名山中						
事		業	斯		昭和	<u> </u> 6年~(平成8年~	現状) 経常臨時	□ 経常 □ 臨時		·32-5391 内線 2697					
根							こ関する法律、施行令、		実施主体自治理						
実		施	<u>· · · · · ·</u> 手				☑ 一部委託	□ 全部委託		負担金					
委			託	先		外郭団体委託	名称		]委託 <mark>委託内容</mark> ごみ焼き	印施設運転管理業務					
					• 環	境省令で定められる	た技術上の基準に従い,	ごみ焼却施設の維持管理	里をする。						
事		業	の	概 要	(	技術上の基準:燃炸	尭ガス800度以上に保つ,	焼却灰熱しゃく減量10	%以下,排ガス中の一酸	化濃度連続測定等)					
							幾能するために、各設備								
_		NIV.						を委託業者へ指示、指導							
事		業	の	現 状	・芦	屋浜地域住民との	公害防止協定による連宮	協議会を年1回開催する	0						
			EII A to 1	50	(参	孝)									
			実現のため ひび実施内			* *	存から出さわ スデカかい	時間運転で焼却をしてい	ハス						
		コート又だ	スリ大心と	3 H				の公害対策に適切な対応	-						
							ともに市民の理解と協力		1 • 2 0						
				指標 名		却炉運転時間数	5	5 - : X - :							
ァ	クテ	・ィブ	(工業がお)	年 度		15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)					
指		標	活動指標	指標値		7,920時間	7,822時間	7,920時間	7,900時間	7,900時間					
				単位コスト		71,859円/時	68,837円/時	65,964円/時	_	_					
				指標名		却量				_					
ア	ウト	プット	結果指標		_	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)					
指		標	MAP 143 M 13.	指標値		34,988トン	33, 432トン	32,906トン	33,000トン	33,000トン					
2	<b>=</b>	₩ <del>   </del>	11 / フウリ	単位コスト		16, 267円/トン	16, 106円/トン	15,877円/トン	_	_					
	<b>事</b>	<b>東</b> 戍を	果(アウ	rna)											
			対	象	・公	害防止を求める市民	民								
事	業の	目的	対象力	バー率	対≨	<b>象数 (a)</b>	92,674	<b>文 (b)</b> 92,674	比率 (b ÷ a) %	6 100					
		意図				<u>い か                                   </u>									
			意	図	٠ ٣	み焼却施設を適正に	こ運転することで安定し	た住環境を提供できる。							
			(対象を	主語にして)											
					・業	者委託により、家原	庭から出されるごみを2	4時間運転で焼却処理す	する。						
大		き	な	目 的					の延命を図り,公害対策を	:行う。					
				1			公害防止協定による運営	協議会を開催する。							
				指標名		み処理トン当たり		>							
				考え方・式			ハながら、経費節減を行		亚式10年度(日播)	小は10年度(日増)					
7	ь.		成果指標		_	16,883円/トン	平成16年度(実績) 16,779円/トン	十八   / 年長 ( 美領 )	平成18年度(目標) 16,000円/トン	平成19年度(目標) 16,000円/トン					
が指		カム 標		指標值指標名		10,000 1/ 1.	10, 113[1]/ [->	1	10,000[]/ [~	10,000 1/ 1/					
15		าส	最 終	考え方・式											
			成果指標		_	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)					
				指標値											
					·下	水処理水をMF,]	RO膜で高度処理して、	ごみ焼却炉の冷却水とし	して使用している。	•					
芦	屋	の	特包	色など	そ	れまでの塩類による	るガス冷却室内の付着灰	がなくなった。							
3				分(コスト	_	a management of the first to			住民1人当り(円) 5,748	平成18.4.1 住民基本台帳					
事	•	業	費		半成		平成16年度(決算)	平成17年度(決算)	平成18年度(予算)	_					
		事	件費業費	1		19,608	9,297	8,968	E00 400	_					
内	≐⊏	3.	業 貸 門経費			549,512	529,149	513,464	509,180						
			道却費												
1	, IJ)	合	計			569,120	538,446	522,432	_						
		国	· 県												
財	源	市	債 等												
( -	千円)		の他			97,127	87,592	116,238	108,674						
			段 財源			471,993	450,854	406,194	-						
活		職	員			1.95	1.00	1.00	-						
配			·臨時等			1.00			-	_					
(	人 )	合	計	100.0%		2.95	1.00	1.00	-						

		エツク)														
評	価	視								ニックリスト					1次評価	2次評価
		象カバー率			対象カバ			□ 他団					カバー率か			
有	受記	益者(1~	1)							意図と受益者				定		
効	成馬	果の実績(2	2~ 1)					を把握し,目標値を		/ている □ 実終	遺値または目	標値が未記	己入		4	4
XII	לאנו	トリス派(2	- 1)	•	☑ 実績(	直から成:	果があ	がっていると言える	5	□ 実絲	責値から成果	があがって	いると言え	ない	4	-
性	ᆎ	B向 F全地	也(1~ 1)	成	果があがっ	ていない	\場合									
4点	- 112,7	といていい	B(1 1)		成果向上	策あり							:	持になし		
				<b>✓</b>	比較でき	る団体が	ある	団体名	ļ		l	比較できる	団体はない	١		
	汗毛	<b>协配</b> 分(1~	. 1)		他団体の	数字を把	2握して	こいる 活動配	分		<b>☑</b> ‡	巴握してい	ない			
	/口当	い日レノノ(」。	1)	↳	□ 他団	体より少	ない	□ 他回	1体と同	]程度	☐ f	也団体より	多い			
効				多(	い,または	少ない場	景合の野	理由								
				~	比較でき	る団体が	ある	団体名	各地	2方自治体	□ t	比較できる	団体はない	١		
	単位	立コスト(1 <sup>-</sup>	~ 1)		他団体の				<b>&lt;</b>	トン当たり終	≧費 □ ‡	巴握してい	ない			
率	T 1.	<u> </u>	')	₩	□ 他団	体よりコ	ストが1	低い 🗌 他国	1体と同	]程度	☑ f	也団体より	コストが高い	١	-2	-2
-					い,または			_		建設された後 , リサ・		れ,計画に対	付しごみ量が測	或少した。	- 2	
				直	営(正規職	(員が執行	亍) また	は外郭団体へ委託	もしてい	る業務につい	て					
	±€	受(1~ 3)						義務づけられている			人,家庭,地域					
性	J +	·x(1 0)	'		民間(企業	¥, NPO≅	≨)では	対応できない業務	である	☑ 民間	間(企業 , NPC	等)で対応	可能である	5		
4点								寸応できない業務で	である	□ 嘱言	托,臨時職員	等で対応す	可能である			
	1 22	ト削減取	組(1~ 1)		コスト削洞						こ行っていなし					
	7/	יאריאיוננו יי	мд(, ,)	→	内容	経年劣	化と井	はに必要経費が掛	かるが,	計画工事を削	減し,突発工	事を優先し	している。			
平成.	16 年	度の評	価 内 容				Α	T - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -		改善し,効果	た但た					
及び	改善	善のう	方 向 性		価結果			平成17年度に実した改善の方向性	4				改善しな			
(評価)	がない	場合は記	己載不要)			~	В	のに以告の方向		改善したが、	効果がない	<b>✓</b>	ひ書しな	<i>w</i> ^	_	_
					・コンピ	ュータ制	訓御の	陳腐化による設備	i	<ul><li>ごみ焼却炉</li></ul>	を制御するコ	ンピューク	7機器の部	総合評価	В	В
平成			度に	+m ==	更新の検	討			改善	品が製造中止				н тіш		
実施	9 必	る 改 着 須		課題						策定する。						
(	%D'	<i>)</i> 5-	(													
5 今	後の対	寸応(アク	フション)													
		2,0 (, ,	, , , ,	· 平)	成16年4月	から紙資	資源の行	「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」	の他プ	ラスチックごみ	みが分別収集	となった眼	寺,ごみ焼	却に必要	な熱源の	の減少。
現在	認識	してい	る課題	<ul><li>公和</li></ul>	你能力115	トンに対	し,現	在100トンだが, 将	来ごみ	の有料化が推進	<b>生された時,</b> 夏	夏に減量す	るため、安	定した燃	焼が出来	きない。
				٠ ـ ـ ـ ـ ـ ـ ـ ـ ـ ـ ـ ـ ـ ـ ـ ـ ـ ـ ـ	みの焼却に	は, ごみ	の減量	量化,再資源化の	時代に	は,適合しな	くなっている	5.				
市民, 陽	関係者	市民,関係	系者の名称													
からの	意見	<del>-</del>	医组合应													
要望	等	息兒,	要望内容													
			対応内容	• 南	芦屋浜の	開発が進	めば,	それに伴ってご	み量も	増えるが,更	に法律に従っ	った資源対	け象物の増	加やごみ	有料化	の実施
		(1)	אוויאונג	をし	なくてはス	ならない	時にに	は,広域処理の検	討が必	要となる。						
			実施期限	平成		年		月								
課題·要	要望等		対応内容													
		(2)	בוניוטיונג													
への	対応		実施期限	平成		年		月								
			対応内容		_	_		_				_	_	_	_	_
		(3)	×1,041,2 □													
			実施期限	平成		年		月								
		. られる														
改善	のア	イデア														
													今後の			_
				・住	環境を快調	歯にする	ため,	焼却施設の適正	な維持る	を行い、焼却タ	付象こみを処	理する。	拡大・			0
														維持		0
													方法			0
平	9 ~ 2	一牛皮	の方向性										民間委			<ul><li>O</li></ul>
													縮		0	0
													統合/終		_	0
													廃 止 /	1 上	U	0
2 次 部	平価多	委員 会	コメント	更な	るコストの	の削減等	に努る	<b>かてください。</b>								
				ı												

								_							
(一般	事業)	事 業	П  -  -	13300	050				部 長次	長課長					
平成17	年度	事	業 名	廃棄	物の減量・資源化促	建事業(啓発事業)									
								•'							
1 事	業概録	要(ドゥ)													
			(りの目標	1	活気あられる豊か	な生活環境づくり			生活環境	冷心					
				-					所管課						
総合			中	•	環境適合型社会の				<b>東</b> 境処均	[センター					
政策	施策		小	3	環境を大切にした	生活文化の育成			所管課長氏名 石濱正	三昭 二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十					
体	₹.		細						記入者氏名 山中辰	EBIL					
	系														
事	業	期	間			経常臨時	☑ 経常 □	臨時	電話番号 0797-3	32-5391 内線 2697					
根 拠	法	令 '	要綱等	痉童	医物の処理及び清掃	<b>帯に関する法律・容器包</b>	装リサイクル海	‡.	実施 主体 自治事	[終					
						_				***					
実	施	手				☑ 一部委託	□ 全部委託			負担金					
委		託	先	$\checkmark$	外郭団体委託	名称 シルバー人材セ	ンター	☑ 民間	]委託 <mark>委 託 内 容</mark> 全戸配	2布					
				·家I	<b>芽ごみの分別や出</b>	し方をまとめた「家庭?	<b>ブ</b> みハンドブッ	カーご	みの減量化,再資源化等	を掲載した「広報あしや					
	NIIZ														
事	業	の	概 要	環境?	特集号」を作成し	配布する。また、こみと	こして排出され	た家具等	の粗大ごみを再生し,リコ	- 一スフェスタを開催し,					
				市民	に提供する。その	ほか、関係市民団体と協	a賛し、フリー	マーケッ	トやマイバック運動等の	啓発事業を実施する。					
						号 : H17.6月 環境月									
-	MIZ														
事	業	の	現 状	・家原	庭ごみハンドブッ	ク : H18.3月 H18年月	皮版 50,000部	各自治	会,シルバー人材センター	-					
	目的	実現のため	りの	• IJ:	ユースフェスタ	: H17.7.8~10 有料	탁 , H17.10.2	21~23	無料						
				-	リーマーケット	: H17. 5. 8 , H17. 1									
	丁-F又/:	及び実施内	分合	-		,									
				• 環	<b>覚処理センター施</b>	設見学会 : 事前申込み	ょにより、随時	実施 糸	1800人/年						
			指 標 名	家国	庭用ごみハンドブ	ック全戸配布									
		4± FR +15+=					亚代 1 7 年度	(宝装)	亚式10年度/日播》	亚式 1 0 年度 / 中海 >					
		結果指標	·	十九		平成16年度(実績)		( ,	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)					
		(1)	指標値		39,852世帯	40,217世帯	40,935世	世帯	41,000世帯	41,000世帯					
アウト	プット		単位コスト		270円/世帯	186円/世帯	175円/世	- 帯	_	_					
				11.				± 111							
指	標		指標 名			フリーマーケット開催回									
		結果指標	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)					
		(2)	指標値		6回	5回	4回		6回	6回					
		(2)						m /m	02	VE					
			単位コスト	1	, 792, 166円/回	1,499,000円/回	1, 788, 000	円/回	_	_					
2 事	業成績	果(アウ	トカ <b>ム</b> )												
		対	象	• ===	みの減量化・再資	原化を啓発する世帯									
					・ごみの減量化・再資源化を啓発する世帯										
事業の	目的	対 象 力	」バー 率	対 象	₹数 (a) 40,	935世帯 受益数	(b) 40,	935世帯	比率 (b ÷ a) %	100%					
対象・	音 図					•									
Y1 2/		l	I STORY	Г	<del></del>	ゴート の町ナナケン	++ × × × × ×	Ed de H.O.		* 1.11 2					
		怠	凶	• 1	「家庭ごみのハンドブック」の配布を行い,家庭ごみの分別や出し方等について理解と協力を求める。										
		(対象を3	主語にして)												
+	+	<b>t</b> >	E 65	・市」	民に5R生活と言れ	oれる「ごみになるもの	を減らす・繰り	)返し使	う・資源化して使う・不用	なものは受取らない・					
大	き	な	目 的	修理	して長く使うなど	」の実施を働きかけ、多	反庭から出され	るごみの	減量化と再資源化を図る。						
			指標 名	市	民1人1日当たりの	ごみ排出量									
		<b>₼86 +</b> B				原化を啓発した結果, 排	北山 具ぶがまっ								
			考え方・式						I = "	1					
		指 標	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)					
アウト	カム		指標値		1,081g	1, 083g	1, 0608	g	1,050g	1,050g					
				~n.		1,0008	1,000	U	1, 0008	1,0008					
指	標		指標名		み発生量										
		最終成果	考え方·式	人	口により、排出量	は変動するが,減量化,	資源化の啓発	効果があ	れば、市全体量が減少す	る。					
			年 度			平成16年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)					
		্য ন		. 72%											
			指標値		36, 176トン	36, 283トン	35, 864 }	`/	36,000トン	36,000トン					
芦屋市	の特色	色など補具	足する事項												
, 13 13	-> 10 0	c im) /													
3 事	業費·	活動配	分(コスト)	)			1世帯当り(円)	180	住民1人当り(円) 79	平成18.4.1 住民基本台帳					
事	業	費	_ `	平成	15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度	(決算)	平成18年度(予算)						
	1			. 120			1								
	^	件 費			7,438	5,599		4,598	-						
	事	業費	35.7%		3,315	1,896		2,554	8,041						
内 訳	他部	門経費	Ì						_						
							<b> </b>								
(TH)		貸却費							-						
	合	計	100.0%		10,753	7,495		7,152	-						
	国	· 県													
B+ VE							<del>                                     </del>								
	市	債 等													
(千円)	そ	の他	152.0%					10,871	9,000						
		段 財 源			10,753	7,495		-3,719	-						
:I =1			.1		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	•									
	職	員			0.75	0.60		0.50	-						
配分	嘱託	:臨時等	-						-						
		計			0.75	0.60		0.50	_						
(人)															

	曲(チェック)				
評		見 点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
	目的妥当性	(2 ~ 2)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
		(2 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
			□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2~	2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
	`	,	□ いずれにも該当しない		
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	4	4
	市民ニーズ(	(2 ~ 1)	□ コーズが高い □ ニーズが高いとは言えない、または未把握	7	-
	TP = - \(\rac{1}{2}\)	(2 ~ 1)	,		
性			□ 数字で把握している □ 未把握	_	
8点	社会環境変	化(1~1)	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
	/5 4 U ED /	7 M (4)	内容 法の整備等に応じ適切に情報を伝える。	_	
	優先性,緊急		□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる		
<del>_</del>	対象カバー	, ,	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~	1)	□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
効	成果の実績	(2 ~ 1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している◯ 実績値または目標値が未記入	4	4
		,	▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない		_
性	- 成果向上余	地(1~ 1)	成果があがっていない場合		
4点		,	□ 成果向上策あり □ 特になし		
			□ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない		
	単位コスト(1	~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト ☑ 把握していない		
効	十四コスト()	')	▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
			高い、または低い場合の理由		
	受益者負担	(0 ~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
率	文画有其担	(0 - 1)	□ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能)	4	4
<del>'T'</del>			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	- 1	- 1
	<b> E D</b> (4	2)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	手段(1~ 3	3)	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点	ココー半心母町	7.40 (4 4)	☑ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
	コスト削減取	双組(1~ 1)	→ 内容 平成18年度は,他課の啓発事業も廃棄物の減量·資源化促進事業の費目,一本とした。		
平成1	16年度の部	平価内容	一		
及 (評価 t	改善のがない場合は	力 門性	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		
( н і іш /	3 ·3 · 1 · 3 · 1 · 13	10 + 1 1 2 /	☑ B 性 □ い なかっ た 総合	D	В
			・マイバック普及 ・マイバックキャンペーンを大型店舗前で実施 評価	B	B
平成実施	. 1 8 年 する改	・ 度に			
(			内容		
`		,			
5 今往	复の対応(ア	クション)			
			・わかりやすい「家庭ごみハンドブック」の作成		
現在:	認識してし	トる 課 題			
市民,関	係者 市民,関	係者の名称			
からの	意見。	<b>声</b> 胡 山 宓			
要望	等思見,	要望内容			
		対応由家			
	(1)	対応内容			
		実施期限	平成年月		
課題·要	望等	***			
	(2)	対応内容			
へのす	対 応	実施期限	平成年月		
	(3)	対応内容			
	( )	実施期限	平成    年    月		
		7 (30) (3) (4)	1774		
その他					
	まえられる	ς .			
改基(	3 考えられるの アイデア				
改善の	1 考えられる の ア イ デ ア		△後の方向世	1次証価	2次証価
改善(			今後の方向性           ・5R生活推進のため、継続して啓発を行う         拡大・充重		
改善(			・5R生活推進のため、継続して啓発を行う。       拡 大 ・ 充 実	0	0
改善(			・5R生活推進のため、継続して啓発を行う。       拡大・充実現 状維 持	0	0
	の ア イ デ ア	7	・5R生活推進のため、継続して啓発を行う。       拡大・充実現 状維 持方 法 改善	<ul><li>○</li><li>○</li><li>●</li></ul>	<ul><li>○</li><li>●</li></ul>
		7	・5R生活推進のため、継続して啓発を行う。       拡大・充実現状維持方法改善	0 0 •	<ul><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li></ul>
	の ア イ デ ア	7	・5R生活推進のため、継続して啓発を行う。       拡大・充実現状維持方法改善         現状維持方法改善       民間委託等	<ul><li>O</li><li>O</li><li>O</li><li>O</li><li>O</li></ul>	<ul><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li></ul>
	の ア イ デ ア	7	・5R生活推進のため、継続して啓発を行う。       拡大・充実現状維持方法改善民間委託等         成合/終期設定	○ ○ ● ○ ○	○ ○ ● ○ ○
	の ア イ デ ア	7	・5R生活推進のため、継続して啓発を行う。       拡大・充実現状維持方法改善         現状維持方法改善       民間委託等	○ ○ ● ○ ○	<ul><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li></ul>
平成 1	の ア イ デ ァ 9 ~ 2 1 年度	の方向性	・5R生活推進のため、継続して啓発を行う。       拡大・充実現状維持方法改善民間委託等         成合/終期設定	○ ○ ● ○ ○	○ ○ ● ○ ○

(一般	事業)	事 業	コード	26200	010			部 長次	長課長
( 1004	. 5 -11-7	5 5.11							
₩ ct 1	17年度	<b>事</b>	業 名	<b>《</b> (() 中	援護資金償還事務				
+ 11X 1	17 牛皮	<del></del>	未 口	火古	友喪貝並貝逐事仍				
1 事	業概要	要(ドゥ)							
			りの目標		ht めんでんしょ M	のもフ切り払合べくり		10 かもって	<b>5.1 ☆17</b>
<b>弗</b> 5 次	尸座巾	まり ノ \	リの日信	2	健やがじぬくもり	のある福祉社会づくり		所 管 課 保健福	位
総合	計画		中	6	経済的困窮者への	支援		'''	護課
				-					
以 束	施策		小	2	被災者の生活再建	への文援		所管課長氏名 棚橋	俗基
体	系		細					記入者氏名棚橋	<b></b>
事	業	斯	間	平成	7年度~平成234	年度 経常臨時	☑ 経常 □ 臨時	電 話 番 号 38-	2041 内線 2511
	n \+	^ :							1 5.05
根 拠	し法	令 · 导	要綱 等	炎吾/	₱恵金の文紹等に[	関する法律・施行令・条	≒例・規則	実施主体市	
実	施	Ŧ	注	<b>V</b>	<b></b> 直	□ 一部委託	□ 全部委託	□補助金□	負担金
<del></del>	שוו								1 分尼亚
委		託	先		外郭団体委託	名称	│	]委託 <mark>委託内容</mark>	
						主老に伐付けた巛宝怪詩	第次会を同原1 目へ借	プロス アポク年から F	5年間据え置き,平成12
				別又十中	· 次陷入层次07%	古有に貝刊りた火音返過	を貝並を凹収し、 州* * 貝	逐りる。十成1年からこ	午间沿ん直さ、十八 1 2
事	業	の	概 要	年か	ら3%/年の利息	で17年度末で償還期間	まとなる予定であったが	政令改正により5年間延	E長された。
3.	215		1-70	ı				311131-1131	
				實何1	牛釵 2, 7971	件,金額 6,694,	100 (十円)		
				平成	18年3月現在	償還済件数2,200件	上, 金額 5,826	. 128 (千円)	
				<b>I</b>	1 0 1 0 / 1 / 1 / 1	<u> </u>	, <u> </u>	, 120 (117)	
事	業	の	現 状						
	日的写	実現のため	in σ						
	手段及	ひ実施内	]容						
			指標名	納付	書・催告書・督促ん	件数及び住所調査・相続	売調査・現地調査を含む	•	
		/+ EB +5 1=	5 I.S. C.						東代10年年(日本)
		結果指標	中   度	半成	15年度(美績)	平成16年度(実績)	十八   / 牛皮( 実績 )	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
		(1)	指標値	約	12,300件	約9,800件	約7,500件	約7,000件	約6,800件
		(1)		1		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		· ·	· ·
アウト	・プット		単位コスト		2,596円	3,636円	5,264円	5,743円	5,912円
指	標		指標 名						
314	ੀਲ								
		結果指標	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
		(2)	+6 +番 /古						
		(2)	指標値						
			単位コスト			1			
2 車	光代E	果(アウ)	+ 1. )						
<u> </u>	未ルス	木(グラ)	'/J'A')						
		A 1	_	PP 4-1-	White I ## // ~ 14.	ツォー ツロ原世界 5 3		×+++-/=== 1	
		対	家	別人中	・ 次 路 入 農 次 の 傚 タ	災者で,災害援護資金を	2借り受けた借安人及び	連帝保証人	
				<u> </u>				1	
事業の	の目的	対象力	バー率	対象	t数 (a)	受 益 数	(b)	比 率 (b ÷ a) 9	<b>∕₀</b>
対 象	・意 図					-	•	*	
V1 3/			_						
		意	凶	災害	<b>援護資金の借受人</b>	等が円滑に償還ができる	5ように指導・回収を凶	る。	
		(対象を言	主語にして)						
		(X)3/C-	LmICOC)						
大	き	な	目 的	災生	援護資金の口滑かり	回収を図り、適切な債権	<b>産管理を行う</b>		
	C	φ.	н нэ	/\ D1		へこロノ, <b>週</b> 9/14 貝作	ェロマエ C 11 ノ o		
			指標 名	僧谔:	 玄				
						~ P4vm A ~ rt l A			
		中間成果	考え方・式	實付?	金額に対する県への	<b>ル頂速金</b> の割台			
		指 標	年 度	平成	15年度(実績)	亚式16年度(宝结)			
		J口 1示	一一反			十川.   0 十一 二 十二 1	平成17年度(軍績)	平成18年度(日標)	平成19年度(日標)
アウ	トカム		11-4 1-				平成17年度(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
指			指標値		78.3%	84.5%	平成17年度(実績)       87.3%	平成18年度(目標) 88.3%	平成19年度(目標)       89.5%
	煙				78.3%				
	標	B // - " =	指標名	全額信					
	標	最終成果		全額信	78.3%				
			指標名 考え方・式	全額信	78.3% 償還済件数	84.5%	87.3%	88.3%	89.5%
			指標名 考え方·式 年 度	全額位	78.3% 質還済件数 15年度(実績)	84.5% 平成16年度(実績)	87.3%平成17年度(実績)	88.3% 平成18年度(目標)	89.5% 平成19年度(目標)
			指標名 考え方・式	全額位	78.3% 償還済件数	84.5%	87.3%	88.3%	89.5%
			指標名 考え方·式 年 度	全額位	78.3% 質還済件数 15年度(実績)	84.5% 平成16年度(実績)	87.3%平成17年度(実績)	88.3% 平成18年度(目標)	89.5% 平成19年度(目標)
		指標	指標名 考え方·式 年 度 指標値	全額位	78.3% 質還済件数 15年度(実績)	84.5% 平成16年度(実績)	87.3%平成17年度(実績)	88.3% 平成18年度(目標)	89.5% 平成19年度(目標)
		指標	指標名 考え方·式 年 度	全額位	78.3% 質還済件数 15年度(実績)	84.5% 平成16年度(実績)	87.3%平成17年度(実績)	88.3% 平成18年度(目標)	89.5% 平成19年度(目標)
		指標	指標名 考え方·式 年 度 指標値	全額位	78.3% 質還済件数 15年度(実績)	84.5% 平成16年度(実績)	87.3%平成17年度(実績)	88.3% 平成18年度(目標)	89.5% 平成19年度(目標)
芦屋市	ちの特も	指 標	指標名 考え方・式 年度指標値 よする事項	全額位	78.3% 質還済件数 15年度(実績)	84.5% 平成16年度(実績)	87.3% 平成17年度(実績) 2,200件	88.3% 平成18年度(目標) 2,280件	89.5% 平成19年度(目標) 2,360件
芦屋市	ちの特も	指 標	指標名 考え方·式 年 度 指標値	全額位	78.3% 質還済件数 15年度(実績)	84.5% 平成16年度(実績)	87.3%平成17年度(実績)	88.3% 平成18年度(目標)	89.5% 平成19年度(目標) 2,360件
芦屋市	ちの特も	指 標 色など補足 活動配:	指標名 考え方・式 年標値 よする事項	全額位	78.3% 質還済件数 15年度(実績) 1,461件	84.5%         平成16年度(実績)         1,569件	87.3% 平成17年度(実績) 2,200件	88.3% 平成18年度(目標) 2,280件	89.5% 平成19年度(目標) 2,360件
芦屋市	ちの特色	指 標 色など補足 活動配 <sub>費</sub>	指標名式 年度指標値 よする事項 分(コスト 構成%	全額位	78.3% 質還済件数 15年度(実績) 1,461件 15年度(決算)	平成16年度(実績)         1,569件	87.3%  平成17年度(実績) 2,200件  1世帯当り(円) 991 平成17年度(決算)	88.3% 平成18年度(目標) 2,280件	89.5% 平成19年度(目標) 2,360件
芦屋市	ちの特色	指 標 色など補足 活動配 費 件 費	指標名式 年度指標値 よする事項 分(コスト 構成%	全額位	78.3% 質還済件数 15年度(実績) 1,461件	84.5%         平成16年度(実績)         1,569件	87.3% 平成17年度(実績) 2,200件	88.3% 平成18年度(目標) 2,280件	89.5% 平成19年度(目標) 2,360件
芦屋市	ちの特色	指 標 色など補尿 活動配 費 件 費	指標名 考え方・式 年度指標値 よする事項 分(コスト 構成% 80.9%	全額(平成)	78.3% 質還済件数 15年度(実績) 1,461件 15年度(決算) 30,141	平成 1 6 年度 (実績)         1,569件             平成 1 6 年度 (決算)         29,408	87.3%  平成17年度(実績) 2,200件  1世帯当り(円) 991  平成17年度(決算) 31,946	88.3% 平成18年度(目標) 2,280件  (住民1人当り(円) 43 平成18年度(予算)	89.5% 平成19年度(目標) 2,360件  4 平成18.4.1 住民基本台帳
芦屋市 3 事	おの特色業業人事	指 標 色など補尿 活動配 費 件 費 業 費	指標名 考え方・式 年度指標値 よする事項 分(コスト 構成% 80.9% 19.1%	全額(平成)	78.3% 質還済件数 15年度(実績) 1,461件 15年度(決算)	平成16年度(実績)         1,569件	87.3%  平成17年度(実績) 2,200件  1世帯当り(円) 991 平成17年度(決算)	88.3% 平成18年度(目標) 2,280件	89.5% 平成19年度(目標) 2,360件  4 平成18.4.1 住民基本台帳
芦屋市 3 事	おの特色 業費 人事 訳 他 部	指 標 色など補尿 活動配 費 費 費 費	指標名 考え方・式 年 度 指標値 よする事項 分(コスト 構成% 80.9% 19.1%	全額(平成)	78.3% 質還済件数 15年度(実績) 1,461件 15年度(決算) 30,141	平成 1 6 年度 (実績)         1,569件             平成 1 6 年度 (決算)         29,408	87.3%  平成17年度(実績) 2,200件  1世帯当り(円) 991  平成17年度(決算) 31,946	88.3% 平成18年度(目標) 2,280件  (住民1人当り(円) 43 平成18年度(予算)	89.5% 平成19年度(目標) 2,360件  4 平成18.4.1 住民基本台帳
芦屋市 3 事	おの特色 業費 人事 訳 他 部	指 標 色など補尿 活動配 費 費 費 費	指標名 考え方・式 年 度 指標値 よする事項 分(コスト 構成% 80.9% 19.1%	全額(平成)	78.3% 質還済件数 15年度(実績) 1,461件 15年度(決算) 30,141	平成 1 6 年度 (実績)         1,569件             平成 1 6 年度 (決算)         29,408	87.3%  平成17年度(実績) 2,200件  1世帯当り(円) 991  平成17年度(決算) 31,946	88.3% 平成18年度(目標) 2,280件  (住民1人当り(円) 43 平成18年度(予算)	89.5% 平成19年度(目標) 2,360件  4 平成18.4.1 住民基本台帳
芦屋市 3 事	おおります。 おおり では ままれる ままれる ままれる ままれる ままれる ままれる ままれる ままれ	指 標	指標名 考え方・式 年 指標値 よする事項 分(コスト 構成% 80.9% 19.1%	全額(平成)	78.3% 質還済件数 15年度(実績) 1,461件 15年度(決算) 30,141 1,796	平成 1 6 年度 (実績)         1,569件             平成 1 6 年度 (決算)         29,408         6,234	87.3%  平成17年度(実績) 2,200件  1世帯当り(円) 991  平成17年度(決算) 31,946 7,522	88.3% 平成18年度(目標) 2,280件  (住民1人当り(円) 43 平成18年度(予算)	89.5% 平成19年度(目標) 2,360件  4 平成18.4.1 住民基本台帳
芦屋市 3 事	おの特色 業費 人事 訳 他 部	指 標 色など補尿 活動配 費 費 費 費	指標名 考え方・式 年 指標値 よする事項 分(コスト 構成% 80.9% 19.1%	全額(平成)	78.3% 質還済件数 15年度(実績) 1,461件 15年度(決算) 30,141	平成 1 6 年度 (実績)         1,569件             平成 1 6 年度 (決算)         29,408	87.3%  平成17年度(実績) 2,200件  1世帯当り(円) 991  平成17年度(決算) 31,946	88.3% 平成18年度(目標) 2,280件  (住民1人当り(円) 43 平成18年度(予算)	89.5% 平成19年度(目標) 2,360件  4 平成18.4.1 住民基本台帳
芦屋市 3 事	たの特色 業 人 事 他 減 <b>合</b>	指 標	指標名 考え方・式 年度指標値 でする事項 分(コスト 構成% 80.9% 19.1%	全額(平成) 平成	78.3% 質還済件数 15年度(実績) 1,461件 15年度(決算) 30,141 1,796	平成 1 6 年度 (実績) 1,569件  平成 1 6 年度 (決算) 29,408 6,234  35,642	87.3%  平成17年度(実績) 2,200件  1世帯当り(円) 991  平成17年度(決算) 31,946 7,522	88.3% 平成18年度(目標) 2,280件  (住民1人当り(円) 43 平成18年度(予算)  8,260	89.5%  平成19年度(目標) 2,360件  4 平成18.4.1 住民基本台帳
芦屋市 3 事 内 言	おります。 おります。	指 標	指標名 考え方・式 年度指標値 でする事項 分(コスト 構成% 80.9% 19.1%	全額(平成) 平成	78.3% 質還済件数 15年度(実績) 1,461件 15年度(決算) 30,141 1,796	平成 1 6 年度 (実績)         1,569件             平成 1 6 年度 (決算)         29,408         6,234	87.3%  平成17年度(実績) 2,200件  1世帯当り(円) 991  平成17年度(決算) 31,946 7,522	88.3% 平成18年度(目標) 2,280件  (住民1人当り(円) 43 平成18年度(予算)	89.5%  平成19年度(目標) 2,360件  4 平成18.4.1 住民基本台帳
芦屋市 3 事 内 言	たの特色 業 人 事 他 減 <b>合</b>	指 標	指標名 考え方・式 年度指標値 でする事項 分(コスト 構成% 80.9% 19.1%	全額(平成) 平成	78.3% 質還済件数 15年度(実績) 1,461件 15年度(決算) 30,141 1,796	平成 1 6 年度 (実績) 1,569件  平成 1 6 年度 (決算) 29,408 6,234  35,642	87.3%  平成17年度(実績) 2,200件  1世帯当り(円) 991  平成17年度(決算) 31,946 7,522	88.3% 平成18年度(目標) 2,280件  (住民1人当り(円) 43 平成18年度(予算)  8,260	89.5%  平成19年度(目標) 2,360件  4 平成18.4.1 住民基本台帳
芦屋市 3 事 内(千円)財 湯	おります。 おります。	指 標 標 を	指標名 考え方・式 年度指標値 子する事項 分(コスト 構成% 80.9% 19.1%	全額(	78.3% 質還済件数 15年度(実績) 1,461件 15年度(決算) 30,141 1,796 31,937 3,609	平成 1 6 年度 (実績) 1,569件 平成 1 6 年度 (決算) 29,408 6,234 35,642 3,609	87.3%  平成17年度(実績) 2,200件  1世帯当り(円) 991  平成17年度(決算) 31,946 7,522  39,468 3,609	88.3%  平成18年度(目標) 2,280件  住民1人当り(円) 43・ 平成18年度(予算)  8,260  3,608	89.5% 平成19年度(目標) 2,360件  4 平成18.4.1 住民基本台帳
芦屋市 3 事 内 言	Table   Ta	指 標 標 は が は が は が は が は が は が は が は が は が	指標名 考え方・式 年度指標値 子する事項 分(コスト 構成% 80.9% 19.1%	全額(	78.3% 實還済件数 15年度(実績) 1,461件 15年度(決算) 30,141 1,796 31,937 3,609	平成 1 6 年度 (実績) 1,569件 平成 1 6 年度 (決算) 29,408 6,234 35,642 3,609	87.3%  平成17年度(実績) 2,200件  1世帯当り(円) 991  平成17年度(決算)  31,946 7,522  39,468 3,609	88.3% 平成18年度(目標) 2,280件  (住民1人当り(円) 43 平成18年度(予算)  8,260	89.5% 平成19年度(目標) 2,360件  4 平成18.4.1 住民基本台帳
芦屋市 3 事 内(千円)財 湯	Table   Ta	指 標 標 を	指標名 考え方・式 年度指標値 子する事項 分(コスト 構成% 80.9% 19.1%	全額(	78.3% 質還済件数 15年度(実績) 1,461件 15年度(決算) 30,141 1,796 31,937 3,609	平成 1 6 年度 (実績) 1,569件 平成 1 6 年度 (決算) 29,408 6,234 35,642 3,609	87.3%  平成17年度(実績) 2,200件  1世帯当り(円) 991  平成17年度(決算) 31,946 7,522  39,468 3,609	88.3%  平成18年度(目標) 2,280件  住民1人当り(円) 43・ 平成18年度(予算)  8,260  3,608	89.5% 平成19年度(目標) 2,360件  4 平成18.4.1 住民基本台帳
芦屋市 3事 内千円 財千円	する 大事 他減 <b>合</b> 国市 そ 一・「	指 標 標	指標名 考え方・式 年度指標値 子する事項 分(コスト 構成% 80.9% 19.1% 100.0% 9.1%	全額(	78.3% 實遷済件数 15年度(実績) 1,461件 15年度(決算) 30,141 1,796 31,937 3,609 17,566 10,762	平成 1 6年度 (実績) 1,569件 平成 1 6年度 (決算) 29,408 6,234 35,642 3,609 21,137 10,896	87.3%  平成17年度(実績) 2,200件  1世帯当り(円) 991  平成17年度(決算) 31,946 7,522  39,468 3,609  12,103 23,756	88.3%  平成18年度(目標) 2,280件  住民1人当り(円) 43・ 平成18年度(予算)  8,260  3,608	89.5%  平成19年度(目標) 2,360件  4 平成18.4.1 住民基本台帳
芦屋市 3 事 内(一財)円 活	Table   Ta	指 標 標 標 標	指標名 考え方・式 年度指標値 子する事項 分(コスト 構成% 80.9% 19.1% 100.0% 9.1% 60.2% 60.8%	全額(	78.3% 實還済件数 15年度(実績) 1,461件 15年度(決算) 30,141 1,796 31,937 3,609 17,566 10,762 3.35	平成 1 6年度 (実績) 1,569件 平成 1 6年度 (決算) 29,408 6,234 35,642 3,609 21,137 10,896 2.85	87.3%  平成17年度(実績) 2,200件  1世帯当り(円) 991  平成17年度(決算) 31,946 7,522  39,468 3,609  12,103 23,756 3.10	88.3%  平成18年度(目標) 2,280件  住民1人当り(円) 43 平成18年度(予算)  8,266  3,609	89.5%  平成19年度(目標) 2,360件  4 平成18.4.1 住民基本台帳
芦屋市 3 事 内(一財)円 活	Table   Ta	指 標 標	指標名 考え方・式 年度指標値 子する事項 分(コスト 構成% 80.9% 19.1% 100.0% 9.1% 60.2% 60.8%	全額(	78.3% 實遷済件数 15年度(実績) 1,461件 15年度(決算) 30,141 1,796 31,937 3,609 17,566 10,762	平成 1 6年度 (実績) 1,569件 平成 1 6年度 (決算) 29,408 6,234 35,642 3,609 21,137 10,896	87.3%  平成17年度(実績) 2,200件  1世帯当り(円) 991  平成17年度(決算) 31,946 7,522  39,468 3,609  12,103 23,756	88.3%  平成18年度(目標) 2,280件  住民1人当り(円) 43 平成18年度(予算)  8,266  3,609	89.5%  平成19年度(目標) 2,360件  4 平成18.4.1 住民基本台帳
芦屋市 3 事 内( 財( 活配	Table   Ta	指 標 標 標 標	指標名 考え方・式 年度指標値 子する事項 分(コスト 構成% 80.9% 19.1% 100.0% 9.1% 60.2% 60.8% 39.2%	全額(	78.3% 實還済件数 15年度(実績) 1,461件 15年度(決算) 30,141 1,796 31,937 3,609 17,566 10,762 3.35	平成 1 6年度 (実績) 1,569件 平成 1 6年度 (決算) 29,408 6,234 35,642 3,609 21,137 10,896 2.85	87.3%  平成17年度(実績) 2,200件  1世帯当り(円) 991  平成17年度(決算) 31,946 7,522  39,468 3,609  12,103 23,756 3.10	88.3%  平成18年度(目標) 2,280件  住民1人当り(円) 43 平成18年度(予算)  8,266  3,609	89.5%  平成19年度(目標) 2,360件  4 平成18.4.1 住民基本台帳

4 評价	面(チェック)	)			
評	価	視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
	日的亚虫	性(2~ 2)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	日的女司	±(2 ~ 2)	□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
			☑ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2 -	~ 2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
			□ いずれにも該当しない	_	
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	5	3
	市民ニース	ズ(2~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把握		
性			□ 数字で把握している □ 未把握 □ 未把握		
8点	社会環境	变化(1~ 1)	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
	優先性,緊	又刍 (什 / 1 )	内容 償還期限が5年間延長された。  □ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
		· ○ □ (1) - 率(1 ~ 1)	□ 新業を実施しなければよ、中民の主命、女主寺が損なわれる □ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1 ·	, ,	□ 射業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
	,	,	□ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	4	4
効	放果の実施	績(2~ 1)	▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	4	4
性	成用向上	余地(1~ 1)	成果があがっていない場合		
4点	- 以未凹工	示理(1~ 1)	□ 成果向上策あり □ 特になし		
			☑ 比較できる団体がある 団体名 阪神間の都市 □ 比較できる団体はない		
41	単位コスト	(1 ~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ □ 把握していない		
効	1 12-17 11	(	→ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
			高い、または低い場合の理由		
	受益者負担	担(0~ 1)	│ □ 負担を求めることができる事業である	_	_
率			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	-1	-1
			□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	手段(1~	3)	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点	コスト削減	取組(1~ 1)	☑ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
	コヘー円リルの	, <del>4</del> Хлд (Т т Т)	▶ 内容 国の補助事業として償還指導員を2名採用している。		
亚 成 1	6 年 度 の	評価内容	□ A <mark>平成17年度に実</mark> ☑ 改善し、効果を得た		
及び	改善の	方向性	評価結果   施した改善の方向   政策したが、効果がな。 改善し		
(評価カ	がない場合に	は記載不要)	□ □ B □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	_	
			大きないでは、ためには、大きないでは、大きないでは、ためには、大きないでは、ためには、ためには、ためには、ためには、ためには、ためには、ためには、ために	В	В
平成実施	1 8	年 度 に 善 内 容	改善改善を実施する。		
美 他	多る以	善 内 谷	内容		
Ì					
5 今後	後の対応(こ	アクション)			
TB += =	河台かして	」	未償還者に対して引き続き市長催告,弁護士催告,支払督促を実施し債権回収を強化する。		
現 任 記	認 誠 し (	いる課題			
市民関	16名 市民	関係者の名称			
からの	辛日				
要望	意 見	,要望内容			
		社内市家	土世界内の守佐		
	(1)	刈心内谷	<u>支払督促の実施</u>		
		実施期限	平成 19 年 1 月		
課題·要		対応内容			
	(2)		75.4b Pr   17		
へのす	(1) 1/(1)	実施期限	平成 年 月		
	(3)	対応内容			
	(3)	実施期限	平成年月		
	I	Zischiit	遠隔地も含む直接訪問による償還指導と現地調査の強化		
その他	考えられ	3	少額償還者の償還月額を増額させるための取り組み		
改善の	カ ア イ デ	ア			
			今後の方向性		2次評価
			拡大・充実		0
			・今後は、行方不明者・相続人、連帯保証人、生活困窮者等に対する取り組みが一層 現状 維持 現められ、偽農業務の困難性が予想される	_	0
₩ <del>+</del> 4	0 3 4 4	# A + - #	スのり40, 良坯未効が四種にかり心で40分。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<b>●</b>	<ul><li>•</li></ul>
十 放 1	9~21年1	らい 万 回性	・支払督促に基づく強制執行への取り組みが必要となってくる。 民間委託等		0
			編 <u>小</u> 統合/終期設定	0	0
					0
			INC. III / IV. II	<u> </u>	Ŭ
2 次 評	価委員会	会コメント	回収率向上のため、未償還者に対する取り組みを引き続き進めてください。		

	事業)	事 業	コード	21200	120				1	部	F	次	E	課	長
( /3×	尹未)	尹	<u> </u>	21200	J2U					리	TX.	K //	tx	本	坟
平成1	7年度	事	業名	難病	患者等居宅生活支	援事業									
1 事	業概要	要(ドゥ)													
			りの目標	2	健やかでぬくもり	のある	福祉社会づくり					保健福祉	上部		
総合			<del>中</del>		保健・医療・福祉					所	管 課	健康課			
政策			<u>'</u> /]\		保健事業の推進	> XED9				66 答	課長氏名		<u>, = </u>		
						4.エの	<b>十</b>								
体	系		細		難病患者等の居宅	生活の					者氏名		•		
事	業	期			10年度~			☑ 経常 □			舌番号		-1586	内線	2567
根 拠	l 法	令 · 导	更綱 等	難病点	患者等ホームヘル	プサー	ビス, 日常用具給	付,短期入所運	営事業要	実が	色 主 体	芦屋市			
実	施	手	法		直営	✓ –	一部委託	□ 全部委託			補助金		負担金		
委		託	先	V	外郭団体委託	名称 芦	「屋ハートフル福	祉公社		委託	委託内容	2			
					<b></b> 疾患調査研究事業								の支援		
事	業	Ø	概 要		700m/12E//170 1-7/0		702. (1 2 1 70)	,, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	LIMPA		, <u>,</u> , <u>,</u> , ,	,	- / 1/2		
<del></del>	*	0)	144 🔀												
				++4/ <del></del>	+ * * P + 1 × +	125 <del>- 1</del> 2 - 116	1 1 1 - 0 1	4.2 11 11 11							
				× 10=	患者等居宅生活支										
事	業	の	現 状	• ホ-	ームヘルプサービ	ス事業	(介護・家事等ℓ	)サービスの提	:供)						
	目的詞	実現のため	の	<ul><li>日常</li></ul>	常生活用具給付事	業(寝る	たきり状態にある	方等に特殊寝	台などの	生活用	月具の給付	)			
	手段及	ひ実施内	容	<ul><li>短其</li></ul>	期入所事業(介護	者の一日	<b>時的な事情により</b>	), 保護を必要	とする場	合に旅	設で保護	する)			
								-,							
			指標名	事業3	和 利用者数										
		4 年 日 + 12 + 本			15年度(実績)	亚出 1	6年度(安建)	平成17年度	(宝樓)	ਜ ਦਾ	,18年度	(日插)	₩ <del>                                     </del>	0.年度/	日悔、
		結果指標				十八人			(关傾)	十八人	,10千层	(口信)	十八八	9年度(	口信力
_		(1)	指標値		1人		1人	1人							
アウト	・ブット		単位コスト		1, 078, 000		609, 000	658, 00	00						
指	標		指標 名	利用	時間数										
		結果指標	年 度	平成	15年度(実績)	平成 1	6年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成	18年度	(目標)	平成 1	9年度(	目標)
		(2)	指標値		3 2 時間		9 8 時間	79時	間						
		, ,	単位コスト		3,687円/時間	6.	214円/時間	8,329円/	時間						
2 事	業はほ	果(アウ)			0, 001 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1	٠,	221177 - 31143	0,02013/	. 4 1mg						
۷ <del>پر</del>	未ルス	<del>木</del> ( ) * フ i	·/////////////////////////////////////	l											
		対	象	市内の	の難病患者等で在	宅の療	<b>養生活を送るた</b> め	りに必要な用具	等の支援	を必要	要とする方				
					W		l— 14 W								
			バー率	対象	g 数 (a)	450	受 益 数	( (b)	1		比 率 (b	÷ a) %		0.2	
対象・	・意図														
		意	図	難病点	患者等又はその介	護者の	安定した療養生活	5を支援する							
			図 E語にして)	難病点	患者等又はその介	護者の	安定した療養生活	舌を支援する							
			_	難病点	患者等又はその介	護者の領	安定した療養生活	舌を支援する							
 大	<b>き</b>		上語にして)		患者等又はその介 の難病患者等の安				向上させ	·る。					
<u></u> 大	ŧ	(対象を言	E語にして)						向上させ	·る。					
大	ŧ	(対象を重な	E語にして)	在宅の	の難病患者等の安	定したタ	療養生活を支援し		向上させ	·る。					
大	ŧ	(対象を言な	目 的指標名	在宅の日常生	の難病患者等の安生活の不便さが改	定したタ	療養生活を支援し		向上させ	·る。					
大		(対象を言な) 中間成果	E語にして) 目 的 指標名 考え方·式	在宅6日常4	の難病患者等の安 生活の不便さが改 者数	定した独	寮養生活を支援 し た人数	、生活の質を			· 1.0 / F		TI # 4	O/TE /	
		(対象を言な) 中間成果	E語にして) 目 的 指標名 考え方・式 年 度	在宅6日常4列用和平成	の難病患者等の安 生活の不便さが改 者数 15年度(実績)	定した独	療養生活を支援した人数 6年度(実績)	<ul><li>, 生活の質を</li><li>平成17年度</li></ul>			.18年度	(目標)	平成 1	9年度(	目標)
アウト	トカム	(対象を言な) 中間成果	E語にして) 自 標表方・式 年 標値	在宅 <sup>6</sup> 日常 <sup>2</sup> 利用 <sup>3</sup> <b>平成</b>	の難病患者等の安 生活の不便さが改 者数	定した独	寮養生活を支援 し た人数	、生活の質を			.1 8年度	(目標)	平成 1	9年度(	目標)
	トカム 標	(対象を主な な 中間成果 指 標	E語にして) 指標表方・ 年指標標標	在宅6 日常2 利用末 平成	の難病患者等の安 生活の不便さが改 者数 15年度(実績)	定した独	療養生活を支援した人数 6年度(実績)	<ul><li>, 生活の質を</li><li>平成17年度</li></ul>			;18年度	(目標)	平成 1	9年度(	目標)
アウト	トカム 標	(対象を主な な 中間成果 指 標	E語にして) 自 標表方・式 年 標値	在宅6 日常2 利用末 平成	の難病患者等の安 生活の不便さが改 者数 15年度(実績)	定した独	療養生活を支援した人数 6年度(実績)	<ul><li>, 生活の質を</li><li>平成17年度</li></ul>			.18年度	(目標)	平成 1	9年度(	<mark>目標)</mark>
アウト	トカム 標	(対象を主な な 中間成果 指 標 最終成果	E語目 指考年指指考え 標標方 標標点 が 名式度値名式	在宅6 日常9 利用和 平成	の難病患者等の安 生活の不便さが改 者数 15年度(実績)	定した! 善され! <mark>平成 1</mark>	療養生活を支援し た人数 <b>6年度(実績)</b> 1人	<ul><li>, 生活の質を</li><li>平成17年度</li><li>1人</li></ul>	(実績)	平成	.18年度			9年度(	
アウト	トカム 標	(対象を主な な 中間成果 指 標 最終成果	E語にして) 的 名式度値名式 を指揮表え方・ を指揮表え方・ を指揮表え方・ を指揮表え方・ を指揮表え方・ を指揮表え方・	在宅。日常公司利用和 <b>平成</b>	の難病患者等の安 生活の不便さが改 者数 15年度(実績) 1人	定した! 善され! <mark>平成 1</mark>	療養生活を支援し た人数 <b>6年度(実績)</b> 1人	<ul><li>, 生活の質を</li><li>平成17年度</li><li>1人</li></ul>	(実績)	平成					
アウト	トカム 標	(対象を主な な 中間成果 指 標 最終成果	E語にして) 的 名式度値名式度値名式度	在宅6日常生利用和平成平成平成	の難病患者等の安 生活の不便さが改 者数 15年度(実績) 1人	定した! 善され; 平成1	療養生活を支援した人数 6年度(実績) 1人 6年度(実績)	<ul><li>, 生活の質を</li><li>平成 1 7 年度</li><li>1人</li><li>平成 1 7 年度</li></ul>	(実績)	平成平成	,18年度	(目標)			
アウト指	トカム 標	(対象を言な な 中間成果 振 最終成果 指	E語目 指考年指指考年指	在宅。日常生利用和 <b>平成</b> 平成	の難病患者等の安 生活の不便さが改 者数 15年度(実績) 1人 15年度(実績)	定した! 善され; 平成1	療養生活を支援した人数 6年度(実績) 1人 6年度(実績)	<ul><li>, 生活の質を</li><li>平成 1 7 年度</li><li>1人</li><li>平成 1 7 年度</li></ul>	(実績)	平成平成	,18年度	(目標)			
アウト指	トカム 標	(対象を言な な 中間成果 振 最終成果 指	E語にして) 的 名式度値名式度値名式度	在宅。日常生利用和 <b>平成</b> 平成	の難病患者等の安 生活の不便さが改 者数 15年度(実績) 1人 15年度(実績)	定した! 善され; 平成1	療養生活を支援した人数 6年度(実績) 1人 6年度(実績)	<ul><li>, 生活の質を</li><li>平成 1 7 年度</li><li>1人</li><li>平成 1 7 年度</li></ul>	(実績)	平成平成	,18年度	(目標)			
アウト指	トカム 標 5の特も	(対象を言な な 中間成果 最終成果 指 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	E語目 指考年指考年指 る 標序方 標標方 標 事 で ままままままままままままままままままままままままままままままままま	在宅の日常生産 利用 2 平成 平成 国・」	の難病患者等の安 生活の不便さが改 者数 15年度(実績) 1人 15年度(実績)	定した! 善され; 平成1	療養生活を支援した人数 6年度(実績) 1人 6年度(実績)	平成17年度         1人         平成17年度         はない。(介護化)	<b>(実績)</b> <b>(実績)</b> <b>(実績)</b> <b>(</b>	平成平成支援法	.18年度 まを補完す	(目標)	平成 1	9年度(	目標)
アウト指 芦屋市	カム標の特色業費・	(対象を主なない) ない 中指 最終 成標 とび (対象を主ない) はない はない はない はない はない はない はない はない はない はない	E語 目 指考年指指考年指 さ 分 に 標方 標標方 標 事 スコール の 名式度値名式度値 項 ト	在宅の 日常な 利用和 平成 平成	の難病患者等の安 生活の不便さが改 者数 15年度(実績) 1人 15年度(実績)	定した# <b>華され</b> が <b>平成1 平成1 補助事</b>	京養生活を支援した人数  6年度(実績) 1人  6年度(実績)  ※で市の独自性に	平成17年度         1人         平成17年度         はない。(介護保         1世帯当り(円)	<b>(実績)</b> <b>(実績)</b> <b>(実績)</b> <b>(</b>	平成平成支援法	,18年度 法を補完す 人当 <sup>り</sup> (円)	(目標) る事業)	平成 1		目標)
アウト指	トカム 標 5の特も	(対象を言な な 中指 最終 成標 を は が 記動 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	E語目 指考年指指考年指 ます か (構成) は で は で で で で で で で で で で で で で で で で	在宅の 日常な 利用和 平成 平成	の難病患者等の安 生活の不便さが改 者数 15年度(実績) 1人 15年度(実績) 県の要綱に基づく	定した# <b>華され</b> が <b>平成1 平成1 補助事</b>	療養生活を支援した人数  6年度(実績) 1人  6年度(実績)  業で市の独自性に  6年度(決算)	平成17年度         1人         平成17年度         はない。(介護化)	(実績) (実績) (実績) (実績) (決算)	平成平成支援法	.18年度 まを補完す	(目標) る事業)	平成 1	9年度(	目標)
アウト指 芦屋市	カム標の特色業費・	(対象を主 な 中指 最指 を が 最	E語 目 指考年指指考年指 さ 分 に 標方 標標方 標 事 スコール の 名式度値名式度値 項 ト	在宅の 日常な 利用和 平成 平成	の難病患者等の安 生活の不便さが改 者数 15年度(実績) 1人 15年度(実績)	定した# <b>華され</b> が <b>平成1 平成1 補助事</b>	京養生活を支援した人数  6年度(実績) 1人  6年度(実績)  ※で市の独自性に	平成17年度         1人         平成17年度         はない。(介護保         1世帯当り(円)	<b>(実績)</b> <b>(実績)</b> <b>(実績)</b> <b>(</b>	平成平成支援法	,18年度 法を補完す 人当 <sup>り</sup> (円)	(目標) る事業)	平成 1	9年度(	目標)
アウト指 芦屋市	カム標の特色業費・	(対象を言な な 中指 最終 成標 を は が 記動 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	E語にして) 的 名式度値名式度値 77.5%	在宅C 日常公司 利用利用 平成 平成 国· 」	の難病患者等の安 生活の不便さが改 者数 15年度(実績) 1人 15年度(実績) 県の要綱に基づく	定した# <b>華され</b> が <b>平成1 平成1 補助事</b>	療養生活を支援した人数  6年度(実績) 1人  6年度(実績)  業で市の独自性に  6年度(決算)	平成17年度         1人         平成17年度         はない。(介護保         1世帯当り(円)	(実績) (実績) (実績) (実績) (決算)	平成平成支援法	,18年度 法を補完す 人当 <sup>り</sup> (円)	(目標) る事業)	平成 1	9年度(	目標)
アウト指 芦屋市	トカム標 学業人事	(対象を主 な 中指 最指 を が 最	E語 目 指 考 年 指 指 考 年 指 ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	在宅C 日常公司 利用利用 平成 平成 国· 」	の難病患者等の安 生活の不便さが改 者数 15年度(実績) 1人 15年度(実績) 県の要綱に基づく 15年度(決算) 1,029	定した# <b>華され</b> が <b>平成1 平成1 補助事</b>	療養生活を支援した人数  6年度(実績) 1人  6年度(実績)  ※で市の独自性に  6年度(決算)  459	平成17年度         1人         平成17年度         はない。(介護保         1世帯当り(円)	(実績) (実績) (実績) (決算) 510	平成平成支援法	,18年度 法を補完す 人当 <sup>り</sup> (円)	(目標) る事業) 7 (予算)	平成 1	9年度(	目標)
ア指 芦屋市 事内 に	トカム標の特色業人事他訳	(対象を言な な 中指 最終 成標 を 活動配費 費費	E語 目 指 考 年 指 指 考 年 指 ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	在宅C 日常公司 利用利用 平成 平成 国· 」	の難病患者等の安 生活の不便さが改 者数 15年度(実績) 1人 15年度(実績) 県の要綱に基づく 15年度(決算) 1,029	定した# <b>華され</b> が <b>平成1 平成1 補助事</b>	療養生活を支援した人数  6年度(実績) 1人  6年度(実績)  ※で市の独自性に  6年度(決算)  459	平成17年度         1人         平成17年度         はない。(介護保         1世帯当り(円)	(実績) (実績) (実績) (決算) 510	平成平成支援法	,18年度 法を補完す 人当 <sup>り</sup> (円)	(目標) る事業) 7 (予算)	平成 1	9年度(	目標)
ア指 芦屋市 事内 に	トカム標の特色 美貴 (大事他派)	(対象を主 な 中指 最終 を	E語にして) 目 据 考年 標標 標標 標標 標標 標標 標標 標標 で は で は で は に に し で の に に の に に に に に に に に に に に に に	在宅 <sup>の</sup> 日常 <b>平成 平成 平成 下成</b>	の難病患者等の安 生活の不便さが改 者数 15年度(実績) 1人 15年度(実績) 県の要綱に基づく 15年度(決算) 1,029 49	定した# <b>華され</b> が <b>平成1 平成1 補助事</b>	療養生活を支援した人数  6年度(実績) 1人  6年度(実績)  ※で市の独自性に  6年度(決算)  459	平成17年度         1人         平成17年度         はない。(介護保         1世帯当り(円)	(実績) (実績) (実績) (決算) 510	平成平成支援法	,18年度 法を補完す 人当 <sup>り</sup> (円)	(目標) る事業) 7 (予算)	平成 1	9年度(	目標)
ア指 芦屋市 事内 に	トカ 点 学 大事 他減 合	(対象を言な な 中指 最指 を 活動配費費費費 計 に 対 に 対 に 対 に 対 に 対 に 対 に 対 に 対 に 対 に	E語にして) 目	在宅。日常生产的	の難病患者等の安 生活の不便さが改 者数 15年度(実績) 1人 15年度(実績) 県の要綱に基づく 15年度(決算) 1,029 49	定した# <b>華され</b> が <b>平成1 平成1 補助事</b>	療養生活を支援した人数  6年度(実績) 1人  6年度(実績) 業で市の独自性に  6年度(決算) 459 150	平成17年度         1人         平成17年度         はない。(介護保         1世帯当り(円)	(実績) (実績) (実績) 17 (決算) 510 148	平成平成支援法	,18年度 法を補完す 人当 <sup>り</sup> (円)	(目標) る事業) 7 (予算)	平成 1	9年度(	目標)
アカト	トカ 標 特 費業 人事 他減 合国	(対象を な 中指 最指 を 活動配費費費費計県	E語にして) 目 据 考年 標標 標標 標標 標標 標標 標標 標標 で は で は で は に に し で の に に の に に に に に に に に に に に に に	在宅。日常生产的	の難病患者等の安 生活の不便さが改 者数 15年度(実績) 1人 15年度(実績) 県の要綱に基づく 15年度(決算) 1,029 49	定した# <b>華され</b> が <b>平成1 平成1 補助事</b>	療養生活を支援した人数  6年度(実績) 1人  6年度(実績) 業で市の独自性に  6年度(決算) 459 150	平成17年度         1人         平成17年度         はない。(介護保         1世帯当り(円)	(実績) (実績) (実績) (決算) 510 148	平成平成支援法	,18年度 法を補完す 人当 <sup>り</sup> (円)	(目標) る事業) 7 (予算)	平成 1	9年度(	目標)
ア指 芦属市 事 情円 別	カカで、業人事他減合国市のでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	(対象を 中指 最指 な <b>計</b> 保 と で で で で で で で で で で で で で で で で で で	E語にして) 目 標方・ 年指 標 標 点 方 標 標 標 点 方 標 標 標 点 方 標 標 点 が で で で で で で で で で で で で で で で で で で	在宅。日常生产的	の難病患者等の安 生活の不便さが改 者数 15年度(実績) 1人 15年度(実績) 県の要綱に基づく 15年度(決算) 1,029 49	定した# <b>華され</b> が <b>平成1 平成1 補助事</b>	蒙養生活を支援した人数  6年度(実績) 1人  6年度(実績)  ※で市の独自性に  6年度(決算)  459  150  609	平成17年度         1人         平成17年度         はない。(介護保         1世帯当り(円)	(実績) (実績) (実績) 17 (決算) 510 148	平成平成支援法	,18年度 法を補完す 人当 <sup>り</sup> (円)	(目標) る事業) 7 (予算)	平成 1	9年度(	目標)
アカト	カカ の <b>業</b> 人事他減 <b>合</b> 国市そ	(対象を 中指 最指 な <b>活</b> 件業門償 債の 保標 果標 の で で で で で で で で で で で で で で で で で で	E語にして) 目 物 名式度 年 指 標 標 素 え 方 ・	在宅の日常生産の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	の難病患者等の安 生活の不便さが改 者数 15年度(実績) 1人 15年度(実績) 県の要綱に基づく 15年度(決算) 1,029 49	定した# <b>華され</b> が <b>平成1 平成1 補助事</b>	蒙養生活を支援した人数  6年度(実績) 1人  6年度(実績)  ※で市の独自性に  6年度(決算)  459  150  609  14	平成17年度         1人         平成17年度         はない。(介護保         1世帯当り(円)	(実績) (実績) (実績) 17 (決算) 510 148 658 11	平成平成支援法	,18年度 法を補完す 人当 <sup>り</sup> (円)	(目標) る事業) 7 (予算)	平成 1	9年度(	目標)
ア指 芦 事 内( 財 千	トカカ	(対象を 中指 最指 な 新 経却 保	E語にして) 目 的 名式度値 考え 年 指 標 標 素 え 方 年 標 標 標 素 え 方 年 標 標 本 標 標 本	在宅の日本の本では、日本の本には、日本には、日本の本には、日本の本には、日本の本には、日本の本には、日本の本には、日本の本には、日本には、日本の本には、日本の本には、日本の本には、日本の本には、日本の本には、日本の本には、日本には、日本の本には、日本には、日本には、日本には、日本には、日本には、日本には、日本には、日	の難病患者等の安 生活の不便さが改 者数 15年度(実績) 1人 15年度(実績) 県の要綱に基づく 15年度(決算) 1,029 49 1,078 4	定した# <b>華され</b> が <b>平成1 平成1 補助事</b>	京養生活を支援した人数  6年度(実績) 1人  6年度(実績)  ※で市の独自性に  6年度(決算)  459  150  609  14	平成17年度         1人         平成17年度         はない。(介護保         1世帯当り(円)	(実績) (実績) (実績) (決算) 510 148 658 11	平成平成支援法	,18年度 法を補完す 人当り(円)	(目標) る事業) 7 (予算)	平成 1	9年度(	目標)
ア指 芦 事 内(財・活) 対 (活)	カカ の <b>業</b> 人事他減 <b>合</b> 国市そ <b>一</b> 職	(対象を 中指 最指 な <b>活</b> 件業門償 <b>版 駅</b> 標果標果標果標 <b>経却 駅 場 の 財 の 財 の 以 以 の 以 の 以 以 の 以 以 の 以 以 の 以 以 以 以 以 以 以 以 以 以</b>	E語にして) 目 物 名式度 年 指 標 標 素 え 方 ・	在宅の日本の本では、日本の本には、日本には、日本の本には、日本の本には、日本の本には、日本の本には、日本の本には、日本の本には、日本には、日本の本には、日本の本には、日本の本には、日本の本には、日本の本には、日本の本には、日本には、日本の本には、日本には、日本には、日本には、日本には、日本には、日本には、日本には、日	の難病患者等の安 生活の不便さが改 者数 15年度(実績) 1人 15年度(実績) 果の要綱に基づく 15年度(決算) 1,029 49 1,078 4	定した# <b>華され</b> が <b>平成1 平成1 補助事</b>	京養生活を支援した人数  6年度(実績) 1人  6年度(実績)  ※で市の独自性に  6年度(決算)  459  150  609  14  93  502  0.05	平成17年度         1人         平成17年度         はない。(介護保         1世帯当り(円)	(実績) (実績) (実績) (決算) 510 148 658 11 82 565 0.05	平成平成支援法	,18年度 法を補完す 人当り(円)	(目標) る事業) 7 (予算)	平成 1	9年度(	目標)
ア指 芦 3 事 内( 財( 活配 す) 所 乗 が 1 ま 1 ま 1 ま 2 ま 2 ま 2 ま 2 ま 2 ま 2 ま 3 ま 3 ま 4 ま 4 ま 4 ま 4 ま 4 ま 4 ま 4 ま 4	カカ の <b>業</b> 人事他減 <b>合</b> 国市そ <b>一</b> 職	(対象を 中指 最指 な 新 経却 保	E語にして) 目 的 名式度値 考え 年 指 標 標 素 え 方 年 標 標 標 素 え 方 年 標 標 本 標 標 本	在宅の日本の本では、日本の本には、日本には、日本の本には、日本には、日本には、日本には、日本には、日本には、日本には、日本には、日	の難病患者等の安 生活の不便さが改 者数 15年度(実績) 1人 15年度(実績) 県の要綱に基づく 15年度(決算) 1,029 49 1,078 4	定した# <b>華され</b> が <b>平成1 平成1 補助事</b>	京養生活を支援した人数  6年度(実績) 1人  6年度(実績)  ※で市の独自性に  6年度(決算)  459  150  609  14	平成17年度         1人         平成17年度         はない。(介護保         1世帯当り(円)	(実績) (実績) (実績) (決算) 510 148 658 11	平成平成支援法	,18年度 法を補完す 人当り(円)	(目標) る事業) 7 (予算) - 845 - -	平成 1	9年度(	目標)

4 評信	西(チェック)				
評		視 点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
	目的妥当性	-(2 ~ 2)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	בובעניום	=(2 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
			□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2~	2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
			□ いずれにも該当しない	^	_
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	3	5
	市民ニーズ	(2 ~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把握		
性			□ 数字で把握している □ 未把握 □ 未把握 □ ま状に関わるさんによりは 日本しば ※悪		
8点	社会環境変	图化(1~ 1)	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
	優先性,緊	<b>今</b> 州(1)	内容 所得による一部負担の増のため利用が少ない。用具貸付等他の関係からの助成もある。  □ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
	対象カバー		□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1 ~	, ,	□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
			□ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	4	4
効	成果の実績	į(2 ~ 1)	→ 実績値から成果があがっていると言える 図 実績値から成果があがっていると言えない	1	1
性	#85.1	. Lib / 4	成果があがっていない場合		
4点	- 成果向上余	₹地(1~ 1)	☑ 成果向上策あり 事業内容を広報に掲載(ホームページには掲載済) □ 特になし		
			☑ 比較できる団体がある 団体名 西宮市等 □ 比較できる団体はない		
	単位コスト(	1 ~ 1)	☑ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない		
効	十四コハー(	' ')	▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
			高い、または低い場合の理由		
	受益者負担	<u>1</u> (0 ~ 1)	☑ 負担を求めることができる事業である    □ 負担を求めるべき事業ではない		
率		<u> </u>	□ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能 )	2	2
			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	_	
	手段(1~	3)	<ul><li>☑ 正規職員による執行が義務づけられている</li><li>☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である</li><li>☑ 民間(企業, NPO等)で対応可能である</li></ul>		
性			□ 民間(正案, NPO等) とは対心とさない業務である □ 民間(正案, NPO等) と対心可能である		
3点			▽ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
0,,,,	コスト削減耳	<b>収組(1~ 1)</b>	→ 内容 ヘルパー派遣事業はハートフル福祉公社に業務委託		
			□ A w#17年度1-中 □ お茶1 AH 2.41 A		
平	6 年 度 の i 改 善 の	評価内容 方向性	・		
(評価カ	がない場合は	記載不要)	$\square$ B $\stackrel{\mathbf{t}}{\mathbf{t}}$ $\square$		
				C	Α
平成実施	1 8 st する改	₣ 度 に	改善		, ,
実施	する改必	善内 容 須 )	課題 制度が複雑なため利用しにくい 内容 広報等で事業内容をわかりやすく説明する		
(	% :	(注 )	MINA CONTROL ( MONTO )		
5 今後	後の対応(ア	'クション)			
			利用者が非常に少ない。		
現在;	忍識 してし	ハる課題	西宮市におけるこの事業の利用者数(平成16年度)		
			ホームヘルプサービス2人、日常生活用具給付3人		
	係者 市民,関	係者の名称	市民		
からの	意 見 一流 意 見 ,	要望内容	日常用具給付事業については車椅子等一時的貸付希望はあるが購入を希望しない。		
要望	寺				
	(1)	対応内容	担当課への紹介		
	(1)	実施期限	平成年月		
課題·要	望等				
W// XE >	(2)	対応内容			
へのす		実施期限	平成    年   月		
		***			
	(3)	対応内容			
		実施期限	平成 年 月		
	考えられる				
改善の	カアイデ:	ア			
			今後の方向性		
			<u>拡大・充実</u> (		0
			現 状 維 持 の おおおり おおり おもり おもり おもり おもり おもり はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます		<u>●</u>
亚	9~21年度	まの 方向 性			0
1 75%	2 T T IS	- V /J  -1  X	縮小	_	0
			統合/終期設定(	_	0
			廃止/休止		0
2 次 評	価委員会	ミコメント			

/ 内几	串件	事業		2420	060			部	長次	長課	
(一万文	争未)	尹未	<u> </u>	2120	060			라	技	技 林	見
平成1	17年度	事	業名	健康	被害予防事業						
1 事	業概要	要(ドゥ)									
			りの日標	2	健やかでぬくもり	のある福祉社会づくり			保健福祉	- er	
	計画		<u>,。,,,</u> 中		保健・医療・福祉			所 管	課健康課	- HA	
	施策		<u> </u>		保健事業の推進	いた形でル大		<b>に 笠 钿 目 爪</b>		<b>-</b>	
			<u>小</u>	_				所管課長氏			
体	系	i	細		乳幼児の健やかな	:成長		記入者氏			
事	業	期	間	平成	元年~	経常臨時	☑ 経常 □ 臨時	電 話 番	号 0797-31·	-1586 内線 25	67
根 拠	L 法	令 ' 身	要 綱 等	公害	健康被害の補償等	に関する法律		実 施 主	体 芦屋市		
実	施	Ŧ		П	直営	☑ 一部委託	□ 全部委託	□補助金		負担金	
委	ne.					<b>名称</b> 文化振興財団		間委託 委託内			
32		пь	76					可安心 女 心 门	台水网	<del>1</del>	
					ルキー疾患児及い	喘息児の健康保持,増近	<b>≛を図る。</b>				
事	業	の	概 要								
				・ア	レルギー健康診査	の実施(受診者延べ数)	1719人)				
事	業	Ø	現 状	· 7	レルギー疾事の知	識普及(アレルギー教室	き延べ919人 アレル	レギー相談研べ	3861)		
-		実現のため				教室の開催 水泳教室1			000/()		
				· mm	忠元に対り る小体	教主の開催 小体教主1	0凹用惟 些个参加有 2	203人			
	<b>手</b> 段/	及び実施内	]谷								
			指標名	事業	参加者数						
		結果指標				平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年	ま(日標)	平成19年度(目標	亜 )
					573人	621人	870人	900		950人	<i>"</i>
<b>-</b>	<b>→</b> ı	(1)	指標値			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
	・プット		単位コスト		11,162円/人	9,741円/人	7,923円/人	7,500	5/人	7,300円/人	
指	標		指標名								
		結果指標	年 度	平成	,15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年	隻(目標)	平成19年度(目標	票)
		(2)	指標値								
		, ,	単位コスト								
2 車	業式目	果(アウ)									
4 <del>3</del>	未ルスフ	<del>K</del> () )	na)								
		対	象	4か	月及び1歳6か月	健康診査のうち、アレバ	レギー健康診査の必要な	よ者			
						1		1			
事業の	の目的	対象力	バー 率	対象	<b>聚数 (a)</b> 3	48人 受益数	<mark>(b)</mark> 318人	比率(	b ÷ a) %	91.4	
対象	・意 図										
		意	図	アレ	ルギー健康診査の	受診者のうちから要医療	と   著を早期に発見し、   图	医療につなげる	)		
		(対象を=	注語にして)								
		(******									
+	ŧ	な									
大	2	<i>ا</i> لم.		+=	<b>汗沈なの影郷</b> にト	て はまが生たるによて					
			目 的	大気	汚染等の影響によ	る健康被害を予防する。					
						る健康被害を予防する。					
					汚染等の影響によ 療者の発見率	る健康被害を予防する。					
			指標名	要医		る健康被害を予防する。					
アウ		中間成果	指標名 考え方・式	要医要医	療者の発見率 療者数/受診数	る健康被害を予防する。 平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	<b>□</b> 平成 1 8 年 Ⅰ	度(目標)	平成19年度(目標	票)
		中間成果	指標名 考え方·式 年 度	要医要医	療者の発見率 療者数/受診数 15年度(実績)	平成16年度(実績)				,	票)
塢	トカム	中間成果 指 標	指標名 考え方·式 年 度 指標値	要医要医平成	療者の発見率 療者数/受診数		<mark>平成17年度(実績)</mark> 67.3%	平成 <b>1 8</b> 年原 7 0.		<mark>平成 1 9 年度(目標</mark> 7 5.0%	票)
指	トカム 標	中間成果 指 標	指標名 考え方·式 年 度 指標値 指標名	要医要医	療者の発見率 療者数/受診数 15年度(実績)	平成16年度(実績)				,	票 )
指	トカム 標	中間成果指 標	指標名式 年 標標 指標標名式 考え方式	要医要医	療者の発見率 療者数/受診数 <mark>:15年度(実績)</mark> 57.8%	<mark>平成 1 6 年度 (実績)</mark> 5 1. 6 %	67.3%	70.	0%	75.0%	
指	トカム 標	中間成果指 標	指標名式 年 標標 指標標 表 方,式 度値 名 式 度 を 名 え 方,式 度 を 名 え 方 、 五 度 を る え 方 方 方 度 を を る て を る た 方 た 方 た 方 た 方 た 方 た 方 た 方 た 方 た 方 た	要医要医不成	療者の発見率 療者数/受診数 <mark>:15年度(実績)</mark> 57.8%	平成16年度(実績)	67.3%	70.	0%	,	
指	トカム 標	中間成果指 標	指標名式 年 標標 指標標名式 考え方式	要医要医不成	療者の発見率 療者数/受診数 <mark>:15年度(実績)</mark> 57.8%	<mark>平成 1 6 年度 (実績)</mark> 5 1. 6 %	67.3%	70.	0%	75.0%	
指	トカム 標	中間成果指 標	指標名式 年 標標 指標標 表 方,式 度値 名 式 度 を 名 え 方,式 度 を 名 え 方 、 五 度 を る え 方 方 方 度 を を る て を る た 方 た 方 た 方 た 方 た 方 た 方 た 方 た 方 た 方 た	要医要医不成平成	療者の発見率 療者数/受診数 15年度(実績) 57.8%	<mark>平成 1 6 年度 (実績)</mark> 5 1. 6 %	67.3% 平成17年度(実績)	70.	0%	75.0%	
	トカム標	中間成果 標 最終成果 指 標	指 標 名 式 度 值 名 式 度 值	要医・平成・ア	療者の発見率 療者数/受診数 15年度(実績) 57.8% 15年度(実績) レルギーの発症要	平成 1 6 年度 (実績)       5 1. 6 %       平成 1 6 年度 (実績)	67.3% 平成17年度(実績) 至や駆除方法の啓発	7 0. 平成 1 8 年度	0%	75.0%	
	トカム標	中間成果 標 最終成果 指 標	指 標 名式 度 值 名式 度 值 名式 度 值	要医要医不成のでは、アルカー・アルカー・アルカー・アルカー・アルカー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カ	療者の発見率 療者数/受診数 15年度(実績) 57.8% 15年度(実績) レルギーの発症要 害汚染対策地域で	平成 1 6 年度 (実績)       51.6%       平成 1 6 年度 (実績)       因である屋内のダニ調3ある芦屋市のこどもの後	67.3% 平成17年度(実績) 至や駆除方法の啓発 建康保持のため,教室,	70. 平成18年度 相談を実施。	0%	75.0%	
芦屋市	トカム標の特色	中間成果 指 最終成果 指 を ざ補い	指 標 名式 度値名式 度値名式 度値名式 度値	要医要医・平成・アム・公・公・	療者の発見率 療者数/受診数 15年度(実績) 57.8% 15年度(実績) レルギーの発症要 害汚染対策地域で	平成 1 6 年度 (実績)         51.6%             平成 1 6 年度 (実績)         因である屋内のダニ調査	67.3% 平成17年度(実績) 室や駆除方法の啓発 建康保持のため、教室、 齢息予防等のため、水液	70. 平成18年 相談を実施。 水教室を実施。	0%	75.0%	票)
芦屋市	トカム標の特色業費・	中間成果 指 最終成果 指 を るど補足	指考え方・式度値名式度値名式度値名式度値	要医要医平成・アル・公・・公・・公・・	療者の発見率 療者数/受診数 15年度(実績) 57.8% 15年度(実績) レルギーの発症要 害汚染対策地域で 害汚染対策地域で	平成 1 6 年度 (実績)         51.6%         平成 1 6 年度 (実績)         因である屋内のダニ調3         ある芦屋市のこどもの時ある芦屋市のこどもの時ある芦屋市のこどもの時	67.3%  平成17年度(実績)  至や駆除方法の啓発  連康保持のため、教室、 計息予防等のため、水流	70. 平成18年原 相談を実施。 水教室を実施。 住民1人当り(P	0% (目標) 76	75.0%	票)
芦屋市	トカム標の特色	中間成果 指 最終成果 指 きなど補足 活動配費	指 考え方・式 度値名式 度値名式 度値名式 度値名式 度値名式 度値	要医要医呼成・平成・公公・公・アー・公公・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・	療者の発見率 療者数/受診数 15年度(実績) 57.8% 15年度(実績) レルギーの発症要 害汚染対策地域で 害汚染対策地域で	平成 1 6 年度 (実績) 5 1.6% 平成 1 6 年度 (実績)	67.3%  平成17年度(実績)  下や駆除方法の啓発  連康保持のため,教室,  計息予防等のため,水が  1世帯当り(円) 173  平成17年度(決算)	7 0.  平成 1 8年月 相談を実施。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	0% (目標) 76	75.0%	票)
芦屋市	トカム標	中間成果標 最終成標 となる 活動配費 ででする。 はずれる。 もずれる。 もずれる。 もずれる。 もずれる。 もずれる。 もずれる。 もずれる。 もずれる。 もずれる。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと	指標 考え方 年 指標標 表え方 年 指標標 表え方 年 指標標 で は で は で に で に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に 。 に の に 。 に の に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に に 。 に に に 。 に 。 に に 。 。 に 。 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	要医要医不成・アム公・・アム公・・アム公・・アー・アム公・・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー	療者の発見率 療者数/受診数 15年度(実績) 57.8% 15年度(実績) レルギーの発症要 害汚染対策地域で 害汚染対策地域で 15年度(決算) 3,165	平成 1 6 年度 (実績) 5 1. 6 % 平成 1 6 年度 (実績)	67.3%  平成17年度(実績)  至や駆除方法の啓発  連康保持のため、教室、 計息予防等のため、水流	7 0.  平成 1 8年月 相談を実施。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	(目標) 76 (予算)	75.0%	票)
芦屋市	トカム標の特色業費・	中間成果 指 最終成果 指 きなど補足 活動配費	指標方式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値の1	要医要医不成・アム公・・アム公・・アム公・・アー・アム公・・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー	療者の発見率 療者数/受診数 15年度(実績) 57.8% 15年度(実績) レルギーの発症要 害汚染対策地域で 害汚染対策地域で	平成 1 6 年度 (実績) 5 1.6% 平成 1 6 年度 (実績)	67.3%  平成17年度(実績)  下や駆除方法の啓発  連康保持のため,教室,  計息予防等のため,水が  1世帯当り(円) 173  平成17年度(決算)	7 0.  平成 1 8年月 相談を実施。  (本民 1 人当り(日) 平成 1 8年月 平成 1 8年月	0% (目標) 76	75.0%	票)
芦屋市3事	トカム標の特色業費業人事	中間成果標 最終成標 となる 活動配費 ででする。 はずれる。 もずれる。 もずれる。 もずれる。 もずれる。 もずれる。 もずれる。 もずれる。 もずれる。 もずれる。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと	指標 考え方 年 指標標 表え方 年 指標標 表え方 年 指標標 で は で は で に で に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に 。 に の に 。 に の に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に に 。 に に に 。 に 。 に に 。 。 に 。 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	要医要医不成・アム公・・アム公・・アム公・・アー・アム公・・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー	療者の発見率 療者数/受診数 15年度(実績) 57.8% 15年度(実績) レルギーの発症要 害汚染対策地域で 害汚染対策地域で 15年度(決算) 3,165	平成 1 6 年度 (実績) 5 1. 6 % 平成 1 6 年度 (実績)	平成17年度(実績)  平成17年度(実績)  至や駆除方法の啓発  建康保持のため,教室, 治息予防等のため,水が 1世帯当り(円) 173 平成17年度(決算)  3,574	7 0.  平成 1 8年月 相談を実施。  (本民 1 人当り(日) 平成 1 8年月 平成 1 8年月	(目標) 76 (予算)	75.0%	票)
芦屋市3事内。	トカム標 の特 費業 人事 他	中間成標 最終成標 果標 と 活動配 費費費費	指標 考え方 年 指標標 表え方 年 指標標 表え方 年 指標標 で は で は で に で に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に 。 に の に 。 に の に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に に 。 に に に 。 に 。 に に 。 。 に 。 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	要医要医不成・アム公・・アム公・・アム公・・アー・アム公・・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー	療者の発見率 療者数/受診数 15年度(実績) 57.8% 15年度(実績) レルギーの発症要 害汚染対策地域で 害汚染対策地域で 15年度(決算) 3,165	平成 1 6 年度 (実績) 5 1. 6 % 平成 1 6 年度 (実績)	67.3%  平成17年度(実績)  至や駆除方法の啓発  建康保持のため,教室,  は息予防等のため,水が 1世帯当り(円) 173  平成17年度(決算) 3,574	7 0.  平成 1 8年月 相談を実施。  (本民 1 人当り(日) 平成 1 8年月 平成 1 8年月	(目標) 76 (予算)	75.0%	票)
芦屋市3事内。	カカ標の大学を表現し、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	中間 成標 最終 経動配 費費費費費費	指標名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値の1	要医医平成・アムム・アムム・アスカー・アスカー・アスカー・アスカー・アスカー・アスカー・アスカー・アスカー	療者の発見率 療者数/受診数 1.5年度(実績) 57.8% 1.5年度(実績) レルギーの発症要 害汚染対策地域で 害汚染対策地域で 1.5年度(決算) 3,165 3,231	平成 1 6 年度 (実績)       5 1 . 6 %       平成 1 6 年度 (実績)       因である屋内のダニ調査ある芦屋市のこどもの頃ある芦屋市のこどもの頃本の1 6 年度 (決算)       平成 1 6 年度 (決算)       2,730       3,319	67.3%  平成17年度(実績)  至や駆除方法の啓発  建康保持のため、教室、	70.  平成18年度  相談を実施。  (社民1人当り(F)  平成18年度	(目標) 76 (予算)	75.0%	票)
芦屋市3事内。	カカ標の業人事他減合	中間成標 最終 が 活動配費費費費費 件業 経却 計	指標名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値	要医医平成・アムム・アムム・アスカー・アスカー・アスカー・アスカー・アスカー・アスカー・アスカー・アスカー	療者の発見率 療者数/受診数 15年度(実績) 57.8% 15年度(実績) レルギーの発症要 害汚染対策地域で 害汚染対策地域で 15年度(決算) 3,165	平成 1 6 年度 (実績) 5 1. 6 % 平成 1 6 年度 (実績)	67.3%  平成17年度(実績)  至や駆除方法の啓発  建康保持のため,教室,  は息予防等のため,水が 1世帯当り(円) 173  平成17年度(決算) 3,574	70.  平成18年度  相談を実施。  (社民1人当り(F)  平成18年度	(目標) 76 (予算)	75.0%	票)
芦屋市 3 事 内 語	カカ 標	中間 成成 様 と が 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	指標名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値の1 は 標本 標本 標本	要医医平成・アムム・アムム・アスカー・アスカー・アスカー・アスカー・アスカー・アスカー・アスカー・アスカー	療者の発見率 療者数/受診数 1.5年度(実績) 57.8% 1.5年度(実績) レルギーの発症要 害汚染対策地域で 害汚染対策地域で 1.5年度(決算) 3,165 3,231	平成 1 6 年度 (実績)       5 1 . 6 %       平成 1 6 年度 (実績)       因である屋内のダニ調査ある芦屋市のこどもの頃ある芦屋市のこどもの頃本の1 6 年度 (決算)       平成 1 6 年度 (決算)       2,730       3,319	67.3%  平成17年度(実績)  至や駆除方法の啓発  建康保持のため、教室、	70.  平成18年度  相談を実施。  (社民1人当り(F)  平成18年度	(目標) 76 (予算)	75.0%	票)
芦屋市 3 事 内(千円)財 湯	カカ標の業人事他減合国市	中間 ・債 ・債 ・債	指標名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値の1 は 標	要医医平成・アムム・アムム・アスカー・アスカー・アスカー・アスカー・アスカー・アスカー・アスカー・アスカー	療者の発見率 療者数/受診数 1.5年度(実績) 57.8% 2.15年度(実績) レルギーの発症要 害汚染対策地域で 害汚染対策地域で 3,165 3,231	平成16年度(実績) 51.6% 平成16年度(実績)	67.3%  平成17年度(実績)  至や駆除方法の啓発 建康保持のため、教室、 治息予防等のため、水が 1世帯当リ(円) 173 平成17年度(決算) 3,574 3,319	70. 平成18年原 相談を実施。 永教室を実施。 住民1人当り(円 平成18年原	(目標) 76 (予算)	75.0%	票)
芦屋市 3 事 内 語	カカ標の業人事他減合国市	中間 成成 様 と が 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	指標名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値の1 は 標	要医医不成・アム公・アム公・アム公・アム公・アースの	療者の発見率 療者数/受診数 1.5年度(実績) 57.8% 1.5年度(実績) レルギーの発症要 害汚染対策地域で 害汚染対策地域で 1.5年度(決算) 3,165 3,231	平成 1 6 年度 (実績)       5 1 . 6 %       平成 1 6 年度 (実績)       因である屋内のダニ調査ある芦屋市のこどもの頃ある芦屋市のこどもの頃本の1 6 年度 (決算)       平成 1 6 年度 (決算)       2,730       3,319	67.3%  平成17年度(実績)  至や駆除方法の啓発  建康保持のため、教室、	70. 平成18年原 相談を実施。 永教室を実施。 住民1人当り(円 平成18年原	(目標) 76 (予算)	75.0%	票)
芦屋市 3 事 内(千円)財 湯	カカ 標	中間 ・債 ・債 ・債	指標名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値の1 は 標	要医医不成・アム公・・アム公・・アム公・・アム公・・アム公・・アム公・・アー・・・・・・・・・・	療者の発見率 療者数/受診数 1.5年度(実績) 57.8% 2.15年度(実績) レルギーの発症要 害汚染対策地域で 害汚染対策地域で 3,165 3,231	平成16年度(実績) 51.6% 平成16年度(実績)	67.3%  平成17年度(実績)  至や駆除方法の啓発 建康保持のため、教室、 治息予防等のため、水が 1世帯当リ(円) 173 平成17年度(決算) 3,574 3,319	70. 平成18年原 相談を実施。 永教室を実施。 住民1人当り(円 平成18年原	(目標) 76 (予算)	75.0%	票)
芦屋市 3事 内千円 財千円	カカ 標	中間 最指 を 活動 作業 程却 ・債の	指標名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値	要医医不成・アム公・アム公・アム公・アム公・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・	療者の発見率 療者数/受診数 1.15年度(実績) 57.8% 2.15年度(実績) レルギーの発症要 害汚染対策地域で 害汚染対策地域で 3,165 3,231 6,396	平成 1 6 年度 (実績) 5 1 . 6 % 平成 1 6 年度 (実績)	67.3%  平成17年度(実績)  至や駆除方法の啓発  津康保持のため、教室、 治息予防等のため、水が 1世帯当り(円) 173 平成17年度(決算) 3,574 3,319	70. 平成18年原 相談を実施。 永教室を実施。 住民1人当り(円 平成18年原	(目標) 76 (予算)	75.0%	票)
芦屋市 3事内( 財子円 活	カカ で	中間 最指 を <b>活動</b> で <b>登</b> で <b>は</b> の <b>以</b> の <b>以 以</b> の <b>以</b>	指標名式度値名式度値名式度値指標 標 名 表 表 方・式度値名式度値名式度値を引きます。 ままままままままままままままままままままままままままままままままままま	要医医不成・アム公・アム公・アム公・アム公・アン・アスム	療者の発見率 療者数/受診数 .15年度(実績) 57.8% .15年度(実績) レルギーの発症要 害汚染対策地域で 害汚染対策地域で .15年度(決算) 3,165 3,231 6,396 3,208 3,188 0.45	平成 1 6 年度 (実績) 5 1 . 6 %    平成 1 6 年度 (実績)    因である屋内のダニ調子   ある芦屋市のこどもの味    本成 1 6 年度 (決算)    2,730   3,319   6,049    3,319   2,730   0.40	平成 1 7年度 (実績)  平成 1 7年度 (実績)  至や駆除方法の啓発  津康保持のため、教室、 治息予防等のため、水が 1世帯当り(円) 173 平成 1 7年度 (決算) 3,574 3,319 6,893 3,317 3,576 0.45	平成18年原 相談を実施。 永教室を実施。 住民1人当り(F 平成18年原	(目標) 76 (予算)	75.0%	票)
芦屋市 3 事 内( 財 所 活配 第 1	カカ で	中間 最指 を <b>活動</b> 費費費 <b>費計</b> 県等他源	指標名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値のである。 年 標値名式度値のできます。 100.0% 51.8% 48.2% 100.0% 69.2% 30.8% 30.8%	要医医不成・アム公・・アム公・・アム公・・アム公・・アム公・・アム公・・アム公・・アム公	療者の発見率 療者数/受診数 1.5年度(実績) 57.8% 2.15年度(実績) レルギーの発症要 害汚染対策地域で 害汚染対策地域で 3,165 3,231 6,396 3,208 3,188	平成16年度(実績) 51.6%  平成16年度(実績)  因である屋内のダニ調系 ある芦屋市のこどもの時 ある芦屋市のこどもの時 のる芦屋市のこどもの時 を表対している。 (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表)	平成17年度(実績) 至や駆除方法の啓発 津康保持のため、教室、 治息予防等のため、水が 1世帯当り(円) 173 平成17年度(決算) 3,574 6,893	7 0. 平成 1 8 年原 相談を実施。 (本報: 1 人当り ( P. 平成 1 8 年度)	(目標) 76 (予算)	75.0%	票)

4 評信	西(チェッ	ク)																			
評	価	視	点						評	価チェ	ック	リスト	`						1%	欠評価	2次評価
	目的妥	当性(2	2 ~ 2)		事業の主								事業の					ない			
		- 1-1							7,または貢献		高い		貢献度								
177	士問⊢	.(0	2)						身づけられて ・※悪った?	いる			民間で		,			ある			
妥	市関与	(2 ~	2)		巾氏のを	を中的な?	生活の	継持に	必要である				] 他団体			rici	15				
当					市民二一	・ブに甘っ	ブロア	⁄テうべ =	*車業				」いずれ 〕市民ニ			グテスゴ	撃づけ	+ <i>†</i> >! \		6	6
=	市民二	- ズ(2	·~ 1)	1	• ☑ <u>=</u>			117.7	2 尹未				コーズ							U	U
性	10 20—	X(2	٠ ')					ている	参加者数	女の増加	hП		. – ^	/J  LJV .C	ющие		G/ClG/ □ 未打				
8点	*I ^ T	U <del>** -*-</del> //	1444 4	<b>V</b>					に適応してい				〕社会環	境の変化	とにあわ						
	社会境	境変化	比(1~ 1)		内容	喘息児	等への	)早期対	<b>対応</b>												
	優先性	, 緊急	.性(1)	V	事業を実	施しなけ	ければ	,市民の	D生命,安全	等が損	なね	りれる	<u>;</u>								
	対象力		,	V	対象カハ	で多は	高い		□ 他回	団体と同	司程.	度		□ 他団	体よりカ	バー	率が低	۱ ا			
有	受益者	(1 ~	1)		事業意図			•					益者が不					限定			
効	成果の	実績(2	2~ 1)	1					し,目標値を									~		4	4
44									ていると言え	<u> </u>			実績値	から成果	<b>ミがあか</b>	ってし	ると言	えない		•	•
性 4点	- 成果向	上余地	也(1~ 1)		果があが 成果向」		い場合	í 									□特	I= +> I			
4,:::					比較でき		バあス	団体	夕		1	[./]	比較で	きる団体	1+101.1		⊔ 1র	になり			
					他団体の				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ŀ		ت	) LUTX C		いるない 把握して	いな	L I				
効	単位コ.	スト(1 -	~ 1)								3程	度		 ] 他団(							
					い、または				西宮市に												
	四兴李	台扣(	) ~ 1)	Image: section of the content of the	負担を求	めること	ができ	る事業	である	<b>V</b>	負:	担を求	求めるべき	き事業で	はない						
率	文面有	貝担(0	)~ 1)	┕	▶ □ 現在	E,適正な	は負担	あり	□ 負担なし	, 過少	<b>&gt;</b>	(	] 徴収不	能·見直	し不能		徴収可	能 )		ი	0
_									は出資団体へ		して									U	U
	手段(1	~ 3)							けられている				] 個人,								
441	`	,							できない業務												
性					嘱託, 臨				きない業務で	ごめる			] 嘱託 , E ] 特に行			心可	能である	5			
3点	コスト肖	削減取	組(1~ 1)						バる i医師会·芦属	多病院	N/										
					r J 🖂			-, ,,													
平成1	6年度	の評	価 内 容 5 向 性 己載不要)	F - <u>⇒</u> T/	価結果		Α		17年度に実 こ改善の方向		改	善し,	効果を	得た		-	を全工				
(評価な	びる場がない場合	合は前	己載不要)	= aT1		V	В	性			改い		たが,効	果がな	<b>V</b>		女善し よかっ				
				1	<u> </u>						· ·					7	<u>-</u>	総合	ì	В	В
平 成	1 8	年	度に	_	水沙粉学	その効素	的宝姑	<del>;</del>		7万美	±п.	心老。	クラス等	の恋器				評価	1		
実施		改善	度に	課題	八小织	3073/J <del>T</del>	口少天加	<u>н</u>		内容			ノノヘ守	い以直							
(	必	須	! )																		
5 今往	後の対応	(アク	7ション)		I						<u> </u>										
				健康	増進事業	の水泳	数室の	プール	指定管理者	による	実力	施方法	去変更要	望あり							
現在意	忍識 し	てい	る課題	Ī																	
<b>-</b>						1717 144															
	± p		系者の名称																		
からの 要 望	思見 等 第	見,要	要望内容	健康	事業の拡	大希望															
女王	ਚ																				
	(	1)	対応内容	水泳	教室等現	状以上/	は困難														
	)	<i>'</i>	実施期限	平成		年		月													
課題·要	望等		社内市家		I		ı	1													
	(	2)	対応内容			_		_													
へ の ゔ	付 応		実施期限	平成		年		月													
			対応内容																		
	(	3)	ch+++070			<i>F</i>		Пп													
			実施期限	平成	<u> </u>	年		月													
その他	考えら	n. 3																			
	カアイ																				
																2	今後の	方向	性 1%	欠評価	2次評価
																		· 充	_		0
																		維			•
					は事業の	拡大は	困難な	ので現	状維持									改			0
平成 1	9 ~ 2 1 1	年度(	の方向性													_		委託	_		0
																	宿 太 <i>合(4</i> )		小〇 字〇		0
																		<ul><li>期設</li><li>/ 休</li></ul>			0
																			<u></u> .		$\overline{}$
																l:	€ 11	/ VN .		-	
2 次 評	· 価 委 🎚	員 会	コメント													Į.	€ Ⅲ_	/ VN .			

(一般事	事業)	事業	□	21200	090								部		長	次		長	課		長
,	,												HI.			,,,					
平成 17	年度	事	業 名	訪問打	<b>省</b> 導																
				<u> </u>																	
1 車	<b>学</b> 椰豆	要(ドゥ)														<u> </u>					
			ロの日煙	2	健やかでぬく	t. n c	のある	宣址社会	べくり							保健福	五十二十二				
総合			<u>りの日 1年</u> 中		保健・医療・				, 2 \ 9				所	管	課	健康調					
政 策 1			<u>干</u> 小		保健事業の推済		7)连伤	こル夫					所管		エク						
							FF 4 4	1													
体	系		細		介護予防と生活	古の宣	質の回.						記入								
事	業	期						Ž	圣常臨時	☑ 経	常□	塩時		舌 番			31-158	6	内線	250	67
根 拠					呆健法 母子伊											芦屋市					
実	施	手	,		直営		✓ —	部委託		□ 全	部委託						] 負担				
委		託	先		外郭団体委託	=	名称					☑ 民間	委託	委託	内 容	歯科記	f問指導	拿等			
事	業	の	概 要	在宅籍	夏たきり者訪問	閉指導	算,在年	E寝たき	り者歯科	斗訪問指	導,閉〕	じこもり	予防訪	問指	尊,《	介護家	族,認	知症	老人訪	問指導	導
				乳幼児	尼訪問等																
				訪問打	<b>省導事業</b>																
事	業	の	現 状	· 寝7	たきり予防訪問	1指導	事 :被	指導人数	文 10	人 延	*訪問回	数20回	1	<ul><li>寝た</li></ul>	きり	者歯科	斗訪問打	<b>i導:</b>	波指導	人数:	2 5
	目的第	実現のため	の	5 (	0回 ・寝たき	り者	皆歯科記	訪問指導	:被指	導人数 2	25人	延べ訪問	引回数。	50厘	]	·閉[	じこもり	) 予防	訪問打	旨導:襘	被指
	手段及	ひび実施内	容	延~	べ訪問回数35	5 1 巨	ı .	認知症	老人訪問	間指導 1	7人延~	べ訪問回	数30	口	• 🛱	乳幼児	訪問1	4 7 [	П		
										•	_										
			指標名	成人	• 老人訪問利用	1者数	汝														
		結果指標			15年度(実績			6年度	(実績)	平成 1	7年度(	(実績)	平成	18年	F度(	(目標)	) 平月	<b>丸1</b> 9	年度	(目標	票)
		(1)	指標値		578回	-		760			634	1									ŕ
アウト	プット		単位コスト		11,994円/回		9.	459円/	П	16	, 954円/	/口									
指	標		指標名		, , , , , ,			, , , , ,			, , , , ,										
311	1235	結果指標		平成	15年度(実績	1	平成 1	6年度	(実績)	平成 1	7年度(	(実績)	平成	185	E度(	[目標]	) 平	<b>載1</b> 0	年度	(日標	<b>亜)</b>
			指標値			- /	1 7-20	• 1/2		1 7-20 .	, 12		1 72%			Him	, ,	·	1/2	( 11/2	<i>3</i> ( )
		(2)	単位コスト			-															_
2 車当	华 ct E	 果(アウト																			
4 <del>37</del> 3	未ルルフ		na)	1																	
		対	象	在空门	宴たきり 者等記	問名	公田少														
		~3	30	111-11	交にとり日母の	2 111111	中主任														
事業の								Ę	罗 益 数	7 (b)	1	85 J	ŀ	七座	(h	∸ a)	%	9	2.6.	4	
	目的	対象力	バー率				700	5	受益数	(b)	1	85人	ŀ	北 率	(b	÷ a)	%	2	26.	4	
事業の 対象・	目的	対象力	バー率	対象	·数 (a)	7	0 0			, ,		85人	ŀ	北率	(b	÷ a)	%	2	26.	4	
	目的	対象力意	バ - 率 図	対象		7	0 0			, ,		85人	t	北率	(b	÷ a)	<u>%</u>	2	26.	4	
	目的	対象力意	バー率	対象	·数 (a)	7	0 0			, ,		85人	į	北率	(b	÷ a)	<b>%</b>	2	26.	4	
対 象· 	目的 意図	対 象 カ 意 (対象を3	バ - 率 図 E語にして)	対象 在宅等	<mark>: 数 (a)</mark> 夏たきり者等の	7 )介護	後予防と			, ,		85人	<u> </u> t	北 率	(b	÷ a)	%	2	26.	4	
対象・	目的	対象力意	バ - 率 図 E語にして)	対象 在宅等	·数 (a)	7 )介護	後予防と			, ,		85人	t	<mark>北 率</mark>	(b	÷ a)	%	6 2	26.	4	
対 象· 	目的 意図	対 象 カ 意 (対象を3	バー 率 図 E語にして)	<b>対 象</b> 在宅第	<ul><li>数 (a)</li><li>夏たきり者等の</li><li>予防と生活の</li></ul>	7 )介護	後予防と			, ,		85人	ŀ	北 率	(b	÷ a)	%	2	26.	4	
対 象· 	目的 意図	対 象 カ 意 (対象を3	バー 率 図 E語にして) 目 的 指標名	対象 在宅第 介護 <sup>-</sup> 訪問打	き数 (a) 夏たきり者等の 予防と生活の質 指導力バー率	7 の で で の 向	700 雙予防 と 旬上	生活の	質の向_	上を図る		85人	l	比 率	(b	÷ a)	%	62	26.	4	
対 象· 	目的図	対象カ 意 (対象を3 な	バー 率 図 語にして) 目 的 指標名 考え方・式	対 象 在宅紹介護 <sup>-</sup> 訪問打	き数 (a) 夏たきり者等の 予防と生活の質 指導カバー率 指導者数/在宅	7 の介護 での向 寝た	でのの 要予防と 対土 きり者	÷生活の 等訪問	質の向_ 育の向_ 希望者数	上を図る	D										票 )
対象·  大	目的意図	対象カ 意 (対象を3 な 中間成果標	バー 率 図 語にして) 目 的 指標 名え方・式 年 度	対 象 在宅等 介護 訪問	き数(a) 夏たきり者等の 予防と生活の質 指導カバー率 指導者数/在宅 15年度(実績)	7 の介護 での向 寝た	700 要予防と 可上 きり者 平成1	生活の 等訪問和 6年度	質の向_ 新望者数 <b>(実績)</b>	上を図る <b>平成 1</b>	D	〔実績〕				÷ a)			26.		票)
対象· 大 アウト	目意のきかん	対象カ意 (対象を3	ボー 率 図(T)	対象在宅等介護- 訪問打事成	き数 (a) 夏たきり者等の 予防と生活の質 指導カバー率 指導者数/在宅	7 の介護 での向 寝た	700 要予防と 可上 きり者 平成1	÷生活の 等訪問	質の向_ 新望者数 <b>(実績)</b>	上を図る <b>平成 1</b>	· 7年度(	〔実績〕									票 )
対象·  大	目的意図	対象カ 意 (対象を3 な 中間成果 指	ボー を 図 が 的 名式度値名	対象在宅等介護- 訪問打事成	き数(a) 夏たきり者等の 予防と生活の質 指導カバー率 指導者数/在宅 15年度(実績)	7 の介護 での向 寝た	700 要予防と 可上 きり者 平成1	生活の 等訪問和 6年度	質の向_ 新望者数 <b>(実績)</b>	上を図る <b>平成 1</b>	· 7年度(	〔実績〕									票)
対象· 大 アウト	目意のきかん	対象カ 意 (対象を3 な 中間成標 最終成果	ボー して	対 象 在宅紹 介護・ 訪問打 ・ 訪問打 ・ 平成	き数 (a) 夏たきり者等の 予防と生活の 指導力バー率 指導者数/在宅 15年度(実績 13.9%	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	700 雙予防と 可上 きり者 <mark>平成1</mark>	生活の 等訪問和 <mark>6年度</mark> 33.6	質の向_ 命望者数 <mark>(実績)</mark> %	上を図る     <mark>平成1</mark>	<mark>7年度(</mark> 66.4	<b>(実績)</b> %	平成	1 8 £	<b>F度(</b>	〔目標	) 平 <sub>f</sub>	成 1 9	争年度	(目標	
対象· 大 アウト	目意のきかん	対象カ 意 (対象を3 な 中間成標 最終成果	ボー を 図 が 的 名式度値名式度	対 象 在宅紹 介護・ 訪問打 ・ 訪問打 ・ 平成	き数(a) 夏たきり者等の 予防と生活の質 指導カバー率 指導者数/在宅 15年度(実績)	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	700 雙予防と 可上 きり者 <mark>平成1</mark>	生活の 等訪問和 <mark>6年度</mark> 33.6	質の向_ 命望者数 <mark>(実績)</mark> %	上を図る     <mark>平成1</mark>	<mark>7年度(</mark> 66.4	<b>(実績)</b> %	平成	1 8 £	<b>F度(</b>		) 平 <sub>f</sub>	成 1 9		(目標	
対象· 大 アウト	目意のきかん	対象カ 意 (対象を3 な 中間成標 最終成果	ボー して	対象 在宅料介護一 訪問問 平成 平成	き数 (a) 夏たきり者等の 予防と生活の 指導力バー率 指導者数/在宅 15年度(実績 13.9%	77 7)介語 での向 寝た し	で 0 0 m 要予防 と 可上 きり者 平成 1 m で 1 m 平成 1	等訪問和 6年度 33.6	質の向_ 希望者数 (実績) %	平成1 平成1	7年度( 6.4 7年度(	(実績) %	平成	1 8 £	<b>F度(</b>	〔目標	) 平 <sub>f</sub>	成 1 9	争年度	(目標	
対 大 ア指	目意 き カ標	対 意 (対象を3 な 中指 最終成標 最終指	パー して	対象 在宅乳 介 訪問問成 平成 平成	き数 (a) 夏たきり者等の 予防と生活の質 指導力バー率 指導者数/在宅 15年度(実績 13.9%	77 7)介語 での向 寝た し	で 0 0 mg 予防 と きり者 T T T T T T T T T T T T T T T T T T T	等訪問和 6年度 33.6	質の向_ 希望者数 (実績) %	平成1 平成1	7年度( 6.4 7年度(	(実績) %	平成	1 8 £	<b>F度(</b>	〔目標	) 平 <sub>f</sub>	成 1 9	争年度	(目標	
対 大 ア指	目意 き カ標	対 意 (対象を3 な 中指 最終成標 最終指	ボー を 図 が 的 名式度値名式度	対象 在宅乳 介 訪問問成 平成 平成	き数 (a) 夏たきり者等の 予防と生活の質 指導力バー率 指導者数/在宅 15年度(実績 13.9%	77 7)介語 での向 寝た し	で 0 0 mg 予防 と きり者 T T T T T T T T T T T T T T T T T T T	等訪問和 6年度 33.6	質の向_ 希望者数 (実績) %	平成1 平成1	7年度( 6.4 7年度(	(実績) %	平成	1 8 £	<b>F度(</b>	〔目標	) 平 <sub>f</sub>	成 1 9	争年度	(目標	
対 大 フ 方 を 下 た	目意 き カ の特能	対象 カ意 (対象 な 中指 最終 展標 果標	パー しして	対象 在宅乳 介 訪問問成 平成 平成	き数 (a) 夏たきり者等の 予防と生活の質 指導力バー率 指導者数/在宅 15年度(実績 13.9%	77 7)介語 での向 寝た し	で 0 0 mg 予防 と きり者 T T T T T T T T T T T T T T T T T T T	等訪問和 6年度 33.6	質の向_ 希望者数 (実績) %	平成1 平成1 余さ高年	7年度( 6.4 7年度( 福祉課 <sup>人</sup>	(実績) % 「実績) 「移行	平成平成	185	F度(	【目標	) 平 <sub>F</sub>	或 1 <u>9</u>	) 年度 ) 年度	<mark>(目標</mark> (目標	票)
対 大 ア指 芦 る 事 3	目意 き カ の業	対象 意 (対象 中指 最指 と 活動配	パー して おおり おおり おおり おおり おおり おおり おおり おおり おおり は できます かんしん おおり おおり おおり おおり おいま は かんしん おおり おいま は かんしん おおり おいま は かんしん かんしん かんしん は かんしん かんしん は かんしん かんしん	<b>対</b> 在    在    宅    平    成    市    市    市    市    市	表数 (a) 夏たきり者等の 予防と生活の質 音導力バー率 音導者数/在宅 15年度(実績 13.9% 15年度(実績 18年度より報	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	900 要予防と きり者 平成1 では、	<ul><li>生活の</li><li>等訪問</li><li>6年度</li><li>33.6</li><li>6年度</li><li>資料訪問</li></ul>	質の向_ 希望者数 ( <b>実績</b> ) % ( <b>実績</b> ) 指導を修	上を図る 平成1 平成1 余き高年	7年度( 6.4 7年度( 福祉課~	(実績) % (実績) (を行	平成平成	1 8 <sup>全</sup> 1 8 <sup>全</sup>	F度( F度(	<b>〔目標</b> <b>〔</b> 目標	) 平 <sub>F</sub>	或 1 <u>9</u>	) 年度 ) 年度	<mark>(目標</mark> (目標	票)
対 大 フ 方 下 市	目意 き カ の <b>業</b> 的図	対象 意 (対象 中指 最指 を 活動配費	ボー して おおお は	<b>対</b> 在    在    宅    平    成    市    市    市    市    市	<ul> <li>数(a)</li> <li>夏たきり者等の</li> <li>予防と生活の質 音導力バー率 音導者数/在宅 15年度(実績 13.9%</li> <li>15年度(実績 18年度より報</li> <li>15年度(決算</li> </ul>	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	900 要予防と きり者 平成1 では、	<ul><li>生活の</li><li>等訪問</li><li>6年度</li><li>33.6</li><li>6年度</li><li>資料訪問</li></ul>	質の向_ 命望者数 (実績) % (実績) 指導を修	上を図る 平成1 平成1 余き高年	7年度( 6.4 7年度( 福祉課 <sup>人</sup>	(実績) % (実績) (教行 (決算)	平成平成	1 8 <sup>全</sup> 1 8 <sup>全</sup>	F度( F度(	【目標	) 平 <sub>F</sub>	或 1 <u>9</u>	) 年度 ) 年度	<mark>(目標</mark> (目標	票)
対 大 ア指 芦 る 事 3	目意 き カ の業	対 意 (対 な 中指 最指 と 活動 で 費 費	ボー 率 図で	<b>対</b> 在    在    宅    平    成    市    市    市    市    市	表数(a) 夏たきり者等の 予防と生活の質 指導力バー率 指導者数/在宅 15年度(実績 13.9% 15年度(実績 18年度より報	77 70 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	900 要予防と きり者 平成1 では、	<ul><li>生活の</li><li>等訪問</li><li>6年度</li><li>33.6</li><li>6年度</li><li>資料訪問</li></ul>	質の向_ 希望者数 (実績) % (実績) 指導を (決算) 3,689	上を図る 平成1 平成1 余き高年	7年度( 6.4 7年度( 福祉課/	(実績) % (実績) 移行 (決算) 7,613	平成平成	1 8 <sup>全</sup> 1 8 <sup>全</sup>	F度( F度(	【目標	) 平 18 平 5 18	或 1 <u>9</u>	) 年度 ) 年度	<mark>(目標</mark> (目標	票)
対 大 フ 方 る 事 3 事	目意 き カ の業 人事的図 ム標 特費業人事	対 意 (対 な 中指 最指 と 活動費費	ボー 率 図で	<b>対</b> 在    在    宅    平    成    市    市    市    市    市	<ul> <li>数(a)</li> <li>夏たきり者等の</li> <li>予防と生活の質 音導力バー率 音導者数/在宅 15年度(実績 13.9%</li> <li>15年度(実績 18年度より報</li> <li>15年度(決算</li> </ul>	77 70 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	900 要予防と きり者 平成1 では、	<ul><li>生活の</li><li>等訪問</li><li>6年度</li><li>33.6</li><li>6年度</li><li>資料訪問</li></ul>	質の向_ 命望者数 (実績) % (実績) 指導を修	上を図る 平成1 平成1 余き高年	7年度( 6.4 7年度( 福祉課/	(実績) % (実績) (教行 (決算)	平成平成	1 8 <sup>全</sup> 1 8 <sup>全</sup>	F度( F度(	<b>〔目標</b> <b>〔</b> 目標	) 平 18 平 5 18	或 1 <u>9</u>	) 年度 ) 年度	<mark>(目標</mark> (目標	票)
対 大 ア指 芦 3 事 訳	目意 き カ の <b>業</b> 人事他的図 ム標 特 <b>費</b> 業 一部	対 意(対 な 中指 最指 と 活動配費費費費	ボー 率 図で	<b>対</b> 在    在    宅    平    成    市    市    市    市    市	表数(a) 夏たきり者等の 予防と生活の質 指導力バー率 指導者数/在宅 15年度(実績 13.9% 15年度(実績 18年度より報	77 70 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	900 要予防と きり者 平成1 で成1 で成1	<ul><li>生活の</li><li>等訪問</li><li>6年度</li><li>33.6</li><li>6年度</li><li>資料訪問</li></ul>	質の向_ 希望者数 (実績) % (実績) 指導を (決算) 3,689	上を図る 平成1 平成1 余き高年	7年度( 6.4 7年度( 福祉課/	(実績) % (実績) 移行 (決算) 7,613	平成平成	1 8 <sup>全</sup> 1 8 <sup>全</sup>	F度( F度(	【目標	) 平 18 平 5 18	或 1 <u>9</u>	) 年度 ) 年度	<mark>(目標</mark> (目標	票)
対 大 ア指 芦 3 事 訳	目意     き     力     の業人事他減的図       的図     ム標     特費業     部価	対 意(対 な 中指 最指 な 活 件業門償 経却 で は の で の で の で の で の で の で の で の で の で	ボー を 図 が	<b>対</b> 在    在    宅    平    成    市    市    市    市    市	表数(a) 夏たきり者等の 予防と生活の 指導力バー率 指導者数/在宅 15年度(実績 13.9% 15年度(実績 18年度より報 15年度(決算 3.7 3.1	77 つ介語 寝た し で に で に で に で に で に で に で に で で に に に に に に に に に に に に に	900 要予防と きり者 平成1 で成1 で成1	<ul><li>生活の</li><li>等訪問</li><li>6年度</li><li>33.6</li><li>6年度</li><li>資料訪問</li></ul>	質の向_ 命望者数 (実績) % 指導を修 (決算) 3,689 3,500	上を図る 平成1 平成1 余き高年	7年度( 6.4 7年度( 福祉課 <sup>2</sup> 7年度(	(実績) % 移行 (決算) 7,613 3,136	平成平成	1 8 <sup>全</sup> 1 8 <sup>全</sup>	F度( F度(	【目標	) 平 18 平 5 18	或 1 <u>9</u>	) 年度 ) 年度	<mark>(目標</mark> (目標	票)
対 大 ア指 芦 3 事 訳	目意 き カ の業 人事他減合的図 ム標 特費業 部価	対意(対な 中指 最指 な 活動 費費費費計	ボー を 図 が	<b>対</b> 在    在    宅    平    成    市    市    市    市    市	表数(a) 夏たきり者等の 予防と生活の質 指導力バー率 指導者数/在宅 15年度(実績 13.9% 15年度(実績 18年度より報	77 つ介語 寝た し で に で に で に で に で に で に で に で で に に に に に に に に に に に に に	900 要予防と きり者 平成1 で成1 で成1	<ul><li>生活の</li><li>等訪問</li><li>6年度</li><li>33.6</li><li>6年度</li><li>資料訪問</li></ul>	質の向_ 希望者数 (実績) % (実績) 指導を (決算) 3,689	上を図る 平成1 平成1 余き高年	7年度( 6.4 7年度( 福祉課 <sup>2</sup> 7年度(	(実績) % (実績) 移行 (決算) 7,613	平成平成	1 8 <sup>全</sup> 1 8 <sup>全</sup>	F度( F度(	【目標	) 平 18 平 5 18	或 1 <u>9</u>	) 年度 ) 年度	<mark>(目標</mark> (目標	票)
対 大 ア指 芦 3事 内( ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	目意 き カ の 業 人事他減合国的図 ム標 特費業 部価	対 意(対 な 中指 最指 な 活 件業門償 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ボー 率 図() 的 名式度値名式度値名式度値 項 70.8% 29.2% 100.0%	<b>対</b> 在    在    宅    平    成    市    市    市    市    市	表数(a) 夏たきり者等の 予防と生活の 指導力バー率 指導者数/在宅 15年度(実績 13.9% 15年度(実績 18年度より報 15年度(決算 3.7 3.1	77 つ介語 寝た し で に で に で に で に で に で に で に で で に に に に に に に に に に に に に	900 要予防と きり者 平成1 で成1 で成1	<ul><li>生活の</li><li>等訪問</li><li>6年度</li><li>33.6</li><li>6年度</li><li>資料訪問</li></ul>	質の向_ 命望者数 (実績) % 指導を修 (決算) 3,689 3,500	上を図る 平成1 平成1 余き高年	7年度( 6.4 7年度( 福祉課 <sup>2</sup> 7年度(	(実績) % 移行 (決算) 7,613 3,136	平成平成	1 8 <sup>全</sup> 1 8 <sup>全</sup>	F度( F度(	【目標	) 平 18 平 5 18	或 1 <u>9</u>	) 年度 ) 年度	<mark>(目標</mark> (目標	票)
対 大 ア指 芦 3事 内( 財	目意 き カ の業 人事他減合国市的図 ム標 特費業 部価	対 意(対 な 中指 最指 な 活 件業門償 ・債 ・債 ・債 ・債 ・債 ・債 ・債 ・債 ・債 ・債 ・債 ・債 ・債	ボー 本図() 的 名式度値名式度値名式度値 項	<b>対</b> 在    在    宅    平    成    市    市    市    市    市	表数(a) 夏たきり者等の 予防と生活の 指導力バー率 指導者数/在宅 15年度(実績 13.9% 15年度(実績 18年度より報 15年度(決算 3.7 3.1	77 つ介語 寝た し で に で に で に で に で に で に で に で で に に に に に に に に に に に に に	900 要予防と きり者 平成1 で成1 で成1	<ul><li>生活の</li><li>等訪問</li><li>6年度</li><li>33.6</li><li>6年度</li><li>資料訪問</li></ul>	質の向_ 命望者数 (実績) % 指導を修 (決算) 3,689 3,500	上を図る 平成1 平成1 余き高年	7年度( 6.4 7年度( 福祉課 <sup>2</sup> 7年度(	(実績) % 移行 (決算) 7,613 3,136	平成平成	1 8 <sup>全</sup> 1 8 <sup>全</sup>	F度( F度(	【目標	) 平 18 平 5 18	或 1 <u>9</u>	) 年度 ) 年度	<mark>(目標</mark> (目標	票)
対 大 ア指 芦 3事 内( ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	目意 き カ の 業 人事 他減 合 国市 そ 的 図	対 意(対 な 中指 最指 な 1 件業門償 債の 果標 果標 果標 配費費費費計県等他	ボー 率 図(T) 的 名式度値名式度値名式度値名式度値 項	対 象 在 宅 彩 前 問 問 成 平 成 平 成	表数 (a) 夏たきり者等の 予防と生活の質 指導力バー率 指導者数/在宅 15年度(実績 13.9% 15年度(実績 18年度より報 15年度(決績 3,7 3,1	77 70介語 寝た <b>寝た</b> <b>5</b> <b>6</b> <b>6</b> <b>777</b> <b>77</b> <b>756</b>	900 要予防と きり者 平成1 で成1 で成1	<ul><li>生活の</li><li>等訪問</li><li>6年度</li><li>33.6</li><li>6年度</li><li>資料訪問</li></ul>	質の向_ 命望者数 (実績) % 指導を修 (決算) 3,689 3,500	上を図る 平成1 平成1 余き高年	7年度( 6.4 7年度( 福祉課 <sup>2</sup> 7年度(	(実績) % 270 (決算) 7,613 3,136	平成平成	1 8 <sup>全</sup> 1 8 <sup>全</sup>	F度( F度(	【目標	) 平 18 平 5 18	或 1 <u>9</u>	) 年度 ) 年度	<mark>(目標</mark> (目標	票)
対 大 ア指 芦 3事 内( 財( 財( 所)	目意 き カ の <b>業</b> 人事他減 <b>合</b> 国でそ <b>一</b> 的図	対 意(対 な 間	バー 率 図() 的 名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値 項 100.0% 100.0%	対 象 在 宅 彩 前 問 問 成 平 成 平 成	表数 (a) 夏たきり者等の 予防と生活の質 指導力バー率 指導者数/在宅 15年度(実制 13.9% 15年度(実制 13.9% 15年度(実制 15年度(決) 3.7 3.1 6.9	77 70介語 寝た <b>(事)</b> (事) (事) (事) (事) (事) (事) (事) (事) (事) (事)	900 要予防と きり者 平成1 で成1 で成1	<ul><li>生活の</li><li>等訪問</li><li>6年度</li><li>33.6</li><li>6年度</li><li>資料訪問</li></ul>	質の向_ 希望者数 (実績) % 指導を下 (決算) 3,689 3,500 7,189	上を図る 平成1 平成1 余き高年	7年度( 6.4 7年度( 福祉課 <sup>2</sup> 7年度(	(実績) % 移行 270 (決算) 7,613 3,136	平成平成	1 8 <sup>全</sup> 1 8 <sup>全</sup>	F度( F度(	【目標	) 平 18 平 5 18	或 1 <u>9</u>	) 年度 ) 年度	<mark>(目標</mark> (目標	票)
対 大 ア指 芦 3事 内( 財( 活 象 ・	目意 き カ の <b>業 人事他減<b>合</b>国市そ<b>一</b>職的図 ム標 特 <b>費</b>業 部価</b>	対 意(対 な 中指 最指 な 活 件業門償 ・債の財 果標 果標 果標 配費費費費計県等他源員	バー 率 図で) 目 約 名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値 100.0% 58.6%	対 象 在 宅 彩 前 問 問 成 平 成 平 成	き数(a) 夏たきり者等の 予防と生活の質 指導者数/在宅 15年度(実制 13.9% 15年度(実制 18年度より報 15年度(決算 3,7 3,1 6,9	77 つ介語 寝た <b>寝た</b> う う う う う う う う う う る る る る る る る る る	900 要予防と きり者 平成1 で成1 で成1	<ul><li>生活の</li><li>等訪問</li><li>6年度</li><li>33.6</li><li>6年度</li><li>資料訪問</li></ul>	質の向_ 希望者数 (実績) % 指導を修 (決算) 3,689 3,500 7,189 0.70	上を図る 平成1 平成1 余き高年	7年度( 6.4 7年度( 福祉課 <sup>2</sup> 7年度(	(実績) % 移行 270 (決算) 7,613 3,136 10,749 0.85	平成平成	1 8 <sup>全</sup> 1 8 <sup>全</sup>	F度( F度(	【目標	) 平 <sub>5</sub> 18 平 <sub>5</sub> 16	或 1 <u>9</u>	) 年度 ) 年度	<mark>(目標</mark> (目標	票)
対 大 ア指 芦 3事 内( 財( 活 象	目意 き カ の <b>業 人事他減<b>合</b>国市そ<b>一</b>職嘱的図 ム標 特 <b>費</b>業 部価</b>	対 意(対 な 間	バー 率 図 記語にして) 的 指考年 標標方・ 標方・ 標点方・ 標標方・ で 指標で 手 指 を する 取 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	対 全宅 介 訪訪可 平成 平成	き数(a) 夏たきり者等の 予防と生活の質 指導者数/在宅 15年度(実績 13.9% 15年度(実績 18年度より報 15年度(決集 3,7 3,1 6,9 0.0	77 70介語 寝た <b>(事)</b> (事) (事) (事) (事) (事) (事) (事) (事) (事) (事)	900 要予防と きり者 平成1 で成1 で成1	<ul><li>生活の</li><li>等訪問</li><li>6年度</li><li>33.6</li><li>6年度</li><li>資料訪問</li></ul>	質の向_ 希望者数 (実績) % 指導を下 (決算) 3,689 3,500 7,189	上を図る 平成1 平成1 余き高年	7年度( 6.4 7年度( 福祉課 <sup>2</sup> 7年度(	(実績) % 移行 270 (決算) 7,613 3,136	平成平成	1 8 <sup>全</sup> 1 8 <sup>全</sup>	F度( F度(	【目標	) 平 18 平 5 18	或 1 <u>9</u>	) 年度 ) 年度	<mark>(目標</mark> (目標	票)

4 評价	面(チェック)				
評		視点	評価チェックリスト 1	次評価	2次評価
	口的立小杯	F(0 0)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	目的妥当性	E(2 ~ 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
			☑ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2~	2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
			□ いずれにも該当しない	_	_
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	5	6
	市民ニーズ	(2 ~ 1)	□ ニーズが高いとは言えない,または未把握		
性			☑ 数字で把握している 26.4%の受益者がいる □ 未把握		
8点	<b>社会環境</b> 遊	图化(1~ 1)	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
			内容		
	優先性,緊		□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる		
+		率(1~ 1)	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~	1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合、または受益が一部に限定 □ 申開書 思想を受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合、または受益が一部に限定		
効	成果の実績	<b>[</b> (2 ~ 1)	□ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入 □ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	2	2
.b.e4-			□ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない 成果があがっていない場合	_	
性 4点	- 成果向上余	≷地(1~ 1)	成果があがっていない場合   □ 特になし		
4			□ 成素向工泉のり □ □ 村になり □ 比較できる団体はない		
			□ に致くさる団体がある 団体石 □ □ に致くさる団体はない □ □ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ □ 比較していない		
効	単位コスト(	1 ~ 1)	□ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
743			高い、または低い場合の理由		
	# W # . F .	7/0	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
-	受益者負担	년(0 ~ 1)	→ □ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能)	^	A .
率			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	0	-4
	II.	0)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	手段(1~	3)	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点	コスト削減耳	取組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
	171 HJ/M	+X №□( 1	→ 内容		
₩ = 1 1	6 年 度 の :	河 価 内 宓	□ A <mark>平成17年度に実</mark> □ 改善し,効果を得た		
予成し	6 年 度 の i 改 善 の	方 向性	評価結果 施した改善の方向 北茶したが、か用がな、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
(評価カ	がない場合は	記載不要)	$$ $$		
				В	В
平 成	1 8 £	ま 度 に			
実施	する改	善 内容	課題 乳幼児家庭訪問の充実		
(	必	須 )			
5 今後	後の対応(ア	7クション)			
		, , ,			
現在意	忍識 して	いる課題	平成18年度から,訪問指導は(寝たきり歯科・乳幼児)を除き高年福祉課へ移行		
	係者 市民,関	関係者の名称 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん			
からの		要望内容			
要望	等思見,	7 = 13 1			
	(4)	対応内容	平成18年度従来どおりの訪問体制で実施する。		
	(1)	ch +/c ++0.70			
≐冊 8五 → 冊	te 公	実施期限	平成    年    月		
課題·要	(2)	対応内容			
へのす		実施期限	平成年月		
,	., ,,,,		1794 11 124		
	(3)	対応内容			
	, ,	実施期限	平成年月		
	<u> </u>				
その他	考えられ	<b></b>			
改善の	カアイデ:	ア			
			今後の方向性 1	1次評価	2次評価
					0
			現状維持		•
			<mark>方 法 改 善</mark> (		0
平成 1	9~21年度	きの方向性			0
			縮 小		0
			統合/終期設定(		0
			<mark>廃止/休止</mark>	J	0
2 次 郵	通 委 員 会	<u> </u>			

		#		0 1 1 0				÷n =	\_
( 19	设事業)	事業	コード	24100	090			部長	次長課
ਜ਼ ਦੇ	47年 毎	= .	* 47	#T <del>*</del>	□ 士·□ 击 **				
平成	17年度	<b>争</b>	業名	灶生!	婦支援事業				
1 를	事業概象	要(ドゥ)							
			りの目標	2	健やかでめく t、h	のある福祉社会づくり			保健福祉部
							A a dra	所 管 課	
	画信		中			体を豊かにはぐくむ社会	会の美現		健康課
政策	策施 策		小	1	「エンゼルプラン	′」子育て支援の推進		所管課長氏名	山田 昌三
体	系		紙田		妊産婦の健康増進			記入者氏名	山田 昌三
事	業	期				経常臨時	☑ 経常 □ 臨時	電話番号	0797-31-1586 内線 2567
						<b>經吊師时</b>	上		
	拠法	令 · 5	要綱 等	母子(	保健法			実施 主体	芦屋市
実	施	手	法	<b>V</b>	直営	☑ 一部委託	□ 全部委託	□ 補助金	□ 負担金
委		託	先			名称		引委託 <mark>委 託 内 容</mark>	
		HU	70					TO THE PERSON NAMED IN COLUMN 1	
				吐座!	婦の出産に係る不	安の解消及び訪問による	o新生児保健指導		
事	業	の	概 要						
				ᄹᄼᅑ	日士松 <b>古</b> 米				
				. —	婦支援事業				
事	業	の	現 状	•母	子健康手帳の交付	:898 件			
	日的記	実現のため	o O	• 奸	産婦相談:40人				
						間や道・折掃100↓	☆井田・1 0 0 1		
	<del>1</del> + <b>1</b> / 1	及び実施内	台	• 火土)	生婦及い机生児訪	問指導:妊婦188人	利生児・100人		
				<u></u>					
			指標 名	相談	件数及び訪問件数				
		結果指標				平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度	(目標) 平成19年度(目標)
									(
		(1)	指標値		393人	400人	416人	4 3 0 /	* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *
アウ	トプット		単位コスト		14,262円/人	13,993円/人	9,769円/人	9,000円/	人 8,500円/人
指	標		指標 名					•	-
311	125	4+ 田 +比+西		Ω ct:	1 5 年度 / 宇健 /	亚成16年度(宝德)	平成17年度(実績)	平成18年度	(目標) 平成19年度(目標)
		結果指標		平风	134皮(夫縜)	平成16年度(実績)	千成1/4皮(夫績)	平成10年度	(日标) 平成「9年度(日标)
		(2)	指標値						
			単位コスト						
2 4	直業成員	果(アウ)	カム)						<u> </u>
_ =	F	<u> </u>	734)						
		対	象	母子位	健康手帳交付者				
事業	の目的	対 象 カ	バー 率	対 象	<mark>き数 (a)</mark> 8	98人 受益数	(b) 228人	比 率 (b	÷ a) % 25.4%
対 象	・意図								· · ·
×3 20			ळ्य	ᄹᄼᅑ	<b>組み山本に核ップ</b>	中の知沙(叔は)ナー図る	,		
		意	凶	灶生	畑の田座に除る小:	安の解消(軽減)を図る	O .		
		(対象を3							
			E語にして)						
大			E語にして)						
	₹	な	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	健や	かな妊娠と出産及	び育児支援			
	き	な	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	健や	かな妊娠と出産及	び育児支援			
	<b>き</b>		目 的			び育児支援			
	<u>ੇ</u>		目 的指標名	訪問	サービス利用率	- 117 = 2 101			
	₹ 		目 的指標名	訪問	サービス利用率	び育児支援 /母子健康手帳交付数			
		中間成果	目 的 指標名 考え方·式	訪問	サービス利用率 サービス利用者数	/母子健康手帳交付数	平成17年度(宝績)	平成18年度	(目標) ▼成19年度(日標)
		中間成果	目 的 指標名 考え方·式 年 度	訪問	サービス利用率 サービス利用者数 <mark>15年度(実績)</mark>	/母子健康手帳交付数 平成16年度(実績)	平成 1 7年度(実績)		
	トカム	中間成果	日 指標 考え方·式 年 据標値	訪問	サービス利用率 サービス利用者数	/母子健康手帳交付数	<mark>平成 1 7年度(実績)</mark> 2 5. 4%	<b>平成18年度</b> 26.0	
アゥ 指		中間成果指標	目 指 標 清 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 名 式 度 値 名	訪問。	サービス利用率 サービス利用者数 <mark>15年度(実績)</mark>	/母子健康手帳交付数 平成16年度(実績)			
	トカム	中間成果指標	目 指 標 清 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 名 式 度 値 名	訪問。	サービス利用率 サービス利用者数 <mark>15年度(実績)</mark>	/母子健康手帳交付数 平成16年度(実績)			
	トカム	中間成果指標	目 指 考 え 左 年 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 に 方 が り に り る り る り る り る り る り る り る り る り る	訪問。	サービス利用率 サービス利用者数 <mark>15年度(実績)</mark> 25.1%	/母子健康手帳交付数 平成 1 6 年度(実績) 2 5. 4 %	25.4%	26.0	% 26.5%
	トカム	中間成果指標	指表え標方・指表え標標表え指表えでは名式度値名式度	訪問。	サービス利用率 サービス利用者数 <mark>15年度(実績)</mark> 25.1%	/母子健康手帳交付数 平成16年度(実績)			% 26.5%
	トカム	中間成果指標	目 指 考 え 左 年 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 に 方 が り に り る り る り る り る り る り る り る り る り る	訪問。	サービス利用率 サービス利用者数 <mark>15年度(実績)</mark> 25.1%	/母子健康手帳交付数 平成 1 6 年度(実績) 2 5. 4 %	25.4%	26.0	% 26.5%
	トカム	中間成果指標	指表え標方・指表え標標表え指表えでは名式度値名式度	訪問。	サービス利用率 サービス利用者数 <mark>15年度(実績)</mark> 25.1%	/母子健康手帳交付数 平成 1 6 年度(実績) 2 5. 4 %	25.4%	26.0	% 26.5%
指	トカム 標	中間成果標品 標	目 指考年 指 考年 指 指 考 年 指	訪問 訪問 平成	サービス利用率 サービス利用者数 <mark>15年度(実績)</mark> 25.1% 15年度(実績)	/母子健康手帳交付数 平成 1 6 年度(実績) 2 5. 4 %	25.4% 平成17年度(実績)	26.0	% 26.5%
指	トカム 標	中間成果標品 標	目 指考年 指 考年 指 指 考 年 指	訪問 訪問 平成	サービス利用率 サービス利用者数 <mark>15年度(実績)</mark> 25.1% 15年度(実績)	/母子健康手帳交付数 平成 1 6 年度 (実績) 2 5. 4 % 平成 1 6 年度 (実績)	25.4% 平成17年度(実績)	26.0	% 26.5%
指	トカム 標 市の特 <b>6</b>	中間成果 指 標 最終成果 指 標	目 指考年 指指 考年 指 指 考 年 指 指 表 1 ま ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で	訪問 訪問 平成 平成	サービス利用率 サービス利用者数 <mark>15年度(実績)</mark> 25.1% 15年度(実績)	/母子健康手帳交付数 平成 1 6 年度 (実績) 2 5. 4 % 平成 1 6 年度 (実績)	25.4% 平成17年度(実績)	26.0	(目標) 平成19年度(目標)
指 芦屋	トカム 標 市の特 <b>6</b>	中間成果 指 標 最終成果 指 標	目 指考年 指 考年 指 指 考 年 指	訪問 訪問 平成 平成	サービス利用率 サービス利用者数 <mark>15年度(実績)</mark> 25.1% 15年度(実績)	/母子健康手帳交付数 平成 1 6 年度 (実績) 2 5. 4 % 平成 1 6 年度 (実績)	25.4% 平成17年度(実績)	26.0 平成18年度( 住民1人当り(円)	(目標) 平成 1 9 年度(目標) 45 平成18.4.1 住民基本台帳
指	トカム 標 市の特 <b>6</b>	中間成果 指 標 最終成果 指 標	目 指考年指指考年指 る コス 度値名式度値 項 ト	訪問。	サービス利用率 サービス利用者数 15年度(実績) 25.1% 15年度(実績)	/母子健康手帳交付数 平成 1 6 年度 (実績) 2 5. 4 % 平成 1 6 年度 (実績)	25.4% 平成17年度(実績)	26.0	(目標) 平成 1 9 年度(目標) 45 平成18.4.1 住民基本台帳
指 芦屋	トカム標の特色	中間成果 指 標 最終成果 指 を 活動配 活動配	目 指考年 標点 標標	訪問。	サービス利用率 サービス利用者数 15年度(実績) 25.1% 15年度(実績)	母子健康手帳交付数   平成 1 6 年度(実績)   2 5 . 4 %   平成 1 6 年度(実績)   平成 1 6 年度(実績)	25.4% 平成17年度(実績)	26.0 平成18年度( 住民1人当り(円)	(目標) 平成 1 9 年度(目標) 45 平成18.4.1 住民基本台帳
指 芦屋	トカム標 市の特色 業 人	中間成果 措 最終成果 指 を 活動配 費 件 費	目 指	訪問。	サービス利用率 サービス利用者数 15年度(実績) 25.1% 15年度(実績) 後の新生児訪問指 15年度(決算) 5,505	(母子健康手帳交付数         平成 1 6 年度 (実績)         2 5. 4%         平成 1 6 年度 (実績)         導の希望をはがきで確認         平成 1 6 年度 (決算)         5,404	25.4%  平成17年度(実績)  1世帯当り(円) 102  平成17年度(決算)  3,964	26.0 平成18年度( 住民1人当り(円) 平成18年度(	% 2 6.5% (目標) 平成19年度(目標) 45 平成18.4.1 住民基本台軸 (予算)
指	トカム標の特色	中間成果標 最終成果標 者を必ず補足 作業費費	目 指考年 標点 標標	訪問。	サービス利用率 サービス利用者数 15年度(実績) 25.1% 15年度(実績) 後の新生児訪問指	母子健康手帳交付数	25.4% 平成17年度(実績) 1世帯当ワ(円) 102 平成17年度(決算)	26.0 平成18年度( 住民1人当り(円) 平成18年度(	(目標) 平成 1 9 年度(目標) 45 平成18.4.1 住民基本台帳
指 芦屋 3 事 内	トカ 点標 の特色 登業 人事 他部 できます かいまい はんしゅう はんしゅん	中間成果 措 最終成果 指 を 活動配費 費費 費費	目 指	訪問。	サービス利用率 サービス利用者数 15年度(実績) 25.1% 15年度(実績) 後の新生児訪問指 15年度(決算) 5,505	(母子健康手帳交付数         平成 1 6 年度 (実績)         2 5. 4%         平成 1 6 年度 (実績)         導の希望をはがきで確認         平成 1 6 年度 (決算)         5,404	25.4%  平成17年度(実績)  1世帯当り(円) 102  平成17年度(決算)  3,964	26.0 平成18年度( 住民1人当り(円) 平成18年度(	% 2 6.5% (目標) 平成19年度(目標) 45 平成18.4.1 住民基本台軸 (予算)
指 芦屋 3 事 内	トカ 点標 の特色 登業 人事 他部 できます かいまい はんしゅう はんしゅん	中間成果標 最終成果標 者を必ず補足 作業費費	目 指	訪問。	サービス利用率 サービス利用者数 15年度(実績) 25.1% 15年度(実績) 後の新生児訪問指 15年度(決算) 5,505	(母子健康手帳交付数         平成 1 6 年度 (実績)         2 5. 4%         平成 1 6 年度 (実績)         導の希望をはがきで確認         平成 1 6 年度 (決算)         5,404	25.4%  平成17年度(実績)  1世帯当り(円) 102  平成17年度(決算)  3,964	26.0 平成18年度( 住民1人当り(円) 平成18年度(	% 2 6. 5 % (目標) 平成 1 9 年度(目標) 45 平成18.4.1 住民基本台軸 (予算)
指 芦屋 3 事 内	トカ な標 おり は 一	中間成果標 最終成果標 と <b>活動配</b> 費費費費	目 指 標 方 · 立 度 値 名 式 度 値 名 式 度 値 名 式 度 値 名 式 度 値 名 式 度 値 項 が の の の の の の の の の の の の の の の の の の	訪問 平成 出産	サービス利用率 サービス利用者数 15年度(実績) 25.1% 15年度(実績) 後の新生児訪問指 15年度(決算) 5,505	P子健康手帳交付数   P成 1 6 年度 (実績)   2 5 . 4 %   P成 1 6 年度 (実績)   P成 1 6 年度 (実績)   P成 1 6 年度 (決算)   5,404   193	25.4%  平成17年度(実績)  1世帯当り(円) 102  平成17年度(決算)  3,964	26.0 平成18年度( 住民1人当り(円) 平成18年度(	% 2 6. 5 % (目標) 平成 1 9 年度(目標) 45 平成18.4.1 住民基本台軸 (予算)
指 芦屋 3 事 内	トカ 標	中間成果標 最終成果標 は 活動配費費費費 計	目 指	訪問 平成 出産	サービス利用率 サービス利用者数 15年度(実績) 25.1% 15年度(実績) 後の新生児訪問指 15年度(決算) 5,505 100	(母子健康手帳交付数         平成 1 6 年度 (実績)         2 5. 4%         平成 1 6 年度 (実績)         導の希望をはがきで確認         平成 1 6 年度 (決算)         5,404	25.4%  平成17年度(実績)  1世帯当 <sup>9</sup> (円) 102  平成17年度(決算)  3,964 100	26.0 平成18年度( 住民1人当り(円) 平成18年度(	(目標) 平成19年度(目標)  45 平成18.4.1 住民基本台 (予算)  - 100
指	トカ な標 大事 他減合 国	中指 最指 を 活動配費費費費 計県	目 指 標 方 · 立 度 値 名 式 度 値 名 式 度 値 名 式 度 値 名 式 度 値 名 式 度 値 項 が の の の の の の の の の の の の の の の の の の	訪問 平成 出産	サービス利用率 サービス利用者数 15年度(実績) 25.1% 15年度(実績) 後の新生児訪問指 15年度(決算) 5,505 100	P子健康手帳交付数   P成 1 6 年度 (実績)   2 5 . 4 %   P成 1 6 年度 (実績)   P成 1 6 年度 (実績)   P成 1 6 年度 (決算)   5,404   193	25.4%  平成17年度(実績)  1世帯当 <sup>9</sup> (円) 102  平成17年度(決算)  3,964 100	26.0 平成18年度( 住民1人当り(円) 平成18年度(	(目標) 平成19年度(目標)  45 平成18.4.1 住民基本台 (予算)  - 100
指 芦屋 3 事 内(千)財	トカカ 大標 大事 一部 一部 一部 一部 一部 一部 一部 一部 一部 一部 一部 一部 一部	中指 最指 と 活動配費費費費計県等	目 指 標 方 · 立 度 値 名 式 度 値 名 式 度 値 名 式 度 値 名 式 度 値 名 式 度 値 項 が の の の の の の の の の の の の の の の の の の	訪問 平成 出産	サービス利用率 サービス利用者数 15年度(実績) 25.1% 15年度(実績) 後の新生児訪問指 15年度(決算) 5,505 100	P子健康手帳交付数   P成 1 6 年度 (実績)   2 5 . 4 %   P成 1 6 年度 (実績)   P成 1 6 年度 (実績)   P成 1 6 年度 (決算)   5,404   193	25.4%  平成17年度(実績)  1世帯当 <sup>9</sup> (円) 102  平成17年度(決算)  3,964 100	26.0 平成18年度( 住民1人当り(円) 平成18年度(	(目標) 平成19年度(目標)  45 平成18.4.1 住民基本台 (予算)  - 100
指 芦屋 3 事 内(千)財	トカ な標 大事 他減合 国	中指 最指 を 活動配費費費費 計県	目 指 標 方 · 立 度 値 名 式 度 値 名 式 度 値 名 式 度 値 名 式 度 値 名 式 度 値 項 が の の の の の の の の の の の の の の の の の の	訪問 平成 出産	サービス利用率 サービス利用者数 15年度(実績) 25.1% 15年度(実績) 後の新生児訪問指 15年度(決算) 5,505 100	P子健康手帳交付数   P成 1 6 年度 (実績)   2 5 . 4 %   P成 1 6 年度 (実績)   P成 1 6 年度 (実績)   P成 1 6 年度 (決算)   5,404   193	25.4%  平成17年度(実績)  1世帯当 <sup>9</sup> (円) 102  平成17年度(決算)  3,964 100	26.0 平成18年度( 住民1人当り(円) 平成18年度(	(目標) 平成19年度(目標)  45 平成18.4.1 住民基本台 (予算)  - 100
指 芦屋 3 事 内(千)財	トカ の 業 人事他減合国市 そ の 場 の の の の の の の の の の の の の の の の の	中指 最指 を 活 動 に で は が は が は が は が は が は れ い し の し の し の し の し の し の し の し の し の し	日 指 考 年 指 指 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標	訪問 平成 出産	サービス利用率 サービス利用者数 15年度(実績) 25.1% 15年度(実績) 後の新生児訪問指 15年度(決算) 5,505 100	平成 1 6 年度 (実績) 2 5 . 4 %   平成 1 6 年度 (実績) 2 5 . 4 %   平成 1 6 年度 (実績)   導の希望をはがきで確認   平成 1 6 年度 (決算) 5,404   193   5,597	25.4%  平成17年度(実績)  1世帯当り(円) 102  平成17年度(決算)  3,964  4,064	26.0 平成18年度( 住民1人当り(円) 平成18年度(	(目標) 平成19年度(目標)  45 平成18.4.1 住民基本台 (予算)  - 100
指	トカカ 大事 は、日本 の 学 大事 他減合 国市 そ 一 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	中指 最指 を 活 が は は は は が は が は が は が は が は り に り し り し り し り し り し り し り り り り り り	目 指 考 年 指 標標 持 標標 持 表 末 に 標標 標標 で が は の の の の の の の の の の の の の	訪問 平成 出産	サービス利用率 サービス利用者数 15年度(実績) 25.1% 15年度(実績) 後の新生児訪問指 15年度(決算) 5,505 100 5,605	平成 1 6 年度 (実績) 2 5 . 4 %   平成 1 6 年度 (実績) 2 5 . 4 %   平成 1 6 年度 (実績)   導の希望をはがきで確認   平成 1 6 年度 (決算)   5,404   193   5,597	2 5. 4 %  平成 1 7年度 (実績)  1世帯当り(円) 102  平成 1 7年度 (決算)  3,964  4,064	26.0 平成18年度( 住民1人当り(円) 平成18年度(	(目標) 平成19年度(目標)  45 平成18.4.1 住民基本台 (予算)  - 100
指	ト 市 業 訳 源り 動か 人事他減合国市で一職	中指 最指 を 活 が は が は が は が は が は が は が は が り り り り り	指 考え方・式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値 おきずる事項 分(コスト 構成% 97.5% 2.5% 100.0% 33.3%	出産	サービス利用率 サービス利用者数 15年度(実績) 25.1% 15年度(実績) 後の新生児訪問指 15年度(決算) 5,505 100 5,605	(母子健康手帳交付数         平成 1 6 年度 (実績)         平成 1 6 年度 (実績)         平成 1 6 年度 (決算)         5,404         193         5,597         5,597         5,597         5,597         5,597         5,597         0.50	2 5. 4 %  平成 1 7年度 (実績)  1世帯当り(円) 102  平成 1 7年度 (決算)  3,964  100  4,064  4,064  0.25	26.0 平成18年度( 住民1人当ウ(円) 平成18年度(	(目標) 平成19年度(目標)  45 平成18.4.1 住民基本台 (予算)  - 100
指	ト 市 業 (小事他減合) 国市そ 一職嘱 (計画) 第一 動分	中指 最指 を 活 大 業 門 償 の 財 時 時 の り の り 時 の り り り り り り り り り り り り	指標 考え方・式度値名式 指標標 指標標 考え方・標値名式 年間 が(コスト 構成% 97.5% 2.5% 100.0% 100.0% 33.3% 66.7%	出産	サービス利用率 サービス利用者数 15年度(実績) 25.1% 15年度(実績) 後の新生児訪問指 15年度(決算) 5,505 100 5,605	(母子健康手帳交付数         平成 1 6 年度 (実績)         2 5. 4 %         平成 1 6 年度 (実績)         専の希望をはがきで確認         平成 1 6 年度 (決算)         5,404         193         5,597         5,597         5,597         0.50         0.65	2 5. 4 %  平成 1 7年度 (実績)  1世帯当り(円) 102  平成 1 7年度 (決算)  3,964  100  4,064  0.25  0.50	26.0 平成18年度( 住民1人当り(円) 平成18年度(	(目標) 平成19年度(目標)  45 平成18.4.1 住民基本台 (予算)  - 100
指	ト 市 事 訳	中指 最指 を 活 が は が は が は が は が は が は が は が り り り り り	指標 考え方・式度値名式 指標標 指標標 考え方・標値名式 年間 が(コスト 構成% 97.5% 2.5% 100.0% 100.0% 33.3% 66.7%	訪問 平成 出産 平成	サービス利用率 サービス利用者数 15年度(実績) 25.1% 15年度(実績) 後の新生児訪問指 15年度(決算) 5,505 100 5,605	(母子健康手帳交付数         平成 1 6 年度 (実績)         平成 1 6 年度 (実績)         平成 1 6 年度 (決算)         5,404         193         5,597         5,597         5,597         5,597         5,597         5,597         0.50	2 5. 4 %  平成 1 7年度 (実績)  1世帯当り(円) 102  平成 1 7年度 (決算)  3,964  100  4,064  4,064  0.25	26.0 平成18年度( 住民1人当り(円) 平成18年度(	(目標) 平成19年度(目標)  45 平成18.4.1 住民基本台 (予算)  - 100

	西(チェック)					
評		点			1次評価	2次評価
	目的妥当性(	(2 ~ 2)	<ul><li> ☑ 事業の主目的は明確である</li></ul>			
	1132111	()	☑ 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない			
			☑ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能	である		
妥	市関与(2~	2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている			
			□ いずれにも該当しない			
当			☑ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業で	ではない	8	8
	市民ニーズ(	2 ~ 1)	└─▶ ☑ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない, また			
性			☑ 数字で把握している 新生児訪問希望者はすべて訪問している(188人) □ :			
8点	社会環境変	化(1~ 1)	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直	しが必要		
			内容。核家族化で特に母親への支援が必要な状況になっている。			
	優先性,緊急		☑ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる			
	対象カバー図		□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が			
有	受益者(1~	1)	□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部	に限定		
効	成果の実績(	(2 ~ 1)	② 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している─ 実績値または目標値が未記入		4	4
141		<u> </u>	▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると	言えない	•	•
性	- 成果向上余	地(1~ 1)	成果があがっていない場合	#±1- +>1		
4点				特になし		
効	単位コスト(1	~ 1)	☑ 他団体の数字を把握している 単位コスト   □ 把握していない   □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い			
7/J			高い、または低い場合の理由 助産師が嘱託であること			
			□ 負担を求めることができる事業である ☑ 負担を求めるべき事業ではない			
	受益者負担(	(0 ~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担をし、過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収	7可能)		
率			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	X-1 HC )	1	1
			□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部	分がある		
	手段(1~ 3	3)	<ul><li>☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である</li><li>□ 民間(企業, NPO等)で対応可能である</li></ul>			
性			□ 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託, 臨時職員等で対応可能で			
3点	1 1/412-5777	140.4	▽ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていかい	0,0		
	コスト削減取	(組(1~ 1)	▶ 内容 嘱託助産師の新生児訪問に合わせた勤務日の設定			
			□ A 収成47年度に宝 □ お美』 効果を得た			
平成1	6年度の評	了 価 内 容 方	□ A <mark>平成17年度に実</mark> □ 改善し、効果を得た <b>評価結果</b> 施した改善の方向 水ギル が思った 改善 ・	1		
(評価な	6 年 度 の 評 改 善 の がない場合は	記載不要)	<b>評価結果</b> ☑ B <mark>性                                 </mark>			
`			- V - £	総合	Α	Α
平 成	1 8 年	度に		評価	$\boldsymbol{\wedge}$	
平成実施	する改	善内容				
(	必须	<b>(</b>	対応できるよう再度嘱託助産師等の勤務 内容			
Γ <b>Δ</b> %	<u></u>	カミュランハ	日の見直しをする。			<u> </u>
J 71:	友ひスリルい(アー	<b>ノンコン</b> )				
租在前	認識してい	ヽ る 課 題	妊婦健診補助事業による業務量の増加(資格認定に係る所得調査や委託料の支払い業務)と	広報での周	<del>4</del> п	
276 111 1		1 60 pm Acc		1 ATK ( V) A	ΛH	
市民,関	係者 市民, 関	係者の名称				
からの	音目					
要望		要望内容				
		A1 = 4 =	妊婦健診補助事業については、芦屋市医師会にとりまとめを含めて委託をする。市外医療機	関にも委託	契約を	な頼す
	(1)	対応内容	పే			
		実施期限	平成 18 年 7 月			
課題·要	望等	対応内容	平成17年12月ぐらいから母子手帳発行済者には妊婦健診補助事業の対象となるため、案内を	:送付する。	(400	人予
	(2)	אנייטיוניג	定)			
へ の i	対応	実施期限	平成 18 年 7 月			
		対応内容				
	(3)					
		実施期限	平成 年 月			
7 0 //	. +x = > 40 =					
	! 考えられる カァィデァ					
以善(	リ ア 1 テ ア				4 No += 1=	1 \h += /
				A + - W		2 次評価
				の方向性		$\cap$
			拡力	ト・充 実	0	O •
			拡え現	大 · 充 実       状 維 持	○ <b>●</b>	•
平成 1		の方向性	拡 プ 現 : 現状維持 方 :	大 充 実       状 維 持       法 改 善	<ul><li>○</li><li>○</li><li>○</li></ul>	<ul><li>O</li></ul>
平成 1	9~21年度	の方向性	抵力       現状維持       医間	大 充 実       状 維 持       法 改 善       長 託 等	<ul><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li></ul>	<ul><li>O</li><li>O</li></ul>
平成 1		の方向性	拡	t · 充 実 状 維 持 法 改 善 引 委 託 等 小	<ul><li>O</li><li>O</li><li>O</li><li>O</li><li>O</li></ul>	<ul><li>O</li><li>O</li><li>O</li></ul>
平成 1		の方向性	拡	t · 充 実 状 維 持 法 改 善 引 委 託 等 小 / 終期設定	<ul><li>O</li><li>O</li><li>O</li><li>O</li><li>O</li><li>O</li></ul>	<ul><li>O</li><li>O</li></ul>
平成1		の方向性	拡	t · 充 実 状 維 持 法 改 善 引 委 託 等 小	<ul><li>O</li><li>O</li><li>O</li><li>O</li><li>O</li><li>O</li></ul>	<ul><li>O</li><li>O</li><li>O</li><li>O</li></ul>
			拡	t · 充 実 状 維 持 法 改 善 引 委 託 等 小 / 終期設定	<ul><li>O</li><li>O</li><li>O</li><li>O</li><li>O</li><li>O</li></ul>	<ul><li>O</li><li>O</li><li>O</li><li>O</li></ul>

/ фЛ	事業)	古 **	¬ Ŀ	2440	100				<b>₩</b>	\ <del>/</del>	EI÷⊞	E
(一份)	事業)	事業	コード	2410	100				部長	次	長課	長
亚战,	17年度	重	業名	رارك	親学級(教室)							
1 /3%	11 + 12	<del>31</del>	ж ц	,	M → MX ( FX <del></del> )							
				•								
1 =	2 <del>2 1</del> 10 1 5	H / I* + \										
		要(ドゥ)	·		E4 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 -	- 2 - 1-1111 4 2 2 2		-		/D 64 1 - 1 1		
			りの目標			のある福祉社会づくり			所 管 課	保健福祉	:部:	
	計画		中	4	子どもたちの心と	:体を豊かにはぐくむ社	:会の実現		/// E BA	健康課		
政策	施策		小	1	「エンゼルプラン	′」子育て支援の推進			所管課長氏名	山田 昌	ıΞ	
体	系		細	-	母子の健康				記入者氏名	dim =	=	
事	業				马丁切促冰		+					0505
		期				経常臨	∮ ☑ 経常 □ 臨日				-1586 内線	2567
根数	処 法	令 ' 5	要綱 等	母子	保健法				実 施 主 体	芦屋市		
実	施	手	法	~	直営	□ 一部委託	□ 全部委託		□ 補助金		負担金	
委		託				名称		早間	委託 委託 内容			
		HU				出産、育児に関する知		7 2011	X HU   X HU   J LI			
	NIK	_	in		神(これりつ対域, )	四座,月光に関するか	戦の百久					
事	業	の	概 要									
				プレ	親教室の事業							
事	業	Ø	現 状		業実施回数36回	実参加者数590	人 延べ参加者数8	907	(			
3"												
		実現のため				・異常予防・栄養と調				<b>.</b> :		
	于段及	及び実施内	谷	後:	期3回 (お産の経	過と呼吸法・産後の生	店・沐浴実習・赤す	ちゃん	との交流会):	535人		
				L								
			指標 名	事業	参加者数					_		
		結果指標				平成16年度(実績)	平成17年度(実	実績 )	平成18年度(	(目標)	平成19年度(	目標)
			指標値	. 1-2	953人	878人	890人		920	( ,	950人	)
7 4	トプット	(1)			5,573円/人	5,443円/人	3,738円/人		3,500円/		3,300円/人	
			単位コスト		5,575円/人	5,445円/人	3,730円/人		3, 500円/	八	3,300円//	
指	標		指標 名									
		結果指標	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(第	実績 )	平成18年度(	(目標)	平成19年度(	目標)
		(2)	指標値									
		, ,	単位コスト									
2 🕸	業点	果(アウ)										
<del>د ع</del>	未ルスフ	<del>K</del> () )	na)	1								
		対	象	市内	在住, 在勤の妊婦	及びその夫(母子健康=	手帳交付者数)					
					144	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	W		11.			,
			バー率	対象	₹ <b>数 (a)</b> 8	98人 受益	<mark>数 (b)</mark> 5 2	9人	比 率 (b	÷ a) %	58.9%	o
対象	・意 図											
		意	図	妊産	婦への妊娠・出産	・育児に関する知識の	普及。					
		(対象を=	E語にして)									
		,	/									
大	き	な	目 的	中学	レ乳幼児の健康促	持と健康増進を図る。						
	C	<b>'</b> &	נים הי	中庄	こすログリノレッノル色原体	いて歴界相思で囚る。						
			±15. ±= ←	-0.	如公勿 女 去- 士							
					親学級参加率							
					親学級参加数/母子							
		指 標	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(第	実績)	平成18年度(	(目標)	平成19年度(	目標)
アウ	トカム		指標値		54.9%	49.4%	58.9%	)	60.0	%	62.0%	0
指	標		指標名			•	•					
		是終成甲	考え方・式									
				ग्र⊏∺	15年度/安建》	平成16年度(実績)	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	宣信へ	亚武 1 0 年度,	つ描く	亚代 1 0 年度 /	日梅、
		指 標		十八人	コートラー・フート	十八八  0 十反(夫縜)	十八八八年段(尹	て 傾 )	平成18年度(	(日信)	平成19年度(	口信丿
			指標値		14 - 2 6							
				転入	者が多いため妊婦!	同志の交流を図ってい	る。					
					のヱ杏て古採し」	て父親の育児参加のた	め沐浴教室を開催し	してい	る。			
芦屋下	市の特色	色など補足	足する事項	母親	の丁月 (又1友とし	C ) C/DU-> [D ) U >> // DU-> // C			- 0			
芦屋市	もの特色	色など補足	足する事項		の丁育く文援とし 後の母親と妊婦と							
				出産			1世帯当り(円)			37	平成18.41 住民其	本台帳
3 事	業費·	活動配:	分(コスト	出産	後の母親と妊婦と	の交流会も開催	1世帯当り(円)	84	住民1人当り(円)		平成18.4.1 住民基	本台帳
		活動配置	分(コスト 構成%	出産	後の母親と妊婦と	の交流会も開催 平成16年度(決算)	平成17年度(決	84			平成18.4.1 住民基	本台帳
3 事	業費· 業 人	活動配 費 件 費	分(コスト 構成% 90.0%	出産	後の母親と妊婦と 15年度(決算) 4,543	の交流会も開催 <mark>平成16年度(決算)</mark> 4,427	平成 1 7 年度 ( )	84 <b>決算)</b> 2,995	住民1人当り(円)	(予算)	平成18.4.1 住民基	本台帳
3 事	業人事	活動配: 費 件 費 業 費	分(コスト 構成% 90.0%	出産	後の母親と妊婦と	の交流会も開催 平成16年度(決算)	平成 1 7 年度 ( )	84	住民1人当り(円)		平成18.4.1 住民基	本台帳
3 事	業費 業 人 事 訳他部	活動配: 費 件 費 業 費	分(コスト 構成% 90.0%	出産	後の母親と妊婦と 15年度(決算) 4,543	の交流会も開催 <mark>平成16年度(決算)</mark> 4,427	平成 1 7 年度 ( )	84 <b>決算)</b> 2,995	住民1人当り(円)	(予算)	平成18.4.1 住民基	本台帳
3 事	業費 業 人 事 訳他部	活動配: 費 件 費 業 費	分(コスト 構成% 90.0%	出産	後の母親と妊婦と 15年度(決算) 4,543	の交流会も開催 <mark>平成16年度(決算)</mark> 4,427	平成 1 7 年度 ( )	84 <b>決算)</b> 2,995	住民1人当り(円)	(予算)	平成18.4.1 住民基	本台帳
3 事	業費· 業 人 事 訳他部 引)減価	活動配費件 費費 費 費 負 資 資 資 資 資 費 資 費 責 償 却 費	分(コスト 構成% 90.0% 10.0%	出産 ) 平成	後の母親と妊婦と 15年度(決算) 4,543 768	の交流会も開催 平成 1 6 年度 (決算) 4,427 352	平成 1 7 年度 ( )	84 <b>決算)</b> 2,995 332	住民1人当り(円)	(予算)	平成18.4.1 住民基	本台帳
3 事	業費 業 人 事 他 部 ( <b>合</b>	活動配費件費費等的提供數學的	分(コスト 構成% 90.0%	出産 ) 平成	後の母親と妊婦と 15年度(決算) 4,543 768 5,311	の交流会も開催 <mark>平成16年度(決算)</mark> 4,427	平成 1 7 年度 ( )	84 <b>決算)</b> 2,995	住民1人当り(円)	(予算) - 563 -	平成18.4.1 住民基	本台帳
3 事内(千円	<b>業費</b> <b>人</b> 事他 減 <b>合</b> 国	活動配費件費費費費	分(コスト 構成% 90.0% 10.0%	出産 ) 平成	後の母親と妊婦と 15年度(決算) 4,543 768	の交流会も開催 平成 1 6 年度 (決算) 4,427 352	平成 1 7 年度 ( )	84 <b>決算)</b> 2,995 332	住民1人当り(円)	(予算) - 563 -	平成18.4.1 住民基	本台帳
3 事内(千円)財	業費業       人事他減合国市       源	活動配力 費費費費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費	分 (コスト 構成% 90.0% 10.0%	出産 ) 平成	後の母親と妊婦と 15年度(決算) 4,543 768 5,311 140	の交流会も開催 平成 1 6 年度 (決算) 4,427 352 4,779	平成17年度(浸	84 快算) 2,995 332 3,327	住民1人当り(円)	(予算) - 563 - -	平成18.4.1 住民基	本台帳
3 事内(千円	業費	活動配費 件業費費費 で は償却 計県等 の他	分(コスト 構成% 90.0% 10.0% 100.0%	平成	後の母親と妊婦と 15年度(決算) 4,543 768 5,311 140	の交流会も開催 平成 1 6 年度 (決算) 4,427 352 4,779	平成17年度(浸	84 共算) 2,995 332 3,327	住民1人当り(円)	(予算) - 563 -	平成18.4.1 住民基	本台帳
3 事内(千円)財	業費	活動配力 費費 費費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費	分 (コスト 構成% 90.0% 10.0%	平成	後の母親と妊婦と 15年度(決算) 4,543 768 5,311 140	の交流会も開催 平成 1 6 年度 (決算) 4,427 352 4,779	平成17年度(浸	84 快算) 2,995 332 3,327	住民1人当り(円)	(予算) - 563 - -	平成18.4.1 住民基	本台帳
3 事 内 (千円)財 (千円	業費	活動配費 件業費費費 で は償却 計県等 の他	分(コスト 構成% 90.0% 10.0% 100.0%	平成	後の母親と妊婦と 15年度(決算) 4,543 768 5,311 140	の交流会も開催 平成 1 6 年度 (決算) 4,427 352 4,779	平成17年度(浸	84 共算) 2,995 332 3,327	住民1人当り(円)	(予算) - 563 - -	平成18.4.1 住民基	本台帳
3 事 内(千円 財(千円	<b>業業</b> 大事他減 <b>合</b> 国市そー順 動	活動配費費費費費 計県等 他 <b>版 財</b> 源員	分(コスト 構成% 90.0% 10.0% 100.0% 4.1% 95.9% 45.5%	平成	後の母親と妊婦と 15年度(決算) 4,543 768 5,311 140 125 5,046	の交流会も開催 <b>平成 1 6 年度 ( 決算 )</b> 4,427 352 <b>4,779</b> 142 <b>4,637</b>	平成17年度(浸	84 共算) 2,995 332 3,327 138 3,189	住民1人当り(円)	(予算) - 563 - - - - 150	平成18.4.1 住民基	本台帳
3事内(千円)財(千円)活配	<b>業業</b> 大事他減 <b>合</b> 国市そー順 動	活動配費費費費 計県等 他 <b>阪財 源</b>	分(コスト 構成% 90.0% 10.0% 100.0% 4.1% 95.9% 45.5% 54.5%	田産(	後の母親と妊婦と 15年度(決算) 4,543 768 5,311 140 125 5,046 0.45	の交流会も開催 <b>平成 1 6 年度 ( 決算 )</b> 4,427 352 <b>4,779</b> 142 <b>4,637</b> 0.45	平成17年度(浸	84 決算) 2,995 332 3,327 138 3,189 0.25	住民1人当り(円)	(予算) - 563 - - - - 150	平成18.4.1 住民基	本台帳

	西(チェック)					
評	価 視				1次評価	2次評価
	口的可以供	'O O\	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができた	はい		
	目的妥当性(	2~ 2)	□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない			
			☑ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能であ	ある		
妥	市関与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている			
	-1000 5(=	-/	□ いずれにも該当しない			
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業では	+>1 \	6	6
=	±	2 4)	□ 「「「RLI - Aに参ういて打」ができま □ 「「RLI - Aに参ういて打」が事業では □ トーズが高いとは言えない,または未		O	O
Att	市民ニーズ(	2~ 1)				
性			□ 数字で把握している 応募者が多くキャンセル待ちとなっている。 □ 未把			
8点	社会環境変化	化(1~ 1)	<mark> </mark>	<b>心</b> 安		
		<u> </u>	内容核家族化で特に母親への支援が必要な状況になっている。			
	優先性,緊急		□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる			
	対象カバー図	, ,				
有	受益者(1~	1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に阻	艮定		
効	成果の実績(	2 ~ 1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入		3	4
		,		えない	J	_
性	- 成果向上余均	地(1~ 1)	成果があがっていない場合 			
4点	7.001(1 3 <u>—</u> 73)	5(1 1)	□ 成果向上策あり □ 特に	こなし		
			☑ 比較できる団体がある 団体名 西宮市等 □ 比較できる団体はない			
	単位コスト(1	~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない			
効	十四コスト()	')	▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い			
			高い、または低い場合の理由			
	受益者負担(		☑ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない			
率	又血白貝担(	0 -2 1)		能_)	0	-2
<del>4°</del>			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		U	-2
	<b>≖</b> ΕΠ/4 ο	Λ.	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分が	がある		
	手段(1~ 3	)	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能であ	<b>ప</b>		
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である	,		
3点	ココー学の研究	<del>                                    </del>	▽ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない			
	コスト削減取	.組(1~ 1)	' <mark>/</mark> └▶ 内容 土曜日開催は嘱託助産師や出務の助産師に依頼している。			
平成1	6年度の評	一個 内容	<b>台                                     </b>			
/ 評価が	改善の j がない場合はi	力 问性	<mark>生 評価結果                                   </mark>			
( п іщ /3	7 & V 1 7 1 1 1 1 1 1 1	10 #% 1 . 54 )		総合	Ъ	D
		<u>.</u> .		評価	В	В
平成実施	1 8 年 する改	度に	<mark>☆ 毎時</mark>  文り八40八数の頃(キャクとか付りの牌  <mark>汉告</mark>  所作自数指のため安正くさる団体の嗣直を			
(	必须		内容   実施する。			
`		,				
5 今後	後の対応(ア⊄	クション)				
現在;	忍識 してい	る課題	選」土曜日開催の増加			
	係者 市民,関係	係者の名称	<mark>和</mark> 市民			
からの		要望内容	<mark>容</mark> 休日の開催希望			
要望	等思先,	1				
	(4)	対応内容	一部委託が可能かの検討			
	(1)	<b>⇔</b> 46 HD DD				
÷00 85 335	: +B ^/	実施期限				
課題·要		対応内容	<u>ş</u>			
	(2)	ch+/c+10.00				
へ の s	(1) 心	実施期限	平成 年 月			
		対応内容				
	(3)					
		実施期限	平成			
41						
	考えられる					
改善の	カ ア イ デ ア					
				方向性		
				充 実		0
					•	0
			現状維持         方 法			•
平成 1	9~21年度	の方向性	生 民間要	き 託 等(	0	0
			縮	小(	_	0
				期設定(	O	0
				休止(	)	$\circ$
				<mark>'休止</mark> (	)	0
2 次 評	· 価 委 員 会	コメント		′ 休 止(	)	0

	<del>+</del> 307 1	- NV														T		l.m	
(一般	事 業)	事業	<u>コード</u>	2410 <sup>-</sup>	110								部		長	次	長	課	長
ᄑᅄ	左曲	= .	** 47	可加力	1日/建宝=>:	*													
平成 17	午 段	<b>争</b>	業 名	孔划.	児健康診	直													
				<u> </u>															
1 事	<b>坐概</b> 9	要(ドゥ)																	
			りの目標	2	健やかで	かくもり	のなる	行がな	べくり							保健福祉	L 並I7		
													所	管	課		Lbb		
総合			中	4	子どもた	ちの心と	体を豊	かにはく	べくむ社会	会の実	現			_		健康課			
政策	施策		小	1	「エンゼ	ルプラン	′」子育	て支援の	推進				所管	課長[	氏名	山田 昌	三		
体	系		<u>-</u> 細		乳幼児の	白体、维节	· → ※ → ·	- EEI オ Z E	日地彩日	レ北省						山田			
					孔如元切	分件 相	甲光连片	-11.7 7 -							• -		•		
事	業	期	間					*	怪常臨時	✓ ¾	圣常 🗌	臨時	電言	舌 番		0797-31	-1586	内線	2567
根 拠	法	令 ' 引	要 綱 等	母子	保健法								実が	施 主	体	芦屋市			
実	施	<u> </u>		V			<b>V</b> –	部委託		П	全部委託	:		補助金			負担金		
	旭	-						可安託		ш	上印安託							<b>41</b> . I .	
委		託	先	Ш	外郭団体	委託	名称					☑ 民間	委託	委託。	内 容	医師や歯	7科医師(	の診察	
				乳幼.	児の発育の	の節目に	おける値	建康診査	において	(乳幼児	見の身体	<ul><li>精神等</li></ul>	の発達	を異常の	の早	期発見と	保健指導	を行う。	,
事	業	の	概 要	休旧	虐待の発	E .													-
<del></del>	未	0)	15% 女	49J7C)	信付り先	九													
				乳幼.	児健康診	査の実施													
事	業	Ø	現 状		か月児健康			診) 704	1 /860 1										
<del>*</del>								~ /	., .										
	目的記	実現のため	のの	• 1	0か月児(	健康診査	(個別位	運診) 74	9人/836	人									
	手段及	ひ実施内	容	• 17	歳6か月り	児健康診	査 (集	団健診)	780人/8	57人									
					歳児健康				,										
			1E 1T (			心且(朱	山))	113/\/	000/										
			指標 名																
		結果指標	年 度	平成	15年度	(実績)	平成 1	6年度(	(実績)	平成 1	7年度	(実績)	平成	18年	F度	(目標)	平成 1	9年度(	(目標)
			指標値		3, 180			3,258人			3, 102				200			3,300人	, ,
74.	<b>→</b> ı	(1)		-			<del>                                     </del>			<del> </del>							_		
アウト	ノット		単位コスト		5,111円/	/人	5	5, 263円/	人	Ę	5,202円/	/人		5, 200	)円/	人	5,	100円/	人
指	標		指標 名																
		結果指標	年 度	平成	15年度	(実績)	平成 1	6年度(	(実績)	平成 1	7年度	(実績)	平成	1 8 年	E度	(目標)	平成 1	9年度(	(目標)
					12	( > < 1.50 )	1 7-20	- 1/2	( ) ( ) (	1 7-20		( ) ( )	1 7-7		~	( - 12.7	1 1-20	- 1/2	( - 1.5. )
		(2)	指標値																
			単位コスト																
2 事	業成界	果(アウト	トカム)																
		対	象	4か.	月,102	か月, 1	歳6かん	月及び3	歳の乳絲	力児健診	<b>诊受診者</b>	中異常幼	児発見	1数					
事業の	目的	対象力	バー率	対象	t数(a)	3,	102	人	受益数	(b)	8	23人		比率	(b	÷ a) %	2	6. 5	%
対象・	意 図																		
		意	ভা	到分	児が健康	診査を受	診する	- レにト	って自佐	k • 特和	事業の発	<b>幸</b> 里	が見ま	田に窓口	日 さ	hХ			
				TL-9/1	儿/小便冰	砂且で又	ルッシ	1 - 4	-) (A	P 1/19/1*	下寸り元.	进共市守	// <del></del>	カバニ ブロン	т.с.	4000			
		(対家を)	主語にして)																
大	き	な	目 的	乳幼.	児の健や	かな発育	の促進	を図る。											
			I	/ L I 🖂	6+ = \ - = = \ - \ - \ - \ - \ - \ - \ - \														
			指標名																
		中間成果	考え方・式	受診:	幼児数/対	付象幼児数	女												
		指 標	年 度	平成	15年度	(実績)	平成 1	6年度(	(実績)	平成 1	7年度	(実績)	平成	18日	E度	(目標)	平成 1	9年度(	(目標)
アウト		1.5			89. 1			89. 1			89. 9		. /- ٨	92		,		5. 0	
			指標値		og. 1	L /0	<u> </u>	υ υ. I	/0	<u> </u>	o 9. 9	/ /0		9 2	. 0	/0		, J. U	/0
指	標		指標名																
		最終成果	考え方・式																
					15年度	( 実績 )	平成 1	6年度	( 実績 )	平成 1	7年度	(実績)	亚式	1 2 年	E度	(目標)	平成 1	9年度(	(日煙)
				1 13%	・ラー皮	、人間ノ	1 13%	○ 十汉(	人順力	1 13%	,一尺	へ帰り	Τ.11χ	, , 04	汉	「田市ノ	1-13% 1	ノース(	「田ゴボノ
			指標値	<u> </u>	A 1:		<u> </u>												
				・対	象者に個別	別通知を	発送。1	10か月健	診を医療	景機関に	こ委託し	て実施							
芦屋市	の特色	色など補品	足する事項	• 健	診により	経過観察	の必要を	なこども	を対象に	二乳幼児	1育成指	導を実施	し、傷	よ護者(	の育	児不安の	軽減を図	ってい	る。
,	. , , ,	110 ^	• 5		診未受診:						1 - 1 - 4 - 4 - 1 H	/ 10</th <th>- , P</th> <th> н "</th> <th></th> <th></th> <th> / E</th> <th></th> <th>. 5</th>	- , P	н "			/ E		. 5
2	117 <del>11</del>	<b>・イエ</b> エー	// /	· )建i	<b>炒</b> 小又砂	日に刈し	、电前	ずくり値	加斯夫					1.11		1	- n	=	++
	業費 '	活動配:	分(コスト)	)						1世帯当	当り(円)	405		人当り(			半成18.4	1.1 住民	基本台帳
事	業	費	構成%	平成	15年度	(決算)	平成 1	6年度(	(決算)	平成 1	7年度	(決算)	平成	118年	F度	(予算)			
	Y	件 費				7,507			7,303			6,045				_			
	声			-			-			-						40.540			
	事	業費				8,745			9,844			10,092				12,542			
内 訳	他部	7門経費		L			<u>L</u>									-			
(千円)	減価	賃 却 費														_			
( . 13)		計	400.0%			16,252			17,147			16,137							
	合											10,137				•			
	国	· 県				2,230			2,382										
財 源	市	債 等								1									
		の他																	
$( \pm \mathbf{m} )$	ア			1			<u> </u>										4		
(千円)						44.000													
	- #	設 財源	100.0%			14,022			14,765			16,137							
						<b>14,022</b> 0.95			<b>14,765</b> 0.95			<b>16,137</b> 0.70				-			
活動	<b>一 射</b> 助職	<b>設財源</b> 員	<b>100.0%</b> 58.3%						•			•				-			
活動	職漏話	設 財源	100.0% 58.3% 41.7%			0.95			0.95			0.70				-	-		

	西(チェック)				
評	価 視	点	m. n. i	1次評価	2次評価
	口的可少性/0	) 2)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	目的妥当性(2	. ~ Z)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
			□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
•	-1000 5(=	-/	□ いずれにも該当しない		
NZ				7	7
当	<u>+</u>	43	□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	/	<i>I</i>
	市民ニーズ(2	~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把握		
性			☑ 数字で把握している 90%の受診率となっている □ 未把握		
8点	社会環境変化	ر(1 ~ 1)	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
			内容 核家族化で特に母親への支援が必要な状況になっている。		
	優先性,緊急	性(1)	☑ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
	対象カバー率	(1 ~ 1)	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~	1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
		,	☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している◯ 実績値または目標値が未記入		
効	成果の実績(2	2 ~ 1)	→ 図 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	3	3
性			成果があがっていない場合	-	
4点	- 成果向上余地	b(1 ~ 1)	□ 成果向上策あり □ 特になし		
4111					
**	単位コスト(1~	- 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない		
効	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	,	□ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
			高い、または低い場合の理由		
	受益者負担(0	) ~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
率	文皿百只三(0	' ')	│ └➡ ☑ 現在,適正な負担あり  □ 負担なし,過少  (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能 )	0	1
			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	U	- 1
	I = = = = = = = = = = = = = = = = = = =		□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	手段(1~ 3)		□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点			▽ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
OMI	コスト削減取約	组(1~ 1)	→ 内容 嘱託職員,臨時職員や出務看護師等の活用,業務の一部を医師会等に委託している。		
	<u> </u>				
平成 1	6年度の評	価 内 容	□ A <mark>平成17年度に実</mark> □ 改善し,効果を得た		
及び	改善の方がない場合は記	5 向性	┃ 評価結果		
( <u>=¥ 1</u> m 7	いない場合はま	「重小要)	$\square$ B $\stackrel{te}{\sqsubseteq}$ $\square$		
(пі іш /3	,	,		_	_
( пі іщ /3	, 600		た総合	В	В
平成	1 8 年	度に	大	В	В
平成	1 8 年 する改善	度 に 内容	1	В	В
平成	1 8 年	度 に 内容	大	В	В
平成実施	1 8 年 する改善 必 須	度 に 内容	1	В	В
平成実施	1 8 年 する改善	度 に 内容	大		
平成 施 5 今後	1 8 年 する改善 必 須 <b>後の対応(アク</b>	度 に 客 内 容 (ション)	課題 未受診者の追跡調査の徹底 改善 4か月健診の未受診者の訪問の徹底と1歳6 内容 か月健診未受診者の調査の実施 4か月児、3歳児健診の会場として借用している芦屋保健所から以前から他の市施設で実施するよう依		
平成 施 5 今後	1 8 年 する改善 必 須 <b>後の対応(アク</b>	度 に 客 内 容 (ション)	大		
平実( 5 今後 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元	1 8 年 する改善 必 須 <b>後の対応(アク</b> 認識してい	度 ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	課題 未受診者の追跡調査の徹底		
平実( 5 在 ] 現 市民, 関	1 8 年 する改 選 参の対応(アク 認識してい	度 ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	課題 未受診者の追跡調査の徹底		
平実( 5 存	1 8 年 する 改 須 <b>をの対応(アク</b> 認識 してい 関係者 市民,関係	度 (で容) (プション) る 課 題 系者の名称	課題 未受診者の追跡調査の徹底		
平実( 5 在 ] 現 市民, 関	1 8 年 する改善 変数 <b>をの対応(アク</b> 認識してい 係者市民,関係	度 (で容) (プション) る 課 題 系者の名称	課題 未受診者の追跡調査の徹底 改善 4か月健診の未受診者の訪問の徹底と1歳6	<b>収頼があ</b> ん	3.
平実( 5 存	1 8 年 すめ 2 改 須 <b>をの対応(アク</b> 認 識 し て い 間係者 意 見 , 要	度 (で容) (プション) る 課 題 系者の名称	大き   大き   大き   大き   大き   大き   大き   大き	<b>収頼があ</b> ん	3.
平実( 5 存	1 8 年 すめ 2 改 須 <b>をの対応(アク</b> 認 識 し て い 引係者 意 見 , 要	度内 (で容) (で容) (で容) (で容) (で容) (で容) (でませい) (でなっています。 ままま (でなっています。 ままま (でなっています。 まままま (できる) (でさる) (できる) (できる) (できる) (でさる) (できる) (でさる)	課題 未受診者の追跡調査の徹底 改善 4か月健診の未受診者の訪問の徹底と1歳6	<b>収頼があ</b> ん	3.
平実( 5 現 市か要 ア	1 8 年 すめ 改 漢 <b>後の対応(アク</b> 認 識 し て い 係者 意 見 , 要	度内の分割を表する。	課題 未受診者の追跡調査の徹底 改善 4か月健診の未受診者の訪問の徹底と1歳6	<b>収頼があ</b> ん	3.
平実( 5 存	1 8 年 す必 変 後の対応(アク 認識 してい 係者 意見, 関係 意見, 要	度内ンション 課名の内内期の がっている まん おいまん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はん	課題 未受診者の追跡調査の徹底 改善 4か月健診の未受診者の訪問の徹底と1歳6	<b>収頼があ</b> ん	3.
平実( 5 現 市か要 課題・ で	1 8 年 す必 2 改 須 <b>後の対応(アク</b> 認 識 し て い 係者 意 見 , 要 (1)	度内 (本学) は (大学) は (大学) は (大学) が ま (大学)	大会   大会   大会   大会   大会   大会   大会   大会	<b>収頼があ</b> ん	3.
平実( 5 現 市か要 ア	1 8 年 す必 2 改 須 <b>後の対応(アク</b> 認 識 し て い 係者 意 見 , 要 (1)	度内ンション 課名の内内期の がっている まん おいまん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はん	大会   大会   大会   大会   大会   大会   大会   大会	<b>収頼があ</b> ん	3.
平実( 5 現 市か要 課題・ で	1 8 年 類 後の対応(アク 認識 してい 間係 意見, 関係 意見, 要 (1)	度内ション) る 書望 が 実 対 実 が 容 下 の 内 内 期 内 期 ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア	大会   大会   大会   大会   大会   大会   大会   大会	<b>収頼があ</b> ん	3.
平実( 5 現 市か要 課題・ で	1 8 年 類 後の対応(アク 認識 してい 間係 意見, 関係 意見, 要 (1)	度内 (本学) は (大学) は (大学) は (大学) が ま (大学)	大会   大会   大会   大会   大会   大会   大会   大会	<b>収頼があ</b> ん	3.
平実( 5 現 市か要 課題・ で	1 8 2 年 美須 後の対応(アク 認識 してい 関係者 見 , 要 (1)	度内ション) る 書望 が 実 対 実 が 容 下 の 内 内 期 内 期 ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア	大	<b>収頼があ</b> ん	3.
平実( 5 現 市か要 課題・ で	1 8 2 年 美須 後の対応(アク 認識 してい 関係者 見 , 要 (1)	度内ショ課名内内期内を施応応期内容	大	<b>収頼があ</b> ん	3.
平実( 5 現 市か要 課 の が 関 の 望 要 対	1 8 2 年 美須 後の対応(アク 認識 してい 関係者 見 , 要 (1)	度内ショ課名内内期内を施応応期内容	大	<b>収頼があ</b> ん	3.
平実(   5   現   市か要   課   へ   そ     で   で   で   で   で     で   で   で   で <t< td=""><td>1 8 中 す必 が応(アク 認 識 し て い 別係者見等 (1) 「望等 (2) (3)</td><th>度内ショ課名内内期内を施応応期内容</th><td>  大受診者の追跡調査の徹底   改善 内容</td><td><b>収頼があ</b>ん</td><td>3.</td></t<>	1 8 中 す必 が応(アク 認 識 し て い 別係者見等 (1) 「望等 (2) (3)	度内ショ課名内内期内を施応応期内容	大受診者の追跡調査の徹底   改善 内容	<b>収頼があ</b> ん	3.
平実(   5   現   市か要   課   へ   そ     で   で   で   で   で     で   で   で   で <t< td=""><td>1 8 年 す必 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2</td><th>度内ショ課名内内期内を施応応期内容</th><td>  大会談者の追跡調査の徹底   改善   内容   内容   人   人   人   人   人   人   人   人   人  </td><td>女頼があっ</td><td>る。</td></t<>	1 8 年 す必 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	度内ショ課名内内期内を施応応期内容	大会談者の追跡調査の徹底   改善   内容   内容   人   人   人   人   人   人   人   人   人	女頼があっ	る。
平実(   5   現   市か要   課   へ   そ     で   で   で   で   で     で   で   で   で <t< td=""><td>1 8 中 す必 が応(アク 認 識 し て い 別係者見等 (1) 「望等 (2) (3)</td><th>度内ショ課名内内期内を施応応期内容</th><td>  大</td><td>交頼があっ</td><td>る。</td></t<>	1 8 中 す必 が応(アク 認 識 し て い 別係者見等 (1) 「望等 (2) (3)	度内ショ課名内内期内を施応応期内容	大	交頼があっ	る。
平実(   5   現   市か要   課   へ   そ     で   で   で   で   で     で   で   で   で <t< td=""><td>1 8 中 す必 が応(アク 認 識 し て い 別係者見等 (1) 「望等 (2) (3)</td><th>度内ショ課名内内期内を施応応期内容</th><td>  大</td><td>交頼があっ ず児相談。</td><td>る。 室の確 2次評価</td></t<>	1 8 中 す必 が応(アク 認 識 し て い 別係者見等 (1) 「望等 (2) (3)	度内ショ課名内内期内を施応応期内容	大	交頼があっ ず児相談。	る。 室の確 2次評価
平実(   5   現   市か要   課   へ   そ     で   で   で   で   で     で   で   で   で <t< td=""><td>1 8 中 す必 が応(アク 認 識 し て い 別係者見等 (1) 「望等 (2) (3)</td><th>度内ショ課名内内期内を施応応期内容</th><td>  大</td><td>交頼があっ ず児相談:  1次評価 ○ □</td><td>る。 室の確 2次評価 ○</td></t<>	1 8 中 す必 が応(アク 認 識 し て い 別係者見等 (1) 「望等 (2) (3)	度内ショ課名内内期内を施応応期内容	大	交頼があっ ず児相談:  1次評価 ○ □	る。 室の確 2次評価 ○
平実( ち 現 市か要 課 へ そ改	1 8 改 年 漢 <b>後の対応(アク</b> 図 識 者見等 (1) 1	度内 コ 課 名 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	大	交頼があっ ず児相談。 1次評価 ○	る。 室の確   2次評価   ○   ○   ○
平実( ち 現 市か要 課 へ そ改	1 8 中 す必 が応(アク 認 識 し て い 別係者見等 (1) 「望等 (2) (3)	度内 コ 課 名 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	大	文頼があっ   1次評価   ○   ○   ○   ○   ○   ○   ○   ○   ○   ○	<b>室の確</b>   2次評価   ○   ○   ○   ○   ○   ○   ○   ○   ○
平実( ち 現 市か要 課 へ そ改	1 8 改 年 漢 <b>後の対応(アク</b> 図 識 者見等 (1) 1	度内 コ 課 名 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	大き   大き   大き   大き   大き   大き   大き   大き	支頼があっ	<b>室の確</b>   2次評価   ○   ○   ○   ○   ○   ○   ○   ○   ○
平実( ち 現 市か要 課 へ そ改	1 8 改 年 漢 <b>後の対応(アク</b> 図 識 者見等 (1) 1	度内 コ 課 名 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	大	文頼があっ   1次評価   ○   ○   ○   ○   ○   ○   ○   ○   ○   ○	2次評価 ○ ○ ○ ○
平実( ち 現 市か要 課 へ そ改	1 8 改 年 漢 <b>後の対応(アク</b> 図 識 者見等 (1) 1	度内 コ 課 名 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	大き   大き   大き   大き   大き   大き   大き   大き	文頼があっ   1次評価   ○   ○   ○   ○   ○   ○   ○   ○   ○   ○	<b>室の確</b>   2次評価   ○   ○   ○   ○   ○   ○   ○   ○   ○
平実(     5     現市か要     課へ     そ改     平       成施     今     在 民ら     題のの善成       の事     成	1 8 改	度内 コ 課 名 内 内 期 内 期 内 期 内 前 向 に容))題 称 容 容 限 容 限 容 限 性	大   大   大   大   大   大   大   大   大   大	文頼があっ   1次評価   ○   ○   ○   ○   ○   ○   ○   ○   ○   ○	2次評価 ○ ○ ○ ○
平実(     5     現市か要     課へ     そ改     平       成施     今     在 民ら     題のの善成       の事     成	1 8 改	度内 コ 課 名 内 内 期 内 期 内 期 内 前 向 に容))題 称 容 容 限 容 限 容 限 性	大	文頼があっ   1次評価   ○   ○   ○   ○   ○   ○   ○   ○   ○   ○	2次評価 ○ ○ ○ ○

( —	脱事	(業	事業	コード	25100	020				部	長	次	長	課	長
_				<u> </u>											
平月	式 17 1	年度	事	業名	身体	障害者福祉事業									
1	車業	と 根耳 耳	要(ドゥ)												
				りの目標	2	健やかでぬくもり	のある福祉社会づくり					保健福祉	- 部3		
	合計			<del>中</del>	-	障害者の社会参加				所	管 課	障害福祉			
	策が			<u>.</u> /]\	-		:、保健・医療サービス	の充実		所管課	長氏名	藤井幹男			
体		系		<u> </u>								藤井幹男			
事		業	期		平成:	18年4月1日~平成	19年3月31日 経常臨時	☑ 経常 □	臨時	電話		0797-38-		内線	2515
根	拠						等購入補助事業実施要綱・芦屋市			実施		市 自治		1 3 100	
実	J.C.	施	<u>`</u>		<b>V</b>		☑ 一部委託	□ 全部委託		<b>夕</b> 補			負担金		
委		,,,,	<del></del> 託	,-,			名称 芦屋ハートフル福					身体障害		<b>業務</b>	
						食サービス事業		者相談事業(多		, X 110 X	но го н				
事	걸	業	Ø	概 要		法外日常生活用具		告費助成事業							
				1-70		r体障害者福祉協会									
							がいのある人に食事を配	食し併せて安否硝	<b>在認をする</b>	5。 昼食	と夕食を	交互に最高	5週6回ま	での利用が	可。
事	à	業	Ø	現 状	(2)6	人の相談員が身体障	がいのある人の相談窓口	としてあらゆる村	目談をうじ	けている。	市庁舎内	で週1回の	の相談日を	を設けてい	る。
			実現のため				人のその障がいを軽減す			_					-
			ひ実施内		(4)介	護保険対象以外の	障がいのある人に対応し	た既存住宅の改	造に要す	る経費を	·助成。段	差解消,	てすりの	取り付け	等。
			1.501	·			体障害者福祉協会に対								
				指標 名											
			結果指標			15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成 1	8年度(	目標)	平成 1	9年度(目	目標)
				指標値		176人	136人	107			200/			200人	
アワ	ナトブ	<b>ポット</b>	,	単位コスト		4,090円	5,294円	5, 41		3	3, 600			600F	<b>円</b>
指		標		指標名		数				l			<u> </u>		
			結果指標			15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成 1	8年度(	[目標]	平成 1	9年度(目	目標)
			(2)	指標値		268食	105食	1461	食		150億	Ę		150食	
				単位コスト		250円	250円	250	Э		250	]		250円	
2	事業	€成月	果(アウ)	カム)											
			対	<b>4</b>	古内/	の左字で良体に陪	がいのある人の内相談を	に四けた士							
							カ・マ・マン なり る ノスマフド 17日 時代で	こ文りた力							
事業	業の	目的	対象力	バー 変	対 象	₹数 (a) 2.	5 2 5 人 受益数	7 (b) 1	33人	H	747 (h	> 0/		5.3%	
対 :				,, ,	V.2 V2	( 200 ( )	0 2 0 八	( ( )	00/	LU	, 李 (D	÷ a) %		J. J/0	
	象・意	意 図		,, ,		• •		( (b) 1	00/	166	, <u>华</u> (D	÷ a) %		J. J/0	
,,,	象・意	意 図	意	図	様々に	な悩み事の解消軽			00/	100	,坐(D	÷ a) %		J. J/0	
	象・ 	意 図	意	図 E語にして)	様々に	な悩み事の解消軽	減を図る。	( (U) 1	00%	100	· <del>*</del> (D	÷ a) %		J. J/0	
			意 (対象を言	図 E語にして)	様々?	な悩み事の解消軽 生活を容易にし、	減を図る。 在宅の不便を解消する。			<u> </u>	, <del>4</del> (D	<u>÷ a) %</u>		J. J/0	
大		意図	意	図 E語にして)	様々?	な悩み事の解消軽 生活を容易にし、	減を図る。			, in	, <del>*</del> (D	÷ a) %		J. J/0	
			意 (対象を な	図 E語にして) 目 的	様々に日常の	な悩み事の解消軽 生活を容易にし、 における障がいの	減を図る。 在宅の不便を解消する。 ある人の自立支援と福祉		0.07		· 华 (D	÷ a) %		. 3 /0	
			意 (対象を な	図 E語にして) 目 的 指標名	様々に 日常に 在宅に 身体に	な悩み事の解消軽 生活を容易にし, における障がいの に障がいのある人	減を図る。 在宅の不便を解消する。 ある人の自立支援と福祉 の相談数	止の増進		ļi.	· 华 (D	÷ a) %		3. 3/0	
		<b>*</b>	意 (対象を な 中間成果	図 E語にして) 目 的 指標名 考え方·式	様々だ 日常的 在宅に 身体に 身体に	な悩み事の解消軽 生活を容易にし、 における障がいの に障がいのある人 に障がいるもれなる	減を図る。 在宅の不便を解消する。 ある人の自立支援と福祉 の相談数 「在宅身体障がい者×1	止の増進			•				日梅へ
<b>大</b>	ŧ	ŧ	意 (対象を な 中間成果	図 E語にして) 目 的 指標 表え方・式度	様々? 在宅! 身体! 身体!	な悩み事の解消軽生活を容易にし、 における障がいの に障がいのある人 に障がい者相談者/ 15年度(実績)	減を図る。 在宅の不便を解消する。 ある人の自立支援と福祉 の相談数 /在宅身体障がい者×1 <mark>平成16年度(実績)</mark>	止の増進 0 0 平成17年度	(実績)		8年度(	[目標]	平成 1	9 年度(目	目標)
大		き カム	意 (対象を な 中間成果	E語にして)       目       指標方方・度値	様々 在宅 身体 <mark>身体</mark>	な悩み事の解消軽 生活を容易にし、 における障がいの に障がいのある人 に障がいるもれなる	減を図る。 在宅の不便を解消する。 ある人の自立支援と福祉 の相談数 「在宅身体障がい者×1	止の増進	(実績)		•	[目標]	平成 1		目標)
<b>大</b>	ŧ	カム標	意 (対象を言 な 中間成果 指	E語にして)指表方:標標4考年指標標	様々に 日常に 在宅に 身体に 身体に 平成	な悩み事の解消軽生活を容易にし、 における障がいの に障がいのある人 に障がい者相談者/ 15年度(実績)	減を図る。 在宅の不便を解消する。 ある人の自立支援と福祉 の相談数 /在宅身体障がい者×1 <mark>平成16年度(実績)</mark>	止の増進 0 0 平成17年度	(実績)		8年度(	[目標]	平成 1	9 年度(目	目標)
大	ŧ	か な 標	意 (対象を3 な 中間成果 指 最終成果	図(で) 的 名式度値名式	様々に 日常。 在宅に 身体に <b>身体</b>	な悩み事の解消軽 生活を容易にし、 における障がいの に障がいのある人 な障がい者相談者/ 15年度(実績) 7.6%	減を図る。 在宅の不便を解消する。 ある人の自立支援と福祉 の相談数 在宅身体障がい者×1 <mark>平成16年度(実績)</mark> 5.6%	止の増進 0 0 <mark>平成 1 7 年度</mark> 5.39	(実績)	平成 1	<b>8年度(</b> 8.0%		平成 1	<mark>9年度(E</mark> 9.0%	
大	ŧ	か な 標	意 (対象を3 な 中間成果 指 最終成果	図() 的 名式度値名式度 で 名式度 を	様々に 日常。 在宅に 身体に <b>身体</b>	な悩み事の解消軽 生活を容易にし、 における障がいの に障がいのある人 な障がい者相談者/ 15年度(実績) 7.6%	減を図る。 在宅の不便を解消する。 ある人の自立支援と福祉 の相談数 /在宅身体障がい者×1 <mark>平成16年度(実績)</mark>	止の増進 0 0 平成17年度	(実績)	平成 1	8年度(		平成 1	9 年度(目	
大	ŧ	か な 標	意 (対象を3 な 中間成果 指 最終成果	図(で) 的 名式度値名式	様々に 日常。 在宅に 身体に <b>身体</b>	な悩み事の解消軽 生活を容易にし、 における障がいの に障がいのある人 な障がい者相談者/ 15年度(実績) 7.6%	減を図る。 在宅の不便を解消する。 ある人の自立支援と福祉 の相談数 在宅身体障がい者×1 <mark>平成16年度(実績)</mark> 5.6%	止の増進 0 0 <mark>平成 1 7 年度</mark> 5.39	(実績)	平成 1	<b>8年度(</b> 8.0%		平成 1	<mark>9年度(E</mark> 9.0%	
大 ア指	ウト:	<b>き</b> カ	意 (対象を な 中間成果標 最 経成標	を	様々に 日常に 存体に 身体に 平成 平成	な悩み事の解消軽 生活を容易にし、 における障がいの に障がいのある人 な障がい者相談者/ 15年度(実績) 7.6%	減を図る。 在宅の不便を解消する。 ある人の自立支援と福祉 の相談数 在宅身体障がい者×1 <mark>平成16年度(実績)</mark> 5.6%	止の増進 0 0 <mark>平成 1 7 年度</mark> 5.39	(実績)	平成 1	<b>8年度(</b> 8.0%		平成 1	<mark>9年度(E</mark> 9.0%	
大 ア指	ウト:	<b>き</b> カ	意 (対象を な 中間成果標 最 経成標	図() 的 名式度値名式度 で 名式度 を	様々に 日常に 存体に 身体に 平成 平成	な悩み事の解消軽 生活を容易にし、 における障がいの に障がいのある人 な障がい者相談者/ 15年度(実績) 7.6%	減を図る。 在宅の不便を解消する。 ある人の自立支援と福祉 の相談数 在宅身体障がい者×1 <mark>平成16年度(実績)</mark> 5.6%	止の増進 0 0 <mark>平成 1 7 年度</mark> 5.39	(実績)	平成 1	<b>8年度(</b> 8.0%		平成 1	<mark>9年度(E</mark> 9.0%	
大 ア指 一 芦	カナ: マラウト: マラウト:	き カ	意(対象を言うなかります。 中間が成果標 最終が、標準を対する。	図() 的 名式度値名式度値 項	様々な 身体に 身体に 平成 平成	な悩み事の解消軽 生活を容易にし、 における障がいの に障がいのある人 な障がい者相談者/ 15年度(実績) 7.6%	減を図る。 在宅の不便を解消する。 ある人の自立支援と福祉 の相談数 在宅身体障がい者×1 <mark>平成16年度(実績)</mark> 5.6%	止の増進 0 0 <mark>平成 1 7年度</mark> 5. 3 9 <mark>平成 1 7年度</mark>	(実績) (実績)	平成 1	8年度( 8.0% 8年度(		平成 1	<mark>9年度(E</mark> 9.0%	目標)
大 ア指 一 芦	カナ: マラウト: マラウト:	き カ	意 (対象を な 中指 最 最 指 と な	図() 的 名式度値名式度値 項 ト	様日 在宅 身体 平成 平成	な悩み事の解消軽 生活を容易にし、 における障がいの に障がいのある人 障がい者相談者/ 15年度(実績) 7.6%	減を図る。 在宅の不便を解消する。 ある人の自立支援と福祉の相談数 (在宅身体障がい者×1 平成16年度(実績) 5.6%	止の増進 00  平成17年度 5.39  平成17年度	(実績) (実績)	平成 1 平成 1	8年度( 8.09 8年度( <sup>当り(円)</sup>	· 目標) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	平成 1	<mark>9年度(E</mark> 9.0% <mark>9年度(E</mark>	目標)
大 ア指 三 万 3	カナ: マラウト: マラウト:	き カ 標 り 特 種	意(対象を な 中指 最指 と 活動配費	図で	様日 存宅 身体体 平成 平成	な悩み事の解消軽 生活を容易にし、 における障がいの に障がいのある人 障がい者相談者/ 15年度(実績) 7.6%	減を図る。 在宅の不便を解消する。 ある人の自立支援と福祉 の相談数 在宅身体障がい者×1 <mark>平成16年度(実績)</mark> 5.6%	止の増進 0 0 <mark>平成 1 7年度</mark> 5. 3 9 <mark>平成 1 7年度</mark>	(実績) (実績)	平成 1 平成 1	8年度( 8.0% 8年度(	· 目標) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	平成 1	<mark>9年度(E</mark> 9.0% <mark>9年度(E</mark>	目標)
大 ア指 万 3	<b>立</b> かん まま	き カ 標 り 特 種	意(対象をます) な 中指 最指 とな 動配 費費	図() 的 名式度値名式度値 項 ト	様日 存宅 身体体 平成 平成	な悩み事の解消軽 生活を容易にし、 における障がいの に障がいのある人 に障がいる者相談者/ 15年度(実績) 7.6%	減を図る。 在宅の不便を解消する。 ある人の自立支援と福祉 の相談数 (在宅身体障がい者×1 平成16年度(実績) 5.6% 平成16年度(実績)	止の増進 00  平成17年度 5.39  平成17年度	(実績) % (実績) (決算)	平成 1 平成 1	8年度( 8.09 8年度( <sup>当り(円)</sup>	· 目標) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	平成 1	<mark>9年度(E</mark> 9.0% <mark>9年度(E</mark>	目標)
大 ア指 芦 3 事	ウト:	カ標り特異素人事	意 (対象を を を を を を を を を を を を を を を を を で	図で の 名式度値名式度値 項 か (情感) (66.0%	様日 存宅 身体体 平成 平成	な悩み事の解消軽 生活を容易にし、 における障がいの に障がいのある人 に障がいる者相談者/ 15年度(実績) 7.6% 15年度(実績) 3,911	減を図る。 在宅の不便を解消する。 ある人の自立支援と福祉の相談数 (在宅身体障がい者×1 平成16年度(実績) 5.6% 平成16年度(実績) 平成16年度(実績)	止の増進 00  平成17年度 5.39  平成17年度	(実績) (実績) (実績) 3,621	平成 1 平成 1	8年度( 8.09 8年度( <sup>当り(円)</sup>	目標) 60 予算)	平成 1	<mark>9年度(E</mark> 9.0% <mark>9年度(E</mark>	目標)
大 ア指 芦 3 事 内	カトン 電車 事業 訳	カケー・カケー・カケー・カケー・カケー・カケー・カケー・カケー・カケー・カケー・	意(対象をます) な 中指 最指 とな 動配 費費	図で の 名式度値名式度値 項 か (情感) (66.0%	様日 存宅 身体体 平成 平成	な悩み事の解消軽 生活を容易にし、 における障がいの に障がいのある人 に障がいる者相談者/ 15年度(実績) 7.6% 15年度(実績) 3,911	減を図る。 在宅の不便を解消する。 ある人の自立支援と福祉の相談数 (在宅身体障がい者×1 平成16年度(実績) 5.6% 平成16年度(実績) 平成16年度(実績)	止の増進 00  平成17年度 5.39  平成17年度	(実績) (実績) (実績) 3,621	平成 1 平成 1	8年度( 8.09 8年度( <sup>当り(円)</sup>	目標) 60 予算)	平成 1	<mark>9年度(E</mark> 9.0% <mark>9年度(E</mark>	目標)
大 ア指 芦 3 事 内	カト: 電車 駅:円)	カケー・カケー・カケー・カケー・カケー・カケー・カケー・カケー・カケー・カケー・	意 (対象を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	図で の 名式度値名式度値 項 か (情感) (66.0%	様日 存 存 身体 平成 平成	な悩み事の解消軽 生活を容易にし、 における障がいの に障がいのある人 に障がいる者相談者/ 15年度(実績) 7.6% 15年度(実績) 3,911	減を図る。 在宅の不便を解消する。 ある人の自立支援と福祉の相談数 (在宅身体障がい者×1 平成16年度(実績) 5.6% 平成16年度(実績) 平成16年度(実績)	止の増進 00  平成17年度 5.39  平成17年度	(実績) (実績) (実績) 3,621	平成 1 平成 1	8年度( 8.09 8年度( <sup>当り(円)</sup>	目標) 60 予算)	平成 1	<mark>9年度(E</mark> 9.0% <mark>9年度(E</mark>	目標)
大 ア指 芦 3 事 内	カト: 電車の 駅:円)	カカヤラの大事の大事のでは、大きのでは、たらので	意 (対象を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	図(T) 的 名式度値名式度値	様日 存 存 身体 平成 平成	な悩み事の解消軽 生活を容易にし、 における障がいの に障がいのある人 な障がい者相談者/ 15年度(実績) 7.6% 15年度(実績) 3,911 5,370	減を図る。 在宅の不便を解消する。 ある人の自立支援と福祉の相談数 在宅身体障がい者×1 平成16年度(実績) 5.6% 平成16年度(実績) 平成16年度(実績) 3,697 3,502	止の増進 00  平成17年度 5.39  平成17年度	(実績) (実績) (実績) 3,621 1,869	平成 1 平成 1	8年度( 8.09 8年度( 当ヴ(円)	[目標] (60 予算) - 4,869	平成 1	<mark>9年度(E</mark> 9.0% <mark>9年度(E</mark>	目標)
大 ア指 芦 3 事 内	カト: 電車の 駅:円)	カカヤの大事の大事のは、一方の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の	意 (対象を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	図で 目 お	様日 存 存 身体 平成 平成	な悩み事の解消軽 生活を容易にし、 における障がいの に障がいのある人 な障がい者相談者/ 15年度(実績) 7.6% 15年度(実績) 3,911 5,370	減を図る。 在宅の不便を解消する。 ある人の自立支援と福祉の相談数 在宅身体障がい者×1 平成16年度(実績) 5.6% 平成16年度(実績) 平成16年度(実績) 3,697 3,502	止の増進 00  平成17年度 5.39  平成17年度	(実績) (実績) (実績) (決算) 3,621 1,869	平成 1 平成 1	8年度( 8.09 8年度( 当ヴ(円)	日標) 60 予算) - 4,869	平成 1	<mark>9年度(E</mark> 9.0% <mark>9年度(E</mark>	目標)
大 ア指 芦 3事 内( 財	すり マイン マイン マイン マイン マイン マイン マイン マイン マイン マイン	カカヤラの大事のは、一大事のは、一大な標をは、一大なでは、一大ないでは、一大ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」では、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、	意 対 な 中指 最指 と 活 件 業 門 債 ・ 保標 ・ 保標 ・ 保標 ・ 保標 ・ 保標 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	図で 目 お	様日 存 存 身体 平成 平成	な悩み事の解消軽 生活を容易にし、 における障がいの に障がいのある人 な障がい者相談者/ 15年度(実績) 7.6% 15年度(実績) 3,911 5,370	減を図る。 在宅の不便を解消する。 ある人の自立支援と福祉の相談数 在宅身体障がい者×1 平成16年度(実績) 5.6% 平成16年度(実績) 平成16年度(実績) 3,697 3,502	止の増進 00  平成17年度 5.39  平成17年度	(実績) (実績) (実績) (決算) 3,621 1,869	平成 1 平成 1	8年度( 8.09 8年度( 当ヴ(円)	日標) 60 予算) - 4,869	平成 1	<mark>9年度(E</mark> 9.0% <mark>9年度(E</mark>	目標)
大 ア指 芦 3事 内( 財	する 事 訳) 源	カカラの大学の大事他減合国市そのでは、日本のでは	意 対 な 中指 最指 と 新 件 業 門 債 ・ 債 を が は か は か は か は か は か は か は か は か は か は	図で 目 お	様日 在宅 身体 平成	な悩み事の解消軽 生活を容易にし、 における障がいの に障がいのある人 な障がい者相談者/ 15年度(実績) 7.6% 15年度(実績) 3,911 5,370	減を図る。 在宅の不便を解消する。 ある人の自立支援と福祉の相談数 在宅身体障がい者×1 平成16年度(実績) 5.6% 平成16年度(実績) 平成16年度(決算) 3,697 3,502	止の増進 00  平成17年度 5.39  平成17年度	(実績) (実績) (実績) (決算) 3,621 1,869	平成 1 平成 1	8年度( 8.09 8年度( 当ヴ(円)	日標) 60 予算) - 4,869	平成 1	<mark>9年度(E</mark> 9.0% <mark>9年度(E</mark>	目標)
大 ア指 芦 3事 内( 財	する 事 訳) 源	カー カー カー 大事他減合国市そー	意 対 な 中指 最指 な 活 件業門債の 保標 果標 配費費費費計県等他	図の E語にして) 目	様日 在宅 身体 平成	な悩み事の解消軽 生活を容易にし、 における障がいの に障がいのある人 な障がい者相談者/ 15年度(実績) 7.6% 15年度(実績) 3,911 5,370 9,281 1,301	減を図る。 在宅の不便を解消する。 ある人の自立支援と福祉の相談数 在宅身体障がい者×1 平成16年度(実績) 5.6% 平成16年度(実績) 平成16年度(決算) 3,697 3,502 7,199 68	止の増進 00  平成17年度 5.39  平成17年度	(実績) (実績) (実績) 3,621 1,869 5,490	平成 1 平成 1	8年度( 8.09 8年度( 当ヴ(円)	日標) 60 予算) - 4,869	平成 1	<mark>9年度(E</mark> 9.0% <mark>9年度(E</mark>	目標)
大   ア指   芦 3事   内(   財 f	京 事 訳 所 源 所 動	さ カ り	意 対 な 間	図 E語にして) 目 約 名式度値 考年 指指 考年 指標標 京 方 度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 34.0%	様日 在宅 身体 平成	な悩み事の解消軽 生活を容易にし、 における障がいの に障がいのある人 に障がいのある人 15年度(実績) 7.6% 15年度(実績) 3,911 5,370 9,281 1,301	減を図る。 在宅の不便を解消する。 ある人の自立支援と福祉の相談数 (在宅身体障がい者×1 平成16年度(実績) 5.6% 平成16年度(実績) 7,199 68 284 6,847	止の増進 00  平成17年度 5.39  平成17年度	(実績) (実績) (実績) (決算) 3,621 1,869 5,490	平成 1 平成 1	8年度( 8.09 8年度( 当ヴ(円)	目標) 60 予算) - 4,869 - - 633	平成 1	<mark>9年度(E</mark> 9.0% <mark>9年度(E</mark>	目標)

4 評1	曲(チェック) 価 視	点	評価チェックリスト	1次証価	2次評価
П	目的妥当性(		☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない	1 / AT IIII	1 2 X AT IM
	ובעניום	(2 2)	□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない	_	
妥	市関与(2~	2)	□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき,または対応可能である □ 他団体では見直しがされている		
	11-120 3 (=	_,	□ いずれにも該当しない		
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	5	5
性	市民ニーズ(	2 ~ 1)	└─▶ □ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把握 □ 数字で把握している □ 未把握		
8点	11 A 7m 14-1-		□ 対子でだ確している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要 □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要	-	
-7	社会環境変	化(1~ 1)	内容 制度,生活にかかわる多様な障害に関する相談に対応している。		
	優先性,緊急		□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる		
有	対象カバー型 受益者(1~	, ,	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い □ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定	_	
効	成果の実績(	,	□ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定してN 2 実績値または目標値が未記入	1	4
	ル木の天順(	(2 ~ 1)	→ □ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	_	l
性 4点	- 成果向上余	地(1~ 1)	成果があがっていない場合 ☑ 成果向上策あり 障がいの総合的な相談を利用しやすい場所で行う □ 特になし		
7.77			□		
	単位コスト(1	~ 1)	☑ 他団体の数字を把握している 単位コスト 0~42,000 □ 把握していない		
効	1 12-1711 (1	• ,	□ 他団体よりコストが低い     □ 他団体と同程度     □ 他団体よりコストが高い     高い、または低い場合の理由     定期的に相談日を設けないで、県からの委嘱報酬のみにしている市がある。		
		,	同い、または低い場合のほ田 に終わりに相談口を取りないく、宗からの安橋報酬のめたことでいるけがある。 ☑ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない	-	
率	受益者負担(	(0 ~ 1)	└━▶ ☑ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能)	_ 1	_1
'			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	•	
	手段(1~ 3	3)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある □ 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業,NPO等)で対応可能である		
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点	コスト削減取	!組(1~ 1)	☑ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない → 内容 相談業務のあり方も含めコスト削減に取り組む		
平 成 1 及 び	6 年 度 の 評 改 善 の	引 価 内 容 方 の 性	では、		
(評価カ	がない場合は	記載不要)	$oxed{egin{array}{c cccc} oxed{eta}} oxed{egin{array}{ccccc} oxed{eta}} oxed{egin{array}{ccccc} oxed{eta}} oxed{eta} oxaa oxed{eta} oxaa oxed{eta} oxaa oxed{eta} oxaa oxed{eta} oxaa oxaa eta} oxaa oxaa oxaa oxaa oxaa eta} oxaa $	<u> </u>	
<del></del>	4 0 7	· · · · ·	身体障害者相談員の充実 日常相談業務にも取り組む 評価	<b>B</b>	B
平 成実 施	する改	善内容	課題 法外日常生活用具の見直し <b>改善</b> 法改正による日常生活用具との調整と利用者負担 <b>内容</b>		
(	必须	∄ )			
5 今後	後の対応(ア∙	クション)			
現在意	忍識してい	いる 課 題	総合的な(3障がい)相談支援事業の充実		
-76 II II	150 H4N O C V	. 6 101 22			
	係者 市民,関	係者の名称			
からの 要 望	意見 等 意見,	要望内容	身体・知的障がいの相談員だけであるが、精神も入れてほしい。		
	.5	対応内容	兵庫県からの精神障害者相談員の委嘱を受け,メンタルサポートセンターにて精神障害者相談業務委	三託をおこ	なっ
	(1)		た。		
課題・要	 :望等	実施期限	平成 18 年 4 月	-	
w~	(2)	対応内容			
へのす	村 応	実施期限	平成 年 月		
	(3)	対応内容			
	( - )	実施期限	平成年月		
7 O //k	+ = > 40 7				
-	! 考えられる D ア イ デ ア				
, n			今後の方向	性 1次評価	2次評価
			障害者自立支援法の施行に伴い、地域生活支援事業における相談支援事業の充実 拡大・充		0
				持 善 ●	<ul><li>O</li></ul>
平成 1	9~21年度	の方向性			0
			縮	小〇	0
					0
				<u>т</u> ∪	<u></u>
2 次 評	值 委 員 会	コメント			

( -	- 般 事	(業	事業	コード	2510	030				部 長次	長課長
_	1007 5	-117									
平	成 17	年度	事	業 名	身体	障害者保護事業					
<u> </u>											
1	申4	<del>火加</del> 君	要(ドゥ)								
				′ I)	1 0	体のよってよくま h	のよう気ももへぶくり			/□ b±	사급 4.[ -수#
							のある福祉社会づくり			計 管 課	福祉部
	合言			中	-	障害者の社会参加		0.7.0		1.1.1.1	福祉課
	策力			小	1	障害者(児)偏仙	、保健・医療サービスの	り允美		所管課長氏名藤井	
体		系		細						記入者氏名藤井	
事		業	其				経常臨時	☑ 経常 □	臨時	<mark>電 話 番 号</mark> 2515	内線
根	拠	法	令 ·	要綱等	障害	者自立支援法,身	体障害者福祉法ほか			実施主体市	自治事務
実		施	手	法	V	直営	□ 一部委託	□ 全部委託	:	□ 補助金	□ 負担金
委			託	先		外郭団体委託	名称		□ 民間	委託 <mark>委託 内 容</mark>	
					(1) が	<b>施設訓練等支援給</b> 作	t,居宅生活支援給付				
事	į	業	の	概 要	(2) 有	装具の交付・修理	型および日常生活用具の	給付			
					(3) 夏	更生医療費の給付					
					(1) 阻	章がいのある方の生	活支援のために必要な	支援費の支給液	快定を行っ	Ō.	
事	į	業	Ø	現 状		設訓練等支援費…	入所・通所施設の利用	居宅生活	支援費…	- ^ ホームヘルプ゜・ショートステイ・テ	゛゚゙゙゚゚゚゚゚゚゚ナービス
-			ミ現のため				前うための用具の交付・		~~~		
			とび実施内		. ,	車椅子・義肢・装		лы 1 1 С 1 1 / о			
		J-437	くし大心と	3 TT			兵・柵心奋寺 『機能回復を図ることを	日的レーた匠屋	をの終せ	と行う 1丁米	析· 八職壬海笙
				七 毎 々		具の交付及び修理		ロロリこ した区別	大マノがロコリイ	とロフ。 八上透	7月 化顺丁四等
			4± FB +15+=					亚出 7 左连	(宝健)	亚式10年度/□#	② 平成19年度(目標)
			結果指標				平成 1 6 年度(実績)			平成18年度(目標	.,
			(1)	指標値		644件	796件	9 3 8		2400件	2500件
	ウトフ			単位コスト		15,317円	14,650円	13, 77	1 円	10,000円	10,000円
指		標				医療対象者公費負					
			結果指標	年 度	平成	,15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成18年度(目標	平成19年度(目標)
			(2)	指標値		41人	78人	93人		100人	100人
				単位コスト	8	32,612円	84,338円	75, 91	5円	70,000円	70,000円
2	事第	<b>Ě成</b> 身	具(アウ	トカム)							
			対	象	身休	<b>暗宝者</b> 毛帳所持者	で居宅においてサービス	スを受けている	Ħ		
_				バー率	対象	R 数 (a) 2	525人 受益数	<mark>(b)</mark> 1 (	076人	比 率 (b ÷ a)	42.6%
対	象,	意 図									
			意		障が	いのある方の身体	上の障がいの軽減およて	ド日常生活にお	ける障が	いの軽減のための支援	受である。
			(対象を	主語にして)							
大		き	な	目 的	身体	に障がいのある方	の福祉の増進				
				116 15		)=-1-x2	4	*			
							を受けている身体に障が				
							を受けている(補装具,				
_			指 標				平成16年度(実績)			平成18年度(目標	
	ウト			指標値		31.2%	37.6%	42.6	0 %	50.0%	50.0%
指		標		指標名							
				考え方・式						I = n	- I - n
			指 標		_	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成18年度(目標	平成19年度(目標)
				指標値							
芦	屋市の	の特色	色など補足	足する事項							
3	事第	美費・	活動配	分(コスト	)			1世帯当り(円)	3,771	住民1人当り(円) 1,	653 平成18.4.1 住民基本台帳
事		業	費		平成	15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度	(決算)	平成18年度(予算	[)
		人	件 費	5.1%		13,508	10,625		7,664		-
		事	業費	94.9%		102,653	140,013		142,526	149,0	051
内	訳	他部	門経費	i							-
( =			償却費								-
		合	뉡			116,161	150,638		150,190		-
		国	· 県			61,244	85,759		91,765	64,0	085
財	源	市	債 等			*					
	F円)		の他								
(	,		<del>"</del> 財源			54,917	64,879		58,425		-
活	動		<del>、 ///                                 </del>			1.75	1.45		1.00		-
			・臨時等			0.00	0.00		0.00		-
配.	///										
配 (		合	討	100.0%		1.75	1.45		1.00		-

4 計1	曲(チェック) 価 視	点	評価チェックリスト		1 冷郁/雨	2次評価
пТ			□ 事業の主目的は明確である		八計	2人計画
	目的妥当性(	2~ 2)	□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない			
	<b>→</b> ■ ⊢ /o	0)	□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき,または対応可能で	ある		
妥	市関与(2~	2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている □ いずれにも該当しない			
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業では	はない	5	8
	市民ニーズ(	2 ~ 1)	│ └─▶ ☑ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,またはぇ			
性			□ 数字で把握している 中間指標より、46.2%の利用率がある □ 未打			
8点	社会環境変化	化(1~ 1)	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直した 内容	が必要		
	優先性,緊急	急性(1)	○ 内谷 :     ☑ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる			
	対象カバー図		☑ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低	۱J		
有	受益者(1~	1)	□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に	限定		
効	成果の実績(	(2 ~ 1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入   ┗️▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言;	⇒ +>! \	4	4
性			□ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言え	2411	•	-
4点	- 成果向上余年	地(1~ 1)	□ 成果向上策あり □ 特	になし		
			☑ 比較できる団体がある 団体名 近隣市 □ 比較できる団体はない			
**	単位コスト(1	~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト 法により設定 □ 把握していない			
効			□ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い 高い、または低い場合の理由			
	E + + 0 10	(0 4)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない			
率	受益者負担(	0 ~ 1)	└─▶ ☑ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可	能)	2	1
-			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		_	•
	手段(1~ 3	5)	☑ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分; □ 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業,NPO等)で対応可能であ			
性			□ 民間(正案, NO等) とは対応できない業務である □ 嘱託, 臨時職員等で対応可能である			
3点	コスト削減取	組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない			
	- X ( 133//2/A	· · · · · /	→ 内容			
平成1	6年度の評改善のご	価 内 容	□ A <mark>平成17年度に実</mark> □ 改善し,効果を得た			
及び ジェクス ジャング はいまま はいまま かいしょう かいしょう ひんしょう ひんしょう ひんしょう ひんしょう ひんしょう ひんしょう ひんしょう ひんしょう しゅうしゅう ひんしょう ひんしょう ひんしょう ひんしょう ひんしょう しゅうしょう ひんしょう ひんしょう ひんしょう ひんしょう ひんしょう しゅうしょう しゅうしょう しゅうしょう ひんしょう しゅうしょう ひんしょう ひんしょう ひんしょう ひんしょう ひんしょう しゅうしょう しゅうしょう しゅうしょう しゅうしょう ひんしょう しゅうしょう ひんしょう しゅうしょう しゅうしょう しゅうしょう はんしょう ひんしょう はんしょう ひんしょう ひんしょう しゅうしょう はんしょう しゅうしょう しゅうしょう しゃく はんしょう しゅうしょう しゅう しゅうしょう しゅうしょう しゅう しゅうしょう しゅうしょう しゅうしょう しゅう しゅうしょう しゅうしょう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅ	改善の う	方 向 性 記載不要)	□ □       □ 以音しにが,効木がな □ かか。			
(пі іш /	7 6 7 7 7 1 16 1	10 = 1.1.2 /	- V	総合	Α	Α
平 成	1 8 年	度に	障害者自立支援法の施行により利用者負援 既存施設を改修しディサービス事業として福祉 が発生する等制度が大きく変わる。	評価	_	$\overline{}$
実施	する改善	善内容	課題 内容 内容 内容 内容 内容 内容 内容 内容 内容 内容 内容 内容 内容			
(		,				
5 今往	後の対応(アク	クション)	サービス提供事業者の確保等基盤整備を進めること。			
現在意	認識してい	る課題	デービスルで選手来行の確保等を監定値を延めること。 平成18年4月から障害者自立支援法が施行され補装具については、10月から一部該当装具を変更し、費用の原	則1割負担	が発生す	トる。
		係者の名称	利用者および障がい者団体			
からの 要 望	意見,意見,語	要望内容	必要な量のサービスを受けたい。 財政事情を理由にサービスに制限がかからないようにしてもらいたいとの要望を受けている。			
× ±	,,	***	  制度変更にかかる説明会を開催し,利用者負担や制度の内容の説明をおこなった。利用者の立	 場に立っ`	て必要な	よサー
	(1)	対応内容	ビスが受けられるよう努力していく。			
課題・要		実施期限	平成 18 年 4 月			
<b></b>	(2)	対応内容				
へのか		実施期限	平成年月			
		対応内容				
	(3)	実施期限	平成年月			
		天肥朔സ	大阪    1十   17     広報等により制度の周知に努める。			
その他	考えられる					
改善(	カアイデア					
				方向性		2次評価 ○
				維持		<u>○</u>
			方法			0
平成 1	9~21年度	の方向性		委託等		0
			縮	小(		0
				を期設定 / 休止		0
			<del>漢                                    </del>	NV III	<u> </u>	
2 次 評	亞価 委員会	コメント				

				_						
(一般	事業)	事 業	□ −	F 2520	0040				部 長次	長課長
平成1	17年度	事	業 :	2	界児福祉施設等通園	費扶助事業				
		_	***	_						
1 事	業概	要(ドゥ	)							
			/ くりの目	票 2	神のかっていくより	のより短別な合べくり			/ P / / / / / / / / / / / / / / / / / /	うしか7
				宗 2		のある福祉社会づくり			所 管 課 保健福	
総合	計画		中	5	障害者の社会参加	の実現			/// <b>- </b>	祉課
	施策		<u>/</u> ]\	2	教育・療育体制の	玄宝			所管課長氏名藤井幹	·里
					秋日 原日仲间の	九关				
体	系		細						記入者氏名藤井幹	:男
事	業		期	間	I	経常臨時	☑ 経常 □ 臨時	t:	電 話 番 号 2515	内線
							四 在市 口 瞬时	•		
根 拠	1. 法	令 '	要綱	<b>手</b>   芦屋	市福祉施設等通園	(通学) 費扶助要綱			実施 主体 芦屋市	
実	施		手 ;	<u> </u>	<b></b>	□ 一部委託	□ 全部委託		□補助金□	] 負担金
<del></del>	I) II			_						」
委		託		t 🗆	外郭団体委託	名称		民間	委託 委託 内 容	
				訓練	を受けるために通	園施設等に通園に要する	る交通費の一部を負	押す	<b>ろ</b> -	
_	ж	_	int :				,,,c,, , ,,,c,,,	.,		
事	業	の	概	要						
				++- 11	.弗 1 日 0 5 0 0 田	257日 庄				
					費1日2500円	** * *				
事	業	の	現	犬すく	すく学級は1日6	00円が限度				
				· ·						
	手段	とび 実施	内容							
			lle :-		+ × ×					
			指標:	当 対象	有数					
		結里指			115年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(実	績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
						, ,	-	11 J	, ,	, ,
		(1)	指標(	旦	11人	10人	11人		2 2 人	2 2 人
アウト	目的実現のための 手段及び実施内容 結果指標 (1) 標 結果指標 単位: 指 模 編 編集指標 年 指 模 年 1 指 標 年 1 1 括 標 1 年 1 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1			<b>F</b>	145,000円	36,800円	43,506円		26, 454円	26, 454円
						,, -	, , ,		,, -	,, -
指	悰		指標:	当	利用人剱					
		結果指	票 年 」	度 平成	115年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(実	績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
						, ,	-		, ,	, ,
		(2)	指標	旦	53人	29人	51人		260人	260人
			単位コス	<b>F</b>	30,000円	12,690円	9,384円		2,238円	2,238円
2 事	光出	11111111111111111111111111111111111111	L +1 /. \			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	·			
4 <del>y</del>	未ルジ	木(ノ ノ	11111							
		ਹੈਰੀ	1	ᇫ 公的	機関で判定を受け	市外の施設等に通園(シ	<b>魣)をしている人</b>	ι, Γ	すくすく学級」に通級「	している児童等で交通費
		<b>V</b> 3	•	<b>か</b> の負	担のある人。					
車業の	カロ的	th 🗲	+ 11° - 3	कर रोत क	争 粉 (a)	2 2 人 受益数	(b) 11.	Į.	比 率 (b ÷ a)	<b>%</b> 50.0%
			// // -	+ V1 ×	ar ax (a)		11,	/	L + (b + a)	70 80.070
对 冢	・ 恵 凶									
		意	- 1	図 訓練	が必要な児童とそ	の保護者の負担の軽減る	と図る			
			: 幸語にして	)	_					
		(V) 3K.G	- HAIC 0 C	1						
大	き	な	目目	り 訓練	等に施設を利用す	る本人と保護者の負担を	と軽減し, 福祉の向	]上を	図る。	
			TF: T2E	- Pric 23	い、のよう旧本に出	1 一中へか区切またこ				
						して安全な通級を行う				
		中間成果	果 考え方・	式 通級	費扶助児童数/登	録児童数×100				
						平成16年度(実績)	平成17年度(実	績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
<b>-</b> +		1 1		_				11 J		, ,
	トカム		指標(	旦	5 2 %	40%	5 2 %		100%	100%
指	標		指標:	2						
	127									
		<b>東</b> 終 成 え	果 考え方・3							
		指	漂年	度 平成	115年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(実	績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
			指標						- ( )	. ( )
			3日 信示		1 (	3 18 35 - 307 17 35 17 1	<u> </u>	. ,	PP	1
				芦屋	市には障がいのあ	る児童の訓練施設がない	<b>いため,他市の施設</b>	で利	用しなければならない。	
芦屋市	ちの特色	五など補	足する事	直すく	すく学級には駐車	スペースがないため車で	での诵級を禁じてい	る.		
, · <u>/</u> ± 11	10 [	& C III:	ルンの子	( )	/ ヽ 」 ///スパードみが上午	- ハハサイルCの子、	こったこれしてい	a 0		
3 事	業費	活動面	3分(コス	<b>-</b> )			1世帯当り(円)	18	住民1人当り(円)	8 平成18.4.1 住民基本台帳
事	業		費 構成%	<del>-</del> i	115年度(油質)	平成16年度(決算)	平成17年度(決		平成18年度(予算)	
#	耒			_		, ,		_	丁ル 10 十反(丁昇)	
	人	件	費 37.4	<b>!</b> %	1,434	261		261		-
	事	業	費 62.6	<b>3</b> %	170	107		437	58	2
	_			- /0	170	107		.57	30	
		7門経					<u> </u>			-
(千円	) 減 侃	6 償却 9	費					T		-
` ' ' ' '				10/	4.604	200		600		
	合		100.0	70	1,604	368		698		
	国	ا ،	杲							
財	源市		等							
(千円			也							
	- 1	設 財 🥻	原 100.0	1%	1,604	368		698		-
迁 #	動職				0.15	0.10				_
					0.10	0.10		0.4-		
配	分 嘱託	,臨時領	等 100.0	)%			(	0.10		-
( )	合	1	H 100.0	1%	0.15	0.10	C	0.10		-

4 評11 評	曲(チェック) 価 移	. 点	評価チェックリスト	1 炉缸/布	2次評価
āТ			□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない	八計	2八計画
	目的妥当性	(2 ~ 2)	□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
妥	市関与(2~	2)	□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき,または対応可能である □ 他団体では見直しがされている		
<u> </u>	1) ( <del>-</del> ( <del>-</del> ( <del>-</del> (-) (-)	2)	□ いずれにも該当しない		
当			☑ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	7	5
AtL	市民ニーズ(	2 ~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない、または未把握		
性 8点			□ 数字で把握している 通園扶助率50% □ 未把握 □ 未把握 □ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
υ	社会環境変	化(1~ 1)	内容 平成17年4月に発達障害者法が施行され早期療育事業の必要性が示された		
	優先性,緊急		□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
有	対象カバー3 受益者(1~		□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い □ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
	,	•	□ 事業意図と支血する空台のといる □ 事業意図と支血すが小空台,または支血が一部に限定 □ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	4	
効	成果の実績	(2 ~ 1)	▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	1	4
性	- 成果向上余	地(1~ 1)	成果があがっていない場合		
4点			□ 成果向上策あり □ 特になし □ 特になし □ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない		
	₩ /≒ ¬ ¬   /4	4)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない		
効	単位コスト(1	~ 1)	▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
			高い、または低い場合の理由  □ 負担を求めることができる事業である  □ 負担を求めるべき事業ではない		
	受益者負担	(0 ~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担をよめるべき事業ではない □ 負担をし、過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能)	4	
率			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	-1	-1
	手段(1~ 3	3)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
性			☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である □ 嘱託, 臨時職員等で対応可能である □ 嘱託, 臨時職員等で対応可能である		
3点	コスト削減取	(組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
	コヘトは別様も	(MH(1 1)	→ 内容		
平成 1	6 年 度 の 評 改 善 の	平価 内容	□ A <mark>平成17年度に実</mark> □ 改善し,効果を得た		
及 び (評価 <i>t</i>	改 善の がない場合は	方 向 性 記載不要)	ロ D M		
( #1 14 7			た総合	В	В
平成	.1 8 年	度に	駐車による近隣からの苦情をなくす。 保護者に自家用車通級禁止の周知をはかり <b>評価</b> タクシー等の利用を勧め本事業の説明をした。		
実施	する改必	<b>善内 谷</b> 頁 )	内容		
Γ <b>Δ</b> 4	<b>※の社庁(フ</b>	h>>.			
3 7 1	後の対応(ア⋅	クション)	障がいのある児童の通級に乗用車利用は不可欠である。		
現在;	認識してし	いる 課 題			
+0 8	1万世十口 目	<b>たさのな</b> む	[47] [1] A [1] 港北		
からの	音目		通級児の保護者 学級の付近は道路が狭く, 坂になっているため自家用車の通級は大変危険である。		
要望	意見,	要望内容	自家用車での通級は禁止するよう徹底してほしい。		
	(4)	対応内容	通級児の保護者に対し,再度徹底するようお願いをした。		
	(1)	実施期限	平成 18 年 4 月		
課題·要	望等	対応内容			
	(2)				
へのす	内心	実施期限	平成 年 月		
	(3)	対応内容			
		実施期限	平成年月		
その他	!考えられる				
	カアイデア				
			今後の方向性		
			すくすく学級については、施設の移転等の抜本的な対策を検討しなければならないが 拡大・充実 それまでの間は、乗用車による通級を禁止しているので、本事業を継続したい。 現状維持		○ <b>●</b>
			方法改善		0
平成 1	9 ~ 2 1 年度	の方向性			0
			縮 小		0
					0
			No. II. / NV II.		
2 次 評	值 委 員 会	コメント			

/ <b>6</b> 0	= 314 /	= <b>*</b>	- 1:	0.400000				1	÷17		1>=	=1+0	=
(一般	事 業)	事業	コード	2420020					部	長	次	長部	長
TT CT 4	7 左 左	<b>.</b>	**	フタイトいん	2 <del>14 = 14</del>								
平成1	/ 平 及	<b>争</b>	業 名	子育てセンター運	吕争荣								
		<u> </u>						J					
1 事	業概	要(ドゥ)											
			りの目標	2 健やかでぬく	* もりのある	る福祉社会づくり					保健福祉	- 部(	
総合			<del>,。,,</del> 中			豊かにはぐくむ社	今の宇珥		所	管 課	こども課		
			<u> </u>				云の天気		**				
政策	施策		小	2 子育て支援の	ウネットワー	- ク化			所管	課長氏名	中村 尚	八	
体	系		細						記入	、者氏名	余吾 康	幸	
事	業	期	問	平成4年度~		経常臨時	☑ 経常 □	臨時	電言	括 番 号	0797-38-	-2045	内線 2540
				芦屋市子育てセン	カー 部里田			Linning.				2010	2010
根拠				, , , , , , ,						施 主 体			
実	施	手	,-,	☑ 直営		一部委託	□ 全部委託			補助金		負担金	
委		託	先	□ 外郭団体委割	<b>名称</b>			☑ 民間	委託	委託内容	子育てホ	マトライ	ン
				核家族化・少子化		. 子育でに不安さ	を感じたり悩み						
=	र्गरे	•	±97 ====										
事	業	の	概 要	また、親同士やこ				くりかく	500	トケーいろ)	は争乗」	寺を夫肔し	ζ,
				地域社会の中で乳									
				<ul><li>・子育て相談 1,</li></ul>	097件 (来)	所相談890件,電話	話相談207件)						
事	業	の	現 状	・なかよしひろは	の開催 27	78回 延参加者16	5. 579 人						
				・なかよしグルー									
		実現のため					- / / -						
	<b></b>	及び実施内	一	<ul><li>各種イベント,</li></ul>			止参加者2,559/	人					
				<ul><li>情報交換会の開</li></ul>	催 7回 3	延参加者340人							
			指 標 名	子育て相談受付件	-数								
		結果指標		平成15年度(実		16年度(宝繕)	平成17年度	(宝绩)	亚너	118年度	(日煙)	亚成 1 0	年度(目標)
					派見 一十八人				十7以				, .
		(1)	指標値			656件	1,09		ļ	1,100	件	1,	100件
アウト	プット		単位コスト	23,137円/	/件   29	9,120円/件	16,530	円/件					
指	標		指標 名	「なかよしひろは	: 延参加者	数	•						
3.0	1731	結果指標		平成15年度(実			平成17年度	(宝績)	亚村	118年度	(日標)	亚战 1 0	年度(目標)
				-		, ,			ענו —		. ,		, ,
		(2)	指標値	17,162	\ 1	7,049人	16,57			17,00	0人	17,	000件
			単位コスト	932円/人	. 1,	, 1 2 0 円/人	1,094F	円/人					
2 事	業成	果(アウ)	·カム)										
		,	,,										
		対	象	乳幼児及びその保	護者								
												1	
			バー 率	対象数(a)		受 益 数	<mark>X (b)</mark> 延利用	者34,043	3人	比 率 (b	÷ a) %		
対象·	・意 図			<ul><li>子育てに関する</li></ul>	不安や悩み	が和らぐ							
		意	図	• 朝同十 こども	同十の交流	が突まり仲間がつ	できる。						
		(対象を3	上海にして)	・子育てに関する	様々な情報	が得られる。							
		(X)3(C)	LIBICO C)										
			_										
大	き	な	目 的	安心して乳幼児の	子育てがで	·きる。							
			指 標 名	子育てに関する情	報を得るこ	とができた人							
				子育てセンターの									
			0.110					/ ch/± \		·	, n	<del></del>	左左(日本)
		指 標		平成15年度(実					平成	118年度			年度(目標)
アウト	トカム		指標値	37,651	<u>                                     </u>	36,058人	34,04	3人	L	35,00	0人	35,	000人
指	標		指標 名	安心して乳幼児の	子育てがで	きている人の割合	<u> </u>					-	
		最終成里	老え方・ポ	安心して乳幼児の	子育てがで	きている人/到名	カ児の子育てを	していろ	人				
				平成15年度(実						10年中	(日抽)	亚出 1 0	午度 / 口墙 \
		指標		-	:頑ノ 十八	□□廿反〔夫縜〕	十八八 / 年度	( 天順 )	平加	18年度	(日信)	十八八日	年度(目標)
			指標値										
				子育てセンターは	アドバイサ	ゲー (嘱託職員)	3人・アシスタン	ント(日々	々雇用□	職員) 10	人の体制で	で、独自の	施設を持たず
芦屋市	の特色	色など補品	足する事項	既存の幼稚園施設	等を利用し	ながら各種の事業	業を実施してい	る。					
		113 /		> / FEMALES									
2 =	北井	ンエチャエフ	/\				4 III HENDING		4-	1 1// 12 ( ==		₩ <del></del>	(+ D + + / + -
			分(コスト)				1世帯当り(円)			人当り(円)		平成18.4.1	住民基本台帳
事	業	費	構成%	平成15年度(決	算) 平成	16年度(決算)	平成17年度	(決算)	平成	118年度	(予算)		
	人	件 費	73.6%	9	,556	12,911		13,347			-		
	事	業費			,432	6,192		4,787			6,164		
rb ±		3 門 経費	20.170		,	5,.02	<del> </del>	.,			-,.01		
							1						
(十円		貸却費									-		
	合	計	100.0%	15	,988	19,103		18,134			-		
	玉	・ 県	25.2%		,610	3,807		4,577			3,300		
	1				-	-,		,			-,		
日才 :「		<b>信</b> 笙		•			<b></b>						
	原市	債 等			I								
財 (千円	一 市 ) そ	の他											
	一 市 ) そ			12	,378	15,296		13,557					
(千円	一 市 ) そ	の他			<b>,378</b> 0.20	<b>15,296</b> 0.20		<b>13,557</b> 0.40			-		
(千円	原 市 そ <b>一 が</b> 動職	の 他 <b>股 財 源</b> 員	<b>74.8%</b> 13.4%		0.20	0.20		0.40			-		
<ul><li>(千円</li><li>活 重</li><li>配 タ</li></ul>	原 市 そ <b>一 が</b> 動職	の 他 財源	<b>74.8%</b> 13.4% 86.6%		•	•		•			-		

4 評信	西(チョ	[ック)					
評	価	視	点	評価チェックリスト		1次評価	2次評価
	日於	3妥当性(	2 ~ 2)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞るこ	とができない		
	<b>П</b> и:	) X 3 IX (	2 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高	くない		
				□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている ☑ 民間でやるべき,または対応			
妥	市関	与(2~	2)	市民の基本的な生活の維持に必要である	いる		
				□ いずれにも該当しない		4	4
当				□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う		4	4
444	力日	ミニーズ(2	2~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない □ カーズが高いとは言えない □ 数字で把握している アンケー制査(H15)で25%が「なかよしひろば」を利用			
性。占				☑ 数字で把握している [アクート調査(F15)で25%が、なかなしひらは」を利用 [ ☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた			
8点	社会	環境変化	化(1~ 1)	内容 合計特殊出生率が1.29に減少	_兄且∪小必安		
	優先	性,緊急	(性(1)	□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる			
			区(1~ 1)	☑ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー	- 率が低い		
有	受益	括(1 ∼	1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が	が一部に限定		
効	式甲	見の実績(	2 ~ 1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記		3	3
X/J	IJX.74	で大利(	2 1)	▶ □ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがって	いると言えない	3	3
性	- 成集	自上余均	也(1~ 1)	成果があがっていない場合			
4点	.,,,,			☑ 成果向上策あり 独立した施設に移転し、つどいのひろば事業を実施する。	□ 特になし		
				□ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない □ いまできる団体はない □ いまできる団体はない □ いまできる団体はない	<b>6</b> 51.3		
効	単位	෭コスト(1	~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ □ 把握している □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが			
7/3				高い、または低い場合の理由	·60/1		
				☑ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない			
<del>1</del>	安益	計者負担(	0 ~ 1)	→ □ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □	徴収可能 )	4	4
率				直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について			- 1
	壬段	₹(1 ~ 3°	)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うへ	べき部分がある		
	J +3	2(1 0	,	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応で			
性				□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可	「能である		
3点	コス	ト削減取	組(1~ 1)	<ul><li>□ コスト削減の取り組みを行っている</li><li>□ 特に行っていない</li><li>内容 子育てホットライン業務を派遣業者への委託からボランティア団体への委託に多ります。</li></ul>	亦声した		
					<b>夏更</b> ひた。		
平成1	6_年』	度の評	価 内 容 方 向 性	□ A <mark>平成17年度に実</mark> ☑ 改善し,効果を得た			
(評価ナ	ひにきがない:	ま の ブ 場合け言	万 何 性 記載不要)	D MM D 以音したが、効果がな D	改善し なかっ		
( дт іш /-	J .G. V	- % H 10 H	D + N 1 ' SC /		た総合	Α	В
亚武	1	<b>2</b> 年	庫 ⊫	・子育てホットラインの対応方法・委託業務の見直しを検討する。	評価	_	D
実施	ੋ <b>ਰ</b> ਂ ਫ	3 改善	度 善 内 容	・なかよしグループの更なる自主運営化 で登録制度等の導入による関わりのあり方を検 はなった。これ、これの関係は大き			
(	必	須	)	・こどもフェスタの開催方法 ・子育て情報誌の発行方法 内容・保育フェスティバルとの統合を検討する。			
5 今後	かのか	応 (ア/	フション)	1日で日本地でクルログは 外日/万型目でや地口で採用する。			
3 7 1.	2007.	170 ( ) ,	,,,,	・子育てセンターでの相談業務と家庭児童相談室での相談業務との連携を深める。			
現在:	認識	してい	る 課 題	・子育て支援に関する類似の事業等について、共同開催等による見直しが必要。			
		市民,関係	系者の名称				
からの	17	意見 , 弱	要望内容				
要望	等 "						
		(1)	対応内容	個別課題の改善は上記のとおり18年度に実施する。別途、相談窓口及び事業の拠点團	整備が必要である	0	
		( ' )	実施期限	平成 19 年 3 月			
課題·要	望等			1 1 3 /1			
		(2)	対応内容				
へのす	対応		実施期限	平成 年 月			
			対応内容				
		(3)					
			実施期限	平成 年 月			
その他	1 孝 ラ	らわる					
改善の							
	.,				今後の方向性	1次評価	2次評価
			I		拡 大 · 充 実		0
					現 状 維 持	0	0
					方 法 改 善		•
平成 1	9 ~ 2	1 年 度	の方向性		民間委託等		0
					縮小		0
					統合/終期設定		0
					廃止/休止	$\circ$	0
2 次 회	区価 赤	昌合	コメント	NPOや市民団体等が主体となって行なうことを検討してください。			
- // 1	, ,щ, 52		- /- /				

(	般事	<del>31.</del> /	事業	¬ _ Ŀ	23300	20				1	部	E	次	E	課	長
( —	放 争	来 )	争 耒	<u>コード</u>	23300	30					司)	乜	八	乜	訸	反
平万	戈 17 年	₣度	事	業 名	介護保	<b>R</b> 険給付										
1	事業	概要	更(ドゥ)													
				(りの目標	2 1	建やかでぬくもり	のある福	a祉社会づくり					保健福祉	:部		
	合 計			中		高齢者の自立をサ					所	管 課	高年福祉	·課(介語	隻保険担:	当)
	策施			<u>/</u> \		介護保険制度への		, okao,			<b>所答</b>	<b>果長氏名</b>			Z [ [ [ ] [ ] ] ]	<b>→</b> /
	W 116				3 /	/ 慢体医师及 **/	, V.1 \( \( \cdot \)									
体		系		細									津村 直			
事		業	其			2年4月~		経常臨時	☑ 経常 □	臨時			0797 - 38	8 - 2024	内線	2561
根	拠	法	令 ·	要 綱 等	介護保	<b>R</b> 険法,芦屋市介	護保険条	:例等			実 施	主体	市			
実		施	月	F 法	V	直営		部委託	□ 全部委託	3	□ 補	助金		負担金		
委			託	先	· 🗸 🔞	外郭団体委託	名称 福	祉公社		☑ 民間	委託 委	託内容	介護認定	調査		
						・護を必要とする。			R定							
事	業	¥	Ø	概 要		要介護者に対する										
<b>-</b>	7		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	1976		C/1 102 L1 (C/1) / D/	71 HZ 7	2 / 1 / / <u>2 / 1 / 3 / 1 / 3 / 1 / 3 / 3 / 3 / 3 / 3</u>	-113							
					1 /2	× 1 0 3m/0 10 3x 3x		17 001								
-	SII	,				第1号被保険者数		17,981人								
事	業		の			護サービスの給		-,,								
	E	的美	€現のため	かの		居宅介護(支援)	サービス	ス受給者数・金	額							
	手	-段及	び実施に	内容		施設サービス受給	合者数・会	金額								
						高額介護サービス	受給者数	数・金額								
				指標名			2									
			結果指標			15年度(実績)	亚战 1 4	6.年度(宝繕)	平成17年度	(宝績)	亚战	8年度	(日標)	亚武 1	9年度(	日梅)
				_						(	T-13%					디개자 /
			(1)	指標値		2,882人	-	3,155人	3, 344		-	3,609人			3,818人	
	トプ	ット		単位コスト					1, 443, 626	円/人						
指		標		指標名	介護す	ナービスの受給者										
			結果指標	年 度	平成 1	15年度(実績)	平成 1 6	6年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成 1	8年度	(目標)	平成 1	9年度(	目標)
			(2)	指標値	i	2,405人	2	2,715人	2, 780	人		2,789人			2,946人	
			. ,	単位コスト												
2	車業	成月	艮(アウ													
	于木	リスコ	K() )	1/1/4)	1											-
			対	象	要介護	護認定者で介護サ	ービスの	受給を希望する	5人							
v	v	,	11 6 1		11.6	No.		- V W				<u> </u>				
			対象な	」バー率	对 家	数 (a)	3, 344	受 益 数	(b) 2 <sub>1</sub>	,780人	tt	、	÷ a) %		83%	
対	象・意	区														
			意	図	要介護	護認定者でその有 <sup>、</sup>	する能力	に応じ自立した	こ日常生活を営	むことが	出来る	よう必要	なサービ	スの給付		
			(対象を	主語にして)												
大	き	ŗ	な	目 的	市民の	つ保健医療の向上	及び福祉	:の推進								
				指 煙 名	サート	ごスの受給者の割	<u></u>									
			<b>山胆</b> 战里			ごスの受給者/要		* 考								
									亚世 4 7 年度	/ 安/丰 \	교수	0 左座。	/ D += \	ਜ਼ ਦੇ 1	0 左座 /	口抽~
			指 標			15年度(実績)	十八八		平成 1 7 年度		平风	8年度	(日信)	半成Ⅰ	9年度(	日信)
	ナトカ	- 1		指標値		83%		86%	83%			77%			77%	
指		標				介護に要する時										
			最終成果			ごス利用者が能力に						担を軽く	することも	5重要な	成果である	る。
			指 標	年 度	平成 ′	15年度(実績)	平成 1 6	6年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成 1	Ⅰ8年度(	(目標)	平成 1	9年度(	目標)
				指標値	į											
						認定者が保険給付	を受けやっ	すいように, 原則	  償還払いサービ	ごスの受領	委任払い	(現物支	給)の取り	扱いを導	入してい	る。
古园	言市の	特色	など補	足する事項											-	
/ - /3	= 113 02	/10 C	3 G C Im .	~ , 0 + %												
2	<b>事</b>	弗	く七まりまつ	分(コスト	\				1 ###W12 ( FF)	404 400	<b>住里</b> 4-1	<b>业17</b> / 四 5	E0 440	₩ 11.40	11 4-04	t★∠+F
	争耒			- '				c + + ( ) + // \	1世帯当り(円)			当り(円)	53,116	十八八18.4	1.1 住民基	李古城
事		業	費		平成 2		平成 1 6	6年度(決算)	平成17年度		半成	18年度	(予昇)			
	/	人	件 費	1.4%	ó	44,804		64,365		67,829			-			
		事	業費		0	3,956,357	<u> </u>	4,562,586	4.	,759,658	<u> </u>	5	,219,313			
内	訳化	也部	門経費										-			
(干	_		償却費										-			
		合	計		5	4,001,161		4,626,951	4.	827,487			-			
		<b>三</b> 国	· 県			1,420,176		1,649,345		,674,400		1	,828,577			
財		_	債 等		1	1,120,110		88,600		111,400	<del>                                     </del>	<u>'</u>	15,716			
19/1	<u> </u>	ħ			0		l	00,000		111,400	1		13,710			
	源「				,	0.000.054		0.047.400	•	200 200		•	E00 400			
	<u> </u>	7	の他	48.9%		2,022,654		2,247,192		,360,938		2	,599,199			
(千	源 円)る	₹ <b>- k</b>	の 他 <b>段財湯</b>	48.9% <b>14.1%</b>	5	558,331		641,814		680,749		2	,599,199 -			
	源 円) <del>1</del> 動	そ <b>一 倉</b> 職	の 他 <b>段財湯</b> 員	48.9% <b>14.1%</b> 58.8%	5							2	,599,199 - -			
(千	源 円) <del>1</del> 動	そ <b>一 倉</b> 職	の 他 <b>段財源</b>	48.9% <b>14.1%</b> 58.8%		558,331		641,814		680,749		2	,599,199 - - -			
(千	源 円) <del>1</del> 動	そ <b>一 食</b> 職 属託	の 他 <b>段財湯</b> 員	48.9% 14.1% 158.8% 41.2%	5	<b>558,331</b> 4.50		<b>641,814</b> 7.10		<b>680,749</b> 7.10		2	,599,199 - - -			

	曲(チェック)					
評	価 視	点	評価チェックリスト		1次評価	2次評価
	目的妥当性(	(2 ~ 2)	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞るこ	ことができない		
		(2 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高	<b>iくない</b>		
			☑ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対	応可能である		
妥	市関与(2~	2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされて	เมล		
_	11-150 5 (=	-/	□ いずれにも該当しない			
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う	車業ではかけ	8	8
=	+	0 4\			0	0
	市民ニーズ(	2~ 1)	□ ニーズが高いとは言えない			
性			☑ 数字で把握している 平成17年度に利用意向調査を実施して把握している	•		
8点	社会環境変	(¥(1 ~ 1)	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた	こ見直 しが必要		
	江五极先交	10(1 1)	内容 平成17年度で高齢化率が20%を超え増加傾向			
	優先性,緊急	急性(1)	☑ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる			
	対象カバー図	<b>率(1~ 1)</b>	☑ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバ・	一率が低い		
有	受益者(1~	1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が	が一部に限定		
			☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している◯ 実績値または目標値が未記		4	1
効	成果の実績(	(2 ~ 1)	▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがって		4	4
性			成果があがっていない場合	V-0СД/С-СV-		
4点	- 成果向上余	地(1~ 1)	□ 成果向上策あり	□ 特になし		
4 📉				□ 付になり		
				4		
	単位コスト(1	~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ □ 把握してい			
効	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	,	▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが	が高い		
			高い、または低い場合の理由			
	受益者負担(	(0 ~ 1)	☑ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない			
率	又血口只让	(0 1)	└━▶ ☑ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □	] 徴収可能 )	1	4
<del>4°</del>			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について			
	T = 11/4 0		☑ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担う	べき部分がある		
	手段(1~ 3	3)	☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応	可能である		
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応			
3点			□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない	185 600 0		
OM	コスト削減取	【組(1~ 1)	→ 内容 給付費の審査支払い事務の委託。認定審査システムの導入			
平 成 1	6 年 度 の 評	「 価 内 容	□ A <mark>平成17年度に実</mark> □ 改善し、効果を得た			
及び	改善の:	方 向 性	評価結果 施した改善の方向 みましたが、効果がな	改善し		
(評価な	がない場合は	記載不要)	☑ B <mark>性</mark> ☑ 以音じたが、効木がな □	なかっ		
			要介護認定の変更合議隊長会及び認定審査委員全体会を	<u>た</u> 総合 開催し, 評価	Α	ΙA
平 成	1 8 年	度に		用催し,	, ,	' `
実施	する改	善内容	課題 では、対応する研修の実施			
(	必须	頁 )	内容 新制度に対応するモデル事業の実	弛		
- ^ /	// - \   <del>-     -   -     -     -             </del>					
5 今往	<u> </u>	クション)				
			1 要介護認定の適正化			
現在:	認識してい	トる 課 題	2 保険給付の適正利用			
			3 地域密着型サービス基盤の整備			
	信任,関係	係者の名称				
からの	意見	要望内容				
要望	等意光,	女主门台				
		***	人类がはの第二を利用を図えたは、人类和ウ和ルル東田聯上して伊藤庭を取界よれが	エコシナ フ		
	(1)	刈心内谷	介護給付の適正な利用を図るため、介護認定担当に専門職として保健師を配置する必要	炭がめる。		
		実施期限	平成 19 年 4 月			
課題·要	望等					
HALL SC	(2)	対応内容				
へのす		実施期限	平成   年  月			
( ()	יטין ני	大旭朔സ	TM   T			
	(2)	対応内容				
	(3)					
		実施期限	平成 年 月			
その他	!考えられる					
改善(	カアイデア	'				
				今後の方向性	1次評価	2次評価
			1 上記現状課題に関しては、介護保険事業計画に掲げているとおり、引き続き取り組む。	拡大・充実		0
			特に保険給付の適正利用に関しては、保険給付の目標値が設定されており、目標値に対する	現 状 維 持	0	0
			利用促進を図るため介護給付の情報提供及び基盤整備の確保、事務の効率化を行う。	方法改善		<ul><li>O</li></ul>
平成 1	9~21年度	の方向性		民間委託等		0
113%	2 十一尺	-> )) I=) II	基盤の整備を行う。	縮小		0
				統合/終期設定		0
				廃止/休止	O	0
2 次 評	一価 委 員 会	コメント				

( —	般事	(業)	事業	コード	23300	040				部	長	次	長	課	長
(	nx <del>1</del>	**	<del>7</del> *	<del>- '</del>	20000	040				ПP	į,	<i>/</i> /	IX.	n/k	IX.
平月	式 17:	年度	事	業 名	介護	保険料の賦課・徴収	Z								
			要(ドゥ)												
第3	次芦	屋市	まちづく	りの目標	2	健やかでぬくもり	のある福祉社会づくり			rr **	 B	保健福祉	部		
総	合言	+ 画		中	3	高齢者の自立をサ	ポートする社会の実現			所 管	課	高年福祉	課(介記	<b>隻保険担当</b>	当)
	策が			/ \	3	介護保険制度への	対応			所管課	長氏名	津村 直	行		
体	215 731	系		<u></u> 細	U	711021117011700	7.47.6					津村 直			
							(-7 att ====		mto mile				711	上 4点	0=01
事		業	期				経常臨時	☑ 経常 □	臨時			38-2064		内線	2561
根	拠	法				保険法,芦屋市介				実施	主体				
実		施	手	法	✓	直営	□ 一部委託	□ 全部委託		□ 補助	力金		負担金		
委			託	先		外郭団体委託	名称		□ 民間	委託 委	託内容				
					市内	に住所を有する6	5歳以上の方(第1号被	安保険者)に前	年の所得	等に基づ	き、介記	毎保険料(	の賦課・	徴収を行	う
事	à	業	Ø	概 要							-,				-
<del></del>	7	*	0)	144 32											
						₩/□ ₽\ ★ च < ₽\	中 <b>二</b> 777								
							度所得金額等の把握								
事	Ì	業	の	現 状	2	介護保険料の賦課	(特別徴収 (年金からの	)天引き) と普	通徴収(	市が個別	徴収))				
		目的第	実現のため	の	3 3	介護保険料の収納									
	=	手段及	ひ実施内	容	4 1	保険料未納者に対	して督促状・催告書の遺	关付, 訪問徴収	等						
			- 1001		l '				-						
				指標名											
			/+ ED 15 15			1. 左左 / ウは、	亚代 1 6 左连 / 克德 >	双件 4 7 年中	/ 中/# \	ਜ਼ਾ ਦੇ 4	0 左声:	/ D +# \	₩ 4	0 左安 / 5	□ <del> </del>
			結果指標				平成16年度(実績)	平成17年度	-	平成	8年度(		平成了	9年度(	日信)
			(1)	指標値		17, 986	18, 454	18, 981	1		19,654			20, 165	
ア「	ナトブ	ブット		単位コスト						<u></u>			<u></u>		
指		標		指標 名											
			結果指標	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成 1	8年度(	[目標]	平成 1	9 年度(	目標)
				指標値		96.6%	96.6%	96.4%		1	98.4%			98.4%	,
			(2)	単位コスト		30.070	30.070	50. 170	,		30. 170			30. 170	
_	<del>=</del> л	<u>د ح</u> ۲													
2	争亲	きり込み	果(アウ)	`カム)											
			対	兔	市内	に住所を有する6	5歳以上の方(第1号被	4保除者)							
			ν1	30	1131 34	(CIT)/1 5 17 1 2 0	0 1888 1 1977 (3) 1 1972	X D N D C D /							
事業	業の	目的	対象力	バー率	対象	<mark>き数 (a)</mark> 1	.8,981 受益数	(b) 1	8, 981	比	率 (b	÷ a) %		100%	
	業の			バ - 率	対象	<mark>後数 (a)</mark> 1	8,981 受益数	(b) 1	8, 981	比	率 (b	÷ a) %		100%	
			_				<u> </u>			<u> </u>	率 (b	÷ a) %		100%	
			意	図			8,981   受益数     に対して、給付サービス			<u> </u>	率 (b	÷ a) %		100%	
			意				<u> </u>			<u> </u>	率 (b	÷ a) %		100%	
対	象 · 章	意 図	意 (対象を言	図 E語にして)	市が会	介護の必要な市民	に対して、給付サービン	くを行うときに	必要な財	源確保	·				
	象 · 章		意	図 E語にして)	市が会	介護の必要な市民	<u> </u>	くを行うときに	必要な財	源確保	·				
対	象 · 章	意 図	意 (対象を言	図 E語にして) 目 的	市が	介護の必要な市民が高齢社会を考え	に対して、給付サービン	くを行うときに	必要な財	源確保	·				
対	象 · 章	意 図	意 (対象を言	図 E語にして) 目 的	市が	介護の必要な市民	に対して、給付サービン	くを行うときに	必要な財	源確保	·				
対	象 · 章	意 図	意 (対象を な	図 E語にして) 目 的 指標名	市氏に	介護の必要な市民 が高齢社会を考え。 制限を受けた人の	に対して、給付サービン	くを行うときに 目互扶助の考え	必要な財	源確保	·				
対	象 · 章	意図	意 (対象を な 中間成果	図 E語にして) 目 的 指標名 考え方·式	市が対	介護の必要な市民が高齢社会を考え、制限を受けた人の制限を受けた人の	に対して、給付サービス 、介護保険制度が社会相 割合(%) 介護保険料未納者×1(	スを行うときに 目互扶助の考え	必要な財方に基づ	源確保	れている	ることをほ	理解して	もらう。	目標)
対:	象・意	意図	意 (対象を な 中間成果	図 E語にして) 目 標 標 考え方・式 年 考え方・度	市形。 市民》 給付品 給付品 平成	介護の必要な市民 が高齢社会を考え, 制限を受けた人の 制限を受けた人/ 15年度(実績)	に対して、給付サービス 、介護保険制度が社会相 割合(%) 介護保険料未納者×1( <mark>平成16年度(実績)</mark>	マを行うときに 目互扶助の考え 0 0 平成17年度	必要な財方に基づ	源確保	れている 8 年度 (	ることをほ	理解して	もらう。 <mark>9 年度(F</mark>	目標)
対: 大 ア	象 · 章	きかん	意 (対象を な 中間成果	型	市形。 市民》 給付的 給付的 平成	介護の必要な市民 が高齢社会を考え、 制限を受けた人の 制限を受けた人/ 15年度(実績) 0%	に対して、給付サービス 、介護保険制度が社会相 割合(%) 介護保険料未納者×1( <mark>平成16年度(実績)</mark> 0%	スを行うときに 目互扶助の考え	必要な財方に基づ	源確保	れている	ることをほ	理解して	もらう。	目標)
対:	象・意	きかった。	意 (対象を言 な 中間成果 指	E語にして) 目 標方 標方 年標標標標標	市形。 市民》 給付於 給付於 平成	介護の必要な市民 が高齢社会を考え、 制限を受けた人の 制限を受けた人/ 15年度(実績) 0% 料の完納した人の	に対して、給付サービス 、介護保険制度が社会相 割合 (%) 介護保険料未納者×1 ( 平成16年度(実績) 0% 割合 (%)	マを行うときに 目互扶助の考え 0 0 平成17年度	必要な財方に基づ	源確保	れている 8 年度 (	ることをほ	理解して	もらう。 <mark>9 年度(F</mark>	目標)
対: 大 ア	象・意	きなった。	意 (対象をませる) な 中間成果 標 経 終 成果	E語目 指考年 標標 標点 が と 式度 値名 式	市民治付行名付付保険	介護の必要な市民 が高齢社会を考え、 制限を受けた人の 制限を受けた人/ 15年度(実績) 0% 料の完納した人の 料の完納者/被保	に対して、給付サービス ・介護保険制度が社会相 割合 (%) 介護保険料未納者×1 ( 平成16年度(実績) 0% 割合 (%) 険者数×100	マを行うときに 目互扶助の考え 0 0 平成 1 7 年度 0 %	必要な財力に基づ (実績)	源確保 き運営さ	れている <mark>8年度(</mark> 0%	· ることをチ 【目標)	理解して <mark>平成 1</mark>	もらう。 <mark>9年度(E</mark> 0%	
対: 大 ア	象・意	きなった。	意 (対象をませる) な 中間成果 標 経 終 成果	図 的 名式度値名式度 で 名式度 を	市形。 市民。 給付於 平成 保険》 保険》	介護の必要な市民 が高齢社会を考え、 制限を受けた人の 制限を受けた人/ 15年度(実績) 0% 料の完納した人の 料の完納者/被保 15年度(実績)	に対して、給付サービス , 介護保険制度が社会和 割合(%) 介護保険料未納者×10 平成16年度(実績) 0% 割合(%) 険者数×100 平成16年度(実績)	マを行うときに 目互扶助の考え 0 0 平成 1 7 年度 0 %	必要な財 方に基づ (実績)	源確保 き運営さ	れている 8年度( 0%	· ることをチ 【目標)	理解して <mark>平成 1</mark>	もらう。 <mark>9年度(</mark> 0% <mark>9年度([</mark>	
対: 大 ア	象・意	きなった。	意 (対象をませる) な 中間成果 標 経 終 成果	E語目 指考年 標標 標点 が と 式度 値名 式	市形。 市民。 給付於 平成 保険》 保険》	介護の必要な市民 が高齢社会を考え、 制限を受けた人の 制限を受けた人/ 15年度(実績) 0% 料の完納した人の 料の完納者/被保	に対して、給付サービス ・介護保険制度が社会相 割合 (%) 介護保険料未納者×1 ( 平成16年度(実績) 0% 割合 (%) 険者数×100	マを行うときに 目互扶助の考え 0 0 平成 1 7 年度 0 %	必要な財 方に基づ (実績)	源確保 き運営さ	れている <mark>8年度(</mark> 0%	· ることをチ 【目標)	理解して <mark>平成 1</mark>	もらう。 <mark>9年度(E</mark> 0%	
対: 大 ア	象・意	きなった。	意 (対象をませる) な 中間成果 標 経 終 成果	図 的 名式度値名式度 で 名式度 を	市形。 市民。 給付於 平成 保険》 保険》	介護の必要な市民 が高齢社会を考え、 制限を受けた人の 制限を受けた人/ 15年度(実績) 0% 料の完納した人の 料の完納者/被保 15年度(実績)	に対して、給付サービス , 介護保険制度が社会和 割合(%) 介護保険料未納者×10 平成16年度(実績) 0% 割合(%) 険者数×100 平成16年度(実績)	マを行うときに 目互扶助の考え 0 0 平成 1 7 年度 0 %	必要な財 方に基づ (実績)	源確保 き運営さ	れている 8年度( 0%	· ることをチ 【目標)	理解して <mark>平成 1</mark>	もらう。 <mark>9年度(</mark> 0% <mark>9年度([</mark>	
対 大 ア指	<b>象・</b> ! ウト:	きかん標	意 (対象を な 中間成果標 最 経成標	型 ( ) と (	市が。 市民 給付け 平成 保険) 保険)	介護の必要な市民 が高齢社会を考え、 制限を受けた人の 制限を受けた人/ 15年度(実績) 0% 料の完納した人の 料の完納者/被保 15年度(実績)	に対して、給付サービス , 介護保険制度が社会和 割合(%) 介護保険料未納者×10 平成16年度(実績) 0% 割合(%) 険者数×100 平成16年度(実績)	マを行うときに 目互扶助の考え 0 0 平成 1 7 年度 0 %	必要な財 方に基づ (実績)	源確保 き運営さ	れている 8年度( 0%	· ることをチ 【目標)	理解して <mark>平成 1</mark>	もらう。 <mark>9年度(</mark> 0% <mark>9年度([</mark>	
対 大 ア指	<b>象・</b> ! ウト:	きかん標	意 (対象を な 中間成果標 最 経成標	図 的 名式度値名式度 で 名式度 を	市が。 市民 給付け 平成 保険) 保険)	介護の必要な市民 が高齢社会を考え、 制限を受けた人の 制限を受けた人/ 15年度(実績) 0% 料の完納した人の 料の完納者/被保 15年度(実績)	に対して、給付サービス , 介護保険制度が社会和 割合(%) 介護保険料未納者×10 平成16年度(実績) 0% 割合(%) 険者数×100 平成16年度(実績)	マを行うときに 目互扶助の考え 0 0 平成 1 7 年度 0 %	必要な財 方に基づ (実績)	源確保 き運営さ	れている 8年度( 0%	· ることをチ 【目標)	理解して <mark>平成 1</mark>	もらう。 <mark>9年度(</mark> 0% <mark>9年度([</mark>	
対 大 ア指 声	<b>象・</b> <sup>1</sup> ウト:	意図をある。	意(対象を言うなかります。 中間が成果標 最終が、標準を対する。	図() 的 名式度値名式度値 項	市が 市民 給付付 平成 保険 平成	介護の必要な市民 が高齢社会を考え、 制限を受けた人の 制限を受けた人/ 15年度(実績) 0% 料の完納した人の 料の完納者/被保 15年度(実績)	に対して、給付サービス , 介護保険制度が社会和 割合(%) 介護保険料未納者×10 平成16年度(実績) 0% 割合(%) 険者数×100 平成16年度(実績)	マを行うときに 田互扶助の考え 00 平成17年度 0% 平成17年度 95.64%	必要な財 方に基づ (実績) (実績)	源確保 き運営さ 平成1	れている <mark>8年度(</mark> 0% 8年度( 98.4%	。 <b>日標)</b> <b>日標)</b>	理解して <b>平成 1 平成 1</b>	もらう。 <mark>9年度(E</mark> 0% <mark>9年度(E</mark> 98.4%	目標)
対 大 ア指 声 3	<b>象・</b> <sup>1</sup> ウト:	きかかった。	意 (対象を な 中指 最 最 指 と な	図() 的 名式度値名式度値 項 ト	市が 市民 給付付 平成 保険 保険 ア成	介護の必要な市民が高齢社会を考え、制限を受けた人の制限を受けた人の制限を受けた人グ15年度(実績)0%料の完納した人の料の完納者/被保15年度(実績)96.6%	に対して、給付サービス ・介護保険制度が社会相 割合(%) 介護保険料未納者×1( 平成16年度(実績) 0% 割合(%) 険者数×100 平成16年度(実績) 96.6%	マを行うときに、 田互扶助の考え 0 0 平成17年度 0% 平成17年度 95.64%	必要な財 方に基づ (実績) (実績)	源確保 き運営さ 平成1 平成1	れている <mark>8年度(</mark> 0% 8年度( 98.4%	ることを <b>日標)</b> <b>日標)</b>	理解して <b>平成 1 平成 1</b>	もらう。 <mark>9年度(</mark> 0% <mark>9年度([</mark>	目標)
対 大 ア指 声	<b>象・</b> <sup>1</sup> ウト:	意図をある。	意(対象を な 中指 最指 と 活動配費	図で) 的 名式度値名式度値 項 ト 横	市が、おおけば、おおいまでは、おおいまでは、おおいまでは、おいまでは、おいまでは、おいまでは、おいまでは、おいまでは、おいまでは、おいまでは、おいまでは、おいまでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	介護の必要な市民 が高齢社会を考え、 制限を受けた人の 制限を受けた人// 15年度(実績) 0% 料の完納した人の 料の完納者/被保 15年度(実績) 96.6%	に対して、給付サービス ・ 介護保険制度が社会相 割合(%) 介護保険料未納者×1( 平成16年度(実績) 0% 割合(%) 険者数×100 平成16年度(実績) 96.6%	マを行うときに 田互扶助の考え 00 平成17年度 0% 平成17年度 95.64%	必要な財 方に基づ (実績) (実績) (大類)	源確保 き運営さ 平成1 平成1	れている <mark>8年度(</mark> 0% 8年度( 98.4%	ることを <b>日標)</b> <b>日標)</b>	理解して <b>平成 1 平成 1</b>	もらう。 <mark>9年度(E</mark> 0% <mark>9年度(E</mark> 98.4%	目標)
対 大 ア指 声 3	象・ĵ うト: <b>電 事業</b>	意 と お お お な 標 と 人 標 と 人	意(対象をます) な 中指 最指 とな 動配 費費	図で の 名式度値名式度値 項 か (構成) 45.5%	市が、おおけば、おおいまでは、おおいまでは、おおいまでは、おおいまでは、おいまでは、おいまでは、おいまでは、おいまでは、おいまでは、おいまでは、おいまでは、おいまでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	介護の必要な市民 が高齢社会を考え、 制限を受けた人の 制限を受けた人// 15年度(実績) 0% 料の完納した人の 料の完納者/被保 15年度(実績) 96.6%	に対して、給付サービス ・ 介護保険制度が社会相 割合(%) 介護保険料未納者×1( 平成16年度(実績) 0% 割合(%) 険者数×100 平成16年度(実績) 96.6%	マを行うときに、 田互扶助の考え 0 0 平成17年度 0% 平成17年度 95.64%	必要な財 方に基づ (実績) (実績) (大算) 21,442	源確保 き運営さ 平成1 平成1	れている <mark>8年度(</mark> 0% 8年度( 98.4%	ることを取 目標) 目標) <sup>519</sup> 予算)	理解して <b>平成 1 平成 1</b>	もらう。 <mark>9年度(E</mark> 0% <mark>9年度(E</mark> 98.4%	目標)
対 大 ア指 声 3	象・ĵ ウト: <b>事</b> 業	<ul><li>意</li><li>力</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li></ul>	意 対 な 中指 最指 み 活 件業 標 果標 果標	図で) 的 名式度値名式度値 項 ト 横	市が、おおけば、おおいまでは、おおいまでは、おおいまでは、おおいまでは、おいまでは、おいまでは、おいまでは、おいまでは、おいまでは、おいまでは、おいまでは、おいまでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	介護の必要な市民 が高齢社会を考え、 制限を受けた人の 制限を受けた人// 15年度(実績) 0% 料の完納した人の 料の完納者/被保 15年度(実績) 96.6%	に対して、給付サービス ・ 介護保険制度が社会相 割合(%) 介護保険料未納者×1( 平成16年度(実績) 0% 割合(%) 険者数×100 平成16年度(実績) 96.6%	マを行うときに、 田互扶助の考え 0 0 平成17年度 0% 平成17年度 95.64%	必要な財 方に基づ (実績) (実績) (大類)	源確保 き運営さ 平成1 平成1	れている <mark>8年度(</mark> 0% 8年度( 98.4%	ることを <b>日標)</b> <b>日標)</b>	理解して <b>平成 1 平成 1</b>	もらう。 <mark>9年度(E</mark> 0% <mark>9年度(E</mark> 98.4%	目標)
対 大 ア指 声 3	象・ĵ ウト: <b>事</b> 業	<ul><li>意</li><li>力</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li><li>力</li></ul>	意(対象をます) な 中指 最指 とな 動配 費費	図で の 名式度値名式度値 項 か (構成) 45.5%	市が、おおけば、おおいまでは、おおいまでは、おおいまでは、おおいまでは、おいまでは、おいまでは、おいまでは、おいまでは、おいまでは、おいまでは、おいまでは、おいまでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	介護の必要な市民 が高齢社会を考え、 制限を受けた人の 制限を受けた人// 15年度(実績) 0% 料の完納した人の 料の完納者/被保 15年度(実績) 96.6%	に対して、給付サービス ・ 介護保険制度が社会相 割合(%) 介護保険料未納者×1( 平成16年度(実績) 0% 割合(%) 険者数×100 平成16年度(実績) 96.6%	マを行うときに、 田互扶助の考え 0 0 平成17年度 0% 平成17年度 95.64%	必要な財 方に基づ (実績) (実績) (大算) 21,442	源確保 き運営さ 平成1 平成1	れている <mark>8年度(</mark> 0% 8年度( 98.4%	ることを取 目標) 目標) <sup>519</sup> 予算)	理解して <b>平成 1 平成 1</b>	もらう。 <mark>9年度(E</mark> 0% <mark>9年度(E</mark> 98.4%	目標)
対     大     ア指     声     3事     内	象・ <sup>1</sup> で マーマ マーマ マーマ マーマ マーマ マーマ マーマ マーマ マーマ マ	<ul><li>意</li><li>力</li><li>力</li><li>特</li><li>き</li><li>人</li><li>事</li><li>し</li><li>し</li><li>り</li><li>き</li><li>人</li><li>事</li><li>し</li><li>し</li><li>り</li><li>き</li><li>人</li><li>事</li><li>し</li><li>り</li><li>き</li><li>人</li><li>事</li><li>し</li><li>り</li><li>き</li><li>し</li><li>り</li><li>き</li><li>し</li><li>り</li><li>き</li><li>し</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>き</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li></ul>	意 (対象を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	図(T) 的 名式度値名式度値名式度値名式度値名式 を	市が、おおけば、おおいまでは、おおいまでは、おおいまでは、おおいまでは、おいまでは、おいまでは、おいまでは、おいまでは、おいまでは、おいまでは、おいまでは、おいまでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	介護の必要な市民 が高齢社会を考え、 制限を受けた人の 制限を受けた人の 15年度(実績) 0% 料の完納した人の 料の完納者/被保 15年度(実績) 96.6%	に対して、給付サービス ・ 介護保険制度が社会相 割合(%) 介護保険料未納者×1( 平成16年度(実績) 0% 割合(%) 険者数×100 平成16年度(実績) 96.6%	マを行うときに、 田互扶助の考え 0 0 平成17年度 0% 平成17年度 95.64%	必要な財 方に基づ (実績) (実績) (実績) 21,442 25,612	源確保 き運営さ 平成1 平成1	れている <mark>8年度(</mark> 0% 8年度( 98.4%	ることを取 目標) 目標) <sup>519</sup> 予算)	理解して <b>平成 1 平成 1</b>	もらう。 <mark>9年度(E</mark> 0% <mark>9年度(E</mark> 98.4%	目標)
対     大     ア指     声     3事     内	象・ <sup>1</sup> で	<ul><li>意</li><li>方</li><li>力</li><li>力</li><li>き</li><li>力</li><li>表</li><li>大</li><li>標</li><li>り</li><li>き</li><li>大</li><li>事</li><li>で</li><li>り</li><li>き</li><li>人</li><li>事</li><li>し</li><li>り</li><li>き</li><li>人</li><li>事</li><li>し</li><li>り</li><li>り</li><li>き</li><li>し</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li></ul>	意 (対 な 中指 最指 と 活 件 業 門 債 機 解 標 解 標 解 標 解 標 解 標 解 標 解 標 解 報 知 配 費 費 費 費 費 費 費	図の 目 お	市が、治行付は、平成保険、水の、平成、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では	介護の必要な市民 が高齢社会を考え、 制限を受けた人の 制限を受けた人の 15年度(実績) 0% 料の完納した人の 料の完納者/被保 15年度(実績) 96.6%	に対して、給付サービス ・ 介護保険制度が社会相 割合 (%) 介護保険料未納者×1 ( 平成 1 6 年度 (実績) 0 % 割合 (%) 険者数×1 0 0 平成 1 6 年度 (実績) 96.6% 平成 1 6 年度 (大算) 21,261 27,198 217	マを行うときに、 田互扶助の考え 0 0 平成17年度 0% 平成17年度 95.64%	必要な財 方に基づ (実績) (実績) (実績) (決算) 21,442 25,612 99	源確保 き運営さ 平成1 平成1	れている <mark>8年度(</mark> 0% 8年度( 98.4%	ることを取 目標) 目標) <sup>519</sup> 予算)	理解して <b>平成 1 平成 1</b>	もらう。 <mark>9年度(E</mark> 0% <mark>9年度(E</mark> 98.4%	目標)
対     大     ア指     声     3事     内	象・ <sup>1</sup> で	意 き カ D *** 人事他減 <b>合</b> 図 ム標 も ***	意 (対象を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	図(T) 的 名式度値名式度値名式度値名式度値名式 を	市が、治行付は、平成保険、水の、平成、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では	介護の必要な市民 が高齢社会を考え、 制限を受けた人の 制限を受けた人の 15年度(実績) 0% 料の完納した人の 料の完納者/被保 15年度(実績) 96.6%	に対して、給付サービス ・ 介護保険制度が社会相 割合(%) 介護保険料未納者×1( 平成16年度(実績) 0% 割合(%) 険者数×100 平成16年度(実績) 96.6%	マを行うときに、 田互扶助の考え 0 0 平成17年度 0% 平成17年度 95.64%	必要な財 方に基づ (実績) (実績) (実績) 21,442 25,612	源確保 き運営さ 平成1 平成1	れている <mark>8年度(</mark> 0% 8年度( 98.4%	519 予算) - 22,261	理解して <b>平成 1 平成 1</b>	もらう。 <mark>9年度(E</mark> 0% <mark>9年度(E</mark> 98.4%	目標)
対 大 ア指	象 · う · 市 · 京 · 市 · 京 · 下 · 市 · 京 · 下 · 市 · 市 · 市 · 市 · 市 · 市 · 市 · 市 · 市	意 き カ り <b>費</b> 人事他減 <b>合</b> 国 図 ム標 も <b>費業</b> 部価	意 対 な 中指 最指 と 活 件 業 門 債 ・ 保標 ・ 保標 ・ 保標 ・ 保標 ・ 保標 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	図の 目 お	市が、治行付は、平成保険、水の、平成、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では	介護の必要な市民 が高齢社会を考え、 制限を受けた人の 制限を受けた人の 15年度(実績) 0% 料の完納した人の 料の完納者/被保 15年度(実績) 96.6%	に対して、給付サービス ・ 介護保険制度が社会相 割合 (%) 介護保険料未納者×1 ( 平成 1 6 年度 (実績) 0 % 割合 (%) 険者数×1 0 0 平成 1 6 年度 (実績) 96.6% 平成 1 6 年度 (大算) 21,261 27,198 217	マを行うときに、 田互扶助の考え 0 0 平成17年度 0% 平成17年度 95.64%	必要な財 方に基づ (実績) (実績) (実績) (決算) 21,442 25,612 99	源確保 き運営さ 平成1 平成1	れている <mark>8年度(</mark> 0% 8年度( 98.4%	519 予算) - 22,261	理解して <b>平成 1 平成 1</b>	もらう。 <mark>9年度(E</mark> 0% <mark>9年度(E</mark> 98.4%	目標)
対 大 ア指 声 3事 内( 財	<ul><li>ま</li><li>さ</li><li>す</li><li>ま</li><li>・</li><li>り</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li></ul>	<ul><li>意 き カ り ** 人事他減<b>合</b>国市</li><li>図 ム標 も ** ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</li></ul>	意 対 な 中指 最指 と 新 件 業 門 債 ・ 債 を が は か は か は か は か は か は か は か は か は か は	図 E語にして) 目	市が、治行付は、平成保険、水の、平成、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では	介護の必要な市民 が高齢社会を考え、 制限を受けた人の 制限を受けた人の 15年度(実績) 0% 料の完納した人の 科の完納者/被保 15年度(実績) 96.6%	に対して、給付サービス ・介護保険制度が社会相 割合 (%) 介護保険料未納者×1 ( 平成 1 6 年度 (実績) 0 % 割合 (%) 険者数×1 0 0 平成 1 6 年度 (実績) 96.6% 平成 1 6 年度 (実績) 21,261 27,198 217	マを行うときに、 田互扶助の考え 0 0 平成17年度 0% 平成17年度 95.64%	必要な財 方に基づ (実績) (実績) (決算) 21,442 25,612 99	源確保 き運営さ 平成1 平成1	れている <mark>8年度(</mark> 0% 8年度( 98.4%	519 予算) - 22,261 -	理解して <b>平成 1 平成 1</b>	もらう。 <mark>9年度(E</mark> 0% <mark>9年度(E</mark> 98.4%	目標)
対 大 ア指 声 3事 内( 財	象 · う · 市 · 京 · 京 · 下 · 市 · 京 · 下 · 下 · 下 · 下 · 下 · 下 · 下 · 下 · 下	意 き カ D M 人事他減 <b>合</b> 国市そ 図 ム標 も 費業 部価	意 対 な 中指 最指 な 活 件業門債の 保標 果標 電費費費費 計 県等他	図図 目 お	市が、治給平成保保保のでは、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般に	介護の必要な市民 が高齢社会を考え、 制限を受けた人の 制限を受けた人の 15年度(実績) 0% 料の完納した人の 科の完納者/被保 15年度(実績) 96.6% 15年度(決算) 28,387 34,738 265,949 329,074	に対して、給付サービス ・介護保険制度が社会相 割合 (%) 介護保険料未納者×1 ( 平成 1 6 年度 (実績)	マを行うときに、 田互扶助の考え 0 0 平成17年度 0% 平成17年度 95.64%	必要な財 方に基づ (実績) (実績) (決算) 21,442 25,612 99 47,153	源確保 き運営さ 平成1 平成1	れている <mark>8年度(</mark> 0% 8年度( 98.4%	519 予算) - 22,261	理解して <b>平成 1 平成 1</b>	もらう。 <mark>9年度(E</mark> 0% <mark>9年度(E</mark> 98.4%	目標)
対 大 ア指 声 3事 内( 財	<ul><li>ま</li><li>さ</li><li>す</li><li>ま</li><li>・</li><li>り</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li></ul>	意 き カ D M 人事他減 <b>合</b> 国市そ 図 ム標 も 費業 部価	意 対 な 中指 最指 と 新 件 業 門 債 ・ 債 を が は か は か は か は か は か は か は か は か は か は	図 E語にして) 目	市が、治給平成保保保のでは、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般に	介護の必要な市民 が高齢社会を考え、 制限を受けた人の 制限を受けた人の 15年度(実績) 0% 料の完納した人の 科の完納者/被保 15年度(実績) 96.6%	に対して、給付サービス ・介護保険制度が社会相 割合 (%) 介護保険料未納者×1 ( 平成 1 6 年度 (実績) 0 % 割合 (%) 険者数×1 0 0 平成 1 6 年度 (実績) 96.6% 平成 1 6 年度 (実績) 21,261 27,198 217	マを行うときに、 田互扶助の考え 0 0 平成17年度 0% 平成17年度 95.64%	必要な財 方に基づ (実績) (実績) (決算) 21,442 25,612 99	源確保 き運営さ 平成1 平成1	れている <mark>8年度(</mark> 0% 8年度( 98.4%	519 予算) - 22,261 -	理解して <b>平成 1 平成 1</b>	もらう。 <mark>9年度(E</mark> 0% <mark>9年度(E</mark> 98.4%	目標)
対 大 ア指 声 3事 内( 財	<ul><li>ま</li><li>さ</li><li>す</li><li>ま</li><li>・</li><li>り</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li></ul>	<ul><li>意 き カ り</li></ul>	意 対 な 中指 最指 な 活 件業門債の 保標 果標 電費費費費 計 県等他	図図 目 お	市が、治給平成保保保のでは、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般に	介護の必要な市民 が高齢社会を考え、 制限を受けた人の 制限を受けた人の 15年度(実績) 0% 料の完納した人の 科の完納者/被保 15年度(実績) 96.6% 15年度(決算) 28,387 34,738 265,949 329,074	に対して、給付サービス ・介護保険制度が社会相 割合 (%) 介護保険料未納者×1 ( 平成 1 6 年度 (実績)	マを行うときに、 田互扶助の考え 0 0 平成17年度 0% 平成17年度 95.64%	必要な財 方に基づ (実績) (実績) (決算) 21,442 25,612 99 47,153	源確保 き運営さ 平成1 平成1	れている <mark>8年度(</mark> 0% 8年度( 98.4%	519 予算) - 22,261 -	理解して <b>平成 1 平成 1</b>	もらう。 <mark>9年度(E</mark> 0% <mark>9年度(E</mark> 98.4%	目標)
対 大 ア指 芦 3事 内( 財 活	<ul><li>ます。</li><li>・ 下 で で で で で で で で で で で で で で で で で で</li></ul>	意 き カ り	意 対 な 中指 最指 な 動 経却 県標 保標	図図 目 的 名式度値 考末 標標 標子 方・ 度値 名式度値 る式度値 名式度値 る式度 る式度 る式度 る式度 る式度 る式度 る式度 る式度	市が、おおけんでは、おおいまでは、おおいまでは、おおいまでは、おいまでは、おいまでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	介護の必要な市民 が高齢社会を考え、 制限を受けた人の 制限を受けた人の 15年度(実績) 0% 料の完納した人の 料の完納者/被保 15年度(実績) 96.6% 15年度(決算) 28,387 34,738 265,949 329,074	に対して、給付サービス ・介護保険制度が社会相 割合 (%) 介護保険料未納者×1 ( 平成 1 6 年度 (実績)	マを行うときに、 田互扶助の考え 0 0 平成17年度 0% 平成17年度 95.64%	必要な財 方に基づ (実績) (実績) (決算) 21,442 25,612 99 47,153	源確保 き運営さ 平成1 平成1	れている <mark>8年度(</mark> 0% 8年度( 98.4%	ることを 目標) 「19 予算) - 22,261 - - 299	理解して <b>平成 1 平成 1</b>	もらう。 <mark>9年度(E</mark> 0% <mark>9年度(E</mark> 98.4%	目標)
対 大 ア指 声 3事 内( 財 利 利	象 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	意 き カ り	意 対 な 間	図図 目 的 名式度値 考年 指標標 (	市が、おおいては、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下で	介護の必要な市民 が高齢社会を考え、 制限を受けた人の 制限を受けた人の 制で受けた人の 料の完納した人の 料の完納した人の 料の完納者/被保 15年度(実績) 96.6% 15年度(決算) 28,387 34,738 265,949 329,074	に対して、給付サービス ・ 介護保険制度が社会相 割合 (%) 介護保険料未納者×1 ( 平成 1 6 年度 (実績)	マを行うときに、 田互扶助の考え 0 0 平成17年度 0% 平成17年度 95.64%	必要な財 方に基づ (実績) (実績) (決算) 21,442 25,612 99 47,153	源確保 き運営さ 平成1 平成1	れている <mark>8年度(</mark> 0% 8年度( 98.4%	ることを 目標) 「目標) 「予算) 「- 22,261 「- - - 299	理解して <b>平成 1 平成 1</b>	もらう。 <mark>9年度(E</mark> 0% <b>9年度(E</b> 98.4%	目標)

4 評价	西(チェック)				
評	価 社	見 点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
	目的妥当性	(2 - 2)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	日的女司注	(2 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
			☑ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
			□ いずれにも該当しない		
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ☑ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	7	4
	市民ニーズ	(2 ~ 1)	└─ <b>→</b> □ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない, または未把握		
性			□ 数字で把握している 介護保険事業計画による □ 未把握	-	
8点	社会環境変	化(1~ 1)	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
	優先性,緊急	5 計 (4)		-	
	対象カバー		□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる □ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~	,	□ 対象がべ 単は同い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりがく 単かはい □ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
	,	•	□ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入		
効	成果の実績	(2 ~ 1)	▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	2	3
性	世田白 LA	1th/4 4\	成果があがっていない場合		
4点	- 成果向上余	地(1~ 1)	□ 成果向上策あり □ 特になし		
			☑ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない		
	単位コスト(1	~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない		
効	TE3X1(.	.,	▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
			高い、または低い場合の理由	-	
	受益者負担	(0 ~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である  □ 負担を求めるべき事業ではない		
率			□ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能 ) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	-1	-2
			□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	手段(1~ 3	3)	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点	コフレ当じば取	760(4 4)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
	コスト削減取	双組(1~ 1)	→ 内容 口座振替の推進		
\( \frac{1}{1} \)	6 年 度 の 🗊	7. 価 内 宓	□ A <mark>平成17年度に実</mark> □ 改善し、効果を得た		
及び	6年度の計改善 あ	方 向 性	一部		
(評価カ	がない場合は	記載不要)	図 B   性   図 改善したが、効果がな		
			************************************	В	В
平 成 実施	1 8 年 する改	度に	保険料の激変緩和 改善 市独自の激変緩和措置		
美 施	する改必	善内谷 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	保険料段階の見直し 内容 保険料の多段階設定		
`		,			
5 今後	後の対応(ア	クション)			
		, - +m or	1 低所得者対策 介護保険料の減免制度周知徹底		
块 仕 記	認識してし	1 る 課 題			
市民思	係者 市民,関	(多の夕称	3 徴収率の向上		
からの	音 日				
要望	意見,	要望内容			
		***			
	(1)	対応内容			
		実施期限	平成 年 月	-	
課題·要		対応内容			
_ ,	(2)				
へのす	可 心	実施期限	平成 年 月		
	(3)	対応内容			
	(3)	実施期限	平成   年   月		
		大旭知似	一様   一		
その他	考えられる	5	介護予防事業の推進		
	カアイデア				
			今後の方向性	1次評価	2次評価
			1 介護保険制度の啓発 拡大 充実		0
			2 保険料の口座振替の推進 現 状 維 持		0
				•	•
平成 1	9~21年度	の方向性	4 介護保険制度の改正を受けて,介護予防の推進と制度の定直をはかり,保険料の高騰を 民間委託等		0
				0	0
			統合/終期設定		0
			<u>廃止/休止</u>	$\cup$	0
2 %	<b>通                                    </b>	7 4 1/ 6	徴収率の向上に努めてください。		
2 // nT	114 女 只 云	- , , , , i			

(内部	事務)	事業	コード	43100	090				部長次	長課長
, , , , , , ,										IX IX
平成17	7年度	事	業名	市営	住宅等改良改修工事	<b>₽</b>				
				l						
1 事	業概	要(ドゥ)								•
第3次产	古屋市	まちづく	りの目標	4	快適でうるおいの	ある都市づくり			所 管 課 建設部	
総合	計画		中	3	安全で快適な生活	基盤の充実			住宅課	
政策	施策		小	1	住宅の整備				所管課長氏名 藤原 龍	<u>[</u> —
体	系		細							樹
事	業	期			26年度~	経常臨時			電話番号38-2026	<b>内線</b> 2875
根拠						良法, 市営住宅の設置及			実施主体 芦屋市	
実	施	手	,,			一部委託	□ 全部委託			負担金
委		託	先	Ш	外郭団体委託	名称		□ 民間	]委託 <mark>委託内容</mark>	
_	भार		107 ===	F #0 /	を送引玉に甘った	医火ルウ ルケア東州	+ /= ) . 7±46-1/	r ~ 646+++ 11	<b>1 人 /オム) → 回っ</b>	
事	業	の	概 要	反别1	修繕計画に基つさ、	順次改良・改修工事等	を付い, 建物等	かけ	R 主(延命)を図る。	
				O 1	平成17年度実績 3	759-T-III				
				(内語		5, 753十円				
事	業	Ø	現 状		* -7	事 393千円【(市営d	t字) 七亩町北	住空 【		
Ŧ	*	U)	<i>-</i> π 1Λ		ルク和傷器取骨工= 虱呂釜取替工事	₩ 393平円【 (印呂1 3,360千円【 (改良(		-	<b>事</b> 】	
	目的3	実現のため	o Ø	• /	州山亚州日上茅	0,0001111 (以及)	도니/ 그러/미씨	LL LT 71	1∿1	
		と残めため 及び実施内		0 %	管理戸数 1,697戸	(27団地、78棟)				
	3 1 2/				市営住宅 1,289戸		• 上宮川町住宅	217戸	(1団地, 6棟) · 若宮	町住宅 92戸(1団地、6
					送前居住者用 997	. — –/		*		
			指標名		修繕計画予定工事件					
アクテ	・ィブ	(工業)+12+年				平成16年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
指	標	活動指標	指標値		1件	2件	2件		3件	4件
			単位コスト		4,820千円	11,351千円	3,753千	円	24,720千円	34,970千円
					修繕計画工事件数					
アウト	プット	結果指標	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
指	標	wロンコロ.13	指標値		1件	2件	2件		3件	4件
			単位コスト		4,820千円	11,351千円	3,753千	円	24,720千円	34,970千円
2 事	<b>業</b> 成	果(アウ)	`カム)	ı						
		対	象	市営信	住宅等の入居者					
重業の	日的	対 免 ヵ	バー率	<b>₹</b>	き数 (a)	,697戸	t (h) 1	697戸	比率 (b ÷ a) %	100%
対象・			/\ <del>+</del>	ציז 🥦	K XX (a)	又 血 女	x (b) 1,	(091)	以 平 (b ÷ a) 70	100 /0
Y.3 29/		意	図	安心	して生活できる良か	子な住宅・住環境の整備				
			と語にして)	\\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\		, ., ., L L   L->ROTE //1E  /H				
			/							
大	き	な	目 的	市民	生活の安定と社会社	畐祉の増進				
				修繕	計画進捗率					
			考え方・式							
		成果指標				平成16年度(実績)	平成17年度		平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
アウト			指標値		100%	100%	100%		100%	100%
指	標			<b>市営</b>	生宅の住民の満足り	艾				
			考え方・式	ਜਾ =*	1. 万年安/克德、	亚代 1 6 左连 4 克体 5	亚代 4 7 年本	(中/= )	亚代 1 0 左左 / □ 堙、	亚代 1 0 左连 / 豆坪、
		成果指標		平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成 1 7 年度		平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
			指標値		100%	100%	100%		100%	100%
芦屋	<u>.</u> ග	特色	きなど							
, 産	. 0)	10	, , , , ,							
3 事	業費.	活動配	分(コスト)	)			1世帯当り(円)	120	住民1人当り(円) 53	平成18.4.1 住民基本台帳
事	<del>本見</del> 業	費	構成%	平成	15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度		平成18年度(予算)	
	人	件費	21.4%		1,757	2,780		1,019	-	
	事	業費	78.6%		4,820	11,351		3,753	24,720	
内 訳	他部	門経費							-	
(千円)	減 個	質却 費							-	
	合	計	100.0%		6,577	14,131		4,772	-	
	国	・県			·				8,424	
	市	債 等							10,200	
(千円)		の他								
		段 財源			6,577	14,131		4,772	-	
	職	員	100.0%		0.20	0.30		0.10	-	
	所託 合	·臨時等 <b>計</b>			0.20	0.00		0.10	-	
			100 0%		0.20	0.30		0.70	-	

	曲(チェック)		.l			1-	·/=-	<u> </u>					T	
評		見 点						ックリスト					1次評価	2次評価
<b>+</b>	対象カバー	,	☑ 対象カル			□他団				□ 他団体よ				
有	受益者(1~	1)	☑ 事業意[			•			益者が不整合			限定		
効	成果の実績	(2 ~ 1)				を把握し,目標値を						- 4	4	4
141						がっていると言える		L	□実績値からん	<b>収果かあかっ</b>	ていると言	えない	•	•
性	- 成果向上余	地(1~ 1)	成果があか		場合	f								
4点			□ 成果向.			774.5	IE 7	다뉴선수	: ,	¬++-+		特になし	,	
			☑ 比較でき			団体名		反神各市		□ 比較でき		: L 1		
	活動配分(1	~ 1)	□ 他団体(							☑ 把握して!				
*+	,	•	→□他			他団	体と同	桯塻		□ 他団体よ	り多い			
効			多い,また			•			: r					
			☑ 比較でき			団体名		<b>以</b> 伊		□ 比較でき		:61		
	単位コスト(1	l ~ 1)	□ 他団体(					10 db		☑ 把握して!		F1 \		
率			▶ □ 他			;·······	1446日	柱及	l	□ 他団体よ	リコストか合	jll	-2	-1
			高い,また				1	フザマカー					_	-
						:は外郭団体へ委託	50 (61		_	11L1++**** 4×*+**	こがナロハ	±¢+ 7		
344	手段(1~ 3	3)				義務づけられている	スナフ		] 個人,家庭,					
性			,		,	対応できない業務 <sup>・</sup> 対応できない業務で			] 民間(企業 ,					
4点			□ 嘱託,監				ගව		] 嘱託 , 臨時期 ] 特に行ってし		い可能である	9		
	コスト削減取	双組(1~ 1)	→ 内容			うでいる 持管理経費の低減	に怒め		1 付に11つ ((	11411				
						7.日在社员 4.101/4	10000	CV.00						
平成1	6 年 度 の i 改 善 の	评価内容	- 一一一一一		Α	平成17年度に実施		改善し,	効果を得た					
(評価が	び 善 のがない場合は	記載不要)	評価結果	V	В	した改善の方向性		改善した	が,効果がな	۱۱ 🗆	改善した	j)		
( 11 11 12		10 + 1 / 2 /					_	м д о ле	-10 / / / / / / / / / / / / / / / / / / /		かった	総合	В	В
平 成	1 8 年	F 度 に				を作成し、少子・		E #0 /42/-	*******	, 4 /- >		評価		ן ט
	する改	善内容	課題  四周  工			住宅ストックの再生,	改善内容	長期修繕	善計画の見直	しを行り。				
(	必	須 )	維持・	管理を推進	生して	( \ < °	MA							
Γ <b>Δ</b> /2	<b>後の対応(ア</b>	(h2,-2,1)												
J 71	女 リノスリルい ( ア	<u> ソンョン)</u>	新旧建物 (形	四和26年度	建設力	いら平成9年度建設	があス	) で居住	主性に差があ	 ス				
現在意	忍識してし	ハる 課 題		11H20   1X	ÆIX/	7 9 T 100 T 100 P 100 P	.10 .00 .00	·/ C/III	上江(三)上(7	.00				
276 111 11		1 60 pm Acc	2											
市民,関	係者 市民,関	係者の名称	市民等											
からの	辛 目				, 1× <i>I</i>	5 ) ++								
要 望	等思見,	安 望 内 谷	エレベーター	一のない性	モかる	多く仔仕する。								
		対応内突	財政状況を甚	事家 したが	らぬき	せしていく								
	(1)			n来 しなが	り仮巾									
		実施期限	平成	年		月								
課題·要		対応内容												
	(2)	×3,601,3 □		_	_	1								
へのす	付 応	実施期限	平成	年		月								
	(0)	対応内容												
	(3)	<del></del>		7		T.								
		実施期限	半成	年		月								
マの 供	考えられる	2												
	カアイデフ													
W - 0											今後0	方向性	1次評価	2次評価
			長期修繕計画	前について	は. 貝	オ政状況を勘案しれ	ながられ	金計して	いく。			· 充 寅		0
			200000000000000000000000000000000000000	-, -	, , .	1. 2. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.	J J.	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				維持		0
											方法		•	•
平成1	9 ~ 2 1 年度	の方向性										委託等		0
											縮	/	<b>\</b> O	0
											統合/	終期設定	0	0
												/ 休 山	_	0
2 1/2 ≐11	值 委 員 会	. 7				中で、ストック活力					ください。			
2 从 計	叫 安 貝 云					人についてアクシ								

(投資事	事業)	事業	I	1260	010					部		長	次	長	課	長
平成17	在度	重	業を	7. 交通	安全施設等整備事	<b>茶</b>										
T 13% 1 7	十区	<del></del>	* -	又應	文王///	*										
1 事業	<del>LK 1</del> 07 5	## / l <sup>o</sup> + \														
			くりの目標	<b>5</b> 1	<b>汗</b> 気なこれる典か	な生活環境づくり							建設部	<u> </u>		
総合			<u>、りの日 15</u> 中		安全と防災の確保					所	管	課	道路課			
政策			<u>/</u> \	6	交通安全対策の推					所育	管課長 [	. 名		明日出		
体	系系		細	Ü	,						入者氏					
事	業	ļ.		昭和	4 1 年度~	投資	臨時	☑ 投資 □	臨時	電	話 番			88-2063	内線	2822
根 拠	法	令 ·	要綱等	交通	安全施設等整備に	関する特別措置法				実	施主	体	市			
実	施	Ę	手 法	<u> </u>	直営	□ 一部委託		□ 全部委託			補助金			〕負担金		
委		託	<b>券</b>		外郭団体委託	名称			□ 民間	委託	任 <mark>委託</mark> [	勺容				
事	業	の	概 要	交通	安全施設の新設・	改修・補修工事										
				17-1	*************************************	路反射鏡などの交通	· / · /	\ +た=n								
				1/- 1/-				<b>主他設の新設</b>								
事	業	Ø	現 物			柵・横断防止柵の改 路反射鏡・標識・区		またどの堵修								
<del>7</del>	*	0)	+π 1/			品及初鋭 保職 呂 げなどのバリアフリ										
	日的国	実現のたる	<sub></sub>	_		新設については,平			公益灯の	新割	· 改良	• 維:	持管理	に計上		
		るび実施に		J=1.			,-,~ 1	- 124 5	antia/-1/	. v 1 HV	. ~~	д-да-	لنب بر	. ні —о		
	~//	1,001														
			指標名	防護	柵の整備件数											
		結果指標				を行った防護柵(転落	客防	止柵,横断防止	柵 , ガー	ドレー	-ル等)の	件数	汝			
		(1)	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実統	漬)	平成17年度	(実績)	平	成18年		(目標)	平成 1	9年度(	目標)
アウト	プット		指標 値		6件	8件		14件			1	5件			15件	
指	標				線の整備延長											
						を行った区画線の延			, <del></del> /= >				/ <b>[] IF</b> \	T - 4	0 F = (	
		(2)		_		平成 1 6 年度 (実統	镇 )	平成 1 7 年度		平	成18年			平成 1	9年度(	日標)
2 車等		<u> </u> 果(アウ	指標値 トカイン	1	5,402m	5,331m		6,353n	1		6,0	00m	1		6,000m	
د <del>با</del> د	モルスフ	<del>人</del> (アラ	1704)													
		対	多	道路	を通行する歩行者	及び自動車等										
事業の	目的															
対象·	意 図															
		意			の安全性が向上し	,交通事故が減少す	る。									
		(対象を	主語にして)													
+	<b>±</b>	<i>†</i> >	F 64	古内	の交通事故を減ら	- <del> -</del>										
大	き	な		ווואא	の父理争以を減ら	9 0										
					指標名	指標値					考え	方・	式			
		中間	(1)	17-1-		H15年度 61		******************************	かっま/出	) - L	か、子巾エ	ı ı	*.0#/	\ 2\*rt=10 \	Ja Z	
アウト	カム			奶	護柵の工事件数	H16年度 86 H17年度 146		交通安全施設等	等の整備	によ	り追路木	川用石	首の安全	きか催保さ	れる。	
成果	指 標	成果指標	(2)	IX,	画線の設置延長	H15年度 5, 402 H16年度 5, 331	2m	交通安全施設等	等の整備	によ	り,通行	すの5	安全性が	ぶ向上し,	交通事故	が減少
(事業兒	記了)		(2)		四////-/	H17年度 6,353		する。								
		最終反	<b>龙果指</b> 標	票	交通事故件数		549	交通安全施設で		な管	理及び雪	修備に	こより,	通行の安	全性が向	上し,
						H17 535 H18		人四事以が例2	ンソる。							
芦屋市	の特も	五など補	足する事項	5												
i 는 i 로 i i i	vン 1寸 t	_ '& C T用	たっ りまけ	•												
3 事業	業費・	活動配	分(コスト	.)				平成18.4.1住民	基本台帳	11	世帯当り(	円)	1.66	8 住民1人	(当り(円)	731
事	<u>米贝</u> 業	/山 <i>北</i> 川山			15年度(決算)	平成16年度(決算	算)	平成17年度			<b>袁出累計</b>	- 1	,		総額(決算	
	人	件費		_	5,053	,	517		8,119					-		-
	事	業	72.49	<mark>%</mark>	23,194	21,9	977		21,279				66,45	0		87,455
		7 門 経 費												-		-
(千円)		償却費												-		-
	合	ħ		%	28,247	26,4	194		29,398					-		-
n+ \-	国	·														
	市	債 等		V	47.550	40.4	124		16 074				EO 44	5		70.045
(千円)		の 他 財源		_	17,550 <b>10,697</b>	18,0	170		16,871 <b>12,527</b>				52,44	-		70,945
活動	職	<b>双卵</b>		_	0.70		.60		1.05							-
		· 臨時等		70	0.70		.50		1.00							
	合	<u> </u>		6	0.70	0	.60		1.05							

	田(ナ:	エック)					
評	価	視	点	評価チェックリスト		1次評価	2次評価
妥	目白	勺妥当性(2	2 ~ 2)	<ul><li>☑ 事業の主目的は明確である</li><li>□ 事業の目的は一つに絞ることができない</li><li>☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献が高い</li><li>□ 貢献度が不明確,または高くない</li></ul>	1		
^				□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではな	21.1		
	市目	ミニーズ(2	2~ 1)	□ 「「はこ」 スに塗りいて打りず来ではな □ ニーズが高いとは言えない、または未打			
当	113 6	/(2	- ')	□ 大が高い □ 二 大が高いには日だない。 はこれが □ 二 大が高いには日だない。 はこは大が □ 二 大が高いには日だない。 はこは大が □ 二 未把		6	4
				□ 数字で記述している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必			
性	社会	会環境変化	七(1~ 1)	内容 防護柵設置基準,パリアフリー化	7.54		
6点	優先	七性,緊急	1件(1)	□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる			
OM		<u>さは / まべん</u> 益者(1 ~	. ,	□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定	定		
有				□ 進捗状況の実績値を把握し、目標値を設定している □ 実績値または目標値が未記入			
効	進打	步状況(2~	- 1)	→ 実績値から計画通り進捗していると言える ☑ 当初計画から遅れが出ている		2	2
性	`#±	<b>ルフレギ ヘ</b> エ	11-74 4)	計画から遅れが出ている場合		_	_
4点	- 進	步改善余均	也(1~ 1)	☑ 改善策あり インターンシップ(H18,8予定)による安全施設総点検 □ 特に	なし		
				☑ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない			
	77	\. \.\(1 ~ 1	1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト ☑ 把握していない			
効	1/	. [-(1 1	1)	▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い			
				高い,または低い場合の理由			
率				直営事業(正規職員が執行)または外郭団体へ委託している業務について		0	0
•	手目	受(1~ 3)	)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がる □ 民間(企業,NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業,NPO等)で対応可能である		U	U
	, ,	~(-	,				
性				□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である			
3点	コス	<b>卜削減取</b>	組(1~ 1)	☑ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない → 内容 道路反射鏡の方向修正など簡易な作業は直営で実施し、事業費の軽減を図っている。			
平成 16	6 年	度の評	<ul><li>価 内 容</li><li>方 向 性</li></ul>	□ A <mark>平成17年度に実</mark> □ 改善し、効果を得た 評価結果 <u> </u>			
(評価か	がない	場合は記	記載不要)	評価結果     □ B			
					総合	В	В
平 成				ar≆	評価	D	
実施	する	る 改 氰 須	善内容				
(	Æ,	25	)				
5 今後	きのす	付応(アク	フション)				
		212 (1 1	/	・道路反射鏡及び啓発看板については平成17年度に調査し台帳を作成。			
現在談	忍 識	してい	る 課 題	・防護柵や区画線などに関する施設管理台帳が未整備のため、老朽化した施設の計画的な維持管	理がで	きない。	
				・公安委員会所管分の交通規制に関する要望が多い。			
1 11-15		市民,関係	系者の名称	市民,自治会,学校・幼稚園のPTA			
からのだ		意見、勇	更望 内容	   反射鏡や啓発看板の設置,交通規制に関する要望			
要望	等		~				
			対応内容	施設管理台帳の整備のため現地調査を実施していく。 予算が確保できれば電子データー化を行う。			
		(1)	ch+/c ++0.70				
±⊞ 85 75	+B		実施期限	平成 年 月 月 実望については要望者と現地調査を行っとともに書面等により回答している。なお反射鏡につい	715	設置する	5.ことに 5.ことに
課題·要	望寺	(2)	対応内容	より「一旦停止」などの交通ルールが守られず出会い頭事故の発生要員となる場合があるため、			
への対	ゖゟ	(2)	実施期限	より判断している。   平成			
, ( () X	טיע ניי		<b>夫</b> 肥期限			の記型』	(11体で) ナ1目
		(3)	対応内容	公安委員会所管分の要望については,要望者と現地調査を行い芦屋警察署に伝えているが,全て 警本部決定のため,要望者への回答に時間を要する。	vノ肥設	い   取画	小別ない
		(3)	実施期限	平成  年  月			
			><0007011K	^ ^	電子化	を行う。	
その他	考え	られる		・歩行者及び通行車両の安全確保を図る事業であるが、財政難であることを踏まえ、優先順位(	通学通	園路等)	を決め
改善の	<b>カア</b>	イデア			-		
				今後の方	j 向性	1次評価	2次評価
				・項目を定めて交通安全施設について順次現地調査を行う。 拡大・			0
					維持		•
				・歩行者及び通行車両の安全確保を図る事業であるが、財政難であることを踏まえ、優先順位 方 法 こ			0
平成 1	9 ~ 2	1 年 度	の方向性				0
					小		0
				<u>統合/終</u> 其		_	0
				<mark>廃止/</mark>	1水 止	0	0
2 次 評	価多	長 員 会	コメント				
				1			

(内部	事務)	事業	□ - ド	1270	020			部	・ 長が	7	長課	長
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					-	± 25 TH			12 //	,	M INT	×
平成1	/年度	事	業名	公益	灯の新設・改良・維持	· 						
4 == -	ATC TO 2 -	TF ( 19 - )										
		要(ドゥ)   <sub> まなづく</sub>	りの目標	4	活気あふれる豊か	た生活環境づく h			73	設部		
第 3 次 F			<u>リの日標</u> 中		店式めぶれる量か 安全と防災の確保			所	「 宣 課	(政部) ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (		
政策			小		防犯対策の推進			所			日出	
体	系系		細						入者氏名:	永森 秀信		
事	業	期				経常臨時	☑ 経常 □ 臨時	寺 電	話番号		内線 281	2
				,	法第42条			実		市		
実	施		,-	☑		一部委託	全部委託		補助金	□∮	担金	
委		託	九		外郭団体委託	名称		」民間委	託 <mark>委託内容</mark>			
事	業	Ø	概 要	公益	た灯の新設・改良・	維持管理を行う。						
				• 道	<b>直路パトロールや市</b>	民からの苦情,要望に。	より公益灯の新設や	神修を	行う。			
						いては、年間契約を結び			_			
事	業	の	現 状			分け、月2回夜間に公益						
		主用のたり	<b>N</b> O			   民からの通報による球り   0.0 第55   球切れ端値					-	
		実現のため 及び実施内		• 1		90箇所 球切れ補値 置間隔31.8m (i						
	丁又/	スし、大心と	· A			:		· 111 • 'ZA';	ᇓᄭᄜᄭᅑᇇᅜ,ᆥ	■ ひ ∪ 凹穴	17	
					,							
			指標名	道路	パトロール回数:	回 (道路総延長: kr	n)					
アクテ	・ィブ	活動指標				平成16年度(実績)			平成18年度(目	-	平成19年度(目標	)
指	標	, H. 20, 10, 13.	指標値	2 4	1 (193. 0)	24 (197.4)	20 (199. 9	9)	24 (201.	5)	24 (203. 1)	
			単位コスト	ル光	·灯総設置数:箇所	· (球切れ箇所補修数	· 笛 எ )					_
アウト	プット		指標名 年 度			平成16年度(実績)		<b>建精)</b>	平成18年度(目	標)「三	平成19年度(目標	)
指	クラー 標	結果指標			770 (878)	6, 162 (1, 051)	6, 290 (1, 04		<del>- 10、10 - 12(1</del> 6,560( -	-	5, 664 ( 一 )	,
	120		単位コスト		,/				\		. , ,	
2 事	業成	果(アウ)	カム)							ļ		
		対	象	道路	Rを利用する市民及							1
車業の	) El 66			,	R 数 (a) 1, 0	70.07.0-	t (b) 1 0 4	0 体元	比 率 (b ÷	2) 04	100%	
事業の対象・			// - 率	X'J 💐	κ <b>έχ (a)</b> Ι, Ο	せっ 回川   文 盆 安	<b>섯 (b)</b> 1, 04	ョ 固川	LL 平 (D ÷	a) %	100%	
V1 SV		意	図	通常	で有すべき安全性を	·欠くことがないよう公社	益灯を維持、修繕Ⅰ	」通行の	安全及び防犯を国	図る。		
			ー 注語にして)									
大	き	な	目 的	道路	Rを常に良好な状態	に保持して一般交通の原	用に供する。					
			北 # ~	/\ <del>/</del> /	:							
		中間			於打平均設置間隔 S総延長÷公益灯設	·置筒所数・m						
		成果指標		- n		平成16年度(実績)	平成17年度(実	(績)	平成18年度(目	1標) 5	平成19年度(目標	)
アウト	カム	TO THE INC	指標値		33. 4	32.0	31.8		30. 7		30. 5	
指	標		指標名	道路		「る街頭犯罪等件数(芦屋		も, ひった	たくり, 車上ねら	ハ及びちか	いん件数1月~12月	)
						する街頭犯罪等件数を流		. /± ·	T-4	1 tm -		
		成果指標				平成16年度(実績)		績)	平成18年度(目	1標) 5	平成19年度(目標	)
			指標値		786 復興による区画整理E	5 6 1 区域や埋め立てによる南芦属	378	地区や旧	市街地は一部を除る	そ公益打の	整備が立ち遅れている	
芦屋	<b>こ</b> の	特色	きなど			ンケート調査報告書(H1						
			_					•				
3 事	業費·	·活動配:	分(コスト)	)			1世帯当り(円)	1,748 住	民1人当り(円)	766	Z成18.4.1 住民基本台	帳
事	भार	費		- 13	15年度(油質)	平成16年度(決算)	平成17年度(決	9 ( 章	平成18年度(	予算)		_
	業			半成								
	人	件 費	8.9%	半成	6,571	5,675	6	,192		-		
内 缸	人事	件費業費	8.9%	半成			6			64,510		
	人事 他部	件 業 費 <sup>3</sup> 門経費	8.9%	半成	6,571	5,675	6	,192		- 64,510 -		
	人事 他部	件費業費	8.9% 91.1%		6,571	5,675	63	,192		64,510 - -		
	人事(他部)減価	件 費 業 費 門 経 費	8.9% 91.1% 100.0%		6,571 61,098	5,675 57,583	63	5,192 3,422		64,510 - - -		
財源	人事 部 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	件 費業 費 日 経費 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	8.9% 91.1% 100.0%		6,571 61,098 <b>67,669</b>	5,675 57,583 <b>63,258</b>	69 69	i,192 i,422 ,614		-		
(千円)	人事他湖合国市そ	件 業 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 り し し し し	8.9% 91.1% 100.0%		6,571 61,098 <b>67,669</b> 61,098	5,675 57,583 <b>63,258</b> 5,675	69 69	i,192 i,422 i,614				
(千円) 財 (千円)	人事他減合国市そ一	件 業 り で で で で で で で の の を を り で り で り り り り り り り り り り り り の り り り り	8.9% 91.1% 100.0% 8.9% 91.1%		6,571 61,098 67,669 61,098 6,571	5,675 57,583 <b>63,258</b> 5,675 <b>57,583</b>	69 63	6,192 6,422 6,422 6,230 6,230		29		
(千円) 財 (千円) 活 動	人事他減合国市そ一職	件 業 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 費 り し し し し	8.9% 91.1% 100.0% 8.9% 91.1% 24.0%		6,571 61,098 <b>67,669</b> 61,098	5,675 57,583 <b>63,258</b> 5,675	69 63	i,192 i,422 i,614				

		エック)								<del></del>									
評	価	視									ックリスト	•						1次評価	2次評価
		カバー率			対象カバ				□ 他団位					也団体より					
有	受益	益者(1~	1)					合している						たは受益だ		に限え	Ē		
効	成馬	果の実績(2	2 ~ 1)					を把握し,		没定して								4	4
~3	1-2,7	(LO) X MH (L	- '/	▶	☑ 実績(	値から成	は果があ	がっている	ると言える			]実績値	から成果	があがって	こいると	言え	ない	_	_
性	- 成5	ᄩᆔᅡᄼᆂᆊ	也(1~ 1)	成果	<b>具があがっ</b>	ていな	い場合												
4点	1-2,7	ハコエハバ	5(1 1)		成果向上	策あり									[	<u>] 特</u>	寺になし		
					比較でき				団体名	<u></u>			l	北較できる	団体に	tない			
	:壬重	加配分(1~	- 1)		他団体の			ている	活動配分	· į			1	把握してい	ない				
	/ロョ	が目に入り(」	')	<b>→</b>	□ 他団	日体よりと	少ない		☑ 他団	本と同種	呈度			也団体より	多い				
効				多し	1,または	少ない	場合の	理由											
				\ <u>\</u>	比較できる	る団体か	がある		団体名	近隣	市			北較できる	団体に	はない			
	単位	立コスト(1 -	~ 1)	1 — :	他団体の				単位コス	` .	設置	間隔	_ ] 🗆 i	把握してい	ない				
率		Z ¬ > ( )	.,	₩	□ 他団	日体より=	コストが	低い	☑ 他団	本と同和	呈度		<u> </u>	也団体より	コストカ	が高い	1	1	1
					1,または														1
				直営	的 正規職	貴が執	(行)また	は外郭団	体へ委託	している	る業務に	ついて							
	∓E	殳(1~ 3)		□ 1	行政職員	による執	丸行が氰	§務づけら	れている			■個人,剩	家庭,地均	或等が担う	べき部	分が	ある		
性	7-	X(1 3)			民間(企業	Ě, NPO	等)では	対応できた	ない業務で	゙゙ある		民間(企	業, NPC	)等)で対応	の可能で	である			
4点					嘱託 , 臨日	诗職員等	等では対	付応できな	い業務で	ある		嘱託,既	<b>a時職員</b>	等で対応	可能で	ある			
	77	.卜削減取約	組(1~ 1)					亍っている				特に行	っていな	11					
	1/	1 103/1924211	м <u>т</u> (т т)	<b>→</b>	内容	省エネ	照度大	の照明器	具に取替	えを行っ	っている。								
平成1	16 年	度の評	価内容				Α	_ , ,			35美!	効果を得	+_						
及び	改	善の フ	方 向 性	評估	西結果				程 に実施 の方向性						76 ¥	1 +>			
(評価な	がない	場合は記	己載不要)			<b>✓</b>	В	した政告	のカ門生		改善した	が,効果	がない		改善 かっ7				
					<ul><li>- 歩行者</li></ul>	の通行	におけ	る照度確信	保		<ul> <li>小益者</li> </ul>	T設置其	進の見直	しを行う			総合評価	A	l A
平 成			度に		9111	*> 2011	(=401)	のハハスド田	VINO	改善				ジェニック !省エネの	-	riz	計画	' `	' `
実施			善内 容	課題						内容		. –		タルハラ					
(	必	須	į )											射板照度					
5 今後	後のす	付応(アク	フション)								2,41	2,7,7	V-11 (2)						
3 / 12	X VJ X	J/U·() /	,,,,	<ul> <li>照度</li> </ul>	- 長基準に清	またない	地域の	改善と既存	字施設の老	朽化に	よる補値	多。・火	丁具老朽	化が進んで	でいる	(平成	18年	度に調査	(実施)
現在意	認識	してい	る課題									-				( 1 //2		×. *.1	
170 12 1	H-0. H-44		0 m// 22					18年度末											
市民,関	<b>引係者</b>	市民,関係	系者の名称																
からの	辛日				2 22 2		) tele	Librate A. Bib				)/== -\ == -		-1 -14					
要望		息 見 , 多	要望内容	• 空	き果やひ	へたく	り等の	被害を防	止するた	め,公	益灯の増	間設や照月	要 不足の	改善要望	が多い	, ,			
						- 1	. 1 . 10	PT PT 3: 500		1.1.44	1								
		(1)	対応内容	• 攸	間バトロ	ールに	より,	原因を調	金し迅速!	こ対心	する。								
			実施期限	平成	毎年	年		月											
課題·要	要望等		**																
		(2)	対応内容																
へのす	対 応		実施期限	平成		年		月											
			おさせず					•											
		(3)	対応内容																
			実施期限	平成		年		月											
その他	き考え	られる																	
改善(	のア	イデア																	
															今後	<b>もの</b> フ	方 向 性	1次評価	2次評価
				· 市.	民が夜間	も安全に	に道路	を通行でき	るよう公	益灯の	迅速な袖	甫修や増請	設,改善	を行う。			充 実		•
																	維持	0	0
																法		0	0
平成 1	9 ~ 2	1年度(	の方向性												民間	引 委	託 等	0	0
															縮		小	0	0
															統合	/終	期設定	$\circ$	0
															廃」	上 /	休 止	0	0
2 1/2 ≢1	亚 (市 =	5 昌 △	コメント	海正	か維持は	修に奴	めるし	レセル	昭度其淮	を満た	<b>キカル4</b>		ハては本	宝を図る	ト ろ 1.マ	進み	てくだ	さい	
2 八 計	ı IЩ 3	4 只 云	1 <i>7 )</i> [	旭北	・よか比り寸件	沙心分	シのつこ	_ D1_,	灬汉巫毕	△ 1 叫 / 〜	C14417	<u>⊔</u> ∠×(⊂`⊅(	・・ くょん兀	スと囚り	ムノに	(x) عير.	C \ /C	C V .0	

	<u> </u>		- 114					lan elu	elem el
(内	部事	₿務)	事業	コード	4130050			部長次	長課長
₩ 🗗	H 1 7	年度	<b>声</b> :	業名	JR北芦屋駅周辺公共	- t仁=八4仕+共251円3¥35			
+11)	<b>X</b> 1 /	牛皮	<b>→</b> :	未 口	リトル戸屋側内に公共	加政維持自任未物			
4	吉业	K 107 5	FF / IV . \						
_			要(ドゥ)		I lirate a second	The last to the last to		later to	
				りの目標				一所 管 課 建設部	
総	合言	+ 画	1	中	1 暮らしやすく質の	の高い市街地の形成		道路課	
政	策が	も 策		小	3 市街地の整備			所管課長氏名 谷崎 明	月日出
体		系	-	細				記入者氏名矢野	F
事		業	期		<u> </u>	経常臨時	□ 経常 □ 臨時	電 話 番号38-2	
根	+60			要綱等		(大 th min 4)			2002 PJRK 2013
	拠							実施主体市	6- 1 A
実		施	手		☑ 直営	☑ 一部委託	全部委託		負担金
委			託	先	☑ 外郭団体委託	名称 芦屋都市管理株式	会社 □ 民	間委託 委託 内 容	
					JR芦屋駅周辺公共施	設の維持管理			
事	Ì	業	の	概 要	JR芦屋駅周辺公共施設	の占・使用許可業務。			
_									
					. TD 芸 民 町 田 江 の 法 垣	は共の夢水・英刻掛左	, 前空, 贮昔及水地下	通路の監視盤点検の業務を	年間初始で行っている
									中间矢形で行っている。
		NI C				部) 6167㎡ (緑地		進水 916m	
事	Ì	業	の	現 状	・パトロールや市民か	らの通報・要望により路	血等の補修を行う。		
					周辺歩道タイル舗装荷	輔修及び滑り止め工事 :	9件 JR芦屋駅前月	周辺塗装工事 1件	
		目的第	実現のため	o 0	<ul><li>・占・使用許可数 4</li></ul>	1 件及び使用料徴収			
	=	手段及	ひ実施内	容					
				指 煙 夕	<b>施設のパトロール同</b> 巻	:(道路パトロール時に実	施)		
7 1	, <u> </u>	ィブ						▼成10年度(日播)	平成10年度(日毎)
	, ,		活動指標			平成16年度(実績)	平成17年度(実績)		平成19年度(目標)
指		標		指標値	241回	241回	241回	241回	241回
				単位コスト					
					施設の清掃等実施回数				
アウ	ナトフ	プット	結果指標	年 度	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
指		標	<b>紀末</b> 拍惊	指標値	365回	365回	365回	365回	365回
				単位コスト					
2	事業	き成り	果(アウト	- ከ		•		<b>!</b>	
	J 7			,					
			対	象	JR芦屋駅周辺を利用す	る市民及び一般通行者			
車士	±σ	日的	计包力	11 _ 弦:	対 象 数 (a)	3 6 5 日	<mark>⁄ (b)</mark> 365⊟	比 率 (b ÷ a) %	100%
			XI SK //	/ - 平	X) SK XX (a)	3 0 3 H 文 画 女	<mark>х (р)</mark> 3631	LL 4 (D - a) 70	100/0
X) §	豕',	意 図	_	_					
			意		JR芦屋駅周辺の安全で	快適な環境整備を図る。			
			(対象を主	E語にして)					
大	7	き	な	目 的	芦屋の顔としてのJR芦	・屋駅周辺の安全で快適な	環境を提供する。		
				指標 名	施設の清掃等委託				
					清掃実施回数÷清掃必	要回数			
			成果指標			平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
7 -	<b>5</b> L	カム				1	1	1	1
	) r.			指標値			1	1	1
指		標			駅周辺利用者の満足度				
					苦情件数が減少すれば				
			成果指標			平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
				指標値		8件	16件		_
					苦情、要望については	調査し,できるだけ早く	対応する。	<del></del>	
芦	屋	の	特 色	きなど					
3	車型	と書・	活動配	分(コスト)	)		1世帯当り(円) 480	) 住民1人当り(円) 210	平成18.4.1 住民基本台帳
事	<del>ププ</del>	<u>具</u> 業	費		平成15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(決算)		TEVET HITK
-		<u></u>	件費		2,611		3,710		
		東			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		-
		事		0.2%	20		38		
内	訳		門経費	80.4%	17,039	16,010	15,357	-	
(干		\_ !: /			1	1		-	
` .	円)	減価					10 10		
	円)	減 価 <b>合</b>	計		19,670	18,802	19,105	-	
	円)		<b>計</b>		19,670	18,802	19,105	<del>-</del>	
財	円)	<b>合</b> 国	計		19,670	18,802	19,105	-	
財	円)	<b>合</b> 国 市	<b>計</b>		19,670 9,995		19,108		
財	円)	<b>合</b> 国 市 そ	<b>計</b> ・ 県 債 等 の 他	67.7%	9,995	12,208	12,937	28	
財 (千	円) 源 円)	合 国 市 そ	計 県 債 等 の 他 <b>財 源</b>	67.7% <b>32.3%</b>	9,995 <b>9,675</b>	12,208 <b>6,594</b>	12,937 <b>6,16</b> 8	28	
財(千	円) 源 円) 動	合国市そ一職	計 県 賃 等 の 他 <b>股 財 源</b> 員	67.7% <b>32.3%</b> 100.0%	9,995	12,208 <b>6,594</b>	12,937	28	
財 (千	円) 源円 動分	合国市そ一職	計 県 債 等 の 他 <b>財 源</b>	67.7% <b>32.3%</b> 100.0%	9,995 <b>9,675</b> 0.30	12,208 <b>6,594</b> 0.30	12,937 <b>6,16</b> 8	28 -	

4 評値	西(チェック)																	
評	価 裶									ックリン	スト						1次評価	2次評価
+	対象カバー図	. ,		対象カバ				□ 他団体					他団体。					
有	受益者(1~	1)					<u>合している</u> を把握し,目						または受力		別こ別	正	_	
効	成果の実績(	(2 ~ 1)	1				を比握し、巨						日信値かり 果があが・		と言え	ない	4	4
性	D 577 4- 1 A 1	ut e e		果があがっ				СП/СО					X13 00 13	2 (118	СПЛ	75.01	=	
4点	- 成果向上余年	地(1~ 1)		成果向上	策あり											特になし	,	
				比較できる	る団体がる	ある	[	団体名				V	比較でき	る団体	はない	١		
	活動配分(1	~ 1)		他団体の				活動配分					把握して					
効	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	,		□ 他団			•••	□ 他団(	本と同	程度			他団体。	け多い			:	
XII				<u>ハ,または</u> 比較できる			•	団体名					比較でき	そろ団体	1+ +>1			
	W (1) = 1 (1)			他団体の				ゴルロ 単位コスト	i				〕 把握して			•		
率	単位コスト(1	~ 1)		□ 他団				□ 他団(	本と同	程度		, C	他団体。	はリコスト	·が高い	1	-1	-1
<del>*</del>			高い	ハ,または	低い場合	の理	曲										- 1	- 1
							は外郭団体		してい		_							
445	手段(1~ 3	3)					遠務づけられ させたできた		+ 7				也域等が担					
性 4点			l	,		•	対応できな 対応できない				_	•	PO等)で対 員等で対。			٥		
4,							テっている	未加し	0.0		□ 嘱託			(UP) BE	C00'0			
	コスト削減取	(組(1~ 1)		内容	V													
平成 1	16 年 度 の 評	平価内容				Α	- D	<u> </u>		ルギリ	し,効果を	: 但た						
及び	改善の	方 向 性	評値	価結果	_		平成17年						. –	243	善しな			
(計1曲力	がない場合は	記載 个 要 )			>	В	O I CON III	- / 31 312	Ш	改善	したが , 対	見果かない	1 🗆		った	総合	_	_
ਯ ≓	. 1 0 4	· · · ·		歩道タイ	ル舗装て	での雨	天時の転倒	事故防」			的に滑り					評価	В	В
平成実施	, 1 8 年 する改	<u></u> 度 に 善 内 容	課題										. n" + 1 - 1					
(		頁 )							内台	滑り	挞抚値	施上前36	6~44 施	上後73	~76			
5 今後	後の対応(ア	クション)																
J 7 1.	× 101/101()	,,,,,	<ul> <li>歩道</li> </ul>	首タイル領	舗装での	雨天時	寺の転倒事	故防止										
現在意	認識してし	しる 課 題	・ヘ゜テ	゛ストリアンテ゛	゙ッキの橋腿	却支承	(部の調査・	• 補修										
	0/1/20 00	T + T-		共空間には	おける受	動喫煙	型											
市氏、陰からの	関係者 市民,関	係者の名称	地元日	1冶会														
要望		要望内容	北地域	或からJRテ	芦屋駅へ	の動総	泉のバリア	フリー化	(歩i	首巻込	ひみ・滑り	)止め)						
		***	IE S	* h / a /	N+V+ 0. #=	tra de 4	-L)	on to the tr	·74.35									
	(1)	対応内容	・歩』	直ダイル語	舗装の転	倒事真	汝に対する	消り抵抗	改善									
		実施期限	平成	2 2	年		月											
課題·要		対応内容	地上附	皆につい	て歩道バ	リアコ	フリー化(歩	道巻込	4部)									
へのす	(2)	実施期限	小比	2 2	年	1	月											
( 0)	×3 //U					J												
	(3)	対応内容	• 橋朋	却支承部神	補修つい	ては当	平成19年	度に調査	し改化	修計画	可の策定及	ひ実施						
		実施期限	平成	2 6	年		月											
61																		
	3 考えられる の ア イ デ ア																	
以 書(	W 7 1 T 7													今	後の	方向性	1次評価	2次評価
		1	<ul> <li>雨ヲ</li> </ul>	天時の歩う	道タイル	の滑り	りに対する	危険性改	善善							充実		0
			• ^° 7	゛ストリアンテ゛	゛ッキの橋腿	却支承	(部の調査・	・補修						現	状	維持	•	•
			上記0	の必要性に	こより拡	大										改 善		0
平成1	9~21年度	の方向性													間委	ぎ 託 等	<del></del>	0
														縮	A / //		0	0
																期設定		0
														斑	ш /	<u>₩</u> Ⅱ	$\cup$	$\cup$
2 15 47		<b>3</b> 4 5 1																
2 次 計	平価 委 員 会	コメント																
			Ī															

		1		1				ı						
(内部	事務)	事 業	コード	44200	080				部	ŧ	次	長	課	長
√7 <del>⊏1:</del> 1	7年度	事	業名	八国士	樹·街路樹維持·管	r#								
+ 11X 1	/ 牛皮	<b>→</b>	未 口	스템	副。用时四部批评,目1	生								
		1												
	= MIZ 10T :													
_		要(ドゥ)												
第3次	芦屋市	まちづく	りの目標	4	快適でうるおいの	ある都市づくり			所 '	管 課	建設部			
総合	計画		中	4	個性と風格のある	街並みの創造			P/I	昌 动	公園緑地	課		
政策	施策		小	2	緑の保全と育成				所管護	長氏名	林 茂晴			
体	系系		細		林少水土と日本						桑原雅			
					4 F F A D 3 A T	44040							-L //5	
事	業				17年4月から平月	成18年3月 <mark>経常臨時</mark>	☑ 経常 □	品時			0797-38-	-2065	内線	2843
	见 法	令 ' 5	要 綱 等						実施	主体	市			
実	施	手	法	<b>V</b>	直営	□ 一部委託	☑ 全部委託		□ 補	助金		負担金		
委		託	先	П	外郭団体委託	名称		□ 早間	季託 季	1 大	公園樹,	街路樹陽	(草剪定	
					樹、街路樹の除草		L			ногон				
-	गार	•	+0.7 <del></del>		四, 四四四~/554-	77 /								
事	業	の	概 要											
				公園	<ul><li>道路の生活環境</li></ul>	を良好に保つ								
事	業	Ø	現 状			所 道路延長	2 5 k m							
31	木	U)	-)6 1/				2 U KIII							
		<b>.</b>				1~2回/年								
	目的!	実現のため	00		の剪定 随時									
	手段	及び実施内	容	樹木の	の薬剤散布 桜	2回/年,その他は発生	時に散布							
				夏季の	の潅水作業 1	0回/年								
			指標名	維性	<b>答押而</b> 痔									
		,				亚武16年南大南镇、	亚世 4 7 年度	(中性)	777 -12 -	0/= ==	<b>/ □ +</b> # \	₩ 4	0 左京 🗇	□ <del> </del>
	ティブ	上活動指煙				平成16年度(実績)	平成17年度(			8年度			9年度(	
指	標	70203010	指標値	2	59, 547 m <sup>2</sup>	260, 234 m <sup>2</sup>	260, 66	3 m²	2 5	8, 7	9 7 m²	2 6	0, 00	0 m²
			単位コスト		6 1 1 円/m²	559円/m²	631円/	/m²						
			指標 名	伐採:	量(焼却量)									
アウト	・プット		年 度			平成16年度(実績)	平成17年度(	(宝績)	亚成 1	8年度	(日煙)	亚成 1	9年度(	日煙)
		結果指標							1 77% 1	0 712	( 11 15 )	1 /2% 1	7 TIX (	ᄓᇄᄼ
指	標		指標値	1	71, 050 t	386, 900 t	383, 60							
				7 0	0円/100kg	900円/100kg	900円/10	00 kg						
2 事	美风:	果(アウ)	トカム)											
2 事	美风:	i		八国	ロバ学的ナゴ田中	7 ± D (								
2 事	美风:	果(アワ) 対		公園	及び道路を利用する	る市民 (全市民対象)								
		対	象				(b) 260.	663	m² Lt	· 率 (b	÷ a) %		100%	
事業は	の目的	対象力	象			る市民(全市民対象) 0,663㎡ <mark>受益数</mark>	<mark>女 (b)</mark> 260,	663	m² tt	,率 (b	÷ a) %		100%	
事業は		対象力	<b>象</b> バー率	対象	<mark>象数 (a)</mark> 260	), 663m <sup>2</sup> <mark>受益数</mark>		, 663	m <sup>²</sup> 比	; 率 (b	÷ a) %		100%	
事業は	の目的	対象力	<b></b>	対象	<mark>象数 (a)</mark> 260			, 663	m² <mark>tt</mark>	, 率 (b	÷ a) %		100%	
事業は	の目的	対象力	<b>象</b> バー率	対象	<mark>象数 (a)</mark> 260	), 663m <sup>2</sup> <mark>受益数</mark>		. 663	m <sup>*</sup> 比	, 率 (b	÷ a) %		100%	
事業は	の目的	対象力	<b></b>	対象	<mark>象数 (a)</mark> 260	), 663m <sup>2</sup> <mark>受益数</mark>		, 663	m³ <mark>tt</mark>	; 率 (b	÷ a) %		100%	
事業は	の目的	対象力	象 バー 率 図 注語にして)	対象道路の	<mark>象数 (a)</mark> 260 の機能が維持でき	), 663m <sup>2</sup> <mark>受益数</mark>		, 663	m² <mark>tt</mark>	; 率 (b	÷ a) %		100%	
事業(対象	の目的・意図	対 対象力 意 (対象を言	象 バー 率 図 注語にして)	対象道路の	<b>及数 (a)</b> 260 の機能が維持でき	o, 663 m <sup>2</sup> <mark>受益数</mark> る。 公園利用者の増		, 663	m² <mark>tt</mark>	; 率 (b	÷ a) %		100%	
事業(対象	の目的・意図	対 対 象 カ 意 (対象を な	象 パー率 図 注語にして)	道路の美しい	<ul><li>数 (a) 260</li><li>の機能が維持できない景観の保持,</li></ul>	o, 663 m <sup>2</sup> <mark>受益数</mark> る。 公園利用者の増		. 663	m² <mark>tt</mark>	<b>, 率 (b</b>	÷ a) %		100%	
事業(対象	の目的・意図	対 対象 カ 意 (対象を3	象 バー 率 図 注語にして) 的 指標名	<b>対 多</b> 道路( 美し) 苦情(	<ul><li>数 (a) 260</li><li>の機能が維持できない景観の保持,</li><li>件数</li></ul>	(a)       (b)       (c)       (c) <th< th=""><th>л л</th><th></th><th>m² <mark>tt</mark></th><th><b>率</b> (b</th><th>÷ a) %</th><th></th><th>100%</th><th></th></th<>	л л		m² <mark>tt</mark>	<b>率</b> (b	÷ a) %		100%	
事業(対象	の目的・意図	対 対象カ 意 (対象をき	************************************	対 <b>3</b> 道路 <sup>(</sup> 美し <sup>(</sup> 苦情(	<ul><li>数 (a) 260</li><li>の機能が維持できない景観の保持,</li><li>件数</li><li>遊び、レクレー</li></ul>	<ul><li>1,663㎡ <mark>受益 数</mark></li><li>3。 公園利用者の増</li><li>6みやすい町になる。</li><li>ションの場として利用・</li></ul>	活用する市民が	増える。			,			
事業分	の目的図	対 対象カ 意 対象を な 中 現指標	(パー 文字 図) (計画に U T) 的 名式 方 方 度	対 多 道路の 美しい 苦情の 憩い, 平成	<ul> <li>数 (a) 260</li> <li>の機能が維持できない景観の保持,</li> <li>件数</li> <li>遊び、レクレー</li> <li>15年度(実績)</li> </ul>	(大)       (大) <th< th=""><th>加 活用する市民が <mark>平成17年度</mark>(</th><th>増える。 <b>(実績)</b></th><th></th><th>。 率 (b</th><th>,</th><th></th><th>100%</th><th>目標)</th></th<>	加 活用する市民が <mark>平成17年度</mark> (	増える。 <b>(実績)</b>		。 率 (b	,		100%	目標)
事業分	の目的・意図	対 対象カ 意 対象を な 中 現指標	また。 京本 図() 的 名式度値	対 多 道路の 美しい 苦情の 悪い、 平成	R 数 (a) 260 の機能が維持できない トラス 260 の機能が維持できない トラス 260 トラス  <ul><li>1,663㎡ <mark>受益 数</mark></li><li>3。 公園利用者の増</li><li>6みやすい町になる。</li><li>ションの場として利用・</li></ul>	活用する市民が	増える。 <b>(実績)</b>			,			目標)	
事業分	の目的図	対 対象力 意 (対象を な 中 間 成果指標	(パー 文字 図) (計画に U T) 的 名式 方 方 度	対 多 道路の 美しい 苦情の 悪い、 平成	R 数 (a) 260 の機能が維持できない トラス 260 の機能が維持できない トラス 260 トラス  (大)       (大) <th< th=""><th>加 活用する市民が <mark>平成17年度</mark>(</th><th>増える。 <b>(実績)</b></th><th></th><th></th><th>,</th><th></th><th></th><th>目標)</th></th<>	加 活用する市民が <mark>平成17年度</mark> (	増える。 <b>(実績)</b>			,			目標)	
事対象	の目的 ・意 図 き トカム	対 対象力 意 (対象を言 な 中成果指標	(ア)       (ロ)	対 <b>3</b> 道路 (	<ul> <li>数 (a) 260</li> <li>の機能が維持できない景観の保持,</li> <li>一数</li> <li>一遊び、レクレー・</li> <li>15年度(実績)</li> <li>109件</li> <li>処理割合</li> </ul>	(大)       (大) <th< th=""><th>加 活用する市民が <mark>平成17年度(</mark> 138件</th><th>増える。 <b>(実績)</b></th><th></th><th></th><th>,</th><th></th><th></th><th>目標)</th></th<>	加 活用する市民が <mark>平成17年度(</mark> 138件	増える。 <b>(実績)</b>			,			目標)
事対象	の目的 ・意 図 き トカム	対 対象カ 意 対象を な 中成果指標 最終	(ア)	対 多 道路の 美しい 苦情が、 平成 苦情が	<ul> <li>数 (a) 260</li> <li>の機能が維持できない景観の保持,</li> <li>件数</li> <li>遊び、レクレー・</li> <li>15年度(実績)</li> <li>109件</li> <li>処理割合</li> <li>の活動の場が広が</li> </ul>	では、     できる。       公園利用者の増生       住みやすい町になる。       ションの場として利用・       平成16年度(実績)       112件       り、景観の向上が図れる	加 活用する市民が <mark>平成17年度(</mark> 138年	増える。 <mark>(実績)</mark> ‡	平成 1	8年度	<b>(目標)</b>	平成 1	9年度(	
事対象	の目的 ・意 図 き トカム	対 対象力 意 (対象を言 な 中成果指標	(アイン) <t< th=""><th>対 多 道路の 美しい 苦情が、 平成 苦情が 市民の 平成</th><th>R 数 (a) 260 の機能が維持できない 計算機の保持, 体数 遊び、レクレー 15年度(実績) 109件 処理割合 の活動の場が広が 15年度(実績)</th><th><ul> <li>(人) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1</li></ul></th><th>加 活用する市民が <mark>平成17年度(</mark> 138件。 <mark>平成17年度(</mark></th><th>増える。 <b>(実績)</b> ‡</th><th>平成 1</th><th></th><th><b>(目標)</b></th><th>平成 1</th><th></th><th></th></t<>	対 多 道路の 美しい 苦情が、 平成 苦情が 市民の 平成	R 数 (a) 260 の機能が維持できない 計算機の保持, 体数 遊び、レクレー 15年度(実績) 109件 処理割合 の活動の場が広が 15年度(実績)	<ul> <li>(人) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1</li></ul>	加 活用する市民が <mark>平成17年度(</mark> 138件。 <mark>平成17年度(</mark>	増える。 <b>(実績)</b> ‡	平成 1		<b>(目標)</b>	平成 1		
事対象	の目的 ・意 図 き トカム	対 対象カ 意 対象を な 中成果指標 最終	(ア)	対 多 道路の 美しい 苦情が、 平成 苦情が 市民の 平成	<ul> <li>数 (a) 260</li> <li>の機能が維持できない景観の保持,</li> <li>件数</li> <li>遊び、レクレー・</li> <li>15年度(実績)</li> <li>109件</li> <li>処理割合</li> <li>の活動の場が広が</li> </ul>	では、     できる。       公園利用者の増生       住みやすい町になる。       ションの場として利用・       平成16年度(実績)       112件       り、景観の向上が図れる	加 活用する市民が <mark>平成17年度(</mark> 138年	増える。 <b>(実績)</b> ‡	平成 1	8年度	<b>(目標)</b>	平成 1	9年度(	
事対 大 ア指	の・ き カ標	対 対 意 対象 た 中 成 最 果 指標 終標	が (注語) 目 指考年指指考年指 (指表) 標標方 標標方 標 (相対) 標 (日本) は (日	対多道路は、芸穂平田の大学の大学では、大学の大学の大学では、大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大	<ul> <li>数 (a) 260</li> <li>の機能が維持できない景観の保持,</li> <li>件数</li> <li>遊び、レクレー・</li> <li>15年度(実績)</li> <li>109件</li> <li>処理割合</li> <li>の活動の場が広が</li> <li>15年度(実績)</li> <li>100%</li> </ul>	<ul> <li>(3 m) 受益数</li> <li>(4 公園利用者の増生をおいずになる。</li> <li>(5 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li< th=""><th>加 活用する市民が <mark>平成17年度(</mark> 138年 。 <mark>平成17年度(</mark> 1009</th><th>増える。 <b>(実績)</b> ‡</th><th>平成 1</th><th>8年度</th><th><b>(目標)</b></th><th>平成 1</th><th>9年度(</th><th></th></li<></ul>	加 活用する市民が <mark>平成17年度(</mark> 138年 。 <mark>平成17年度(</mark> 1009	増える。 <b>(実績)</b> ‡	平成 1	8年度	<b>(目標)</b>	平成 1	9年度(	
事対 大 ア指	の目的 ・意 図 き トカム	対 対 意 対象 た 中 成 最 果 指標 終標	が (注語) 目 指考年指指考年指 (指表) 標標方 標標方 標 (相対) 標 (日本) は (日	対多道路は、芸穂平田の大学の大学では、大学の大学の大学では、大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大	<ul> <li>数 (a) 260</li> <li>の機能が維持できない景観の保持,</li> <li>件数</li> <li>遊び、レクレー・</li> <li>15年度(実績)</li> <li>109件</li> <li>処理割合</li> <li>の活動の場が広が</li> <li>15年度(実績)</li> <li>100%</li> </ul>	<ul> <li>(人) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1</li></ul>	加 活用する市民が <mark>平成17年度(</mark> 138年 。 <mark>平成17年度(</mark> 1009	増える。 <b>(実績)</b> ‡	平成 1	8年度	<b>(目標)</b>	平成 1	9年度(	
事対 大 ア指	の・ き カ標	対 対 意 対象 た 中 成 最 果 指標 終標	が (注語) 目 指考年指指考年指 (指表) 標標方 標標方 標 (相対) 標 (日本) は (日	対多道路は、芸穂平田の大学の大学では、大学の大学の大学では、大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大	<ul> <li>数 (a) 260</li> <li>の機能が維持できない景観の保持,</li> <li>件数</li> <li>遊び、レクレー・</li> <li>15年度(実績)</li> <li>109件</li> <li>処理割合</li> <li>の活動の場が広が</li> <li>15年度(実績)</li> <li>100%</li> </ul>	<ul> <li>(3 m) 受益数</li> <li>(4 公園利用者の増生をおいずになる。</li> <li>(5 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li< th=""><th>加 活用する市民が <mark>平成17年度(</mark> 138年 。 <mark>平成17年度(</mark> 1009</th><th>増える。 <b>(実績)</b> ‡</th><th>平成 1</th><th>8年度</th><th><b>(目標)</b></th><th>平成 1</th><th>9年度(</th><th></th></li<></ul>	加 活用する市民が <mark>平成17年度(</mark> 138年 。 <mark>平成17年度(</mark> 1009	増える。 <b>(実績)</b> ‡	平成 1	8年度	<b>(目標)</b>	平成 1	9年度(	
事対 大 ア指 芦	の・ き カ標の	対 対 象 カ 意 対 象 を を は 中 成 最 根 標 格 標	が (注語) 目 指考年指指考年指 (表す) と で は 標方 標標方 標 ない の 名式 度値名式 度値	対	<ul> <li>数 (a) 260</li> <li>の機能が維持できない景観の保持,</li> <li>件数</li> <li>遊び、レクレー・</li> <li>15年度(実績)</li> <li>109件</li> <li>処理割合</li> <li>の活動の場が広が</li> <li>15年度(実績)</li> <li>100%</li> </ul>	<ul> <li>(3 m) 受益数</li> <li>(4 公園利用者の増生をおいずになる。</li> <li>(5 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li>(7 回収をして利用・</li> <li< th=""><th>加 活用する市民が <mark>平成17年度(</mark> 138年 。 <mark>平成17年度(</mark> 1009</th><th>増える。 (実績)                </th><th>平成 1</th><th>8年度</th><th>(目標)</th><th>平成 1</th><th>9年度(</th><th><mark>目標)</mark></th></li<></ul>	加 活用する市民が <mark>平成17年度(</mark> 138年 。 <mark>平成17年度(</mark> 1009	増える。 (実績)               	平成 1	8年度	(目標)	平成 1	9年度(	<mark>目標)</mark>
事対 大 ア指 声 3	の・ き カ 屋 業費	対対象の対象を言います。 中成 最成 特 動配 活動配	が に 目 指 考年 指 指 考年 指 と か の 名 式 度 値 名 式 度 値 と ト	対	<ul> <li>数 (a) 260</li> <li>の機能が維持できない景観の保持,</li> <li>件数</li> <li>遊び、レクレー・</li> <li>15年度(実績)</li> <li>109件</li> <li>処理割合の活動の場が広が</li> <li>15年度(実績)</li> <li>100%</li> <li>・要望については、</li> </ul>	<ul> <li>(7) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1</li></ul>	活用する市民が 平成17年度( 138年。 平成17年度( 1009 る。	増える。 (実績) + (実績) 6	平成 1平成 1	8年度 8年度 18年度 1910 (円)	(目標)	平成 1	9年度(	<mark>目標)</mark>
事対 大 ア指 芦	の・ き カ標の	対対象の対象を言いて、対対の対象を言いて、対対の対象を言いて、対対の対象を言いて、対対の対象を言いて、対対の対象を言いて、対対の対象を言いて、対対の対象を言いて、対対の対象を言いて、対対の対象を言いて、対対の対象を言いて、対対の対象を言いて、対対の対象を言いて、対象を言いな、対象を言いな、なる、対象を言いて、対象を言いて、対象を言いて、対象を言いて、なる、言いな、なる、なる、なる、なる、なる、ない、なる、なる、なる、なる、なる、なる、なる、なる、なる、なる、なる、なる、なる、	The state of t	対	<ul> <li>数 (a) 260</li> <li>の機能が維持できれる</li> <li>か景観の保持,</li> <li>件数</li> <li>遊び、レクレー</li> <li>15年度(実績)</li> <li>109件</li> <li>処理割合の活動の場が広が</li> <li>15年度(実績)</li> <li>100%</li> <li>・要望については、</li> <li>15年度(決算)</li> </ul>	<ul> <li>(7) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1</li></ul>	加 活用する市民が <mark>平成17年度(</mark> 138件 。 <mark>平成17年度(</mark> 100?	増える。 (実績) は (実績) (実績) (大) (大)	平成 1平成 1	8年度	(目標)	平成 1	9年度(	<mark>目標)</mark>
事対 大 ア指 声 3	の・ き カ標 の 費業人	対対 象 カカ 意対 な 中成 最成 特 配費費	<ul> <li>( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )</li></ul>	対	<ul> <li>数 (a) 260</li> <li>の機能が維持できれる</li> <li>か景観の保持,</li> <li>件数</li> <li>遊び、レクレー</li> <li>15年度(実績)</li> <li>109件</li> <li>処理割合の活動の場が広が</li> <li>15年度(実績)</li> <li>100%</li> <li>・要望については、</li> <li>15年度(決算)</li> <li>14,919</li> </ul>	<ul> <li>(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)</li></ul>	活用する市民が 平成17年度( 138件 。 平成17年度( 100% る。	増える。 (実績) ‡ (実績) (大調) (決算) 13,161	平成 1平成 1	8年度 8年度 18年度 1910 (円)	(目標) (目標)	平成 1	9年度(	<mark>目標)</mark>
事対 大 ア指 芦 3事	の・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	対対 象 か 意対 な 中成 最成 特 配費費費	<ul> <li>( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )</li></ul>	対	<ul> <li>数 (a) 260</li> <li>の機能が維持できれる</li> <li>か景観の保持,</li> <li>件数</li> <li>遊び、レクレー</li> <li>15年度(実績)</li> <li>109件</li> <li>処理割合の活動の場が広が</li> <li>15年度(実績)</li> <li>100%</li> <li>・要望については、</li> <li>15年度(決算)</li> </ul>	<ul> <li>(7) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1</li></ul>	活用する市民が 平成17年度( 138件 。 平成17年度( 100% る。	増える。 (実績) は (実績) (実績) (大) (大)	平成 1平成 1	8年度 8年度 18年度 1910 (円)	(目標)	平成 1	9年度(	<mark>目標)</mark>
事対 大 ア指 芦 <b>3</b> 事 内	の・	対対 意対な 中成 最成 特 動 経界 と は と は かん は は と は かん は かん は かん は かん は	<ul> <li>( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )</li></ul>	対	<ul> <li>数 (a) 260</li> <li>の機能が維持できれる</li> <li>か景観の保持,</li> <li>件数</li> <li>遊び、レクレー</li> <li>15年度(実績)</li> <li>109件</li> <li>処理割合の活動の場が広が</li> <li>15年度(実績)</li> <li>100%</li> <li>・要望については、</li> <li>15年度(決算)</li> <li>14,919</li> </ul>	<ul> <li>(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)</li></ul>	活用する市民が 平成17年度( 138件 。 平成17年度( 100% る。	増える。 (実績) ‡ (実績) (大調) (決算) 13,161	平成 1平成 1	8年度 8年度 18年度 1910 (円)	(目標) (目標)	平成 1	9年度(	<mark>目標)</mark>
事対 大 ア指 芦 <b>3</b> 事 内	の・	対対 象 か 意対 な 中成 最成 特 配費費費	<ul> <li>( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )</li></ul>	対	<ul> <li>数 (a) 260</li> <li>の機能が維持できれる</li> <li>か景観の保持,</li> <li>件数</li> <li>遊び、レクレー</li> <li>15年度(実績)</li> <li>109件</li> <li>処理割合の活動の場が広が</li> <li>15年度(実績)</li> <li>100%</li> <li>・要望については、</li> <li>15年度(決算)</li> <li>14,919</li> </ul>	<ul> <li>(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)</li></ul>	活用する市民が 平成17年度( 138件 。 平成17年度( 100% る。	増える。 (実績) ‡ (実績) (大調) (決算) 13,161	平成 1平成 1	8年度 8年度 18年度 1910 (円)	(目標) (目標)	平成 1	9年度(	<mark>目標)</mark>
事対 大 ア指 芦 <b>3</b> 事 内	の・	対対 意対な 中成 最成 特 動	(ボード) (ボード	対りの対応を対しては、対応は、対応は、対応は、対応は、対応は、対応は、対応は、対応は、対応は、対応	<ul> <li>数 (a) 260</li> <li>の機能が維持できれる</li> <li>か景観の保持,</li> <li>件数</li> <li>遊び、レクレー</li> <li>15年度(実績)</li> <li>109件</li> <li>処理割合の活動の場が広が</li> <li>15年度(実績)</li> <li>100%</li> <li>・要望については、</li> <li>15年度(決算)</li> <li>14,919</li> </ul>	<ul> <li>(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)</li></ul>	活用する市民が 平成17年度( 138件 。 平成17年度( 1009 る。 1世帯当り(円) 平成17年度(	増える。 (実績) ‡ (実績) (大調) (決算) 13,161	平成 1平成 1	8年度 8年度 18年度 1910 (円)	(目標) (目標)	平成 1	9年度(	<mark>目標)</mark>
事対 大 ア指 芦 <b>3</b> 事 内	の・	対対 意対な 中成 最成 特 動	(ボーン を) (ボール	対りの対応を対しては、対応は、対応は、対応は、対応は、対応は、対応は、対応は、対応は、対応は、対応	<ul> <li>数 (a) 260</li> <li>の機能が維持できない景観の保持,</li> <li>件数</li> <li>遊び、レクレー</li> <li>15年度(実績)</li> <li>109件</li> <li>処理割合の活動の場が広が</li> <li>15年度(実績)</li> <li>100%</li> <li>・要望については、</li> <li>15年度(決算)</li> <li>143,698</li> </ul>	<ul> <li>(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)</li></ul>	活用する市民が 平成17年度( 138件 。 平成17年度( 1009 る。 1世帯当り(円) 平成17年度(	増える。 (実績)   	平成 1平成 1	8年度 8年度 18年度 1910 (円)	(目標) (目標)	平成 1	9年度(	<mark>目標)</mark>
事対 大 ア指 芦 3 事 内 f T T T T T T T T T T T T T T T T T T	の・	対対 意対な 中成 最成 特 動	(ボーン を) (ボール	対りの対応を対しては、対応は、対応は、対応は、対応は、対応は、対応は、対応は、対応は、対応は、対応	<ul> <li>数 (a) 260</li> <li>の機能が維持できない景観の保持,</li> <li>件数</li> <li>遊び、レクレー</li> <li>15年度(実績)</li> <li>109件</li> <li>処理割合の活動の場が広が</li> <li>15年度(実績)</li> <li>100%</li> <li>・要望については、</li> <li>15年度(決算)</li> <li>143,698</li> </ul>	<ul> <li>(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)</li></ul>	活用する市民が 平成17年度( 138件 。 平成17年度( 1009 る。 1世帯当り(円) 平成17年度(	増える。 (実績)   	平成 1平成 1	8年度 8年度 18年度 1910 (円)	(目標) (目標)	平成 1	9年度(	<mark>目標)</mark>
事対 大 ア指 芦 3 事 内 ( 財 業 ) 財 ( ) 財 ( ) 財 ( ) 対 (	の・	対対 意対な 中成 最成 特動 経却 県等	(アイン・ボール・ボール・ボール・ボール・ボール・ボール・ボール・ボール・ボール・ボール	対りの対応を対しては、対応は、対応は、対応は、対応は、対応は、対応は、対応は、対応は、対応は、対応	<ul> <li>数 (a) 260</li> <li>の機能が維持できない景観の保持,</li> <li>件数</li> <li>遊び、レクレー</li> <li>15年度(実績)</li> <li>109件</li> <li>処理割合の活動の場が広が</li> <li>15年度(実績)</li> <li>100%</li> <li>・要望については、</li> <li>15年度(決算)</li> <li>143,698</li> </ul>	<ul> <li>(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)</li></ul>	活用する市民が 平成17年度( 138件 。 平成17年度( 1009 る。 1世帯当り(円) 平成17年度(	増える。 (実績)   	平成 1平成 1	8年度 8年度 18年度 1910 (円)	(目標) (目標)	平成 1	9年度(	<mark>目標)</mark>
事対 大 ア指 芦 3 事 内 f T T T T T T T T T T T T T T T T T T	の・	対 対 対 対 う ま う な 中 果 指 指 り に し る に し る し る し る し る し る し る し る し る	(ボート) (ボート	対 第 当 当 当 当 当 当 当 当 当 当 当 当 当 当 当 当 計 引 民成 書 下 平 書 吉 市 平 書 吉 市 平 書 吉 中 成	R 数 (a) 260 の機能が維持でき い景観の保持, 件数 遊び、レクレー: 15年度(実績) 109件 処理割合 の活動の場が広が 15年度(実績) 100% ・要望については、 15年度(決算) 143,698	<ul> <li>(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)</li></ul>	活用する市民が <mark>平成17年度(</mark> 138件。。 <mark>平成17年度(</mark> 1009 る。	増える。 (実績) (実績) (大算) 13,161 151,515	平成 1平成 1	8年度 8年度 18年度 1910 (円)	(目標) (目標)	平成 1	9年度(	<mark>目標)</mark>
事対 大 ア指 芦 3事 内 ( 財 f H H H H H H H H H H H H H H H H H H	の・	対対 意対な 中成 最成 特動 経却 県等	(ボート) (ボート	対 第 当 当 当 当 当 当 当 当 当 当 当 当 当 当 当 当 計 引 民成 書 下 平 書 吉 市 平 書 吉 市 平 書 吉 中 成	<ul> <li>数 (a) 260</li> <li>の機能が維持できない景観の保持,</li> <li>件数</li> <li>遊び、レクレー</li> <li>15年度(実績)</li> <li>109件</li> <li>処理割合の活動の場が広が</li> <li>15年度(実績)</li> <li>100%</li> <li>・要望については、</li> <li>15年度(決算)</li> <li>143,698</li> </ul>	<ul> <li>(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)</li></ul>	活用する市民が <mark>平成17年度(</mark> 138件。。 <mark>平成17年度(</mark> 1009 る。	増える。 (実績)   	平成 1平成 1	8年度 8年度 18年度 1910 (円)	(目標) (目標)	平成 1	9年度(	<mark>目標)</mark>
事対 大 ア指 芦 3事 内 ( 財 f H H H H H H H H H H H H H H H H H H	の・	対 対 対 対 う ま う な 中 果 指 指 り に し る に し る し る し る し る し る し る し る し る	ポーマ 図 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	対 3	R 数 (a) 260 の機能が維持でき い景観の保持, 件数 遊び、レクレー: 15年度(実績) 109件 処理割合 の活動の場が広が 15年度(実績) 100% ・要望については、 15年度(決算) 143,698	<ul> <li>(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)</li></ul>	活用する市民が <mark>平成17年度(</mark> 138件。。 <mark>平成17年度(</mark> 1009 る。	増える。 (実績) (実績) (大算) 13,161 151,515	平成 1平成 1	8年度 8年度 18年度 1910 (円)	(目標) (目標)	平成 1	9年度(	<mark>目標)</mark>
事対 大 ア指 芦 3事 内( 財 活 業	の・ ト 星業 (駅) 源) 動目意 き カ 星業 (人事他)減 (合国市そ一職的図 (人事)	対対意対な中成最成特別を経知を指指を標準を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	ポーマ 図 (T) (T) (T) (T) (T) (T) (T) (T) (T) (T)	対 3 道 美 苦憩平 苦市平成 苦情 アルス	R 数 (a) 260 の機能が維持でき い景観の保持, 件数 遊び、レクレー 15年度(実績) 109件 処理割合 の活動の場が広が 15年度(実績) 100% ・要望については, 15年度(決算) 143,698	<ul> <li>(3 m) 受益数</li> <li>(4 ないできる限り早く対応す</li> <li>(3 の できる限り早く対応す</li> <li>(3 の できる限り早く対応す</li> <li>(3 の の できる限り早く対応す</li> <li>(3 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の</li></ul>	活用する市民が <b>平成17年度</b> ( 138件。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	増える。 (実績) (実績) (実績) (決算) 13,161 151,515	平成 1平成 1	8年度 8年度 18年度 1910 (円)	(目標) (目標)	平成 1	9年度(	<mark>目標)</mark>

		田(チェック									LT /T -	£ 11 =							I	
l	評	価	視	点		+14-1-18		<b></b> .				ックリス	(		1 // 574		<b>—</b>	0 /FT	1次評価	2次評価
	<b>±</b>	対象カバ		• •		対象カバ			A   -		体と同		D 4 +		他団体は					
	有	受益者(	1~	1)		事業意図									または受済		別こは	正		
	効	成果の乳	実績(2	~ 1)	1					をし、目標値							ı. <del></del>	451.1	4	4
	141									こいると言え	<u> </u>		□ 天刹	貝怛から放	果があがっ	CNS	と言え	W11	•	•
	性	- 成果向」	上余地	!(1 ~ 1)		果があがっ		い場合	i 									L+ 1 4 1		
ŀ	4点					成果向上 比較でき		がキュ	<u> </u>	日本名	尼尼	市·西宮	<del>-</del> -		] レホカーズキ	7 EI /±		持になし		
									<b>7</b> 117	団体名 活動配	š	100 . 연결	5 ID		比較でき			١		
		活動配名	ने(1 ~	1)	1	他団体の			CUS		カ 団体と同	110 庄			〕把握して 〕他団体よ					
	効					ロールロ ハ,または			皿山	ושו עו	제(本)다	住反			ाणाम् ४	いろい				
	~/3					<u>バ, または</u> 比較でき			<b>垤田</b>	 団体名	尼尼	市·西宮	市		比較でき	る団体	[+ <i>†</i> \) [	١		
						比戦して			アハス	単位コ	i		לויב 1,595		〕 比戦して			1		
		単位コス	\	1)	1	☑他回				□ 他			1,000	i —	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	-		١		
	率					ハ,または				اقا ا	31/4CI	11±1又				17171	/J. Iel A		-1	-3
										郭団体へ委	託してし	る業務	につい	T						
										けられている					地域等が担	ヨうべき	部分が	゚ある		
	性	手段(1~	3)							できない業剤					PO等)で対					
	4点									きない業務					員等で対応					
						コスト削洞								こ行ってい		0. 1110				
		コスト削	減取糾	且(1~ 1)	Ī	内容														
Ī	TT = 4	о <i>с</i> е с	D ±17	<b>/</b>				Α												
ľ	<del>平</del> 成 T 及 7,5	6 年 度 6 改 善 6	ァ ア ア	1111 内谷 1111 中	評価	価結果		Α		17年度に実	1100	改善し	, 効果 <sup>;</sup>	を得た						
	(評価カ	がない場合	は記	載不要)			✓	В	<i>∪7</i> ≥1	改善の方向		改善し	たが , タ	効果がない	١ 🗆	改 <b>き</b> かっ	<b>∮しな</b>			
H						開発生に	伴い	児音法	語名		1П ]	新設 さ	らわて	1~9年	は手を入			総合	В	В
Į.	平 成	1 8	年	度に		がた サバ いく。	- IT- V -,	儿里四	[EK], [2	可加口の ひつり				そ得ていく		4014	D	評価		
1	実施	する。			課題						内容		/ W// J C	-10 - 1	0					
	(	必	須	)																
L	5 今後	後の対応	(アク	ション)																
Ī	- , ,	2-1-1-1-0	( , , ,																	
	現在記	忍識して	T 11	る課題	苦情	が増える	と,管:	理費用	むなど	の問題があ	る。									
		係者市民	,関係	者の名称																
	からの		. 要	望内容																
Ŀ	要 望	等点力	, , ~																	
				対応内容																
		( 1	· -	ch+/-+070			<i>F</i>		1											
ı,	課題·要	±8 55		実施期限	半成		年		月											
l	禄思'安	:至寺	) )	対応内容																
ı,	へのタ		_	実施期限	亚最		年		月											
	` 0, ,	,, ,,,,			十八八				71											
		(3	3)	対応内容																
		,	·	実施期限	平成		年		月											
Ī		-			1															
ı,	その他	考えられ	れる																	
l	改善の	カアイラ	デア																	
																_				2次評価
																		充 実		0
																		維持		0
																	法			•
ŀ	平成 1	9 ~ 2 1 年	₣度0	の方向性												民	間委	託等		0
																縮			0	0
																		期設定	_	0
ļ																廃	止 /	休止	O	0
	2 次 評	価委員	会	コメント	地域	や沿道住	民の協力	力拡大	に向け	て、アクシ	ョンブ	ランを	作成し	て進めて	ください。					
1																				
					1															

1	北次	7 击	<del>41k</del> /	車 ※	- L	14400	040				<b> → D</b>	E Va		El÷⊞	E
(	12 貝	1 #	来 )	事業	□ - F	4130	010				部	長次		長課	長
4	ヹ成1	1 7 £	丰度	事	業 名	六麓	荘地区都市基盤整	備事業							
Ľ															
1	事	業	概引	要(ドゥ)											
穿	93次	芦	室市	まちづく	(りの目標	4	快適でうるおいの	ある都市づくり				<b></b> 建設	部		
	合				中	1		高い市街地の形成			所	管課下水	道課		
	女策				<u>'</u>	_	市街地の整備	14 - 11 - 14 - 17 - 17 - 17 - 17 - 17 -			<b>所答</b> 意	<b>果長氏名</b> 藤井			
口		, ne	系系		細	J	中国区域					者氏名西村			
事			業	其		4-17	C 年 4 日 - 亚巴 0	0年9日 地名库里	17. 4n./hr	r⁄en+				<b>中</b> 4	0014
		•n					6年4月~平成2	0年3月 投資臨時	☑ 投資 □	品吁		番号		内線	2314
柜		UL.				下水						主体市			
美			施	手		V		□ 一部委託	□ 全部委託			助金	□ 負担会	金	
委	Ž.			託	先	, 🗆	外郭団体委託	名称		□ 民間	委託 委	託内容			
						• 汚	水管整備 L=5,	353m (29.3ha)							
事	<b></b>	業	¥	の	概 要	<ul><li>雨</li></ul>	水管整備 L=1,	633m (21.9ha)							
						<ul><li>道</li></ul>	路整備延長 L=5,	048m (32, 200 m²)							
						・下	水道事業計画,各	種工事の設計管理							
						・自	治会, 地元住民,	<b>芦屋学園等との協議調</b>	と						
事	Ī.	業	¥	Ø	現 状	• 雷	線類地中化を目的	とした各道路占用者との	り協議調整						
1		7	`		-70 17		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		70377277.3						
		F	1055	€現のため	<b>h</b> Φ										
		-													
		Ŧ	一ド文人	及び実施を	7 <del>1台</del>										
					116 15		># 1:1: -+								
					指標 名										
				結果指標				事業費/計画事業費							
				(1)	年 度	平成	,15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成 ′	18年度(目標	半) 平成	19年度(目	目標)
ア	7ウト	トプ	ット		指標 値	i	65.7	76.3	85.0			93.9		100	
排	í		標		指標 名	汚水	管整備率								
				結果指標				み延長/計画整備延長							
				(2)				平成16年度(実績)	平成17年度	(宝績)	平成 ′	18年度(目標	三) 亚成	19年度(目	ヨ煙 )
				(2)	指標値	_	68.3	77.2	89.3		1 12%	100	1 12%	13 1/2 (	11111
_	#	3 <del>3 1 1</del>	ct; E	見(アウ		•	00.0	11.2	03.3			100			
	· <del> </del>	*未	リスフ	K(J')	rna)										
				対	象	六麓	荘地区の住民及び	地区の道路等の利用者							
_	業(														
Ż.	才象	・意	] 图				**#サーマッハサイ	*************************************	地区の無井四	本ナコムギ	ナフ				
				意	义			水道を整備することで, 備により,地区の交通和			90.				
				(対象を	主語にして)	,	起任心口一一人	m(CG), 2007	7001, 2011	.+>  -1,1,1,10					
							1.34.46.77	- L la	rm (축	- 7					
ナ	7	ð	Ť	な	目 的	· 下	水道普及率100%に 通利便性,安全性	こより,地区住民の衛生 が向上する	環境が改善され	<b>いる。</b>					
						• 🗴	<b>进利民性,女主性</b>	が同工する。							
H							指標名	指標値				考え方・式			
				中間	(1)		3H 100 H	3413/12	敕供社会thti	のて水道	並乃茲君	±100%にするこ	ナブ ハサ	田水はの水魚	近た。
-	7 ウ	L +	, /,	-T- 16	( )		下水道普及率	100%	全する。	の下小垣	百以华农	£100%1c9 ac	.cc, 43,	用小塊切小具	退で休
				rt m +6 +2	<b></b>				-	o = /o *=		L //			11
				成果指標	(2)		電線類地中化	100%		の電線類	を元全地	也中化することで	:,戸屋らし	い景観を創出	119
(	事業	元	1)						<b>ర</b> .						
				最終点	以果 指 標										
					N 214 3H 13										
						電線	類地中化により町	の美観が向上する。							
芦	屋屋	もの	特包	色など補足	足する事項	į									
3	:	業	費·	活動配	分(コスト	)			平成18.4.1住民	基本台帳	1世帯	当り(円) 54,	.008 住民1	人当り(円) 2	23,670
4			業	<b>費</b>			,15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度	(決算)	歳出	累計額(決算	) 事業計	貴総額(決算+	- 計画)
F		П.	<del></del>	件 費		, .	12,848	11,869		13,944		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	-	i	_
		3	<u>へ</u> 事	業費			277,343	158,317		144,699		2,151,	250	2 56	66,932
,,				門 経費		-	70,770	62,374		70,493		2,101,	-50	2,00	3,302
内						0	10,110	02,374		10,493					-
(	十片			償却費			000.00	500 HCC		000 400			-		
		_		計		-	360,961	232,560		229,136			-		-
		Ľ	玉	· 県			70,500	43,505		19,821		365,			55,499
則		源「		債 等		Ď	193,400	106,895		117,643		1,082,	391	1,30	08,052
(	千円	])		の他	3	L									
		-	- A	段 財 湯	40.09	6	97,061	82,160		91,672			-		-
泪	5	動耳		員	100.0%	,	1.75	1.70		1.95					
西面				·臨時等											
	人	) 1		ii			1.75	1.70		1.95					
		/ /	_	A I	100.07	"	1.70	1.70							

	匠(チェック)																		
評	価	視点						評	価チェ	ックリ							12	欠評価	2次評価
<del>111</del>	目的妥当性	±(2 ~ 2)		事業の主											交ることがて				
妥							,	または貢献	状が高い	l I					は高くない				
	+	*(O 4)	1	市民二一			丁うべき	事業							行う事業で				
当	市民ニース	((2 ~ 1)		<b>→</b> □ =				<b>6</b> 224	\	FF ← 日 1 —		ニースカ	い高いと	は言え	ない,また			6	3
_								自治会力		学堂に		- 1 A TEN	* - *	// 1	•	未把握	_	_	
441	社会環境変	芝化(1~ 1)			; · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			適応してい	15		<u></u>	<b>社会</b> 塌,	見の変化	化にあれ	つせた見直	しか必要			
性	/百 <del>/                                     </del>	(4)			電線類			4.A D.A	<u>۸</u> ۳	3 <del>4</del>	lo 7						_		
6点	優先性,緊							生命,安全				- <del> </del>	赦人	++.1+5	2 <del>} 4</del> √ 10 ± 17	-79 🗢			
<del>_</del>	受益者(1~	1)		事業意図				。 標値を設定							を益が一部 バナギコ λ	に限正			
有効	進捗状況(2	2 ~ 1)	1					標値を設み ていると言え				美煩但。 当初計區			が未記入 マハス			3	3
性				画から遅れ				CNSCE	เจ		ш.	ם ו הנער ו	可い.つか	生10/J・ロ	1600			3	3
4点	- 進捗改善名	除地(1~ 1)		改善策あ		. ער פירו	<u>п</u>									特になし			
7.55				比較でき		がある		団体名	兵庫	県下			ΤП	比較で	<u>ー</u> きる団体は				
				他団体の			ている	単位コス	1		同一	<b>基準</b>	•••		ていない	7 <b>5.</b> V 1			
効	コスト(1~	1)	1 1	□他□				☑ 他回		·					よりコストが	高い			
				ー .こ. い , または					<u> </u>	31-10	ī					1-04			
								外郭団体/	∖委託	してい	る業績	務につい	17					4	^
率	T = 0./4	0)						られている						域等が	担うべき部	分がある		1	0
	手段(1~	3)	V	民間(企業	業 , NPO€	等)では	対応で	きない業務	である			民間(企	業 , NP	O等)で	対応可能で	ゔある			
性								ない業務で				嘱託,篮	時職員	員等で対	が応可能で	ある			
3点	コスト削減	取組(1~ 1)		コスト削源	或の取り約	組みを征	うってい	3			_ !	特に行っ	ていた	۲J.					
		4X 和且( 1 ~ 1)	<b>→</b>	内容															
平 成 16	6 年 度 の	評価内容	F			Α		年度に実		改善	し,対	果を得	た						
及び	改善の	方向性	三 評	価結果	V	В		改善の方向	J	改善	したた	が,効果	がな		改善し				
(計 1四 7)	、 ない場合 la	L 記 戦 小 安)	'				性		Ш	i)					かった	総合	_		
平成	1 8 :	年 度 に														評化		A	В
実施	する改	牛 度 に 善内容	課題	工事費の	)削減					•	ト削	減の取り	り組み	を継続	していく。				
(		須 )							内容	ř									
[ 众经	<u> </u>	フクシュンハ																	
5 今後	後の対応(フ	7クション)																	
	<b>後の対応(7</b> 忍識して																		
現在談		いる課題																	
現在談	窓識して	いる課題	i																
現在調市民,関	窓識して	いる課題	i																
現在 調市民,関からの	窓識して 係者市民, 間意見音 目	いる課題 関係者の名称 要望内容	i i																
現在 調市民,関からの	窓識して 係者市民, 間意見音 目	いる課題	i i																
現在 調市民,関からの	図識して 係者市民, 問意見 意見,	いる課題 関係者の名称 要望内容	7		年		月												
現在 調市民,関からの	図 識 し て 係者 市民, ほ 意 見 , (1)	いる課題 関係者の名称 要望内容 対応内容 実施期限	平成		年		月												
現在説のでは、関のでは、関いては、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いで	双識 して 係者 市民, 原意見, 等 意見, (1)	に る 課 題 関係者の名称 要 望 内 容 対応内容 実施期限 対応内容	平成																
現在 部市民,関か要望	双識 して 係者 市民, 原意見, 等 意見, (1)	いる課題 関係者の名称 要望内容 対応内容 実施期限	平成		年		月												
現在説のでは、関のでは、関いては、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いで	忍識して 係者市民,原意見, (1) 望等 (2)	に る 課 題 関係者の名称 要 望 内 容 対応内容 実施期限 対応内容	平成平成																
現在説のでは、関のでは、関いては、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いで	双識 して 係者 市民, 原意見, 等 意見, (1)	に る 課 題 関係者の名称 要 望 内 容 対応 期限 対応 施期限 対応 内限 対応 内限	平成平成		年		月												
現在説のでは、関のでは、関いては、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いで	忍識して 係者市民,原意見, (1) 望等 (2)	に る 課 題 原 者 の 名称 要 望 内 容 対応内 解 対応内容 実施期限	平成平成																
現在類に、関が、要は、関が、要は、関が、要は、関が、要は、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、ので	認識 して 係者 意見, 意見, (1) 望等 (2)	1 る 課題 割 名 物 容 図 内 内 脚 対 実 対 実 対 定 応 応 応 応 応 応 応 応 応 が 実 対 変 が 実 が 変 が 実 が 変 が 実 が 変 が 実 が 変 が 変 に か が 実 が 変 に か に が ま か に か に か に か に か に か に か に か に か に か	平成平成		年		月												
現市か要課へそのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	認識 して 係者 意見, 意見, (1) 望等 (2) (3)	11 る 課題 関係者 望 内 内 解 内 施 施 内 内 限 容 で 放 施 が 実 対 定 施 期 限 容 実 対 定 施 期 限 容 取 の 取 の 取 の 取 の 取 の 取 の 取 の 取 の 取 の の 取 の の 取 の の 取 の	平成平成		年		月												
現市か要課へそのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	認識 して 係者 意見, 意見, (1) 望等 (2)	11 る 課題 関係者 望 内 内 解 内 施 施 内 内 限 容 で 放 施 が 実 対 定 施 期 限 容 実 対 定 施 期 限 容 取 の 取 の 取 の 取 の 取 の 取 の 取 の 取 の 取 の の 取 の の 取 の の 取 の	平成平成		年		月									の方向	性 12	た鉱価	2次築価
現市か要課へそのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	認識 して 係者 意見, 意見, (1) 望等 (2) (3)	11 る 課題 関係者 望 内 内 解 内 施 施 内 内 限 容 で 放 施 が 実 対 定 施 期 限 容 実 対 定 施 期 限 容 取 の 取 の 取 の 取 の 取 の 取 の 取 の 取 の 取 の の 取 の の 取 の の 取 の	平成平成		年		月									の方向		_	
現市か要課へそのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	認識 して 係者 意見, 意見, (1) 望等 (2) (3)	11 る 課題 関係者 望 内 内 解 内 施 施 内 内 限 容 で 放 施 が 実 対 定 施 期 限 容 実 対 定 施 期 限 容 取 の 取 の 取 の 取 の 取 の 取 の 取 の 取 の 取 の の 取 の の 取 の の 取 の	平成平成平成	19年度完	年	指し事	月	55.							拡大	・充	実〇	ŀ	2 次評価 ○
現市か要課へそのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	認識 して 係者 意見, 意見, (1) 望等 (2) (3)	11 る 課題 関係者 望 内 内 解 内 施 施 内 内 限 容 で 放 施 が 実 対 定 施 期 限 容 実 対 定 施 期 限 容 取 の 取 の 取 の 取 の 取 の 取 の 取 の 取 の 取 の の 取 の の 取 の の 取 の	平成平成平成	19年度完	年	指し事	月	<b>か</b> る。							拡大現。	大 維			0
現 市か要 課 へ で 民 ら り り の の き 他 の の き の も の の も の も の も の も の も の も の も	認識 して 係者 意見, 意見, (1) 望等 (2) (3)	1 る 課 名 容 容 容 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限	平成平成平成平成	19年度完	年	指し事	月	53.							拡	大 維         大 次	実 持 ●	,	○ ●
現 市か要 課 へ で 民 ら り り の の き 他 の の き の も の の も の も の も の も の も の も の も	認識 して (A) (A) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B	1 る 課 名 容 容 容 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限	平成平成平成平成	19年度完	年	指し事	月	かる。							拡	大 維	実 持 ●		○ ● ○
現 市か要 課 へ で 民 ら り り の の き 他 の の き の も の の も の も の も の も の も の も の も	認識 して (A) (A) (A) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B	1 る 課 名 容 容 容 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限	平成平成平成平成	19年度完	年	指し事	月	ეგ.							拡 大 現 方 氏 間 縮	大 維         大 次	実 持 ● 等 ○ 小	1	○ ● ○
現 市か要 課 へ で 民 ら り り の の き 他 の の き の も の の も の も の も の も の も の も の も	認識 して (A) (A) (A) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B	1 る 課 名 容 容 容 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限	平成平成平成平成	19年度完	年	指し事	月	) à.							拡現方民縮統合	大 发 法 改 委 託	<b>実</b> ○ <b>持</b> ● <b>等</b> ○ <b>小</b> ○ <b>定</b>		O ● O O
現 市か要 課 へ で 民 ら り り の の き 他 の の き の も の の も の も の も の も の も の も の も	認識 して (A) (A) (A) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B	1 る 課 名 容 容 容 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限	平成平成平成平成	19年度完	年	省し事:	月	55.							拡現方民縮統合	大 (大 (大 (大 (大 (大 (大 (大 (大 (大 (	<b>実</b> ○ <b>持</b> ● <b>等</b> ○ <b>小</b> ○ <b>定</b>		0 0 0 0
現 市か要 課 へ で 民 ら り り の の き 他 の の き の も の の も の も の も の も の も の も の も	認識 して (A) (A) (A) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B	1 る 課 名 容 容 容 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限	平成平成平成平成	19年度完	年	指し事	月	55.							拡現方民縮統合	大 (大 (大 (大 (大 (大 (大 (大 (大 (大 (	<b>実</b> ○ <b>持</b> ● <b>等</b> ○ <b>小</b> ○ <b>定</b>		0 0 0 0
現市か要課へそ改平在 R S題 の の善 成 関 で0 の善 の善 の善 の善 の善 の善 の善 の善 の善 の善 の善 の善 の善	T   T   T   T   T   T   T   T   T   T	<ul><li>1 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (</li></ul>	平成平成平成平成		年の成を目打		月月		· · · · · · · · · · · · · ·	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	デカレ.				拡現方民縮統合	大 (大 (大 (大 (大 (大 (大 (大 (大 (大 (	<b>実</b> ○ <b>持</b> ● <b>等</b> ○ <b>小</b> ○ <b>定</b>		0 0 0 0
現市か要課へそ改平在 R S題 の の善 成 関 で0 の善 の善 の善 の善 の善 の善 の善 の善 の善 の善 の善 の善 の善	認識 して (A) (A) (A) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B	<ul><li>1 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (</li></ul>	平成平成平成平成		年の成を目打		月月		上進め	てくた	ごさい	\`o			拡現方民縮統合	大 (大 (大 (大 (大 (大 (大 (大 (大 (大 (	<b>実</b> ○ <b>持</b> ● <b>等</b> ○ <b>小</b> ○ <b>定</b>		0 0 0 0
現市か要課へそ改平在 R S題 の の善 成 関 で0 の善 の善 の善 の善 の善 の善 の善 の善 の善 の善 の善 の善 の善	T   T   T   T   T   T   T   T   T   T	<ul><li>1 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (</li></ul>	平成平成平成平成		年の成を目打		月月		- 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	てくた	ごさい	<b>\</b> `0			拡現方民縮統合	大 (大 (大 (大 (大 (大 (大 (大 (大 (大 (	<b>実</b> ○ <b>持</b> ● <b>等</b> ○ <b>小</b> ○ <b>定</b>		0 0 0 0

	- 1112	I 312								1			
(投資事	事業)	事業	コード	41302	210				部長	次	長	課	長
平成17	- 年	<b>=</b>	* 4	去士	屋浜公共下水道整位	<b>/</b> 世							
十 双 1 /	午及	<b>争</b>	業 名	     	至洪公共下小坦楚	佣							
				-			1	•					
1 事	業概	要(ドゥ)											
第3次芦	屋市	まちづく	(りの目標	4	快適でうるおいの	ある都市づくり				建設部			
総合			中			高い市街地の形成			所 管 課	下水道課	1		
				_		II   I   I   I   I   I   I   I   I			C 笠 钿 E C ね	1			
政策			小	3	市街地の整備				所管課長氏名	1			
体	系		細					Ų	記入者氏名	山下 眞	誌		
事	業	期	間	平成8	3年度から平成22年	F度 <b>投資臨時</b>	☑ 投資 □	臨時	電 話 番 号			内線	2 3 1 5
根 拠				下水		3222200	_ *** _	7-1111 3	実施主体			1 5 1.50	
											A 10 A		
実	施	手			直営	一部委託	□ 全部委託		□ 補助金		負担金		
委		託	先		外郭団体委託	名称		□ 民間	委託 <mark> 委託内容</mark>				
									•				
事	業	Ø	概 要	<b>歯帯</b> ₽	<b>忌浜地区(195</b> k	ı a )の公共下水道整備	を行う						
7	*	0)	1144 32	十	主持地区(1201	14) 少五六   小垣正開	G11 ) o						
				・南昇	芦屋浜地区の公共	下水道設計							
事	業	Ø	現 状	• 市往	告地整備事業主休	(兵庫県企業庁潮芦屋團	を備課) との協	諡					
<del></del>	未	0)	-九 1八					PHX.					
				・県分	企業庁と受委託契約	約(下水道整備工事)							
	目的	実現のため	つの										
	手段7	及び実施内	容										
	~ //												
			北 # 4	<u>////</u> /H -	左凯江日志 /ゥ/\								
					布設延長率(%)	<del></del>							
		結果指標	考え方・式	管渠和	布設延長率 = 管渠	布設済延長/全体計画布	設延長						
		(1)	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成18年度	(目標)	平成 1 (	9年度(	目標)
アウト	<b>プ</b> w ト		指標値		54	61	69		75			81	-
					-	-	03		73		<u> </u>		
指	標				道汚水整備面積率								
		結果指標				= 汚水整備面積/全体汚							
		(2)	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成18年度	(目標)	平成 1 (	9 年度 (	目標)
		, ,	指標値		66	74	77		83			89	
2 車当	뿐 ct: E	果(アウ)			-								
<del>ار کا</del> کا	未ルス	木(グラ)	[][][]										
		対	象	南芦	屋浜地区の住民								
事業の	目的												
対象・													
V) 3/			Fixed	the that	ムートウムルエ四	1 to 1 to 1 to 1 to 1							
		怠	_	<b>衛生</b> 日	的で快適な生活環	見の 博楽							
		(対象をΞ	主語にして)										
大	き	な	目 的	下水	首整備による衛生に	的で快適な街づくり							
	_		П	1 /3 **	ZIEMNI – ON DIFFIZI	-7 C) (XZ 6/P) - ( )							
		1			北西石	+15.4.本 /士			*				
					指標名	指標値			考え方・	エレ			
		中 間	(1)	<b>44</b> 37	<b>集布設延長率(%)</b>	60	管渠布設延長3	率 = 22,60	00m(管渠布設済3	延長)/32,	900m(全f	体計画在	5設延
アウト	カム			日牙	F们改些女学(%)	69	長)						
		成果指標											
		ペペーコローホ	(2)	下水	道整備面積率(%)	77	下水道汚水整	備面積率	= 96ha(汚水整備	面積)/125	ha(全体)	5水計画	i面積)
(事業兒	rc J )			<del> </del>		<del>                                     </del>							
		最终成	は果 指 標	ᅮ	水道普及率(%)	100							
		4x 11X	, N 10 1x	'''	·J·COAT(*)	100							
		•											
古层市	の性も	五かど補り	足する事項										
一座巾	V 1 1 1	5 % C 1111 X	こりる手点										
				<u> </u>									
3 事美	業費·	活動配:	分(コスト)	)			平成18.4.1住民	基本台帳	1世帯当り(円)	66,108	住民1人	当り(円)	28,973
事	業	費	構成%	平成	15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度	(決算)	歳出累計額(	決算)	事業費絲	総額(決算	+計画)
	人	件 費	1.8%		6,096	3,802		4,949		-			_
	事	業費		$\vdash$	59,363	296,163		263,764	า	,633,205		3 3	397,000
	-			<del> </del>	J <del>a</del> ,503					,000,200		3,3	,000
		『門経費		<u></u>		0		0		-			-
(千円)	減価	賃 却 費	0.0%			0		0		-			-
	合	計	100.0%		65,459	299,965		268,713		-			-
	国	· 県			65,459	296,163		263,744	2	,633,205		3 3	397,000
D+ \(\trace{1}{2}\)				<del> </del>	00,700			_00,1 77		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	<del> </del>		201,000
	市	債 等		<u> </u>		0					<b>├</b>		
(千円)		の他		<u>L</u>							<u></u>		
	- 1	設 財源	1.8%		0	3,802		4,969		-			-
					0.70	0.45		0.60					
活 耐		員	100 0%										
	職	員			0.70	0.10		0.00					
	職	員 :·臨時等 <b>計</b>			0.70	0.45		0.60					

		エック)		ı					÷π.	<b>無工</b> _	w A II 7	7 L						1 / / / (本	2.\ <del>/=</del> ±±./∓
評	価	視			事業の主	目的は	明確で	ある	前	四ナュ	<mark>ックリス</mark> [		事業の目的	的は一	つに絞る	ることができた	111	1次評価	2次評価
妥	目目	的妥当性(	2 ~ 2)	<b>V</b>	事業成果	が上位	施策に	不可欠,	または貢献	が高	] ۱,	o į	貢献度が	不明確	,または	t高くない			
	+	<b>⊒ –                        </b>	. 4)	1	市民二一			テうべき事	業							テう事業では			
当	巾目	民ニーズ(2	2~ 1)		<b>▶</b> □ =	ースか <sub>い</sub> 数字で		ている	[		L		ニーズが高	高いとに	ま言えな	:い,または未	·把握 把握	4	4
	÷1.	۸ <del></del>	le (4 4)	<b>V</b>					<u>:</u> 適応してい	る	[		社会環境(	の変化	にあわせ	せた見直しが			
性		会環境変化	` ′		内容														
6点		先性,緊急			事業を実 事業意図				命,安全				サベエ幹	7 <del>/</del> 0 +	누나쯔	益が一部に阻	9-2-		
有		益者(1~							悪値を設定				者か个登 実績値また				<b>艾</b> 廷		
効	進	步状況(2~	1)	1					いると言え				当初計画					3	3
性	- 進	步改善余均	也(1~ 1)		画から遅れ		いる場	合											
4点					改善策あ 比較でき		がある		団体名	丘庙	<b>旦</b> 下				上前でき	<u>□ </u> □ 特 る団体はない	になし		
					他団体の			ている	単位コス			]一基	<b>基準</b>		世報して		•		
効	コノ	₹ <b>  (1 ~</b> 1	1)		□ 他回				☑ 他団	体と同	<b>司程度</b>			□ ft	也団体よ	リコストが高い	١,		
					ハ,または				1 = 2 = 2 + 4	エー	1 1 1 3	2 2116 2	/b/= /						
率					•				小郭団体へ られている	安託					ず等が拒	うべき部分が	がある	1	1
	手	设(1~ 3)	)						ない業務で	である						応可能であ			
性									い業務で	ある						心可能である			
3点	コス	く ト削減取	組(1~ 1)		コスト削洞内容							<u> </u>	持に行って	ていなし	, 1				
亚 成 16	6 任	度の評	<b>価 内 窓</b>		r 3 <del>ET</del>		A		手度に実	<b>V</b>	改善し	ノ, 効	果を得た						
及び	ひ ひ いたい	善のう	<ul><li>価 内 容</li><li>方 向 性</li><li>己載不要)</li></ul>	評值	価結果	7	В		善の方向		3か業 1		、効果が			改善しな			
( at 1m //	· 4 ()	物口は	10 11 (11 ) 女 )					壮		Ш	<i>۱</i> ۱					かった	総合評価	Α	Α
平成	_1	_ 8 _ 年	度に	민조	工事費の	削減				改善	コスト	ト削液	咸の取り絹	組みを	継続し	ていく。	評価		
実施	必必	る 改 i 須		課題						内容									
r &44	<u>κ</u>	+ ris / <del>7</del> /	722.1																
5 今後	ZUJX	寸応(アク	<u>/ンョノ)</u>																
現在談	忍識	してい	る課題																
		市民,関係	系者の名称																
からの 要 望	意見等	意見,	要望内容																
要望	守																		
		(1)	対応内容	_		_		_											
+m n= -=	<b>.</b>		実施期限	平成		年		月											
課題·要	望寺	(2)	対応内容																
へのす	寸 応	(-)	実施期限	平成		年		月											
			対応内容																
		(3)	実施期限	亚武		年		月											
			大旭柳似	十八人		+		Л											
その他																			
改善の	D ア	イデア														今後の	七白州	1 冶 河 / 西	2.た≕元/亜
																拡大・			
																	維持		•
			~ <del>* * *</del> #		2年度には南	芦屋地区	の下水道	整備は完了う	予定。引き続き	開発者	の県企業	庁と通	連帯を図り下	水道整備	前を図る。		改善		0
平成1	9 ~ 2	11年度	の方向性													民間委縮	き 託 寺 小	_	0
																統合/終			0
																廃 止 /	休 止	0	0
2 15 15	/ <del></del>	<b>.</b>	_	<b>.</b>	toda N	y // // /			N/4-12										
2 次 評	1曲 3	安貞会	コメント	月き	<b>デコス</b>	ト稲減る	を凶り,	事業を	進めてく7	こさい	٥,								

(投資	事業)	事業	□	4330	020				部	長	次	長	課	長
平成1	7 年 庇	事	業名	中山	処理区統合下水道	<b>数</b>								
十八八	/ 牛皮	<del></del>	来 1	突山	处理区就占下小道	金伸								
4 == 3	TTT TO 2 =	# ( l* . \												
		要(ドゥ)	(りの目標	4	快適でうるおいの	なる契古べくり					建設部			
総合			<u> ウの日標</u> 中	3	安全で快適な生活				所	管 課	是政司 下水道課	Į		
政策			<u>'</u>	3	下水道の整備	221111111111111111111111111111111111111			所旬	管課長氏名				
体	系		細							入者氏名		-		
事	業	其		,	62年度~	投資臨時	▶ ☑ 投資 □	臨時	電	話 番 号			内線	2314
根 拠				下水					実	施主体				
実	施	手		] [		一部委託	□ 全部委託			補助金		負担金		
委		託	先		外郭団体委託	名称		□ 氏筒	安計	<b>委託内容</b>				
事	業	Ø	概 要	趣山	下水処理場を廃止	し, 奥山処理区を芦屋タ	ル理区に統合する	5-						
<b>-</b>	<i></i>	•	176 🔍	7,1	17,1700-11777 (17)	0,00101010		20						
				·下	水処理施設の老朽	化								
				・老	朽管の布設替え									
事	業	の	現 状	• 管	更生による浸入水	対策								
		中田のたり	<b>5</b>											
		実現のため 及び実施内												
	J PX/		10											
			指標 名	管渠	更新率(%)									
		結果指標	考え方・式	管渠	更新率=更新延長/	計画更新延長								
		(1)		_		平成16年度(実績)		(実績)	平	成18年度(	目標)	平成 1	9年度(	目標)
アウト			指標値		30.4	32	33.5			35.4			35.4	
指	標		指標名											
		(2)			15年度(宝績)	平成16年度(実績)	平成 1 7 年度	(宝績)	亚	成18年度(	日煙)	平成 1	9年度(	日標)
		(2)	指標値		13 1及(入順)	1 12 ( X MR )	112217112		'	12% 1 0 1 12% (	H 13. /	1 12%	J 1/2 (	H 135 /
2 事	業成	果(アウ					L							
= * 0		対	象	奥山	処理区									
事業の対象・														
V1 2/		意	図	当該	区域を芦屋処理区	に統合し, 奥山処理場る	と廃止する。							
			主語にして)											
大	き	な	目 的	奥山	処理場の下水維持	管理費の削減								
		I	1		指標名	指標値				考え方・	<del>  </del>			
		中間	(1)				## T # T =	0=4/ <b>=</b> **	77 =					
アウト	カム			١	管渠更新率(%)	33.5	管渠更新率=5	,371(史新	延長	表) / 16,049 (富士	<b>画</b> 更新处	長)		
		成果指標	(2)											
(事業	完了)		(=)											
		最終成	成果指標		管渠更新率	100	管渠更新率=10	6,049(更新	新延·	長)/16,049(計	十画更新到	延長)		
芦屋市	の特色	色など補足	足する事項											
	業費・		分(コスト				平成18.4.1住民			世帯当り(円)		住民1人		3,746
事	業	費		平成		平成16年度(決算)			肩	裁出累計額 ( )	決算)	事業費約	総額(決算	+計画)
	事	件 費業 費			3,299 15,521	3,825 21,04°	-	4,357 10,634			340,425		1.6	663,026
内 訴	-	来 貝 3 門 経 費			15,521	21,04		10,034			340,425		1,0	- 03,020
		貸却費									-			_
( 1 13 )	合	計			18,820	24,866	;	14,991			-			-
	国	· 県	Į.											
	市	債 等			14,740	19,988	3	6,929			323,403		1,5	79,875
(千円)		の 他			4.000	4.000		0.000						
注 軠	一	<b>設財源</b>	.1		<b>4,080</b> 0.45	<b>4,878</b> 0.58		<b>8,062</b> 0.55			-			_
		·臨時等			0.45	0.50	'	0.55						
	合	<u> </u>			0.45	0.55	j	0.55						
	_													

	匠(チェック																		
評	価	視 点						評价	価チェ	ックリ								1次評価	2次評価
<del>177</del>	目的妥当	性(2~ 2)		事業の主				— + 5								とができた	はい		
妥							不可欠 , ま/		が高い	۱,۱		貢献度					+>! \		
	±E	ズ(2~ 1)	1	の氏—— <b>→</b> □ =			テうべき事業	ŧ								事業では またはオ			_
当	יוי בל –	<b>∧</b> (2 <sup>1</sup> 1)			-ーへから 数字で		<b>TU3</b>				Ш.	/	7,回い(	こい日/			把握	4	-1
-			П				の変化に適	応してい	3		<u> </u>	<b>社会</b> 環	造の変	化にあ		<u>」                                    </u>			
性	社会環境	変化(1~ 1)	_	内容	170112	A 48-76	/ V V I U I C I C I	, o c v .				1144	7,000	10100	17 6 76	70 <u>H</u> 073	202	•	
6点	優先性,	緊急性(1)			産施しなけ	ければ,	市民の生命	3,安全等	<b>手が損</b>	なわ	れる							-	
	受益者(1	~ 1)					合している					者が不	整合,	または	受益が	一部に『	艮定		
有	進捗状況	(2 ~ 1)	V	進捗状況	兄の実績の	値を把	握し,目標値	直を設定	してい	13		実績値	または	目標値	が未記	λ			
効	连抄扒刀	(2~ 1)	↳	□ 実績	責値から言	計画通	進捗してい	ると言え	_ <b>3</b>		<b>V</b>	当初計	画から	遅れが	出てい	<b>ర</b>		3	1
性	- 准挑改善	余地(1~ 1)		画から遅		いる場	合									_			
4点	23776	30.5()		改善策を		A			: <del></del>				. –				になし		
				比較でき			-	团体名	1			₩ »#-				体はなに	. 1		
効	コスト(1~	1)	1	他団体の				単位コスト		ŧ	同一; ·	<b>基</b> 準		把握し					
XIJ				□ 他[ い,またla			p****	☑ 他団	14	可程及	Ę			他回14	トレス4	ストが高い	, 1		
-							田 ·)または外郭	10回休へ	<b>禾</b> 红	1.71	12業	終につ!	17						
率							うなたはかる き務づけられ		<b>`</b> ₹₽₽	0 00				b齿等 <i>f</i>	が担うべ	き部分が	がある	1	1
	手段(1~	3)					対応できな		である							可能であ			
性							寸応できない					,		,		能である			
3点	コフト出的	<b>城取組(1~ 1)</b>					テっている				!	特に行	っていた	ない					
	コクト的が	<b>城取組(1~ 1</b> )	<b>→</b>	内容	管渠更	生工法	の経済比較	ξ											
平成 16	6 年 度 の	評価内容	-			Α	平成17年月			改善	長し,対	力果を得	た						
及 び	改善 の	方 向 性 は記載不要	: 評	価結果	V	В	施した改善性	の方向			したた	が,効果	がな			改善しな			
	いない物口	は心戦小女		Ī			1±			۱۱					7	かった	総合	۸	
平 成	1 8	年 度 に		工事費⊄	とまり中				76.44		· 1 本山	岸の田	n <b>√ロフ</b> 、	ナ. 幼少少士	:1 ~1	. ,	評価	A	C
実施	する改	善内容	課題	上事資()	ク削減				内容		、卜削i	減の取	り組み	ど桃葱	: ( ( )	' < 0			
(	必	須							1311										
5 14																			
5 今後	負の対応(	アクション)																	
5 今後	後の対応(	アクション)																	
		アクション) いる課題	不明;	水対策調	査を行っ	った結	果,宅内か	らの不明	月水も	多数	確認	された	が相手	方とコ	ンタク	トがと	れない。		
現在談	忍識 して	いる課題		水対策調	査を行っ	った結	果,宅内か	らの不明	月水も	多数	確認	された	が相手	方とコ	ンタク	トがと	れない。		
現在調	忍識して			水対策調	査を行っ	った結	果,宅内か	らの不明	明水も	多数	確認	された	が相手	方とコ	ンタク	トがと	れない。		
現在 調市民,関からの	窓識しての場合では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	いる課題	ï	水対策調	査を行っ	った結	果,宅内か	らの不明	明水も	多数	確認。	された	が相手	方とコ	ンタク	トがと	れない。		
現在調	図識して	いる 課 題関係者の名称	ï	水対策調	査を行っ	った結り	果,宅内か	らの不明	月水も	多数	確認。	された	が相手	方とコ	ンタク	トがと	れない。		
現在 調市民,関からの	忍識して 係者市民, 意見 意見	川る課題関係者の名称 ,要望内容 対応内容	7					らの不明	月水も	多数	確認。	された	が相手	方とコ	ンタク	トがと	れない。		
現在 調市民,関からの	窓識しての場合では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	いる課題 関係者の名称 ,要望内容 対応内容	引き	続き不明	水調査を	を行う。		らの不明	月水も	)多数	確認	された	が相手	方とコ	ンタク	トがと	れない。		
現在 調市民,関からの	忍識 して 係者 市民, 意見等	いる課題 関係者の名称 ,要望内容 対応内容 実施期限	引き			を行う。		らの不明	月水も	) 多数	確認。	された	が相手	方とコ	ンタク	トがと	れない。		
現在 部市民,関かまり	忍識 して 係者 市民, 意見等	いる課題 関係者の名称 ,要望内容 対応内容 実施期限 対応内容	引き	続き不明	水調査を	を行う。		らの不明	明水も	多数	確認。	された	が相手	方とコ	ンタク	トがと	れない。		
現在 部市民,関かまり	双識して係者市民,等見等(1	いる課題 関係者の名称 ,要望内容 対応内容 実施期限 対応内容	引き 平成	続き不明	水調査を	を行う。		らの不明	月水も	)多数	確認:	された	が相手	方とコ	ンタク	トがと	れない。		
現在調売の調査を表現である。現代の関係では、関い、関係では、関い、関係では、関係では、関係では、関係では、関係では、関係では、関係では、関係では	双識して係者市民,等見等(1	いる課題 関係者の名称 ,要望内容 対応内容 実施期限	引きず平成平成	続き不明	水調査を	を行う。	月	らの不明	月水も		確認。	された	が相手	方とコ	ンタク	トがと	れない。		
現在調売の調査を表現である。現代の関係では、関い、関係では、関い、関係では、関係では、関係では、関係では、関係では、関係では、関係では、関係では	双識して係者市民,等見等(1	いる課題 関係者の名称 ,要望内内容 対応加期限 対応内容 実施期限 対応内容	引きず平成平成	続き不明	水調査を	を行う。	月	らの不明	月水も	· 多数	確認。	された	が相手	方とコ	ンタク	トがと	れない。		
現在調売の調査を表現である。現代の関係では、関い、関係では、関い、関係では、関係では、関係では、関係では、関係では、関係では、関係では、関係では	忍識 古民, 京見 (1) 望 (2)	に る 課 題 関係者の名称	引きず平成平成	続き不明	水調査を	を行う。	月	らの不明	月水も	5多数	確認。	された	が相手	方とコ	ンタク	トがと	れない。		
現在は、関が要課のの対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	忍識 古民, 意 見 (1 望	いる 課題 関係者の内内 内内 期限 対 実 が 応 期 限 容 実 が 応 期 限 容 実 が 応 期 限 容 実 施 期 限 容 実 施 期 限 容 ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま	引きず平成平成	続き不明	年年	を行う。	月	らの不明	月水も	5多数	確認。	された;	が相手	方とコ	ンタク	トがと	れない。		
現 市か要 課 の 理 の の の の の の	双 (係意 望 対 考え ら オ	は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は まままま は まままま は まままま は まままま は まままままま	引きず平成平成	続き不明	年年	を行う。	月	らの不明	月水も	50多数	確認。	された	が相手	方とコ	ンタク	トがと	れない。		
現 市か要 課 の 理 の の の の の の	忍識 古民, 意 見 (1 望	は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は まままま は まままま は まままま は まままま は まままままま	引きず平成平成	続き不明	年年	を行う。	月	らの不明	月水も	53多数	確認。	された	が相手	方とコ				4 Vr = 17 JA	2 √2 ÷ 11 / 14
現 市か要 課 の 理 の の の の の の	双 (係意 望 対 考え ら オ	は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は まままま は まままま は まままま は まままま は まままままま	引きず平成平成	続き不明	年年	を行う。	月	らの不明	月水も	5多数	確認。	int.	が相手	方とコ		今後の	方向性		2次評価
現 市か要 課 の 理 の の の の の の	双 (係意 望 対 考え ら オ	は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は まままま は まままま は まままま は まままま は まままままま	引きf 平成 平成 平成	続き不明 24	年年年	を行う。 3	月月月						が相手	方とコ		今後の水大	方向性実	0	0
現 市か要 課 の 理 の の の の の の	双 (係意 望 対 考え ら オ	は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は まままま は まままま は まままま は まままま は まままままま	引きf x 成 平成 平成	続き不明 24 新延長(	年 年 (率)を何	を行う。 3                   	月月	方法の身	見直し	検討	で行	う。		方とコ		今後 <b>の</b> 広 大・現 状	方を推	<ul><li>○</li><li>●</li></ul>	
現 市か要 課 へ で 民 ら り り の の き 他 の の き り 他 の の も り し の も り も り も り も り も り も り も り も り も り も	双 係意 望 対 考ァ た (2 (3 (3 ) 1 ) 1 ) 1 ) 1   1   1   1   1   1   1	は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は まままま は まままま は まままま は まままま は まままままま	引きが         平成         平成         ・更         ・更	続き不明 24 新延長(	年 年 (率)を何	を行う。 3                   	月月月	方法の身	見直し	検討	で行	う。		方とコ		今後の成児状法	方充維改	<ul><li>O</li><li>O</li><li>O</li></ul>	0
現 市か要 課 へ で 民 ら り り の の き 他 の の き り 他 の の も り し の も り も り も り も り も り も り も り も り も り も	双 係意 望 対 考ァ た (2 (3 (3 ) 1 ) 1 ) 1 ) 1   1   1   1   1   1   1	は 課 題 関係 書 対 実 対 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実	引きが         平成         平成         ・更         ・更	続き不明 24 新延長(	年 年 (率)を何	を行う。 3                   	月月	方法の『	見直し	検討	で行	う。		方とコ	17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 1	今後 <b>の</b> 広 大・現 状	方 を を か を を を を を を を を を を を を を を を を	<ul><li>O</li><li>O</li><li>O</li></ul>	○ ○ ●
現 市か要 課 へ で 民 ら り り の の き 他 の の き り 他 の の も り し の も り も り も り も り も り も り も り も り も り も	双 係意 望 対 考ァ た (2 (3 (3 ) 1 ) 1 ) 1 ) 1   1   1   1   1   1   1	は 課 題 関係 書 対 実 対 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実	引きが         平成         平成         ・更         ・更	続き不明 24 新延長(	年 年 (率)を何	を行う。 3                   	月月	方法の『	見直し	検討	で行	う。		方とコ	* # # # 1	今 <u>後</u> の 大状 ち 間 き	方 た 維 改 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<ul><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li></ul>	<ul><li>○</li><li>●</li><li>○</li></ul>
現 市か要 課 へ で 民 ら り り の の き 他 の の き り 他 の の も り し の も り も り も り も り も り も り も り も り も り も	双 係意 望 対 考ァ た (2 (3 (3 ) 1 ) 1 ) 1 ) 1   1   1   1   1   1   1	は 課 題 関係 書 対 実 対 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実	引きが         平成         平成         ・更         ・更	続き不明 24 新延長(	年 年 (率)を何	を行う。 3                 	月月	方法の『	見直し	検討	で行	う。		方とコ	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	今後の 大状 法 間 電	方の充維の託の設定を対している。	<ul><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li></ul>	<ul><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li></ul>
現 市か要 課 へ で 民 ら り り の の き 他 の の き り 他 の の も り し の も り も り も り も り も り も り も り も り も り も	双 係意 望 対 考ァ た (2 (3 (3 ) *デ	は 課 題 関係 書 対 実 対 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実	引きが         平成         平成         ・更         ・更	続き不明 24 新延長(	年 年 (率)を何	を行う。 3                 	月月	方法の『	見直し	検討	で行	う。		方とコ	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	今 <u>旅</u> 現庁 で で で で で で で で で に に に に に に に に に に に に に	方の充維の託の設定を対している。	<ul><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li></ul>	O O O O
現 市か要 課 へ で 民 ら り り の の き 他 の の き り 他 の の も り し の も り も り も り も り も り も り も り も り も り も	双 係意 望 対 考ァ た (2 (3 (3 ) *デ	は 課 題 関係 書 対 実 対 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実	引きぎ 平成 平成 平成 東奥 奥山	続き不明 24 新延長( 新山処理場	年年年年年の一年の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	を行う。 3 申ばす; p見野にご	月月の更新山	方法の見解を示し	見 直 し し す	検討事	でを行って明	う。てい	く。	困難性	を考え	今 旅 児 庁 民 縮 統 堯 っ と と と と と と と と と と と と と と と ま こ と こ と	方	○ ● ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
現 市か要 課 へ で 民 ら 題 の の き 成 の の き の も の も の も り し り し り し り し り し り し り し り し り り り り し り	双 係意 望 寸 考ァ 9 ~ 2 1 年 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日	は 課 題 関係 書 対 実 対 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実	引きが成平成平成東奥山間	続き不明 24 新延長 ( 場 があり で があり で があり ます。	日本調査を 年 年 年 (率)をそ	を行う。 3 申ばす;	月月のの奥明ははいます。	方法ののましている。 かいしん かいしん かいしん かいしん がいしん がいしん がいしん かいしん かいしん かいしん かいしん かいしん かいしん かいしん か	見 計画 し し よ さ さ	検討事	を 行 不 また,	う。 ってい、 水流 入 設	く。 対工 の費	困の難性持	を管理	今広 児 庁 民 縮 統 発 とび とび 事 受 き	方     維     期     業益       向充     銀     銀     数       世実持善等小定止     次     果     負	○ ● ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	<ul><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li></ul>
現 市か要 課 へ で 民 ら 題 の の き 成 の の き の も の も の も り し り し り し り し り し り し り し り し り り り し り	双 係意 望 寸 考ァ 9 ~ 2 1 年 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日	以 関 要 対 実 対 実 対 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 か ののののののののののののののの	引 平 平 平 ・ 奥疑務 成 東 奥 山間状	続き不明 24 3 3 3 3 4 3 4 3 4 5 7 7 8 7 8 9 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	オ水調査を 年 年 (率) をを 発ので、かった。	を行う。 3 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	月月の更新山	方幹線の見る かいしん かいしん かいしん かいしん かいしん かいしん かいしん かいしん	見 直 直 直 直 まだ・ と さん と が と か と か と か と か と か と か と か と か と か	検工がい、こと	をを行れています。	うってい、流建対効	く、対工果額の費を	困や比較性持検	を管計をできません。	今 な 見 方 民 宿 硫 発 とびで とびで 事 受 に	方     維     期     業益收       向充     銀     期     財       効者修     別     果負工       かまり工     カ	○ ● ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	<ul><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li></ul>

(投資	事 森 /	事業	□	43300	730			1	部		長	<b>ソ</b> ヤ	長	<b>=</b>	長
( 汉 貝 =	尹 未 /	尹未	<u> </u>	43300	J30				미		IX	<u> </u>	IX I	本	TX.
平成17	7年度	事	業 名	合流行	管更正· 布設替事業	<b>\(\begin{array}{c}\)</b>									
. + `	NIV INT -	T ( IA )													
		要(ドゥ)													
			りの目標		快適でうるおいの				所	管	課	建設部			
総合			中	3	安全で快適な生活	基盤の充実						下水道語	果		
政策	施策		小	3	下水道の整備				所管	管課 長日	氏名	藤井	高		
体	系		細						記	入者氏	名	西村 亻	=		
事	業	期	間	平成	13年~	投資臨時	☑ 投資 □	臨時	電	話番	号			内線	2314
根 拠	法	令 · !	要 綱 等	下水	道法	•	•		実	施主	体	市			
実	施	<b></b>		<del>                                     </del>	直営	□ 一部委託	□ 全部委託						負担金		
委		託	先		外郭団体委託	名称				委託区			,		
		#0	,,,		713FEIT X 16	117			1 >> H I	X 401	, 11				
事	業	Ø	概 要	耐田4	午粉を叙過1 たへ	流管渠の不明水浸入対策	在乃で泥水に ト	る地下水	泛淀	はよいの	= xh	答の面	一件 乃で本言	<b>弘扶</b> ラよ	- 行ら
<del></del>	*	U)	144. 32	11113 7773 -	十数で 柱地 したロ	川日米・ハトウハイスノンバタ	RXUMI/NCよ	(2) 1 (1) (1)	HI C. I.	NBJTT 671	_0,	日少久	工及0៕。	以日へで	.11 Jo
				AnAn .	Lamber (my 7 4)	D +D =B +C									
					内調査工(TV及び										
事	業	の	現 状		渠更新工 (更生及)										
				• 管	補修工(部分更生)	及び目地補修									
	目的	実現のため	りの												
	手段》	及び実施内	容												
			指標 名	更新	延長(m)										
		結果指標				流管の管更生及び管布設	替延長								
		(1)				平成16年度(実績)		(実績)	平	成18年	度 (	目標)	平成 1 9	9 年度 (	目標)
アウト	プット		指標値		2 1 6 m	8 0 m	2 0 0 m				26m	. — 12.7	1 7-70	12	H 130 7
指	クラー標		指標名		· ·	0 0 111	20011	1			.0111				
18	1757				<sup>国内 数</sup> 年数を経過した合流	なの 津板祭に									
							五代 4 7 左座	(中/主)	च	<del>+</del> 1 0 / 1	- 広 /		₩# 4 (	0 左座 /	口抽~
		(2)				平成16年度(実績)	平成17年度	(	Ψ.	成18年		日信)	平成 1 9		日信)
•	NI/ _L F		指標値		11	1 0	1 0				10			10	
	<b>業</b> 成是	果(アウ	トカム)												
		対	象	芦屋	処理区の住民										
事業の															
対象·	意 図														
		意	図	漏水	による地下水汚濁	の防止									
		(対象を	主語にして)												
		•													
大	き	な	目 的	• 漏	水による地下水源	の水質保全 放流水量低減による公却	+田・林の・所	伊ム							
				• 仮	八小による木処理	双爪小里仏(帆による公)	や用 小 域 の 小 負	休王							
					指標名	指標値				考え	方・	式			
		中 間	(1)									- •			
アウト	<b>h</b> /s		( . )		更新率(%)	27%	補修率 = 更新	延長÷対	象管	路総延長	₹				
		成果指標	i												
		冰木徂信	(2)												
事業分	7G J )						7.00 to - 1 - 1	- 60 TM +1 ℃	÷.1.	トキマンボンイ	- 10.	÷ & +=	n+/=+···	H (20 10)	+ o / C ^
		最終成	果 指 標	;	水質汚濁防止	100%	不明水による未  を図る。	<b>F処埋放</b> 份	记水の	り軽減亚	ひに	<b></b>	を行い公	共用水垣	の保全
							<b>で図</b> る。								
#	- 4+ /	- 4. 10 A-B F	- <del></del>												
产屋市	の特も	色なと補足	足する事項												
							1						ı		
	業費·	活動配	分(コスト				平成18.4.1住民			世帯当り(			住民1人		2,781
事		#			15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度	(決算)	岸	出累計	額(	決算)	事業費総	額(決算	+計画)
	業	費	構成%	平成	13千及(八升)	11321 0 112 (1774)									-
	<b>業</b>	件 費	21.7%	平成	4,218	2,696		3,709				-			
	業 人 事		21.7%	平成		, .		3,709 13,418				- 252,759			
内 訳	人事	件 費	21.7% 78.3%	平成	4,218	2,696						252,759 -			-
	事 他部	件費業費	21.7% 78.3%	平成	4,218	2,696						252,759 - -			-
	人事他部派価	件 費業 費	21.7% 78.3%		4,218	2,696						252,759 - - -			-
	事 他部	件 費業 費 経費 債却費	21.7% 78.3% 100.0%		4,218 13,829	2,696 51,267		13,418				252,759 - - - 46,200			- -
(千円)	人事他部河合国	件 費業 費	21.7% 78.3% 100.0%		4,218 13,829 18,047	2,696 51,267 <b>53,963</b>		13,418 17,127				46,200			-
財源	人事他减合国市	件 業 引 門 経 費 責 情 十 県 等	21.7% 78.3% 100.0%		4,218 13,829	2,696 51,267		13,418				-			-
(千円)	人事他減合 国市そ	件 業 費 費 費 費 費 サ 十 ・ 債 の 他	21.7% 78.3% 100.0%		4,218 13,829 18,047	2,696 51,267 53,963 48,703		13,418 17,127 12,747				46,200 189,001			-
(千円) 財 (千円)	人事他派合国市そー	件 業 3門経費 情 し 債 の 他 <b>般財源</b>	21.7% 78.3% 100.0% 74.4%		4,218 13,829 18,047 13,130 4,917	2,696 51,267 53,963 48,703		13,418 17,127 12,747 4,380				46,200			-
(千円) 財 源 (千円) 活 動	人事他減合国市そー職	件 費費 費費 目標 を	21.7% 78.3% 100.0% 74.4% 25.6%		4,218 13,829 18,047	2,696 51,267 53,963 48,703		13,418 17,127 12,747				46,200 189,001			-
(千円) 財 源 (千円) 活 動配	人事他減合国市そー職	件 業 3門経費 情 し 債 の 他 <b>般財源</b>	21.7% 78.3% 100.0% 74.4% 25.6% 100.0%		4,218 13,829 18,047 13,130 4,917	2,696 51,267 53,963 48,703		13,418 17,127 12,747 4,380				46,200 189,001			-

	曲(チェック	,	_						IT -									
評	価	視	<b>点</b>					計	価チェ	:ックリ.							1次評価	2次評価
	目的妥当	1性(2~ 2)		事業の主											えることができ	ない		
妥								または貢献	状が高!	l 1					は高くない			
			1	市民二一			うべき事	<b>手業</b>			✓ .	市民二一	ズに基	<b>≛</b> づいて	行う事業では	はない		
当	市民二一	·ズ(2~ 1)		<b>▶</b> □ =	ーズが高	∃l I						ニーズが	高いと	は言え	ない,または	未把握	4	4
=					数字で打	把握し	ている								□≉	把握	4	ı
	ᆉᄼᄺ	E 市 / lz / d		事業に関	わる社会	環境の	D変化に	適応してい	13		✓ :	社会環境	の変化	とにあれ	せた見直した	が必要		
性	1 社会现场	<b>愛化(1~ 1</b> )	)	内容							••••							
6点	優先性,	緊急性(1)		事業を実	施しなけ	れば、	市民の生	±命,安全	等が損	なわれ	れる							
	受益者(*			事業意図								者が不動	整合,	または受	益が一部に	限定		
有							•	 標値を設定				実績値ま						
効	進捗状況	₹(2 ~ 1)	1					ていると言:				人减温S 当初計画					3	3
性				<u>こ へべ</u> 画から遅れ				СТОСД					1/3 3 %	L-1 0/3 LL	100.0		3	3
4点	- 進捗改善	<b>余地(1~ 1</b> )	1111	改善策あ		710201	Н								□ #	手になし		
7				比較できる		<u></u> ホス		団体名	丘庙	退下				比較で	きる団体はな			
				他団体の			-1 \ Z	単位コス			同一	甘淮	÷		こる団体はな ていない	V I		
効	コスト(1・	- 1)								·		至午						
XIJ				□ 他団				☑ 他回	114461	可柱及	<u>.</u>		Ш	他凹件	よりコストが高	j (		
				い,または							. = .	75	_					
率								外郭団体/						L-12 A-A- 1.0		.»+ =	1	1
	手段(1~	3)						られている					, -		担うべき部分		•	•
	,	,						さい業務				,		,	対応可能であ			
性								ない業務で	である						応可能である	3		
3点	コスト削	咸取組(1~ ´	1)	コスト削減			-				<u>'</u>	特に行っ	ていな	:11				
		7 P(1)2( ·	<b>′ →</b>	内容	管更生」	[法との	D経済比	較										
平 成 1	6 年 度 0	)評価内容 )方向	容			Α	平成17	年度に実	~	改善	し,対	大果を得た	Ė					
及び	改善(		性評価	価結果	7	В		女善の方向			したた	が,効果か	がな		改善した	î		
(計1四万	いない場合	は記載不要	)		2		性			١١					かった	4%	_	_
		·	_													総合評価	l A	A
平成実施	1 8 する 2	年 度   な 善 内 3	こ 字課題	工事費の	削減				改善	コス	ト削	減の取り	組みる	と継続し	していく。	H1 1944		
关 ル	必めて	X 音 PJ 1 須							内容	ř								
(	~	<i>,</i> ,,	'															
5 今後	後の対応(	アクション)																
5 今後	後の対応(	アクション)	能	力が不足	している	管につ	ついては	管の布設	替えを	こしなり	ければ	ばならな	いが,	他の均	也下埋設物の	移設費用	が	
		アクション)				管につ	ついては	管の布設	替えを	としなり	ければ	ばならな	いが,	他の地	也下埋設物の	移設費用	]が	
						管につ	ついては	管の布設	替えを	こしなり	ければ	ばならな	いが,	他の対	也下埋設物の	移設費用	]が	
現在言	認識して	いる課題	膨大			管につ	ついては	管の布設	替えを	としなり	ければ	ばならな	いが,	他の均	也下埋設物の	移設費用	カゞ	
現在 請市民,関	認識して	別の名 課 景	膨大物			管につ	ついては	管の布設	替えを	としなり	ければ	ずならな	:いが,	他の対	也下埋設物の	移設費用	カゞ	
現在言	認識して	いる課題	膨大物			管につ	ついては	管の布設	替えを	としない	ければ	ずならな	いかが、	他の対	也下埋設物の	移設費用	カゞ	
現在 請市民,関からの	認識して 湯 市民 意見 意見 意見	関係者の名称 男 望 内 名	下	なものと	なる。			管の布設	替えを	としない	けれ	ばならな	いが、	他の均	也下埋設物の	移設費用	] かゞ	
現在 請市民,関からの	図識して	関係者の名称 要望内 3	下		なる。			一管の布設	替えを	としない	けれ	ばならな	:いが,	他の均	也下埋設物の	移設費用	ガゞ	
現在 請市民,関からの	認識して 湯 市民 意見 意見 意見	いる課題 関係者の名称 ,要望内部 対応内容	下	なものと;	なる。 , 管の延	命を図	図る。	管の布設	替えを	としない	ければ	ずならな	いが、	他の対	也下埋設物の	移設費用	が	
現在 言市民, 関か要 望	忍識して意見等 (1	川る課 類係者の名和 , 要望内   対応内容   実施期   実施期   ア	下	なものと;	なる。	命を図		管の布設	替えを	としない	lth1	ずならな	いが、	他の対	也下埋設物の	移設費用	カジ	
現在 請市民,関からの	② 識 し で	関係者の名称 , 要望内 対応内容 実施期間 対応内容	下	なものと;	なる。 , 管の延	命を図	図る。	管の布設	替えを	としない	けれ	ずならな	いから	他の対	也下埋設物の	移設費用	] ħš	
現在に関うの望まれる。	② 識 し で	いる課題 関係者の名称 ,要望内部 対応内容 実施期阿 対応内容	度 下	等を行い、	なる。 管の延 年	命を図	図る。	管の布設	替えを	としない	ければ	ずならな	:t \	他の対	也下埋設物の	移設費用	] \( \sigma^2 \)	
現在 言市民, 関か要 望	② 識 し で	川る課 関係者の名和 ,要望内 対応内容 実施期阿 対応内容 実施期阿	度 膨大 字 解修 字 平成 平成	等を行い、	なる。 , 管の延	命を図	図る。	管の布設	替えを	としない	เร่า	ずならな	·・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	他の対	也下埋設物の	移設費用	] ½\$	
現在に関うの望まれる。	認識して	川る課題 関係者の名称 ,要望内有 対応内容 実施期阿 対応内容 実施期阿	度 膨大 字 解修 字 平成 平成	等を行い、	なる。 管の延 年	命を図	図る。	管の布設	替えを	としなり	ithi	ずならな	:いが,	他の対	也下埋設物の	移設費用	] ½\$	
現在に関うの望まれる。	② 識 し で	(いる課題 関係者の名称 ,要望内で 対応内容 実施期の 対応内容 実施期の	度 形大 /	等を行い、	なる。 , 管の延 年	命を図	図る。 月	管の布設	替えを	200	ithi	ずならな		他の封	也下埋設物の	移設費用	] ½\$	
現在に関うの望まれる。	認識して	川る課題 関係者の名称 ,要望内有 対応内容 実施期阿 対応内容 実施期阿	度 形大 /	等を行い、	なる。 管の延 年	命を図	図る。	管の布設	替えを		ithi	ずならな	いから、 	他の封	也下埋設物の	移設費用	775	
現在に関っています。現在に関うの望います。	② 識 して 情報 して 意味 は で は で は で は で は で は で は で は で は で は	川る課 類 関係者の名和 対応内容 実施期 対応内容 実施期 対応内容 実施期 対応内容 実施期 対応内容 実施期 対応内容 実施期 対応内容 またり 対応内容 またり 対応内容 またり 対応内容 またり 対応内容 またり 対応内容 またり 対応内容 またり 対応 対応 対応 対応 対応 対応 対応 対応 対応 対応 対応 対応 対応	度 形大 /	等を行い、	なる。 , 管の延 年	命を図	図る。 月	管の布設	替えを		ithi	ずならな	いいがら、	他の封	也下埋設物の	移設費用	775	
現 市か要 課 へ の望 を を の の の の の の の の の の の の の	認識して R 表 R 表 R 表 R 表 R 表 R 表 R 表 R 表	別係者の名称 の名称 の名称 の名称 の名称 の名称 の名称 の名称	度 形大 /	等を行い、	なる。 , 管の延 年	命を図	図る。 月	管の布設	替えを	   ここでしなり   ここでは、ここでは、ここでは、ここでは、ここでは、ここでは、ここでは、ここでは	ithi	ずならな	いっぱいがら、	他の封	也下埋設物の	移設費用	753	
現 市か要 課 へ の望 を を の の の の の の の の の の の の の	② 識 して 情報 して 意味 は で は で は で は で は で は で は で は で は で は	別係者の名称 の名称 の名称 の名称 の名称 の名称 の名称 の名称	度 形大 /	等を行い、	なる。 , 管の延 年	命を図	図る。 月	管の布設	替えを	   ここでしない   ここでは、ここでは、ここでは、ここでは、ここでは、ここでは、ここでは、ここでは	ithii	ずならな	いかが、 -	他の封				
現 市か要 課 へ の望 を を の の の の の の の の の の の の の	認識して R 表 R 表 R 表 R 表 R 表 R 表 R 表 R 表	別係者の名称 の名称 の名称 の名称 の名称 の名称 の名称 の名称	度 形大 /	等を行い、	なる。 , 管の延 年	命を図	図る。 月	管の布設	替えを		けれ	ばならな		他の対	今後の	↑方向性	1次評価	
現 市か要 課 へ の望 を を の の の の の の の の の の の の の	認識して R 表 R 表 R 表 R 表 R 表 R 表 R 表 R 表	別係者の名称 の名称 の名称 の名称 の名称 の名称 の名称 の名称	度 形大 /	等を行い、	なる。 , 管の延 年	命を図	図る。 月	管の布設	替えを		ithii	ずならな	いっぱいが、	他の封	今後の 拡 大	方向性	1次評価 ○	0
現 市か要 課 へ の望 を を の の の の の の の の の の の の の	認識して R 表 R 表 R 表 R 表 R 表 R 表 R 表 R 表	別係者の名称 の名称 の名称 の名称 の名称 の名称 の名称 の名称	度 形大 /	等を行い、	なる。 , 管の延 年	命を図	図る。 月	管の布設	替えを	といない	けれい	ばならな		他の対	今後の   拡大  現状	うたのでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、	1次評価 ○	0
現 市か要 課 へ の望 を を の の の の の の の の の の の の の	認識して R 表 R 表 R 表 R 表 R 表 R 表 R 表 R 表	別係者の名称 の名称 の名称 の名称 の名称 の名称 の名称 の名称	度 形大 /	等を行い、	なる。 , 管の延 年	命を図	図る。 月	管の布設	替えを		ithii	ずならな	:いが,	他の封	今後の   拡大  現状	方向性	1次評価 ○	0
現市が要課へそ改し、一では、「関のは、」では、「関いのの、関いの、関いの、関いの、関いの、関いの、関いの、関い、関い、関い、関い、関い、関い、関い、関い、関い、関い、関い、関い、関い、	<ul><li>認識</li><li>市意</li><li>望対</li><li>キック</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スク</li></ul>	別係者の名称 の名称 の名称 の名称 の名称 の名称 の名称 の名称	題	等を行い,	なる。 , 管の延 年	命を図	図る。 月 月							他の対	今後の   拡 大   現 法	うたのでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、	1次評価 ○ ○	<ul><li>○</li><li>○</li><li>●</li><li>○</li></ul>
現市が要課へそ改し、一では、「関のは、」では、「関いのの、関いの、関いの、関いの、関いの、関いの、関いの、関い、関い、関い、関い、関い、関い、関い、関い、関い、関い、関い、関い、関い、	<ul><li>認識</li><li>市意</li><li>望対</li><li>キック</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スク</li></ul>	関係者の名称	題	等を行い,	なる。 , 管の延 年	命を図	図る。 月 月							他の対	今後の   拡 大   現 法	方 方 方 方 充 維 改 託 委	1次評価 ○ ○	○ ○ ●
現市が要課へそ改し、一では、「関のは、」では、「関いのの、関いの、関いの、関いの、関いの、関いの、関いの、関い、関い、関い、関い、関い、関い、関い、関い、関い、関い、関い、関い、関い、	<ul><li>認識</li><li>市意</li><li>望対</li><li>キック</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スク</li></ul>	関係者の名称	題	等を行い,	なる。 , 管の延 年	命を図	図る。 月 月							他の対	今後 な 現 方 民 縮	方 方 方 方 充 維 改 託 委	1次評価 ○ ○ ○ ○	<ul><li>○</li><li>○</li><li>●</li><li>○</li></ul>
現市が要課へそ改し、一では、「関のは、」では、「関いのの、関いの、関いの、関いの、関いの、関いの、関いの、関い、関い、関い、関い、関い、関い、関い、関い、関い、関い、関い、関い、関い、	<ul><li>認識</li><li>市意</li><li>望対</li><li>キック</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スク</li></ul>	関係者の名称	題	等を行い,	なる。 , 管の延 年	命を図	図る。 月 月							他の対	今後の 現	方 方 方 充 維 改 話 小	1次評価 ○ ○ ○ ○	<ul><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li></ul>
現市が要課へそ改し、一では、「関のは、」では、「関いのの、関いの、関いの、関いの、関いの、関いの、関いの、関い、関い、関い、関い、関い、関い、関い、関い、関い、関い、関い、関い、関い、	<ul><li>認識</li><li>市意</li><li>望対</li><li>キック</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スク</li></ul>	関係者の名称	題	等を行い,	なる。 , 管の延 年	命を図	図る。 月 月							他の対	今後の 現	・ 本でである。 では、 できない できない できない できない できない できない できない できない	1次評価 ○ ○ ○ ○	O O O O
現市が要課へそ改し、一では、「関のは、」では、「関いのの、関いの、関いの、関いの、関いの、関いの、関いの、関い、関い、関い、関い、関い、関い、関い、関い、関い、関い、関い、関い、関い、	<ul><li>認識</li><li>市意</li><li>望対</li><li>キック</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スクラー</li><li>スク</li></ul>	関係者の名称	題	等を行い,	なる。 , 管の延 年	命を図	図る。 月 月							他の対	今後の 現	・ 本でである。 では、 できない できない できない できない できない できない できない できない	1次評価 ○ ○ ○ ○	O O O O
現 市か要 課 へ そ改 平 他 の の あ も は の の も の も の も も に も に に に に に に に に に に に に に	To   Recomposition   Recom	にいる 課 関係者の名称 の名称 の名称 の名称 対 実 対 実 対 実 が 実 が 実 が 実 が 実 の 方 向 向 情 で の 方 向 情 で の 方 の 情 で の か の か の か の か の か の か の か の か の か の	理 形大	なものと? 等を行い, 認可を取ん	なる。	か補助	図る。 月 月  月  月  「月  「月  「  「  「  「  「  「  「	更新事業を	ご関す	築)を	務状液	- C - C - C - C - C - C - C - C - C - C	た下方	く道長其	今後     次       大     状       店     統       廃     収       財財政収     計	方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1次評価 ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ● ○ ○ ○ ○ ○
現 市か要 課 へ そ改 平 他 の の あ も は の の も の も の も も に も に に に に に に に に に に に に に	To   Recomposition   Recom	関係者の名称	で	なものと対 等を行い、 部可を取れ	なる。	で かっぱ かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしょう はんしょう はんしょう かんしょう かんしょう はんしょう んしょう はんしょう はんしょう はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ	図る。 月月 月月 月月	更新事業を	ご関す	築)を	務状液	- C - C - C - C - C - C - C - C - C - C	た下方	く道長其	今後     次       大     状       店     統       廃     収       財財政収     計	方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1次評価 ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ● ○ ○ ○ ○ ○
現 市か要 課 へ そ改 平 他 の の あ も は の の も の も の も も に も に に に に に に に に に に に に に	To   Recomposition   Recom	にいる 課 関係者の名称 の名称 の名称 の名称 対 実 対 実 対 実 が 実 が 実 が 実 が 実 の 方 向 向 情 で の 方 向 情 で の 方 の 情 で の か の か の か の か の か の か の か の か の か の	で	なものと? 等を行い, 認可を取ん	なる。	で かっぱ かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしょう はんしょう はんしょう かんしょう かんしょう はんしょう んしょう はんしょう はんしょう はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ	図る。 月月 月月 月月	更新事業を	ご関す	築)を	務状液	- C - C - C - C - C - C - C - C - C - C	た下方	く道長其	今後     次       大     状       店     統       廃     収       財財政収     計	方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1次評価 ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ● ○ ○ ○ ○ ○

(投資事	<b>重</b> 禁 /	事業	□	4330	040		1	1	部		長次		長課		長
(	,								ПР		K //		区加		- IX
平成17	年度	事	業 名	雨水	浸水対策事業										
1 車	<b>学</b> 椰豆	要(ドゥ)													
			りの目標	4	快適でうるおいの	ある都市づくり					建設	部			
総合			<del>中</del>		安全で快適な生活				所	管	課下水				
政策			/\\	3	下水道の整備				所	管課長氏		高			
体	系系		細	-	7 . 7					入者氏			į.		
事	業	斯	間	昭和	31年度~	投資臨時	☑ 投資 □	臨時	電	話番			内	線	2315
根 拠	法	令 · 5		下水					実	施主	体市				
実	施	手	法	<b>V</b>	直営	□ 一部委託	□ 全部委託			補助金		□負	担金		
委		託	先		外郭団体委託	名称		□ 民間	委託	<b>委託内</b>	容				
						•	•				•				
事	業	の	概 要	<ul><li>雨</li></ul>	水管整備 L=42.6km	n (870.8ha) (南芦原	屋浜地区・街路	事業区域	₹• 7	ト 麓荘地区	除く)				
				·下	水道事業計画,国	車補助金の申請,各種コ	工事の設計管理								
事	業	の	現 状	・自	治会,地元住民と	の協議調整									
				<ul><li>道</li></ul>	路管理者・各地下	埋設物占用者との協議訓	1整								
		実現のため													
	手段》	及び実施内	內容												
			115 137	<del></del>	±/+ /++:										
		(+ m +s +=	指標名												
					整備面積(ha)	亚出16年度/安建》	平式 1 7 年度	/ 中雄 \	177	计10年	<b>车 / 口 +</b> =	\ \	T CT: 1 0 CT	- 中 /	口抽~
7 A L -	<del>-</del> ∤ l	(1)				平成16年度(実績)		(	4	成18年		) +	平成 19年		日悰)
アウト			指標値		整件五律	0.2	1			0.8	3			1	
指	標		指標名			五心故供这小五纬/弘高	<b>五</b> 少数供五线								
						雨水整備済み面積/計画 <mark>平成16年度(実績)</mark>		(宝绩)	177	成18年	在 / 日畑	) 7	平成 19年	一	日福ノ
		(2)	年 度指標値		96	96	<u> </u>	( 夫縜 )	+	96.	•	) 4		<del>- 反(</del> 6.3	日信丿
2 車当	<b>华</b>	 果(アウ)			90	90	90.1			90.			91	0.3	
4 <del>31</del> 3	モルスス	<del>木</del> (アラ)	['/J'A')												
		対	象	•	屋市内の家屋、道	路等 対象面積 870	. 8ha(南芦屋沟	兵地区・1	<b>打路</b>	事業区域・	・六麓荘	地区除	<b>≧</b> <)		
事業の	目的		200		<u> </u>	л , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	· •114 (117) <u>/</u>		-121	7-76-74	, 1,22,12	- ш	,		
対象・															
,		意	図	·雨	水管整備による、	侵水対策及び道路冠水解	<b>军消</b>								
			主語にして)												
			<u> </u>												
大	き	な	目 的	下水	道整備による安全	で快適な生活ができる									
					指標名	指標値				考えた	・式				
		中 間	(1)	雨	水整備面積率(%)	96.3	雨水整備面積率	率 = 雨水	整備	済み面積	/計画雨/	K整備	面積		
アウト															
		成果指標	(2)												
(事業兒	rc [ ]														
		最終成	は果指標	雨	水整備面積率(%)	100	雨水整備面積率	率 = 雨水	整備	請済み面積	/計画雨		面積		
芦屋市	の特色	五など補品	足する事項												
/ 12 11	02 10 0	& C III x	C / U F /												
3 事美	<b>坐費</b> ·	活動配	分(コスト)	)			平成18.4.1住民	基本台帳	11	世帯当り(円	)	0 住	E民1人当り	(円)	0
事	<u> </u>	費			15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度			裁出累計額			事業費総額		
	人	件 費			4,630	4,860		6,631				-			-
	事	業費			35,850	9,236		43,619							
内 訳	他部	『門経費				0		0				-			-
		質却 費				0		0				-			-
	合	計	100.0%		40,480	14,096		50,250				-			-
	国	· 県	17.5%		10,100	0		8,794							
	市	債 等	63.7%		23,990	8,774		32,030							
(千円)		の他													
		設 財源	18.8%		6,390	5,322		9,426				-			-
	職	員			0.65	0.75		0.85							
		,臨時等													
(人)	合	計	100.0%		0.65	0.75		0.85							

	町(チェッ	ク)																	
評	価	視	点						許	「価チェ	こックリ							1次評価	2次評価
777	目的妥	当性(2	? ~ 2)		事業の主				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	· • • • •						交ることがで	きない		
妥					事業成果					献が高	11					は高くない	1.6.4.1.1		
	市民二	_ <b>T</b> `(2	- 1\	1	市民二一			丁つべき	<b>手</b> 業							行う事業で			
当	市氏—	ース(2	~ 1)		<b>▶</b> □ =			アロフ	ŗ					い高いと	は言え	ない , またに		4	2
					事業に関	数字で			適応して	١Ζ			ᆉᄉᅖᆟ	きの亦ん	レニホセ	ひせた見直し	未把握		
性	社会環	境変化	ረ(1 ~ 1)		サ来には 内容	]17⊘tT2	云垠児	リ女化に		, IS			11. 五块	見の女	1.1⊂001.	ノビル兄旦し	小小少女		
6点	優先性	. 緊急	性(1)	V	事業を実	:施しかけ	けわげ	市民の名	‡命 安全	*	員かわ	カ.ろ							
OM	受益者			_	事業意図								者が不	整合.;	または受	登益が一部に	限定		
有					進捗状況											・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	-100-		
効	進捗状	:況(2~	1)		☑ 実績								当初計画					3	3
性	`仕+止7h	羊人地	h/4 4)	計i	画から遅れ	れが出て	いる場	合											
4点	- 進抄以	苦赤儿	也(1~ 1)		改善策あ	<b>51)</b>											特になし		
					比較でき				団体名	L	県下				比較で	きる団体はな	はい		
	コスト(′	1~ 1	)	1	他団体の				単位コス		i	同一	基準			ていない			
効	١٨١(		,		□ 他回				☑ 他[	団体と	司程度	₹			他団体	よりコストがi	高い		
					い,または														
率					営事業(]						してい					IBS		1	1
·	手段(1	~ 3)			正規職員											担うべき部分		•	•
1.0		,			民間(企業						)		,		,	対応可能で			
性					嘱託,臨					である						応可能であ	53		
3点	コスト肖	削減取約	组(1~ 1)		コスト削減				る レバートの:	る日			特に行っ	っていた	:11				
				-	内容						76.**	<u>- ا</u>	L = 48	_					
平 成 10	6 年 度 改 善	の評の	価 内 容 向 性	≐亚	価結果	Ш	Α		年度に実 攻善の方向				り果を得			76 ⇌ 1	+		
(評価が	がない場合	合は記	己載不要)	яT		<b>V</b>	В	性	XEWIN	<b>"</b> 🗆	以世	₹ <i>UI</i> こ7.	が,効果	かな		改善し かった			
											1					13 7 10	総合	A	Α
平成		年	度に		工事費の	削減				沙盖	ミコス	、ト削	減の取り	り組みる	を継続し	していく。	評価	^	
実施	す る 必	改善額		課題		1111/2				内容	-	. ,,,,	124-2-124	) //ar./	_ ///// ·				
(	必	浜	,																
- 4 //																			
5 今後	負の対応	(アク	<b>ション</b> )																
										-									
			(ション) る 課 題	短時	間強降雨	量による	る被害の	の拡大(	確立年の	見直し	)。								
現在談	忍識 し	てい	る課題		間強降雨	量による	る被害の	の拡大(	確立年の	見直し	)。								
現在 詞市民,関	忍識 し	てい			間強降雨	量による	る被害の	の拡大(ネ	確立年の	見直し	)。								
現在 調市民,関からの	忍識し 高見 音	て い	る課題		間強降雨	量による	る被害の	の拡大(	確立年の	見直し	)。								
現在 詞市民,関	忍識 し	て い	る 課 題		間強降雨	量による	る被害の	の拡大(	確立年の	見直し	)。								
現在 調市民,関からの	忍識 市民意 第	てい民,関係見,要	る 課 題		間強降雨	量による	る被害の	の拡大(	確立年の	見直し	)。								
現在 調市民,関からの	忍識 市民意 第	てい民,関係見,要	る課題 経者の名称 いまず内容 対応内容		間強降雨		る被害の		確立年の	見直し	)。								
現在 部市民,関か要望	忍 識 し	てい民,関係見,要	る課題 素者の名称 要望内容 対応内容 実施期限		間強降雨	量による	る被害の	の拡大(	確立年の	見直し	)。								
現在 調市民,関からの	忍識 市民意 第	て い R,関係 見 , 要	る課題 経者の名称 いまず内容 対応内容		間強降雨		る被害の		確立年の	見直し	)。								
現在調売の要望	忍識 し 「「「」」 「「」」 「「」」 「」」 「」」 「」」 「」」	て い 民,関係 見,要 1)	る課題 著の名称 望内 内容 対応内容 実施期限 対応内容	平成	間強降雨	年	る被害の	月	確立年の	見直し	).								
現在 部市民,関か要望	忍識 し 「「「」」 「「」」 「「」」 「」」 「」」 「」」 「」」	て い 民,関係 見,要 1)	る課題 者の名称 望内容 対応内容 対応内容 対応内容 実施期限	平成	間強降雨		る被害の		確立年の	見直し	).								
現在調売の要望	図 識 市 目	て い 民,関係 見,要 1)	る課題 著の名称 望内 内容 対応内容 実施期限 対応内容	平成	間強降雨	年	る被害の	月	確立年の	見直し	))。								
現在調売の要望	図 識 市 目	て い 民,関係 見,要 1) 2)	る課題 者の名称 望内容 対応内容 対応内容 対応内容 実施期限	平成平成	間強降雨	年	る被害の	月	確立年の	見直し	),								
現在調売の要望	図 識 市 目	て い 民,関係 見,要 1) 2)	る課題 者の内内内 対定施期限 対応期限容 対応内容	平成平成	間強降雨	年	る被害の	月月	確立年の	見直し	),								
現在に関の望います。文化のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	双 係意 望 対 考え で えんしょう かんしょう しゅうしゅう はんしゅう しゅうしゅう しゅう	てい 民,関係 見,要 1) 2)	る課題 者の内内内 対定施期限 対応期限容 対応内容	平成平成	間強降雨	年	る被害の	月月	確立年の	見直し	),								
現在に関いています。現在に関いています。	双 係意 望 対 考え で えんしょう かんしょう しゅうしゅう はんしゅう しゅうしゅう しゅう	てい 民,関係 見,要 1) 2)	る課題 者の内内内 対定施期限 対応期限容 対応内容	平成平成	間強降雨	年	る被害の	月月	確立年の	見直し	),								
現在に関の望います。文化のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	双 係意 望 対 考え で えんしょう かんしょう しゅうしゅう はんしゅう しゅうしゅう しゅう	てい 民,関係 見,要 1) 2)	る課題 者の内内内 対定施期限 対応期限容 対応内容	平成平成	間強降雨	年	る被害の	月月	確立年の	見直し	),						の方向作		
現在に関の望います。文化のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	双 係意 望 対 考え で えんしょう かんしょう しゅうしゅう はんしゅう しゅうしゅう しゅう	てい 民,関係 見,要 1) 2)	る課題 者の内内内 対定施期限 対応期限容 対応内容	平成平成	間強降雨	年	る被害の	月月	確立年の	見直し	).					拡大	・充り		<b>2次評価</b> ○
現在に関の望います。文化のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	双 係意 望 対 考え で えんしょう かんしょう しゅうしゅう はんしゅう しゅうしゅう しゅう	てい 民,関係 見,要 1) 2)	る課題が実対実対実対の内内期内を開めている。	平成平成		年年		月月月								拡大現場	· 充 写	Ĕ	0
現在に関の望います。文化のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	双 係意 望 対 考え で えんしょう かんしょう しゅうしゅう はんしゅう しゅうしゅう しゅう	てい 民,関係 見,要 1) 2)	る課題が実対実対実対の内内期内を開めている。	平成平成	間強降雨	年年		月月月				に が に に に に に に に に に に に に に	進める。			拡 大 現 り 方 注	· 充 章 t 維 技 t 改 著	<b>€</b> ○ <b>•</b> • • • • • • • • • • • • • • • • • •	0 0 •
現 市 か 要 課 へ そ 改 他 の ・ の 善 の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	1   1   1   1   1   1   1   1   1   1	てい 民,関係 見,要 1) 2) 3)	る課題が実対実対実対の内内期内を開めている。	平成平成引き		年年		月月月				修備を	進める。			拡 大 現 状 方 法 民間	· 充写 : 維 技 : 改 語 委 託 等	<b>€</b> ○	<ul><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li></ul>
現 市 か 要 課 へ そ 改 他 の ・ の 善 の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	1   1   1   1   1   1   1   1   1   1	てい 民,関係 見,要 1) 2) 3)	る 課 名 の 内 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実	平成平成引き		年年		月月月				(備を)	進める。			拡 大 現 方 民 間	· 充写 《 維 技 表 託 《	<b>€</b> ○	0 0 0 0
現 市 か 要 課 へ そ 改 他 の ・ の 善 の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	1   1   1   1   1   1   1   1   1   1	てい 民,関係 見,要 1) 2) 3)	る 課 名 の 内 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実	平成平成引き		年年		月月月				(情を)	進める。			拡大 現方 民 縮 合/	· 充 字	E ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	O O O O O
現 市 か 要 課 へ そ 改 他 の ・ の 善 の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	1   1   1   1   1   1   1   1   1   1	てい 民,関係 見,要 1) 2) 3)	る 課 名 の 内 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実	平成平成引き		年年		月月月				修備を	進める。			拡大 現方 民 縮 合/	· 充写 《 維 技 表 託 《	E ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	0 0 0 0
現 市 か 要 課 へ そ 改 他 の ・ の 善 の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	1   1   1   1   1   1   1   1   1   1	てい 民,関係 見,要 1) 2) 3)	る 課 名 の 内 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実	平成平成引き		年年		月月月				を備を な	進める。			拡大 現方 民 縮 合/	· 充 字	E ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	O O O O O
現 市か要 課 へ そ改 平 他 の も の の も の の も の の も る る ら る る ら る ら る ら る ら る ら る ら る る ら る る る る る る る る る る る る る	双   係意   望   対   考   ア   2   1   1   1   1   1   1   1   1   1	て R, 関係 見 , 要 1) 3) ねデ	る	平成平成引きが	続き浸水	年年年	びに道 がに 単巻 及で	月月の日本を	・解消する	ため同	下水整 する財		況を示し	した下フ	<b>大道長</b>	拡大現場 大規 大規 大規 大規 大規 統	· 充 。	<b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E </b>	○ ● ○ ○ ○ ○
現 市か要 課 へ そ改 平 他 の も の の も の の も の の も る る ら る る ら る ら る ら る ら る ら る ら る る ら る る る る る る る る る る る る る	双   係意   望   対   考   ア   2   1   1   1   1   1   1   1   1   1	て R, 関係 見 , 要 1) 3) ねデ	る	平成成成成分がある。	続き浸水 工果額を比	年 年 後 接 接 接 接 接 接 接 接 接 表 单 卷 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表	型費及でした上。	月月月水水を経過でで、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番	・解消する	ため同	下水整 する財		況を示し	した下フ	k 道 と ど ご	拡大 現方 民 縮 合/	· 充 。	<b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E </b>	○ ● ○ ○ ○ ○
現 市か要 課 へ そ改 平 他 の も の の も の の も の の も る る ら る る ら る ら る ら る ら る ら る ら る る ら る る る る る る る る る る る る る	双   係意   望   対   考   ア   2   1   1   1   1   1   1   1   1   1	て R, 関係 見 , 要 1) 3) ねデ	る	平成成成成分がある。	続き浸水	年 年 後 接 接 接 接 接 接 接 接 接 表 单 卷 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表	型費及でした上。	月月月水水を経過でで、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番	・解消する	ため同	下水整 する財		況を示し	した下フ	K 道 と ど さ い 。	拡大現場 大規 大規 大規 大規 大規 統	· 充 。	<b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E E</b> ○ <b>E</b> ○ <b>E </b>	○ ● ○ ○ ○ ○

(投資	車 業 /	事業	コード	4330	050				部長	次	長課	長
( ), ,	<b>F /</b> /	<del>-</del>	<del>-</del> '	1000	300				ПР		IX IIX	
平成1	7年度	事	業 名	街路	事業区域公共下水流	道整備						
1 事:	ᄣᄣ	要(ドゥ)										
		( )		4	はなべるフォルの	ナフ却士べくり			I	7.井 元几 分77		
			りの目標		快適でうるおいの	*** *			所 管 課	建設部		
総合			<u>中</u>		安全で快適な生活	基盤の允美				下水道調		
政策			小	3	下水道の整備				所管課長氏名			
体	系		細						記入者氏名		志	
事	業	斯		平成	13年度~平成2	2 年度 投資臨時	☑ 投資 □	臨時	電話番号		内線	2315
根 拠	法	令 · 5	要綱等	下水:	道法				実 施 主 体	市		
実	施	手	法	<b>✓</b>	直営	□ 一部委託	□ 全部委託		□補助金		負担金	
委		託	先		外郭団体委託	名称		□ 民間	委託 <mark>委託 内容</mark>	F		
				汚水	管整備 L=3,114	4m			•	•		
事	業	の	概 要	雨水	管整備 L=1,156	6m						
				• 111	手幹線整備事業に	伴い公共下水道を整備す	トス					
事	業	Ø	現 状			庫補助金の申請,各種コ						
7	*	0)	-元 1八		バ是事業計画, 国/ 治会, 地元住民と(							
	□ 665 S	±⊞∧Ł⊭	h.m.		=> = + =	の協議調整 埋設物占用者との協議訓	田中午					
		実現のため		* 坦.	始目垤有 * 台地   7	生政物白用有との励識が	可能					
	于段	及び実施内	7谷									
		1			***   *****	(0/)						
					道汚水整備延長率		1.41 = 77 E					
						= 汚水整備延長/全体汚			I <b>–</b> B		I <b>—</b> 15	
		(1)			15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成18年度	(目標)	平成19年度	【(目標)
アウト	プット		指標値		1 8	3 9	4 2		7 8		7 8	
指	標		指標 名	下水	道雨水整備面積率							
		結果指標	考え方·式	下水	道雨整備延長率 = 「	雨水整備延長/全体雨水	計画延長(%)					
		(2)	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成18年度	(目標)	平成19年度	₹(目標)
			指標値		5 8	9 0	91		100		100	)
2 事	業成	果(アウ)	トカム)						•		•	
				<ul><li>山</li></ul>	手幹線整備事業の	周辺地域。						
		対	象									
事業の	目的		-									
対象・				· Ш	手幹線整備事業区	域の汚水管整備。						
,,, <sub>20</sub> ,	, L	意	図			域周辺の雨水管整備。						
			主語にして)		7.村冰亚洲子水口	3/1/21/11/11/11 IE/III 0						
		(V)3(C_	Lmicoc)	• 111	壬齢線敷備重業の	周辺地域の衛生環境が改	か恙される					
大	き	な	目 的	· .		周辺地域が安全で快適な						
^	-	'Φ	н из	ш	丁和冰走佣事来(7)	可应地域//"女王、八遍。	TIDW- ( C 2)	0				
					指標名	指標値			考え方・	. 式.		
		中 間	(1)									
アウト	. <del>1</del> / /		( ' )	汚水	<管整備延長率(%)	42	汚水整備布設?	率=汚水管	會布設延長(1,302	?m)/計画>	5水管布設延長	₹(3,114m)
		成果指標					<b>雨水等敕供</b> 延	巨弦_雨水	 K管布設延長(1,0	N51m) / ≘+īi		ī.E
(事業)		/ <b>从</b> 不1日1示	(2)	雨水	K管整備延長率(%)	91	(1,156m)	<b>大学=</b> 附力	、自印政处故(1,6	STIII ) / 青  L	<b>凹附小目</b> 印	±tx
(尹未)	)C J )						(1,100)					
		最終成	果 指 標	下	水道普及率(%)	100	山手幹線整備	事業の周	辺が安全で快適な	は生活がで	<b>゙</b> きる。	
英层市	ω t± t	カかど油り	足する事項									
户屋巾	の村に	さなと補え	と9つ争以									
2 ===	***	ンエチもあつ	<u>/\                                    </u>				T # 40 4 4 12 12	サナハ*E	4 ## W// (TI)		<b>₩</b> □4   ₩0/E	7) 0.400
			分(コスト)	) 	4 F F F ( ) + M >	正式4.6左连(法签)	平成18.4.1住民		1世帯当り(円)		住民1人当り(円	
事	業	費		平风		平成16年度(決算)	平成17年度		歳出累計額(	<b></b>	事業費総額(決	早+計画)
		件費	1		9,735	6,670		5,898		-		-
	事	業費			125,879	76,399		11,605		282,602		385,952
		『門経費								-		-
(千円		道當却費								-		-
	合	計			135,614	83,069		17,503		-		-
	国	・県			21,200	11,825				53,198	<u> </u>	57,098
財 源	市	債 等	41.3%		98,070	49,320		7,236		229,404		328,854
(千円	) そ	の他										
		般 財源			16,344	21,924		10,267		-		-
活 動	力職	員			1.50	1.05		0.75				
		·臨時等										
		<u>計</u>			1.50	1.05		0.75				
(人	) 合											

	西(チェ	:ック)																		
評	価	視	点						討	平価チェ	ェック	リスト							1次評価	2次評価
_	目的	]妥当性(2	2 ~ 2)		事業の主												とができた	ない		
妥		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			事業成果					献が高	561			が不明						
	+	1 — ¬*(o	4)	1	市民二一			丁うべき事	業								事業では			
当	巾氏	ニーズ(2	(~ 1)		<b>→</b> □ =			<b></b> 117	r			Ц	ニース	が高い	とは言	えない	, またはオ		4	2
						数字で			海内して	117				単金のが	:/v:= ±	· +> ++ +		把握	•	_
ıh≠+-	社会	環境変化	比(1~ 1)		事業に関 内容	りわる紅笠	云塚児(	り変化に	週心しく	<b>い</b> る			任宏境	見りの姿	21七にの	かせに	:見直しか	心安		
性 6点		性,緊急	性(1)		事業を実	'施しか!-	th It	市民の生	수 호수	* 生が指	温かを	2h2								
0.m.		i者(1~		_	事業意図								益者が	不整合	または	受益が	一部に	見定		
有					進捗状況									きまたは				K		
効	進捗	状況(2~	1)		· 図 実績									=50,C15 †画から					3	3
性	\#-11F		l-74 45		画から遅れ															0
4点	- 進捗	改善东攻	也(1~ 1)		改善策あ	(از											□ 特	になし		
				7	比較でき	る団体が	がある		団体名	兵庫	1県車	<b>-</b>			比較	できるに	体はない	, 1		
	771	<b>├</b> (1 ~ 1	١	1	他団体の				単位コス	۲۲		同一	基準		把握	していな	111			
効	1/1	17(1	)	<b>▶</b>	. □ 他回	団体よりこ	コストが作	低い	☑ 他[	団体と	同程	度			他団	本よりコ	ストが高い	l I		
					い,または															
率					営事業(]						Eして								1	1
·	手段	t(1 ~ 3)			正規職員												(き部分が		•	•
		-/									5		,		,		可能であ			
性					嘱託,臨					である						対心可	能である	)		
3点	コスト	ト削減取組	組(1~ 1)		コスト削減			⋾ってい。 口径人孑					特に行	うってい	ない					
				-	内容	<u> </u>					76.0	<del></del>	+ m + /							
平 成 10	6 年 度 改 善	度の評	価内容 5向性	≐亚	価結果	Ш	Α		年度に実 対善の方向				効果を行	-			75 辛 1 +>			
(評価が	びない場	場合は記	己載不要)	яT	川川川木		В	性	X=W/JI		に入る	善しに	が,効!	未かな			改善しな かった			
																	,, ,,,,	総合	Α	Α
平 成		8 年	度に		工事費の	削減				沙金	É コン	スト削	減の耳	うり組み かんしょう かんしょう かんしょう かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ しゅう かんしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅう	・	もしてい	۱<.	評価		
実施	する 必	o 改 a 須		課題		,,,,,				内容	<del>-</del> -1	. , ,		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	C 11211)		• •			
(	ж,	<b>冯</b>	. ,																	
5 今後	後の対.	応(アク	7ション)							_										
		·																		
		·	7ション) る課題	山手	<b>-</b> 幹線整備	#事業の	進捗状	況に合わ	つせて下	水道整	を備を	進めて	ていく。	)						
現在詞	認 識し	してい	る課題		<b>-</b> 手幹線整備	#事業の	進捗状	況に合わ	つせて下	水道整	を備を	·進め <sup>-</sup>	ていく。	)						
現在 記市民,関	認 識 し	してい			<b>手幹線整備</b>	<b>帯事業の</b>	進捗状	況に合ね	つせて下	水道整	を備を	·進め <sup>-</sup>	ていく。	)						
現在 調市民,関からの	忍識 情意見 意見	してい	る課題		<b>手幹線整備</b>	<b>帯事業の</b>	進捗状	況に合ね	つせて下	水道整	が備を	·進め <sup>-</sup>	ていく。	)						
現在 記市民,関	認識し	してい	る 課 題系者の名称		<b>-</b> - 幹線整備	#事業の	進捗状	況に合ね	つせて下	水道整	備を	-進め <sup>-</sup>	ていく。							
現在 調市民,関からの	忍識 情意見 意見	してい お民,関係	る 課 題系者の名称		<b>手幹線整備</b>	<b>帯事業の</b>	進捗状	況に合え	つせて下	水道整	を備を	進めて	ていく。	)						
現在 調市民,関からの	忍識 情意見 意見	してい 市民,関係	る課題 系者の名称 要望内容 対応内容		手幹線整備		進捗状		つせて下	水道整	を備を	*進め*	ていく。							
現在 部市民,関から 望	忍識 情景等	してい お民,関係	る課題系者の名称		<b>手幹線整備</b>	備事業の	進捗状	沢に合わ	つせて下	水道整	を備を	進めて	ていく。	,						
現在 調市民,関からの	忍識 情景等	してい 5民,関係 意見,要 (1)	る課題 系者の名称 要望内容 対応内容		<b>-</b> - - - - - - - - - - - - - - - - - -		進捗状		つせて下	水道整	を備を	進めて	ていく。							
現在に対している。現代では、関いては、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いで	図 識 書 見 等 章	してい お民,関係	る課題 系者の名称 要望内容 対応内容 実施期限 対応内容	平成	<b>手幹線整</b> 值	年	進捗状	月	つせて下	水道整	を備を	-進め-	ていく。	,						
現在 部市民,関から 望	図 識 書 見 等 章	してい 5民,関係 意見,要 (1)	る課題 系者の名称 要望内容 対応内容 対応内容 対応内容 実施期限	平成	<b>手幹線整</b> 值		進捗状		つせて下	水道整	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	進めて	ていく。	,						
現在に対している。現代では、関いては、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いで	図 識 書 見 等 章	してい 5民,関係 意見,要 (1)	る課題 系者の名称 要望内容 対応内容 実施期限 対応内容	平成	<b>手幹線整</b> 值	年	進捗状	月	つせて下	水道整	子倫を	進めて	ていく。							
現在に対している。現代では、関いては、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いで	図 識 書 見 等 章	してい 市民,関係 意見,要 (1)	る課題 系者の名称 要望内容 対応内容 対応内容 対応内容 実施期限	平成平成	<b>手幹線整備</b>	年	進捗状	月	つせて下	水道整	を備を	進め~	ていく。							
現在に対している。現代では、関いては、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いで	図 識 書 見 等 章	してい 市民,関係 意見,要 (1)	る課題 系者の名 内 容 対応 内 容 対応 期限 対応 内 容 対応 期限 対応 内 容	平成平成	<b>手幹線整</b> 值	年	進捗状	月	つせて下	水道整	を 備を	進めて	ていく。							
現在民らり題のの他	窓 係意 望 対 考え	してい 市民,関係 (1) (2) (3) られる	る課題 系者の名 内 容 対応 内 容 対応 期限 対応 内 容 対応 期限 対応 内 容	平成平成	<b>手幹線整</b> 值	年	進捗状	月	つせて下	水道整	- Marking to the state of the	進めて	CVV c							
現在に関の望います。	窓 係意 望 対 考え	してい 市民,関係 (1) (2) (3) られる	る課題 系者の名 内 容 対応 内 容 対応 期限 対応 内容 対応 期限 対応 内容	平成平成	<b>手幹線整</b> 值	年	進捗状	月	oせて下;	水道整	- Marking and a second a second and a second a second and a second a second and a second a second and a second and a second and a second and a second a second and a second a second and a second and a second a second and a second and a second a second a second a second and a second and a second and a s	進めて	cv<.							
現在民らり題のの他	窓 係意 望 対 考え	してい 市民,関係 (1) (2) (3) られる	る課題 系者の名 内 容 対応 内 容 対応 期限 対応 内容 対応 期限 対応 内容	平成平成	手幹線整 (f	年	進捗状	月	oせて下;	水道整	Yelfa を	進めて	CVY c					方向性		2次評価
現在民らり題のの他	窓 係意 望 対 考え	してい 市民,関係 (1) (2) (3) られる	る課題 系者の名 内 容 対応 内 容 対応 期限 対応 内容 対応 期限 対応 内容	平成平成	<b>手幹線整</b> 值	年	進捗状	月	oせて下;	水道整	Yeff を Manual Manual	進めて	ていく。				拡大・	充実	0	0
現在民らり題のの他	窓 係意 望 対 考え	してい 市民,関係 (1) (2) (3) られる	る課題 系者の名 内 容 対応 内 容 対応 期限 対応 内容 対応 期限 対応 内容	平成平成		年年		月月				進めて	ていく。				拡 大 · 現 状	· 充 実 維 持	○ ●	0 0
現 市 か 要 課 へ そ 改 他 の ・ の 善 の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<ul><li>認 係意</li><li>望 対</li><li>ま 方</li><li>で え て</li></ul>	してい 市民,関係 (1) (2) (3) られア	る 課 名 家 女 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実	平成平成引き	手幹線整 (f	年年		月月				進め -	Clive a			-	拡 大 · 現 · 状 方 法	充 実維 持改 善	<ul><li>○</li><li>○</li><li>○</li></ul>	0 0 •
現 市 か 要 課 へ そ 改 他 の ・ の 善 の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<ul><li>認 係意</li><li>望 対</li><li>ま 方</li><li>で え て</li></ul>	してい 市民,関係 (1) (2) (3) られア	る課題 系者の名 内 容 対応 内 容 対応 期限 対応 内容 対応 期限 対応 内容	平成平成引き		年年		月月				進め ~	ていく。				拡 大 · 現 · 状 方 · 法 民 間 <i>尋</i>	充 実       維 持       改 善       託 等	<ul><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li></ul>	<ul><li>○</li><li>●</li><li>○</li></ul>
現 市 か 要 課 へ そ 改 他 の ・ の 善 の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<ul><li>認 係意</li><li>望 対</li><li>ま 方</li><li>で え て</li></ul>	してい 市民,関係 (1) (2) (3) られア	る 課 名 家 女 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実	平成平成引き		年年		月月				進め つ	CVV C			-	拡 大 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	充 実 維 持 改 善 託 等	<ul><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li></ul>	<ul><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li></ul>
現 市 か 要 課 へ そ 改 他 の ・ の 善 の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<ul><li>認 係意</li><li>望 対</li><li>ま 方</li><li>で え て</li></ul>	してい 市民,関係 (1) (2) (3) られア	る 課 名 家 女 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実	平成平成引き		年年		月月				進めて	cv<.			-	拡 大 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	充 集 持 改 善	<ul><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li></ul>	O O O O
現 市 か 要 課 へ そ 改 他 の ・ の 善 の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<ul><li>認 係意</li><li>望 対</li><li>ま 方</li><li>で え て</li></ul>	してい 市民,関係 (1) (2) (3) られア	る 課 名 家 女 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実	平成平成引き		年年		月月				進めて	cv<.			-	拡 大 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	充 実 維 持 改 善 託 等	<ul><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li></ul>	<ul><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li></ul>
現 市 か 要 課 へ そ 改 他 の ・ の 善 の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<ul><li>認 係意</li><li>望 対</li><li>ま 方</li><li>で え て</li></ul>	してい 市民,関係 (1) (2) (3) られア	る 課 名 家 女 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実	平成平成引き		年年		月月				進めつ	CVV C			-	拡 大 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	充 集 持 改 善	<ul><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li></ul>	O O O O
現 市か要 課 へ そ改 平 他 の の あ の の あ の の あ の の も の の も の も の も に は に に に に に に に に に に に に に	<ul><li>認 係意</li><li>望 対</li><li>考 下</li><li>ス イ</li><li>ス イ</li><li>ス イ</li></ul>	してい 市民,関係 (1) (2) (3) るイ 1年度(	る	平成平成引き	続き街路	年年	車帯を国	月月	道整備を	進める	<b>る</b> 。					-	拡 大 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	充 集 持 改 善	<ul><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li></ul>	O O O O
現 市か要 課 へ そ改 平 他 の の あ の の あ の の あ の の も の の も の も の も に は に に に に に に に に に に に に に	<ul><li>認 係意</li><li>望 対</li><li>考 下</li><li>ス イ</li><li>ス イ</li><li>ス イ</li></ul>	してい 市民,関係 (1) (2) (3) るイ 1年度(	る 課 名 家 女 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実	平成平成引き	続き街路	年年	車帯を国	月月	道整備を	進める	<b>る</b> 。					-	拡 大 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	充 集 持 改 善	<ul><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li></ul>	O O O O
現 市か要 課 へ そ改 平 他 の の あ の の あ の の あ の の も の の も の も の も に は に に に に に に に に に に に に に	<ul><li>認 係意</li><li>望 対</li><li>考 下</li><li>ス イ</li><li>ス イ</li><li>ス イ</li></ul>	してい 市民,関係 (1) (2) (3) るイ 1年度(	る	平成平成引き	続き街路	年年	車帯を国	月月	道整備を	進める	<b>る</b> 。					-	拡 大 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	充 集 持 改 善	<ul><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li></ul>	O O O O

(内部	事務)	事業	□ <b>-</b> ド	43302	210			部長次	長課長
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	,					n/h+++++/=/-		AP X/A	IX IV
平成17	年度	事	業名	下水	直本管及び取付管の	の維持補修・改良工事			
4	114 107 -	<b>I</b> (   4 )							
		要(ドゥ)	100 = +=		<b>西海でるてわいの</b>	なる報声がく M		Z±⇒₽. ↔n	
第3次产総合			りの目標 中	3	快適でうるおいの 安全で快適な生活			- 所 管 課 <sup>建設部</sup> 下水道課	!
政策			<u>ㅜ</u> 小	3	下水道の整備			所管課長氏名藤井 高	
体	系系		· <u>·····</u> 細	J				記入者氏名岩崎湍	
事	業	期		昭和	10年~	経常臨時	☑ 経常 □ 臨時	<b>電話番号</b> 31-2	
根 拠				下水:		•		実 施 主 体 市	
実	施	手		$\Box$		一部委託	全部委託		負担金
委		託	先	Ш	外郭団体委託	名称	□民間	間委託 <mark>委 託 内 容</mark>	
事	業	Ø	概 要	公土:	下水道管の維持補何	修・改修工事の設計,積	<b>道</b> 現場管理		
7	*	U)	144 安	47	1 /1・/空 日 ^ / 小田171川川	シー・ハンユザン区口,作	DE, DEMINET		
				・苦	情,要望及び日常。	点検での不良箇所のテレ	ビ調査及び目視調査を	実施し補修並びに改良工事	を行う。
事	業	の	現 状		7年度発注件数 11	19件			
				内		place A some a second	I I feeler all the second of the		
		実現のため						f,雨水取付管布設13箇所,	
	于段》	及び実施内	谷	-	人扎蓋取替148箇所	f,管目地補修44箇所, <sup>-</sup>	ト水管清掃2,530m, その	)他上事1式	
			指標名	改良	・補修・点検等発生	生件数			
アクテ	ィブ	(千香) 十七十两				平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
指	標	活動指標	指標値		102	143	119		
			単位コスト	5	44,000円/箇所	464,000円/箇所	472,000円/箇所		
<b>7</b> + 1	<b>-</b>		指標名	<del>77 -</del> ₽	1. 左左(ウ油)	亚代 1 6 左连 4 克体 5	亚代 4 7 年 4 中华 5	亚代 1 0 左连 / □ 堙 ;	亚代 1 0 左连 / 豆坪 /
アウト		結果指標			15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
指	標		指標値単位コスト						
2 事	業成	果(アウ)							
				1±1.45	・お放ぶり声ムー	ト、光体			
		対			<ul><li>・改修が必要な下が</li></ul>				
			バー率	対象	t 数 (a)	119 受益数	<b>坟 (b)</b> 119	比率 (b ÷ a) %	100%
対象·	意 図		(m)	P# /÷	人士中山河之州上	トッとは アユンゲュレー	业能产品力1~17 ·		
		意 (対象を=	凶 E語にして)	大週	は甲氏生店を維持*	するため、下水道施設の	<b>仏態を艮好に保つ。</b>		
		(人)多でこ							
大	き	な	目 的	下水:	道施設の適正な維持	寺管理を行うことにより	,快適な市民生活を維持	寺する。	
			指標名						
					箇所÷補修必要箇所				
7 4	+ ,	成果指標				平成16年度(実績)	平成 1 7 年度 (実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
ア ウト 指	カム標		指標値 指標名		100%	100%	100%	100%	100%
1H	信示		指 標 名 考え方・式						
		取 終 成果指標		平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
			指標値	. 1-20				( A 144 )	
						•	•		
芦屋	の	特色	さなど						
	114	\+ =	/\				<b>'</b>	1=	I n
			分(コスト)	) 77 <del>(*</del>	1.5年度/油管》	亚武16年度(油管)			平成18.4.1 住民基本台帳
事	*************************************	費件 費	構成% 7.5%	十八	15年度(決算) 4,254	平成 1 6 年度(決算) 4,665	平成 1 7 年度 (決算) 4,193	平成18年度(予算)	
	事	業費			51,150	57,001	51,967	67,371	
内 訳	3.	3門経費	02.0/0		31,100	4,708	31,307	-	
		償却費				, 11		-	
	合	計			55,404	66,374	56,160	-	
	国	· 県							
	市	債 等			15,670	6,355	1,477	24,000	
(千円)		の 他 財源			39,734	25,157	39,144 15,530	37,601	
活 動	一 職	以別源	<b>27.7%</b> 100.0%		0.55	<b>34,862</b> 0.55	<b>15,539</b>	-	
		·臨時等			0.00	0.33	0.00	-	
(人)		<del>情</del>			0.55	0.55	0.60	-	

	曲(チェック)		.1					dore d	<b>T</b>	- · · · - ·							I	
評		視点			1					ックリスト							1次評価	2次評価
_	対象カバー		☑ 対象					□ 他団体					他団体よ					
有	受益者(1~	1)					うしている				益者が不				引に限	正		
効	成果の実績	責(2~ 1)						目標値を記	父正し								4	4
		. ,					がっている	ると言える		L	実績値が	から成果	があがっ	ている	と言え	ない	•	•
性	- 成果向上给	除地(1~ 1)			ていない	1場台	·											
4点			□ 成界				<u> </u>			<b>-</b>			1.44			持になし	,	
			☑比較						兵庫	県 ト		****	比較でき		はない	١		
	活動配分(1	1 ~ 1)						活動配分	:			****	把握して					
**	,	,			体より少な			□ 他団(	本と同れ	怪伎		1	他団体よ	り多い				
效力			- ,		少ない場		里由		· ·				1 44 - 1					
			☑比較					団体名	<b></b>		<b>+</b> **		比較でき		はない	١		
	単位コスト(	(1 ~ 1)	1 1		数字を把			単位コスト			-基準		把握して		-v	,		
率					体よりコス			☑ 他団(	40回	住及		1	他団体よ	リコスト	か高い	1	1	0
					ほい場合			<b>ひょう</b>	1711	フンドマカリー	0U.T							
								体へ委託	U ( 6 1 ·			- <del></del> 11-1	- <del>*</del> ^^ +\^+	12 av + ti	7/\_*	·+ 7		
444	手段(1~	3)					務づけら		t 7		個人,家							
性 4点								ない業務で い業務でも			民間(企   嘱託 , 臨					)		
4 从				-,			すっている	い耒份で	୬ଚ		特に行:			가미병(	၂၈၁		-	
	コスト削減	取組(1~ 1)	U				工法等の	坪田		Ц	村に1」:	) CNA	υ I					
				31 <del>11</del> 4			1/4 <del>5</del> 07.	14713										
平成1	6 年 度 の 改 善 の	評価内容	: ≐亚/≖ ⊬+	+ FF		Α	平成17年	度に実施		改善し,	効果を得	た						
(評価な	び み めがない場合に	力 问 性 t記載不要)	評価結	未	$\checkmark$	В	した改善	の方向性	П	改善した	が,効果:	がない			しな			
( 41 14 7		- HO +W   Z /							_		7,705,710			かっ	た	総合	Α	В
平 成	. 1 8 1	年 度 に		+-++ - \/	MAN N						W = # 1	o der er de	Chir Cala X	<b></b>		評価	^	D
実施	する改	善内容	課題 <sup>上場</sup>	事費の肖	川ル				改善 内容	コスト目	削減の取り	り組みを	*継続し	( ( ) < -				
(	必	須 )							בדניו									
[	後の対応(フ	フクシュンハ																
J 71:	友リノスリルい(ノ	·/// = / )	発生した	・時占で	の「対:	<b>症療</b> 法	长的   対応	5										
現在意	認識して	いる課題	-		V2 (X1)	/IL//T(12	7117 711/1	٠,										
276 111 1		VI & DA ACE	•															
市民,関	原者 市民, 厚	関係者の名称	住民															
からの	辛日			r) = 1. 9	BB	±v ±== /1	.) = 1. = 5	+- LD										
要 望	等思見,	要望内容	小の恨寺	による	闭基,	老竹仙	とによる他	文垻										
		対応内容	租地確認	11 F N	分広													
	(1)	אניוטוונא	シルトロル田市の	MC & 9	71/6		_											
		実施期限	平成	左	年		月											
課題·要		対応内容																
	(2)						1_											
へ の s	対 心	実施期限	平成	至	年		月											
	(2)	対応内容																
	(3)	中标期阳	立中	Ŀ			Тп											
		実施期限	平成		チェルの	道ス	月											
マの 供	きえられ	z	マッレン	ソンハ	. / Д0):	等八												
	3 写 ん 5 11 の ア イ デ i	_																
	,,,,,	<b></b>												今~	きの きんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょ かんしょう かんしょう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう しゅう かんしゅう しゅうしゅう かんしゅう んしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅ かんしゅう かんしゅう かんしゅ かんしゅ かんしゅ かんしゅ かんしゅ かんしゅ かんしゅ かんしゅ	方向性	1次評価	2次評価
																充実		0
			維持管理	レベル	の総合	化										維持		•
			経済比較												法		0	0
平成1	9~21年月	度の方向性														託等		0
														縮			VO	0
														統言	合/終	期設定	0	0
																休 山		0
																	-	
ე \/ <del>\</del> ⊅ ≑π	7 体 禾 旦 /	× ¬ ✓ >,																
2 次 評	平価 委 員 会	<u> </u>																

(内部	事務)	事業	コード	43302	220			部長次	長課長
, , , , , , ,					-	UC 75			KIM K
平成17	/ 年度	争	業名	卜水:	道施設の維持管理	<b>美務</b>			
		要(ドゥ)	12 0 0 1 1 1		め立てミスかいの	+ 7 tm + 3 / 10		7.47027	
第3次户総合			りの目標 中		快適でうるおいの 安全で快適な生活			→ <b>所 管 課</b> 建設部 下水道課	
政 策 )			<u>中</u> 小	3	下水道の整備	<b>産艦の光天</b>		所管課長氏名 藤井 高	
体	心系		<u>/」</u> 細	3	一小垣の歪曲			記入者氏名岩崎湍	
事	業	期		昭和	10年~	経常臨時	□ 経常 □ 臨時	電話番号31-2	
根 拠				下水		Very 1 la militaria		実施主体市	1 3.50
実	施	手	法	<b>V</b>	直営	□ 一部委託	□ 全部委託		負担金
委		託	先		外郭団体委託	名称	□民	間委託 <mark>委託内容</mark>	
事	業	の	概 要	他企	業及び他課事業の記	道路掘削工事に伴う協議	,及び各管理者への占	用協議事務	
					いへ米ひがい 声光き	田 ト 50 岩内 根別 工事 12 44	こめ発書の担山がより	, それに対する回答, 現場	立合い 租地明子
事	業	Ø	現 状		也在来及い他事業 び工事中の巡回等る		り随識者の促出があり	,て4四二対9公凹台,先笏	立云 V ', 况起 的 / ',
<del>-</del>	*	0)	-70 -170		らエザーの巡回する 各管理者への下水i				
	目的	実現のため	ത						
		及び実施内							
<b>_</b>			指標名			T + 4 C + + + + + + + + + + + + + + + + +	T # 4 - + + + + + + + + + + + + + + + + + +		T-1 4 6 5 5 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5
アクテ		活動指標		半成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
指	標		指標値単位コスト		101 28,000円/件	75 32,000円/件	93 21,000円/件		
			指標名		28,000円/円	32,000円/14	21,000円/1円		
アウト:	プット			平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
指	標	結果指標	指標値	1 7520	10 1及(八層)	1 MA COME		That is the (Ellar)	That is the Callet
			単位コスト						
2 事	業成	果(アウト	カム)					•	
		対	象	協議の	の対象となった下れ	k 道施設			
声光の	44						t (h)	LL \$\frac{1}{2} \land \l	100
対象・			バー 率	XJ ≷	表 数 (a)	93 <mark>受益数</mark>	<mark>女 (b)</mark> 93	比率 (b ÷ a) %	100
V1 3/		意	図	快滴	な市民生活を維持す	<b>するため,下水道施設の</b>	状態を良好に保つ。		
			上語にして)	7 (22	or it a grant is	, 010-7, 17,02,03,0	VIEW C XXX (-PN -0		
			· · · · ·						
大	き	な	目 的	施設	の損傷を防ぎ適正力	な管理を行う。			
			l	L/A TOTAL	In the state				
		rh 88	指標名		<sub>貝陽</sub> 平 数÷協議回答数				
		中 間 成果指標				平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
アウト	カム		指標値		0 0		(大順) ()	0	0
指	標		指標名						
			考え方・式						
		成果指標		平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
			指標値						
* -		4+ ~							
芦屋		特色	となど						
3 事	<b>坐</b> 巷。	:壬動和:	分(コスト)	)			1世帯当り(円) 50	(世民1人当り(円) 22	平成18.4.1 住民基本台帳
事	業	費	構成%	平成	15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(決算)		1成10.4.1 区以至平口报
3.	人	件費	100.0%		2,837	2,451	1,973		
	事	業費							
内 訳	他部	7 門 経 費						-	
(千円)		貸却費						-	
	合	計			2,837	2,451	1,973	-	
B+ V7	国	・ 県							
財 (千円)	市子	債 等の 他							
( [ []		とり 期源			2,837	2,451	1,973	_	
活動	間職	<del>以 ※ ※</del> 員	83.3%		0.35	0.25	0.25		
	_	·臨時等			3.30	0.05	0.05		
(人)		計			0.35	0.30	0.30		

	曲(チェック)		-1				Arr.	/ <del>TT</del>	<u> </u>							T	
評		視点							ックリス	. ト						1次評価	2次評価
<del>_</del>	対象カバー		☑ 対象力			A 1	□ 他団体			- > 1 + 1 + 1 = 1		他団体より					
有	受益者(1~	1)	☑事業意			-					不整合,ま			に限	疋		
効	成果の実績	責(2~ 1)	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□					没定し								4	4
			▶☑実				ると言える			□ 実績値	直から成果	゚ゕ゙゙゙゙゙゙ゕゕ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙ゕ゙ゕ゙ゕ゙゙゙゙	ている。	と言え	ない		•
性	- 成果向上余	≷地(1~ 1)	成果があた		い場合	<i>,</i>											
4点			□ 成果向			<u> </u>									持になし	,	
			☑ 比較で					兵庫	黒ト ニュー			比較できる		はない	١		
	活動配分(1	I ~ 1)	□ 他団体				活動配分	:				把握してい					
*+	,	,	<b>→</b> □ 他				□ 他団(	本と同れ	怪伎			他団体より	)多い				
効			多い,また			理由	<u> </u>										
			☑ 比較で				団体名		黒ト ニュー			比較できる		はない	1		
	単位コスト(	1 ~ 1)	□ 他団体				単位コスト					把握してい		.v÷.			
率			<b> </b>				□ 他団(	本と同る	<b></b>		Ш,	他団体より	ノコスト	か高い	1	0	-1
			高い,また				<b>ひょう</b>	1 711	2 <del>3K</del> 26 1	LOUT							_
			直営(正規					U ( 1.1.				- <del></del>	- ~· + +	7 / \ _ * ·	*+ 7		
344	手段(1~	3)	□行政職					3 <del>1.</del> 7			家庭,地						
性 4点			☑ 民間(企	·莱,NPU 海吐啦号3	守) じは	、刈心 ぐさん	よい美粉し	∵のる ⊨ フ	L		近美,NPC 吃吐啦品	ノ寺) じ刈り	ᇄᆔᄠ	じのも	0		
4 <del></del>			<ul><li>☑ 嘱託,目</li><li>☑ コスト削</li></ul>					୬ଚ			臨時職員 「っていな		明能(	တခ			
	コスト削減	取組(1~ 1)	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □			が必要と判		全に服				V 1				•	
				i		J 20 25 C7	1611 012-331	100	/J \ , <u>J L</u> Z	ZV16-X1	160						
平成1	6 年 度 の 改 善 の	評価内容	±17/#/± FB		Α	平成17年	度に実施	v	改善し	,効果を行	导た						
(評価が	び 善 のがない場合に	(記載不要)	評価結果	V	В	した改善	の方向性	П	改善し	たが,効!	果がない			しな			
( 41 11-11								_					かっ	ΤΞ	総合	В	В
平 成	1 8 1	年 度 に													評価		Ь
実施	す る 改	善内容	課題					改善内容									
(	必	須 )						內台									
Γ <b>Δ</b> /4	後の対応(ア	7/12/-2/															
J 71	受いノメリルい (ブ	<i>「</i> ソンョノ)															
租在意	忍識して	いる課題		ちでの「さ	<b>计</b> 定据》	生的工 经点	ξ.										
276 111 11		VI & DA ACE	JULI OTCHIT	W C 47 17	V1 /IIL/// 12	ZHJ] ///L	٠,										
市民, 関	]係者 市民, ]	関係者の名称	他企業埋設領	· 管理者													
からの	辛日				4												
要望	等意見,	要 望 内 谷	老朽化による	5 做損かる	多い。												
		対応内容	立会いによる	スキ目もれて佐言	初1ァト1	n Arc											
	(1)	划心内台	エゼハにする	ンジルル作品	iの/こよ!	ク対心。											
		実施期限	平成	年		月											
課題·要	望等	対応内容															
	(2)	אורא				_											
へのす	付 応	実施期限	平成	年		月											
		対応内容															
	(3)			٦.		1_											
		実施期限		年	_ >>-	月											
7 0 /II-	+ = = 1-	_	マッピング	/ステム0	20得人												
	考えられ カアイデ																
以 告 0	D 7 1 T	<i>'</i>											A 1	<u>د</u> س ۱	古白州	1 1/2 前 /而	2次評価
													_		充実		
															維持		<b>O</b>
			維持管理レイ	ベルの終さ	<b>△</b> /ν									法		•	0
亚 成 1	9~21年月	きの方向性		-7 V V J /NCS [											託等		0
- 13% T	7 2 1 7 13												縮	10) 32		0	0
														≥ / 绞	期設定		0
													_		休业		0
													1,76	/	F1, 11		<u> </u>
2 次 評	価委員会	ミコメント	1														

(投資	事業)	事業	<u> </u>	۲	41302	220		1		部	長次	長課長
			NII4				/# <del>=</del> #					
平成17	牛皮	争	業	名	南户原	屋浜下水処理場整	<b>備事業</b>					
		•										
		要(ドゥ)										
第3次产	屋市	まちづ	くりの目	目標	4	快適でうるおいの	ある都市づくり			所 管	建設部	
総合			中		1	暮らしやすく質の	高い市街地の形成			//I E	下水処理	里場
政策	施策		小		3	市街地の整備				所管課長氏		
体	系		細							記入者氏		
事	業		朝		平成	•	投資臨時	☑ 投資 □	臨時		号 32-1291	<b>内線</b> 2877
根 拠	法		要綱		下水泊		_				<b>体</b>	
実	施		手		<u> </u>		☑ 一部委託	□ 全部委託		☑ 補助金		負担金
委		託		先		外郭団体委託	名称 **BX WE 1 0 E 1	have hade		]委託 <mark>委託内</mark>	容	
=	ш		107	-	水塚	見の保全として南	芦屋浜地区125ha┍	内の汚水の高度	処埋を行	` つ。		
事	業	の	概	要								
					亚比	15年度(実績)	345,563千円	□ (建筑工事)	汗った加耳	1水量 9.6	0 200	m2 /年
						1 5 年度(美韻) 1 6 年度(実績)					*	3 1 9, 8 4 0 m3/
事	業	Ø	現	44		1 7 年度(美韻) 1 7 年度(実績)	35,700千月					· ·
<del>"</del>	未	U)	170	1/\	一次。	1 7 千皮(天順)	33, 70011	」(物門至開工	<del>ず</del> ) 17/1	、及注入里	320, 1	0 0 1113/ +
	日的	実現のた	<b>አ</b> ወ									
		及び実施										
	J FX/.	~ ~ ~ !!!!!										
			指 標	名								
		結果指標	考え方									
		(1)	年		平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成18年	度(目標)	平成19年度(目標)
アウト	プット	, ,	指標	値	3	45,563千円	9,870千円	35,700=	千円			
指	標		指 標	名						ı		•
		結果指標	考え方	i·式								
		(2)	年	度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成18年	度(目標)	平成19年度(目標)
			指 標	値	3	45,563千円	9,870千円	35,700=	千円			
2 事	業成	果(アウ	トカム)									
				_								
= * 0		対		象	下水外	処理場の建設整備						
事業の												
対 象·	恵 凶			LNJ	南芦	<b>屋浜地区(9,0</b>	00人 7, 700m3	/目)の下水の	つ高度処理	理・水環境保全	全を充実させ	せるため、施設及び設備
		はお 会た	主語にし	즤	を整備	<b>備する。</b>	,					,
		(刈家を	工品にし	, C)								
大	き	な	目	的	水質	呆全						
^	_	-6-	н	н	八八只	<b>水</b> 土						
						指標名	指標値			考え方	う・式	
		中間	<b>』</b> (1)	)				10 KI II . 0	0 = 0			
アウト	カム					稼働率	100%	稼働日÷3	65 H×	100		
		成果指標	票	`		An THE	000 700 0/5	Σ.J. Aπ TH □.	0.0.5	0 / 11 \ 0 (	2 5 5 5 6 6	
(事業を			(2)	)		処理量	326,708m3/年	/5/小处理重	<u>გ</u> ყე	m3/ □×3 6	лод= з 2 	6,708m3/日
		最级。	世 坦	神	大阪湾	<b> </b>	T-N 7mg/? • T-P 0.6mg/?	下水道注及7	ド大阪湾流	左城別下水道敷	備総合計画	こ基づく放流水質の遵守
		4x iii 1.	· 本 月	া স								
										力電力の一部ま	かない,高度	<b>E処理水をせせらぎ広場に</b>
芦屋市	の特的	色など補	足する	事項	有効	利用し,市民(年	間延べ 約5,000人) へ	の開放を行って	ている。			
	114	\+ ±1 ==	177		<u> </u>				+1 ( ) =			(A) = (   A) = (   A)
		活動配			) 	4 5 7 7 ( ) 4 7 7	正式4.6年度(法等)	平成18.4.1住民		1世帯当り(円		住民1人当り(円) 0
事	業	<i>II</i> + #			平成		平成16年度(決算)	平成17年度		歳出累計額	!(	事業費総額(決算+計画)
	事	件 引 業 引		5.6%		12,907 346,190	4,646 9,870		6,588 35,700		-	-
内 訳	3.	寒 9		4.4%		340,190	9,070		55,700			
	_	丁償却費									<u> </u>	
(11)	合		_	0.0%		359,097	14,516		42,288			_
	国	·		7.7%		172,781	5,500		7,500			
財 源		債 等		1.6%		155,400	405		675			
(千円)		<u>の</u> ff		5.1%		18,009	3,965		27,525			
, , , ,		般財源		5.6%		12,907	4,646		6,588		-	-
活 動	職	į	<b>€</b> 5:	2.4%		1.15	0.45		0.55			
	嘱託	:臨時等		7.6%					0.50			
	合	ħ	100	0.0%		1.15	0.45		1.05			

	曲(チェック)					
評	価 視	点点			1次評価	2次評価
_	目的妥当性	(2 ~ 2)	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない	L١		
妥	H-32412	(/	□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献が高い □ 貢献度が不明確,または高くない			
			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではな	111		
当	市民ニーズ(	2 ~ 1)	│ └─▶ □ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未打	<b></b> 把握	4	4
=			□ 数字で把握している □ 未把	湿	4	- 1
	1 A 7 1 2 2	/////	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している ☑ 社会環境の変化にあわせた見直しが必	<b>必要</b>		
性	社会環境変	化(1~ 1)	内容			
6点	優先性,緊急	急性(1)	□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる			
	受益者(1~	. ,	□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限済	定		
有	,		□ 進捗状況の実績値を把握し,目標値を設定している ☑ 実績値または目標値が未記入			
効	進捗状況(2	~ 1)	→ 実績値から計画通り進捗していると言える □ 当初計画から遅れが出ている		3	-2
性			計画から遅れが出ている場合		J	
4点	- 進捗改善余	地(1~ 1)	□ 改善策あり □ 特に	なし		
17111			□ 比較できる団体がある 団体名 □ 比較できる団体はない			
			□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない			
効	コスト(1~	1)	□ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い			
~\J			高い、または低い場合の理由			
			i i		_	
率			直営事業(正規職員が執行)または外郭団体へ委託している業務について	+ 7	2	1
	手段(1~ 3	3)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がる		_	-
141			□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である			
性			□ 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託, 臨時職員等で対応可能である			
3点	コスト削減取	(組(1~ 1)	<ul><li>□ コスト削減の取り組みを行っている</li><li>□ 特に行っていない</li><li>□ 特に行っていない</li></ul>			
平成1	6 年 度 の ii 改 善 の	平 価 内 容	□ A <mark>平成17年度に実</mark> □ 改善し,効果を得た			
人 ひ (証価が	改善のがない場合は	万 问 性記載不更)	NE WE SHOULD BE			
( п іщ /3	7 & 17 79 12 18		- v. " " ) / c	総合		_
平 成	1 8 年	度 に	李朱列前门各少相重(当彻是战时画代》	評価	Α	C
	する改	:				
(	必		埋化を考慮した設備計画等) 内谷 び効率化を図り、将来の声屋市における高度			
			処理場の全体計画を検討する。			
		クロシュランハ				
5 今後	<u> 後の対応(ア</u>	<u>フンコン)</u>				
			平成20年度から機械・電気・場内整備工事を実施			
			平成20年度から機械・電気・場内整備工事を実施 平成23年度より高度処理場の全面供用開始			
現在意	忍 識 してし	いる 課 題	平成23年度より高度処理場の全面供用開始			
現在 請市民,関	忍識してし	いる 課 題	平成23年度より高度処理場の全面供用開始			
現在 請市民,関からの	認識して1 原者 市民,関 意見	トる 課 題係者の名称	平成23年度より高度処理場の全面供用開始			
現在 請市民,関	窓 識 してし	いる 課 題	平成23年度より高度処理場の全面供用開始			
現在 請市民,関からの	忍識してい 「係者」 意見 意見 等	トる課題 係者の名称 要望内容	平成23年度より高度処理場の全面供用開始			
現在 請市民,関からの	認識して1 原者 市民,関 意見	トる課題 係者の名称 要望内容	平成23年度より高度処理場の全面供用開始			
現在 請市民,関からの	忍識してい 「係者」 意見 意見 等	トる課題 係者の名称 要望内容	平成23年度より高度処理場の全面供用開始 機械・電気・場内整備工事完了			
現在 請市民,関からの	忍識してり 所者 意見 等 (1)	(番の名称要望内容対応内容 実施期限	平成23年度より高度処理場の全面供用開始 機械・電気・場内整備工事完了 平成 23 年 3 月			
現在 言市民, 関か 要望	忍識してり 所者 意見 等 (1)	(番の名称要望内容対応内容 実施期限	平成23年度より高度処理場の全面供用開始 機械・電気・場内整備工事完了			
現在 言市民, 関か 要望	忍識してし 別係者市民,関 意見等 (1)	(番の名称要望内容対応内容 実施期限	平成23年度より高度処理場の全面供用開始 機械・電気・場内整備工事完了 平成 23 年 3 月 南声屋浜地区全体の高度処理開始			
現在に、関から望います。要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要	忍識してし 別係者市民,関 意見等 (1)	「る課題 係者の名称 要望内内容 対応期に内容 実施期限	平成23年度より高度処理場の全面供用開始 機械・電気・場内整備工事完了 平成 23 年 3 月 南芦屋浜地区全体の高度処理開始			
現在に、関から望います。要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要	忍識してし 別係者市民,関 意見等 (1)	・る課題 係者の名称 要望内容 対応内容 実施期限 対応内容	平成23年度より高度処理場の全面供用開始 機械・電気・場内整備工事完了 平成 23 年 3 月 南芦屋浜地区全体の高度処理開始			
現在に、関から望います。要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要	認識してし 高意見等 (1) 望等 (2)	「る課題 係者の名称 要望内内容 対応期に内容 実施期限	平成23年度より高度処理場の全面供用開始 機械・電気・場内整備工事完了 平成 23 年 3 月 南芦屋浜地区全体の高度処理開始 平成 23 年 3 月			
現在に、関から望います。要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要	認識してし 高意見等 (1) 望等 (2)	は に に に に に に に に に に に に に	平成23年度より高度処理場の全面供用開始 機械・電気・場内整備工事完了 平成 23 年 3 月 南芦屋浜地区全体の高度処理開始 平成 23 年 3 月			
現在に関かっています。現在に関いています。	認識してし 高意見等 (1) 望等 (2)	係要対象の 課名の の内内期内期内 実成応期内 実成応期 実施の期内 実施の期内 実施の期内 実施の期内 実施の期内 実施のの 実施ののののの。 実施ののののである。 実施のののでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	平成23年度より高度処理場の全面供用開始 機械・電気・場内整備工事完了 平成 23 年 3 月 南芦屋浜地区全体の高度処理開始 平成 23 年 3 月			
現在に関する。現在に関する。現在に関する。現在に関する。現立のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	忍識してし 市民,関 意見, (1) 望等 (2)	は に に に に に に に に に に に に に	平成23年度より高度処理場の全面供用開始 機械・電気・場内整備工事完了 平成 23 年 3 月 南芦屋浜地区全体の高度処理開始 平成 23 年 3 月			
現在に関する。現在に関する。現在に関する。現在に関する。現立のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	認識してし (本者) (ままり) (	は に に に に に に に に に に に に に	平成23年度より高度処理場の全面供用開始 機械・電気・場内整備工事完了 平成 23 年 3 月 南芦屋浜地区全体の高度処理開始 平成 23 年 3 月	5 向性	1次評価	2次評価
現在に関する。現在に関する。現在に関する。現在に関する。現立のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	認識してし (本者) (ままり) (	は は は は は は は は は に が は に が に に に に に に に に に に に に に	平成23年度より高度処理場の全面供用開始 機械・電気・場内整備工事完了 平成 23 年 3 月 南芦屋浜地区全体の高度処理開始 平成 23 年 3 月 平成 年 月 平成 年 月 年 月 実施計画に基づく、効率的且つ効率的な事業の実施 拡大・	充 実	0	2次評価
現在に関する。現在に関する。現在に関する。現在に関する。現立のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	認識してし (本者) (ままり) (	は は は は は は は は は に が は に が に に に に に に に に に に に に に	平成23年度より高度処理場の全面供用開始  機械・電気・場内整備工事完了  平成 23 年 3 月  南芦屋浜地区全体の高度処理開始  平成 23 年 3 月  平成 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  「	充 実 維 持	0	
現在に関する。現在に関する。現在に関する。現在に関する。現立のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	認識してし (本者) (ままり) (	は は は は は は は は は に が は に が に に に に に に に に に に に に に	平成23年度より高度処理場の全面供用開始 機械・電気・場内整備工事完了 平成 23 年 3 月 南芦屋浜地区全体の高度処理開始 平成 23 年 3 月 平成 年 月 平成 年 月 年 月 実施計画に基づく、効率的且つ効率的な事業の実施 拡大・	充 実 維 持	0	0
現在に関の望まれる。	認識してし (本者) (ままり) (	(係要対実対) 実対 実が 容容限 容限 容限 容限 容限 容 限 の 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	平成23年度より高度処理場の全面供用開始 機械・電気・場内整備工事完了 平成23年3月 南声屋浜地区全体の高度処理開始 平成23年3月 平成23年3月 平成25月 平成5月 年月 平成5月 年月 今後の方実施計画に基づく、効率的且つ効率的な事業の実施 拡大・現状 約方 法 7方 法 7方 法 75	充 実維 持改 善	○ ○ •	0
現在に関の望まれる。	図 識 者見等 (1) (3) (3) (3) (3) (3) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	(係要対実対) 実対 実が 容容限 容限 容限 容限 容限 容 限 の 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	平成23年度より高度処理場の全面供用開始 機械・電気・場内整備工事完了 平成23年3月 南声屋浜地区全体の高度処理開始 平成23年3月 平成23年3月 平成25月 平成5月 年月月 学後の方実施計画に基づく、効率的且つ効率的な事業の実施 拡大・現状 約方 法 2	充 実維 持改 善	0 0 •	<ul><li>O</li><li>O</li><li>O</li></ul>
現在に関の望まれる。	図 識 者見等 (1) (3) (3) (3) (3) (3) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	(係要対実対) 実対 実が 容容限 容限 容限 容限 容限 容 限 の 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	平成23年度より高度処理場の全面供用開始 機械・電気・場内整備工事完了 平成23年3月 南声屋浜地区全体の高度処理開始 平成23年3月 平成23年3月 平成25月 平成5月 年月月 学後の方実施計画に基づく、効率的且つ効率的な事業の実施 拡大・現状 約方 法 2	充 実維 持改 善3	0 0 0	0 0 •
現在に関の望まれる。	図 識 者見等 (1) (3) (3) (3) (3) (3) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	(係要対実対) 実対 実が 容容限 容限 容限 容限 容限 容 限 の 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	平成23年度より高度処理場の全面供用開始 機械・電気・場内整備工事完了 平成 23 年 3 月 南芦屋浜地区全体の高度処理開始 平成 23 年 3 月 平成 4 月 平成 4 月 平成 5 条の方 実施計画に基づく、効率的且つ効率的な事業の実施 拡大・現状 条方 法 3 長間 委縮	充 実維 持改 託功 元	0 0 0	0 0 • 0
現在に関の望まれる。	図 識 者見等 (1) (3) (3) (3) (3) (3) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	(係要対実対) 実対 実が 容容限 容限 容限 容限 容限 容 限 の 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期	平成 2 3 年度より高度処理場の全面供用開始  機械・電気・場内整備工事完了  平成 2 3 年 3 月  南芦屋浜地区全体の高度処理開始  平成 2 3 年 3 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  本法 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1	充 実維 持改 託功 元	0 0 0	0 0 0 0
現在に関の望まれる。	図 識 者見等 (1) (3) (3) (3) (3) (3) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	(係要対実対) 実対 実が の内 内 期内 の 間の の 間の	平成 2 3 年度より高度処理場の全面供用開始  機械・電気・場内整備工事完了  平成 2 3 年 3 月  南芦屋浜地区全体の高度処理開始  平成 2 3 年 3 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  本法 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1	充 実維 持改 託功 元	0 0 0	0 0 0 0
現 市か要 課 へ そ改 平 他 の の あ の の あ の の あ も に に に に に に に に に に に に に	図 識 者見等 (1) (2) (3) (3) (3) (5) (7) (7) (9 ~ 2 1 年 度	(係要対実対実対実対 実対 実対 実が 容 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 性 性 無 の の の の の の の の の の の の の の の の の	平成 2 3 年度より高度処理場の全面供用開始  機械・電気・場内整備工事完了  平成 2 3 年 3 月  南芦屋浜地区全体の高度処理開始  平成 2 3 年 3 月  平成 2 7 年 月  平成 2 8 年 7 月  東施計画に基づく、効率的且つ効率的な事業の実施  「技 大 法 方 法 元 民間 委縮 統合 / 終其 廃 止 /	充 集 排 等 等 明 分 、 形 中 り り り り り り り り り り り り り り り り り り	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0
現 市か要 課 へ そ改 平 他 の の あ の の あ の の あ も に に に に に に に に に に に に に	図 識 者見等 (1) (3) (3) (3) (3) (3) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	(係要対実対実対実対 実対 実対 実が 容 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 性 性 無 の の の の の の の の の の の の の の の の の	平成 2 3 年度より高度処理場の全面供用開始  機械・電気・場内整備工事完了  平成 2 3 年 3 月  南芦屋浜地区全体の高度処理開始  平成 2 3 年 3 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  平成 年 月  本法 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1	充 集 排 等 等 明 分 、 形 中 り り り り り り り り り り り り り り り り り り	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0
現 市か要 課 へ そ改 平 他 の の あ の の あ の の あ も に に に に に に に に に に に に に	図 識 者見等 (1) (2) (3) (3) (3) (5) (7) (7) (9 ~ 2 1 年 度	(	平成23年度より高度処理場の全面供用開始    機械・電気・場内整備工事完了   平成 23 年 3 月	充 集 排 等 等 明 分 、 形 中 り り り り り り り り り り り り り り り り り り	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0

(投資	事業)	事業	□ - F	4330	250				部	Ð	人	長	課	長
ਹਾ <del>।</del> 1	7 年 由	击	** 47	*=	ても加田地教供事	<del>///</del>								
平成1	/ 干皮	<del>事</del>	業名	戸座	下水処理場整備事	美								
		要(ドゥ)		,	T									
			くりの目標		快適でうるおいの	*** *			所 f	管 誤	建設部			
総合			中		安全で快適な生活	基盤の充実			rr ** +=	E # #	下水処理			
政 策 体	他系		細	3	下水道の整備						<b>竹中</b> 港			
事	<u></u>	ļ Į		即五千日	4 6年~	投資臨時	☑ 投資 □				*** *********************************		内線	2877
根拠				下水		汉貝伽时	1 投員 口	啪吋			, 5 2 1 5 声屋市	231	門物水	2011
実	施			<u> </u>		☑ 一部委託	□ 全部委託		口補			負担金		
委	.,,,	 託	, ,_,		外郭団体委託	名称					設計・施			
				水環	境の保全として芦	屋下水処理場,奥山下加	、処理場, 南芦							
事	業	の	概 要	浸水	対策として芦屋下	水処理場,大東ポンプ場	陽, 南宮ポンプ	場の改築	<ul> <li>更新。</li> </ul>	・整備				
						平成15年		平成16			平成 1			
					建設費(千円)	364, 5	5 3 8	402,	8 7 1		498,	0 8 8		
事	業	の	現状	(電気	記設備の改修工事)									
	D 653	中田のたり	<b>*</b> •											
		実現のため 及び実施に												
	丁仁又人	スレ大心ト	) <u>H</u>											
			指標名	工事	件数									
		結果指標			件数 + 委託件数									
		(1)	年 度	平成	,15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成 1	8年度	(目標)	平成 1	9 年度 (	目標)
アウト	プット		指標値		11件	10件	7件			6件			4件	
指	標		指標 名											
			考え方・式			T-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-	I = 13	+	<del>-</del> - 1.		( D I T )	<del></del>		
		(2)			15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度	(実績)	半成 1	8年度	(目標)	平成1	9年度(	目標)
2 車:	光二の	 果(アウ	指標値 トカイン											
۷ <del>) ا</del>	未以	<del>木</del> (アラ	['JA'											
		対	象	環境	保全として芦屋処	理区,奥山処理区,南芦	· 屋浜処理区内	の全市民	□ l <b>4</b>	\ <del>+</del> -				
事業の	目的			浸水.	対束として江尻川	排水区,南宫排水区,岛	品港線からR4	3までの	区域の含	E巾氏				
対象·	意 図			λTl.e	あり オエムナ 海丁	ア加州ナファルボベキゴ	が一番を担	<b>人にっよ</b>	23.7					
		意	図	雨水	や台流雨水を週上 を的確に排除する	に処理することができナ ことができ浸水対策につ	C阪湾の埬現床 Oながる。	生につな	かる。					
		(対象を	主語にして)											
+	±	+>	- M	구드 1국소	但人 词表补偿									
大	き	な	目 的	界児	保全・浸水対策									
					指標名	指標値				考え方	· 式			
		中間	<b>1</b> (1)				<b>拉斯</b> 日.00	=						
アウト	・カム				稼働率	100%	稼働日÷36	5 × 1 0	0					
		成果指標	( 2 )		排水量	17, 351, 845m3	汚水処理量()	15 aas o	67m2)	┴⊞凇▮	計(1 259 (	)78m2)		
(事業	完了)		(2)								_ , ,			
		最終反	<b>以果指標</b>	大阪	湾流域別下水道整 備総合計画	T-N 7 mg/? • T-P0. 6mg/	下水道法及びの遵守及び浸				総合計画は	こ基づく	放流水質	
						: 対象に施設見学を行っ		ハイハン・ピィン・	国フトり	·				
古层市	の性の	もかど猫	足する事項			: 対象に旭設兄子を行う 場に冷却水として、砂ろ	-	ロ たもの	た公崎部	1今館の	修星提水!	・1 て供糸	≙1 てい	z
广座巾	V) 10 (	二 '& C m;	たりる事項	人已2至.	///・/ - 日から1月1世工会	<b>がに旧か</b> んとして、10・01		012 000	.C (D.MH) DI	いいなけると		. C C DAM		ه لا
3 事	業費・	活動配	分(コスト	)			平成18.4.1住民	基本台帳	1世帯	当り(円)	29,713	住民1人	当り(円)	13,022
事	業	]		_	15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度	(決算)	歳出	累計額 (	決算)	事業費絲	総額(決算	
	人	件 費	3.5%	0	15,642	16,255		18,174			-			-
	事	業費		0	304,929	381,766		496,829			1,183,524			
		7門経費									-			-
(千円		質 却 費	_								-			-
	合	i			320,571	398,021		515,003			-			-
D+ \F	国	·			148,143	159,092		250,683			557,918			
財源	東市	債 等		0	133,300	143,000		222,200			498,500			
( T 17)		設り財源	_		39,128	95,929		42,120						_
活重	力職			,	1.95	2.15		2.25						
		· 臨時等		0		2.10		0.50						
	) 合	i i	_		1.95	2.15		2.75						
	_		_				•							

	曲(チェック)			T	
評	価 初	点		1次評価	2次評価
	目的妥当性	(2 ~ 2)	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
妥	H-32412	(/	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献が高い □ 貢献度が不明確,または高くない		
			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない		
当	市民ニーズ(	2 ~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない, または未把握	4	3
_			□ 数字で把握している □ 未把握		5
	社会環境変	化(1~ 1)	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
性		` ′	内容		
6点	優先性,緊急	. ,	☑ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
	受益者(1~	1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
有	進捗状況(2	~ 1)	□ 進捗状況の実績値を把握し,目標値を設定している □ 実績値または目標値が未記入		
効	ZE15-1////L(Z	1)	└▶ □ 実績値から計画通り進捗していると言える □ 当初計画から遅れが出ている	_ 3	1
性	- 進捗改善余	地(1~ 1)	計画から遅れが出ている場合		
4点	是沙风日水	-6(1 1)	□ 改善策あり □ 特になし		
			☑ 比較できる団体がある 団体名 近隣市 □ 比較できる団体はない		
	コスト(1~	1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない		
効	٦٨١(١	• /	▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
			高い,または低い場合の理由		
率			直営事業(正規職員が執行)または外郭団体へ委託している業務について	1	-1
	手段(1~ 3	3)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある	•	- 1
	3 +×(,	·)	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点	コスト削減取	(組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
		(,, <u>,,,</u>	→ 内容 施工方法等におけるコスト縮減を行った。		
平 成 1	6 年 度 の ii 改 善 の	平 価 内 容	:		
及び	改善のがない場合は	方 向 性 記載不要)	I/I B W		
( 11111 / 1	アない場合は	心 蚁 小 女 )	V. 13 7/2 W2		_
平成	1 8 年	度に	ず来が同じるの情景(自加め音ず来) 自加め音ず来及の同及を空間の特別を十分に 評価	A	В
	する改	:			
(		頁 )	内容おける全体計画を検討する。		
F A 44	* ~ <del>+ + + + + + + + + + + + + + + + + + </del>	<b>5</b> 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			
5 今後	<u> 後の対応(ア</u>	,,,,,	△		
			合流改善事業への取組		
			施設・設備の改築・更新・整備		
現在意	忍 識 して 1	いる 課 題	施設・設備の改築・更新・整備 芦屋下水処理場の高度処理化		
現在 請市民,関	窓識している	ハる 課 題係者の名称	施設・設備の改築・更新・整備 芦屋下水処理場の高度処理化		
現在 請市民,関からの	窓識している	いる 課 題	施設・設備の改築・更新・整備 芦屋下水処理場の高度処理化		
現在 請市民,関	窓識している	トる課題 係者の名称 要望内容	施設・設備の改築・更新・整備 芦屋下水処理場の高度処理化		
現在 請市民,関からの	忍識してい 別係者 市民,関 意見 意見,	トる課題 係者の名称 要望内容	施設・設備の改築・更新・整備 芦屋下水処理場の高度処理化		
現在 請市民,関からの	窓識している	トる課題 係者の名称 要望内容 対応内容	施設・設備の改築・更新・整備 芦屋下水処理場の高度処理化 電気設備改築 (平成17年度~平成19年度)		
現在 言市民, 関か 要望	忍識してり 所養力 意見等 意見, (1)	(番の名称) 要望内容 対応内容 実施期限	施設・設備の改築・更新・整備		
現在 請市民,関からの	忍識してし 高意見等 (1)	(番の名称) 要望内容 対応内容 実施期限	施設・設備の改築・更新・整備 芦屋下水処理場の高度処理化 電気設備改築 (平成17年度~平成19年度)		
現在 言市民, 関か 要望	忍識してし 引係者 市民,関 意見 等 (1)	・る課題 係者の名称 要望内容 対応内容 実施期限 対応内容	施設・設備の改築・更新・整備		
現在に、関から望います。要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要	忍識してし 引係者 市民,関 意見 等 (1)	「る課題 係者の名容 要望の内容 対応施期の内容 実施期限	施設・設備の改築・更新・整備		
現在に、関から望います。要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要	忍識してし 引係者 市民,関 意見 等 (1)	「る課題 係者の名容 要望の内容 対応施期の内容 実施期限	施設・設備の改築・更新・整備		
現在に、関から望います。要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要	認識してし 高意見等 (1) 望等 (2)	「る課題 係者の名容 要望の内容 対応施期の内容 実施期限	施設・設備の改築・更新・整備		
現在に、関から望います。要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要は、要	認識してし 高意見等 (1) 望等 (2)	は は は は は は は は な は な は の 内 内 内 内 内 内 内 内 内 内 内 内 内	施設・設備の改築・更新・整備		
現在に関かっています。現在に関いています。	認識してし 高意見等 (1) 望等 (2)	係要対案の 課名の内内期内期内 東対応施応期内 東対応期内 東対応期内 東対応期内 東対応期内	施設・設備の改築・更新・整備		
現在に関うの望まれる。	忍識 してり 市民,関 意見, (1) 望等 (2) (3)	係要対 実 対 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実	施設・設備の改築・更新・整備		
現在に関うの望まれる。	<ul> <li>認識しています。</li> <li>市民,関意見, (1)</li> <li>望等 (2)</li> <li>(3)</li> <li>考えられる</li> </ul>	係要対 実 対 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実	施設・設備の改築・更新・整備	性	2次評価
現在に関うの望まれる。	<ul> <li>認識しています。</li> <li>市民,関意見, (1)</li> <li>望等 (2)</li> <li>(3)</li> <li>考えられる</li> </ul>	係要対 実 対 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実	施設・設備の改築・更新・整備		2次評価 ○
現在に関うの望まれる。	<ul> <li>認識しています。</li> <li>市民,関意見, (1)</li> <li>望等 (2)</li> <li>(3)</li> <li>考えられる</li> </ul>	係要対 実 対 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実	施設・設備の改築・更新・整備	実〇	
現在に関うの望まれる。	<ul> <li>認識しています。</li> <li>市民,関意見, (1)</li> <li>望等 (2)</li> <li>(3)</li> <li>考えられる</li> </ul>	係要対 実 対 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が 実	施設・設備の改築・更新・整備	実 持 〇	0
現在に関の望まれる。	<ul> <li>認識しています。</li> <li>市民,関意見, (1)</li> <li>望等 (2)</li> <li>(3)</li> <li>考えられる</li> </ul>	(係要対実対実が) 実対 実対 実が 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容	施設・設備の改築・更新・整備	実 持○ 善®	0
現在に関の望まれる。	図 識 者見等 (1) (2) (3) (3) キャック (3)	(係要対実対実が) 実対 実対 実が 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容	施設・設備の改築・更新・整備	実 持○ 善®	<ul><li>○</li><li>○</li><li>●</li></ul>
現在に関の望まれる。	図 識 者見等 (1) (2) (3) (3) キャック (3)	(係要対実対実が) 実対 実対 実が 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容	施設・設備の改築・更新・整備	実 持 ○ 善 ● ○ 小	O O O
現在に関の望まれる。	図 識 者見等 (1) (2) (3) (3) キャック (3)	(係要対実対実が) 実対 実対 実が 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容	施設・設備の改築・更新・整備	実 持 ○ 善 ● ○ 小	0 0 • 0
現在に関の望まれる。	図 識 者見等 (1) (2) (3) (3) キャック (3)	(係要対実対実が) 実対 実対 実が 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容	施設・設備の改築・更新・整備	<b>実</b> ○	0 0 0 0
現在に関の望まれる。	図 識 者見等 (1) (2) (3) (3) キャック (3)	(係要対実対実が) 実対 実対 実が 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容	施設・設備の改築・更新・整備	<b>実</b> ○	0 0 0 0
現 市か要 課 へ そ改 平 他 の の あ の の あ の の あ も に に に に に に に に に に に に に	図 議 者見等 (1) (2) (3) (3) (3) (5) (7) (7) (9 ~ 2 1 年 度	(	施設・設備の改築・更新・整備	<b>実</b> ○	○ ● ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
現 市か要 課 へ そ改 平 他 の の あ の の あ の の あ も に に に に に に に に に に に に に	図 識 者見等 (1) (2) (3) (3) キャック (3)	(	施設・設備の改築・更新・整備 芦屋下水処理場の高度処理化  電気設備改築 (平成17年度~平成19年度)  平成 17 年 4 月  合流改善事業 (平成19年度~)  平成 19 年 4 月  芦屋下水処理場の高度処理化 (平成30~)  平成 30 年 4 月	<b>実</b> ○	○ ● ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
現 市か要 課 へ そ改 平 他 の の あ の の あ の の あ も に に に に に に に に に に に に に	図 議 者見等 (1) (2) (3) (3) (3) (5) (7) (7) (9 ~ 2 1 年 度	(	施設・設備の改築・更新・整備	<b>実</b> ○	○ ● ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

( 1/2	部 事	(務)	事業	コード	41100	030				部 長	次	長課	長
ᇴ	÷ 1 7 ·	年度	<b>=</b>	業名	ᄴᅜᇸ	計画の策定							
+1),	<b>(</b> 1 / ·	牛皮	<b>#</b>	未 口	地스리	「凹の泉た							
_			要(ドゥ)										
						快適でうるおいの				所 管 課	建設部		
	合計			<u>中</u>			高い市街地の形成					(まちづくり・開発事業技	担当)
	策が			小	1	市民と描くまちの	設計			所管課長氏名			
体		系		細			.=			記入者氏名			
事	14n	業	其			~H27	経常臨時	□ 経常 ☑	臨時	電話番号		109 内線 2	2923
根	拠					市まちづくり支援				実施主体		7 Jn A	
実委		施				旦宮 外郭団体委託	✓ 一部委託	□ 全部委託		□ 補助金		負担金	
女			пU	7.			<mark> 名称 </mark> ある地区の要請により,	またべくりでし		委託   委託内容		ナス	
事	긤	業	Ø	概 要			める地区の安晴により、 策定に意欲のある地元協					y 20°	
#	7	₹	0)	144. 32.			東定に息歌のある地元。 画案の合意ができ,市へ				-		
							<u>國来の日息がくと,市</u> り,地元協議会を支援し					)	
							綱についてのピーアール		CAL C 1107	C/EE/18, 0/EE	.co co		
事		業	Ø	現 状			ば、まちづくりアドバイ						
				,,	・ま	ちづくりに熱意が	ある地元協議会に、まち	づくりコンサル	· ·タントを	を派遣し、構想の	検討・		
	-	目的詞	実現のため	ხთ	手衫	法・制度の調査研	究をし、まちづくりへの	合意形成を図る	)。				
	=	手段及	ひ実施内	內容	・ま7	た、地元協議会の	通信費や広報紙作成費用	等を,まちづく	り活動即	<b></b> 助成により支援す	る。		
					地力	元協議会は,地区	計画案について関係権利	者の合意を得る	)。				
							区計画の要請があれば、	市で都市計画の	手続きを	をする。			
						づくり活動等助成:							
	7 テ	ィブ	活動指標				平成16年度(実績)			平成18年度		平成19年度(目	標)
指		標	/H = 0.1 H 1/3	指標値		3地区	4地区	4地区		4 地区			
				単位コスト		3, 144千円	2,980千円	2, 457	千円	2, 200	千円		
				指標名		4 - F			, <del></del> /= >		, D. I.E. \	T-4 . 0 T-5 . C	1=-
	トブ		結果指標			15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成1/年度	(美績)	平成18年度	(目標)	平成19年度(目	標)
指		標		指標値									
2	車型	é cti E	果(アウ	<u>単位コスト</u>   <b>カル</b> )	<b>L</b>								
	尹未	ミリルフ	木(アプ	$\Gamma D \Delta$									
			対	象	まち	づくりのルールを	策定する地区						
事業	<b></b> ≰の							<b>枚 (b)</b> 都市計画	画決定地[	丞数 <mark>比 率 (b</mark>	÷ a) %		
			対象が	象 バー 率				<mark>牧 (b)</mark> 都市計画	<b></b> 画決定地[	区数 <mark>比 率 (b</mark>	÷ a) %		
		目的	対象が	」バー率	対象	<mark>象数(a)</mark>				,	· ·		
		目的	対象が意	」バー 率	対象	<mark>象数(a)</mark>	地区数			,	· ·	,	
対象		目的	対象が意	リバ - 率 図	対象	<mark>象数(a)</mark>	地区数			,	· ·	,	
	象・意	目的	対象が意	ョ バ - 率 図 主語にして)	<mark>対 象</mark> まち <sup>、</sup>	<mark>象数(a)</mark>	地区数 受益 登策定する地区に対して、			,	· ·	·	
対象	象・意	目的意図	対 象 た 意 (対象を	p バ - 率 図 主語にして)	<b>対 3</b> まち・	<mark>良数 (a)</mark>	地区数 受益 登策定する地区に対して、			,	· ·		
対象	象・意	目的意図	対象が意	バー 率   図  主語にして)   目 的   指標名	まちな住民が	<mark>良数 (a)</mark>	地区数 受益 登策定する地区に対して、			,	· ·		
対象	象・意	目的 図	対象 が 意 (対象を な	ッパー 率図 主語にして) 目	まちで住民が	き数 (a) づくりのルールを が満足する地区の	地区数 <mark>受 益 3</mark> 策定する地区に対して, 実現	地区計画の都市	7計画決分	主ができるように	助成する。		
大	表,意	目的意図	対象が意	バー 率   図   注語にして)   目	対象まちで住民が	き数 (a) づくりのルールを が満足する地区の	地区数 受益 う	地区計画の都市	7計画決分	,	助成する。	平成19年度(目	標)
対象	象・意	目意のと	対象 が 意 (対象を な	<ul> <li>本図</li> <li>主語にして)</li> <li>目指表方、度値</li> <li>指標度値</li> </ul>	対象まちで住民が	<ul><li>数 (a)</li><li>づくりのルールを</li><li>が満足する地区の</li><li>15年度(実績)</li></ul>	地区数 <mark>受 益 3</mark> 策定する地区に対して, 実現	地区計画の都市	7計画決分	主ができるように	助成する。		標)
大	表,意	目的意図	対象が意(対象を)な	<ul><li>本</li><li>本</li><li>図</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li></ul>	まちで住民が	<ul><li>数 (a)</li><li>づくりのルールを</li><li>が満足する地区の</li><li>15年度(実績)</li><li>が満足する地区数</li></ul>	地区数 <mark>受 益 3</mark> 策定する地区に対して, 実現 平成 1 6 年度(実績)	地区計画の都市	7計画決分	主ができるように	助成する。		標)
対象	表,意	目急をもったのである。	対象 た 意 (対象を: な 中成果指標	<ul> <li>本図</li> <li>本図</li> <li>おおおいます</li> <li>本図</li> <li>おおいます</li> <li>おおいます&lt;</li></ul>	対 多 まち 住民	<ul><li>数 (a)</li><li>づくりのルールを</li><li>が満足する地区の</li><li>15年度(実績)</li><li>が満足する地区数 計画の都市計画決</li></ul>	地区数 <mark>受 益 3</mark> 策定する地区に対して、 実現 平成16年度(実績) 定地区数	地区計画の都市 平成17年度	( <b>実績</b> )	定ができるように <b>平成18年度</b>	助成する。 ( <b>目標</b> )		
対象	表,意	目急をもったのである。	対象が意(対象を)な	<ul> <li>本図</li> <li>本図</li> <li>おおおいます</li> <li>本図</li> <li>おおいます</li> <li>おおいます&lt;</li></ul>	対 多       まち       住民       平成       住民       平成	<ul><li>数 (a)</li><li>づくりのルールを</li><li>が満足する地区の</li><li>15年度(実績)</li><li>が満足する地区数 計画の都市計画決</li></ul>	地区数 <mark>受 益 3</mark> 策定する地区に対して, 実現 平成 1 6 年度(実績)	地区計画の都市 平成17年度	(実績) (実績)	主ができるように	助成する。 (目標)	平成 1 9年度 (目	
対象	表,意	目急をもったのである。	対象 た 意 (対象を: な 中成果指標	マングライン (本本) 図 (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大)	対象まちで住民が中成性区に対しては、中のでは、中のでは、中のでは、中のでは、中のでは、中のでは、中のでは、中ので	<ul> <li>数 (a)</li> <li>づくりのルールを</li> <li>が満足する地区の</li> <li>15年度(実績)</li> <li>が満足する地区数計画の都市計画決</li> <li>15年度(実績)</li> <li>3地区</li> </ul>	地区数 <mark>受 益 3</mark> 策定する地区に対して、 実現  平成 1 6 年度 (実績)  正地区数  平成 1 6 年度 (実績)	地区計画の都市 平成 1 7 年度 平成 1 7 年度 2 地区	(実績)	できるように 平成18年度 平成18年度 3地区	助成する。 (目標)	平成 1 9年度 (目	
対象	表,意	目急をもったのである。	対象を 意 (対象を 中成果指標 終標	・	対象また。住民次のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本	<ul> <li>数 (a)</li> <li>づくりのルールを</li> <li>が満足する地区の</li> <li>15年度(実績)</li> <li>が満足する地区数計画の都市計画決</li> <li>15年度(実績)</li> <li>3地区</li> </ul>	地区数 <mark>受 益 3</mark> 策定する地区に対して、 実現  平成 1 6 年度 (実績)  定地区数  平成 1 6 年度 (実績)  1 地区	地区計画の都市 平成 1 7 年度 平成 1 7 年度 2 地区	(実績)	できるように 平成18年度 平成18年度 3地区	助成する。 (目標)	平成 1 9年度 (目	
対 大 ア指	· ***	目意・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・	対象を 意 (対象を 中成果指標 終標	ままり は できます ままま は できます は しょう は は しょう は は しょう は しょ は は しょう は しょう は しょう は しょう は しょう は しょう は しょう は しょう は しょう は しょう は しょ は	対象また。住民次のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本	<ul> <li>数 (a)</li> <li>づくりのルールを</li> <li>が満足する地区の</li> <li>15年度(実績)</li> <li>が満足する地区数計画の都市計画決</li> <li>15年度(実績)</li> <li>3地区</li> </ul>	地区数 <mark>受 益 3</mark> 策定する地区に対して、 実現  平成 1 6 年度(実績)  定地区数  平成 1 6 年度(実績)  1 地区	地区計画の都市 平成 1 7 年度 平成 1 7 年度 2 地区	(実績)	できるように 平成18年度 平成18年度 3地区	助成する。 (目標)	平成 1 9年度 (目	
対 大 ア指 声 3	· 「	目意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	対象 たまで また で 中成 最成 特 に に に に に に に に に に に に に に に に に に	を 図 の 名式度値名式度値 ど ト	対象まちでは民産のでは、対象のでは、	R 数 (a)  づくりのルールを が満足する地区の  15年度(実績)  が満足する地区数 計画の都市計画決  15年度(実績)  3地区  ちづくり活動助成	地区数 <mark>受 益 3</mark> 策定する地区に対して, 実現 平成 1 6 年度 (実績)	地区計画の都市 平成17年度 平成17年度 2地区 の成制度を活用し 1世帯当り(円)	「実績」 (実績) にている。	平成18年度 平成18年度 3地区	助成する。 ( <b>目標</b> ) ( <b>目標</b> )	平成 1 9年度 (目	標)
対 大 ア指 芦	· 「	目意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	対象 たまます また また また また また また また また また また また また また	マンマン で	対象まちでは民産のでは、対象のでは、	<ul> <li>数 (a)</li> <li>づくりのルールを</li> <li>が満足する地区の</li> <li>15年度(実績)</li> <li>が満足する地区数計画の都市計画決</li> <li>15年度(実績)</li> <li>3地区</li> <li>ちづくり活動助成</li> </ul>	地区数 <b>受益</b> 第 策定する地区に対して, 実現  平成16年度(実績)  定地区数  平成16年度(実績)  1地区 等の費用は, 国・県の財  平成16年度(決算)	地区計画の都市 平成17年度 平成17年度 2地区 2地区 の成制度を活用し	「実績」 (実績) (実績) こている。 248 (決算)	平成18年度 平成18年度 3 地区	助成する。 ( <b>目標</b> ) ( <b>目標</b> )	平成 1 9年度 (目 平成 1 9年度 (目	標)
対 大 ア指 声 3	マイン マイン マイン マイン マイン マイン マイン マイン マイン マイン	目息・カー・サーム標・の・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	対意(対な) 中成 最成 特 動 情 性 配 質 費	本 図 の 名式 度値名式 度値 で ト は	対象また。 住民 平成 住民区 平成 ・ま	<ul> <li>数 (a)</li> <li>づくりのルールを対する地区の対抗</li> <li>15年度(実績)</li> <li>が満足する地区数計画の都市計画決対</li> <li>15年度(実績)</li> <li>3地区</li> <li>ちづくり活動助成が</li> <li>15年度(決算)</li> <li>6,933</li> </ul>	地区数 <b>受益</b> 第 策定する地区に対して、 実現  平成16年度(実績)  で地区数  平成16年度(実績)  1地区 等の費用は、国・県の助  平成16年度(決算)  7,256	地区計画の都市 平成17年度 平成17年度 2地区 の成制度を活用し 1世帯当り(円)	(実績) (実績) にしている。 248 (決算) 7,871	平成18年度 平成18年度 3地区	助成する。 (目標) (目標) (109 (予算)	平成 1 9年度 (目 平成 1 9年度 (目	標)
対 大 ア指 芦 3 事	マップ マップ マップ マップ マップ マップ マップ マップ マップ マップ	目意 き カ	対意(対な) 中成 最成 特 動質質質	本 図 が 名式 度 値 名式 度 値 と か	対象また。 住民 平成 住民区 平成 ・ま	<ul> <li>数 (a)</li> <li>づくりのルールを</li> <li>が満足する地区の</li> <li>15年度(実績)</li> <li>が満足する地区数計画の都市計画決</li> <li>15年度(実績)</li> <li>3地区</li> <li>ちづくり活動助成</li> </ul>	地区数 <b>受益</b> 第 策定する地区に対して, 実現  平成16年度(実績)  定地区数  平成16年度(実績)  1地区 等の費用は, 国・県の財  平成16年度(決算)	地区計画の都市 平成17年度 平成17年度 2地区 の成制度を活用し 1世帯当り(円)	「実績」 (実績) (実績) こている。 248 (決算)	平成18年度 平成18年度 3地区	助成する。 ( <b>目標</b> ) ( <b>目標</b> )	平成 1 9年度 (目 平成 1 9年度 (目	標)
対 大 ア指 声 3 事 内	ない 「	目意 き カ	対意 (対な 中成 最成 特 動 質 費 費 費	本 図 の 名式度値名式度値 ど ト は	対象また。 住民 平成 住民区 平成 ・ま	<ul> <li>数 (a)</li> <li>づくりのルールを対する地区の対抗</li> <li>15年度(実績)</li> <li>が満足する地区数計画の都市計画決対</li> <li>15年度(実績)</li> <li>3地区</li> <li>ちづくり活動助成が</li> <li>15年度(決算)</li> <li>6,933</li> </ul>	地区数 <b>受益</b> 第 策定する地区に対して、 実現  平成16年度(実績)  で地区数  平成16年度(実績)  1地区 等の費用は、国・県の助  平成16年度(決算)  7,256	地区計画の都市 平成17年度 平成17年度 2地区 の成制度を活用し 1世帯当り(円)	(実績) (実績) にしている。 248 (決算) 7,871	平成18年度 平成18年度 3地区	助成する。 (目標) (目標) (109 (予算)	平成 1 9年度 (目 平成 1 9年度 (目	標)
対 大 ア指 声 3 事 内	マイン マイン マイン マイン マイン マイン マイン マイン マイン マイン	目意 き カ	対意(な 中成 最成 特 動 質 質 質 質 質 質 質 質 質 質 質 質 質 質 質 質 質 質	本 図 ( ) 的 名式度値名式度値	対象まちで、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中で	<ul> <li>数 (a)</li> <li>づくりのルールを</li> <li>が満足する地区の</li> <li>15年度(実績)</li> <li>が満足する地区数計画の都市計画決</li> <li>15年度(実績)</li> <li>3地区</li> <li>ちづくり活動助成</li> </ul> 15年度(決算) <ul> <li>6,933</li> <li>2,500</li> </ul>	地区数 <b>受益</b> 第 策定する地区に対して、 実現 <b>平成16年度(実績)</b> 1地区 等の費用は、国・県の財 <b>平成16年度(実績)</b> 7,256 4,665	地区計画の都市 平成17年度 平成17年度 2地区 の成制度を活用し 1世帯当り(円)	(実績) (実績) に でいる。 (決算) 7,871 2,000	平成18年度 平成18年度 3地区	助成する。 (目標) (目標) (109 (予算)	平成19年度(目 平成19年度(目	標)
対 大 ア指 声 3 事 内	マイン	目意 き カ	対 意 ( な 中成 最成 特 動 質 質 質 質 質 質 質 質 質 質 質 質 質 質 質 質 質 質	本 図 が 名 式 度 値 名 式 度 値 名 式 度 値 名 式 度 値 名 式 度 値 100.0%	対象また。住民が、住民が、中心のでは、中には、中には、中には、中には、中には、中には、中には、中には、中には、中に	表数(a)  づくりのルールを対 が満足する地区の対  15年度(実績) が満足する地区数計画の都市計画決 3地区 ちづくり活動助成  15年度(決算) 6,933 2,500	地区数 受益 3 策定する地区に対して、 実現  平成 1 6年度(実績)	地区計画の都市 平成17年度 平成17年度 2地区 の成制度を活用し 1世帯当り(円)	(実績) (実績) に ている。 (決算) 7,871 2,000	平成18年度 平成18年度 3地区	助成する。 (目標) (目標) (109 (予算)	平成19年度(目 平成19年度(目	標)
対     大     ア指       声     3事       内(千)	な	目意 き カ 質 人事他減 <b>合</b> 国的図 ム標 の 費業 部価	対 意 ( な 中成 最成 特 動 質 質 質 動 県	Too.0%   Too.0%	対象また。住民が、住民が、中心のでは、中には、中には、中には、中には、中には、中には、中には、中には、中には、中に	<ul> <li>数 (a)</li> <li>づくりのルールを</li> <li>が満足する地区の</li> <li>15年度(実績)</li> <li>が満足する地区数計画の都市計画決</li> <li>15年度(実績)</li> <li>3地区</li> <li>ちづくり活動助成</li> </ul> 15年度(決算) <ul> <li>6,933</li> <li>2,500</li> </ul>	地区数 <b>受益</b> 第 策定する地区に対して、 実現 <b>平成16年度(実績)</b> 1地区 等の費用は、国・県の財 <b>平成16年度(実績)</b> 7,256 4,665	地区計画の都市 平成17年度 平成17年度 2地区 の成制度を活用し 1世帯当り(円)	(実績) (実績) に でいる。 (決算) 7,871 2,000	平成18年度 平成18年度 3地区	助成する。 (目標) (目標) (109 (予算)	平成19年度(目 平成19年度(目	標)
対     大     ア指     芦     3事     内(     財	R	目意 き カ 雪 人事他減合国市的図 ム標 の 曹業 品価	対意(な 中成 最成 活件業別債・債 を	Too.0%   Too.0%	対象また。住民が、住民が、中心のでは、中には、中には、中には、中には、中には、中には、中には、中には、中には、中に	表数(a)  づくりのルールを対 が満足する地区の対  15年度(実績) が満足する地区数計画の都市計画決 3地区 ちづくり活動助成  15年度(決算) 6,933 2,500	地区数 受益 3 策定する地区に対して、 実現  平成 1 6年度(実績)	地区計画の都市 平成17年度 平成17年度 2地区 の成制度を活用し 1世帯当り(円)	(実績) (実績) に ている。 (決算) 7,871 2,000	平成18年度 平成18年度 3地区	助成する。 (目標) (目標) (109 (予算)	平成19年度(目 平成19年度(目	標)
対     大     ア指     芦     3事     内(     財	な	目意 き カ の 費業 人事他減 合国市そ的図 ム標 の 費業 部価	対意(な 中成 最成 活件業門債・債の を) は、	を を を を を を を を を を を を を を	対象また・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	表数(a)  づくりのルールを対 が満足する地区の対  15年度(実績) が満足する地区数計画の都市計画決 3地区 ちづくり活動助成  15年度(決算) 6,933 2,500	地区数 受益 3 策定する地区に対して、 実現  平成 1 6年度(実績)	地区計画の都市 平成17年度 平成17年度 2地区 の成制度を活用し 1世帯当り(円)	(実績) (実績) に ている。 (決算) 7,871 2,000	平成18年度 平成18年度 3地区	助成する。 (目標) (目標) (109 (予算)	平成19年度(目 平成19年度(目	標)
対 大 ア指 芦 3事 内(一財代	マイン   <b>本   1   1   1   1   1   1   1   1   1   </b>	目意 き カ 質 人事他減合国市そ一的図 ム標 の 費業 部価	対意(な 中成 最成 活件業別債・債 を	本 図 が 一 率 図 が 名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値 が 100.0% は 10.1% は 89.9%	対象まち・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	R 数 (a)  づくりのルールを が満足する地区の  15年度(実績) が満足する地区数 計画の都市計画決 15年度(実績) 3地区 ちづくり活動助成  15年度(決算) 6,933 2,500  9,433 1,250	地区数 受益 数 策定する地区に対して、 実現  平成 1 6 年度 (実績)  正地区数  平成 1 6 年度 (実績)  1地区 等の費用は、国・県の財  平成 1 6 年度 (決算)  7,256 4,665	地区計画の都市 平成17年度 平成17年度 2地区 の成制度を活用し 1世帯当り(円)	(実績) (実績) (実績) に (決算) 7,871 2,000 9,871 1,000	平成18年度 平成18年度 3地区	助成する。 (目標) (目標) (109 (予算)	平成19年度(目 平成19年度(目	標)
対     大     ア指     芦     3事     内(     財	ません	目意 き カ 質 人事他減 合国市そ一職的図 ム標 の 費業 部価	対 意 対 な 中 成 最 成 特 動 (で (の ) () () () () () () () () ()	ま語にして) 目	対象まち・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	R 数 (a)  づくりのルールを が満足する地区の  15年度(実績) が満足する地区数 計画の都市計画決 15年度(実績) 3地区 ちづくり活動助成  15年度(決算) 6,933 2,500  9,433 1,250	地区数 受益 数 策定する地区に対して、 実現  平成 1 6 年度 (実績)  正地区数  平成 1 6 年度 (実績)  1地区 等の費用は、国・県の財  平成 1 6 年度 (決算)  7,256 4,665  11,921 600	地区計画の都市 <b>平成17年度 平成17年度</b> 2地区  2地区  成制度を活用し  1世帯当り(円)	(実績) (実績) (実績) に (決算) 7,871 2,000 9,871 1,000	平成18年度 平成18年度 3地区	助成する。 (目標) (目標) (109 (予算)	平成19年度(目 平成19年度(目	標)

	曲(チェック)	<u>+</u> □ ⊢				±π	/T						
評		視点					価チェックリ	スト				1次評価	2次評価
<b>#</b>	対象カバー		□ 対象力		-		本と同程度	レロンナバーナ	─────────────────────────────────────				
有	受益者(1~	1)	☑事業意						と合,または受益		正		
効	成果の実績	[(2 ~ 1)				を把握し,目標値を					451.1	2	3
344				領他から放 がっていな		がっていると言える		□ 美額他刀	ら成果があがっ	くいると言え	よい	_	
性 4点	- 成果向上余	除地(1~ 1)	□ 成果/00/		い场口	ſ					特になし		
4,			□ 成来回		バホス	<u>:</u> 団体名	近隣市		□ 比較できる				
			☑ 化载位				3	同程度	□ 比較してい		•		
	活動配分(1	~ 1)					, 体と同程度	1-01±100	□ 他団体より				
効				は少ないは			TH-C1-1/11/12			7571			
743			ジャ・、 & だ ☑ 比較で			団体名	近隣市		□ 比較できる	る団体はなん	1		
			☑ 他団体					同程度	□ 把握してに				
	単位コスト(	1 ~ 1)	t				体と同程度		□ 他団体よ		٠,١	4	_
率			高い,また			;						1	0
						:は外郭団体へ委託	している業剤	外について					
	T 50/4	0)				義務づけられている			庭,地域等が担	うべき部分が	<b>ヾある</b>		
性	手段(1~	3)	□ 民間(1	È業 , NPO	等)では	対応できない業務で	である	□ 民間(企業	業 , NPO等)で対/	応可能である	3		
4点			☑ 嘱託,	<b>臨時職員</b> 領	等では対	付応できない業務で	ある	□ 嘱託,臨	時職員等で対応	可能である			
	コスト削減用	双組(1~ 1)	□ コスト消			•		□ 特に行っ	ていない				
	1/1 D3//%4	fAmil(1 1)	L ◆ 内容	国,県の	の助成制	制度を活用している							
平成 1	6 年度の	評価内容			Α	平成17年度に実施	. 口 改盖	し,効果を得た	_				
及び	改善の	方向性	評価結果		_	+成17年度に美加した改善の方向性				改善しな			
(計1四万	がない場合は	[記載小安]			В		□改善	したが,効果か	がない 🗌	かった	総合		_
<u>+</u>				計画等の	制度が	知られていない。	・自	治会等に制度	の説明を行う。		評価	Α	В
平成実施	. 1 8 st する改	年 度 に 華 内 容	課題・市の	支援制度	が知ら;	れていない。	改善						
(		須 "	H-11-22				内容						
5 04	4 0 <del>1   -</del> / -	7.5											
5 7712	後の対応(ア	(クション)	• ¬`\`\	いみむにん	坐る仕E	民と事業者の紛争だ	ぶタい						
現在意	認 識 し て !	いる課題	<u> </u>	ノ建队に下	十ノエレ	へて 事業有 V/M 手 /	1-3/4 %						
276 III II		VI O IN AC	•										
市民,関	属者 市民,関	関係者の名称		-									
からの	意見	要望内容											
要望	等思見,	安堂内谷											
		対応内容	<ul><li>地区計画</li></ul>	等の制度を	や市の服	カ成制度を市民に知	iiらせる。						
	(1)				,		) = 00						
+m.nr		実施期限	平成	年		月							
課題·要		対応内容											
^ O #	(2)	実施期限	₩.	年		月							
へのす	אין ניא			+		Я							
	(3)	対応内容											
	(-)	実施期限	平成	年		月							
						•							
その他	考えられる	る <u></u>											
改善の	の ア イ デ 🤅	ア											
										今後の			
			・1年間に	新規地区が	が1地区	区できるように取締	lt.			拡大・			0
										現状			<b>●</b>
Ω7 <del>(1)</del> 1	0 21年前	* A + 白 #								方法			0
一九八	9~21年度	シック何性								民間委縮		0	0
										統合/終			0
										廃止/		_	0
										176 IL /	N. T	Ŭ	Ŭ
2 35 5	. <i> </i>	S = 1/ St. 1	地区計画制	度を普及る	させるカ	こめの方策等を検討	寸してくださ	さい。また、‡	地区住民と協働	して計画を	策定する	取組を	進めて
2 次 評	平価 委 員 会	ミコメント	ください。		- 2011			5 5.70,			. , — / ٩		- / -

(一般	重 器 /	事 業	コード	41101	160				部	Ę.	次	長課	長
( //X =	<b>尹</b> 未)	尹 未	<u> </u>			4 14 to 15 t	- /C A T - 1/2		마	IX.	//	区加木	IX.
平成 17	年度	事	業名			くり条例による住環境の	の保全及び育						
				以に	関する事務								
1 事	業概	要(ドゥ)											
第3次产	草屋市	まちづく	りの目標	4	快適でうるおいの	ある都市づくり			4	- 100	建設部		
総合	計画	1	<del>中</del>	1	暮らしやすく質の	高い市街地の形成			所 管	課	開発指導	課	
政策			<u>.</u> / \		市民と描くまちの				所管課	長氏名	砂田 章	***	
体体	系系		·····································	'	THE CHILLY SO	HAH!			記入者				
				0.40/	中的美里彻 1110	左连久层//。 <b>/// /// ///</b>							0011
事	業	期			O 44111 14 12 14 11 14	年度条例化 経常臨時	☑ 経常 □ 🛭	品時	電話		0797-38-	-2071 <b>内線</b> 2	2911
根 拠		-		,		くり条例 施行規則外				主体			
実	施	手	7-1	<b>V</b>		□ 一部委託	□ 全部委託		□補□	助金		負担金	
委		託	先		外郭団体委託	名称		□ 民間	委託 <mark>委</mark>	託内容			
				住宅	E都市としての環境	竟を維持していくため,	各種許認可申請	等の前に	二条例で	計画の届	出を義務	付けるとともに,	緑豊
事	業	の	概 要	かな	まちづくり施策へ	の協力を要請する。違原	マ 者等に対してに	は勧告・	命令を行	い. 従	わないと	きは公表及び渦料を	シ科す
	<i>&gt;</i> 1<		1.70			争調停委員を置き、事業							_ , , ,
					产型市区系统协会 E地開発事前協議局							ァ。 年度受付)	
<b>=</b>	ш	•	TD 3.15					.,.,	211/200		4-11.1-133	1 5050117	
-	業		現 状		F定建築物建築事f	前協議届 届出数					141年(よ刑)	年度受付)	
		実現のため		• <b>娃</b>	建築物建築届			紛争調何	<b>}件数</b>	2件			
	手段及	ひ実施内	]容			計	485件						
			指標名	宅地	開発事前協議届,	特定建築物建築事前協議	義届及び建築物類	建築届の	届出件数	(	_		
		結果指標				平成16年度(実績)	平成17年度(	(実績)	平成 1	8年度(	(目標)	平成19年度(目	標)
			指標値		418件	362件	485件	,					
アウト	プット	( ' )	単位コスト		3 3 千円	41千円	36千円						
指					0 0 1 1 1	41111	0011	,					
徂	標		指標名	TT c*	4.5.左连/京结》	亚芹 4 6 左连 / 宁娃 >	亚产 4 7 左座 /	(中)(丰)	ᅲᄼ	0 左座 /	/ D +# \	亚芒 4 0 左座 7 日	1+1111
		結果指標		平风	15年度(美額)	平成16年度(実績)	平成17年度(	(	半风Ⅰ	8年度(	(日標)	平成19年度(目	信(宗)
		(2)	指標値										
			単位コスト										
2 事	業成界	果(アウト	・カム)										
		<del>3.1</del>	吞	少地	明交の油袋版を油	笠し トるし 十て何 レージ	ナ ル TA 7ド国ごコAナF	쿤.					
		対	家	七地	用発や建築物を建	築しようとする個人,沒	5八及い同辺仕り	弋					
事業の	目的	対象力	バー率	対象	き数 (a)	485	<mark>( (b)</mark>	185	比	率 (b	÷ a) %	100	
事業の対象・			バー率	対象	<b>数 (a)</b>	485 <mark>受益数</mark>	(b) 4	185	比	率 (b	÷ a) %	100	
					. /	<u> </u>	, ,,			•			· 5
		意	図		. /	485 <mark>受益数</mark> 可を検討し,周辺の住環	, ,,			•			-S
		意			. /	<u> </u>	, ,,			•			-S
対象・	意図	意 (対象を主	図 E語にして)	条例昭和	リに沿った建築計画 146年に策定した	ゴを検討し、周辺の住環 - 「総合的かつ計画的な	境に配慮した建行政の運営を図	築にする	ら。その:	ことによ	り,良好	な住環境を保全す	
対象・		意	図	条例昭和	リに沿った建築計画 146年に策定した	īを検討し,周辺の住環	境に配慮した建行政の運営を図	築にする	ら。その:	ことによ	り,良好	な住環境を保全す	
対象・	意図	意 (対象を3	図 E語にして) 目 的	条例 昭和 上で記	川に沿った建築計画 146年に策定した 基盤となる住環境	国を検討し、周辺の住環 こ「総合的かつ計画的な の保全及び育成するたと	境に配慮した建 行政の運営を図 りの施策	築にする	ら。その:	ことによ	り,良好	な住環境を保全す	
対象・	意図	意 (対象を3	図 E語にして) 目 的 指標名	条例 昭和 上で H1	川に沿った建築計画 146年に策定した 基盤となる住環境 2年度以降の特別	面を検討し、周辺の住環 こ「総合的かつ計画的な の保全及び育成するたと ご建築物の協定件数の累	境に配慮した建 行政の運営を図 りの施策 計	築にする	ら。その:	ことによ	り,良好	な住環境を保全す	
対象・	意図	意 (対象を3 な 中間成果	図 E語にして) 目 的 指標名 考え方·式	条例 昭和上で H1 芦屋	川に沿った建築計画 146年に策定した 基盤となる住環境 2年度以降の特定 2市独自の条件の下	国を検討し、周辺の住環 - 「総合的かつ計画的なの保全及び育成するたと を建築物の協定件数の累 で建てられた特定建築	境に配慮した建 行政の運営を図 かの施策 計 物の件数	:築にする  るため <i>0</i>	ら。その:	ことによ	り,良好	な住環境を保全す	
対象· 大 	意図	意 (対象を3	図 E語にして) 目 的 指標名 考え方·式	条例 昭和上で H1 芦屋	川に沿った建築計画 146年に策定した 基盤となる住環境 2年度以降の特別 電市独自の条件の下 15年度(実績)	面を検討し、周辺の住環 こ「総合的かつ計画的な の保全及び育成するたと ご建築物の協定件数の累	境に配慮した建 行政の運営を図 かの施策 計 物の件数 平成17年度(	( <b>実績</b> )	る。その )基本構	ことによ	り,良好	な住環境を保全す	·営む
対象・	意図	意 (対象を3 な 中間成果 指	E語にして) 目 指表方: 有 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標	条例 昭和上で H1 声屋 平成	川に沿った建築計画 146年に策定した 基盤となる住環境 2年度以降の特定 西神自の条件の下 15年度(実績) 124件	正を検討し、周辺の住環 こ「総合的かつ計画的なの保全及び育成するため ご建築物の協定件数の累 で建てられた特定建築 平成16年度(実績) 151件	境に配慮した建 行政の運営を図 かの施策 計 物の件数	( <b>実績</b> )	る。その )基本構	ことによ	り,良好	な住環境を保全す	·営む
対象· 大 	意図	意 (対象を3	四でである。 三語にして、 目が、 標点では、 標標では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	条例 昭和上で記 H1 芦屋 <b>平成</b> 住環	146年に策定した 基盤となる住環境 2年度以降の特定 さ市独自の条件の下 15年度(実績) 124件 環境への市民の満足	正を検討し、周辺の住環 こ「総合的かつ計画的なの保全及び育成するため 定建築物の協定件数の累 で建てられた特定建築 平成16年度(実績) 151件	境に配慮した建 行政の運営を図 りの施策 計 物の件数 平成17年度(	築にする  るための <mark>(実績)</mark>	5。その D基本構 <b>平成1</b>	ことによ 想」に基 <mark>8年度(</mark>	り,良好 そづき,傾 <mark>(目標)</mark>	な住環境を保全す 全で快適な生活を 平成19年度(目	営む
対象・ 大 アウト	きかん	意 (対象を3	四でである。 三語にして、	条例 昭和上で記 H1 芦屋 <b>平成</b> 住環	146年に策定した 基盤となる住環境 2年度以降の特定 さ市独自の条件の下 15年度(実績) 124件 環境への市民の満足	正を検討し、周辺の住環 こ「総合的かつ計画的なの保全及び育成するため ご建築物の協定件数の累 で建てられた特定建築 平成16年度(実績) 151件	境に配慮した建 行政の運営を図 りの施策 計 物の件数 平成17年度(	築にする  るための <mark>(実績)</mark>	5。その D基本構 <b>平成1</b>	ことによ 想」に基 <mark>8年度(</mark>	り,良好 そづき,傾 <mark>(目標)</mark>	な住環境を保全す 全で快適な生活を 平成19年度(目	営む
対象・ 大 アウト	きかん	意 (対象を3 な 中間成果 指 最終成果	図(て) 的 名式度値名式	条例 昭和 日で 日1 芦屋 平成 住アン	146年に策定した 基盤となる住環境 2年度以降の特定 を市独自の条件の「 15年度(実績) 124件 環境への市民の満足 アケート調査等(平)	正を検討し、周辺の住環 こ「総合的かつ計画的なの保全及び育成するため 定建築物の協定件数の累 で建てられた特定建築 平成16年度(実績) 151件	境に配慮した建 行政の運営を図 かの施策 計 物の件数 平成17年度( 178年	集にする るための (実績) #	5。その )基本構 <b>平成1</b>	ことによ 想」に基 <b>8年度</b> (	り,良好 そづき,健 <b>(目標)</b> どちらか。	な住環境を保全す 全で快適な生活を 平成19年度(目	·営む <mark>1標)</mark> )
対象・ 大 アウト	きかん	意 (対象を3 な 中間成果 指 最終成果	回の) 国には は は は は は は は は は は は は は	条例 昭和 日で 日1 芦屋 平成 住アン	146年に策定した 基盤となる住環境 2年度以降の特定 を市独自の条件の「 15年度(実績) 124件 環境への市民の満足 アケート調査等(平)	正を検討し、周辺の住環 こ「総合的かつ計画的なの保全及び育成するたと 産建築物の協定件数の累 で建てられた特定建築 平成16年度(実績) 151件 上度 成16年度芦屋市民アンケ	境に配慮した建 行政の運営を図 かの施策 計 物の件数 平成17年度( 178年	集にする るための (実績) #	5。その )基本構 <b>平成1</b>	ことによ 想」に基 <b>8年度</b> (	り,良好 どうき,健 ( <b>目標)</b> どちらか。 ( <b>目標)</b>	な住環境を保全す 全で快適な生活を 平成19年度(目 といえば住みよい』	·営む <mark>1標)</mark> )
対象・ 大 アウト	きかん	意 (対象を3 な 中間成果 指 最終成果	図(て) 的 名式度値名式	条例 昭和上で H1 芦屋 平成 住環 アル	146年に策定した 基盤となる住環境 2年度以降の特定 を市独自の条件の「 15年度(実績) 124件 環境への市民の満足 ケート調査等(平 15年度(実績) 60%	正を検討し、周辺の住環 こ「総合的かつ計画的なの保全及び育成するたと 建築物の協定件数の累 で建てられた特定建築 平成16年度(実績) 151件 建度 成16年度芦屋市民アンケ 平成16年度(実績) 88%	境に配慮した建 行政の運営を図 かの施策 計 物の件数 平成17年度( 178年 ート調査結果/地 平成17年度(	( <b>実績</b> ) は ( <b>実績</b> )	5。その ②基本構 平成1 ×よさ『パ 平成1	ことによ 思」に基 <mark>8年度(</mark> 90%	(目標) (目標)	な住環境を保全す 全で快適な生活を 平成19年度(目 といえば住みよい。 平成19年度(目 90%	営む <b>1標)</b> ) <b>1標)</b>
対 大 ア指	意図	意 (対象を3 な 中間成果 撮終成果 指	図) 的 名式度値名式度値	条例 昭和 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	146年に策定した 基盤となる住環境 2年度以降の特別 計を力をして 15年度(実績) 124件 環境への市民の満足 ケケート調査等(平 15年度(実績) 60% そのな美しい自然と	正を検討し、周辺の住環 上「総合的かつ計画的なの保全及び育成するため 定建築物の協定件数の累 で建てられた特定建築 平成16年度(実績) 151件 上度 成16年度声屋市民アンケ 平成16年度(実績) 88% と温和な気候に恵まれ、	境に配慮した建 行政の運営を図 りの施策 計 物の件数 平成17年度( 1784 一ト調査結果/地 平成17年度( 風光明媚な優れ	( <b>実績</b> ) は は は な に は な に は な に は な に は な に は の は に は に に に に に に に に に に に に に	5。その シ基本構 平成1 ×よさ『な 平成1	ことによ 思」に基 8年度( 90% で発展し	り,良好 ( <b>目標</b> ) どちらか。 ( <b>目標</b> ) てきた声	な住環境を保全す 全で快適な生活を 平成19年度(目 といえば住みよい。 平成19年度(目 90% 屋市は、昭和26年	営む <b>1標)</b> ) <b>1標)</b>
対 大 ア指	意図	意 (対象を3 な 中間成果 撮 級成果 指	図) 的 名式度値名式度値	条例 昭和で 日 1 万 平成 住 アン 平成 緑豊 法 9 8 3	回46年に策定した 基盤となる住環境 2年度以降の特別 是市独自の条件の下 15年度(実績) 124件 環境への市民の満別 ケケト調査等(平) 15年度(実績) 60% とかな美しい自然と 5条に基づき「芦屋	正を検討し、周辺の住環 こ「総合的かつ計画的なの保全及び育成するための保全及び育成するためで建てられた特定建築 平成16年度(実績) 151件 生度 成16年度 声屋市民アンケ 平成16年度 (実績) 88% 温和な気候に恵まれ、 国際文化住宅都市建設	境に配慮した建 行政の運営を図 りの施策 計 物の件数 平成17年度( 1784 一ト調査結果/地 平成17年度( 風光明媚な優れ	( <b>実績</b> ) は は は な に は な に は な に は な に は な に は の は に は に に に に に に に に に に に に に	5。その シ基本構 平成1 ×よさ『な 平成1	ことによ 思」に基 8年度( 90% で発展し	り,良好 ( <b>目標</b> ) どちらか。 ( <b>目標</b> ) てきた声	な住環境を保全す 全で快適な生活を 平成19年度(目 といえば住みよい。 平成19年度(目 90% 屋市は、昭和26年	営む <b>1標)</b> ) <b>1標)</b>
対大ア指アが一方で	意図  ち  カ  の特能	意 (対象を3 な 中指 最終成標 とど補気	図() 的 名式度値名式度値 項	条例 昭和で 日 1 万 平成 住 アン 平成 緑豊 法 9 8 3	146年に策定した 基盤となる住環境 2年度以降の特別 計を力をして 15年度(実績) 124件 環境への市民の満足 ケケート調査等(平 15年度(実績) 60% そのな美しい自然と	正を検討し、周辺の住環 こ「総合的かつ計画的なの保全及び育成するための保全及び育成するためで建てられた特定建築 平成16年度(実績) 151件 生度 成16年度 声屋市民アンケ 平成16年度 (実績) 88% 温和な気候に恵まれ、 国際文化住宅都市建設	境に配慮した建 行政の運営を図 りの施策 計 物の件数 平成17年度( 1784 一ト調査結果/地 平成17年度( 風光明媚な優れ 」を制定し、以	(実績)   *   *   *   *   *   *   *   *   *   *	5。その )基本構 平成1 本よさ『ガ 平成1 下市として 法律の理念	ことによ 想」に基 8年度( 90% で発展調	( <b>目標</b> ) ( <b>目標</b> ) どちらか。 ( <b>目標</b> ) だちなき	本住環境を保全す 全で快適な生活を 平成19年度(目 中成19年度(目 90% 屋市は、昭和26年 りと愛着を感じるま	営む  標)    福)
対 大 ア指 芦 <b>事</b>	意図あり、おいまでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	意(対象を引 な 中指 最終 成 標 を 活動配	図() 的 名式度値名式度値 項 ト	条例 昭和で記 日1 声 F 成 住 理 ア 成 繰 豊 法 95 ご く	146年に策定した 基盤となる住環境 2年度以降の特定 音市独自の条件の下 15年度(実績) 124件 環境への市民の満足 ケート調査等(平 15年度(実績) 60% 是かな美しい自然と 多条に基づき「芦屋 りに係る取り組み	国を検討し、周辺の住環 こ「総合的かつ計画的なの保全及び育成するため の保全及び育成するため 定建築物の協定件数の累 で建てられた特定建築 平成16年度(実績) 151件 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	境に配慮した建 行政の運営を図 りの施策 計 物の件数 平成17年度( 178年 一ト調査結果/地 平成17年度( 風光明媚な優れ 」を制定し、以	(実績)     本   は   な   な   と   と   と   と   と   と   と   と   と   と	5。その )基本構 平成1 平成1 ボ市とした 法律の理念 住民1人	ことによ 思」に基 8年度( 90% で発展調 (1)(円)	( <b>目標</b> ) どちらか。 ( <b>目標</b> ) とさきた誇ったき	な住環境を保全す 全で快適な生活を 平成19年度(目 といえば住みよい。 平成19年度(目 90% 屋市は、昭和26年	営む  標)    福)
対大ア指アが一方で	意 き カ の 業 費業	意(対象を引 な 中指 最終 成 標 を 活動配費	図() と	条例 昭和で記 日1 声 F 成 住 理 ア 成 繰 豊 法 95 ご く	146年に策定した 基盤となる住環境 2年度以降の特別 是市独自の条件の 15年度(実績) 124件 環境への市民の満足 ケート調査等(平 15年度(実績) 60% とかな美しい自然と を条に基づき「芦屋 りに係る取り組み	正を検討し、周辺の住環 こ「総合的かつ計画的なの保全及び育成するため の保全及び育成するため 定建築物の協定件数の累 で建てられた特定建築 平成16年度(実績) 151件 ・ 世度 成16年度芦屋市民アンケ 平成16年度(実績) 88% ・ 温和な気候に恵まれ、 国際文化住宅都市建設社 の一環。	境に配慮した建 行政の運営を図 りの施策 計 物の件数 平成17年度( 1784 一ト調査結果/地 平成17年度( 風光明媚な優れ 」を制定し、以	(実績)   本   なための   本   本   本   本   本   本   本   本   本   本	5。その )基本構 平成1 平成1 ボ市とした 法律の理念 住民1人	ことによ 想」に基 8年度( 90% で発展調	( <b>目標</b> ) どちらか。 ( <b>目標</b> ) とさきた誇ったき	本住環境を保全す 全で快適な生活を 平成19年度(目 中成19年度(目 90% 屋市は、昭和26年 りと愛着を感じるま	営む  標)    福)
対 大 ア指 芦 屋 事 3	意 き カ の 業 人	意(対象を引動した) ないでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	図(T) 目 指考年 標方 標序方 標標方 標標方 標標方 標標方 標標方 標標方	条例 昭和で記 日1 声 F 成 住 理 ア 成 繰 豊 法 95 ご く	146年に策定した 基盤となる住環境 2年度以降の特定 音市独自の条件の下 15年度(実績) 124件 環境への市民の満足 ケート調査等(平 15年度(実績) 60% 是かな美しい自然と 多条に基づき「芦屋 りに係る取り組み	国を検討し、周辺の住環 こ「総合的かつ計画的なの保全及び育成するため の保全及び育成するため 定建築物の協定件数の累 で建てられた特定建築 平成16年度(実績) 151件 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	境に配慮した建 行政の運営を図 りの施策 計 物の件数 平成17年度( 178年 一ト調査結果/地 平成17年度( 風光明媚な優れ 」を制定し、以	(実績)     本   は   な   な   と   と   と   と   と   と   と   と   と   と	5。その )基本構 平成1 平成1 ボ市とした 法律の理念 住民1人	ことによ 思」に基 8年度( 90% で発展調 (1)(円)	( <b>目標</b> ) どちらか。 ( <b>目標</b> ) とさきた誇ったき	本住環境を保全す 全で快適な生活を 平成19年度(目 中成19年度(目 90% 屋市は、昭和26年 りと愛着を感じるま	営む  標)    福)
対 大 フ 方 屋 事 3 事	意 き カ の 業 人事	意(対な 中指 最指 を 活動で 保	図(T) 目 指考年 標方 標序方 標標方 標標方 標標方 標標方 標標方 標標方	条例 昭和で記 日1 声 F 成 住 理 ア 成 繰 豊 法 95 ご く	146年に策定した 基盤となる住環境 2年度以降の特別 是市独自の条件の 15年度(実績) 124件 環境への市民の満足 ケート調査等(平 15年度(実績) 60% とかな美しい自然と を条に基づき「芦屋 りに係る取り組み	正を検討し、周辺の住環 こ「総合的かつ計画的なの保全及び育成するため の保全及び育成するため 定建築物の協定件数の累 で建てられた特定建築 平成16年度(実績) 151件 ・ 世度 成16年度芦屋市民アンケ 平成16年度(実績) 88% ・ 温和な気候に恵まれ、 国際文化住宅都市建設社 の一環。	境に配慮した建 行政の運営を図 りの施策 計 物の件数 平成17年度( 178年 一ト調査結果/地 平成17年度( 風光明媚な優れ 」を制定し、以	(実績)   本   なための   本   本   本   本   本   本   本   本   本   本	5。その )基本構 平成1 平成1 ボ市とした 法律の理念 住民1人	ことによ 思」に基 8年度( 90% で発展調 (1)(円)	( <b>目標</b> ) どちらか。 ( <b>目標</b> ) とさきた誇ったき	本住環境を保全す 全で快適な生活を 平成19年度(目 中成19年度(目 90% 屋市は、昭和26年 りと愛着を感じるま	営む  標)    福)
対 大 ア指 芦 3 事 内	意 き カ の 業 人事 図	意(対な 中指 最指 み 活動 で	図(T) 目 指考年 標方 標序方 標標方 標標方 標標方 標標方 標標方 標標方	条例 昭和で記 日1 声 F 成 住 理 ア 成 繰 豊 法 95 ご く	146年に策定した 基盤となる住環境 2年度以降の特別 計をでは、2年度以降の特別 計をでは、2年度(実績) 124件 環境への市民の満足 ケート調査等(平 15年度(実績) 60% かな美しい自然と 5条に基づき「芦屋 りに係る取り組み 15年度(決算) 13,338	正を検討し、周辺の住環 こ「総合的かつ計画的なの保全及び育成するため 定建築物の協定件数の累 で建てられた特定建築 平成16年度(実績) 151件 ・ で成16年度 (実績) 88% ・ 温和な気候に恵まれ、 国際文化住宅都市建設を ・ なの一環。	境に配慮した建 行政の運営を図 りの施策 計 物の件数 平成17年度( 178年 一ト調査結果/地 平成17年度( 風光明媚な優れ 」を制定し、以	(実績) は は は は は は は は は は は は は	5。その )基本構 平成1 平成1 ボ市とした 法律の理念 住民1人	ことによ 思」に基 8年度( 90% で発展調 (1)(円)	り,良好 ( <b>目標)</b> どちらかか ( <b>目標)</b> てきてきた 声 ( <b>7</b> 9)	本住環境を保全す 全で快適な生活を 平成19年度(目 中成19年度(目 90% 屋市は、昭和26年 りと愛着を感じるま	営む  標)    福)
対 大 ア指 芦 3 事 内	意 き カ の 業 人事 図	意(対な 中指 最指 を 活動で 保	図(T) 目 指考年 標方 標序方 標標方 標標方 標標方 標標方 標標方 標標方	条例 昭和でご H1	146年に策定した 基盤となる住環境 2年度以降の特別 計をでは、2年度以降の特別 計をでは、2年度(実績) 124件 環境への市民の満足 ケート調査等(平 15年度(実績) 60% かな美しい自然と 5条に基づき「芦屋 りに係る取り組み 15年度(決算) 13,338	正を検討し、周辺の住環 こ「総合的かつ計画的なの保全及び育成するため 定建築物の協定件数の累 で建てられた特定建築 平成16年度(実績) 151件 ・ で成16年度 (実績) 88% ・ 温和な気候に恵まれ、 国際文化住宅都市建設を ・ なの一環。	境に配慮した建 行政の運営を図 りの施策 計 物の件数 平成17年度( 178年 一ト調査結果/地 平成17年度( 風光明媚な優れ 」を制定し、以	(実績) は は は は は は は は は は は は は	5。その )基本構 平成1 平成1 ボ市とした 法律の理念 住民1人	ことによ 思」に基 8年度( 90% で発展調 (1)(円)	り,良好 ( <b>目標)</b> どちらかか ( <b>目標)</b> てきてきた 声 ( <b>7</b> 9)	本住環境を保全す 全で快適な生活を 平成19年度(目 中成19年度(目 90% 屋市は、昭和26年 りと愛着を感じるま	営む  標)    福)
対 大 ア指 芦 3 事 内	意 き カ の 業 人事 図	意(対な 中指 最指 み 活動 で	図(T) 指 考 年 指 指 考 年 指 指 考 年 指 指 考 年 標 序 方 標 標 序 方 で 標 本 の コス 成 の の 33.9% の 6.1%	条例 昭和でご H1	146年に策定した 基盤となる住環境 2年度以降の特別 計をでは、2年度以降の特別 計をでは、2年度(実績) 124件 環境への市民の満足 ケート調査等(平 15年度(実績) 60% かな美しい自然と 5条に基づき「芦屋 りに係る取り組み 15年度(決算) 13,338	正を検討し、周辺の住環 こ「総合的かつ計画的なの保全及び育成するため 定建築物の協定件数の累 で建てられた特定建築 平成16年度(実績) 151件 ・ で成16年度 (実績) 88% ・ 温和な気候に恵まれ、 国際文化住宅都市建設を ・ なの一環。	境に配慮した建 行政の運営を図りの施策 計 物の件数 平成17年度( 178年 一ト調査結果/地 平成17年度( 風光明媚な優れ 風光明媚な優れ 、」を制定し、以 1世帯当り(円) 平成17年度(	(実績) は は は は は は は は は は は は は	5。その )基本構 平成1 平成1 ボ市とした 法律の理念 住民1人	ことによ 思」に基 8年度( 90% で発展調 (1)(円)	り,良好 ( <b>目標)</b> どちらかか ( <b>目標)</b> てきてきた 声 ( <b>7</b> 9)	本住環境を保全す 全で快適な生活を 平成19年度(目 中成19年度(目 90% 屋市は、昭和26年 りと愛着を感じるま	営む  標)    福)
対 大 ア指 芦 3 事 内	意     き     力     サージー     人事他減       図     ム標     特・費業     一部価	意(対象を引き) は、対象を引き、対象をとします、対象をとします、対象をとしまするとします、対象をとしまするとしまするとしまするとしまするとしまするとしますをとしまするとしまするとしまするとしまするとしまするとしまするとしまするとしまする	図(T) 指 考 年 指 指 考 年 指 指 考 年 指 指 考 年 標 序 方 標 標 序 方 で 標 本 の コス 成 の の 33.9% の 6.1%	条例 昭和でご H1	146年に策定した 基盤となる住環境 2年度以降の特別 され独自の条件の「 15年度(実績) 124件 環境への市民の満別 ケケト調査等(平、 15年度(実績) 60% きかな美しい自然と 5条に基づき「芦屋 りに係る取り組み 15年度(決算) 13,338 354	正を検討し、周辺の住環 に 「総合的かつ計画的なの保全及び育成するため 定建築物の協定件数の累 で建てられた特定建築 平成16年度(実績) 151件 程度 成16年度声屋市民アンケ 平成16年度(実績) 88% 温和な気候に恵まれ、 国際文化住宅都市建設が よの一環。 平成16年度(決算) 14,514 381	境に配慮した建 行政の運営を図りの施策 計 物の件数 平成17年度( 178年 一ト調査結果/地 平成17年度( 風光明媚な優れ 風光明媚な優れ 、」を制定し、以 1世帯当り(円) 平成17年度(	(実績)   本   本   本   本   本   大   住   宅   本   大   住   で   16,209   1,061	5。その )基本構 平成1 平成1 ボ市とした 法律の理念 住民1人	ことによ 思」に基 8年度( 90% で発展調 (1)(円)	り,良好 ( <b>目標)</b> どちらかか ( <b>目標)</b> てきてきた 声 ( <b>7</b> 9)	本住環境を保全す 全で快適な生活を 平成19年度(目 中成19年度(目 90% 屋市は、昭和26年 りと愛着を感じるま	営む  標)    福)
対 大 フ指 芦 3事 内( ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	意     き     力     の業人事他減合国       図     ム標     特費業     部価	意(対な 中指 最指 を 活動で 異標 果標 果標 果標 異標 と が は か は か は か は か は か は か は か は か は か は	図(T) 指 考 年 指 指 考 年 指 指 考 年 指 指 考 年 標 序 方 標 標 序 方 で 標 本 の コス 成 の の 33.9% の 6.1%	条例 昭和でご H1	146年に策定した 基盤となる住環境 2年度以降の特別 され独自の条件の「 15年度(実績) 124件 環境への市民の満別 ケケト調査等(平、 15年度(実績) 60% きかな美しい自然と 5条に基づき「芦屋 りに係る取り組み 15年度(決算) 13,338 354	正を検討し、周辺の住環 に 「総合的かつ計画的なの保全及び育成するため 定建築物の協定件数の累 で建てられた特定建築 平成16年度(実績) 151件 程度 成16年度声屋市民アンケ 平成16年度(実績) 88% 温和な気候に恵まれ、 国際文化住宅都市建設が よの一環。 平成16年度(決算) 14,514 381	境に配慮した建 行政の運営を図りの施策 計 物の件数 平成17年度( 178年 一ト調査結果/地 平成17年度( 風光明媚な優れ 風光明媚な優れ 、」を制定し、以 1世帯当り(円) 平成17年度(	(実績)   本   本   本   本   本   大   住   宅   本   大   住   で   16,209   1,061	5。その )基本構 平成1 平成1 ボ市とした 法律の理念 住民1人	ことによ 思」に基 8年度( 90% で発展調 (1)(円)	り,良好 ( <b>目標)</b> どちらかか ( <b>目標)</b> てきてきた 声 ( <b>7</b> 9)	本住環境を保全す 全で快適な生活を 平成19年度(目 中成19年度(目 90% 屋市は、昭和26年 りと愛着を感じるま	営む  標)    福)
対 大 ア指 芦 3事 内( 財	<ul><li>意きカの業人事他減合国市図</li></ul>	意(対な 中指 最指 を 活 件業門償 ・債 を で で で で で で で で で で で で で で で で で で	図(で) (国) (国) (国) (国) (国) (国) (国) (国) (国) (国	条例 昭和でご H1	146年に策定した 基盤となる住環境 2年度以降の特別 され独自の条件の「 15年度(実績) 124件 環境への市民の満別 ケケト調査等(平、 15年度(実績) 60% きかな美しい自然と 5条に基づき「芦屋 りに係る取り組み 15年度(決算) 13,338 354	正を検討し、周辺の住環 に 「総合的かつ計画的なの保全及び育成するため 定建築物の協定件数の累 で建てられた特定建築 平成16年度(実績) 151件 程度 成16年度声屋市民アンケ 平成16年度(実績) 88% 温和な気候に恵まれ、 国際文化住宅都市建設が よの一環。 平成16年度(決算) 14,514 381	境に配慮した建 行政の運営を図りの施策 計 物の件数 平成17年度( 178年 一ト調査結果/地 平成17年度( 風光明媚な優れ 風光明媚な優れ 、」を制定し、以 1世帯当り(円) 平成17年度(	(実績)   本   本   本   本   本   大   住   宅   本   大   住   で   16,209   1,061	5。その )基本構 平成1 平成1 ボ市とした 法律の理念 住民1人	ことによ 思」に基 8年度( 90% で発展調 (1)(円)	り,良好 ( <b>目標)</b> どちらかか ( <b>目標)</b> てきてきた 声 ( <b>7</b> 9)	本住環境を保全す 全で快適な生活を 平成19年度(目 中成19年度(目 90% 屋市は、昭和26年 りと愛着を感じるま	営む  標)    福)
対 大 フ指 芦 3事 内( ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	意 き カ の <del>業 人事他</del> 減 <b>合</b> 国市そ 図	意(対な 中指 最指 な 活 件業門償 ・ 債の 保標 果標 果標 の で で で で で で で で で で で で で で で で で で	図の 図で 目 指 考年 標標方・標標方・標標方・標標方・標標方・標標方・標標方・標標方・標準 では、またででは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、ま	条例 昭和で 日1屋 平成 住環ン 平成 緑豊 きょうく 平成	146年に策定した 基盤となる住環境 2年度以降の特定 計を度(実績) 124件 環境への市民の満足 かケート調査等(平 15年度(実績) 60% かな美しい自然と 5条に基づき「芦屋 りに係る取り組み 15年度(決算) 13,338 354	正を検討し、周辺の住環 に「総合的かつ計画的なの保全及び育成するため 定建築物の協定件数の累 で建てられた特定建築 平成16年度(実績) 151件 上度 成16年度声屋市民アンケ 平成16年度(実績) 88% に温和な気候に恵まれ、 国際文化住宅都市建設を の一環。 平成16年度(決算) 14,514 381	境に配慮した建 行政の運営を図 りの施策 計 物の件数 平成17年度( 178件 平成17年度( 風光明媚な優れ 」を制定し、以 1世帯当り(円) 平成17年度(	(実績)   と   と   と   と   に   に   に   に   に   に   に   に   に   に	5。その )基本構 平成1 平成1 ボ市とした 法律の理念 住民1人	ことによ 思」に基 8年度( 90% で発展調 (1)(円)	り,良好 ( <b>目標)</b> どちらかか ( <b>目標)</b> てきてきた 声 ( <b>7</b> 9)	本住環境を保全す 全で快適な生活を 平成19年度(目 中成19年度(目 90% 屋市は、昭和26年 りと愛着を感じるま	営む  標)    福)
対 大 ア指 芦 3事 内( 財( 財( 所) 原)	意     き     力     の業人事他減合国市そータ       図     ム標     特費業 部価	意(対な 中指 最指 な 新 保 に で で で で で で で で で で で で で で で で で で	図で 目 お 標	条例 昭和で 日1屋 平成 住環ン 平成 緑豊 きょうく 平成	146年に策定した 基盤となる住環境 2年度以降の特定 資市独自の条件の下 15年度(実績) 124件 環境への市民の満足 ケート調査等(平 15年度(実績) 60% かな美しい自然と 5条に基づき「芦屋 りに係る取り組み 15年度(決算) 13,338 354	正を検討し、周辺の住環 に「総合的かつ計画的なの保全及び育成するため で建てられた特定建築 平成16年度(実績) 151件 上度 成16年度芦屋市民アンケ 平成16年度(実績) 88% ・温和な気候に恵まれ、 国際文化住宅都市建設さ の一環。 平成16年度(決算) 14,514 381	境に配慮した建 行政の運営を図 りの施策 計 物の件数 平成17年度( 178件 平成17年度( 風光明媚な優れ 」を制定し、以 1世帯当り(円) 平成17年度(	(実績) は は は に に に に に に に に に に に に に	5。その )基本構 平成1 平成1 ボ市とした 法律の理念 住民1人	ことによ 思」に基 8年度( 90% で発展調 (1)(円)	り,良好 ( <b>目標)</b> どちらかか ( <b>目標)</b> てきてきた 声 ( <b>7</b> 9)	本住環境を保全す 全で快適な生活を 平成19年度(目 中成19年度(目 90% 屋市は、昭和26年 りと愛着を感じるま	営む  標)    福)
対 大 フ指 芦 3事 内( 財( 活) 大 リ 大 リ 大 リ 大 大 リ 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	意 き カ の <b>業</b> 人事 他減 <b>合</b> 国市 そ 一 職 図	意(対な 中指 最指 な 動 経却 原 の 財 原 の 財 の 関 の 財 の 財	図の 図で 目 指 考年 標標方・標標方・標標方・標標方・標標方・標標方・標標方・標標方・標準 では、またででは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、ま	条例 昭和で 日1屋 平成 住環ン 平成 緑豊 きょうく 平成	146年に策定した 基盤となる住環境 2年度以降の特定 計を度(実績) 124件 環境への市民の満足 かケート調査等(平 15年度(実績) 60% かな美しい自然と 5条に基づき「芦屋 りに係る取り組み 15年度(決算) 13,338 354	正を検討し、周辺の住環 に「総合的かつ計画的なの保全及び育成するため 定建築物の協定件数の累 で建てられた特定建築 平成16年度(実績) 151件 上度 成16年度声屋市民アンケ 平成16年度(実績) 88% に温和な気候に恵まれ、 国際文化住宅都市建設を の一環。 平成16年度(決算) 14,514 381	境に配慮した建 行政の運営を図 りの施策 計 物の件数 平成17年度( 178件 平成17年度( 風光明媚な優れ 」を制定し、以 1世帯当り(円) 平成17年度(	(実績)   と   と   と   と   に   に   に   に   に   に   に   に   に   に	5。その )基本構 平成1 平成1 ボ市とした 法律の理念 住民1人	ことによ 思」に基 8年度( 90% で発展調 (1)(円)	( <b>目標</b> ) どちらかか( <b>目標</b> ) てとする <b>190</b> ( <b>予算</b> ) - 596,500	本住環境を保全す 全で快適な生活を 平成19年度(目 中成19年度(目 90% 屋市は、昭和26年 りと愛着を感じるま	営む  標)    福)
対 大 ア指 芦 3事 内( 財( 活 象	意     き     力     の業人事他減合     画市そー職嘱       図     ム標     特費業     部価       図     ・職嘱	意(対な 中指 最指 な 新 保 に で で で で で で で で で で で で で で で で で で	図ので 目 が 名式度値 名式度値名式度値 名式度値名式度値 100.0% 100.0%	条例 昭和で 日1屋 平成 住 アン成 緑 豊 男 きょう マ 中成 マ 中成 マ 中成 マ 中成 マ 中成 マ 中成 マ 中成 マ 中	146年に策定した 基盤となる住環境 2年度以降の特定 資市独自の条件の下 15年度(実績) 124件 環境への市民の満足 ケート調査等(平 15年度(実績) 60% かな美しい自然と 5条に基づき「芦屋 りに係る取り組み 15年度(決算) 13,338 354	正を検討し、周辺の住環 に「総合的かつ計画的なの保全及び育成するため で建てられた特定建築 平成16年度(実績) 151件 上度 成16年度芦屋市民アンケ 平成16年度(実績) 88% ・温和な気候に恵まれ、 国際文化住宅都市建設さ の一環。 平成16年度(決算) 14,514 381	境に配慮した建 行政の運営を図 りの施策 計 物の件数 平成17年度( 178件 平成17年度( 風光明媚な優れ 」を制定し、以 1世帯当り(円) 平成17年度(	(実績) は は は に に に に に に に に に に に に に	5。その )基本構 平成1 平成1 ボ市とした 法律の理念 住民1人	ことによ 思」に基 8年度( 90% で発展調 (1)(円)	り,良好 ( <b>目標)</b> どちらかか ( <b>目標)</b> てきてきた 声 ( <b>7</b> 9)	本住環境を保全す 全で快適な生活を 平成19年度(目 中成19年度(目 90% 屋市は、昭和26年 りと愛着を感じるま	営む  標)    福)

4 評价	西(チェッ	ック)					
評	価	視	点	評価チェックリスト		1次評価	2次評価
	日的至	24件/	2 ~ 2)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ること	とができない		
	פנים בו	₹ <del>  1</del> 1±(2	2~ 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高く	くない		
				□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応	ぶ可能である		
妥	市関与	<del>5</del> (2 ~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされてい	,1る		
				□ いずれにも該当しない		_	
当				□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う		6	6
	市民二	ニーズ(2	! ~ 1)	□ ニーズが高いとは言えない,			
性					□ 未把握		
8点	社会環	環境変化	比(1~ 1)	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた	見直しが必要		
				内容 平成12年度に条例を制定。平成18年3月に条例改正し,7月1日より施行。			
		生,緊急		■ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる	せんべん しょ		
有		<u>)ハー卒</u> 針(1~	1)	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー □ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が			
н	又血毛	1(1~	1)	<ul><li>☑ 事業意図と受益者は整合している</li><li>□ 事業意図と受益者が不整合,または受益が</li><li>☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している</li><li>□ 実績値または目標値が未記</li></ul>			
効	成果σ	)実績(2	2 ~ 1)	→ 図 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがってい		4	3
性				成果があがっていない場合	19CB/CAVI		
4点	- 成果向	可上余均	也(1~ 1)	□ 成果向上策あり	□ 特になし		
				□ 比較できる団体がある 団体名 西宮市 □ 比較できる団体はない			
	× /		43	☑ 他団体の数字を把握している 単位コスト 49千円(H16年度) □ 把握していな	111		
効	単1⊻→	1スト(1・	~ 1)	□ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが	高い		
				高い、または低い場合の理由			
	妥 兰 孝	₹ <b>負</b> 扣((	) ~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない			
率	又皿目	)三(只	''	→ □ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □	徴収可能 )	2	2
				直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		_	_
	手段(1	l ~ 3)	)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべ			
		- /		□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応回			
性				□ 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託, 臨時職員等で対応可	能である		
3点	コスト	削減取;	組(1~ 1)	<ul><li>□ コスト削減の取り組みを行っている</li><li>□ 特に行っていない</li><li>□ 内容 FAQ,解説書等の作成</li></ul>			
平成1	6年度	の評	価 内 容	□ A <mark>平成17年度に実</mark> ☑ 改善し,効果を得た	-1. \		
(評価カ	改善 きょうしゅう	のり	方 向 性 己載不要)	D   Mt   D 以音したか,効未かな D   j	改善し なかっ		
( 11 114 73		Д 10-11	D + W   X /	The state of the s	た総合	٨	Α
√ ct	1 0	) <del>(</del> =	帝 仁	条例等の改正施行に伴う問合せへの対応条例等の改正施行に伴う解説書の作	下成 評価	Α	^
平成実施	すっる。	改革	度 底 内容	課題			
(	必	須	į )	内容			
5 44	きの対応	5.(マケ	75/77/)				
J 718	又マノスゴル	J ( ) /	<u>/ ノョノ )</u>	改正条例の7月1日施行に合わせた,駆け込み申請への対応			
現在意	忍識し	てい	る課題	(平成17年度にFAQを作成し、事務の効率化を図った。)			
				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
市民,関	係者市	民,関係	系者の名称	市議会	-		
からの	意見		5 胡 贞 宓	改正条例の7月1日施行に合わせた,駆け込み申請に対する新条例に沿った計画への指導	i		
要望	等思	九,3	文 主 门 谷	火工未例♥クイアチ1口爬11に白4クせた,郷イク どの中間に対り ②利未例に石ツた計画 ^♥クチ目等	. <del>.</del>		
			対応内容	新条例に沿った計画への窓口指導			
		(1)					
			実施期限	平成 18 年 6 月			
課題·要		(0)	対応内容				
^ A		(2)	c>+/- #079	T-4 /r			
へのす	(1) //(1)		実施期限	平成 年 月			
		(3)	対応内容				
		(3)	実施期限	平成    年    月			
			Z IIE MITK	1 // 1 // 1			
その他	考えら	れる					
改善の	カアイ	デァ					
					今後の方向性	1次評価	2次評価
					拡大・充実		•
				総合的な住環境・景観形成に向けての検討 (都市計画課所管)	現 状 維 持		0
					方法改善		0
平成 1	9 ~ 2 1	年度	の方向性	<u>-</u>	民間委託等		0
					縮小物質等	_	0
				<b>_</b>	統合/終期設定		00
				<u></u>	廃止/休止	$\cup$	$\cup$
2 次 誣		昌 今	コメント				
- // 11	IM 54	~ 4	I				

(一般								当 長	次	長課	長
	4 <b>7</b> / T / E	=	м Ъ		フまね						
平成	17年度	事	業 名	耐震改修促進法に関す	る事務						
1 事	<b>業概</b>	要(ドゥ)						•		•	
			(りの目標	4 洋与などわて曲か	オン 上 八 上 八 上 八 に に に に に に に に に に に に に				Z由→元 ☆17		
					かな生活環境づくり			所 管 課	建設部		
	計画		中	2 安全と防災の確保	2			🗀 🔐	建築指導	課	
政策	施策	ž	小	3 防災機能の強化				所管課長氏名	林繁	尌	
	系		細					記入者氏名			
体											
事	業			平成12年度~	経常臨時	☑ 経常 □	臨時		0797-38	8-2114 内線	2918
根 拼	処 法	令 '	要 綱 等	建築物の耐震改修の仮	足進に関する法律			実 施 主 体	市		
実	施			☑ 直営	☑ 一部委託	□ 全部委託		□補助金		負担金	
	ווש										the state of the s
委		託	先	☑ 外郭団体委託	名称 (財) 兵庫県住宅建	梁総合センタ	□ 民間	委託   委託 内容	間易耐震	認	肣
				<ul><li>建築物の耐震改修の</li></ul>	計画の認定(建築物の耐	震改修の促進に	こ関する	去律(以下「法」と	いう。)第	98条)	
事	業	Ø	概 要	<ul><li>特定建築物の所有者に</li></ul>	二対する、当該建築物の耐	電診断及び耐電	改修につ	いて必要か指導	助量及び	指示箋を行う(法策	(7条)
<b>-</b>	<b>X</b>	• • •	19%			INCIDENTAL O INTING		· (20.32.810 <del>117</del> )	201	104.4 611 7 (12)	11/10/
				・市町村耐震改修促進							
				<ul><li>特定建築物の状況調</li></ul>	査(調査対象建築物:15	6棟)					
事	業	Ø	現 状	<ul><li>耐震診断及び耐震改</li></ul>	修等に関する相談窓口の	つ設置					
		実現のため			震改修促進事業の推進	~					
				• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		=-A-11-171111 1 1 1					
	手段	及び実施に	内容	・簡易耐震診断推進事	業の実施(芦屋市簡易耐	<b>震診断推進事業</b>	<b>E</b> 実施要約	尚)			
			指 堙 夕	簡易耐震診断の実施戸	数						
		(d. 15. 15. 1				T# 4 7 7 7 7	/ m/= >	T + 4 2 + +	/ D.#= \	正式 4 0 左左 4	
		結果指標		平成15年度(実績)	平成 16年度(実績)	平成17年度	( 美績 )	平成18年度	(日標)	平成19年度(	日標)
		(1)	指標値	_	_	8戸	_	24戸	_	24戸	_
アウ	トプット		単位コスト	_	_	105, 883 F	1/戸				
				わが家の耐震改修促進	東米の山津三米	100,000	•//	ļ		ļ	
指	樗							•		•	
		結果指標	年 度	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成18年度	(目標)	平成19年度(	目標)
		(2)	指標値	0戸	1戸	1戸		3戸		3戸	
		( - )	単位コスト		65,560円/戸	63, 107円	/=	-/		-/	
	= 1111 -111			_	00,000円/戸	65, 107円	/ 厂				
2 事	≩ 展 成	果(アウ	<u>トカム)</u>								
		*+	<i>p</i> .	IIガギャトの たい シーマキャケ (-	カ た 仕 ウ T → W → ユ ル・・						
		対	家	昭和bb年以前に建築さ	れた住宅及び特定建築物	0)					
		++ 45 +									
田 ※				→ ← ★ / 。 \	10 070 亞 光 米	7 (6)	1.0	LL 327 / L	) 0/	0.110/	
			」 バ ー 率	<mark>対象数(a)</mark>	10,970	(b)	12	比 率 (b	÷ a) %	0.11%	
	の目的・意図		」 バ - 率	<mark>対象数(a)</mark>	10,970	<mark>( (b)</mark>	12	比 率 (b	÷ a) %	0.11%	
			」 バ - 率		10,970 <b>受益数</b> された住宅及び特定建築			,	÷ a) %	0.11%	
		意	図		<u> </u>			,	÷ a) %	0. 11%	
		意	o バ - 率 図 主語にして)		<u> </u>			,	÷ a) %	0.11%	
対象	・意 図	意 (対象を	図 主語にして)	昭和56年以前に建築さ	された住宅及び特定建築	物の耐震化率向	句上を図る	<b>3</b> こと。	÷ a) %	0.11%	
		意	図	昭和56年以前に建築さ	<u> </u>	物の耐震化率向	句上を図る	<b>3</b> こと。	÷ a) %	0.11%	
対象	・意 図	意 (対象を	図 主語にして)	昭和56年以前に建築さ	された住宅及び特定建築	物の耐震化率向	句上を図る	<b>3</b> こと。	÷ a) %	0.11%	
対象	・意 図	意 (対象を	図 主語にして) 目 的	昭和56年以前に建築さ 地震による建築物の個	された住宅及び特定建築	物の耐震化率向生命、身体及び	向上を図る が財産を係	ること。	÷ a) %	0.11%	
対象	・意 図	意 (対象を	図 主語にして) 目 的 指標名	昭和56年以前に建築さ 地震による建築物の個 昭和56年以前に建築さ	された住宅及び特定建築 到壊等の被害から国民の された住宅及び特定建築	物の耐震化率に 生命,身体及で 物が,耐震化3	向上を図る が財産を係 又は減少1	ること。 呆護すること。 した棟数			
対象	・意 図	意 (対象を な 中間成果	図 主語にして) 目 的 指標名: 考え方:式	昭和56年以前に建築さ 地震による建築物の他 昭和56年以前に建築さ 昭和56年以前に建築さ	された住宅及び特定建築 到壊等の被害から国民の された住宅及び特定建築 された住宅及び特定建築	物の耐震化率向 生命、身体及で 物が、耐震化2 物が、耐震化2	向上を図る が財産を係 又は減少し 又は減少し	ること。 呆護すること。 した棟数 することにより而	汁震化率が	1上昇する	
対象	・意 図	意 (対象を な 中間成果	図 主語にして) 目 的 指標名: 考え方:式	昭和56年以前に建築さ 地震による建築物の他 昭和56年以前に建築さ 昭和56年以前に建築さ	された住宅及び特定建築 到壊等の被害から国民の された住宅及び特定建築	物の耐震化率向 生命、身体及で 物が、耐震化2 物が、耐震化2	向上を図る が財産を係 又は減少し 又は減少し	ること。 呆護すること。 した棟数	汁震化率が		目標)
対 象 大 	· 意 図 	意 (対象を な 中間成果 指 標	室主語にして) 目 的 指標名式 考え方・式度	昭和56年以前に建築さ 地震による建築物の低 昭和56年以前に建築さ 昭和56年以前に建築さ 平成15年度(実績)	された住宅及び特定建築 到壊等の被害から国民の された住宅及び特定建築 された住宅及び特定建築 <b>平成16年度(実績)</b>	物の耐震化率に 生命、身体及で 物が、耐震化3 物が、耐震化3 平成17年度	向上を図る が財産を係 又は減少し 又は減少し	ること。 呆護すること。 した棟数 することにより而 平成18年度(	汁震化率が	<sup>-</sup> 上昇する <mark>平成19年度(</mark>	目標)
対象大クラウ	· 意 図 き トカム	意 (対象を	図図 主語にして) 目	昭和56年以前に建築さ 地震による建築物の係 昭和56年以前に建築さ 昭和56年以前に建築さ 平成15年度(実績) 5棟	された住宅及び特定建築 到壊等の被害から国民の された住宅及び特定建築 された住宅及び特定建築	物の耐震化率向 生命、身体及で 物が、耐震化2 物が、耐震化2	向上を図る が財産を係 又は減少し 又は減少し	ること。 呆護すること。 した棟数 することにより而	汁震化率が	1上昇する	目標)
対 象 大 	· 意 図 	意(対象を	主語にして) 目 据表方 標標 指標標標 指指	昭和56年以前に建築さ 地震による建築物の6 昭和56年以前に建築さ 昭和56年以前に建築さ 平成15年度(実績) 5棟	された住宅及び特定建築 到壊等の被害から国民の された住宅及び特定建築 された住宅及び特定建築 <b>平成16年度(実績)</b>	物の耐震化率に 生命、身体及で 物が、耐震化3 物が、耐震化3 平成17年度	向上を図る が財産を係 又は減少し 又は減少し	ること。 呆護すること。 した棟数 することにより而 平成18年度(	汁震化率が	<sup>-</sup> 上昇する <mark>平成19年度(</mark>	目標)
対象大クラウ	· 意 図 き トカム	意(対象を	図図 主語にして) 目	昭和56年以前に建築さ 地震による建築物の6 昭和56年以前に建築さ 昭和56年以前に建築さ 平成15年度(実績) 5棟	された住宅及び特定建築 到壊等の被害から国民の された住宅及び特定建築 された住宅及び特定建築 <b>平成16年度(実績)</b>	物の耐震化率に 生命、身体及で 物が、耐震化3 物が、耐震化3 平成17年度	向上を図る が財産を係 又は減少し 又は減少し	ること。 呆護すること。 した棟数 することにより而 平成18年度(	汁震化率が	<sup>-</sup> 上昇する <mark>平成19年度(</mark>	目標)
対象大クラウ	· 意 図 き トカム	意 (対象を な 中間成果 指 最終成果	国 を	昭和56年以前に建築さ 地震による建築物の係 昭和56年以前に建築さ 昭和56年以前に建築さ 平成15年度(実績) 5棟	された住宅及び特定建築 到壊等の被害から国民の された住宅及び特定建築 された住宅及び特定建築 平成16年度(実績) 5棟	物の耐震化率に 生命、身体及で 物が、耐震化ス 物が、耐震化ス <mark>平成17年度</mark> 3棟	可上を図る が財産を住 又は減少し ては減少し (実績)	ること。 保護すること。 した棟数 することにより而 <b>平成18年度</b> ( 5棟	・ け震化率が <b>(目標)</b>	<sup>、</sup> 上昇する <mark>平成19年度(</mark> 5棟	
対象大クラウ	· 意 図 き トカム	意 (対象を な 中間成果 指 最終成果	主語 目 指考 年 指 表 末 1 度 値 名 式 度 値 名 式 度	昭和56年以前に建築さ 地震による建築物の係 昭和56年以前に建築さ 昭和56年以前に建築さ 平成15年度(実績) 5棟	された住宅及び特定建築 到壊等の被害から国民の された住宅及び特定建築 された住宅及び特定建築 <b>平成16年度(実績)</b>	物の耐震化率に 生命、身体及で 物が、耐震化ス 物が、耐震化ス <mark>平成17年度</mark> 3棟	可上を図る が財産を住 又は減少し ては減少し (実績)	ること。 保護すること。 した棟数 することにより而 平成18年度(	・ け震化率が <b>(目標)</b>	<sup>-</sup> 上昇する <mark>平成19年度(</mark>	
対象大クラウ	· 意 図 き トカム	意 (対象を な 中間成果 指 最終成果	国 を	昭和56年以前に建築さ 地震による建築物の係 昭和56年以前に建築さ 昭和56年以前に建築さ 平成15年度(実績) 5棟	された住宅及び特定建築 到壊等の被害から国民の された住宅及び特定建築 された住宅及び特定建築 平成16年度(実績) 5棟	物の耐震化率に 生命、身体及で 物が、耐震化ス 物が、耐震化ス <mark>平成17年度</mark> 3棟	可上を図る が財産を住 又は減少し ては減少し (実績)	ること。 保護すること。 した棟数 することにより而 <b>平成18年度</b> ( 5棟	・ け震化率が <b>(目標)</b>	<sup>、</sup> 上昇する <mark>平成19年度(</mark> 5棟	
対象大クラウ	· 意 図 き トカム	意 (対象を な 中間成果 指 最終成果	主語 目 指考 年 指 表 末 1 度 値 名 式 度 値 名 式 度	昭和56年以前に建築さ 地震による建築物の係 昭和56年以前に建築さ 昭和56年以前に建築さ 平成15年度(実績) 5棟	された住宅及び特定建築 到壊等の被害から国民の された住宅及び特定建築 された住宅及び特定建築 平成16年度(実績) 5棟	物の耐震化率に 生命、身体及で 物が、耐震化ス 物が、耐震化ス <mark>平成17年度</mark> 3棟	可上を図る が財産を住 又は減少し ては減少し (実績)	ること。 保護すること。 した棟数 することにより而 <b>平成18年度</b> ( 5棟	・ け震化率が <b>(目標)</b>	<sup>、</sup> 上昇する <mark>平成19年度(</mark> 5棟	
対 大 ア指	・意 図 き トカム標	意 (対象を 中指 根	主語目 指考年 指考え 標標方 標標方 標標方 標 標 名式度値	昭和56年以前に建築さ 地震による建築物の伊昭和56年以前に建築さ 昭和56年以前に建築さ 平成15年度(実績) 5棟	された住宅及び特定建築 到壊等の被害から国民の された住宅及び特定建築 された住宅及び特定建築 平成16年度(実績) 5棟	物の耐震化率に 生命、身体及で 物が、耐震化ス 物が、耐震化ス <mark>平成17年度</mark> 3棟	可上を図る が財産を住 又は減少し ては減少し (実績)	ること。 保護すること。 した棟数 することにより而 <b>平成18年度</b> ( 5棟	・ け震化率が <b>(目標)</b>	<sup>、</sup> 上昇する <mark>平成19年度(</mark> 5棟	
対 大 ア指	・意 図 き トカム標	意 (対象を 中指 根	主語 目 指考 年 指 表 末 1 度 値 名 式 度 値 名 式 度	昭和56年以前に建築さ 地震による建築物の伊昭和56年以前に建築さ 昭和56年以前に建築さ 平成15年度(実績) 5棟	された住宅及び特定建築 到壊等の被害から国民の された住宅及び特定建築 された住宅及び特定建築 平成16年度(実績) 5棟	物の耐震化率に 生命、身体及で 物が、耐震化ス 物が、耐震化ス <mark>平成17年度</mark> 3棟	可上を図る が財産を住 又は減少し ては減少し (実績)	ること。 保護すること。 した棟数 することにより而 <b>平成18年度</b> ( 5棟	・ け震化率が <b>(目標)</b>	<sup>、</sup> 上昇する <mark>平成19年度(</mark> 5棟	
対 大 ア指 戸 戸	・ 意 図	意 (対象を) 中指 最終 成果 標 と が は は が は か は か は か は か は か は か は か は か	主語 目 指考年指指考年 指 する 標 標 方 標 標 方 標 標 方 標 標 する まままままままままままままままままままままままままままままままま	昭和56年以前に建築さ 地震による建築物の個 昭和56年以前に建築さ 昭和56年以前に建築さ 平成15年度(実績) 5棟	された住宅及び特定建築 到壊等の被害から国民の された住宅及び特定建築 された住宅及び特定建築 平成16年度(実績) 5棟	物の耐震化率向 生命、身体及で 物が、耐震化区 物が、耐震化区 平成17年度 3棟 平成17年度	可上を図れ が財産を作 又は減少・ (実績) (実績)	ること。 R護すること。 した棟数 することにより而 平成18年度 5棟 平成18年度	対震化率が (目標) (目標)	、上昇する <mark>平成19年度(</mark> 5棟 <mark>平成19年度(</mark>	目標)
対 大 ア指 戸 戸	・ 意 図	意 (対象を 中指 最終 成 様 を が	主語 目 指考年 指指考年 指 す る コス 度値 名式 度値 項 ト	昭和56年以前に建築さ 地震による建築物の個 昭和56年以前に建築さ 昭和56年以前に建築さ 平成15年度(実績) 5棟	された住宅及び特定建築 割壊等の被害から国民の された住宅及び特定建築 された住宅及び特定建築 平成16年度(実績) 5棟	物の耐震化率向 生命、身体及で 物が、耐震化3 物が、耐震化3 平成17年度 3棟 平成17年度	向上を図れ が財産を作 又は減少・ (実績) (実績)	ること。 保護すること。 した棟数 することにより而 <b>平成18年度</b> ( 5棟	対震化率が (目標) (目標)	<sup>、</sup> 上昇する <mark>平成19年度(</mark> 5棟	目標)
対 大 ア指 戸 戸	・ 意 図	意 (対象を) 中指 最終 成 標 を が	主語 目 指考年 指指考年 指 す る コス 度値 名式 度値 項 ト	昭和56年以前に建築さ 地震による建築物の個 昭和56年以前に建築さ 昭和56年以前に建築さ 平成15年度(実績) 5棟	された住宅及び特定建築 到壊等の被害から国民の された住宅及び特定建築 された住宅及び特定建築 平成16年度(実績) 5棟	物の耐震化率向 生命、身体及で 物が、耐震化区 物が、耐震化区 平成17年度 3棟 平成17年度	向上を図れ が財産を作 又は減少・ (実績) (実績)	ること。 R護すること。 した棟数 することにより而 平成18年度 5棟 平成18年度	対震化率が ( <b>目標</b> ) ( <b>目標</b> )	、上昇する <mark>平成19年度(</mark> 5棟 <mark>平成19年度(</mark>	目標)
対 大 ア指 声 3	きかりを	意 (対象を 中指 最終 成 様 を 活動配 費	型 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	昭和56年以前に建築さ 地震による建築物の低 昭和56年以前に建築さ 昭和56年以前に建築さ 平成15年度(実績) 5棟 平成15年度(実績)	された住宅及び特定建築 到壊等の被害から国民の された住宅及び特定建築 された住宅及び特定建築 平成16年度(実績) 5棟 平成16年度(実績)	物の耐震化率向 生命、身体及で 物が、耐震化3 物が、耐震化3 平成17年度 3棟 平成17年度	向上を図る が財産を依 又は減少・ (実績) (実績) (実績)	ること。 保護すること。 した棟数 することにより而 平成18年度 5棟 平成18年度( 4度1人当り(円)	対震化率が ( <b>目標</b> ) ( <b>目標</b> )	、上昇する <mark>平成19年度(</mark> 5棟 <mark>平成19年度(</mark>	目標)
対 大 ア指 声 3	・意をおり、おります。	意 (対象を 中指 最指 な 計画 保 を ) ・	型 主語にして) 的 名式度値名式度値 インスを値名式度値 インスを値名式度値 インスを値名式度値 インスを値 インスを値 インスを値 インスを値 インスを値 インスを値 インスを値 インスを値 インスを値 インスをが イとが インスをが インなが イとが インなが インなが イとが イとが イとが イとが イとが イとが イとが イと	昭和56年以前に建築さ 地震による建築物の係 昭和56年以前に建築さ 昭和56年以前に建築さ 平成15年度(実績) 5棟 平成15年度(実績)	された住宅及び特定建築 到壊等の被害から国民の された住宅及び特定建築 下成16年度(実績) 5棟 平成16年度(実績) 平成16年度(実績)	物の耐震化率向 生命、身体及で 物が、耐震化3 物が、耐震化3 平成17年度 3棟 平成17年度	可上を図る が財産を依 又は減少・ (実績) (実績) (実績) 1,368	ること。 保護すること。 した棟数 することにより而 平成18年度 5棟 平成18年度( 4度1人当り(円)	付震化率が ( <b>目標</b> ) ( <b>目標</b> ) ( <b>1</b> 5 ( <b>予</b> 算)	、上昇する <mark>平成19年度(</mark> 5棟 <mark>平成19年度(</mark>	目標)
対 大 ア指 芦 富 事	・意をおり、おり、おり、おり、おり、おり、おり、おり、おり、おり、おり、おり、おり、お	意(対な 中指 最指 な 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	国	昭和56年以前に建築さ 地震による建築物の係 昭和56年以前に建築さ 昭和56年以前に建築さ 平成15年度(実績) 5棟 平成15年度(実績)	された住宅及び特定建築 到壊等の被害から国民の された住宅及び特定建築 された住宅及び特定建築 平成16年度(実績) 5棟 平成16年度(実績)	物の耐震化率向 生命、身体及で 物が、耐震化3 物が、耐震化3 平成17年度 3棟 平成17年度	向上を図る が財産を依 又は減少・ (実績) (実績) (実績)	ること。 保護すること。 した棟数 することにより而 平成18年度 5棟 平成18年度( 4度1人当り(円)	対震化率が ( <b>目標</b> ) ( <b>目標</b> )	、上昇する <mark>平成19年度(</mark> 5棟 <mark>平成19年度(</mark>	目標)
対 大 ア指 声 事	・意をおり、おり、おり、おり、おり、おり、おり、おり、おり、おり、おり、おり、おり、お	意 (対象を 中指 最指 な 計画 保 を ) ・	国	昭和56年以前に建築さ 地震による建築物の係 昭和56年以前に建築さ 昭和56年以前に建築さ 平成15年度(実績) 5棟 平成15年度(実績)	された住宅及び特定建築 到壊等の被害から国民の された住宅及び特定建築 下成16年度(実績) 5棟 平成16年度(実績) 平成16年度(実績)	物の耐震化率向 生命、身体及で 物が、耐震化3 物が、耐震化3 平成17年度 3棟 平成17年度	可上を図る が財産を依 又は減少・ (実績) (実績) (実績) 1,368	ること。 保護すること。 した棟数 することにより而 平成18年度 5棟 平成18年度( 4度1人当り(円)	付震化率が ( <b>目標</b> ) ( <b>目標</b> ) ( <b>1</b> 5 ( <b>予</b> 算)	、上昇する <mark>平成19年度(</mark> 5棟 <mark>平成19年度(</mark>	目標)
対 大 ア指 芦 3 事 内	・ 意 き カ が <b>費</b> 業 人事他	意 (対 な 中指 最指 を 活 件 業門 産 質 費 費 費	型 主語にして) 的 名式度値名式度値 インス で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	昭和56年以前に建築さ 地震による建築物の係 昭和56年以前に建築さ 昭和56年以前に建築さ 平成15年度(実績) 5棟 平成15年度(実績)	された住宅及び特定建築 到壊等の被害から国民の された住宅及び特定建築 下成16年度(実績) 5棟 平成16年度(実績) 平成16年度(実績)	物の耐震化率向 生命、身体及で 物が、耐震化3 物が、耐震化3 平成17年度 3棟 平成17年度	可上を図る が財産を依 又は減少・ (実績) (実績) (実績) 1,368	ること。 保護すること。 した棟数 することにより而 平成18年度 5棟 平成18年度( 4度1人当り(円)	付震化率が ( <b>目標</b> ) ( <b>目標</b> ) ( <b>1</b> 5 ( <b>予</b> 算)	、上昇する <mark>平成19年度(</mark> 5棟 <mark>平成19年度(</mark>	目標)
対 大 ア指 芦 3 事 内	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	意 対 な 中指 最指 な 活 件 業門 償 経却 配 費 費 費 費	型 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	昭和56年以前に建築さ 地震による建築物の6 昭和56年以前に建築さ 昭和56年以前に建築さ 平成15年度(実績) 7 7 7 7 7 7 8 9 9 9 9 9 7 6	された住宅及び特定建築 到壊等の被害から国民の された住宅及び特定建築 平成16年度(実績) 5棟 平成16年度(実績) 平成16年度(実績) 1,419	物の耐震化率向 生命、身体及で 物が、耐震化3 物が、耐震化3 平成17年度 3棟 平成17年度	可上を図る が財産を付 では減少 (実績) (実績) (実績) 1,368 15	ること。 保護すること。 した棟数 することにより而 平成18年度 5棟 平成18年度( 4度1人当り(円)	付票化率が (目標) (目標) (予算) - 20	、上昇する <mark>平成19年度(</mark> 5棟 <mark>平成19年度(</mark>	目標)
対 大 ア指 芦 3 事 内	· 意 ま カ の <b>業</b> 人事他減 <b>合</b> 図 の の で で で で で で で で で で で で で で で で で	意 対 な 中指 最指 な 活 件 業門 償 経 却 配 費 費 費 費 費 費	型 主語にして) 指考年指指表年 指表年 指表の では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	昭和56年以前に建築さ 地震による建築物の6 昭和56年以前に建築さ 昭和56年以前に建築さ 平成15年度(実績) 7 7 7 7 7 7 8 9 9 9 9 9 7 6	された住宅及び特定建築 到壊等の被害から国民の された住宅及び特定建築 下成16年度(実績) 5棟 平成16年度(実績) 平成16年度(実績)	物の耐震化率向 生命、身体及で 物が、耐震化3 物が、耐震化3 平成17年度 3棟 平成17年度	可上を図る が財産を依 又は減少・ (実績) (実績) (実績) 1,368	ること。 保護すること。 した棟数 することにより而 平成18年度 5棟 平成18年度( 4度1人当り(円)	付震化率が ( <b>目標</b> ) ( <b>目標</b> ) ( <b>1</b> 5 ( <b>予</b> 算)	、上昇する <mark>平成19年度(</mark> 5棟 <mark>平成19年度(</mark>	目標)
対 大 ア指 芦 3 事 内	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	意対な中指最指を活体業門償・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	型 主語にして) 指考年 指指 持 指 指 持 に に に に に に に に に に に に に	昭和56年以前に建築さ 地震による建築物の6 昭和56年以前に建築さ 昭和56年以前に建築さ 平成15年度(実績) 7 7 7 7 7 7 8 9 9 9 9 9 7 6	された住宅及び特定建築 到壊等の被害から国民の された住宅及び特定建築 平成16年度(実績) 5棟 平成16年度(実績) 平成16年度(実績) 1,419	物の耐震化率向 生命、身体及で 物が、耐震化3 物が、耐震化3 平成17年度 3棟 平成17年度	可上を図る が財産を付 では減少 (実績) (実績) (実績) 1,368 15	ること。 保護すること。 した棟数 することにより而 平成18年度 5棟 平成18年度( 4度1人当り(円)	付票化率が (目標) (目標) (予算) - 20	、上昇する <mark>平成19年度(</mark> 5棟 <mark>平成19年度(</mark>	目標)
対 大 ア指 芦 3 事 内 f F 1	· 意 ま カ の <b>業</b> 人事他減 <b>合</b> 図 の の で で で で で で で で で で で で で で で で で	意 対 な 中指 最指 な 活 件 業門 償 経 却 配 費 費 費 費 費 費	型 主語にして) 指考年 指指 持 指 指 持 に に に に に に に に に に に に に	昭和56年以前に建築さ 地震による建築物の6 昭和56年以前に建築さ 昭和56年以前に建築さ 平成15年度(実績) 7 7 7 7 7 7 8 9 9 9 9 9 7 6	された住宅及び特定建築 到壊等の被害から国民の された住宅及び特定建築 平成16年度(実績) 5棟 平成16年度(実績) 平成16年度(実績) 1,419	物の耐震化率向 生命、身体及で 物が、耐震化3 物が、耐震化3 平成17年度 3棟 平成17年度	可上を図る が財産を付 では減少 (実績) (実績) (実績) 1,368 15	ること。 保護すること。 した棟数 することにより而 平成18年度 5棟 平成18年度( 4度1人当り(円)	付票化率が (目標) (目標) (予算) - 20	、上昇する <mark>平成19年度(</mark> 5棟 <mark>平成19年度(</mark>	目標)
対 大 ア指 芦 3事 内 ( 財	<ul> <li>・ ままります。</li> <li>・ ままります。</li> <li>・ ままます。</li> <li>・ ままます。</li> <li>・ まままます。</li> <li>・ まままます。</li> <li>・ まままます。</li> <li>・ まままます。</li> <li>・ まままます。</li> <li>・ まままます。</li> <li>・ ままままます。</li> <li>・ ままままます。</li> <li>・ ままままます。</li> <li>・ ままままままます。</li> <li>・ まままままままままままままままままままままままままままままままままままま</li></ul>	意対な 中指 最指 を 活 件業門償・債 経却 の	型 を を を を を を を を を を を を を	昭和56年以前に建築さ 地震による建築物の6 昭和56年以前に建築さ 昭和56年以前に建築さ 平成15年度(実績) 7 7 7 7 7 7 8 9 9 9 9 9 7 6	された住宅及び特定建築 到壊等の被害から国民の された住宅及び特定建築 平成16年度(実績) 5棟 平成16年度(実績) 平成16年度(実績) 1,419	物の耐震化率向 生命、身体及で 物が、耐震化3 物が、耐震化3 平成17年度 3棟 平成17年度	可上を図る が財産を付 では減少 (実績) (実績) (実績) 1,368 15	ること。 保護すること。 した棟数 することにより而 平成18年度 5棟 平成18年度( 4度1人当り(円)	付票化率が (目標) (目標) (予算) - 20	、上昇する <mark>平成19年度(</mark> 5棟 <mark>平成19年度(</mark>	目標)
対 大 ア指 芦 3 事 内 f F 1	<ul> <li>・ ままります。</li> <li>・ ままりますます。</li> <li>・ ままりますます。</li> <li>・ ままりますままります。</li> <li>・ ままりますますままります。</li> <li>・ ままりままりますままります。</li> <li>・ ままりままりままりますままりますままります。</li> <li>・ ままりままりままりままりままりまますままりまますままりまますままりまますままりまますままりまますまままままま</li></ul>	意 対 な 申指 最指 な 活 件 業門償 ・ 債の を 乗標 乗標 補 配 費費費費	型 主語にして) 指考年 指指表年 指指表年 指表年 指 る事 ス の では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	昭和56年以前に建築さ 地震による建築物の係 昭和56年以前に建築さ 昭和56年以前に建築さ 平成15年度(実績) 5棟 平成15年度(実績) 平成15年度(実績) 927 6	された住宅及び特定建築 到壊等の被害から国民の された住宅及び特定建築 平成16年度(実績) 5棟 平成16年度(実績) 1,419 10	物の耐震化率向 生命、身体及で 物が、耐震化3 物が、耐震化3 平成17年度 3棟 平成17年度	可上を図れ が財産を付 スは減少 (実績) (実績) (実績) 1,368 15	ること。 保護すること。 した棟数 することにより而 平成18年度 5棟 平成18年度( 4度1人当り(円)	付票化率が (目標) (目標) (予算) - 20	、上昇する <mark>平成19年度(</mark> 5棟 <mark>平成19年度(</mark>	目標)
対 大 ア指 芦 3事 内 ( 財	<ul> <li>・ ままります。</li> <li>・ ままりますます。</li> <li>・ ままりますます。</li> <li>・ ままりますままります。</li> <li>・ ままりますままります。</li> <li>・ ままりままります。</li> <li>・ ままりままります。</li> <li>・ ままりままりますままりままります。</li> <li>・ ままりままりままりまます。</li> <li>・ ままりままりまますままりまままりまます。</li> <li>・ ままりままままりままままますまままままままままままままままままままままままま</li></ul>	意対な 中指 最指 を 活 件業門償・債 経却 の	型 主語にして) 指考年 指指表年 指指表年 指表年 指 る事 ス の では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	昭和56年以前に建築さ 地震による建築物の係 昭和56年以前に建築さ 昭和56年以前に建築さ 平成15年度(実績) 5棟 平成15年度(実績) 平成15年度(実績) 927 6	された住宅及び特定建築 到壊等の被害から国民の された住宅及び特定建築 平成16年度(実績) 5棟 平成16年度(実績) 平成16年度(実績) 1,419	物の耐震化率向 生命、身体及で 物が、耐震化3 物が、耐震化3 平成17年度 3棟 平成17年度	可上を図る が財産を付 では減少 (実績) (実績) (実績) 1,368 15	ること。 保護すること。 した棟数 することにより而 平成18年度 5棟 平成18年度( 4度1人当り(円)	付票化率が (目標) (目標) (予算) - 20	、上昇する <mark>平成19年度(</mark> 5棟 <mark>平成19年度(</mark>	目標)
対 大 ア指 芦 3事 内( 財 千 男	<ul> <li>・ ままります。</li> <li>・ ままりますます。</li> <li>・ ままります。</li> <li>・ ままりますます。</li> <li>・ ままりますままります。</li> <li>・ ままりますままりますままります。</li> <li>・ ままりままりままりますままりまます。</li> <li> ままりままりまままままままりまます。</li> <li> ままりまままままままままままままままままままままままままままままままままま</li></ul>	意 対 な 申指 最指 な 活 件 業門償 ・ 債の を 乗標 乗標 補 配 費費費費	型 主語にして) 指考年 指考年 指指考末 指 表 事 で が は 98.9% は 1.1% は 98.9% は 100.0%	昭和56年以前に建築さ 地震による建築物の係 昭和56年以前に建築さ 昭和56年以前に建築さ 平成15年度(実績) 5棟 平成15年度(実績) 平成15年度(実績) 927 6	された住宅及び特定建築 到壊等の被害から国民の された住宅及び特定建築 平成16年度(実績) 5棟 平成16年度(実績) 1,419 10	物の耐震化率向 生命、身体及で 物が、耐震化3 物が、耐震化3 平成17年度 3棟 平成17年度	可上を図れ が財産を付 スは減少 (実績) (実績) (実績) 1,368 15	ること。 保護すること。 した棟数 することにより而 平成18年度 5棟 平成18年度( 4度1人当り(円)	付票化率が (目標) (目標) (予算) - 20	、上昇する <mark>平成19年度(</mark> 5棟 <mark>平成19年度(</mark>	目標)
対 大 ア指 芦 3事 内( 財 活 象 ウ 屋 事 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	意 対 な 間 終 が で で で で で で で で で で で で で で で で で で	型主語にして) 日 指表	昭和56年以前に建築さ 地震による建築物の係 昭和56年以前に建築さ 平成15年度(実績) 5棟 平成15年度(実績) 平成15年度(実績) 927 6	された住宅及び特定建築 到壊等の被害から国民の された住宅及び特定建築 平成16年度(実績) 5棟 平成16年度(実績) 1,419 10	物の耐震化率向 生命、身体及で 物が、耐震化3 物が、耐震化3 平成17年度 3棟 平成17年度	可上を図れ が財産を信 スは減少し (実績) (実績) (実績) 1,368 15 1,383	ること。 保護すること。 した棟数 することにより而 平成18年度 5棟 平成18年度( 4度1人当り(円)	付震化率が (目標) (目標) (予算) - 20 -	、上昇する <mark>平成19年度(</mark> 5棟 <mark>平成19年度(</mark>	目標)
対 大 ア指 芦 3事 内( 財 活 象 ウ 屋 事 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	意対な明治を活体業門償・債の財産を活体業門償・債の財産を活体業門償・債の財産を対する。	型主語にして) 日 指考を	昭和56年以前に建築さ 地震による建築物の係 昭和56年以前に建築さ 昭和56年以前に建築さ 平成15年度(実績) 5棟 平成15年度(実績) 933 933 933	された住宅及び特定建築 到壊等の被害から国民の された住宅及び特定建築 平成16年度(実績) 5棟 平成16年度(実績) 1,419 10	物の耐震化率向 生命、身体及で 物が、耐震化3 物が、耐震化3 平成17年度 3棟 平成17年度	可上を図れ が財産を信 スは減少し (実績) (実績) (実績) 1,368 15 1,383	ること。 保護すること。 した棟数 することにより而 平成18年度 5棟 平成18年度( 4度1人当り(円)	付震化率が (目標) (目標) (予算) - 20 -	、上昇する <mark>平成19年度(</mark> 5棟 <mark>平成19年度(</mark>	目標)

	西(チェック)					
評		点		1次	評価 2次	欠評価
	目的妥当性	(2 ~ 2)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない			
	113211	()	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない			
			☑ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である			
妥	市関与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている			
			□ いずれにも該当しない		_	
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ☑ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	5	5   3	5
	市民ニーズ(	2 ~ 1)	└─ <b>→</b> □ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない <sub>。</sub> または未把技	屋		
性			□ 数字で把握している □ 未把握			
8点	社会環境変	化(1~ 1)	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要	更		
		<u> </u>	内容・耐震化の促進は社会のニーズとなっている			
	優先性,緊急		☑ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる			
<del>_</del>	対象カバー図		□対象カバー率は高い□・他団体と同程度□□・他団体よりカバー率が低い□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□			
有	受益者(1~	1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定			
効	成果の実績	(2 ~ 1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入□ □ 字標値がよび。エルストラミス□ □ 字標値がよび。エルストラミス□ □ 字標値がらば思がまが。エルストラミな	, 2	2   :	2
性			→ □ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない 成果があがっていない場合			
4点	- 成果向上余	地(1~ 1)	□ 成果向上策あり □ 特にな			
+			□ 成末向工泉の □ □ 村にな □ 比較できる団体はない			
			□ 比較くとも団体がある 団体音: □□ 比較くとも団体はない □ 他団体の数字を把握している 単位コスト 30,000円 □ 把握していない			
効	単位コスト(1	~ 1)	□ 他団体の数子を記述している 「□ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○			
743			高い、または低い場合の理由			
	- V + 4 - 10		☑ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない			
	受益者負担(	(0 ~ 1)			<b>,</b>   .	2
率			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	2	<b>-</b>   ·	2
	<b>≖</b> ΕΠ/4 ο	1)	☑ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある	3		
	手段(1~ 3	9)	☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である			
性			☑ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である			
3点	コスト削減取	(組(1~ 1)	N □ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない			
		( )	→ 内容 事務の迅速化			
亚 成 1	6年度の到	互	図 A <mark>平成17年度に実</mark> □ 改善し、効果を得た			
及 "で	6 年 度 の 評 改 善 の がない場合は	方向性	評価結果			
(評価な	がない場合は	記載不要)				
					$\lambda \mid A$	Α
平成実施	.1 _ 8 _, 年	度に	建筑物については、その出現築が不明確。 1/1章 築を作成  1 出現の知根に努める	1,24		
実 施	する改		な分が多い。			
(	20 /3	π )				
5 今後	<b>後の対応(ア</b> ⋅	クション)				
			国の基本方針(国交省告示第184号)では、住宅と特定建築物の耐震化率を平成27年度までに現在の75%	から90%	とするこ	こと
現在:	認識してい	くる 課 題	<b>夏</b> を目標としている。また,法改正により都道府県は平成18年度中に耐震改修促進計画の策定が課せられ			
\			いても努力義務が課せられていることから、旧耐震基準建築物の現状把握及びそれらに対する方策を検討して	いく必要	がある。	0
	係者 市民,関	係者の名称				
からの	意見	要望内容	耐震改修に対する支援事業としては,わが家の耐震改修促進事業があるが,兵庫県の単独事業では   少額であり普及が進んでいないので,市も何らかの支援策を設ける時期にきている。	あるためれ	補助金額	額が
要望	等心力,	l	タ供じめり百及が進んでいない。 「中も円りがツス族水を成ける時期にさせいる。			
	(1)	対応内容	上記事業については,平成16年度に加えて平成18年度分からは更に補助金額の増額があった。			
	(1)	実施期限	平成 18 年 5 月			
課題·要	 望等					
W/ RE 5	(2)	対応内容	f			
へのす		実施期限	平成年月			
		*+15.45				
	(3)	対応内容				
		実施期限	平成 年 月			
			国1/2, 県1/4, 市1/4, 市民1割で実施している簡易耐震診断を, 市職員が実施することにより無	料化する	) <sub>o</sub>	
その他	!考えられる		昭和56年以前に建築された住宅及び特定建築物の状況を把握したのち、それらの所有者に対して配	対震化等の	の普及る	を図
改善(	カアイデア					
			今後の方向			
			兵庫県の耐震化集促進計画には、建築物の耐震化率を平成27年度までに9割以上にすること、 拡大・ 充		<b>●</b>	
				持〇	0	
₩ <del>+ </del> 4	0 24/	A + + 10	結果の公表等が定められるため、特に特定建築物を所管する関係各課及び防災対策課等とのそ 方 法 改		0	
一以	,~ 4 一年	ひり回性	thらに対する対応のための調整が必要となると思われる。また、補助事業を活用していること 民間委託 から平成19年度中に、市が耐震改修促進計画を作成する必要が生じると思われるので、ハザー綿		0	
			から平成19年度中に、市が耐震改修促進計画を作成する必要が生じると思われるので、ハザー ドマップの作成事務等が生じると予想される。いずれにしても予算化が必要な項目が多く、耐 統合/終期	小〇	0	
			震関係専門の調整会議等を設置し、十分な協議をして統一的な判断をしていくべきかと考える。   <b>廃止 / 休</b>		0	
			- participation of a restriction of the process o	ш 🗸	$\sim$	
2 次 評	☑ 価 委 員 会	コメント	▶ 耐震改修は緊急の課題であるため、制度普及のため啓発活動に取り組んでください。	•		

投真	事業)	事業	コード	4210090	)				部	長	次	長	課	長
				/4 N	W . 1 + A . + .								***	
平成1	7年度	事	業名	街路事業	業(山手幹線)									
1 事	業概	要(ドゥ)												
第3次7	芦屋市	まちづく	りの目標	4 快	適でうるおいの	ある都市づくり			rr %	~ ±m	建設部			
総合	計画		中	2 快	適な交通体系の	整備			所 管	第 課	街路課			
政 策	施策		小	1 幹	線道路・交通機	能の整備			所管課	長氏名	北田 恵	三		
体	系		細						記入者	舌 氏 名	北田 恵	三		
事	業	期	間	平成5年	₣8月~平成2	3年3月 投資臨時	☑ 投資 □	臨時	電話	番号	0797-38-	-2074	内線	2941
根 拠	法	令 ' 를	要 綱 等	都市計画	画法・道路法・沪	道路整備緊急措置法			実 施	主 体	市			
実	施	手	法	☑ 直'	営	☑ 一部委託	□ 全部委託		□補□	助金		負担金		
委		託	先			名称 兵庫県土地開発公社,								
				都市計画	<b>画道路山手幹線</b>	街路事業は, 阪神地域に	おける東西方	向の地域	幹線道路	であり,	歩車道?	を分離し,	幅員2	2 m/C
事	業	の	概 要	するもの										
						うち事業区間延長2,1					10 1 -			
						大原工区:平成5年度,			工区:平	成10年	度) を取行	导し事業	着手	
						17年度末で約98.2%								
事	業	の	現 状			区間延長の63%で着手								
		<del></del>	_			っては、地元自治会を通					•			
		実現のため		・塚境メ	対東については,	地域住民に環境予測と	対束を提示し	話し合つ	にりえて	が対策を記	再しる			
	于段	及び実施内	1谷											
			指標名	重業准+										
		<b>姓里</b>				事業費 / 全体事業費								
		(1)				平成16年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成 1	8年度(	(日標)	平成 1 9	9 年度 (	日標)
アウト	プット	` '	指標値		71%	77%	8 0%		1 7-20	86%		1 120 1	91%	
指	標			用地取得		,	0 0 70			0 0 70			3 . 70	
,,,	123.					済み面積 / 全体用地面積	E Į							
		(2)				平成16年度(実績)		(実績)	平成 1	8年度(	[目標]	平成 1 9	9 年度 (	目標)
		, ,	指標値		9 3 %	9 7 %	98%			99%	-		100%	
2 事	業成	果(アウ)	カム)	•										
				# 4-1 이디	A.伯·米四 1. 1 マミ	数件1 大学の田源ル)	- *#T + # # * A ウ	[ → lod ⁊						
		対	象			整備し,交通の円滑化と IR以北地域の安全性や								
事業の	の目的						"不川」更十年 レノロロート							
対象·				3 10)	2230.1220	」	"利果性"/미工	5 M 2						
	・意 図			<ul><li>国道2</li></ul>	号の交通混雑の	解消	で利用を行っています。							
	・意図	意		・国道2 ・JR声	号の交通混雑の 音屋駅周辺の交通	)解消 通混雑の解消			泳					
	・意 図	意	図 注語にして)	・国道2 ・JR声	号の交通混雑の 音屋駅周辺の交通	解消			消					
_		意 (対象を言	主語にして)	・国道2 ・JR声 ・阪急却	号の交通混雑の 言屋駅周辺の交流 上側、JR北側	を が解消 通混雑の解消 等の生活道路の交通混雑 世界は10年間2月間2月間2月間2月間2月間2月間2月間2月間2月間2月間2月間2月間2月間	生の解消, 交通	事故の解	ni. <i>/=</i> ::	活動に	大きな支	章をきた	したこと	 :から,
大	·意図 	意	主語にして)	・国道2 ・JR声 ・阪急却	号の交通混雑の 言屋駅周辺の交流 上側、JR北側	を が解消 通混雑の解消 等の生活道路の交通混雑 世界は10年間2月間2月間2月間2月間2月間2月間2月間2月間2月間2月間2月間2月間2月間	生の解消, 交通	事故の解	ni. <i>/=</i> ::	l活動にご 街づく「	大きな支 <b>隊</b>	章をきた こ早期に <u>!</u>	したこと 整備する	:から,
大		意 (対象を言	主語にして)	・国道2 ・ J R 元 ・阪急コ 阪神・海 阪神・海	号の交通混雑の	が解消 通混雑の解消 等の生活道路の交通混雑 帯屋市域で未開通区間が 円滑化と安全性の向上,	生の解消, 交通	事故の解	助・復旧で快適な	:街づく	りのためい	章をきた こ早期に <u>『</u>	したこと整備する	:から, ,
大		意 (対象を言	主語にして)	・国道2 ・ J R 元 ・阪急コ 阪神・海 阪神・海	号の交通混雑の 言屋駅周辺の交流 上側、JR北側	を が解消 通混雑の解消 等の生活道路の交通混雑 世界は10年間2月間2月間2月間2月間2月間2月間2月間2月間2月間2月間2月間2月間2月間	生の解消, 交通	事故の解	助・復旧で快適な	l活動に 街づく <sup> </sup>	りのためい	章をきた こ早期に!	したこと整備する	:から,
	ਣੇ	意 (対象を言 な	主語にして)	・国道2 ・JR ・阪急コ 阪神・海 阪神・海	号の交通混雑の	が解消 通混雑の解消 等の生活道路の交通混雑 帯屋市域で未開通区間が 円滑化と安全性の向上,	生の解消, 交通	事故の解教援・教全・安心	助・復旧で快適な	街づく <b>考え方・</b>	りのためい	こ早期に	したこと整備する	:から, )
アウト	き	意 (対象を言な	主語にして) 目 的	・国道2 ・JR ・阪急コ 阪神・海 阪神・海	号の交通混雑の 言屋駅周辺の交流 上側、JR北側 炎路大震災時に 或の都市交通の 指標名	の解消 通混雑の解消 等の生活道路の交通混象 芦屋市域で未開通区間か 円滑化と安全性の向上, 指標値	生の解消,交通 ぶあり,当時の 災害に強い安	事故の解教援・教全・安心	助・復旧で快適な	街づく <b>考え方・</b>	ののために式	こ早期に	したこと整備する	:から, )
アウト	き	意 (対象を言 な	主語にして) 目 的 (1)	・国道2 ・JR ・阪急コ 阪神・海 阪神・海	号の交通混雑の 言屋駅周辺の交流 上側、JR北側 炎路大震災時に 或の都市交通の 指標名	の解消 通混雑の解消 等の生活道路の交通混象 芦屋市域で未開通区間か 円滑化と安全性の向上, 指標値	生の解消,交通 ぶあり,当時の 災害に強い安	事故の解教援・教全・安心	助・復旧で快適な	街づく <b>考え方・</b>	ののために式	こ早期に	したこと整備する	:から, )
ア ウ ト 成 果	き	意 (対象をき な 中 間 成果指標	主語にして) 目 的 (1)	・国道2 ・ J R 表 ・阪急コ 阪神・地 B / (	号の交通混雑の 言屋駅周辺の交流 上側、JR北側 炎路大震災時に 或の都市交通の 指標名	の解消 通混雑の解消 等の生活道路の交通混象 芦屋市域で未開通区間か 円滑化と安全性の向上, 指標値	生の解消,交通 ぶあり,当時の 災害に強い安	事故の解教援・教全・安心	助・復旧で快適な	街づく <b>考え方・</b>	ののために式	こ早期に	したこと整備する	:から, )
ア ウ ト 成 果	き	意 (対象を な 中 間 成果指標	主語にして) 目 的	・国道2 ・ J R 表 ・阪急コ 阪神・地 B / (	号の交通混雑の 言屋駅周辺の交流 上側、JR北側 炎路大震災時に 或の都市交通の 指標名	の解消 通混雑の解消 等の生活道路の交通混象 芦屋市域で未開通区間か 円滑化と安全性の向上, 指標値	生の解消,交通 ぶあり,当時の 災害に強い安	事故の解教援・教全・安心	助・復旧で快適な	街づく <b>考え方・</b>	ののために式	こ早期に	したこと	: カ^ら,
ア ウ ト 成 果	き	意 (対象を な 中 間 成果指標	主語にして) 目 的 (1)	・国道2 ・JR計・阪急は ・阪神・海 阪神・海 B/(	号の交通混雑の 意屋駅周辺の交近 上側、JR北側 炎路大震災時に 成の都市交通の 指標名 こ費用対効果	の解消 通混雑の解消 等の生活道路の交通混象 芦屋市域で未開通区間か 円滑化と安全性の向上, 指標値	生の解消,交通 ぶあり,当時の 災害に強い安 平成17年度西	事故の解 救援・救 全・安心 「工区3.	助・復旧で快適な で快適な 1 ,	街づく   <mark>考え方・</mark> 全区間	かのため。 式 引で3. (	之早期に§	したこと整備する	: カ^6,
アウト成果(事業	き カ ム 標 完 了 )	意 (対象を主 な 中 間 成果指標 最終成	主語にして) 目 的 (1) (2)	・国道2 ・JR ・阪急 ・阪神・海 阪神・海 B/(	号の交通混雑の 言屋駅周辺の交 上側、JR北側 炎路大震災時に 或の都市交通の 指標名 こ費用対効果 な住宅地域を通	の解消 通混雑の解消 等の生活道路の交通混雑 声屋市域で未開通区間か 円滑化と安全性の向上, 指標値 率	まの解消,交通 ぶあり,当時の 災害に強い安 平成17年度西	事故の解 救援・救全・安心 「エ区3.	助・復に で快適な 1 ,	街づく   <b>考え方・</b> 全区   環境対象	かのためい 式 引で3. ( 策を講じ	ご早期に 6 6	したことを備する	:から, )
アウト成果(事業	き カム標 完了)	意(対象を主なな) 中 成果指標   最終 成   色など補足	主語にして) 目 的 (1) (2) 、果指標 とする事項	・国道2 ・JR計 ・阪神・海 阪神・海 B/( ・良好か ・電線数	号の交通混雑の 言屋駅周辺の交 上側、JR北側 炎路大震災時に 或の都市交通の 指標名 こ費用対効果 な住宅地域を通	の解消 通混雑の解消 等の生活道路の交通混雑 声屋市域で未開通区間か 円滑化と安全性の向上, 指標値 率	まの解消,交通 ぶあり,当時の 災害に強い安 平成17年度西	事故の解 救援・救全・安心 「工区3. 舗装や遮し、都市	助・復に で快適な 1 ,	街づく   <b>考え方・</b> 全区   環境対象	ののためい 式 引で3. (	こ早期に 6  3  3  3  3	整備する	
アウト成果(事業	き カム標うの特に	意(対象を言な 中成果指標 最終が減 をなど補足	注語にして) 目 的 (1) (2) 果指標 でよる事項	・国道2 ・JR計 ・阪神・海 阪神・海 B/( ・良好が ・電線数	号の交通混雑の 言屋駅周辺の交流 上側、JR北側 炎路大震災時に 或の都市交通の 指標名 ご費用対効果 な住宅地域を通 質の地中化や残け	の解消 通混雑の解消 等の生活道路の交通混雑 芦屋市域で未開通区間か 円滑化と安全性の向上, 指標値 率 過する幹線道路であるこ 地を活用しポケットパー	生の解消,交通 ぶあり,当時の 災害に強い安 平成17年度西 とから低騒音 -クとして整備	事故の解 救援・救心 主工区3. 編装や遮市 し、都市	助・復旧で快適な 1 1 1 音壁など 1世帯当	<b>考え方・</b> 全区間 環境対策 3市防災の	ののためい 式 引で3. (	こ早期に 6 る 3 位民1人	当り(円)	352,160
アウト成果(事業	き カム標 完了)	意(対象を言な 中成果指標 最終を通過を ・活動配費	E語にして) 目 的 (1) (2) 果指標 でする事項 分(コスト 構成%	・国道2 ・JR計 ・阪神・海 阪神・海 B/( ・良好が ・電線数	号の交通混雑の	の解消 通混雑の解消 等の生活道路の交通混雑 声屋市域で未開通区間か 円滑化と安全性の向上, 指標値 率 過する幹線道路であるこ 地を活用しポケットパー	まの解消,交通 ぶあり,当時の 災害に強い安 平成17年度西	事故の解 救援・救心 対援・安心 江区3. 舗装や遮市 基本台帳 (決算)	助・復旧で快適な 1 1 1 音壁など 1世帯当	街づく   <b>考え方・</b> 全区間 環境対策 3市防災の	ののためい 式 引で3. (	こ早期に 6  3  3  3  3	当り(円)	352,160
アウト成果(事業	き カム標うの特に	意(対象をきなない) 中 成果指標 成 を が (本) を で (本)	注語にして) 目 的 (1) (2) 果指標 でする事項 分(コスト 構成% 10.1%	・国道2 ・JR計 ・阪神・液 ・阪神・液 ・阪神・水 ・良好が ・電線業	号の交通混雑の	の解消 通混雑の解消 等の生活道路の交通混執 声屋市域で未開通区間か 円滑化と安全性の向上, 指標値 率 過する幹線道路であるご 地を活用しポケットパー 平成16年度(決算) 83,445	まの解消, 交通 ぶあり, 当時の 災害に強い安 平成17年度西 とから低騒音 -クとして整備 平成184.1住民 平成17年度	事故の解 枚援・救企・安心 江区3. 舗装や遮市 <b>基本台帳</b> (決算) 90,697	助・復旧で快適な 1 1 1 音壁など 1世帯当	考え方・ 全区間 環境対策 (市防災の (部)(円)	ののためい 式 間で3.( ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	こ早期に 6 る 3 位民1人	整備する 当り(円) 経額(決算	352,160 + 計画)
アウト成果	おおっています。おおいますが、おおいますが、おおいますが、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	意(対象をきない) 中 成果指標 成 上 が 最 と が 和 配 費 費 費	E語にして) 目 的 (1) (2) 果指標 では、 は には、 は では、 は には、 は は は には、 は には、 は には、 は には、 は には、 は には、 は には、 は には、 は には、 は には、 は には、 は に	・国道2 ・JR計 ・阪神・液 ・阪神・液 ・阪神・水 ・良好が ・電線業	号の交通混雑の	の解消 通混雑の解消 等の生活道路の交通混雑 声屋市域で未開通区間か 円滑化と安全性の向上, 指標値 率 過する幹線道路であるこ 地を活用しポケットパー	まの解消, 交通 ぶあり, 当時の 災害に強い安 平成17年度西 とから低騒音 -クとして整備 平成184.1住民 平成17年度	事故の解 救援・救心 対援・安心 江区3. 舗装や遮市 基本台帳 (決算)	助・復旧で快適な 1 1 1 音壁など 1世帯当	考え方・ 全区間 環境対策 (市防災の (部)(円)	ののためい 式 引で3. (	こ早期に 6 る 3 位民1人	整備する 当り(円) 経額(決算	352,160
アウト成事業 芦屋市事	きかお完めて、大力を表して、たりをもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもで	意(対象を言なする) 中 成 最 な が 計 で は で は で が は で は で で で で で で で で で で で	E語にして) 目 的 (1) (2) 果指標 では、 は には、 は では、 は には、 は は は には、 は には、 は には、 は には、 は には、 は には、 は には、 は には、 は には、 は には、 は には、 は に	・国道2 ・JR計 ・阪神・液 ・阪神・液 ・阪神・水 ・良好が ・電線業	号の交通混雑の	の解消 通混雑の解消 等の生活道路の交通混執 声屋市域で未開通区間か 円滑化と安全性の向上, 指標値 率 過する幹線道路であるご 地を活用しポケットパー 平成16年度(決算) 83,445	まの解消, 交通 ぶあり, 当時の 災害に強い安 平成17年度西 とから低騒音 -クとして整備 平成184.1住民 平成17年度	事故の解 枚援・救企・安心 江区3. 舗装や遮市 <b>基本台帳</b> (決算) 90,697	助・復旧で快適な 1 1 1 音壁など 1世帯当	考え方・ 全区間 環境対策 (市防災の (部)(円)	ののためい 式 間で3.( ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	こ早期に 6 る 3 位民1人	整備する 当り(円) 経額(決算	352,160 + 計画)
アウト成事業 芦屋市事	き カ指完 の業 人事他減	意(対な 中 成 最 な 活動 で 選 の で で で で で で で で で で で で で で で で で	E語にして) 目 的 (1) (2) 以来指標では、まずでは、まずでは、まずでは、まずでは、まずでは、まずでは、まずでは、まず	・国道2 ・JR 元 ・阪神・地域 B/( ・良好が ・電線数 ・ <b>ア成 1</b>	号の交通混雑の	の解消 通混雑の解消 等の生活道路の交通混雑 声屋市域で未開通区間か 円滑化と安全性の向上, 指標値 率 過する幹線道路であるご 地を活用しポケットパー 平成16年度(決算) 83,445 1,647,609	手の解消,交通 ぶあり,当時の 災害に強い安 平成17年度西 とから低騒音 一クとして整備 平成17年度	事故の解 教援・教心 注 (3) 注 (3) 注 (3) 注 (3) 注 (3) 注 (3) 注 (3) 注 (3) (3) (3) (4) (3) (4) (4) (5) (6) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	助・復旧で快適な 1 1 1 音壁など 1世帯当	考え方・ 全区間 環境対策 (市防災の (部)(円)	ののためい 式 間で3.( ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	こ早期に 6 る 3 位民1人	整備する 当り(円) 経額(決算	352,160 + 計画)
アウト成事業 芦屋市事	き カ指完 の 業 人事他減合	意(対な 中 成 最 な 新 件 業 門 償 件 業 門 債 の で ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま	E語にして) 目 的 (1) (2) 以来指標では、まずでは、まずでは、まずでは、まずでは、まずでは、まずでは、まずでは、まず	・国道2 ・JR 元 ・阪神・地域 B/( ・良好が ・電線数 ・ <b>ア成 1</b>	号の交通混雑の	の解消 通混雑の解消 等の生活道路の交通混雑 計量市域で未開通区間が 円滑化と安全性の向上, 指標値 率 過する幹線道路であるご 地を活用しポケットパー 平成16年度(決算) 83,445 1,647,609	手の解消,交通 ぶあり,当時の 災害に強い安 平成17年度西 とから低騒音 一クとして整備 平成184.1住民 平成17年度	事故の解 救援・救金・安心 江区3. 舗装や遮市 <b>基本台帳</b> (決算) 90,697 810,003	助・復旧で快適な 1 1 1 音壁など 1世帯当	考え方・ 全区間 環境対策 3市防災の (利)(円) (関)( (関)(	が で3. ( で3. ( で4.	こ早期に 6 る 3 位民1人	<b>当り(円)</b> <b>資額(決算</b> 34,8	352,160 + 計画) - - - - - -
アウト 東業 声屋 事内 (千円	き カ指  の  大  の  大  の  大  の  大  の  大  の  大  の  大  の  の	意 (対 な 中 成 最 な 活 件 業 門 償 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	E語にして) 目 的 (1) (2) 以来指標では、現場では、現場では、現場では、現場では、現場では、現場では、現場では、現場	・国道2 ・JR 元 ・阪神・地域 B/( ・良好が ・電線数 ・ <b>ア成 1</b>	号の交通混雑の	の解消 通混雑の解消 等の生活道路の交通混雑 音屋市域で未開通区間が 円滑化と安全性の向上, 指標値 率 過する幹線道路であるこ 地を活用しポケットパー 取成16年度(決算) 83,445 1,647,609	手の解消,交通 ぶあり,当時の 災害に強い安 平成17年度西 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	事故の解                   	助・復旧で快適な 1 1 1 音壁など 1世帯当	考え方・ 全区間 環境対策 (a)(円) 製計額( 32 32	が 対 で3. ( まを講じ、 の強化を[ 803,526 決算) - (006,058 	こ早期に 6 る 3 位民1人	整備する 当り(円) <b>34</b> ,5 34,5	352,160 +計画) - - - - - - - - - - - - - - - - - - -
ア成事	き カ指完 の業 人事他減合国市	意(対な 中 成 最 な 活 件業門償 情 の 情 の 情 の 情 の 情 の ま の ま の ま の ま の ま の	E語にして) 目 的 (1) (2) (2) (3) 果指標でする事項 分(コスト 構成% 10.1% 89.9% 100.0% 45.5% 37.2%	・国道2 ・JR 元 ・阪神・地域 B/( ・良好が ・電線数 ・ <b>ア成 1</b>	号の交通混雑の	の解消 通混雑の解消 等の生活道路の交通混雑 管屋市域で未開通区間が 円滑化と安全性の向上, 指標値 率 過する幹線道路であるこ 地を活用しポケットパー 平成16年度(決算) 83,445 1,647,609	手の解消,交通 ぶあり,当時の 災害に強い安 平成17年度西 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	事故の解                   	助・復旧で快適な 1 1 1 音壁など 1世帯当	考え方・ 全区間 環境対策 (a)(円) 製計額( 32 32	式 引で3. ( 影のでする。 一 ののでは、 のでは、	こ早期に 6 る 3 位民1人	当り(円) 第額(決算 34,5 16,3 16,1	352,160 +計画) - - - - - - - - - - - - - - - - - - -
アウト 東業 声屋 事内 (千円	き カ指完 の <b>業</b> 人事他減 <b>合</b> 国市そ	意(対な 中 成 最 な 活 件業門償 債の 他 で の で で で で で で で で で で で で で で で で	主語にして) 目 的 (1) (2) 、果指標 では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	・国道2 ・JR 元 ・阪神・地域 B/( ・良好が ・電線数 ・ <b>ア成 1</b>	号の交通混雑の	の解消 通混雑の解消 等の生活道路の交通混雑 音屋市域で未開通区間が 円滑化と安全性の向上, 指標値 率 過する幹線道路であるこ 地を活用しポケットパー 平成16年度(決算) 83,445 1,647,609 1,731,054 880,000 719,600 114,601	生の解消,交通 ぶあり,当時の 災害に強い安 平成17年度西 とから低騒音 クとして整備 平成1841住民 平成17年度	事故の解 救援・救金・安心 i工区3.	助・復旧で快適な 1 1 1 音壁など 1世帯当	考え方・ 全区間 環境対策 (a)(円) 製計額( 32 32	が 対 で3. ( まを講じ、 の強化を[ 803,526 決算) - (006,058 	こ早期に 6 る 3 位民1人	当り(円) 第額(決算 34,5 16,3 16,1	352,160 +計画) - - - - - - - - - - - - - - - - - - -
ア成事	き カ指字 の 業 人事他減 <b>合</b> 国市そー の 大事他減 <b>合</b> 国市そー	意(対な 中 成 最 な 活 件業門償 情 の 情 の 情 の 情 の 情 の ま の ま の ま の ま の ま の	E語にして) 目 的 (1) (2) 果指標でする事項 分(コスト 構成% 10.1% 89.9% 100.0% 45.5% 37.2% 1.3% 16.0%	・国道2 ・JR 元 ・阪神・地域 B/( ・良好が ・電線数 ・ <b>ア成 1</b>	号の交通混雑の	の解消 通混雑の解消 等の生活道路の交通混雑 管屋市域で未開通区間が 円滑化と安全性の向上, 指標値 率 過する幹線道路であるこ 地を活用しポケットパー 平成16年度(決算) 83,445 1,647,609	生の解消,交通 ぶあり,当時の 災害に強い安 平成17年度西 とから低騒音 クとして整備 平成1841住民 平成17年度	事故の解 救援・救全・安心 i工区3.	助・復旧で快適な 1 1 1 音壁など 1世帯当	考え方・ 全区間 環境対策 (a)(円) 製計額( 32 32	式 引で3. ( 影で3. ( 影のでする) 「 のでする) 「 のでする) 「 のでする) のでする。	こ早期に 6 る 3 位民1人	当り(円) 第額(決算 34,5 16,3 16,1	352,160 +計画) - - - - - - - - - - - - - - - - - - -
ア成(事	き カ指完 の <b>業</b> 人事他減 <b>合</b> 国市そ <b>一</b> 職	意(対な中成最な活件業門償の財産の財産の財産の対象を通過である。	E語にして) 目 的 (1) (2) 果指標でする事項 分(コスト 構成% 10.1% 89.9% 100.0% 45.5% 37.2% 1.3% 16.0% 91.7%	・国道2 ・JR計 ・阪神・海 ・阪神・地域 B/( ・電線業)	号の交通混雑の	の解消 通混雑の解消 等の生活道路の交通混雑 声屋市域で未開通区間が 円滑化と安全性の向上, 指標値 率 過する幹線道路であるこ 地を活用しポケットパー 取成16年度(決算) 83,445 1,647,609 11,731,054 880,000 719,600 114,601 16,853	生の解消,交通 ぶあり,当時の 災害に強い安 平成17年度西 とから低騒音 クとして整備 平成1841住民 平成17年度	事故の解 救援・救金・安心 i工区3.	助・復旧で快適な 1 1 1 音壁など 1世帯当	考え方・ 全区間 環境対策 (a)(円) 製計額( 32 32	式 引で3. ( 影で3. ( 影のでする) 「 のでする) 「 のでする) 「 のでする) のでする。	こ早期に 6 る 3 位民1人	当り(円) 第額(決算 34,5 16,3 16,1	352,160 +計画) - - - - - - - - - - - - - - - - - - -

	団(チェック)					
評	価	視 点	***************************************		評価 2次	評価
_	目的妥当性	ŧ(2 ~ 2)	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない	١		
妥	1,32,415		□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献が高い □ 貢献度が不明確,または高くない			
			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない			
当	市民ニーズ	(2 ~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない, または未把	4	4   4	4
_			□ 数字で把握している □ 未把排	淫	T   -	Т
	社会環境変	图化(1~ 1)	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必	要		
性		<u> </u>	内容 遮音塀等の防音対策や酸化チタン等の環境を行なっている			
6点	優先性,緊	. ,	□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる	_		
	受益者(1~	1)	□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定	<u> </u>		
有	進捗状況(2	?~ 1)	☑ 進捗状況の実績値を把握し、目標値を設定している □ 実績値または目標値が未記入		a   a	4
効			▶ □ 実績値から計画通り進捗していると言える □ 当初計画から遅れが出ている		1   1	ı
性 4点	- 進捗改善余	除地(1~ 1)	計画から遅れが出ている場合 □ 改善策あり 用地取得が難航しており、代替用地の確保 □ 特にな	<i>t</i> >1		
4点			□ 以音束のり   円が取得が無別しており、八首円が加速体   □ 特にな   日本   比較できる団体がある   団体名   西宮市   □ 比較できる団体はない	4.U		
			□ に収 ときる団体がある □ □体石 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □			
効	コスト(1~	1)	□ 他団体の数字を記録している 単位コスト □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い			
~/3			高い、または低い場合の理由  景観及び南北道路の関係で、アンダーバスとしたが、工事費が嵩	<b>≒</b>		
			直営事業(正規職員が執行)または外郭団体へ委託している業務について			
率			□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人 ,家庭 ,地域等が担うべき部分があ	5.2	1   (	)
	手段(1~	3)	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である	ا ا		
性			□ 「民間に来、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、			
3点			□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない			
Om	コスト削減耳	双組(1~ 1)	→ 内容 残土処分費の削減、原材料支給による工期短縮と経費削減			
T	о <i>т</i>	- 年 - 京				
予成り	6 年 度 の 改 善 の	評 1叫 PA 谷 方 向 性	評価結果 施した改善の方向 改善したが 効果がた 改善した			
(評価か	がない場合は	記載不要)	□ □ □ □ □ □ □ □ □ かった   □			
			工事コストの縮減 他工事と合併施工,再生材の活用,	総合評価	4   E	3
平成	1 8 £	東度に	14 英一丁東明法田おび	部11四	`   -	
実施	する改必	善 内 谷 須 )	<mark>                                    </mark>			
(	20'	/ /				
- 4 //						
5 今後	後の対応(ア	<b>ア</b> クション)	·			
5 今後	後の対応(ア	<u> </u>	・地域住民に道路の必要性及び環境対策について,理解と協力をえる必要がある			
			・残用地の取得を今年度中に合意を得る必要がある			
現在詞	忍識 してり	ハる課題	・残用地の取得を今年度中に合意を得る必要がある ・工事におけるコスト縮減を図る必要がある			
現在 詞市民,関	忍識して!	ハる課題	・残用地の取得を今年度中に合意を得る必要がある			
現在 調市民,関からの	窓識してり	ハる 課 題	・残用地の取得を今年度中に合意を得る必要がある ・工事におけるコスト縮減を図る必要がある ・地域環境を守る会及び沿道関係自治会			
現在 詞市民,関	忍識して!	ハる 課 題	・残用地の取得を今年度中に合意を得る必要がある ・工事におけるコスト縮減を図る必要がある			
現在 調市民,関からの	忍識して「 場合では、関 意見 意見、	いる課題 原者の名称 要望内容	・残用地の取得を今年度中に合意を得る必要がある ・工事におけるコスト縮減を図る必要がある ・地域環境を守る会及び沿道関係自治会 環境対策を講じる			
現在 調市民,関からの	窓識してり	いる課題 係者の名称 要望内容 対応内容	・残用地の取得を今年度中に合意を得る必要がある ・工事におけるコスト縮減を図る必要がある ・地域環境を守る会及び沿道関係自治会 環境対策を講じる 環境の予測と対策について話し合い理解をえる			
現在 部 市民,関から 望	忍識して「関係者」を表現して、関係者を表現である。 意見、 (1)	いる課題 原者の名称 要望内容	・残用地の取得を今年度中に合意を得る必要がある ・工事におけるコスト縮減を図る必要がある ・地域環境を守る会及び沿道関係自治会 環境対策を講じる 環境の予測と対策について話し合い理解をえる			
現在 調市民,関からの	忍識して「」	の名称 要望内容 対応内容 実施期限	・残用地の取得を今年度中に合意を得る必要がある ・工事におけるコスト縮減を図る必要がある ・地域環境を守る会及び沿道関係自治会 環境対策を講じる 環境の予測と対策について話し合い理解をえる			
現在は一下の要は思います。現在は、関いのでは、関いては、関いては、関いては、関いては、関いては、関いては、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いで	忍識して「 」 「 「 「 「 「 「 は う り う う り り し り し り り り り り り り り り り り	は、る課題 関係者の名称 要望内容 対応内容 実施期限 対応内容	<ul> <li>・残用地の取得を今年度中に合意を得る必要がある</li> <li>・工事におけるコスト縮減を図る必要がある</li> <li>・地域環境を守る会及び沿道関係自治会</li> <li>環境対策を講じる</li> <li>環境の予測と対策について話し合い理解をえる</li> <li>平成 18 年 9 月</li> </ul>			
現在 部 市民,関から 望	忍識して「 」 「 「 「 「 「 「 は う り う う り り し り し り り り り り り り り り り り	の名称 要望内容 対応内容 実施期限	<ul> <li>・残用地の取得を今年度中に合意を得る必要がある</li> <li>・工事におけるコスト縮減を図る必要がある</li> <li>・地域環境を守る会及び沿道関係自治会</li> <li>環境対策を講じる</li> <li>環境の予測と対策について話し合い理解をえる</li> <li>平成 18 年 9 月</li> </ul>			
現在は一下の要は思います。現在は、関いのでは、関いては、関いては、関いては、関いては、関いては、関いては、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いで	忍識して「人」	は、る課題 関係者の名称 要望内容 対応内容 実施期限 対応内容	<ul> <li>・残用地の取得を今年度中に合意を得る必要がある</li> <li>・工事におけるコスト縮減を図る必要がある</li> <li>・地域環境を守る会及び沿道関係自治会</li> <li>環境対策を講じる</li> <li>環境の予測と対策について話し合い理解をえる</li> <li>平成 18 年 9 月</li> </ul>			
現在は一下の要は思います。現在は、関いのでは、関いては、関いては、関いては、関いては、関いては、関いては、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いで	忍識して「 」 「 「 「 「 「 「 は う り う う り り し り し り り り り り り り り り り り	は、また。 また。 また。 また。 また。 また。 また。 また。 また。 また。	・残用地の取得を今年度中に合意を得る必要がある         ・工事におけるコスト縮減を図る必要がある         ・地域環境を守る会及び沿道関係自治会         環境対策を講じる         環境の予測と対策について話し合い理解をえる         平成       18         年       月			
現在は一下の要は思います。現在は、関いのでは、関いては、関いては、関いては、関いては、関いては、関いては、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いで	忍識して「人」	の は 題 題 の 名 の 名 容 対 応 内 容 実 施 期 の 内 容 実 施 期 の 対 に 内 な の ま か に 内 な の な の ま か に 内 な の な か に か は か に 内 な の な か に か は か に 内 な の な か に か は か に か は か に か は か に か に か に か に	・残用地の取得を今年度中に合意を得る必要がある         ・工事におけるコスト縮減を図る必要がある         ・地域環境を守る会及び沿道関係自治会         環境が策を講じる         環境の予測と対策について話し合い理解をえる         平成       18         年       月         平成       年         月			
現在に関か要課題・要求の対象を表現しています。	② 識 して 「	信任 要 対 実 対 実 対 実 対 実 が 応 期 限 容 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容	・残用地の取得を今年度中に合意を得る必要がある         ・工事におけるコスト縮減を図る必要がある         ・地域環境を守る会及び沿道関係自治会         環境対策を講じる         環境の予測と対策について話し合い理解をえる         平成       18         年       月			
現在に関の望まれる。	<ul> <li>認識して「</li> <li>意意等</li> <li>(1)</li> <li>望等</li> <li>(2)</li> <li>(3)</li> <li>考えられ・</li> </ul>	の は は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は まままま は まままま は まままままま	・残用地の取得を今年度中に合意を得る必要がある         ・工事におけるコスト縮減を図る必要がある         ・地域環境を守る会及び沿道関係自治会         環境が策を講じる         環境の予測と対策について話し合い理解をえる         平成       18         年       月         平成       年         月			
現在に関の望まれる。	② 識 して 「	の は は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は まままま は まままま は まままままま	<ul> <li>・残用地の取得を今年度中に合意を得る必要がある</li> <li>・工事におけるコスト縮減を図る必要がある</li> <li>・地域環境を守る会及び沿道関係自治会環境対策を講じる</li> <li>環境の予測と対策について話し合い理解をえる</li> <li>平成 年 月</li> <li>平成 年 月</li> <li>他工事との調整及び再生材の活用などのより工事コストの縮減を図る</li> </ul>	向性 1次	李郎师 2 次	評価
現在に関の望まれる。	<ul> <li>認識して「</li> <li>意意等</li> <li>(1)</li> <li>望等</li> <li>(2)</li> <li>(3)</li> <li>考えられ・</li> </ul>	の は は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は まままま は まままま は まままままま	<ul> <li>・残用地の取得を今年度中に合意を得る必要がある</li> <li>・工事におけるコスト縮減を図る必要がある</li> <li>・地域環境を守る会及び沿道関係自治会</li> <li>環境の予測と対策について話し合い理解をえる</li> <li>平成 年 月</li> <li>平成 年 月</li> <li>他工事との調整及び再生材の活用などのより工事コストの縮減を図る</li> <li>今後の方</li> </ul>		2次	評価
現在に関の望まれる。	<ul> <li>認識して「</li> <li>意意等</li> <li>(1)</li> <li>望等</li> <li>(2)</li> <li>(3)</li> <li>考えられ・</li> </ul>	の は は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は まままま は まままま は まままままま	<ul> <li>・残用地の取得を今年度中に合意を得る必要がある</li> <li>・工事におけるコスト縮減を図る必要がある</li> <li>・地域環境を守る会及び沿道関係自治会</li> <li>環境が策を講じる</li> <li>環境の予測と対策について話し合い理解をえる</li> <li>平成 年 月</li> <li>平成 年 月</li> <li>他工事との調整及び再生材の活用などのより工事コストの縮減を図る</li> <li>今後の方早期に用地買収を終えると共に、まとまって用地取得が完了した区間から順次道路整備工事に</li> <li>拡大・多</li> </ul>	充 実 〇	0	評価
現在に関の望まれる。	<ul> <li>認識して「</li> <li>意意等</li> <li>(1)</li> <li>望等</li> <li>(2)</li> <li>(3)</li> <li>考えられ・</li> </ul>	の は は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は ままま は まままま は まままま は まままままま	<ul> <li>・残用地の取得を今年度中に合意を得る必要がある</li> <li>・工事におけるコスト縮減を図る必要がある</li> <li>・地域環境を守る会及び沿道関係自治会</li> <li>環境の予測と対策について話し合い理解をえる</li> <li>平成 年 月</li> <li>平成 年 月</li> <li>他工事との調整及び再生材の活用などのより工事コストの縮減を図る</li> <li>早期に用地買収を終えると共に、まとまって用地取得が完了した区間から順次道路整備工事に 拡 大・ 子 現 状 維</li> </ul>	充 実 ○ 註 持 <b>⑤</b>	○ ●	評価
現 市か要 課 へ そ改 他 の の 善	忍識 して 「	は	<ul> <li>・残用地の取得を今年度中に合意を得る必要がある</li> <li>・工事におけるコスト縮減を図る必要がある</li> <li>・地域環境を守る会及び沿道関係自治会 環境対策を講じる</li> <li>環境の予測と対策について話し合い理解をえる</li> <li>平成 年 月</li> <li>中本 月</li> <li>中本 中の工事との調整及び再生材の活用などのより工事コストの縮減を図る</li> <li>中期に用地買収を終えると共に、まとまって用地取得が完了した区間から順次道路整備工事に著手し、早期に事業効果を発現に努めていく東工区は19年度中に供用開始させる。川西線以西は18年度中に供用開始させる方法改方法改</li> </ul>	充 実 ○ 註 持 ® 文 善 ○	<ul><li>O</li><li>O</li></ul>	<b>評価</b>
現 市か要 課 へ そ改 他 の の 善	忍識 して 「	は	・残用地の取得を今年度中に合意を得る必要がある ・工事におけるコスト縮減を図る必要がある ・地域環境を守る会及び沿道関係自治会 環境の予測と対策について話し合い理解をえる 平成 18 年 9 月  平成 年 月  他工事との調整及び再生材の活用などのより工事コストの縮減を図る  早期に用地買収を終えると共に、まとまって用地取得が完了した区間から順次道路整備工事に 着手し、早期に事業効果を発現に努めていく 東工区は19年度中に供用開始させる。川西線以西は18年度中に供用開始させる  声屋川横断部工事は、昨年度着手したが、工事中の振動、騒音、埃など十分な環境対策を講じ  民間委託	充 実 ○ 註 持 ® 文 善 ○	○ ●	評価
現 市か要 課 へ そ改 他 の の 善	忍識 して 「	は	・残用地の取得を今年度中に合意を得る必要がある     ・工事におけるコスト縮減を図る必要がある     ・地域環境を守る会及び沿道関係自治会 環境の予測と対策について話し合い理解をえる 平成 18 年 9 月  平成 年 月 他工事との調整及び再生材の活用などのより工事コストの縮減を図る  マ成 年 月 地工事との調整及び再生材の活用などのより工事コストの縮減を図る  マ成 年 月 地工事との調整及び再生材の活用などのより工事コストの縮減を図る  「本	<ul><li>充 実</li><li>□</li><li>計 持 ●</li><li>立 善</li><li>証 等 ○</li><li>小 ○</li></ul>	<ul><li>O</li><li>O</li><li>O</li></ul>	<b>評価</b>
現 市か要 課 へ そ改 他 の の 善	忍識 して 「	は	・残用地の取得を今年度中に合意を得る必要がある ・工事におけるコスト縮減を図る必要がある ・地域環境を守る会及び沿道関係自治会 環境の予測と対策について話し合い理解をえる 平成 18 年 9 月  平成 年 月  他工事との調整及び再生材の活用などのより工事コストの縮減を図る  早期に用地買収を終えると共に、まとまって用地取得が完了した区間から順次道路整備工事に 着手し、早期に事業効果を発現に努めていく 東工区は19年度中に供用開始させる。川西線以西は18年度中に供用開始させる  声屋川横断部工事は、昨年度着手したが、工事中の振動、騒音、埃など十分な環境対策を講じ  民間委託	<ul><li>充 実</li><li>□</li><li>計 ●</li><li>立 善</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li></li></ul>	0 0 0	評価
現 市か要 課 へ そ改 他 の の 善	忍識 して 「	は	・残用地の取得を今年度中に合意を得る必要がある ・工事におけるコスト縮減を図る必要がある ・地域環境を守る会及び沿道関係自治会 環境の予測と対策について話し合い理解をえる 平成 18 年 9 月  平成 年 月 他工事との調整及び再生材の活用などのより工事コストの縮減を図る  早期に用地買収を終えると共に、まとまって用地取得が完了した区間から順次道路整備工事に 着手し、早期に事業効果を発現に努めていく 東工区は19年度中に供用開始させる。川西線以西は18年度中に供用開始させる	<ul><li>充 実</li><li>□</li><li>計 ●</li><li>立 善</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li></li></ul>	0 0 0 0	評価
現 市か要 課 へ そ改 他 の の 善	忍識 して 「	は	・残用地の取得を今年度中に合意を得る必要がある ・工事におけるコスト縮減を図る必要がある ・地域環境を守る会及び沿道関係自治会 環境の予測と対策について話し合い理解をえる 平成 18 年 9 月  平成 年 月 他工事との調整及び再生材の活用などのより工事コストの縮減を図る  早期に用地買収を終えると共に、まとまって用地取得が完了した区間から順次道路整備工事に 着手し、早期に事業効果を発現に努めていく 東工区は19年度中に供用開始させる。川西線以西は18年度中に供用開始させる	<ul><li>充 実</li><li>□</li><li>計 ●</li><li>立 善</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li></li></ul>	0 0 0 0	<b>評価</b>
現 市か要 課 へ そ改 平 他 の の あ も 関 の の も の の も の の も の も の も に も に は に に に に に に に に に に に に に	<ul> <li>認識して「関連」</li> <li>高意等 (1)</li> <li>(2)</li> <li>(3)</li> <li>6データー 2 1 年度</li> </ul>	は の 内 内 期 所 容 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限	・残用地の取得を今年度中に合意を得る必要がある ・工事におけるコスト縮減を図る必要がある ・地域環境を守る会及び沿道関係自治会 環境対策を講じる 環境の予測と対策について話し合い理解をえる 平成 18 年 9 月  平成 年 月  他工事との調整及び再生材の活用などのより工事コストの縮減を図る  早期に用地買収を終えると共に、まとまって用地取得が完了した区間から順次道路整備工事に 着手し、早期に事業効果を発現に努めていく 東工区は19年度中に供用開始させる。川西線以西は18年度中に供用開始させる 芦屋川横断部工事は、昨年度着手したが、工事中の振動、騒音、埃など十分な環境対策を講じ  精発住民の理解と協力を得ると共に、工事期間の短縮及び工事費の縮減に努め早期に完成を図る  統合/終期 廃止 / 仮	<ul><li>充 実</li><li>□</li><li>計 ●</li><li>立 善</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li></li></ul>	0 0 0 0	<b>評価</b>
現 市か要 課 へ そ改 平 他 の の あ も 関 の の も の の も の の も の も の も に も に は に に に に に に に に に に に に に	<ul> <li>認識して「関連」</li> <li>高意等 (1)</li> <li>(2)</li> <li>(3)</li> <li>6データー 2 1 年度</li> </ul>	は の 内 内 期 所 容 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限	・残用地の取得を今年度中に合意を得る必要がある ・工事におけるコスト縮減を図る必要がある ・地域環境を守る会及び沿道関係自治会 環境の予測と対策について話し合い理解をえる 平成 18 年 9 月  平成 年 月 他工事との調整及び再生材の活用などのより工事コストの縮減を図る  早期に用地買収を終えると共に、まとまって用地取得が完了した区間から順次道路整備工事に 着手し、早期に事業効果を発現に努めていく 東工区は19年度中に供用開始させる。川西線以西は18年度中に供用開始させる	<ul><li>充 実</li><li>□</li><li>計 ●</li><li>立 善</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li></li></ul>	0 0 0 0	<b>評価</b>
現 市か要 課 へ そ改 平 他 の の あ も 関 の の も の の も の の も の も の も に も に は に に に に に に に に に に に に に	<ul> <li>認識して「関連」</li> <li>高意等 (1)</li> <li>(2)</li> <li>(3)</li> <li>6データー 2 1 年度</li> </ul>	は の 内 内 期 所 容 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限 容 限	・残用地の取得を今年度中に合意を得る必要がある ・工事におけるコスト縮減を図る必要がある ・地域環境を守る会及び沿道関係自治会 環境対策を講じる 環境の予測と対策について話し合い理解をえる 平成 18 年 9 月  平成 年 月  他工事との調整及び再生材の活用などのより工事コストの縮減を図る  早期に用地買収を終えると共に、まとまって用地取得が完了した区間から順次道路整備工事に 着手し、早期に事業効果を発現に努めていく 東工区は19年度中に供用開始させる。川西線以西は18年度中に供用開始させる 芦屋川横断部工事は、昨年度着手したが、工事中の振動、騒音、埃など十分な環境対策を講じ  精発住民の理解と協力を得ると共に、工事期間の短縮及び工事費の縮減に努め早期に完成を図る  統合/終期 廃止 / 仮	<ul><li>充 実</li><li>□</li><li>計 ●</li><li>立 善</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li></li></ul>	0 0 0 0	<b>評価</b>

	÷n =	- 75 ·	+ NK						1	±= = \_	elam e
(内	部事	務)	事業	コード	12302	250				部長次	長課長
ਜ਼ =	t 1 7	年度	車 :	業名	:出14	団施設・設備維持管	田車教				
+ n.	<b>X</b> 1 /	牛皮	<b>→</b> :	* 1	ונאפוי	当心改"政府能行	<b>注</b> 事物				
1	古半	K +01 5	H (   * + \								
			要(ドゥ)				) at the arm take it is to			Lynn	Bl. L. Ive
				りの目標		活気あふれる豊か				所 管 課 消	防本部
総	合言	+ 画	1	中	2	安全と防災の確保				/// 日 総	務課
政	策が	も 策		小	3	防災機能の強化				所管課長氏名樋	口 文夫
体		系		細						記入者氏名福	田 隆文
事		業	期		亚最	15年4月~	経常臨時	☑ 経常 □	臨時		97-32-2345 内線 4020
根	+60						11-11-AA		Ichu h-4		
	拠						方団条例・芦屋市消防団			実施主体市	
実		施	手	,	✓		一部委託	□ 全部委託		□ 補助金	□ 負担金
委			託	先		外郭団体委託	名称		□ 民間	透託 <mark>委託 内容</mark>	
					市内	4箇所に設置され~	ている消防分団詰所の光	熱水費及び電信	言電話の道	<b>通信費等を含めた</b>	
事	Ì	業	の	概 要	施設	<ul><li>設備を適正に維持</li></ul>	寺管理し,職場環境を良	好に保つ。			
_											
					沙出口士	田佐記の火劫を書	及び電信電話の通信費等				
		A114		TD	旭設	・政佣の維持官埋力	及び発生した不良箇所の	[影響]			
事		業	の	現 状							
		目的第	実現のため	のの							
		手段及	ひ実施内	容							
				指標名	占松	第					
7 /	, テ	, -		5 III		<sup>15年度(実績)</sup>	平成16年度(実績)	平成17年度	(宝德)	平成18年度(目	標) 平成19年度(目標)
	, ,		活動指標		十八人					•	
指		標		指標値		4箇所	4 箇所	4 箇戸	·	4箇所	4 箇所
				単位コスト		121,000円	301, 750円	93, 000	円	321,000円	
				指標名							
アウ	ナトフ	プット	結果指標	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成18年度(目	標) 平成19年度(目標)
指		標	<b>紀末</b> 拍惊	指標値		48回	48回	48	1	48回	48回
				単位コスト		91, 300円	92,000円	66, 200	Н		
2	車当	き成ら	果(アウト								<u> </u>
_	<del>-</del> 7	\13.A2	K() )	,,,							
			対	象	点検の	の結果,不良箇所の	りある消防団施設・設備				
車出	± ∩	F 65	计包力	バー率	<del>11 5</del>	5 米4 (0)	4 箇所 受益数	t (h)	2 箇所	比 率 (b ÷	a) % 5 0
			XI SK //	八 - 平	צו פ	K 数 (a)		x (D)	4 固別	LC 平 (D ·	a) 70 3 0
X1) §	豕',	意 図	_		astem to a		m (444) (111- )				
			意		消防	活動拠点としての理	<sup>環境整備を図る。</sup>				
			(対象を主	E語にして)							
大	1	き	な	目 的	消防	業務を効率よく遂行	うさせることにより、消	防業務が迅速に	こ行える。		
				指標 名	施設	・設備の充実度					
							を改善することにより、	災害時における	る即時対応	た力を強化する。	
			成果指標				平成16年度(実績)			平成18年度(目	標) 平成19年度(目標)
<del></del>					T-13%	13千及(天順)	1 箇所	十成17千皮	(大順)	1 箇所	1まり 十成19十度(日1まり
	) r	カム		指標値	41,44	L = 74 // .	1 回川			1 回別	
指		標				力の強化	L 1 1076 P ( )				
							む力が強化されれば、市				
			成果指標		平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成18年度(目	標) 平成19年度(目標)
				指標値							
					常備剂	肖防が整備されてい	るが,多数の動員を必要	とする事案(山	火事・捜	索等)や阪神・淡路力	大震災のような大規模災害でも
芦	屋	の	特 色	。 な ど	すみ・	やかに参集し、最新	断鋭の消防装備で被害の	軽減を図る活動	動ができる	5.	
3	車出	<b>生費</b> .	活動配	分(コスト)	)			1世帯当り(円)	80	住民1人当り(円)	39 平成18.4.1 住民基本台帳
事	- 기	<u>只</u> 業	費			15年度(沖質)	平成16年度(決算)	平成17年度		平成18年度(予	
7		<u>*</u>			1 /3%	4,384	4,416	17%17千皮		TIME OF PIX ( )	
		東		89.5%					3,181		1 204
		事		10.5%		484	1,207		372		1,284
内			門経費								-
(千			償却費								-
		合	計	100.0%		4,868	5,623		3,553		-
		国	・県								
財	源	市	債 等			<del></del>		·	-		
	円)		の他								
` '			设財源			4,868	5,623		3,553		-
活	動		<del>以 ※) ※</del> 員	75.0%		0.40	0.45		0.30		
						0.40			0.30		
配			·臨時等			0.10 <b>0.50</b>	0.10 <b>0.55</b>		0.10		-
,	<b>人</b> )										

	<u> </u>													
評	価 祷	点					評价	価チェ	ックリスト				1次評価	2次評価
	対象カバー図	区(1~ 1)		対象カバ	一率は高	高い	☑ 他団体	なと同利	呈度	□ 他団体よ	リカバー率が	が低い		
有	受益者(1~	1)	<b>✓</b>	事業意図	と受益者	が基準	合している □	事業	意図と受益者が不	整合,または受益	が一部に限	定		
効	成果の実績(	2~ 1)					を把握し,目標値を記	殳定し					3	3
X/J	ルポリス頑(	2 1)	-	・☑ 実績・	値から成	果があ	がっていると言える		□ 実績値	から成果があがっ	ていると言え	ない	3	3
性	- 成果向上余均	₩(1~ 1)	成	果があがっ	っていなし	ハ場合								
4点	- 成未向工示	·B(1 · · · 1)		成果向上	策あり						<u> </u>	特になし		
			\ \	比較でき	る団体が	ぶある	団体名	近隣	都市(三田市)	□ 比較でき	る団体はない	١		
	活動配分(1 -	1)	Ÿ	他団体の	数字を指	巴握して	こいる 活動配分			□ 把握して(	ハない			
	/百里川10万(1~	- 1)	┕	・ □ 他回	団体より少	ンない	□ 他団(	本と同	程度	☑ 他団体よ	り多い			
効			多	い,または	t少ない場	場合の3	理由 職員1人を	1年に	1度だけ(12分の1	)担当させる。指数	としては0.08	8となる。		
			\	比較でき	る団体が	<b>ぶある</b>	団体名	近隣	都市(三田市)	□ 比較でき	る団体はない	١		
	単位コスト(1	~ 1)	1	他団体の						□ 把握してい				
率	+ m = X1(1	.,	↳	· 🗌 他回	団体よりコ	1ストが				☑ 他団体よ		١, ١	-2	-2
				い,または					両を保管する分団	団詰所を維持してい	るため。			
			直	営(正規職	銭員が執行	行)また	は外郭団体へ委託	してい	る業務について					
	手段(1~ 3	۸					義務づけられている			家庭 , 地域等が担	うべき部分か	<b>ヾある</b>		
性	3 +2(1 0	,				- /	対応できない業務で			業 , NPO等)で対		3		
4点							対応できない業務でる	ある	☑ 嘱託,日	塩時職員等で対応	可能である			
	コスト削減取	組(1~ 1)	1				テっている		□ 特に行	っていない				
		.,,	-	· 内容	光熱水	費の縮	減啓発を実施							
平成1	6年度の評	平価 内容				Α			改善し,効果を得	! <i>†</i> _				
及び	改善の	方 向 性	評	価結果	_		平成17年度に実施した改善の方向性				改善しな			
(評価カ	がない場合は	記載不要)			$\checkmark$	В	のに以告の方向は		改善したが,効果	!がない □	ひ書しなかった		_	_
				老朽化し	た設備の	の更新	及び修繕		シャッターの改	修工事(打出分団		総合評価	В	В
平 成	.1 8 年	度に	+====		15 4 111	. , , , , , ,	)	改善			<b>-</b> /	птіщ		
実施	する改必		課題					内容						
(	20° 29	, ,												
5 今後	<b>後の対応(ア</b> ⋅	クション)												
		, , ,,	打出	分団詰所	のシャッ	ターの	の改修							
現在意	認識してい	1る 課 題	4分	団の詰所	の老朽化	<u> </u>								
市民,関	係者 市民,関	係者の名称												
からの	意見	<b>亚坦</b> 中 应												
要 望	等思見,	要望内容												
		対応内容	+тш	八田士記	D3 (1- )	. h (	カコケルケ							
	(1)	刈心内谷	打四	分凹距所	のシャッ	19-0	ク以16							
		実施期限	平成	1 8	年	7	月							
課題·要	望等	対応内容				•								
	(2)	对心内合												
へのす	対 応	実施期限	平成		年		月							
		対応内容			•		•							
	(3)	对心内台												
		実施期限	平成		年		月							
その他	考えられる	,												
改善の	カアイデア	,												
											今後の	方向性	1次評価	2次評価
			光熱	水費の節	減と,旅	拉設・記	殳備の点検を励行し	,改位	修の必要なものに	こついては、	拡大・	充実	0	0
			計画	的に改修	する。						現状	維持	0	•
											方 法			0
平成1	9~21年度	の方向性									民間委	手託 等	0	0
											縮		0	0
											統合/終			0
											廃 止 /	休 止	0	0
2 次 輕	亞価委員会	コメント												
- /X AI	,m	7,,,												
			I											

( 1	力部画	事務)	事業	□ <b>-</b> ド	1220	005			部長次	長課長
		,		<u> </u>						K III
平	成17	年度	事	業名	地域	防災拠点·地区防災	拠点の維持管理業務			
1			要(ドゥ)							
				りの目標		活気あふれる豊か			所 <b>管</b> 課 消防本部	
		計画		<u>中</u>	2	安全と防災の確保			警防第二	課・第2課
	策力			<u>小</u>	2	防災生活圏の整備	充実			野治 ・ 市川 武夫
体		系		細	₩.	0.7			記入者氏名市川 武	
事根	拠	法	期			8年~	<mark>経常臨時</mark> 資機材保守管理要綱	☑ 経常 □ 臨時	電話番号32-2 実施主体	2 3 4 5 内線 4122
実	17/4	施	令 · 勇 手		戸座		一部委託	□ 全部委託		負担金
委		ЛE	託	,-		外郭団体委託	名称		司 福切並 □ 間委託 <mark>委託 内 容</mark>	只担亚
_			н о						5000000000000000000000000000000000000	  材の員数点検及び
事		業	の	概 要		機器の稼動点検を領				.,,
					飲	料水兼用貯水槽につ	ついては、3年に1回点	検実施		
					有事	の際,住民が各防災	災拠点の資機材を有効か	つ効率的に活用できる。	よう,各署所の消防職員が	毎月1回点検実施
事		業	の	現 状	3	年に1回点検実施る	を行っている飲料水兼用	貯水槽の点検費用につい	ハては,水道部と折半予算	[化を行い実施
			に現のため							
		于段及	ひ実施内	容						
				指標 名	占烩	同数				
ア	クテ	ィブ				15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
指	, ,	標	活動指標	指標値		24回	40回	40回	48回	48回
				単位コスト		224, 000	120, 000	82, 000		
						水兼用貯水槽の点	<u>ф</u>			
ァ	ウトこ	プット	結果指標	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
指		標	<b>紀末</b> 指信	指標値		2	2	2	3	2
				単位コスト		341,000	399, 000	500,000	787, 000	500, 000
2	事	<b>美成</b> 身	具(アウト	`カム)						
			対	象	防災	拠点を活用する市具	吴			
車	<b>₩</b> Λ	日的	计争力	バー率	<del>3.1</del> €	<b>多粉(a)</b> 2	5 箇所 受益数	<mark>女 (b)</mark> 35箇所	比 率 (b ÷ a) %	100
		意図	X1 3K //	八 - 平	צט פּ	or 女X (d) ろ	3 国内 文 画 女	X (D) 3 3 回 D	L 卒 (D ÷ a) 7	100
^1	30		意	図	防災	抓点を活用する市F	民は、災害時に有効かつ	効果的に資機材を活用。	できる	
				上語にして)	19390	DC/// C 10/10 / 0/10/2	A(a, 90   M(c   1797)	MARKETT SERVICE TO THE		
			(,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,							
大		き	な	目 的	資機	材が有効に活用でき	き,災害時における被害	の軽減		
				指標名	修理	回数				
				考え方・式				T		
			成果指標				平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
	ウト			指標値		2 工党に発動する次は	1 松井米佐 (毛松)	2	0	0
指		標		指標名 考え方・式		正常に稼動する資格	<b>茂竹 叙 (悝 類)</b>			
			最 終 成果指標			15年度(宝績)	平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
			八不1日1示	指標値		3 5	35	35	3 5	3 5
				74 IV IE						
芦	屋	の	特色	きなど						
3	事	業費⋅	活動配	分(コスト	)			1世帯当り(円) 96	住民1人当り(円) 42	平成18.4.1 住民基本台帳
事		業	費		平成	15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(決算)	平成18年度(予算)	
		人	件 費			5,388	4,800	3,280	-	
١.		事	業費	14.0%		342	501	533	888	
内			門経費						-	
( -	-円)	冷 個	賞 却 費 <b>計</b>	100.0%		5,730	5,301	3,813	-	-
		国	・ 県	100.0%		5,730	0,301	3,013	-	
財	源	市	債 等							
	<b>//</b> // 千円)		の他							
Ì	,	_	段 財 源			5,730	5,301	3,813	-	
活	動	職	員	100.0%		0.70	0.65	0.65	-	
配	分		·臨時等						-	
(	人 )	合	計	100.0%		0.70	0.65	0.65	-	

	曲(チェック						AT /T -	- Lu-1							I
評		視点		a				ックリスト						1次評価	2次評価
<del>_</del>	対象カバー		対象カバ				団体と同様			他団体より			١		
有	受益者(1~	- 1)	☑ 事業意図			•			者が不整合,			限定			
効	成果の実績	責(2~ 1)				を把握し,目標値								3	3
		,				がっていると言え	.る		実績値から成	果があがって	こいると言	<b></b> えない	١	U	
性	- 成果向上領	余地(1~ 1)	成果があが		\場合	·									
4点		,	□□成果向□			<u> </u>						特に	なし		
			☑ 比較でき			団体名	·	市·西宮市等	*** ***** ***** *****	比較できる		111			
	活動配分(	1 ~ 1)						<u> </u>		! 把握してい					
4.1	(	,	▶ □ 他[				団体と同	程度		他団体より	多い				
効			多い,または			:									
			☑ 比較でき					市·西宮市等		比較できる		よい			
	単位コスト	(1 ~ 1)						TD ++		把握してい		<b>.</b>			
率			→ □ 他[			;········	団体と同	柱度		他団体より	コストかん	高い		0	-4
			高い,または					= NK 75 I							•
						は外郭団体へ数				1.1-4-6-6-1-0-1-0-5		\			
lui.	手段(1~	3)				§務づけられてい			固人,家庭,均				'		
性						対応できない業績			民間(企業 , N	,					
4点						対応できない業務	じめる		属託,臨時職		引能でめ	<u>ව</u>			
	コスト削減	取組(1~ 1)	□ コスト削泳 □ カ容	戦の取り組 職員にて				∠ 1	寺に行ってい	ない					
			→ 内谷	i											
平成1	6年度の	評価内容	÷=:/=:/+==		Α	平成17年度に第	E施 🗹	改善し,効:	果を得た						
(評価が	改善の	方 向 性 は記載不要)	評価結果	V	В	した改善の方向	uk#	改善したが	,効果がない	١ 🗆	改善し				
( 11 114 /3	7 .6. (1 - %) []	S 10 +x 1 S /							,		かった	総	合	В	В
平成	1 8	年 度 に	点検方法	よの改善				.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	と器具に分け	た分離点検			価	D	D
	する改	善内容					改善 内容								
(	必	須 )					内台								
Γ <b>Δ</b> 4	<b>%</b> Φ <del>&gt; +   C   -</del>	7 5 >													
3 <del>'5</del> 12	後の対応()	アクション)	市民で維持管	畑できる	トカ	<b>歩道</b> する									
現 左 <b>章</b>	刃輪して	いる課題		性(さる	よ ノ,	旧等する。									
坑 江 巾	IN DEV. O. C.	いる味味	\$												
市民、関	係者 市民 .	関係者の名称	防災拠点を活	用する市	民										
からの	辛日			, 14 , G .   .											
要望	意 見	,要望内容	特になし。												
		社内中容	士尺の辛熱は	. 学 ナ. 仁 ) 、	644-t-	土竺田ベキフト	- +12.2台。	<b>ナ</b> フ							
	(1)	对心内谷	川氏の息畝以	.普を1]い	,术压力	寺管理できるよ	ノ, 14等	9 000							
		実施期限	平成	年		月									
課題·要	望等	対応内容													
	(2)	אניוטוונג													
へのす	付 応	実施期限	平成	年		月									
		対応内容													
	(3)			-	_	-									
		実施期限	平成	年		月									
		_													
	考えられ	_													
以 書 0	カアイデ	,									△ ′ ′ ′	<b>Λ</b> + t	5 ##	小点缸/车	2次評価
			亚出10年度	かた 古	RT-(((3	対策課へ事務移	<b>*</b> ;				拡大				
			十成16年及 計画整備は,			· 1 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1	3				現り				0
						して消防が行う。					方法				<u>○</u>
亚 成 1	0 ~ 2 1 年 1	度の方向性		が保み	WEENSE (	C (1HB) N-[1] )						委託			0
- 13% T	7 21+1	支切刀門圧									縮	32 11	小		0
											統合/	<b>終</b>			0
												/ 休	_	_	0
											176 IL	, ,	- 11		
		A = .	資機材の活田	. 点棆乃	び管理	埋について、自言	主防災細:	織の主体的	な取組がかっ	されるように	. アカ	ション	プラ	ンを作	成して
2 次 評	恤 委 員 名	会コメント	進めてくださ		J 11/2		ニレックへ川土川	195 IT-H J	2 Nevitativa - Or (	2.100000	, , ,		- /	. = 117/	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,

(投資	事	業)	事業	⊐	- F	1220	010				]	部	Ę	次	長	課	長
平成 1	1 7 全	E度	重	業	夕	t+h t=t	防災拠点整備事	<b>二</b> 業									
1 73%	' / -	r IX	<i>T</i>	*		-6-%	的久远杰正隔子	**									
	= 3117	Int T	T ( la														
_			<u> </u>		<u> </u>		エケナントフリ	<b>⊭</b> .2.	た生活理 <del>立</del> さんり			_		2014 14 - 14 - 14 - 14 - 14 - 14 - 14 - 1	17		
			まちつ		の目標	_	活気あふれる 安全と防災の研		な生活環境づくり			所	管 課	消防本部		o≢⊞	
総合政策				小			防災生活圏の鏨					FF.	管課長氏名		課・第二	市川	武夫
体体	. //世	· 來		細		2	<b>的火土百圈</b> 少型	色川	儿夫				入者氏名	-		ابرازاا	风大
事		業		期	問	亚战	 8年度~		投資臨時	☑ 投資 □	施陆	電	話番号			内線	4122
根数	JI.		令 '	要				i • -	芦屋市防災会議運営要 <b>総</b>						. 0 1 0	Now C	1122
実	_	施		<u>^</u> ≢		<u> </u>		• /	□ 一部委託	□ 全部委託			<b>補助金</b>		負担金		
委		,,,,	託				外郭団体委託		名称			_	託 <mark>委託内容</mark>		>17		
								こで	ある小学校区を防災生活	5圏と位置づけ					) 及び		
事	業	É	の	概	要	5 0	㎡の防災倉庫を	:設	置する。								
						平成	8年度から1小	学	咬づつに整備し,平成 <b>1</b>	4年度におい	ては, 2	基	(岩園小学校	・芦屋市	総合公園	) 整備	
									が整備され、概ね計画と		いる。						
事	業	É	の	現	! 状	平成	19年度におい	いて,	精道小学校に整備予定	₹							
			実現のた														
	手	-段及	び実施	内容	!												
				1114		LIC L N	H1. // 11 h										
			/± m ±6 1				防災拠点整備										
				_	え方・式		4.5万亩(京楼	Ε \	亚芹16年第7字建入	亚产 4 7 左车	/ 中/4 >	न	7世40年	/ 口+m \	교라	○左座	/ D += \
코스니	. <b>→</b>	L	(1)	年		-		()	平成16年度(実績)	平成 1 7 年度 0	(	+	Z <mark>成 1 8 年度</mark>	(日標)	平成「	9年度	(目標)
アウト 指	ΓЭ			_	標値		0		0	U			U				
相		標	<b>独田也</b>		標 名 え方・式												
			(2)	年			15年度(宝績	)	平成16年度(実績)	平成17年度	(宝績)	<u> 1</u>	<sup>2</sup> 成18年度	(日標)	亚成 1	9 年度	(目標)
			( 2 )		標値		, 1 3 千皮(天涯	į )	一成「0十及(天順)	十成17千区	(大順)	7	一成 1 0 千皮		T-13% 1	7 干皮	
2 🕸	<b>三</b> 業	成月	具(アウ									<u> </u>					
	- *	13.6.7	K() >	, , ,,,	<i>,</i>												
			対		象	各小	学校区に居住す	つるす	市民								
事業(	の目	的															
対 象	・意	区				At I	*********	- 7 -	七日12. 1.担果《古典》	- ). 1. \n\+\\\ = 1   1   1		( مابيل	-\n\+\L \- \	1 2 1=	7± // A =	* ~ Yhr Lilli	h.d
			意		図	谷小 活動	字仪区に居任す を実施し、飲料	る  水	市民は,大規模災害時間 兼用貯水槽から飲料水を	-は避難所とし -確保し. 被害	ての小字	校( る。	こ避難すると	ともに,	的災泪熚	.の)負機/	M.C.
			(対象を	主語	唇にして)	.,,,,,,		1.4.9	110 107 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17	7 PM (1 - 4 ) 10 C II			'				
大	ð		な	目	的	「自	分たちのまちは	自	分たちで守る」という♡	ち災意識の向上	と、被害	<b>の</b> ‡	<b>圣減</b>				
							15.17.67		15.1±./+				+	_15			
					(4)		指標名		指標値				考え方・	式			
	ι +		中「	間	(1)	地	域防災拠点整備	Ħ	現在8基整備								
アウ			出田七														
八 事業			成果指	示	(2)												
( 尹 未	₹ਹ																
			最終	成界	見 指 標	地	域防災拠点整備	Ħ	9基を目標とする								
芦屋市	节の	特色	色など補	足す	よる事項 しゅうしゅう												
3 事	業	費.	活動面	分	(コスト	)				平成18.4.1住民	基本台帳	1	世帯当り(円)	0	住民1人	当り(円)	0
事		業			構成%		15年度(決算	<u>(</u>	平成16年度(決算)	平成17年度	(決算)	i	歳出累計額(	決算)	事業費組	総額(決算	算+計画)
	-	L.	件	費	100.0%		3,7	14	4,710		3,163			-			-
		ļ.		費	0.0%			0	0		0						
内	訳亻	也部	門経	費										-			-
(千円	_		償却											-			-
	_	<u></u>		#	100.0%		3,7	14	4,710		3,163			-			-
		<u>国</u>		果								_					
	源「			等 "L													
(千円	d )   -			也	400.00			4.4	4 = 4 =		0.400						
27	<b>=</b> + □		段財法		100.0%		3,7		4,710		3,163			-			-
	動具			員 空	100.0%		0.	50	0.50		0.45						
			·臨時	_	400.00		^ -	<b>5</b> 0	0.50		0.45						
(人	)	=		Ħ	100.0%		0.	50	0.50		0.45						

	曲(ナェ								±π.	/ <del>**</del> -	6 11 -								
評	価	視	点						評	価チェ	ックリス							1次評価	2次評価
妥	目的	受当性(2	2 ~ 2)		事業の主				++ 1 <del>-=</del> +	ι <b>τ</b> ν <del> =</del> ι						ることができ	ない		
女									または貢献	なからい						は高くない	L-4-1-1	_	
		_ <b>→</b> `(o	. 4	1	市民二一			丁つべき事	<b>事業</b>							行う事業では			
当	市氏	ミニーズ(2	!~ 1)		<b>▶</b> □ =				F				ニースか	高いと	は言える	い,またはき		5	2
						数字で			***				- L A TIME I -		<del>-</del> 1.	•	把握	•	_
444	社会	環境変化	比(1~ 1)	Ш		りわる任务	会坂項(	り変化に	適応してい	15		⊻ 1	任会埌現	の変化	こにめわ	せた見直した	か必要		
性 6点	/直 生	性,緊急	hH-(1)		内容 東米を守	tた   ナ>   +	++>  +	キロの#	上命,安全 <sup>6</sup>	学が担	3 t> to to	1 Z						-	
0川		括 , 系心 括者(1~	. ,		事業を英事業意図								老が不束	女合 🗦	たけご:	益が一部に	伊宁		
有	又皿	111(1	1)						。 標値を設定				実績値ま				K.K.		
効	進捗	<b>状況(2~</b>	1)	1					こいると言え				之順に6 当初計画					3	3
性					画から遅れ				стосц				<u> </u>	1,5 5 ~	.10/3 114			J	5
4点	- 進抄	改善余均	也(1~ 1)		改善策あ	(1)	[									□特	まになし		
				V	比較でき	る団体か	がある		団体名	1					北較でき	る団体はな	l I		
	77	<b>├</b> (1 ~ 1	١		他団体の	数字を排	把握して	こいる	単位コス	٢				<b>V</b>	把握して	いない			
効	17	1-(1 1	)	<b>→</b>	□ 他回	団体よりこ	コストが	低い	□ 他団	体と同	同程度				也団体よ	りコストが高	۱J		
				高	い,または	は低い場合	合の理	由											
率								,	外郭団体へ									-1	-2
·	手段	₹(1 ~ 3)	)						られている			-				旦うべき部分		•	
		,							ない業務				,		,	対応可能であ 			
性									ない業務で	かる			嘱託 , 臨時 持に行っ			応可能である	5	-	
3点	コス	<b>卜削減取</b>	組(1~ 1)		コスト削減の内容	<b>火(ノ) 科</b> (リA	田みを1	すつ ていい	<u>ව</u>			∠ 1	付に打つ	(11/4)	<b>61</b>				
		÷ - +=	<i>/</i> F + •		PJA		Α	T C 47	年度に実		カ第1	l. おh	果を得た						
平成り	改善	きの 評	価 内 容 5 向 性	評価	価結果				牛反に夫 奴善の方向		ひ 美し		べいけんりょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かまかん かまかん かまかん かまかん かんしょう かんしょう かいしゅう しゅうしゅう しゅう			改善しな			
(評価カ	がないは	場合は記	己載不要)			V	В	性			11		7 74371475			かった		_	_
₩ +		о Æ	œ I-														総合評価	B	В
平成実施	ਰ ਹੈ ਟ	8 年 5 改 暮	度 に	課題	特になし	/					特にな	なし							
(	必	須								内容									
(	~		,							131									
5 42		広 / フ <i>/</i>	,							דיניו									
5 今後		応(アク	7ション)							rym									
	後の対		,	整備	数の適正	化				LIE									
現在言	後の対認識	してい	7ション)							L3 E									
現在 請市民,関	後の対認識 ほんしょう はいまま はいまま はいまま はいまま はいまま はいまま はいまま はいま	してい	7ション) る 課 題 系者の名称	各小	学校区に	居住する													
現在 請市民,関からの	後の対認識の	してい	7ション) る 課 題 系者の名称	各小資機	学校区に 材や防災	居住する 倉庫があ	あるこ。	とを, 全	での住民	が知り		ハない	`。もっ	と広報	そして	欲しい。			
現在 請市民,関	後の対認識	してい	7ション) る 課 題 系者の名称	各小資機	学校区に 材や防災	居住する 倉庫があ	あるこ。	とを,全 方法がわ	ての住民;	が知り		ハない	い。もつ	と広報	みをして	欲しい。			
現在 請市民,関からの	後の対認識の	してい 財債 見,要	7ション) る 課 題 系者の名称	各小資機	学校区に 材や防災	居住する 倉庫があ	あるこ。	とを,全	:ての住民; からない。	が知り		ハない	<b>い</b> もっ	と広報	みをして	欲しい。			
現在 請市民,関からの	後の対認識の話	してい	7ション) る課題 番の名称 要望内容 対応内容	各小等資機構場所	学校区に 材や防災	居住する 倉庫が <i>も</i> いても,	あるこ。	方法がわ	ての住民; からない。	が知り		ハない	<b>、</b> もっ	と広報	をして	欲しい。			
現在 請市民,関からの	後の対認には、意味を表現である。	してい 財債 見,要	7ション) る課題 系者の名称 要望 内容 対応内容 実施期限	各小等資機構場所	学校区に 材や防災	居住する 倉庫があ	あるこ。	とを, 全 方法がわ	ての住民だからない。	が知り		ハない	い。もっ	と広報	きをして	欲しい。			
現在 言市民, 関か要 望	後の対認には、意味を表現である。	してい 財債 見,要	7ション) る課題 番の名称 要望内容 対応内容	各小等資機構場所	学校区に 材や防災	居住する 倉庫が <i>も</i> いても,	あるこ。	方法がわ	:ての住民; からない。	が知り		<b>/</b> \ないない	い。もっ	と広報	をして	欲しい。			
現在 言市民, 関か要 望	後の対認・意見等	してい 市民,関係 意見,要 (1)	7ション) る課題 系者の名称 要望 内容 対応内容 実施期限	各小等機/場所	学校区に 材や防災	居住する 倉庫が <i>も</i> いても,	あるこ。	方法がわ	:ての住民; からない。	が知り		<b>いない</b>	い。もっ	と広報	みをして	欲しい。			
現在に関うの望まれる。	後の対認・意見等	してい 市民,関係 意見,要 (1)	7ション) る課題 系者の名称 要望内容 対応内容 対応内容 実施期限	各小等機/場所	学校区に 材や防災	居住する 倉庫があ いても, 年	あるこ。	方法がわ	ての住民;	が知り		<b>、、、ない</b>	· ・ もっ	と広報	をして	欲しい。			
現在に関うの望まれる。	後の対認・意見等	してい 市民,関係 意見,要 (1)	7ション) る課題 系者の名称 字対応内容 実施期限 対応内容 対応内容	各小公資機,場所,平成	学校区に 材や防災	居住する 倉庫があ いても, 年	あるこ。	方法がわ 月 月	ての住民からない。	が知り		ハない	い。もっ	と広報	きをして	欲しい。			
現在に関うの望まれる。	後の対認・意見等	してい 市民,関係 意見,要 (1)	7ション) る課題 系者の名称 要望内容 対応内容 対応内容 実施期限	各小公資機,場所,平成	学校区に 材や防災	居住する 倉庫があ いても, 年	あるこ。	方法がわ	:ての住民; からない。	が知り		<b>いない</b>	い。もっ	と広幸	をして	欲しい。			
現在に関っています。現在に関うの望います。	後の対認・は、自然の対象を表現である。	してい 市民,関係 意見,要 (1) (2)	7ション) る課題 系者の名称 字対応内容 実施期限 対応内容 対応内容	各小公資機,場所,平成	学校区に 材や防災	居住する 倉庫があ いても, 年	あるこ。	方法がわ 月 月	:ての住民; からない。	が知り		v\な\	い。もっ	と広報	をして	欲しい。			
現 市か要 課 へ の望 を を の の の の の の の の の の の の の	後の対 識 番見等 応 考え	してい 市民,関係 意見,要 (1) (2)	7ション) る課題 系者の名称 字対応内容 実施期限 対応内容 対応内容	各小公資機,場所,平成	学校区に 材や防災	居住する 倉庫があ いても, 年	あるこ。	方法がわ 月 月	ての住民;からない。	が知り		\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	い。もっ	と広報	みをして	欲しい。			
現在に関っています。現在に関うの望います。	後の対 識 番見等 応 考え	してい 市民,関係 意見,要 (1) (2)	7ション) る課題 系者の名称 字対応内容 実施期限 対応内容 対応内容	各小公資機,場所,平成	学校区に 材や防災	居住する 倉庫があ いても, 年	あるこ。	方法がわ 月 月	ての住民がからない。	が知り		\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	· もっ	と広報	をして		方向性	1次評価	7次評価
現 市か要 課 へ の望 を を の の の の の の の の の の の の の	後の対 識 番見等 応 考え	してい 市民,関係 意見,要 (1) (2)	7ション) る課題 系者の名称 字対応内容 実施期限 対応内容 対応内容	各小经 資場所 平成 平成	学校区に 材や防災	居住する。倉庫があいても、	あるこ。使用は	月月月	からない。	が知り		<b>いなし</b>	い。もっ	と広報	をして			1次評価	2次評価 ○
現 市か要 課 へ の望 を を の の の の の の の の の の の の の	後の対 識 番見等 応 考え	してい 市民,関係 意見,要 (1) (2)	7ション) る課題 系者の名称 字対応内容 実施期限 対応内容 対応内容	各資場所平成 平成 平成 精道	学校区に 材や防災を知って	居住する。倉庫があいても、年年年	あるこ。使用ご	方法がわ 月 月	からない。 ていく	が知り		, \な\	, po	と広報	をして	<u>今後の</u> 拡大	· 充 実	0	
現 市か要 課 へ の望 を を の の の の の の の の の の の の の	後の対 識 番見等 応 考え	してい 市民,関係 意見,要 (1) (2)	7ション) る課題 系者の名称 字対応内容 実施期限 対応内容 対応内容	各小 資場所 平成 平成 平成 188	学校区に、材や防災を知って	居住する 倉庫があれても、 年 年 年	あるこの使用があることを使用があることを使用があることを使用がある。	方法がわ 月 月	からない。 ていく	が知り		ハない	い。もっ	と広報	をして	<u>今後の</u> 拡大	· 充 実	• •	0
現市か要課へそ改し、一人では、「関のは、」のものものである。	後の対 諸 者見等 等 応 え ア	してい 市民,関係 (1) (2) (3) らイデア	7ション) る課題 系者の名称 字対応内容 実施期限 対応内容 対応内容	各 管場 平成 平成 平成 18 18	学校区に 対や防災で を知って 小学校の の年度から	居住する 倉庫があれても、 年 年 年	あるこの使用があることを使用があることを使用があることを使用がある。	方法がわ 月 月	からない。 ていく	が知り		ハない	い。もっ	と広報	をして	今後の 拡大 現 <i>状</i>	· 充 実 維 持 改 善	<b>○ • • •</b>	0
現市か要課へそ改し、一人では、「関のは、」のものものである。	後の対 諸 者見等 等 応 え ア	してい 市民,関係 (1) (2) (3) らイデア	7ション) る 課 名の内 実対 実対 実対 実対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実	各 管場 平成 平成 平成 18 18	学校区に 対や防災で を知って 小学校の の年度から	居住する 倉庫があれても、 年 年 年	あるこの使用があることを使用があることを使用があることを使用がある。	方法がわ 月 月	からない。 ていく	が知り		( ) ないない	い。もつ	と広報	をして	今後の扱う民籍	· 充 実 維 持 改 善 委 託 等		<ul><li>○</li><li>○</li><li>●</li></ul>
現市か要課へそ改し、一人では、「関のは、」のものものである。	後の対 諸 者見等 等 応 え ア	してい 市民,関係 (1) (2) (3) らイデア	7ション) る 課 名の内 実対 実対 実対 実対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実	各 管場 平成 平成 平成 18 18	学校区に 対や防災で を知って 小学校の の年度から	居住する 倉庫があれても、 年 年 年	あるこの使用があることを使用があることを使用があることを使用がある。	方法がわ 月 月	からない。 ていく	が知り		いなり	い。もつ	と広執	をして	今拡現方民縮統合/総	充 実       維 改 善       改 託 等       女 託 り       終期設定		O O O O
現市か要課へそ改し、一人では、「関のは、」のものものである。	後の対 諸 者見等 等 応 え ア	してい 市民,関係 (1) (2) (3) らイデア	7ション) る 課 名の内 実対 実対 実対 実対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実	各 管場 平成 平成 平成 18 18	学校区に 対や防災で を知って 小学校の の年度から	居住する 倉庫があれても、 年 年 年	あるこの使用があることを使用があることを使用があることを使用がある。	方法がわ 月 月	からない。 ていく	が知り		<b>いなし</b>	い。もつ	と広報	をして	今後の扱う民籍	充 実       維 改 善       改 託 等       女 託 り       終期設定		0 0 • 0
現市か要課へそ改し、一人では、「関のは、」のものものである。	後の対 諸 者見等 等 応 え ア	してい 市民,関係 (1) (2) (3) らイデア	7ション) る 課 名の内 実対 実対 実対 実対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実	各 管場 平成 平成 平成 18 18	学校区に 対や防災で を知って 小学校の の年度から	居住する 倉庫があれても、 年 年 年	あるこの使用があることを使用があることを使用があることを使用がある。	方法がわ 月 月	からない。 ていく	が知り		, ^なし	n, 60	と広報	見をして	今拡現方民縮統合/総	充 実       維 改 善       改 託 等       女 託 り       終期設定		O O O O
現市か要課へそ改し、一人では、「関のは、」のものものである。	後の対 諸 者見等 等 応 え ア	してい 市民,関係 (1) (2) (3) らイデア	7ション) る 課 名 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 が の か の か の か の か の か の か の か の か の か の	各 資場 平	学校区に災でを知って	居住する。 倉庫があり、 年 年 年 年 年 年 年 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	る使用がおります。	方法がわ 月 月 アンスト 月 アンスト 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田	からない。	が知り	得でい					今 拡現 方民 縮 た 上	充 集		00000
現 市か要 課 へ そ改 平 他 の の あ も は の の も の も の も も に も に に に に に に に に に に に に に	<b>後</b> の	してい 市民,関係 (1) (2) (3) るア	7ション) る 課 名 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 が の か の か の か の か の か の か の か の か の か の	各 資場 平 平 平 精 1 計 精 道	学校区に災でを知って	居住する。また。 年 年 年 本 年 年 本 本 と と 文 対 射 か 木 槽 の	る使用が表表を使用がある。	方法が 月 月 月 日 下海 あんり アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・ア	からない。	が知り	得でい		前は終了	LTC		今拡現方民縮統合/総	充 集		00000
現 市か要 課 へ そ改 平 他 の の あ も は の の も の も の も も に も に に に に に に に に に に に に に	<b>後</b> の	してい 市民,関係 (1) (2) (3) るア	7ショ 課 名 家 要 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対 実 対	各 資場 平 平 平 精 1 計 精 道	学校区に災でを知って	居住する。また。 年 年 年 本 年 年 本 本 と と 文 対 射 か 木 槽 の	る使用が表表を使用がある。	方法が 月 月 月 日 下海 あんり アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・ア	からない。 でいく ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	が知り	得でい		前は終了	LTC		今 拡現 方民 縮 た 上	充 集		00000

/ ±0 3/27 =	= 316 /	= <b>*</b>	- 1.	140006	200				÷п		\ <i>h</i>		-m	=
(投資	事 兼)	事業	コード	12200	J20				部	長	次	長	詸	長
平成17	7 任 度	車	業 名	†₩I\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	防災拠点整備事業									
- 13C 1 1	十汉	<del></del>	* 1	266	7.火灰杰正州于未									
1 == -	<del>414 1</del> 07 5	# / l* + \									<u> </u>			
		要(ドゥ)			Santa Santa Santa Santa Santa Santa Santa Santa Santa Santa Santa Santa Santa Santa Santa Santa Santa Santa Sa	1 of 2 d marks 2 2 2					Service 1			
			りの目標			かな生活環境づくり			所 :	管 課	消防本			
総合	計画		中	2	安全と防災の確保	ķ			771		警防第	1課・第2	2課	
政策	施策		<u>/</u>  \	2	防災生活圏の整備	抗実			所管課	長氏名	向堂 ·	晋治 ・	市川	武夫
体	系		細							者 氏 名				
事	業	斯		77 ct	8年度~	+几·次亚与D±	☑ 投資 □					2345	<b>山</b> 炉	4100
						投資臨時						2343	内線	4 1 2 2
根 拠						芦屋市防災会議運営要網				主体				
実	施	手	法	<b></b>	直営	□ 一部委託	□ 全部委託		□ 補	助金		負担金		
委		託	先		外郭団体委託	名称		□ 民間	委託 委	託内容				
				災害明	<b>寺において,住民</b>	による防災活動を支援す	<b>する</b>				•			
事	業	Ø	概 要			助救出用資機材を備えた		合宙を敷	借する					
7	*	0)	114. 32					<b>石 年 こ 正</b>	ин э ° о					
						、公園等に耐震性貯水棒								
						災整備事業として取り約	且む							
				自主隊	防災組織との連携	と育成強化								
事	業	の	現 状	市民の	のニーズにあった	適正配置								
_					と密着した防災普	- 及 啓 発								
	日的9	主珥のたね	500		с ш.н о леруусы.	X L 7L								
		実現のため												
	于段	及び実施内	公											
					防災拠点整備									
		結果指標				但し,事業費については,	公園や街路課点	など他部門	で負担	)				
		(1)				平成16年度(実績)				8年度	(日標)	平成 1	9年度(	日標)
アウト	-4 L	. ,			1拠点	一人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人	2 拠点		1 72%	1拠点	( 11.5.7	1 72%	- 1/2	H 13.7
			指標値		「拠点	_	2 7处从	\		一拠点				
指	標		指標名											
		結果指標	考え方・式											
		(2)	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成 1	8年度	(目標)	平成 1	9年度(	目標)
		, ,	指標値											
	类 ct E	里 (マウ)		_			1							
2 事														
2 事	* 17.A.Z	14(1)	, ,,											
2 事	<del>~</del> 13.6.2		•	ut. ⇒ /	2.0									
		対	•	地区信	注民									
2 事業の		対	•	地区位	住民									
	目的	対	•	地区信	住民									
事業の	目的	対	象				5摇							
事業の	目的	対意	象図			区を守る体制づくりのす	女援							
事業の	目的	対意	象			区を守る体制づくりのす	女援							
事業の対象・	目的意図	対 意 (対象を3	象 図 注語にして)	近隣伯	住民が実施する地									
事業の	目的	対意	象 図 注語にして)	近隣伯	住民が実施する地	区を守る体制づくりのま		i						
事業の対象・	目的意図	対 意 (対象を3	象 図 注語にして)	近隣伯	住民が実施する地	による防災活動を支援し		i						
事業の対象・	目的意図	対 意 (対象を3	象 図 注語にして)	近隣伯	住民が実施する地			:		考え方・	式			
事業の対象・	目的意図	対 意 (対象を3	象 図 注語にして) 目 的	近隣位	住民が実施する地 時において,住民 指標名	による防災活動を支援し 指標値				考え方・	式			
事業の対象・	目的 意図	対意(対象をまな	象 図 注語にして) 目 的	近隣位	住民が実施する地	による防災活動を支援し				<del>考え方・</del>	式			
事業の対象・大アウト	目前図	対意(対象をきな	象 型注語にして) 目 的	近隣位	住民が実施する地 時において,住民 指標名	による防災活動を支援し 指標値				考え方・	式			
事対対大ア成	目意 き 力指	対意(対象をまな	象 型注語にして) 目 的	近隣位	住民が実施する地 時において,住民 指標名	による防災活動を支援し 指標値				考え方・	式			
事業の対象・大アウト	目意 き 力指	対意(対象をきな	象 型主語にして) 目 的	近隣位	住民が実施する地 時において,住民 指標名	による防災活動を支援し 指標値				考え方・	式			
事対対大ア成ウト	目意 き 力指	対 意 (対象を3 な 中 間 成果指標	象 主語にして) 目 的 (1)	災害町地區	住民が実施する地 時において,住民 <b>指標名</b> 区防災拠点整備	による防災活動を支援し 指標値 2 3 箇所				考え方・	式			
事対対大ア成ウト	目意 き 力指	対 意 (対象を3 な 中 間 成果指標	象 型主語にして) 目 的	災害町地區	住民が実施する地 時において,住民 指標名	による防災活動を支援し 指標値				考え方・	式			
事対対大ア成ウト	目意 き 力指	対 意 (対象を3 な 中 間 成果指標	象 主語にして) 目 的 (1)	災害町地區	住民が実施する地 時において,住民 <b>指標名</b> 区防災拠点整備	による防災活動を支援し 指標値 2 3 箇所				考え方・	式			
事対対大ア成事業のト	目意 き カ指完 り図 ム標 ()	対 意 (対象を な 中 成果指標 最終	象 型主語にして) 目 的 (1) に (2)	災害甲地區	住民が実施する地 時において,住民 <b>指標名</b> 区防災拠点整備	による防災活動を支援し 指標値 2 3 箇所				考え方・	式			
事対対大ア成事業のト	目意 き カ指完 り図 ム標 ()	対 意 (対象を な 中 成果指標 最終	象 主語にして) 目 的 (1)	災害甲地區	住民が実施する地 時において,住民 <b>指標名</b> 区防災拠点整備	による防災活動を支援し 指標値 2 3 箇所				考え方・	式			
事対大ア成(事産	目意 き 力指完 の特部	対 意 対象を な 中 成果指標 最終成	象 型主語にして) 目 的 (1) に 果指標 こする事項	近隣信 災害甲 地區	住民が実施する地 時において,住民 <b>指標名</b> 区防災拠点整備	による防災活動を支援し 指標値 2 3 箇所	ン,被害の軽減							
事対 大 ア成事	目意 き 力指完 の特部	対 意 対象を な 中 成果指標 最終成	象 図 注語にして) 目 的 (1) に 果 指 標 足する事項	近隣6 災害即 地區	住民が実施する地 時において,住民 <b>指標名</b> 区防災拠点整備 区防災拠点整備	による防災活動を支援し 指標値 2 3 箇所 3 0 箇所	-, 被害の軽減 	基本台帳	1世帯	当り(円)	(	住民1人		0
事対大ア成(事産	目意 き 力指完 の特部	対 意(対象を3 中成果指標 最終が補足 をご補助配費	象 型 注語にして) 目 的 (1) に 果指標 で コスト 構成%	近隣6 災害即 地區	住民が実施する地 時において,住民 <b>指標名</b> 区防災拠点整備 区防災拠点整備	による防災活動を支援し 指標値 2 3 箇所	ン,被害の軽減	基本台帳	1世帯		(	_	当り(円) 総額(決算	
事対 大 ア成事	目意   き カ指完 の 業費	対 意(対象を な 中成果指標 最終が 活動配	象 型 注語にして) 目 的 (1) に 果指標 で コスト 構成%	近隣6 災害即 地區	住民が実施する地 時において,住民 <b>指標名</b> 区防災拠点整備 区防災拠点整備	による防災活動を支援し 指標値 2 3 箇所 3 0 箇所	-, 被害の軽減 	基本台帳	1世帯	当り(円)	(	_		
事対 大 ア成(事 産 事)	自意 き カ指完 の業 の 業 の 特に  一	対 意(対象を3 中成果指標成 を活動配費費	象 型主語にして) 目 的 (1) に果指標 では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	近隣6 災害即 地區	住民が実施する地時において、住民 指標名 区防災拠点整備 区防災拠点整備	による防災活動を支援し 指標値 2 3 箇所 3 0 箇所 平成 1 6 年度(決算) 3,659	-, 被害の軽減 	基本台帳(決算)	1世帯	当り(円)	(	_		
事対 大 ア成(事業 下 る 事	日意   き カ指完 の 業 人事	対 意対な 中成 最終 を 活動 費費	象 図注語にして) 目 的 (1) (2) に果指標 では、「コスト」 構成% 100.0% 0.0%	近隣6 災害即 地區	住民が実施する地 時において、住民 <b>指標名</b> 区防災拠点整備 区防災拠点整備 15年度(決算) 3,022	による防災活動を支援し 指標値 2 3 箇所 3 0 箇所 平成 1 6 年度(決算) 3,659	-, 被害の軽減 	基本台帳 (決算) 3,163	1世帯	当り(円)	(	_		
事対 大 ア成(事	日意   き カ指元 の 業 人事他   の   人事他   日意   日恵   日恵   日恵   日恵   日恵   日恵   日恵	対 意対な 中成最終補 が 作業門 の で が の の の の の の の の の の の の の の の の の	象 図 注語にして) 目 的 (1) 2) 果指標 子(コスト) 構成% 100.0%	近隣6 災害即 地區	住民が実施する地 時において、住民 <b>指標名</b> 区防災拠点整備 区防災拠点整備 15年度(決算) 3,022	による防災活動を支援し 指標値 2 3 箇所 3 0 箇所 平成 1 6 年度(決算) 3,659	-, 被害の軽減 	基本台帳 (決算) 3,163	1世帯	当り(円)	( 決算) -	事業費組		
事対 大 ア成(事	目意   き カ指完 の 業 人事他減的図	対 意対な 中 成 最 な 活 件業門償 標 成 補 配費費費費	象 図 注語にして) 目 的 (1) 2) 果指標 分(コスト) 構成% 100.0%	災害即地區	住民が実施する地 時において,住民 <b>指標名</b> 区防災拠点整備 区防災拠点整備 15年度(決算) 3,022 0	による防災活動を支援し 指標値 23箇所 30箇所 平成16年度(決算) 3,659 0	-, 被害の軽減 	基本台帳 (決算) 3,163 0	1世帯	当り(円)	) 決算) ·	事業費組		
事対 大 ア成(事	日意 き カ指完 の 業 人事他減合的図 ム標了 特 費業 一部価	対 意対な 中 成 最 な 活 件業門償 作業門償 番 で 一 で で で で で で で で で で で で で で で で で	象 図注語にして) 目 的 (1) 2) 果指標 分(コスト) 構成% 100.0%	災害即地區	住民が実施する地 時において、住民 <b>指標名</b> 区防災拠点整備 区防災拠点整備 15年度(決算) 3,022	による防災活動を支援し 指標値 2 3 箇所 3 0 箇所 平成 1 6 年度(決算) 3,659	-, 被害の軽減 	基本台帳 (決算) 3,163	1世帯	当り(円)	( 決算) -	事業費組		
事対 大 ア成(事	目意   き カ指完 の 業 人事他減的図	対 意対な 中 成 最 な 活 件業門償 ・ 保却	象 図 注語にして) 目 的 (1) 2) 2 果指標 分(コスト) 構成% 100.0%	災害即地區	住民が実施する地 時において,住民 <b>指標名</b> 区防災拠点整備 区防災拠点整備 15年度(決算) 3,022 0	による防災活動を支援し 指標値 23箇所 30箇所 平成16年度(決算) 3,659 0	-, 被害の軽減 	基本台帳 (決算) 3,163 0	1世帯	当り(円)	) 決算) ·	事業費組		
事対 大 ア成 事 声 所 ( 事 )	日意 き カ指完 の 業 人事他減合的図 ム標了 特 費業 一部価	対 意対な 中 成 最 な 活 件業門償 作業門償 番 で 一 で で で で で で で で で で で で で で で で で	象 図 注語にして) 目 的 (1) 2) 2 果指標 分(コスト) 構成% 100.0%	災害即地區	住民が実施する地 時において,住民 <b>指標名</b> 区防災拠点整備 区防災拠点整備 15年度(決算) 3,022 0	による防災活動を支援し 指標値 23箇所 30箇所 平成16年度(決算) 3,659 0	-, 被害の軽減 	基本台帳 (決算) 3,163 0	1世帯	当り(円)	) 決算) ·	事業費組		
事対 大 ア成(事	目意 き カ指完 の 業 人事化減合国市的図 ム標了 特 費業 高価	対 意対な 中 成 最 な 活 件業門償・債・債・債・債・債・債・債・債・債・債・債・債・債・債・債・債・債・債・債	象型注語にして) 目 的 (1) (2) 注集指標 でする事項 分(コスト) 構成% 100.0% 100.0%	災害即地區	住民が実施する地 時において,住民 <b>指標名</b> 区防災拠点整備 区防災拠点整備 15年度(決算) 3,022 0	による防災活動を支援し 指標値 23箇所 30箇所 平成16年度(決算) 3,659 0	-, 被害の軽減 	基本台帳 (決算) 3,163 0	1世帯	当り(円)	) 決算) ·	事業費組		
事対 大 ア成 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下	目意 き カ指完 の 業 人事他減合国市そ的図 ム標了 特 費業 剖価	対 意対な 中 成 最 な 活 件業門償 ・ 債の で で で で で で で で で で で で で で で で で で	象図 注語にして) 目 的 (1) (2) 注果指標 マする事項 分(コスト) 構成% 100.0% 100.0%	災害町 地區 中成	住民が実施する地 時において、住民 指標名 区防災拠点整備 区防災拠点整備 15年度(決算) 3,022 0	による防災活動を支援し 指標値 23箇所 30箇所 平成16年度(決算) 3,659 0	-, 被害の軽減 	基本台帳 (決算) 3,163 0	1世帯	当り(円)	(決算)	事業費約		
事対 大 ア成(事	日意 き カ指元 の 業 人事他減合国市を一的図 ム標了 特費業 部値	対意対な中成最が活件業門償・債の財産が通過である。	象図注語にして) 目 的 (1) (2) は果指標 ではずる事項 分(コスト) 構成% 100.0% 100.0%	災害町 地區 中成	住民が実施する地 時において,住民 指標名 区防災拠点整備 で防災拠点整備 15年度(決算) 3,022 0 3,022	による防災活動を支援し 指標値 2 3 箇所 3 0 箇所 平成 1 6 年度(決算) 3,659 0	-, 被害の軽減 	基本台帳 (決算) 3,163 0	1世帯	当り(円)	) 決算) ·	事業費約		
事対 大 ア成(事	日意 き カ指元 の 業 人事他減合国市そ一職的図 ム標了 特費業 剖価	対意対な中成最が活件業門償の財産の財産の財産の財産の財産の対象を	象図 注語にして) 目 的 (1) (2) 法果指標 子(コスト) 構成% 100.0% 100.0%	災害町 地區 中成	住民が実施する地 時において、住民 指標名 区防災拠点整備 区防災拠点整備 15年度(決算) 3,022 0	による防災活動を支援し 指標値 23箇所 30箇所 平成16年度(決算) 3,659 0	-, 被害の軽減 	基本台帳 (決算) 3,163 0	1世帯	当り(円)	(決算)	事業費約		
事対 大 ア成(事 芦 3事 内( 財( 活 業	日意 き カ指元 の 業 人事他減合国市そ一職嘱的図 ム標了 特費業   剖価   ・	対意対な中成最が活件業門償・債の財産が通過である。	象図 注語にして) 目 的 (1) (2) 注果指標 子(コスト) 構成% 100.0% 100.0%	災害町 地區 中成	住民が実施する地 時において,住民 指標名 区防災拠点整備 で防災拠点整備 15年度(決算) 3,022 0 3,022	による防災活動を支援し 指標値 2 3 箇所 3 0 箇所 平成 1 6 年度(決算) 3,659 0	-, 被害の軽減 	基本台帳 (決算) 3,163 0	1世帯	当り(円)	(決算)	事業費約		

	コ(ナェ		-						±π.	/エィ _		1						4 N= += /=	0.15 AT /T
評	価	視	点		市状の土	- 디션/ri	IZ\$-∞-	<b>5</b> Z	評'	加ナェ	ックリス		** ~ □ **	<b>51</b> →	⊃!=#÷	z ー レが ボナユ	21.1	1次評価	2次評価
妥	目的	妥当性(2	2 ~ 2)		事業の主 事業成里				または貢献	ŧが戸ι		-		-		ることができな :高くない	¥61		
					市民ニー					V /J ,I⊟) (						<u>同、ない</u> fう事業では	t:1.1		
	市民	ニーズ(2	~ 1)	1	→ □ =			J , (C <del>J</del>	- *							) ず来 ciる い,または未		•	
当	11-20	_ , ,(_	٠,			数字で		ている	<u></u>				, 1, 3 I	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	л п г с с		把握	3	2
-	÷1.4	T= 1 + /1	.//. /)						<u></u>	13		二社	会環境の	D変化	にあわt	せた見直しか			
性	社会	環境変化	公(1~ 1)		内容				•••••							•••••			
6点	優先	性,緊急	性(1)	<b>~</b>	事業を実	施しなけ	れば,	市民の生	上命,安全€	等が損	なわれ	る							
	受益	者(1~	1)		事業意図							受益者	が不整に	合 , ま;	たは受益	益が一部に限	定		
有	谁挑	状況(2~	1)	1					票値を設定				績値また						
効	~.,	<i>D</i> ( <i>D</i> 0)	/						こいると言え	える	L	当	初計画か	いら遅れ	れが出て	こいる		3	3
性	- 進捗	改善余地	也(1~ 1)		画から遅れ		//る場	合									I- +\ I		
4点					改善策あ 比較でき		<b>ホ</b> ス		団体名					7 H	ができ	<u>: □ 符</u> る団体はない	になし		
					他団体の			-112	凹体石 単位コス	<u> </u>	T				1繋でき		1		
効	コスト	h(1 ~ 1	)		▶ □ 他国				十世コス		記程度		i			ハるい リコストが高い	.1		
745					い,または					114-01-	31±1X				3 PM PM 65				
									外郭団体へ	委託	している	業務	について					4	4
率	∓ FЛ	(1 ~ 3)			正規職員	による執	行が義	務づけ	られている			□ 個	人,家庭	, 地垣	は等が担	うべき部分だ	がある	1	-1
	于权	(1~ 3)			民間(企業	業, NPO等	∮)では	対応でき	ない業務	である		] 民	間(企業	, NPO	等)で対	応可能であ	3		
性									ない業務で	である						の可能である			
3点	コスト	卜削減取約	組(1~ 1)		コスト削洞	域の取り組	みを行	すっている	3			] 特	に行って	いない	1				
					内容		•				7L ++ 1	**	14/0+						
平成 16	6年度	きの評	価 内 容 5 向 性	≐亚	価結果	Ш	Α		年度に実 対善の方向				を得た	<b>+</b> >		ルギーか			
(評価か	ない場	場合は記	記載不要)	п	四元	<b>✓</b>	В	性			以番し	יובוזי ,	効果がな	7		改善しな かった			
																	総合評価	Α	В
平成	1	8 年	度に	課題	適所に公	:共施設が	ぶない			改善	山手幹	線道	路建設に	ことも	なう土	地利用	計1四	, ,	
実施	9 a 必	改善額		<b></b>						内容									
`			,																
5 今後	色の対	応(アク	7ション)				· ·	Substitute 3		A 646		.=#. 3.0	, .						
18 <del>/</del> ÷	77 <u>≐±</u> ⊾ I	<b>ア</b> ハ	フ 辛田 日百		ニーズの	高いとこ	ろに,	適当な	公園,集	会所等	公共施	設が	ない						
况 1生 前	65 直眼 (	) ( (1	る課題																
市民、関	係者市	1日、関係	系者の名称	地域	住民														
からの	辛日					r-1- /// 1-1-=n	- AH H	11											
要望	等	見,罗	要望内容	身近	な所に、	<b>协</b> 災 施設	の設値												
			対応内容	協設	- 22 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	の確保													
		(1)				O THE IN													
			実施期限	平成		年													
課題·要	望等	(2)	容内流校					月											
^	<del>+</del> 15	(2)	V1101111	配備	資機材の	見直し		Л											
へのす		ŀ				_	1												
	יטיע ני.		実施期限			見直し年		月											
	יטיו ני.					_													
	יטיו, ני.	(3)	実施期限	平成		_													
	. μυν		実施期限 対応内容	平成		年		月											
その他	考え	(3) られる	実施期限 対応内容	平成		年		月											
その他改善の	考え	(3) られる	実施期限 対応内容	平成		年		月											
	考え	(3) られる	実施期限 対応内容	平成平成		年		月月		÷. 7 (4	-Hu 3 2	ln oot	takk hoto			今後の			
	考え	(3) られる	実施期限 対応内容	平成平成	及び自主	年		月月安心し	て活用で	きる体	常制づく	りのオ	構築			拡大・	充 実	0	0
	考え	(3) られる	実施期限 対応内容	平成平成住民自主	及び自主防災組織	年 年 防災組織 の組織率	の向_	月月安心し		きる体	が制づく	りのネ	構築			拡大・現状	<ul><li>充 実</li><li>維 持</li></ul>	○ ●	0
改善の	考えのアイ	(3) られる (デア	実施期限対応内容実施期限	平成平成住自主成	及び自主 防災組織 18年度	年                   	の向」 災対第	月月安心し		きる体	が制づく	りのネ	構築			拡 大 · 現 状 方 法	充 実維 持改 善	<ul><li>○</li><li>○</li><li>○</li></ul>	<ul><li>○</li><li>○</li><li>●</li></ul>
改善の	考えのアイ	(3) られる (デア	実施期限 対応内容	平成平成住自主成	及び自主 防災組織 18年度	年                   	の向」 災対第	月月安心し		きる体	が	りのネ	構築			拡大・現状	充 実維 持改 善	0 0 0	0
改善の	考えのアイ	(3) られる (デア	実施期限対応内容実施期限	平成平成住自主成	及び自主 防災組織 18年度	年                   	の向」 災対第	月月安心し		きる体	制づく	り <i>の</i> ネ	構築			拡 大 現 状 方 法 民 間 委	充 実維 持改 善い	<ul><li>O</li><li>O</li><li>O</li><li>O</li></ul>	O O O
改善の	考えのアイ	(3) られる (デア	実施期限対応内容実施期限	平成平成住自主成	及び自主 防災組織 18年度	年                   	の向」 災対第	月月安心し		きる体	常制づく	り <i>の</i> ネ	<b>溝築</b>			拡 大 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	充集故話が託期い	<pre>0</pre>	0 0 0
改善の	考えのアイ	(3) られる (デア	実施期限対応内容実施期限	平成平成住自主成	及び自主 防災組織 18年度	年                   	の向」 災対第	月月安心し		きる体	常制づく	り <i>の</i> ネ	構築			拡 大	充集故話が託期い	<pre>0</pre>	0 0 0 0
改善の	考えのアイ	(3) られる (デア	実施期限対応内容実施期限	平成平成住自主成	及び自主 防災組織 18年度	年                   	の向」 災対第	月 タルし		きる体	が制づく	り <i>の</i> ネ	<b>講</b> 築			拡 大	充集故話が託期い	<pre>0</pre>	0 0 0 0
平成 1 5	考え D ア イ 9 ~ 2	(3) られる (デア 1年度(	実施期限 対応内容 実施期限 の方向性	平     住自平計       防災	及び自主 防災組織 18年度 整備は,	年  「  「  「	の向」 災対第 課	月安心した課へ事	務移管					ヽてア	クション	拡 大	充 実 排 改 善 等 小 財 休 止	0 0 0 0 0	00000
平成 1 5	考え D ア イ 9 ~ 2	(3) られる (デア 1年度(	実施期限 対応内容 実施期限 の方向性	平成住自平計	及び自主 防災組織 18年度 整備は,	年  「  「  「	の向」 災対第 課	月安心した課へ事	務移管					ハてア	クション	拡 大 状	充 実 排 改 善 等 小 財 休 止	0 0 0 0 0	00000
平成 1 5	考え D ア イ 9 ~ 2	(3) られる (デア 1年度(	実施期限 対応内容 実施期限 の方向性	平     住自平計       防災	及び自主 防災組織 18年度 整備は,	年  「  「  「	の向」 災対第 課	月安心した課へ事	務移管					ヽてア	クション	拡 大 状	充 実 排 改 善 等 小 財 休 止	0 0 0 0 0	00000

( — f	般事業	事業	コード	12400	020				部	長	次	長	課
( /	X + x	) <del></del>	<del>- '</del>	12400	020				TIP TIP	K	<i>/</i> /	K	IIA L
平成	17年度	事	業 名	自主	防災組織の育成・支	5援事業							
1	事業概	要(ドゥ)											
第32	欠芦屋市	まちづく	りの目標	1	活気あふれる豊か	な生活環境づくり			cc **	-⊞	消防本部	5	
総台	合 計 画	Į –	中	2	安全と防災の確保				所 管	課	警防第1	課・第2	2課
	<b>能</b> 策		<u>/</u> \\		防災意識の向上				所管課長	長氏名	向堂 晋	治·	市川 武夫
体	系		<u>-</u> 細						記入者				7777
事	業			ਜ਼-1	8年度~	4 <b>₹</b> ₩ ₩ ₩ ₩ ₩	☑ 経常 □	吃出			$\frac{32-2}{32-2}$		中4日 4100
					0 午及 ~	経常臨時	☑ 経常 □	臨時			3 2 - 2	343	内線 4122
	拠法		要 綱 等		1. 37					主体		<b>5</b> 1= 4	
実	施			V		一部委託	□ 全部委託		□ 補助			負担金	
委		託	先		外郭団体委託	名称		□ 民間	委託 <mark>委</mark> i	千内 容			
				組織	化された自主防災	組織に対して,訓練を追	通じて資機材の]	取扱を指	導する				
事	業	の	概 要	災害	時における、初期	消火・救助・救出・救討	護・避難等の方	法を指導	する				
				消防	職員及び消防団員	は、各種訓練等を通じて	1自主防災組織	と接触し	<b>資機材</b>	の取扱っ	片法及び		
事	業	Ø	現 状		初動時における役				, 54 154 17		11110		
<del></del>				火台	の割らになりのは	刊寺で11号りる							
		実現のため											
	手段	及び実施内	百谷										
			指標名	訓練	指導回数								
		結果指標				平成16年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成 1 8	8年度(	目標)	平成 1	9年度(目標)
			指標値		48回	38回	39回	]		48回			48回
アゥ	ウトプット		単位コスト		142, 000	119, 843	65, 718						* *
指	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		指標名		112,000	110,010	00,110						
18	175				1「午班(安建)	亚代16年度(安建)	亚世 1 7 年度	/ 宝/丰 \	ਜ਼-1 (	0 年度 /	口抽~	亚击 1	0 年度 / 日博 >
		結果指標			15年及(美額)	平成16年度(実績)	平成17年度	(夫組)	平成 18	5 年及(	日信)	平成「	9年度(目標)
		(2)	指標値										
			単位コスト										
2	事業成	果(アウト	<u> カム)</u>										
		<del>3-1</del>	会		防災組織の住民								
		対	家		1万 1万 水日 絹取り 11十 H大								
			~~.	11 -1-1	000000000000000000000000000000000000000								
事業	の目的	対象力				832世帯 受 益 数	(b) 32,	944世帯	比:	率 (b	÷ a) %		8 3 %
			バー率	対象	<mark>き数 (a)</mark> 39,	832世帯 <mark>受益数</mark>		944世帯			÷ a) %		8 3 %
	の目的			対象自主	き数 (a) 39, 防災組織の住民は	832世帯 <mark>受 益 数</mark> , 資機材の取扱を習得し					-		
		意	バ - 率 図	対象自主	<mark>き数 (a)</mark> 39,	•					-		
		意		対象自主	き数 (a) 39, 防災組織の住民は	•					-		
対 象	マ・意図	意 (対象を言	バ - 率 図 E語にして)	対象自主[郷土]		,資機材の取扱を習得し					-		
		意	バ - 率 図 E語にして)	対象自主[郷土]		•					-		
対 象	マ・意図	意 (対象を言	バ - 率 図 E語にして)	対象自主[郷土]		,資機材の取扱を習得し					-		
対 象	マ・意図	意(対象を言	バー 率 図 E語にして) 目 的 指標名	対象自主に郷土に自主に	数(a) 39, 防災組織の住民は、 防護精神を養う 防災組織の構築と ダーの育成	, 資機材の取扱を習得し 郷土防護の精神の向上	して, 災害時に				-		
対 象	マ・意図	意(対象を言	バー 率 図 E語にして) 目 的 指標名	対象自主に郷土に自主に	数(a) 39, 防災組織の住民は、 防護精神を養う 防災組織の構築と ダーの育成	,資機材の取扱を習得し	して, 災害時に				-		
対 象	マ・意図	意 (対象を な 中間成果	バー 率 図 E語にして) 目 的 名 考え方・式	対 <b>家</b> 自主に 郷土に 自主に りー。	表数 (a) 39, 防災組織の住民は, 防護精神を養う 防災組織の構築と ダーの育成 主防災組織におけ	, 資機材の取扱を習得し 郷土防護の精神の向上	して, 災害時に	「自分た		は,自分	かたちで	守る」の	
大	· 意図	意 (対象を主 な 中間成果 指 標	バー 率 図 E語にして) 目 約 指標 名 考え方・式 度	対 <b>第</b> 自主 [郷土 [ 自主 ] リー	<ul> <li>数(a) 39,</li> <li>防災組織の住民は、功護精神を養う</li> <li>防災組織の構築と</li> <li>ダーの育成</li> <li>主防災組織におけ</li> <li>15年度(実績)</li> </ul>	, 資機材の取扱を習得し 郷土防護の精神の向上 る指導的立場の要員確保	して, 災害時に	「自分た 「 <u>実績</u> 」	ちのまち	は,自分	けたちでや	守る」 <i>の</i> 平成 1	
対 大 ア ウ	· · 意図 き · · トカ <i>L</i>	意 (対象を3 な 中間成果 指	ボー 率 図	対象       自主[郷土]       自主[       少一。       各自:       平成	<ul> <li>数(a) 39,</li> <li>防災組織の住民は、功護精神を養う</li> <li>防災組織の構築と</li> <li>ダーの育成</li> <li>主防災組織におけ 15年度(実績) 5,415人</li> </ul>	、資機材の取扱を習得し 郷土防護の精神の向上 る指導的立場の要員確保 平成16年度(実績)	、 災害時に	「自分た 「 <u>実績</u> 」	ちのまち	は,自分 8 <b>年度</b> (	けたちでや	守る」 <i>の</i> 平成 1	9年度(目標)
大	· 意図	は対象を当ない。	<ul><li>ボー本図で)</li><li>おおります</li><li>おおります</li><li>おおります</li><li>おおります</li><li>おおります</li><li>おおります</li><li>おおります</li><li>おおります</li><li>おおります</li><li>おおります</li><li>おおります</li><li>おおります</li><li>おおります</li><li>おおります</li><li>おおります</li><li>おおります</li><li>おおります</li><li>おおります</li><li>おおります</li><li>おおります</li><li>おおります</li><li>おおります</li><li>おおります</li><li>おおります</li><li>おおります</li><li>おおります</li><li>おおります</li><li>おおります</li><li>おおります</li><li>おおります</li><li>おおります</li><li>おおります</li><li>おおります</li><li>おおります</li><li>おおります</li><li>おおります</li><li>おおります</li><li>おおります</li><li>おおります</li><li>おおります</li><li>おおります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li><li>およります</li></ul>	対象       自主[郷土]       自主[       少合       平成       自主[	<ul> <li>数(a) 39,</li> <li>防災組織の住民は、功護精神を養う</li> <li>防災組織の構築と</li> <li>ダーの育成</li> <li>主防災組織におけ</li> <li>15年度(実績)</li> </ul>	、資機材の取扱を習得し 郷土防護の精神の向上 る指導的立場の要員確保 平成16年度(実績)	、 災害時に	「自分た 「 <u>実績</u> 」	ちのまち	は,自分 8 <b>年度</b> (	けたちでや	守る」 <i>の</i> 平成 1	9年度(目標)
対 大 ア ウ	· · 意図 き · · トカ <i>L</i>	意 (対象を な 中間成果 指 標 最終成果	ボー を 図 が 名式度値名式	対 多 自主に 郷土に 自主に 子自: 平成 自主に	数(a) 39, 防災組織の住民は、 防護精神を養う 防災組織の構築と ダーの育成 主防災組織におけ 15年度(実績) 5,415人 防災組織率	, 資機材の取扱を習得し 郷土防護の精神の向上 る指導的立場の要員確保 <mark>平成16年度(実績)</mark> 6,385人	で、災害時に R 平成 1 7 年度 8,059 <i>)</i>	「自分た <mark>(実績)</mark>	ちのまち 平成18	は、自分 8 年度( 0,000 <i>)</i>	<b>目標)</b> 、	<b>平成 1</b>	<mark>9 年度(目標)</mark> 0,000人
対 大 ア ウ	· · 意図 き · · トカ <i>L</i>	意 (対象を な 中間成果 指 標 最終成果	ボー を 図 が 名式度値名式度	対象自主に郷土に自主に各自主に本の方式を対している。	数(a) 39, 防災組織の住民は、 防護精神を養う 防災組織の構築と ダーの育成 主防災組織におけ 15年度(実績) 5,415人 防災組織率	<ul> <li>資機材の取扱を習得し</li> <li>郷土防護の精神の向上</li> <li>る指導的立場の要員確保</li> <li>平成16年度(実績)</li> <li>6,385人</li> </ul> 平成16年度(実績)	マスティア (東京) マスティア (東京) マスティア (東京) 17年度 (東京) 17年度 (東京) マスティア (東京) ア (東京) ア (東京) ア (東ア) ア (東ア) ア (東京) ア (東ア)	(実績) (実績)	ちのまち	は、自分 8 年度( 0,000 <i>)</i>	<b>目標)</b> 、	<b>平成 1</b>	9年度(目標)
対 大 ア ウ	· · 意図 き · · トカ <i>L</i>	意 (対象を な 中間成果 指 標 最終成果	ボー を 図 が 名式度値名式	対象自主に郷土に自主に各自主に本の方式を対している。	数(a) 39, 防災組織の住民は、 防護精神を養う 防災組織の構築と ダーの育成 主防災組織におけ 15年度(実績) 5,415人 防災組織率	, 資機材の取扱を習得し 郷土防護の精神の向上 る指導的立場の要員確保 <mark>平成 1 6 年度(実績)</mark> 6,385人	で、災害時に R 平成 1 7 年度 8,059 <i>)</i>	(実績) (実績)	ちのまち 平成18	は、自分 8 年度( 0,000 <i>)</i>	<b>目標)</b> 、	<b>平成 1</b>	<mark>9 年度(目標)</mark> 0,000人
対 大 ア指	・ 意 図 ・ トカ <i>L</i> 標	意 意 対象を 中間 一 指 最終成標 指	ボー し	対象自主にリークを対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	数(a) 39, 防災組織の住民は、 防護精神を養う 防災組織の構築と ダーの育成 主防災組織におけ 15年度(実績) 5,415人 防災組織率	<ul> <li>資機材の取扱を習得し</li> <li>郷土防護の精神の向上</li> <li>る指導的立場の要員確保</li> <li>平成16年度(実績)</li> <li>6,385人</li> </ul> 平成16年度(実績)	マスティア (東京) マスティア (東京) マスティア (東京) 17年度 (東京) 17年度 (東京) マスティア (東京) ア (東京) ア (東京) ア (東ア) ア (東ア) ア (東京) ア (東ア)	(実績) (実績)	ちのまち 平成18	は、自分 8 年度( 0,000 <i>)</i>	<b>目標)</b> 、	<b>平成 1</b>	<mark>9 年度(目標)</mark> 0,000人
対 大 ア指	・ 意 図 ・ トカ <i>L</i> 標	意 意 対象を 中間 一 指 最終成標 指	ボー を 図 が 名式度値名式度	対象自主にリークを対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	数(a) 39, 防災組織の住民は、 防護精神を養う 防災組織の構築と ダーの育成 主防災組織におけ 15年度(実績) 5,415人 防災組織率	<ul> <li>資機材の取扱を習得し</li> <li>郷土防護の精神の向上</li> <li>る指導的立場の要員確保</li> <li>平成16年度(実績)</li> <li>6,385人</li> </ul> 平成16年度(実績)	マスティア (東京) マスティア (東京) マスティア (東京) 17年度 (東京) 17年度 (東京) マスティア (東京) ア (東京) ア (東京) ア (東ア) ア (東ア) ア (東京) ア (東ア)	(実績) (実績)	ちのまち 平成18	は、自分 8 年度( 0,000 <i>)</i>	<b>目標)</b> 、	<b>平成 1</b>	<mark>9 年度(目標)</mark> 0,000人
対 大 ア指	・ 意 図 ・ トカ <i>L</i> 標	意 意 対象を 中間 一 指 最終成標 指	ボー し	対象自主にリークを対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	数(a) 39, 防災組織の住民は、 防護精神を養う 防災組織の構築と ダーの育成 主防災組織におけ 15年度(実績) 5,415人 防災組織率	<ul> <li>資機材の取扱を習得し</li> <li>郷土防護の精神の向上</li> <li>る指導的立場の要員確保</li> <li>平成16年度(実績)</li> <li>6,385人</li> </ul> 平成16年度(実績)	マスティア (東京) マスティア (東京) マスティア (東京) 17年度 (東京) 17年度 (東京) マスティア (東京) ア (東京) ア (東京) ア (東ア) ア (東ア) ア (東京) ア (東ア)	(実績) (実績)	ちのまち 平成18	は、自分 8 年度( 0,000 <i>)</i>	<b>目標)</b> 、	<b>平成 1</b>	<mark>9 年度(目標)</mark> 0,000人
対 大 ア指 戸 屋	・意図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	意 意 対 な 中指 最終 長終 長線 大線 大線 大線 大線 大線 大線 大線 大線 大線 大	ボー は	対象自郷自生の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	数(a) 39, 防災組織の住民は、 防護精神を養う 防災組織の構築と ダーの育成 主防災組織におけ 15年度(実績) 5,415人 防災組織率	<ul> <li>資機材の取扱を習得し</li> <li>郷土防護の精神の向上</li> <li>る指導的立場の要員確保</li> <li>平成16年度(実績)</li> <li>6,385人</li> </ul> 平成16年度(実績)	マスティア (東京) マスティア (東京) マスティア (東京) 17年度 (東京) 17年度 (東京) マスティア (東京) ア (東京) ア (東京) ア (東ア) ア (東ア) ア (東京) ア (東ア)	(実績) (実績)	ちのまち 平成18	は、自分 8 <b>年度(</b> 0,000 <i>月</i> 8 <b>年度(</b>	<b>目標)</b> 、	平成 1 平成 1	<mark>9 年度(目標)</mark> 0,000人
対 大 ア指 芦 屋	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	意 意 対 な 中指 最終 成成 果標 も を 活動配	ア を 図 で	対象自郷自工の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	表 数 (a) 39,  防災組織の住民は、 防災組織の構築と対  が災組織の構築と対  グーの育成 主防災組織におけ 15年度(実績) 5,415人  防災組織率  15年度(実績) 73.9%	, 資機材の取扱を習得し 郷土防護の精神の向上 る指導的立場の要員確保 平成16年度(実績) 6,385人 平成16年度(実績) 83.8%	R 平成17年度 8,059 <i>)</i> 平成17年度 85.0	(実績) (実績) (実績) %	<b>平成1</b> 8 平成1 8 住民1人当	は、自分 8 <b>年度(</b> 0,000 <i>分</i> 8 <b>年度(</b>	目標) 目標)	平成 1 平成 1	9年度(目標) 0,000人 9年度(目標)
対 大 ア指 戸 屋	きりから、おおおり、おおり、おおり、おおり、おおり、おおり、おおり、おおり、おおり、お	意 (対象を) な 中指 最終 だ を	ア を 図 で	対 <b>身</b> 自郷 上 日	表数(a) 39, 防災組織の住民は、防護精神を養う 防災組織の構築と対 が災組織の構築と対 が災組織におけ 15年度(実績) 5,415人 防災組織率 15年度(実績) 73.9%	, 資機材の取扱を習得し 郷土防護の精神の向上 る指導的立場の要員確保 平成16年度(実績) 6,385人 平成16年度(実績) 83.8%	マ成 1 7年度 8,059 <i>)</i> 平成 1 7年度 8 5.0	(実績) (実績) (実績) (大)	ちのまち 平成18 1 平成18	は、自分 8 <b>年度(</b> 0,000 <i>分</i> 8 <b>年度(</b>	目標) 目標)	平成 1 平成 1	9年度(目標) 0,000人 9年度(目標)
対 大 ア指 芦 屋	・ 意 き カ が 根 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	意 対 な 中指 最指 な 動 費費	ボー 率 図で	対 <b>身</b> 自郷 自 リー 自 平成 自 主	表数(a) 39, 防災組織の住民は、防護精神を養う 防災組織の構築と対 が災組織の構築と対 が災組織におけ 15年度(実績) 5,415人 防災組織率 15年度(実績) 73.9%	, 資機材の取扱を習得し 郷土防護の精神の向上 る指導的立場の要員確保 平成16年度(実績) 6,385人 平成16年度(実績) 83.8%	R 平成17年度 8,059 <i>)</i> 平成17年度 85.0	(実績) (実績) (実績) %	<b>平成1</b> 8 平成1 8 住民1人当	は、自分 8 <b>年度(</b> 0,000 <i>分</i> 8 <b>年度(</b>	目標) 目標)	平成 1 平成 1	9年度(目標) 0,000人 9年度(目標)
対 大 ア指 声 3 事	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	意 対 な 中指 最指 な 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ボー 率 図で	対 <b>身</b> 自郷 自 リー 自 平成 自 主	表数(a) 39, 防災組織の住民は、防護精神を養う 防災組織の構築と対 が災組織の構築と対 が災組織におけ 15年度(実績) 5,415人 防災組織率 15年度(実績) 73.9%	, 資機材の取扱を習得し 郷土防護の精神の向上 る指導的立場の要員確保 平成16年度(実績) 6,385人 平成16年度(実績) 83.8%	R 平成17年度 8,059 <i>)</i> 平成17年度 85.0	(実績) (実績) (実績) (大)	<b>平成1</b> 8 平成1 8 住民1人当	は、自分 8 <b>年度(</b> 0,000 <i>分</i> 8 <b>年度(</b>	目標) 目標)	平成 1 平成 1	9年度(目標) 0,000人 9年度(目標)
対 大 ア指 戸 屋 順 内	<ul> <li>・ 市業人事他</li> <li></li></ul>	意 (対 な 中指 最指 と <b>新</b> 件 業 門 産 経 乗 標 乗 標 乗 標 乗 標 乗 標 乗 標 乗 標 乗 標 乗 標 乗	ボー 率 図で	対 <b>身</b> 自郷 自 リー 自 平成 自 主	表数(a) 39, 防災組織の住民は、防護精神を養う 防災組織の構築と対 が災組織の構築と対 が災組織におけ 15年度(実績) 5,415人 防災組織率 15年度(実績) 73.9%	, 資機材の取扱を習得し 郷土防護の精神の向上 る指導的立場の要員確保 平成16年度(実績) 6,385人 平成16年度(実績) 83.8%	R 平成17年度 8,059 <i>)</i> 平成17年度 85.0	(実績) (実績) (実績) %	<b>平成1</b> 8 平成1 8 住民1人当	は、自分 8 <b>年度(</b> 0,000 <i>分</i> 8 <b>年度(</b>	目標) 目標)	平成 1 平成 1	9年度(目標) 0,000人 9年度(目標)
対 大 ア指 戸 屋 順 内	<ul> <li>市事</li> <li>・ 市事</li> <li>・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</li></ul>	意 (対 な 中指 最指 と 活 件 業 門 償 を 3 を 3 を 3 を 3 を 4 を 4 を 4 を 4 を 4 を 4	ボー を 図 で	対 <b>身</b> 自郷 自 リー 自 平成 自 主	数(a) 39, 防災組織の住民は、 防災組織の構築といい。 が災組織の構築といい。 が災組織におけ 15年度(実績) 5,415人 防災組織率 15年度(実績) 73.9%	<ul> <li>資機材の取扱を習得し</li> <li>郷土防護の精神の向上</li> <li>る指導的立場の要員確保</li> <li>平成16年度(実績)</li> <li>83.8%</li> </ul> 平成16年度(決算) 4,554 0	R 平成17年度 8,059 <i>)</i> 平成17年度 85.0	(実績) (実績) (実績) %	<b>平成1</b> 8 平成1 8 住民1人当	は、自分 8 <b>年度(</b> 0,000 <i>分</i> 8 <b>年度(</b>	目標) 目標)	平成 1 平成 1	9年度(目標) 0,000人 9年度(目標)
対 大 ア指 戸 屋 順 内	<ul> <li>・ 市業人事他</li> <li></li></ul>	意 (対 な 中指 最	ボー 本図で ) 的 名式度値名式度値 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	対 多 自郷 自 リー自 リート 中成 自 平成	表数(a) 39, 防災組織の住民は、防護精神を養う 防災組織の構築と対 が災組織の構築と対 が災組織におけ 15年度(実績) 5,415人 防災組織率 15年度(実績) 73.9%	, 資機材の取扱を習得し 郷土防護の精神の向上 る指導的立場の要員確保 平成16年度(実績) 6,385人 平成16年度(実績) 83.8%	R 平成17年度 8,059 <i>)</i> 平成17年度 85.0	(実績) (実績) (実績) %	<b>平成1</b> 8 平成1 8 住民1人当	は、自分 8 <b>年度(</b> 0,000 <i>分</i> 8 <b>年度(</b>	目標) 目標)	平成 1 平成 1	9年度(目標) 0,000人 9年度(目標)
対 大 ア指 戸 屋 順 内	<ul> <li>市事</li> <li>・ 市事</li> <li>・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</li></ul>	意 (対 な 中指 最指 と 活 件 業 門 償 を 3 を 3 を 3 を 3 を 4 を 4 を 4 を 4 を 4 を 4	ボー 本図で ) 的 名式度値名式度値 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	対 多 自郷 自 リー自 リート 中成 自 平成	数(a) 39, 防災組織の住民は、 防災組織の構築といい。 が災組織の構築といい。 が災組織におけ 15年度(実績) 5,415人 防災組織率 15年度(実績) 73.9%	<ul> <li>資機材の取扱を習得し</li> <li>郷土防護の精神の向上</li> <li>る指導的立場の要員確保</li> <li>平成16年度(実績)</li> <li>83.8%</li> </ul> 平成16年度(決算) 4,554 0	R 平成17年度 8,059 <i>)</i> 平成17年度 85.0	(実績) (実績) (実績) %	<b>平成1</b> 8 平成1 8 住民1人当	は、自分 8 <b>年度(</b> 0,000 <i>分</i> 8 <b>年度(</b>	目標) 目標)	平成 1 平成 1	9年度(目標) 0,000人 9年度(目標)
対 大 ア指 声 3事 内(	<ul> <li>市事</li> <li>・ 市事</li> <li>・ 市事</li> <li>・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</li></ul>	意 (対 な 中指 最	ボー 本図で ( ) 的 名式度値名式度値 3 は 100.0% 100.0% 100.0%	対 多 自郷 自 リー自 リート 中成 自 平成	数(a) 39, 防災組織の住民は、 防災組織の構築といい。 が災組織の構築といい。 が災組織におけ 15年度(実績) 5,415人 防災組織率 15年度(実績) 73.9%	<ul> <li>資機材の取扱を習得し</li> <li>郷土防護の精神の向上</li> <li>る指導的立場の要員確保</li> <li>平成16年度(実績)</li> <li>83.8%</li> </ul> 平成16年度(決算) 4,554 0	R 平成17年度 8,059 <i>)</i> 平成17年度 85.0	(実績) (実績) (実績) %	<b>平成1</b> 8 平成1 8 住民1人当	は、自分 8 <b>年度(</b> 0,000 <i>分</i> 8 <b>年度(</b>	目標) 目標)	平成 1 平成 1	9年度(目標) 0,000人 9年度(目標)
対 大 ア指 芦 3事 内( 財	<ul> <li>市事</li> <li>記門</li> <li>源</li> <li>原図</li> <li>上榜</li> <li>大房</li> <li></li></ul>	意 対 な 申指 最指 と 活 件業門償 ・債 を	ボー 室図で ) 的 名式度値名式度値 項 ト	対 多 自郷 自 リー自 リート 中成 自 平成	数(a) 39, 防災組織の住民は、 防災組織の構築といい。 が災組織の構築といい。 が災組織におけ 15年度(実績) 5,415人 防災組織率 15年度(実績) 73.9%	<ul> <li>資機材の取扱を習得し</li> <li>郷土防護の精神の向上</li> <li>る指導的立場の要員確保</li> <li>平成16年度(実績)</li> <li>83.8%</li> </ul> 平成16年度(決算) 4,554 0	R 平成17年度 8,059 <i>)</i> 平成17年度 85.0	(実績) (実績) (実績) %	<b>平成1</b> 8 平成1 8 住民1人当	は、自分 8 <b>年度(</b> 0,000 <i>分</i> 8 <b>年度(</b>	目標) 目標)	平成 1 平成 1	9年度(目標) 0,000人 9年度(目標)
対 大 ア指 芦 3事 内( 財	で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	意 (対 な 中指 最指 と 活 件業門償 ・ 債の を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ボー 室図で ) 的 名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値の0.0% 100.0%	対 象 主 川 中	<ul> <li>数(a) 39,</li> <li>防災組織の住民は、防護精神を養う</li> <li>防災組織の構築とき</li> <li>ダーの育成主防災組織におけ15年度(実績)5,415人防災組織率</li> <li>15年度(実績)73.9%</li> <li>15年度(実績)6,742</li> <li>40</li> <li>6,782</li> </ul>	<ul> <li>資機材の取扱を習得し</li> <li>郷土防護の精神の向上</li> <li>る指導的立場の要員確保</li> <li>平成16年度(実績)</li> <li>83.8%</li> </ul> 平成16年度(決算) <ul> <li>4,554</li> <li>0</li> </ul> 4,554	R 平成17年度 8,059 <i>)</i> 平成17年度 85.0	(実績) (実績) (実績) 2,563 0	<b>平成1</b> 8 平成1 8 住民1人当	は、自分 8 <b>年度(</b> 0,000 <i>分</i> 8 <b>年度(</b>	目標) 目標)	平成 1 平成 1	9年度(目標) 0,000人 9年度(目標)
対 大 ア指 芦 3事 内( 財(	<ul> <li>市事</li> <li>計画</li> <li< th=""><th>意 (対 な 中指 最指 な 新 保 に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>対</b> に で の で の で の で の で の で の で の で の で の で</th><th>ボー 率 図 (T) 的 名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値 100.0% 100.0% 100.0% 100.0%</th><th>対 象 主</th><th>表数(a) 39, 防災組織の住民は、防護精神を養う 防災組織の構築と対 グーの育成主防災組織におけ 15年度(実績) 5,415人 防災組織率 15年度(実績) 73.9% 15年度(決算) 6,742 40 6,782</th><th><ul> <li>資機材の取扱を習得し</li> <li>郷土防護の精神の向上</li> <li>る指導的立場の要員確保</li> <li>平成16年度(実績)</li> <li>6,385人</li> <li>平成16年度(実績)</li> <li>83.8%</li> <li>平成16年度(決算)</li> <li>4,554</li> <li>4,554</li> </ul></th><th>R 平成17年度 8,059<i>)</i> 平成17年度 85.0</th><th>(実績) (実績) (実績) % (決算) 2,563 0</th><th><b>平成1</b> 8 平成1 8 住民1人当</th><th>は、自分 8<b>年度(</b> 0,000<i>分</i> 8<b>年度(</b></th><th>目標) 目標)</th><th>平成 1 平成 1</th><th>9年度(目標) 0,000人 9年度(目標)</th></li<></ul>	意 (対 な 中指 最指 な 新 保 に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>対</b> に で の で の で の で の で の で の で の で の で の で	ボー 率 図 (T) 的 名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値 100.0% 100.0% 100.0% 100.0%	対 象 主	表数(a) 39, 防災組織の住民は、防護精神を養う 防災組織の構築と対 グーの育成主防災組織におけ 15年度(実績) 5,415人 防災組織率 15年度(実績) 73.9% 15年度(決算) 6,742 40 6,782	<ul> <li>資機材の取扱を習得し</li> <li>郷土防護の精神の向上</li> <li>る指導的立場の要員確保</li> <li>平成16年度(実績)</li> <li>6,385人</li> <li>平成16年度(実績)</li> <li>83.8%</li> <li>平成16年度(決算)</li> <li>4,554</li> <li>4,554</li> </ul>	R 平成17年度 8,059 <i>)</i> 平成17年度 85.0	(実績) (実績) (実績) % (決算) 2,563 0	<b>平成1</b> 8 平成1 8 住民1人当	は、自分 8 <b>年度(</b> 0,000 <i>分</i> 8 <b>年度(</b>	目標) 目標)	平成 1 平成 1	9年度(目標) 0,000人 9年度(目標)
対 大 ア指 芦 3事 内( 財( 活	<ul> <li>市事</li> <li>説門</li> <li>調門</li> <li>動</li> <li>大橋</li> <li>特費業</li> <li>芸品</li> <li>一職</li> </ul>	意 対 な 中指 最指 な 活 件業門償・債の 財 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の の 財 の の 財 の の 財 の の 財 の の 財 の の 財 の の の 財 の の の の 財 の の の 財 の の の 財 の の の 財 の の 財 の の の 財 の の の の 財 の の の の 財 の の の 財 の の の 財 の の の の の 財 の	ボー 率 図 T) 的 名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値 100.0% 100.0% 100.0% 100.0%	対 象 主	<ul> <li>数(a) 39,</li> <li>防災組織の住民は、防護精神を養う</li> <li>防災組織の構築とき</li> <li>ダーの育成主防災組織におけ15年度(実績)5,415人防災組織率</li> <li>15年度(実績)73.9%</li> <li>15年度(実績)6,742</li> <li>40</li> <li>6,782</li> </ul>	<ul> <li>資機材の取扱を習得し</li> <li>郷土防護の精神の向上</li> <li>る指導的立場の要員確保</li> <li>平成16年度(実績)</li> <li>83.8%</li> </ul> 平成16年度(決算) <ul> <li>4,554</li> <li>0</li> </ul> 4,554	R 平成17年度 8,059 <i>)</i> 平成17年度 85.0	(実績) (実績) (実績) 2,563 0	<b>平成1</b> 8 平成1 8 住民1人当	は、自分 8 <b>年度(</b> 0,000 <i>分</i> 8 <b>年度(</b>	目標) 【日標) 「28 予算) 「- 「-	平成 1 平成 1	9年度(目標) 0,000人 9年度(目標)
対 大 ア指 芦 3事 内( 財(	<ul> <li>市事</li> <li>説門</li> <li>調門</li> <li>動</li> <li>大橋</li> <li>特費業</li> <li>芸品</li> <li>一職</li> </ul>	意 (対 な 中指 最指 な 新 保 に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>財</b> に で の <b>対</b> に で の で の で の で の で の で の で の で の で の で	ボー 率 図 ( ) の 名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値 100.0% 100.0% 100.0%	対象主土	表数(a) 39, 防災組織の住民は、防護精神を養う 防災組織の構築と対 グーの育成主防災組織におけ 15年度(実績) 5,415人 防災組織率 15年度(実績) 73.9% 15年度(決算) 6,742 40 6,782	<ul> <li>資機材の取扱を習得し</li> <li>郷土防護の精神の向上</li> <li>る指導的立場の要員確保</li> <li>平成16年度(実績)</li> <li>6,385人</li> <li>平成16年度(実績)</li> <li>83.8%</li> <li>平成16年度(決算)</li> <li>4,554</li> <li>4,554</li> </ul>	R 平成17年度 8,059 <i>)</i> 平成17年度 85.0	(実績) (実績) (実績) % (決算) 2,563 0	<b>平成1</b> 8 平成1 8 住民1人当	は、自分 8 <b>年度(</b> 0,000 <i>分</i> 8 <b>年度(</b>	目標) 目標)	平成 1 平成 1	9年度(目標) 0,000人 9年度(目標)

情報 名	4 評信	西(チェック	)			
日の受責報に 2	評	価	視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
日本の実施ではいる。 日本の実施ではありません。 日本の実施では、 日本の実施ではありません。 日本の実施では、 日本の実施を定じては、 日本の実施では、 日本の実施では、 日本の実施では、 日本の実施では、 日本の実施では、 日本の実施では、 日本の実施を定じては、 日本の実施を対している。 日本の実施を対し、 日本の表に、 日本の表に、 日本の表に、 日本の表に、 日本の表に		日的妥当	性(2~ 2)			
中間		ппха	11(2 2)			
中国						
中国	妥	市関与(2	~ 2)			
### ### #### ########################					4	_
	当	<b></b>			4	3
1	444	市民二一	ス(2~ 1)	,,		
おおいまた   1						
	0只	社会環境	変化(1~ 1)	***************************************		
対象カバー平(1		優先性	図急性(1)	·		
# 受						
0	有		, ,			
性 (根	άħ	成用の宝	<b>结/2 ≈ 1</b> \	☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している◯ 実績値または目標値が未記入	2	2
4点	X/J	ル木の大	7頁(2 1)	└▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない		3
		- 成果向上	余地(1~ 1)			
中位コスト(1-1)	4点		,	7,000,000		
中位コスト(1-1)				<u> </u>		
	δħ	単位コスト	·(1 ~ 1)			
要益省負担(0-1) □ □ 自担を求めることができる事業である □ 負担を決めることができる事業である □ 負担を決めることができる事業である □ 負担を決めることができる事業である □ 負担を決めることができる事業である □ 付取で能・見直し不能 □ 他収で能・日本である □ 付取では、「日本である」 □ 付取で作用できる □ 付取でき、日本である □ 付取でき、日本できる。 □ 付取でき、日本できる。 □ 付取でき、日本できる。 □ 付取でき、日本できる。 □ 付取でき、日本できる。 □ 付取でき、日本できる。 □ 付取でき、日本できる。 □ 付取でき、日本できる。 □ 付取でき、日本できる。 □ 付取でき、日本できる。 □ 付取でき、日本できる。 □ 付取できる。 □ 付取です。 □ からないできる。 □ 付取です。 □ のがらないできる。 □ 付取です。 □ は、方、方、方、方、方、方、方、方、方、方、方、方、方、方、方、方、方、方、方	X/J			······································		
型点   選出   選出   選出   選出   選出   選出   選出   選						
野田   野田   野田   田田   田田   田田   田田   田田		受益者負	担(0~ 1)		_	_
日間企業 NPO等)では対応できない業務である	举				U	U
世   日間企業、NPO等で対列の可能である		壬四/1	2)	☑ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
3点 コスト削減取組(1 1) コスト削減の取り組みを行っている   特に行っていない   中成 16年度の評価内容   日本   中成 17年度に実施		± ₹X(1 1.2	3)	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
平成15年度の評価内容						
平成18年度の評価内容	3点	コスト削洞	<b></b> 取組(1~ 1)			
To the part of the part o						
(計画がない場合は記載不要)	平成 1	6 年 度 の	評価内容	□ A <mark>平成17年度に実</mark> □ 改善し,効果を得た		
大	及び無力	改善の	,方 向 性 (+記載不要)	□ D           □ 以音しにが、		
平成 1 8 年 度 に	(計画な	アない物ロー	は記戦小女)		Ъ	Ь
5 今後の対応(アクション) 現 在 認 識 し て い る 課 題 より多くの住民参加  市民、関係者 市民、関係者の名称 からの 意 見	₩ 🚓	1 0	左 庄 仁	評価	D	D
5 今後の対応(アクション) 現 在 認 識 し て い る 課 題 より多くの住民参加  市民、関係者 市民、関係者の名称 からの 意 見	実施	する改	善 内 容	課題         特になし		
現在認識している課題 自主防災組織加盟世帯の一部しか訓練に参加しない より多くの住民参加    市民、関係者市民、関係者の名称 からの意見 要 望 等	(	必		M谷		
現在認識している課題 自主防災組織加盟世帯の一部しか訓練に参加しない より多くの住民参加    市民、関係者市民、関係者の名称 からの意見 要 望 等	5 42	かなない (	アクションハ			
現 在 認 識 し て N る 課 題  お	J 71:		<i>,,,,,</i>	自主防災組織加盟世帯の一部しか訓練に参加しない		
からの意見 要 望 等       意見,要望内容         (1) 対応内容 実施期限 平成 年 月       年 月         その他考えられる 改善のアイデア       会後の方向性 1次評価 2次評価 より多くの住民が参加できるよう,市民広報の充実を図る。	現在	認識して	いる課題			
からの意見 要 望 等       意見,要望内容         (1) 対応内容 実施期限 平成 年 月       年 月         その他考えられる 改善のアイデア       会後の方向性 1次評価 2次評価 より多くの住民が参加できるよう,市民広報の充実を図る。						
要望等       (1) 対応内容 広報活動の拡充         実施期限 平成 年 月         (2) 対応内容 実施期限 平成 年 月         (3) 実施期限 平成 年 月         その他考えられる 改善のアイデア         より多くの住民が参加できるよう、市民広報の充実を図る。	市民,関	係者 市民,	関係者の名称			
要 望 等       (1)       対応内容 広報活動の拡充         実施期限 平成 年 月       (2)       対応内容 実施期限 平成 年 月         その他考えられる 改善のアイデア       での他考えられる 改善のアイデア         平成19~21年度の方向性       より多くの住民が参加できるよう,市民広報の充実を図る。       が拡大・充実 ○ ○         中屋市防災総合訓練に「市民参加」種目を増やす。       現状維持●○ ○ 方法改善○ ● 民間委託等○ ○ ○ ● 民間委託等○ ○ ○ ● 民間委託等○ ○ ○ ● 民間委託等○ ○ ○ ● 日本の子検別設定○ ○ ○ ● 日本の子検別設定○ ○ ○ ● ・ ○ ● ・ ○ ○ ● ● ・ ○ ○ ● ・ ○ ○ ● ・ ○ ○ ● ・ ○ ○ ● ・ ○ ○ ● ・ ○ ○ ● ・ ○ ○ ● ・ ○ ● ● ・ ○ ○ ● ・ ○ ○ ● ・ ○ ○ ● ・ ○ ○ ● ・ ○ ○ ● ・ ○ ○ ● ・ ○ ○ ● ・ ○ ● ● ・ ○ ○ ● ● ・ ○ ○ ● ● ・ ○ ○ ● ● ・ ○ ○ ● ● ● ●		18 1	要望内容			
課題・要望等 (2) 対応内容 実施期限 平成 年 月 (3) 対応内容 実施期限 平成 年 月  その他考えられる 改善のアイデア  より多くの住民が参加できるよう、市民広報の充実を図る。	要望	等心力	, <u>A</u> = 13 G			
課題・要望等 (2) 対応内容 実施期限 平成 年 月 (3) 対応内容 実施期限 平成 年 月  その他考えられる 改善のアイデア  より多くの住民が参加できるよう、市民広報の充実を図る。		(4)	対応内容	広報活動の拡充		
課題・要望等 への対応		(1)		T.4 P 0		
(2) 対応内容 実施期限 平成 年 月	= ■ ■ . =	· 胡笙	夫他别സ	<u> </u>		
への対応       実施期限 平成       年       月         その他考えられる 改善のアイデア       今後の方向性 1次評価 2次評価 少後の方向性 1次評価 2次評価 本が、本元実○○○ 元方法改善○○○ 民間委託等○○○ 病合/終期設定○○○ 廃止/休止○○○	M 位 女	. —	対応内容			
対応内容   実施期限 平成   年   月   日   日   日   日   日   日   日   日   日	へのす			平成   年   月		
その他考えられる 改善のアイデア       今後の方向性 1次評価 2次評価 2次評価 2次評価 2次評価 2次評価 2次評価 2次評価 2			***			
その他考えられる 改善のアイデア    ********   ************************		(3)	刈心内谷			
改善のアイデア			実施期限	平成 年 月		
改善のアイデア						
マル 19~21年度の方向性       より多くの住民が参加できるよう、市民広報の充実を図る。       拡大・充実○       ・						
より多くの住民が参加できるよう,市民広報の充実を図る。	改善(	D ア 1 テ	<i>y</i>	<u>◆後の主白</u> 州	4 > 分	2.7年前7年
平成19~21年度の方向性       声屋市防災総合訓練に「市民参加」種目を増やす。       現 状 維 持 ●						
方法改善○       ●         平成19~21年度の方向性       民間委託等○         縮       小○         統合/終期設定○       ○         廃止/休止○       ○						
平成19~21年度の方向性       民間委託等         縮       小〇         統合/終期設定       ○         廃止/休止       ○						_
縮       小         統合/終期設定       ○         廃止/休止       ○	平成 1	9~21年	度の方向性			
廃止 / 休止 ○ ○						
				統合/終期設定	0	0
2 次 評 価 委 員 会 コメント 自主防災組織の「救助・救出・救護」に関する知識を,地域で活用できるように取組を進めてください。また併せて,防災倉庫の活用や管理方法等を地区住民に周知してください。				廃止 / 休止	0	0
2 次評価委員会コメント て、防災倉庫の活用や管理方法等を地区住民に周知してください。				   白主防災組織の「救助・救出・救難」に関する知識を「地域で活用できるとらに助知を進みてください。	・ すたん	— <del>—</del> 并-}}-
			<b>一 コ V ソ ト</b>	FOR THE PROPERTY OF THE PROPER	5 5/-	

(一般	事業)	事 業	コード	2140	050				部 長次	長課長
( 1554	3 7.17	5 111								24 200
平成1	7年度	事	業 名	<b>応急</b>	救護知識の普及啓	発				
1 7-20			<i>7</i> 10	, , , , ,	3/11/2/ HING - P III / P III					
1 事	業概認	要(ドゥ)								
			〈りの目標	2	健やかでめくもり	のある福祉社会づくり	1		消防本	部
		8 3 2							所管課	
総合			中	1	保健・医療・福祉	の連携と允美				1課・第2課
政策	施策		小	4	医療体制の充実				所管課長氏名向堂	晋治 ・ 市川 武夫
体	系		細	-					記入者氏名市川	
事	業	ļ	期間	平成	8年4月1日~	経常臨時	<mark>身</mark> ☑ 経常 □ 🛭	臨時	電話番号32-	2345 内線 4122
根 拠	法	令 '	要 綱 等	応急	手当の普及啓発活	動の推進に関する実施	要綱		実施 主体	
										7 4 10 10
実	施			✓		一部委託	□ 全部委託		□補助金□	] 負担金
委		託	先		外郭団体委託	名称		□ 民間	]委託 <mark>委託内容</mark>	
				幸運	救命講習今の講習	時間3時間 心肺蘇生	法 大出血時の1		など実施、講習を修了し	た受講者に対し
_	ме	_	407 TH				Д, УСППППП (1971	.1	**C // IF E C   D ] (	27亿文品,日代2770
事	業	の	概 要	普迪	救命講習修了証を	発行する。				
				並 活	<b>数会議羽今の宝協</b>	場所は、基本的に消防	本郊の今担にて5	丰梅		
事	業	の	現状	また	,事業所,各種グ	ループの要望により救	急救命士・救急隊	<b>挙員を要</b>	望場所に派遣して実施	
	目的国	実現のた。	めの							
	一段人	ひ実施	内谷							
			指標 名	受付	件数					
		/+ III / III /				亚代16年第7章	亚世 4 7 年度	中海、	亚代10万亩/口塘》	亚代 1 0 左连 / 口捶、
		結果指標			15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(	夫額	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
		(1)	指標値		3 7 回	66回	5 2 回		60回	60回
アウト	プット	` ′	単位コスト		411,540円	161, 137円	142, 400			
				* .~			144, 400	1	l .	1
指	標		指標 名	普通	救命講習会受講者	<u></u>				
		結果指標	第 年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(	(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
					692人	845人	796)		1000人	1000人
		(2)	指標値						1000人	1000人
			単位コスト		22,004円	12,586円	9, 303円	]		
2 事	業成り	果(アウ	トカム)				•			
<u>-</u> -	<del></del>	ス(ノン	1/34)	/\ H		-t- > #1.777 /= /#4 - 1#4   N	- L W (1 - ±1	led I	With the material learning	WHILE E AND IS
		対	象	任氏	,事業所の従業員	, 目王防災組織の構成	貝,甲字生,高村	父生,大	学生,教職員,市職員,	<b>洞</b> 的団貝, 各種グルー
				7						
事業の	D目的	対象 7	カバー率	対 象	R 数 (a)	000人 受益	数 (b) 7	96人	比 率 (b ÷ a)	<mark>%</mark> 79.6%
対象・						,	( ' /	- / •	[-5 · (5 · G)	7 / 0
Y.) 3K	忌凶			,				_ ,	/ Satisfied St.	
		意	図	中学	2年生以上の住民	が正しい応急手当の知	識を認識し,適り	別な処置	(心肺蘇生法, 止血法)	を行う。
		(対象を	主語にして)							
_	4	4.		傷病	者に対する救命率	の向上				
大	き	な	目 的		D機器の取扱技術					
					PARE CONTAININ	H 14				
			指 堙 夕	東忠	救命講習修了老 (	AED機器の取扱者)				
		<b></b>								
			昊 考え方·式							
		指机	票年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(	(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
アウト		,	指標値		692人	845人	796)		1000人	1000人
					5 5 4 A	しょり八	100)	`	10007	10007
指	標		指標 名							
		最終成果	果 考え方·式			·		· <u></u>		
					15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(	宝绩)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
		1 H				「ル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	17%17年度(	ヘルスノ	17% 10 干皮(口信)	「ル・フース(口伝)
			指標値							
						·		· <u></u>		
古层市	の生ん	五かど油	足する事項							
/ /= 1].	, v, 1vj C	o. ⊂ IIII	たりりずり	1						
3 事	業費.	活動配	けん コスト	)			1世帯当り(円)	191	住民1人当り(円) 8	4 平成18.4.1 住民基本台帳
事	業		遺 構成%		15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(	(決質)	平成18年度(予算)	
-	*			1 13%					「ル・サース(丁弁)	
	<b>A</b>	件	<b>1</b> 97.3%	1	14,981	10,636	)	7,405		
	事	業	晝 2.7%	l	2,402	5,203	3	204	29	5
内言	尺份等	門経費	<b>\$</b>							-
			_	<del>                                     </del>			+			
(十円		貸却費								
	合	Ħ	t 100.0%		17,383	15,839		7,609		-
	国	·			2,156	2,156				
D-1					2,130	2,100	+			
	原市	債 等					1			
(千円	) そ	の ft	也							
		设财源	_		15,227	13,683		7,609		
`.	_		_+		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			•		
	助 職	į			1.70	1.25	)	0.90		-
配分	分嘱託	・臨時等	<b>手</b>							-
	) 合		100.0%		1.70	1.25		0.90		
			11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11		1.70	1./0		11-2917		- 1

	西(チェック)				
評	価 視	点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
	目的妥当性(	(2 2)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	日的女司庄(	(2 '- 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
			□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
	,	,	□ いずれにも該当しない		
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	5	5
_	市民ニーズ(2	2 ~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把握	9	9
性	1520- 7(	- ')	□ 数字で把握している □ 未把握		
8点			□ 数子で記述している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
ᇭ	社会環境変化	化(1~ 1)	内容 AEDの取り扱い講習を行なっている		
	優先性,緊急	5 h/+ /1 \	○ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる		
有	対象カバー国	, ,			
H	受益者(1~	1)	□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
効	成果の実績(	(2 ~ 1)	□ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入□ □ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入□ □ 中間域 はいる は思ざまざ。 ズレストラネヤン	4	4
			▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	•	•
性	- 成果向上余均	地(1~ 1)	成果があがっていない場合		
4点			□ 成果向上策あり □ 特になし		
			□ 比較できる団体がある 団体名 尼崎市 □ 比較できる団体はない		
4.1	単位コスト(1	~ 1)	☑ 他団体の数字を把握している 単位コスト 約50,000円 □ 把握していない		
効	= .,, (,	,	→ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 ☑ 他団体よりコストが高い		
			高い、または低い場合の理由		
	受益者負担(	(0 ~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
率	<u> </u>	')	□→□ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直U不能 □ 徴収可能)	0	-3
-			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	U	-3
	手段(1~ 3	1	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	J-4X(1 0	')	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点	コスト削減取	組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
	171 H3/1/24X	.mil(1 1)	→ 内容		
<del></del> + 4	0 F F D T	· /= + 🛱	□ A wd47年度上字 □ 35美) が用た得た		
平	は中度の評さまる	·伽闪谷 方向性	□ A <mark>平成17年度に実</mark> □ 改善し、効果を得た   改善した改善の方向   水差したが、効果がな。		
(評価が	6 年 度 の 評 改 善 の ご ばない場合は記	記載不要)	Times		
			た。総合	D	D
₩ ct	1 0 年	· 中 /-	AED機器の取扱者教育       普通救命講習会に組み込む	В	В
平成実施	18年 する改	度 に 善 内 容	AED機器の取扱者教育     普通教命講習会に組み込む       改善	В	В
平 成 実 施 (	1 8 年 する改 必 須	善内容	AED機器の取扱者教育       普通救命講習会に組み込む	В	В
(	する改り	善内容	AED機器の取扱者教育     普通教命講習会に組み込む       改善	В	В
(	する改善	善内容	AED機器の取扱者教育       普通教命講習会に組み込む         改善内容       内容	В	В
( 5 今後	する改 必 須 後の対応(アク	善 内 容 ( クション)	大	В	В
( 5 今後	する改 必 須 後の対応(アク	善 内 容 ( クション)	AED機器の取扱者教育       普通教命講習会に組み込む         改善内容       内容	В	В
5 今後現 在 記	する 改 必 多 <b>後の対応(ア</b> ク) 忍識 してい	善内 容) クション) ハる 課 題	大	В	В
5 今後現在 記市民,関	する 改 須 <u>後の対応(アクタンで)</u> 認識 してい 係者 市民,関係	善内 容) クション) ハる 課 題	大	В	В
5 <b>今</b> 後 現 在 ii 市民,関からの	すめる 改選 後の対応(アクロック) では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	善善内容) クション) る課題 係者の名称	大   大	В	В
5 今後現在 記市民,関	すめる 改善の対応(アクロの) では、 では、 では、 では、 関係者 市民,関係	善内 容) クション) ハる 課 題	大   大	В	В
5 <b>今</b> 後 現 在 ii 市民,関からの	す必 改 で の対応(アクログ) は し て い 係者 市民,関係 意見, 質	善 内 容) クション) る 課 題 係者 の 内 容	AED機器の取扱者教育   普通教命講習会に組み込む   改善内容   普通教命講習会に組み込む   改善内容   対急需要急増に伴う,指導員の確保   指導用機器の老朽化   特になし	В	В
5 <b>今</b> 後 現 在 ii 市民,関からの	すめる 改選 後の対応(アクロック) では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 できる。 では、 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	善力ション) (ある) は、 (ある) は、 (もん) は (もん)  大	В	В	
5 今後現在 記 市民,関から 望	す必 改 改 で の で の で の で の で の で の で の で の で の	善 内 容) クション) る 課 題 係者 の 内 容	大	В	В
5 <b>今</b> 後 現 在 ii 市民,関からの	す必 をの対応(アクロック) では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	要 対応 要 対応 期限 の 内 内 限 に かっこう は かっこう は かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう	A E D機器の取扱者教育   普通教命講習会に組み込む   接通教命講習会に組み込む   教急需要急増に伴う,指導員の確保   指導用機器の老朽化   特になし   指導員の確保に努める   平成   年   月	В	В
5 今後 現在 に 展 の 望 課題・要	す必 をの対応(アクロック) では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	善力ション (新要 対実施 (新要 対 実 対応 (新要 対 実 対応 (新 を ) を で 容 限 容 で で で で で で で で で で で で で で で で	大   大	В	В
5 今後現在 記 市民,関から 望	す必 をの対応(アクロック) では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	要 対応 要 対応 期限 の 内 内 限 に かっこう は かっこう は かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう	大   大	В	В
5 今後 現在 に 展 の 望 課題・要	す必 改	大学 (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大	大   大	В	В
5 今後 現在 に 展 の 望 課題・要	す必 をの対応(アクロック) では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	善力ション (新要 対実施 (新要 対 実 対応 (新要 対 実 対応 (新 を ) を で 容 限 容 で で で で で で で で で で で で で で で で	課題       A E D 機器の取扱者教育       普通教命講習会に組み込む         救急需要急増に伴う、指導員の確保       指導用機器の老朽化         特になし       指導員の確保に努める         平成       年       月         指導用機器類の整備充実       平成       年       月	В	В
5 今後 現在 に 展 の 望 課題・要	す必 改	大学 (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大	課題       A E D 機器の取扱者教育       普通教命講習会に組み込む       総合評価         教急需要急増に伴う、指導員の確保       指導用機器の老朽化         特になし       指導員の確保に努める         平成       年       月         指導用機器類の整備充実       平成       年       月	В	В
5 今後 現在 に 展 の 望 課題・要	す必 改	善売り カョン 課 名 内 内 期 内 期 内 期 内 期 内 期 内 の ア の ア の ア の ア の ア の ア の ア の ア の ア の	課題       A E D 機器の取扱者教育       普通教命講習会に組み込む         救急需要急増に伴う、指導員の確保       指導用機器の老朽化         特になし       指導員の確保に努める         平成       年       月         指導用機器類の整備充実       平成       年       月	В	В
5 今 福 関の望 課 へ の 対	す必 改	大の では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	課題       A E D 機器の取扱者教育       普通教命講習会に組み込む         救急需要急増に伴う、指導員の確保       投票       指導用機器の老朽化         特になし       指導員の確保に努める       平成       年       月         指導用機器類の整備充実       平成       年       月	В	В
5 今 信       現 市か要       課 の       で       その	す必 改 で (アクス ) で (アクス ) で (アクス ) で (アクス ) で (アクス ) で (アクス ) で (アクス ) で (カース	善売り ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	課題       A E D 機器の取扱者教育       普通教命講習会に組み込む         救急需要急増に伴う、指導員の確保       投票       指導用機器の老朽化         特になし       指導員の確保に努める       平成       年       月         指導用機器類の整備充実       平成       年       月	В	В
5 今 信       現 市か要       課 の       で       その	す必 をの対応(アクロック) では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	善売り ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	大       株合評価         課題       本	1次評価	
5 今 信       現 市か要       課 の       で       その	す必 をの対応(アクロック) では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	善売り ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	大   株合   神通教命講習会に組み込む   接合   接合   接合   接換   接続   接続   接続   接続   接続   接続   接続	1次評価 <b>●</b>	
5 今 信       現 市か要       課 の       で       その	す必 をの対応(アクロック) では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	善売り ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	大       株合評価         課題       本	1次評価 <b>●</b>	2次評価
5 今 信       現 市か要       課 の       で       その	す必 をの対応(アクロック) では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	善売り ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	大   株合   神価   本合   本合   本合   本合   本合   本合   本合   本	1次評価 ●	<b>2次評価</b> ○
5     現市か要       課の望     要 対       他の       の善	す必 をの対応(アクロック) では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	曹が クック ( ) 題 ( ) では、 ) の の の の の の の の の の の の の の の の の の	大	1次評価 ●	2次評価 ○
5     現市か要       課の望     要 対       他の       の善	す必 をの対応(アクランの) では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	曹が クック ( ) 題 ( ) では、 ) の の の の の の の の の の の の の の の の の の	****	1次評価 ●	2次評価 ○ ○
5     現市か要       課の望     要 対       他の       の善	す必 をの対応(アクランの) では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	曹が クック ( ) 題 ( ) では、 ) の の の の の の の の の の の の の の の の の の	****	1次評価 ● ○ ○	2次評価 ○ ○ ●
5     現市か要       課の望     要 対       他の       の善	す必 をの対応(アクランの) では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	曹が クック ( ) 題 ( ) では、 ) の の の の の の の の の の の の の の の の の の	大	1次評価 ● ○ ○ ○	2次評価 ○ ○ ○
5     現市か要       課の望     要 対       他の       の善	す必 をの対応(アクランの) では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	曹が クック ( ) 題 ( ) では、 ) の の の の の の の の の の の の の の の の の の	大	1次評価 ● ○ ○ ○	2次評価 ○ ○ ○ ○
(     5     現市か要     課へ     そ改     平       点     点     のの善     成       1     の     の     の	す必 (アクロック) (R) (R) (R) (R) (R) (R) (R) (R) (R) (R	善売 り	大	1次評価 ● ○ ○ ○	2次評価 ○ ○ ○ ○

(内部	事務)	事業	□ <b>-</b> ド	1230	300				部 長次	長課長
, , , , , , ,						<del>11.</del> ≤20			HI KIM	K H/N K
平成17	/ 牛皮	争	業 名 ————	消伤.	用車両の維持・管理	美 <b>挤</b>				
4	MZ 107 -	# / ls :								
		要(ドゥ)	11 00 12 +44		江与な これ 7 曲 み	わ井洋理倍バノm			\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	
第3次产総合			<u>りの目標</u> 中	2	活気あふれる豊か安全と防災の確保				所 管 課 消防本部 警防課 (	通信装備担当)
政策			<u>干</u> 小		防災機能の強化				所管課長氏名 重野 信	
体	派 系		細	J	- 22 CMIN - 2MID				記入者氏名重野信	
事	業	期		常時		経常臨時	☑ 経常 □ 臨		電話番号0797-32-	·2345 内線 4112
根 拠			要 綱 等						実 施 主 体 市・自治	
実	施	手		]		一部委託	全部委託			負担金
委		託	先		外郭団体委託	<mark>名称</mark> 動体制を確立し,火災等			委託 <mark>委託内容</mark>	
事	業	Ø	概 要		でにもい の別時店買	奶料門で雌丑し, 火沢寺	<b>ツ火吉吋にわける</b>	1)火舌鸭	上伊久	
<b></b>	*	0)	1946 女							
				車両	の運行管理					
				車両	の検査・点検・修巧	里等の日常管理				
事	業	の	現 状	平成	17年度末現在の位	保有車両25台の運用				
	<b>-</b>									
		実現のため ひび宝饰は								
	于段	及び実施内	日台							
			指標名	運行	回数					
アクテ	・ィブ	<b>活動地</b> 描			15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(写	実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
指	標	/白剉/扫標			7,409回	7,545回			7,400回	7,400回
			単位コスト		1,436円	1,034円	1, 089	<b>-</b>		
<b>7</b> + 1	<b>-</b>			<del>(11 -41</del>	1. 左左(ウ油)	亚代 1 6 左连 4 克体 5	亚世 4 7 左京 4 5	コル主 、	□	亚代10万亩(豆坪)
		結果指標		_	15年度(実績)	平成 1 6 年度(実績)	平成1/年度()	<b>毛領)</b>	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
指	情 標 <sup>  酒</sup> 割指標 値 7,409回 7,545回 7,346回 7,400回 単位コスト 1,436円 1,034円 1,089円									
2 事	業成	果(アウ)								
	,,,			沙叶	田市両な遠走に弾せ		ス田は休却を破さ	ナフ		
		対								
			バ - 率	対象	聚数 (a)	受 益 数	<mark>女 (b)</mark> 3, 8	88件	比率 (b ÷ a) %	
対象・	恵 図		Jan.	冰小	田市田大流工 17 44-4	上竺畑) 《今吐んざ私	た確立してませる	V+ > +	<b>さ</b> ム かね ふ	
		意 (対象を=	凶 E語にして)	(月)的	中門を週上に維持	寺管理し,災害時の活動	で唯立して印氏の	女心女	、土で担り。	
		(V)38(.C]								
大	き	な	目 的	消防	用車両が,災害現場	場で活動して被害の軽減	を図る。			
					点検回数					
					台全車両の点検回			<b>コル</b> ま 、	元代4.0左克/□堙、	亚代4.0年克(豆类)
アウト	+ /	成果指標			15年度(実績) 220回	平成16年度(実績)       225回	平成 1 7 年度 (写 2 5 0 回	<b>毛領)</b>	平成18年度(目標) 300回	平成19年度(目標) 300回
ガリト 指	カム標		指標值指標名			223凹	200凹		300円	300円
311	1 ক				ロータ 台全車両の修理回数					
		成果指標				平成16年度(実績)	平成17年度(写	実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
			指標値	_	21回	38回	25回		25回	25回
芦屋	の	特色	きなど							
2 古斗	<b>业</b> 建	、二年十五コ	<b>公</b> (コフ)	)			1冊豊坐はて四人	004	住民工人当月(四、	亚成10/14 / / / / / / / / / / / / / / / / / /
3 事	<u>美貨</u> 業	· 活動能: 費	分(コスト 構成%	平成	15年度(決算)	平成16年度(決算)	1世帯当り(円) 平成17年度(流		住民1人当り(円)     88       平成18年度(予算)	平成18.4.1 住民基本台帳
	人	件費		13%	3,312	1,196		1,194		
	事	業費			7,334	6,606		6,810	7,314	
		7 門 経 費								
(千円)		賃 却 費							-	
	合	計			10,646	7,802		8,004	-	
B+ 2/=	国	· 県								
財 源 (千円)		債 等の 他	1							
(111)		<b>設財源</b>			10,646	7,802		8,004	-	
活 動	間職	<del>以加加</del>	100.0%		0.35	0.15		0.15	-	
		·臨時等							-	
(人)		計			0.35	0.15		0.15	-	

4 評信	西(チェック)																			
評		視 点						評	価チェ	ックリス	スト							1.	次評価	2次評価
	対象カバー			対象カバ				☑ 他団体						他団体						
有	受益者(1~	1)					合している							または受			定			
効	成果の実績	į(2 ~ 1)	1				を把握し, がっている				=			日標値だまがあか		•	+>1 \		3	3
性				<u>し 天順</u> 果があが:				CDVS				大視旧	צנו פינוד	·米川·奶川	, , , , ,	1200/	L/&V1			
4点	- 成果向上余	:地(1~ 1)		成果向上													特にな	: b		
			<b>V</b>	比較でき	る団体が	ある		団体名	各市	消防本	陪却			比較で	きる団	体はない	1			
	活動配分(1	~ 1)		他団体の				活動配分					i	] 把握し						
÷h	プロ主が自己プラ(・	'/		・ □ 他回				□ 他団(	本と同	程度				他団体	なり多	۱١				
効				<u>い,または</u> 比較でき				団体名	夕古	出际士	k- 立17		· -	〕比較で	* * 7 F	l/★ l+ +>l	1			
				他団体の				単位コスト	·	HWJ4	P DP			」に戦し 〕把握し			•			
<del></del>	単位コスト(	1 ~ 1)	1	· 🗆 他回				□ 他団1		程度				. , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			l I		4	2
率			高	い,または	低い場合	うの理	曲												-1	-2
							は外郭団													
445	手段(1~	3)					義務づけら													
性 4点							対応できた 対応できな							PO等) で 員等で対						
4,			<b>7</b>				テっている		0.50			特に行			3 //C/ PJ	まてのる				
	コスト削減耳	以組(1~ 1)					実に行い,		早期に											
平成 1	6 年 度 の i	評価内容				Α	- D		[7]	か美し	l か	効果を得	<b>⊒ /</b> -							
及び	改善の	方向性	評	価結果		_		程に実施 の方向性							i	改善しな				
(計1曲力	がない場合は	記載 个 要)			V	В	CICOXI		Ш	改善し	したた	が,効男	<b>ドかない</b>	1		かった	総合	<u> </u>	_	Ъ
平 成	1 8 <b>f</b>	車 度 に		修理費の	削減					整備点	点検る	を確実に	こ行い,	修理回数	数を削減	載する。	評価		В	В
	する改	+ 及 に 善 内 容							改善内容											
(	必	須 )							PYA											
5 今往	後の対応(ア	'クション)																		
		7 7 - 7 7	行財:	政改革で	,車両更	新時期	明を延伸し	たことに	伴い	多理回	数か	が増える	る傾向に	こある。						
現在意	認識してし	ハる課題																		
古兄 既	引係者 市民,関	1亿字の夕称																		
からの	辛 目																			
要望		要望内容																		
		対応内容	車両	点検を毎	月1回行	事予定	定表に記載	せし、確実	に点	倹を実	を施す	ナる。								
	(1)	実施期限	亚出	1 8	年	7	月													
課題·要	 望等		十八人	1.0	1		Л													
	(2)	対応内容					_													
へ の 5	対 応	実施期限	平成		年		月													
	(3)	対応内容																		
		実施期限	平成		年		月													
	きえられる																			
以 善 (	カ ア イ デ :															今後の	方向	性 1	次証価	2次証価
			点検	整備を確	実に行い	、 事前	前に不具合	お箇所の発	見に参	努め,	修理	里回数を	を削減・	する。		<u>/ 区                                   </u>		_		0
							管理業務と								3	現 状	維	持 ●	)	•
																方 法				0
平成1	9~21年度	きの方向性 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん													-	民間 氢		_		0
																宿った		小 C		0
																統合/約 廃 止				0
															,	<b>光                                    </b>	/ I/N	щС	,	<u> </u>
י י⁄ר ±ז	平価 委員会	. 7	HE HE	画記学 小日	古しか	见方卡	両の44日	休い歌を	行1. \	古声/	の本	7E +>#"	野 ひァ	衍子田 ≠.々	ティナ	ノゼキ				
2 从 計	安 貝 万		1日(5	ボ以 たい万	1回しでは	不行 甲	·pmj vノT匹[四]′	r+>LL#X2C1	1 v ',	뿌ᆙ	<b>ソ</b> .週	ユーノチ間口	□∟火∪	прлт С1	1-7 (	1100	· • o			
			l																	

	÷n =	- 75 x	- NK						1	-n =	-1.4	E lam	
(内 i	部 事	務)	事業	<u> </u>	1230	310				部	次	長課	長
平成	17	ケ 庇	<b>=</b> :	業名	3.14.14年	活動用資機材の維持	生. 答理光致						
+ 11X	617	牛皮	<del>*</del> :	未 口	/HPJ	/白野/円貝/茂竹 ひ/莊1	寸 吕垤未伤						
					<u> </u>				ļ				
1	事業	€概望	要(ドゥ)										
第37	次芦	屋市	まちづく	りの目標	1	活気あふれる豊か	な生活環境づくり			Ayr 1	消防本部		
総台				中		安全と防災の確保				所 管 討	#1	通信装備担	当)
										5			<b>→</b> /
政员	束 が			小	3	防災機能の強化				所管課長氏名			
体		系	- 1	細						記入者氏名	重野 信	弘	
事		業	期	間	常時	•	経常臨時	☑ 経常 □	臨時	電話番号	0797-32-	-2345 内	線   4112
根	拠	法	令 , 5	要 綱 等	なし		•			実施 主位	市・自治	事終	
	1/4		· 手			<b>本</b> 州	口 如チジ	□ 人如チャ					
実		施			<u> </u>		一部委託	□ 全部委託		□ 補助金	_	負担金	
委			託	先	Ш	外郭団体委託	名称		□ 民間	]委託 <mark>委託内容</mark>	ř		
					消防	活動用資機材を災害	<b>害時に使用できるように</b>	維持管理する。					
事	à	業	の	概 要									
<b>J</b>			••	1-70									
					NI III	Lilk Lilmit S Lil	A Tarbelli Tarb						
					法定	点検・定期自主点権	<b>倹を実施する。</b>						
事	È	業	Ø	現 状									
		<b>-</b>	5TD 5 / ()										
			実現のため										
	=	手段及	ひ実施内	容									
				1F. 1= -	-ملاريكس	卢 구 FIV#/							
						自主点検数							
アク	ァテ	ィブ	(工業)+15+年	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成18年度	(目標)	平成19年	度(目標)
指		標	活動指標	指標値		52回	52回	5 2 回	i	52	Ī	5	2回
		1731		単位コスト		71,307円	47,846円	48, 48			-		
							47, 040[]	40, 40	0 1 1				
				指標名									
アウ	トフ	プット	4世田 七 抽	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成18年度	(目標)	平成19年	度(目標)
指		標	結果指標	指標値		11回	9回	110	i	12	1	1	2回
		1731		単位コスト		37,090円	276,444円	210, 0			-		
2 7	==	¥ <del>- 1</del>	B / ラム l		3	37, 03011	270, 44411	210, 0	0.911				
Z =	争亲	€刀乂ラ	果(アウト	`リム)									
			対	免	宣帝	救助資機材,隊員隊	古雑田継男						
			Χij	31	미/又	双奶貝饭的,	// 1支/17/攻伯						
事業	<b>≜</b>	日的	対象力	バー率	<b>対寸</b> ≨	象数 (a)	78人 受益数	(b)	78人	比 率 (b	∸ a) %	1.0	0%
対象			73 % 73	,, <u>+</u>	V1 ×	sc xx (u)	, o, ,	× (2)	. 0 / (	VO (D	. u <sub>j</sub> /0	1 0	0 70
X) 3	K ' /	忠 凶	_	_									
			意	义	高度	救助資機材,隊員隊	坊護用機器を維持管理す	ることによって	て,要救助	力者の安全確保及	なび隊員の	安全管理を行	<b>〒</b> う。
			(対象を主	E語にして)									
大	_	ŧ	な	目 的	巛宝	租場における亜州	助者の安全救出,活動隊	昌の字を確保す	トステレに	プトップ 芸長さ	1日の安全	<ul><li>安心成みず</li></ul>	<b>主</b> み ス
	•	C	<i>'</i> &	ביו די	火古	元物にわける女奴に	90年70女主秋山,伯勤184	貝の女主唯体》	12-01	こようて、戸座に	1八の女王	・女化燃化	可いつ。
				1	ļ								
						点検実施数							
			中 間	考え方・式	点検	を実施した種類							
			成果指標				平成16年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成18年度	(月煙)	平成 1 9 年	度(目標)
<del>,</del> ,	, ,					11種							
アウ	νг.			指標値			9種	1 1 種	Ĕ.	1 0 和	Ĕ.	1	1種
指		標				災害者数							
			最 終	考え方・式	災害	現場における公務の	災害者		·	·			
			成果指標				平成16年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成18年度	(目標)	平成 19年	度(目標)
			100 NO 101 IV			0人	0人	0人	( ) ( ) ( )	0人	( H IM )		人
				指標 値		0 八	0人	0人		0人		U	八
			4.5										
芦	屋	の	特色	となど	1								
3 !	車型	<b>坐</b> 弗.	活動和	分(コスト	)			1世帯当り(円)	62	住民1人当り(円)	20	平成18/11	住民基本台帳
	尹未					1.5年度/油等》	亚出 4 6 年度 7 法等 2					1 /3% 10.4.1	エレン学子口で
事		業	費		十九		平成16年度(決算)	平成17年度		平成18年度	(丁)异)		
		人	件費	47.4%		2,506	1,196		1,194		-		
		事	業費	52.6%		1,202	1,292		1,327	<u> </u>	1,460		
		7								i e			
	L	3.	門経費								_		
内	訳	他部	門経費								-		
	訳 円)	他部減価	償却費								-		
	訳 円)	他部減価	i 償 却 費 <b>計</b>			3,708	2,488		2,521		-		
	訳 円)	他部減価	i 償 却 費 <b>計</b> · 県			3,708	2,488		2,521		- -		
(千)	訳 円)	他部	i 償 却 費 <b>計</b> · 県			3,708	2,488		2,521		-		
(千) 財	訳門)源	他減価	信 却 <b>計</b> 息 信			3,708	2,488		2,521		-		
(千)	訳 円) 源 円)	他減合国市そ	信 部 ・ 信 の 他								-		
(千) 財 (千)	訳円)源円)	他減合国市そー	ば却費 計 県 賃 等 の 他 <b>財 源</b>			3,708	2,488		2,521		-		
(千) 財	訳 円) 源 円)	他減合国市そー	信 部 ・ 信 の 他										
(千) 財 (千)	訳門門門門	他減合国市そ一職	ば却費 計 県 賃 等 の 他 <b>財 源</b>	<b>100.0%</b> 100.0%		3,708	2,488		2,521				

4 評11 評	曲(チェック) 価	視点				÷π./	<b>エール</b>	カリフト							1 \/2 = 1	/ <b>#</b> 2	\p === /==
<del>at</del>	対象カバー			(一座は高い		☑ 他団体	西チェッ たん おと 同程 !				也団体より	カバー	- 変か	低し	一次計	∙1Щ ∠.	次評価
有	受益者(1~			と受益者は整	全合している				益者が不								
効	成果の実績	5(2 ~ 1)		早指標の実績値			设定して	いる	] 実績値	または目	標値が未	記入			3		3
	ル木の大海	Į(Z 1)		値から成果が		ると言える			実績値な	から成果	があがっ	ている	と言え	ない	J		3
性	- 成果向上余	€地(1~ 1)		っていない場合	<b>含</b>									L+ 1 4×			
4点			□ 成果向上	ニ朿めリ 'る団体がある		団体名	各市消	防太部			北較できる			持にな v	U	+	
				る団体がめる )数字を把握し	ている	活動配分		까쑤마			ルサメメ ヒ c c を 巴握してい		<b>ሐ</b> ሌ የ	1			
	活動配分(1	~ 1)	1 1-1 111	団体より少ない		□ 他団(		度		****	也団体より						
効			多い,またに	は少ない場合の	理由												
			☑ 比較でき				各市消	防本部			比較できる		はない	1			
	単位コスト(	1 ~ 1)	1 1	)数字を把握し 団体よりコストカ		単位コスト					巴握してい 也団体よ!		が古し	,	_		
率				当体よりコストル は低い場合の理		ा ।धाया	40円柱	反		1	世四本よ.	ノコント	小回~		- 0		0
				戦員が執行)ま		体へ委託	している	業務に	ついて								
	手段(1~	3)		ことる執行が					個人,家	えこう スロス アンス アンス アンス アンス アンス アンス アンス アンス アンス アン	或等が担?	うべき音	『分か	ある			
性	J-1/X(1	3)	,	業 , NPO等)でl					民間(企					5			
4点				時職員等では 或の取り組みを			5る		嘱託, 篮			可能で	である				
	コスト削減耳	取組(1~ 1)		戦の取り組みを 資機材保有数			の確保		特に行っ	5 (11/4)	, 1						
	0 /F /F / O :	÷== /== += ===		□ A	W. 2 E- Z ( 4	X 100 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 2											
及び	6年度の 改善 あ	方向性	評価結果			F度に実施		対善し,ダ	効果を得	た		7 L ±	- 1 4				
(評価カ	がない場合は	は記載不要)		✓ B	した政書	の方向性		対善した	が,効果:	がない		改善 かっ	しな た	w.^	.   _		_
				マイ マイ アイ					/ベ,空気		の削減			総合評価			В
平成実施	1 8 g する改	年 度 に 善 内 容						1 基削	削減する。								
(		須 う					内容										
5 4	後の対応(ア	フクションハ															
J / E	× 07 × 31/10/ ( 7	<i>,,,</i>	隊員及び要救	助者の命に係	る機器の気	2.全検査実	施										
現在意	認識して	いる課題	į														
市民、関からの	孫者 市民, 関	関係者の名称															
要望	意見,	要望内容															
		***	か与 ギン・バイ	1 # 2 成本上	- 7												
	(1)	刈心内谷	空気ボンベ1	Ⅰ基を廃業す	<b>ు</b>												
+m n=		実施期限	平成 19	年 2	2 月												
課題·要	(2)	対応内容	化学防護服の	点検													
へのす		実施期限	平成 19	年 1	0 月												
, ,	., ,,				9 / 3												
	(3)		放射能防護服														
		実施期限	平成 20	年 1	0 月												
子の供	考えられ	3															
	いったっれ カアイデ																
												今福	後の	方向	生 1次評	価 27	次評価
			化学防護服,											充		С	
			消防用車両の	維持・管理業	務と統合で	ナる。								維 :		•	
亚成 1	9~21年度	きの方向性											法 思 丞	※託	善 〇 ※	C	
1 /3%	2 1 7 13	2 00 71 1-1 11										縮	10) 54		<u> </u>	C	
												統台	合/終	期設	Ē O	С	)
												廃	止 /	休.	止 〇	С	)
																_	_
2 次 評	価委員会	ミコメント	1														

(一般	事業)	事業	□ - F	3120	230			部長次	長課長
平成1	17年度	事	業名	要保	護及び準要保護児	童生徒就学援助費			
1 13%	/54	. T	ж ц	X IX		至工作领门及均负			
1 事	業概	要(ドゥ)						<u> </u>	<u> </u>
			くりの目標	3	人と文化を育てる	まちづくり		所 管 課 (275	委員会管理部
総合			中	1	学校教育の充実			総務語	
政策	他系		細	2	教育内容の充実			所管課長氏名 記入者氏名 橋本	
事				昭和	5 7年~	经党院時	☑ 経常 □ 臨時	電話番号0797-	
						保護児童生徒援助費給		実施主体教育	1 5 ///
実	施		手 法	<b>V</b>	直営	一部委託	□ 全部委託		□ 負担金
委		託	先			名称		委託 <mark>委託内容</mark>	
	ж	_	4n7 ===			学させることが困難な例		· · · =	
事	業	の	概 要			保護者については,国庫 00円以内)だけとなり			平成17年度支給対象は,
					年度支給人数及び		7, 対象が入幅に放展し 211, 166円	/1-0	
事	業	の	現 状	(内		277	211, 100,		
	目的	実現のため	めの	小	学生 25人	99, 366₽	3		
	手段	及び実施に	内容	中	学生 7人	111,800	7		
			Tile i=	4-11	t W/				
		結果指標	指標名			平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度(目標	) 平成19年度(目標)
		(1)	指標値		513人	<u> </u>	32人	29人	ナー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
アウト	・プット		単位コスト		33千円	3 2 千円	7千円	237	
指	標		指標名			1114	. , , , ,		
		結果指標	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度(目標	) 平成19年度(目標)
		(2)	指標値	1	6,729千円	16,685千円	212千円		
• =	- 1114		単位コスト						
2 事	美风:	果(アウ 	トカム)	m /□	<b>************************************</b>	7月ウナッキ) 東出	1 6 年 年 子 不 以 淮 亜 川 三	#. <b>4.</b> (西/日#. <b>4.</b> ) * ***	る程度に困窮している者)
		対	象		硬有(生活体硬伝 付対象。	に規止りつ有丿。 半成	10年度までは毕安休記	漫有 (安休禮有に毕り)	3 住及にM躬し(いる有)
事業は	の目的	対象が	b バ - 率	対象	R 数 (a)	3 2 人 受益数	(b) 32人	比 率 (b ÷ a)	<b>%</b> 1 0 0 %
対象	・意図	1							
		意		援助	費を給付する。				
		(刈家を	主語にして)						
大	き	な	目 的	経済	的な理由により就	学させることが困難な例	R護者に対する就学及び	育成の円滑化	
			指標名						
						支給要件を満たす人	亚代 4 7 年 / 中体 >	五世4.0左座4.口堙	、
アウ	<b>Ь                                    </b>		年   度     指標値		100%	平成16年度(実績)       100%	平成17年度(実績)       100%	平成18年度(目標 100%	)     平成19年度(目標)       100%
指	- 73 石		指標名		1 0 0 70	1 0 0 70	1 0 0 70	1 0 0 70	1 0 0 70
			考え方・式						
					,15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度(目標	) 平成19年度(目標)
			指標値						
* <b>=</b> -	⊨ o #±	タ か じ 辻	口士?声语						
尸座「	りの料	巴なて柵。	足する事項						
3 事	業費	・活動配	分(コスト	)			1世帯当り(円) 21	住民1人当り(円)	9 平成18.4.1 住民基本台帳
事	業				,15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(決算)	平成18年度(予算	)
	人	件費			2,923	2,815	632		-
	事	業費			16,729	16,685	212	4	00
		17 門 経 費	_						-
( + 13	<b>合</b>	西償 却 費 <b>計</b>			19,652	19,500	844		<u>-</u>
	国	· 県			2,509	2,784	105		2
	源市	債 等	÷						
(千円		の 他	_						
\		般財湯	+		17,143	16,716	739		-
	動職の場合	1. 吃 哄 盆			0.40	0.40	0.10		-
配:	分 <u>鳴計</u> ) <b>合</b>	E·臨時等			0.40	0.40	0.10		-
( /	, –	Я	100.0%		0.70	0.40	0.10		

4 評价	西(チェック	)					
評	価	視	点	評価チェックリスト		1次評価	2次評価
	日的亞達	当性(2~	2)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞るこ	ことができない		
	日印五	∃1±(2 <sup></sup>	۷)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高	<b>iくない</b>		
				☑ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対	応可能である		
妥	市関与(	2 ~ 2)		□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされて	いる		
				□ いずれにも該当しない			_
当				□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う		4	5
	市民二-	-ズ(2~	1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない			
性				□ 数字で把握している □ □ 対象では、	□未把握		
8点	社会環境	竟変化(1	~ 1)	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた	こ見直しが必要		
	百七卅	四名 卅/	'A\	内容			
	優先性, 対象カ/			□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる □ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバ・	一支が低い		
有	受益者(		- 1)	□ 対象がハー率は高い □ 他団体と内径及 □ 他団体とサガハ・□ 事業意図と受益者が不整合,または受益が			
	,			□ 事業总因と交通することがる □ 事業总因と交通すが不足百,または交通が 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未言			
効	成果の乳	実績(2~	1)	→ 図 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがって		3	3
性				成果があがっていない場合	₹1,000 Д/2,007.		
4点	- 成果向_	上余地(1	~ 1)	□ 成果向上策あり	□ 特になし		
				☑ 比較できる団体がある 団体名 阪神各市 □ 比較できる団体はない			
	× /	. 1.74	41)	☑ 他団体の数字を把握している 単位コスト 援助項目,援助金額 □ 把握している	ない		
効	単位コス	(r(1 ~	1)	□ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが	が高い		
				高い、または低い場合の理由			
	受益者的	負担(0~	1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない □	_		
率	~===	.<1=(0	•,	□ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □	」 徴収可能 )	1	0
				直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		'	
	手段(1~	- 3)		□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担う・□ 日間(人)家庭,地域等が担う・□ 日間(人)。日間(日)。日間(			
44				□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応			
性 3点				□ 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託, 臨時職員等で対応□ □ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない	月能である		
эж	コスト削	減取組(1	l ~ 1)	□ コスト削減の取り組みを11 りている □ 行に11 りていない □ 行に11 りていない			
平成1	6 年 度 0 改 善	p 評価	内容	□ A <mark>平成17年度に実</mark> □ 改善し,効果を得た	7/ 3/4 )		
(評価力	び 善 (がない場合	ル 万 は記載	河 性	<b>評価結果</b>	改善し なかっ		
( 81 114 15			,	T v	た総合	Α	В
<u></u> 교	1 8	年 1	き に	世帯人員 改正前 改:	正後評価	$\wedge$	ט
平成実施	1 8 する ā	攻 一善 <i>'</i>	内容	課題     給付所得基準額の見直し     改善     2人     1,620千円     1,6       (平成18年4月1日改正)     内容     3人     2,150千円     2,1	0 1 千円		
(	必	須	)		00千円 31千円		
5 全統	後の対応	(アクミ)	`/ )	4/\ 2, 1241   2, 0	3 1 1 1 1		
J / E	× 47 X 1 IU	() ) )		現在本市において措置している兵庫県立国際中等教育学校(前期課程)生徒に対する就学:	奨励制度に関する!	県への移	(管要望
現在	認識して	ている			,		
市民,関	係者 市民	, 関係者	の名称				
からの		. , 要望	1 内 宓				
要望	等心力	, , & =	E r J 🗀				
		対	応内容	阪神各市と連携して前年度に引続き同校に対する県の就学奨励制度の創設を要望してい	vić.		
	( 1	)					
±m 85 æs	: ÷= **	美	施期限	平成 年 月			
課題·要	. — .	対	応内容				
へのす	) ht is		施期限	平成    年    月			
( 0) /	λ') <i>μ</i> υ			一一一			
	(3	対.	応内容				
	(-		施期限	平成    年    月			
				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
その他	考えられ	n る					
改善	カアイラ	デア					
					今後の方向性		2次評価
					拡大・充実		0
				ので、阪神各市の給付制度との均衡を図りながら今後も引続き本制度を維持していく。	現 状 維 持		•
					方法改善		0
平 成 1	9~21年	= 度のフ	り同性		民間委託等	_	0
					縮 小統合/終期設定		0
					統		0
					远上/水儿	$\cup$	$\cup$
2 次 評	亞価委員	会 ¬	メント				
- //\	× ×						

(一般	事業)	事業	コード	3120	240			部長次	長課長
平成1	17年度	事	 業 名	義務	数音児童生徒就学	援助費(国庫補助対象外	)		
1 7-20		<b>-</b>	ж I	32373	37 H 70 = 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2		,		
1 事	業概	要(ドゥ)							
			りの目標		人と文化を育てる	まちづくり		所 管 課	委員会管理部
	計画		中		学校教育の充実			総務	
	施 策 系		小 細	2	教育内容の充実			所管課長氏名 記 入 者 氏 名 橋本	
事	業	斯		昭和	57年~	経常臨時	☑ 経常 □ 臨時		-38-2085 内線 3201
根拠						保護児童生徒援助費給付	1,000		委員会管理部
実	施	手	法	<b></b>	直営	一部委託	□ 全部委託	□補助金	□ 負担金
委		託	先			名称		委託 <mark>委託内容</mark>	
	2114	_	4n7 ===			学させることが困難な例			ı
事	業	の	概 要			護世帯)の保護者に対し 者に対して校外活動費等			
					安保護世帯の保護 年度支給人数及び				用切(川平独争未)
事	業	の	現 状	(内		2017	, 10, 2.1, 2		
	目的	実現のため	<b>o</b> 0	小	学生 339	人 7,541,68	30円		
	手段	及び実施内	容	中	学生 155	人 8,729,59	9 6 円		
		1	I						
		4±円+15+=	指標名		人数 15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度(目標	□ 平成19年度(目標)
		結果指標 (1)	指標値		486人	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
アウト	・プット		単位コスト		0. 4千円	0.3千円	33千円	317人	
指	標			援助			111		
		結果指標				平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度(目標	1 平成 1 9 年度 (目標)
		(2)	指標値		217千円	145千円	16,272千円		
•	- 2112 - 12 1	7/	単位コスト						
2 事	美风	果(アウ  	<u> </u>						
		対	象	要保	護者(生活保護法	に規定する者)及び準要	長保護者(要保護者に準	ずる程度に困窮してい	いる者)
事業(	の目的	対象力	バー率	対象	<mark>衰数 (a)</mark> 5,	257人 受益数	(b) 494人	比 率 (b ÷ a)	<b>%</b> 9.3%
対 象	・意 図								
		意		援助	費を給付する。				
		(対象を主	主語にして)						
大	ŧ	な	目 的	経済	的な理由により就	学させることが困難な例	R護者に対する就学及び	育成の円滑化	
, ,									
			指標名						
						支給要件を満たす人			
7 A	トカム	指標			100%	平成16年度(実績) 100%	平成17年度(実績)       100%	<mark>  平成18年度(目標</mark>   100%	平成19年度(目標)   100%
指	標		指標値指標名		100%	100/0	1 0 0 /6	100/6	1 0 0 /0
711	125	最終成果	考え方・式						
					15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度(目標	平成19年度(目標)
			指標値						
# = -	<b>⊢                                    </b>	¬ +> 1° ++ 1	_ <b></b>						
户屋巾	りの狩り	色なと補足	足する事項						
3 事	<b>業費</b>	活動配	分(コスト)	)			1世帯当り(円) 479	住民1人当り(円)	210 平成18.4.1 住民基本台帳
事	<del>業</del>	費			15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度(決算)	平成18年度(予算	
	人	件 費	14.7%		656	633	2,811		-
	事	業費			217	146	16,272	19,0	000
		門経費							-
(十円		「償却費 計			873	779	19,083		-
	国				013	119	19,003		
財	源 市	債 等							
(千円	() そ	の他	1						
		設 財源			873	779	19,083		-
	動職	員			0.10	0.10	0.40		-
配:	分 <mark>嘱託</mark> ) <b>合</b>	· 臨時等 <b>計</b>	1		0.10	0.10	0.40		-
	7 🖂	ĦΤ	100.0%		0.10	0.10	0.40		

4 評价	西(チェック	')			
評	価	視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
	口格亚亚	44.(2 O)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	日的安白	性(2~ 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
			☑ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2	~ 2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
	,	,	□ いずれにも該当しない		
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 ☑ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	5	5
_	市民二一	ズ(2~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない、または未把握	J	J
性	1,020—	· (- · · )	□ 数字で把握している □ 未把握		
8点			□ 新学に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
O,AA	社会環境	変化(1~ 1)	内容		
	優先性,	聚刍性(1)	□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
		一率(1~ 1)	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1	, ,	□ 対象がが、平は同じ □ 他国体と可住及 □ 他国体をがが、平が同じ □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
	又無日(1		□ 事業总員と支血する定台のといる □ 事業总員と支血すが不定点, または支血が一部に限定 □ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	_	_
効	成果の実	績(2~ 1)	□ 中間成未指標の実績値を記述り、自標値を設定している」 実績値なたは自標値が不記べ ■ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	3	3
.keL			成果があがっていない場合		
性 4点	- 成果向上	余地(1~ 1)	,		
4只					
*+	単位コス	<b>├(1 ~ 1)</b>	☑ 他団体の数字を把握している 単位コスト 援助項目,援助金額 □ 把握していない		
効			▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
			高い、または低い場合の理由		
	受益者負	担(0~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
率		,	□ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能)	1	0
			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	•	
	手段(1~	3)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	2	-,	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である ☑ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点	コスト削減	成取組(1~ 1)	☑ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
		,	→ 内容 給付所得基準額の見直し		
亚 战 1	6年度の	拉 価 内 突	□ A <mark>平成17年度に実</mark> □ 改善し、効果を得た		
及 び	改善をの	評価内容	評価結果 施した改善の方向 お主したが、効果があった。 改善し		
(評価カ	がない場合	は記載不要)	$$ $$		
			************************************	Α	В
平 成	1 8	年 度 に	世帯人員 改正前 改正後 評価	, ,	
実施	する改	年 度 に 【 善 内 容	課題     給付所得基準額の見直し     改善 内容     2人     1,620千円     1,601千円       (平成18年4月1日改正)     内容		
(	必	須 )	内容     3人     2,150千円     2,100千円       4人     2,724千円     2,631千円		
Γ <b>Δ</b> /4	<b>※の社庁</b> (	マカシューショ	4A 2, 724 M 2, 031 M		
J 71	友リノスツルい(	アクション)	現在本市において措置している兵庫県立国際中等教育学校(前期課程)生徒に対する就学奨励制度に関する!	目への移	答面切
現 左 🗎	割 蝉 し て	いる課題	が江本市に40V で相直してV 3米岸ボ立国旅中等教育予以(前別旅住)工匠に対する航予天脚間及に関する。	T 10719	/日女王
ルル 1上 日		V 2 px 45			
市民既	16岁 古足	関係者の名称			
からの	辛日				
要望	意見	,要望内容			
女主	ਚ				
	(1)	対応内容	阪神各市と連携して前年度に引続き同校に対する県の就学奨励制度の創設を要望していく。		
	(1)	実施期限	平成 年 月		
課題·要	胡笙	<b>美</b> 爬納സ	十八 十		
林 起 女	(2)	対応内容			
へのす		実施期限	平成年月		
( 0)	×3 //U	大旭和似			
	(3)	対応内容			
	(3)				
		実施期限	平成 年 月		
Z 10 /4h	+ + - · +	7			
	! 考えられ D ア イ デ				
以 書 (	<b>ル</b> ア 1 テ	,	A # a + 1 #		
			今後の方向性		
			準用保護に対する国庫補助制度が平成17年度から廃止されたため、市一般財源の支出が大幅		0
			に増加しているが、本制度は、憲法第26条及び教育基本法第3条における教育の機会均等を 現 状 維 持		<ul><li>O</li></ul>
T/ = + 4	0 2.4 =	<b>中のナ</b> ー!!	保障する制度であるので、阪神各市の給付制度との均衡を図りながら今後も引続き本制度を維 方法 改善		0
平 成 1	9~21年	度の方向性			0
					0
			統合/終期設定		0
			<mark>廃止/休止</mark>	U	0
	, /# <del>*</del> -	A 7 / N. I	○に除り土の動力に注意しながら、第二を制度等中に対してくかして、		
2 V <sub>27</sub> ±π		デコメント	近隣各市の動向に注意しながら,適正な制度運用に努めてください。		

( — 40 至	重 業 /	事 業	7 - K	31202	280						部	長	次	長	課	長
( /3X -	<b>F A</b> )	<b>y</b> *	<del>- '</del>	01202							ПЬ		<i></i>		HAK	
平成 17	7年度	事	業名	私立纪	幼稚園就園	<b>國奨励費</b>	補助金									
4 == 3	ATT TO 2 =	# / l* . \														
		要(ドゥ)				. I							#1 <del>                                     </del>	A 644		
							まちづくり				所 管	課	教育委員	会管埋	部	
総合			中		学校教育の								総務課			
政策	施策	4	小	2	教育内容(	の充実					所管課	長氏名	橋本 達	広		
体	系	;	細								記入者	氏 名	橋本 達	広		
事	業	期	間	昭和:	47年~			経常臨時	☑ 経常	□臨時	電話	番 号	0797-38-	-2085	内線	3201
	法	令 ' 弱	更綱 等	芦屋ī	市私立幼稚	(園就園	奨励費補助金 <sup>3</sup>	を付要綱			実施	主 体	教育委員	会管理	部	
窜	施	手		<u></u>			□ 一部委託		□ 全部	委託	□補助			負担金		
実 委	,,,,	託			外郭団体到	<b></b> 委託	名称				委託 委言			<i></i>		
^		#0	,,,				保育料等の減	色をする	場合に設置			ого ш				
事	業	Ø	概 要		-911ERI < > DX	X 巨 石 //- ,		176 G 7 W	勿口(C)以巨	日内 (1)及り)	, .a./ o					
<del></del>	未	0)	100 女													
				1 7 /	F # + 4A I	<b>単.</b> サッツ	は 申 7	T » 11	7.0.1	1.0.001	0.0.0	-				
_	ш		TO			(奴及び	援助費	<b>正</b> ペ 1 ′	(8人)	13, 601	, 092	H				
事	業		現 状				_									
		実現のため			歳児			47, 99								
	手段及	及び実施内	容	4 %	歳児	63,	人 4,44	40, 73	30円							
					歳児	45,	人 3, 2	12, 37	7 0 円							
			指標 名	対象	人数											
		結果指標				(実績)	平成16年度	(実績)	平成 1 7 年	F度(実績)	平成 1 8	3年度(	目標)	平成 1	9年度(	目標)
			指標値		163人		180			7 8人		- (				
アウト	プット		単位コスト		76千円/		76千円			-円/年						
指	標		指標名			'	. 0 111	/ 1		1 47 1						
111	行示	結果指標				で実績し	平成16年度	(宝繕)	亚战 1 7 4	F度(実績)	平成 1 8	2 午度 /	日煙~	亚成 1	9年度(	日梅)
											十八人	十尺(	日信ノ	十八人	サータ(	日1示丿
		(2)	指標値	1.	2, 264	1 下円	13,64	7 下円	13, 0	502千円						
2 = 3	114 <u>-1</u> 5 E		単位コスト													
	業成績	果(アウ)	`カム)													
		対	象	私立约	幼稚園設置	<b>骨者</b>										
		, <u></u>	-31	,	> 1 I I I I I I I I I I I I I I I I I I											
			バー率	対象	き数 (a)	1	78人	受 益 数	(b)	178人	比	率 (b	÷ a) %		100%	
			バー率	対象	き数 (a)	1	78人	受 益 数	(b)	178人	比	率 (b	÷ a) %		100%	)
					· · · · ·		78人		(b)	178人	比	<b>率 (b</b>	÷ a) %		100%	)
		意			· · · · ·				(b)	178人	比	<mark>率(b</mark>	÷ a) %		100%	
		意	図		· · · · ·				(b)	178人	比:	<mark>率 (b</mark>	÷ a) %		100%	)
対 象 · 		意	図 E語にして)	減免	した入園料	斗及び保			(b)	178人	比	<b>率 (</b> b	÷ a) %		100%	
対 象 · 	意図	意 (対象を主	図 E語にして)	減免	した入園料	斗及び保	育料を補助する		(b)	178人	比	<b>率 (b</b>	÷ a) %		100%	)
対 象 · 	意図	意 (対象を3	図 E語にして) 目 的	減免	した入園料 幼児教育の	斗及び保	育料を補助する		(b)	178人	比	<b>率</b> (b	÷ a) %		100%	)
対 象 · 	意図	意 (対象を3	図 E語にして) 目 的 指標名	減免 私立 紅 補助 基	した入園料 幼児教育の 率	斗及び保 ○機会均	育料を補助する		(b)	178人	比	<b>率 (b</b>	÷ a) %		100%	
対 象 · 	意図	意 (対象を3 な 中間成果	図 E語にして) 目 的 指標名 考え方·式	減免 私立 結 相 助 補 抽 制	した入園料 幼児教育の 率 件数/補助	料及び保 )機会均っ 助対象	育料を補助する	<b>5</b> .								
対 象 · 大	意図	意 (対象を3 な 中間成果 指	図 E語にして) 目	私立名補助名補助名	した入園* 幼児教育の 率 件数/補助 15年度(	対象	育料を補助する 等及び奨励 平成16年度	(実績)	平成 1 7 年	F度 (実績)	平成1 (	3年度(	目標)	平成 1	9年度(	目標)
対象・ 大 アウト	意図	意 (対象を3 な 中間成果 指	E語にして)     目	私立名補助名補助名	した入園料 幼児教育の 率 件数/補助	対象	育料を補助する	(実績)	平成 1 7 年		平成1 (		目標)	平成 1		目標)
対 象 · 大	意図	意 (対象を主な 中間成果	E語にして)指表え方・標標4考えて標標5年6年6474848494<	私立名補助名補助名	した入園* 幼児教育の 率 件数/補助 15年度(	対象	育料を補助する 等及び奨励 平成16年度	(実績)	平成 1 7 年	F度 (実績)	平成1 (	3年度(	目標)	平成 1	9年度(	目標)
対象・ 大 アウト	意図	意 (対象を3 な 中間成果 指 最終成果	図(て) 的 名式度値名式	私立結補助補助的中成	した入園料 幼児教育の 率 件数/補助 15年度( 100%	計及び保       )機会均       力対象       (実績)	育料を補助する 等及び奨励 <mark>平成 1 6 年度</mark> 1 0 0	( <b>実績)</b> %	平成 1 7 <del>1</del> 1 (	<b>F度(実績)</b> )0 %	平成 1 :	<mark>3年度(</mark> 100%	<mark>目標)</mark>	平成 1	<mark>9年度(</mark> 100%	<mark>目標)</mark>
対象・ 大 アウト	意図	意 (対象を3 な 中間成標 最終成標 指	図(で) 的 名式度値名式度 で 名式度 を おおまた で は おおまた で おおまた と おおまた と おおまた と おおまた と おおまた と おおまた と おおまた と おおまた と おおまた と おおまた と かんしょう と かんしょう と は と かんしょう と かんしょう と は と かんしょう と は と かんしょう と は と かんしょう と は と は と かんしょう と は と は と は と は と は と は と は と は と は と	私立結補助補助的中成	した入園料 幼児教育の 率 件数/補助 15年度( 100%	計及び保       )機会均       力対象       (実績)	育料を補助する 等及び奨励 平成16年度	( <b>実績)</b> %	平成 1 7 <del>1</del> 1 (	F度 (実績)	平成1 (	<mark>3年度(</mark> 100%	<mark>目標)</mark>	平成 1	9年度(	<mark>目標)</mark>
対象・ 大 アウト	意図	意 (対象を3 な 中間成標 最終成標 指	図(て) 的 名式度値名式	私立結補助補助的中成	した入園料 幼児教育の 率 件数/補助 15年度( 100%	計及び保       )機会均       力対象       (実績)	育料を補助する 等及び奨励 <mark>平成 1 6 年度</mark> 1 0 0	( <b>実績)</b> %	平成 1 7 <del>1</del> 1 (	<b>F度(実績)</b> )0 %	平成 1 :	<mark>3年度(</mark> 100%	<mark>目標)</mark>	平成 1	<mark>9年度(</mark> 100%	<mark>目標)</mark>
対 大 フ す ト	意図	意 (対象を3 な 中間成標 最終成標 指	を	私立名補助和補助的中心	した入園料 幼児教育の 率 件数/補助 15年度( 100%	計及び保       )機会均       力対象       (実績)	育料を補助する 等及び奨励 <mark>平成 1 6 年度</mark> 1 0 0	( <b>実績)</b> %	平成 1 7 <del>1</del> 1 (	<b>F度(実績)</b> )0 %	平成 1 :	<mark>3年度(</mark> 100%	<mark>目標)</mark>	平成 1	<mark>9年度(</mark> 100%	<mark>目標)</mark>
対 大 フ す ト	意図	意 (対象を3 な 中間成標 最終成標 指	図(で) 的 名式度値名式度 で 名式度 を おおまた で は おおまた で おおまた と おおまた と おおまた と おおまた と おおまた と おおまた と おおまた と おおまた と おおまた と おおまた と かんしょう と かんしょう と は と かんしょう と かんしょう と は と かんしょう と は と かんしょう と は と かんしょう と は と は と かんしょう と は と は と は と は と は と は と は と は と は と	私立名補助和補助的中心	した入園料 幼児教育の 率 件数/補助 15年度( 100%	計及び保       )機会均       力対象       (実績)	育料を補助する 等及び奨励 <mark>平成 1 6 年度</mark> 1 0 0	( <b>実績)</b> %	平成 1 7 <del>1</del> 1 (	<b>F度(実績)</b> )0 %	平成 1 :	<mark>3年度(</mark> 100%	<mark>目標)</mark>	平成 1	<mark>9年度(</mark> 100%	<mark>目標)</mark>
対 大 ウ 屋 市	意図をかります。	意 (対象を3 な 中間 成 標 果標 果標	図() 的 名式度値名式度値 項	私立名補助和補助的中成	した入園料 幼児教育の 率 件数/補助 15年度( 100%	計及び保       )機会均       力対象       (実績)	育料を補助する 等及び奨励 <mark>平成 1 6 年度</mark> 1 0 0	( <b>実績)</b> %	平成 1 7 <del>1</del> 1 (	<b>F度(実績)</b> )0 %	平成 1 :	<mark>3年度(</mark> 100%	<mark>目標)</mark>	平成 1	<mark>9年度(</mark> 100%	<mark>目標)</mark>
対 大 ウ 屋 市	意図をかります。	意 (対象を3 な 中間 成 標 果標 果標	を	私立名補助和補助的中成	した入園料 幼児教育の 率 件数/補助 15年度( 100%	計及び保       )機会均       力対象       (実績)	育料を補助する 等及び奨励 <mark>平成 1 6 年度</mark> 1 0 0	( <b>実績)</b> %	平成 1 7 <del>1</del> 1 (	F度 (実績) ) 0 % F度 (実績)	平成 1 :	3年度( 100% 3年度(	<mark>目標)</mark>	平成 1	<mark>9年度(</mark> 100%	目標)
対 大 フ カ ト 市 事	意図をかります。	意 (対象を3 な 中間 成 標 果標 果標	図() 的 名式度値名式度値 項 ト	私立公外,我立外,我立外,我立外,我立外,我立外,我立外,我可以是一个人,我可以是一个,我可以是一个人,我可以是一个人,我可以是一个人,我可以是一个,我可以是一个人,我可以是一个,我可以是一个,我可以是一个,我可以是一个,我可以是一个,我可以是一个,我可以是一个,我可以是一个,我可以是一个,我可以是一个,我可以是我可以是一个,我可以是一个,我可以是我可以是一个,我可以这一个,我可以是我可以是一个,我可以是一点	した入園料 幼児教育の 率 件数/補助 15年度( 100%	対象         (実績)         (実績)	育料を補助する 等及び奨励 <mark>平成 1 6 年度</mark> 1 0 0	(実績) %	平成 1 7 名 1 ( 平成 1 7 名	F度 (実績) ) 0 % F度 (実績)	平成 1 3	3年度( 100% 3年度( <sup>1</sup> <sup>1</sup> <sup>1</sup> <sup>1</sup> <sup>1</sup> <sup>1</sup> <sup>1</sup> <sup>1</sup>	目標)	平成 1	<mark>9年度(</mark> 100% <mark>9年度(</mark>	目標)
対 大 フ カ ト 市 事	意とという。	意 (対象を 中指 最終 成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成形成) 活動配	図() 的 名式度値名式度値 項 ト	私立公外,我立外,我立外,我立外,我立外,我立外,我立外,我可以是一个人,我可以是一个,我可以是一个人,我可以是一个人,我可以是一个人,我可以是一个,我可以是一个人,我可以是一个,我可以是一个,我可以是一个,我可以是一个,我可以是一个,我可以是一个,我可以是一个,我可以是一个,我可以是一个,我可以是一个,我可以是我可以是一个,我可以是一个,我可以是我可以是一个,我可以这一个,我可以是我可以是一个,我可以是一点	した入園料 幼児教育の 率 件数/補助 15年度( 100%	対象         (実績)         (実績)	育料を補助する 等及び奨励 <mark>平成16年度</mark> 100 <b>平成16年度</b>	(実績) %	平成 1 7 名 1 ( 平成 1 7 名	F度 (実績) ) 0 % F度 (実績)	平成 1 ( 平成 1 ( 住民 1 人当	3年度( 100% 3年度( <sup>1</sup> <sup>1</sup> <sup>1</sup> <sup>1</sup> <sup>1</sup> <sup>1</sup> <sup>1</sup> <sup>1</sup>	目標)	平成 1	<mark>9年度(</mark> 100% <mark>9年度(</mark>	目標)
対 大 フ カ ト 市 事	意ときなった標の特別を表現しています。	意(対象を引動した) ないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	図で) 的 名式度値名式度値 項 ト 横	私立公外,我立外,我立外,我立外,我立外,我立外,我立外,我可以是一个人,我可以是一个,我可以是一个人,我可以是一个人,我可以是一个人,我可以是一个,我可以是一个人,我可以是一个,我可以是一个,我可以是一个,我可以是一个,我可以是一个,我可以是一个,我可以是一个,我可以是一个,我可以是一个,我可以是一个,我可以是我可以是一个,我可以是一个,我可以是我可以是一个,我可以这一个,我可以是我可以是一个,我可以是一点	した入園料 幼児教育の 率 (件数/補助 15年度( 100%	対象         (実績)         (決算)	育料を補助する 等及び奨励 <mark>平成16年度</mark> 100 <b>平成16年度</b>	(実績) % (実績)	平成 1 7 名 1 ( 平成 1 7 名	F度 (実績) 00% F度 (実績) 381 F度 (決算)	平成 1 ( 平成 1 ( 住民 1 人当	3年度( 100% 3年度( <sup>1</sup> <sup>1</sup> <sup></sup>	目標)	平成 1	<mark>9年度(</mark> 100% <mark>9年度(</mark>	目標)
対 大 フ指 芦 事 3 事	意 き カ の 業 人事	意(対な 中指 最指 み 活動 で	図で を	私立公外,我立外,我立外,我立外,我立外,我立外,我立外,我可以是一个人,我可以是一个,我可以是一个人,我可以是一个人,我可以是一个人,我可以是一个人,我可以是一个人,我可以是一个人,我可以是一个人,我可以是一个人,我可以是一个人,我可以是一个,我可以是一个人,我可以我可以是一个,我可以是一个,我可以是一个,我可以是一个,我可以是我可以是一个,我可以是我可以是一个,我可以是一点,我可以是一点,我可以是一点,我可以是一点,我可以是一点,我可以是一点,我可以是一点,我可以是一点,我可以我可以是一点,我可以是一点,我可以是一点,我可以是一点,我可以是一点,我可以是一点,我可以	した入園料 幼児教育の 率 (件数/補助 15年度( 100%	対象 (実績) (決算) 3,068	育料を補助する 等及び奨励 <mark>平成16年度</mark> 100 <b>平成16年度</b>	(実績) % (実績) (決算) 2,921	平成 1 7 名 1 ( 平成 1 7 名	F度 (実績) ) 0 % F度 (実績) BB (決算) 1,578	平成 1 ( 平成 1 ( 住民 1 人当	3年度( 100% 3年度( <sup>1</sup> <sup>1</sup> <sup></sup>	目標)	平成 1	<mark>9年度(</mark> 100% <mark>9年度(</mark>	目標)
対 大 ア指 芦 3 事 内 ・ 市 事 訴	意 き カ の 業 人事 他 図	意(対な 中指 最指 を 活動 産業 経 乗標 果標 果標 乗標 乗標 乗標 乗標 乗標 乗標 乗 乗 乗 乗 乗 乗	図で を	私立公外,我立外,我立外,我立外,我立外,我立外,我立外,我可以是一个人,我可以是一个,我可以是一个人,我可以是一个人,我可以是一个人,我可以是一个人,我可以是一个人,我可以是一个人,我可以是一个人,我可以是一个人,我可以是一个人,我可以是一个,我可以是一个人,我可以我可以是一个,我可以是一个,我可以是一个,我可以是一个,我可以是我可以是一个,我可以是我可以是一个,我可以是一点,我可以是一点,我可以是一点,我可以是一点,我可以是一点,我可以是一点,我可以是一点,我可以是一点,我可以我可以是一点,我可以是一点,我可以是一点,我可以是一点,我可以是一点,我可以是一点,我可以	した入園料 幼児教育の 率 (件数/補助 15年度( 100%	対象 (実績) (決算) 3,068	育料を補助する 等及び奨励 <mark>平成16年度</mark> 100 <b>平成16年度</b>	(実績) % (実績) (決算) 2,921	平成 1 7 名 1 ( 平成 1 7 名	F度 (実績) ) 0 % F度 (実績) BB (決算) 1,578	平成 1 ( 平成 1 ( 住民 1 人当	3年度( 100% 3年度( <sup>1</sup> <sup>1</sup> <sup></sup>	目標)	平成 1	<mark>9年度(</mark> 100% <mark>9年度(</mark>	目標)
対 大 フ指 声 事 訴	<ul><li>意きカクラー</li><li>力標</li><li>特度業人事他価値</li></ul>	意 (対象を 中指 最終 成成成成 で 神 で は が は は は は は は は は は は は は は は は は は	図(T) 的 名式度値名式度値 項 か 構成 10.4% 89.6%	私立公補助和平成平成	した入園料 幼児教育の 率 件数/補助 15年度( 100% 15年度(	対象 (実績) (実績) (決算) 3,068 12,264	育料を補助する 等及び奨励 <mark>平成16年度</mark> 100 <b>平成16年度</b>	(実績) (実績) (実績) (決算) 2,921 13,647	平成 1 7 名 1 ( 平成 1 7 名	F度 (実績) 00% F度 (実績) 1,578 13,602	平成 1 ( 平成 1 ( 住民 1 人当	3年度( 100% 3年度( <sup>1</sup> <sup>1</sup> <sup></sup>	目標)	平成 1	<mark>9年度(</mark> 100% <mark>9年度(</mark>	目標)
対 大 ア指 芦 3 事 内 ・ 市 事 訴	<ul><li>意きカの業人事心減合</li><li>図 ム標 特費業人事心減合</li></ul>	意(対な 中指 最指 さ 活動費費費費計 イ 業 経 却 計 で	図で 目 指 考年 指 表 年 指 表 年 指 表 年 は 表 表 標 標 点 た に に に に に に に に に に に に に	私立公補助和平成平成	した入園料 幼児教育の 率 件数/補助 15年度( 100% 15年度(	対象 (実績) (実績) 3,068 12,264	育料を補助する 等及び奨励 <mark>平成16年度</mark> 100 <b>平成16年度</b>	(実績) (実績) (実績) (決算) 2,921 13,647	平成 1 7 名 1 ( 平成 1 7 名	F度 (実績) 00% F度 (実績) 1,578 13,602	平成 1 ( 平成 1 ( 住民 1 人当	3年度( 100% 3年度( <sup>1</sup> <sup>1</sup> <sup></sup>	目標 ) 167 予算 )	平成 1	<mark>9年度(</mark> 100% <mark>9年度(</mark>	目標)
対 大 ア指 芦 3事 内(	<ul><li>意 き カ の業 人事他減<b>合</b>国</li><li>図 ム標 特費業 人事他減<b>合</b>国</li></ul>	意(対な 中指 最指 さ 活動費費費費計県 インス は 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	図(T) 的 名式度値名式度値 項 か 構成 10.4% 89.6%	私立公補助和平成平成	した入園料 幼児教育の 率 件数/補助 15年度( 100% 15年度(	対象 (実績) (実績) (決算) 3,068 12,264	育料を補助する 等及び奨励 <mark>平成16年度</mark> 100 <b>平成16年度</b>	(実績) (実績) (実績) (決算) 2,921 13,647	平成 1 7 名 1 ( 平成 1 7 名	F度 (実績) 00% F度 (実績) 1,578 13,602	平成 1 ( 平成 1 ( 住民 1 人当	3年度( 100% 3年度( <sup>1</sup> <sup>1</sup> <sup></sup>	目標)	平成 1	<mark>9年度(</mark> 100% <mark>9年度(</mark>	目標)
対     大     ア指     声     3事     内(     財       ま     事     新円     源	<ul><li>意きカの業人事心減合国市図</li></ul>	意(対な 中指 最指 と 活 件業門償 ・債 を を を を を を を を を を を を を を を を を を	図で 目 指 考年 指 表 年 指 表 年 指 表 年 は 表 表 標 標 点 た に に に に に に に に に に に に に	私立公補助和平成平成	した入園料 幼児教育の 率 件数/補助 15年度( 100% 15年度(	対象 (実績) (実績) 3,068 12,264	育料を補助する 等及び奨励 <mark>平成16年度</mark> 100 <b>平成16年度</b>	(実績) (実績) (実績) (決算) 2,921 13,647	平成 1 7 年 1 ( 平成 1 7 年 1 世帯当り (	F度 (実績) 00% F度 (実績) 1,578 13,602	平成 1 ( 平成 1 ( 住民 1 人当	3年度( 100% 3年度( <sup>1</sup> <sup>1</sup> <sup></sup>	目標 ) 167 予算 )	平成 1	<mark>9年度(</mark> 100% <mark>9年度(</mark>	目標)
対 大 ア指 芦 3事 内( 財 象 ・	<ul><li>意きカの業人事他減<b>合</b>国市そ</li><li>図 ム標 特費業人事他減<b>合</b>国市そ</li></ul>	意(対な 中指 最指 な 活 件業門償 ・債の 保標 果標 ・債の	図 E語にして) 目	減免 私立公 補助助 平成 平成	した入園料 幼児教育の 率 件数/補助 15年度( 100% 15年度(	対象 (実績) (実績) 3,068 12,264 15,332 3,565	育料を補助する 等及び奨励 <mark>平成16年度</mark> 100 <b>平成16年度</b>	(実績) (実績) (決算) 2,921 13,647	平成 1 7 年 1 ( 平成 1 7 年 1 世帯当り (	F度 (実績) 00% F度 (実績) 1,578 13,602 15,180 3,647	平成 1 ( 平成 1 ( 住民 1 人当	3年度( 100% 3年度( <sup>1</sup> <sup>1</sup> <sup></sup>	目標 ) 167 予算 )	平成 1	<mark>9年度(</mark> 100% <mark>9年度(</mark>	目標)
対 大 ア指 芦 3事 内( 財(	<ul> <li>意</li> <li>き</li> <li>力</li> <li>の</li> <li>業</li> <li>十</li> <li>事</li> <li>は</li> /ul>	意(対な 中指 最指 な 活 件業門償 ・債の財 と 動	図 E語にして) 目 約 名式度値 考年 指指 考年 指標標 京 方 度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 るる式度値 るる式度 る るる式度 る るる式度 る。 る る る る る る る る る る る る る	減免 私立公 補助助 平成 平成	した入園料 幼児教育の 率 件数/補助 15年度( 100% 15年度(	対象 (実績) (実績) 3,068 12,264 11,767	育料を補助する 等及び奨励 <mark>平成16年度</mark> 100 <b>平成16年度</b>	(実績) % (実績) (決算) 2,921 13,647 16,568 3,798	平成 1 7 年 1 ( 平成 1 7 年 1 世帯当り (	F度(実績) 00% F度(実績) 1,578 13,602 15,180 3,647	平成 1 ( 平成 1 ( 住民 1 人当	3年度( 100% 3年度( <sup>1</sup> <sup>1</sup> <sup></sup>	目標 ) 167 予算 )	平成 1	<mark>9年度(</mark> 100% <mark>9年度(</mark>	目標)
対 大 ア指 芦 3事 内( 財( 活 象 事 所) 源円 動 所 別 所 別 別 目 動 の	意     き     力     の業     人事他減合国市     一職       図     ム標     特費業     部価     一職	意(対な 中指 最指 な 新 件業門償 ・ 債の財 と 新 の	図 E語にして) 目	減免 私立公 補助助 平成 平成	した入園料 幼児教育の 率 件数/補助 15年度( 100% 15年度(	対象 (実績) (実績) 3,068 12,264 15,332 3,565	育料を補助する 等及び奨励 <mark>平成16年度</mark> 100 <b>平成16年度</b>	(実績) (実績) (決算) 2,921 13,647	平成 1 7 年 1 ( 平成 1 7 年 1 世帯当り (	F度 (実績) 00% F度 (実績) 1,578 13,602 15,180 3,647	平成 1 ( 平成 1 ( 住民 1 人当	3年度( 100% 3年度( <sup>1</sup> <sup>1</sup> <sup></sup>	目標 ) 167 予算 )	平成 1	<mark>9年度(</mark> 100% <mark>9年度(</mark>	目標)
対 大 ア指 芦 3事 内( 財( 活 象 事 所) 源円 動 所 別 所 別 別 目 動 の	意     き     力     数     人事     地域合国市     一職域       図     ム標     特費業人事     部価     一職域	意(対な 中指 最指 な 活 件業門償 ・債の財 と 動	図図 目 的 名式度値 考年 指標標 京 方 度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 る式度値 100.0% 24.0% 100.0%	私立公補制中成平成	した入園料 幼児教育の 率 件数/補助 15年度( 100% 15年度(	対象 (実績) (実績) 3,068 12,264 11,767	育料を補助する 等及び奨励 <mark>平成16年度</mark> 100 <b>平成16年度</b>	(実績) % (実績) (決算) 2,921 13,647 16,568 3,798	平成 1 7 年 1 ( 平成 1 7 年 1 世帯当り (	F度(実績) 00% F度(実績) 1,578 13,602 15,180 3,647	平成 1 ( 平成 1 ( 住民 1 人当	3年度( 100% 3年度( <sup>1</sup> <sup>1</sup> <sup>1</sup> <sup>1</sup> <sup>1</sup> <sup>1</sup> <sup>1</sup> <sup>1</sup>	目標 ) 167 予算 )	平成 1	<mark>9年度(</mark> 100% <mark>9年度(</mark>	目標)

4 評价	西(チェック)				
評		視 点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
	目的妥当性	+(2 = 2)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
		E(2 · 2)	□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
			□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき,または対応可能である		
妥	市関与(2~	2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
			□ いずれにも該当しない		
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない		2
	市民ニーズ	(2 ~ 1)	└─▶ □ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把打	星	
性			□ 数字で把握している □ 未把握		
8点	社会環境変	图化(1~ 1)	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要	E	
	盾	<b>名計(4)</b>	内容 在園児数が増加傾向にあり、幼児の子育て支援に寄与している。		
	優先性,緊	<del></del>	□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる □ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有		, ,	□ 対象がパー率は同い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりがパー率が低い □ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定	_	
	,	,	□ 事業总図と支血省は差白している □ 事業总図と支血省が不差白、または支血が 品に限足 □ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入		
効	成果の実績	[(2~ 1)	→ 図 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	, 4	4
性			成里があがっていたい提合	<del>-</del>	
4点	- 成果向上余	除地(1~ 1)	□ 成果向上策あり □ 特になり	,	
****			☑ 比較できる団体がある 団体名 阪神各市 □ 比較できる団体はない		
	₩ / <del></del> - / /	4 4)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト 輔助対象,補助金額 ☑ 把握していない		
効	単位コスト(	1~ 1)	└▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
			高い、または低い場合の理由		
	受益者負担	∃(0 ~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
率	Λ <u>ш</u> 1 / 1 / 1	_(0 .)	□ ・ □ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能)	-2	-3
			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	_	0
	手段(1~	3)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
44			□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性 3点			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である ☑ 嘱託,臨時職員等で対応可能である ☑ 嘱託,臨時職員等で対応可能である ☑ 特に行っていない		
ож.	コスト削減耳	双組(1~ 1)			
平成1	6 年 度 の i 改 善 の	評価内容	一		
(評価か	びる場合は	(記載不要)	評価結果		
`				合 B	В
平成	1 8 <b>£</b>	ェ 度 に			
平成実施	1 8 g する改	善内容	<mark>課題                                   </mark>		
(	必	須 )			
5 今後	後の対応(ア	7クション)	<u></u>		
- 712	2-27.376 (2	, ,	補助額も国基準どおりとしており、当面は現行制度を維持する。		
現在:	忍識してし	ハる課題			
	係者  市民,関	係者の名称	Ŗ		
からの		要望内容			
要望	等意光,	7 - 7 -			
	(4)	対応内容			
	(1)				
課題·要	胡笙	実施期限	平成		
<b>承恩</b> 安	(2)	対応内容			
へのす		実施期限	平成年月		
	(3)	対応内容			
		実施期限	平成年月		
	考えられる				
改善の	カアイデ:	ア			
			今後の方に		_
			他市は4,5歳児本市より補助金額を嵩上げしているが,当面は現行制度を維持する。 拡大・充		0
				持 (A)	<ul><li>O</li></ul>
√ <del>cl;</del> 1	9~21年度	まのよら 生	<u>方 法 改</u> E 間 委 託	善●	0
T 13%	, <u> </u>	2 02 73 円 注	縮	小〇	0
			統合/終期:		0
			廃止/休		0
			176 II / PI		1 -
2 次 評	価委員会	ミコメント			

( — 船 三	重 業 /	事業	7 - K	31202	290						部	Æ	次	長課	長
( //X =	# ** <i>)</i>	<del>7</del> *	<del>- '</del>	01202	_50						ПÞ			区加	IX.
平成 17	年度	事	業名	私立	幼稚園就園	<b>園奨励補</b>	助金(保護者	首負担軽減)							
										_					
. +:	11/ 107 7	T ( la )													
		要(ドゥ)				S 12							I		
							まちづくり				所	管 課	-	会管理部	
総合			中		学校教育								総務課		
政策	施策	•	小	2	教育内容	の充実					所管部	果長氏名	橋本 達	広	
体	系		細								記入	者氏名	橋本 達	些広	
事	業	期	間	昭和.	5 3年~			経常臨時	☑ 経常 □	臨時	電話	番号	0797-38-	-2085 内線	3201
根 拠	法	令 ' 弱	更綱 等								実 施	主体	教育委員	会管理部	
実	施	手	法	<b>V</b>	直営		□ 一部刻	委託	□ 全部委託	£	□ 有	助金		負担金	
委		託	先		外郭団体	委託	名称			□ 民間	委託 3	託内容			
							園児の保護	者に対し、年	三間所得に応じ					(市単独事業)	
事	業	Ø	概 要												
-															
				1 74	年度対象	人数及び	補助額	2.6人 1	, 690, 6	640円					
事	業	o	現 状	(内語		茜3歳児			864円		余額	所得で	A ランカ	からDランクを	設けてい
-		した。 実現のため		/1 1E	~ v/ 1ll			1, 049,		• 1111-95	HX	NIIA C	/ - //		
		e児のため 及び実施内				4歳児		52,							
	エト又か	、し大心へ	-			5歳児	9人		200円						
			指標名	分分	人粉	∪ //以りし	J /	000,	20011						
		結果指標				(宝績)	亚成 1 6 年	F度(実績)	平成17年度	(宝績)	亚式	18年度	(日煙)	平成19年度	(日煙)
			指標値		41人			<b>- 反(夫領)</b> 0人	26		TIX	- 0 十反	(口信が)	「ルーラ牛皮	「口信示丿
アウト:	-f .,, L		単位コスト		61千			<u>0 八</u> 5 千円	6 5 <del>1</del>						
指	ノット標		指標名			1	7 6	, 111	0.0 1	1 1					
18	行示	結果指標				(宝績)	亚式 1 6 年	F度(実績)	平成17年度	F / 宝塘 \	ᇴᆉ	18年度	(日插)	平成19年度	(日插)
					2, 472			95千円	1, 69		十八人	10十反	(日信)	十八八十十八	(日信)
			指標値単位コスト	۷	1, 4/2	117	2, 9	9017	1, 09	T   L1					
o 事 i	또 ct: E	果(アウト													
∠ <del>]</del> ∋	未ルジ	長(アラ)	·/////////////////////////////////////	1											
		対	象	私立	幼稚園就園	園奨励費	補助金対象	外の私立幼科	性園に通園する	5園児の保	護者				
車業の	日的	対 象 ヵ	バー率	<b>対 </b>	(2) 数		26人	受 益 数	(h)	26人	Н	· 泫 (h	÷ a) %	1 0 0 9	1/2
対象・			<del>// +</del>	V) 8	( XX (a)	<u> </u>	207	X m xx	(6)	207	L	2 <del>+</del> (D	<del>-</del> a) /0	100,	
V) 3/		意	ভা	ス層は	料及び保育	5料を補	助する								
			と語にして)	/ \ [25]/	I X O IN F	3 11 C 1111	7777 200								
		(×13/ C )													
大	き	な	目 的	<b>保護</b>	者の経済的	内か負担。	の軽減を行	い 幼児教育	ずの振興と充実	ミを図る					
^	C	<i>'</i> &	н ну	N/IIX.	D V2/12-17-1	17.4 74.17	~>+±10% € 11	· , 900040F	*/ M <del>S</del> C 765	C C M 20°					
			指標名	補助											
			考え方・式			h 計象									
		指標			15年度		平成 1 6 年	F度(実績)	平成17年度	(宝績)	亚成	18年度	(日煙)	平成19年度	(日煙)
アウト		7.T	指標値		1009			) 0 %	100		1 73%	1000		1009	
指	カム標		指標名					. 5 ,0	100	, ,	L		. ~	1 100/	-
10	125		考え方・式												-
		指標		平成	15年度	(実績)	平成 1 6 年	F度(実績)	平成17年度	(実績)	平式	18年度	(日標)	平成19年度	(日標)
		7.F	指標値	1 10%	. 5 112	ノハルスノ	, ,,,,, , , ,	~ ( ^ \max )	1 1-20 - 7 1-150		1 13%	. o +132		「ルル・ラー技	(HIA)
			그러 기자 (년		<del></del>						L			I	
古层市	_ 114_ 6	<b>直など補</b> り	足する事項												
	の特も														
广崖市	の特t													l	
		活動配		)					1世帯当り(四)	52	住民1人	,当() (円)	26	平成1841 住民	基本台帳
3 事	業費·		分(コスト)	)	15年度	(決質)	平成 1 6 组	E度(決質)	1世帯当り(円) 平成17年度			、当り(円) 1 8 年度	1	平成18.4.1 住民	基本台帳
3 事	業費·	費	分(コスト) 構成%	)	15年度(	<mark>(決算)</mark> 656	平成 1 6 年	F度(決算) 633	1世帯当り(円) 平成 1 7 年度			、当り(円) 18年度	1	平成18.4.1 住民	基本台帳
3 事	業費·	費 件 費	分 (コスト 構成% 27.2%	)	15年度(	656	平成 1 6 年	633		632			(予算)	平成18.4.1 住民	基本台帳
3 事	<b>業費・</b>	費     件   費     業   費	分(コスト) 構成%	)	15年度		平成 1 6 年			(決算)			1	平成18.4.1 住民	基本台帳
3 事 事	業費・	費件費業費り月長費	分 (コスト 構成% 27.2%	)	1 5 年度	656	平成 1 6 年	633		632			(予算)	平成18.4.1 住民	基本台帳
3 事 事	業費 人事 他減	費 件 費 業 費 経 費 道 質	分 (コスト 構成% 27.2% 72.8%	)	1 5 年度	656 2,472	平成 1 6 年	633 2,995		632 1,691			(予算)	平成18.4.1 住民	基本台帳
3 事 事	業費・	費 件 費 費 費 賃 切 が が が り り り り り り り り り り り り り り り り	分 (コスト 構成% 27.2%	)	1 5 年度	656	平成 1 6 年	633		632			(予算) - 141 -	平成18.4.1 住民	基本台帳
3 事	業費 大事他減 <b>合</b> 国	費 件 費 費 費 員 員 員 員 員 員 員 員 員 員 員 員 員 員 員	分 (コスト 構成% 27.2% 72.8%	)	15年度	656 2,472	平成 1 6 年	633 2,995		632 1,691			(予算) - 141 -	平成18.4.1 住民	基本台帳
3 事	大事他減合 国市	費費費費 等 等 等 費費費 費費	分 (コスト 構成% 27.2% 72.8%	)	15年度	656 2,472	平成 1 6 年	633 2,995		632 1,691			(予算) - 141 -	平成18.4.1 住民	基本台帳
3 事	業費 人事他減 <b>合</b> 国市 そ	費費費費費 ・ 情 ・ の 他	分 (コスト 構成% 27.2% 72.8% 100.0%	平成	15年度	656 2,472 <b>3,128</b>	平成 1 6 年	633 2,995 <b>3,628</b>		(決算) 632 1,691 <b>2,323</b>			(予算) - 141 -	平成18.4.1 住民	基本台帳
3 事	大事他減合国市 そー	費費費費費 (件 業 ) 費費費 (す ) 資	分(コスト 構成% 27.2% 72.8% 100.0%	平成	15年度	656 2,472	平成 1 6 年	633 2,995		632 1,691			(予算) - 141 -	平成18.4.1 住民	基本台帳
3 事	大事他減合国市そー職	費費費費費 (は ) で	分 (コスト 構成% 27.2% 72.8% 100.0%	平成	15年度	3,128 3,128	平成 1 6 年	633 2,995 <b>3,628</b>		(決算) 632 1,691 <b>2,323</b> <b>2,323</b>			(予算) - 141 -	平成18.4.1 住民	基本台帳
3 事	業費業 人事他減 <b>合</b> 国市そー職嘱託	費費費費費 (件 業 ) 費費費 (す ) 資	分(コスト 構成% 27.2% 72.8% 100.0% 100.0%	平成	15年度	3,128 3,128	平成 1 6 年	633 2,995 <b>3,628</b>		(決算) 632 1,691 <b>2,323</b> <b>2,323</b>			(予算) - 141 - - -	平成18.4.1 住民	基本台帳

	曲(チェック)		100		
評		視 点		1次記	平価 2次評価
	目的妥当性	=(2 ~ 2)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
		-(2 2)	□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
			□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
			☑ いずれにも該当しない		
当			☑ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	4	1
	市民ニーズ	(2 ~ 1)	□ コーズが高いとは言えない、または未把握		
性	10111- 1	(2 1)	□ 数字で把握している □ 未把握		
			□ 女子で行権している □ 木行権 □ 本名環境の変化にあわせた見直しが必要	_	
8点	社会環境変	图化(1~ 1)			
	/百 什·从 F7	左址(4)	内容		
	優先性,緊		□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる		
<del>_</del>	対象カバー		☑ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い	_	
有	受益者(1~	1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定	_	
効	成果の実績	[(2 ~ 1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	4	. 4
			└▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	'	•
性	- 成果向上余	€地(1~ 1)	成果があがっていない場合		
4点		, – ( ,	□ 成果向上策あり □ 特になし		
			☑ 比較できる団体がある 団体名 阪神各市 □ 比較できる団体はない		
	単位コスト(	1 ~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト ☑ 把握していない		
効	一 一 位 コスパ(	,	→ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
			高い、または低い場合の理由		
	受益者負担	∃(∩ ~ 1)	☑ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
率	又血甘其	2(0 1)	└→ ☑ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能)	_ (	) 0
<del>'T'</del>			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	-	, l o
	I = 17.4	0)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	手段(1~	3)	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性			☑ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点	1 3/415-25	TT 4T (4 4)	▽ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
	コスト削減耳	以組(1~ 1)	) トラス ・ 大容 ・ 大容 ・ 大容 ・ 大容 ・ 大容 ・ 大容 ・ 大容 ・ 大容	<b>身た</b>	
平成1	6年度の言	评.価.内容	<b>一                                   </b>		
ク (証価+	改善のがない場合は	万 问 性	□   □         □		
(пі іш /	7 & V1 39 🗖 1&		$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	<b>∤</b> ⊢	
			in the second se		3   D
平成実施	1 8 <sup>全</sup> する改	F 度 に	改善		
夫 他		善内谷 須 )	内容		
(	~	,			
5 今往	後の対応(ア	'クション)			
			本制度は、市単独事業として無認可幼稚園に対し実施してきたが、平成18年3月に日本キリスト教会浜幼	稚園の原	軽園に伴い
現在:	認識してし	ハる課題	<mark>■</mark> 制度を廃止した。ただし,平成18年3月現在在園児については,経過措置を設け卒園するまでの間ネ	前助して	いる。
			アシヤキンダーハウス1園児のみ。		
市民,関	係者 市民,関	係者の名称	R .		
からの	意見。	<b>亚妇士</b> 应			
要望	等。思見,	要望内容			
		***			
	(1)	対応内容			
		実施期限	平成 年 月		
課題·要	望等				
	(2)	対応内容			
へのす		実施期限	平成年月		
	(3)	対応内容			
	(-)	実施期限	平成 年 月		
	l l	∠ IISMITK	1 1/4		
その他	まえられる	3			
	考えられる				
	! 考えられる の ア イ デ ご		<u></u> ሉ ሂ ጥ ቲ ክ	性」小分台	亚価 2次部点
			今後の方向 正成20年度まで制度廃止		
			平成20年度末で制度廃止。 拡大・充	実〇	0
			平成20年度末で制度廃止。       拡大・充現 状維	実 持	0
改善(	カァイデラ	7	平成20年度末で制度廃止。       拡大・充現 状維方法 改	実 持 善	0
改善(		7	平成20年度末で制度廃止。       拡大・充現 状維方法 改民間委託	実 〇 持 〇 善 〇	0 0 0
改善(	カァイデラ	7	平成20年度末で制度廃止。       拡大・充現 状維方法 改民間委託	実 〇 持 〇 善 〇 小 〇	0 0 0 0
改善(	カァイデラ	7	平成20年度末で制度廃止。       拡大・充現 状維 方 法 改 民間委託         は       大・充現 状維 方 法 改 民間 委託         縮       統合/終期記	実       ○         持       ○         等       ○         小       ○         定       ○	0 0 0 0 0
改善(	カァイデラ	7	平成20年度末で制度廃止。       拡大・充現 状維方法 改民間委託	実       ○         持       ○         等       ○         小       ○         定       ○	0 0 0 0
平成 1	カァイデラ	アの方向性	平成20年度末で制度廃止。       拡大・充現、状維方法改民間委託         規数       株         施合/終期設廃止/体	実       ○         持       ○         等       ○         小       ○         定       ○	0 0 0 0 0

(投資	事業)	事業	□ <b>-</b> ド	3140	020				部	長	次	長	課	長
平成1	7 年 庇	事	業名	本年7只	小学校校舎整備事	₩.								
十八八	/ 牛皮	<del></del>	未 1	作担!	小子仪仪古笠佣争	<del>*</del>								
4 == 3	TIL TUT T	F (   1												
		要(ドゥ)	′ I) の 口 抽	0	11.カルナカイフ	ナナ ベノ h					サンチョ		-17	
第 3 次 F			<u>りの目標</u> 中	3	人と文化を育てる 学校教育の充実	まらつくり			所	一 三 三	教育妥員 施設課	会管理部	1)3	
政策			<u>中</u> 小	4	学校園施設の整備				師	管課長氏名		を則		
体	心系系		細	4	7.区图地区*/产品					入者氏名		製		
事	業	<u> </u>		平成	L 14年度から平成19	年度 投資臨時	☑ 投資 □		電			8-2086	内線	3211
根 拠						国庫負担法,公害財特法			_	施主体			I JWK	0211
実	施	手		<b>V</b>		一部委託	□ 全部委託			補助金		負担金		
委		託	先		外郭団体委託	名称		□ 民間	委詞	托 <mark>委託内容</mark>				
				老朽	化校舎等の全面改	築及び運動場の整備を図	図る。			-				
事	業	の	概 要											
						teath & Mr. allean . I		A > = 1. frf.						
	NIK	_	<b></b>			新校舎等の建設工事(コ	[事監理業務も	含め建築	指導	事課に依頼)				
事	業	の	現状		庫負担(補助)事 度備品納入計画・									
	日的	実現のため	<b>h</b> Φ		及佣品納八計画・: 越し事務	<b>光</b>								
		支切のため 及び実施内			₩し事務 収・支出事務									
	J PX		711	一块	м <u>Дити</u>									
			指標 名	事業	進捗率									
		結果指標				事業費 / 計画事業費								
		(1)	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度	(実績)	平	<sup>[</sup> 成18年度(	目標)	平成 1	9年度(	目標)
アウト	プット		指標値		1.2%	3 . 7 %	29.79	%		99.2%			100%	
指	標				等契約金額									
			考え方・式				T = 15 / -							
		(2)				平成16年度(実績)	平成 1 7 年度		4	<mark>成18年度(</mark>			9年度(	
2 由:	₩ <del>  </del>	11 ( 刁 台 )	指標値 Lt./		23,635千円	49,919千円	575,788	十円		1,526,468	十円	1 8	,000千	円
۷ <del>3 )</del>	未以为	果(アウ	rna)	l										
		対	象	学校	施設の利用者(児	童551人、教職員35	5 人、保護者、	コミスク	. #	池域住民等)				
事業の	目的		~.	1,00			, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	• •	•	27127				
対象・	意 図								_	tot to manter to				
		意	図	老朽	化校舎等の全面改 利用者の利便性が	築及び運動場の整備を図 増加し安全で安心な施記	到ることにより サンかろ	、これか	50	り教育環境に対	が応した	教育施設	にリニュ	.アール
		(対象を	主語にして)	C 4 0	13/13 日 4/43 (人) (上)		X C · & Ø o							
				7-44-4	+/· (#- )			E 111		he	222/ 1			
大	き	な	目 的	建替	整備により、字習	環境の改善が図られ建物	のの耐震性、耐	久性や利	用者	<b>針の利便性など</b>	ごが同上	する。		
		I	1		指標名	指標値				考え方・	<del>-l'</del>			
		中間	(1)											
アウト	カム				機能改善率	100%	機能改善率 = :	全面建替	= 新	f設 / 既存 = 1	00%			
成 果	指 標	成果指標	(2)		<b>地</b> 北西	100%	機能更新率 = 3	<b>公西</b>	_ \$1	C≐N / RIZ <del>/=</del> _ 1	0.006			
(事業	完了)		(2)		機能更新率	100%	機能更排卒 - :	土山廷首	一却	記入   成孔子 一	0 0 90			
		最終成	成果指標	施	設設備の改善率	100%	改善率 = 全面	建替 = 既	存 /	′新設=100%				
苯尼士	Λ#±4	ユ ナヽ じ ウ朮 [	口士?声话											
户座巾	の 特E	さなと相対	足する事項											
3 事	<b>坐</b> 费,	活動配	分(コスト	)			平成18.4.1住民	其太台帳	1	世帯当り(円)	16 3//	住民1人	当(円)	7,163
事	<del>本貝</del> 業	<u>/ロョルョレ</u> 費	1		15年度(決算)	平成16年度(決算)	平成17年度			<b>歳出累計額(</b> 流			総額(決算	
	人	件費		1 1 10	3,352	4,934		4,433			-	5 1115 (111		-
	事	業費			23,635	49,919		575,788			651,022		2,1	95,480
内 訴	他部	7 門 経 費			338	3,143		7,799			-			-
(千円)	減価	「償却費	Ì								-			-
	合	計			27,325	57,996		588,020			-			-
	国	· 県						39,343			39,343			
	市	債 等						496,500			496,500			
(千円)		の 他			O= 00=			E0 4==						
江 到		<b>設財源</b>			27,325	<b>57,996</b>		<b>52,177</b>						-
	職に	· 臨時等		1	0.30	0.45 0.10		0.40						
	合	· 监时寺 <b>計</b>			0.30	0.10		0.05						
		# I	100.0%		0.30	0.00		0.40						

		エック)							÷m: /	/ <del>**</del> ~	<u> </u>					1		
評	価	視	点						評1	曲チェ	ックリス						1次評価	2次評価
777	目目	的妥当性(2	2 ~ 2)	_		目的は明							事業の目的は			<b>111</b>		
妥		,							または貢献	が高い			貢献度が不明					
				1 1		ズに基づ		うべき事	業				市民ニーズに					
当	市	民ニーズ(2	2~ 1)	<b> </b>		ーズが高							ニーズが高い	とは言えな			4	3
						数字で抵			<u> </u>				+1 A 7m1+			把握	•	
141	社	会環境変化	比(1~ 1)			わる社会	境境の	変化にi	適応してい	15	L		社会環境の変	化にあわ	せた見直しか	必要		
性	盾	先性,緊急	ı₩- (4.)		内容	<del></del>	- ثاسا	+004	·	** 1\(\dagger\)	! +> +o +o	7						
6点		元性,繁息 益者(1~				他しなけれ と受益者			命,安全				者が不整合,	またけ平さ	<b>☆ が</b> _ 立7 ! − 7!	<b>1</b>		
有	文	益有(1~	1)						・ 標値を設定				<u>:百か小笠口,</u> 実績値または			灰		
効	進:	<b>捗状況(2~</b>	1)	1					これると言え				美顔値または 当初計画から				3	3
性						いが出てい			VISCEN	- 0				<b>建10/J</b> 山	CVIS		3	3
4点	- 進	涉改善余均	也(1~ 1)		以善策あ	—	10-20	<b></b>							□特	になし		
. 744						<u>*</u> 3団体がa	<u>.</u> ある		団体名	加古	川市			比較でき	る団体はない			
			13			数字を把		いる	単位コス			延床		把握して				
効		スト(1~ 1	)			体よりコス			☑ 他団	体と同	1程度	•••••		他団体よ	リコストが高し	. 1		
				高い	1,または	低い場合	の理由	<b>b</b>										
率				直営	常事業(正	規職員が	が執行)	またはタ	ト郭団体へ	委託	している	5業	務について				1	1
	垂	段(1~ 3)	1		E規職員	による執行	行が義	務づけら	れている		[	□ 1	個人,家庭,均	地域等が担	きうべき部分だ	がある		
	7-1	PX(1 0)	'				,		ない業務で				民間(企業 , NI	,		<b>క</b>		
性									い業務で	ある			嘱託,臨時職		心可能である			
3点	ן בו	スト削減取	組(1~ 1)	1		の取り組							特に行ってい	ない				
					内容			`	貨課)で行									
平成1	6 年	度の評	価 内 容 方 向 性	±π/#	T 4 ± FF	Ш			F度に実				果を得た					
(評価か	・ <sup>区</sup> がない	善 の )	方 向 性 己載 不 要)	ā₹1Щ	插結果	<b>~</b>	В	施した以 性	善の方向		改善し	たカ	が,効果がな	<b>V</b>	改善しな かった			
				当	<b>芝</b> 校理場	の要望項	目の積	在認				> F V	の密にし漏れの	かいとう		総合	Α	Α
平 成		8 年	度に		1 12 50 00	~~ 🗸 エ 🗡	(H *> H	EPU		改善			) Ш (С O IMM O ·	/·&• & /	12001	評価	$\boldsymbol{\wedge}$	
実施	す 必	る改善		課題						内容								
(	必	25	! )															
5 今後	後の対	付応(アク	7ション)															
													引する様々な要					
現在意	忍 識	してい	る 課 題				しながら	)実施して	こいる。多額	額の費	用が必要	要なる	ものは困難だが	,代替案等	<b>幹を提案しな</b> が	ぶら納得し	てもら	うように
					してい。													
		市民,関係	系者の名称	(1)	市民(近	燐) から	5											
からの		意見,要	要望内容	敷地北	と側に歩き	首を設置	して谺	えしいと	の要望あり	ŋ								
要望	等																	
		(1)	対応内容	敷地内	歩道を	没置の方	向で調	整中										
		( ' )	実施期限	平成	1 9	年	8	月										
課題·要	望等			1 /4/4	1 0			· ·										
		(2)	対応内容															
へのす	讨 応		実施期限	平成		年		月										
		(3)	対応内容	L														
			実施期限	平成		年		月		-	-					-	-	
	<u>.</u>																	
		しられる																
改善 0	יל כו	イデア													A 44 A	<u> </u>	. \	2.25 to /#
				計って	海1 七士	(笛1 拥み、	たり間	の工事で	skn Ti	またし	ナンボ た だ	<b>学校ご</b>	運営をしている	ため 旧者	今後の 拡大・			○ 次評1画
				1 .									事を進めてい 事を進めてい			維持		<u> </u>
				V X X		(人) (之) (二)	, 10	(2)1/1/1/17	C ÆM E I	шисс	7.4.7	<i>,</i>	7 C/E	`	方法			0
平成 1	9 ~ 2	2 1 年度	の方向性												民間委			0
1 7-70			/3 / 3 / _												縮	小	_	0
															統合/終	期設定	0	0
															廃 止 /	休 止	0	0
			7 / 5/ 1	1														
2 次 評	/ / / /	李 首 会	J X 7 F	安全而	「に配慮」	しながら	. 리き	:続きコ	スト縮減し	こ取り	組んで	5 < 7	ださい.					
2 次 評	価	委 員 会	コメント	安全面	「に配慮」	しながら,	,引き	続きコ	スト縮減し	こ取り	組んて	ごくか	ださい。					
2 次 評	· 価 :	<b>委員会</b>	1 7 7 7	安全面	「に配慮」	しながら,	,引き	:続きコ	スト縮減に	こ取り	組んで	ごくす	ださい。					

/ An :	= NK /	= 114		0.400	100			÷2	-1.4	
(一般	事業)	事業	コード	3120	1/0			部長	次	長課長
平成 17	7年度	車	業 名	学坛	給食関係事務					
十 成 17	/ 牛皮	<b>⇒</b>	来 有	子似	和艮例が争伤					
				-						
. +	NIZ IDT T	T ( là )								
		要(ドゥ)								
第3次声	当屋市	まちづく	りの目標	3	人と文化を育てる	まちづくり		   所 管	教育委員	会学校教育部
総合	計画		中	1	学校教育の充実			一所 管 詡	学校教育	<b></b>
政策			/ \	2	教育内容の充実			所管課長氏名	_	
			-		4X F1 1/11 1/2/11/X			記入者氏名		1 1
体	系		細				·			
事	業	斯	間			経常臨時	□ 経常 □ 臨時	電話番号	<del>;</del> 0797–38-	-2087 <b>内線</b> 3243
根 拠	法	令 · !	要 綱 等	学校	交給食法			実 施 主 体	教育委員	会
実	施	<b></b>		N	直営	□ 一部委託	□ 全部委託	□補助金		負担金
委	שנו	託				名称				<b>英四亚</b>
女		пЪ	元					間委託 <mark>委 託 内 容</mark>	f	
						る給食費,要保護生徒に				
事	業	の	概 要	・安	全,安心な給食実	施のための機器, 消耗品	品の補修,補充(人的配	2置)		
				• 淮	更保護児童に対し	ては給食費の,要保護生	上往に対してけ尽食費の	宝費を補充して	いろ	
-	2114		TE 4.6						۰٬۵۰	
事	業	の	現 状			請429 認定406 市内全				
	目的記	実現のため	50	・安	全な給食実施のた	め,環境ホルモン溶出の	)恐れのない磁器食器に	こより給食を実施	している。	
	手段及	ひ実施内	容	• 調	理員が勤務できな	い場合,予備の調理員を	と学校に派遣している。			
	- 1 ~ //			,,,,,	2 2000 . C. O.	v vin . 1973-1275 C				
			北	提口	士幼」料(淋盂口:	#旧 <del>本料</del> ==四#エ/ <u>+</u> **	<b>4</b> )	:明日本ュエルト	In	
						護児童数,要保護生徒数		三間児童1人当た		I — n
		結果指標	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度	(目標)	平成19年度(目標)
		(1)	指標値		399人	412人	406人	400,	人	400人
アウト	プット	,	単位コスト		39600円	39600円	39600円	3960	0 円	39600円
指	標				磁器食器購入数(				, ,	- 3 3 3 9 1 1
314	作示	/+ F7 15 1							/ D# \	亚岸40左南7日塔。
		結果指標				平成16年度(実績)		平成18年度	• •	平成19年度(目標)
		(2)	指標値		$3\ 4\ 0\ 5$	3 2 0 0	4 5 9 0	4 0 0	0	4000
			単位コスト		500円	500円	565円	5 6 5	円	565円
2 事	業成!	果(アウ	トカム)							
			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	1						
		対	象	経済	的困窮状態にある	児童生徒及びその保護者	ź.			
= 314 -		1		<u>م بد</u>	Z #L ( )		. (1)	111. <del></del> (1	) 0/	
			バー率	对 豸	K 数 (a)	4 2 9 <mark>受 益 数</mark>	(b) 406	比 率 (b	÷ a) %	94.6
対象·	意 凶									
		意	図	児童	生徒が学校におい	て安心して給食や昼食を	ととることができる。			
		(対象を=	主語にして)							
			<u> </u>							
大	き	な	目 的	级汶	的にお学が困難な	家庭であっても、子ども	、た安心」で学校に通常	シナ ナスァ レがで	キス	
^	С	<i>'</i> &	נים בי	//土1月	ロゾに加一一が一回来にな	水庭でめっても、 1 こで	)で女心して子仅に題す	G G D C C N C	⊂ A°	
			I	11.334						
						護者に対しどれだけ補助	力できているか。補助学	≤ (%)		
		中間成果			者(人)÷希望者					
		指 標	年 度	平成	,15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度	(目標)	平成19年度(目標)
アウト	カム		指標値		96%	95%	94.6%	9 5 %	,	95%
指	標				援助を受けている	家庭の児童が安心して登		₫(%)		
3	INL	是按武田				金数をひいた児童数( <i>)</i>				
									/ D.#= \	T. # 4 0 F. # 1 D. # 1
		指標				平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度		平成19年度(目標)
			指標値		100%	100%	100%	1000	%	100%
									_	
芦屋市	の特色	色など補品	足する事項							
	. , , ,	110 /								
2 声-	<b></b>	・千まりまつ	<b>公(コフ</b> )	)			1 ## # # 11 / 四 \ 000	住民1人当り(円)	077	平成18.4.1 住民基本台帳
			分(コスト)			T-1	1世帯当り(円) 860			平成18.4.1 住氏基本百帳
事	業	費		半成		平成16年度(決算)	平成17年度(決算)	平成18年度	( 予昇 )	
	人	件 費	19.9%		4,517	7,670	6,826		-	
	事	業費	80.1%		30,879	27,555	27,446		34,196	
内 訴	他部	門経費							-	
		首償却費								
(10					0= 000	AE AC-	0.4.0=0			
	合	計			35,396	35,225	34,272		-	
	国	· 県			2,275	2,275	2,275			
財 源	市	債 等								
(千円)		の他								
( 113		<u>ジ 間</u>			33,121	32,950	31,997			
)	_		1		•	•	,			
	職	員			0.41	0.35	0.20			
配分	消嗎託	·臨時等		_	0.10	0.10	0.10		-	
	) 合		100.0%	I	0.51	0.45	0.30		_	

4 評价	西(チェック	)			
評	価	視点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
	日的双虫	性(2~ 2)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	日的女司	I±(2 <sup>12</sup> 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
			□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき,または対応可能である		
妥	市関与(2	~ 2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
			□ いずれにも該当しない		_
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	8	5
	市民ニーズ	ズ(2~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把握		
性			□ 数字で把握している □ 未把握 □ 未把握		
8点	社会環境	変化(1~ 1)	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要 内容 食育の推進、アレルギー対策、食中毒等の徹底防止		
	優先性,累	区刍州(1)	○		
	-	- 率(1~ 1)	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1	,	□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
**	,	•	☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	4	4
効	成米の美	績(2~ 1)	└▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	4	4
性	- 成里向 F:	余地(1~ 1)	成果があがっていない場合		
4点	ルスバラエ	310(1 1)	□ 成果向上策あり □ 特になし		
			□ 比較できる団体がある 団体名 尼崎市 □ 比較できる団体はない		
**	単位コスト	·(1 ~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト 3700円/人・月 □ 把握していない		
効		,	→ ☑ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
			高い、または低い場合の理由  □ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
	受益者負	担(0~ 1)	□ 貝担を水めることができる事業である   □ 貝担を水めるべき事業ではない   □ 貝担を水めるべき事業ではない   □ 徴収可能 )	4	
率			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	-1	-1
	T 50 (4	<b>a</b> )	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	手段(1~	3)	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である ☑ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点	コスト削減	取組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
		,	→ 内容		
平 成 1	6 年 度 の	評価内容	□ A <mark>平成17年度に実</mark> ☑ 改善し,効果を得た		
及び	改善の	方向性	評価結果		
(計1四万	いない場合!	は記載不要)	☑ B 性 □ 以音じたが、効末がな □ なかっ た <b>総合</b>	<b>D</b>	<b>D</b>
				В	В
平成実施	18 するみ	年 度 に 善 内 容	改善 課題		
(	必必	須 )	内容		
Γ <b>Δ</b> /4	۶ntic (=	フクションハ			
3 712	後の対応()	アソンコン)	経済的困窮家庭が増加している。		
現在意	忽識して	いる課題	磁器食器の破損率が高い。		
-70 111 11	10. HAM 0. C	V. 0 IDK AC	買い替え時期を過ぎて,使用している調理器具の買い替えが出来ない。		
市民,関	係者  市民,	関係者の名称	学校給食理事会		
からの	意見	<b>西胡贞</b> 宓	安心な食器が望ましい。		
要望	等思想	,安堂内台	女心な良命が主まして。		
		対応内容			
	(1)				
±m 85 æ5	: ÷8 ***	実施期限	平成    年    月		
課題·要	(2)	対応内容			
へのす		実施期限	平成年月		
	., .,		1000		
	(3)	対応内容			
		実施期限	平成 年 月		
			・準要保護基準の見直し		
	考えられ		・補助単価の引き下げ		
改善の	カアイデ	ア	A // A -> + 11		
			今後の方向性		
			・補助制度は現状維持。       拡大・充実         ・学校での給食指導を徹底し、磁器食器の破損率を下げる。       現状維持		0
			・財政的な面から、できるだけ補修しながら機器を使い続ける。		<u> </u>
平成 1	9~21年	度の方向性			$\circ$
				0	0
			統合/終期設定		0
			廃 止 / 休 止		0
2 次 評	価委員	会コメント	(事業単位の設定を見直してください。)		
			1		

/ фл	事 米 /	<b>声</b>	- I*	0400	24.0				1	<b>⇒</b> 17		\h		1±⊞	F
(一般	事業)	事業	<u>コード</u>	31300	J10					部	長	次	長	課	長
亚成 1	17年度	車	業 名	生徒	指導対策事業										
T 13% 1	17 牛皮	<del>7</del>	* 1	土ル	旧等以水学未										
4 =	- AUG 10T =	E / là . \								<u> </u>					
		要(ドゥ)													
		まちづく	(りの目標	3	人と文化を育てる	まちつ	<b>らくり</b>			所	管 課	教育委員	会学校都	<b>教育部</b>	
総合	計画		中	1	学校教育の充実					PII	日 味	学校教育	課		
	施策		/ <u> </u> \	3	教職員の資質と実	践的指	道力の向上			所管	課長氏名		-史		
			細	J			1.432 0 1-1-7				者氏名				
体	系														
事	業	期	間	平成8	8年~		経常臨時	☑ 経常 □	臨時	電影	舌番号	38 - 2	087	内線	3233
根 拠	L 法	令 '	要 綱 等	芦屋	市生徒指導連絡協	議会規	約			実が	色 主 体	芦屋市			
実	施	₹	法		<b></b> 直觉	П -	一部委託	<ul><li>全部委託</li></ul>	5		補助金		負担金		
委	שנו	託											対に並		
女		пL	76					加成五八		安託	委託内容				
				芦屋	市生徒指導連絡協	義会の	連宮								
事	業	の	概 要	小中:	学校児童生徒の生	徒指導	に関わる勤務時間	外の会議費用	,家庭訪	i問,杉	这外巡視,	関係機関	との連絡	経費	
				- 岩屋	市生徒指導連絡協	差全が	盟催する全議費								
<b>=</b>	गर	_	TE 실소												
事	業	<u>の</u>			指導に関わる時間										
	目的記	<b></b> ほ現のため	かの		指導に関わる時間										
	手段及	ひ実施内	内容	生徒	指導に関わる時間	外の校	外巡視等								
				生徒	指導に関わる時間	外の関	係機関との連絡調	<b>郡整等</b>							
			<b>指 </b>		及び連絡会等の会			,							
		/+ FT 15 1						W# 4 = 5 =	/ ch/+ >		10/-	/ D III \	<b>₩</b> + 4	0/	
		結果指標		平成	15年度(実績)	平成 1		平成17年度		半成	18年度	(日標)	平成1	9年度(	(日標)
		(1)	指標値	L	673回		769回	1009回	1		847回		<u> </u>	847回	
アウト	・プット		単位コスト		565円		495円	377円	]		449円			449円	
指	標			家庭	訪問回数(実績÷回	]数)							ı	-	
311	120	結果指標			15年度(実績)		6年度(宝績)	平成17年度	(宝績)	亚战	18年度	(日煙)	亚式 1	9年度(	「日煙)
				十八人		十以				十以		• •			, ,
		(2)	指標値		2,431回		2, 192回	1,802			2, 100□	1		2,100回	ı
			単位コスト		156円		174円	211円	]		181円			181円	
2 事	業成績	果(アウ	トカム)												
			-		1. ALW / AL III	A 11-11	(L)V( )	/I. II. W.	2 11 21: -	EN D					
		対	家	児童:	生徒数(分母a::	全校生	徒数。分子 b : d	<b>E徒指導を受け</b>	た生徒の	)」述へ	(人数」)				
車 类 /	九日的	计争士	」バー率	<del>}</del>	= *h (a) 5	4 2 9	受 益 数	(b) 1	612	l l	比 率 (b	. 0/ 0/6	1	29.6	
		V.) SV \/	, , , <u>+</u>	V) 3	( xx (a)	4 2 3	X m Ø	. (b) 1	012		LL + (D	- a) /0	l	23. 0	
刘家	・意図	_	_				nte.								
		意	_	教職	員が対応する児童	生徒の	数								
		(対象を3	主語にして)												
大	き	な	目 的	青少年	年の健全育成										
			七 捶 夕	甲甲基百二	行動/H-米h (認知/H-)	₩r)									
		<b>+ 00 + 0</b>			行動件数(認知件	9X.)									
			考え方・式												
		指標	年 度	半成	15年度(実績)	半成 1	6年度(実績)	平成17年度	( 実績 )	半成	18年度	(目標)	平成 1	9年度(	(目標)
アウ	トカム		指標値	L	227件		303件	563件	=	L	381件		<u></u>	381件	
指	標		指標 名	問題	行動指導人数										
		最終成里	考え方・式												
			L		15年度(実績)	亚出 1	6年度(宝縷)	亚成 1 7 年度	(宝繕)	क्त ट+	10年度	(日插)	<b>₩</b> # 1	0.年度/	つ描く
		指標				十八八				十八人	18年度	(日信)	十八八	9年度(	、口信ノ
			指標値		586人		502人	1612 <i>)</i>			550人			550人	
				児童生	上徒の問題行動は、	学校の取	り組みで、その年	によっては変化に	はあるもの	の減少	傾向にある	が,指導か	「教職員の	)勤務時間	引外に
芦屋市	5の特色	色など補足	足する事項	なる	ことが大変多くな	ってい	る。その対策は充	E実する必要が	ある。						
2 =	<b>光</b> 弗	・千番が高コ	分(コスト)	\				1世帯当り(円)	40	住民 1	人当り(円)	,	平成18.4	11 仕尺	生木ムhE
			1	_	4 F /T / > 1 // // /	₩.	C 左		L				一70,18.4	- I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	至中口啦
事	業	費		平成	15年度(決算)	平	0 年度(决昇)	平成17年度	(	平成	18年度	(			
	人	件費	i e									-			
	事	業費	100.0%		459		392		383			412			
内	訳他部	門 経 費	Ì									-			
		首償却費													
( 1 1 )					459		392		383						
	合	計			459		392		303			•			
	国	· 県													
財	源市	債 等													
(千円	() そ	の他	1			-									
		段 財 源			459		392		383			_			
活	動職	<del>~ ~ ~ ~</del>			0.40		0.40		0.40						
		·臨時等		-											
					0.00		0.00		0.00						
( A	) 合	計	100.0%		0.40		0.40		0.40			-			

4 評价	西(チェック)				
評	価 視	点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
	目的妥当性	(2 ~ 2)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	日的女司王	(2 ~ 2)	□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
			□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
			☑ いずれにも該当しない		
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	4	2
	市民ニーズ(	2 ~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把握		
性			□ 数字で把握している □ 未把握		
8点	社会環境変	化(1~ 1)	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
			内容 公務員の時間外の労働に対して,適切な対応が必要		
	優先性,緊急		□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる		
有	対象カバー3 受益者(1~	,	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い	_	
н	文画有(1~	1)	<ul><li>☑ 事業意図と受益者は整合している</li><li>□ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定</li><li>☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入</li></ul>	_	_
効	成果の実績	(2 ~ 1)	□ 中間成未有標の美顔値を招推り、自標値を設定している」 美額値なたは自標値が不記べ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	3	2
性			成果があがっていない場合		
4点	- 成果向上余	地(1~ 1)	□ 成果向上策あり □ 特になし		
- 7111			□ 比較できる団体がある 団体名 尼崎市 □ 比較できる団体はない		
	w		□ 他団体の数字を把握している 単位コスト 21,505 □ 把握していない		
効	単位コスト(1	~ 1)	▶ ☑ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
			高い、または低い場合の理由		
	受益者負担	(0 ~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
率	又血甘克亞	(0 1)	└─▶ □ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直U不能 □ 徴収可能)	1	0
_			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	•	U
	手段(1~ 3	3)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	312(.	*/	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点	コスト削減取	(組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない → 内容		
平成 1	6 年 度 の 評 改 善 の	平価 内容	□ A <mark>平成17年度に実</mark> ☑ 改善し,効果を得た		
及び	改善の	方向性			
(計1四 /	がない場合は	記 蚁 个 安)			6
				A	ט
平成実施	1 8 年 する改	き 度 に ・ 皮 っ	神麗   賃用ががかるものの丹点快		
(	必必	Ĭ )	内容		
5 今後	後の対応(ア	クション)			
珥 左 ≐	の ≐並 ↓ ブ ↓	、 z ≐田 日百	時間外での突発的な勤務が多くなっている。		
北 1工 百	iis ii BV C V	この味思	時間がくの大光的な動物が多くなっている。		
市民 既	係者 市民 関	(名名の名称	 		
からの	音 目		見に問題にわっていて叔帝で李座中のもて仏田田卒仏先の特内のしふとは上亦郷してみってわり、 数号	の時間な	んの活
要望	意見,	要望内容	動は大変多くなる一方である。	( ^ ) H() [H() /	1-0210
		A1 = 4 =	教職員の勤務時間外の指導に対して、時間外労働賃金を支払うことはできない。家庭訪問をおこなった	際の駐車	直場代.
	(1)	対応内容	金,会議費用を負担する。	- , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
		実施期限	平成 19 年 3 月		
課題·要	望等	対応内容	保護者の共働きが多く、教師は時間外に家庭訪問、保護者懇談等をおこなわなければならないことが多	くなって	てい
	(2)	אור זיטיונא	る。時間外での活動件数の調査の実施		
へ の š	付 応	実施期限	平成 18 年 12月		
	(3)	対応内容			
	( - )				
		対応内容実施期限			
Z 0 44		実施期限	学校間の連携の強化		
	考えられる	実施期限	学校間の連携の強化 関係機関等の連携の強化		
		実施期限	学校間の連携の強化 関係機関等の連携の強化 時間外活動の調査	1次氫碼	) 次証価
	考えられる	実施期限	学校間の連携の強化         関係機関等の連携の強化         時間外活動の調査         今後の方向性		
	考えられる	実施期限	学校間の連携の強化 関係機関等の連携の強化 時間外活動の調査 タ後の方向性 児童生徒が問題行動を起こし指導していくが、保護者への連絡、説論をおこなうには、 拡 大 ・ 充 実	0	0
	考えられる	実施期限	学校間の連携の強化 関係機関等の連携の強化 時間外活動の調査 今後の方向性 児童生徒が問題行動を起こし指導していくが、保護者への連絡、説論をおこなうには、 拡 大 ・ 充 実 時間外におこなうことが多くなってきている。よって、教職員に対して、今後も指導費用が 現 状 維 持	0	
改善の	考えられる	実施期限	学校間の連携の強化 関係機関等の連携の強化 時間外活動の調査 ・ タ後の方向性 児童生徒が問題行動を起こし指導していくが、保護者への連絡、説諭をおこなうには、 時間外におこなうことが多くなってきている。よって、教職員に対して、今後も指導費用が 必要となってくる。	<ul><li>O</li><li>O</li><li>O</li></ul>	0 0
改善の	考えられる D ア イ デ ア	実施期限	学校間の連携の強化 関係機関等の連携の強化 時間外活動の調査	<ul><li>O</li><li>O</li><li>O</li></ul>	<ul><li>○</li><li>●</li></ul>
改善の	考えられる D ア イ デ ア	実施期限	学校間の連携の強化 関係機関等の連携の強化 時間外活動の調査	0 0 0 0	<ul><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li></ul>
改善の	考えられる D ア イ デ ア	実施期限	学校間の連携の強化 関係機関等の連携の強化 時間外活動の調査	<ul><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li></ul>	0 0 0
平成 1	!考えられる D ア イ デ ア 9 ~ 2 1 年度	実施期限	学校間の連携の強化 関係機関等の連携の強化 時間外活動の調査	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	0 0 0 0
平成 1	!考えられる D ア イ デ ア 9 ~ 2 1 年度	実施期限	学校間の連携の強化 関係機関等の連携の強化 時間外活動の調査	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	0 0 0 0

(一般事	事業)	事業	□ <b>-</b> ド	32300	010			部長次	長課長
,	,					1 BB 1%			
平成 17	年 度	争	業名	<b>⊐</b> ≥	ュニティ・スクール	レ関係			
		•							
		要(ドゥ)							
			りの目標	_	人と文化を育てる			-  計 管 課	会社会教育部
総合言			<u>中</u>		生涯学習社会の実	· -		生涯字智	
政策力			<u>小</u>	3	地域活動との連携	・支援			年
体	系		細			1		記入者氏名原田遊	
事	業	期			5 3年~	経常臨時	☑ 経常 □ 臨時	電話番号0797-38	-2091 <mark>内線</mark> 3272
根拠			要 綱 等		* \text{\tiny{\text{\tiny{\tiny{\text{\text{\text{\tiny{\tiny{\text{\tiny{\tiny{\text{\text{\text{\text{\tiny{\text{\tiny{\tiny{\text{\text{\tiny{\tiny{\text{\tiny{\text{\tiny{\text{\tiny}\tiny{\tiny{\tiny{\tiny{\tiny{\tiny{\tiny{\tiny{\tiny{\tin	カチャ	□ △如壬之	実施主体市	左 <del></del>
<u>実</u> 委	施	手 託	· 法 先			□ 一部委託 <mark>名称</mark>	全部委託	☑ 補助金 □ 引委託 <mark>委 託 内 容</mark>	負担金
<del>-</del>		B C	70		外郭団体委託	<u>ロが </u> ールの自主的な運営に対			
事	業	Ø	概 要					5動を振興し,住民が連帯	して白らの手ですちづく
<b>-</b>	*	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	19%					E教育の一環を担うことも;	
						校の施設を開放した。	2111 7 200 1111 1111	2017	11 2) 4 7 12 12 17 17 10 10
事	業	の	現 状	• =	ミュニティ・スク	ールの活動に対する助言	言を行なった。		
	目的記	実現のため	oo	• 自	主的な運営のため	の経費の一部を補助した	÷ -0		
	手段及	及び実施内	容						
					ュニティ・スクー				
		結果指標	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
		(1)	指標値		3 1 5 団体	320団体	3 2 1 団体	3 2 4 団体	324団体
アウトス			単位コスト		33,673円	26,602円	21,000円	20,852円	20,852円
指	標				ュニティ・スクー				I = 10
		結果指標				平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
			指標値		75事業	8 7 事業	95事業	100事業	100事業
2 == 4	또 att F		単位コスト		141, 427円	101,517円	70, 958円	67, 560円	67, 560円
<u> </u>	長 八人 ラ	果(アウト	·//A)						
		対	象	各コ	ミュニティ・スク	ール			
事業の	目的	対象力	バー率	対多	t 数 (a)	9 受益数	(b) 9	比率 (b ÷ a) %	100
対象・					` /			上開放し、自主的な文化活	
		意		域活!	動を通じて、学校			台意識を高め、より良いコ	
		(対象を主	注語にして)	展を	図る。				
大	き	な	目 的	各コ	ミュニティ・スク	ールが,地域住民の自言	E的な運営に委ねられる	らよう側面から援助・助成 <sup>*</sup>	する。
		1	I— .						
					団体数の増加	し ここの子型 如徳の	<u> </u>		
						としての活動、組織の		亚代10年度(日播)	亚代 1 0 年度 / 日標 \
アウト	<b>+</b> /s		-	_	8団体増	平成 1 6 年度(実績) 5 団体増	平成 1 7 年度 (実績) 1 団体増	<b>平成18年度(目標)</b> 3団体増	平成 <b>1 9 年度(目標)</b> O
指	カム標		指標値		ュニティ・スクー		1 団体相	3回件相	0
10	ាភ				住民の学習機会が				
			年 度			平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)
			指標値		0	12事業増	8事業増	5事業増	0
				<del>                                     </del>	53年,ともすれば		」 学校をもっと地域に開放	_ し,学校と地域住民相互の交	流を活性化し,「地域に
芦屋市	の特色	色など補足	足する事項	開か	れた学校」にするペ	だきで、しかもそれは、行	政主導ではなく,地域の	方々が自主的な企画・運営	で『自分たちの町は自分
				たち	の手で』という意識	識と意欲を持ってもらうべ	く,全国に先駆け昭和6	1年までに市内全ての小学	交区に 9 コミスクを設置
3 事業	業費·	活動配?	分(コスト)	)			1世帯当り(円) 169	住民1人当り(円) 74	平成18.4.1 住民基本台帳
事	業	費		平成		平成16年度(決算)	平成17年度(決算)	平成18年度(予算)	
	人	件費			6,027	4,666	3,602	-	
	事	業費	46.6%		4,580	4,166	3,139	3,154	
		門経費						-	
(十円)		貸却費	400.0%		10 607	0 022	6 741	-	
	国	<b>計</b>	100.0%		10,607	8,832	6,741	-	
財源	市	債 等							
(千円)		の他							
( [ [] )		<b>設財源</b>	100.0%		10,607	8,832	6,741	_	
活 動	職	<del>以                                    </del>	31.3%		0.35	0.45	0.25	_	
		·臨時等			0.60	0.00	0.55		
10 刀					0.95	0.45	0.80		

	曲(チェック)					,
評		見 点	評価チェックリスト		1次評価	2次評価
	目的妥当性	·(2 ~ 2)	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ること	とができない		
	口口及日江	(2 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高く	(ない		
			□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応	可能である		
妥	市関与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされてに	13		
_	11-120 5 (=	-/	□ いずれにも該当しない	. •		
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う	も光づけかい	5	5
=	+	(0 4)			5	5
	市民ニーズ	(2 ~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,			
性				□ 未把握		
8点	社会環境変	:{/∤(1 ~ 1)	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた			
	江五城先交	.10(1 1)	内容 市民参画の視点から住民自らの主体的な生涯学習の事業企画・運営を行ってし	いる		
	優先性,緊急	急性(1)	□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる			
	対象カバー	率(1~ 1)	☑ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー	・率が低い		
有	受益者(1~	1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が	一部に限定		
			☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記.	λ	4	4
効	成果の実績	i(2 ~ 1)	▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがってい		4	4
性			成果があがっていない場合	- тоспустаут		
4点	- 成果向上余	:地(1~ 1)	p	□ 特になし		
4 📉			· ·	<u>□ 初になり</u>		
			L			
*1	単位コスト(1	1 ~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 四根 □ 四根 □ 四根 □ □ 四根 □ □ □ □ □ □ □ □ □			
効		,	└→ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが	局い		
			高い、または低い場合の理由			
	受益者負担	I(0 ~ 1)	☑ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない			
率	又血石只让	(0 - 1)	┃ ┗━▶ ☑ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □	徴収可能 )	0	0
<del>'T'</del>			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		U	U
	T 50/4	0)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべ	き部分がある		
	手段(1~	3)	☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可	丌能である		
性			□ 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託, 臨時職員等で対応可			
3点			□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない	BC C 00 C		
Omi	コスト削減耳	又組(1~ 1)	→ 内容   各コミスクにおける事業経費について、各コミスクにおいて負担するよう指導			
平 成 1	6年度の言	平価内容	□ A <mark>平成17年度に実</mark> □ 改善し,効果を得た			
及び	改善の	方 向 性	<mark>  評価結果                                   </mark>	改善し		
(評価な	がない場合は	記載小要)		なかっ	_	_
				<u>た</u> 総合 ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	В	В
平 成	1 8 年	F 度に	是AIM的TANA (***********************************			
実施	する改	善内容				
(	必	須 )	となる小字校の一部で、十分なスポージ   13年   2台向で使用するか、他の字校の校庭			
- A /	# 6 H = ( =		活動が出来にくく,場所の確保が課題。 時間の利用を検討しているが非常に	-   四		
5 分征	<u> </u>	<u> クンヨン)</u>	Destruction of the state of the	2010 2 2 2 2 2		
/			児童数の増加による岩園小学校の校舎増設に伴う校庭面積の縮小により、スポーツ活動			
現在:	認識してし	ハる課題	校舎の老朽化による精道小学校の建替え工事に伴う校庭面積の縮小により,スポーツ活	:動が十分にできフ	ない。	
市民,関	原者 市民,関	係者の名称	岩園,精道コミスク			
からの	意見	西胡贞宓	  校舎増設に伴う校庭面積縮小により,コミスクの少年野球,少年サッカーの練習ができ	+>1.1		
要望	等思想,	女主门台		· 5 V ·		
		社内中央	川工パランパの属化は田と西地			
	(1)	XI心内谷	川西グランドの優先使用を要望			
		実施期限	平成 18 年 7 月	-		
課題·要	望等					
HALL SC	(2)	対応内容	他のコミスクのクラブとの合同練習			
へのす		実施期限	平成 18 年 7 月			
		A JIE HO PK	1/24 2 2 1 1 1/4			
	(2)	対応内容				
	(3)					
		実施期限	平成 年 月			
	きえられる					
改善(	カアイデラ	7		_		
				今後の方向性	1次評価	2次評価
			各コミスク事業について、自主的に運営されており、経費についても適宜参加費を徴収するなど	拡大・充実	0	0
			して、行政に頼らない運営がされている。又、事業活動も年々充実してきており、現状のまま	現 <mark>状維持</mark> (	•	•
			できる限り行政の関わりを抑制した側面からの支援に限り、各事業がより自主的に且つ充実した	方 法 改 善	0	0
平成 1	9~21年度	の方向性		民間委託等(		0
		, , , , , , , , , , , ,	<u> </u>	縮小		0
			<u> </u>	統合/終期設定(		0
			<u> </u>	発 止 / 休 止 (		0
			<u>.                                    </u>	<u>ец / иц</u>		$\smile$
2 1/2 27	<del>.</del>		(巫光本島中土和井) マノギキい			
14 次 計	一二 公 貝 会	:コメント	(受益者負担を記載してください)			

総合計画 中 2 生涯学習社会の実現 所 管課 生涯学習社会の実現 所 管課 長氏名 川崎 立	正年   易司   31-9066   内線   3261   負担金   う。   れる。   平成19年度(目標)   50件	所 管 課 教育委員 生涯学習 所管課長氏名 川崎 正記 入 者 氏 名 長谷川 電 話 番 号 0797-31- 実 施 主 体 市 □ 補助金 □ 委託 <mark>委託内容</mark> な箇所の発掘調査を行う。 遂行等)の3過程に分かれる	量市文化財補助金交付要綱 □ 全部委託 □ 民間 対包蔵地内で調査が必要 査結果の公表(報告書の)	現 用   <mark>経常臨時</mark>   水藤条例、同施行規則、芦戸   一部委託   <mark>名称</mark>   設に伴って、埋蔵文化則   遺物等整理作業、調査   により、芦屋の歴史を矢	<ul> <li>市内文化財の保護</li> <li>3 人と文化を育てる</li> <li>2 生涯学習社会の実</li> <li>6 文化財等の保存活</li> <li>文化財保護法、 声屋市文化則</li> <li>」 直営</li> <li>」 外郭団体委託</li> <li>公共工事・民間住宅建</li> </ul>	事 業 名 (ドゥ) まちづくりの目標 中 小 細 期 間 令・要綱等	平成17年月第3次年前第3次合計 6 第
1 事業概要(ドゥ)   第3次戸屋市まちづくりの目標 3 人と文化を育てるまちづくり   所 管 課 教育委員	<ul> <li>空智課</li> <li>正年</li> <li>  易司</li> <li>31-9066</li> <li>内線</li> <li>3261</li> <li>う。</li> <li>れる。</li> </ul> P成19年度(目標) <ul> <li>50件</li> </ul>	所 管 課 生涯学習 所管課長氏名 川崎 正記 入 者 氏 名 長谷川 電話 番号 0797-31- 実 施 主 体 市 □ 種助金 □ 委託 <mark>委託内容</mark> な箇所の発掘調査を行う。	量市文化財補助金交付要綱 □ 全部委託 □ 民間 対包蔵地内で調査が必要 査結果の公表(報告書の)	現 用   <mark>経常臨時</mark>   水藤条例、同施行規則、芦戸   一部委託   <mark>名称</mark>   設に伴って、埋蔵文化則   遺物等整理作業、調査   により、芦屋の歴史を矢	3 人と文化を育てる 2 生涯学習社会の実 6 文化財等の保存活  文化財保護法、 声屋市文化則 ☑ 直営 □ 外郭団体委託 公共工事・民間住宅建	要(ドゥ) まちづくりの目標 中 小 細 期 間 令・要綱等 手 法	1 事業概第3次芦屋市総政策計算等。 第 集 拠 法
1 事業概要(ドゥ)   第3次戸屋市まちづくりの目標 3 人と文化を育てるまちづくり   所 管 課 教育委員	<ul> <li>空智課</li> <li>正年</li> <li>  易司</li> <li>31-9066</li> <li>内線</li> <li>3261</li> <li>う。</li> <li>れる。</li> </ul> P成19年度(目標) <ul> <li>50件</li> </ul>	所 管 課 生涯学習 所管課長氏名 川崎 正記 入 者 氏 名 長谷川 電話 番号 0797-31- 実 施 主 体 市 □ 種助金 □ 委託 <mark>委託内容</mark> な箇所の発掘調査を行う。	量市文化財補助金交付要綱 □ 全部委託 □ 民間 対包蔵地内で調査が必要 査結果の公表(報告書の)	現 用   <mark>経常臨時</mark>   水藤条例、同施行規則、芦戸   一部委託   <mark>名称</mark>   設に伴って、埋蔵文化則   遺物等整理作業、調査   により、芦屋の歴史を矢	3 人と文化を育てる 2 生涯学習社会の実 6 文化財等の保存活  文化財保護法、 声屋市文化則 ☑ 直営 □ 外郭団体委託 公共工事・民間住宅建	要(ドゥ) まちづくりの目標 中 小 細 期 間 令・要綱等 手 法	1 事業概第3次芦屋市総政策計算等。 第 集 拠 法
# 3 次   一	<ul> <li>空智課</li> <li>正年</li> <li>  易司</li> <li>31-9066</li> <li>内線</li> <li>3261</li> <li>う。</li> <li>れる。</li> </ul> P成19年度(目標) <ul> <li>50件</li> </ul>	所 管 課 生涯学習 所管課長氏名 川崎 正記 入 者 氏 名 長谷川 電話 番号 0797-31- 実 施 主 体 市 □ 種助金 □ 委託 <mark>委託内容</mark> な箇所の発掘調査を行う。	量市文化財補助金交付要綱 □ 全部委託 □ 民間 対包蔵地内で調査が必要 査結果の公表(報告書の)	現 用   <mark>経常臨時</mark>   水藤条例、同施行規則、芦戸   一部委託   <mark>名称</mark>   設に伴って、埋蔵文化則   遺物等整理作業、調査   により、芦屋の歴史を矢	2 生涯学習社会の実 6 文化財等の保存活 文化財保護法、 声屋市文化則 図 直営 □ 外郭団体委託 公共工事・民間住宅建	まちづくりの目標 中 小 細 期 間 令・要綱等 手 法 託 先	第3次芦屋市 6
# 3 次   一	<ul> <li>空智課</li> <li>正年</li> <li>  易司</li> <li>31-9066</li> <li>内線</li> <li>3261</li> <li>う。</li> <li>れる。</li> </ul> P成19年度(目標) <ul> <li>50件</li> </ul>	所 管 課 生涯学習 所管課長氏名 川崎 正記 入 者 氏 名 長谷川 電話 番号 0797-31- 実 施 主 体 市 □ 種助金 □ 委託 <mark>委託内容</mark> な箇所の発掘調査を行う。	量市文化財補助金交付要綱 □ 全部委託 □ 民間 対包蔵地内で調査が必要 査結果の公表(報告書の)	現 用   <mark>経常臨時</mark>   水藤条例、同施行規則、芦戸   一部委託   <mark>名称</mark>   設に伴って、埋蔵文化則   遺物等整理作業、調査   により、芦屋の歴史を矢	2 生涯学習社会の実 6 文化財等の保存活 文化財保護法、 声屋市文化則 図 直営 □ 外郭団体委託 公共工事・民間住宅建	まちづくりの目標 中 小 細 期 間 令・要綱等 手 法 託 先	第3次芦屋市 6
# 3 次   一	<ul> <li>空智課</li> <li>正年</li> <li>  易司</li> <li>31-9066</li> <li>内線</li> <li>3261</li> <li>う。</li> <li>れる。</li> </ul> P成19年度(目標) <ul> <li>50件</li> </ul>	所 管 課 生涯学習 所管課長氏名 川崎 正記 入 者 氏 名 長谷川 電話 番号 0797-31- 実 施 主 体 市 □ 種助金 □ 委託 <mark>委託内容</mark> な箇所の発掘調査を行う。	量市文化財補助金交付要綱 □ 全部委託 □ 民間 対包蔵地内で調査が必要 査結果の公表(報告書の)	現 用   <mark>経常臨時</mark>   水藤条例、同施行規則、芦戸   一部委託   <mark>名称</mark>   設に伴って、埋蔵文化則   遺物等整理作業、調査   により、芦屋の歴史を矢	2 生涯学習社会の実 6 文化財等の保存活 文化財保護法、 声屋市文化則 図 直営 □ 外郭団体委託 公共工事・民間住宅建	まちづくりの目標 中 小 細 期 間 令・要綱等 手 法 託 先	第3次芦屋市 6
# 3 次   一	<ul> <li>空智課</li> <li>正年</li> <li>  易司</li> <li>31-9066</li> <li>内線</li> <li>3261</li> <li>う。</li> <li>れる。</li> </ul> P成19年度(目標) <ul> <li>50件</li> </ul>	所 管 課 生涯学習 所管課長氏名 川崎 正記 入 者 氏 名 長谷川 電話 番号 0797-31- 実 施 主 体 市 □ 種助金 □ 委託 <mark>委託内容</mark> な箇所の発掘調査を行う。 を行等)の3過程に分かれる	量市文化財補助金交付要綱 □ 全部委託 □ 民間 対包蔵地内で調査が必要 査結果の公表(報告書の)	現 用   <mark>経常臨時</mark>   水藤条例、同施行規則、芦戸   一部委託   <mark>名称</mark>   設に伴って、埋蔵文化則   遺物等整理作業、調査   により、芦屋の歴史を矢	2 生涯学習社会の実 6 文化財等の保存活 文化財保護法、 声屋市文化則 図 直営 □ 外郭団体委託 公共工事・民間住宅建	まちづくりの目標 中 小 細 期 間 令・要綱等 手 法 託 先	第3次芦屋市 6
総合計画 中 2 生涯学習社会の実現 所 管課 長氏名 川崎 3 に 入者 氏名 長谷川 新 編 期 間 経常臨時 ② 経常 □ 臨時 電話 番号 0797-31 程 接	<ul> <li>空智課</li> <li>正年</li> <li>  易司</li> <li>31-9066</li> <li>内線</li> <li>3261</li> <li>う。</li> <li>れる。</li> </ul> P成19年度(目標) <ul> <li>50件</li> </ul>	所 管 課 生涯学習 所管課長氏名 川崎 正記 入 者 氏 名 長谷川 電話 番号 0797-31- 実 施 主 体 市 □ 種助金 □ 委託 <mark>委託内容</mark> な箇所の発掘調査を行う。 を行等)の3過程に分かれる	量市文化財補助金交付要綱 □ 全部委託 □ 民間 対包蔵地内で調査が必要 査結果の公表(報告書の)	現 用   <mark>経常臨時</mark>   水藤条例、同施行規則、芦戸   一部委託   <mark>名称</mark>   設に伴って、埋蔵文化則   遺物等整理作業、調査   により、芦屋の歴史を矢	2 生涯学習社会の実 6 文化財等の保存活 文化財保護法、 声屋市文化則 図 直営 □ 外郭団体委託 公共工事・民間住宅建	中 小 細 期 間 令 · 要 綱 等 手 法 託 先	総
総合計画 中 2 生涯学習社会の実現 所 管課 長氏名 川崎 3 に 入者 氏名 長谷川 新 編 期 間 経常臨時 ② 経常 □ 臨時 電話 番号 0797-31 程 接	<ul> <li>空智課</li> <li>正年</li> <li>  易司</li> <li>31-9066</li> <li>内線</li> <li>3261</li> <li>う。</li> <li>れる。</li> </ul> P成19年度(目標) <ul> <li>50件</li> </ul>	所 管 課 生涯学習 所管課長氏名 川崎 正記 入 者 氏 名 長谷川 電話 番号 0797-31- 実 施 主 体 市 □ 種助金 □ 委託 <mark>委託内容</mark> な箇所の発掘調査を行う。 を行等)の3過程に分かれる	量市文化財補助金交付要綱 □ 全部委託 □ 民間 対包蔵地内で調査が必要 査結果の公表(報告書の)	現 用   <mark>経常臨時</mark>   水藤条例、同施行規則、芦戸   一部委託   <mark>名称</mark>   設に伴って、埋蔵文化則   遺物等整理作業、調査   により、芦屋の歴史を矢	2 生涯学習社会の実 6 文化財等の保存活 文化財保護法、 声屋市文化則 図 直営 □ 外郭団体委託 公共工事・民間住宅建	中 小 細 期 間 令 · 要 綱 等 手 法 託 先	総
政策施策       小 6       文化財等の保存活用       所管課長氏名川崎 回 入 者 氏 名 長谷川 事 業 期 間 概 法 令・要 網 等 文化財保護法、 芦屋市文化財保護条例、 同施行規則、 芦屋市文化財補助金交付要網 実 施 主 体 市 実 施 手 法 回 直営	正年   易司   31-9066   内線   3261   負担金   う。   れる。   平成19年度(目標)   50件	所管課長氏名 川崎 正記 入 者 氏 名 長谷川電話 番号 0797-31-実施主体市 □ 補助金 □ 委託 <mark>委託内容</mark> な箇所の発掘調査を行う。  ※行等)の3過程に分かれる	量市文化財補助金交付要綱 □ 全部委託 □ 民間 対包蔵地内で調査が必要 査結果の公表(報告書の)	展 経常臨時	文化財等の保存活  文化財保護法、	・	政策施勞       体       事       根拠法       実施
# 第 期 間	易司   31-9066   内線   3261   負担金   う。   れる。   平成19年度(目標)   50件	記入者氏名 電話番号 0797-31- 実施主体市 □ 補助金 □ 委託 <mark>委託内容</mark> な箇所の発掘調査を行う。 ※行等)の3過程に分かれる	量市文化財補助金交付要綱 □ 全部委託 □ 民間 対包蔵地内で調査が必要 査結果の公表(報告書の)	経常臨時 才保護条例、同施行規則、芦戸 □ 一部委託 名称 設に伴って、埋蔵文化則 、遺物等整理作業、調査 により、芦屋の歴史を知	文化財保護法, 芦屋市文化財 ② 直営 □ 外郭団体委託 公共工事・民間住宅建	## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	体     系       事     第       根     拠       実     が
# 業 期 間	31-9066 内線 3261	電話番号 0797-31- 実施主体 市 □ 補助金 □ 委託 <mark>委託内容</mark> な箇所の発掘調査を行う。 き行等)の3過程に分かれる	量市文化財補助金交付要綱 □ 全部委託 □ 民間 対包蔵地内で調査が必要 査結果の公表(報告書の)	休藤条例、同施行規則、芦原 □ 一部委託 名称 設に伴って、埋蔵文化則 、遺物等整理作業、調査 により、芦屋の歴史を気	<ul><li>☑ 直営</li><li>☑ 外郭団体委託</li><li>公共工事・民間住宅建</li></ul>	期 間 令 · 要 網 等 手 法 託 先	事 第 根 拠 法 実 が
根 拠 法 令 · 要 網 等 文化財保護法, 芦屋市文化財保護条例、同施行規則、芦屋市文化財補助金交付要網 実 施 主 体 市 実 施 手 法 ② 直営 □ 一部委託 □ 全部委託 □ 補助金 □ 民間委託	う。 れる。 PR 19年度(目標) 50件	実施主体 □ 補助金 □ 委託 <mark>委託内容</mark> な箇所の発掘調査を行う。 遂行等)の3過程に分かれる	量市文化財補助金交付要綱 □ 全部委託 □ 民間 対包蔵地内で調査が必要 査結果の公表(報告書の)	休藤条例、同施行規則、芦原 □ 一部委託 名称 設に伴って、埋蔵文化則 、遺物等整理作業、調査 により、芦屋の歴史を気	<ul><li>☑ 直営</li><li>☑ 外郭団体委託</li><li>公共工事・民間住宅建</li></ul>	令 · 要 綱 等 手 法 託 先	根 拠 法 実
根 拠 法 令 · 要 網 等 文化財保護法, 芦屋市文化財保護条例、同施行規則、芦屋市文化財補助金交付要網 実 施 主 体 市 実 施 手 法 ② 直営 □ 一部委託 □ 全部委託 □ 補助金 □ 民間委託	う。 れる。 PR 19年度(目標) 50件	実施主体 □ 補助金 □ 委託 <mark>委託内容</mark> な箇所の発掘調査を行う。 遂行等)の3過程に分かれる	量市文化財補助金交付要綱 □ 全部委託 □ 民間 対包蔵地内で調査が必要 査結果の公表(報告書の)	休藤条例、同施行規則、芦原 □ 一部委託 名称 設に伴って、埋蔵文化則 、遺物等整理作業、調査 により、芦屋の歴史を気	<ul><li>☑ 直営</li><li>☑ 外郭団体委託</li><li>公共工事・民間住宅建</li></ul>	令 · 要 綱 等       手 法       託 先	根 拠 法 実
実施         手         法         ② 直営         一一部委託         全部委託         一補助金         □           季         抗         先         分郭団体委託         名称         □ 民間委託         委託内容           公共工事・民間住宅建設に伴って、埋蔵文化財包蔵地内で調査が必要な箇所の発掘調査を行う。公共工事・民間住宅建設に伴って、埋蔵文化財包蔵地内で調査が必要な箇所の発掘調査を行う。         事業の 現	う。 れる。 <b>平成19年度(目標)</b> 50件	□ 補助金 □ 委託 <b>委託内容</b> な箇所の発掘調査を行う。 ě行等)の3過程に分かれる	□ 全部委託 □ 民間 対包蔵地内で調査が必要 査結果の公表(報告書の)	□ 一部委託 名称 設に伴って、埋蔵文化則 、遺物等整理作業、調査 により、芦屋の歴史を知	<ul><li>☑ 直営</li><li>☑ 外郭団体委託</li><li>公共工事・民間住宅建</li></ul>	手 法 託 先	実が
<ul> <li>表</li></ul>	う。 れる。 <b>平成19年度(目標)</b> 50件	委託 <mark>委託内容</mark> な箇所の発掘調査を行う。 &行等)の3過程に分かれる	□ 民間 財包蔵地内で調査が必要 査結果の公表(報告書の 知る意義をPRする。	名称 設に伴って、埋蔵文化則 、遺物等整理作業、調査 により、芦屋の歴史を知	□ 外郭団体委託 公共工事・民間住宅建	託 先	委
事業の概要       公共工事・民間住宅建設に伴って、埋蔵文化財包蔵地内で調査が必要な箇所の発掘調査を行う。         事業の現目的実現のための手段及び実施内容       規蔵文化財の発掘調査により、芦屋の歴史を知る意義をPRする。         事業の見目的実現のための手段及び実施内容       は標名試掘調査件数は61件。         指標値 58件 45件 61件       を存むしまます。         おおけます。       おおけます。         おおけます。       本成15年度(実績) 平成16年度(実績) 平成17年度(実績) 平成18年度(目標)         おおけます。       本の表表の表表の表表の表表の表表の表表の表表の表表の表表の表表の表表の表表の表表	na。 <b>平成19年度(目標)</b> 50件	な箇所の発掘調査を行う。 &行等)の3過程に分かれ	材包蔵地内で調査が必要 を結果の公表(報告書の 知る意義をPRする。	設に伴って、埋蔵文化具 、遺物等整理作業、調査 により、芦屋の歴史を知	公共工事・民間住宅建		委
事業の規事業の規則       機工機工を表現調査は、現場調査、遺物等整理作業、調査結果の公表(報告書の発行等)の3過程に分かれ         事業の見間的実現のための手段及び実施内容       地蔵文化財の発掘調査により、芦屋の歴史を知る意義をPRする。         理蔵文化財包蔵地内での建設事業予定者との事前協議(時期、調査範囲、費用)を行う。平成17年度発掘調査件数は61件。         指標(1)       指標値 字成15年度(実績) 平成16年度(実績) 平成17年度(実績) 平成18年度(目標)指標値 58件 45件 61件 50件         おおいます。       日本の表現のための手段及び実施内容         おおいます。       日本の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の	na。 <b>平成19年度(目標)</b> 50件	ě行等)の3過程に分かれ	査結果の公表(報告書の 知る意義をPRする。	、遺物等整理作業、調査 により、芦屋の歴史を知		の 概 要	
#	) <mark>平成19年度(目標)</mark> 50件		知る意義をPRする。	により、芦屋の歴史を知	発掘調査は、現場調査	の 概 要	
#	) <mark>平成19年度(目標)</mark> 50件		知る意義をPRする。	により、芦屋の歴史を知		0) 11/1 32	重 丵
事業の見現のための手段及び実施内容       現成17年度発掘調査件数は61件。         アウトプット指       据標 名	50件	囲、費用)を行う。					<del>-</del> -
事業の見現のための手段及び実施内容       現成17年度発掘調査件数は61件。         アウトプット指       据標 名	50件	困、費用)を行う。					
目的実現のための 手段及び実施内容	50件	圏、費用)を行う。	事前協議(時期、調査範	の母却重要予定者しの国	埋蔵文化財の発掘調査		
	50件			♡建以事未 ∫ 足付 C ♡ ラ	埋蔵文化財包蔵地内で	の 現 状	事 業
	50件			件数は61件。	平成17年度発掘調查	<b></b> ほ現のための	日的
指標名   大田   大田   大田   大田   大田   大田   大田   大	50件			11 39 (14: 110	1774 - 1 303041117322		
アウトブット     指標 (1) 指標値 58件 45件 61件 50件       指標 (2) 指標値 (2) 指標値 (2) 指標値 (2) 指標値 (2) 指標値 (2) 指標値 (2) 指標値 (2) 指標値 (2) 指標値 (2) 指標値 (2) 指標値 (2) 指標値 (2) 指標値 (2) (2) 指標値 (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)	50件					メリケルドツ台	丁卡又
アウトブット     指標 (1) 指標値 58件 45件 61件 50件       指標 (2) 指標値 (2) 指標値 (2) 指標値 (2) 指標値 (2) 指標値 (2) 指標値 (2) 指標値 (2) 指標値 (2) 指標値 (2) 指標値 (2) 指標値 (2) 指標値 (2) 指標値 (2) (2) 指標値 (2) (2) 指標値 (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)	50件						
アウトブット     指標値 58件 45件 61件 50件       指標 (1)     指標値 58件 45件 61件 50件       指標 名       結果指標 (2)     指標値 (2)     平成15年度(実績) 平成16年度(実績) 平成17年度(実績) 平成18年度(目標)	50件						
アウトブット     指標値 58件 45件 61件 50件       指標 (1)     指標値 58件 45件 61件 50件       指標 名       結果指標 (2)     指標値 (2)     平成15年度(実績) 平成16年度(実績) 平成17年度(実績) 平成18年度(目標)	50件	平成18年度(目標)	平成17年度(実績)	平成16年度(実績)			
アウトプット     単位コスト     179千円     231千円     213千円     150千円       指標     結果指標 年度 平成15年度(実績) 平成16年度(実績) 平成17年度(実績) 平成18年度(目標)       (2) 指標値     単位コスト			-				
指標 名	1 5 0 で田						7017
結果指標     年     度     平成15年度(実績)     平成16年度(実績)     平成17年度(実績)     平成18年度(目標)       (2)     指標値     単位コスト	150千円	150十円	213千円	231十円	179十円		
(2) 指標値 単位コスト						指標 名	指
(2)     指標値 単位コスト	平成19年度(目標)	平成18年度(目標)	平成17年度(実績)	平成16年度(実績)	平成15年度(実績)	結果指標 年 度	
単位コスト						(2) 指煙値	
							2 古米 <b>代</b>
2 事業成果(アウトカム)						卡(アワトカム)	∠ 事業放
対				建筑笙の予定者	世蔵文化財与蔵地内で	対 免	
A) SMAILMICKETT CERTON INC				在来401元日	*王,两人门穴1已,两元门10	<b>V</b> 1 <b>3</b> 0	
事業の目的対象 カバー 率対象数 (a) 99 受益数 (b) 61 比率 (b ÷ a) %	<b>%</b> 61. 62	比率 (b ÷ a) %	<mark>ጀ (b)</mark> 61	99 受益数	対象数(a)	対象カバー率	事業の目的
対象・意図	_	· · ·			, ,		
意 図建設事業予定者が、埋蔵文化財包蔵地内で事業を予定していないかを知り、正しく申請を行う	<b>ふトふ歩道士ス</b>	知り 正しく由誌を行う	異た予定1 ていわいかね	歳女化財気蔵地内で東芝	建設車業予定者が 押		7.5 25. 72. 2
	ノよ ノ1日寺 タ ②。	がり、正しく中間を行う。	RZ TIEU CVIIIVIII	成人 [[於] [2] 成地门 ( 事)	是以事未 1 足石 / *、 生		
(対象を主語にして)						(対象を土譜にして)	
まれた。 一世の歴史を紐解くため、建設事業予定者の協力を得ながら調査を行い、歴史的、学術的な意思を表現している。	<b>音差を明さかにしてい</b>	い 豚山的 受傷的な音	カカな但かがた調本な行	み 建設車業予定老の物	芸屋の豚由な紅鰕ノた		
大きな目的	民義を引われてしてい.	V 、 企文ロ、 子州ログな恩。	切りて付みかり 明旦で1	67、座队事未了足有67点		な 目 的	大 き
					• 0		
指標名記録・保存された箇所数				数	記録・保存された箇所	指標 名	
中間成果考え方・式							
	亚代10年度/日標》	亚出 1 0 年度 / 日博 )	立代17年度(学集)	亚武16年度/安健》	亚代15年度(安建)		
アウトカム     指標値     58件     45件     61件     50件	50件	5 0 件	6 1 件	4 5 件	5 8 件		
指 標 名 指標 名						指標 名	指
最終成果	,						
指標年度  平成15年度(実績)  平成16年度(実績)  平成17年度(実績)  平成18年度(目標)	) 平成 1 9 年度 (目標)	平成18年度(日標)	平成17年度(宝績)	平成16年度(宝績)	平成15年度(宝績)		
			17%11人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人	1.2%、41及(入限)			
			1	1		11日 信 11日	
						色など補足する事項	芦屋市の特
芦屋市の特色など補足する事項							
芦屋市の特色など補足する事項							
	3 平成1841 住民基本台級	住民1人当()(円) 143	1世帯当17(円) 326			活動配分(コスト	2 重業費
3 事業費・活動配分(コスト) 1世帯当り(円) 326 住民1人当り(円) 143				亚武士(左连(沐笠)	亚式 1.5 在府(油等)		
3 事業費・活動配分(コスト) 1世帯当り(円) 326 住民1人当り(円) 143 事 業 費 構成% 平成15年度(決算) 平成16年度(決算) 平成17年度(決算) 平成18年度(予算)			平成17年度(決算)			費 構成%	
3 事業費・活動配分(コスト) 1世帯当り(円) 326 住民1人当り(円) 143 事 業 費 構成% 平成15年度(決算) 平成16年度(決算) 平成17年度(決算) 平成18年度(予算) 人 件 費 13.9% 3,408 3,409 1,803 -			平成17年度(決算)			費 構成% 件 費 13.9%	事 業
3 事業費・活動配分(コスト) 1世帯当り(円) 326 住民1人当り(円) 143 事 業 費 構成% 平成15年度(決算) 平成16年度(決算) 平成17年度(決算) 平成18年度(予算)	-	平成18年度(予算)	平成 1 7年度(決算) 1,803	3,409	3,408	費 構成% 件 費 13.9%	事 業
3 事業費・活動配分(コスト) 1世帯当り(円) 326 住民1人当り(円) 143 事業費 構成% 平成15年度(決算) 平成16年度(決算) 平成17年度(決算) 平成18年度(予算) 人 件 費 13.9% 3,408 3,409 1,803 - 東業費 86.1% 7,000 7,001 11,184 25,020	-	平成18年度(予算)	平成 1 7年度(決算) 1,803	3,409	3,408	費     構成%       件     費     13.9%       業     費     86.1%	事 業 人 事
3 事業費・活動配分(コスト)     1世帯当り(円)     326 住民1人当り(円)     143       事業費構成% 平成15年度(決算) 平成16年度(決算) 平成17年度(決算) 平成18年度(予算)       人件費 13.9% 3,408 3,409 1,803 - 事業費 86.1% 7,000 7,001 11,184 25,020       内訳他部門経費 - ・	-	平成18年度(予算)	平成 1 7年度(決算) 1,803	3,409	3,408	費     構成%       件     費     13.9%       業     費     86.1%       8     門     経	事 業 人 事 内 訳他
3 事業費・活動配分(コスト)     1世帯当り(円)     326 住民1人当り(円)     143       事業費 構成% 平成15年度(決算) 平成16年度(決算) 平成17年度(決算) 平成18年度(予算)       人 件費 13.9% 3,408 3,409 1,803 - 事業費 86.1% 7,000 7,001 11,184 25,020       内 訳 他 部 門 経費 - 「八千円」 減価償却費	-	平成18年度(予算)	平成 1 7 年度 (決算) 1,803 11,184	3,409 7,001	3,408 7,000	費 構成% 件 費 13.9% 業 費 86.1% 3門経費 「償却費	事 業 人 事 内 訳 他 (千円)減
3 事業費・活動配分(コスト) 1世帯当り(円) 326 住民1人当り(円) 143 事 業 費 構成% 平成15年度(決算) 平成16年度(決算) 平成17年度(決算) 平成18年度(予算) 人 件 費 13.9% 3,408 3,409 1,803 - 事 業 費 86.1% 7,000 7,001 11,184 25,020 内 訳 他部門経費 - (千円) 減価償却費 - 合 計 100.0% 10,408 10,410 12,987 -	) - 20 - - -	平成18年度(予算)	平成 1 7 年度 (決算) 1,803 11,184	3,409 7,001	3,408 7,000	費     構成%       件     費     13.9%       業     費     86.1%       3 門 経費     計     100.0%	事 業 人 事 内 訳 他 (千円) 減 <b>合</b>
3 事業費・活動配分(コスト) 1世帯当り(円) 326 住民1人当り(円) 143 事 業 費 構成% 平成15年度(決算) 平成16年度(決算) 平成17年度(決算) 平成18年度(予算) 人 件 費 13.9% 3,408 3,409 1,803 - 事 業 費 86.1% 7,000 7,001 11,184 25,020 内 訳 他部門経費 - (千円) 減価償却費 - 自 計 100.0% 10,408 10,410 12,987 - 国 ・ 県	) - 20 - - -	平成18年度(予算)	平成 1 7 年度 (決算) 1,803 11,184	3,409 7,001	3,408 7,000	費 構成% 件 費 13.9% 業 費 86.1% 3門経費 i償却費 ・ 県	事 業 人 事 内 訳 他 (千円) 減 <b>合</b>
3 事業費・活動配分(コスト) 1世帯当り(円) 326 住民1人当り(円) 143 事 業 費 構成% 平成15年度(決算) 平成16年度(決算) 平成17年度(決算) 平成18年度(予算) 人 件 費 13.9% 3,408 3,409 1,803 - 事 業 費 86.1% 7,000 7,001 11,184 25,020 内 訳 他部門経費 - (千円) 減価償却費 - 合 計 100.0% 10,408 10,410 12,987 -	) - 20 - - -	平成18年度(予算)	平成 1 7 年度 (決算) 1,803 11,184	3,409 7,001	3,408 7,000	費 構成% 件 費 13.9% 業 費 86.1% 3門経費 i償却費 ・ 県	事 人 事 (千円) (千円) (千田)
3 事業費・活動配分(コスト) 1世帯当り(円) 326 住民1人当り(円) 143 事 業 費 構成% 平成15年度(決算) 平成16年度(決算) 平成17年度(決算) 平成18年度(予算) 人 件 費 13.9% 3,408 3,409 1,803 - 事業 費 86.1% 7,000 7,001 11,184 25,020 内 訳 他部門経費 - 日本の	) - 20 - - -	平成18年度(予算)	平成 1 7 年度 (決算) 1,803 11,184	3,409 7,001	3,408 7,000	費 構成% 件 費 13.9% 業 費 86.1% 引 経 費 i 償 却 費 ・ 県 債 等	事
3 事業費・活動配分(コスト) 1世帯当り(円) 326 住民1人当り(円) 143 事 業 費 構成% 平成15年度(決算) 平成16年度(決算) 平成17年度(決算) 平成18年度(予算) 人 件 費 13.9% 3,408 3,409 1,803 事 業 費 86.1% 7,000 7,001 11,184 25,020 内 訳 他部門経費	) - 20 - - -	平成18年度(予算)	平成 1 7年度 (決算) 1,803 11,184 12,987	3,409 7,001 10,410	3,408 7,000 10,408	費 構成% 件 費 13.9% 業 費 86.1% 引 経 費 消 質 却 費 100.0% ・ 県 債 等 の 他	事
3 事業費・活動配分(コスト)  事 業 費 構成% 平成15年度(決算) 平成16年度(決算) 平成17年度(決算) 平成18年度(予算)  人 件 費 13.9% 3,408 3,409 1,803 -  事 業 費 86.1% 7,000 7,001 11,184 25,020  内 訳 他部門経費	0 	平成 1 8 年度 ( 予算 )	平成 1 7年度 (決算) 1,803 11,184 12,987	3,409 7,001 10,410	3,408 7,000 10,408	費 構成% 件 費 13.9% 業 費 86.1% 引 経 費 前 償 却 費 計 100.0% ・ 県 債 等 の 他 <b>股 財 源</b> 100.0%	事
3 事業費・活動配分(コスト)   1世帯当り(円)   326   住民1人当り(円)   143   143   144   145	0 	平成 1 8 年度 ( 予算 )	平成 1 7年度 (決算) 1,803 11,184 12,987	3,409 7,001 10,410	3,408 7,000 10,408	費 構成% 件 費 13.9% 業 費 86.1% 引 経 費 計 100.0% ・ 県 債 等 の 他 <b>股 財 源</b> 100.0%	事 内 (1) (1) (1) (1) (2) (3) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (8) (9) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1
3 事業費・活動配分(コスト)  事 業 費 構成% 平成15年度(決算) 平成16年度(決算) 平成17年度(決算) 平成18年度(予算)  人 件 費 13.9% 3,408 3,409 1,803 -  事 業 費 86.1% 7,000 7,001 11,184 25,020  内 訳 他部門経費	0 	平成 1 8 年度 ( 予算 )	平成 1 7年度 (決算) 1,803 11,184 12,987 12,987 0.22	3,409 7,001 10,410	3,408 7,000 10,408	費 構成% 件 費 13.9% 業 費 86.1% 引 経 費 前 償 却 費 100.0% ・ 県 債 等 の 他 股 財 源 100.0%	事     分       内(千円)     方       財(千円)     方       一職     元       配     分

4 評价	西(チェ	[ック]				
評	価	視	点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
	日於	3妥当性(	2 ~ 2)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	П III	) X 3 IX (	2 2)	□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
				☑ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である		
妥	市関	与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
				□ いずれにも該当しない	_	4
当		· · · ·		□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	3	1
Ast.	力氏	ミニーズ(2	2~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない、または未把握		
性 8点				□ 数字で把握している □ 未把握 □ 未把握 □ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
om.	社会	環境変化	七(1~ 1)	対象に関わる社会環境の支化に適応している		
	優先	性,緊急	性(1)	- 「3日: □ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
			<u>≅(1 ~ 1)</u>	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益	括(1∼	1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
効	成里	の実績(	2 ~ 1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	3	1
	132.74	(マン大川県(	- 1)	└▶ □ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	J	'
性	- 成果	<b> </b> 向上余均	也(1~ 1)	成果があがっていない場合		
4点				□ 成果向上策あり □ 特になし □ 特になし		
				☑ 比較できる団体がある 団体名   □ 比較できる団体はない   □ 比較できる団体はない   □ 地域できる団体はない   □ 地域できる団体はない   □ 地握していない		
効	単位	෭コスト(1	~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト : □ 他団体とりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
743				高い、または低い場合の理由		
				□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
率	安益	計者負担(	U~ 1)	□ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能)	0	-2
4				直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	U	-2
	手段	}(1 ~ 3°	)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	3 +2		,	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性				□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点	コス	ト削減取	組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない ト 内容 年間の単価表の見直し		
平成1	6年月	度の評	<b>価内容</b>	□ A <mark>平成17年度に実</mark> ☑ 改善し,効果を得た		
(評価か	ひ きがないが	場合は記	方 向 性 己載不要)	□ □   M   □ 以晋しにか,効未かな □ + ++   □ 以晋しにか,効未かな □ ++   +     □ 以晋しにか,効未かな □ +		
<b>,</b>				というとは、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに	В	D
平 成	1	8 年	度に	市内文化財の環境整備		
平成実施	す。そ	3 改	度に	課題 内容		
(	必	須	! )			
5 今後	きの対	応(アク	フション)			
				調査報告書の作成が、体制の問題もあり遅れ気味になっている。		
現在:	認 識	してい	る 課 題			
		市民,関係	系者の名称			
からの 要 望	恵兒等	意見 , 弱	要望内容			
要望	寸					
		(1)	対応内容	GIS地図上に調査結果を入力しているが、改善し活用を図る。		
		( - )	実施期限	平成 19 年 3 月		
課題·要	望等					
		(2)	対応内容			
へのす	対応		実施期限	平成 年 月		
			対応内容			
		(3)				
			実施期限	平成 年 月		
その他	1 孝 え	6 h 3				
改善						
				今後の方向性	1次評価	2次評価
				文化財保護法により市が実施しなければならない事業であり、今後も継続していく。 拡大 充実		0
				大規模開発が増加していく中で、現在の職員体制では難しいので、民間への委託な <mark>現 状 維 持</mark>		0
				ども活用していく。   方 法 改 善		•
平成 1	9 ~ 2	1 年 度	の方向性			0
					0	0
						0
					$\smile$	
2 1/2 ≐π	证 価 委	員会	コメント	試掘保存された文化財の調査報告書が発刊されない状況では、事業効果が薄れてしまいます。市民への	公表方法	法も含
2 八 計				めて,事業のあり方を検討してください。		

(一般]	事業)	事 業	J - K	24102	220						部	長	次	長	課	争
											HI.		,,,		HALL.	
平成17	7年度	事	業 名	青少年	年保護対策	策事業(产	5屋市留守家/	廷児童会事	業)							
										1						
1 事	業概算	要(ドゥ)													1	
			りの目標	2	健やかで	ぬくもり	のある福祉社	1会づくり					教育委	員会社会	教育部	
総合			中				体を豊かには		会の実現		所	管 課		ソ・青少		
政策			小	1			/」子育て支担				所管部	<b>果長氏名</b>	西 初	吉		
体	系	;	細								記入	者氏名	西 初	吉		
事	業	期		昭和:	4 2 年~			経常臨時	☑ 経常 □	臨時			0797-22		内線	92-216
	法			児童神	福祉法 衤	社会福祉	法 芦屋市留			.,		主体				
実	施	手		<b>V</b>			一一部委		□ 全部委託	<u> </u>	□ 有			負担金		
委		託			外郭団体	委託	名称	-				託内容				
											,					
事	業	の	概 要	小学村	交の放課後	後, 保護	者の就労等に	より、家原	をにおいて 適切	な保護育	成に欠	ける児童の	のうち,	1年生力	ふら3年生	と 卒級
									通じて児童の健							
					施場所		内公立小学校									
事	業	の	現 状	• 児輩	童定員	3	45人	• 在級児童	<b>童数</b> 266	人~29	6人(	うち障がい	い児14	人, う <sup>t</sup>	5土曜日3	3 5 人~
	目的詞	実現のため	າወ	• 開	設 日	日	, 祝日及び8	月12日	~16目, 12	月29日	~1月	3月, 3.	月31日	以外の日	1	
	手段及	及び実施内	]容	<ul><li>開記</li></ul>	設時間	並	日		学校の放課後	から午後	5時					
						土	曜日及び学校	休業日	午前9時から	午後 5 時何	旦し,冬	・ 期は午後	後4時3	0分		
			指標名	登録り	児童数											
		結果指標	年 度	平成	15年度	(実績)	平成 1 6 年	度(実績)	平成17年度	(実績)	平成 2	18年度	(目標)	平成 1	9年度(	目標)
			指標値		321	人	2 8	5人	287	人		312)			320人	
アウト	プット		単位コスト		47, 246円	/人	129, 750	円/人	161, 501	円/人	16	0,000円	/人	160	, 000円/	/人
指	標		指標名													
		結果指標	年 度	平成	15年度	(実績)	平成 1 6 年	度(実績)	平成17年度	(実績)	平成 ′	18年度	(目標)	平成 1	9年度(	目標)
		(2)	指標値													
			単位コスト													
2 事	業成界	果(アウト	カム)													
		対	争	保護	- 者が就労学	等により	ー 家庭において	- 適切かん	呆護育成に欠け	- - - る小学 1	年生か	- ら3年生				
			31	PINEZ'	· · · /// // ·	.,5. /	~~~~	· , ~= >/'		α 1 1 I	1/4 .	J J I I				
					144						_	_				
			バー 率	対象	き数 (a)		365	受益数	첫 (b)	287	tt	<b>之率</b> (b	÷ a) %	<mark>6</mark>	78.6%	
事業の対象・					, ,	·		•				,		<mark>6</mark>	78.6%	
		意	図		, ,	成を目的		•	<mark>な (b)</mark> る児童に遊びや			,		6	78.6%	
		意			, ,	成を目的		•				,		6	78.6%	
対 象・	意図	意 (対象を主	図 E語にして)	児童の	の健全育品		とし,保護育	が成に欠ける				,		<mark>6</mark>	78.6%	
		意	図 E語にして)	児童の	の健全育品			が成に欠ける				,		<mark>6</mark>	78.6%	
対 象・	意図	意 (対象を主	図 E語にして) 目 的	児童の	の健全育品の健全育品		とし,保護育	が成に欠ける				,		6	78.6%	
対 象・	意図	意 (対象を主	図注語にして)目の的指標名	児童の 児童の 児童の	の健全育のの健全育のの	成と子育	とし、保護育	が成に欠ける	5児童に遊びや			,		6	78.6%	
対 象・	意図	意 (対象を主な 中間成果	図 注語にして) 目 的 指標名式 考え方·式	児童 <sup>©</sup> 児童 <sup>©</sup> 児童 <sup>©</sup> 集団(	の健全育原 の健全育原 の出席率 による遊(	成と子育	とし、保護育 て世代等の就を通した仲間	F成に欠け 対 対 支援	る児童に遊びや	<b>集</b> 団生活	の場を	提供する。				日煙し
対 象 · 大	意図	意 (対象を主なな 中間成果 指 標	図図のでは、	児童 <sup>©</sup> 児童 <sup>©</sup> 児童 <sup>©</sup> 集団(	の健全育所の の健全育所 の出席率 による遊び 15年度	成と子育 びや生活 <mark>(実績)</mark>	とし、保護育 て世代等の就 を通した仲間 平成16年	F成に欠け? 対支援 Tづくりと <del>2</del> <b>度(実績)</b>	5児童に遊びや 5児童に遊びや な全確保 マ成17年度	·集団生活 ( <b>実績</b> )	の場を	提供する。 1 <b>8 年度</b> (			9年度(	目標)
対象・ 大 アウト	意図	意 (対象を主 な 中間成果 指	型 (型) (型) (型) (型) (型) (型) (型) (型) (型) (型)	児童 <sup>©</sup> 児童 <sup>©</sup> 児童 <sup>©</sup> 集団(	の健全育原 の健全育原 の出席率 による遊(	成と子育 びや生活 <mark>(実績)</mark>	とし、保護育 て世代等の就を通した仲間	F成に欠け? 対支援 Tづくりと <del>2</del> <b>度(実績)</b>	る児童に遊びや	·集団生活 ( <b>実績</b> )	の場を	提供する。				目標)
対 象 · 大	意図	意 (対象を主な 中間成果	図(T) (T)	児童 <sup>©</sup> 児童 <sup>©</sup> 児童 <sup>©</sup> 集団(	の健全育所の の健全育所 の出席率 による遊び 15年度	成と子育 びや生活 <mark>(実績)</mark>	とし、保護育 て世代等の就 を通した仲間 平成 1 6 年 <i>E</i>	F成に欠け? 対支援 Tづくりと <del>2</del> <b>度(実績)</b>	5児童に遊びや 5児童に遊びや な全確保 マ成17年度	·集団生活 ( <b>実績</b> )	の場を	提供する。 1 <b>8 年度</b> (			9年度(	目標)
対象・ 大 アウト	意図	意 (対象を主 な 中間成果 指 標 最終成果	E語   1	児童の児童の集団の	の健全育所 の健全育所 の出席率 こよる遊び 15年度 76.0%	びや生活 <mark>(実績)</mark>	とし、保護者 て世代等の就 を通した仲間 <mark>平成16年</mark> 77.	が成に欠ける 対対支援 引づくりと3 <mark>度(実績)</mark> 3%	5児童に遊びや 安全確保 平成 1 7年度 76.69	◆集団生活 (実績) ※	平成	提供する。 1 <b>8年度</b> 80%	(目標)	平成 1	<mark>9年度(</mark> 90%	
対象・ 大 アウト	意図	意 (対象を主 な 中間 様 最終成標 指	図て) 的 名式度値名式度	児童の児童の集団の	の健全育所 の健全育所 の出席率 こよる遊び 15年度 76.0%	びや生活 <mark>(実績)</mark>	とし、保護育 て世代等の就 を通した仲間 平成 1 6 年 <i>E</i>	が成に欠ける 対対支援 引づくりと3 <mark>度(実績)</mark> 3%	5児童に遊びや 安全確保 平成 1 7年度 76.69	◆集団生活 (実績) ※	平成	提供する。 1 <b>8 年度</b> (	(目標)	平成 1	9年度(	
対象・ 大 アウト	意図	意 (対象を主 な 中間 様 最終成標 指	E語   1	児童の児童の集団の	の健全育所 の健全育所 の出席率 こよる遊び 15年度 76.0%	びや生活 <mark>(実績)</mark>	とし、保護者 て世代等の就 を通した仲間 <mark>平成16年</mark> 77.	が成に欠ける 対対支援 引づくりと3 <mark>度(実績)</mark> 3%	5児童に遊びや 安全確保 平成 1 7年度 76.69	◆集団生活 (実績) ※	平成	提供する。 1 <b>8年度</b> 80%	(目標)	平成 1	<mark>9年度(</mark> 90%	
対 大 ア指	意図きんか標	意 (対象を主 な 中間成果 標 最終成果 指	図て) 的 名式度値名式度	児童の児童の集団の	の健全育所 の健全育所 の出席率 こよる遊び 15年度 76.0%	びや生活 <mark>(実績)</mark>	とし、保護者 て世代等の就 を通した仲間 <mark>平成16年</mark> 77.	が成に欠ける 対対支援 引づくりと3 <mark>度(実績)</mark> 3%	5児童に遊びや 安全確保 平成 1 7年度 76.69	◆集団生活 (実績) ※	平成	提供する。 1 <b>8年度</b> 80%	(目標)	平成 1	<mark>9年度(</mark> 90%	
対 大 ア指	意図きんか標	意 (対象を主 な 中間成果 標 最終成果 指	と	児童の児童の集団の	の健全育所 の健全育所 の出席率 こよる遊び 15年度 76.0%	びや生活 <mark>(実績)</mark>	とし、保護者 て世代等の就 を通した仲間 <mark>平成16年</mark> 77.	が成に欠ける 対対支援 引づくりと3 <mark>度(実績)</mark> 3%	5児童に遊びや 安全確保 平成 1 7年度 76.69	◆集団生活 (実績) ※	平成	提供する。 1 <b>8年度</b> 80%	(目標)	平成 1	<mark>9年度(</mark> 90%	
対 大 ウ 屋 市	意図きかりを	意(対象を主)ない。 中間の成果標 最終の成果標	図() 的 名式度値名式度値 項	児童の児童の集団の	の健全育所 の健全育所 の出席率 こよる遊び 15年度 76.0%	びや生活 <mark>(実績)</mark>	とし、保護者 て世代等の就 を通した仲間 <mark>平成16年</mark> 77.	が成に欠ける 対対支援 引づくりと3 <mark>度(実績)</mark> 3%	5児童に遊びや 安全確保 平成 1 7年度 76.69	◆集団生活 (実績) ※	平成・	提供する。 1 <b>8年度</b> 80%	(目標)	平成 1	<mark>9年度(</mark> 90%	目標)
対 大 ウ 屋 市	意図きかりを	意(対象を主)ない。 中間の成果標 最終の成果標	を	児童(児童など) 児童(児童など) 児童(ア成) 平成	の健全育所の の世全育所の の出席率 こよる遊び 15年度 76.0%	或と子育 (字績) (字績)	とし、保護者 て世代等の就 を通した仲間 <mark>平成16年</mark> 77.	が 対 対 支援 引づくりと 変 <mark>度(実績)</mark> 3% 変(実績)	を 安全確保 平成 1 7年度 76.66	(実績) (実績) (実績) (実績)	平成 · 平成 · 住民1人	提供する。 1 <mark>8年度</mark> 80% 1 <b>8年度</b>	(目標)	平成 1	<mark>9年度(</mark> 90% <b>9年度(</b>	目標)
対 大 フ 方 る 事 3	意図をかり、カードの特色を変化しています。	意(対な 中指 最指 を 活動 配費 費	を	児童(児童など) 児童(児童など) 児童(ア成) 平成	の健全育所の の世全育所の の出席率 こよる遊び 15年度 76.0%	或と子育 (字績) (字績)	とし、保護有 て世代等の就 を通した仲間 平成 1 6年月 平成 1 6年月	が 対 対 支援 引づくりと 変 <mark>度(実績)</mark> 3% 変(実績)	を全確保 平成 1 7 年度 平成 1 7 年度	(実績) (実績) (実績) (実績)	平成 · 平成 · 住民1人	提供する。 1 8年度( 80% 1 8年度(	(目標)	平成 1	<mark>9年度(</mark> 90% <b>9年度(</b>	目標)
対 大 フ 方 る 事	意図をカカーの業費業	意(対な 中指 最指 を 活動で	図() 的 名式度値名式度値 項 ト	児童(児童など) 児童(児童など) 児童(ア成) 平成	の健全育所の の世全育所の の出席率 こよる遊び 15年度 76.0%	或と子育 (マ集積) (実績) (実績)	とし、保護有 て世代等の就 を通した仲間 平成 1 6年月 平成 1 6年月	が 対 対 支援 (実績) 3% (実績) (実績)	を全確保 平成 1 7 年度 平成 1 7 年度	(実績) (実績) (実績) (実績)	平成 · 平成 · 住民1人	提供する。 1 8年度( 80% 1 8年度(	(目標)	平成 1	<mark>9年度(</mark> 90% <b>9年度(</b>	目標)
対 大 フ指 芦 事 ・	意 き カ の 業 人事	意(対な 中指 最指 を 活動 配費 費	図(T) 的 名式度値名式度値 項 ト) は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	児童(児童など) 児童(児童など) 児童(ア成) 平成	の健全育所の の世全育所の の出席率 こよる遊び 15年度 76.0%	成と子育 (実績) (実績) (決算) 78,458	とし、保護有 て世代等の就 を通した仲間 平成 1 6年月 平成 1 6年月	デ成に欠ける 会労支援 1づくりとう <b>変(実績)</b> 3% <b>変(実績)</b> <b>変(実績)</b>	を全確保 平成 1 7 年度 平成 1 7 年度	(実績) (実績) (実績) (実績) 77,541	平成 · 平成 · 住民1人	提供する。 1 8年度( 80% 1 8年度(	(目標)	平成 1	<mark>9年度(</mark> 90% <b>9年度(</b>	目標)
対 大 フ指 芦 3 事 お	意 き カ の <b>業</b> 人事 他	意(対な 中指 最指 を 活動費費	図(T) 的 名式度値名式度値 項 ト) は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	児童(児童など) 児童(児童など) 児童(ア成) 平成	の健全育所の の世全育所の の出席率 こよる遊び 15年度 76.0%	成と子育 (実績) (実績) (決算) 78,458	とし、保護有 て世代等の就 を通した仲間 平成 1 6年月 平成 1 6年月	デ成に欠ける 会労支援 1づくりとう <b>変(実績)</b> 3% <b>変(実績)</b> <b>変(実績)</b>	を全確保 平成 1 7 年度 平成 1 7 年度	(実績) (実績) (実績) (実績) 77,541	平成 · 平成 · 住民1人	提供する。 1 8年度( 80% 1 8年度(	(目標)	平成 1	<mark>9年度(</mark> 90% <b>9年度(</b>	目標)
対 大 フ指 芦 3 事 お	意 き カ の <b>業</b> 人事 他	意(対な 中指 最指 を 活動で	図(T) 的 名式度値名式度値 項 か (構成の 97.2% 2.8% 2.8% 2.8% 2.8% 2.8% 2.8% 2.8% 2	児童(児童など) 児童(児童など) 児童(ア成) 平成	の健全育所の の世全育所の の出席率 こよる遊び 15年度 76.0%	成と子育 (実績) (実績) (決算) 78,458	とし、保護有 て世代等の就 を通した仲間 平成 1 6年月 平成 1 6年月	デ成に欠ける 会労支援 1づくりとう <b>変(実績)</b> 3% <b>変(実績)</b> <b>変(実績)</b>	を全確保 平成 1 7 年度 平成 1 7 年度	(実績) (実績) (実績) (実績) 77,541	平成 · 平成 · 住民1人	提供する。 1 8年度( 80% 1 8年度(	(目標)	平成 1	<mark>9年度(</mark> 90% <b>9年度(</b>	目標)
対 大 フ指 芦 3 事 お	<ul><li>意 き カ の 業 人事他減</li></ul>	意(対な 中指 最指 さ 活動費費費費計県 インス は 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1	図(T) 的 名式度値名式度値 項 か (構成の 97.2% 2.8% 2.8% 2.8% 2.8% 2.8% 2.8% 2.8% 2	児童(児童など) 児童(児童など) 児童(ア成) 平成	の健全育所の の世全育所の の出席率 こよる遊び 15年度 76.0%	成と子育 びや生活 (実績) (実績) (決算) 78,458 10,348	とし、保護有 て世代等の就 を通した仲間 平成 1 6年月 平成 1 6年月	が 対 対 支援 (実績) 3% (実績) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表	を全確保 平成 1 7 年度 平成 1 7 年度	(実績) (実績) (実績) (実績) 77,541 2,193	平成 · 平成 · 住民1人	提供する。 1 8年度( 80% 1 8年度(	(目標)	平成 1	<mark>9年度(</mark> 90% <b>9年度(</b>	目標)
対 大 ア指 芦 3事 内( 財	意 き カ の <b>業</b> 人事他減 <b>合</b> 国市図 ム標 特 費業 単 部価	意(対な 中指 最指 を 活 件業門償 ・債 を が で は で で で で で で で で で で で で で で で で で	図の 図の 図の 図の のの のの のの のの のの のの	児童(児童など) 児童(児童など) 児童(ア成) 平成	の健全育所の の世全育所の の出席率 こよる遊び 15年度 76.0%	成と子育 びや生活 (実績) (実績) (決算) 78,458 10,348	とし、保護有 て世代等の就 を通した仲間 平成 1 6年月 平成 1 6年月	が 対 対 対 支 (実績) 3% (実績) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表	を全確保 平成 1 7 年度 平成 1 7 年度	(実績) (実績) (実績) 77,541 2,193	平成 · 平成 · 住民1人	提供する。 1 8年度( 80% 1 8年度(	(目標) (目標) (予算) - 5,003	平成 1	<mark>9年度(</mark> 90% <b>9年度(</b>	目標)
対 大 フ指 声 3事 内( 市 事 計円)	意 き カ の <b>業</b> 人事他減 <b>合</b> 国市そ 図 ム標 特 <b>費</b> 業 部価	意(対な 中指 最指 な 活 件業門償 ・債の 果標 果標 配費費費費計県等他	図の 図の 図の 図の のの のの のの のの のの のの	児童(児童など) 児童(児童など) 児童(ア成) 平成	の健全育所の の世全育所の の出席率 こよる遊び 15年度 76.0%	成と子育 (実績) (実績) (実績) (末458 10,348 88,806 9,440	とし、保護有 て世代等の就 を通した仲間 平成 1 6年月 平成 1 6年月	が 対 対 支 ( 大 変 ( 実績) 3% 変 ( 実績) 3% 変 ( 実績) 66,292 2,400 68,692 14,325 17,388	を全確保 平成 1 7 年度 平成 1 7 年度	(実績) (実績) (実績) 77,541 2,193 79,734 13,839	平成 · 平成 · 住民1人	提供する。 1 8年度( 80% 1 8年度(	(目標) (目標) (予算) - 5,003	平成 1	<mark>9年度(</mark> 90% <b>9年度(</b>	目標)
対 大 ア指 芦 3事 内( 財( 所)	意 き カ の <b>業</b> 人事他減 <b>合</b> 国市そ <b>一</b> 図	意(対な 中指 最指 な 新 保 門	図図 目 的 名式度値 名式度値名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 100.0% 17.4% 24.5% 58.1%	児童(児童など) 児童(児童など) 児童(ア成) 平成	の健全育所の の世全育所の の出席率 こよる遊び 15年度 76.0%	成と子育 びや生活 (実績) (実績) (実績) 78,458 10,348 88,806 9,440	とし、保護有 て世代等の就 を通した仲間 平成 1 6年月 平成 1 6年月	が 対 対 対 支 (実績) 3% (実績) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表	を全確保 平成 1 7 年度 平成 1 7 年度	(実績) (実績) (実績) 77,541 2,193 79,734 13,839	平成 · 平成 · 住民1人	提供する。 1 8年度( 80% 1 8年度(	(目標) (目標) (予算) - 5,003 - - 12,400	平成 1	<mark>9年度(</mark> 90% <b>9年度(</b>	目標)
対 大 ア指 芦 3事 内( 財( 活 ・ 財 1 )	意 き カ の <b>業</b> 人事他減 <b>合</b> 国市そ <b>一</b> 職図	意(対な 中指 最指 な 新 件業門償 ・ 債の財 と 新 の	図図 目 お	児童(児童など) 児童(児童など) 児童(ア成) 平成	の健全育所の の世全育所の の出席率 こよる遊び 15年度 76.0%	成と子育 びや生活 (実績) (実績) (実績) 78,458 10,348 88,806 9,440 79,366 0.75	とし、保護有 て世代等の就 を通した仲間 平成 1 6年月 平成 1 6年月	が 対 対 支 (実績) 変 (実績) 変 (実績) 変 (実績) を (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表)	を全確保 平成 1 7 年度 平成 1 7 年度	(実績) (実績) (実績) 77,541 2,193 79,734 13,839 19,544 46,351 0.85	平成 · 平成 · 住民1人	提供する。 1 8年度( 80% 1 8年度(	(目標) (目標) (予算) - 5,003 - - 12,400	平成 1	<mark>9年度(</mark> 90% <b>9年度(</b>	目標)
対 大 ア指 芦 3事 内( 財( 活配	意 き カ の <b>業</b> 人事他減 <b>合</b> 国市そ <b>一</b> 職図	意(対な 中指 最指 な 新 保 門	国図 目 的 名式度値 者 年 指指考年 指 標標 京 方 度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 100.0% 17.4% 100.0% 17.4% 58.1% 3.2% 96.8%	児童(児童など) 児童(児童など) 児童(ア成) 平成	の健全育所の の世全育所の の出席率 こよる遊び 15年度 76.0%	成と子育 びや生活 (実績) (実績) (実績) 78,458 10,348 88,806 9,440	とし、保護有 て世代等の就 を通した仲間 平成 1 6年月 平成 1 6年月	が 対 対 対 支 (実績) 3% (実績) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表	を全確保 平成 1 7 年度 平成 1 7 年度	(実績) (実績) (実績) 77,541 2,193 79,734 13,839	平成 · 平成 · 住民1人	提供する。 1 8年度( 80% 1 8年度(	(目標) (目標) (予算) - 5,003 - - 12,400	平成 1	<mark>9年度(</mark> 90% <b>9年度(</b>	目標)

4 評信	西(チェック)				
評	価 初	見 点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価
	目的妥当性	(2 ~ 2)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない		
	日的女子注	(2 ~ 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
			□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている ☑ 民間でやるべき,または対応可能である		
妥	市関与(2~	2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
			□ いずれにも該当しない		
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	3	3
	市民ニーズ(	(2 ~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把握		
性			☑ 数字で把握している 通級児童数 287人 □ 未把握		
8点	社会環境変	化(1~ 1)	□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要		
			内容開設時間の延長,開設日数の拡充		
	優先性,緊急		□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる		
有	対象カバー	,	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い □ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定		
H	受益者(1~	1)	□ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定 □ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している □ 実績値または目標値が未記入	_	_
効	成果の実績	(2 ~ 1)	□□ 中间成未有標の美績値を把握し、自標値を設定している□ 美績値なには自標値が未記入 □ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない	4	4
性			成果があがっていない場合		
4点	- 成果向上余	地(1~ 1)	□ 成果向上策あり □ 特になし		
1755			□ 比較できる団体がある 団体名 近隣市 □ 比較できる団体はない		
			□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ 把握していない		
効	単位コスト(1	~ 1)	→ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
			高い、または低い場合の理由		
	平分本名和	(0 4)	☑ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
率	受益者負担	(0~ 1)	│ └━▶ ☑ 現在,適正な負担あり   □ 負担なし,過少   ( □ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収可能 )	0	0
平			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	U	U
	手段(1~ 3	3)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある		
	J-1/X(1	)	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点	コスト削減取	双組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
	- V ( 133#W )	<b>,</b> (             \	→ 内容 指導員の適正配置		
平成1	6 年度の評	平価内容	□ A <mark>平成17年度に実</mark> ☑ 改善し,効果を得た		
及び	改善の	方 向 性	評価結果		
(評価カ	がない場合は	記載不要)	□ B II □ □ V\$Vy→> □ V\$Vy→>	_	_
			はまゆう学級(打出浜小)の施設整備, はまゆう学級施設整備工事の実施  評価	В	В
平成実施	18年	度に	部屋が狭いため、児童一人当たりの面積で改善		
美 他	する改必	普 内 谷 頁 )	確保する必要がある。 内容		
	~	,			
5 今後	後の対応(ア	クション)			
			開設時間の延長		
現在	認識してし	1る 課 題	登下校時の安全確保		
B		<i></i>	はまゆう学級(打出浜小)施設の整備		
		係者の名称	<u> </u>		
からの 要 望	息兒 意見,	要望内容	開設時間の延長・安全対策・施設の充実		
女 堂	<del>-</del>				
	(1)	対応内容	はまゆう学級(打出浜小)施設の整備について、学校と協議し場所の確保に目途をたてる。		
	( )	実施期限	平成 18 年 12 月		
課題·要	· 望等				
	(2)	对心内容	登下校時の安全確保のため児童の連絡網の整備,集団登下校の実施,地元への協力依頼を行う。 		
へのタ	讨 応	実施期限	平成 18 年 7 月		
		対応内容			
	(3)	X1/UP1			
		実施期限	平成 年 月		
			下校時の安全対策について、地域の活力導入を図る。		
	考えられる				
改善 0	カアイデア	<b></b>	A // A -> + 11		
			今後の方向性		_
			開設日数・時間の拡充及び指導員体制について検討する。 拡大・充実		0
					0
亚	9~21年度	の方向性			<u> </u>
1 13%	, , , 十 l交	±ا النا الر ده	に 同 安 礼 寺 縮 小		0
				-	0
			廃止 / 休止		0
			<u>'</u>		_
2 次 評	価委員会	コメント	コミュニティビジネスやNPOへの委託,有償ボランティア等の民間活力の導入を検討し,課題対応に 進めてください。	向けて国	又組を
			DEW C VICCY :		

(一角	设事	業)	事業	コード	3240	010			部長次	長課長					
平成	17 年	度	<b>*</b>	業名	体育:	指導委員									
1 72%		100	<del>-</del>	ж ц 	IT IS	пнух									
1 -	事業	概要	長(ドゥ)						<u> </u>						
			まちづく	りの目標	3	人と文化を育てる			計 管 課	員会社会教育部					
総合				中	2	生涯学習社会の実		and the same of th	コーニー スポーツ	ソ・青少年課					
政策	え 他	東系		<u>小</u> 細	4	スポーツ・レグリ	エーション活動への支持	<b>发</b>	所管課長氏名 西 初言 記 入 者 氏 名 西 初言						
事		業			昭和		経常臨時	☑ 経常 □ 臨時	電話番号22-(						
						•			実施主体市	5 5 5 5 F 1 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1					
実		施	手	法	<b>V</b>	直営	□ 一部委託	□ 全部委託		負担金					
委			託	先			名称		想委託 <mark>委託 内容</mark>						
	ж			10T ==			なり組む指導専門員を養		· · · · -	16/4 T. D. T. A					
事	業		の	概 要	_		進者として教育委員会が 兵庫県体育指導委員会,		: して,社団法人全国体育	指導委員連合,					
							八庫県体育指導安員云, して体育指導委員を設置		受力がある。						
事	業		の	現 状		・研修会の実施。	O CHAIL TO A CENT	<u></u> 0							
	目	的実	現のため	o ග	指導	員数:25人(平成1	7年度)								
	手	段及	び実施内	容											
				I											
						指導委員委嘱数	亚世16年度/安建》	亚代 1.7 年度 / 安建 \	亚代10年度(日博)	平式10年度(日博)					
			結果指標 (1)	<u>中</u> 度 指標値		15年度(実績) 25人	<b>平成16年度(実績)</b> 25人	平成 1 7 年度 (実績) 25 人	平成 1 8 年度(目標) 25人	平成 1 9 年度(目標) 25 人					
アウ	トプッ	ット	(1)	単位コスト		83,560円/人	154, 160円/人	149,560円/人	150,000円/人	150,000円/人					
指		標				会議及び実技研修		, , , , , ,	, , , , , ,	, , , , , ,					
			結果指標	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)					
	(2) <u>指標</u> 単位コス					11回	10回	10回	10回	10回					
2 =	単位コス       事業成果(アウトカム)					117, 182円/回	385, 400円/人	373,900円/人	375,000円/人	375,000円/人					
	手業	以牙	き(アワト	·//A)											
			対	象	運動	運動・スポーツに興味・関心がある市民									
事業	の目	的	対象力	バー率	<mark>対象数(a)</mark> 72,000人 <mark>受益数(b)</mark> 63,000人 比率(b÷a)% 87.5										
対 象	・意	図													
			意 <i>(</i> 21.6.4.3		スポ	ーツの情報サービ	ス、イベント開催、地域	<b>成スポーツクラブの育成</b>	え,生涯スポーツのリーダ	一養成					
			(対象を土	E語にして)											
大	き		な	目 的	地域	スポーツの振興と	週1回以上の定期的スポ	ポーツ実施率の向上							
				指標名	派遣	人数(延べ人数)									
				考え方・式			五世 4 6 左左 4 克(木)								
アウ	L +		指 標			354	平成 1 6 年度(実績)       3 1 9	平成 1 7 年度 (実績) 3 1 7	平成 1 8 年度(目標) 3 0 0	平成 1 9 年度(目標)   3 0 0					
指	l. \\	標		指標値指標名	定期	的スポーツ実施率	319	317	300	300					
311							パーツを実施する市民の	比率							
		:	指 標	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)					
				指標値											
** E									(前期) で評価を行うとと	もに					
户座	<sup>5</sup> 屋市の特色など補足する事]								となっている。 であり, 平成25年度に66%。	レオス到達を日煙右 )					
3 -	1業	費・	活動配。	分(コスト		国以工足券 いたべ	小 ノを天旭する印以。			平成18.4.1 住民基本台帳					
事		業	費		_	15年度(決算)	平成16年度(決算)		平成18年度(予算)						
	人		件 費	65.2%		2,839	2,112	2,437	-						
	事		業費	34.8%		1,750	1,742	1,302	1,978						
	_		門経費						-						
(+1	7) 酒	_	償却費 計	100.0%		4,589	3,854	3,739	-	_					
			· 県	100.0%		7,009	0,004	0,109	-						
財	源市	•	債 等												
(千F	円) そ		の他												
			原は	100.0%		4,589	3,854	3,739	-						
活	動職		長. 吃 吐 竿	100.0%		0.30	0.30	0.30	-						
配(人	分 児		·臨時等 <b>計</b>	100.0%		0.30	0.30	0.30	-						
		-	RI	.00.070		0.00	0.00	0.00							

4 評价	西(チェック)					
評	価 初	点点	評価チェックリスト		1次評価	2次評価
		(0 0)	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることがて	ごきない		
	目的妥当性	(2 ~ 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない	١		
			☑ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能	である		
妥	市関与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている			
	,	,	□ いずれにも該当しない			
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業で	ではない	5	4
_	市民ニーズ(	2 ~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない, また		5	_
性	1020- 7(	_ ')	ριστουνου στο του του του του του του του του του τ	未把握		
8点			☑ 東娄に関わる社会環境の恋化に適応している □ 社会環境の恋化にあわせた目首			
ож.	社会環境変	化(1~ 1)	内容	∪13.%; <del>22</del>		
	優先性,緊急	<b>当 朴</b> / 1 \	□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる			
	対象カバー		□ 新来を実施しなければは、川氏の主命、女主寺が損なわれる □ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が	ŠÆL \		
有	受益者(1 ~	, ,				
H	文益有(1~	1)		に限止		
効	成果の実績	(2 ~ 1)	② 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入□ 実績値ないらば思ざたが。ていると言う。	.== +\1\	3	3
441			□ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると	言えない		
性	- 成果向上余	地(1~ 1)	成果があがっていない場合	4+1-4-1		
4点			□ 放果回上束あり □	特になし		
			□ 比較できる団体がある 団体名 近隣市 □ 比較できる団体はない			
	単位コスト(1	~ 1)	☑ 他団体の数字を把握している 単位コスト 本育指導委員委嘱券 □ 把握していない			
効	1 12-1711 (1	-,	▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い			
			高い、または低い場合の理由			
	受益者負担	(0 ~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である ☑ 負担を求めるべき事業ではない			
率	又皿日只!!	(0 1)	└─▶ □ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □ 徴収	又可能 )	-1	_1
-			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		- 1	- 1
	手段(1~ 3	)\	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部	分がある		
	于权(1~ 3	9)	☑ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能で	である		
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能で	ある		
3点	コスト削減取	14日/4 - 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている ☑ 特に行っていない			
	コスト印がむ	(組(1~ 1)	→ 内容			
			□ A wd17年度[中			
平成1	6 年 度 の ii 改 善 の	片体 内容	□ A <mark>平成17年度に実</mark> □ 改善し、効果を得た <b>評価結果</b> 施した改善の方向 水ギル かず、 対用がある 改善	,		
(評価カ	がない場合は	記載不要)	D M			
( 41 11-11			t	総合評価	В	В
			人的資源の掘り起こし。	評価	D	D
平 成実施	1 8 年 する改	・	改善			
(			内容			
5 今後	後の対応(ア	クション)				
			30代、40代の新規メンバー獲得と世代交代。			
現在:	忍識してし	1る 課 題				
市民,関	居者 市民,関	係者の名称	平成13年10月に実施したスポーツ活動に関する芦屋市市民意識調査			
からの	意見音目	要 望 贞 宓	スポーツに関する情報サービスの充実(29.4%)・生涯スポーツに関する指導者,リーダーの <sup>3</sup>	<b>育成 (16 7%)</b>		
要望	等思先,	女 主 r i ロ	大松 クに関する情報が こハの元天(23. 4加) 土涯ハベークに関する指導者、クークージ	月/3人(10.1/0)		
		対応内容	体育指導委員の活動促進			
	(1)	צווטוונג 🗗				
		実施期限	平成 20 年 3 月			
課題·要	望等	対応内容				
	(2)	ראויוונג				
へのす	付 応	実施期限	平成年月			
		***				
	(3)	対応内容				
		実施期限	平成年月			
	I		スポーツクラブ21ひょうご(県事業)においてコーディネーターの役割を担っている。			
その他	考えられる	,	自治会、老人会等地域の団体やグループに体育指導委員の活用方法をPRする。			
	カアイデア					
- L			今後	の方向性	1次評価	2次評価
				大 充 実		0
				状 維 持		0
				法改善		<ul><li>O</li><li>O</li></ul>
亚	9~21年度	の下向性		本 以 普 引 委 託 等		0
T 13%	2 1 牛 反	√2 73 1 <sup>1</sup> 11 1±	<u> </u>		_	0
			編	小		
				/終期設定		0
				上 / 休 止	$\cup$	0
2 \4 ≠1	: 価 禾 呂 ᄼ	7 / \ \	指導員の円滑な世代交代を図るとともに、より多くの参加者が得られるスポーツの振興・普		ノゼン	

									40		· /-	_		
(一角	ひ事業)	事業	コード	32400	030				部	長	次	長	課	長
TT ⊏t	17年度	車	業 名	フ <del>ぱ</del> .	ーツリーダーバン	h								
十八	17 牛皮	<b>→</b>	未 台	人小.	ージリーターハン	9								
								_						
1	<b>F業概</b>	要(ドゥ)												
第3次	で芦屋市	まちづく	りの目標	3	人と文化を育てる	まちづくり				~~ +m	教育委員	会社会	教育部	
<b>総</b> 合	計画		<del>中</del>	2	生涯学習社会の実	珥			所	管 課	スポーツ	/ · 書小:	<b>主</b> 課	
	施 策		<u> </u> / \			エーション活動への	<b>士</b> 極		SE 答 ii	果長氏名			I WK	
				4	<u> </u>	エーション伯動への	义仮							
体	系		細						記入	者氏名	西 初吉	ī		
事	業	期	間	平成	2年~	経常	時 ☑ 経常 □	臨時	電話	番号	22 - 0	358	内線	92-216
根	処 法	令 · §	要 綱 等	スポ゜ー゛	ツ振興法第11条 吉	<b>≒屋市スポーツリーダー</b>	バンク設置要綱		実施	主体	市			
								w .				ᄼᄱᄼ		
実	施			✓		□ 一部委託	□ 全部委訂		□ 有			負担金		
委		託	先			名称				<b>差託内容</b>				
				スホ	ペーツリーダー認知	三講習会受講者や有う	₹格者の中から,	希望者を	本バンク	に登録し	, その刻	助果的活,	用を図る	0
事	業	Ø	概 要											
-	<b>X</b>	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	1970 🔍											
				LICE I NO		112 144 147 (P) (I 1) (R) I		1013401	n Is -let	Code de	10 0		,	1.14.77.4.
				地域	に点在する有能な	指導者(厚生労働大	<b> </b>	旨導士,美	践者,	文科省ス:	ボーツブ	ログラマ	一,目作	本協認定
事	業	の	現 状	各種	指導資格保有者等	) やスポーツリーダ	一等の発掘を行う	5。またス	ポーツ	リーダー	登録者名	簿を作成	し情報を	を提供す
	日的記	実現のため	O	市主	催行事や地域への	講師派遣などの効果	的活用を図り #	地域でのス	ポーツ	活動を促	進する。			
						一研修会を開催し、				111293 6 167	_ / 40			
	丁	及び実施内	111				ハ印貝伽の買買店	リエを囚る	0					
					派遣報酬, 4000円									
			指標名	芦屋i	市スポーツリーダ	ーバンク登録者数			· <u></u>	<u> </u>				
		結果指標	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実統	<b>[</b> ) 平成17年度	夏(実績)	平成	18年度	(目標)	平成.1	9年度(	(目標)
					51人	5 2人	3 2		1 120	50人	( ,	~ .	50人	
- ·			指標値						_			0.5		
	トプット		単位コスト		23,745円/人	33, 212円/人	51, 312F	1/人	36	6,000円	/ 人	36,	000円/	/ 人
指	標		指標 名	研修:	会参加延べ人数									
		結果指標	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実統		(実績)	平成 '	18年度(	(目標)	平成 1	9年度(	(目標)
			指標値		66人	5 3 人	2 4			50人	• •		50人	,
		(2)			-				0.4			0.0		
		<u> </u>	単位コスト	1	.8,349円/人	32, 585円/人	68, 416F	4/人	36	6,000円	/人	36,	000円/	/人
2	<b>『業成</b> 』	果(アウ)	`カム)											
			4	-1-1-	- 10	* (#84- 18 1)	n 12 an 4 a# 7	¬ ∧ / ← → +	· ^ 1- \					
		対	家	巾四	のスポーツ有資格	者(芦屋市スポーツ	リーター認定講習	3 会修 「 者	(含む)					
串 **	<b>~ □ ₩</b>	<del>}</del>	11" 567	\ L &	· Mrt. ( )									
	$\omega = \omega$					1 0 552 2	米ケ / ト \	20	LI	ا ب <del>ادر</del> راب	\ 0/		0.1	
			八 - 平	对多	t数 (a)	150 受益	数 (b)	32	tl	比 率 (b	÷ a) %		21	
対象	・意図					•		32	El	比率 (b	÷ a) %		21	
対象						150 <mark>受 益</mark> 主催行事や住民等 <i>の</i>		32	El	七 率 (b	÷ a) %		21	
対象		意				•		32	<u></u> tl	比率 (b	÷ a) %		21	
対 象		意	図			•		32	<u>                                     </u>	比率 (b	÷ a) %		21	
	・意図	意 (対象を言	図 E語にして)	資質	向上,組織化,市	主催行事や住民等の		32	<u>t</u>	比率 (b	÷ a) %		21	
対 象		意	図 E語にして)	資質	向上,組織化,市	•		32	<u> </u> El	比率 (b	÷ a) %		21	
	・意図	意 (対象を言	図 E語にして)	資質	向上,組織化,市	主催行事や住民等の		32	E	と率 (b	÷ a) %		21	
	・意図	意 (対象を言	図 E語にして) 目 的 指標名	資質  週1  地域	向上,組織化,市 回以上の定期的ス スポーツ活動人数	主催行事や住民等のポーツ実施率の向上		32	E	と率 (b	÷ a) %		21	
	・意図	意 (対象を言	図 E語にして) 目 的 指標名	資質  週1  地域	向上,組織化,市 回以上の定期的ス スポーツ活動人数	主催行事や住民等のポーツ実施率の向上		32	<u> </u>	と 率 (b	÷ a) %		21	
	・意図	意 (対象を な 中間成果	図 E語にして) 目 的 指標名 考え方·式	資質「 週1「 地域 リー	向上,組織化,市 回以上の定期的ス スポーツ活動人数 ダー派遣人数及び	主催行事や住民等のポーツ実施率の向上地域活動出動人数	要望により派遣							「目標)
大	・意図	意 (対象を言 な 中間成果 指	図 E語にして) 目 的 指標名方·式 年 度	資質に 週 1 に 地域 リー: 平成	向上,組織化,市 回以上の定期的ス スポーツ活動人数 ダー派遣人数及び 15年度(実績)	主催行事や住民等のポーツ実施率の向上 地域活動出動人数 平成16年度(実統)	要望により派遣 (延べ人数) ( <b>が成れる人数</b> )	麦(実績)		18年度(			9年度(	[目標)
大 アゥ	·意図 き トカム	意 (対象を な 中間成果 指	を	資質 週 1 [ 地域 リー: 平成	向上,組織化,市 回以上の定期的ス スポーツ活動人数 ダー派遣人数及び 15年度(実績) 10	主催行事や住民等のポーツ実施率の向上地域活動出動人数	要望により派遣	麦(実績)						〔目標〕
大	・意図	意 (対象を言 な 中間成果 指	四でである。 を注:	資質「 週1「 地域 リー 定期に	向上,組織化,市 回以上の定期的ス スポーツ活動人数 ダー派遣人数及び 15年度(実績) 10 的スポーツ実施率	主催行事や住民等のポーツ実施率の向上 地域活動出動人数 平成16年度(実績)	要望により派遣 (延べ人数) ( <b>3 P成17年6</b> 14	麦(実績)		18年度(			9年度(	〔目標〕
大 アゥ	·意図 き トカム	意 (対象を言 な 中間成果 指	図(て) 的 名式度値名式	資質 [ 週 1 [ 地リ <mark>平成</mark> 定期 i	向上,組織化,市 回以上の定期的ス スポーツ活動人数 ダー派遣人数及び 15年度(実績) 10 的スポーツ実施率 回以上定期的にス	主催行事や住民等のポーツ実施率の向上 地域活動出動人数 平成16年度(実績 17 ポーツを実施する市	要望により派遣 (延べ人数) (列 中成 1 7 年度) 14	芰(実績)		18年度(			9年度(	[目標)
大 アゥ	·意図 き トカム	意 (対象を言 な 中間成果 指 標 最終成果	図(て) 的 名式度値名式	資質 [ 週 1 [ 地リ <mark>平成</mark> 定期 i	向上,組織化,市 回以上の定期的ス スポーツ活動人数 ダー派遣人数及び 15年度(実績) 10 的スポーツ実施率 回以上定期的にス	主催行事や住民等のポーツ実施率の向上 地域活動出動人数 平成16年度(実績)	要望により派遣 (延べ人数) (列 中成 1 7 年度) 14	芰(実績)	平成:	18年度(	(目標)	平成 1	9年度(	
大 アゥ	·意図 き トカム	意 (対象を言 な 中間成果 指 標 最終成果	図(で) 的 名式度値名式度 で 名式度 を	資質[ 週1] 地リー: 平成 定期: 週1]	向上,組織化,市 回以上の定期的ス スポーツ活動人数 ダー派遣人数及び 15年度(実績) 10 的スポーツ実施率 回以上定期的にス	主催行事や住民等のポーツ実施率の向上 地域活動出動人数 平成16年度(実績 17 ポーツを実施する市	要望により派遣 (延べ人数) (列 中成 1 7 年度) 14	夏(実績)	平成:	1 <b>8 年度</b> (20	(目標)	平成 1	<mark>9年度(</mark> 20	
大 アゥ	·意図 き トカム	意 (対象を言 な 中間成果 指 標 最終成果	図(て) 的 名式度値名式	資質[ 週1] 地域リー: 平成 定期: 週1[ 平成	向上,組織化,市 回以上の定期的ス スポーツ活動人数 ダー派遣人数及び 15年度(実績) 10 的スポーツ実施率 回以上定期的にス 15年度(実績) 56	主催行事や住民等のポーツ実施率の向上地域活動出動人数 平成16年度(実施ができる。 で成16年度(実施ができる。 で成16年度(実施ができる。) で成16年度(実施ができる。)	要望により派遣 (延べ人数) (列 平成17年度) 14 民の比率 (列 17年度) 7年度 57	医(実績)	平成	1 8年度 20 1 8年度 58	(目標)	平成 1	9年度( 20 9年度( 58	
大ア指	・意図・カカ標	意(対象を言な 中間成果 指 最終成果 指	を	資質 1 1 地域 リーマ成 定期 1 1 平成 平成 平成	向上、組織化、市 回以上の定期的ス スポーツ活動人数 ダー派遣人数及び 15年度(実績) 10 的スポーツ実施率 回以上定期的にス 15年度(実績) 56 15年3月にスポー	主催行事や住民等のポーツ実施率の向上地域活動出動人数 平成 1 6 年度 (実施を) 17 ポーツを実施する市平成 1 6 年度 (実施を) 57 ツ振興基本計画を策	要望により派遣 (延べ人数) (近べ人数) (14 民の比率 (57 Eし、平成15年	<b>麦(実績)</b> <b>麦(実績)</b> 度からの	平成· 平成· 5年間(	18年度 20 18年度 58 前期)で	<ul><li>(目標)</li><li>(目標)</li><li>評価を行</li></ul>	平成 1	9年度( 20 9年度( 58	
大ア指	・意図・カカ標	意(対象を言な 中間成果 指 最終成果 指	を	資 週 1 「 地 リ 平成 定 週 1 「 平 成	向上、組織化、市 回以上の定期的ス スポーツ活動人数 ダー派遣人数及び 15年度(実績) 10 的スポーツ実施率 回以上定期的にス 15年度(実績) 56 15年3月には一 20年度から平成	主催行事や住民等のポーツ実施率の向上地域活動出動人数平成16年度(実施がより)では、17ポーツを実施する市平成16年度(実施がより)が表現基本計画を第724年度まで(後期)	要望により派遣 (延べ人数) (近べ人数) (近が入数) (正の比率 (の比率 (この 中成 1 7 年度	<b>麦(実績)</b> <b>麦(実績)</b> 度からの しをする	平成・ 平成・ 5年間( こととな	18年度。 20 18年度。 58 前期)で よっている	(目標) (目標) 評価を行	<mark>平成1</mark> 平成1	9年度(       20       9年度(       58       に	〔目標〕
大ア指	・意図・カカ標	意(対象を言な 中間成果 指 最終成果 指	を	資 週 1 「 地 リ 平成 定 週 1 「 平 成	向上、組織化、市 回以上の定期的ス スポーツ活動人数 ダー派遣人数及び 15年度(実績) 10 的スポーツ実施率 回以上定期的にス 15年度(実績) 56 15年3月には一 20年度から平成	主催行事や住民等のポーツ実施率の向上地域活動出動人数 平成 1 6 年度 (実施を) 17 ポーツを実施する市平成 1 6 年度 (実施を) 57 ツ振興基本計画を策	要望により派遣 (延べ人数) (近べ人数) (近が入数) (正の比率 (の比率 (この 中成 1 7 年度	<b>麦(実績)</b> <b>麦(実績)</b> 度からの しをする	平成・ 平成・ 5年間( こととな	18年度。 20 18年度。 58 前期)で よっている	(目標) (目標) 評価を行	<mark>平成1</mark> 平成1	9年度(       20       9年度(       58       に	〔目標〕
大ア指	・意図トカクラー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー	意(対象を言な) な中間成果標 最終成標	図() 的 名式度値名式度値 項	資 週 1 [	向上、組織化、市 回以上の定期的ス スポーツ活動人数 ダー派遣人数及び 15年度(実績) 10 的スポーツ実施率 回以上定期的にス 15年度(実績) 56 15年3月には一 20年度から平成	主催行事や住民等のポーツ実施率の向上地域活動出動人数平成16年度(実施がより)では、17ポーツを実施する市平成16年度(実施がより)が表現基本計画を第724年度まで(後期)	要望により派遣 (延べ人数) (近べ人数) (近が入数) (正の比率 (の比率 (この 中成 1 7 年度	<b>麦(実績)</b> <b>麦(実績)</b> 度からの しをする。 年度56%で	<b>平成</b> ・ <b>平成</b> ・ 5年間( こととな	18年度。 20 18年度。 58 前期)で よっている	(目標) (目標) 評価を行 ら。 度に66%と	平成 1 平成 1 うととも	9年度(       20       9年度(       58       に	<b>(目標)</b> 『有。)
大 ア指 戸 3	・意図	意(対象を な 中指 最終 成 標 最終 が 不 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	図() 的 名式度値名式度値 項 ト	資 週 地リ平 定週平平平週 平平週	向上、組織化、市 回以上の定期的ス スポーツ活動人数 ダー派遣人 <b>数</b> 度( <b>15年度(実績)</b> 10 的スポーツ実施率 回以上定期的にス <b>15年度(実績)</b> 56 15年3月にボー 20年度期的にス	主催行事や住民等の ポーツ実施率の向上 地域活動出動人数 平成16年度(実施 17 ポーツを実施する市 平成16年度(実施 57 ツ振興基本計画を策) 24年度まで(後期) ポーツを実施する市	要望により派遣 (延べ人数) 「平成17年度 14 民の比率 「中成17年度 「下成17年度 「下成15年 基本計画の見直 民の比率(平成14	<b>麦(実績)</b> <b>麦(実績)</b> <b>皮からの</b> <b>とをする。</b> 年度56%で 41	平成・ 平成・ 5年間( こととなっ)。 住民1人	18年度 20 18年度 58 前期)で よっている 平成25年 当り(円)	(目標) (目標) 評価を行 ら。 度に66%と	<b>平成1 平成1</b> うととも	9年度(       20       9年度(       58       に       達を目標	<b>(目標)</b> 『有。)
大ア指	・意図トカクラー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー	意(対象を言なない) 中指 最終 成 標 を が	図で) 的 名式度値名式度値 項 ト 横	資 週 地リ平 定週平平平週 平平週	向上,組織化,市 回以上の定期的ス スポーツ活動人数 ダー派遣人数及び 15年度(実績) 10 的スポーツ実施率 回以上定期的にス 15年度(実績) 56 15年3月になー 20年度期的にス	主催行事や住民等のポーツ実施率の向上地域活動出動人数平成16年度(実施する市平成16年度(実施する市平成16年度(実施する市平成16年度(後期)ポーツを実施する市平成16年度まで(後期)ポーツを実施する市平成16年度(決続を表現して、また。	要望により派遣 (延べ人数) TRICT 7年度 14 ERの比率 57 Eし、平成17年度 57 Eし、平成15年 基本計画の見直 ERの比率(平成14 1世帯当り(円) TRICT 7年度	<b>麦(実績)</b> 度からの しをする。 年度56%で 41 <b>麦(決算)</b>	平成・ 平成・ 5年間( こととなっ)。 住民1人	18年度 20 18年度 58 前期)で ふっている 平成25年	(目標) (目標) 評価を行 ら。 度に66%と	<b>平成1 平成1</b> うととも	9年度(       20       9年度(       58       に       達を目標	<b>(目標)</b> 『有。)
大 ア指 戸 3	・ 意 き トカ 標 <b>費</b> 業 人	意(対象を 中指 最指 さ ・活動配費費	図で の 名式度値名式度値 項 か (構成)	資 週 地リ平 定週平平平週 平平週	向上、組織化、市 回以上の定期的ス スポーツ活動人数 ダー派遣人数及び 15年度(実績) 10 的スポーツ実施率 回以上定期的にス 15年度(実績) 56 15年3月になー 20年度から平成 回以上定期的にス	主催行事や住民等のポーツ実施率の向上地域活動出動人数平成16年度(実施する市平成16年度(実施する市平成16年度(実施する市が振興基本計画を策が表現を実施する市平成16年度(後期)ポーツを実施する市平成16年度(決算した。	要望により派遣 (延べ人数) (近べ人数) (取れ7年度) 日4 日本計画の見直民の比率(平成15年基本計画の見直民の比率(平成141世帯当り(円) ア成17年度	度(実績) 度からの しをする。 年度56%で 41 度(決算) 1,549	平成・ 平成・ 5年間( こととなっ)。 住民1人	18年度 20 18年度 58 前期)で よっている 平成25年 当り(円)	(目標) (目標) 評価を行 ら。 度に66%と 18 (予算)	<b>平成1 平成1</b> うととも	9年度(       20       9年度(       58       に       達を目標	<b>(目標)</b> 『有。)
大 ア指 芦 3事	きったが、おおおります。	意(対象を言な) な 中指 最指 など 動配費費費	図(T) 的 名式度値名式度値 項 ト は	資 週 地リ平 定週平平平週 平平週	向上,組織化,市 回以上の定期的ス スポーツ活動人数 ダー派遣人数及び 15年度(実績) 10 的スポーツ実施率 回以上定期的にス 15年度(実績) 56 15年3月になー 20年度期的にス	主催行事や住民等のポーツ実施率の向上地域活動出動人数平成16年度(実施する市平成16年度(実施する市平成16年度(実施する市が振興基本計画を策が表現を実施する市平成16年度(後期)ポーツを実施する市平成16年度(決算した。	要望により派遣 (延べ人数) TRICT 7年度 14 ERの比率 57 Eし、平成17年度 57 Eし、平成15年 基本計画の見直 ERの比率(平成14 1世帯当り(円) TRICT 7年度	<b>麦(実績)</b> 度からの しをする。 年度56%で 41 <b>麦(決算)</b>	平成・ 平成・ 5年間( こととなっ)。 住民1人	18年度 20 18年度 58 前期)で よっている 平成25年 当り(円)	(目標) (目標) 評価を行 ら。 度に66%と	<b>平成1 平成1</b> うととも	9年度(       20       9年度(       58       に       達を目標	<b>(目標)</b> 『有。)
大 ア指 芦 3事	きったが、おおおります。	意(対象を 中指 最指 さ ・活動配費費	図で の 名式度値名式度値 項 か (構成)	資 週 地リ平 定週平平平週 平平週	向上、組織化、市 回以上の定期的ス スポーツ活動人数 ダー派遣人数及び 15年度(実績) 10 的スポーツ実施率 回以上定期的にス 15年度(実績) 56 15年3月になー 20年度から平成 回以上定期的にス	主催行事や住民等のポーツ実施率の向上地域活動出動人数平成16年度(実施する市平成16年度(実施する市平成16年度(実施する市が振興基本計画を策が表現を実施する市平成16年度(後期)ポーツを実施する市平成16年度(決算した。	要望により派遣 (延べ人数) (近べ人数) (取れ7年度) 日4 日本計画の見直民の比率(平成15年基本計画の見直民の比率(平成141世帯当り(円) ア成17年度	度(実績) 度からの しをする。 年度56%で 41 度(決算) 1,549	平成・ 平成・ 5年間( こととなっ)。 住民1人	18年度 20 18年度 58 前期)で よっている 平成25年 当り(円)	(目標) (目標) 評価を行 ら。 度に66%と 18 (予算)	<b>平成1 平成1</b> うととも	9年度(       20       9年度(       58       に       達を目標	<b>(目標)</b> 『有。)
大 ア指 芦 3 事 内	・ 意 き カ の <b>業</b> 人事 他 図	意(対な 中指 最指 な <b>動</b> で 大 で で で で で で で で で で で で で で で で で	図で の 名式度値名式度値 項 か (構成)	資 週 地リ平 定週平平平週 平平週	向上、組織化、市 回以上の定期的ス スポーツ活動人数 ダー派遣人数及び 15年度(実績) 10 的スポーツ実施率 回以上定期的にス 15年度(実績) 56 15年3月になー 20年度から平成 回以上定期的にス	主催行事や住民等のポーツ実施率の向上地域活動出動人数平成16年度(実施する市平成16年度(実施する市平成16年度(実施する市が振興基本計画を策が表現を実施する市で、後期)ポーツを実施する市平成16年度(決算した。	要望により派遣 (延べ人数) (近べ人数) (取れ7年度) 日4 日本計画の見直民の比率(平成15年基本計画の見直民の比率(平成141世帯当り(円) ア成17年度	度(実績) 度からの しをする。 年度56%で 41 度(決算) 1,549	平成・ 平成・ 5年間( こととなっ)。 住民1人	18年度 20 18年度 58 前期)で よっている 平成25年 当り(円)	(目標) (目標) 評価を行 ら。 度に66%と 18 (予算)	<b>平成1 平成1</b> うととも	9年度(       20       9年度(       58       に       達を目標	<b>(目標)</b> 『有。)
大 ア指 芦 3 事 内	・ 意 き カ の <b>業</b> 人事 他 減 図 図 の で で は で で は で で で で で で で で で で で で で	意(対象を主) な 中指 最指 な が 配費費費費	図(T) 的 名式度値名式度値 項 か (構成 4.3% 5.7% 5.7%	<ul><li>資 週 1 「</li><li>地 リ 平成</li><li>定 週 平 成成 成</li></ul>	向上,組織化,市 回以上の定期的ス スポーツ活動人数 ダー派遣人数及び 15年度(実績) 10 的スポーツ実施率 回以上定期的にス 15年度(実績) 56 15年3月にボー 20年度から平成 回以上定期的にス 15年度(決算) 1,134 77	主催行事や住民等のポーツ実施率の向上地域活動出動人数平成16年度(実施する市平成16年度(実施する市平成16年度(実施する市が、16年度まで(後期)ポーツを実施する市平成16年度(決議・1,	要望により派遣 (延べ人数) (近べ人数) (近で人数) (平成17年度) (下では15年度) (下では15年度の比率(平成14年度)(円) (下では17年度) (下では17年度) (下では17年度) (下では17年度) (下では17年度) (下では17年度)	度(実績) 度からの しをする。 年度56%で 41 度(決算) 1,549 93	平成・ 平成・ 5年間( こととなっ)。 住民1人	18年度 20 18年度 58 前期)で よっている 平成25年 当り(円)	(目標) (目標) 評価を行 ら。 度に66%と 18 (予算)	<b>平成1 平成1</b> うととも	9年度(       20       9年度(       58       に       達を目標	<b>(目標)</b> 『有。)
大 ア指 芦 3 事 内	<ul> <li>・ ま カ の 業 人事他減合</li> <li>図 ム標 特 費業 人事他減合</li> </ul>	意(対な 中指 最指 さ 新門償 中指 最	図で の 名式度値名式度値 項 か (構成)	<ul><li>資 週 1 「</li><li>地 リ 平成</li><li>定 週 平 成成 成</li></ul>	向上、組織化、市 回以上の定期的ス スポーツ活動人数 ダー派遣人数及び 15年度(実績) 10 的スポーツ実施率 回以上定期的にス 15年度(実績) 56 15年3月になっ 20年度から平成 回以上定期的にス	主催行事や住民等のポーツ実施率の向上地域活動出動人数平成16年度(実施する市平成16年度(実施する市平成16年度(実施する市が振興基本計画を策が表現を実施する市で、後期)ポーツを実施する市平成16年度(決算した。	要望により派遣 (延べ人数) (近べ人数) (近で人数) (平成17年度) (下では15年度) (下では15年度の比率(平成14年度)(円) (下では17年度) (下では17年度) (下では17年度) (下では17年度) (下では17年度) (下では17年度)	度(実績) 度からの しをする。 年度56%で 41 度(決算) 1,549	平成・ 平成・ 5年間( こととなっ)。 住民1人	18年度 20 18年度 58 前期)で よっている 平成25年 当り(円)	(目標) (目標) 評価を行 ら。 度に66%と 18 (予算)	<b>平成1 平成1</b> うととも	9年度(       20       9年度(       58       に       達を目標	<b>(目標)</b> 『有。)
大     ア指     声 3事     内(	<ul> <li>・ ままります。</li> <li>・ ままりますます。</li> <li>・ ままりますます。</li> <li>・ ままりますますまます。</li> <li>・ ままりますますままままままままままままままままままままままままままままままま</li></ul>	意(対な 中指 最指 さ 新 件 業 門 償 ・ 一 株 で ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・	図(T) 的 名式度値名式度値 項 か (構成 4.3% 5.7% 5.7%	<ul><li>資 週 1 「</li><li>地 リ 平成</li><li>定 週 平 成成 成</li></ul>	向上,組織化,市 回以上の定期的ス スポーツ活動人数 ダー派遣人数及び 15年度(実績) 10 的スポーツ実施率 回以上定期的にス 15年度(実績) 56 15年3月にボー 20年度から平成 回以上定期的にス 15年度(決算) 1,134 77	主催行事や住民等のポーツ実施率の向上地域活動出動人数平成16年度(実施する市平成16年度(実施する市平成16年度(実施する市が、16年度まで(後期)ポーツを実施する市平成16年度(決議・1,	要望により派遣 (延べ人数) (近べ人数) (近で人数) (平成17年度) (下では15年度) (下では15年度の比率(平成14年度)(円) (下では17年度) (下では17年度) (下では17年度) (下では17年度) (下では17年度) (下では17年度)	度(実績) 度からの しをする。 年度56%で 41 度(決算) 1,549 93	平成・ 平成・ 5年間( こととなっ)。 住民1人	18年度 20 18年度 58 前期)で よっている 平成25年 当り(円)	(目標) (目標) 評価を行 ら。 度に66%と 18 (予算)	<b>平成1 平成1</b> うととも	9年度(       20       9年度(       58       に       達を目標	<b>(目標)</b> 『有。)
大     ア指     声 3事     内(	<ul> <li>・ ま カ の 業 人事他減合</li> <li>図 ム標 特 費業 人事他減合</li> </ul>	意(対な 中指 最指 さ 新門償 中指 最	図(T) 的 名式度値名式度値 項 か (構成 4.3% 5.7% 5.7%	<ul><li>資 週 1 「</li><li>地 リ 平成</li><li>定 週 平 成成 成</li></ul>	向上,組織化,市 回以上の定期的ス スポーツ活動人数 ダー派遣人数及び 15年度(実績) 10 的スポーツ実施率 回以上定期的にス 15年度(実績) 56 15年3月にボー 20年度から平成 回以上定期的にス 15年度(決算) 1,134 77	主催行事や住民等のポーツ実施率の向上地域活動出動人数平成16年度(実施する市平成16年度(実施する市平成16年度(実施する市が、16年度まで(後期)ポーツを実施する市平成16年度(決議・1,	要望により派遣 (延べ人数) (近べ人数) (近で人数) (平成17年度) (下では15年度) (下では15年度の比率(平成14年度)(円) (下では17年度) (下では17年度) (下では17年度) (下では17年度) (下では17年度) (下では17年度)	度(実績) 度からの しをする。 年度56%で 41 度(決算) 1,549 93	平成・ 平成・ 5年間( こととなっ)。 住民1人	18年度 20 18年度 58 前期)で よっている 平成25年 当り(円)	(目標) (目標) 評価を行 ら。 度に66%と 18 (予算)	<b>平成1 平成1</b> うととも	9年度(       20       9年度(       58       に       達を目標	<b>(目標)</b> 『有。)
大     ア指     声 3事     内(     財	<ul> <li>・ ままります。</li> <li>・ ままります。</li> <li>・ ままます。</li> <li>・ ままます。</li> <li>・ ままます。</li> <li>・ ままます。</li> <li>・ ままます。</li> <li>・ ままます。</li> <li>・ まままます。</li> <li>・ ままままます。</li> <li>・ ままままます。</li> <li>・ まままままます。</li> <li>・ まままままままます。</li> <li>・ まままままままままままままままままままままままままままままままままままま</li></ul>	意(対な 中指 最指 な 活 件業門償 債 債 債 の で で で で で で で で で で で で で で で で	図(T) 的 名式度値名式度値 項 か (構成 4.3% 5.7% 5.7%	<ul><li>資 週 1 「</li><li>地 リ 平成</li><li>定 週 平 成成 成</li></ul>	向上,組織化,市 回以上の定期的ス スポーツ活動人数 ダー派遣人数及び 15年度(実績) 10 的スポーツ実施率 回以上定期的にス 15年度(実績) 56 15年3月にボー 20年度から平成 回以上定期的にス 15年度(決算) 1,134 77	主催行事や住民等のポーツ実施率の向上地域活動出動人数平成16年度(実施する市平成16年度(実施する市平成16年度(実施する市が、16年度まで(後期)ポーツを実施する市平成16年度(決議・1,	要望により派遣 (延べ人数) (近べ人数) (近で人数) (平成17年度) (下では15年度) (下では15年度の比率(平成14年度)(円) (下では17年度) (下では17年度) (下では17年度) (下では17年度) (下では17年度) (下では17年度)	度(実績) 度からの しをする。 年度56%で 41 度(決算) 1,549 93	平成・ 平成・ 5年間( こととなっ)。 住民1人	18年度 20 18年度 58 前期)で よっている 平成25年 当り(円)	(目標) (目標) 評価を行 ら。 度に66%と 18 (予算)	平成 1 平成 1 うととも	9年度(       20       9年度(       58       に       達を目標	<b>(目標)</b> 『有。)
大 ア指 <u> </u>	<ul> <li>・ ままります。</li> <li>・ ままります。</li> <li>・ ままます。</li> <li>・ ままます。</li> <li>・ ままます。</li> <li>・ ままます。</li> <li>・ まままます。</li> <li>・ まままます。</li> <li>・ まままます。</li> <li>・ まままます。</li> <li>・ まままます。</li> <li>・ まままます。</li> <li>・ ままままます。</li> <li>・ ままままます。</li> <li>・ ままままます。</li> <li>・ まままままます。</li> <li>・ ままままままます。</li> <li>・ ままままままままます。</li> <li>・ まままままままままままままままままままままままままままままままままままま</li></ul>	意 (対 な 中指 最指 な 活 件業門償 債 の で で で で で で で で で で で で で で で で で で	図(T) 的 名式度値 目	<ul><li>資 週 地 リ 平成</li><li>定 週 平 平 週 平 平 週</li><li>平 成 成 成 1 [ マ 成 ]</li></ul>	向上,組織化,市 回以上の定期的ス スポーツ活動人数 ダー派遣人数及び 15年度(実績) 10 的スポーツ実施率 回以上定期的にス 15年度(実績) 56 15年3月に 本 20年度から平ス 回以上定期的にス 15年度(決算) 1,134 77	主催行事や住民等のポーツ実施率の向上地域活動出動人数 平成16年度(実施する市平成16年度(実施する市平成16年度(実施する市が振興基本計画を策定24年度まで(後期)ポーツを実施する市平成16年度(決集がよーツを実施する市・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	要望により派遣 (延べ人数) (近べ人数) (近で人数) (14 民の比率 (17年度) (57 日に、平成17年度 日本計画の見直 民の比率(平成14 (1世帯当り(円) (17) (17) (17) (17) (17) (17) (18) (27) (27)	<b>夏(実績)</b> 度からの しをする。 年度56%で 41 <b>夏(決算)</b> 1,549 93	平成・ 平成・ 5年間( こととなっ)。 住民1人	18年度 20 18年度 58 前期)で よっている 平成25年 当り(円)	(目標) (目標) 評価を行 ら。 度に66%と 18 (予算)	平成 1 平成 1 うととも	9年度(       20       9年度(       58       に       達を目標	<b>(目標)</b> 『有。)
大     ア指     芦     3事     内( 財) 財	<ul> <li>・ ままります。</li> <li>・ ままります。</li> <li>・ ままます。</li> <li>・ ままます。</li> <li>・ まままます。</li> <li>・ まままます。</li> <li>・ まままます。</li> <li>・ まままます。</li> <li>・ まままます。</li> <li>・ まままます。</li> <li>・ ままままます。</li> <li>・ ままままます。</li> <li>・ まままままます。</li> <li>・ まままままままままままままままままままままままままままままままままままま</li></ul>	意(対な 中指 最指 な 活 件業門償 債の財 保部 関 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	図で 目 が 名式度値 者 年 指 標 標 京 方 度値 名式度値名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 100.0%	<ul><li>資 週 地 リ 平成</li><li>定 週 平 平 週 平 平 週</li><li>平 成 成 成 1 [ マ 成 ]</li></ul>	向上、組織化、市回以上の定期的ススポーツ活動人数ダー派遣人数及び15年度(実績)10 的スポーツ実施率回以上定期的にス15年度(実績)56 15年3月にボー20年度から平ス回以上定期的にス15年度(決算)1,134 77 1,211	主催行事や住民等のポーツ実施率の向上地域活動出動人数平成16年度(実施する市平成16年度(実施する市平成16年度(実施する市が振興基本計画を策定24年度まで(後期)ポーツを実施する市平成16年度(決集がよーツを実施する市・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	要望により派遣 (延べ人数) (近べ人数) (近で人数) (14 (民の比率) (下で成17年度) (下で成15年度) (下ででは14) (下でででででででででででででででででででででででででででででででででででで	度(実績) 度からの しをする。 年度56%で 41 度(決算) 1,549 93	平成・ 平成・ 5年間( こととなっ)。 住民1人	18年度 20 18年度 58 前期)で よっている 平成25年 当り(円)	(目標) (目標) 評価を行 ら。 度に66%と 18 (予算)	平成 1 平成 1 うととも	9年度(       20       9年度(       58       に       達を目標	<b>(目標)</b> 『有。)
大     ア指     芦     3事     内( 財( 活	<ul> <li>・ ままり まり まり まり まり ままり ままり ままり ままり ままり まま</li></ul>	意(対な 中指 最指 な 活 件業門償 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 財	図(T) 的 名式度値 目	<ul><li>資 週 地 リ 平成</li><li>定 週 平 平 週 平 平 週</li><li>平 成 成 成 1 [ マ 成 ]</li></ul>	向上,組織化,市 回以上の定期的ス スポーツ活動人数 ダー派遣人数及び 15年度(実績) 10 的スポーツ実施率 回以上定期的にス 15年度(実績) 56 15年3月に 本 20年度から平ス 回以上定期的にス 15年度(決算) 1,134 77	主催行事や住民等のポーツ実施率の向上地域活動出動人数平成16年度(実施する市平成16年度(実施する市平成16年度(実施する市が振興基本計画を策定24年度まで(後期)ポーツを実施する市平成16年度(決集がよーツを実施する市・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	要望により派遣 (延べ人数) (近べ人数) (近で人数) (14 民の比率 (17年度) (57 日に、平成17年度 日本計画の見直 民の比率(平成14 (1世帯当り(円) (17) (17) (17) (17) (17) (17) (18) (27) (27)	<b>夏(実績)</b> 度からの しをする。 年度56%で 41 <b>夏(決算)</b> 1,549 93	平成・ 平成・ 5年間( こととなっ)。 住民1人	18年度 20 18年度 58 前期)で よっている 平成25年 当り(円)	(目標) (目標) 評価を行 ら。 度に66%と 18 (予算)	平成 1 平成 1 うととも	9年度(       20       9年度(       58       に       達を目標	<b>(目標)</b> 『有。)
大   ア指   芦 3事   内( 財( 活配 ) 対	<ul> <li>・ ままります。</li> <li>・ ままります。</li> <li>・ ままます。</li> <li>・ まままます。</li> <li>・ まままます。</li> <li>・ まままます。</li> <li>・ まままます。</li> <li>・ ままままます。</li> <li>・ ままままます。</li> <li>・ ままままます。</li> <li>・ まままままます。</li> <li>・ まままままままままままままままままままままままままままままままままままま</li></ul>	意(対な 中指 最指 な 活 件業門償 債の財 保部 関 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	図で 目 が 名式度値 者 年 指 標 標 京 方 度値 名式度値名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 名式度値 100.0%	<ul><li>資 週 地 リ 平成</li><li>定 週 平 平 週 平 平 週</li><li>平 成 成 成 1 [ マ 成 ]</li></ul>	向上、組織化、市回以上の定期的ススポーツ活動人数ダー派遣人数及び15年度(実績)10 的スポーツ実施率回以上定期的にス15年度(実績)56 15年3月にボー20年度から平ス回以上定期的にス15年度(決算)1,134 77 1,211	主催行事や住民等のポーツ実施率の向上地域活動出動人数平成16年度(実施する市平成16年度(実施する市平成16年度(実施する市が振興基本計画を策定24年度まで(後期)ポーツを実施する市平成16年度(決集がよーツを実施する市・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	要望により派遣 (延べ人数) (近べ人数) (近で人数) (14 (民の比率) (下で成17年度) (下で成15年度) (下ででは14) (下でででででででででででででででででででででででででででででででででででで	度(実績) 度からの しをする。 年度56%で 41 度(決算) 1,549 93	平成・ 平成・ 5年間( こととなっ)。 住民1人	18年度 20 18年度 58 前期)で よっている 平成25年 当り(円)	(目標) (目標) 評価を行 ら。 度に66%と 18 (予算)	平成 1 平成 1 うととも	9年度(       20       9年度(       58       に       達を目標	<b>(目標)</b> 『有。)
大   ア指   芦 3事   内( 財( 活配 ) 対	<ul> <li>・ ままり まり まり まり まり ままり ままり ままり ままり ままり まま</li></ul>	意(対な 中指 最指 な 活 件業門償 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 関 の 財 の 財	図図 目 的 名式度値 考年 指指 考年 指指 表 末標標 京 方 標 標 事	資 週 地 リ 平成	向上、組織化、市回以上の定期的ススポーツ活動人数ダー派遣人数及び15年度(実績)10 的スポーツ実施率回以上定期的にス15年度(実績)56 15年3月にボー20年度から平ス回以上定期的にス15年度(決算)1,134 77 1,211	主催行事や住民等のポーツ実施率の向上地域活動出動人数 平成16年度(実施する市平成16年度(実施する市平成16年度(実施する市・ 10円 では16年度(決勝・ 10円 では16年度(決・ 10円 では16年度) では16年度(か・ 10円 では16年度) では16年度(ない)には16年度をは16年度	要望により派遣 (延べ人数) (近べ人数) (近で人数) (14 (民の比率) (下で成17年度) (下で成15年度) (下ででは14) (下でででででででででででででででででででででででででででででででででででで	度(実績) 度からの しをする。 年度56%で 41 度(決算) 1,549 93	平成・ 平成・ 5年間( こととなっ)。 住民1人	18年度 20 18年度 58 前期)で よっている 平成25年 当り(円)	(目標) (目標) 評価を行 ら。 度に66%と 18 (予算)	平成 1 平成 1 うととも	9年度(       20       9年度(       58       に       達を目標	<b>(目標)</b> 『有。)

4 評价	西(チェック)					
評	価 初	点	評価チェックリスト		1次評価	2次評価
		(0 0)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞るこ	ことができない		
	目的妥当性	(2 ~ 2)	□ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高	くない		
			☑ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対	心可能である		
妥	市関与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされて	เาอ		
		,	□ いずれにも該当しない			
当			☑ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う	事業ではない	5	5
_	市民ニーズ(	2 ~ 1)	□ ニーズが高いとは言えない		0	
性	, , , ,	, ,	☑ 数字で把握している 平成13年度市民意識調査の結果	□ 未把握		
8点			☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた			
Omi	社会環境変	化(1~ 1)	内容	-,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
	優先性,緊急	急性(1)	□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる			
	対象カバー		□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバ・	一率が低い		
有	受益者(1~	1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が	が一部に限定		
**	世界の京建	(0 4)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している◯ 実績値または目標値が未記	7	2	2
効	成果の実績	(2~1)	▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがって	いると言えない	3	3
性	世田白 LA	₩/4 4\	成果があがっていない場合			
4点	- 成果向上余	ו)שַע (ו ~ ו	□ 成果向上策あり	□ 特になし		
			☑ 比較できる団体がある 団体名 近隣市 □ 比較できる団体はない			
	出 / コフ L /4	1\	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト ☑ 把握している	ない		
効	単位コスト(1	~ 1)	▶ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが	が高い		
			高い、または低い場合の理由			
	受益者負担	(0 ~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない			
率	又無甘兵匹	(0 1)	└▶ □ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □	徴収可能 )	-3	-3
_			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		-3	-3
	手段(1~ 3	3)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担う	べき部分がある		
	J PX(1	<b>,</b>	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応	可能である		
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応回	丁能である		
3点	コスト削減取	(組(1~ 1)	□ コスト削減の取り組みを行っている ☑ 特に行っていない			
		,	→ 内容			
平成1	6年度の診	平価 内容	□ A <mark>平成17年度に実</mark> □ 改善し,効果を得た			
及 び	6 年 度 の ii 改 善 の	方 向 性	<mark>神した改善の方向</mark> おおります。 かっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱ	改善し		
(評価カ	がない場合は	記載不要)		なかっ	_	
			派遣事業対象者数の押握	<u>た</u> 総合 評価	В	B
平 成	1 8 年 する改	度に	改善	н і іш		
実施		善内容 ① ()	課題			
(	9E) 2	<b>只</b> )				
5 今往	後の対応(ア	クション)				
			講習内容の検討			
現在:	忍識してし	1る 課 題	人材育成			
		係者の名称	平成13年10月に実施したスポーツ活動に関する芦屋市市民意識調査			
からの		要望内容	・生涯スポーツに係る指導者・リーダーの育成(16.7%)			
要望	等显光,	<u> </u>	工匠2747 7 10 11 11 11 7 7 97 11 12 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11			
		対応内容	スポーツリーダーバンクの利用促進			
	(1)					
+m == ==	: +B 577	実施期限	平成 20 年 3 月			
課題·要		対応内容				
へ の s	(2)	実施期限	平成年月			
. ( 0) )	(1) //()	天旭朔സ	一一一			
	(3)	対応内容				
	(3)	実施期限	平成    年   月			
		夫加朔സ	半成			
マの 供	考えられる		スポープリーグ - 豆螺石に関する旧秋灰屋			
	カアイデア					
IX = V	0 7 1 7 7			今後の方向性	1 7 京河(市	2.を証価
			スポーツ・フォー・エブリワンの実践に欠かせない事業であり今後とも拡充を図る。	拡大を実		
				現状維持		<ul><li>O</li><li>O</li></ul>
				方法改善		0
平成 1	9 ~ 2 1 年度	の方向性		民間委託等		0
1 126		22 73 1≃3 1 <b>∓</b>		縮小		0
				統合/終期設定		0
				廃止/休止		0
				176 IL / M IL		<u></u>
2 次 評	価委員会	コメント				

(一般事	事業)	事業	コード	3240110			部長次	長課長					
平成17	午 庶	車	<del></del> 業 名	スポーツ・フォア・エブ	リロン排准重要								
T 13%, 17	十反	<del></del>	<del>*</del> "	XW 2.243.17	リノノ世匹事業								
1 事業	<b>業概</b>	要(ドゥ)											
			りの目標	3 人と文化を育てる	らまちづくり		所 管 課 教育委員	会社会教育部					
総合			中	2 生涯学習社会の実		_	スポーツ	・ 青少年課					
政策力			<u>小</u>	4 スポーツ・レクリ	エーション活動への支持	<b></b>	所管課長氏名 西 初吉						
事	系業	期	細	平成6年~	経常臨時	☑ 経常 □ 臨時	記入者氏名 電話番号22-0358	内線 92-216					
根拠				スポーツ振興法第3条		□ 腔币 □ 歸时	実施主体市	<b>円線</b> 92-210					
実	施	<u>``</u>		☑ 直営	□ 一部委託	□ 全部委託		負担金					
委		託	先	□ 外郭団体委託	名称	□民間	]委託 <mark>委託 内 容</mark>						
				市民のスポーツ活動の	啓発。								
事	業	の	概 要										
				スポーツ・フォー・エ	ブリワン(市民アトとりア	トレ りが それぞれの年	齢や生活スタイル、目的	に応じて いつでも					
事	業	Ø	現 状	_ · ·		,	域社会の実現を目指す運	,					
_		実現のため		啓発ポスター等を作成			.,,,,,,						
	手段及	及び実施内	容										
	-	1	I	-1m. 10 . I.	0	,							
		結果指標			<ul><li>パンフレット配布枚数</li><li>平成16年度(実績)</li></ul>	平成17年度(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)					
			指標値		3400枚	3200枚	3400枚	3400枚					
アウト	プット	(1)	単位コスト	603円/枚	663円/枚	659円/枚	660円/枚	660円/枚					
指	標		指標名										
		結果指標	年 度	平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)					
	(2) 指標 単位コス												
2 車当	ᄣ <del></del> ᅷ	 果(アウ)											
<del>اد کا</del> ا			,										
		対	象	定期的でないスポーツ実施者と未実施者									
			バー 率	対象数(a) 7:	2,000人 <mark>受益数</mark>	<b>(b)</b> 50,400人	比率 (b ÷ a) %	70%					
対象·	意 図		_	スポーツ・フォー・エブリワン(運動)の趣旨を理解し、運動を定期的に実施するようになること。									
		(対象を言	凶 注語にして)	スポーツ・フォー・エ	ブリワン(連動)の趣旨	『を埋解し,運動を定期	的に実施するようになる	こと。					
		(X)3K.C.]											
大	き	な	目 的	週1回以上の定期的ス	ポーツ実施率の向上								
					ブリワンの概念を認知し	ている市民の数							
				市民の概数	平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)					
アウト			指標値		73,000人	73,000人	73,000人	73,000人					
指	標			定期的スポーツ実施率		, , , , , ,	, , , , ,	, , , ,					
			考え方・式	週1回以上定期的にス	ポーツを実施する市民の								
				平成15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)					
			指標値	正成15年9日/ファナ゚。	ツ垢剛其木計画も等空1	正成15年度からの	 5 年間(前期) で評価を行	     ちレレも <i>に</i>					
芦屋市	の特色	五など補品	マする事項		24年度まで(後期) 基			722810					
, ,,	•> 13 C		C) 0 4-%				- ここょうしょう。 うあり,平成25年度に66%と	:する到達を目標有。)					
3 事美	業費·	活動配:	分(コスト)			1世帯当り(円) 53	住民1人当り(円) 23	平成18.4.1 住民基本台帳					
事	業	費			平成16年度(決算)	平成17年度(決算)	平成18年度(予算)						
	事	件 費 業 費		1,612	2,008	2,007	- 240						
内 訳	J.	業 費	4.9%	196	245	103	210						
		質却費					-						
Ì	合	計		1,808	2,253	2,110	-						
LE L NEE	国	· 県											
	市	債 等											
(千円)	市そ	債 の 他		1 900	2 252	2 110							
(千円)	市 そ <b>一</b> #	債 の 他 <b>財源</b>	100.0%	<b>1,808</b> 0.20	<b>2,253</b> 0.20	<b>2,110</b> 0.35	-						
(千円)活動	市 そ <b>一 射</b>	債 の 他	100.0% 100.0%	•	•		-						

	西(チェック)		<del>-</del>		
評	価視	. 点			価 2次評価
	目的妥当性(	2 ~ 2)	□ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない	١, ١	
	日的女司注(	2~ 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない		
			☑ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である	3	
妥	市関与(2~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている		
^		,	□ いずれにも該当しない		
当			□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではな	<u>لا</u> 4	4
=	+	2 4)			4
1.0	市民ニーズ(2	2~ 1)	□ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未打		
性			□ 数字で把握している □ 未把握		
8点	社会環境変化	<b>光(1~ 1)</b>	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必	少要	
			内容		
	優先性,緊急	!性(1)	□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる		
	対象カバー率	室(1~ 1)	☑ 対象カバー率は高い ☑ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い		
有	受益者(1~	1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限え	Ē	
24	*B • C • C • C		☑ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している◯ 実績値または目標値が未記入	_	A .
効	成果の実績(	2 ~ 1)	→ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えた。	il) 4	4
性			成果があがっていない場合	J. V.	
4点	- 成果向上余均	也(1~ 1)	□ 成果向上策あり □ 特にた	til.	
7			□ 版集同工業のグ □ □ 初た □ 比較できる団体がある 団体名 正隣市 □ 比較できる団体はない	& U	
			□ に致くさる団体がある 団体石 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		
÷+	単位コスト(1	~ 1)	<del>  i</del>		
効			□ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い		
			高い、または低い場合の理由		
	受益者負担(	0 ~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない		
率	<u>√</u>	.,	└→ □ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能		3 -3
			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について		) <sub> </sub> -3
	手段(1~ 3	١	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分があ	ある	
	7-1X(1, 2)	)	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能である		
性			□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である		
3点	ココー半心世間	40 (4 A)	□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない		
	コスト削減取	組(1~ 1)	<b>│</b>		
			□ A <u>urt47年度</u> □ 1/21 4/8 4/2		
平成1	6年度の評	· 価 内 容	□ A <mark>平成17年度に実</mark> □ 改善し,効果を得た		
/ シーク	6 年 度 の 評 改 善 の ブ がない場合は記	力 问 性记载不更)	<b>評価結果</b> ☑ B <mark>性                                 </mark>		
( ut lm 1)	) 'ない'物口 l& n	ᄔᄣᄭᅑ		総合	
			スポーツに関する情報サービスの充実	総合B評価B	.   B
平成実施	1 8 年	度に			
	+ 7 7h =		<b>改善</b>   2000	H1 1144	
実 施	する改善	善内容	課題 啓発方法の拡充 内容	H 1 1104	
実 施 (	する改善必須	善内容		AT IM	
(	する改善多必 須	善内容 〔 )		н г грч	
(	する改善	善内容 〔 )		A I Ind	
<ul><li>5 今後</li></ul>	する改善 必 須 <b>後の対応(ア</b> ク	善 内 容 ( ) フション)	前期基本計画における到達率の確認	H 1 1004	
<ul><li>5 今後</li></ul>	する改善 必 須 <b>後の対応(ア</b> ク	善 内 容 ( ) フション)	課題 「おりないない。」 「おりないない。」 「おりないない。」 「おりないない。」 「おりないないない。」 「おりないないない。」 「おりないないない。」 「おりないないない。」 「おりないないないない。」 「おりないないないないない。」 「おりないないないないない。」 「おりないないないないないない。」 「おりないないないないないないない。」 「おりないないないないないないないないないないない。」 「おりないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	H 1 1004	
5 今後現 在 記	する 改 i 必 須 <b>後の対応(アク</b> 認 識 し て い	善内 容 ) フション) る 課 題	課題 前期基本計画における到達率の確認 啓発方法の検討 後期基本計画の策定	11 100	
5 今後現在 記市民,関	すめ 改善 変	善 フション) る課題 系者の名称	開題 「内容 内容		
5 今後現在 調市民,関からの	す必 改 教 教 教 教 教 の 対 応 (アグス) 図 識 し て い 図 係者 市民 , 関係意見 音 目 こ	善内 容 ) フション) る 課 題	課題 「お光ガ伝の孤元 内容 内容 内容 内容 内容 前期基本計画における到達率の確認 啓発方法の検討 後期基本計画の策定 平成13年10月に実施した芦屋市スポーツ活動に関する市民意識調査 スポーツ行政への要望		9%)
5 今後現在 記市民,関	すめ 改善 変	善 フション) る課題 系者の名称	放置内容   内容   内容   内容   内容   内容   内容   内容		9%)
5 今後現在 調市民,関からの	す必 改 で で な で で で で で で で で で で で で で で で で	善 フション) る課題 系者の名称	放置内容   内容   内容   内容   内容   内容   内容   内容		9%)
5 今後現在 調市民,関からの	す必 改 教 教 教 教 教 の 対 応 (アグス) 図 識 し て い 図 係者 市民 , 関係意見 音 目 こ	サンション) る 課題 系者 望 内 内 容 対応	前期基本計画における到達率の確認 啓発方法の検討 後期基本計画の策定 平成13年10月に実施した芦屋市スポーツ活動に関する市民意識調査 スポーツ行政への要望 ・スポーツの情報サービスを充実させる(29.4%)・各種のスポーツ教室やイベントを開催す スポーツプログラムの充実に努める。 (世代間や地域を越えたスポーツ教室、交流会、協議会の開催と内容の充実)		9%)
5 今後現在 記市民,関からの要 望	す必 改	フション) る課題 系者の名称 要望内容	前期基本計画における到達率の確認 啓発方法の検討 後期基本計画の策定 平成13年10月に実施した芦屋市スポーツ活動に関する市民意識調査 スポーツ行政への要望 ・スポーツの情報サービスを充実させる(29.4%)・各種のスポーツ教室やイベントを開催す スポーツプログラムの充実に努める。 (世代間や地域を越えたスポーツ教室、交流会、協議会の開催と内容の充実)		9%)
5 今後現在 調市民,関からの	す必 改 で (アクロ) で (アクロ) で (アクロ) で (アクロ) で (アクロ) で (オール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	カション) る 課 名の内 内 内 内 内 限 東施 期 の 内 容 限 に かん かん まん かん かん まん かん まん かん かん しゅう かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん	前期基本計画における到達率の確認 啓発方法の検討 後期基本計画の策定 平成13年10月に実施した芦屋市スポーツ活動に関する市民意識調査 スポーツ行政への要望 ・スポーツの情報サービスを充実させる(29.4%)・各種のスポーツ教室やイベントを開催す スポーツプログラムの充実に努める。 (世代間や地域を越えたスポーツ教室、交流会、協議会の開催と内容の充実)		9%)
5 今後 現在 に 関か 要 望 課題・要	す必 改	サップ を 対 で	放置内容の拡充		9%)
5 今後現在 記市民,関からの要 望	す必 改	カション) る 課 名の内 内 内 内 内 限 東施 期 の 内 容 限 に かん かん まん かん かん まん かん まん かん かん しゅう かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん	放置内容の拡充		9%)
5 今後 現在 に 関か 要 望 課題・要	す必 数 の 対 応 (アグ ) 認 識 者 良 , 勇 (1) 意 見 , 勇 (1) (1) (2) (2) (2) (3) (4) (5) (7) (7) (7) (7) (8) (9) (9) (1)	カション) る 課 名 の 内 内 期 内 期 内 期 アル・カール カール カール カール カール カール カール カール カール カール	放置内容の拡充		9%)
5 今後 現在 に 関か 要 望 課題・要	す必 改	サップ を 対 で			9%)
5 今後 現在 に 関か 要 望 課題・要	す必 数 の 対 応 (アグ ) 認 識 者 良 , 勇 (1) 意 見 , 勇 (1) (1) (2) (2) (2) (3) (4) (5) (7) (7) (7) (7) (8) (9) (9) (1)	カション) る 課 名 の 内 内 期 内 期 内 期 アル・カール カール カール カール カール カール カール カール カール カール			9%)
5 今後 現在 に 関か 要 望 課題・要	す必 数 の 対 応 (アグ ) 認 識 者 良 , 勇 (1) 意 見 , 勇 (1) (1) (2) (2) (2) (3) (4) (5) (7) (7) (7) (7) (8) (9) (9) (1)	カラション ままり はいから から			9%)
5 今後 課題・要 の 対	す必 数 の 対 応 (アグ ) 認 識 者 良 , 勇 (1) 意 見 , 勇 (1) (1) (2) (2) (2) (3) (4) (5) (7) (7) (7) (7) (8) (9) (9) (1)	カラション ままり はいから から			9%)
5 今       現 在 民ら       課 の       での       での       での	す必 数	ラショ までである。 「おおおおり」 また。 「おおおります。」 また。 「おおります。」 「おおりまます。」 「おおりまます。」 「おおりまます。」 「おおりまます。」 「おおりままままままままままままままままままままままままままままままままままま			9%)
5 今       現 在 民ら       課 の       での       での       での	す必 (アグラン (アグラン) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A	ラショ までである。 「おおおおり」 また。 「おおおります。」 また。 「おおります。」 「おおりまます。」 「おおりまます。」 「おおりまます。」 「おおりまます。」 「おおりままままままままままままままままままままままままままままままままままま			
5 今       現 在 民ら       課 の       での       での       での	す必 (アグラン (アグラン) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A	ラショ までである。 「おおおおり」 また。 「おおおります。」 また。 「おおります。」 「おおりまます。」 「おおりまます。」 「おおりまます。」 「おおりまます。」 「おおりままままままままままままままままままままままままままままままままままま		-る(25.	
5 今       現 在 民ら       課 の       での       での       での	す必 (アグラン (アグラン) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A	ラショ までである。 「おおおおり」 また。 「おおおります。」 また。 「おおります。」 「おおりまます。」 「おおりまます。」 「おおりまます。」 「おおりまます。」 「おおりままままままままままままままままままままままままままままままままままま	旅遊	-る(25.	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
5 今       現 在 民ら       課 の       での       での       での	す必 (アグラン (アグラン) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A	ラショ ( ) の	前期基本計画における到達率の確認	-る(25. <b>向性 1次部</b> <b>充実</b> 〇 <b>能持</b> 〇	3 <mark>価 2次評価</mark> ○ ●
5 今 名     現 市か要       課 の望     要 文       他の     の善	す必 をの対応(アグランの) をの対応(アグランの) では、アグランの) で	大学 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	前期基本計画における到達率の確認	-る(25.  る(25. 	3 <mark>価 2次評価</mark> ○ ● ○
5 今 名     現 市か要       課 の望     要 文       他の     の善	す必 (アグラン (アグラン) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A	大学 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	前期基本計画における到達率の確認	-る(25.   <b>向性</b> 1次部   <b>大部</b>	3 <mark>個 2次評価</mark> ○ ○ ○ ○ ○
5 今 名     現 市か要       課 の望     要 文       他の     の善	す必 をの対応(アグランの) をの対応(アグランの) では、アグランの) で	大学 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	放音 内容   内容   内容   内容   内容   内容   内容   内容	- る(25.   <b>向性</b> 1次記   <b>方を</b> 接	<b>※価 2次評価</b> ○ ○ ○ ○ ○ ○
5 今 名     現 市か要       課 の望     要 文       他の     の善	す必 をの対応(アグランの) をの対応(アグランの) では、アグランの) で	大学 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	放音	つのでは、 一のでは、	<ul><li>金</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li></ul>
5 今 名     現 市か要       課 の望     要 文       他の     の善	す必 をの対応(アグランの) をの対応(アグランの) では、アグランの) で	大学 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	放音 内容   内容   内容   内容   内容   内容   内容   内容	つのでは、 一のでは、	<b>※価 2次評価</b> ○ ○ ○ ○ ○ ○
(     5     現市か要     課へ     そ改     平       点に関いる     の     の     の     の       の     の     の     の     の	す必 (アグ) (1) (2) (3) (3) (4) (7) (4) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	ラン	放音	つのでは、 一のでは、	<ul><li>金</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li><li>○</li></ul>

/	加吉光	击 兆	- I	00400	240				Ì	÷⊓		\h_	E im
( —	般事業)	事業	<u> </u>	32100	J40					部	長	次	長課
ᄑᆏ	17年度	重	業 名	舗演.	・講座・学級・教室等	の関係	<b>±</b>						
T 133		<del>-</del>	* 4	冊/兴	明庄 丁淑 教主司		=						
		1											
4	= NL 10T :	<del>II.</del> (   )											
		要(ドゥ)											
			りの目標	3	人と文化を育てる	まちづ	くり			所	管 課	教育委員	会社会教育部
総言	合 計 画		中	2	生涯学習社会の実	現				PH	吕 沐	公民館	
	策 施 策		<u>/</u> \\		学習推進体制の整					所管	課長氏名	白川 誠	-
				'	1.日底层件100~正	. VH3							
体	系		細								者氏名		
事	業	斯	間	昭和	29年3月~		経常臨時	☑ 経常 □	臨時	電話	括番号	31 - 4	995 内線 91-50
根	拠法	令 '	要 綱 等	社会	教育法第20条及	び第2	2条 芦屋市立公	民館設置条例	第3条	実が	色 主 体		
実	施			<b>V</b>			一部委託	□ 全部委託			補助金		負担金
大	ЛE	•					叩女儿	□ 土即安元					只匹亚
委		託	九			名称					委託内容		
				少子i	高齢化,国際化, <sup>'</sup>	情報化は	こ対応した様々な	は学習の機会を	提供する	0			
事	業	の	概 要										
_													
				左眼、	たほして 士足の	**************************************	ブロバナのサブ	5十分リァザ ざい	ア 建冷	* ## ☆	7 254TL :	₩ <i>☆</i> 炊ヶ. E	旧児ナフ
					を通して、市民の	子首一	一人及い巾の教育	7月対に基づい	( ,	• 再丛	全•子級•	<b>教至寺を</b>	削催する。
事	業	の	現 状										
	目的	実現のため	ხთ										
	壬段]	及び実施内	京交										
	J.1-X/	人し大心と	, L										
			指標 名	講演	<ul><li>講座等実施回数</li></ul>								
		結果指標	年 度	平成.	15年度(実績)	平成 1	6年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成	18年度	(目標)	平成19年度(目標)
		(1)	指標値		234回		247回	2 4 5	( ,		250		250回
- L	トプット					4					2 U U L	→	200回
			単位コスト		33, 320円	4	7,000円	64,16	7 円				
指	標		指標 名										
		結果指標	年 度	平成	15年度(実績)	平成 1	6年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成	18年度	〔目標)	平成19年度(目標)
			指標値										•
		(2)											
	<del>-</del> NIZ 15 1		単位コスト										
2 :	事業成:	果(アウ	<u>トカム)</u>										
		4.4	4	0.0-	歩い 1 の土口								
		対	家	205	歳以上の市民								
車	か 日 的	th 🗢 🕁	· // - 弦:	<del>},</del>	<mark>そ数 (a)</mark> 71,	0 0 0	〇人 受益数	(b) 1.0	189	Į.	比 率 (b	. 0) 06	14.35%
			八 - 平	X'J 3Y	<b>(女)</b> (1)	000		(D) 10,	109	八	ル <u>キ</u> (D	<del>.</del> a) 70	14. 55/0
对為	き・意図												
		意	図	201	歳以上の市民に様	々な学	習機会を提供する	, o.					
		(対象を3	主語にして)										
大	き	な	目 的	生涯	学習の推進を図る								
	C	'Φ	н нэ	工.1/土-	11日の旧版で図る								
			指標 名	平均原	芯募率								
		中間成果	考え方・式	各講	座の応募率 (応募	者÷募组	集定員)						
		指 標	年 度	平成	15年度(実績)	平成 1	6年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成	18年度	(目標)	平成19年度(目標)
7 r	トカム					1 7-70	249%	255		1 7-20			1 100 · 3 · 100 ( 11 lb )
			指標値		261%		△ + J /0	۷ ن ع	/0				
指	標		指標名										
		最終成果	考え方・式	各講	座等の延べ出席者	の合計							
		指 標	年 度	平成	15年度(実績)	平成 1	6年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成	18年度	(目標)	平成19年度(目標)
			指標値		1,696人		, 702人	10, 18			10,70		11,500人
			12H 1W 1G		., , , , , , , ,		,	,	- / •	1	_,	.,.	, 000/0
++ =	+ 4 4+	<b>△ →</b> 1* → •	コ <b>ナ</b> っ 声・エ										
户屋	市の特1	巴など補足	足する事項										
3	事業費	·活動配	分(コスト	)				1世帯当り(円)	395	住民1	人当り(円)	173	平成18.4.1 住民基本台
事	業	費		<del></del>	15年度(決算)	亚成 1	6年度(注質)	平成17年度			18年度		
7	<del>*</del>					T-13% 1		十八十八十八		7 13%	,「〇千皮」	( ) <del>4</del> /	
	<u> </u>	件 費			10,192		8,064		11,968			-	
	事	業費			4,625		3,545		3,753	<u> </u>		4,681	
内	訳他部	『門経費										-	
												_	
( '	円)減低				44.047		11,609		15,721				
	円)減値						11.009		10.141			_	
	合	計	100.0%		14,817		,		,.				
	合国	<b>計</b>	100.0%		260		.,,,,,,		,.				
財	合	計	100.0%				.,,						
	<b>合</b> 国 源	<b>計</b> · 県 債 等	100.0%				•		·				
	<b>合</b> 国 源 市 円) そ	計 ・ 県 債 等 の 他	17.3%		260 2,975		2,450		2,724				
(千	<b>合</b> 国 源市 円) そ	計 ・ 県 債 等 の 他 <b>般 財 源</b>	100.0% 17.3% 82.7%		2,975 11,582		2,450 <b>9,159</b>		2,724 <b>12,997</b>			-	
(千	<b>合</b> 国市 ア)そ 一 明 動職	計 ・ 県 債 等 の 他 <b>教 財 源</b> 員	17.3% 82.7%		2,975 11,582 1.20		2,450		2,724			-	
(千 活 配	<b>合</b> 源 下 円) る 一 動 職 系	計 県 債 等 の 他 財 源 員 に 臨 時 等	17.3% 82.7% 100.0%		2,975 11,582		2,450 <b>9,159</b>		2,724 <b>12,997</b> 1.55			-	
(千 活 配	<b>合</b> 国市 ア)そ 一 明 動職	計 ・ 県 債 等 の 他 <b>教 財 源</b> 員	17.3% 82.7% 100.0%		2,975 11,582 1.20		2,450 <b>9,159</b>		2,724 <b>12,997</b>			-	

4 評价	西(チェッ	ク)							
評	価	視	点	評価チェックリスト			1次評価	2次評価	
	日的巫	<b>北州</b> (	2 2)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞る	ことができた	111			
	目的妥当性(2		) (2 ° 2)	☑ 事業成果が上位施策に不可欠、または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高	くない				
					□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている ☑ 民間でやるべき,または対	応可能であ	53		
妥	市関与	(2 ~	2)	□ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされて	こいる				
				□ いずれにも該当しない					
当				□ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う			3	2	
	市民ニーズ(2~ 1) 社会環境変化(1~ 1)		! ~ 1)	□ ニーズが高いとは言えない □ ニーズが高いとは言えない					
性				□ 数字で把握している □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	□未把				
8点			比(1~ 1)	■ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせる	た見直しが	必要			
				内容			-		
	優先性,緊急性(1) 対象カバー率(1~ 1)			□ 事業を実施しなければ、市民の生命、安全等が損なわれる □ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバ	一支が任し	1			
有	受益者		,	□ 対象がハー率は高い □ 他団体と向往度 □ 他団体よりがハ					
		`	<u>,                                      </u>	□ 事業は囚亡支血省は至日している □ 事業は囚亡支血省が不至日、または支血/ □ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記		(AE			
効	成果の	実績(2	2 ~ 1)	▶ ☑ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがって		ない	4	4	
性	-1\ F2 -6		1	成果があがっていない場合			_		
4点	- 成果回	上余寸	也(1~ 1)	□ 成果向上策あり	□ 特に	こなし			
				□ 比較できる団体がある 団体名な神各市の公民 □ 比較できる団体はない	<u> </u>				
	単位コス	7 1/1 .	- 1)	☑ 他団体の数字を把握している 単位コスト 1回あたり経費 □ 把握してい	ない				
効	単位コン	<b>\</b> 1'(1'	- 1)	▶ □ 他団体よりコストが低い ☑ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストカ	が高い				
				高い、または低い場合の理由					
	受益者	負担((	) ~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない	<b>.</b>				
率			,	→ ☑ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能·見直し不能 □	」徴収可能	能 )	0	-1	
				直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	<b>ゕ</b> ナ ☆ワハ +	v+ -	J	•	
	手段(1	~ 3)	)	□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担う □ R門(今巻 NDO等)では対応できない業務でする □ R門(今巻 NDO等)で対応					
性				□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応 □ 嘱託, 臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託, 臨時職員等で対応					
3点				□ 場話, 歯時報負号では対応とさない業務である □ 場話, 歯時報負号で対応・□ コスト削減の取り組みを行っている □ 特に行っていない	ゴ肥にのの				
0,,,,	コスト削	減取	組(1~ 1)	→ 内容 受講料の見直し					
				✓ A 亚式47年度上字 ✓ 水菜) 热用火泥火					
平成1	6年度の	の評	価 内 容	一	改善し				
及び改善の方向性 (評価がない場合は記載不要)		記載不要)	□ B 性 □ 改善したが,効果がな □ い	以書しなかっ					
				た	総合	В	В		
平 成	1 8	年	度に	市民ニーズの把握 受講生へのアンケート実施		評価			
平成実施	する	改善	度に	<mark>改善</mark> 内容					
(	必	須	)						
5 今後	後の対応	(アク	7ション)						
		<u> </u>		時代と市民ニーズに合う講座編成					
現在意	認識し	てい	る 課 題						
		, 関係	系者の名称						
からの		見 , 要	要望内容						
要 望	等点。								
	,	対応内容		職員の資質向上					
	(1)		中长期四	T-10 E 0 H					
課題・要	 i 胡笙		実施期限	平成 18 年 8 月					
<b>本庭</b> 女		2)	対応内容						
へのす		- /	実施期限	平成年月					
	-		1 //						
	(	3)	対応内容						
			実施期限	平成 年 月					
				市民企画講座の実施					
	考えら								
改善の	カアイ:	デア							
					今後のプ				
				<b>芦屋らしい質の高い講座編成</b>	拡大・			0	
						維持		0	
亚式 1	0 ~ 2 1 4	午 度 4	の方向性		方 法 民間委		<ul><li>O</li></ul>	<ul><li>O</li></ul>	
T 13% 1	2 1 1	一 皮(	ン /J  円  土		縮		0	0	
					統合/終	_		0	
					廃止 /			0	
0 14 47		会	コメント	「市民満足度調査(事業効果調査)」を実施すると共に、受益者負担の低下に伴う受	講料の改分	どを検討	けしてくだ	ださ	
2 次 評	IЩ УС У			v 'n					

( — f	船事業	事業	コード	32101	140				部	長	次	長部	果 長
( /	XTX	<i>)</i>	<del>- '</del>	02101	140				TIP	- K	<i>//</i>	LX II/	т (Х
平成	17年度	隻 事	業 名	公民館	館図書室の運営								
1	事業概	[要(ドゥ)											
第32	欠芦屋市	すまちづく	りの目標	3	人と文化を育てる	まちづくり			cc ^	±==	教育委員	会社会教	育部
総台	合 計 画	<u> </u>	中	2	生涯学習社会の実	現			所 î	<b>管</b> 課	公民館		
	策 施 贫		<u>/</u> \\	1	学習推進体制の整	<b>:</b> 備			所管課	長氏名	白川 誠	<u>; _</u>	
体	<u></u>		<u>-</u> 細	<u>'</u>	7 2 7 2 7 7 7						白川 誠		
事				印刀壬四人	42年11月~	経常臨時	☑ 経常 □	臨時			31-4		内線 91-500
					, , ,							990	内線 91-500
						び第22条 芦屋市立名				主体			
実	施		1-1	V		一部委託	□ 全部委託		一補			負担金	
委		託	先			名称		□ 民間	委託委	託内容			
				生涯	学習の推進並びに	教養の向上のため図書室	を運営する						
事	業	の	概 要										
				公民的	館の施設としての	図書室を整備し、図書館	官と連携を図って	て運営を	行う				
事	業	Ø	現 状		日…火・日、祝日		10,20,011	1,2,1,0					
<del>-</del> -		。 ]実現のため			時間…午前9時30-								
				州王中	4.111上則 3 14.20.	刀"干饭5时							
	于段	及び実施内	1谷										
			I	db. :	erm taste								
			指標名									1	
		結果指標	年 度	平成	15年度(実績)	平成16年度(実績)	平成17年度	(実績)	平成 1	8年度	(目標)	平成 1 9	年度(目標)
		(1)	指標値	1	1,802人	11,698人	12, 24	5人	1 :	2, 80	0人	13,	200人
アウ	トプッ	+	単位コスト		354円/人	273円/人	197円/	/人	1	35円/	/人		
指	ħ.	票	指標名				I.					l	
311	12	結果指標			15年度(宝績)	平成16年度(実績)	平成17年度	(宝績)	亚成 1	8年度	(日標)	亚成 1 9	年度(目標)
					13千及(天順)	十八十〇十尺(天順)	十八八十尺	(大順)	T/13% 1	0 干皮(		T13% 1 3	十及(口标)
		(2)	指標値										
	<del>-</del> >1/22		単位コスト										
2	<b>事業</b> 放	果(アウ	トカム)										
			td &										
		44	象	告 屋 ī	市民								
		対		芦屋ī									
事業	の目的		象 バ - 率			000人 <mark>受益数</mark>	(b) 12,	2 4 5	人比	率 (b	÷ a) %	1 3	. 76%
	€の目的 は・意図	対象 か				000人 <mark>受益数</mark>	(b) 12,	245,	人 <mark>比</mark>	率 (b	÷ a) %	1 3	. 76%
		対象 か	バー 率	対象			(b) 12,	2 4 5	人 比	<u>率</u> (b	÷ a) %	1 3	. 76%
		対象が	バ - 率 図	対象	<mark>そ数 (a)</mark> 89,		(b) 12,	2 4 5 /	人	<u>率</u> (b	÷ a) %	13	. 76%
		対象が	バー 率	対象	<mark>そ数 (a)</mark> 89,		( (b) 12,	245,	人比	率 (b	÷ a) %	13	. 76%
対象	き・意図	対象が 対象が 意 (対象を	バ - 率 図 注語にして)	対象			(b) 12,	245,	人	<b>率</b> (b	÷ a) %	13	. 76%
		対象が	バ - 率 図 注語にして)	対象	<mark>そ数 (a)</mark> 89,		(b) 12,	245,	人 比	<b>率 (b</b>	÷ a) %	13	. 76%
対象	き・意図	対象が 対象が 意 (対象を	バ - 率 図 注語にして)	<b>対象</b>	<ul><li>数 (a) 89,</li><li>市民に様々な学習。</li><li>学習の推進を図る</li></ul>		(b) 12,	245,	人	<b>率</b> (b	÷ a) %	1 3	. 76%
対象	き・意図	対象が 対象を 意 (対象を	バー 率 図 注語にして) 目 的	対 象	<ul><li>数 (a) 89,</li><li>市民に様々な学習</li><li>学習の推進を図る</li><li>者数</li></ul>		(b) 12,	2 4 5 /	人	率 (b	÷ a) %	13	. 76%
対象	き・意図	対象が 意 (対象を な 中間成果	バー 率 図 注語にして) 目 的 指標 表 考え方・式	対 象	<ul><li>数 (a) 89,</li><li>市民に様々な学習学習の推進を図る</li><li>者数</li><li>に登録した人の数</li></ul>	情報を提供する							
大	きき	対象が 意(対象を3 中間成果	バー 率 図 注語にして) 目 約 指標式方・式 年	対 象	<ul><li>数 (a) 89,</li><li>市民に様々な学習</li><li>学習の推進を図る</li><li>者数</li><li>に登録した人の数</li><li>15年度(実績)</li></ul>	情報を提供する 平成16年度(実績)	7 (b) 12, 平成17年度			8年度(	〔目標〕		- 76%
大	<ul><li>き</li></ul>	対象が意識を	ボー を 図 が 名式度値	対 象	<ul> <li>数 (a) 89,</li> <li>市民に様々な学習</li> <li>学習の推進を図る</li> <li>者数</li> <li>に登録した人の数</li> <li>15年度(実績)</li> <li>138人</li> </ul>	情報を提供する		(実績)			〔目標〕	平成 1 9	
大	きき	対象が意識を	ボー を 図 が 名式度値	対 象	<ul><li>数 (a) 89,</li><li>市民に様々な学習</li><li>学習の推進を図る</li><li>者数</li><li>に登録した人の数</li><li>15年度(実績)</li></ul>	情報を提供する 平成16年度(実績)	平成 1 7 年度	(実績)		8年度(	〔目標〕	平成 1 9	年度(目標)
対 大 ア	き・意図 き フトカ <i>1</i>	対象がまた。対象を記れている。	ボー を 図 が 名式度値名	対 象	<ul> <li>数 (a) 89,</li> <li>市民に様々な学習</li> <li>学習の推進を図る</li> <li>者数</li> <li>に登録した人の数</li> <li>15年度(実績)</li> <li>138人</li> </ul>	情報を提供する 平成16年度(実績)	平成 1 7 年度	(実績)		8年度(	〔目標〕	平成 1 9	年度(目標)
対 大 ア	き・意図 き フトカ <i>1</i>	対象が意味を受ける。	ボー を 図 が 名式度値名式	対 象	表数(a) 89, 市民に様々な学習 学習の推進を図る 者数 に登録した人の数 15年度(実績) 138人 利用冊数 度貸出利用冊数	情報を提供する <b>平成 1 6 年度 (実績)</b> 1 2 9 人	<mark>平成17年度</mark> 170 <i>)</i>	<mark>(実績)</mark> 人	平成 1	<b>8年度</b> (180)	<u>(目標)</u>	<mark>平成19</mark>	<b>年度(目標)</b> 00人
対 大 ア	き・意図 き フトカ <i>1</i>	対象が意味を受ける。	ボー を 図 が 的 名式度値名式度	対象 芦屋で 生涯学 新規は 平成 貸出れ 平成	表数(a) 89, 市民に様々な学習 学習の推進を図る 者数 に登録した人の数 15年度(実績) 138人 利用冊数 度貸出利用冊数 15年度(実績)	情報を提供する <b>平成 1 6 年度 (実績)</b> 1 2 9 人 <b>平成 1 6 年度 (実績)</b>	平成 1 7 年度 1 7 0 / 平成 1 7 年度	(実績)	平成 1	8年度(	(目標)	<mark>平成 1 9</mark> 2	年度(目標) 00人 年度(目標)
対 大 ア	き・意図 き フトカ <i>1</i>	対象が意味を受ける。	ボー を 図 が 名式度値名式	対象 芦屋で 生涯学 新規は 平成 貸出れ 平成	表数(a) 89, 市民に様々な学習 学習の推進を図る 者数 に登録した人の数 15年度(実績) 138人 利用冊数 度貸出利用冊数	情報を提供する <b>平成 1 6 年度 (実績)</b> 1 2 9 人	<mark>平成17年度</mark> 170 <i>)</i>	(実績)	平成 1	8年度 180/	(目標)	<mark>平成 1 9</mark> 2	<b>年度(目標)</b> 00人
対 大 ア指	き き フトカ <i>I</i> 材	対対象を記録を記録を記録を記録を記録を記録を記録を記録を記録を記録を記録を記録を記録を	だい は	対 象	表数(a) 89, 市民に様々な学習 学習の推進を図る 者数 に登録した人の数 15年度(実績) 138人 利用冊数 度貸出利用冊数 15年度(実績)	情報を提供する <b>平成 1 6 年度 (実績)</b> 1 2 9 人 <b>平成 1 6 年度 (実績)</b>	平成 1 7 年度 1 7 0 / 平成 1 7 年度	(実績)	平成 1	8年度 180/	(目標)	<mark>平成 1 9</mark> 2	年度(目標) 00人 年度(目標)
対 大 ア指	き き フトカ <i>I</i> 材	対対象を記録を記録を記録を記録を記録を記録を記録を記録を記録を記録を記録を記録を記録を	ボー を 図 が 的 名式度値名式度	対 象	表数(a) 89, 市民に様々な学習 学習の推進を図る 者数 に登録した人の数 15年度(実績) 138人 利用冊数 度貸出利用冊数 15年度(実績)	情報を提供する <b>平成 1 6 年度 (実績)</b> 1 2 9 人 <b>平成 1 6 年度 (実績)</b>	平成 1 7 年度 1 7 0 / 平成 1 7 年度	(実績)	平成 1	8年度 180/	(目標)	<mark>平成 1 9</mark> 2	<b>年度(目標)</b> 00人 年度(目標)
対 大 ア指 屋	きっトカム村での特	対対 意 (対 な 中間 様 経 様 経 様 だ 補 )	が に 目 指考年指指考年指 る マ 図 の 名 式 度値 名 式 度値 項	対 象	表数(a) 89, 市民に様々な学習 学習の推進を図る 者数 に登録した人の数 15年度(実績) 138人 利用冊数 度貸出利用冊数 15年度(実績)	情報を提供する <b>平成 1 6 年度 (実績)</b> 1 2 9 人 <b>平成 1 6 年度 (実績)</b>	<mark>平成17年度</mark> 170 <mark>平成17年度</mark> 33,40	(実績)	平成 1 平成 1	8年度( 180/ 8年度( 5,00	<b>(目標)</b> (目標) ○冊	<mark>平成19</mark> 2 <mark>平成19</mark> 38,	年度(目標) ○○人 年度(目標) ○○○冊
対 大 ア指 芦 屋	・意図 き カトカ <sup>1</sup> で で で り た り た り り り り り り り り り り り り り	対対意はないでは、対対なが、対対なが、対対なが、対対は、対対は、対対は、対対は、対対は、対対は、対対は、対対は、対対は、対対	だい は	対 象	表数(a) 89, 市民に様々な学習 学習の推進を図る 者数 に登録した人の数 15年度(実績) 138人 利用冊数 度貸出利用冊数 15年度(実績) 30,059冊		平成 1 7年度 1 7 0 / 平成 1 7年度 3 3, 4 0	(実績) 人 (実績) 2冊	平成 1 平成 1 3 :	<mark>8年度(</mark> 180/ <mark>8年度(</mark> 5,00	(目標) (目標) 0冊	<mark>平成19</mark> 2 <mark>平成19</mark> 38,	<b>年度(目標)</b> 00人 年度(目標)
対 大 ア指 屋	きっトカム村での特	対対意対な中指最指とど活動に費用を持ちます。	で	対 象	表数(a) 89, 市民に様々な学習 学習の推進を図る 者数 に登録した人の数 15年度(実績) 138人 利用冊数 度貸出利用冊数 15年度(実績) 30,059冊	情報を提供する <b>平成 1 6 年度 (実績)</b> 1 2 9 人 <b>平成 1 6 年度 (実績)</b>	<mark>平成17年度</mark> 170 <mark>平成17年度</mark> 33,40	(実績) 人 (実績) 2冊	平成 1 平成 1 3 :	8年度( 180/ 8年度( 5,00	(目標) (目標) 0冊	<mark>平成19</mark> 2 <mark>平成19</mark> 38,	年度(目標) ○○人 年度(目標) ○○○冊
対 大 ア指 芦 屋	・意図 き カトカ <i>L</i> が 特 <b>費</b>	対対意対な中指最指とが活動に費責	で	対象	表数(a) 89, 市民に様々な学習 学習の推進を図る 者数 に登録した人の数 15年度(実績) 138人 利用冊数 度貸出利用冊数 15年度(実績) 30,059冊		平成 1 7年度 1 7 0 / 平成 1 7年度 3 3, 4 0	(実績) 人 (実績) 2冊	平成 1 平成 1 3 :	<mark>8年度(</mark> 180/ <mark>8年度(</mark> 5,00	(目標) (目標) 0冊	<mark>平成19</mark> 2 <mark>平成19</mark> 38,	年度(目標) ○○人 年度(目標) ○○○冊
対 大 ア指 芦 屋	きるからない。	対対意対な中指最指とど活動に費用を持ちます。	ボー 本 図 () 的 名式度値名式度値 項 ト 横 26.1%	対 象	表数(a) 89, 市民に様々な学習 学習の推進を図る 者数 に登録した人の数 15年度(実績) 138人 利用冊数 度貨15年度(実績) 30,059冊		平成 1 7年度 1 7 0 / 平成 1 7年度 3 3, 4 0	(実績) 人 (実績) 2冊 61 (決算)	平成 1 平成 1 3 :	<mark>8年度(</mark> 180/ <mark>8年度(</mark> 5,00	(目標) (目標) 0冊	<mark>平成19</mark> 2 <mark>平成19</mark> 38,	年度(目標) ○○人 年度(目標) ○○○冊
対 大 ア指 芦 屋	・ 意 B B B B B B B B B B B B B B B B B B	対対意対な中指最指とが活動に費責	ボー 率 図 (T) 的 名式度値名式度値 項 が 構成% 26.1% 73.9%	対 象	表数(a) 89, 市民に様々な学習 学習の推進を図る 者数 に登録した人の数 15年度(実績) 138人 利用冊数 度貸出利用冊数 15年度(実績) 30,059冊		平成 1 7年度 1 7 0 / 平成 1 7年度 3 3, 4 0	(実績) 人 (実績) 2冊 (決算) 632	平成 1 平成 1 3 :	<mark>8年度(</mark> 180/ <mark>8年度(</mark> 5,00	(目標) (目標) ○冊 27 (予算)	<mark>平成19</mark> 2 <mark>平成19</mark> 38,	年度(目標) ○○人 年度(目標) ○○○冊
対 大 ア指 声 3 事 内	<ul> <li>・ 意</li> <li>・ ま</li> <li>・ 方</li> /ul>	の図 対 意 対 な 間 暴指 と 活 件 業門 経 経 動 直 費 費 費	ボー を 図 が 名式度値名式度値 3 1 成 6 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	対 象	表数(a) 89, 市民に様々な学習 学習の推進を図る 者数 に登録した人の数 15年度(実績) 138人 利用冊数 度貸出利用冊数 15年度(実績) 30,059冊		平成 1 7年度 1 7 0 / 平成 1 7年度 3 3, 4 0	(実績) 人 (実績) 2冊 (決算) 632	平成 1 平成 1 3 :	<mark>8年度(</mark> 180/ <mark>8年度(</mark> 5,00	(目標) (目標) ○冊 27 (予算)	<mark>平成19</mark> 2 <mark>平成19</mark> 38,	年度(目標) ○○人 年度(目標) ○○○冊
対 大 ア指 声 3 事 内	きたり、おおり、おおり、おおり、おおり、おおり、おおり、おおり、おおり、おおり、お	の図 対 意(対 な 間 最指 な 活 件業門償 経却 の	ボー を 図 が	対 象	表数(a) 89, 市民に様々な学習 学習の推進を図る 者数 に登録した人の数 15年度(実績) 138人 利用冊数 度貸出利用冊数 15年度(実績) 30,059冊 15年度(決算) 2,181 1,998		平成 1 7年度 1 7 0 / 平成 1 7年度 3 3, 4 0	(実績) 人 (実績) 2冊 61 (決算) 632 1,785	平成 1 平成 1 3 :	<mark>8年度(</mark> 180/ <mark>8年度(</mark> 5,00	(目標) (目標) ○冊 27 (予算)	<mark>平成19</mark> 2 <mark>平成19</mark> 38,	年度(目標) ○○人 年度(目標) ○○○冊
対 大 ア指 声 3 事 内	<ul> <li>・</li> /ul>	の図 対 意 対 意 対 な 間	ボー 率 図 ( ) 的 名式度値名式度値 項 か ( a 式度値名式度値 項 ) が ( a 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	対 象	表数(a) 89, 市民に様々な学習 学習の推進を図る 者数 に登録した人の数 15年度(実績) 138人 利用冊数 度貸出利用冊数 15年度(実績) 30,059冊		平成 1 7年度 1 7 0 / 平成 1 7年度 3 3, 4 0	(実績) 人 (実績) 2冊 (決算) 632	平成 1 平成 1 3 :	<mark>8年度(</mark> 180/ <mark>8年度(</mark> 5,00	(目標) (目標) (予算) - 1,731 -	<mark>平成19</mark> 2 <mark>平成19</mark> 38,	年度(目標) ○○人 年度(目標) ○○○冊
対 大 ア指 声 3事 内(1)	き ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	の図	ボー 車 指 考年 指 指 考年 指 指 え 標標 方 ・ 標 方 ・ 標	対 象	表数(a) 89, 市民に様々な学習 学習の推進を図る 者数 に登録した人の数 15年度(実績) 138人 利用冊数 度貸出利用冊数 15年度(実績) 30,059冊 15年度(決算) 2,181 1,998		平成 1 7年度 1 7 0 / 平成 1 7年度 3 3, 4 0	(実績) 人 (実績) 2冊 61 (決算) 632 1,785	平成 1 平成 1 3 :	<mark>8年度(</mark> 180/ <mark>8年度(</mark> 5,00	(目標) (目標) (予算) - 1,731 -	<mark>平成19</mark> 2 <mark>平成19</mark> 38,	年度(目標) ○○人 年度(目標) ○○○冊
対 大 ア指 声 3 事 内( 財	R	の図	ボー 車 指 考年 指 指 考年 指 指 表 年 指 指 表 本 標 標 方 で は で か 名 式 度 値 名 式 度 値 項 な の 100.0%	対 象	表数(a) 89, 市民に様々な学習 学習の推進を図る 者数 に登録した人の数 15年度(実績) 138人 利用冊数 度貸出利用冊数 15年度(実績) 30,059冊 15年度(決算) 2,181 1,998	<b>平成 1 6 年度 (実績)</b> 1 2 9 人          平成 1 6 年度 (実績)         2 7, 5 2 0 冊          平成 1 6 年度 (決算)	平成 1 7年度 1 7 0 / 平成 1 7年度 3 3, 4 0	(実績) 人 (実績) 2冊 61 (決算) 632 1,785	平成 1 平成 1 3 :	<mark>8年度(</mark> 180/ <mark>8年度(</mark> 5,00	(目標) (目標) (予算) - 1,731 -	<mark>平成19</mark> 2 <mark>平成19</mark> 38,	年度(目標) ○○人 年度(目標) ○○○冊
対 大 ア指 声 3 事 内( 財	R	の図 対 意 対 な 間	ボー 率 図 ( ) 的 名式度値名式度値名式度値 3	対象	表数(a) 89, 市民に様々な学習 学習の推進を図る 者数 に登録した人の数 15年度(実績) 138人 利用冊数 度貸出利用冊数 15年度(実績) 30,059冊 15年度(決算) 2,181 1,998	情報を提供する       平成 1 6 年度 (実績)       2 7, 5 2 0 冊       平成 1 6 年度 (決算)       1,375       1,823       3,198	平成 1 7年度 1 7 0 / 平成 1 7年度 3 3, 4 0	(実績) 人 (実績) 2冊 (決算) 632 1,785	平成 1 平成 1 3 :	<mark>8年度(</mark> 180/ <mark>8年度(</mark> 5,00	(目標) (目標) (予算) - 1,731 -	<mark>平成19</mark> 2 <mark>平成19</mark> 38,	年度(目標) ○○人 年度(目標) ○○○冊
対 大 ア指 芦 3事 内( 財(	R	の図	ボー 率 図 (T) 的 名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値 1	対象	表数(a) 89, 市民に様々な学習 学習の推進を図る 者数 に登録した人の数 15年度(実績) 138人 利用冊数 度貸出利用冊数 15年度(実績) 30,059冊 15年度(決算) 2,181 1,998 4,179	情報を提供する         平成 1 6 年度 (実績)         2 7, 5 2 0 冊         平成 1 6 年度 (決算)         1,375         1,823         3,198         3,198	平成 1 7年度 1 7 0 / 平成 1 7年度 3 3, 4 0	(実績) (実績) 2冊 (決算) 632 1,785 2,417	平成 1 平成 1 3 :	<mark>8年度(</mark> 180/ <mark>8年度(</mark> 5,00	(目標) (目標) (予算) - 1,731 -	<mark>平成19</mark> 2 <mark>平成19</mark> 38,	年度(目標) ○○人 年度(目標) ○○○冊
対 大 ア指 声 3 事 内( 財	R	の図 対 意 対 な 間	ボー 率 図 (T) 的 名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値 1	対象	表数(a) 89, 市民に様々な学習 学習の推進を図る 者数 に登録した人の数 15年度(実績) 138人 利用冊数 度貸出利用冊数 15年度(実績) 30,059冊 15年度(決算) 2,181 1,998	情報を提供する       平成 1 6 年度 (実績)       2 7, 5 2 0 冊       平成 1 6 年度 (決算)       1,375       1,823       3,198	平成 1 7年度 1 7 0 / 平成 1 7年度 3 3, 4 0	(実績) 人 (実績) 2冊 (決算) 632 1,785	平成 1 平成 1 3 :	<mark>8年度(</mark> 180/ <mark>8年度(</mark> 5,00	(目標) (目標) (予算) - 1,731 -	<mark>平成19</mark> 2 <mark>平成19</mark> 38,	年度(目標) ○○人 年度(目標) ○○○冊
対 大 ア指 芦 3事 内( 財(	Table   Ta	の図	ボー 率 図 (T) 的 名式度値名式度値名式度値名式度値名式度値 1	対象	表数(a) 89, 市民に様々な学習 学習の推進を図る 者数 に登録した人の数 15年度(実績) 138人 利用冊数 度貸出利用冊数 15年度(実績) 30,059冊 15年度(決算) 2,181 1,998 4,179	情報を提供する         平成 1 6 年度 (実績)         2 7, 5 2 0 冊         平成 1 6 年度 (決算)         1,375         1,823         3,198         3,198	平成 1 7年度 1 7 0 / 平成 1 7年度 3 3, 4 0	(実績) (実績) 2冊 (決算) 632 1,785 2,417	平成 1 平成 1 3 :	<mark>8年度(</mark> 180/ <mark>8年度(</mark> 5,00	(目標) (目標) (予算) - 1,731 -	<mark>平成19</mark> 2 <mark>平成19</mark> 38,	年度(目標) ○○人 年度(目標) ○○○冊

4 評1	曲(チェック) 価 視	点	評価チェックリスト		1次輕価	2次評価					
RI .	目的妥当性(				八八八四	2 /A RT IM					
			□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき,または対応可能で	'ある							
妥	市関与(2~	2)	│ □ 市民の基本的な生活の維持に必要である □ 他団体では見直しがされている □ いずれにも該当しない								
当	市民ニーズ(	2 1)	<ul><li>☑ 市民ニーズに基づいて行うべき事業</li><li>□ 市民ニーズに基づいて行う事業では</li><li>□ ニーズが高いとは言えない、または</li></ul>		4	4					
性	1) K = - X (1)	2~ 1)	☑ 数字で把握している 貸出利用冊数33,402冊 □ 未把握								
8点	社会環境変化(1~ 1)		□ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直した 内容 市民ニーズに沿った蔵書購入	が必要							
	優先性,緊急 対象カバー <sup>図</sup>	. ,	□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる □ 対象カバー率は高い □ 他団体とりカバー率が低い								
有	受益者(1~		☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定								
効	成果の実績(	(2 ~ 1)	<ul><li>□ 中間成果指標の実績値を把握し,目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入</li><li>□ 実績値から成果があがっていると言える □ 実績値から成果があがっていると言えない</li></ul>								
性 4点	- 成果向上余	地(1~ 1)	成果があがっていない場合								
455			☑ 比較できる団体がある 団体名 各市の公民館図 □ 比較できる団体はない	12/4/							
効	単位コスト(1	~ 1)	□ 他団体の数字を把握している 単位コスト □ □ □ 把握していない □ □ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い								
			高い、または低い場合の理由  □ 負担を求めることができる事業である  □ 負担を求めるべき事業ではない								
率	受益者負担(	(0 ~ 1)	└─▶ □ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可	「能)	-2	-2					
_			直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について □ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分	がある		-2					
44	手段(1~ 3	3)	□ 民間(企業, NPO等)では対応できない業務である □ 民間(企業, NPO等)で対応可能であ	53							
性 3点	コスト削減取	(組(1~ 1)	□ 嘱託,臨時職員等では対応できない業務である □ 嘱託,臨時職員等で対応可能である □ 特に行っていない	5							
			→ 内容 最小限の人数で運営している。								
平成1	6年度の評改善の	了価内容 方向性	評価結果 施した改善の方向 改善したが、効果がな D 改善し								
(計1川 八	(評価がない場合は記載不要)		□ B <b>性</b> □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	総合評価	В	В					
平成実施	1 8 年 する改	度に善度 内容	改善	計画							
(	必		内容								
5 今後	後の対応(ア <sup>,</sup>	クション)	利用者を増やす								
現在詢	認識してい	1る 課 題	市民の新しい情報提供要求に応えられるような図書を増やす								
市民,関からの	信者 市民,関	係者の名称									
要望	意見,	要望内容									
	(1)	対応内容	時代に合うすぐれた本の定期的購入(年間を通して)								
課題·要	i 胡笙	実施期限	平成 18 年 4 月								
	(2)		担当職員の資質向上								
へ の <b>タ</b>	村 応	実施期限									
	(3)	対応内容									
		実施期限	平成 年 月								
-	! 考えられる D ア イ デ ア										
				方向性	_						
				· 充 実 維 持	0	<b>○</b>					
平成19~21年度の方向性			方法 日本	改善       委託等		0					
1 12%	- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	-> >3 IT	縮	小	_	0					
				8期設定		0					
			<u>廃止</u>	/ 休 止	U	0					
2 次 評	值 委 員 会	コメント									

( 的几 宣	<b>手</b> 茶 /	事業	7 - K	3210150			部長次	長課長			
( NX =	<b>尹</b> 未)	尹 未	<u> </u>	3210130			마 전사	IX DX IX			
平成17	年度	事	業名	図書館運営事業(収	集整理利用)						
				`	,						
1 事	坐概:	要(ドゥ)					l l	·			
			コの日煙	3 人と文化を育	てスまちづくり		<u></u>	会社会教育部			
			<u>,00日標</u> 中				断 一	KA LLA WHIP			
総合			·	2 生涯学習社会			四書館				
政策	施 束		小	1 学習推進体制	/ )整備		所管課長氏名 大西 和				
体	系		細				記入者氏名大西 和	昭			
事	業	期	間	昭和24年	経常臨時	☑ 経常 □ 臨時	電 話 番 号 31-2	2 3 0 1 内線 3297			
根 拠	法	今 · 9	要 綱 等	図書館法、芦屋市立	7図書館設置条例		実施主体市				
実	施			☑ 直営	一一部委託	□ 全部委託		負担金			
	ルビ		,-,					貝担並			
委		託	九	□ 外郭団体委託			委託 <mark>委託内容</mark>				
				・資料の収集,整理	里,保存及び利用に関する	<b>業務</b>					
事	業	の	概 要								
				<ul><li>施設の維持管理</li></ul>	・蔵書数	… 353, 540∰	・利用人数(17年度)	··· 159, 822 Д			
事	業	Ø	現 状		書・発注・受入・装備・整∃						
_								///			
		実現のため			A力,館外奉仕,障害者奉付 1.000						
	<b>于段</b> 及	及び実施内	]谷	・開館時間			・日(18年度から祝日も)	9:30~17:00			
						10:30~17:00					
			指標 名	貸出コスト(図書	館費÷館外貸出冊数)						
		結果指標			[] 平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)			
			指標値	•	619, 306冊	606, 597⊞	650,000冊	680,000∰			
アウト	ا س ا			152. 7円		, ,	000, 000	000, 000			
			単位コスト		231. 7円	147. 8円					
指	標			蔵書受入冊数 (購		1					
		結果指標	結果指標	結果指標	年 度	平成15年度(実統	責) 平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)	
		(2)	指標値	14, 534∰	7,822∰	9, 741∰	10,000∰	12,000∰			
			単位コスト								
2 事	単成 5	果(アウト			1		ı				
	ヘルルフ	10 ( ) )	,,_,								
		対 象		・芦屋市に在住・右	E勤者及び阪神7市1町在住	者, その他市民					
= 24.		** & ·	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,								
				<mark>対象数(a)</mark> 90,902人 <mark>受益数(b)</mark> 19,053人(登録者数) <mark>比率(b÷a)%</mark> 21%							
対象·	意 図	意図			整理・保存して,一般市民		用に供する。				
				<ul><li>市民の調査研究,</li></ul>	レクリエーションに利用						
		(対象を主	注語にして)	・子どもの読書推済	<b>些に資する。</b>						
大	き	な	な 目 的	<ul><li>図書館からの幅り</li></ul>	い学習機会の提供により、	住民の生涯学習を支援	していく。				
	_	.0.	ш пу		, , , , , , , , , , , , , , , , , ,	エハッエ注丁日で入扱					
			#K ## (-	<b>温一去</b>							
		中間成果	指標名		7						
				利用登録者数(登録							
			年 度	平成15年度(実統	責) 平成16年度(実績)	平成17年度(実績)	平成18年度(目標)	平成19年度(目標)			
アウト	カム		指標値	27,773人 (31%)	23,345人 (26%)	19,053人 (21%)	22,725人 (25%)	27,270人 (30%)			
指	標				三期的な生涯学習の機会を	寺つ市民割合)%	•	•			
	1.31		考え方・式								
				平成15年度(実施	責) 平成16年度(実績)	亚成17年度(宝績)	亚成19年度(日堙)	亚成10年度(日堙)			
				十八八 1 3 十反(夫魚			平成18年度(目標)	平成19年度(目標)			
			指標値	Version of the same	不明	不明	50%	1.			
					こっては、児童書、芸術分			9.			
芦屋市	の特色	色など補足	足する事項	・田尾文庫,松本文庫のスポーツ関連コレクションを適切に保存,管理する。							
3 事業費・活動配分(コスト)				1世帯当り(円) 5,257	住民1人当り(円) 2,304	平成18.4.1 住民基本台帳					
事	<u>天文</u> 業	費		平成15年度(沖管	算) 平成16年度(決算)	平成17年度(決算)	平成18年度(予算)				
-	人	件費		97,8	. , ,	98,783	1700 1 0 1 100 ( 1 54 )				
	事					·	404.070	-			
	3.		42.8%	98,9	95 143,518	89,656	101,072				
		7門経費					-				
(千円)	減個	遺 却 費	10.0%	21,9	70 20,969	20,969	-				
	合	計	100.0%	218,8	22 268,867	209,408	-				
	国	· 県									
財源		債 等									
(V) []	市					<u> </u>					
	市子										
(千円)	そ	の他		040.0	22 200 007	000 400					
(千円)	そ <b>ー f</b>	の 他 財源	100.0%	218,8	· ·	209,408	-				
(千円) 活 動	そ 一 <b>!</b> 職	の 他 <b>般 財源</b> 員	100.0% 48.7%	10	70 8.95	8.40	-				
(千円)活動	そ <b>一月</b> 職 嘱託	の 他 財源	100.0% 48.7%	10	· ·	·	-				

4 評价	西(チェック)										
評	価 礼	見 点	評価チェックリスト	1次評価	2次評価						
	口的可以供	(0 0)	☑ 事業の主目的は明確である □ 事業の目的は一つに絞ることができない								
	目的妥当性	当1主(2 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	☑ 事業成果が上位施策に不可欠,または貢献度が高い □ 貢献度が不明確、または高くない								
			□ 市が実施するよう法律等で義務づけられている □ 民間でやるべき、または対応可能である								
妥	市関与(2~	2)	☑ 市民の基本的な生活の維持に必要である ☑ 他団体では見直しがされている								
			□ いずれにも該当しない								
当			☑ 市民ニーズに基づいて行うべき事業 □ 市民ニーズに基づいて行う事業ではない	5	5						
	市民ニーズ	(2 ~ 1)	└─▶ ☑ ニーズが高い □ ニーズが高いとは言えない,または未把握								
性			☑ 数字で把握している アンケート結果 □ 未把握								
8点	九人四块亦	/lz/4 4\	☑ 事業に関わる社会環境の変化に適応している □ 社会環境の変化にあわせた見直しが必要								
	社会環境変	1七(1~ 1)	内容 打出分室運営面での市民参画								
	優先性,緊急	急性(1)	□ 事業を実施しなければ,市民の生命,安全等が損なわれる								
	対象カバー	率(1~ 1)	□ 対象カバー率は高い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりカバー率が低い								
有	受益者(1~	1)	☑ 事業意図と受益者は整合している □ 事業意図と受益者が不整合,または受益が一部に限定								
効	成果の実績	(2 ~ 1)	☑ 中間成果指標の実績値を把握し、目標値を設定している□ 実績値または目標値が未記入	2	2						
		,	▶□ 実績値から成果があがっていると言える ☑ 実績値から成果があがっていると言えない	_	_						
性	- 成果向上余	地(1~ 1)	成果があがっていない場合								
4点			☑ 成果向上策あり 祝日開館,夜間開室試行,新刊書購入点数の増。 □ 特になし								
			□ 比較できる団体がある 団体名 大阪府池田市 □ 比較できる団体はない								
۸h	単位コスト(1	~ 1)	☑ 他団体の数字を把握している 単位コスト 図書館費 / 人口 □ 把握していない □ パログ トロココトがダル								
効			□ 他団体よりコストが低い □ 他団体と同程度 □ 他団体よりコストが高い								
			高い、または低い場合の理由施設規模は芦屋市の方が大きい。								
	受益者負担	(0 ~ 1)	□ 負担を求めることができる事業である □ 負担を求めるべき事業ではない □ → □ 現在、滴正な負担あり □ 負担なし、過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能)		_						
率			□ 現在,適正な負担あり □ 負担なし,過少 (□ 徴収不能・見直し不能 □ 徴収可能 ) 直営事業(正規職員が執行)または出資団体へ委託している業務について	-1	-2						
			□ 正規職員による執行が義務づけられている □ 個人,家庭,地域等が担うべき部分がある								
	手段(1~ :	3)	□								
性			□ 帳前、臨時職員等では対応できない業務である □ 帳前、臨時職員等で対応可能である								
3点			□ 場に、皿の観貨等では対応できなり未分である □ 場に、皿の観貨等で対応引能である								
- OMIC	コスト削減取	双組(1~ 1)	→ 内容 時差勤務導入による超過勤務の大幅な解消								
平成1	6年度の記事	平価内容	□ A <mark>平成17年度に実</mark> ② 改善し,効果を得た 施した改善の方向 なぎしなず、対思ずな 改善し								
平成 16 年度の評価内容及び改善の方向性(評価がない場合は記載不要)平成 1 8 年度に実施する改善内容		記載不要)	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ → → → □ □ → → → □ □ → → → □ □ → → → □ □ → → → □ □ → → → □ □ → → → □ □ → → → □ □ → → □ □ → → □ □ → → □ □ → → □ □ → □ → □ □ → □ □ → □ □ → □ □ → □ □ □ → □ □ □ → □ □ → □ □ □ → □ □ □ → □ □ □ → □								
				В	В						
		: re r:	・窓口時間の延長、拡大・本館の祝日開館、大原分室の夜間開室試・評価	ט	ם						
実施	する。改善	善内容	・民間活力導入 ・持続可能な市民参画協働 ・持続可能な市民参画協働 ・大原分室及び本館(一部)への民活導入 内容								
(	必	頁 )	・持続可能な市民参画協働								
5 4	後の対応(ア	クシュンハ									
J / 15	× 00 / 10 ( )	<i>// 1/ )</i>	・職員の技術・能力の向上及び施設の環境整備等による、より利用しやすい雰囲気づくり。								
現在意	認識してし	しる 課 題	・図書購入費(類似団体平均値)の確保								
70 12 1											
市民,関	係者 市民,関	係者の名称	アンケート結果								
からの	意見。	<b>西胡古</b> 宓	Web予約ができるようにしてほしい。新刊書を多く揃えてほしい。								
要望	等思見,	安望内谷	webT杓かできるよりにしてはしい。利刊者を多く揃えてはしい。 								
		対応内容	Web予約はコンピュータ機器更新時に導入。できれば,平成19年6月から実施したい。								
	(1)										
		実施期限	平成 年 月								
課題·要	. — . 5	対応内容									
	(2)	ch++1170									
へ の s	טון נא	実施期限	平成 年 月								
	(3)	対応内容									
	(3)	実施期限	平成 年 月								
		大旭知似									
その他	考えられる	,	大原分室と公民館図書室の発展的統合。								
	カアイデア		ハハルエリムスの日本ツルスはリルロ。								
			今後の方向性	1次評価	2次評価						
		<u> </u>	・指定管理者制度を含む民間活力導入のメリット及びデメリットを検証し、図書館 拡大 充実		0						
			経営の方向性を確立する。 現 状 維 持	0	0						
			・より効率的な図書館運営のあり方を目指し、職員構成を精査する。 方法改善	•	•						
平成 1	9~21年度	の方向性	民間委託等	0	0						
			縮小		0						
			<mark>統合/終期設定</mark>	0	0						
			廃止 / 休止	0	0						
2 次 評	価 委 員 会	コメント	図書館運営のあり方を見直すと共に、指定管理者制度の導入に向けてアクションプランを作成して進め	てくだる	えい。						

## 芦屋市

〒659-8501 兵庫県芦屋市精道町7番6号 芦屋市役所 総務部行政経営課

電話(直通)0797-38-2009 FAX 0797-31-4841 E-mail info@city.ashiya.hyogo.jp

E-mail <u>info@city.ashiya.hyogo.jp</u> http://www.city.ashiya.hyogo.jp/pm/